授業紹介

2018 年度

（平成 30 年度）

学部

(B1011001a)工学概論[Introduction to Engineering]

科目名[英文名]	工学概論[Introduction to Engineering]				
時間割番号	B1011001a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	教務委員会副委員長, 松本　明彦, 古野　志健男, 齊戸　美弘, 吉田　祥子, 井上　隆信, 齊藤　大樹, 松島　史朗, 井上　光輝, 足立　忠晴, 伊﨑　昌伸, 柴田　隆行, 松田　厚範, 市川　周一, 櫻井　庸司, 澤田　和明, 三浦　純, 石田　好輝, 北﨑　充晃 kyoumu iinkai fukuiintyou, MATSUMOTO Akihiko, FURUNO Shigeo, SAITO Yoshihiro, YOSHIDA Sachiko, INOUE Takanobu, SAITOH Taiki, MATSUSHIMA Shiro, INOUE Mitsuteru, ADACHI Tadaharu, IZAKI Masanobu, SHIBATA Takayuki, MATSUDA Atsunori, ICHIKAWA Shuichi, SAKURAI Yoji, SAWADA Kazuaki, MIURA Jun, ISHIDA Yoshiteru, KITAZAKI Michiteru				
ナンバリング	GEN_PRN11010				

授業の目標

工学の先端技術について各分野の専門家の講義を聞くことにより，現代の科学技術について学び，未来に向けてどのような技術革新が展開されているかを学ぶ。
本講義では工学部で学ぶことの意義を考える場とともに，グローバルに活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者をめざす学生に対して，自らの進むべき道を考えるきっかけを提供する。
具体的には，各課程の学問の内容・研究テーマなどを理解し，これから工学を学んでいくための心構えを学ぶことや，キャリアに関わる講義として，さまざまな分野で活躍している方を本学に招き，講義を行う，

授業の内容

・各課程における学問の内容・研究テーマ等に加え関連科学技術の最前線を，
課程ごとに3回講義を行う。
・キャリアに関わる講義を1回実施する。
講義の中では本学の1期生などを招聘して，自分のキャリアについて講義を行う。
・課程配属に向けて，面談を行う。

第1回：4／9（月）理事（研究・学務担当）(5 分）イントロダクション
4系松本明彦　環境保全のための吸着科学
Adsorption Science for Environmental Protection
第2回：4／16（月）4系齊戸美弘　空気中の微量有機化合物を高感度測定する"先端"技術
State-of-the-art technique for the determination of trace volatile organic compounds
第3回：4／23（月）4系吉田祥子　シン・ニンゲンを作る技術
How to innovate an artificial anthropoidea
第4回：5／7（月）5系井上隆信　土木・建築で取り扱う環境分野の研究概要と水環境汚染研究の紹介
"Outline of research on environment handled in Department of Architecture and Civil Engineering and introduction of water pollution research"
第5回：5／14（月）5系松島史朗

第6回：5／21（月）5系齊藤大樹 基礎から学ぶ地震と防災
Basic study on earthquake and disaster prevention
第7回：5／28（月）キャリア教育「いくつかの先輩の事例」
Some senior cases
第8回：5／29（火）1系足立忠晴　安全な機械とは何かについて講義する。
What are safety machines?
第9回：6／4（月）1系伊﨑昌伸　機械と材料
Materials used for Industrial products
第 10 回：6／11（月）1系柴田隆行　未来を創造する微細加工技術
Microfabrication technology to create the future
第 11 回：6／18（月）2系松田厚範　低炭素社会と次世代燃料電池
Low Carbon Society and Next Generation Fuel Cells
第 12 回：6／25（月）2系市川周一　安全なプロセッサセキュアプロセッサ
Secure processors
第 13 回：7／2（月）2系櫻井庸司　澤田和明
1. 環境共生社会に貢献する電気エネルギー技術
2. 見えないものを見る化学の目を持つセンサ

1. Electric energy technology contributing to environmentally friendly society
2. Image Sensor Technology for Invisible Biochemical Phenomena
第 14 回：7／9（月）3系三浦　純　ロボットと AI
Robotics and Artificial Intelligence
第 15 回：7／23（月）3系石田好輝　人工知能の新展開
Newage of Artificial Intelligence
第 16 回：7／30（月）3系北﨑充晃　心の情報処理：知覚と認知
Human information processing: perception and cognition
第 17 回：課程の教員（系長，副系長等）との面談
ひばりラウンジにてブース形式で実施

予習・復習内容

関連科目
理工学実験

Engineering and Science Laboratory

教科書に関する補足事項
特になし

参考書に関する補足事項
特になし

達成目標
各課程の学問の内容・研究テーマなどを理解することを通じて，現代の科学技術について理解し，未来に向けてどのような技術革新が展開されているかを理解する。
また，キャリアに関わる講義を学ぶことにより，グローバルに活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者をめざすために自らの進むべき道や工学について真剣に考える。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
課程担当の講義終了後，レポートや試験等で講義の理解度の評価をする。それらを総合して成績とする。
本講義には全て出席するとともに，レポートは必ず提出すること。出席は毎回，必ず取る。

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細
試験期間中には何も行わない
Non during exam period

その他
各授業における質問は，授業を担当したそれぞれの教員に問い合わせること。

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B1011001b)工学概論[Introduction to Engineering]

科目名[英文名]	工学概論[Introduction to Engineering]				
時間割番号	B1011001b	**区分**	一般基礎Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	教務委員会副委員長，井上　隆信，古野　志健男，松島　史朗，齊藤　大樹，足立　忠晴，伊﨑　昌伸，柴田　隆行，井上　光輝，松田　厚範，櫻井　庸司，澤田　和明，市川　周一，福村　直博，秋葉　友良，梅村　恭司，小口　達夫，手老　龍吾，柴富　一孝 kyoumu iinkai fukuiintyou, INOUE Takanobu, FURUNO Shigeo, MATSUSHIMA Shiro, SAITOH Taiki, ADACHI Tadaharu, IZAKI Masanobu, SHIBATA Takayuki, INOUE Mitsuteru, MATSUDA Atsunori, SAKURAI Yoji, SAWADA Kazuaki, ICHIKAWA Shuichi, FUKUMURA Naohiro, AKIBA Tomoyoshi, UMEMURA Kyoji, OGUCHI Tatsuo, TERO Ryugo, SHIBATOMI Kazutaka				
ナンバリング	GEN_PRN11011				

授業の目標

To listen to the lecture of advanced engineering technology from each field's specialist, students learn contemporary science and technology, and learn how the engineering innovation is laid out toward the future.
Also, students understand contents of each study field and research themes so they can learn mental attitudes for studying engineering.

授業の内容

1：April/9(Mon) Guidance(5minutes)
5系井上隆信:土木・建築で取り扱う環境分野の研究概要と水環境汚染研究の紹介
Takanobu Inoue："Outline of research on environment handled in Department of Architecture and Civil Engineering and introduction of water pollution research"

2：April/16(Mon)
5系松島史朗:
Shiro Matsushima:

3：April/16(Mon)
5系齊藤大樹：基礎から学ぶ地震と防災
Daiki Saito：Basic study on earthquake and disaster prevention

4：May/7(Mon)
1系足立忠晴:安全な機械とは何かについて講義する。
Tadaharu　Adachi:What are safety machines?

5：May/14(Mon)
1系伊﨑昌伸：機械と材料
Masanobu Isaki：Materials used for Industrial products

6：May/21(Mon)
1系柴田隆行:未来を創造する微細加工技術
Takayuki Shibata：Microfabrication technology to create the future

7：May/28(Mon)
キャリア教育「いくつかの先輩の事例」
Some senior cases

8：May/29（TUE）
2系：松田厚範：低炭素社会と次世代燃料電池
Atsunori Matsuda：Low Carbon Society and Next Generation Fuel Cells

9：June/4（Mon）

2系″櫻井庸司，澤田和明″
″1. 環境共生社会に貢献する電気エネルギー技術
2. 見えないものを見る化学の目を持つセンサ″
Yoji Sakurai,Kazuaki Sawada
1. Electric energy technology contributing to environmentally friendly society
2. Image Sensor Technology for Invisible Biochemical Phenomena″

１０：June/11（Mon）
2系市川周一：安全なプロセッサ　セキュアプロセッサ
Shuichi Ichikawa：Secure processors

１１：June/18（Mon）
3系福村直博：ヒトの随意運動の制御の仕組み
Naohiro Fuumura：Control mechanism of human voluntary movement

１２：June/25（Mon）
3系秋葉友良：ニューラルネットワークによる自然言語処理
Tomoyoshi　Akiba:Natural Language Processing using Neural Networks

１３：July/2（Mon）
梅村恭司: 観測からの確率推定とデータマイニングの応用
Kyoji Umemura：Estimation of probablity and data mining

１４：July/9(Mon)
4系小口達夫：環境・エネルギー工学における化学
Tatsuo Oguchi：Chemistry in Environmental and Energy Engineering

１５：July/23（Mon）
4系手老龍吾：表面・界面科学の基礎と応用
Ryugo Tero：Principles and applications of surface and interface sciences

１６：July/30（Mon）
柴富一孝：創薬を指向した有機化学
Kazutaka　Shibatomi:Organic Chemistry Directed Toward Drug Development

１７：July/31（Tue）
面談：Booth-Type interviews

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
各課程の学問の内容・研究テーマなどを理解することを通じて，現代の科学技術について理解し，未来に向けてどのような技術革新が展開されているかを理解する。
Through understanding the contents and research theme of each study field, students understand contemporary science and technology, and learn how the engineering innovation is laid out toward the future.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
各課程担当の講義終了後，レポートや試験等で講義の理解度の評価をする。それらを総合して成績とする。
本講義には全て出席するとともに，レポートは必ず提出すること。出席は毎回，必ず取る。
After each lecture, students are evaluated through tests and reports, etc., and final score is synthesized from each evaluation.
Students should attend all lectures, should submit all reports.
In this classes, students' attendances are calculated every time.

定期試験 試験期間中には何も行わない None during exam period
定期試験詳細
その他
ウェルカムページ
オフィスアワー
学習・教育到達目標との対応
キーワード

(B10110020)理工学実験[Engineering and Science Laboratory]

科目名[英文名]	理工学実験[Engineering and Science Laboratory]				
時間割番号	B10110020	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	教務委員会副委員長，武藤　浩行，内山　直樹，白砂　絹和，田崎　良佑，石川　靖彦，福村　直博，渡辺　一帆，田中　三郎，東海林　孝幸，梅影　創，松本　明彦，原口　直樹，松井　智哉，林　和宏，岡辺　拓巳，松本　幸大，鍋島　佑基，鹿毛　あずさ kyoumu iinkai fukuiintyou, MUTO Hiroyuki, UCHIYAMA Naoki, Shirasuna Miyori, TASAKI Ryosuke, ISHIKAWA Yasuhiko, FUKUMURA Naohiro, WATANABE Kazuho, TANAKA Saburo, TOKAIRIN Takayuki, UMEKAGE So, MATSUMOTO Akihiko, HARAGUCHI Naoki, MATSUI Tomoya, HAYASHI Kazuhiro, OKABE Takumi, MATSUMOTO Yukihiro, NABESHIMA Yuki, KAGE Azusa				
ナンバリング	GEN_PRN11012				

授業の目標

各課程における学問の内容の一例を，実際に自分の手足等を動かして体験し理解する。これにより，工学研究を遂行する上で重要な基礎的な知識を体得する。

In this course, students experience and understand some examples of study contents in each program by moving their hands and food. Through this course, students get important basic knowledge for implementing engineering researches.

授業の内容

■授業の内容

第１週目にガイダンスを行い，第２週目から，５週間で1テーマの実験を行う。

次のテーマから，前半・後半でそれぞれ1テーマを選んで履修する。

ただし，各テーマの受け入れ人数に制限があるので，必ずしも自分の希望するテーマを履修できるとは限らない。

＜授業日程＞（金曜・４－５限）

【ガイダンス】4月 13 日

【 前　半 】4月 20 日，4月 27 日，5月 11 日，5月 18 日，5月 25 日

【 後　半 】6月 15 日，6月 22 日，6月 29 日，7月6日，7月 13 日

＜授業内容＞

▼安全教育とレポート作成に関する注意　武藤　浩行（集合場所：Ａ－１１４）

実験全般に関する安全教育、レポートの書き方

※「安全衛生ハンドブック」を持参のこと

▼テーマ1（機械工学1）：（前半・後半）ロボットの運動学【定員：最大 10 名まで】

担当：内山直樹，白砂絹和（集合場所：Ｄ－４１２）

工場などで広く利用されているアームロボットの運動学について学び，動作プログラムを作成する。計算機シミュレーションによりプログラムの動作確認を行ったのち，実際にアームロボットを操作する。

▼テーマ2（機械工学2）：（前半・後半）マシニング／メカトロニクス実習【定員：最大 10 名まで】

担当：安井利明，田崎良佑

集合場所：（前半）教育研究基盤センター附属実験実習工場内 CAD/CAM 室　（後半）D4-401 室

現代の生産加工（ものづくり）に必要不可欠な電子制御の機械加工（マシニング加工）の実習を行う。また，これらの工作機械にも用いられている機械の電子制御（メカトロニクス）の基礎を、移動ロボットを用いて、センサ、アクチュエータ、プログラミングの実習をする。

▼テーマ3（電気・電子情報工学）：（前半・後半）赤外線センサロボットの電子工作

【定員：最大 22 名まで】

担当：石川靖彦（集合場所：C１－４０４）

乾電池をエネルギー源とし，赤外線センサで障害を自己判断して動作するロボットの製作と，トライアルゲームや簡単な実験を通じ，現代文明社会に欠かせない基盤技術である電気・電子情報工学の基礎を楽しく体験する。ハンダ付け，電気・電子回路組み立て，モータや電子部品の機能の理解，メカニカル部品の仕

組みの理解と組み立て，エネルギーの消費など，電気・電子技術者として必要な基礎技術や知識を習得する。

▼テーマ4（情報・知能工学1）：（前半・後半）単純なロボットを用いたプログラミング基礎演習

【定員：最大 10 名まで】

担当：福村　直博（集合場所：物理実験室）
簡単な自走ロボットを利用してプログラミングの基礎を学び，同時にひとつの目標に対して技術とアイディアを競うというソフトウェア工学の入り口の体験をする。LEGO MINDSTORM を使った単純なロボットコンテストを通じて，競いながら情報交換をしてソフトウェアを作成する実習を行う。

▼テーマ5（情報・知能工学2）：（前半・後半）Web ページ作成の基礎と応用【定員：なし】
担当：渡辺一帆（情報ﾒﾃﾞｨｱ基盤ｾﾝﾀｰﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ教室）
Web ページの作成（HTML，JavaScript，CGI，CSS の記述）を行う。実際に HTML 言語で Web ページを作成することで，Web の仕組みを学習するとともに，「コンテンツ」と「デザイン」の分離について触れる。

▼テーマ6（環境・生命工学1）：（前半・後半）温度測定技術と環境保全への応用
【定員：最大 9 名まで】
田中三郎，東海林孝幸，梅影　創（集合場所：Ｇ－２０４）
１．熱電対の作製と熱電対を用いた温度測定およびキャリブレーション（田中）
２．生ゴミ処理過程の温度測定による生物反応の理解（梅影）
３．太陽光利用型植物工場における温熱環境測定（東海林）
熱電対を作製し、生物学的廃棄物（生ゴミ）処理プロセスや植物工場内の温度変化のモニタリングに適用して、環境保全における温度測定の意義について学ぶ。

▼テーマ7（環境・生命工学2）：（前半・後半）化学に関する基礎実験と演習【定員：10 名程度】
松本明彦，原口直樹（集合場所：Ｂ１－１０４）
下記の化学実験を通して，化学実験に関する基礎技術や知識を習得する。
1. 見えない分子の世界のシミュレーション
3D プリンタによるものづくりに繋がる化学構造式描画ソフトウェアやモデリングソフトウェアの使用方法を学ぶとともに，分子の基本的性質や概念について理解を深める。
2. 色の変化から考える化学反応
BZ 反応などの振動反応の実験を通して，溶液の色の変化から化学反応を考察するとともに，酸化還元反応について理解を深める。
3. 繊維づくりに学ぶ高分子合成
合成繊維の代表である 6,6-ナイロンを界面重縮合により合成し，重合反応や高分子合成について理解を深める。
4. やってみようガラス細工
簡単なガラス製品を作成し，化学実験の基礎技術であるガラス細工の基本的操作を学ぶ。

▼テーマ8（建築・都市システム学1）：（前半）鉄筋コンクリート造梁の破壊実験【定員：9 名程度】
松井智哉、林　和宏（集合場所：初回Ｄ－８０２）
鉄筋コンクリート造の単純な構造物を作製し，その強度試験を行い，試験方法および鉄筋コンクリートの破壊性状について学ぶ。

▼テーマ9（建築・都市システム学4）：（前半）水の波や流れに関する実験【定員：9 名程度】
岡辺 拓巳（集合場所：Ｄ４－７０５）
水や流れ，波に関する実験と砂浜の地形調査を通じて，水の物理的性質や波，流れに関する基本的特性を学ぶ。

▼テーマ 10（建築・都市システム学3）：（後半）建築物の構造模型制作と載荷実験【定員：15 名程度】
松本幸大（集合場所：Ａ－２０２）
身近な材料を使用して構造模型を設計・制作し，載荷実験を行うことを通して，構造物の力の流れや構造工学の基礎について学ぶ。

▼テーマ 11（建築・都市システム学2）：（後半）熱空気環境測定の基礎実験【定員：9 名程度】
鍋島佑基（集合場所：Ｄ２－６０５）
熱環境測定と快適性評価，環境測定演習(模型実験)，空気環境測定，騒音測定，屋外環境測定

Students will take guidance and orientation for 1st week, and then take 5-week lab works from 2nd week.
From the list below, students will choose 2 themes (1 each for Spring 1 and 2).
*Not all requests may be met due to the limit of students of each lab work.

＜Schedule＞ (Friday, 4-5 periods)
[Orientation] Apr.13
[Spring 1] Apr.20, Apr.27, May.11, May.18, May.25
[Spring 2] Jun.15, Jun.22, Jun.29, Jul.6, Jul.13

＜Contents and Themes of Lab Works＞
1st Week Guidance: for the safety and how to write reports: Hiroyuki Muto
(Room: A-114)
Safety education for all kinds of lab-works, and how to write academic reports.

▼Theme 1 (Mechanical Engineering 1): (Spring semester 1 and 2) Robot Kinematics
[Capacity: 10 students]
Naoki Uchiyama（Room:D-412）
Students are expected to learn fundamentals of kinematics of a robot arm, which is widely used in industries, and create a computer program for its motion. Motion experiments of the robot arm are conducted after verification of the program by computer simulation.

▼Theme 2 (Mechanical Engineering 2): (Spring semester 1 and 2) Machinig and Mechatronics
[Capacity: 10 students]
Toshiaki Yasui, Ryousuke Tasaki
Room：(Spring semester 1)Cooperative Research Facility Center Practical training factory CAD/CAM room
Room：(Spring semester 2)D4-401
Advanced manufacturing process is lecture by using computerized maching process. Also, base of mechatronics is lectured by using mobile robot.

▼Theme 3 (Electrical and Electronic Information Engineering): (Spring semester 1 and 2) Electronic handcraft of infrared sensor robot
[Capacity: up to 22 students] (Room: C1-404)
Yasuhiko Ishikawa
This theme provides the experiences of basics of electrical and electronic information engineering with fun, through handcraft of the small robot with infra-red sensors which avoids the obstacle by own judgment, simple experiments and trial game. The students learn the necessary basic skill and knowledge as an electric and electronic engineer, such as soldering, electrical and electronic circuit assembling, motor and electronic parts, assemble and structure of the mechanical parts, and consumption of electrical energy.

▼Theme 4 (Computer Science and Engineering1): (Spring semester 1 and 2) Basic Programming Exercises using Simple Robot
[Capacity: up to 10 students] (Room: Physical laboratory room)
Naohiro Fukumura
This course aims to teach student the basics of programming techniques using a simple autonomous mobile robot and to experience the entry level of software engineering. Through robot competitions using the LEGO MINDSTORM, the students learn the process of programming.

▼Theme 5（Computer Science and Engineering2）:(Spring semester 1 and 2) Basics of Website Creation
[Capacity:－]
Kazuho Watanabe（Infomation and Media Center room Multimedia）
This theme is aimed at learning basics of web system and design through elementary programming using HTML, JavaScript, CGI and CSS.

▼Them 6 (Science and Environmental Engineering 1):(Spring semester 1 and 2) Temperature Measurement and its application for Conservation of Environment
[Capacity:9 max.]
Saburo Tanaka, Takayuki Tokairin and So Umekage (Designated place: G-204)
1. Assembling a thermocouple and its calibration. (S. Tanaka)
2. Understanding bio-reaction through the measurement of the temperature during biodegradation process of food scraps. (S. Umekage)
3. Measurement and evaluation of ambient temperature at a plant factory using hand-made globe thermometer. (T. Tokairin)
4. The results are presented and discussed by each student.

A thermocouple will be assembled by welding metallic wires. You will understand the importance of the conservation of the environment through
the measurement of temperature of the ambient and soil mixed with food scraps. You are requested to write reports and make a presentation of
the results.

▼Theme 7(Science and Environmental Engineering 1):(Spring semester 1 and 2) Basic Chemical Experiments
[Capacity:about 10 students]
Akihiko Matsumoto,Naoki Haraguchi(room:B1-104)
This theme aims to learn the fundamental experimental technique and knowledge of chemistry-related experiments.
1. Molecular Simulation
Understanding of the fundamental nature and concept of molecules by using a chemical structure formula-drawing software and a modeling software.
2. Vibration Reaction
Understanding of redox (oxidation-reduction) reactions such as BZ reaction.
3. Polymer Synthesis
Understanding of polymerization and polymer synthesis by the synthesis of 6,6-nylon.
4. Glass Blowing
Learning of glass blowing technique by making a simple glass product.

▼Theme8(Architecture and civil engineering 1):(Spring semester 1) Loading test of reinforced concrete beam
[Capacity:about 9 students]
Tomoya Matsui, Kazuhiro Hayashi(Location: D-802)
Construct reinforced concrete beam and conduct loading test of the beam, and learn test procedure and failure behavior of reinforced concrete member.

▼Theme 9 (Architecture and civil engineering 2):(Spring semester 1) Hydraulic experiments for waves and currents
[Capacity:about 9 students]
Takumi Okabe (room:D4-705)
The students will develop basic understanding of physical properties of water and characteristics of waves and currtents through lab experiments and a field trip to Enshu-nada coast.

▼Theme 10(Architecture and civil engineering 3) :(Spring semester 2) Manufacture of structural model and its loading test
[Capacity:about 15 students]
Yukihiro Matsumoto(room:A-202)
Truss structure which made by accessible materials is designed and constructed by students. Then, transfer of forces in truss structure and fundamentals of structural engineering are discussed through experiment .

▼Theme 11 (Architecture and civil engineering 4): (second half) Basic experiments on thermal and air environment
[Capacity:about 9 students]
Yuki Nabeshima (meeting place: D2-605)
Measurement of thermal environment and thermal comfort evaluation, Environmental measurement exercises (scale model experiment), air environment measurement, noise measurement, field environment measurement

予習・復習内容

関連科目
工学概論
Introduction to Engineering

教科書に関する補足事項
必要に応じて，プリントを配付する
If necessary, distributing the material.

参考書に関する補足事項

達成目標
各課程における学問研究の基礎的実習を体験する。
実習で行った内容を科学的に理解する。
To experience basic practical works of each program.
To understand the contents learned during the practical work scientifically.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
実習結果を各担当教員が評価し，2テーマの評価平均で成績を出す。
Each faculty staff evaluates. The final score is averaged on 2 themes' evaluations.

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
各授業における質問は，各授業を担当した教員に問い合わせること
Students can ask questions to each faculty staff.

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時受け付ける
Anytime

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード

(B1011003a)微分積分 I [Differential and Integral Calculus 1]

科目名[英文名]	微分積分 I [Differential and Integral Calculus 1]				
時間割番号	B1011003a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1,木 2～2	**単位数**	3
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	伊藤　公毅 ITO Koki				
ナンバリング	GEN_PRN11012				

授業の目標

大雑把にいって, 微分は微小変化の様子を表す. この「微小＝1 次近似」世界では, 1 変数函数は「比例関係」で振る舞うこととなり, 函数の挙動の解析が容易になる. 一方, 積分は微小量の総和である. 「細かく分割して総和をとる」ことで種々の求積が可能となる. では微分と積分は如何なる関係にあるのであろうか？ この答えが「微分積分学の基本定理」である. 直感的には「微小変化の積み重ねが始めと終わりの差を与える」ということである. これにより積分が「計算」しうる対象へと昇華する. この事情を 1 変数について学習する.

This course introduces elementary techniques of calculus.

授業の内容

[H] http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-1.PDF
[J] 新微分積分 I

1st: Introduction:

2nd: Functions:
[H] p20-p40, p171, p457-p460
“Types of functions”, “The Exponential and Logarithmic Functions”,
“The Trigonometric Functions”, “Graphs of Trigonometric Functions”, “The Hyperbolic functions”,
“Symmetry of Functions”*, “Translation and Scaling of Axes”, “Rotation of Axes”*,
“Inverse Functions”, “Equations of lines”, “perpendicular lines”
Example 1-5*, 1-6
Exercise 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 1-13, 1-14*, 1-15, 1-16, 1-17, 1-18*,
1-19*, 1-20, 1-21, 1-22, 1-23, 1-24, 1-25, 1-26*, 1-27*, 1-28*, 1-29*, 1-33*, 1-34*,
2-44
[J] p1-p5, p34-p36
1 章,問 2-10, 2-11, 2-12, 2-13, 2-14

3rd: Limit:
[H] p40-p57
“Limits”, “Infinitesimal”, “Limiting Value of a Function”,
“Formal Definition of Limit”*,
“Properties of Limits”,
“The Squeeze Theorem”,
“Continuous Functions and Discontinuous Functions”,
“Asymptotic Lines”, “Finding Asymptotic Lines”,
Example 1-7, 1-8, 1-9, 1-10*, 1-11*, 1-12*, 1-13*, 1-14, 1-15, 1-16,
Exercise 1-30, 1-31, 1-32*, 1-35, 1-36*, 1-37, 1-38, 1-39, 1-40, 1-41,
1-42, 1-43, 1-44, 1-45, 1-46*, 1-47, 1-48, 1-57,
[J] p6-p9, p20-p21, p38-p41
1 章,例題 1-1, 1-2,1-3,1-11, 問 1-1,1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-17

4th: Differential:
[H] p85-p107
“Slope of Tangent Line to Curve”, “The Derivative of y=f(x)”,
“Right and Left-hand Derivatives*”,
“Alternative Notations for the Derivative”, “Higher Derivatives”,
“Rules and Properties”, “Differentiation of a Composite Function”,

“Differentials”, “Differentiation of Implicit Functions”,
“Importance of Tangent Line and Derivative Function f'(x)”,
Example 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-11, 2-12,
Exercise 2-1, 2-2,
[J] p10-p19, p22, p61-62
1 章, 例題 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 1-10,問 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 1-13, 1-14, 1-15, 1-18
2 章, 問 2-1, 2-2,

5th: Derivatives of elementary functions:
[H] p111-p116 ,p127-p157
“Derivative of the Logarithm Function”, “Derivative of the Exponential Function”,
“Logarithmic Differentiation”, “Differentiation of Inverse Functions”,
“Differentiation of Parametric Equations*”,
“Differentiation of the Trigonometric Functions”,
“Simple Harmonic Motion*”, “L'Hopital's Rule*”,
“Differentiation of Inverse Trigonometric Functions”,
“Hyperbolic Functions and their Derivatives”,
“Approximations*”, “Hyperbolic Identities*”, “Euler's Formula”,
“Derivatives of the Hyperbolic Functions”, “Inverse Hyperbolic Functions and their Derivatives”,
“Derivatives of the Inverse Hyperbolic Functions”,
Example 2-13, 2-14, 2-16, 2-17, 2-18, 2-24, 2-25, 2-26, 2-27, 2-28, 2-29, 2-30, 2-31, 2-32,
2-33, 2-34, 2-35*, 2-36*, 2-37*, 2-38*, 2-39*, 2-39bis*, 2-40*, 2-41, 2-42, 2-43, 2-44, 2-46,
Exercise 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-12, 2-13, 2-14*, 2-15, 2-16, 2-17, 2-32*,
2-34, 2-35, 2-36, 2-38, 2-39, 2-46*, 2-47, 2-54, 2-55*, 2-57, 2-58,
[J] p22-p25, p28-p37,
1 章, 例題 1-18, 1-19 , 1-20, 1-21, 1-22, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4,2-5, 2-6,
問 1-19, 1-20, 1-21, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-15, 2-16,

6: 復習

7: Applications:
[H] p116-p127
“Maxima and Minima”, “Concavity of Curve”, “Comments on Local Maxima and Minima”,
“First Derivative Test”, “Second Derivative Test”,
Example 2-20, 2-21, 2-22, 2-23,
Exercise 2-18, 2-20, 2-22, 2-23, 2-25, 2-26, 2-27, 2-28, 2-30, 2-31, 2-40, 2-49, 2-50, 2-51,
2-52, 2-53, 2-56, 2-59, 2-64, 2-65, 2-66
[J] p45-p54, p63-p65, p70-71
2 章, 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 2-1, 2-2, 2-5,
問 1-1,1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 2-3, 2-4, 2-5, 2-10

8th: 中間試験

9th: Integral:
[H] p179-p183 ,p213-p218
“Integration”, “Properties of the Integral Operator”, “Notation”, “Integration of derivatives”,
“The Definite Integral”, “Fundamental theorem of integral calculus”,
Example 3-2,
Exercise 3-18, 3-22, 3-66,
[J] p78-p84, p87
3 章 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1
問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-6,

10-11th: Integrals of elementary functions:
[H] p183-p213
“Polynomials”, “General Considerations*”,
“Table of Integrals”, “Trigonometric Substitutions*”,
“Products of Sines and Cosines”, “Special Trigonometric Integrals”,
“Method of Partial Fractions”, “Sums and Differences of Squares”,
“Integration by parts”, “Reduction formula”,
Example 3-3, 3-4, 3-5*, 3-6*, 3-7, 3-8*, 3-9*, 3-10*, 3-11, 3-12, 3-13, 3-14, 3-15,

3-16, 3-17, 3-18, 3-19, 3-20, 3-21, 3-22, 3-23, 3-24,
Exercise 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5, 3-6, 3-7, 3-8, 3-9*, 3-10, 3-11, 3-12*, 3-13, 3-14,
3-16, 1-17, 3-20, 3-23, 3-24, 3-25, 3-26, 3-27, 3-31, 3-32, 3-34, 3-35, 3-51, 3-53,
3-54, 3-55, 3-56, 3-59, 3-62, 3-74,
[J] p92-p111
3 章 例題 1-6, 1-7, 2-1,2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-8, 2-10, 2-11, 2-12, 2-14,
問 1-11, 1-12, 1-13, 1-11, 1-12, 2-1,2-2, 2-4, 2-5, 2-6, 2-8, 2-10, 2-11, 2-12, 2-13, 2-14, 2-16,
2-18,

12th: 復習

13th: Definite integral:
[H] p218-p225, p232-p237, p247-p249,
"Properties of the Definite Integral",
"Integration by Parts", "Physical Interpretation*",
"Improper Integrals", "Integrals used to define Functions",
"Differentiation of Integrals",
Example 3-25, 3-26, 3-27, 3-28, 3-30, 3-31, 3-32, 3-39, 3-40, 3-41,
Exercise 3-15, 3-28, 3-30, 3-52, 3-57, 3-58, 3-60, 3-61,
3-63, 3-64, 3-65, 3-67,
[J]
3 章 例題 1-4, 1-8, 2-3, 2-7, 2-9, 2-13, 2-15, 2-16,
問 1-8, 1-13, 2-3, 2-7, 2-9, 2-15, 2-17, 2-19,
4 章 例題 2-7, 2-8,
問 2-11, 2-12,2-13,

14th: Length, area, volume:
[H] p225-p232, p238-
"Solids of Revolution", "Arc Length",
"Area Polar Coordinates", "Arc Length Polar Coordinates",
"Surface of Revolution",
Example 3-29, 3-33, 3-35, 3-36, 3-37, 3-38,
Exercise 3-19, 3-21, 3-29, 3-33, 3-36, 3-37, 3-39, 3-40, 3-41, 3-43, 3-45, 3-71, 3-72, 3-73,
[J] p115-p136
3 章 例題 1-5, 問 1-9,
4 章 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 2-1, 2-2, 2-3, 2-5,2-6,
問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-9, 2-10,

15th: 復習

16th: 定期試験

*Starred subjects are optional.

[H] http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-1.PDF
[J] 新微分積分 I

1st: Introduction:

2nd: Functions:
[H] p20-p40, p171, p457-p460
"Types of functions", "The Exponential and Logarithmic Functions",
"The Trigonometric Functions", "Graphs of Trigonometric Functions", "The Hyperbolic functions",
"Symmetry of Functions"*, "Translation and Scaling of Axes", "Rotation of Axes"*,
"Inverse Functions", "Equations of lines", "perpendicular lines"
Example 1-5*, 1-6
Exercise 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 1-13, 1-14*, 1-15, 1-16, 1-17, 1-18*,
1-19*, 1-20, 1-21, 1-22, 1-23, 1-24, 1-25, 1-26*, 1-27*, 1-28*, 1-29*, 1-33*, 1-34*,
2-44

[J] p1-p5, p34-p36
1 章,問 2-10, 2-11, 2-12, 2-13, 2-14

3rd: Limit:
[H] p40-p57
"Limits", "Infinitesimal", "Limiting Value of a Function",
"Formal Definition of Limit"*,
"Properties of Limits",
"The Squeeze Theorem",
"Continuous Functions and Discontinuous Functions",
"Asymptotic Lines", "Finding Asymptotic Lines",
Example 1-7, 1-8, 1-9, 1-10*, 1-11*, 1-12*, 1-13*, 1-14, 1-15, 1-16,
Exercise 1-30, 1-31, 1-32*, 1-35, 1-36*, 1-37, 1-38, 1-39, 1-40, 1-41,
1-42, 1-43, 1-44, 1-45, 1-46*, 1-47, 1-48, 1-57,
[J] p6-p9, p20-p21, p38-p41
1 章,例題 1-1, 1-2,1-3,1-11, 問 1-1,1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-17

4th: Differential:
[H] p85-p107
"Slope of Tangent Line to Curve", "The Derivative of y=f(x)",
"Right and Left-hand Derivatives*",
"Alternative Notations for the Derivative", "Higher Derivatives",
"Rules and Properties", "Differentiation of a Composite Function",
"Differentials", "Differentiation of Implicit Functions",
"Importance of Tangent Line and Derivative Function f'(x)",
Example 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-11, 2-12,
Exercise 2-1, 2-2,
[J] p10-p19, p22, p61-62
1 章, 例題 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 1-10,問 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 1-13, 1-14, 1-15, 1-18
2 章, 問 2-1, 2-2,

5th: Derivatives of elementary functions:
[H] p111-p116 ,p127-p157
"Derivative of the Logarithm Function", "Derivative of the Exponential Function",
"Logarithmic Differentiation", "Differentiation of Inverse Functions",
"Differentiation of Parametric Equations*",
"Differentiation of the Trigonometric Functions",
"Simple Harmonic Motion*", "L'Hopital's Rule*",
"Differentiation of Inverse Trigonometric Functions",
"Hyperbolic Functions and their Derivatives",
"Approximations*", "Hyperbolic Identities*", "Euler's Formula",
"Derivatives of the Hyperbolic Functions", "Inverse Hyperbolic Functions and their Derivatives",
"Derivatives of the Inverse Hyperbolic Functions",
Example 2-13, 2-14, 2-16, 2-17, 2-18, 2-24, 2-25, 2-26, 2-27, 2-28, 2-29, 2-30, 2-31, 2-32,
2-33, 2-34, 2-35*, 2-36*, 2-37*, 2-38*, 2-39*, 2-39bis*, 2-40*, 2-41, 2-42, 2-43, 2-44, 2-46,
Exercise 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-12, 2-13, 2-14*, 2-15, 2-16, 2-17, 2-32*,
2-34, 2-35, 2-36, 2-38, 2-39, 2-46*, 2-47, 2-54, 2-55*, 2-57, 2-58,
[J] p22-p25, p28-p37,
1 章, 例題 1-18, 1-19 , 1-20, 1-21, 1-22, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4,2-5, 2-6,
問 1-19, 1-20, 1-21, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-15, 2-16,

6: 復習

7: Applications:
[H] p116-p127
"Maxima and Minima", "Concavity of Curve", "Comments on Local Maxima and Minima",
"First Derivative Test", "Second Derivative Test",
Example 2-20, 2-21, 2-22, 2-23,
Exercise 2-18, 2-20, 2-22, 2-23, 2-25, 2-26, 2-27, 2-28, 2-30, 2-31, 2-40, 2-49, 2-50, 2-51,
2-52, 2-53, 2-56, 2-59, 2-64, 2-65, 2-66
[J] p45-p54, p63-p65, p70-71

2 章, 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 2-1, 2-2, 2-5,
問 1-1,1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 2-3, 2-4, 2-5, 2-10

8th: 中間試験

9th: Integral:
[H] p179-p183 ,p213-p218
“Integration”, “Properties of the Integral Operator”, “Notation”, “Integration of derivatives”,
“The Definite Integral”, “Fundamental theorem of integral calculus”,
Example 3-2,
Exercise 3-18, 3-22, 3-66,
[J] p78-p84, p87
3 章 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1
問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-6,

10-11th: Integrals of elementary functions:
[H] p183-p213
“Polynomials”, “General Considerations*”,
“Table of Integrals”, “Trigonometric Substitutions*”,
“Products of Sines and Cosines”, “Special Trigonometric Integrals”,
“Method of Partial Fractions”, “Sums and Differences of Squares”,
“Integration by parts”, “Reduction formula”,
Example 3-3, 3-4, 3-5*, 3-6*, 3-7, 3-8*, 3-9*, 3-10*, 3-11, 3-12, 3-13, 3-14, 3-15,
3-16, 3-17, 3-18, 3-19, 3-20, 3-21, 3-22, 3-23, 3-24,
Exercise 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5, 3-6, 3-7, 3-8, 3-9*, 3-10, 3-11, 3-12*, 3-13, 3-14,
3-16, 1-17, 3-20, 3-23, 3-24, 3-25, 3-26, 3-27, 3-31, 3-32, 3-34, 3-35, 3-51, 3-53,
3-54, 3-55, 3-56, 3-59, 3-62, 3-74,
[J] p92-p111
3 章 例題 1-6, 1-7, 2-1,2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-8, 2-10, 2-11, 2-12, 2-14,
問 1-11, 1-12, 1-13, 1-11, 1-12, 2-1,2-2, 2-4, 2-5, 2-6, 2-8, 2-10, 2-11, 2-12, 2-13, 2-14, 2-16,
2-18,

12th: 復習

13th: Definite integral:
[H] p218-p225, p232-p237, p247-p249,
“Properties of the Definite Integral”,
“Integration by Parts”, “Physical Interpretation*”,
“Improper Integrals”, “Integrals used to define Functions”,
“Differentiation of Integrals”,
Example 3-25, 3-26, 3-27, 3-28, 3-30, 3-31, 3-32, 3-39, 3-40, 3-41,
Exercise 3-15, 3-28, 3-30, 3-52, 3-57, 3-58, 3-60, 3-61,
3-63, 3-64, 3-65, 3-67,
[J]
3 章 例題 1-4, 1-8, 2-3, 2-7, 2-9, 2-13, 2-15, 2-16,
問 1-8, 1-13, 2-3, 2-7, 2-9, 2-15, 2-17, 2-19,
4 章 例題 2-7, 2-8,
問 2-11, 2-12,2-13,

14th: Length, area, volume:
[H] p225-p232, p238-
“Solids of Revolution”, “Arc Length”,
“Area Polar Coordinates”, “Arc Length Polar Coordinates”,
“Surface of Revolution”,
Example 3-29, 3-33, 3-35, 3-36, 3-37, 3-38,
Exercise 3-19, 3-21, 3-29, 3-33, 3-36, 3-37, 3-39, 3-40, 3-41, 3-43, 3-45, 3-71, 3-72, 3-73,
[J] p115-p136
3 章 例題 1-5, 問 1-9,
4 章 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 2-1, 2-2, 2-3, 2-5,2-6,
問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-9, 2-10,

15th: 復習

16th: 定期試験

*Starred subjects are optional.

予習・復習内容

如何なる科目もでもそうなのであるが，学習の基本は自習にある．特に科目名が「calculus」であることが示唆する様に「計算」できることが，先ず第一の目標である．これは自習によるより習得の道はない．学習する内容は，その意味はひとまず棚上げにし，答えがだせるようになること．具体的には教科書の演習や例を活用した自習により計算手技を習熟させてから演習・試験に臨むこと．

Sufficient reviewing and practicing exercises are required.

関連科目

「微分積分 II」(I に続く発展的内容)

CalculasII

教科書 1	**書名**	Introduction to Calculus Volume I			**ISBN**	
	著者名	J.H. Heinbockel	**出版社**	http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-1.PDF	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	新微分積分 I			**ISBN**	978-4-477-02642-8
	著者名		**出版社**	大日本図書	**出版年**	

参考書に関する補足事項

こちらも購入することが望ましい。

達成目標

1) 初等函数の導函数が求められること.
2) 典型的初等函数の原始函数が求められること.
3) 微分積分学の基本定理の意義を感じ取ること.
4) 積分を種々の求積に応用できること.

The goals of this course are to

1) find derivatives of elementary functions,
2) find primitive functions of typical elementary functions,
3) understand the fundamental theorem of calculus,
4) find lengths, areas and volumes by applying integrals

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 1 回 60% (中間)試験 30% 演習 10% 左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準：下記のように成績を評価する。
S：上記試験等の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：上記試験等の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：上記試験等の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：上記試験等の合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。

Course Evaluation
Evaluation is based on exercise and two exams (100 points).
S: total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
ウェルカムページ
オフィスアワー
学習・教育到達目標との対応
キーワード

(B1011003b)微分積分Ⅰ[Differential and Integral Calculus 1]

科目名[英文名]	微分積分Ⅰ[Differential and Integral Calculus 1]				
時間割番号	B1011003b	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1,木 2～2	**単位数**	3
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	髙橋　一浩, 加藤　亮 TAKAHASHI Kazuhiro, KATOH Ryo				
ナンバリング	GEN_PRN11012				

授業の目標

微分積分学は自然科学や工学の各専門分野の学習のみならず、人文科学、社会科学の分野の履修においても、基礎となるものである。数列や関数の極限などに現われる実数の概念についての理論が基本になっており、計算技術の習得のみにとどまらず、数学のもつ論理性なども学びとって欲しい。

Calculus is important not only in natural science and engineering studies, but also in humanities, even in the course of the field of social science. Concept of the real number appearing in the limit of a sequence or function forms the basic of the theory of calculus and students are expected to learn not only the techniques for calculation but to understand such concept.

授業の内容

(前半)担当:加藤
1-1. 数列
1-2. 級数とその和
1-3. 初等関数とその性質
1-4. 関数の極限
1-5. 導関数
1-6. 基本的な定理
1-7. 関数の性質
1-8. 試験

(後半)担当:高橋
2-1. 不定積分(基本的な公式, 置換積分, 部分積分)
2-2. 不定積分(有理関数, 三角関数の積分)
2-3. 不定積分(無理関数の積分)
2-4. 微分方程式(変数分離形, 同次形, 1階線形微分方程式)
2-5. 定積分(基本的な定理, 計算方法, 広義積分)
2-6. 定積分の応用(極座標, 図形の面積)
2-7. 定積分の応用(図形の体積, 曲線の長さ)
2-8. 試験

(First quarter) Kato
- Sequence
- Series and its sum
- Series and its sum
- Elementary function and its nature
- Limit of function
- Derivative
- Basic theorem
- Nature of Function
- Exam

(Second quarter) Takahashi
2-1, 2, 3. Indefinite integral
2-4. Differential equations
2-5. Definite integral
2-6, 7. Application of definite integral
2-8. Exam

予習・復習内容

数学Ⅱの内容をたとえ高校で習っていないとしても必要となるので事前に
教科書をチェックし数学Ⅱ程度までの内容を復習や予習をしておくこと。
後でわからないところがでたら、学習サポートルームの利用を勧める。

関連科目
高等学校の数学Ⅱ程度の知識があれば問題ないが、数学Ⅲの内容も知っておいた方がよい。

教科書 1	**書名**	微分積分			**ISBN**	978-4-563-00530-6
	著者名	田島一郎他	**出版社**	培風館	**出版年**	1967

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	TECHNICAL CALCULUS			**ISBN**	
	著者名	Dale EWEN and Michael A. TOPPER	**出版社**	Prentice-Hall,Inc.	**出版年**	1977
参考書 2	**書名**	CALCULUS Ⅰ, Ⅱ			**ISBN**	
	著者名	Jerrald MARSDEN and Alan WEINSTEIN	**出版社**	Springer-Verlag	**出版年**	1985

参考書に関する補足事項
その他、図書館、書店にたくさんの微分積分に関する参考書があるので、利用すること。

達成目標
A. 数列と極限
(1) 数列の極限を求めることが出来る。
(2) 比較判定法を用い、級数の収束判定が出来る。
(3) ダランベールの判定法を用い、級数の収束判定が出来る。
B. 微分法とその応用
(4) 初等関数とその性質を理解し、修得する。
(5) 関数の極限を求めることが出来る。
(6) 導関数, 高次の導関数を求めることが出来る。
(7) ベクトル値関数の微分が出来る。
(8) 平均値の定理, テイラーの定理を理解し、修得する。
(9) 関数の増減, 極大・極小を求めることが出来る。
(10) 不定形の極限値を求めることが出来る。
C. 積分法とその応用
(1) 不定積分の基本的な公式, 置換積分法, 部分積分法を理解する。
(2) 有理関数, 三角関数, 無理関数の積分法を理解する。
(3) 簡単な微分方程式の解法を理解する,
(4) 定積分の基本的な性質および計算方法を理解する。
(5) 広義積分およびその計算方法を理解する。
(6) 図形の面積, 体積, 曲線の長さ等の計算への積分法の応用について理解する。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
達成目標の到達度を以下の手段で評価する。

前半の定期試験(50%)
後半の定期試験(50%)

評価は以下の基準とする。
S:テストの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:テストの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:テストの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:テストの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
前半担当教員:加藤 亮
担当教員の部屋:教育研究基盤センター123 号室
電話番号:6612
Eメールアドレス:ryo_kato@crfc.tut.ac.jp

後半担当教員:高橋　一浩
担当教員の部屋:C-606
電話番号:6740
Eメールアドレス:takahashi@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
加藤:電子メールで相談。
高橋:電子メールで相談。

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(C)【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード
微分、積分

(B1011003c)微分積分 I [Differential and Integral Calculus 1]

科目名[英文名]	微分積分 I [Differential and Integral Calculus 1]				
時間割番号	B1011003c	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1,木 2～2	**単位数**	3
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	菅谷　保之, 中内　茂樹 SUGAYA Yasuyuki, NAKAUCHI Shigeki				
ナンバリング	GEN_PRN11011				

授業の目標

大雑把にいって, 微分は微小変化の様子を表す. この「微小＝1 次近似」世界では, 1 変数函数は「比例関係」で振る舞うこととなり, 函数の挙動の解析が容易になる. 一方, 積分は微小量の総和である. 「細かく分割して総和をとる」ことで種々の求積が可能となる. では微分と積分は如何なる関係にあるのであろうか？ この答えが「微分積分学の基本定理」である. 直感的には「微小変化の積み重ねが始めと終わりの差を与える」ということである. これにより積分が「計算」しうる対象へと昇華する. この事情を 1 変数について学習する.

This course introduces elementary techniques of calculus.

授業の内容

[H] http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-1.PDF
[J] 新微分積分 I

1st: Introduction:

2nd: Functions:
[H] p20-p40, p171, p457-p460
“Types of functions”, “The Exponential and Logarithmic Functions”,
“The Trigonometric Functions”, “Graphs of Trigonometric Functions”, “The Hyperbolic functions”,
“Symmetry of Functions”*, “Translation and Scaling of Axes”, “Rotation of Axes”*,
“Inverse Functions”, “Equations of lines”, “perpendicular lines”
Example 1-5*, 1-6
Exercise 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 1-13, 1-14*, 1-15, 1-16, 1-17, 1-18*,
1-19*, 1-20, 1-21, 1-22, 1-23, 1-24, 1-25, 1-26*, 1-27*, 1-28*, 1-29*, 1-33*, 1-34*,
2-44
[J] p1-p5, p34-p36
1 章,問 2-10, 2-11, 2-12, 2-13, 2-14

3rd: Limit:
[H] p40-p57
“Limits”, “Infinitesimal”, “Limiting Value of a Function”,
“Formal Definition of Limit”*,
“Properties of Limits”,
“The Squeeze Theorem”,
“Continuous Functions and Discontinuous Functions”,
“Asymptotic Lines”, “Finding Asymptotic Lines”,
Example 1-7, 1-8, 1-9, 1-10*, 1-11*, 1-12*, 1-13*, 1-14, 1-15, 1-16,
Exercise 1-30, 1-31, 1-32*, 1-35, 1-36*, 1-37, 1-38, 1-39, 1-40, 1-41,
1-42, 1-43, 1-44, 1-45, 1-46*, 1-47, 1-48, 1-57,
[J] p6-p9, p20-p21, p38-p41
1 章,例題 1-1, 1-2,1-3,1-11, 問 1-1,1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-17

4th: Differential:
[H] p85-p107
“Slope of Tangent Line to Curve”, “The Derivative of y=f(x)”,
“Right and Left-hand Derivatives*”,
“Alternative Notations for the Derivative”, “Higher Derivatives”,
“Rules and Properties”, “Differentiation of a Composite Function”,

“Differentials”, “Differentiation of Implicit Functions”,
“Importance of Tangent Line and Derivative Function f'(x)”,
Example 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-11, 2-12,
Exercise 2-1, 2-2,
[J] p10-p19, p22, p61-62
1 章, 例題 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 1-10,問 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 1-13, 1-14, 1-15, 1-18
2 章, 問 2-1, 2-2,

5th: Derivatives of elementary functions:
[H] p111-p116 ,p127-p157
“Derivative of the Logarithm Function”, “Derivative of the Exponential Function”,
“Logarithmic Differentiation”, “Differentiation of Inverse Functions”,
“Differentiation of Parametric Equations*”,
“Differentiation of the Trigonometric Functions”,
“Simple Harmonic Motion*”, “L'Hopital's Rule*”,
“Differentiation of Inverse Trigonometric Functions”,
“Hyperbolic Functions and their Derivatives”,
“Approximations*”, “Hyperbolic Identities*”, “Euler's Formula”,
“Derivatives of the Hyperbolic Functions”, “Inverse Hyperbolic Functions and their Derivatives”,
“Derivatives of the Inverse Hyperbolic Functions”,
Example 2-13, 2-14, 2-16, 2-17, 2-18, 2-24, 2-25, 2-26, 2-27, 2-28, 2-29, 2-30, 2-31, 2-32,
2-33, 2-34, 2-35*, 2-36*, 2-37*, 2-38*, 2-39*, 2-39bis*, 2-40*, 2-41, 2-42, 2-43, 2-44, 2-46,
Exercise 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-12, 2-13, 2-14*, 2-15, 2-16, 2-17, 2-32*,
2-34, 2-35, 2-36, 2-38, 2-39, 2-46*, 2-47, 2-54, 2-55*, 2-57, 2-58,
[J] p22-p25, p28-p37,
1 章, 例題 1-18, 1-19 , 1-20, 1-21, 1-22, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4,2-5, 2-6,
問 1-19, 1-20, 1-21, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-15, 2-16,

6: 復習

7: Applications:
[H] p116-p127
“Maxima and Minima”, “Concavity of Curve”, “Comments on Local Maxima and Minima”,
“First Derivative Test”, “Second Derivative Test”,
Example 2-20, 2-21, 2-22, 2-23,
Exercise 2-18, 2-20, 2-22, 2-23, 2-25, 2-26, 2-27, 2-28, 2-30, 2-31, 2-40, 2-49, 2-50, 2-51,
2-52, 2-53, 2-56, 2-59, 2-64, 2-65, 2-66
[J] p45-p54, p63-p65, p70-71
2 章, 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 2-1, 2-2, 2-5,
問 1-1,1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 2-3, 2-4, 2-5, 2-10

8th: 中間試験

9th: Integral:
[H] p179-p183 ,p213-p218
“Integration”, “Properties of the Integral Operator”, “Notation”, “Integration of derivatives”,
“The Definite Integral”, “Fundamental theorem of integral calculus”,
Example 3-2,
Exercise 3-18, 3-22, 3-66,
[J] p78-p84, p87
3 章 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1
問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-6,

10-11th: Integrals of elementary functions:
[H] p183-p213
“Polynomials”, “General Considerations*”,
“Table of Integrals”, “Trigonometric Substitutions*”,
“Products of Sines and Cosines”, “Special Trigonometric Integrals”,
“Method of Partial Fractions”, “Sums and Differences of Squares”,
“Integration by parts”, “Reduction formula”,
Example 3-3, 3-4, 3-5*, 3-6*, 3-7, 3-8*, 3-9*, 3-10*, 3-11, 3-12, 3-13, 3-14, 3-15,

3-16, 3-17, 3-18, 3-19, 3-20, 3-21, 3-22, 3-23, 3-24,
Exercise 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5, 3-6, 3-7, 3-8, 3-9*, 3-10, 3-11, 3-12*, 3-13, 3-14,
3-16, 1-17, 3-20, 3-23, 3-24, 3-25, 3-26, 3-27, 3-31, 3-32, 3-34, 3-35, 3-51, 3-53,
3-54, 3-55, 3-56, 3-59, 3-62, 3-74,
[J] p92-p111
3 章 例題 1-6, 1-7, 2-1,2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-8, 2-10, 2-11, 2-12, 2-14,
問 1-11, 1-12, 1-13, 1-11, 1-12, 2-1,2-2, 2-4, 2-5, 2-6, 2-8, 2-10, 2-11, 2-12, 2-13, 2-14, 2-16,
2-18,

12th: 復習

13th: Definite integral:
[H] p218-p225, p232-p237, p247-p249,
"Properties of the Definite Integral",
"Integration by Parts", "Physical Interpretation*",
"Improper Integrals", "Integrals used to define Functions",
"Differentiation of Integrals",
Example 3-25, 3-26, 3-27, 3-28, 3-30, 3-31, 3-32, 3-39, 3-40, 3-41,
Exercise 3-15, 3-28, 3-30, 3-52, 3-57, 3-58, 3-60, 3-61,
3-63, 3-64, 3-65, 3-67,
[J]
3 章 例題 1-4, 1-8, 2-3, 2-7, 2-9, 2-13, 2-15, 2-16,
問 1-8, 1-13, 2-3, 2-7, 2-9, 2-15, 2-17, 2-19,
4 章 例題 2-7, 2-8,
問 2-11, 2-12,2-13,

14th: Length, area, volume:
[H] p225-p232, p238-
"Solids of Revolution", "Arc Length",
"Area Polar Coordinates", "Arc Length Polar Coordinates",
"Surface of Revolution",
Example 3-29, 3-33, 3-35, 3-36, 3-37, 3-38,
Exercise 3-19, 3-21, 3-29, 3-33, 3-36, 3-37, 3-39, 3-40, 3-41, 3-43, 3-45, 3-71, 3-72, 3-73,
[J] p115-p136
3 章 例題 1-5, 問 1-9,
4 章 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 2-1, 2-2, 2-3, 2-5,2-6,
問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-9, 2-10,

15th: 復習

16th: 定期試験

*Starred subjects are optional.

[H] http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-1.PDF
[J] 新微分積分 I

1st: Introduction:

2nd: Functions:
[H] p20-p40, p171, p457-p460
"Types of functions", "The Exponential and Logarithmic Functions",
"The Trigonometric Functions", "Graphs of Trigonometric Functions", "The Hyperbolic functions",
"Symmetry of Functions"*, "Translation and Scaling of Axes", "Rotation of Axes"*,
"Inverse Functions", "Equations of lines", "perpendicular lines"
Example 1-5*, 1-6
Exercise 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 1-13, 1-14*, 1-15, 1-16, 1-17, 1-18*,
1-19*, 1-20, 1-21, 1-22, 1-23, 1-24, 1-25, 1-26*, 1-27*, 1-28*, 1-29*, 1-33*, 1-34*,
2-44

[J] p1-p5, p34-p36
1 章,問 2-10, 2-11, 2-12, 2-13, 2-14

3rd: Limit:
[H] p40-p57
"Limits", "Infinitesimal", "Limiting Value of a Function",
"Formal Definition of Limit"*,
"Properties of Limits",
"The Squeeze Theorem",
"Continuous Functions and Discontinuous Functions",
"Asymptotic Lines", "Finding Asymptotic Lines",
Example 1-7, 1-8, 1-9, 1-10*, 1-11*, 1-12*, 1-13*, 1-14, 1-15, 1-16,
Exercise 1-30, 1-31, 1-32*, 1-35, 1-36*, 1-37, 1-38, 1-39, 1-40, 1-41,
1-42, 1-43, 1-44, 1-45, 1-46*, 1-47, 1-48, 1-57,
[J] p6-p9, p20-p21, p38-p41
1 章,例題 1-1, 1-2,1-3,1-11, 問 1-1,1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-17

4th: Differential:
[H] p85-p107
"Slope of Tangent Line to Curve", "The Derivative of y=f(x)",
"Right and Left-hand Derivatives*",
"Alternative Notations for the Derivative", "Higher Derivatives",
"Rules and Properties", "Differentiation of a Composite Function",
"Differentials", "Differentiation of Implicit Functions",
"Importance of Tangent Line and Derivative Function f'(x)",
Example 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-11, 2-12,
Exercise 2-1, 2-2,
[J] p10-p19, p22, p61-62
1 章, 例題 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 1-10,問 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 1-13, 1-14, 1-15, 1-18
2 章, 問 2-1, 2-2,

5th: Derivatives of elementary functions:
[H] p111-p116 ,p127-p157
"Derivative of the Logarithm Function", "Derivative of the Exponential Function",
"Logarithmic Differentiation", "Differentiation of Inverse Functions",
"Differentiation of Parametric Equations*",
"Differentiation of the Trigonometric Functions",
"Simple Harmonic Motion*", "L'Hopital's Rule*",
"Differentiation of Inverse Trigonometric Functions",
"Hyperbolic Functions and their Derivatives",
"Approximations*", "Hyperbolic Identities*", "Euler's Formula",
"Derivatives of the Hyperbolic Functions", "Inverse Hyperbolic Functions and their Derivatives",
"Derivatives of the Inverse Hyperbolic Functions",
Example 2-13, 2-14, 2-16, 2-17, 2-18, 2-24, 2-25, 2-26, 2-27, 2-28, 2-29, 2-30, 2-31, 2-32,
2-33, 2-34, 2-35*, 2-36*, 2-37*, 2-38*, 2-39*, 2-39bis*, 2-40*, 2-41, 2-42, 2-43, 2-44, 2-46,
Exercise 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-12, 2-13, 2-14*, 2-15, 2-16, 2-17, 2-32*,
2-34, 2-35, 2-36, 2-38, 2-39, 2-46*, 2-47, 2-54, 2-55*, 2-57, 2-58,
[J] p22-p25, p28-p37,
1 章, 例題 1-18, 1-19 , 1-20, 1-21, 1-22, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4,2-5, 2-6,
問 1-19, 1-20, 1-21, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-15, 2-16,

6: 復習

7: Applications:
[H] p116-p127
"Maxima and Minima", "Concavity of Curve", "Comments on Local Maxima and Minima",
"First Derivative Test", "Second Derivative Test",
Example 2-20, 2-21, 2-22, 2-23,
Exercise 2-18, 2-20, 2-22, 2-23, 2-25, 2-26, 2-27, 2-28, 2-30, 2-31, 2-40, 2-49, 2-50, 2-51,
2-52, 2-53, 2-56, 2-59, 2-64, 2-65, 2-66
[J] p45-p54, p63-p65, p70-71

2 章, 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 2-1, 2-2, 2-5,
問 1-1,1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 2-3, 2-4, 2-5, 2-10

8th: 中間試験

9th: Integral:
[H] p179-p183 ,p213-p218
“Integration”, “Properties of the Integral Operator”, “Notation”, “Integration of derivatives”,
“The Definite Integral”, “Fundamental theorem of integral calculus”,
Example 3-2,
Exercise 3-18, 3-22, 3-66,
[J] p78-p84, p87
3 章 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1
問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-6,

10-11th: Integrals of elementary functions:
[H] p183-p213
“Polynomials”, “General Considerations*”,
“Table of Integrals”, “Trigonometric Substitutions*”,
“Products of Sines and Cosines”, “Special Trigonometric Integrals”,
“Method of Partial Fractions”, “Sums and Differences of Squares”,
“Integration by parts”, “Reduction formula”,
Example 3-3, 3-4, 3-5*, 3-6*, 3-7, 3-8*, 3-9*, 3-10*, 3-11, 3-12, 3-13, 3-14, 3-15,
3-16, 3-17, 3-18, 3-19, 3-20, 3-21, 3-22, 3-23, 3-24,
Exercise 3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5, 3-6, 3-7, 3-8, 3-9*, 3-10, 3-11, 3-12*, 3-13, 3-14,
3-16, 1-17, 3-20, 3-23, 3-24, 3-25, 3-26, 3-27, 3-31, 3-32, 3-34, 3-35, 3-51, 3-53,
3-54, 3-55, 3-56, 3-59, 3-62, 3-74,
[J] p92-p111
3 章 例題 1-6, 1-7, 2-1,2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-8, 2-10, 2-11, 2-12, 2-14,
問 1-11, 1-12, 1-13, 1-11, 1-12, 2-1,2-2, 2-4, 2-5, 2-6, 2-8, 2-10, 2-11, 2-12, 2-13, 2-14, 2-16,
2-18,

12th: 復習

13th: Definite integral:
[H] p218-p225, p232-p237, p247-p249,
“Properties of the Definite Integral”,
“Integration by Parts”, “Physical Interpretation*”,
“Improper Integrals”, “Integrals used to define Functions”,
“Differentiation of Integrals”,
Example 3-25, 3-26, 3-27, 3-28, 3-30, 3-31, 3-32, 3-39, 3-40, 3-41,
Exercise 3-15, 3-28, 3-30, 3-52, 3-57, 3-58, 3-60, 3-61,
3-63, 3-64, 3-65, 3-67,
[J]
3 章 例題 1-4, 1-8, 2-3, 2-7, 2-9, 2-13, 2-15, 2-16,
問 1-8, 1-13, 2-3, 2-7, 2-9, 2-15, 2-17, 2-19,
4 章 例題 2-7, 2-8,
問 2-11, 2-12,2-13,

14th: Length, area, volume:
[H] p225-p232, p238-
“Solids of Revolution”, “Arc Length”,
“Area Polar Coordinates”, “Arc Length Polar Coordinates”,
“Surface of Revolution”,
Example 3-29, 3-33, 3-35, 3-36, 3-37, 3-38,
Exercise 3-19, 3-21, 3-29, 3-33, 3-36, 3-37, 3-39, 3-40, 3-41, 3-43, 3-45, 3-71, 3-72, 3-73,
[J] p115-p136
3 章 例題 1-5, 問 1-9,
4 章 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 2-1, 2-2, 2-3, 2-5,2-6,
問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-9, 2-10,

15th: 復習

16th: 定期試験

*Starred subjects are optional.

予習・復習内容

如何なる科目もでもそうなのであるが，学習の基本は自習にある．特に科目名が「calculus」であることが示唆する様に「計算」できることが，先ず第一の目標である．これは自習によるより習得の道はない．学習する内容は，その意味はひとまず棚上げにし，答えがだせるようになること．具体的には教科書の演習や例を活用した自習により計算手技を習熟させてから演習・試験に臨むこと．

Sufficient reviewing and practicing exercises are required.

関連科目

「微分積分 II」(I に続く発展的内容)

CalculasII

教科書 1	**書名**	Introduction to Calculus Volume I			**ISBN**	
	著者名	J.H. Heinbockel	**出版社**	http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-1.PDF	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	新微分積分 I			**ISBN**	978-4-477-02642-8
	著者名		**出版社**	大日本図書	**出版年**	

参考書に関する補足事項

こちらも購入することが望ましい。

達成目標

1) 初等函数の導函数が求められること.
2) 典型的初等函数の原始函数が求められること.
3) 微分積分学の基本定理の意義を感じ取ること.
4) 積分を種々の求積に応用できること.

The goals of this course are to

1) find derivatives of elementary functions,
2) find primitive functions of typical elementary functions,
3) understand the fundamental theorem of calculus,
4) find lengths, areas and volumes by applying integrals

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 1 回 50% (中間)試験 50% 左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準：下記のように成績を評価する。
S：上記試験等の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：上記試験等の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：上記試験等の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：上記試験等の合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。

Course Evaluation
Evaluation is based on exercise and two exams (100 points).
S: total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
ウェルカムページ
オフィスアワー
学習・教育到達目標との対応 （B）技術者としての正しい倫理観と社会性 技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。 (B) Sound ethics and social awareness as engineers Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
キーワード

(B1011004a)線形代数Ⅰ[Linear Algebra 1]

科目名[英文名]	線形代数Ⅰ[Linear Algebra 1]				
時間割番号	B1011004a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	中澤　祥二 NAKAZAWA Shoji				
ナンバリング	GEN_PRN11010				

授業の目標

線形代数とは,「比例の高次元化」(＝線形写像)にまつわる代数学である. 工学であろうと自然科学であろうと, 入力に対し出力が「比例関係」にあるような対象は枚挙に暇が無い. (もっといえば, より一般の比例関係でないものも「比例により無限小近似する」というのが微積分のこころである. 微積分までゆくことで「比例」の射程距離は格段に伸びるわけである.) 実際には, 入力も出力も高次元のデータであろうから,「比例の高次元化」は必要不可欠なものである. 入力を m 次元, 出力を n 次元に高次元化すれば, 比例に於ける比例定数は, n 行 m 列の行列となる. この行列についての基本操作, 計算を学ぶことが第一の目標である. 更に, それら操作・計算の背後の意味を理解することが第二の目標である.

Learn elementary operations on matrices.

Understand background structures of such operations.

授業の内容

先ず早い段階で計算技術(行列の演算, 基本変形---掃き出し法, 行列式の計算, 固有値・固有空間と対角化)を学ぶ. 計算技術は講義によるよりは, 自ずから手を動かすことが肝要であるから, 講義としてはハイペースでサラリと済ませる(一方, 演習・試験により手技の習熟を促す.) その後, 計算の背後について突っ込んだ理解を目指す.

第1週:導入

計算編

第2週:(前半)行列の演算, (後半)基本変形その1---掃き出し法, 連立方程式, 逆行列

第3週:基本変形その2---連立方程式の不定解, 行列の階数

第4週:演習

第5週:線形代数Ⅱへの布石(行列式とは)

第6週:行列式の計算

第7週:余因子---余因子展開, 余因子行列, クラメルの公式

第8週:試験

第9週:固有値・固有空間と対角化

第 10 週:演習

理論編

第 11 週:線型写像と重ね合わせの原理, ベクトル空間・基底

第 12 週:線型写像と行列, 基底変換行列

第 13 週:固有空間と対角化

第 14 週:広義固有空間・ジョルダン標準形

第 15 週:線形写像の退化と像・核, 行列の階数

第 16 週:定期試験

1st introduction

2nd addition, multiplication, scaler-multiplication of matrices, elementary matrix operations, inverse matrix

3rd elementary matrix operations, rank

4th exercise

5th preperation for linear algebar Ⅱ

6th calculation of determinant

7th cofactor

8th exam

9th eigen value and space, diagnalization

10th exercise

11th linear map and principle of superposition, vector space, basis

12th linear map and matrix

13th eigenspace and diagonalization

14th generalized eigenspace and Jordan normal form

15th degenerated linear map and its kernel and image, rank of matrix

16th exam

予習・復習内容

計算編で学習する内容は，その意味はひとまず棚上げにし，答えがだせるようになること．具体的には教科書を活用した自習により計算手技を習熟させてから演習・試験に臨むこと．意味については理論編でつっこんでやるが，やや高度な内容になることが予想される．これに関しては，完全なるフォローを求めるものではないが，参考書等を活用し理解を深めてゆくことが望ましい．

関連科目

教科書 1	**書名**	理工系の基礎線形代数学			**ISBN**	978-4873611709
	著者名	硲野 敏博 加藤 芳文	**出版社**	学術図書出版社	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	線型代数—Linear Algebra			**ISBN**	978-4535783713
	著者名	長谷川 浩司	**出版社**	日本評論社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

講義内容を全てカバーするわけではないが，大いに関連があり参考となるであろう．また，講義では触れない事柄についても興味深い記述がある．

達成目標

1) 線形代数における計算手技(行列の演算，基本変形，行列式の計算，固有値・固有空間，対角化)をマスターすること
2) 1)でマスターした手技の背後にある「奥行き」を感じ取ること

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 1 回 60% （中間)試験 1 回 20% 演習 2 回 20% 左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準：下記のように成績を評価する。
S：上記試験等の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：上記試験等の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：上記試験等の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：上記試験等の合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。

Course Evaluation
Evaluation is based on exercise and two exams (100 points).
S: total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B1011004b)線形代数Ⅰ[Linear Algebra 1]

科目名[英文名]	線形代数Ⅰ[Linear Algebra 1]				
時間割番号	B1011004b	区分	技術科学基礎科目	選択必須	必修
開講学期	前期	曜日時限	月 3～3	単位数	1.5
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B1
担当教員[ローマ字表記]	松本　幸大 MATSUMOTO Yukihiro				
ナンバリング	GEN_PRN11010				

授業の目標

線形代数学は、数学諸分野の基礎となるばかりでなく, 自然科学, 人文科学, 社会科学の分野の履修においても基礎となるものである. 授業では線形代数の工学的応用に際して最も基礎となる事項を修得することを目標とする.

Linear algebra is one of the central disciplines in mathematics. Also is basis of the natural science, cultural science and social science.

In this class, it is targeted that acquiring basic knowledge to develop engineering by learning linear algebra.

授業の内容

教科書の第1～3章を中心に学習する。また、必要に応じて第4～5章の内容を学習する。以下はおおよその日程であり、演習や中間試験の日時は変更される可能性がある。

1週　行列の定義, 行列の演算, 行列の転置
2週　正方行列, 行列の分割
3週　消去法と基本行列
4週　行基本変形と階段行列
5週　逆行列の求め方
6週　連立 1 次方程式の解法
7週　行列の階数
8週　総合演習(その1)
9週　総合演習・中間試験
10 週　順列と行列式の定義
11 週　行列式の性質
12 週　行列式の展開, 積
13 週　数ベクトル空間, 部分空間
14 週　1 次独立・1 次従属, 基底と次元, 一般的なベクトル空間
15 週　総合演習(その2)
16 週　総合演習・期末試験

Chapter 1 – 3 are mainly targeted in this class. But, chapter 4 – 5 are introduced as needed.
1; Definitions of matrices, Addition and multiplication of matrices, Transposes of matrices
2; Square matrices, Partitioning of matrices
3; Row operations on matrices
4; Row echelon form
5; Inverses of matrices
6; Solution of simultaneous linear equations
7; Rank of matrices
8; Suggested problems
9; Suggested problems, 1st examination
10; Permutation, Determinants
11; Determinants
12; Practical evaluation and transposes of determinants
13; Vector spaces, Subspaces
14; Linear dependence, Linear combinations, Bases, Rank
15; Suggested problems
16; Suggested problems, 2nd examination

予習・復習内容

事前に教科書に目を通して授業に臨むこと。また、事後に教科書の演習問題を自分で解いてみること。

It is recommended that students read a textbook before lecture. Also, students should solve the exercises in textbook after lecture.

関連科目

線形代数Ⅱ，微分積分Ⅰ，Ⅱ，物理学Ⅰ，物理学Ⅱ

Linear Algebra 2, Differential and Integral Calculus 1 & 2, Physics 1 & 2

教科書 1	**書名**	理工系の基礎線形代数学			**ISBN**	978-4873611709
	著者名	硲野 敏博 加藤 芳文	**出版社**	学術図書出版社	**出版年**	1995

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Linear Algebra			**ISBN**	
	著者名	David Cherney, Tom Denton, Rohit Thomas and Andrew Waldron	**出版社**	https://www.math.ucdavis.edu/~linear/linear-guest.pdf	**出版年**	
参考書 2	**書名**	LINEAR ALGEBRA			**ISBN**	
	著者名	Jim Hefferon	**出版社**	http://joshua.smcvt.edu/linearalgebra	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1)数学記号を正しく記述することができる.
(2)用語の定義とその意味を正しく説明することができる.
(3)ベクトル・行列とスカラーとの区別ができ，線形代数におけるベクトル・行列の演算ができる.
(4)定理の導出・応用ができる.
B. 行列とベクトル空間
(1)行列の定義と和，積が理解でき演算できる.
(2)小行列・行列の分割が理解でき演算できる.
(3)1次変換行列による表現と線形性が理解できる.
(4)ベクトル空間の定義が理解できる
(5)線形写像の定義が理解でき，行列で表現できる.
C. 連立一次方程式・行列式
(1)ベクトルの一次独立・一次従属を理解できる.
(2)部分空間の次元を理解できる.
(3)行列の階数の意味を理解し計算できる.
(4)連立一次方程式を行列で表し，基本解と一般解を求めることができる.
(5)行列式の定義を理解し，性質を利用した演算ができる.
(6)逆行列の定義を理解し演算ができる.
(7)クラーメルの公式を用いて連立一次方程式を解くことができる.

A. Fundamentals
(1)Ability to use correctly mathematical symbols.
(2)Ability to explain definition and meanings of mathematical symbols.
(3)Ability of discern of scalar, vector and matrix. And ability of operation of vectors and matrices.
(4)Ability of derivation and application of theorem.
B. Matrices and Vector spaces
(1)Ability of operation of vectors and matrices.
(2)Ability of partitioning of matrices and operation of partitioned matrices.
(3)Acquiring knowledge of linear transformations and linearity.
(4)Acquiring knowledge of definition of vector space.
(5)Acquiring knowledge of definition of linear mapping. And ability to explain linear mapping by matrices.
C. Simultaneous linear equations, determinants

(1)Acquiring knowledge of Linear dependence and linear independence.
(2)Acquiring knowledge of dimension on vector spaces.
(3)Acquiring knowledge of rank of matrices. And ability of calculation of rank of matrices.
(4)Ability of calculation of simultaneous linear equations using matrices.
(5)Acquiring knowledge of definition of determinants. And ability of operation of determinants of matrices.
(6)Acquiring knowledge of definition of inverses. And ability of operation of inverses of matrices.
(7)Ability of calculation of simultaneous linear equations using Cramer's rule.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的にすべての講義に出席し、課題(レポート)等を提出した者につき、上記の達成目標の達成度を中間試験及び期末試験の平均点(100 点満点)で評価する.

S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来の評価基準を適用する。
従来の評価基準
原則的にすべての講義に出席し、課題(レポート)等を提出したものにつき、上記の達成目標の達成度を中間試験及び期末試験の平均点(100点満点)で評価する.
評価基準:中間試験、期末試験の平均点(100点満点)が55点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする。また、点数が80点以上を評価A、65点以上80点未満を評価B, 55点以上65点未満を評価Cとする。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

事前にメール等で時間調整を行い, 随時対応する.
It will be scheduled by E-mail.

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学, 自然科学, 情報技術, 地球環境対応技術に関する科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力

(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Utilizing the ability realized from the acquisition of a basic knowledge in science and technology; the mastery of subjects in mathematics, natural science, information technology, and global environmental technology

キーワード

線形代数、ベクトル、行列、行列式、連立一次方程式
linear algebra, vector, matrices, determinant, simultaneous linear equations

(B1011004c)線形代数Ⅰ[Linear Algebra 1]

科目名[英文名]	線形代数Ⅰ[Linear Algebra 1]				
時間割番号	B1011004c	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	伊藤　公毅 ITO Koki				
ナンバリング	GEN_PRN11011				

授業の目標

線形代数とは,「比例の高次元化」(＝線形写像)にまつわる代数学である. 工学であろうと自然科学であろうと, 入力に対し出力が「比例関係」にあるような対象は枚挙に暇が無い. (もっといえば, より一般の比例関係でないものも「比例により無限小近似する」というのが微積分のこころである. 微積分までゆくことで「比例」の射程距離は格段に伸びるわけである.) 実際には, 入力も出力も高次元のデータであろうから,「比例の高次元化」は必要不可欠なものである. 入力を m 次元, 出力を n 次元に高次元化すれば, 比例に於ける比例定数は, n 行 m 列の行列となる. この行列についての基本操作, 計算を学ぶことが第一の目標である. 更に, それら操作・計算の背後の意味を理解することが第二の目標である.

This course introduces elementary operations on matrices.

This course deals with background structures of such operations.

授業の内容

[E] https://www.math.ucdavis.edu/~linear/linear-guest.pdf

[J] 理工系の基礎線形代数学

1st-2nd: Introduction, What is Linear Algebra

[E] Ch1

3rd-4th: Matrices:

[J] Ch1

[E] Ch7

5th-6th: Systems of Linear Equations:

[J] Ch3

[E] Ch2

7th: review

8th-10th: Determinants:

[J] Ch2

[E] Ch8

11th: review

12th-14th: Vector spaces

[J] Ch 4

[E] Ch4, 5, 9 , 10, 11

15th: review

16th: exam

[E] https://www.math.ucdavis.edu/~linear/linear-guest.pdf

[J] 理工系の基礎線形代数学

1st-2nd: Introduction, What is Linear Algebra
[E] Ch1

3rd-4th: Matrices:
[J] Ch1
[E] Ch7

5th-6th: Systems of Linear Equations:
[J] Ch3
[E] Ch2

7th: review

8th-10th: Determinants:
[J] Ch2
[E] Ch8

11th: review

12th-14th: Vector spaces
[J] Ch 4
[E] Ch4, 5, 9 , 10, 11

15th: review

16th: exam

予習・復習内容
教科書等の演習問題を解くなどして復習すること.
Sufficient reviewing and practicing exercises are required.

関連科目
線形代数 II
Linear Algebra II

教科書 1	**書名**	理工系の基礎線形代数学			**ISBN**	978-4873611709
	著者名	硲野 敏博 加藤 芳文	**出版社**	学術図書出版社	**出版年**	
教科書 2	**書名**	Linear Algebra			**ISBN**	
	著者名	David Cherney, Tom Denton, Rohit Thomas and Andrew Waldron	**出版社**	https://www.math.ucdavis.edu/~linear/linear-guest.pdf	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	線型代数—Linear Algebra			**ISBN**	978-4535783713
	著者名	長谷川 浩司	**出版社**	日本評論社	**出版年**	

参考書に関する補足事項
講義内容を全てカバーするわけではないが，大いに関連があり参考となるであろう．また，講義では触れない事柄についても興味深い記述がある.
Advanced reference

達成目標
1)「線形性」を理解すること
2) 連立 1 次方程式の解を求めることができること
3) ベクトル空間を理解すること
The goals of this course is to

1) understand the "linearity",
2) find solutions of linear systems,
3) understand vector spaces.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験 1 回 60% (中間)試験 1 回 20% 演習 2 回 20% 左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準:下記のように成績を評価する。
S:上記試験等の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:上記試験等の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:上記試験等の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:上記試験等の合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来(A～C)の評価基準を適用する。

Course Evaluation
Evaluation is based on exercise and two exams (100 points).
S: total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B1011005a)物理学Ⅰ[Physics 1]

科目名[英文名]	物理学Ⅰ[Physics 1]				
時間割番号	B1011005a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2,木 3～3	**単位数**	3
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	飯田　明由, 足立　望 IIDA Akiyoshi, ADACHI Nozomu				
ナンバリング	GEN_PRN11012				

授業の目標

1.物理学Ⅰでは、近代物理学の出発点となった力学を学ぶ.
2.力学は、物理学のみならず近代科学の出発点であり、且つ、現代科学の基礎であり続けている. その価値は過去 300 年間変わっておらず、少なくも今後 200 年は変わらないであろう. 物理学Ⅰでは、不変的知識としての力学を学ぶ.
3.現代の科学技術及び近代社会の形成と力学の関係を学ぶ.

1. You study Dynamics with which the modern science started.
2. Dynamics was created by Sir Isac Newton and has been the most important science in the last 300years. This will not change in the next 300years. The course of Physics I gives Mechanics having such permanent value.
3. You also study how Dynamics has contributed to making the modern society you live in now.

授業の内容

1 週目　単位と有効数字
2 週目　力と質点, ベクトルと変位
3 週目　質点の運動
4 週目　運動の3法則
5 週目　落下運動, 放物線運動
6 週目　振り子の運動
7 週目　仕事とエネルギー(1)
8 週目　仕事とエネルギー(2)
9 週目　運動量
10 週目　角運動量保存則
11 週目　慣性系と非慣性系
12 週目　万有引力と惑星の運動
13 週目　ケプラーの法則
14 週目　質点系の運動
15 週目　まとめ
16 週目　定期試験

講義と演習を一組とし, 各講義内容について1回の演習を行なう.

1st week Units and Significant Digits
2nd week Forces and Mass Points, Vectors and Displacements
3rd week Motion of Mass Point
4th week Newton's Laws of Motion
5th week Projectile Motion
6th week Pendulum Motion
7th week Work and Mechanical Energy (1)
8th week Work and Mechanical Energy (2)
9th week Linear Momentum
10th week Law of Conservation of Angular Momentum
11th week Inertial and Non-inertial Systems
12th week Law of Universal Gravitation and Motion of Planet
13th week Kepler's laws
14th week Systems of Particles
15th week Summary
16th week final examination

A lecture and a practice are set and the practice is performed about each lecture contents.

予習・復習内容
毎回の講義・演習の内容を復習するとともに，次回の内容について教科書等を参考に予習してくること.

Students are expected to review the contents every week and prepare for the next lecture based on the handouts.

関連科目
微分積分，線形代数，物理学Ⅱ，物理学Ⅲ，物理学Ⅳ
The differential calculus and integration, linear algebra, physicsII, physicsIII, physics IV

教科書 1	**書名**	物理学			**ISBN**	
	著者名	小出昭一郎	**出版社**	裳華房	**出版年**	1975

教科書に関する補足事項
毎回，資料を配布する.

参考書 1	**書名**	基礎から学ぶ工業力学			**ISBN**	978-4-274-20857-7
	著者名	飯田明由，金野祥久，武居昌宏	**出版社**	オーム社	**出版年**	2010
参考書 2	**書名**	Fundamentals of Physics			**ISBN**	9780300192209
	著者名	R. Shankar	**出版社**	Yale University Press	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標
A.基礎的な事項
(1) 力学的な概念や公式の意味を正しく理解できる.
(2) 用語や単位系を正しく使用することができる.
(3) 力学的な問題を微分方程式で表し，物理量を求めることができる.
(4) ベクトル量とスカラー量との区別ができ，質点の運動をベクトルで表すことができる.
(5) 物理学の発達や歴史を理解している.

B.質点の力学
(1) ニュートンの運動の3法則を理解し，放物運動，単振動，単振り子などの質点の運動を微分方程式で表し，その運動を把握することができる.
(2) 慣性質量と重力質量を理解できる.
(3) 仕事および運度エネルギーの概念を理解できる.
(4) 万有引力を理解し，惑星の運動を求めることができる.
(5) 非慣性系と見かけの力を理解し，その運動を解くことができる.

A.basic manner
(1) To understand the dynamic concept and the meaning of the formulas.
(2) To use the term and the units exactly.
(3) To derive the differntial equation from the dynamic problem and to solve it.
(4) To distinguish between the vector and scalar and to express the motion of the point using the vector.
(5) To understand the development and the history of physics.

B.Dybamics of the point
(1) To understand the Newton's Laws of motion and to analysis the motion using the differntial equation.
(2) To understandthe inertial mass and the gravitational mass
(3) TO understand the work and the kinematic enegy.
(4) TO understand the universal Gravitation and to solve the the motion of the planets.
(5) To understand Non-inertial Systems and the apparent force and to solve the motion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：演習（30%），中間・期末試験(70%)の結果で評価する.
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 60 点以上

Grades are determined by the practices(30%) and the intermediate and final examinations(70%)

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

飯田明由
email:iida@me.tut.ac.jp
Akiyoshi Iida(Mechanical Engineering)
email:iida@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

記述なし

オフィスアワー

email で随時時間を打ち合わせる
Contact the lecturer by e-mail first

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード

力，ニュートン力学，運動量，エネルギー，仕事，保存則
Forces, Newton's Laws of Motion, Linear Momentum, Energy, Work, Law of Conservation

(B1011005b)物理学Ⅰ[Physics 1]

科目名[英文名]	物理学Ⅰ[Physics 1]				
時間割番号	B1011005b	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2,木 3～3	**単位数**	3
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	佐野　滋則，足立　望 SANO Shigenori, ADACHI Nozomu				
ナンバリング	GEN_PRN11012				

授業の目標

高校で学習した物理のうち，主として力学の分野について，高校で学んだ内容を更に発展させる．物体を理想的な質点や剛体で仮定し，その運動を微分方程式で記述する方法や解析法などを講義するとともに，得られた結果の物理的意味を理解する．

In the field of dynamics, the contents studied at the high school are developed. Assuming the object is the points or the rigid body, the notation and the analysis of the motion by differential equation are lectured.

授業の内容

1 週目　単位と有効数字
2 週目　力と力学質点，ベクトルと変位
3 週目　質点の運動
4 週目　運動の3法則
5 週目　落下運動，放物線運動
6 週目　振り子の運動
7 週目　仕事とエネルギー(1)
8 週目　仕事とエネルギー(2)
9 週目　運動量
10 週目　角運動量保存則
11 週目　慣性系と非慣性系
12 週目　万有引力と惑星の運動
13 週目　ケプラーの法則
14 週目　質点系の運動
15 週目　まとめ
16 週目　定期試験

講義と演習を一組とし，各講義内容について1回の演習を行なう．

1st week　Units and Significant Digits
2nd week　Forces and Mass Points, Vectors and Displacements
3rd week　Motion of Mass Point
4th week　Newton's Laws of Motion
5th week　Projectile Motion
6th week　Pendulum Motion
7th week　Work and Mechanical Energy (1)
8th week　Work and Mechanical Energy (2)
9th week　Linear Momentum
10th week　Law of Conservation of Angular Momentum
11th week　Inertial and Non-inertial Systems
12th week　Law of Universal Gravitation and Motion of Planet
13th week　Kepler's laws
14th week　Systems of Particles
15th week　Summary
16th week　final examination

A lecture and a practice are set and the practice is performed about each lecture contents.

予習・復習内容

毎回の講義・演習の内容を復習するとともに，次回の内容について教科書等を参考に予習してくること．

Students are expected to review the contents every week and prepare for the next lecture based on the handouts.

関連科目

微分積分，線形代数，物理学Ⅱ，物理学Ⅲ，物理学Ⅳ

The differential calculus and integration, linear algebra, physicsII, physicsIII, physics Ⅳ

教科書 1	**書名**	物理学　三訂版			**ISBN**	
	著者名	小出昭一郎	**出版社**	裳華房	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Mechanics, relativity, and thermodynamics			**ISBN**	9780300192209
	著者名	R. Shankar	**出版社**	Yale University Press	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	基礎から学ぶ工業力学			**ISBN**	978-4-274-20857-7
	著者名	飯田明由，金野祥久，武居昌宏	**出版社**	オーム社	**出版年**	2010

参考書に関する補足事項

達成目標

A.基礎的な事項

(1) 力学的な概念や公式の意味を正しく理解できる.
(2) 用語や単位系を正しく使用することができる.
(3) 力学的な問題を微分方程式で表し，物理量を求めることができる.
(4) ベクトル量とスカラー量との区別ができ，質点の運動をベクトルで表すことができる.
(5) 物理学の発達や歴史を理解している.

B.質点の力学

(1) ニュートンの運動の3法則を理解し，放物運動，単振動，単振り子などの質点の運動を微分方程式で表し，その運動を把握することができる.
(2) 慣性質量と重力質量を理解できる.
(3) 仕事および運度エネルギーの概念を理解できる.
(4) 万有引力を理解し，惑星の運動を求めることができる.
(5) 非慣性系と見かけの力を理解し，その運動を解くことができる.

A.basic manner

(1) To understand the dynamic concept and the meaning of the formulas.
(2) To use the term and the units exactly.
(3) To derive the differntial equation from the dynamic problem and to solve it.
(4) To distinguish between the vector and scalar and to express the motion of the point using the vector.
(5) To understand the development and the history of physics.

B.Dybamics of the point

(1) To understand the Newton's Laws of motion and to analysis the motion using the differntial equation.
(2) To understandthe inertial mass and the gravitational mass
(3) TO understand the work and the kinematic enegy.
(4) TO understand the universal Gravitation and to solve the the motion of the planets.
(5) To understand Non-inertial Systems and the apparent force and to solve the motion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：演習（30%），中間・期末試験(70%)の結果で評価する.
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 60 点以上

Grades are determined by the practices(30%) and the intermediate and final examinations(70%)

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).

A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

佐野滋則(機械工学系)
email:sano@me.tut.ac.jp
Shigenori Sano(Mechanical Engineering)
email:sano@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

記述なし

オフィスアワー

email で随時時間を打ち合わせる
Contact the lecturer by e-mail first

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード

力，ニュートン力学，運動量，エネルギー，仕事，保存則
Forces, Newton's Laws of Motion, Linear Momentum, Energy, Work, Law of Conservation

(B1011005c)物理学Ⅰ[Physics 1]

科目名[英文名]	物理学Ⅰ[Physics 1]				
時間割番号	B1011005c	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2,木 3～3	**単位数**	3
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	岡田　浩 OKADA Hiroshi				
ナンバリング	GEN_PRN11011				

授業の目標

高校で学習した物理のうち，主として力学の分野について，高校で学んだ内容を更に発展させる．物体を理想的な質点や剛体で仮定し，その運動を微分方程式で記述する方法や解析法などを講義するとともに，得られた結果の物理的意味を理解する．

In the field of dynamics, the contents studied at the high school are developed. Assuming the object is the points or the rigid body, the notation and the analysis of the motion by differential equation are lectured.

授業の内容

1 週目　単位と有効数字
2 週目　力と力学質点，ベクトルと変位
3 週目　質点の運動
4 週目　運動の3法則
5 週目　落下運動，放物線運動
6 週目　振り子の運動
7 週目　仕事とエネルギー(1)
8 週目　仕事とエネルギー(2)
9 週目　運動量
10 週目　角運動量保存則
11 週目　慣性系と非慣性系
12 週目　万有引力と惑星の運動
13 週目　ケプラーの法則
14 週目　質点系の運動
15 週目　まとめ
16 週目　定期試験

講義と演習を一組とし，各講義内容について1回の演習を行なう．

1st week　Units and Significant Digits
2nd week　Forces and Mass Points, Vectors and Displacements
3rd week　Motion of Mass Point
4th week　Newton's Laws of Motion
5th week　Projectile Motion
6th week　Pendulum Motion
7th week　Work and Mechanical Energy (1)
8th week　Work and Mechanical Energy (2)
9th week　Linear Momentum
10th week　Law of Conservation of Angular Momentum
11th week　Inertial and Non-inertial Systems
12th week　Law of Universal Gravitation and Motion of Planet
13th week　Kepler's laws
14th week　Systems of Particles
15th week　Summary
16th week　final examination

A lecture and a practice are set and the practice is performed about each lecture contents.

予習・復習内容

毎回の講義・演習の内容を復習するとともに，次回の内容について教科書等を参考に予習してくること．

Students are expected to review the contents every week and prepare for the next lecture based on the handouts.

関連科目

微分積分，線形代数，物理学Ⅱ，物理学Ⅲ，物理学Ⅳ

The differential calculus and integration, linear algebra, physicsII, physicsIII, physics IV

教科書 1	**書名**	Fundamentals of Physics			**ISBN**	9780300192209
	著者名	R. Shankar	**出版社**	Yale University Press	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

講義資料は随時配布します。

Handouts will be provided.

参考書 1	**書名**	物理学　三訂版			**ISBN**	
	著者名	小出昭一郎	**出版社**	裳華房	**出版年**	
参考書 2	**書名**	基礎から学ぶ工業力学			**ISBN**	978-4-274-20857-7
	著者名	飯田明由，金野祥久，武居昌宏	**出版社**	オーム社	**出版年**	2010

参考書に関する補足事項

達成目標

A.基礎的な事項

(1) 力学的な概念や公式の意味を正しく理解できる.
(2) 用語や単位系を正しく使用することができる.
(3) 力学的な問題を微分方程式で表し，物理量を求めることができる.
(4) ベクトル量とスカラー量との区別ができ，質点の運動をベクトルで表すことができる.
(5) 物理学の発達や歴史を理解している.

B.質点の力学

(1) ニュートンの運動の3法則を理解し，放物運動，単振動，単振り子などの質点の運動を微分方程式で表し，その運動を把握することができる.
(2) 慣性質量と重力質量を理解できる.
(3) 仕事および運度エネルギーの概念を理解できる.
(4) 万有引力を理解し，惑星の運動を求めることができる.
(5) 非慣性系と見かけの力を理解し，その運動を解くことができる.

A. Fundamentals

(1) To understand the dynamic concept and the meaning of the formulas.
(2) To use the terms and the units correctly.
(3) To derive the differntial equation from the dynamic problem and to solve it.
(4) To distinguish between the vector and scalar and to express the motion of the point using the vector.
(5) To understand the development and the history of physics.

B. Dynamics of the point

(1) To understand the Newton's Laws of motion and to analysis the motion using the differntial equation.
(2) To understand the inertial mass and the gravitational mass
(3) To understand the work and the kinematic enegy.
(4) To understand the universal gravitation and to solve the the motion of the planets.
(5) To understand Non-inertial systems and the apparent force and to solve the motion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：演習（30%），中間・期末試験(70%)の結果で評価する.
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，試験・演習の合計点（100 点満点）が 60 点以上

Grades are determined by the practices(30%) and the intermediate and final examinations(70%)

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).

A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

記述なし

オフィスアワー

email で随時時間を打ち合わせる
Contact the lecturer by e-mail first

学習・教育到達目標との対応

キーワード

力, ニュートン力学, 運動量, エネルギー, 仕事, 保存則
Forces, Newton's Laws of Motion, Linear Momentum, Energy, Work, Law of Conservation

(B1011006a)化学Ⅰ[General Chemistry 1]

科目名[英文名]	化学Ⅰ[General Chemistry 1]				
時間割番号	B1011006a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	柴富　一孝 SHIBATOMI Kazutaka				
ナンバリング	GEN_PRN11010				

授業の目標

原子および分子の基本構造を理解し、基本的な分子変換反応のメカニズムを理解する。

This class introduces atomic structure in chemistry, nature of chemical bond, chemical reactions, and fundamental states of matter.

授業の内容

1 週目　原子の構造
2 週目　原子量
3 週目　電子配置
4 週目　周期律
5 週目　演習
6 週目　イオン結合、共有結合
7 週目　混成軌道、炭素－炭素結合
8 週目　配位結合、金属結合、分子の極性
9 週目　定期中間試験
10 週目　化学反応式、化学反応の種類
11 週目　酸・塩基反応、酸化・還元反応
12 週目　有機化合物の反応
13 週目　演習
14 週目　気体の法則と気体分子運動
15 週目　液体と気体
16 週目　定期期末試験

1. atomic structure
2. atomic weight
3. electron configuration
4. periodic law
5. exercise
6. ionic bond and covalent bond
7. hybrid orbital, carbon carbon bond
8. coordination, metallic bond, polarity
9. examination 1
10. chemical equation
11. acid-base reaction, oxygen reduction reaction
12. reaction of organic compounds
13. exercise
14. gas law
15. fundamental states of matter
16. examination 2

予習・復習内容

予習：次回講義予定の箇所の教科書を読んでおく
復習：講義内容を思い浮かべながら、ノートを見直す

関連科目

化学 II,III
General Chemistry 2, General Chemistry 3

教科書 1	**書名**	理工系一般化学			**ISBN**	9784808230487
	著者名	篠崎・大窪・その他	**出版社**	東京教学社	**出版年**	2002

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Atkins Physical Chemistry	**ISBN**	

	著者名	Peter Atkins	出版社	Tokyo Kagaku Dojin	出版年	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 原子の構造、電子配置を理解すること
(2) 基本的な化学結合の種類と特徴を理解すること
(3)基本的な化学変化を化学反応式で表せること
(4) 気体分子の運動に関する基礎理論を理解すること
1) To learn the atomic structure and electron configuration in chemistry.
2) To learn the basic nature of some types of chemical bond.
3) To learn the way of indicating chemical equation for basic chemical transformation.
4) To learn the basic theory of gases.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験 50%と期末試験 50%で評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点が 90%以上
A:達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点が 80%以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつ試験の合計点が 70%以上
C:達成目標を 60%以上達成しており，かつ試験合計点が 60%以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

関数電卓使用可

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード
原子　電子配置　結合　化学反応　液体・気体の性質
Atom, Electronic structure, chemical bond, Liquid, Solid

(B1011006b)化学Ⅰ[General Chemistry 1]

科目名[英文名]	化学Ⅰ[General Chemistry 1]				
時間割番号	B1011006b	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	原口　直樹 HARAGUCHI Naoki				
ナンバリング	GEN_PRN11010				

授業の目標

原子および分子の基本構造を理解し、基本的な分子変換反応のメカニズムを理解する。

This class introduces atomic structure in chemistry, nature of chemical bond, chemical reactions, and fundamental states of matter.

授業の内容

1 週目　原子の構造
2 週目　原子量
3 週目　電子配置
4 週目　周期律
5 週目　演習
6 週目　イオン結合、共有結合
7 週目　混成軌道、炭素－炭素結合
8 週目　配位結合、金属結合、分子の極性
9 週目　定期中間試験
10 週目　化学反応式、化学反応の種類
11 週目　酸・塩基反応、酸化・還元反応
12 週目　有機化合物の反応
13 週目　演習
14 週目　気体の法則と気体分子運動
15 週目　液体、固体、液晶
16 週目　定期期末試験

1. atomic structure
2. atomic weight
3. electron configuration
4. periodic law
5. exercise
6. ionic bond and covalent bond
7. hybrid orbital, carbon carbon bond
8. coordination, metallic bond, polarity
9. examination 1
10. chemical equation
11. acid-base reaction, oxygen reduction reaction
12. reaction of organic compounds
13. exercise
14. gas law
15. fundamental states of matter
16. examination 2

予習・復習内容

予習：次回講義予定の箇所の教科書を読む。
復習：講義内容を思い出しながら、講義ノートを見直し、演習問題などを解く。

関連科目

化学 II,III
General Chemistry 2, General Chemistry 3

教科書 1	**書名**	理工系一般化学			**ISBN**	9784808230487
	著者名	篠崎・大窪・その他	**出版社**	東京教学社	**出版年**	2002

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Atkins Physical Chemistry	**ISBN**	

	著者名	Peter Atkins	出版社	Tokyo Kagaku Dojin	出版年	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 原子の構造、電子配置を理解すること
(2) 基本的な化学結合の種類と特徴を理解すること
(3)基本的な化学変化を化学反応式で表せること
(4) 気体分子の運動に関する基礎理論を理解すること
1) To learn the atomic structure and electron configuration in chemistry.
2) To learn the basic nature of some types of chemical bond.
3) To learn the way of indicating chemical equation for basic chemical transformation.
4) To learn the basic theory of gases.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験 50%と期末試験 50%で評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点が 90%以上
A:達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点が 80%以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつ試験の合計点が 70%以上
C:達成目標を 60%以上達成しており，かつ試験合計点が 60%以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日 14:30-15:00 を原則とし、随時
anytime

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力

技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード
化学
chemistry

(B1011006c)化学Ⅰ[General Chemistry 1]

科目名[英文名]	化学Ⅰ[General Chemistry 1]				
時間割番号	B1011006c	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	武藤　浩行 MUTO Hiroyuki				
ナンバリング	GEN_PRN11011				

授業の目標

化学的なものの見方、考え方、表現法を身につけ、自然界や身の回りで起きる化学的現象を、正しく理解する基礎力を養う。
The aim of this course is to introduce the fundamental principles of
general chemistry. The course also examines topics in atomic and molecular structures.

授業の内容

授業の進行予定と内容を以下に記す。

1 週目　ガイダンス
2 週目　原子軌道
3 週目　水素原子のスペクトルとエネルギー
4 週目　電子配置と周期律
5 週目　化学結合（イオン結合、共有結合）
6 週目　電子配置の形状
7 週目　混成軌道、炭素－炭素結合
8 週目　定期中間試験
9 週目　気体の性質（気体の状態方程式）
10 週目　気体の性質（気体分子の運動）
11 週目　気体の性質（実在気体）
12 週目　演習
13 週目　液体と気体（液体の構造）
14 週目　液体と気体（気体の構造）
15 週目　演習
16 週目　定期期末試験

Course Outline
1st week Guidance
2nd week Atomic orbitals
3rd week Electronic structure of Hydrogen
4th week Electronic structure and the periodic table
5th week Chemical bonds
6th week Molecular shape and structure
7th week Hybrid orbitals
8th week Examination
9th week Properties of gases (gas law)
10th week Properties of gases (molecular motion)
11th week Properties of gases (real gases)
12th week Exercises
13th week Liquids and solids (Liquid structure)
14th week Liquids and solids (Solid structure)
15th week Exercises
16th week Final Examination

予習・復習内容

予習：次回講義予定の箇所の教科書を読んでおく
復習：講義内容を思い浮かべながら、ノートを見直す
As lectures are provided in English and Japanese using the following textbook.

関連科目

化学Ⅱ

General Chemistry 2

教科書 1	**書名**	理工系一般化学			**ISBN**	9784808230487
	著者名	篠崎・大窪・その他	**出版社**	東京教学社	**出版年**	2002
教科書 2	**書名**				**ISBN**	
	著者名		**出版社**		**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Chemical principles : the quest for insight			**ISBN**	9781464120671
	著者名	Peter Atkins, Loretta Jones, Leroy Laverman	**出版社**	W.H. Freeman	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 原子がイオン化するときの一般的規則を理解すること
(2) 基本的な化学結合の種類と特徴を理解すること
(3)基本的な化学変化を化学反応式で表せること
(4) 気体、液体の性質が理解できる

1) To understand atmic and molecular obitals
2) To understand chemical bonds
3) To understand the properties of liquid and solid

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験 50%と期末試験 50%で評価する。

S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

関数電卓使用可

その他

E-mail:：muto@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時

学習・教育到達目標との対応

(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力　科学技術に関する基礎知識を獲得し、それらを活用できる能力

キーワード

原子　電子配置　結合　化学反応　液体・気体の性質
Atom, Electronic structure, chemical bond, Liquid, Solid

(B1013001a)微分積分Ⅱ[Differential and Integral Calculus 2]

科目名[英文名]	微分積分Ⅱ[Differential and Integral Calculus 2]				
時間割番号	B1013001a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 2～2,火 1～1	**単位数**	3
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	伊藤　公毅 ITO Koki				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

大雑把にいって，微分は微小変化の様子を表す．この「微小＝1 次近似」世界では，1 変数函数は「比例関係」で振る舞うこととなり，函数の挙動の解析が容易になる．一方，積分は微小量の総和である．「細かく分割して総和をとる」ことで種々の求積が可能となる．では微分と積分は如何なる関係にあるのであろうか？ この答えが「微分積分学の基本定理」である．直感的には「微小変化の積み重ねは真の変化を与える」ということである．これにより積分が「計算」しうる対象へと昇華する．高校内容の復習に併せ，この事情を多変数も込めて学習する．

This course introduces elementary techniques of calculus.

授業の内容

1st-2nd: Introduction, functions of several variables:
[J2] p26-p29
2 章 例題 1-2, 問 1-1, 1-2,

3rd-6th: Differential of multivariable functions, Chain rule, maxima and minima
differential of multivariable functions:
[H] p158-p160
“Partial Derivatives”, “Total Differential”, “Notation”,
Example 2-48,
Exercise 2-37, 2-41, 2-61, 2-62, 2-63,
[H2] p119-p121
“Directional Derivatives*”,
Example 7-19*, 7-20*
[J2] p30-p35, p41-42
2 章 例題 1-2, 1-3, 2-1, 問 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 2-1, 2-2, 2-3,

chain rule:
[H] p160-p161
“Differential Operator”,
[J2] p36-p38, p42-43
2 章 例題 1-4, 2-2, 問 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 2-4

maxima and minima:
[H] p161-p163
“Maxima and Minima for Functions of Two Variables”,
“Implicite Differentiation”,
[H2] p123-p134
“Maximum and Minimum Values”, “Lagrange Multiplier”, “Generalization of Lagrange Multipliers”
Example 7-24,
Exercise 7-40, 7-41, 7-48*
[J2] p44-p53
2 章 例題 2-3,2-4, 2-5, 2-6, 問 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-11

7th: Review:

8th: Exam:

9th-11th: Double integrals:
[H] p249-p257
“Double Integrals”, “Summations over nonrectangular regions”,
“Polar Coordinates”, “Cylindrical Coordinates”, “Spherical Coordinates”,
Example 3-42, 3-43, 3-44, 3-45, 3-46,
Exercise 3-42, 3-44, 3-46, 3-47, 3-48, 3-49,
[J2] p59
3 章, 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6,
問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9,
2-10, 2-11, 2-12

12th: Review

13th-15th: Sequence, Infinite series:
[H] p271-p281
“Sequences”, “Limit of a Sequence”,
“Convergence of a sequence*”, “Divergence of a sequence*”,
“Relation between sequences and Functions”, “Establish Bounds for Sequences”,
“Additional Terminology Associated with Sequences”,
“Stolz-Cesaro Theorem*”,
“Examples of Sequences”,
Example 4-1, 4-2, 4-3, 4-4*,
Exercise 4-1, 4-2,
[J2] p8-10
1 章 例題 1-3, 問 1-9, 1-10,

infinite series:
[H] p281-p304
“Infinite Series”, “Sequence of Partial Sums”, “Convergence and Divergence of a Series”,
“Comparison of Two Series”, “Test for Divergence*”, “Cauchy Convergence*”,
“The Integral Test for Convergence*”, “Alternating Series Test*”,
“Comparison Tests*”, “Ratio Comparison Test*”,
“Absolute Convergence”, “Ratio Test*”, “Root Test*”,
“Certain Limits”,
Example 4-5, 4-6, 4-7, 4-8, 4-9*, 4-10*, 4-11*, 4-12*, 4-13*, 4-15*, 4-16*, 4-17, 4-18*,
4-21*, 4-22*, 4-23*,
Exercise 4-4, 4-5, 4-6, 4-8, 4-9, 4-10, 4-11*, 4-13*, 4-14*, 4-17*, 4-18, 4-19*, 4-20*,
4-21, 4-22*, 4-23, 4-24*, 4-25*, 4-26*, 4-27*, 4-28*, 4-29*,

power series:
[H] p305-p329
“Power Series”, “Operation with Power Series*”,
“Maclaurin Series”, “Taylor and Maclaurin Series”,
“Taylor Series for Functions of Two Variables”,
“Alternative Derivation of the Taylor Series*”,
“Reminder Term for Taylor Series”,
“Schomilch and Roche Reminder Term*”,
“Indeterminate forms”,
“Conditional Convergence*”, “Bernoulli Numbers*”, “Euler Numbers*”,
Example 4-25*, 4-26, 4-27*, 4-28*, 4-29*, 4-30, 4-31, 4-32, 4-33, 4-34, 4-35,
4-36*,
Exercise 4-30*, 4-33, 4-40, 4-49, 4-50, 4-51, 4-52, 4-54, 4-55, 4-56

series of functions:
[H] p330-
“Functions Defined by Series”,
“Generating Functions*”,
“Fourier Series”,
“Properties of the Fourier trigonometric series*”,
“Fourier Series of Odd Functions”, “Fourier Series of Even Functions”,
“Some Spectacular Results”,

Example 4-37, 4-41, 4-42, 4-43, 4-44,
Exercise 4-41, 4-42, 4-43, 4-45, 4-46, 4-47,

16th: exam

*Starred subjects are optional.

[H] http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-1.PDF
[H2] http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-2.PDF
[J2] 新微分積分 II
1st-2nd: Introduction, functions of several variables:
[J2] p26-p29
2 章 例題 1-2, 問 1-1, 1-2,

3rd-6th: Differential of multivariable functions, Chain rule, maxima and minima
differential of multivariable functions:
[H] p158-p160
"Partial Derivatives", "Total Differential", "Notation",
Example 2-48,
Exercise 2-37, 2-41, 2-61, 2-62, 2-63,
[H2] p119-p121
"Directional Derivatives*",
Example 7-19*, 7-20*
[J2] p30-p35, p41-42
2 章 例題 1-2, 1-3, 2-1, 問 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 2-1, 2-2, 2-3,

chain rule:
[H] p160-p161
"Differential Operator",
[J2] p36-p38, p42-43
2 章 例題 1-4, 2-2, 問 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 2-4

maxima and minima:
[H] p161-p163
"Maxima and Minima for Functions of Two Variables",
"Implicite Differentiation",
[H2] p123-p134
"Maximum and Minimum Values", "Lagrange Multiplier", "Generalization of Lagrange Multipliers"
Example 7-24,
Exercise 7-40, 7-41, 7-48*
[J2] p44-p53
2 章 例題 2-3,2-4, 2-5, 2-6, 問 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9, 2-10, 2-11

7th: Review:

8th: Exam:

9th-11th: Double integrals:
[H] p249-p257
"Double Integrals", "Summations over nonrectangular regions",
"Polar Coordinates", "Cylindrical Coordinates", "Spherical Coordinates",
Example 3-42, 3-43, 3-44, 3-45, 3-46,
Exercise 3-42, 3-44, 3-46, 3-47, 3-48, 3-49,
[J2] p59
3 章, 例題 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6,
問 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5, 2-6, 2-7, 2-8, 2-9,
2-10, 2-11, 2-12

12th: Review

13th-15th: Sequence, Infinite series:
[H] p271-p281
“Sequences”, “Limit of a Sequence”,
“Convergence of a sequence*”, “Divergence of a sequence*”,
“Relation between sequences and Functions”, “Establish Bounds for Sequences”,
“Additional Terminology Associated with Sequences”,
“Stolz-Cesaro Theorem*”,
“Examples of Sequences”,
Example 4-1, 4-2, 4-3, 4-4*,
Exercise 4-1, 4-2,
[J2] p8-10
1 章 例題 1-3, 問 1-9, 1-10,

infinite series:
[H] p281-p304
“Infinite Series”, “Sequence of Partial Sums”, “Convergence and Divergence of a Series”,
“Comparison of Two Series”, “Test for Divergence*”, “Cauchy Convergence*”,
“The Integral Test for Convergence*”, “Alternating Series Test*”,
“Comparison Tests*”, “Ratio Comparison Test*”,
“Absolute Convergence”, “Ratio Test*”, “Root Test*”,
“Certain Limits”,
Example 4-5, 4-6, 4-7, 4-8, 4-9*, 4-10*, 4-11*, 4-12*, 4-13*, 4-15*, 4-16*, 4-17, 4-18*,
4-21*, 4-22*, 4-23*,
Exercise 4-4, 4-5, 4-6, 4-8, 4-9, 4-10, 4-11*, 4-13*, 4-14*, 4-17*, 4-18, 4-19*, 4-20*,
4-21, 4-22*, 4-23, 4-24*, 4-25*, 4-26*, 4-27*, 4-28*, 4-29*,

power series:
[H] p305-p329
“Power Series”, “Operation with Power Series*”,
“Maclaurin Series”, “Taylor and Maclaurin Series”,
“Taylor Series for Functions of Two Variables”,
“Alternative Derivation of the Taylor Series*”,
“Reminder Term for Taylor Series”,
“Schomilch and Roche Reminder Term*”,
“Indeterminate forms”,
“Conditional Convergence*”, “Bernoulli Numbers*”, “Euler Numbers*”,
Example 4-25*, 4-26, 4-27*, 4-28*, 4-29*, 4-30, 4-31, 4-32, 4-33, 4-34, 4-35,
4-36*,
Exercise 4-30*, 4-33, 4-40, 4-49, 4-50, 4-51, 4-52, 4-54, 4-55, 4-56

series of functions:
[H] p330-
“Functions Defined by Series”,
“Generating Functions*”,
“Fourier Series”,
“Properties of the Fourier trigonometric series*”,
“Fourier Series of Odd Functions”, “Fourier Series of Even Functions”,
“Some Spectacular Results”,
Example 4-37, 4-41, 4-42, 4-43, 4-44,
Exercise 4-41, 4-42, 4-43, 4-45, 4-46, 4-47,

16th: exam

*Starred subjects are optional.

[H] http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-1.PDF
[H2] http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-2.PDF
[J2] 新微分積分 II

予習・復習内容

如何なる科目もでもそうなのであるが，学習の基本は自習にある．特に科目名が「calculus」であることが示唆する様に「計算」できることが，先ず第一の目標である．これは自習によるより習得の道はない．学習する内容は，その意味はひとまず棚上げにし，

答えがだせるようになること. 具体的には教科書の演習や例を活用した自習により計算手技を習熟させてから演習・試験に臨むこと.
Sufficient reviewing and practicing exercises are required.

関連科目
「微分積分 I」
calculas I

教科書 1	**書名**	Introduction to Calculus Volume I			**ISBN**	
	著者名	J.H. Heinbockel	**出版社**	http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-1.PDF	**出版年**	
教科書 2	**書名**	Introduction to Calculus Volume II			**ISBN**	
	著者名	J.H. Heinbockel	**出版社**	http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-2.PDF	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	新微分積分 II			**ISBN**	978-4-477-02685-5
	著者名		**出版社**	大日本図書	**出版年**	

参考書に関する補足事項
こちらも購入することが望ましい。
It is desirable that you buy this text written in Japanese.

達成目標
1) 偏微分係数が求められること.
2) 偏微分係数の変数変換ができること. また, 偏微分の記号を混乱なく扱えること.
3) 極値問題が解けること.
4) 重積分が計算できること. (変数変換によるものも含む)
5) 重積分を種々の求積に応用できること.
6) 典型的初等函数のテイラー展開ができること.
The goals of this course are to

1) find partial derivatives,
2) use the chain rule and use partial derivative without confusion,
3) solve extreme value problem,
4) evaluate multiple integrals,
5) find area, volume by applying multiple integrals,
6) find Taylor expansions of typical elementary functions

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法:定期試験 1 回 60% (中間)試験 30% 演習 10% 左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準:下記のように成績を評価する。
S:上記試験等の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:上記試験等の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:上記試験等の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:上記試験等の合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来(A～C)の評価基準を適用する。

Course Evaluation
Evaluation is based on exercise and two exams (100 points).
S: total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
学習・教育到達目標との対応
キーワード

(B1013001b)微分積分Ⅱ[Differential and Integral Calculus 2]

科目名[英文名]	微分積分Ⅱ[Differential and Integral Calculus 2]				
時間割番号	B1013001b	区分	技術科学基礎科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	木 2～2,火 1～1	単位数	3
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B1
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　幸太郎, 金澤　靖 SUZUKI Koutarou, KANAZAWA Yasushi				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

微分積分は科学・工学の分野の1つの重要な基礎である.
数学Ⅰの微分積分を基に偏微分・重積分などの数学的な意味を理解する.
This course introduces the partial differential and multiple integral in calculus to students taking this course.

授業の内容

1 週目:複数変数の関数 1
2 週目:複数変数の関数 2
3 週目:多変数関数の微分
4 週目:合成関数の微分 1
5 週目:合成関数の微分 2
6 週目:多変数関数の極大と極小 1
7 週目:多変数関数の極大と極小 2
8 週目:試験
9 週目:2 重積分とは
10 週目:累次積分
11 週目:変数変換
12 週目:広義積分
13 週目:数列
14 週目:無限級数
15 週目:ベキ級数・級数展開
16 週目:試験

1st: Introduction
2nd: functions of several variables:
3rd: Differential of multi variable functions
4th: Chain rule #1
5th: Chain rule #2
6th: Maxima and minima #1
7th: Maxima and minima #2
8th: Exam
9th: Double integrals
10th: Iterated integral
11th: Change of variable
12th: Improper integral
13th: Sequence
14th: Infinite series
15th: Power series and series of functions
16th: Exam

予習・復習内容

事前に教科書(日本語・英語)の該当ページを予習しておくこと.
We highly recommend to prepare each lecture by reading the corresponding chapter in the textbook.

関連科目

微分積分Ⅰ
Differential and Integral Calculus 1

教科書 1	書名	Introduction to Calculus Volume I	ISBN	

	著者名	J.H. Heinbockel	出版社	http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-1.PDF	出版年	
教科書 2	書名	Introduction to Calculus Volume II			ISBN	
	著者名	J.H. Heinbockel	出版社	http://www.math.odu.edu/~jhh/Volume-2.PDF	出版年	
教科書に関する補足事項						
参考書 1	書名	新微分積分 II			ISBN	978-4-477-02685-5
	著者名		出版社	大日本図書	出版年	

参考書に関する補足事項
こちらも購入することが望ましい。
It is desirable that you buy this text written in Japanese.

達成目標
A. 基礎事項
(1)2変数の偏微分、陰関数の微分計算ができる.
(2)2変数の累次積分の計算ができる.
(3)2変数での変数変換による積分の計算ができる.
B. 応用力
(1)極値の計算ができる.
(2)包絡線を計算できる
(3)体積や面積が計算できる.
(4)解析学の基礎を理解する.
The goals of this course are to
[basics]
(1) Be able to calculate partial derivatives of two variables and derivatives of implicit function.
(2) Be able to calculate double integral and repeated integral.
(3) Be able to calculate double integral by change of variables.
[application]
(1) Be able to calculate the extreme of function.
(2) Be able to calculate envelope.
(3) Be able to calculate the volume and area.
(4) Be able to understand the basics of analysis.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法:前半担当者分(50%)と金澤担当分(50%)の試験で評価する. それぞれ, 小テストやレポート 30%, テスト 70%の割合で, 総合的に評価する.

評価基準:下記のように成績を評価する。
S:上記試験等の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:上記試験等の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:上記試験等の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:上記試験等の合計点(100 点満点)が 60 点以上

The final grade will be calculated according to the following process: Mini-exam and reports 30 % and the examination 70%.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
質問は随時受け付ける．ただし，予めメール等でアポイントをとることが望ましい．

学習・教育到達目標との対応

（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（B）【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（B）【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers

Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues (C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge (B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society (C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
キーワード

(B1013002a)線形代数Ⅱ[Linear Algebra 2]

科目名[英文名]	線形代数Ⅱ[Linear Algebra 2]				
時間割番号	B1013002a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	齊藤　大樹, 松井　智哉 SAITOH Taiki, MATSUI Tomoya				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

線形代数学は、工学や自然科学，人文科学，社会科学においても基礎となる学問である．講義では，線形代数の基礎とその工学的応用の原理を理解および修得することを目標とする．

Linear algebra is a study that also the underlying in engineering, natural sciences, humanities and social science. In the lecture, the goal is to understand and learn the principles of the foundation and its engineering applications of linear algebra.

授業の内容

教科書の主に 6 章と 7 章を学習する．

1 週目 幾何ベクトルの内積と外積(1)
2 週目 幾何ベクトルの内積と外積(2)
3 週目 数ベクトルの内積
4 週目 グラム・シュミットの直交化法(1)
5 週目 グラム・シュミットの直交化法(2)
6 週目 直交補空間，直交変換，ユニタリ変換(1)
7 週目 直交補空間，直交変換，ユニタリ変換(2)
8 週目 中間試験
9 週目 固有値と固有ベクトル
10 週目 固有値・固有ベクトルの性質
11 週目 行列の三角化とその応用
12 週目 行列の対角化，実対称行列の対角化
13 週目 2 次形式(1)
14 週目 2 次形式(2)
15 週目 正規行列
16 週目 定期試験
Week 1: Inner product and the cross product of the geometric vector (1)
Week 2: Inner product and the cross product of the geometric vector (2)
Week 3: Inner product of the number vector
Week 4: Orthogonalization method of Gram-Schmidt (1)
Week 5: Orthogonalization method of Gram-Schmidt (2)
Week 6: Orthogonal complement, orthogonal transformation, unitary transformation (1)
Week 7: Orthogonal complement, orthogonal transformation, unitary transformation (2)
Week 8: Midterm exam
Week 9: Eigenvalues and eigenvectors
Week 10: The nature of the eigenvalues and eigenvectors
Week 11: Triangulation of matrix and its applications
Week 12: Diagonalization of matrix, diagonalization of a real symmetric matrix
Week 13: Quadratic form (1)
Week 14: Quadratic form (2)
Week 15: Normal matrix
Week 16: Regular exam

予習・復習内容

テキスト以外にも，講義に使うスライド資料は下記 Web ページから閲覧できるので，毎回予め予習してくること．また，講義後，その日の講義内容を復習すること．

In addition to text also, it is required to review the lectures of the day.

関連科目

線形代数Ⅰ
Linear algebra 1

教科書 1	書名	理工系の基礎線形代数学			ISBN	
	著者名	硲野 敏博 加藤 芳文	出版社	学術図書出版社	出版年	1995

教科書に関する補足事項
講義スライド等のレジュメも配布。

参考書に関する補足事項
線型代数に関する参考書は多数あるため、自分にとってわかりやすい参考書を見つけること。

達成目標
・内積空間
(1) ベクトルの内積および外積を計算できるだけでなく, その概念を理解する.
(2) グラムシュミットの直交化法を用いて正規直交系を求めることができる.
(3) 直交補空間の概念を理解できる.
(4) 直交変換を理解できる.
(5) ユニタリ変換の概念を理解できる.

・固有値問題
(1) 行列の固有値および固有ベクトルを計算できる.
(2) 固有値および固有ベクトルの意味および性質を理解できる.
(3) 行列の三角化が行えるだけでなく, その意味や目的を理解できる.
(4) 行列の対角化が行えるだけでなく, その意味や目的を理解できる.
(5) 2 次形式を標準形に変換することができるだけでなく, その意味を理解できる.
(6) 正規行列の概念を理解できる.

- Inner product space
(1) As well as the inner product and the cross product of the vector can be calculated, it is necessary to understand the concept.
(2) It is possible to obtain an orthonormal system using Orthogonal Method Gram Schmidt.
(3) It is necessary to understand the concept of orthogonal complement space.
(4) It is necessary to understand the orthogonal transformation.
(5) It is necessary to understand the concept of a unitary transformation.

・ Eigenvalue problem
(1) It is necessary to calculate the eigenvalues and eigenvectors of the matrix.
(2) It is necessary to understand the meaning and nature of the eigenvalues and eigenvectors.
(3) Not only can be performed triangle of the matrix, it is necessary to understand its meaning and purpose.
(4) Not only can be performed diagonal of the matrix, it is necessary to understand its meaning and purpose.
(5) Not only can convert the quadratic form in the standard form, it is necessary to understand its meaning.
(6) It is necessary to understand the concept of a normal matrix.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法: 試験 80%, レポートおよびミニテスト 20%で評価する.
評価基準: 中間試験と定期試験の平均点を評価点(100 点満点)とし、60 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする.
また, 90 点以上を評価S, 80 点以上 90 点未満を評価A, 70 点以上 80 点未満を評価B, 60 点以上 70 点未満を評価Cとする.
Evaluation method:
It will be evaluated in the report and the mini-test 20%, and test 80%.
Evaluation criteria:
Average points of the midterm exam and regular exam was evaluated (100-point scale), and pass the case of more than 60 points (reaching the goal).
In addition, the more than 90-points is evaluated as S, rated more than 80 points or less than 90 points are evaluated as A, rated more than 70 points or less than 80 points are evaluated as B, more than 60 points or less than 70 points are evaluated as C.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応
機械工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学，自然科学，情報技術，地球環境対応技術に関する科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
電気・電子情報工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
建築・都市システム学課程
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力
(C)【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(C) (Architecture and Building Science Course) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
(C) (Civil and Environmental Engineering Course)The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances

キーワード
線形代数、ベクトル、行列、幾何ベクトル、内積、外積、固有値、固有ベクトル
Linear algebra, vectors, matrices, geometric vectors, dot product, cross product, eigenvalues, eigenvectors

(B1013002b)線形代数Ⅱ[Linear Algebra 2]

科目名[英文名]	線形代数Ⅱ[Linear Algebra 2]				
時間割番号	B1013002b	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	伊藤　公毅 ITO Koki				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

線形代数とは,「比例の高次元化」(＝線形写像)にまつわる代数学である. 工学であろうと自然科学であろうと, 入力に対し出力が「比例関係」にあるような対象は枚挙に暇が無い. (もっといえば, より一般の比例関係でないものも「比例により無限小近似する」というのが微積分のこころである. 微積分までゆくことで「比例」の射程距離は格段に伸びるわけである.) 実際には, 入力も出力も高次元のデータであろうから,「比例の高次元化」は必要不可欠なものである. 入力を m 次元, 出力を n 次元に高次元化すれば, 比例に於ける比例定数は, n 行 m 列の行列となる. この行列についての基本操作, 計算を学ぶことが第一の目標である. 更に, それら操作・計算の背後の意味を理解することが第二の目標である.

This course introduces elementary operations on matrices.

This course deals with background structures of such operations.

授業の内容

[E] https://www.math.ucdavis.edu/~linear/linear-guest.pdf

[J] 理工系の基礎線形代数学

1st: Introduction and review

2nd-3rd: Linear map:

[J] Ch 5

[E] Ch 6

4th: Eigenspace:

[J] Ch 7.1

[E] Ch12

5th-6th: Diagonalization

[J] Ch 7.2

[E] Ch13

7th: review

8th: exam

9th-11th: Inner product space

[J] Ch 6

12th-13th: Quadratic form and diagonalizing symmetric matrices:

[J] Ch 7.4, 7.5

14th-15th: Jordan normal form:

[J] Ch 7.6

16th: exam

[E] https://www.math.ucdavis.edu/~linear/linear-guest.pdf

[J] 理工系の基礎線形代数学

1st: Introduction and review

2nd-3rd: Linear map:
[J] Ch 5
[E] Ch 6

4th: Eigenspace:
[J] Ch 7.1
[E] Ch12

5th-6th: Diagonalization
[J] Ch 7.2
[E] Ch13

7th: review

8th: exam

9th-11th: Inner product space
[J] Ch 6

12th-13th: Quadratic form and diagonalizing symmetric matrices:
[J] Ch 7.4, 7.5

14th-15th: Jordan normal form:
[J] Ch 7.6

16th: exam

予習・復習内容
教科書の演習問題等を解き復習をすること.
Sufficient reviewing and practicing exercises are required.

関連科目

教科書 1	**書名**	理工系の基礎線形代数学			**ISBN**	978-4873611709
	著者名	硲野 敏博 加藤 芳文	**出版社**	学術図書出版社	**出版年**	
教科書 2	**書名**	Linear Algebra			**ISBN**	
	著者名	David Cherney, Tom Denton, Rohit Thomas and Andrew Waldron	**出版社**	https://www.math.ucdavis.edu/~linear/linear-guest.pdf	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	線型代数—Linear Algebra			**ISBN**	978-4535783713
	著者名	長谷川 浩司	**出版社**	日本評論社	**出版年**	

参考書に関する補足事項
講義内容を全てカバーするわけではないが，大いに関連があり参考となるであろう．また，講義では触れない事柄についても興味深い記述がある.
Advanced refernce

達成目標
1) 線形写像を理解すること
2) 線形写像(または行列)の固有空間を求められること

3) 行列の対角化ができること
4) 内積, 2 次形式を理解すること
5) ジョルダン標準形を求められること
The goals of this course are to

1) understand linear maps,
2) find eigen spaces of linear maps (or matrices),
3) diagonalize matrices,
4) understand inner products and quadratic forms,
5) find Jordan normal forms.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 1 回 60% （中間)試験 1 回 20% 演習 2 回 20% 左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準：下記のように成績を評価する。
S：上記試験等の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：上記試験等の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：上記試験等の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：上記試験等の合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。

Course Evaluation
Evaluation is based on exercise and two exams (100 points).
S: total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B1013003a)微分方程式[Differential Equations]

科目名[英文名]	微分方程式[Differential Equations]				
時間割番号	B1013003a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	小林　正和 KOBAYASHI Masakazu				
ナンバリング	GEN_PRN21022				

授業の目標

物理や工学における現象の多くは微分方程式によって記述される。本科目では，微分方程式の概念と基礎を習得することを目標とする。

Most phenomena of physics and engineering are written by differential equations. Aim of this lecture is to understand general idea and basic of differential equation to solve the differential equations.

授業の内容

1 週目　微分方程式の基礎と用語（本講義について）
2 週目　モデリングと定量法について
3 週目　1 次微分方程式の分類
4 週目　変数分離1次微分方程式
5 週目　完全1次微分方程式
6 週目　線形1次微分方程式
7 週目　1次微分方程式の応用
8 週目　中間試験
9 週目　線形微分方程式：解の理論
10 週目　定係数2次線形微分方程式
11 週目　定係数 n 次線形微分方程式
12 週目　不定係数の求め方
13 週目　パラメータ変動
14 週目　線形微分方程式の初期値問題
15 週目　2 次線形微分方程式の応用
16 週目　期末試験

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容について教科書を参考に予習してくること。

1st week: Basic Concept
2nd week: An Introduction to Modeling and Qualitative Method
3rd week: Classifications of First-Order Differential Equations
4th week: Separable First-Order Differential Equations
5th week: Exact First-Order Differential Equations
6th week: Linear First-Order Differential Equations
7th week: Application of First-Order Differential Equations
8th week: Intermediate Examination
9th week: Linear Differential Equations: Theory of Solutions
10th week: Second-Order Linear Homogeneous Differential Equations with Constant Coefficients
11th week: n th-Order Linear Homogeneous Differential Equations with Constant Coefficients
12th week: The Method of Undetermined Coefficients
13th week: Variation of Parameters
14th week: Initial-Value Problems for Linear Differential Equations
15th week: Applications of Second-Order Linear Differential Equations
16th week: Final Examination

Preparation and Review

Review the contents that you learned after lectures every time, and make your preparations for next lessons by reading the textbook.

予習・復習内容

講義で教科書の例題や練習問題を演習しますが，すべての問題を行えるわけではありません。ぜひ予習・復習で残った問題を解いてください。

Although we will practice examples and problems in the textbook in lectures, we cannot solve all problems in the textbook.

Please try to solve the remaining problems in the textbook.

関連科目

微分積分 I, 微分積分 II

Differential and Integral Calculus I, Differential and Integral Calculus II

教科書 1	**書名**	Schaum's Outlines of Differential Equations, Fourth Edition			**ISBN**	978-0-07-182485-9
	著者名	Richard Bronson, Gabriel B. Costa	**出版社**	McGraw-Hill Education	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	物理数学コース 常微分方程式			**ISBN**	978-4-7853-1515-3
	著者名	渋谷仙吉, 内田伏一	**出版社**	裳華房	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的事項
(1)微分の意味が理解でき, 微分方程式と解の関係が理解できる。
(2)常微分方程式が解ける。
B. 1階微分方程式
(1)変数分離形の微分方程式が解ける。
(2)同次方程式, 非同次方程式が解ける。
C. 2 階線形微分方程式
(1)同次方程式が解ける。
(2)非同次方程式が解ける。
D. 物理現象が微分方程式で記述できることを理解できる。

A. Basic
A. Fundamental matters
(1)You can understand meaning of differential equation and relationship between differential equations and solutions.
(2)You can solve ordinary differential equation
B. First-order differential equations
(1)You can solve Separable first-order differential equations
(2)You can solve Exact first-order differential equations
C. Second-order differential equations
(1)You can solve Second-order linear homogeneous differential equations with constant coefficients
(2)You can solve n th-order linear homogeneous differential equations with constant coefficients
D. You can understand the differential equations can describe physical phenomena.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:試験(80%), 演習(20%)で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき, 下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来(A～C)の評価基準を適用する。

[Evaluation method] Examination (80%) and reports (20%)
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all of goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

小林正和
部屋:D-504
Tel:0532-44-6706
E-mail:m-kobayashi@me.tut.ac.jp
希望事項:微分および積分について理解している。

Masakazu Kobayashi
Room: D-504
Tel:0532-44-6706
E-mail:m-kobayashi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

記述なし

Non

オフィスアワー

e-mail にて相談時間を打ち合わせる。
Arrange an appointment by e-mail

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(C)【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード

微分 積分
Differential calculus, Integral calculus

(B1013003b)微分方程式[Differential Equations]

科目名[英文名]	微分方程式[Differential Equations]				
時間割番号	B1013003b	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	鯉田　孝和 KOIDA Kowa				
ナンバリング	GEN_PRN21022				

授業の目標

微分方程式とは、関数と導関数から構成される数式で、求める解は関数である。微分方程式は自然界で広く見られる現象を記述可能であるため、工学的な問題を解くための強力なツールとなる。本講義では微分方程式のうち、単一の変数の関数だけで構成される常微分方程式について、その立て方、解き方について具体例とともに学ぶ。

A differential equation is an essential mathematical expression describing the relationship between some function and its derivatives. This relationship is widely observed in nature; thus, it could be a powerful tool to solve any engineering problem including those in the fields of mechanics, electronics, chemistry, and biology.

In this course, we primarily focus on ordinary differential equations, in which the function depends on a single variable. Differential equations are modeled and solved and many specific examples are introduced.

授業の内容

全15回の講義で教科書の1～14章までを学ぶ。各授業では演習を行い、提出することで出席点数と見なす。

1. Basic Concepts
2. An Introduction to Modeling and Qualitative Methods
3. Classifications of First-Order Differential Equations
4. Separable First-Order Differential Equations
5. Exact First-Order Differential Equations
6. Linear First-Order Differential Equations
7. Applications of First-Order Differential Equations
8. Linear Differential Equations: Theory of Solutions
9. Second-Order Linear Homogeneous Differential Equations with Constant Coefficients
10. nth-Order Linear Homogeneous Differential Equations with Constant Coefficients
11. The Method of Undetermined Coefficients
12. Variation of Parameters
13. Initial-Value Problems for Linear Differential Equations
14. Applications of Second-Order Linear Differential Equations

Examination

In the series of 15 classes , we work through chapters 1 to 14 of the textbook shown below. The session on the first day is devoted to guidance. The end of each class is set aside for practical work.

1. Basic Concepts
2. An Introduction to Modeling and Qualitative Methods
3. Classifications of First-Order Differential Equations
4. Separable First-Order Differential Equations
5. Exact First-Order Differential Equations
6. Linear First-Order Differential Equations
7. Applications of First-Order Differential Equations
8. Linear Differential Equations: Theory of Solutions
9. Second-Order Linear Homogeneous Differential Equations with Constant Coefficients
10. nth-Order Linear Homogeneous Differential Equations with Constant Coefficients
11. The Method of Undetermined Coefficients
12. Variation of Parameters
13. Initial-Value Problems for Linear Differential Equations
14. Applications of Second-Order Linear Differential Equations

Examination

予習・復習内容
教科書の英単語は意味を全て調べておくこと。
Please read and clarify the meaning of the terms used in the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Schaum's Outline of Differential Equations, Fourth Edition			**ISBN**	0071824855
	著者名	Richard Bronson, Gabriel Costa	**出版社**	McGraw-Hill Professional	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Schaum's Outline of Differential Equations, Fourth Edition			**ISBN**	0071824855
	著者名	Richard Bronson, Gabriel Costa	**出版社**	McGraw-Hill Professional	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項

達成目標
常微分方程式を立てて解くことができる。

Understanding how to model the differential functions and the techniques used to solve them.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末テスト (70%) と演習 (30%)で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Evaluation is made by the exam (70%) and practical work (30%).

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
授業と定期試験(対面)
Regular Class and Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
koida@eiiris.tut.ac.jp
内線 7147

koida@eiiris.tut.ac.jp
(ext) 7147

ウェルカムページ
http://www.eiiris.tut.ac.jp/koida/
http://www.eiiris.tut.ac.jp/koida/

オフィスアワー
9:30-19:00
9:30-19:00

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード
数学
Mathematics

(B1013004a)確率・統計[Probability and Statistics]

科目名[英文名]	確率・統計[Probability and Statistics]				
時間割番号	B1013004a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也, 松尾　幸二郎, 宮田　譲 MIURA Kinya, MATSUO Kojiro, MIYATA Yuzuru				
ナンバリング	GEN_PRN21020				

授業の目標

確率・統計学の基礎理論, 具体的なデータの計算によって, 確率・統計学の基本的な考え方を学ぶ。そして確率・統計学の数学的取り扱い方を身に付ける。

This subject gives the lecrute of fundamental theory of probability and statistics. This subject also covers concrete calculation of probablity and statistics. Students learn the mathematical treatment of the theory of probability and statistics.

授業の内容

１年間を通じて以下の内容を講義する。特に数学的側面を重視する。なお演習等には十分な時間が取れないので、適宜レポートを出題する場合もある。

前期

第１週：平均値と分散

第２週：相関係数と単純回帰分析

第３週：重回帰分析と偏相関係数

第４週：公理論的確率と経験的確率の概念

第５週：母集団と標本

第６週：確率変数と確率分布

第７週：期待値と積率

第８週：積率母関数

第９週：２項分布とポアソン分布

第１０週：正規分布

第１１週：標本平均と標本分散の分布

第１２週：検定と区間推定

第１３週：χ２－分布とその応用

第１４週：t－分布とその応用

第１５週：Ｆ－分布とその応用

第１６週：期末試験

なお時間に余裕がある場合には多変数確率分布, 点推定についても講義する。

事前にプリントを配布するので, プリントの予習・復習を必ず行うこと。

This subject will give the following contents. Particularly this subject emphasizes the mathetatical treatment. Some intermediate reports will be given to students since the sufficient practice of the probability theory can not be taken in the class.

1st term

1st week: mean value and variance

2nd week: correlation coefficient and single regression analysis

3rd week: multiregression analysis and partial correlation coefficient

4th week: probability theory

5th week: population and sample

6th week: random variable and probability distribution

7th week: expectation and moment

8th week: moment generating function

9th week: binary and Poisson distributions

10th week: normal distribution

11th week: sample average and variance

12th week: statistical test and interval estimate

13th week: χ2 distribution

14th week: t distribution

15th week: F distribution

16th week: term examination

If this class will have time, the multivariable probability distribution will be lectured. Handouts will be distributed to students

before lectures. Students are required to carefully read the handouts.

予習・復習内容

授業で配布するプリントをよく読んでおくこと。
Students are required to carefully read the handouts.

関連科目

教科書 1	**書名**	確率統計			**ISBN**	978-4-627-05561-2
	著者名	高専の数学教材研究会	**出版社**	森北出版	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

主要参考書：統計学の具体的な応用を解説したものとして，以下を用いる。
教科書と同様の扱いをするので，購入を強く希望する。
宮田　譲ほか，「都市，地域，環境概論」，初版，朝倉書店，2013 年
宮田　譲ほか，「社会科学の学び方」，初版，朝倉書店，2001 年，（科学技術入門シリーズ９）
その他：定期試験については，受講生の負担を軽減するように，授業中に重要となる内容を説明する。
Handouts shall be distributed in the lecture.

参考書 1	**書名**	都市，地域，環境概論			**ISBN**	978-4-254-26163-3
	著者名	宮田　譲　他	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2013
参考書 2	**書名**	社会科学の学び方			**ISBN**	4-254-20509-0
	著者名	宮田　譲　他	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2001
参考書 3	**書名**	Introductory Statistics			**ISBN**	978-0-471-61518-7
	著者名	Thomas Wonnacott and Ronald Wonnacott	**出版社**	Willey	**出版年**	1990

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 平均値と分散
(1)統計データの分析方法を理解し，工学的応用を理解する。
(2)平均値，分散の計算と，その解釈の修得。

B. 相関係数と単純回帰分析
(1)相関係数の計算と，その幾何学的意味を理解する。
(2)最小2乗法の計算と，その幾何学的意味を理解する。
(3)以上について，工学的応用を理解する。

C. 重回帰分析と偏相関係数
(1)正規方程式の導出と重回帰係数の求め方を理解する。
(2)偏相関係数の定義とその意味を理解する。
(3)以上について，工学的応用を理解する。

D. 確率の概念
(1)公理論的確率論と経験的確率の違いを理解する。
(2)さまざまな確率計算の修得。
(3)工学における確率現象を理解する。

E. 母集団と標本
(1)標本抽出の必要性，標本誤差の意味を工学的観点から理解する。

F. 確率変数と確率分布
(1)確率変数の必要性を工学的観点から理解する。
(2)積率の意味と積率母関数の導出を修得する。
(3)2項分布，ポアソン分布，正規分布の具体的計算を行う。

G. 検定と区間推定

(1)具体的な工学的事例をとおして検定と区間推定を行う。

H. $\chi 2$ 分布, t 分布, F 分布
(1)$\chi 2$ 分布, t 分布, F 分布について工学的具体例を用いて, 検定と区間推定を行う。
(2)$\chi 2$ 分布, t 分布, F 分布の相互関係を理解する。

I. 多変数確率分布
(1)多変数確率分布について, その数学的定式化を理解する。

J. 点推定
(1)点推定の必要性を理解する。
(2)推定量の特性(一致性, 不偏性, 有効性, 充分性)を理解する。
(3)最尤法を理解する。
(4)数学的に厳密な検定の考え方を理解する。
A. Mean value and variance
(1)To understand the statistical data processing
(2)To understand the implication of the mean value and the variance

B. Correlation coefficient and single regression analysis
(1)To undestand the single regression analysis.

C. Multiregression analysis and partial correlation coefficient
(1)To understand the derivation and solution of the normal equations.

D. Probability theory
(1)To undestand the concept of the probability theory.

E. Population and sample
(1)To undestand the necessity of sampling.

F. Random variable and probability distribution
(1)To understand the concept of the random variable.

E. Statistical test and interval estimation
(1)To undestand the concept of the statistical test and interval estimation

F. $\chi 2$, t and F distributions
(1)To undestand the three stochastic distributions.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
成績の評価法:前期において定期試験1回(100%)で評価する。
成績の評価基準:前期における達成目標を全て含んだ期末試験を行い, 試験の点数 100 点満点)が 90 点以上を S, 80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C とする。
特別な理由がない限り追再試は行わないので, 注意して欲しい。
Evaluation of achievement: The academic score of each student is evaluated by the term examination (100%).
Criteria of evaluation: Score S is over 90 points, score A is 80~89 points, score B is 70~79 points and score C is 60~69 points in the term examination.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
授業中に重要事項を随時講義する。
Important points in the lectute shall be emphasized and repeated.

その他
教官室:D806
電話番号:0532-44-6955
e-mail:miyata@ace.tut.ac.jp
room:D806
phone:0532-44-6955
e-mail:miyata@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://pm.hse.tut.ac.jp/kakenA/
http://pm.hse.tut.ac.jp/kakenA/

オフィスアワー

火曜日午後4時から5時まで
16:00 to 17:00 on every Tuesday

学習・教育到達目標との対応

建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
特に関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(C)【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
Particularly-relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード

確率論, 統計学, 検定, 推定, 正規分布, 多重積分
probability, statistics, stochastic distribution, esochastic estimation

(B1013004b)確率・統計[Probability and Statistics]

科目名[英文名]	確率・統計[Probability and Statistics]				
時間割番号	B1013004b	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	高橋　由雅 TAKAHASHI Yoshimasa				
ナンバリング	GEN_PRN21020				

授業の目標

自然科学や工学など多くの分野におけるデータの背後にある確率・統計現象を正しく把握し，活用するための数学的基礎を学ぶ。

The module provides an introduction to probability and statistics, which form the important of much of applicable data sciences. The theory behind probability and statistics will be introduced, along with examples occurring in diverse areas such as dayly life, the environment, medicine and so on.

There are no prerequisites for this module.

授業の内容

１週目　はじめに／用語と基礎知識
２週目　確率の定義（１）：数学的確率と統計的確率
３週目　確率の定義（２）：公理的定義と基本定理
４週目　条件付き確率
５週目　ベルヌイ試行と2項定理
６週目　確率変数と確率分布（2項分布）
７週目　連続型確率変数（密度関数と分布関数）
８週目　確率変数の期待値
９週目　確率変数の分散
１０週目　チェビシェフの不等式と大数の法則
１１週目　正規分布と関連分布（χ2 分布、F 分布）
１２週目　統計的推定
１３週目　統計的検定
１４週目　時間とともに変化する確率（確率過程）
１５週目　講義のまとめ
１６週目　定期試験

1st week Introduction and terminology
2nd week Definition of probability (1) (mathematical probability and statistical probability)
3rd week Definition of probability (2) (axiomatic probability and basic theorem)
4th week Conditional probability
5th week Vernyui trial and binominal theorem.
6th week Discrete random variables and probability distribution
7th week Continuous random variables(density function and distribution function)
8th week Expectation value of random variables
9th week Variance of random variables
10th week Chebycheff's inequality and law of large numbers
11th week Normal distribution and the related distribution
12th week Inferential statistics
13th week Statistical tests
14th week Stochastic process
15th week Recapitulation
16th week Examination at the end of the term

予習・復習内容

毎回、教科書等で予習・復習をすること。また、講義資料については指定する URL から参照・ダウンロードできようにしますので復習等に役立ててください。

Supporting material will be made available on the class website (to be announced).

関連科目

教科書 1	**書名**	概説　確率統計[第2版]	**ISBN**	978-

						4781912349
	著者名	前園宜彦	**出版社**	サイエンス社	**出版年**	2009

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）確率の基本的定義を理解する
2）離散型確率変数に関する数学的基礎を理解し、確率計算ができる
3）2項分布，ポアソン分布を描いて，平均や分散などを求めることができる
4）条件付き確率やベイズの定理を導くとともに，具体的な例題において確率を求めることができる
5）連続型確率変数に関する数学的基礎を理解し、確率計算ができる
6）確率密度が与えられたとき，確率分布や期待値，分散などを計算することができる
7）チェビシェフの不等式や大数の法則について理解する
8）データやモデルパラメータの統計的推定の意味を理解し、活用できる
9）統計的検定の意味と基本的な手順を理解し，データ分析に活用できる
1)understand the basic definitions of probability;
2)understand and perform calculations for discerete random variables and distributions;
3)recognise important standard distributions;
4)apply the idea of conditional probability via the law of total probability and Bayes' rule;
5)understand the mathematical basis for continuous random variables and distributions;
6)understand and perform calculations for probability density function and distribution function;
7)understand Chebyshev's inequality and the law of large number;
8)understand the formulation of inference problems in terms of data and model parameters;
9)understand the form and logical basis of significance tests, and be able to interpret such tests;

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績評価は、定期試験 80%、課題 20%の合計で行う。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
Reports and classroom performance 20%
Written examination 80%
Total score for
S: 90-100
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

教科書、資料の持込み不可
Closed books and no materials.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜・昼休み（12:00-13:00）
Wednesday 12:00-13:00

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活

用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード
確率　統計　確率変数　確率密度　分布関数　統計的推定　仮説検定
probability, statistics, random variables probability density function distribution function statistical estimation, significcance tests

(B1013006a)物理学Ⅱ[Physics 2]

科目名[英文名]	物理学Ⅱ[Physics 2]				
時間割番号	B1013006a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	井上　光輝 INOUE Mitsuteru				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

物理学は自然現象を対象とする学問であり、工学部のあらゆる分野の基礎となる学問である。とりわけ、物理学 II で学ぶ電磁気学は、私たちの生活を支え発展させるのに必要な基礎科目として大きな役割を担っている。電磁気学の学習の第１歩は、“場”の考え方に慣れ親しむことから始めよう。
場のイメージを描き、その上に立って基本法則とその物理的イメージをつかむことを目標とする。

Physics is a science of natural phenomena and underlies all fields of engineering. Electromagnetics in particular, which is to be learned in Physics 2, plays a significant role as a basic subject necessary for supporting and developing our everyday life. The first step to learn electromagnetics is to become familiar with the concept of a "field".
This course aims to image a field, learn fundamental laws and grasp a physical image based on the field.

授業の内容

第1週　数学的記述の基礎
第2週　クーロンの法則と重ね合わせの原理、電界と電気力線
第3週　ガウスの法則と簡単な応用例
第4週　電位
第5週　電位の勾配、等電位面
第6週　導体、静電容量
第7週　コンデンサ
第8週　静電エネルギー
第9週　電流とオームの法則
第10週　電流による」磁気作用、磁界と磁力線
第11週　ビオ・サバールの法則とアンペールの法則
第12週　ファラデーの電磁誘導の法則
第13週　自己誘導と相互誘導
第14週　磁気エネルギー
第15週　総合復習
第16週　期末試験

1st week: Fundamentals of mathematical description
2nd week: Coulomb's law and principle of superposition, Electric field and electric line of force
3rd week: Gauss' law and simple examples of applications
4th week: Electric potential
5th week: Grade of electric potential, Equipotential plane
6th week: Conductor, Electrostatic capacity
7th week: Capacitor
8th week: Electrostatic energy
9th week: Electric current and Ohm's law
10th week: Magnetic action by current, Magnetic field and magnetic line
11th week: Biot-Savart law and Ampere's rule
12th week: Faraday's law of electromagnetic induction
13th week: Self induction and mutual induction
14th week: Magnetic energy
15th week: Comprehensive review
16th week: Term-end Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容と教科書と読み返して授業ノートを作成し、演習問題を解く。

次回講義の内容について、テキストなどを参考に予習しておくこと。

Read again the lecture contents and textbook every time and make a class notebook and work out the exercise.
Preparing for tomorrow's lesson contents in refer to the textbook, etc.

関連科目

物理学Ⅰ
微分積分Ⅰ、Ⅱ（微分、積分）
線形代数Ⅰ、Ⅱ（ベクトル
物理実験

Physics I
Differential calculus integral calculus I, II (differential calculus, integral calculus)
Linear algebra I, II (vector)
Physical experiment

教科書 1	**書名**	電磁気学「改訂版」初めて学ぶ人のために			**ISBN**	978-4-563-02237-2 C3
	著者名	砂川重信	**出版社**	倍風館	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	はじめて学ぶ電磁気学			**ISBN**	978-4-621-04651-7 C3
	著者名	太田昭男	**出版社**	丸善株式会社	**出版年**	平成 23

参考書に関する補足事項

電磁気学に関する書籍は図書館や書店に多数あります。教科書・参考書以外にも自分に合った書籍を探すことをお勧めします。

There is a lot of the books about the electromagnetism in the library and the bookstore. I recommend you look for the book which matched yourself as well as a textbook and/or a reference book.

達成目標

A. 基礎的な事項
(1) 用語を正しく技術することができる。
(2) 電磁気学に関する SI 単位系を使うことができる。
(3) 内積、外積を理解し、直交座標系におけるベクトルの初歩的演算ができる。
(4) 線積分、面積分を理解し、簡単な計算ができる。

B. 電荷と電界
(1) クーロンの法則を理解し、力をベクトルであらわすことができる。
(2) 電界と電位の関係を理解し、図を利用して描くことができる。
(3) ガウスの法則を理解して、単純な電界計算に用いることができる。

C. 導体
(1) 導体の電気的な性質を理解し、静電界中に置かれた導体の電荷分布、導体外部の電気力線、等電位面の概略が描ける。
(2) コンデンサの静電容量や静電エネルギーを計算できる。

D. 電流と磁界
(1) 電流が電荷の流れであることを理解し、その大きさを求めることができる。
(2) 電流のまわりに発生する磁界の、大きさと向きを求めることができる。
(3) 磁場中におかれた電流に作用する力の、大きさと向きを求めることができる。

E. 電磁誘導
(1)ファラデーの一連の実験を通して電磁誘導の現象を理解できる。

A. Fundamental matters
(1) Properly describe words and terms.
(2) Use SI unit system concerning electromagnetics.
(3) Understand an inner product and an outer product, and perform elementary computation of a vector in an orthogonal

coordinate system.
(4) Understand line integral and surface integral, and perform simple calculation.

B. Electric charge and field
(1) Understand Coulomb's law and vectorially express force.
(2) Understand a relation between electric field and electric potential, and illustrate it in a diagram.
(3) Understand Gauss' law and use it for a simple calculation of electric field.

C. Conductor
(1) Understand electrical properties of conductors, and illustrate outlines of charge distribution of a conductor placed in the electrostatic field, line of electric force outside a conductor, and equipotential surface.
(2) Calculate electrostatic capacity and energy of a capacitor.

D. Electric current and Magnetic field
(1) Understand that electric current is a flow of electric charge, and find its size.
(2) Find a size and a direction of a magnetic field arising around electric current.
(3) Find a size and a direction of force acting on electric charge placed in a magnetic field.

E. Electromagnetic induction
(1) Understand phenomena of electromagnetic induction through a series of experiments on Faraday's laws.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
中間試験　40%
期末試験　40%
レポート　20%

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

Mid-Term Examination 40%
Term-end Examination 40%
Report 20%

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
講義内容の理解を深め、理解度を計るため、随時演習を行います。
教科書の演習問題にも自主的に取り組むこと。
物理は単なる計算問題では無い。公式の暗記ではなく、具体的な物理的イメージを描けるように心がける。

Others:
Will do the exercise anytime, to deepen the understanding of lecture contents and to measure an understanding degree.
Work out the exercises of the textbook with voluntarily.
Physics not is a mere calculation issue. Not official learning by heart, but keep it in mind to be able to draw a concrete physical image.

ウェルカムページ

オフィスアワー
訪問を希望する場合は、e-mail、内線電話などで随時時間を打ち合わせる。

Email or call me (by Extention phone) anytime, if you wish to meet me for discussion.

学習・教育到達目標との対応
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力。
科学技術に関する基礎知識を獲得し，それらを活用できる能力。

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(C)【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(C) Fundamental skill and its ability to capture technology scientifically.
Ability to acquire basic knowledge on science and technology and to utilize them.

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード
自然科学
Natural Science

(B1013006b)物理学Ⅱ[Physics 2]

科目名[英文名]	物理学Ⅱ[Physics 2]				
時間割番号	B1013006b	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	須田　善行, 井上　光輝 SUDA Yoshiyuki, INOUE Mitsuteru				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

物理学は自然現象を対象とする学問であり、学部で学ぶあらゆる分野の基礎となる学問である。とりわけ、物理学Ⅱで学ぶ電磁気学は、私たちの生活を支え発展させるための基盤技術に必要な基礎科目として大きな役割を担っている。電磁気学の学習の第1歩は“場”の考え方に慣れ親しむことである。まずはここから始めよう。

本講義が終了した時には、場のイメージを描け、その上に立って電磁気学の基本法則とその物理的イメージをつかめることを目標とする。

Electromagnetism is the most important basic subject in the field of electrical, electronic and information engineering. This course covers the basic equations to describe an electric field, magnetic field, and electromagnetic field. The lectures will help students to develop their ability to think about the basic problems of electric and electronic information engineering, which are necessary to understand the basic technology in our daily life.

授業の内容

1 週目　クーロンの法則
2 週目　電界と電気力線
3 週目　ガウスの法則、電場の計算
4 週目　導体、静電ポテンシャル
5 週目　電位の勾配、等電位面
6 週目　コンデンサー、静電容量
7 週目　コンデンサーの接続、静電エネルギー
8 週目　誘電体中の静電場、電束密度
9 週目　第 9 週目までに中間試験を実施し、試験内容の解説を行う
10 週目　電流間に働く力、磁束密度
11 週目　磁場に関するガウスの法則、アンペールの法則、磁束密度の計算
12 週目　アンペールの力、ローレンツ力、磁性体
13 週目　電磁誘導
14 週目　インダクタンス
15 週目　マクスウェルの方程式、変位電流
16 週目　期末試験

1st week: Coulomb's law
2nd week: Electric field and electric line of force
3rd week: Gauss' law and field calculation
4th week: Conductor and static electricity potential
5th week: Potential gradient and equipotential plane
6th week: Capacitors and capacitance
7th week: Connection of capacitors and electrostatic energy
8th week: Static electric field in dielectrics and electric flux density
9th week: Intermediate exam
10th week: Force acted between electric currents and magnetic flux density
11th week: Gauss's theorem, Ampere's law, and calculation of magnetic flux density
12th week: Lorentz force, magnetic materials
13th week: Electromagnetic induction
14th week: Inductance
15th week: Maxwell equations, displacement current
16th week: Periodic exam

予習・復習内容

毎回の講義内容と教科書とを読み返して授業ノートを作成し、演習問題を解く。
次回講義の内容について、教科書などを参考に予習しておくこと。
Studying the next chapter based on text is recommended.

関連科目

物理学Ⅰ

微分積分Ⅰ，Ⅱ（微分、積分）
線形代数Ⅰ，Ⅱ（ベクトル）
物理実験

教科書 1	書名	電磁気学「改訂版」初めて学ぶ人のために			ISBN	
	著者名	砂川重信	出版社	倍風館	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1) 専門用語を正しく使うことができる。
(2) 電磁気学に関する SI 単位系を使うことができる。
(3) 内積、外積を理解し、直交座標系におけるベクトルの初歩的な演算ができる。
(4) 線積分、面積分を理解し、簡単な計算ができる。

B. 電荷と電場
(1) クーロンの法則を理解し、力をベクトルであらわすことができる。
(2) 電場と電位の関係を理解し、図を利用して描くことができる。
(3) ガウスの法則を理解して、単純な電場計算に用いることができる。

C. 導体
(1) 導体の電気的な性質を理解し、静電場中に置かれた導体の電荷分布、導体外部の電気力線、等電位面の概略が描ける。
(2) コンデンサの静電容量や静電エネルギーを計算できる。

D. 電流と磁界
(1) 電流が電荷の流れであることを理解し、その大きさを求めることができる。
(2) 電流のまわりに発生する磁場の大きさと向きを求めることができる。
(3) 磁場中におかれた電流に作用する力の大きさと向きを求めることができる。

E. 電磁誘導
(1)ファラデーの一連の実験結果を通して電磁誘導の現象を理解できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験　30%
期末試験　50%
レポート　20%
　以上の割合で、総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
　S：達成目標をすべて達成しており、かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
　A：達成目標をすべて達成しており、かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
　B：達成目標を9つ達成しており、かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
　C：達成目標を6つ達成しており、かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居　室：C-310
E-Mail：suda@ee.tut.ac.jp
内線：6726

その他：

講義内容の理解を深めて理解度を計るため、毎回演習を行います。
演習課題が解けるようになるために教科書の演習問題にも自主的に取り組むこと。
物理は単なる計算問題ではありません。公式の暗記ではなく、具体的な物理的イメージをノートに描くことを心がけましょう。

Staff room: C-310
E-Mail: suda@ee.tut.ac.jp
Extension line: 6726

ウェルカムページ

http://www.pes.ee.tut.ac.jp/
http://www.pes.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

訪問を希望する場合は、e-mail や内線電話などで随時時間を打ち合わせる。
Contact me by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

自然科学

(B1013007a)物理学Ⅲ[Physics 3]

科目名[英文名]	物理学Ⅲ[Physics 3]				
時間割番号	B1013007a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	伊崎　昌伸 IZAKI Masanobu				
ナンバリング	GEN_PRN21022				

授業の目標

熱機関の効率、平衡および化学変化を考えるための基礎となる熱力学を理解する。

To understand thermodynamics that serves efficiency of heat cycle, equilibrium state, and chemical reactions.

授業の内容

第 1 回　熱力学の基礎
第 2 回　理想気体
第 3 回　状態方程式
第 4 回　熱力学第一法則(I)
第 5 回　熱力学第一法則(II)
第 6 回　熱力学第二法則(I)
第 7 回　熱力学第二法則(II)
第 8 回　熱機関の効率
第 9 回　エントロピー(I)
第 10 回　エントロピー(II)
第 11 回　熱力学関数(I)
第 12 回　熱力学関数(II)
第 13 回　平衡の条件
第 14 回　化学平衡
第 15 回　分子運動と熱力学
第 16 回　期末試験
1st heat
2nd Ideal gas
3rd pV=nRT
4th 1st low of thermodynamics I
5th 1st low of thermodynamics II
6th 2nd low of thermodynamics I
7th 2nd low of thermodynamics II
8th Efficiency of heat cycle
9th Entropy I
10th Entropy II
11th Thermodynamic function I
12th Thermodynamic function II
13th Equilibrium state
14th Chemical equilibrium
15th Molecular dynamics
16th Examination

予習・復習内容

レポート課題を出しますから予習と復習を行って下さい。

Preparation and review by homework

関連科目

高校程度の数学・物理・化学の知識

Fundamental knowledge on Physics and Chemistry

教科書 1	**書名**	熱力学			**ISBN**	7853-2035-4
	著者名	三宅哲	**出版社**	裳華房	**出版年**	

教科書に関する補足事項

資料・演習課題は配布

Text will be hand out.

参考書 1	**書名**	Fundamentals of Physics			**ISBN**	978-0-300-19220-9
	著者名	Ramamurti Shankar	**出版社**	lehman's	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

達成目標
1)熱力学に関する用語を正しく理解すること。
2)熱力学の基本法則を理解していること。
3)熱力学の基本法則を用いて、基本的な問題を解くことができること。
1. To understand technical terms
2. To understand thermodynamics low
3. To solve the basic problem by using thermodynamics

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

S：達成目標をすべて達成しており、かつ試験・レポートの評価点(100 点満点)が 90 点以上。
A：達成目標をすべて達成しており、かつ試験・レポートの評価点(100 点満点)が 80 点以上。
B：達成目標を全て達成しており、かつ試験・レポートの評価点(100 点満点)が 70 点以上。
C：達成目標を全て達成しており、かつ試験・レポートの評価点(100 点満点)が 60 点以上。
Reports must be submitted.
exam.:70%, reports:30%

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

教官室　D-505
内線：6694
e-mail：m-izaki@me.tut.ac.jp
Room D-505
Phone: 6694
e-mail: m-izaki@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時、事前に連絡すること

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用
科学技術に関する基礎知識を獲得し、それらを活用できる能力

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Utilizing the ability realized from the acquisition of a basic knowledge in science and technology; the mastery of subjects in mathematics, natural science, information technology, MOT, global environmental technology, and intellectual property
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science,

information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

熱力学

Thermodynamics

(B1013007b)物理学Ⅲ[Physics 3]

科目名[英文名]	物理学Ⅲ[Physics 3]				
時間割番号	B1013007b	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	岡田　浩 OKADA Hiroshi				
ナンバリング	GEN_PRN21022				

授業の目標

熱機関の効率、平衡および化学変化を考えるための基礎となる熱力学を理解する。

To understand thermodynamics that serves efficiency of heat cycle, equilibrium state, and chemical reactions.

授業の内容

第 1 回　熱力学の基礎
第 2 回　理想気体
第 3 回　状態方程式
第 4 回　熱力学第一法則(I)
第 5 回　熱力学第一法則(II)
第 6 回　熱力学第二法則(I)
第 7 回　熱力学第二法則(II)
第 8 回　熱機関の効率
第 9 回　エントロピー(I)
第 10 回　エントロピー(II)
第 11 回　熱力学関数(I)
第 12 回　熱力学関数(II)
第 13 回　平衡の条件
第 14 回　化学平衡
第 15 回　分子運動と熱力学
第 16 回　期末試験

1st heat
2nd Ideal gas
3rd pV=nRT
4th 1st low of thermodynamics I
5th 1st low of thermodynamics II
6th 2nd low of thermodynamics I
7th 2nd low of thermodynamics II
8th Efficiency of heat cycle
9th Entropy I
10th Entropy II
11th Thermodynamic function I
12th Thermodynamic function II
13th Equilibrium state
14th Chemical equilibrium
15th Molecular dynamics
16th Examination

予習・復習内容

レポート課題を出すので予習と復習を行うこと。

Preparation and review by homework

関連科目

高校程度の数学・物理・化学の知識

Fundamental knowledge on Physics and Chemistry

教科書 1	**書名**	熱力学			**ISBN**	7853-2035-4
	著者名	三宅哲	**出版社**	裳華房	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	Mechanics, relativity, and thermodynamics			ISBN	9780300192209
	著者名	R. Shankar	出版社	Yale University Press	出版年	2014

参考書に関する補足事項

達成目標

達成目標
1)熱力学に関する用語を正しく理解すること。
2)熱力学の基本法則を理解していること。
3)熱力学の基本法則を用いて、基本的な問題を解くことができること。

1. To understand technical terms
2. To understand thermodynamics low
3. To solve the basic problem by using thermodynamics

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート:30%、期末試験:70%
評価基準
S:達成目標をすべて達成しており、かつ試験・レポートの評価点(100 点満点)が 90 点以上。
A:達成目標をすべて達成しており、かつ試験・レポートの評価点(100 点満点)が 80 点以上。
B:達成目標を全て達成しており、かつ試験・レポートの評価点(100 点満点)が 70 点以上。
C:達成目標を全て達成しており、かつ試験・レポートの評価点(100 点満点)が 60 点以上。
Reports must be submitted.
exam.:70%, reports:30%

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時、事前に連絡すること
Contact the lecturer before coming to his office.

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用
科学技術に関する基礎知識を獲得し、それらを活用できる能力

(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Utilizing the ability realized from the acquisition of a basic knowledge in science and technology; the mastery of subjects in mathematics, natural science, information technology, MOT, global environmental technology, and intellectual property

キーワード

熱力学
Thermodynamics

(B10130080)物理学Ⅳ[Physics 4]

科目名[英文名]	物理学Ⅳ[Physics 4]				
時間割番号	B10130080	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	内山　直樹 UCHIYAMA Naoki				
ナンバリング	GEN_PRN21020				

授業の目標

自然界で多く見られる種々の振動および波動現象について，運動方程式の形で数学的に表現し，その解法および解の性質について学習する．さらに，波動の一種である光についてもその基本的性質および現象例を学習する．

Vibration and wave phenomena in the natural world are lectured. Equations of motion for these phenomena are learned. Also we learn the basic properties and phenomena for the light.

授業の内容

第 1 回　振動波動の概説，単振動
第 2 回　振動のエネルギ，単振り子
第 3 回　振動の合成・うなり
第 4 回　減衰振動
第 5 回　強制振動
第 6 回　連成振動
第 7 回　波動関数
第 8 回　中間試験
第 9 回　波動の干渉，反射・透過，波の伝播速度
第 10 回　波動方程式，弦，気柱の固有振動
第 11 回　音波とその特徴
第 12 回　平面波，球面波
第 13 回　光波，偏光
第 14 回　光の干渉
第 15 回　回折格子
第 16 回　定期試験
1st week　simple harmonic vibration
2nd week　energy of vibration, simple pendulum
3rd week　harmonic vibration, beat
4th week　damped vibration
5th week　forced vibration
6th week　coupled vibration
7th week　wave function
8th week　midterm examination
9th week　wave interference, reflection and permeation, travel speed
10th week　wave equation, vibration of chord and gas column
11th week　sound wave
12th week　planar wave, spherical wave
13th week　optical wave, polarization
14th week　light interference
15th week　diffractive grating
16th week　periodic examination

予習・復習内容

復習の手助けのために演習問題を課す．数式の展開などは講義中に十分行えない場合もあるので，毎回の講義内容の復習は必須である．適宜講義に使用する資料を配布する．

Review of every week lectures is essential.
Study of the next content is desirable using references.

関連科目

微分積分Ⅰ・Ⅱ，線形代数Ⅰ・Ⅱ，微分方程式，物理Ⅰ

Differential and Integral Calculus 1・2, Linear Algebra 1・2, Differential equations, Physics 1, Kinetics of Machinery.

教科書に関する補足事項

講義時に適宜資料を配布する

Handout will be distributed in class.

参考書 1	**書名**	物理学			**ISBN**	4-7853-2019-2 C3042
	著者名	小出昭一郎	**出版社**	裳華房	**出版年**	1991
参考書 2	**書名**	Physics 3rd edition (in Japanese)			**ISBN**	978-4-7853-2074-4
	著者名	S. Koide	**出版社**	Shokabo Co., Ltd.	**出版年**	1997

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)振動および波動現象に関する用語を正しく理解する.
(2)各種振動と波動を運動方程式の形で数学的に表現できること.
　また, その方程式を解き, 解の物理的意味が理解できること.
(3)光の波としての性質である回折や干渉について, その基本的性質を理解する.
(1): Understanding the terms of vibration and wave phenomena.
(2): Expression of equation of motion about various types of vibration and wave. In addition, solving these equations and understanding the physical meaning of the solutions.
(3): Understanding of basic characteristics of the wave of light from the diffraction and interference as example.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:
達成目標の到達度を演習問題(10 点満点), 中間試験(45 点満点), 定期試験(45 点満点)の合計(100 点満点)で評価する.

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき, 下記のように成績を評価する.
S:試験・演習問題の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:試験・演習問題の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:試験・演習問題の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:試験・演習問題の合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

Evaluated by out of 100 points (Exercises; 10 points, midterm exam.; 45 points, periodical exam.; 45 points).

S: Total points of examination and exercises, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of examination and exercises, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of examination and exercises, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of examination and exercises, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

担当教員の部屋:D-403
e-mail:ise@me.tut.ac.jp
Room:D-403
e-mail:ise@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

e-mail にて随時受け付ける
Contact me by email before coming if possible.

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術, 地球環境対応技術の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力及び力学を主体とする物理学の基礎力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(D1) Have mathematical ability and basic physical skills, mainly mechanics, which are required to learn infrastructure engineering

キーワード
振動，波動，運動方程式，音波，光波
vibration, wave, equations of motion, sound wave, light wave

(B1013009a)物理実験[Physics Laboratory]

科目名[英文名]	物理実験[Physics Laboratory]				
時間割番号	B1013009a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	横山　誠二, 鹿毛　あずさ, 西川原　理仁, 青葉　知弥, 林　和宏 YOKOYAMA Seiji, KAGE Azusa, NISHIKAWARA Masahito, AOBA Tomoya, HAYASHI Kazuhiro				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

基本的な物理量の測定を通じて,自然現象に対する認識を深めるとともに,実験者としての素養を身につける。

The objects of this subject are to understand physical phenomena and to develop a sense of engineer through measurement of physical properties.

授業の内容

第 1 週目：誤差, レポートの書き方
第 2 週目以後, 1課題を 2 週で行う. 1 週目は実験, 2 週目は結果の整理.
1. 距離の測定
2. 剛性率
3. 運動の3大法則
4. 熱の仕事当量
5. 電磁誘導
6.密度測定
レポートは第 2 週目終了時までに提出する.
[注意事項]
「物理実験指導書（英文）」に各実験の説明があり,これに沿って授業を行う。1 人で行う実験テーマもあるが,多くの実験は2人または 3 人で 1 班を作って行う。学期途中で多くの履修放棄者が出ると,実験班の再編成が必要となり,他の学生にも迷惑となるので,熟慮してから履修申請すること。
First week: Experimental error and how to draw a figure.
On and after second week: Performing the following experimental subject on a first class. writing a report on the subject on a next class.
Subjects;
1) Distance
2) Laws of motion
3) Shear modulus
4) Electromagnetic induction
5) Mechanical equivalent of heat
6) Density

予習・復習内容

・事前に履修するテーマについて「物理実験指導書（英文）」をよく読み, 測定の原理などを理解しておくこと.

Students should read the experimental text and understand the experimental principle before a class.

関連科目

物理学Ⅰ, 物理学Ⅱ, 物理学Ⅲ, 物理学Ⅳ
Physics Ⅰ, Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ

教科書に関する補足事項

物理実験指導書配布

Distribution of the experimental text.

参考書 1	**書名**	物理学			**ISBN**	4-7853-2019-2
	著者名	小出昭一郎	**出版社**	裳華房	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項

There are many text book on Physics. Please refer them.

達成目標

1) 個々の実験の測定原理を理解していること.
2) 個々の実験に関する基礎知識を有していること.
3) 実験レポートのまとめ方および書き方を修得していること.
1) Comprehending the knowledge on the each experimental subject.
2) Comprehending the principle on the each experimental subject.
3) Summarizing the experimental data and writing a report.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

すべての実験課題を履修し，レポートを提出していること.
S：達成目標をすべて達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
A：達成目標をすべて達成しており，実験姿勢・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており，実験姿勢・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，実験姿勢・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes and submit all reports will be evaluated as follows:
S：Achieved all goals and obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A：Achieved 80 %g goals and obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B：Achieved 70 %g goals and obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C：Achieved 60 %g goals and obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

For repeating students, the following old evaluation basis will be applied.
A: Achieved all goals and obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65 % of goals and obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

担当
横山誠二（取りまとめ教員），D-506，内線：6696，e-mail：yokoyama@me.tut.ac.jp

病気・事故等でやむをえず履修できない場合には,その課題の担当教官に連絡して指示を受けること。
Person in charge
Seiji Yokoyama, D-506, Ext：6696, e-mail：yokoyama@me.tut.ac.jp
If you want to have sick leave, contact with each instructor or Yokoyama.

ウェルカムページ

なし

オフィスアワー

毎週火曜日 12 時 00 分から 13 時 30 分（横山）
これ以外にも随時受け付けるので，事前にメールなどで連絡すること.
12:00 - 13:30 every Tuesday（Yokoyama）

I will accept your visit except this. However, you will tell me before going my office.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
（G）チームで仕事をするための能力
チームメンバーの価値観を互いに理解して，チームとしての目標達成に個性的に寄与できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(G) Ability to work with a team
Have the ability to mutually respect the values of individual team members; and to contribute to goal achievement as a team through working cooperatively with other team members

キーワード
物理　実験
Physics Experiment

(B1013009b)物理実験[Physics Laboratory]

科目名[英文名]	物理実験[Physics Laboratory]				
時間割番号	B1013009b	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	滝川　浩史, 赤井　大輔, 谷本　壮, 宮路　祐一, 針谷　達, 吉田　光男 TAKIKAWA Hirofumi, AKAI Daisuke, TANIMOTO Tsuyoshi, MIYAJI Yuichi, HARIGAI Toru, YOSHIDA Mitsuo				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

基本的な物理量の測定を通じて、自然現象に対する認識を深めると共に、実験者としての素養を身につける。
The students are expected to learn the principles and laws for physical phenomena through experiments. In addition, the students are expected to acquire experimental skills in physics.

授業の内容

1　角運動量
2　ボルダの振子
3　分光計
4　熱の仕事当量
5　電磁誘導
6　ブラウン管オシロスコープ(I)
7　ブラウン管オシロスコープ(II)
を1週1回で計7回行う。その他に説明会1回、予備日に1～2回充てる。

電気・電子情報、情報・知能、環境・生命工学系の学生が対象となる科目。
事前に履修するテーマについて「物理実験指導書」をよく読んでおくこと。
List of experiments
1 Angular momentum
2 Borda's pendulum
3 Spectrometer
4 Mechanical equivalent of heat
5 Electromagnetic induction
6 Oscilloscope I
7 Oscilloscope II

In this course, there are seven themes which are held once a week.
Each student must conduct all experiment themes and join the guidance held at the first week.

予習・復習内容

関連科目

物理学 I、物理学 II
Physics I and Physics II

教科書に関する補足事項

教科書：物理実験指導書（配布）
参考書：当該テーマごとに設定
Text: Physics Laboratory
The text will be distributed in the 1st lecture (guidance).

参考書に関する補足事項

References are shown in the text for each theme.

達成目標

A.実　験
(1) 上記テーマに基づく実験内容を把握し、自然現象に対する基礎的な事柄を理解する。
(2) 実験データの整理法を習得する。
(3) 実験の進め方、実験レポートのまとめ方を習得する。

B.各テーマの目標
(1) 角運動量については、衝突による角運動量を比較し、慣性モーメント、角運動量の変化を計測する。
(2) ボルダの振子については、ボルダの振子を使って重力の加速度 g を測定する。

(3) 分光計については、白熱灯、水銀灯などのスペクトルを観察し、ガラスの屈折率を測る。
(4) 熱の仕事当量については、摩擦により発生する熱量を計測することにより、外から加えた仕事量から 熱の仕事当量を求める。
(5) 電磁誘導については、電磁誘導に関する実験からフレミングの法則を理解する。また相互誘導の原理を理解する。
(6) オシロスコープに関しては、オシロスコープに使われているエレクトロニクスの基本回路の動作を理解し、種々の電圧波形計測、リサージュ図形観測を通じて、オシロスコープの取り扱い方を習熟する。
1 Angular momentum: Through confirming the variation of angular and inertial momentums for several impact forces, one understands the angular momentum conservation law.
2 Borda's pendulum: The aim of Borda's pendulum is to complete measuring gravitational acceleration g using the Borda's pendulum.
3 Spectrometer: In this experiment, spectrums of an incandescent lamp, a sodium-vapor lamp and a mercury lamp are observed and the refractive index of the glass is measured to acquire basic technologies related to spectrometer and spectroscopy.
4 Mechanical equivalent of heat: For the mechanical equivalent of heat, we decide the mechanical equivalent of heat by measuring the amount of work and the frictional heat.
5 Electromagnetic induction: In the electromagnetic induction experiments, students will understand the Fleming's law and the mutual induction principle through this experiment.
6 Oscilloscope I and 7 Oscilloscope II: In the oscilloscope experiments, students will study the behaviors of basic electric circuits used for an oscilloscope and also perform observations of several voltage waveforms and Lissajous figures so as to be accustomed to the use of it.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

全実験テーマを履修かつレポートを提出した者について、レポート内容で総合的に評価する。

S:レポートの平均点(100 点満点)が 90 点以上
A:レポートの平均点(100 点満点)が 80 点以上
B:レポートの平均点(100 点満点)が 70 点以上
C:レポートの平均点(100 点満点)が 60 点以上
The students who attend all classes, and the submitted reports which are accepted in all themes, will be evaluated as follow:
S: Obtained average points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained average points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained average points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained average points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

実験初日のガイダンスにて、担当教員の連絡先一覧を連絡します。
[注意事項]
「物理実験指導書」に各実験の説明があり、これに沿って授業を行う。1 人で行う実験テーマもあるが、多くの実験は4人または5人で班を作って行う。学期途中で多くの履修放棄者が出ると、実験班の再編成が必要となり、他の学生にも迷惑となるので、熟慮してから履修申請すること。

事前に履修するテーマについて「物理実験指導書」をよく読んでおくこと。

ウェルカムページ

オフィスアワー

実験初日のガイダンスにて、各実験担当教員の連絡先一覧を連絡します。
It is preferable to make an appointment in advance using an e-mail or a telephone for each teacher.
The address or number be piked up from its supporting material which are distributed in the guidance.

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術, 地球環境対応技術の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術, 地球環境対応技術の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

(B1013011a)化学Ⅱ[General Chemistry 2]

科目名[英文名]	化学Ⅱ[General Chemistry 2]				
時間割番号	B1013011a	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	武藤　浩行 MUTO Hiroyuki				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

工業技術者としての必要な基礎化学の知識を習得する。
The aim of this course is to introduce the fundamental principles of general chemistry.

授業の内容

1 週目:ガイダンス
2 週目:化学平衡(平衡状態での反応)
3 週目:化学平衡(平衡状態の定量化)
4 週目:酸と塩基(一般的性質)
5 週目:酸と塩基(pH)
6 週目:演習
7 週目:中間試験
8 週目:混合溶液と緩衝溶液
9 週目:溶解度積
10 週目:反応速度(反応速度式)
11 週目:反応速度(反応機構)
12 週目:反応速度(反応モデル)
13 週目:電気化学1
14 週目:電気化学2
15 週目:演習
16 週目:期末試験
1st week Guidance
2nd week Chemical equilibria (Reactions at equilibria)
3rd week Chemical equilibria (Equilibrium calculations)
4th week Acids and bases (Nature of acids and bases)
5th week Acids and bases (The pH of solutions)
6th week Exercise
7th week Examination
8th week Aqueous Equilibria (Mixed solutions and Buffers)
9th week Solubility equilibria
10th week Chemical kinetics (Reaction and rate)
11th week Chemical kinetics (Reaction mechanism)
12th week Chemical kinetics (Model of reaction)
13th week Electrochemistry Ⅰ
14th week Electrochemistry Ⅱ
15th week Exercise
16th week Final Examination

予習・復習内容

化学Ⅰおよび Ⅲとの連携があるため、連続して受講するとよい。

関連科目

化学Ⅰ, 化学Ⅲ
General Chemistry 1 and 2

教科書 1	**書名**	理工系一般化学			**ISBN**	9784808230487
	著者名	篠崎開 [ほか] 著	**出版社**	東京教学社	**出版年**	2002

教科書に関する補足事項

英語資料を配布するが下記の参考書「理工系一般化学」は、必ず購入すること

参考書 1	**書名**	Chemical principles : the quest for insight	**ISBN**	9781464120671

	著者名	Peter Atkins, Loretta Jones, Leroy Laverman	出版社	W.H. Freeman	出版年	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

1）化学平衡を理解できる
2）酸と塩基が説明できる
3）化学反応を定量的に説明することができる
4）有機化合物の化学式を理解できる
1) To understand chemical equilibria
2) To understand acids and base
3) To understand chemical kinetics
4) To understand organic compounds

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義後、あるいはメールにて約束ができれば随時

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
科学技術に関する基礎知識を獲得し、それらを活用できる能力

キーワード

化学平衡，反応速度，溶液

(B1013011b)化学Ⅱ[General Chemistry 2]

科目名[英文名]	化学Ⅱ[General Chemistry 2]				
時間割番号	B1013011b	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	吉田　絵里 YOSHIDA Eri				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

工業技術者としての必要な基礎化学の知識を習得する。

授業の内容

1 週目：溶解と溶解度，溶液の濃度表示
2 週目：理想溶液と理想希薄溶液
3 週目：気体の溶解度
4 週目：溶液の束一的性質
5 週目：化学反応の表し方，化学反応速度式
6 週目：不可逆反応の速度式と
7 週目：反応速度の温度依存性
8 週目：中間試験
9 週目：触媒と酵素
10 週目：化学平衡
11 週目：酸塩基平衡
12 週目：緩衝溶液と溶解度積
13 週目：金属のイオン化傾向，電気化学セル
14 週目：起電力と電極電位
15 週目：実用の電池
16 週目：期末試験

予習・復習内容

必ず復習を行い、講義で得た知識を確実に身につけるように努めること。

関連科目

化学Ⅰ、化学Ⅲ

教科書に関する補足事項

教科書：「理工系一般化学」篠崎，大窪，大野，柴，鈴木，藤本著，東京教学社

参考書に関する補足事項

達成目標

A　溶液
（1）濃度の表示法を理解し，濃度計算ができる。
（2）ラウールの法則とヘンリーの法則を理解し，濃度を計算できる。
（3）蒸気圧降下，沸点上昇，凝固点降下，浸透圧より分子量を算出できる。

B　反応速度
（1）反応速度式を用いて化学反応における反応量や反応時間を算出できる。
（2）活性化エネルギーと反応座標を理解し，活性化エネルギーを評価できる。
（3）触媒と酵素の作用を理解し，ミカエリス・メンテン式を導出できる。

C　化学平衡
（1）化学平衡を理解し，平衡定数から濃度を算出できる。
（2）ルシャトリエの原理を理解し，ファント・ホッフの式から反応熱を算出できる。
（3）酸塩基平衡において質量作用の法則と電荷均衡式から，溶液の pH を算出できる。

D　電気化学
（1）酸化還元反応，電極反応と電気化学セルを理解し，電気化学の基本を知る。
（2）電極反応，起電力，電極電位を理解し，ネルンストの式から起電力を算出できる。
（3）電池反応から電池式を記述でき、電池の起電力を算出できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
成績の評価法：中間試験(50%)と期末試験(50%)の平均点により評価する。
評価の基準：原則的にすべての講義に出席した者につき、期末試験結果を基に成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテストの平均点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテストの平均点が 80 点以上 90 点未満
B:達成目標を 70%達成しており，かつテストの平均点が 70 点以上 80 点未満
C:達成目標を 60%達成しており，かつテストの平均点が 60 点以上 70 点未満
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準を適用する。

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
居室：B-503
電話：0532-44-6814
E-mail: eyoshida@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時受け付けます。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード

溶液, 粒子, 運動エネルギー, 分子間力, 反応速度, 化学平衡, 電気化学

(B10130120)化学Ⅲ[General Chemistry 3]

科目名[英文名]	化学Ⅲ[General Chemistry 3]				
時間割番号	B10130120	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	武藤　浩行 MUTO Hiroyuki				
ナンバリング	GEN_PRN21022				

授業の目標

「化学」の知識は、機械、電気、建築をはじめとした多くの工学領域において必須である。本講義では、化学Ⅰ、化学Ⅱを履修することで身に着けた知識を基本に、専門分野に進む準備段階として様々な分野で活躍するための武器となりえる「化学的」なセンスを鍛えるためのトピックを中心とた授業を提供する。

The aim of this course is to introduce the fundamental principles of general chemistry and thermodynamics.

授業の内容

授業の内容と順序を以下に示す。
化学Ⅰ,Ⅱを受講しているものとする。

1)ガイダンス
2)熱力学第一法則(系、状態、エネルギー)
3)熱力学第一法則(エンタルピー)
4)熱力学第一法則(エントロピーと化学変化)
5)演習
6)熱力学第二法則・第三法則
7)熱力学第二法則・第三法則(エントロピー)1
8)熱力学第二法則・第三法則(エントロピー)2
9)ギブスの自由エネルギー
10)演習
11)相図と相変化1
12)相図と相変化2
13)束一的性質
14)複雑な系の相図
15)演習
16)期末試験
1st week Guidance
2nd week Thermodynamics: The First law (system, state and energy)
3rd week Thermodynamics: The First law (enthalpy)
4th week Thermodynamics: The First law (enthalpy of chemical change)
5th week Exercise
6th week Examination
7th week Thermodynamics: The Second and Third law
8th week Thermodynamics: The Second and Third law (entropy)
9th week Thermodynamics: The Second and Third law (global change in entropy)
10th week Gibbs free energy
11th week Physical equilibria (phase and phase transitions)
12th week Physical equilibria (solubility)
13th week Colligative properties
14th week Binary liquid mixtures
15th week Exercise
16th week Final Examination

予習・復習内容

講義終了時に次回講義の予習項目を指示する。

関連科目

「化学 I」、「化学 II」

General Chemistry 1 and 2

教科書に関する補足事項

英語資料を配布する

To be provided on the introduction day

参考書 1	**書名**	Chemical principles : the quest for insight			**ISBN**	9781464120671
	著者名	Peter Atkins, Loretta Jones, Leroy Laverman	**出版社**	W.H. Freeman	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

1）熱力学第一法則が理解できる
2）熱力学第二法則が理解できる
3）熱力学第三法則が理解できる
4）相図が理解できる
5）束一的性質が理解できる
1) To understand Thermodynamics: The First law
2) To understand Thermodynamics: The Second law
3) To understand Thermodynamics: The Third law
4) To understand Phase diagram

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

部屋 B-307、電話 6798、E-mail muto@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時受け付ける

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
科学技術に関する基礎知識を獲得し，それらを活用できる能力

キーワード

熱力学、相図

(B10130130)化学実験[Laboratory Work in Chemistry]

科目名[英文名]	化学実験[Laboratory Work in Chemistry]				
時間割番号	B10130130	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	武藤　浩行, TAN WAI KIAN, 加藤　亮 MUTO Hiroyuki, TAN WAI KIAN, KATOH Ryo				
ナンバリング	GEN_PRN11020				

授業の目標

化学の講義で学ぶ様々な現象、反応、実験法についての理解を深めるために、自ら実験を経験する事が重要である。この実験を通して、実験器具、試薬、機器の理解を深めると共に、それらの操作手順や取り扱い法を学ぶ。また、化学的現象を注意深く観察し、考察し、それをレポートにまとめる力を養う事も目指す。

One basic aim of the course is to familiarize students with the simple (but safe) handling of laboratory equipment. Another aim is to further familiarize students with the formal presentation of experimental results, in the form of reports. It will provide you with a solid grounding in experimental techniques relevant to your future work in experimental chemistry and related disciplines. Please see the lab manual for the detailed learning goals for each session.

授業の内容

本授業は、1.5 コマ×15 週 実施するべきであるが、各実験テーマを 1.5 コマ(=135 分)で終了させるのは難しい。その為、各週2コマを使い 11 週の授業として実施する。
各週の授業内容は次の通り。

1 週目　化学実験ガイダンス、化学安全学
2 週目　実験テーマの簡単な説明
3 週目　実験1：陽イオン定性分析（Ag+, Cu2+, Al3+）
4 週目　実験2：錯滴定
5 週目　実験3：電気化学反応
6 週目　実験4：色素と染料の合成
7 週目　実験5：卵白の実験
　実験装置入れ替えのため1週空ける
8 週目　実験6：ペーパークロマトグラフィー
9 週目　実験7：比色分析
10 週目　実験8：溶解熱の測定、気体の拡散
11 週目　実験9：カフェインの抽出
12 週目　実験 10：身近な食品からの DNA 抽出
Week 1 Introduction
Week 2 Guidance
week 2 – 15 Experiments (Please refer to the lab manuals provided for details)

予習・復習内容

本科目を履修するためには、第1週（化学安全学）と第2週（実験の説明）の講義を必ず受けること。受けていない者は実験をする事はできない。
実験のテキストは実験開始の1週間前に配布（無料）する。
次回行う実験テーマについては、テキストを必ず読んで内容を良く把握しておくこと。

関連科目

化学 I、II、III

教科書に関する補足事項

教科書・・・本学作成の実験用テキストを配布する

Please refer to the lab manuals provided for details.
(To be provided on the introduction day)

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 各実験の基本原理を理解すること
(2) 実験で用いる実験器具・機器の名称と用途を理解し、正しい取り扱いができること
(3) 使用する薬品の性質を理解し、安全な扱いができること
(4) SI 単位系に慣れ、実験で扱う物理量を正しく扱い、表す事ができること

(5) 基本的な化学用語を理解し、使えるようになること
(6) 実験で起きる現象を注意深く観察し、記録し、考察し、レポートにまとめることができること

At the end of this course, students should:
1. be familiar with fundamental laboratory equipment used in chemical research.
2. have acquired basic skills in handling chemicals.
3. be able to analyze and discuss scientific data.
4. be able to develop their ability to write a laboratory report/research paper.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

各実験についてのレポート(各 10 点)の得点を平均し、60%以上を合格とする。
レポートの採点では、達成目標として掲げた項目を重視する。

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

Attendance is crucial, and late arrival is subject to score reduction. Active participation in actual experiments is also graded. Reports submitted after each experiment are evaluated. Submission of all reports is essential.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

各実験テーマを担当した教員が、在室中は随時質問等を受け付ける。

学習・教育到達目標との対応

(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力　科学技術に関する基礎知識を獲得し，それらを活用できる能力

キーワード

実験　定性分析　滴定　電気化学　色素　染料　卵白　クロマト　比色　溶解熱　拡散　カフェイン　DNA

(B10130140)生物学[Biology]

科目名[英文名]	生物学[Biology]				
時間割番号	B10130140	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	浴　俊彦 EKI Toshihiko				
ナンバリング	GEN_PRN21020				

授業の目標

生物を特徴づける細胞、代謝、自己複製、遺伝情報システム、発生、進化、環境との相互作用を中心に、バクテリアからヒトに至るまでの生命の共通性と多様性について学習する。また、人の健康にも関連する生体恒常性維持や生体防御の仕組み、ゲノム科学、ウイルスのほか、生態系と地球環境問題について学び、工学分野における生物学学習の意義を理解する。

Life and biosystems are characterized by formation of cells, self-replication, metabolism, genetic systems, development, evolution, and interaction with the environment. Students will learn these biosystems and acquire basic knowledge of universality and diversity of different organisms in addition to homeostasis, immune system, genome science and virus. It is also important to understand the significance of biology for students in the field of engineering.

授業の内容

以下の項目について講義を行う。

１週目　生物学概論～生体はどのような物質で作られているか～
２週目　細胞の構造と機能～生体を構成する最小ユニット～
３週目　酵素と代謝～生体物質の変換ダイナミクス～
４週目　呼吸と光合成～生体エネルギーはどのように生み出されるか～
５週目　遺伝物質 DNA と複製～生物の遺伝情報メディアとコピーの仕組み～
６週目　遺伝子発現と調節～遺伝情報がどのようにして生命現象に結びつくのか～
７週目　細胞周期と癌～細胞が増殖する仕組みとその破綻～
８週目　生殖と発生・分化～子孫を残し、生命個体を形作る仕組み～
９週目　自律神経系と内分泌系～生体の恒常性を維持する仕組み～
１０週目　生体防御機構～異物に対する識別・防御と免疫の仕組み～
１１週目　ウイルス～生物と非生物との境界～
１２週目　ゲノム科学～急拡大する生命科学のフロンティア～
１３週目　進化と生物多様性～生物は常に変化する～
１４週目　生態系と環境問題～巨視的な生物観と人間活動との関わり～
１５週目　総括

1. Basic chemistry of biosystems
2. Structure and function of cells
3. Enzyme and energy metabolism
4. Respiration and photosynthesis
5. Genetic information and DNA replication
6. Expression and regulation of genetic information
7. Cell proliferation and cancer biology
8. Reproduction, development and differentiation
9. Homeostasis
10. Immune system
11. Viruses
12. Genomics
13. Evolution and biodiversity
14. Biodiversity and ecosystems

予習・復習内容

毎週講義資料（図表、キーワード集）を配布するので、資料を熟読し、予習，復習に努めること。また、資料の内容については参考書：「理工系学生のための生命科学・環境科学」（下記）にも記述があるので，適宜参考にすること。講義内容の理解を確認するため毎回の講義の最後に小テストを行うので，積極的に取り組むこと。

Handout will be given. Students are encouraged to preview and review these handouts. Students can also refer to the following reference. A short test will be done in each class.

関連科目

予め要求される基礎知識の範囲：特になし。
関連科目：基礎生命科学 I、生命科学、環境科学
Related subjects：Basic Molecular Biology, Life Science, Environmental Science

教科書に関する補足事項

教科書：特になし。毎週プリント資料を配布する。

Handout (Figures and Tables, keywords) will be given.

参考書 1	**書名**	Rikokei gakusei no tameno seimeikagaku・kankyokagaku (Life and environmental sciences for science and engineering students)			**ISBN**	
	著者名	Yoshiyuki Sakaki, Akira Hiraishi	**出版社**	Tokyo Kagaku Dojin	**出版年**	2011
参考書 2	**書名**	理工系学生のための生命科学・環境科学			**ISBN**	
	著者名	榊 佳之・平石 明（編）	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1) 生命体とそうでないものとの違いが説明できる。
(2) 工学分野における生物学の意義について理解できる。
(3) 用語を正しく記述することができる。

B. 生物の構造と機能
(1) 生体分子と基本的な生化学反応について理解できる。
(2) 細胞の構造と機能について理解できる。
(3) 生物のゲノム、および遺伝情報の複製と発現について理解できる。
(4) 生物の自己複製、発生、恒常性維持について理解できる。

C. 生物多様性と生態学
(1) 生命の起源および生物進化について理解できる。
(2) 地球環境問題と生物、生態系との関係について理解できる。

To explain differences between living and non-living materials.
To understand the significance of biology for students in engineering.
To describe basic technical terms in biology.
To understand biomolecules.
To understand basic structure and function of cells.
To understand genome and replication and expression of genetic information.
To understand self-replication, development and homeostasis.
To understand origin of life and evolution.
To understand the significance of biodiversity and ecosystems.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

各週ごとの小試験を 40%、期末レポート点を 60%とし、これらの合計で評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Evaluation will be based on term-end reports (60%) and short tests (40%).
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

浴 俊彦：研究室 G-505　内線 6907　e-メール：eki@ens.tut.ac.jp

T. Eki (G-505, ex. 6907) e-mail: eki@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時電子メールで対応します。
Make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(C)【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード
自己複製、遺伝情報、発生、進化、細胞、生体恒常性、ウイルス、生物多様性
molecular biology, self-replication, cell, genetic information, development, evolution, biodiversity, viruses, homeostasis

(B10130160)地球科学[Earth Science]

科目名[英文名]	地球科学[Earth Science]				
時間割番号	B10130160	**区分**	技術科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	星　博幸 HOSHI Hiroyuki				
ナンバリング	GEN_PRN21020				

授業の目標

これからの社会は「自然との共生」や「持続可能な発展」がこれまで以上に重視されるであろう。工学分野の研究・開発でも，自然との共生や持続可能な発展はますます重要なポイントになるはずである。これらを実現するには，当然ながら「地球」について理解を深める必要がある。また，地学の基礎的な知識を持てば，広い視野で自然と人間生活を眺められるようになるだろう。この授業の前半では，地球に関する科学的基礎事項について概観する。後半では，身近な自然環境の成り立ちと自然災害などについて学ぶ。

“How people coexist with nature” and “how people make sustainable development a reality” are important topics in modern society. Learning Earth science will help you study these topics. This Earth science class consists of two parts; the former half deals mainly with a variety of basic scientific knowledge of the planet Earth, and the latter half deals with geoscientific topics related to our society and life, e.g., natural environments and natural disasters.

授業の内容

1）地球科学の空間スケールと時間スケール
　地球の大きさと大地形，地質学的時間とその視覚化
2）地球の誕生
　宇宙と地球の誕生プロセスと年齢，大気と海の誕生
3）地球内部の構造（1）
　地球内部を調べる方法，地震波の性質
4）地球内部の構造（2）
　地球内部の層構造（地殻，マントル，コア），地殻の構造，地球の層構造と分化
5）地球を構成する物質
　岩石と鉱物，火成岩，堆積岩
6）地球のプレート（1）
　リソスフェアとアセノスフェア，プレートとは
7）地球のプレート（1）
　プレート境界，プレート運動
8）断層運動と地震（1）
　断層と地震，地震の表し方
9）断層運動と地震（2）
　地震はどのようにして起こる？，プレート境界で発生する地震，活断層による地震
10）噴火と火山（1）
　噴火はどこで起こる？，噴火のメカニズム
11）噴火と火山（2）
　火山噴出物，噴火の様式と火山地形
12）日本列島の地学的特徴
　日本列島の地形，大地の動きと地形の形成
13）身のまわりの大地の成り立ち（1）
　山地と平野，岩石の風化と侵食
14）身のまわりの大地の成り立ち（2）
　土砂の運搬と堆積
15）自然災害とともに生きる
　自然災害から身を守るには，自然災害の規模と頻度，西日本大震災は起こるか？
16）期末試験

1) Space-time scales in Earth science
2) Formation of the Earth
3) Earth’s inner structure (1)
4) Earth’s inner structure (2)
5) Rocks as a major constituent of Earth
6) Tectonic plates (1)
7) Tectonic plates (2)
8) Faulting and earthquake (1)

9) Faulting and earthquake (2)
10) Volcanoes and volcanic eruption (1)
11) Volcanoes and volcanic eruption (2)
12) Geological characters of the Japanese islands
13) Geological processes related to the formation of mountains and plains (1)
14) Geological processes related to the formation of mountains and plains (2)
15) Natural disasters
16) Final exam

予習・復習内容

不定期に課す演習・レポート課題をしっかり行うこと。授業で学んだ知識だけでは不足する場合は，教科書（下記）と各種図書資料，およびインターネットを活用すること（ただしネット丸写し等の不正行為は厳禁）。
You have to submit a paper on the subject assigned.

関連科目

教科書 1	**書名**	ニューステージ新地学図表			**ISBN**	978-4834340129
	著者名		**出版社**	浜島書店	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

次の点について理解を深めることを達成目標とする。
1）地学的な時間空間スケールで自然の営みを俯瞰できる。
2）地球の表面と内部の構造について説明できる。
3）地震や津波，噴火，土地の侵食や地層の堆積など，身近な地学現象について説明できる。
You must be able to explain:
1) Fundamental geoscientific phenomena with various spacio-temporal scales
2) The inner and surface structures of Earth
3) Geoscientific topics related to our society and life, e.g., natural environments, natural resources, natural energy, and natural disasters

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

出席を前提とし，上述の達成目標とその関連項目がどれだけ達成できているかについて期末試験と演習・レポート課題によって点数化する。目安としては，期末試験5割，演習・レポート課題5割。
これらの達成度を総合して 100 点満点に換算し，定められた成績評定・単位認定基準に従って成績評価を行う。

B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation will be based on the final exam (approx. 50%) and exercises (approx. 50%).
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
メールで問い合わせ（hoshi@auecc.aichi-edu.ac.jp）
Feel free to ask the teacher during class. Questions by email are also welcome (hoshi@auecc.aichi-edu.ac.jp).

学習・教育到達目標との対応

キーワード
地学　地球　自然　地震　火山　日本列島　エネルギー　資源　災害
Earth Science, earthquake, volcanism, Japanese islands, natural disasters

(B10210040)運動の科学[Kinesiology]

科目名[英文名]	運動の科学[Kinesiology]				
時間割番号	B10210040	**区分**	保健体育科目	**選択必須**	必修
開講学期	後期2	**曜日時限**	火 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	稗田　睦子 HIEDA Mutsuko				
ナンバリング	GEN_HEA11010				

授業の目標

健康の維持・増進、競技力向上などのために、定期的な身体活動やトレーニングは重要である。効率的かつ効果的な運動を行なうには基本的な知識が必要である。本講義では、基礎的な運動生理学についての理解を深める。

This class introduces you to the field of sport and exercise physiology. Our goal is to build on the knowledge that you developed during basic course work in human physiology and to apply those principles in studying how the body performs and responds to the added demands of physical activity.

授業の内容

1 週目　ガイダンス
2 週目　運動と筋肉
3 週目　運動とエネルギー供給機構
4 週目　運動と呼吸・循環
5 週目　運動トレーニング
6 週目　運動と加齢・性差
7 週目　運動と健康
8 週目　講義内容の総括および定期試験

1st week Introduction
2nd week Exercising Muscle
3rd week Fuel for Exercise
4th week Cardiovascular and Respiratory Function
5th week Exercise Training
6th week Age and Sex Considerations in Sport and Exercise
7th week Physical Activity for Health and Fitness
8th week Wrep-up and Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容について予習してくること。

Review of lecture content based on notes

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストを使用しない

No textbook

参考書に関する補足事項

達成目標

1) 運動時における生体内の変化について基本的な理解を得ること。
2) 健康や競技活動に生かせる実践的な知識を得ること。
1) Identify and explain the important physiological responses that occur during exercise.
2) Apply practical knowledge of exercise physiology to various health, fitness and athletic scenarios.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法

小レポート 30%　定期試験 70%　　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準

S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Grades will be based on classwork (30%) and final paper examination(70%).
S. Based on the above evaluation criteria, 90 points or higher (out of 100 points).
A. Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B. Based on the above evaluation criteria, 70 points or higher (out of 100 points).

C. Based on the above evaluation criteria, 60 points or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

持込不可

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日　13:00～14:00
Wednesday 1:00-2:00 pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード

運動、スポーツ、生理学
Exercise, Sports, Physiology

(B1021005a)体育・スポーツ基礎[Introduction to Physical Education and Sports]

科目名[英文名]	体育・スポーツ基礎[Introduction to Physical Education and Sports]				
時間割番号	B1021005a	**区分**	保健体育科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期＋後1	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	湯川　治敏 YUKAWA Harutoshi				
ナンバリング	GEN_HEA11010				

授業の目標

運動やスポーツは健康の維持・増進だけでなく、生活を豊かにするものである。本講義を通して、運動の楽しさについて再認識し、運動習慣を身につけることを目標として授業を行なう。

Exercise might not only help to improve our physical health, but might also reading enriches our life. This lecture help students gain the knowledge, attitudes, and confidence they will need to adopt and maintain physically active lifestyles.

授業の内容

1 週目　ガイダンス
2 週目～7 週目　硬式テニス
8 週目～12 週目　バスケットボール
13 週目～17 週目　バドミントン
18 週目～22 週目　バレーボール

天候によって講義内容が変更になる場合がある。

1st week Introduction
2nd-7th week Tennis
8th-12th week Basketball
13th-17th week Badminton
18the-22th week Volleyball

Schedules are subject to change.

予習・復習内容

行なう運動種目のルールを理解しておくこと。

Understanding about the rules of a game.

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。

No textbook.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)健康や体力の維持に必要な運動量を確保する。
2)グループ活動を通して、良好な仲間づくりができるよう努める。
3)生涯に渡って行なえる運動習慣を身につける。
1)Participation in moderate to vigorous physical activity.
2)Learn to develop and maintain good relationships through sport.
3)Making physical activity and exercise a lifestyle habit.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法

出席状況 80%　授業態度（積極性や協調性など）20%　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準

S：達成目標をすべて達成しており、出席点と平常点の合計点が 90 点以上
A：達成目標を 85%達成しており、出席点と平常点の合計点が 80 点以上
B：達成目標を 75%達成しており、出席点と平常点の合計点が 70 点以上
C：達成目標を 65%達成しており、出席点と平常点の合計点が 60 点以上

Grades will be based on attendance(80%) and participation(20%).
S. Based on the above evaluation criteria, 90 points or higher
A. Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher
B. Based on the above evaluation criteria, 70 points or higher
C. Based on the above evaluation criteria, 60 points or higher

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
キーワード 運動、スポーツ Exercise, Sport

(B1021005b)体育・スポーツ基礎[Introduction to Physical Education and Sports]

科目名[英文名]	体育・スポーツ基礎[Introduction to Physical Education and Sports]				
時間割番号	B1021005b	**区分**	保健体育科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期＋後1	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	稗田　睦子 HIEDA Mutsuko				
ナンバリング	GEN_HEA11010				

授業の目標

運動やスポーツは健康の維持・増進だけでなく、生活を豊かにするものである。本講義を通して、運動の楽しさについて再認識し、運動習慣を身につけることを目標として授業を行なう。

Exercise might not only help to improve our physical health, but might also reading enriches our life. This lecture help students gain the knowledge, attitudes, and confidence they will need to adopt and maintain physically active lifestyles.

授業の内容

1 週目　ガイダンス
2 週目～7 週目　硬式テニス
8 週目～12 週目　バスケットボール
13 週目～17 週目　バドミントン
18 週目～22 週目　バレーボール

天候によって講義内容が変更になる場合がある。

1st week Introduction
2nd-7th week Tennis
8th-12th week Basketball
13th-17th week Badminton
18the-22th week Volleyball

Schedules are subject to change.

予習・復習内容

行なう運動種目のルールを理解しておくこと。

Understanding about the rules of a game.

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。

No textbook.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)健康や体力の維持に必要な運動量を確保する。
2)グループ活動を通して、良好な仲間づくりができるよう努める。
3)生涯に渡って行なえる運動習慣を身につける。

1)Participation in moderate to vigorous physical activity.
2)Learn to develop and maintain good relationships through sport.
3)Making physical activity and exercise a lifestyle habit.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法

出席状況 80%　授業態度（積極性や協調性など）20%　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準

S：達成目標をすべて達成しており、出席点と平常点の合計点が 90 点以上
A：達成目標を 85%達成しており、出席点と平常点の合計点が 80 点以上
B：達成目標を 75%達成しており、出席点と平常点の合計点が 70 点以上
C：達成目標を 65%達成しており、出席点と平常点の合計点が 60 点以上

Grades will be based on attendance(80%) and participation(20%).
S. Based on the above evaluation criteria, 90 points or higher
A. Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher
B. Based on the above evaluation criteria, 70 points or higher
C. Based on the above evaluation criteria, 60 points or higher

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日 13 時～14 時
Wednesday 1:00-2:00 pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between

humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
運動、スポーツ
Exercise, Sports

(B1021005c)体育・スポーツ基礎[Introduction to Physical Education and Sports]

科目名[英文名]	体育・スポーツ基礎[Introduction to Physical Education and Sports]				
時間割番号	B1021005c	**区分**	保健体育科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期＋後1	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	稗田　睦子 HIEDA Mutsuko				
ナンバリング	GEN_HEA11010				

授業の目標

運動やスポーツは健康の維持・増進だけでなく、生活を豊かにするものである。本講義を通して、運動の楽しさについて再認識し、運動習慣を身につけることを目標として授業を行なう。

Exercise might not only help to improve our physical health, but might also reading enriches our life. This lecture help students gain the knowledge, attitudes, and confidence they will need to adopt and maintain physically active lifestyles.

授業の内容

1 週目　ガイダンス
2 週目～7 週目　硬式テニス
8 週目～12 週目　バスケットボール
13 週目～17 週目　バドミントン
18 週目～22 週目　バレーボール

天候によって講義内容が変更になる場合がある。

1st week Introduction
2nd-7th week Tennis
8th-12th week Basketball
13th-17th week Badminton
18the-22th week Volleyball

Schedules are subject to change.

予習・復習内容

行なう運動種目のルールを理解しておくこと。

Understanding about the rules of a game.

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。

No textbook.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)健康や体力の維持に必要な運動量を確保する。
2)グループ活動を通して、良好な仲間づくりができるよう努める。
3)生涯に渡って行なえる運動習慣を身につける。
1)Participation in moderate to vigorous physical activity.
2)Learn to develop and maintain good relationships through sport.
3)Making physical activity and exercise a lifestyle habit.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法

出席状況 80%　授業態度（積極性や協調性など）20%　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準

S：達成目標をすべて達成しており、出席点と平常点の合計点が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており、出席点と平常点の合計点が 80 点以上
B：達成目標を 85%達成しており、出席点と平常点の合計点が 70 点以上
C：達成目標を 80%達成しており、出席点と平常点の合計点が 60 点以上

Grades will be based on attendance(80%) and participation(20%).
S. Based on the above evaluation criteria, 90 points or higher
A. Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher
B. Based on the above evaluation criteria, 70 points or higher
C. Based on the above evaluation criteria, 60 points or higher

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日　13 時～14 時
Wednesday 1:00 – 2:00 pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
キーワード 運動、スポーツ Exercise, Sport

(B10225010)日本語ⅣB[Japanese 4B]

科目名[英文名]	日本語ⅣB[Japanese 4B]				
時間割番号	B10225010	**区分**	特例科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期2	**曜日時限**	金 1～1,金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子, 吉村　弓子 SAKAMOTO Yuko, YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_LIB14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。中上級レベルの総合的な日本語力を身に付けます。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean lower advanced level Japanese.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　L5-3
第 2 回　L6-1
第 3 回　L6-2
第 4 回　L6-3
第 5 回　L7-1
第 6 回　L7-2
第 7 回　L7-3
第 8 回　L8-1
第 9 回　L8-2
第 10 回　L8-3
第 11 回　L9-1
第 12 回　L9-2
第 13 回　L9-3
第 14 回　L10-1
第 15 回　復習
第 16 回　定期試験
Level: Lower advanced level(JLPT N2-N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

1. L5-3
2. L6-1
3. L6-2
4. L6-3
5. L7-1
6. L7-2
7. L7-3
8. L8-1
9. L8-2
10. L8-3
11. L9-1
12. L9-2
13. L9-3
14. L10-1
15. Review
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。

You need to review what you have learned after every class.
Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.

関連科目

教科書 1	書名	新中級から上級への日本語　本冊			ISBN	9784789014625
	著者名	鎌田修他	出版社	The Japan Times	出版年	2012

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル（JLPT N2-N1 レベル）の日本語がわかる。

To understand lower advanced text(JLPT N2-N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

中上級日本語　日本語能力試験　N2 N1
Lower advanced Japanese JLPT N2 N1

(B10231260)哲学概説[Introduction to Philosophy]

科目名[英文名]	哲学概説[Introduction to Philosophy]				
時間割番号	B10231260	**区分**	人文科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1, B2
担当教員[ローマ字表記]	中村　大介 NAKAMURA Daisuke				
ナンバリング	GEN_LIB11120				

授業の目標

古代ギリシアから現代に至る様々な哲学を取り扱いつつ、哲学にはどのような問題があり、どんな議論がなされてきたのかを講義する。

This course offers a general introduction to the western philosophical tradition which continues from ancient Greek to 20th century.

授業の内容

配布プリントを用いて講義形式でおこなう。ただし受講者にはこちらから質問を随時投げかけ、積極的に議論に加わってもらう。

1．イントロダクション
2．前ソクラテス派とソクラテス（古代1）
3．プラトン（古代2）
4．アリストテレス（古代3）
5．アウグスティヌス：自由意志と悪（中世）
6．デカルト『方法序説』を読む①（近世1）
7．デカルト『方法序説』を読む②（近世2）
8．パスカル：人間の偉大さと惨めさ（近世3）
9．カントの認識論（ドイツ観念論1）
10．カントの認識論（承前）と美学（ドイツ観念論2）
11．フロイトの精神分析（現代哲学の源泉1）
12．ニーチェ（現代哲学の源泉2）
13．アーレント：現代における「悪」の問題①（政治哲学1）
14．アーレント：現代における「悪」の問題②（政治哲学2）
15．まとめ
16．定期試験

1st week Introduction
2nd week Ancient Greece(1): "Vorsokratiker" and Socrates
3rd week Ancient Greece(2): Plato
4th week Ancient Greece(3): Aristotle
5th week Middle ages: Augustine
6th week 17th century(1): Descartes(1)
7th week 17th century(2): Descartes(2)
8th week 17th century(3): Pascal
9th week German idealism(1): Kant(1)
10th week German idealism(2): Kant(2)
11th week Sources of contemporary philosophy(1): Freud
12th week Sources of contemporary philosophy(2): Nietzsche
13th week Contemporary political philosophy(1): Arendt(1)
14th week Contemporary political philosophy(2): Arendt(2)
15th week Review
16th week Final Examination

予習・復習内容

予習の必要はない。授業内容をまとめ、各自の考察を加えるレポート（3回実施）が復習の代わりとなる。

関連科目

なし。

教科書に関する補足事項

プリント（哲学者の思想の要約＋引用集）を配布する。

Use professor's handouts.

参考書に関する補足事項

参考書は授業ごとに指示する。
Mention reference books in handouts.

達成目標

受講者一人一人が哲学する楽しさを味わいながら、哲学に対する基本的な知識を習得してもらうことを目標とする。
Acquire elementary knowledge of the western philosophy.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

授業中に課すレポート(40%)＋定期試験(60%)で下記のように評価する。
[B1～3, M1]
S:テスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:テスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:テスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:テスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

[B4, M2]
A:テスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:テスト・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:テスト・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上
Course Evaluation
Evaluation is based on four short papers (40 points) and on a final examination (60 points).
[B1～3, M1]
S: Total points of short papers and exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of short papers and exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of short papers and exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of short papers and exam, 60 or higher (out of 100 points).

[B4, M2]
A: Total points of short papers and exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of short papers and exam, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of short papers and exam, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験には、提出したレポート、及び自作のノート・プリントを持ち込み可とする。
Students can bring their owns shorts papers and notebooks.

その他

ウェルカムページ

http://www.tut.ac.jp/teach/main.php?mode=detail&article=766
https://www.tut.ac.jp/english/schools/faculty/las/766.html

オフィスアワー

木曜日 13:30～15:30
その他、メール等で問い合わせてくれれば適宜応ずる。
Thursday from 13:30 to 15:30.
Contact by mail is also welcome.

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード

哲学、存在論、認識論、倫理学、精神分析
Philosophy, Ontology, Epistemology, Ethics, Psychoanalyse

(B10231270)史学概説[Introductory Historical Science]

科目名[英文名]	史学概説[Introductory Historical Science]				
時間割番号	B10231270	**区分**	人文科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1, B2
担当教員[ローマ字表記]	仲山　茂 NAKAYAMA Shigeru				
ナンバリング	GEN_LIB11220				

授業の目標

歴史学についての基礎的知識を修得し、歴史全体を客観的に考える姿勢を身につける。
Learn the basic knowledge about the history,to wear the ability to think objectively history.

授業の内容

講義予定
１週目：序論
２週目：地域区分について
３週目：時代区分について
４週目：古代オリエント
５週目：西アジア史１
６週目：西アジア史２
７週目：南アジア史
８週目：西洋における古代
９週目：西洋における中世
１０週目：西洋における近世
１１週目：東アジア史１
１２週目：東アジア史２
１３週目：東アジア史３
１４週目：比較史
１５週目：相互交流
1 Introduction
2 Europe,Asia
3 Ancient,Medieval,Modern
4 Ancient Orient
5 History of Western Asia 1
6 History of Western Asia 2
7 History of Southern Asia
8 Ancient in Europe
9 Middle ages in Europe
10 Modern ages in Europe
11 History of Eastern Asia 1
12 History of Eastern Asia 2
13 History of Eastern Asia 3
14 Comparison
15 International relations

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容について参考文献等に基づいて予習してくること。
Review each time of lectures.Prepare with reference to literature.

関連科目

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容について参考文献等に基づいて予習してくること.

教科書に関する補足事項

特定のテキストは使用しない。

nothing

参考書 1	**書名**	西洋世界の歴史			**ISBN**	
	著者名	近藤和彦（編）	**出版社**	山川出版社	**出版年**	1999
参考書 2	**書名**	アラブ（新版　世界各国史　8　西アジア史　1）			**ISBN**	

	著者名	佐藤次高(編)	**出版社**	山川出版社	**出版年**	2002
参考書 3	**書名**	中国史 （新版　世界各国史　3）			**ISBN**	
	著者名	尾形勇・岸本美緒(編)	**出版社**	山川出版社	**出版年**	1998

参考書に関する補足事項

達成目標

1）歴史学の基本的用語を正しく理解する。
2）歴史の流れを正しく把握する。
3）前近代と対比することによって、現代世界を理解する。

Understand the historical term.
Correctly understand history.
Understand the modern world by comparing the pre-modern.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験（80%）・小テスト（10%）×2で評価する。

評価基準：原則的に全ての講義に出席した者につき、以下のように成績を評価する。
S：達成目標を全て達成しており、且つ試験・小テストの合計点（100点満点）が90点以上
A：達成目標を全て達成しており、且つ試験・小テストの合計点（100点満点）が80点以上
B：達成目標を75%達成しており、且つ試験・小テストの合計点（100点満点）が70点以上
C：達成目標を50%達成しており、且つ試験・小テストの合計点（100点満点）が60点以上
Examination:80% Test:20%
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved XX % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved XX % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

金曜一時間目の前後に非常勤講師控室に在室。不在の際には、室内のメールボックスにメモを残していただきたい。

ウェルカムページ

なし

オフィスアワー

授業中に質問を受け付ける。

Ask in class.

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方　人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生,人類の幸福・健康・福祉について考える能力

（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

キーワード

歴史、アジア
history,asia

(B10231280)文学概説[Introductory Literature]

科目名[英文名]	文学概説[Introductory Literature]				
時間割番号	B10231280	**区分**	人文科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1, B2
担当教員[ローマ字表記]	山田　陽子 YAMADA Yoko				
ナンバリング	GEN_LIB11320				

授業の目標

日本の近代を代表する評論を通して、明治から昭和に至る思索をたどる。

To study the history of literature from the Meiji to Showa Era by reading famous Japanese critical essays.

授業の内容

指定の評論を読んで出席し、その内容について意見交換をする。

第1回　ガイダンス
第2回　明治の評論①
第3回　明治の評論②
第4回　明治の評論③
第5回　明治の評論④
第6回　大正の評論①
第7回　大正の評論②
第8回　大正の評論③
第9回　昭和の評論①
第 10 回　昭和の評論②
第 11 回　昭和の評論③
第 12 回　昭和の評論④
第 13 回　昭和の評論⑤
第 14 回　昭和の評論⑥
第 15 回　昭和の評論⑦

Attend at a class after reading designated critical essays, and discuss it in class.

1　Guidance
2　Critical essays of the Meiji Era:reading & discussion①
3　Critical essays of the Meiji Era:reading & discussion②
4　Critical essays of the Meiji Era:reading & discussion③
5　Critical essays of the Meiji Era:reading & discussion④
6　Critical essays of the Taisho Era:reading & discussion①
7　Critical essays of the Taisho Era:reading & discussion②
8　Critical essays of the Taisho Era:reading & discussion③
9　Critical essays of the Showa Era:reading & discussion①
10　Critical essays of the Showa Era:reading & discussion②
11　Critical essays of the Showa Era:reading & discussion③
12　Critical essays of the Showa Era:reading & discussion④
13　Critical essays of the Showa Era:reading & discussion⑤
14　Critical essays of the Showa Era:reading & discussion⑥
15　Critical essays of the Showa Era:reading & discussion⑦

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考に予習をしてくること。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, text book and assignments.

関連科目

教科書 1	**書名**	ちくま近代評論選：日本近代思想エッセンス			**ISBN**	978-4480917317
	著者名	安藤宏 [ほか] 編	**出版社**	筑摩書房	**出版年**	2017

教科書に関する補足事項

国語辞典を持参すること。
国語便覧があると望ましい。
Bring a Japanese dictionary for a class.
A handbook of Japanese is useful.

参考書に関する補足事項

達成目標
①筆者を知る。
②評論の書かれた時代背景を知る。
③評論の内容を理解する。
④評論の内容と時代との関連を考える。
⑤歴史の流れを知る。
⑥現代とのつながりを考える。
①To study the writer.
②To study the social background.
③To study the contents.
④To study the contents and social background.
⑤To study the history of literature.
⑥To study the past and the present.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法:レポート

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、全ての達成目標を総合的に判断し、90 点(100 点満点)以上を S、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C とする。

[Evaluation method]　report

[Evaluation criteria]
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Obtained total points of report, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of report, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of report, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of report, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
B 棟2階　非常勤講師室

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業後すぐ
after class

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
文学　評論
Literature　Critical essay

(B10231290)心理学概説[Introductory Psychology]

科目名[英文名]	心理学概説[Introductory Psychology]				
時間割番号	B10231290	区分	人文科学基礎科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	木 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B1, B2
担当教員[ローマ字表記]	鎌倉　利光 KAMAKURA Toshimitsu				
ナンバリング	GEN_LIB11520				

授業の目標

心理学に関する基本的な知識を習得することを目標とする。心理学の分野は、多岐にわたっているが、そのなかでも、本講義では人の学習のメカニズム、精神疾患、基礎的なカウンセリング理論、生涯発達の過程等に関する心理学の知見について主に概説する。

It's purpose to acquire basic knowledges about psychology. The field of the psychology is various, and I mainly discuss about knowledges of psychology about mechanism of learning, mental disorders, basic counseling theory, and process of lifecycle developmental theory in this lecture.

授業の内容

1 週目　心理学の体系
2 週目　心理学の歴史に関わる過去の研究者
3 週目　条件づけに関する学習理論
4 週目　行動分析と学習
5 週目　心理アセスメント
6 週目　パーソナリティ理論
7 週目　精神疾患（うつ病等）
8 週目　不安の問題
9 週目　精神分析
10 週目 来談者中心療法
11 週目 乳幼児期の特徴
12 週目 認知発達に関する心理学理論
13 週目 発達の遅れと教育的課題
14 週目 生涯発達に関する心理学理論
15 週目 授業の総括
16 週目 定期試験

The 1st Body of psychology
The 2nd Researchers in the past regarding history of psychology
The 3rd Learning theory regarding conditioning
The 4th Behavior therapy and learning theory
The 5th Psychological assessment
The 6th Theory of personality
The 7th Mental disorders（ex. depression）
The 8th Problem of anxiety
The 9th Psychoanalysis
The 10th Client-centered therapy
The 11th The trait of infant stage
The 12th Psychological theory of cognitive development
The 13th Developmental disorder and educational task
The 14th Psychological theory of lifecycle development
The 15th Summary of lecture's contents
The 16th Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の講義内容について教科書等を参考に予習していくこと。
授業においても適宜予習・復習内容について指示する。

Prepare about the lecture's contents in next week using the textbook as well as review lecture's contents of each time.
I direct about the preparation and review in a lecture.

関連科目

教科書 1	書名	こころを支える臨床心理学と発達教育（改訂版）			ISBN	
	著者名	鎌倉利光	出版社	北樹出版	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．心理学についての基本的な理解を得ること。
2．各講義で求められる心理学に関する課題内容について的確な文章で説明できること。
1．Goal which can be acquired basic knowledge of psychology
2．Goal which can be explained about the task (including report) regarding psychology in each lecture, using accurate sentences

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験 55%、各授業で行う課題 45%。
上記の割合で総合的に評価する。
S：達成目標を全て達成し、かつ試験・課題の合計点（100 点満点）が 90 点以上。
A：達成目標を 90%達成し、かつ試験・課題の合計点（100 点満点）が 80 点以上。
B：達成目標を 80%達成し、かつ試験・課題の合計点（100 点満点）が 70 点以上。
C：達成目標を 70%達成し、かつ試験・課題の合計点（100 点満点）が 60 点以上。
Examination 55%, report of each lecture 45%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S; Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 90% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher(out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居室　非常勤控室（授業実施時前後のみ）
Part-time room (only before and after the lecture's time)

ウェルカムページ

なし
Nothing

オフィスアワー

授業実施日の講義時間後
After lecture's time

学習・教育到達目標との対応

（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード

心理学
psychology

(B10232080)法学[Jurisprudence]

科目名[英文名]	法学[Jurisprudence]				
時間割番号	B10232080	**区分**	人文科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1，B2
担当教員[ローマ字表記]	蔡　万里 SAI Banri				
ナンバリング	GEN_LIB12220				

授業の目標

工学部の学生に対する一般的社会教養として、法学の基礎知識と法的思考を身につけることを目標とする。

As a general social education for the students of the Faculty of Engineering, the objective of this class is to acquire the legal thinking and the basic knowledge of law.

授業の内容

配布プリントを用いて講義形式でおこなう。

第1回　ガイダンス
第2回　法源と法の分類
第3回　法の効力と適用
第4回　権利と義務
第5回　法と裁判
第6回　民事法学（1）
第7回　民事法学（2）
第8回　民事法学（3）
第9回　著作権法学（1）
第10回　著作権法学（2）
第11回　特許法学（1）
第12回　特許法学（2）
第13回　刑事法学
第14回　憲法学・国際法学
第15回　まとめ・レポート

Week 1 Guidance
Week 2 Source and Classification of law
Week 3 Effect and Application of Law
Week 4 Rights and Obligations
Week 5 Law and Trail
Week 6 Civil Law (1)
Week 7 Civli Law (2)
Week 8 Civil Law (3)
Week 9 Copyright Law (1)
Week 10 Copyright Law (2)
Week 11 Patent Law (1)
Week 12 Patent Law (2)
Week 13 Criminal Law
Week 14 Constitutional Law/ International Law
Week 15 Summary & Report

予習・復習内容

配った資料やメモに基づいて復習すること。

Please review the contents after class.

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書は特に指定しない。レジュメを配布する。

Textbook is not specified in particular. Please read the pre-distributed prints.

参考書 1	**書名**	ステップアップ法学「補訂版」	**ISBN**	4-7923-

						0403-2
	著者名	小林忠正	**出版社**	成文堂	**出版年**	2004

参考書に関する補足事項

達成目標

1）基本的な法概念、法律用語について正しく理解すること。
2）法律の基礎的考え方を理解し、日常生活や仕事などに適用できること。
1)To understand the legal terms and the basic legal concepts correctly.
2)To understand the basic legal thinking method, and apply it in such everyday life and work.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：授業参加度 30%、レポート 70% 左記の割合で、総合的に評価する。

Evaluation method: Degree of Participation 30% Report 70%

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

研究室：B-413
メールアドレス：saibanri@las.tut.ac.jp
電話：44-6954
Research Room: B-413
Mail: saibanri@las.tut.ac.jp
Tel: 44-6954

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業の前後
Before or After Class

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(B) High ethical standards in relation to society as an engineer
As professional engineers, the ability to identify, resolve and evaluate the technical challenges faced by society in an ethically responsible manner
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

キーワード

権利、義務、裁判
Rights, Obligations, Trail

(B10232180)経営学[Management]

科目名[英文名]	経営学[Management]				
時間割番号	B10232180	**区分**	社会科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1, B2
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB12420				

授業の目標

技術者を対象とした経営学における意思決定の基本について習得する。私企業を対象にした事業経営の基本的機能は、技術特化型企業での人・物づくりを支援する意味でも、本質的に資金で始まり資金で終わる。特に、将来の不確定な夢を実現するには、不可逆的投資の意思決定を今しなければならない。すなわち、製品開発を含む R&D（研究開発）プロジェクトは、諸段階を通して金額・時間・リスクを加味したキャッシュフローを共通言語とすべきと考えられる。
故に、本講義では、経営の一般的機能の入門的説明の後で、事業投資としてのコーポレート・ファイナンス、ファイナンスリスク管理としての金融工学、実物資産投資でのリスク管理としてのリアルオプション、ベンチャー創業に必要なベンチャーファイナンスの各入門的説明、及び事業投資計画の演習を行なう。
基本的に技術者に必要な投資の意思決定のサイエンスと終盤で演習によるアートを学ぶ。特に、金融オプションはＭＯＴ(Management of Technology)で有効なリアルオプション(Real Options)の理論的土台になっていることの基礎的把握を目標にする。リアルオプションの詳細な内容については同名の授業を参照できる。

Class objective is to learn about basic management decision-making as an engineer. Fundamental buinses function starts from money and finishes with money, even if considering the importance of manufacturing and training. In particular, the decision of irreversible investment must be made now forward future uncertain dream. That is, research and development (R&D) projects including product development needs shared architecture and cash flow metrics as common language though phase transition in different process stages.
Therefore, this class includes introductory management functions, corporate finance as business investment, financial engineering as financial risk management, real options as real-asset risk management, entrepreneurial finance for start-up founding, and exercise of business investment plan.
Basic objective is to learn about the science of technological investment decision and the art with exercise. In particular, financial option is the theoretical foundation for real options in management of technology (MOT).

授業の内容

コーポレート・ファイナンス(企業財務)では NPV（正味現在価値）の概念・計算方法を、金融工学入門では金融派生商品としてのオプションの金額的評価に関する計算式・計算方法を、リアルオプションでは実物資産への金融オプションの応用を、そしてベンチャーファイナンスでは創業者とベンチャーキャピタルとの間の事業価値評価の相違を主に説明する。一連の座学の後に、事業投資案の作成・プレゼンテーションのグループ別演習を行なう。

第 1 回：経営的意思決定の基礎と NPV（正味現在価値）
第 2 回：キャッシュフロー
第 3 回：現在価値・リースファクター
第 4 回：CAPM(資本資産評価モデル)
第 5 回：資本コスト
第 6 回：金融オプションの価格計算
第 7 回：2 項モデル
第 8 回：自然確率とリスク中立確率
第 9 回：幾何ブラウン運動
第 10 回：伊藤のレンマ
第 11 回：ブラック＝ショールズ・モデル
第 12 回：リアルオプション
第 13 回：ベンチャー・ファイナンス
第 14 回：演習；グループ別事業計画の作成
第 15 回：演習；事業投資案のプレゼンテーション
第 16 回：期末試験
This class will mainly explain the concept and calculation method of net present value (NPV) in corporate finance, valuation method of financial option in derivatives, application of finacial option to real options, and the different valuation perspectives between entrepreneur and venture capital in entrepreneurial finance. After classroom discussion, validity of knowledge needs exercise through learning by doing.

#1: Base of managerial decision making and net present value (NPV)
#2: Cash flow
#3: Present value and lease factor
#4: Capital Asset Pricing Model (CAPM)
#5: Cost of capital
#6: Pricing calculation of financial option
#7: Binomial model
#8: Natural probability and risk neutral probability
#9: Geometric Brownian motion
#10: Ito's lemma
#11: Black-Scholes model
#12: Real options
#13: Entrepreneurial finance
#14: Group exercise: drawing of business plan
#15: Group exercise: presentation of business plan
#16: Semester examination

予習・復習内容

moodle にてアップロードした資料にて事前準備が可能で、次の講義時間内・オフィスアワーの質問機会にて復習が可能で、演習にて発展的応用力の養成が期待できる。

Pre-& re-veiws by teaching materials uploaded at moodle. Questions and discussion are welcomed.

関連科目

ゲーム理論、リアルオプション、生産管理論、管理科学、MOT、アントレプレナーシップ：応用

Real options; Game theory; Operations management; Management science; Management of technology; Entrepreneurship: application.

教科書 1	**書名**	[新版]グロービス MBA ファイナンス			**ISBN**	ISBN-10: 4478008760
	著者名	グロービス・マネジメント・インスティテュート	**出版社**	ダイヤモンド社	**出版年**	1999
教科書 2	**書名**	MBA ビジネス金融工学 デリバティブとリアル・オプション			**ISBN**	ISBN-10: 4502649600
	著者名	小林啓孝	**出版社**	中央経済社	**出版年**	2003

教科書に関する補足事項

moodle に資料をアップロードする。

Teaching materials are uploaded at moodle.

参考書 1	**書名**	金融工学入門			**ISBN**	SBN-10: 4532132290
	著者名	D・G・ルーエンバーガー	**出版社**	日本経済新聞社	**出版年**	200
参考書 2	**書名**	社会科学の学び方			**ISBN**	ISBN-10: 4254205090
	著者名	山口誠他	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2001
参考書 3	**書名**	アントレプレナーファイナンス			**ISBN**	ISBN-10: 4502587605

	著者名	R・L・スミス	出版社	中央経済社	出版年	2004

参考書に関する補足事項

達成目標

ファイナンス・初等金融工学について,
(1)NPV を理解できる。
(2)オプションの 2 項モデルの理論的説明ができる。
(3)ブラック＝ショールズ・モデルの基本的仕組みが理解できる。
(4)オプションの価格計算ができる。

On corporate finance and introductory financial engineering,
(1)Able to undestand Net Present Value (NPV)
(2)Able to explain the theory of binomial option model
(3)Able to understand the basic system of Black Scholes model
(4)Able to calculate the price of option

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：試験、レポート、プレゼンテーション(60%＋20%＋20%)にて評価する。

評価基準(B1・B2):
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

評価基準(過年度生):
A：達成目標を全てクリアーし、総合評価合計点が 80 点以上(100 点満点)
B：達成目標を 3 つクリアーし、総合評価合計点が 65 点以上(100 点満点)
C：達成目標を 2 つクリアーし、総合評価合計点が 55 点以上(100 点満点)
Evaluation method: the summed scores= Examination (60%)+Reports (20%) +Presentation (20%)

Evaluation criterion:(New undergraduate freshman, B1/B2):
S：Achieve all goals and obtain the summed scores 90 or more (maximum 100)
A：Achieve 80% of goals and obtain the summed scores 80 or more (maximum 100)
B：Achieve 70% of goals and obtain the summed scores 70 or more (maximum 100)
C：Achieve 60% of goals and obtain the summed scores 60 or more (maximum 100)

Evaluation criterion:(Conventional undergraduate students):
A：Achieve all goals and obtain the summed scores 80 or more (maximum 100)
B：Achieve 65% of goals and obtain the summed scores 65 or more (maximum 100)
C：Achieve 55% of goals and obtain the summed scores 55 or more (maximum 100)

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

質問・意見等は随時受け付ける。
Any time if available.

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
ファイナンス　オプション　ベンチャーファイナンス
Corporate　finace; Option; Entrepreneurial finance

(B10232190)経営組織論[Organization and Management]

科目名[英文名]	経営組織論[Organization and Management]				
時間割番号	B10232190	**区分**	人文科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1, B2
担当教員[ローマ字表記]	坂本　和子 SAKAMOTO Kazuko				
ナンバリング	GEN_LIB12420				

授業の目標

優れた戦略を立案しても，それを実践できる組織力がなければ絵に描いた餅になってしまう．企業経営にとって，戦略論とともに重要なのが組織論である．本講義は，経営組織に関する基礎理論や方法論を理解し，ケーススタディや課題への取り組みにより，知識と実務の乖離を埋め，実践的な能力を身につけることを目的とする．

The organizational theory is as important for corporate management as a strategy theory. This lecture understands the basic theory and the methodology about a management organization by many case studies.

授業の内容

1．ガイダンス：会社で働くとはどういうことかを経営組織という枠組みで解説する．
2．経営組織論①：古典的組織論から始まる組織論の変遷について解説する．
3．経営組織論②：近代的組織論以降から現代における組織論について解説する．
4．経営組織の基本形態①：経営組織構造、ラインとスタッフ，発展段階モデルについて解説する．
5．経営組織の基本形態②：職能別組織と事業部別組織の違いについて説明する．
6．経営組織の基本形態③：プロジェクトマネジメントを行うための組織体制，分社化等について説明する．
7．プロジェクト組織での実践演習：KJ 法による課題解決
8．プロジェクト組織での実践演習：グループディスカッション，グループ発表
9．モチベーション：モチベーションの概念とプロセス理論について解説する．
10．リーダーシップ①：リーダーシップの概念と理論について解説する．
11．リーダーシップ②：マネージャー，トップマネジメントとしての課題解決について，演習を織り交ぜての解説を行う．
12．組織文化：組織文化の意義と類型，機能について解説する．
13．組織変革：組織の成長プロセスや活性化，イノベーションについて解説する．
14．組織が抱える今日的課題：コーポレートガバナンス、M&A、多国籍企業の組織構造等に関して，今日的課題として重視されているトピックについて紹介する．
15．まとめ：講義を総括する．
16．期末試験

1．Introduction
2．Organization and Management Theory（1）：Changes of the organizational theory which begin from a classic organizational theory.
3．Organization and Management Theory(2)：From modernistic organizational theory to present age organizational theory.
4．Basic Organizational Form（1）：Management organization structure, line and staff, development stage model.
5．Basic Organizational Form（2）：Difference between departmentalized organization and divisional organization.
6．Basic Organizational Form（3）：Organization control and spin-out for performing project management.
7．Project exercise（1）：Business solution by a KJ method.
8．Project exercise（2）：Group discussion, presentation.
9．Motivation：Concept and process theory of motivation.
10．Leadership（1）：Concept and theory of leadership.
11．Leadership（2）：Business solution as a manager and top management.
12．Corporate Culture：Meaning of corporate culture.
13．Organizational Change：Growing process of organization, and activation, innovation.
14．Current Issues：Corporate governance, M&A, organizational structure of multinational company.
15．Review

予習・復習内容

講義毎に次回内容のミニ課題を提示する．次回講義でディスカッションを行ってから新しい単元に入ることで理解を深める．

Contents studied at the lecture are discussed at a next lecture.

関連科目

経営学，経営戦略論

Business Administration,, Strategic Management

教科書に関する補足事項

講義毎に資料を配布する.
Materials are suitably handed out at the time of each lecture.

参考書に関する補足事項

参考書は項目ごとにその都度, 講義中にて紹介する.

達成目標

・経営組織論に関する基礎的な知識を習得する.
・組織内で各役割の立場を理解し, 業務を円滑に進めるための方法を検討できる.
・経営組織に関する様々な課題を解決するためのスキルを身につける.

The goals of this course are to
(1)Obtain basic knowledge about the organization and management.
(2)Understand the position of each role and consider the method for advancing business smoothly.
(3)Acquire skills for solving various subjects about management organization.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
定期試験 70%, 講義への積極的関与(演習, 質疑応答, プレゼンテーションなど)30%　左記の割合で, 総合的に評価する.

評価基準:下記のように成績を評価する.
S :達成目標をすべて達成しており, かつ合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつ合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており, かつ合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつ合計点(100 点満点)が 60 点以上

Your final grade will be calculated according to the following process: term-end examination (70%), and class attendance and attitude in class(30%).
The final grade will be determined by the total amount of points obtained according to the following scale:
S:90-100
A:80-89
B:70-79
C:60-69

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

指定資料の持ち込み可.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

質問・意見等は随時受け付ける.
Students can say questions and opinions at any time.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

プロジェクトマネジメント, モチベーション, リーダーシップ, コーポレートガバナンス
Project management, Motivation, Leadership, Corporate governance

(B10232220)経営システム工学[Management System Engineering]

科目名[英文名]	経営システム工学[Management System Engineering]				
時間割番号	B10232220	**区分**	社会科学基礎科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	今井　正文 IMAI Masafumi				
ナンバリング	GEN_LIB12020				

授業の目標

経営管理活動において必要になる情報処理及び管理等の基礎的な事項について理解することを目的とする。
経営活動のプロセスの最適化を目指すために、ベスト・プラクテイス（最善の方法）とされている経営システムの手法について、いくつかの事例を例題と共に講義する。
Understanding of basic information processing and management in business management activities is the purpose of this subject.
In order to optimize the process of business activities,Lecture on examples on the management system method considered as best practice.

授業の内容

1　経営システム工学について
2　経営活動、管理活動、情報管理の意義
3　情報とシステム、システム解析、経営システムと最適化手法
4　統計量（不良率）
5　統計量 2（演習）
6　線形計画法
7　線形計画法 2（感度分析）
8　線形計画法 3（演習）
9　多目的計画と AHP
10　多目的計画と AHP2（演習）
11　日程計画(PERT)
12　日程計画 2(CPM)
13　日程計画 3(演習)
14　最短経路・最大流量問題
15　最短経路・最大流量問題 2(演習)
16　定期試験
1 About the management system engineering
2 Significance of management activities, information management
3 Information and system, system analysis, management system and optimization method
4 Statistics (Failure Rate)
5 Statistics 2 (exercise)
6 Linear programming method
7 Linear programming method 2 (sensitivity analysis)
8 Linear programming method 3 (exercise)
9 Multipurpose plan and AHP
10 Multipurpose plan and AHP 2 (exercise)
11 Scheduling (PERT)
12 Scheduling 2 (CPM)
13 Scheduling 3 (exercise)
14 Shortest path · Maximum flow problem
15 Shortest path · Maximum flow problem 2 (Exercise)
16 Exam

予習・復習内容

各回の内容について、テキストや配布資料に目を通し、課題をやっておくようにしてください。
各回の課題については、授業後、各自で復習して修正し、再提出すること。
Please read about texts and handouts for each content, correct and submit each exercises.

関連科目

教科書 1	**書名**	経営のためのシステム工学	**ISBN**	978-4-254-12076-9

	著者名	西川智登、清水静江	出版社	朝倉書店	出版年	1990

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1 経営管理活動において必要になる情報処理及び管理等の基礎的な事項について理解する。
2 演習問題を通して、経営システムの基礎問題を理解し解ける。
3 その他の経営システムの応用的な問題について理解する。
1 Understanding of basic information processing and management in business management activities.
2 Understand and solve basic problem of management system through exercise problem.
3 Understand application problems of other management systems.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：レポート（20%）と試験（80%）で評価する.
grade calculation: report（20%）,Assessment（80%）

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

E-mail:mimai@sozo.ac.jp
TEL:050-2017-2218
http://ba.sozo.ac.jp/mimai/
E-mail:mimai@sozo.ac.jp
TEL:050-2017-2218
http://ba.sozo.ac.jp/mimai/

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義の前後または講義日の昼休み（E-mail での質問は随時受け付けます）.
A question by e-mail is accepted at any time.

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D2)実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から観察し，説明する能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D2)実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から考察し，説明することができる。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D3) 実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的視点から考察し，説明する能力を身につけている。
（D）【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
（D）【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to observe and explain things from the viewpoint of technological science
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving

(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to consider and explain things from the viewpoint of technological science
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D3) (Sustainable Development Course) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to consider and explain things from the viewpoint of technological science
(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

キーワード
経営　システム工学
Management, System engineering

(B10233120)技術科学哲学[Philosophy of Science and Technology]

科目名[英文名]	技術科学哲学[Philosophy of Science and Technology]				
時間割番号	B10233120	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	比屋根　均 HIYAGON Hitoshi				
ナンバリング	GEN_LIB31120				

授業の目標

技術の営みの基本的な構造や考え方を理解する。高度科学技術社会・情報化社会の現代的な問題についてより基本のところから考えられるようになる。議論や発表する力を養う。

Understand the structure and the way of thinking of the engineering working.

Able to consider from basics about modern problems occurs in this highly technological society / advanced information society.

Able to do an argument and presentation more effectively.

授業の内容

１週目：はじめに～科学技術社会で生きるということ・・・なぜ哲学すべきなのか
２週目：議論 1（グループディスカッション及び全体議論）
３週目：道具、潜在的知性
４週目：豊かさと富
５週目：議論 2（グループディスカッション及び全体議論）
６週目：イノベーションと科学技術
７週目：創造と進化、問題解決
８週目：議論 3（グループディスカッション及び全体議論）
９週目：生態学的地位と倫理
１０週目：リスクの概念／リスクと科学
１１週目：議論 4（グループディスカッション及び全体議論）
１２週目：リスクコントロールの知の歴史
１３週目：リスク管理＆リスクコミュニケーション
１４週目：議論 5（グループディスカッション及び全体議論）
１５週目：人類史から見た現代の問題

1st. Introduction～Living in technology society...Why should we do philosophy?
2nd. Discussion-1
3rd. Tools, Potential Intelligence
4th. Richness and wealth
5th. Discussion-2
6th. Innovation and Technology
7th. Creation and Evolution, Solving Problem
8th. Discussion-3
9th. Niche and the ethics
10th. Concepts of Risks / Risk and Science
11th. Discussion-4
12th. History of the Intellect of controlling Risks
13th. Risk Management & Risk Communication
14th. Discussion-5
15th. The modern problems from the point of view of the history of human

予習・復習内容

3 つの授業で 1 セット、中間の講義では議論をし、全体は 5 つのセットから成ります。
セットの最初の授業で次回の議論の課題を説明しますので、それについて自分なりに考えを纏め、議論に望んで下さい。
講義内容を深める復習は、参考書を参考にしてください。

One set by three classes, and the whole consists of five sets.
In every set, in the first class, I'll explain the discussion problem of next second class.
Please consider the discussion problem for yourself before the second class.
Reference books will help your review to deepen lecture contents.

関連科目

技術者倫理
技術科学史
Ethics for Engineers

History of Technology and Science

教科書に関する補足事項

毎回、必要に応じて講義の要点を記述したプリントを配布する。
参考書に記す以外に、科学史・技術史書、技術経営・MOT 入門書なども参考にできる。
Original print every time.

参考書 1	**書名**	技術の営みの教養基礎　技術の知と倫理			**ISBN**	978-4-8446-0793-9
	著者名	比屋根　均	**出版社**	理工図書	**出版年**	2012
参考書 2	**書名**	技術の哲学			**ISBN**	978-4-00-028903-0
	著者名	村田　純一	**出版社**	岩波書店	**出版年**	2009
参考書 3	**書名**	科学技術倫理を学ぶ人のために			**ISBN**	978-4-7907-1135-3
	著者名	新田孝彦，　蔵田伸雄，石原孝二	**出版社**	世界思想社	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項

参考書 4　書名：リスク　神々への反逆、著者名：ピーター・バーンスタイン、出版社：日本経済新聞社、1998　年、ISBN 4-532-1460-4
参考書 5　書名：トランス・サイエンスの時代、著者名：小林傳司、出版社：NTT 出版、2007 年、ISBN 4757160186
その他の参考文献：講義での引用文献。
参考書として挙げた以外にも、科学史・技術史書、技術経営、MOT入門書などが参考になる。
参考書 4　書名：リスク　神々への反逆、著者名：ピーター・バーンスタイン、出版社：日本経済新聞社、1998　年、ISBN 4-532-1460-4
参考書 5　書名：トランス・サイエンスの時代、著者名：小林傳司、出版社：NTT 出版、2007 年、ISBN 4757160186

達成目標

1．科学技術が社会の中で様々な捉え方がなされていることを知る。
2．自分の専門領域の意義やあり方を、社会的空間的な広がりや時代的時間的広がり、あるいは役割分担の中で考えられるようになる。
3．答えが 1 つに定まらない問題、問題自体が曖昧な問題について、議論できるようになる。
1. Know various social and historical viewpoints of technology.
2. Able to consider about both the significance and the ideal method of the specialty domain of your own, in social and time expanse of the times, and from the viewpoint of the role.
3. Able to argue problems, that its answer will be not decided in one, or that is vague in itself.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

講義時間中に提出する小レポートのうち、議論以外の時間に提出するもの：50%、5 回の議論の時間に提出するもの：50%　左記の割合で総合的に評価する。
評価基準：下記のように成績を評価する。
B1～3, M1,D1
　S：総合評価が 90 点（100 点満点）以上
　A：総合評価が 80 点（100 点満点）以上
　B：総合評価が 70 点（100 点満点）以上
　C：総合評価が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
　A：総合評価が 80 点（100 点満点）以上
　B：総合評価が 65 点（100 点満点）以上
　C：総合評価が 55 点（100 点満点）以上
Small reports in every 10 lectures without argument：50%, Small reports in every 5 argument lectures：50%
Students will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

居室：B 棟2階非常勤講師室。
E メール：hh009（at）edu.imc.tut.ac.jp または roofrate3-tut（at）yahoo.co.jp
Room：B Build. 2F Room of part-time teachers
Email：hh009（at）edu.imc.tut.ac.jp or roofrate3-tut（at）yahoo.co.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業実施日の講義時間前後。
In front and back of the class, at the lecture room.

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
特に関連がある項目
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
（B）【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
関連がある項目

(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
特に関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(E) Expression and communication skills for success home and abroad

Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Particularly-relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Particularly-relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
技術、技術論、科学技術論、技術哲学、科学哲学、科学技術の哲学、科学技術の倫理。
technology, philosophy, ethic

(B10233180)国文学Ⅰ[Japanese Literature 1]

科目名[英文名]	国文学Ⅰ[Japanese Literature 1]				
時間割番号	B10233180	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中森　康之 NAKAMORI Yasuyuki				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

読書法を学んだ上で、実際に多くの本を読む。また、自分の読みと他者の読みを相互に出し合うことによって、多様な価値観や柔軟な感性を育て、豊かな読書経験を持つ。

To learn reading method and read meny books. And grow diverse values and flexible sensibility by discussion.

授業の内容

授業は、ディスカッションとプレゼンテーションにより行う。

第1週　ガイダンス～クラスコミュニケーション
第2週　ディスカッション～読書とは何か～
第3週　斉藤孝『読書力』(岩波新書)
　　序　読書力とは何か　　Ⅰ　自分をつくる一自己形成としての読書
第4週　斉藤孝『読書力』(岩波新書)
　　Ⅱ　自分を鍛える一読書はスポーツだ
　　Ⅲ　自分を広げる一読書はコミュニケーション力の基礎だ
第5週　内田義彦『読書と社会科学』(岩波新書)
　　Ⅰ「読むこと」と「聴くこと」と
第6週　内田義彦『読書と社会科学』(岩波新書)
　　Ⅱ自由への断章
第7週　内田義彦『読書と社会科学』(岩波新書)
　　Ⅲ創造現場の社会科学　　総まとめ
第8週～第 15 週　受講生のプレゼンテーション、応答プレゼンテーション、お勧めシート閲覧会
　　※毎週、全受講生が各自のお薦め本を1冊紹介する。
　　※毎回の授業は、プレゼン、応答プレゼン、お薦めシート閲覧会の三部構成で行う。

詳細は授業中に説明するが、おおよその要領は下記の通り。
・「透徹したものを見る目、繊細で温かみのある感性、多元的な思考能力、グローバルな視野」が身に付くと思う本を自分で選び、毎週1冊読み、「お勧めシート」を提出する。
・いわゆる「読み応えのある本」「深い内容の本」であることが条件。ハウツーもの、ライトノベルなどは原則として不可。ただしそれが既述の条件に合えば可。その場合はそれを発表者が論証する義務がある。
・「お勧めシート」の項目は、書名、著者名、出版社、価格、内容の要約、アピールポイント、日付、その他とする。
・毎時間数名ずつ「お勧め本」をプレゼンテーションをする。
・プレゼンされた本について、他の受講生が翌週「応答プレゼン」をする。
・プレゼン、応答プレゼン担当者以外は「お勧めシート」を提出し、その閲覧会を行う。
・プレゼン、応答プレゼン担当者は、その回の「お勧めシート」は提出しなくてよい。
Classes consists of a presentation and discussion.

1　Guidance
2　Discussion of reading
3　Takashi Saito"DOKUSYO-RYOKU"(iwanami-sinsyo)
　Introduction
　Chapter 1
4　Chapter 2・3
5　Uchida Yoshihiko"Dokusyo to syakaikagaku"(iwanami-sinsyo)
　Chapter 1
6　Chapter 2
7　Chapter 3
8～15　Presentation

予習・復習内容
予習・復習内容
第7週目までは、毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキストをよく読んでくること。
第8週目以降は、毎回のお勧めシート作成が予習であり、他人にお勧めされた本を読むことが復習となる。

関連科目
国文学2

教科書 1	**書名**	読書力			**ISBN**	
	著者名	斉藤孝	**出版社**	岩波書店	**出版年**	
教科書 2	**書名**	読書と社会科学			**ISBN**	
	著者名	内田義彦	**出版社**		**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
①読書について自分なりの見識を持つ。
②多くの著者の思考、感性、価値観を知る。
③的確な要約、コメントをする能力を身につける。
④プレゼンテーションの能力を身につける。
1)To read many books
2)To grow diverse values and flexible sensibility
3)To learn the Ability to comment
4)To learn the capabilities of the presentation

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を次の割合によって評価（100 点満点）する。

①プレゼンテーション（30%） ②応答プレゼンテーション（20%） ③「お勧めシート」（50%）

B1～3, M1
S：合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：合計点が 55 点（100 点満点）以上
[Evaluation method] presentation1（30%）＋presentation2（20%）＋short reports（50%）

[Evaluation criteria]Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1
S: Obtained total points of presentations and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of presentations and reportss, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of presentations and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of presentations and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2
A: Obtained total points of presentations and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of presentations and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of presentations and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
10 分以上の遅刻厳禁。

ウェルカムページ
http://las.tut.ac.jp/~nakamori/index.html

オフィスアワー
基本的に木曜日の昼休みとするが、これ以外の時間でも在室中は随時対応する。メール等で事前に連絡があると有り難い。
Lunch break on every Thursday

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(D3)技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題を工学的に解決するためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(D3) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード

文学　読書　価値　感性

(B10233190)国文学Ⅱ[Japanese Literature 2]

科目名[英文名]	国文学Ⅱ[Japanese Literature 2]				
時間割番号	B10233190	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	和泉　司 IZUMI Tsukasa				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

外国籍者・非日本国籍保持者が日本語で書いた文学作品・「日本語文学」を取り扱う。昭和戦前期から、日本では殖民地出身者を中心に日本語で文学活動を行う作家が現れている。太平洋戦争敗戦後も、日本国内の旧殖民地出身者・外国出身者等の中から多くの作家が登場した。20 世紀末から現在にかけては、日本留学によって日本語を身につけた留学生の中から日本語作家が登場している。

このような作家たちが日本語によって描いた文学作品を読むことで、日本に生きる少数者の視点を知り、現代社会の課題について考える。

Japanese literature written by non-Japanese is called "Japanese language literature". This course would talk about Japanese language literature written in Japanese by those who were born in Japanese colonies, foreigners who resided in Japan, as well as overseas students who studied Japanese in Japan.

Through reading Japanese language literature, students would be able to learn the thoughts of minorities in Japan and think about social issues in the modern society from their perspective.

授業の内容

第 1 回　ガイダンス、日本語文学について
第 2 回　戦前の日本語文学①
第 3 回　戦前の日本語文学②
第 4 回　戦前の日本語文学③
第 5 回　戦前の日本語文学④
第 6 回　戦前の日本語文学⑤
第 7 回　戦前の日本語文学⑥
第 8 回　「在日文学」を読む①
第 9 回　「在日文学」を読む②
第 10 回　「在日文学」を読む③
第 11 回　「在日文学」を読む④
第 12 回　「在日文学」を読む⑤
第 14 回　「在日」文学を読む⑥
第 15 回　まとめ

1 guidance
2 literature before a war
3 literature before a war
4 literature before a war
5 literature before a war
6 literature before a war
7 literature before a war
8 reading "Zainichi" literature
9 reading "zainichi" literature
10 reading "zainichi" literature
11 reading "zainichi" literature
12 reading "zainichi" literature
13 reading "zainichi" literature
14 reading "zainichi" literature
15 summary

予習・復習内容

事前にテキストを配布するので、よく読み、調査をしておくこと。

Before each lecture, students are required to read the novels that would be discussed in class.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜、プリントを配布する。

参考書に関する補足事項

達成目標

1）日本における少数者の文学から、日本社会の過去と現在の状況を学ぶ。
2）外国籍・非日本国籍の人々による日本語の文学テクストが生まれたことの意味を考える。
This course would also touch on the following topics:
1) Students would learn about the past and current condition of Japanese society from literature that is written by minorities in Japan.
2) Students would think about the meaning of Japanese language literature by reading books that were written by non-Japanese nationals.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポートの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

木曜日の昼休み。その他の時間も、事前にメール等で連絡があったら受け付けます。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A) (Architecture and Building Science Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Architecture and Building Science Course) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Civil and Environmental Engineering Course)The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills

キーワード
文学　日本語文学　在日文学
literature Japanese　"Zainichi"

(B1023322a)臨床心理学Ⅰ[Clinical psychology 1]

科目名[英文名]	臨床心理学Ⅰ[Clinical psychology 1]				
時間割番号	B1023322a	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	今泉　寿明 IMAIZUMI Toshiaki				
ナンバリング	GEN_LIB31520				

授業の目標

精神疾患（精神障害，精神病，こころの病とほぼ同義）はありふれた病気である．日本の地域住民を対象とした疫学調査によれば，精神疾患の年間有病率（当該 1 年間に疾患を有した時期のある者の割合）は約 10%と推定されている．精神疾患は誰にとっても決して他人事ではない．世間に流布している精神疾患に関する情報（たとえばインターネットを見よ）は膨大であるが，しばしば混乱している．講師は一介の精神科臨床医として，精神疾患の実像を要約・紹介する．

Mental illness, roughly synonymous with mental disorder, mental disease, psychotic disorder and ″Kokoro-no-Yamai″) is a common disease. Recent epidemiological researches suggest that 12 month prevalence (the proportion of a population that has the condition of specific disease at some time during a given year) of the mental illness is approximately 10% in Japan. Mental illness is by no means other people's affairs for everyone. But common information about the illness, for example in Internet, are huge and frequently confused. Therefotre the lecturer, as a common clinical psychiatrist, introduce the fact of mental illness coarsely.

授業の内容

授業回数は 7.5 回＋1 回定期試験.
以下の項目を講義予定（項目の順序は不同）
疫学：高い有病率，低い受療率
原因：複数の遺伝要因と環境要因が脳の故障（4 型に分類）をおこす
症状：脳故障の各型に対応する特徴的な精神症状群がある
疾患：統合失調症，気分障害，不安障害，認知症は代表的な精神疾患である
証拠：診断，評価，治療は実証的証拠に基づいておこなわれる
問題：上述の見解と実践に対する批判的コメント
Lecture(7.5)+Examination(1.0)
The following topics may be included (but not in the following order)
epidemiology : high rate of illness, low rate of treatment accepter
origin : genetic and environmental factors may cause brain disorder (classified into 4 groups)
symptom : each type of disorder may present specific cluster of symptoms
common mental illness : schizophrenia, mood disorder, anxiety disorder, dementia
treatment : psychotropic drugs may repair brain disorder partly
evidence : diagnosis, assesment and treatment are evidence based
problem : critical comment to above mentioned outlook and practice

予習・復習内容

不要
unnecessary

関連科目

特になし
nothing particular

教科書に関する補足事項

教科書なし．レジュメを毎回配布.
Textbook is not use. Resume for each lecture.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)精神疾患の概要を理解する
2)精神医学を身近に感じる
1)Understanding the synopsis of mental illness
2)Being familiar with psychiatry

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験 60 点＋出席 40 点（1，3，5，7 回目に実施する小課題提出）
B3
S:90 点以上，A:80 点以上，B:70 点以上，C:60 点以上

B4
A:80 点以上, B:65 点以上, C:55 点以上

examination 60%, attendance 40% (small task for 1st, 3rd, 5th and 7th lecture)
B3
S:90 or higher (out of 100 points)
A:80 or higher (out of 100 points)
B:70 or higher (out of 100 points)
C:60 or higher (out of 100 points)
B4
A:80 or higher (out of 100 points)
B:65 or higher (out of 100 points)
C:55 or higher (out of 100 points)

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験は多肢選択式 12 問. 参考のため昨年度問題(正答付)を第 2 講で配布. 留学生は試験中に日本語辞書の使用可.
Examination consists of multiple choice 12 questions . Exam sheet with correct answer in 2016 will be distributed in the second lecture for reference. International students may use the Japanese dictionary in the examination.

その他

質問等は可知記念病院へ(kachi@mx2.tees.ne.jp). 返信は遅れる可能性がある.
For more infornation, contact Kachi Memorial Hospital (kachi@mx2.tees.ne.jp). Reply might be delayed.

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ, 自然と人間との共生, 人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ, 自然と人間との共生, 人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ, 自然と人間との共生, 人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ, 自然と人間との共生, 人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
精神疾患, 精神医療
mental illness, psychiatry

(B1023322b)臨床心理学Ⅰ[Clinical psychology 1]

科目名[英文名]	臨床心理学Ⅰ[Clinical psychology 1]				
時間割番号	B1023322b	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	原田　一郎 HARADA Ichiro				
ナンバリング	GEN_LIB31520				

授業の目標

臨床心理学にはカウンセリング・心理療法に関わる様々な知識が蓄積されている。本講義ではカウンセリングにおける架空事例を用いて、話の聴き方や対応の仕方、その前提となる人に対する様々な捉え方（理論）を解説する。受講生が自分自身のメンタルケアについて考えたり、周囲の人たちの相談相手になる際の一助になることを期待する。また、本学学生相談の利用方法の説明を通じて、受講者自身が悩みを持った際に相談するための方法を解説する。

In Clinical Psychology, a wide variety of knowledge on counseling / psychotherapy has been accumulated. This course will give explanations on listening skills and how to treat, and the premise for these, various perspectives for people ? theories, using imaginary cases of counseling. It is expected that students who take the course come to think about mental care for themselves and the course will be of help when students are consulted by those around them. This course will also have the topic on the usage of the student counseling service in TUT and how to consult when students have some difficulties or trouble.

授業の内容

授業回数は 7.5 回＋1 回定期試験である。

1 週目　グループワーク（受容・共感・傾聴のための準備）
2 週目　相談をすること・相談にのること、本学学生相談の利用の仕方について
3 週目　臨床事例：対人不安を示す青年（個人で検討・周囲と意見交換）
4 週目　臨床事例：対人不安を示す青年（人間学的な考え方を中心にした解説）
5 週目　臨床心理学における様々な理論（精神力動論・認知行動論・人間学）の概説
6 週目　精神力動論の基礎的な考え方（フロイト・ユング・アドラー他）
7 週目　心のバランスを取る働き（適応機制）とメンタルケア

This course will have 7.5 classes and one periodic exam.
WEEK 1　Group work (To Acceptance / Empathy / Listening)
WEEK 2　Consulting / Being consulted
The Usage of the Student Counseling Service in TUT
WEEK 3　Clinical Case Study:　A Young Adult with Interpersonal Anxiety
(Respective consideration / Exchange of opinions with other students)
WEEK 4　Clinical Case Study:　A Young Adult with Interpersonal Anxiety
(Explanations focusing on anthropological view)
WEEK 5　Overview of various theories in Clinical Psychology :
Psychodynamic theory / Cognitive ethology / Anthropology
WEEK 6　Basic views of Psychodynamic theory (Freud, Jung, Adler, and more)
WEEK 7　Maintenance of a Mental Balance (adjustment mechanism) and Mental Care

予習・復習内容

特に必要なし
Not necessarily required (On a voluntary basis)

関連科目

臨床心理学Ⅱ（＊担当教員原田）と連続している。できれば両方受講することが望ましい。ただし、どちらか一方の講義のみを受講する場合でも、予備知識なく理解可能。
This course is linked to Clinical Psychology Ⅱ(Instructor: Harada). Taking both courses is preferable. However, even if students take either only one, they can understand without any previous knowledge.

教科書に関する補足事項

教科書はなし。レジュメを毎回配布する。
No texts. The materials will be distributed in every class.

参考書に関する補足事項

参考書はなし
No references.

達成目標

1）臨床心理学における理論の基本的な知識と理解
2）相談する・される場合の対応について理解を深める
3）考え方の幅を広げることによる自己理解・自己表現の促進
1) To obtain basic knowledge and understanding of theories on Clinical Psychology
2) To get a better understanding about how to behave or treat when consulting or being consulted
3) To advance self-awareness and self-expression ability by improving a scope of thinking

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

授業中毎回実施する小課題 35 点（7 回実施、提出すれば各 5 点）と定期試験 65 点の合計点で評価。
S：達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点（100 点満点）が 60 点以上
小課題と定期試験の得点割合は問題としない

・Task (conducted in every class)
35 points (Conducted 7 times / 5 points for each will be given by submission)
・Periodic exam
65 points
s：To achieve all of the course objectives and get 90 points or more in total out of 100 in the tasks and the periodic exam
A：To achieve all of the course objectives and get 80 points or more in total out of 100 in the tasks and the periodic exam
B：To achieve all of the course objectives and get 70 points or more in total out of 100 in the tasks and the periodic exam
C：To achieve all of the course objectives and get 60 points or more in total out of 100 in the tasks and the periodic exam

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験は記号選択式。内容については 7 週目に説明
The periodic exam will be conducted in multiple-choice questions. The details will be explained in the 7th class.

その他

質問等はオフィスアワー・メール（i-harada@office.tut.ac.jp）で受けつける。

Take advantage of instructor office hours or emails (i-harada@office.tut.ac.jp) for questions or anything else connected with the course.

ウェルカムページ

なし

オフィスアワー

受講期間中の毎週火曜日 12：00～13：00。場所は B206 内原田居室（B206 窓口担当員に声をかければ案内してくれます）。
Time : 12:00-13:00 TUE during the enrollment period
Location : Harada's room (Room #2) in B206
(The person at the front desk in B206 will lead you to the room.)

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（G）チームで仕事をするための能力
チームメンバーの価値観を互いに理解して，チームとしての目標達成に個性的に寄与できる能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（G）チームで仕事をするための能力

チーム内の個々の要員の価値観を互いに尊重するとともに，協調して,チームとしての目標達成に寄与することができる。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（G）チームで仕事をするための能力
チーム内の個々の要員の価値観を互いに尊重するとともに，協調して，チームとしての目標達成に寄与することができる能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（G）チームで仕事をするための能力
チームの一員としての自己の役割を自覚し，周囲と協働して自分が行うべき責務を行い，プロジェクトを完成させる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(G) Ability to work with a team
Have the ability to mutually respect the values of individual team members; and to contribute to goal achievement as a team through working cooperatively with other team members
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(G) Ability to work with a team
Have the ability to respect the values of each team member and to contribute to goal achievement as a team through working in a coordinated manner
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(G) Ability to work with a team
Have the ability to understand what to do and what other people should do when working with others in a coordinated manner and to implement them or take actions.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(G) Ability to work with a team
Have the ability to complete projects while being aware or the roles to play as a team member and performing one's own duties in cooperation with those around oneself
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
臨床心理学　カウンセリング
clinical psychology,　counseling

(B1023323a)臨床心理学Ⅱ[Clinical psychology 2]

科目名[英文名]	臨床心理学Ⅱ[Clinical psychology 2]				
時間割番号	B1023323a	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	早川　徹 HAYAKAWA Toru				
ナンバリング	GEN_LIB31520				

授業の目標

現代社会は「ストレス社会」とも言われる。そのような社会では、こころの健康を保ちながら生活していくことが重要であると思われる。本講義では、こころの健康について、「ライフサイクル」とこころの発達という視点から考えることにする。「ライフサイクル」の中でも、特にみなさんの世代にあたる「若い成人」時期を中心に取り扱うことにする。本講義が、みなさんにとって、冷静な視点で自分自身に気が付く機会になったり、こころの健康について考える契機になってもらえることを期待をする。

The modern society which we live is called "The Stressful Society". So,It is important to keep menntal health ("KOKORO NO KENKOU").This lecture treats menntal health ("KOKORO NO KENKOU"),as points of "The Life Cycle" and development of mind.Especially,this lecture emphasis your life cycle period, "Youth".I hope ,this lecture bring you as an opportunity to notice yourself cool and to think mental health("KOKORO NO KENKOU").

授業の内容

1 週目　様々な心のモデル、メタサイコロジーモデル　（防衛機制など）
2 週目　乳・幼児期　（親子関係）
3 週目　児童・思春期　①　（エディプスコンプレックス、劣等コンプレックス）
4 週目　児童・思春期　②　（親からの自立）
5 週目　青年期の心①　（アイデンティティ、ナルシシズム）
6 週目　青年期の心②　（ストレスについて、ストレス対応について）
7 週目　成人期の心　　（夫婦関係）
8 週目　まとめ（45 分）　＋　1 回定期試験

#1 various mind model,meta-psychology model (Ex.the defenceme mechanism)
#2 Infants (parents-child relationship)
#3 Children,Adolescence ① (Oedipus complex　、Inferiority　Complex)
#4 Children,Adolescence ② (Independece from parents)
#5 Youth ①　(Identity ,Narcissism)
#6 Youth ②　(Stress and Sress Copying)
#7 Adult　(Couple's relationship)
#8 Summary (45minutes) +　Test

予習・復習内容

第 1 週目に、講義で扱う臨床素材として様々な素材を紹介します（アニメーション、絵本等）。以下の参考書の補足事項で記載したものを予定しております。講義には、それらを事前にチェックした上で参加してほしい。

The fist week I will show you list of some materials as clinical items (animated films ,Japanese picture book,etc). You attend every lecture after check the such materials. See below Notes for reference.

関連科目

教科書に関する補足事項
毎回、講義時にレジュメを配布します。

I give you resume every week.

参考書に関する補足事項
臨床素材としての項目（予定）

1 週目　アニメ「陰陽師」
2 週目　絵本 「いないいないばー」、「いたいのいたいのとんでいけ」
3 週目　アニメーション 「となりのトトロ」
4 週目　アニメーション「千と千尋の神隠し」
5 週目　絵本 「百万回いきたねこ」、「たまごにいちゃん」
7 週目　絵本 「舌きりスズメ」

some materials as clinical items (plan)
#1 cartoon : ONMYOUJI
#2 Japanese picture book : ITAINO ITAINO TONDEIKE , INAI INAI BA
#3 Animated film : TONARINO TOTORO
#4 Animated film : SEN TO CHIHIRO NO KAMIKAKUSI
#5 Japanese picture book : HYAKUMANKAI IKITA NEKO , TAMAGO NIICYAN
#7 Japanese picture book : SITAKIRI SUZUME

達成目標
1）ライフサイクルの中で、心がどのように成長し変化するかを理解すること
2）ライフサイクルの自分の年代で、心がどのような動きをしたり、どのような特徴を持つかを、講義で学んだ概念を用いて説明できること

1) You can understand growth and change of mind,in "the life cycle".
2) You can explain ,in your life cycle stage,movement of your mind and feature of your mind,using learned this lecture's concept.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：本レポート70%、小レポート2回　30%
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、以下のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて達成しており、かつレポートの合計点が（100点満点）が80点以上
B：達成目標を80%達成しており、かつレポートの合計点が（100点満点）が65点以上
C：達成目標を60%達成しており、かつレポートの合計点が（100点満点）が55点以上

[Evaluation basis]
Semester report 70%, twice small report 30%
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

A: Achieved all goals and obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
講義前後の時間なら、随時質問などを受け付けます。
If you have questions,ask me before this lecture or after this lecture.

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード
臨床心理学　Ⅱ
Clinical Psychology

(B1023323b)臨床心理学Ⅱ[Clinical psychology 2]

科目名[英文名]	臨床心理学Ⅱ[Clinical psychology 2]				
時間割番号	B1023323b	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	原田　一郎 HARADA Ichiro				
ナンバリング	GEN_LIB31520				

授業の目標

臨床心理学にはカウンセリング・心理療法に関わる様々な知識が蓄積されている。本講義前半では、事例を元に乳幼児期・青年期における対人関係が個人に及ぼす影響を中心に取りあげる。受講生が自身の対人関係のあり方を振り返るための、また、将来の育児のための一助になることを期待する。後半では様々な精神障害を取り上げ、健康問題に対する自立的行動（セルフヘルプ）について解説するとともに、ソーシャルサポートの観点から、社会（環境）の側が障害を理解し、サポートすることの重要性について論じる。

In Clinical Psychology, a wide variety of knowledge on counseling / psychotherapy has been accumulated. In the former classes, this course will give explanations focusing on the effects interpersonal relationships in early childhood and adolescence have on an individual using the case examples. My hope is that this course will help students review their own interpersonal relationships and for their raising children in the future. In the latter classes, this course will deal with various mental disorders and give explanations on self-help behavior for health issues and the importance of understanding and support for the persons with mental disorders by the social community and surroundings in terms of social support.

授業の内容

授業回数は 7.5 回＋1 回定期試験（レポート）である。
1 週目　コミュニケーション課題
2 週目　臨床事例：個人で検討・周囲と意見交換
3 週目　臨床事例：乳幼児期・青年期の成長・対人関係を中心にした解説①
4 週目　臨床事例：乳幼児期・青年期の成長・対人関係を中心にした解説②
5 週目　環境側の理解と受容（心理モデル・医学モデル・社会モデルにおける障害の捉え方と障害受容）
6 週目　メンタルケア（セルフヘルプとソーシャルサポートの観点から）
7 週目　様々な精神障害とその対応（発達障害とグレーゾーン）

This course will have 7.5 classes and one periodic exam (the term paper).

WEEK 1　Communication task
WEEK 2　Clinical Case Study:
Respective consideration / Exchange of opinions with other students
WEEK 3　Clinical Case Study:
　Explanations① focusing on growing and interpersonal relationships in early childhood and adolescence
WEEK 4　Clinical Case Study:
　Explanations② focusing on growing and interpersonal relationships in early childhood and adolescence
WEEK 5　Acceptance and Understanding by Surroundings
(Perspectives and Acceptance for mental disorders in Psychological model / Medical model / Social model)
WEEK 6　Mental Care　(In terms of Self-help and Social support)
WEEK 7　Various Mental Disorders and How to deal with those①
(Developmental Disorder and Grey Zone)

予習・復習内容

特に必要なし
Not necessarily required (On a voluntary basis)

関連科目

臨床心理学Ⅰ（＊担当教員原田）と連続している。できれば両方受講することが望ましい。ただし、どちらか一方の講義のみを受講する場合でも、予備知識なく理解可能。
This course is linked to Clinical Psychology Ⅰ(Instructor: Harada). Taking both courses is preferable. However, even if students take either only one, they can understand without any previous knowledge.

教科書に関する補足事項

教科書はなし。レジュメを随時配布する。
No texts. The materials will be distributed as needed.

参考書に関する補足事項
参考書はなし
No references.

達成目標
1）臨床心理学における対人関係・精神障害の基本的な知識と理解
2）相談する・される場合の対応について理解を深める
3）考え方の幅を広げることによる自己理解・自己表現の促進
1) To obtain basic knowledge and understanding of interpersonal relationships and mental disorders in Clinical Psychology
2) To get a better understanding about how to behave or treat when consulting or being consulted
3) To advance self-awareness and self-expression ability by improving a scope of thinking

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
授業中毎回実施する小課題 35 点（7 回実施、提出すれば各 5 点）と定期試験（レポート）65 点の合計点で評価。

S：達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点（100 点満点）が 60 点以上
小課題と定期試験（レポート）の得点割合は問題としない。
・Task (conducted in every class)
35 points (Conducted 7 times / 5 points for each will be given by submission)
・Term paper
65 points
S：To achieve all of the course objectives and get 90 points or more in total out of 100 in the tasks and the term paper
A：To achieve all of the course objectives and get 80 points or more in total out of 100 in the tasks and the term paper
B：To achieve all of the course objectives and get 70 points or more in total out of 100 in the tasks and the term paper
C：To achieve all of the course objectives and get 60 points or more in total out of 100 in the tasks and the term paper

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細
レポート内容については 5 週目に伝える（＊なんらかの事情で 5 週目に受講できなかった場合は、6 週目・7 週目の講義前後に担当教員までレポート内容の確認に来ること

The content of the term paper will be told about in the 5th week. For the students who can't attend the class in the 5th week, come to confirm the content of the term paper to the instructor before or after the 6th or the 7th class.

その他
質問等はオフィスアワー・メール（i-harada@office.tut.ac.jp）で受けつける。

Take advantage of instructor office hours or emails (i-harada@office.tut.ac.jp) for questions or anything else connected with the course.

ウェルカムページ
なし
None

オフィスアワー
受講期間中の毎週火曜日 12：00～13：00。場所は B206 内原田居室（B206 窓口担当員に声をかければ案内してくれます）。
Time : 12:00-13:00 TUE during the enrollment period
Location : Harada's room (Room #2) in B206
(The person at the front desk in B206 will lead you to the room.)

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チームメンバーの価値観を互いに理解して，チームとしての目標達成に個性的に寄与できる能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チーム内の個々の要員の価値観を互いに尊重するとともに，協調して,チームとしての目標達成に寄与することができる。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チーム内の個々の要員の価値観を互いに尊重するとともに，協調して，チームとしての目標達成に寄与することができる能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チームの一員としての自己の役割を自覚し，周囲と協働して自分が行うべき責務を行い，プロジェクトを完成させる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(G) Ability to work with a team
Have the ability to mutually respect the values of individual team members; and to contribute to goal achievement as a team through working cooperatively with other team members
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(G) Ability to work with a team
Have the ability to respect the values of each team member and to contribute to goal achievement as a team through working in a coordinated manner
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(G) Ability to work with a team
Have the ability to understand what to do and what other people should do when working with others in a coordinated manner and to implement them or take actions.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(G) Ability to work with a team
Have the ability to complete projects while being aware or the roles to play as a team member and performing one's own duties in cooperation with those around oneself
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
キーワード 臨床心理学　精神障害 clinical psychology,　mental disorder

(B10233240)人体生理学[Basic Physiology]

科目名[英文名]	人体生理学[Basic Physiology]				
時間割番号	B10233240	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	稗田　睦子 HIEDA Mutsuko				
ナンバリング	GEN_LIB83120				

授業の目標

人体は細胞、器官、システムによって複雑に統制され、生理機能が調整されている。本講義を通して、生理学の基礎的な知識を理解することを目標とする。

The body is an amazingly complex machine. At any given time there is intricate communication among various cells, tissues, organs, and systems that serve to coordinate its physiological functions. Our goal throughout this lecture is to emphasize conceptual understanding of the human physiology.

授業の内容

1 週目　ガイダンス
2 週目　血液
3 週目　循環
4 週目　呼吸
5 週目　プレゼンテーション（1）
6 週目　消化
7 週目　代謝
8 週目　プレゼンテーション（2）
9 週目　内分泌
10 週目　骨格
11 週目　プレゼンテーション（3）
12 週目　筋肉
13 週目　神経
14 週目　プレゼンテーション（4）
15 週目　まとめ

1st week　Introduction
2nd week　Blood
3rd week　Cardiovascular System
4th week　Respiratory System
5th week　Presentation 1
6th week　Digestive System
7th week　Regulation of Energy Metabolism
8th week　Presentation 2
9th week　Endocrine System
10th week　Skeletal System
11th week　Presentation 3
12th week　Muscular System
13th week　Nervous System
14th week　Presentation 4
15th Wrap-up

予習・復習内容

講義の復習をする。
プレゼンテーションの準備。
Review of lecture content based on notes and distributed materials
Preparation for individual preparation

関連科目

教科書に関する補足事項
テキストは使用しない。

No textbook.

参考書に関する補足事項

達成目標
1)細胞から個体までの機能が理解できるように学習する。
2)適切な論文や資料を使用して、生理学の知識を深める。
1) Explain the basic mechanisms of homeostasis by integrating the functions of cells, tissues, organs, and organ systems.
2) Identify and utilize appropriate reference resources to clarify and expand knowledge of Physiology.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
プレゼンテーション 30%　授業態度 20%　レポート 50%　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準
学部3年
S：達成目標をすべて達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 85%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 80%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
学部4年
A：達成目標をすべて達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 90%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 85%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Grades will be based on presentation (30%), participation (20%) and final report (50%).
B3
S: Based on the above evaluation criteria, 90 points or higher (out of 100 points).
A: Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B: Based on the above evaluation criteria, 70 points or higher (out of 100 points).
C: Based on the above evaluation criteria, 60 points or higher (out of 100 points).
B4
A: Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B: Based on the above evaluation criteria, 65 points or higher (out of 100 points).
C: Based on the above evaluation criteria, 55 points or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日 13 時～14 時

Wednesday 1:00-2:00 pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
生理学
Physiology

(B10233270)日本文化論[Japanese Cultural Review]

科目名[英文名]	日本文化論[Japanese Cultural Review]				
時間割番号	B10233270	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中森　康之 NAKAMORI Yasuyuki				
ナンバリング	GEN_LIB31320				

授業の目標

日本文化は、独特の価値観、技術論、上達論、教育論（技術伝承論）、身体論、心法、発想法、思考法などをもっており、それらは現代においても様々な分野に応用が利く汎用性を持っている。本講義ではそれらについて考察する。
主なトピックは、武道、将棋、宮大工など。

To consider the Japanese culture.
Main topic is the Budo,Shogi,Miyadaiku etc.

授業の内容

第1週　ガイダンス
第2週　「武道」とは何か①　武道の価値観
第3週　「武道」とは何か②　「武道」の発見～嘉納治五郎
第4週　「武道」とは何か③　　武道 OS 論～心身の基盤
第5週　逆説の心法1　武道の心法とトップアスリートの心法
～無我・今ここ・心身一如、敵を愛する、ゾーン、ルーティーン・リセット
第6週　逆説の心法2　正解がない中での決断～最善手の思想
第7週　逆説の身体1　日本人の身体と近代化
第8週　逆説の身体2　武道の身体操作とトップアスリートの身体感覚①
第9週　逆説の身体3　武道の身体操作とトップアスリートの身体感覚②
第 10 週　逆説の稽古法　型とは何か～形と型①
第 11 週　逆説の稽古法　型とは何か～形と型②
第 12 週　逆説の指導法　徒弟制度とは何か①　教えない、上達曲線論
第 13 週　逆説の指導法　徒弟制度とは何か②　徒弟制度は個性を殺すか？
第 14 週　逆説の武道、その現代的意義1
第 15 週　逆説の武道、その現代的意義2
1　Guidance
2　What is BUDO？1～Japanese sense of values
3　What is BUDO？2～The discovery of BUDO:Jigoro Kano～
4　What is BUDO？3～BUDO is Operation system～
5　Mind operation of BUDO1:mind operation of the top athlete
6　Mind operation of BUDO2:"saizensyu"
7　Body operation 0f BUDO1:Modernization of the body
8　Body operation 0f BUDO2:Body sensation of the top athlete①
9　Body operation 0f BUDO3:Body sensation of the top athlete②
10　Training method of BUDO:What is "KATA"?①
11　Training method of BUDO:What is "KATA"?②
12　Training method of BUDO:"Toteiseido"①
13　Training method of BUDO:"Toteiseido"②
14　Contemporary significance of BUDO1
15　Contemporary significance of BUDO2

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，日常生活において検証してくること。
To verify in daily life after every lecture.

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。

参考書に関する補足事項

その都度授業中に紹介する。

達成目標

①日本文化特有の心法を理解する。
②日本文化特有の身体操作の本質を理解する。
③日本文化特有の技術伝承法（指導法、人材育成法）を理解する。
④日本文化の本質を理解する。
1）To understand the essence of the Body operation of Japanese Culture.
2）To understand the essence of the Mind operation of Japanese Culture.
3）To understand the essence of the Training method of Japanese Culture.
4）To understand the essence of Japanese Culture.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的にすべての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を、試験（50%+50%）によって下記の通り評価（100 点満点）する。

B1～3, M1
S：合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：合計点が 55 点（100 点満点）以上
[Evaluation method]　examination1（50%）+examination2（50%）

[Evaluation criteria]Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1
S: Obtained total points of examinations , 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of examinations , 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of examinations , 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of examinations , 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2
A: Obtained total points of examinations , 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of examinations , 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of examinations , 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://las.tut.ac.jp/~nakamori/index.html

オフィスアワー

基本的に木曜日の昼休みとするが、これ以外の時間でも在室中は随時対応する。メール等で事前に連絡があると有り難い。
Lunch break on every Thursday

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
武道　武士道　師　師弟　身体　技術　教育

(B10233400)運動生理・生化学特論[Advanced Exercise Physiology and Biochemistry]

科目名[英文名]	運動生理・生化学特論[Advanced Exercise Physiology and Biochemistry]				
時間割番号	B10233400	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	稗田　睦子 HIEDA Mutsuko				
ナンバリング	GEN_LIB83120				

授業の目標

運動時に起こる体内の変化やトレーニングによって起こる身体の適応について理解を深める。また、加齢や環境とトレーニングの関係について、最新の研究報告を基に議論する。

Exercise physiology examines the physiological responses and adaptations of the human organism to physical activity. Considerable emphasis is given toward understanding how the body functions during exercise and adapts to long-term training. In addition, the physiological effects of factors such as age,body composition, and the environment on human performance will be discussed.

授業の内容

1 週目　ガイダンス
2 週目　筋肉について
3 週目　エネルギー供給機構
4 週目　プレゼンテーション1
5 週目　運動と呼吸・循環
6 週目　トレーニングプログラムの基礎
7 週目　プレゼンテーション2
8 週目　トレーニングと適応（筋力）
9 週目　トレーニングと適応（持久力）
10 週目　プレゼンテーション3
11 週目　運動と環境
12 週目　運動と加齢
13 週目　性差と運動
14 週目　プレゼンテーション4
15 週目　まとめ
1st week Introduction
2nd week Muscles Move Us
3rd week Food Really Is Fuel
4th week Presentation 1
5th week Muscles Need Oxygen
6th week Principles of Designing Training Programs
7th week Presentation 2
8th week Training to Improve Muscle Mass and Strength
9th week Training for Aerobic Endurance
10th week Presentation 3
11th week Heat, Cold, and Altitude
12th week Aging in Sport and Exercise
13th week Sex Difference in Sport and Exercise
14th week Presentation 4
15th week Wrap-up

予習・復習内容

講義の復習をする。
プレゼンテーションの準備。
Review of lecture content based on notes and distributed materials
Preparation for individual preparation

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。

No textbook.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)基本的な人体の生理学的なメカニズムを理解する。
2)運動時の身体の変化や適応を理解する。
3)適切な論文や資料を使用して、生理学の知識を深める。
1)Explain the basic mechanisms of the physiology of the organ systems of the human body.
2)Explain the adaptations of the physiological mechanisms of the organ systems involved in the support of human exercise.
3)Identify and utilize appropriate reference resources to clarify and expand knowledge of Physiology.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
プレゼンテーション 30%　授業態度 20%　レポート 50%　左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準
学部3年
S:達成目標をすべて達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 85%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 80%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
学部4年
A:達成目標をすべて達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 90%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 85%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

Grades will be based on presentation (30%), participation (20%) and final report (50%).
B3
S: Based on the above evaluation criteria, 90 points or higher (out of 100 points).
A: Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B: Based on the above evaluation criteria, 70 points or higher (out of 100 points).
C: Based on the above evaluation criteria, 60 points or higher (out of 100 points).
B4
A: Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B: Based on the above evaluation criteria, 65 points or higher (out of 100 points).
C: Based on the above evaluation criteria, 55 points or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日 13 時～14 時
Wednesday 1:00-2:00 pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
運動生理学、運動生化学、トレーニング
Exercise physiology, Exercise biochemistry, Exercise training

(B10233403)運動生理・生化学特論[Advanced Exercise Physiology and Biochemistry]

科目名[英文名]	運動生理・生化学特論[Advanced Exercise Physiology and Biochemistry]				
時間割番号	B10233403	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	稗田　睦子 HIEDA Mutsuko				
ナンバリング	GEN_LIB83120				

授業の目標

運動時に起こる体内の変化やトレーニングによって起こる身体の適応について理解を深める。また、加齢や環境とトレーニングの関係について、最新の研究報告を基に議論する。

Exercise physiology examines the physiological responses and adaptations of the human organism to physical activity. Considerable emphasis is given toward understanding how the body functions during exercise and adapts to long-term training. In addition, the physiological effects of factors such as age,body composition, and the environment on human performance will be discussed.

授業の内容

1 週目　ガイダンス
2 週目　筋肉について
3 週目　エネルギー供給機構
4 週目　プレゼンテーション1
5 週目　運動と呼吸・循環
6 週目　トレーニングプログラムの基礎
7 週目　プレゼンテーション2
8 週目　トレーニングと適応（筋力）
9 週目　トレーニングと適応（持久力）
10 週目　プレゼンテーション3
11 週目　運動と環境
12 週目　運動と加齢
13 週目　性差と運動
14 週目　プレゼンテーション4
15 週目　まとめ
1st week Introduction
2nd week Muscles Move Us
3rd week Food Really Is Fuel
4th week Presentation 1
5th week Muscles Need Oxygen
6th week Principles of Designing Training Programs
7th week Presentation 2
8th week Training to Improve Muscle Mass and Strength
9th week Training for Aerobic Endurance
10th week Presentation 3
11th week Heat, Cold, and Altitude
12th week Aging in Sport and Exercise
13th week Sex Difference in Sport and Exercise
14th week Presentation 4
15th week Wrap-up

予習・復習内容

講義の復習をする。
プレゼンテーションの準備。
Review of lecture content based on notes and distributed materials
Preparation for individual preparation

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。

No textbook.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)基本的な人体の生理学的なメカニズムを理解する。
2)運動時の身体の変化や適応を理解する。
3)適切な論文や資料を使用して、生理学の知識を深める。
1)Explain the basic mechanisms of the physiology of the organ systems of the human body.
2)Explain the adaptations of the physiological mechanisms of the organ systems involved in the support of human exercise.
3)Identify and utilize appropriate reference resources to clarify and expand knowledge of Physiology.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
プレゼンテーション 30%　授業態度 20%　レポート 50%　左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準
学部3年
S:達成目標をすべて達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 85%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 80%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
学部4年
A:達成目標をすべて達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 90%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 85%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

Grades will be based on presentation (30%), participation (20%) and final report (50%).
B3
S: Based on the above evaluation criteria, 90 points or higher (out of 100 points).
A: Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B: Based on the above evaluation criteria, 70 points or higher (out of 100 points).
C: Based on the above evaluation criteria, 60 points or higher
B4
A: Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B: Based on the above evaluation criteria, 65 points or higher (out of 100 points).
C: Based on the above evaluation criteria, 55 points or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日 13 時～14 時
Wednesday 1:00-2:00 pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
運動生理学、運動生化学、トレーニング
Exercise physiology, Exercise biochemistry, Exercise training

(B10233410)体育・スポーツ演習[Physical Education and Sports Practice]

科目名[英文名]	体育・スポーツ演習[Physical Education and Sports Practice]				
時間割番号	B10233410	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	稗田　睦子 HIEDA Mutsuko				
ナンバリング	GEN_LIB33320				

授業の目標

運動やスポーツは健康の維持・増進だけでなく、生活を豊かにするものである。大学生の時期は、身体を動かす機会が減る時期でもあり、本講義を通して、運動の楽しさについて再認識し、運動習慣を身につけることを目標として授業を行なう。

Exercise might not only help to improve our physical health, but might also reading enriches our life. This lecture help students gain the knowledge, attitudes, and confidence they will need to adopt and maintain physically active lifestyles.

授業の内容

1 週目　ガイダンス
2 週目～6 週目　バレーボール
7 週目～10 週目　バスケットボール
11 週目～15 週目　バドミントン

天候によって講義内容が変更になる場合がある。
講義スケージュールや、講義内容の詳細についてはガイダンスで説明する。
天候によって講義内容が変更になる場合がある。
講義スケージュールや、講義内容の詳細についてはガイダンスで説明する。

予習・復習内容

なし
Nothing

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。
No Textbook.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)健康や体力の維持に必要な運動量を確保する。
2)グループ活動を通して、良好な仲間づくりができるよう努める。
3)生涯に渡って行なえる運動習慣を身につける。
1)Participation in moderate to vigorous physical activity.
2)Learn to develop and maintain good relationships through sport.
3)Making physical activity and exercise a lifestyle habit.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
出席状況 100%
評価基準
学部3年
S: 出席率 90%
A: 出席率 80%
B: 出席率 70%
C: 出席率 60%
学部4年
A: 出席率 80%
B: 出席率 65%
C: 出席率 55%
Grades will be based on attendance(100%).
B3

S:Based on the above evaluation criteria, 90 points or higher (out of 100 points).
A:Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B:Based on the above evaluation criteria, 70 points or higher (out of 100 points).
C:Based on the above evaluation criteria, 60 points or higher (out of 100 points).
B4
A:Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B:Based on the above evaluation criteria, 65 points or higher (out of 100 points).
C:Based on the above evaluation criteria, 55 points or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日 13 時～14 時

Wednesday 1:00-2:00pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item

キーワード
運動、スポーツ
Exercise, Sports

(B1023342a)東洋文化論[Eastern Cultural Studies]

科目名[英文名]	東洋文化論[Eastern Cultural Studies]				
時間割番号	B1023342a	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	廣中　一成 HIRONAKA Issei				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

古代から近代にかけての中国の歴史をたどりながら、そのなかで東洋文化、特に中国文化がどのような変遷をたどったのか検討する。

We learn the history of China from prehistoric times to current events, and consider the change of the oriental culture, especially a Chinese one.

授業の内容

中国は 3000 年以上の歴史を持ち、また、儒教・道教・仏教が融合した文化は、日本をはじめ東アジア各国に多大な影響を与えた。

近年、日中両国は経済面を中心に緊密な関係を築いている。私たち日本人が今後も中国と関わり合いを持つなかで、中国を理解していくためには、中国の歴史や文化について、一定以上の知識を備えておく必要がある。とりわけ、近代中国と文化の問題は、今日の日中関係にも深く係わってくるテーマである。

以上の問題意識のもと、本講義では、古代からの中国文化の展開を、儒教・道教・仏教の動きを中心に振り返ったうえで、アヘン戦争以降の近代中国の文化がどのような変遷をたどったのか学んでいく。

各回の講義は以下のとおりである。講義の進度により、若干内容を変更する可能性がある。

第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　中国史概説①
第 3 回　中国史概説②
第 4 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教①
第 5 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教②
第 6 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教③
第 7 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教④
第 8 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教⑤
第 9 回　アヘン戦争と西洋文化の流入
第 10 回　封建体制の崩壊と文化
第 11 回　五四運動と新文化運動
第 12 回　迫害される仏教
第 13 回　国民革命と文化
第 14 回　日中戦争と文化①
第 15 回　日中戦争と文化②

China has the history more than 3,000 years. The culture, formed by the mixture of Confucianism, Taoism and Buddhism, had a great influence on each East Asia countries including Japan. In recent years, under the favorable economic climate, the relations between Japan and China have become closer. To understand China, we must acquire various knowledge about its history and culture. Particularly, modern history and culture are important themes, which concern the relations between Japan and China.

In this lecture, we go back mainly to Confucianism, Taoism, Buddhism, and examine the development of the Chinese culture from the ancient times. We learn also how modern Chinese culture changed after the First Opium War.

Students must do at least one presentation about lecture contents.

1: Orientation
2: Outline of Chinese history 1
3: Outline of Chinese history 2
4: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 1
5: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 2
6: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 3
7: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 4
8: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 5
9: First Opium War and influx of the western culture
10: Collapse of the feudal style and Culture
11: May Fourth Movement and New Culture Movement

12: Persecution of the Buddhism
13: National Revolution and culture
14: Second Sino-Japanese and culture 1
15: Second Sino-Japanese and culture 2

予習・復習内容

各自で毎回の講義内容を復習し、次回の講義のために参考書や関連書籍などを読んで予習しておくこと。

関連科目

教科書に関する補足事項

授業の内容に従って、適宜レジュメを配布する。

参考書 1	**書名**	『中国の歴史』			**ISBN**	978-4-480-09691-3
	著者名	岸本美緒	**出版社**	筑摩書房	**出版年**	2015
参考書 2	**書名**	『朱子学と陽明学』			**ISBN**	978-4-480-09569-5
	著者名	小島毅	**出版社**	筑摩書房	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

1、中国の歴史と文化に関心を持つ。
2、近代の中国文化に関する基本的知識を得る。
3、中国文化について、自分なりの意見を持てるようになること。
1. To be interested in Chinese history and culture.
2. To get basic knowledge about the Chinese culture in modern times.
3. To state your opinion about Chinese culture.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価は以下の割合とする。
平常点（授業態度、授業中の発言、出席状況など）30%、定期試験 70%
Class participation 30%, Exam 50%

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程

(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
中国　歴史　文化
china history culture

(B1023342b)東洋文化論[Eastern Cultural Studies]

科目名[英文名]	東洋文化論[Eastern Cultural Studies]				
時間割番号	B1023342b	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	廣中　一成 HIRONAKA Issei				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

古代から近代にかけての中国の歴史をたどりながら、そのなかで東洋文化、特に中国文化がどのような変遷をたどったのか検討する。

We learn the history of China from prehistoric times to current events, and consider the change of the oriental culture, especially a Chinese one.

授業の内容

中国は 3000 年以上の歴史を持ち、また、儒教・道教・仏教が融合した文化は、日本をはじめ東アジア各国に多大な影響を与えた。

近年、日中両国は経済面を中心に緊密な関係を築いている。私たち日本人が今後も中国と関わり合いを持つなかで、中国を理解していくためには、中国の歴史や文化について、一定以上の知識を備えておく必要がある。とりわけ、近代中国と文化の問題は、今日の日中関係にも深く係わってくるテーマである。

以上の問題意識のもと、本講義では、古代からの中国文化の展開を、儒教・道教・仏教の動きを中心に振り返ったうえで、アヘン戦争以降の近代中国の文化がどのような変遷をたどったのか学んでいく。

各回の講義は以下のとおりである。講義の進度により、若干内容を変更する可能性がある。

第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　中国史概説①
第 3 回　中国史概説②
第 4 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教①
第 5 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教②
第 6 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教③
第 7 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教④
第 8 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教⑤
第 9 回　アヘン戦争と西洋文化の流入
第 10 回　封建体制の崩壊と文化
第 11 回　五四運動と新文化運動
第 12 回　迫害される仏教
第 13 回　国民革命と文化
第 14 回　日中戦争と文化①
第 15 回　日中戦争と文化②

China has the history more than 3,000 years. The culture, formed by the mixture of Confucianism, Taoism and Buddhism, had a great influence on each East Asia countries including Japan. In recent years, under the favorable economic climate, the relations between Japan and China have become closer. To understand China, we must acquire various knowledge about its history and culture. Particularly, modern history and culture are important themes, which concern the relations between Japan and China.

In this lecture, we go back mainly to Confucianism, Taoism, Buddhism, and examine the development of the Chinese culture from the ancient times. We learn also how modern Chinese culture changed after the First Opium War.

Students must do at least one presentation about lecture contents.

1: Orientation
2: Outline of Chinese history 1
3: Outline of Chinese history 2
4: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 1
5: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 2
6: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 3
7: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 4
8: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 5
9: First Opium War and influx of the western culture
10: Collapse of the feudal style and Culture
11: May Fourth Movement and New Culture Movement

12: Persecution of the Buddhism
13: National Revolution and culture
14: Second Sino-Japanese and culture 1
15: Second Sino-Japanese and culture 2

予習・復習内容

各自で毎回の講義内容を復習し、次回の講義のために参考書や関連書籍などを読んで予習しておくこと。

関連科目

教科書に関する補足事項

授業の内容に従って、適宜レジュメを配布する。

参考書 1	**書名**	『中国の歴史』			**ISBN**	978-4-480-09691-3
	著者名	岸本美緒	**出版社**	筑摩書房	**出版年**	2015
参考書 2	**書名**	『朱子学と陽明学』			**ISBN**	978-4-480-09569-5
	著者名	小島毅	**出版社**	筑摩書房	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

1、中国の歴史と文化に関心を持つ。
2、近代の中国文化に関する基本的知識を得る。
3、中国文化について、自分なりの意見を持てるようになること。
1. To be interested in Chinese history and culture.
2. To get basic knowledge about the Chinese culture in modern times.
3. To state your opinion about Chinese culture.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価は以下の割合とする。
平常点（授業態度、授業中の発言、出席状況など）30%、定期試験 70%
Class participation 30%, Exam 50%

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程

(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
中国　歴史　文化
china history culture

(B1023343a)英語の歴史[History of English]

科目名[英文名]	英語の歴史[History of English]				
時間割番号	B1023343a	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Levin David MichaelLevin David Michael				
ナンバリング	GEN_LIB31422				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまで身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方にふれる

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English. (E)

授業の内容

This course, History and Varieties of English, will require extensive reading from the text. Students are expected to be prepared to discuss the topics during class. Due to the large quantity of material in the text, only selected topics will be included.

Week 1: Unit 1 & 2
Week 2: Unit 6
Week 3: Unit 6
Week 4: Unit 7
Week 5: Unit 7
Week 6: Unit 8
Week 7: Unit 8
Week 8: Exam 1
Week 9: Unit 9
Week 10: Unit 9
Week 11: Unit 10
Week 12: Unit 10
Week 13: Unit 10/handout
Week 14: Unit 11
Week 15: Unit 12
Week 16: Final Exam

This course, History and Varieties of English, will require extensive reading from the text. Students are expected to be prepared to discuss the topics during class. Due to the large quantity of material in the text, only selected topics will be included.

Week 1: Unit 1 & 2
Week 2: Unit 6
Week 3: Unit 6
Week 4: Unit 7
Week 5: Unit 7
Week 6: Unit 8
Week 7: Unit 8
Week 8: Exam 1
Week 9: Unit 9
Week 10: Unit 9
Week 11: Unit 10
Week 12: Unit 10
Week 13: Unit 10/handout
Week 14: Unit 11
Week 15: Unit 12

Week 16: Final Exam

予習・復習内容

Read material before class; actively participate during class; review material frequently.
Read material before class; actively participate during class; review material frequently.

関連科目

Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	The History of the English Language			**ISBN**	978-0-19-423397-2
	著者名	Brigit Viney	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	2008

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

The goal of this class is to give students an overview of selected topics related to the history and diversity of English.
The goal of this class is to give students an overview of selected topics related to the history and diversity of English.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Grades will be based on a two exams (70%) and classwork (30%).

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。

B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点(100 点満点)以上

Grades will be based on a two exams (70%) and classwork (30%).

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail:levin@las.tut.ac.jp
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail:levin@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ

NA
NA

オフィスアワー

Drop-in basis
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭および情報メディア通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭および情報メディア通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
English, History of English
English, History of English

(B1023343b)英語の歴史[History of English]

科目名[英文名]	英語の歴史[History of English]				
時間割番号	B1023343b	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～4
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	Levin David MichaelLevin David Michael				
ナンバリング	GEN_LIB31422				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまで身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方にふれる

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English. (E)

授業の内容

This course, History and Varieties of English, will require extensive reading from the text. Students are expected to be prepared to discuss the topics during class. Due to the large quantity of material in the text, only selected topics will be included.

Week 1: Unit 1 & 2
Week 2: Unit 6
Week 3: Unit 6
Week 4: Unit 7
Week 5: Unit 7
Week 6: Unit 8
Week 7: Unit 8
Week 8: Exam 1
Week 9: Unit 9
Week 10: Unit 9
Week 11: Unit 10
Week 12: Unit 10
Week 13: Unit 10/handout
Week 14: Unit 11
Week 15: Unit 12
Week 16: Final Exam

This course, History and Varieties of English, will require extensive reading from the text. Students are expected to be prepared to discuss the topics during class. Due to the large quantity of material in the text, only selected topics will be included.

Week 1: Unit 1 & 2
Week 2: Unit 6
Week 3: Unit 6
Week 4: Unit 7
Week 5: Unit 7
Week 6: Unit 8
Week 7: Unit 8
Week 8: Exam 1
Week 9: Unit 9
Week 10: Unit 9
Week 11: Unit 10
Week 12: Unit 10
Week 13: Unit 10/handout
Week 14: Unit 11

Week 15: Unit 12
Week 16: Final Exam

予習・復習内容
Read material before class; actively participate during class; review material frequently.
Read material before class; actively participate during class; review material frequently.

関連科目
Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	The History of the English Language			**ISBN**	978-0-19-423397-2
	著者名	Brigit Viney	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	2008

教科書に関する補足事項
Material will be provided
Material will be provided

参考書に関する補足事項

達成目標
The goal of this class is to give students an overview of selected topics related to the history and diversity of English.
The goal of this class is to give students an overview of selected topics related to the history and diversity of English.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
Grades will be based on a two exams (70%) and classwork (30%).

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。

B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点(100 点満点)以上

Grades will be based on a two exams (70%) and classwork (30%).

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail:levin@las.tut.ac.jp
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail:levin@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
Drop-in basis

Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭および情報メディア通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭および情報メディア通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード

English, History of English
English, History of English

(B10233440)哲学[Philosophy]

科目名[英文名]	哲学[Philosophy]				
時間割番号	B10233440	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中村　大介 NAKAMURA Daisuke				
ナンバリング	GEN_LIB81120				

授業の目標

科学哲学の講義を通して、「物理学とは何か」、「科学の目的・構造とはどのようなものか」といった問題を受講者と共に考えていきたい。

This is a special lecture about Philosophy of Sciences. We consider the philosophical problems in natural sciences such as "What are the purposes and structures of sciences?"

授業の内容

講義形式であるが、受講者にはこちらから質問を随時投げかけ、積極的に議論に加わってもらう。

1．イントロダクション
2．17世紀の科学革命と近代科学の形成（1）
3．17世紀の科学革命と近代科学の形成（2）
4．科学の対象とその数量化
5．科学における仮説の導入と理論の構成
6．科学の目的と科学理論の特質
7．物理学における実験と反証
8．帰納主義、実証主義、現象論
9．道具主義と規約主義
10．物理理論とホーリズム
11．科学的相対主義（1）
12．科学的相対主義（2）
13．科学的実在論
14．科学的世界と日常の世界
15．まとめ

1st week: Introduction
2nd week: Scientific Revolution in 17th century (1)
3rd week: Scientific Revolution in 17th century (2)
4th week: Objects of Sciences and their quantification
5th week: Introduction of hypotheses in Sciences and Construction of theories
6th week: Purposes of Sciences and theirs Properties
7th week: Experiments and Refutations in Physics
8th week: Inductionism, Positivism and Phenomenalism
9th week: Instrumentalism and Conventionalsm
10th week: Physical Theory and Holism
11th week: Relativism about Science (1)
12th week: Relativism about Science (2)
13th week: Scientific Realism
14th week: Scientific World and Ordinary World
15th week Review

予習・復習内容

予習の必要はない。授業の内容をまとめ、各自の考察を加えるレポート（3回）が復習の代わりとなる。

関連科目

「哲学概説」及び「数理と哲学」。但し履修義務はない。
"Introduction to Philosophy" and "Mathematical Principles and Philosophy"

教科書 1	**書名**	科学哲学			**ISBN**	978-4-7828-0204-5
	著者名	小林道夫	**出版社**	産業図書	**出版年**	1996

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

その他の参考書は授業ごとに指示する。

Mention other reference books in classes.

達成目標

受講生各自が
1）科学を一歩引いた視点から考察できるようになること
2）科学的実在論などの哲学上の問題を考えるきっかけを得ること
以上二点を目標とする。
Think about the sciences in their "meta"-level and some philosophical problems in sciences such as "Scientific Realism".

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

授業中に三回課すレポートで下記のように評価する。
[B1～3, M1]
S:レポートの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 60 点（100 点満点）以上

[B4,M2]
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Course Evaluation
Evaluation is based on three short papers (100 points).
[B1～3, M1]
S: total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

[B4,M2]
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.tut.ac.jp/teach/main.php?mode=detail&article=766
https://www.tut.ac.jp/english/schools/faculty/las/766.html

オフィスアワー

木曜日 13:30～15:30
その他、メール等で問い合わせてくれれば適宜応ずる。
Thursday from 13:30 to 15:30.
Contact by mail is also welcome.

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード

科学哲学

(B10233450)比較文化論[Comparative Cultural Studies]

科目名[英文名]	比較文化論[Comparative Cultural Studies]				
時間割番号	B10233450	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	斎藤　喬 SAITO Takashi				
ナンバリング	GEN_LIB81120				

授業の目標

比較をするためには二つ以上の文化が必要となるが、そこで「自分の文化」を前提とせずに「他人の文化」を対象にすることは困難である。授業ではこのような「自文化」と「他文化」の関係に注目し、「文化的な存在」としての人間という問題について身近な事例を通して考えていくことを目指す。

Though the concept of comparison needs at least more than two cultures, no one can think about another culture without the conditioning of their own culture. This course is designed to familialize the students with comparative cultural studies.

授業の内容

(1)比較文化論の主要テーマの中から、特に「他者」と「排除」を取り上げ、比較文化論としてそれらの問題をどのように捉えることができるかを提示する。

(2)講義の内容を、受講者一人ひとりが自分の問題として考える手助けとなるように、具体例として小説や映画のさまざまな作品を取り上げていく。

1.授業の概要：「目に見えないもの」としての文化
2.文化はいつどこから始まるのか
3.比較文化論における「他者」について
4.他者の問題(1)：「他者」は文化によって作り出される？
5.他者の問題(2)：人に物を贈るということ
6.他者の問題(3)：死者を弔うということ
7.他者の問題(4)：進んだ文化と遅れた文化
8.共同体は何を犠牲にして成り立っているのか
9.現代社会における「排除」について
10.排除の問題(1)：社会現象としての「排除」
11.排除の問題(2)：文学・映画作品の中の「排除」(欧米編)
12.排除の問題(3)：文学・映画作品の中の「排除」(日本編)
13.排除の問題(4)：共同体によって排除される「異質なもの」
14.排除の問題によって何がわかるのか
15.授業のまとめ：「文化的な存在」であることの意味

(1) Special emphasis is placed on social exclusion from the viewpoint of comparative cultural studies.
(2) The course will introduce various works (novels, movies, etc.) to students as accessible examples.

1. Culture, the invisible
2. From where and when did culture begin?
3. “The other” in comparative cultural studies
4. Cuture makes “the other”
5. The anthropological meaning of the gift.
6. Funerals and the awe of the dead
7. The notion of evolution
8. What is meant by “sacrifice” in a community?
9. “Exclusion” in modern society
10. A society based on “exclusion”
11. Social exclusion in the European context
12. Social exclusion in the Japanese context
13. A community excludes the different
14. The meaning of social exclusion
15. Self-understanding as a cultural being

予習・復習内容

復習として授業中に配布したレジュメを見直したり紹介した小説や映画を積極的に読書し視聴することが望ましい。

It is hoped that the students will reread the papers and touch on the works introduced in the class.

関連科目

教科書に関する補足事項

授業ではテキストを使用せず、毎回レジュメを配布する。
The course has no text but material will be handed out each lesson.

参考書に関する補足事項

毎回の内容に即して、授業ごとに適宜指示する。
These will be designated according to the content of the class.

達成目標

(1)「人はなぜ文化を作るのか」という比較文化論の根本問題を理解し文化を異にする「他者」に関する具体的なイメージをつかむ。
(2)「排除」という身近な現象についての研究に触れることで自分自身が「文化的な存在」であることの意味を考える態度を身につける。

(1) The students have to reflect on why human beings make their own cultures on the basis of the comprehension of another culture.
(2) The students have to form a relative attitude to their own culture through studies on the phenomenon of social exclusion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎回の授業で課すミニテスト(3%／回→45%／15 回)と、学期末に課すレポート(55%)の合計で評価する。
Short test at the end of each class (3% / 1 class – total of 45% / 15 classes), Final report (55%)

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業終了時に教室にて質問を受け付ける。
After each class, it is possible to ask questions.

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード

比較文化論、他者、排除
Comparative cultural studies, the other, social exclusion

(B10233460)言語と思想Ⅰ[Language and Thought 1]

科目名[英文名]	言語と思想Ⅰ[Language and Thought 1]				
時間割番号	B10233460	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中村　大介 NAKAMURA Daisuke				
ナンバリング	GEN_LIB81120				

授業の目標

生物学は前世紀以降飛躍的な進展を示し、医学は現代社会において大きな地位を占めている。
本講義は、フランスの科学哲学者ジョルジュ・カンギレム（1904-1995）の生命科学と医学の哲学を扱いつつ、生物学や医学の含む様々な哲学的問題を考察したい。
This is a special lecture about the philosophy of Georges Canguilhem (1904-1995), who studied the biology and the medicine, two branches of sciences highly developed today.

授業の内容

配布プリントを用いて講義形式でおこなう。ただし受講者にはこちらから質問を随時投げかけ、積極的に議論に加わってもらう。

1. イントロダクション
2～3.『正常と病理』第 1 章
4～6.『正常と病理』第 2 章
7. カンギレムの誤謬論と認識論
8. まとめ
1st week: Introduction
2nd-3rd week: The 1st chapter of "The Normal and the Pathological"
4th-6th week: The 2nd chapter of "The Normal and the Pathological"
7th week: The theories of error and knowledge of Canguilhem
8th week: Review

予習・復習内容

予習の必要はない。授業内容をまとめ、各自の考察を加えるレポートが復習の代わりとなる。

関連科目

「言語と思想Ⅱ」及び「哲学」。但し履修義務はない。
"Language and Thought 2" and "Philosophy"

教科書に関する補足事項

プリントを配布する。
Use professor's handouts.

参考書 1	**書名**	正常と病理			**ISBN**	9784588002250
	著者名	ジョルジュ・カンギレム	**出版社**	法政大学出版局	**出版年**	1987
参考書 2	**書名**	生命の認識			**ISBN**	9784588007354
	著者名	ジョルジュ・カンギレム	**出版社**	法政大学出版局	**出版年**	2002
参考書 3	**書名**	カンギレム：生を問う哲学者の全貌			**ISBN**	9784560509609
	著者名	ドミニック・ルクール	**出版社**	白水社（文庫クセジュ）	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

1）医学に関する様々な見方を獲得すること。
2）「生命とは何か」という根本的な問題に取り組むきっかけを得ること。
Acquire various viewpoints about the medicine and consider a fundamental question such as "what is life?".

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間レポートと期末レポートで下記のように評価する。
[B1～3, M1]
S：レポートの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポートの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポートの合計点が 60 点（100 点満点）以上

[B4,M2]
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 55 点(100 点満点)以上
Course Evaluation
Evaluation is based on two short papers (100 points).
[B1～3, M1]
S: total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

[B4,M2]
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.tut.ac.jp/teach/main.php?mode=detail&article=766
https://www.tut.ac.jp/english/schools/faculty/las/766.html

オフィスアワー
木曜日 13:30～15:30
その他、メール等で問い合わせてくれれば適宜応ずる。
Thursday from 13:30 to 15:30.
Contact by mail is also welcome.

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード
哲学、科学認識論、生物学、医学、カンギレム
Philosophy, French epistemology, biology, medicine, Canguilhem

(B10233470)言語と思想Ⅱ[Language and Thought 2]

科目名[英文名]	言語と思想Ⅱ[Language and Thought 2]				
時間割番号	B10233470	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中村　大介 NAKAMURA Daisuke				
ナンバリング	GEN_LIB81120				

授業の目標

狂気をどのように思考しうるのか、現代において権力はどのように働いているのか、そして科学と権力はどのように関わるのか ---- このような問いを突きつけるミシェル・フーコーの思想を通して、現代社会を捉えるための新たな視点を提供する。

This course offers the essence of Michel Foucault's thought, which confronts some fundamental questions such as "how one can think about the madness?", "what is the power in the contemporary era?" and "what relations exist between sciences and power?".

授業の内容

1. イントロダクション
2. 狂気と理性:『狂気の歴史』
3. エピステーメとはなにか(1):『言葉と物』①
4. エピステーメとはなにか(2):『言葉と物』②
5. フーコー権力論の射程(1):『監獄の誕生』①
6. フーコー権力論の射程(2):『監獄の誕生』②
7. フーコー権力論の射程(3):生権力論と自由
8. まとめ

1st week: Introduction
2nd week: History of Madness in the Classical Age
3rd-4th week: The Order of Things
5th-6th week: Discipline and Punish
7th week: Biopower and Problem of Freedom
8th week: Review

予習・復習内容

関連科目

「言語と思想 I」及び「哲学」。但し履修義務はない。
"Language and Thought 1" and "Philosophy"

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	狂気の歴史 -- 古典主義時代における			**ISBN**	978-4105067021
	著者名	ミシェル・フーコー	**出版社**	新潮社	**出版年**	1975
参考書 2	**書名**	言葉と物 -- 人文科学の考古学			**ISBN**	978-4105067014
	著者名	ミシェル・フーコー	**出版社**	新潮社	**出版年**	1974
参考書 3	**書名**	監獄の誕生 -- 監視と処罰			**ISBN**	978-4105067038
	著者名	ミシェル・フーコー	**出版社**	新潮社	**出版年**	1977

参考書に関する補足事項

参考書4　書名:フーコー・ガイドブック　著者名:小林康夫ほか
出版社:筑摩書房(ちくま学芸文庫)　出版年:2006　ISBN:978-4480089977

参考書5　書名:ミシェル・フーコー -- 近代を裏から読む　著者名:重田園江
出版社:筑摩書房(ちくま新書)　出版年:2011　ISBN:978-4480066275

達成目標

1)フーコーの思想を理解すること。
2)現代社会における権力や自由の問題を考えるための視座を得ること。
Understand Michel Foucault's thought and obtain some viewpoints to think the problems of power and freedom in our time.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間レポートと期末レポートで下記のように評価する。

[B1～3, M1]
S:レポートの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 60 点(100 点満点)以上

[B4,M2]
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 55 点(100 点満点)以上
Course Evaluation
Evaluation is based on two short papers (100 points).
[B1～3, M1]
S: total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

[B4,M2]
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.tut.ac.jp/teach/main.php?mode=detail&article=766
https://www.tut.ac.jp/english/schools/faculty/las/766.html

オフィスアワー
木曜日 13:30～15:30
その他、メール等で問い合わせてくれれば適宜応ずる。
Thursday from 13:30 to 15:30.
Contact by mail is also welcome.

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード
哲学、科学認識論、権力、自由、フーコー
Philosophy, French epistemology, Power, Freedom, Foucault

(B1023348a)史学[Historical Science]

科目名[英文名]	史学[Historical Science]				
時間割番号	B1023348a	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	相京　邦宏 AIKYO Kunihiro				
ナンバリング	GEN_LIB81220				

授業の目標

歴史学の歴史
歴史学の意義及び人類の『歴史観の歴史』について考察する
History of history.
Significance of history and history of historical view.

授業の内容

講義の前半は，歴史学の意義及び歴史と歴史叙述の関係について基本的なことを解説する。後半は，古代から近・現代に至る人類の「歴史観の歴史」について考察する。つまり，古代人の歴史観や，中世のキリスト教的歴史観，近代の啓蒙主義的進歩史観などについて，各時代の代表的な哲学観なども交えながら，基本的なことを概観する。こうした講義全体を通じて「歴史的な物の見方」や人類と歴史の関わりについて総合的に考察する。
第 1回 オリエンテーション
第 2回 歴史の重要性
第 3回 歴史と史料
第 4回 歴史と歴史叙述Ⅰ
第 5回 歴史と歴史叙述Ⅱ
第 6回 古代・中世の歴史観Ⅰ
第 7回 古代・中世の歴史観Ⅱ
第 8回 ヒューマニズムの歴史観
第 9回 啓蒙主義の歴史観Ⅰ
第 10 回 啓蒙主義の歴史観Ⅱ
第 11 回 歴史主義の成立Ⅰ
第 12 回 歴史主義の成立Ⅱ
第 13 回 科学的歴史学の成立Ⅰ
第 14 回 科学的歴史学の成立Ⅱ
第 15 回 授業の総括と質疑応答
At first, significance of history, history and historiography.
Second, history of historical view.

1. Orientation
2. Significance of history
3. History and historical materials
4. History and historiography 1
5. History and historiography 2
6. Historical view of the Ancient and Middle Ages 1
7. Historical view of the Ancient and Middle Ages 2
8. Historical view of the Humanism
9. Historical view of the Enlightment 1
10. Historical view of the Enlightment 2
11. Appearance of the Historism 1
12. The appearance of the Historism 2
13. Founding of the scientific history 1
14. Founding of the scientific history 2
15. Summary of lecture

予習・復習内容

前回の講義を復習した上で、次回講義に参加すること。
Review of the last time lecture

関連科目

西洋史、西欧文化論

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項
テキスト：無し
参考図書：
西村貞二『歴史から何を学ぶか』講談社現代新書

達成目標
歴史的な思考力が身につき、物事を論理的、大局的に捉えることができる
The historical ability to think.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
学期末に定期試験を実施し、成績、単位認定を行う。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価基準が学年ごとに異なります。
〇5 段階評価 …学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次向けの開講科目
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
〇4段階評価 …学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次向けの開講科目
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1-3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2-3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日 午後 1 時～4 時
pm. 1-4(Wednesday)

学習・教育到達目標との対応
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・
福祉について考える能力
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力

社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
歴史、歴史叙述、歴史観
history, historiography, historical view

(B1023348b)史学[Historical Science]

科目名[英文名]	史学[Historical Science]				
時間割番号	B1023348b	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	相京　邦宏 AIKYO Kunihiro				
ナンバリング	GEN_LIB81220				

授業の目標

歴史学の歴史
歴史学の意義及び人類の『歴史観の歴史』について考察する
History of history.
Significance of history and history of historical view.

授業の内容

講義の前半は，歴史学の意義及び歴史と歴史叙述の関係について基本的なことを解説する。後半は，古代から近・現代に至る人類の「歴史観の歴史」について考察する。つまり，古代人の歴史観や，中世のキリスト教的歴史観，近代の啓蒙主義的進歩史観などについて，各時代の代表的な哲学観なども交えながら，基本的なことを概観する。こうした講義全体を通じて「歴史的な物の見方」や人類と歴史の関わりについて総合的に考察する。
第 1回 オリエンテーション
第 2回 歴史の重要性
第 3回 歴史と史料
第 4回 歴史と歴史叙述Ⅰ
第 5回 歴史と歴史叙述Ⅱ
第 6回 古代・中世の歴史観Ⅰ
第 7回 古代・中世の歴史観Ⅱ
第 8回 ヒューマニズムの歴史観
第 9回 啓蒙主義の歴史観Ⅰ
第 10 回 啓蒙主義の歴史観Ⅱ
第 11 回 歴史主義の成立Ⅰ
第 12 回 歴史主義の成立Ⅱ
第 13 回 科学的歴史学の成立Ⅰ
第 14 回 科学的歴史学の成立Ⅱ
第 15 回 授業の総括と質疑応答
At first, significance of history, history and historiography.
Second, history of historical view.

1. Orientation
2. Significance of history
3. History and historical materials
4. History and historiography 1
5. History and historiography 2
6. Historical view of the Ancient and Middle Ages 1
7. Historical view of the Ancient and Middle Ages 2
8. Historical view of the Humanism
9. Historical view of the Enlightment 1
10. Historical view of the Enlightment 2
11. Appearance of the Historism 1
12. The appearance of the Historism 2
13. Founding of the scientific history 1
14. Founding of the scientific history 2
15. Summary of lecture

予習・復習内容

前回の講義を復習した上で、次回講義に参加すること。
Review of the last time lecture

関連科目

西洋史、西欧文化論

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項
テキスト：無し
参考図書：
西村貞二『歴史から何を学ぶか』講談社現代新書

達成目標
歴史的な思考力が身につき、物事を論理的、大局的に捉えることができる
The historical ability to think.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
学期末に定期試験を実施し、成績、単位認定を行う。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価基準が学年ごとに異なります。
〇5 段階評価 …学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次向けの開講科目
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
〇4段階評価 …学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次向けの開講科目
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1-3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2-3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日 午後 1 時～4 時
pm. 1-4(Wednesday)

学習・教育到達目標との対応
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・
福祉について考える能力
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social

environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
歴史
history, historiography, historical view

(B10233490)日本史[Japanese History]

科目名[英文名]	日本史[Japanese History]				
時間割番号	B10233490	区分	人文科学科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	水 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	佃 隆一郎 TSUKUDA Ryuichiro				
ナンバリング	GEN_LIB31220				

授業の目標

日本の近代（明治以降）における軍隊の実像や戦争の経過について、旧陸軍および「十五年戦争」を中心に、歴史的な事象として認識・理解させ、戦後 70 年をへた今日の関連諸問題を考える上での一助とさせることを目標とする。

The objectives of class are for understanding modern history about Imperial Japanese Army and the Manchurian Incident,the Sino-Japanese War and the Pacific War,and for understanding them as historical facts in order to consider related problems in the postwar now.

授業の内容

年間を通じての主要対象時期は、1914 年（第一次世界大戦勃発）ごろから 1945 年（第二次世界大戦/十五年戦争終結）までの約 30 年間とする。序盤は「陸軍軍縮編」として、君たちが今学んでいる地である豊橋地区がかつて「軍都」と呼ばれていたほど、軍隊との関わりが深かったことと、そこにあった陸軍部隊が 1920 年代に軍縮により削減されたという出来事があったことを紹介することを通じて、近代日本陸軍の膨張の過程を説明するとともに、第一次・第二次両世界大戦の間の時期に実は“軍縮の時代”があったことや、“身近なものから歴史を見つめる”ことの意義を考えてもらう。
中盤は十五年戦争の第１・第２段階である「満州事変・日中戦争編」として、戦争の発端となった事件や、その背景としての関連状況はどのようなものであったかを把握したい。そして、10 年後の太平洋戦争開戦断行に至るまでの流れにはいくつかのターニングポイントがあり、戦争拡大を止めるチャンスは確実にあったことや、現在ややもすれば論議となっている事件・テーマについての、冷静で望ましい視点とは何かということを示してみたい。
後半は十五年戦争の第３段階としての「アジア太平洋戦争編」であるが、この戦争名は「太平洋戦争」の実態をより正確に表現すべく近年提唱されているものであることを、「大東亜戦争」「第二次世界大戦」といった他の呼称と絡め合わせて教示した上で、この戦争の経過や当時の国内の様相、さらには日本の敗因について説明していく。特に「大東亜共栄圏」の実態など、東アジア諸国・地域との関係についてのことを、“アジアとともに生きる者”の責務として考えてみたい。
各回とも、最初にプリントを配付した上で進めていく。ときには、歴史学全般に関する豆知識や、時事にかなったトピックを織りまぜるなどの工夫もこらしてみたい。

＊授業内容・スケジュール

第 1 週 …オリエンテーション
パートⅠ・・・陸軍軍縮編
第 2 週（1）近代日本陸軍の創設と膨張 ― キーワードは「天皇の軍隊」
第 3 週（2）日露戦争からワシントン会議へ ― ストップ・ザ・日本帝国
第 4 週（3）陸軍軍縮① ― 宇垣軍縮と「軍都・豊橋」
第 5 週（4）陸軍軍縮② ― 軍縮から軍拡へのターニングポイント
パートⅡ・・・満州事変・日中戦争編
第 6 週（1）十五年戦争の開幕 ― いつ, どこで, どのように始まったか
第 7 週（2）満州占領から華北分離へ ― 十五年戦争に空白期はあったか
第 8 週（3）日中全面戦争① ― “あの事件”の本質を突く
第 9 週（4）日中全面戦争② ― 果てしなき戦争へ
第 10 週（5）1941 年 12 月 8 日への道 ― “二つの大戦争”の融合
パートⅢ・・・アジア太平洋戦争編
第 11 週（1）勝利と栄光の半年 ― ハワイ奇襲の功罪と、勝利の真相
第 12 週（2）戦局の転換 ― ミッドウェー・ガダルカナルでの敗北の真意
第 13 週（3）「大東亜共栄圏」の幻影 ― 日本はアジアを理解しえたか
第 14 週（4）連合国軍の反攻 ― 阻止するチャンスはあったか
第 15 週（5）「天皇の軍隊」の崩壊 ― なぜあれほどまで敗れたのか

The main period is from 1914(opening World War Ⅰ)to 1945(closing World WarⅡ).
The early stage(PartⅠ)is about the army disarmaments. Through introductions about Toyohashi,our living city,where was called GUNTO(meaning "military city")in the prewar,having many relations with the Imperial Japanese Army and having №15 Division was abolished in 1925.And teaching a period of disarmament between World War Ⅰ and World WarⅡ,a process about expansion of modern Imperial Japanese Army,a significance of history near at hand.
The middle stage(PartⅡ)is about the Manchurian Incident,the Sino-Japanese War. You shall know the incidents of beginning these wars and the state of things as a background. And Ishall teach that there were some turning points and chances to stop spreading the war certainly ,what are viewpoints about the subjects which are apt to be under discussions today.
The final stage(PartⅢ)is about the Asian Pacific War. This name is being called to express the actual situation of "the Pacific War" more exactly,Ishall teach its tendency with other names' feature and explain the war's progress,each aspect in Japan at that time,each relationship between Japan and the East Asian countries especially as a responsibility for living with Asians.
Every lecture shall be proceeded with handing out resumes. In some cases I will devise adding a few knowledge about general history and topics of the day.

Contents and Schedule:

1st:Orientation
PartⅠ:The Army Disarmaments
2nd(1):Organization and Expansion of Modern Japanese Imperial Army
3rd(2):From the Russo-Japanese War to the Conference in Washington,D.C.
4th(3):The Army Disarmament ①
5th(4):The Army Disarmament ②
PartⅡ:The Manchurian Incident and the Sino-Japanese War
6th(1):Opening the Manchurian Incident(until World WarⅡor the Pacific War)
7th(2):From the occupation Manchuria to the Superintendence North China
8th(3):The Sino-Japanese War ①
9th(4):The Sino-Japanese War ②
10th(5):The Way to Dec.7 in 1941
PartⅢ:The Asian-Pacific War
11th(1):The Half Year of Victory and Glory
12th(2):The War Situation Had Converted
13th(3):"Greater East Asian Mutual Coexistence Area" was a Phantom
14th(4):The Allies Forces' Counterattack
15th(5):The Collapse of "Japanese emperor's Army and Navy"

予習・復習内容
できるだけ、事前に関連の諸事象について調べてもらいたい。
毎回配布するプリントは、もう一度目を通した上で次回も持参すること。
このように本授業では毎回プリントを配布する形にするが、次回の内容を含める構成をとることにするので、それをもとに用語や事実をある程度調べておいた上で出席してもらいたい。各回のプリントはまとめて保管し、復習をするとともに試験に備えておくこと。

Ihope that, as much as possible,you study related history in advance.
You should bring the resumes handed out every lecture with having looked over on next,and had better study the resumes'contents concerned next lecture.
Every resumes are to be keeping together,and you should study them again,prepare to take this examination.

関連科目
なし

None

教科書に関する補足事項
教科書…講義内容や関連資料を記したプリントを毎回配付。
参考文献(論文等)…上記プリントに記載する。
Notes:I shall distribute resumes written this lecture's contents and related material every time.
References(including monographs):Written on these resumes.

参考書 1	**書名**	『大系日本の歴史 14 二つの大戦』			**ISBN**	978-4-09-461014-7
	著者名	江口圭一	**出版社**	小学館ライブラリー	**出版年**	1993
参考書 2	**書名**	『日本軍事史』			**ISBN**	978-4-642-07953-2
	著者名	高橋典幸・山田邦明・保谷徹・一ノ瀬俊也	**出版社**	吉川弘文館	**出版年**	2006
参考書 3	**書名**	『地域のなかの軍隊3 中部 列島中央の軍事拠点』			**ISBN**	978-4-642-06475-0
	著者名	河西英通(編)	**出版社**	吉川弘文館	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項
個人で関連図書を購入したり借り受けたりして参考にすることはむろん構わないが、「客観的に事実の流れを叙述している」ものを選ぶのが望ましい。
It is needless to say that you buy or borrow related books and refer to them, but their books ought to be objective.

達成目標
・歴史の実態や流れに対する冷静かつ客観的な把握(最重要)
・史料や文献の基本的な読み方の理解
・現在の問題に対して歴史を教訓にできること
Calm and objective grasp for circumstances and passage of history—the most important.
Understanding how to read historical material and literature.
Being able to draw lessons of history against today's problems.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法:基本的に定期試験(論述式)の点数で評価するが、10 点以内で平常点を加減する場合もあり。
評価基準:成績評価としては下記の通りとする。(100 点満点)
A:当該時期の歴史経過を把握しており、本講義で学んだことに対して自主的な理解と反応を示している。(100～80 点)
B:当該時期の歴史経過を概ね把握しており、本講義で学んだということがうかがえる。(65～79 点)
C:当該時期の歴史経過をある程度把握しており、本講義に出席したことがうかがえる。(55～64 点)
[Evaluation basis] Students describe each answer's marks. But as the case may be adjusted usual points within 10 points.
A: Certainly grasped historical passage about this period, and it is evident to have independently understood and responded to studying this lecture; 80-100 points.
B: Generally grasped historical passage about this period, and it is conceivable to study this lecture; 65-79 points.
C: A little grasped historical passage about this period, and it is conceivable to attend this lecture; 55-64 points.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
試験は持ち込み可とする予定であるが、その分(特定の書物やインターネットの書き写しでなく)本講義で教示したことを充分に反映させた、整合性のある答案を書いてもらいたい。
This examination is planed permitting student to bring and refer to material after its start.
But this permisson hopes you to write an adjustable answer which is fully refrected studying in this lecture.

その他
開講の曜日・時限の前後に、非常勤講師室まで

If you have something for me, Please come to the part-time lecturers' room before or after this lecture on Wednesday.

ウェルカムページ

記述なし

なし

None

オフィスアワー

授業開始前・終了後の質問・意見は受け付けます。

Iam ready to hear your questions and opinions before or after this lecture.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程

(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(B)技術者としての正しい倫理観と社会性

技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程

(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(B)技術者としての正しい倫理観と社会性

技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。

情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(B)技術者としての正しい倫理観と社会性

技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。

環境・生命工学課程

(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(B)技術者としての正しい倫理観と社会性

技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。

建築・都市システム学課程

関連がある項目

(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方

自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

関連がある項目

(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性

実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

関連がある項目

(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方

自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

関連がある項目

(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性

実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering

(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(B) Sound ethics and social awareness as engineers

Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード

旧日本陸軍、天皇の軍隊、軍都豊橋、十五年戦争（満州事変・日中戦争・太平洋戦争）
Imperial Japanese Army ;Japanese emperor's Army and Navy;"GUNTO"Toyohashi;the Fifteen Years' War (the Manchurian Incident,the Sino-Japanese War and the Pacific War)

(B10233500)東洋史[Oriental History]

科目名[英文名]	東洋史[Oriental History]				
時間割番号	B10233500	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	相京　邦宏 AIKYO Kunihiro				
ナンバリング	GEN_LIB81220				

授業の目標

シルクロードに関する基本的な事柄を学ぶ。そして様々な時代の多様な地域の人々の生き方を通じて、幅広い人間性と考え方人間社会を地球的・国際的な視点から多面的にとらえる考え方を学ぶ。

History of the Silkroad.

授業の内容

シルクロードとは、アジアとヨーロッパを結ぶ太古以来の国際交易路の雅称である。絹を始めとする様々な文物の交流はまさにこの道を通じてなされたのであり、その影響は遠く我が国にも及んでいる。それはまた、様々な民族や文化の邂逅・衝突の地でもあった。およそ世界史の上で、シルクロードをめぐる文化交流史ほど、広範な舞台で複雑な変遷を経たものはない。正に人類文化の坩堝だったのである。けれどもその峻厳な自然環境のため、一度歴史の闇の中に埋もれて以来、19 世紀期末に至るまでほとんど人跡未踏の地であった。その姿が明らかになったのはここ数十年のことであり、今日尚多くの発掘や新たな発見が続けられている。そこで講義ではこうしたシルクロードの歴史や文化について基本的な事柄を学ぶ。講義の内容としては、シルクロードの歴史的意義、シルクロードの探検者達、シルクロードに活躍した様々な個人・諸民族・諸国家、シルクロードと宗教との関わりなどをそれぞれ数回に分けて取り上げる。適宜映像資料を用いる予定。

講義予定

第 1 週　オリエンテーション（授業内容の説明）
第 2 週　シルクロード概観
第 3 週　シルクロードの重要性
第 4 週　シルクロードと中国Ⅰ
第 5 週　シルクロードと中国Ⅱ
第 6 週　西方社会とシルクロード
第 7 週　草原ルートと騎馬民族文化
第 8 週　スキタイ民族の変遷Ⅰ
第 9 週　スキタイ民族の変遷Ⅱ
第 10 週　北方民族と中国
第 11 週　前漢の西域経営
第 12 週　張騫と西域
第 13 週　武帝の西域経営
第 14 週　西域渡来の文化
第 15 週　前期のまとめ

What is the Silkroad, where lived many people and nations? History and culture of the Silkroad. Significance of the Silkroad, explorers of the Silkroad, many persons, races and nations on the Silkroad.

1. Orientation
2. An outline of the Silkroad
3. Significance of the Silkroad
4. The Silkroad and China Ⅰ
5. The Silkroad and China Ⅱ
6. Occidental society and the Silkroad
7. The Stepp route and nomads
8. Scythians Ⅰ
9. Scythians Ⅱ
10. Northern people and china
11. Control of the Western Districts by Han Dynasty
12. Western Distrcts
13. Control of the Western Districts by Chineese Emperors
14. Culture from the Western Districts
15. Summary of lecture

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト・配布史料等を参考に予習してくること。
Review of the last time lecture

関連科目
シルクロードに関する基本的な知識(高校の世界史程度)を習得していることが望ましい。
関連科目：西洋史概説、西洋近代史Ⅰ、西洋近代史Ⅱ

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	シルクロード			**ISBN**	
	著者名	長沢和俊	**出版社**	校倉書房	**出版年**	
参考書 2	**書名**	シルクロードを掘る			**ISBN**	
	著者名	樋口隆康	**出版社**	大阪書籍	**出版年**	
参考書 3	**書名**	シルクロード物語			**ISBN**	
	著者名	松本和夫	**出版社**	論創社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
(1)シルクロード研究の歴史的意義を正しく理解することができる。とともに、幅広い人間性、考え方を修得している。
(2)シルクロード史全体の流れを正しく把握することができる。とともに、様々な時代の多様な地域の人々の生き方を力できる。
(3)シルクロード史に関する基本的用語を理解することができる。
(4)シルクロードの歴史とシルクロード上に活躍した人物、諸民族、諸国家の関係を正しく理解することができる。とともに、人間社会を歴史的・国際的な視点から多面的にとらえることが出来る。
1. Correct understanding of the history of the Silkroad
2. An outline of the Silkroad
3. Basic technical terms of the Silkroad
4. The Silkroad and people

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
学期末に定期試験1回を実施し、成績、単位認定を行う。評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価基準が学年ごとに異なります。
〇5 段階評価 …学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次向けの開講科目
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
〇4段階評価 …学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次向けの開講科目
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1-3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2-3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
記述なし

オフィスアワー
水曜日 午後 1 時～4 時
pm. 1-4(Wednesday)

学習・教育到達目標との対応
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力。社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between

humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
シルクロード、歴史、中国
silkroad, history, china

(B10233510)西洋史[Western History]

科目名[英文名]	西洋史[Western History]				
時間割番号	B10233510	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	相京　邦宏 AIKYO Kunihiro				
ナンバリング	GEN_LIB81220				

授業の目標

ローマ史に関する基本的な事柄を学ぶ。そして様々な時代の多様な地域の人々の生き方を通じて、幅広い人間性と考え方、人間社会を地球的・国際的な視点から多面的にとらえる考え方を学ぶ。

Roman history and art

授業の内容

今日のヨーロッパ文明の起原となる古代ローマ世界を扱う。ヨーロッパ古代社会において、北はブリタンニアから東は小アジア・シリアにわたる一大版図国家を築き上げたローマの事績には今日尚見るべきものが多い。そこで講義ではこうしたローマの歴史や文化について、遺跡や美術品などの分析を中心に基本的な事柄を概観する。

具体的には、帝国各地に残された遺物・遺跡の分析を中心に、ローマ各時代の美術・芸術的特徴を歴史的背景を踏まえつつ検討する。帝国内の人々の日常生活や宗教・民族学的な観点も交えつつローマ文化全体を考察する。

＜講義予定＞

第 1 週　オリエンテーション（授業内容の説明）
第 2 週　ローマ美術概観
第 3 週　共和政期の歴史と美術
第 4 週　帝政初期の歴史と美術Ⅰ
第 5 週　帝政初期の歴史と美術Ⅱ
第 6 週　フラウィウス朝期の歴史と美術Ⅰ
第 7 週　フラウィウス朝期の歴史と美術Ⅱ
第 8 週　五賢帝期の歴史と美術Ⅰ
第 9 週　五賢帝期の歴史と美術Ⅱ
第 10 週　セウェールス朝期の歴史と美術Ⅰ
第 11 週　セウェールス朝期の歴史と美術Ⅱ
第 12 週「危機の三世紀」の歴史と美術
第 13 週「ローマ中興の祖」と歴史・美術観の変遷
第 14 週　帝国末期の歴史と美術
第 15 週　後期のまとめ

Roman history and art, including people's quotidian life, religious and ethnological aspects.

1. Orientation
2. An outline of roman art
3. Republican history and art
4. History and art of the former emperors Ⅰ
5. History and art of the former emperors Ⅱ
6. The Flavian family and art Ⅰ
7. The Flavian family and art Ⅱ
8. The five good emperors and art Ⅰ
9. The five good emperors and art Ⅱ
10. The Servian Dynasty and art Ⅰ
11. The Servian Dynasty and art Ⅱ
12. 'The critical third century' and art
13. Diocretianus and art
14. History and art of the later Empire
15. Summary

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容についてテキスト・配布史料等を参考に予習してくること。

Review of the last time lecture

関連科目

古代史に関する基本的な知識(高校の世界史程度)を修得していることが望ましい。
関連科目:東西交渉史、西洋近代史Ⅰ、西洋近代史Ⅱ、建築文化形成史

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	ローマ美術			**ISBN**	
	著者名	H. v. ハインツェ著、長谷川博隆訳	**出版社**	グラフィック社	**出版年**	
参考書 2	**書名**	ローマの歴史			**ISBN**	
	著者名	I. モンタネッリ著、藤沢道郎訳	**出版社**	中公文庫	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)ローマ史研究の歴史的意義を正しく理解することができる。とともに、幅広い人間性、考え方を修得している。
(2)ローマ史全体の流れを正しく把握することができる。とともに、様々な時代の多様な地域の人々の生き方を理解できる。
(3)ローマ史に関する基本的用語を理解することができる。
(4)ローマ帝国の歴史と帝都ローマの変遷の過程を正しく理解することができる。とともに、人間社会を歴史的・国際的な視点から多面的にとらえることができる。
(5)帝都の完成と帝政期の諸皇帝の関わりを正しく理解することができる。とともに、社会環境の変化に対する人間の歴史的な対応について理解することが出来る。
(6)共和政から帝政に至るローマの歴史と美術・建築の関係を正しく理解することができる。とともに、社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習、問題解決することができる。
1. Correct understanding of the roman history and art
2. An outline of the roman history
3. Basic technical terms of the roman history and art
4. History and art of the imperial times

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

学期末に定期試験1回を実施し、成績、単位認定を行う。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価基準が学年ごとに異なります。
〇5 段階評価 …学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次向けの開講科目
S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準が適用されます。
〇4段階評価 …学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次向けの開講科目
A:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1-3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2-3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
履修希望者が多い場合には、適宜調整を行うので、開講日には必ず出席すること(開講日に出席しない者の受講は認めない)。

オフィスアワー
水曜日 午後 1 時～4 時
pm. 1-4(Wednesday)

学習・教育到達目標との対応
(A)幅広い人間性と考え方　人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生,人類の幸福・健康・福祉について考える能力
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力。社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between

humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
ローマ、歴史、美術
Rome, history, art

(B10233520)史学特論[Advanced Historical Science]

科目名[英文名]	史学特論[Advanced Historical Science]				
時間割番号	B10233520	区分	人文科学科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	金 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	相京　邦宏 AIKYO Kunihiro				
ナンバリング	GEN_LIB81220				

授業の目標

中世と近代の間に位置し、人文主義、合理主義などの新たな人間観や世界観を生み出したルネサンスについてその成立の歴史的背景や意義などについて考察する。そして様々な時代の多様な地域の人々の生き方を通じて、幅広い人間性と考え方　人間社会を地球的・国際的な視点から多面的にとらえる考え方を学ぶ。

History of the Renaissance.

授業の内容

「ルネサンス」とは「再生」或いは「復興」を意味するフランス語であり、一般的には、15、16世紀のイタリアを中心とする古代学芸の復興を指す。宗教の束縛から解放された人文主義者達が、未だ歪曲されない人間性の理想として、ギリシア・ローマの古典古代を見直した時代であった。けれども、ルネサンスは単に古代文芸の復興にとどまらず、社会の改革や時代の更新を伴う、言わば近代史の序曲となった時代でもある。つまり、人間の権威の主張、個人の独立と自由の唱導、学問と芸術の宗教からの解放とその素晴らしい成果の獲得、思想と信仰の自由など今日の我々に直結する概念はいづれもこの時代に芽生えたのである。この時期はヨーロッパが新たな世界を発見し、新たな科学精神を生み出した時代でもあった。そこで講義では、この様なルネサンスについてその歴史的背景や後世への影響等について探求する。具体的には、ルネサンスの歴史的意味、ルネサンスの母体となるイタリア史の諸問題、十四世紀イタリアの政治と文化、ルネサンスの価値観、新美術の開花、科学精神の生成と発明・発見などのテーマを数回づつに分けて考察する。

講義予定

第 1 週　オリエンテーション（授業内容の説明）
第 2 週　ルネサンス概観 1
第 3 週　ルネサンス概観 2
第 4 週　ルネサンスの諸変化 1
第 5 週　ルネサンスの諸変化 2
第 6 週　ルネサンスの先駆者
第 7 週　ヨーロッパ史の時代区分
第 8 週　中世の再評価
第 9 週　ルネサンスの再検討
第 10 週　15-17 世紀のヨーロッパの政治・経済的特徴Ⅰ
第 11 週　15-17 世紀のヨーロッパの政治・経済的特徴Ⅱ
第 12 週　ルネサンス以前と以後
第 13 週　ルネサンスの知的発展Ⅰ
第 14 週　ルネサンスの知的発展Ⅱ
第 15 週　前期のまとめ

What is the Renaissance, in which revived ancient art and culture? Historical significance of the Renaissance, prblems of the italian history, politics and culture of the 14th century Italy, new value of the Renaissance, the blooming of new art, founding and development of the scientific spirit.

1. Orinetation
2. An outline of the Renaissance 1
3. An outline of the Renaissance 2
4. Cultural changes of the Renaissance 1
5. Cultural changes of the Renaissance 2
6. The pioneers of the Renaissance
7. The three era divisions of european history
8. Revaluation of the Middle Ages
9. Review of the Renaissance
10. Political and economical characters of 15-17 century EuropeⅠ
11. Political and economical characters of 15-17 century EuropeⅡ
12. Before and after of the Renaissance

13. Intellectural development of the Renaissance Ⅰ
14. Intellectural development of the RenaissanceⅡ
15. Summary of lecture

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト・配布史料等を参考に予習してくること。

Review of the last time lecture.

関連科目
ルネサンス関する基本的な知識(高校の世界史程度)を習得していることが望ましい。
関連科目：西洋史概説、東西交渉史、西洋近代史Ⅱ

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	イタリア・ルネサンスへの招待			**ISBN**	
	著者名	デニス・ヘイ著、鳥越輝昭、木宮直仁共訳	**出版社**	大修館書店	**出版年**	
参考書 2	**書名**	ルネサンス（新書西洋史4）			**ISBN**	
	著者名	会田雄次	**出版社**	講談社現代新書	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
(1)ルネサンス研究の歴史的意義を正しく理解することができる。とともに、幅広い人間性、考え方を修得している。
(2)ルネサンス全体の流れを正しく把握することができる。とともに、様々な時代の多様な地域の人々の生き方を理解できる。
(3)ルネサンスに関する基本的用語を理解することができる。
(4)ルネサンスとそれ以前、以後の時代について違いを明白に把握できる。
(5)ルネサンス初期とルネサンス後期の違いについて正しく把握することができる。
(6)ルネサンスの間の諸変化を正しく理解することができる。とともに、社会環境の変化に対する人間の歴史的な対応について理解することが出来る。
(7)ルネサンスに至る歴史的背景を正しく理解することができる。とともに、人間社会を歴史的、国際的な視点から多面的にとらえることができる。
(8)ルネサンス当時のイタリアの状況を正確に理解することができる。とともに、社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習、問題解決することができる。
1. Correct understanding of the Renaissance
2. An outline of the Renaissance
3. Basic technical terms of the Renaissance
4. Before and after of the Renaissance

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
学期末に定期試験1回を実施し、成績、単位認定を行う。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価基準が学年ごとに異なります。
〇5 段階評価 …学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次向けの開講科目
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
〇4段階評価 …学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次向けの開講科目
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を〇％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1-3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).

A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2-3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
履修希望者が多い場合には、適宜調整を行うので、開講日には必ず出席すること(開講日に出席しない者の受講は認めない)。

オフィスアワー
水曜日 午後 1 時～4 時
pm. 1-4(Wednesday)

学習・教育到達目標との対応
(A)幅広い人間性と考え方
　人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力
　社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
ルネサンス、歴史、イタリア
Renaissance, history, Italy

(B10233530)国文学特論Ⅰ[Advanced Japanese Literature 1]

科目名[英文名]	国文学特論Ⅰ[Advanced Japanese Literature 1]				
時間割番号	B10233530	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	和泉　司 IZUMI Tsukasa				
ナンバリング	GEN_LIB81322				

授業の目標

この講義では、タイムトラベルを扱った小説を中心に、科学・時間の問題を文学がどのように扱ってきたかを考える。
小説をはじめとして、映画・ドラマ・漫画・アニメなどに描かれたタイムトラベルから、人々が「時間」について考えてきたことを通して、物語を読むことと、科学・技術と文学の関わりを学ぶ。
We will read stories about "Time travel". In order to thinking this theme, we read novels and comics, and watch movies,dramas, and animations. Through reading and watching these stories, we think relations between literatures and technology of time science.

授業の内容

1. ガイダンス
2. タイムトラベル小説を読む
3. タイムトラベル小説を読む
4. タイムトラベル小説を読む
5. タイムトラベル小説を読む
6. タイムトラベル小説を読む
7. タイムトラベル小説を読む
8. タイムトラベル映画を観る
9. タイムトラベル映画を観る
10. タイムトラベル映画を観る
11. タイムトラベル映画を観る
12. タイムトラベル漫画を読む
13. タイムトラベル漫画を読む
14. タイムトラベル漫画を読む
15. まとめ

1.guidance
2.Reading stories about "Time travel"
3.Reading stories about "Time travel"
4.Reading stories about "Time travel"
5.Reading stories about "Time travel"
6.Reading stories about "Time travel"
7.Reading stories about "Time travel"
8.Watching stories about "Time travel"
9.Watching stories about "Time travel"
10.Watching stories about "Time travel"
11.Watching stories about "Time travel"
12.Reading stories about "Time travel"
13.Reading stories about "Time travel"
14.Reading stories about "Time travel"
15.summary

予習・復習内容

事前にテキストを読んでおくこと。

関連科目

教科書 1	**書名**	時をかける少女			**ISBN**	
	著者名	筒井康隆	**出版社**	角川文庫	**出版年**	
教科書 2	**書名**	マイナス・ゼロ			**ISBN**	
	著者名	広瀬正	**出版社**	集英社文庫	**出版年**	

教科書に関する補足事項

その他のテキストも紹介する。

参考書に関する補足事項

達成目標
歴史の描かれ方について学び、その意義を考える
文学が描く世界の多様性を知る。

The course explores the ways in which history is written and the significance of the various ways. It also teaches the diversities in the world as described in various literary works.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポートの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 55 点(100 点満点)以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
授業を実施
Regular Class

定期試験詳細
レポートで実施

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
木曜日の昼休み。その他の時間も、事前にメール等で連絡があったら受け付けます。

学習・教育到達目標との対応
機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A) (Architecture and Building Science Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Architecture and Building Science Course) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Civil and Engineering Course)The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
文学　SF 小説　歴史
literature　science fiction　history

(B10233540)国文学特論Ⅱ[Advanced Japanese Literature 2]

科目名[英文名]	国文学特論Ⅱ[Advanced Japanese Literature 2]				
時間割番号	B10233540	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中森　康之 NAKAMORI Yasuyuki				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

日本の古典を読む。
今年度は『徒然草』を「ものづくり」から読む。

日本の古典文学、特に『徒然草』には日本人の知恵がちりばめられている。もちろん「ものづくり」の知恵も同様である。今年度は、『徒然草』を、日本人の生き方の知恵、特に「ものづくり」の知恵という視点から読み解く。

To read classical literary works of Japan.
This year, Read "Tsurezuregusa"

授業の内容

授業は受講生のプレゼンテーションとディスカッションによって行う。

『徒然草』を読んで、自分なりのテーマを一つ決め、それについてプレゼンテーションを行う。
とりあげる段は、1段でもよいし、複数段でもよい。

進度は下記を目安とするが、必ずしもこれにとらわれる必要はない。

第1週　ガイダンス～クラスコミュニケーション
第2週　序～第 35 段
第3週～第4週　第 36 段～第 70 段
第5週～第6週　第 71 段～第 100 段
第7週～第8週　　第 101 弾～第 130 段
第9週～第 10 週　第 131 段～第 160 段
第 11 週～第 13 週　第 161 段～第 200 段
第 14 週～第 15 週　第 201 段～第 243 段
Classes consists of a presentation and discussion.
This lecture is the Bilingual lecture.

1　Guidance
2　introduction～chap.35
3～4　chap.36～chap.70
5～6　chap.71～chap.100
7～8　chap.101～chap.130
9～10　chap.131～chap.160
11～13　chap.161～chap.200
14～15　chap.201～chap.243

予習・復習内容

あらかじめ『徒然草』全段を熟読すること。
他の受講生のプレゼンテーションをよく聞き、自分の問題として考えること。

関連科目

教科書 1	**書名**	徒然草：現代語訳付き			**ISBN**	978-4044001186
	著者名	兼好法師 ［著］,小川剛生 訳注,	**出版社**	KADOKAWA	**出版年**	2015

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
①主体的に本を読む能力を身に付ける
②古典の知恵を理解する。
③問題点、議論点を見つける能力を身に付ける
④プレゼンテーションの能力を身に付ける
1）To perusal the classical literature.
2）To gain knowledge of classical literature.
3）To acquire the ability to discuss.
4）To acquire the ability to Presentation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を、プレゼンテーションによって下記の通り評価（100点満点）する。

B1～3, M1
S：合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：合計点が 55 点（100 点満点）以上
[[Evaluation method]　Presentations

[Evaluation criteria]Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1
S: Obtained total points of presentations , 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of presentations , 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of presentations , 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of presentations , 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2
A: Obtained total points of presentations , 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of presentations , 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of presentations , 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
10 分以上の遅刻厳禁。

ウェルカムページ
http://las.tut.ac.jp/~nakamori/index.html

オフィスアワー
基本的に木曜日の昼休みとするが、これ以外の時間でも在室中は随時対応する。メール等で事前に連絡があると有り難い。
Lunch break on every Thursday

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
日本文学　国文学　古典

(B10233553)欧米文化論[European and American Cultural Studies]

科目名[英文名]	欧米文化論[European and American Cultural Studies]				
時間割番号	B10233553	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	社河内　友里 SHAKOUCHI Yuri				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

戦後のアメリカン・コミックスの歴史を辿りながら、アメリカの消費文化の変遷について理解を深める。

This course aims to deepen understanding of transformation of American consumer culture by exploring the history of American comics since the postwar era.

授業の内容

第 1 週　イントロダクション
第 2 週　コミックの成り立ち
第 3 週　コミックの成り立ち
第 4 週　コミックの成り立ち
第 5 週　1950 年代のコミックスとビート・ジェネレーション
第 6 週　1950 年代のコミックスとコミックス・コード
第 7 週　1960 年代のメインストリーム・コミックスとアンダーグラウンド・コミックス
第 8 週　1970 年代のコミックスとヒッピー
第 9 週　1980 年代のコミックスとヤッピー
第 10 週 1980 年代のメインストリーム・コミックスとオルタナティブコミックス
第 11 週 1990 年代のコミックスと科学技術
第 12 週 2000 年代のコミックスと 9.11
第 13 週 2000 年代以降のコミックスとヒップスターカルチャー
第 14 週 2000 年代以降のコミックスとヒップスターカルチャー
第 15 週 レビュー

Week 1 Introduction
Week 2 Understanding comics
Week 3 Understanding comics
Week 4 Understanding comics
Week 5 Comics in the 1950s and the Beat Generation
Week 6 Comics in the 1950s and Comics Code
Week 7 Mainstream comics and underground comics in the 1960s
Week 8 Comics in the 1960s~1970s and Hippies
Week 9 Comics in the 1980s and Yuppies
Week 10 Mainstream comics and alternative comics in the 1980s
Week 11 Comics in the 1990s and science and technology
Week 12 Comics in the 2000s and 9.11
Week 13 Comics in the 2000s and hipster culture
Week 14 Comics in the 2000s and hipster culture
Week 15 Review

予習・復習内容

教員が配布した資料を、当該授業までに読んでおくこと。

The teacher will provide the reading materials in each class. Read them and prepare for the next class.

関連科目

教科書に関する補足事項

授業のための資料は教員が準備し、配布する。

The teacher will provide all materials for this class.

参考書に関する補足事項

達成目標

アメリカの消費文化についてより深い知識を得ると共に、様々な文化的現象を理論的に捉える力を身につける。
Students will have gained deeper understanding of American consumer culture and the ability to comprehend various cultural phenomena theoretically.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末レポート(50%)、小プレゼンテーション(30%)、その他課題・授業貢献度(20%)により総合的に評価する。
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B3:
S:達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A~C)の評価基準を適用する。
B4:
A:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 65%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上
Students will be evaluated according to a final report (50%), little presentation (30%), and other assignments and contribution to the class (20%).
Evaluation is based on the following principles with full attendance.
B3:
S: More than 90 points (among 100) of exams with full achievements of the goal.
A: More than 80 points (among 100) of exams with 90% achievements of the goal.
B: More than 70 points (among 100) of exams with 80% achievements of the goal.
C: More than 60 points (among 100) of exams with 70% achievements of the goal.
*Previous evaluation system (A~C) is applied to students who entered before 2016.
B4:
A: More than 80 points (among 100) of exams with full achievements of the goal.
B: More than 65 points (among 100) of exams with 80% achievements of the goal.
C: More than 55 points (among 100) of exams with 65% achievements of the goal.

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日 13:00~14:00

Wednesday 13:00~14:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
アメリカ文化、コミックス

(B10233561)異文化コミュニケーション論[Intercultural Communication Theory]

科目名[英文名]	異文化コミュニケーション論[Intercultural Communication Theory]				
時間割番号	B10233561	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	加藤　三保子 KATOH Mihoko				
ナンバリング	GEN_LIB81420				

授業の目標

日本手話に関する社会言語学的研究、理論言語学的研究（音韻論、形態論、統語論）、応用言語学的研究等を概観する。音声言語との違いを意識しながら、「もうひとつの言語」である手話の言語学的特徴を理解し、手話を母語とする聴覚障害者の言語生活、ろう教育、ろう文化について学習する。

なお、この授業は音声日本語と日本手話との相違を知り、日本のろう者と健常者の文化の違いを理解するため、日本語で講義する。受講生は日本語と日本文化を理解している必要がある。

The goal of this course is to understand linguistic features of Sign Language. In order to achieve this goal, we will overview theoretical linguistic, sociolinguistic, and applied linguistic aspects of signed language such as Japanese Sign Language (JSL).

This course is only for those who can understand Japanese language and have some knowledge of Japanese culture. The instructions will be given in Japanese because the main purpose is to learn linguistic and cultural differences between Japanese Sign Language and spoken Japanese language.

授業の内容

第1週：オリエンテーション、聴覚障害者とのコミュニケーション
第2週：聞こえのしくみ、手話とジェスチャー
第3週：聴覚障害者の言語獲得
第4週：手話の言語体系（1）
第5週：手話の言語体系（2）
第6週：日本手話の文法（1）
第7週：日本手話の文法（2）
第8週：手話の造語法
第9週：手話の記号化と文字化（1）
第 10 週：手話の記号化と文字化（2）
第 11 週：聴覚障害児教育（1）
第 12 週：聴覚障害児教育（2）
第 13 週：ろう文化
第 14 週：手話の地位と役割
第 15 週：まとめ
第 16 週：学期末試験
Week 1: Orientation, Communication with Deaf people
Week 2: Types of Hearing impairment, Sign language and gestures
Week 3: Language acquisition by the deaf and hard of hearing
Week 4: Linguistic systems of sign language (1)
Week 5: Linguistic systems of sign language (2)
Week 6: Grammar of Japanese Sign Language (1)
Week 7: Grammar of Japanese Sign Language (2)
Week 8: Coinage in sign language
Week 9: Coding systems and writing systems in sign language (1)
Week 10: Coding systems and writing systems in sign language (2)
week 11: Education for the deaf and hard of hearing (1)
Week 12: Education for the deaf and hard of hearing (2)
Week 13: Deaf Culture
Week 14: Promotion of the social status of sign language
Week 15: Review
week 16: Term Exam.

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用せず、適宜プリントを配布するほか、DVD などを使用する。
No textbook, but handouts will be given. DVDs are used.

参考書 1	書名	手話を学ぶ人のために			ISBN	978-4-904639-16-0
	著者名	本名信行、加藤三保子	出版社	全日本ろうあ連盟	出版年	2017

参考書に関する補足事項

達成目標
1）手話言語のしくみとはたらきを理解する。
2）日本手話の基本的文法を学習する。
3）日本手話で簡単な自己紹介とあいさつができる。
1) To understand the linguistic features of sign language
2) To learn Structure of Japanese Sign Language
3) To use Japanese Sign Language for self-introduction and greetings

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
＜学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次＞
S：達成目標を十分に達成し，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を十分に達成，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を十分に達成し，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を十分に達成し，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

＜学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次＞
A：達成目標を十分に達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を十分に達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を十分に達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
研究室：B-511
内線電話：6959
e-mail : mihoko@las.tut.ac.jp
Office: B-511
TEL (Ext.) : 6959
e-mail: mihoko@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
火曜日 14:00～16:00
Tuesdays　14:00～16:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
手話、聴覚障害、ろう文化
Sign Language, Hearing Impaired, Deaf culture

(B10233563)異文化コミュニケーション論[Intercultural Communication Theory]

科目名[英文名]	異文化コミュニケーション論[Intercultural Communication Theory]				
時間割番号	B10233563	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	加藤　三保子 KATOH Mihoko				
ナンバリング	GEN_LIB81420				

授業の目標

日本手話に関する社会言語学的研究、理論言語学的研究（音韻論、形態論、統語論）、応用言語学的研究等を概観する。音声言語との違いを意識しながら、「もうひとつの言語」である手話の言語学的特徴を理解し、手話を母語とする聴覚障害者の言語生活、ろう教育、ろう文化について学習する。

なお、この授業は音声日本語と日本手話との相違を知り、日本のろう者と健常者の文化の違いを理解するため、日本語で講義する。受講生は日本語と日本文化を理解している必要がある。

The goal of this course is to understand linguistic features of Sign Language. In order to achieve this goal, we will overview theoretical linguistic, sociolinguistic, and applied linguistic aspects of signed language such as Japanese Sign Language (JSL).

This course is only for those who can understand Japanese language and have some knowledge of Japanese culture. The instructions will be given in Japanese because the main purpose is to learn linguistic and cultural differences between Japanese Sign Language and spoken Japanese language.

授業の内容

第1週：オリエンテーション、聴覚障害者とのコミュニケーション
第2週：聞こえのしくみ、手話とジェスチャー
第3週：聴覚障害者の言語獲得
第4週：手話の言語体系（1）
第5週：手話の言語体系（2）
第6週：日本手話の文法（1）
第7週：日本手話の文法（2）
第8週：手話の造語法
第9週：手話の記号化と文字化（1）
第 10 週：手話の記号化と文字化（2）
第 11 週：聴覚障害児教育（1）
第 12 週：聴覚障害児教育（2）
第 13 週：ろう文化
第 14 週：手話の地位と役割
第 15 週：まとめ
第 16 週：学期末試験
Week 1: Orientation, Communication with Deaf people
Week 2: Types of Hearing impairment, Sign language and gestures
Week 3: Language acquisition by the deaf and hard of hearing
Week 4: Linguistic systems of sign language (1)
Week 5: Linguistic systems of sign language (2)
Week 6: Grammar of Japanese Sign Language (1)
Week 7: Grammar of Japanese Sign Language (2)
Week 8: Coinage in sign language
Week 9: Coding systems and writing systems in sign language (1)
Week 10: Coding systems and writing systems in sign language (2)
week 11: Education for the deaf and hard of hearing (1)
Week 12: Education for the deaf and hard of hearing (2)
Week 13: Deaf Culture
Week 14: Promotion of the social status of sign language
Week 15: Review
week 16: Term Exam.

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用せず、適宜プリントを配布するほか、DVD などを使用する。
No textbook, but handouts will be given. DVDs are used.

参考書 1	書名	手話を学ぶ人のために			ISBN	978-4-904639-16-0
	著者名	本名信行、加藤三保子	出版社	全日本ろうあ連盟	出版年	2017

参考書に関する補足事項

達成目標
1）手話言語のしくみとはたらきを理解する。
2）日本手話の基本的文法を学習する。
3）日本手話で簡単な自己紹介とあいさつができる。
1) To understand the linguistic features of sign language
2) To learn Structure of Japanese Sign Language
3) To use Japanese Sign Language for self-introduction and greetings

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
＜学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次＞
S：達成目標を十分に達成し，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を十分に達成，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を十分に達成し，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を十分に達成し，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

＜学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次＞
A：達成目標を十分に達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を十分に達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を十分に達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
研究室：B-511
内線電話：6959
e-mail : mihoko@las.tut.ac.jp
Office: B-511
TEL (Ext.) : 6959
e-mail: mihoko@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
火曜日 14:00～16:00
Tuesdays　14:00～16:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
手話、聴覚障害、ろう文化
Sign Language, Hearing Impaired, Deaf culture

(B1023358a)応用言語学[Applied Linguistics]

科目名[英文名]	応用言語学[Applied Linguistics]				
時間割番号	B1023358a	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	池松　峰男 IKEMATSU Mineo				
ナンバリング	GEN_LIB81420				

授業の目標

第一言語習得が努力の意識なしに達成される一方、第二言語や外国語など言語を学習することは容易ではなく、その教育方法にも決定的なものがないことを知る。

After completing the course, students should be anticipated to be aware that acquiring language is achieved nearly effortlessly, however there is no decisive method for language teaching.

授業の内容

第 1 週 Introduction
第 2 週 Lecture 1: Meaning of Language Learning
第 3 週 Lecture 2: Meaning of Language Learning
第 4 週 Work at the library
第 5 週 Lecture 3: Methods of Foreign Language Learning
第 6 週 Lecture 4: Methods of Foreign Language Learning
第 7 週 Work at the library
第 8 週 Lecture 5: Motivation
第 9 週 Lecture 6: Motivation
第 10 週 Work at the library
第 11 週 Work at the library
第 12 週 Work at the library
第 13 週 Presentation
第 14 週 Presentation
第 15 週 Presentation / Wrap-up

Week 1 Introduction
Week 2 Lecture 1: Meaning of Language Learning
Week 3 Lecture 1: Meaning of Language Learning
Week 4 Work at the library
Week 5 Lecture 3: Methods of Foreign Language Learning
Week 6 Lecture 4: Methods of Foreign Language Learning
Week 7 Work at the library
Week 8 Lecture 5: Motivation
Week 9 Lecture 6: Motivation
Week 10 Work at the library
Week 11 Work at the library
Week 12 Work at the library
Week 13 Presentation
Week 14 Presentation
Week 15 Presentation / Wrap-up

予習・復習内容

クラウドにアップロードされた教材を適宜ダウンロードし、講義前に熟読しておくこと。詳細については、初回の講義で説明する。

Download and use the materials uploaded on a cloud drive. Material-uploading will be done before each class and occasionally after the class when needed. Details on preparation will be given at the beginning of the course.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜、クラウドに資料をアップロードする。

Class materials will be occasionally uploaded on a cloud drive.

参考書に関する補足事項

達成目標
1. 心理言語学の知見を得ること。
2. 第一言語獲得と他の言語学習とを区別できるようになること。
3. 将来にわたる言語の重要性について自分なりの意見をもつこと。

1) To gain an insight into psycholinguistics.
2) To understand the cognitive process inherent in language use.
3) To differentiate between first language acquisition and other language learning.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
コースワーク 80% (Report 30%, Presentation 50% (Summary 20%, Talk 30%)), クラス活動 20%

評価基準
コースワーク(80 点満点)の点数にクラス活動(20 点満点)の点数を足したものが 90 点以上を S, 80～89点以上をA, 70～79点をB, 60～69点をCとする。また, 出席と欠席の取扱については, 4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Assessment will be based on cCoursework 80% (Report 30%, Presentation 50% (Summary 20%, Talk 30%)), Class work 20%

S: ≧90
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
受講上の注意 Notice

1. 授業と関連のない作業は認めない。
2. 授業中の居眠りは退出の対象とする。

Notice

1. Work unrelated to class activity will not be permitted.
2. Students dozing will be ordered to leave the class.

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時対応
Drop-in basis.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
心理言語学、脳、認知過程、第二言語習得/学習、人工知能
psycholinguistics, brain, cognitive process, second language acquisition/learning, artificial intelligence

(B1023358b)応用言語学[Applied Linguistics]

科目名[英文名]	応用言語学[Applied Linguistics]				
時間割番号	B1023358b	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	池松　峰男 IKEMATSU Mineo				
ナンバリング	GEN_LIB81420				

授業の目標

第一言語習得が努力の意識なしに達成される一方、第二言語や外国語など言語を学習することは容易ではなく、その教育方法にも決定的なものがないことを知る。

After completing the course, students should be anticipated to be aware that acquiring language is achieved nearly effortlessly, however there is no decisive method for language teaching.

授業の内容

第 1 週 Introduction
第 2 週 Lecture 1: Meaning of Language Learning
第 3 週 Lecture 2: Meaning of Language Learning
第 4 週 Work at the library
第 5 週 Lecture 3: Methods of Foreign Language Learning
第 6 週 Lecture 4: Methods of Foreign Language Learning
第 7 週 Work at the library
第 8 週 Lecture 5: Motivation
第 9 週 Lecture 6: Motivation
第 10 週 Work at the library
第 11 週 Work at the library
第 12 週 Work at the library
第 13 週 Presentation
第 14 週 Presentation
第 15 週 Presentation / Wrap-up

Week 1 Introduction
Week 2 Lecture 1: Meaning of Language Learning
Week 3 Lecture 1: Meaning of Language Learning
Week 4 Work at the library
Week 5 Lecture 3: Methods of Foreign Language Learning
Week 6 Lecture 4: Methods of Foreign Language Learning
Week 7 Work at the library
Week 8 Lecture 5: Motivation
Week 9 Lecture 6: Motivation
Week 10 Work at the library
Week 11 Work at the library
Week 12 Work at the library
Week 13 Presentation
Week 14 Presentation
Week 15 Presentation / Wrap-up

予習・復習内容

クラウドにアップロードされた教材を適宜ダウンロードし、講義前に熟読しておくこと。詳細については、初回の講義で説明する。

Download and use the materials uploaded on a cloud drive. Material-uploading will be done before each class and occasionally after the class when needed. Details on preparation will be given at the beginning of the course.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜、クラウドに資料をアップロードする。

Class materials will be occasionally uploaded on a cloud drive.

参考書に関する補足事項

達成目標
1. 心理言語学の知見を得ること。
2. 第一言語獲得と他の言語学習とを区別できるようになること。
3. 将来にわたる言語の重要性について自分なりの意見をもつこと。

1) To gain an insight into psycholinguistics.
2) To understand the cognitive process inherent in language use.
3) To differentiate between first language acquisition and other language learning.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
コースワーク 80% (Report 30%, Presentation 50% (Summary 20%, Talk 30%)), クラス活動 20%

評価基準
コースワーク(80 点満点)の点数にクラス活動(20 点満点)の点数を足したものが 90 点以上を S, 80～89点以上をA, 70～79点をB, 60～69点をCとする。また, 出席と欠席の取扱については, 4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Assessment will be based on cCoursework 80% (Report 30%, Presentation 50% (Summary 20%, Talk 30%)), Class work 20%

S: ≧90
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
受講上の注意 Notice

1. 授業と関連のない作業は認めない。
2. 授業中の居眠りは退出の対象とする。

Notice

1. Work unrelated to class activity will not be permitted.
2. Students dozing will be ordered to leave the class.

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時対応
Drop-in basis.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
心理言語学、脳、認知過程、第二言語習得/学習、人工知能
psycholinguistics, brain, cognitive process, second language acquisition/learning, artificial intelligence

(B10233590)日本の言語と文化[Japanese Language and Culture]

科目名[英文名]	日本の言語と文化[Japanese Language and Culture]				
時間割番号	B10233590	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_LIB81420				

授業の目標

現代日本語の多種多様な実態について教科書にそって考える。
教科書タイトルの「バラエティ」は英語で ″variety″、ここでは「多種多様」の意味である。けっして、テレビ番組のジャンル「バラエティ」や「寄席演芸」のことではないので注意してほしい。
「わたしは学生です」という標準的な表現のバラエティとして、「おれ、学生っす」「おら、学生だ」「わたくし、学生ですわ」「わしは学生じゃ」「わたしは学生です…」「私は学生でございます」などがある。この違いは何によるものなのか、どのように使い分ければよいのか等について、受講者のみなさんが各自の言語感覚に基づいて自由に考えることを期待する。

This course aims to explore the variety of modern Japanaese language following the textbook. Note that the title of the textbook, ″variety″ does not mean ″vaudeville″, a genre of television or theater entertainment but ″several different sorts of the same thing″.
A standard expression ″Watashi wa gakusee desu (I am a student)″ has various expressions such as ″Ore, gakuseessu″, ″Ora, gakusee da″, ″Watakushi, gakusee desuwa ″, ″Washiwa gakuseeja″, ″Watashi wa gakusee desu...″ and ″Wakakushiwa gakusee de gozaimasu″. What makes the difference? How should we vary ? We expect students to examine these questions accoring to his/her sensibiliity to language without restraint .
The course will be taught in Japanese.

授業の内容

教科書にそって講義を行う。毎回授業の終わりの 10 分ほどでミニレポート（質問・感想・コメントなど）を書いてもらう。黒または青のペンで記入すること。5～6回の宿題を課す。

第1週(4/12) イントロダクション
第2週(4/19) ケース1「女のことば・男のことば」、ケース2「幼児のことば・育児のことば」
第3週(4/26) ケース3「専門のことば・仲間のことば」、ケース4「若者ことば・キャンパスことば」
第4週(5/10) ケース5「ことばのデフォルメ」、ケース6「方言のイメージ」
第5週(5/17) ケース7「東の方言・西の方言」、ケース8「気づかれにくい方言」
第6週(5/24) ケース9「新しい方言・古い方言」、ケース 10「方言と共通語」
第7週(5/31) ケース 11「ことばの切りかえ」、自主教材「敬語基礎編」
第8週(6/07) ケース 12「敬うことば・へりくだることば」
第9週(6/14) ケース 13「上品なことば・下品なことば」、ケース 14「忌避することば・慶弔のことば」
第 10 週(6/21) ケース 15「サービスのことば」、ケース 16「喜怒哀楽のことば」
第 11 週(6/28) ケース 17「話しことばと書きことば（音声編）」、ケース 18「話しことばと書きことば（文字編）」
第 12 週(7/05) ケース 19「論文･レポートのことば」、ケース 20「メール・ネットのことば」
第 13 週(7/12) ケース 21「マンガ・雑誌のことば」、ケース 22「ゆれていることば」
第 14 週(7/19) ケース 23「化石化したことば」、ケース 24「非母語話者の日本語」
第 15 週(7/26) ケース 25「やさしい日本語」

The lecture will cover throughout the textbook. Students will write a shot report(questions, responces, comments, etc.) with a black /blue ink pen in the last 10 minutes of every class meeing. Assignments will be given several times.

01 (Apr.12) Introduction
02 (Apr.19) 01. Language of women and of men, 2. Language of infants and of childcare
03 (Apr.26) 03. Language in special field and in peer, 4. Language of the young and of college students
04 (May 10) 05. Deformation of language, 6. Image of geographical dialects
05 (May 17) 07. Dialect of east and of west, 8.Hidden dialects
06 (May 24) 09. New and old dialects, 10.Dialects and standard language

07 (May 31) 11. Code switching, Basic of honorific(original material)
08 (Jun.07) 12. Respectful and humble expression
09 (Jun.14) 13. Elegant and vulgar language, 14. Language of taboo and of happy and sad occasions
10 (Jun.21) 15. Language in customer service, 16. Language of human emotions
11 (Jun.28) 17. Spoken and written language: sound, 18. Spoken and written language: letters
12 (Jul.05) 19. Language in papers and reports, 20. Language in e-mail and on the internet
13 (Jul.12) 21. Language of manga and magazines, 22.Language of unsettled usage
14 (Jul.19) 23. Fossilized language, 24. Japanese of non-native speakers
15 (Jul.26) 25. Easy Japanese

予習・復習内容

毎回の講義内容を教科書と講義資料(Moodle 掲載)を熟読して復習すること。また、次週の内容について教科書と講義資料に目を通してくること。
Review materials on moodle and the textbook.
Read materials on moodle and the textbook before class.

関連科目

教科書 1	**書名**	ケーススタディ日本語のバラエティ			**ISBN**	
	著者名	上野智子他編	**出版社**	おうふう	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)日本語の用法・意味(ニュアンス)に興味・関心を持つ。
2)日本語と社会・心理・様式の関連について興味・関心を持つ。
3)状況に応じた適切な日本語について考える。
By the end of this course students will
1)increase interest in usage and nuance of Japanese language.
2)grow attention to the relationship among Japanese language and sociaty, mentality and language style.
3)examine the appropriate expressions according to the situations.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:ミニレポート 40%、宿題 60%、期末試験 なし。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点(100 点満点)により次のように評価します。

B1～B3
S:90 点以上
A:80～89.99 点
B:70～79.99 点
C:60～69.99 点

B4
A:80 点以上
B:65～79.99 点
C:55～64.99 点

Grading Policy: Short reports 40%, Assignments 60%, Final exam 0%

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or more
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
メール連絡の時は、「件名」に「日本の言語と文化の～です」と書くこと。(「～」にはあなたの名前)
Write "I am (your name) of "Japanese Language and Culture" as the subject of your e-mail.

ウェルカムページ

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00
Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。

環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social

environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
日本語　多様性　バラエティ　社会　心理　様式　場面　状況
Japanese language, variety, society, mentality, style, scene, situation

(B10233600)対照言語学[Contrastive Linguistics]

科目名[英文名]	対照言語学[Contrastive Linguistics]				
時間割番号	B10233600	区分	人文科学科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	木 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_LIB81420				

授業の目標

①日本語と中国語の違いを学びます。
②中国語の発音及び中国の文法についての基礎知識を学びます。
①You will learn the differences between the Japanese and Chinese languages.
②You will learn Chinese pronunciation and a basic Chinese grammar.

授業の内容

以下は教材の各課で扱う内容です。

第1回　中国語の概略（初回のみハンドアウトを配布）
第2回　Basic Knowledge on Chinese Phonetics
第3回　Basic Knowledge on Chinese Phonetics
第4回　Common Sentence Patterns　L.1
第5回　L.2
第6回　L.3
第7回　L.4
第8回　中間試験
第9回　L.5
第 10 回　L.6
第 11 回　L.7
第 12 回　L.8
第 13 回　L.9
第 14 回　L.10
第 15 回　L.11
期末レポート

Students will learn the following lessons.

1. Outline of the Chinese language
2. Basic Knowledge on Chinese Phonetics
3. Basic Knowledge on Chinese Phonetics
4. Common Sentence Patterns　L.1
5. L.2
6. L.3
7. L.4
8. Midterm examination
9. L.5
10. L.6
11. L.7
12. L.8
13. L.9
14. L.10
15. L.11

Report

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について予習してくること。

You need to review what you learned and to prepare for the next class.

関連科目

教科書に関する補足事項
詳細は以下のページを参照してください。
成長漢語
http://english.cntv.cn/program/learnchinese/growingwithchinese/
For the details visit the following website.
Growing up with Chinese
http://english.cntv.cn/program/learnchinese/growingwithchinese/

参考書１	書名	新版日中ことばの漢ちがい			ISBN	9784905013099
	著者名	張麟声著	出版社	日中言語文化出版社	出版年	2016

参考書に関する補足事項

達成目標
1）中国語の発音の基礎を習得する。
2）ピンインを見て正しく発音できる。

1）You will be able to pronounce Chinese words correctly.
2）You will be able to read Chinese “PinYin” correctly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：中間試験40%、レポート60%
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上
B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Midterm exam 40% Report 60%

Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
金曜日　13：00～13：30（事前にメールで予約をしてください）
Friday 13:00-13:30(Please contact me by e-mail before your visit.)

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
中国語
Chinese

(B10233610)健康科学[Health Science]

科目名[英文名]	健康科学[Health Science]				
時間割番号	B10233610	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	小島　俊男 KOJIMA Toshio				
ナンバリング	GEN_LIB83220				

授業の目標

本講座では、日本人の5大疾病である虚血性心疾患、脳血管疾患、 糖尿病、がん、精神疾患の成り立ちを理解することを目標とする。

Objectives of the class is to understand the causes of the 5 major diseases (coronary heart disease, cerebro-vascular disease, diabetes, cancer, and mental disease).

授業の内容

第1週　糖尿病（1）
第2週　糖尿病（2）
第3週　糖尿病（3）
第4週　虚血性心疾患（1）
第5週　虚血性心疾患（2）
第6週　虚血性心疾患（3）
第7週　脳血管疾患（1）
第8週　脳血管疾患（2）
第9週　脳血管疾患（3）
第10週　がん（1）
第11週　がん（2）
第12週　がん（3）
第13週　精神疾患（1）
第14週　精神疾患（2）
第15週　精神疾患（3）

Week 1: Diabetes (1)
Week 2: Diabetes (2)
Week 3: Diabetes (3)
Week 4: Coronary heart disease (1)
Week 5: Coronary heart disease (2)
Week 6: Coronary heart disease (3)
Week 7: Cerebro-vascular disease (1)
Week 8: Cerebro-vascular disease (2)
Week 9: Cerebro-vascular disease (3)
Week 10: Cancer (1)
Week 11: Cancer (2)
Week 12: Cancer (3)
Week 13: Mental disease (1)
Week 14: Mental disease (2)
Week 15: Mental disease (3)

予習・復習内容

授業の復習をしっかり行うこと。

Perform a review after each class.

関連科目

保健衛生学

Health and Hygiene

教科書 1	**書名**	生理学トレーニングノート			**ISBN**	978-4-87163-463-2
	著者名	竹内修二　監修,生理学 TN 編集委員会 編著,	**出版社**	医学教育出版社	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

スライドを使った授業を行います。
Presentation slides will be used in the class.

参考書に関する補足事項

達成目標
1) 人体の構造の理解
2) 代表的な疾患についての理解
Understanding the structure of the human body and causes of the illnesses.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B1～3, M1,D1
S:期末テストの点が 90 点(100 点満点)以上
A:期末テストの点が 80 点(100 点満点)以上
B:期末テストの点が 70 点(100 点満点)以上
C:期末テストの点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:期末テストの点が 80 点(100 点満点)以上
B:期末テストの点が 65 点(100 点満点)以上
C:期末テストの点が 55 点(100 点満点)以上

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams, 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
在室時なら、いつでも対応可能です。
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
健康、疾患
Health, Disease

(B1023362a)保健衛生学[Health and Hygiene]

科目名[英文名]	保健衛生学[Health and Hygiene]				
時間割番号	B1023362a	区分	人文科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	木 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	小島　俊男 KOJIMA Toshio				
ナンバリング	GEN_LIB83220				

授業の目標

本講座では、人体の構造と疾病の成り立ちを理解することを目標とします。

Objectives of this class is to understand the structure of the human body and causes of the illnesses.

授業の内容

第 1 週　脳の構造と機能
第 2 週　心の問題
第 3 週　心身の相関
第 4 週　呼吸器系の機能と疾患
第 5 週　循環器系の機能と疾患
第 6 週　応急処置
第 7 週　血液の仕組みと疾患
第 8 週　エイズ
第 9 週　アレルギー
第 10 週　消化器系の機能と疾患
第 11 週　食品衛生
第 12 週　がん(1)
第 13 週　がん(2)
第 14 週　生殖
第 15 週　胎児の発育と出産
Week 1: Nervous system
Week 2: Mental problem
Week 3: Mental and physical correlation
Week 4: Respiratory system
Week 5: Cardiovascular system
Week 6: Emergency measure
Week 7: Blood
Week 8: AIDS
Week 9: Allergy
Week 10: Alimentary system
Week 11: Food hygiene
Week 12: Cancer (1)
Week 13: Cancer (2)
Week 14: Reproduction system
Week 15: Fetal development and delivery

予習・復習内容

授業の復習をしっかり行うこと。

Perform a review after each class.

関連科目

健康科学

Health Science

教科書 1	書名	生理学トレーニングノート			ISBN	9784871634632
	著者名	竹内修二　監修,生理学 TN 編集委員会 編著,	出版社	医学教育出版社	出版年	2013

教科書に関する補足事項

スライドを使った授業を行います。

Presentation slides will be used in the class.

参考書に関する補足事項

達成目標
1) 人体の構造の理解
2) 代表的な疾患についての理解
Understanding the structure of the human body and causes of the illnesses.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B1～3, M1,D1
S:期末テストの点が 90 点(100 点満点)以上
A:期末テストの点が 80 点(100 点満点)以上
B:期末テストの点が 70 点(100 点満点)以上
C:期末テストの点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:期末テストの点が 80 点(100 点満点)以上
B:期末テストの点が 65 点(100 点満点)以上
C:期末テストの点が 55 点(100 点満点)以上

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams, 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
在室時なら、いつでも対応可能です。

Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

建築・都市システム学課程
関連がある項目
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
健康、疾患
Health, Disease

(B1023362b)保健衛生学[Health and Hygiene]

科目名[英文名]	保健衛生学[Health and Hygiene]				
時間割番号	B1023362b	区分	人文科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	小島　俊男 KOJIMA Toshio				
ナンバリング	GEN_LIB83220				

授業の目標

本講座では、人体の構造と疾病の成り立ちを理解することを目標とします。

Objectives of this class is to understand the structure of the human body and causes of the illnesses.

授業の内容

第 1 週　脳の構造と機能
第 2 週　心の問題
第 3 週　心身の相関
第 4 週　呼吸器系の機能と疾患
第 5 週　循環器系の機能と疾患
第 6 週　応急処置
第 7 週　血液の仕組みと疾患
第 8 週　エイズ
第 9 週　アレルギー
第 10 週　消化器系の機能と疾患
第 11 週　食品衛生
第 12 週　がん(1)
第 13 週　がん(2)
第 14 週　生殖
第 15 週　胎児の発育と出産
Week 1: Nervous system
Week 2: Mental problem
Week 3: Mental and physical correlation
Week 4: Respiratory system
Week 5: Cardiovascular system
Week 6: Emergency measure
Week 7: Blood
Week 8: AIDS
Week 9: Allergy
Week 10: Alimentary system
Week 11: Food hygiene
Week 12: Cancer (1)
Week 13: Cancer (2)
Week 14: Reproduction system
Week 15: Fetal development and delivery

予習・復習内容

授業の復習をしっかり行うこと。

Perform a review after each class.

関連科目

健康科学

Health Science

教科書 1	書名	生理学トレーニングノート			ISBN	9784871634632
	著者名	竹内修二　監修,生理学 TN 編集委員会 編著,	出版社	医学教育出版社	出版年	2013

教科書に関する補足事項

スライドを使った授業を行います。

Presentation slides will be used in the class.

参考書に関する補足事項

達成目標
1) 人体の構造の理解
2) 代表的な疾患についての理解
Understanding the structure of the human body and causes of the illnesses.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B1～3, M1,D1
S:期末テストの点が 90 点(100 点満点)以上
A:期末テストの点が 80 点(100 点満点)以上
B:期末テストの点が 70 点(100 点満点)以上
C:期末テストの点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:期末テストの点が 80 点(100 点満点)以上
B:期末テストの点が 65 点(100 点満点)以上
C:期末テストの点が 55 点(100 点満点)以上

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams, 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
在室時なら、いつでも対応可能です。

Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

建築・都市システム学課程
関連がある項目
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
（B）【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
健康、疾患
Health, Disease

(B10233630)心理学[Psychology]

科目名[英文名]	心理学[Psychology]				
時間割番号	B10233630	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	原田　一郎 HARADA Ichiro				
ナンバリング	GEN_LIB31520				

授業の目標

本講義前半では、青年期後半（大学生・大学院生期）の特徴について、社会に出る準備に関わる自己理解を中心に解説する。社会人基礎力、問題発見・解決能力といった、社会が学生に求める能力を題材に、技科大生である受講生の特徴や強みについて検討する予定である。また、本講義後半では心理学における問題解決プロセスや青年期の一般的な特徴について解説し、今後の学生生活において受講生一人一人が自らの強みをどのように伸ばしていけば良いか考える機会を提供する予定である。

This course will deal with psychological issues of late adolescence (undergraduate & graduate). The first half will explain the characteristics of late adolescence stage by focusing mainly on self-understanding regarding preparation for entering society. Through the topics on basic skills abilities for working with a variety of people, finding and solving problems, your strength and quality as a TUT student will be discussed. The second half will explain the characteristics of adolescence stage in general and problem-solving processes covered in psychology and offer opportunities for you to consider how each of you could enhance your personal strength through student life ahead.

授業の内容

授業回数は 15 回＋1 回定期試験（レポート）である。

1 週目　社会人基礎力について
2 週目 企業が理系に求める問題発見・解決能力、“コミュ力”とは
3 週目 グループワーク
4 週目　技科大生の“強み”と研究室活動
5 週目　自己理解課題①
6 週目　自己理解課題②
7 週目　認知行動療法①
8 週目　認知行動療法②
9 週目　認知行動療法③
10 週目　研究室での取り組み方について考える①：課題検討
11 週目　研究室での取り組み方について考える②：グループワーク
12 週目　青年心理学①
13 週目　青年心理学②
14 週目　青年心理学③
15 週目　講義のまとめ（振り返り）

This course will have 15 classes and one periodic exam (the term paper).

Week 1 Basic skills abilities for working with other people
Week 2 Problem finding and solving skills and communication skills business enterprises need
Week 3 Group work
Week 4 Strength of TUT students and laboratory activities
Week 5 Self-understanding task 1
Week 6 Self-understanding task 2
Week 7 Cognitive behavioral therapy 1
Week 8 Cognitive behavioral therapy 2
Week 9 Cognitive behavioral therapy 3
Week 10 Considering laboratory activities 1: Extracting problems

Week 11 Considering laboratory activities 2: Group work
Week 12 Psychology of Adolescence 1
Week 13 Psychology of Adolescence 2
Week 14 Psychology of Adolescence 3
Week 15 Wrap-up (Looking back)

予習・復習内容
特になし
Not necessarily required (On a voluntary basis)

関連科目
臨床心理学Ⅰ・Ⅱ(＊担当教員原田)を受講しておくことが望ましい。ただし、本講義のみを受講する場合でも、予備知識なく理解可能。
Taking Clinical Psychology Ⅰand Ⅱcourses (Instructor: Harada) is preferable. However, even if students take only this course, they can understand without any previous knowledge.

教科書に関する補足事項
教科書はなし。レジュメを随時配布する。
No texts. The materials will be distributed as needed.

参考書 1	書名	簡易型認知行動療法実践マニュアル			ISBN	
	著者名	大野裕 田中克俊	出版社	きずな出版	出版年	2017

参考書に関する補足事項

達成目標
1)心理学における自我と自己についての基本的な知識と理解
2)大学生の直面する発達課題の対応について理解を深める
3)考え方の幅を広げることによる自己理解・他者理解の促進
1) To obtain basic knowledge and understanding of Ego and Self in Psychology
2) To get a better understanding about how university or college students should cope with developmental issues which they face
3) To advance self-awareness and understanding of others by improving a scope of thinking

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
授業中毎回実施する小課題 45 点(15 回実施、提出すれば各 3 点)と定期試験(レポート)55 点の合計点で評価。

S:達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点(100 満点)が 90 点以上
A:達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点(100 満点)が 80 点以上
B:達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点(100 満点)が 70 点以上
C:達成目標を全て達成しており、かつ各課題の合計点(100 満点)が 60 点以上
小課題と定期試験(レポート)の得点割合は問題としない。
・Task (conducted in every class)
45 points (Conducted 15 times / 3 points for each will be given by submission)
・Term paper
55 points
S: To achieve all of the course objectives and get 90 points or more in total out of 100 in the tasks and the term paper
A:To achieve all of the course objectives and get 80 points or more in total out of 100 in the tasks and the term paper
B:To achieve all of the course objectives and get 70 points or more in total out of 100 in the tasks and the term paper
C:To achieve all of the course objectives and get 60 points or more in total out of 100 in the tasks and the term paper

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細
レポート内容については 10 週目に伝える(＊なんらかの事情で 10 週目に受講できなかった場合は、11 週目・12 週目の講義前後に担当教員までレポート内容の確認に来ること)

The content of the term paper will be told about in the 10th week. For the students who can't attend the class in the 10th week, come to confirm the content of the term paper to the instructor before or after the 11th or the 12th class.

その他
質問等はオフィスアワー・メール(i-harada@office.tut.ac.jp)で受けつける。

Take advantage of instructor office hours or emails (i-harada@office.tut.ac.jp) for questions or anything else connected with

the course.

ウェルカムページ

なし

None

オフィスアワー

受講期間中の毎週火曜日 12:00～13:00。場所は B206 内原田居室(B206 窓口担当員に声をかければ案内してくれます)。

Time : 12:00-13:00 TUE during the enrollment period

Location : Harada's room (Room #2) in B206

(The person at the front desk in B206 will lead you to the room.)

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程

(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(G)チームで仕事をするための能力

チームメンバーの価値観を互いに理解して，チームとしての目標達成に個性的に寄与できる能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程

(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(G)チームで仕事をするための能力

チーム内の個々の要員の価値観を互いに尊重するとともに，協調して,チームとしての目標達成に寄与することができる。

情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(G)チームで仕事をするための能力

チーム内の個々の要員の価値観を互いに尊重するとともに，協調して，チームとしての目標達成に寄与することができる能力を身につけている。

環境・生命工学課程

(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(G)チームで仕事をするための能力

チームの一員としての自己の役割を自覚し，周囲と協働して自分が行うべき責務を行い，プロジェクトを完成させる能力を身につけている。

建築・都市システム学課程

(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方

自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方

自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering

(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(G) Ability to work with a team

Have the ability to mutually respect the values of individual team members; and to contribute to goal achievement as a team through working cooperatively with other team members

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering

(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(G) Ability to work with a team

Have the ability to respect the values of each team member and to contribute to goal achievement as a team through working in a coordinated manner

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(G) Ability to work with a team
Have the ability to understand what to do and what other people should do when working with others in a coordinated manner and to implement them or take actions.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(G) Ability to work with a team
Have the ability to complete projects while being aware or the roles to play as a team member and performing one's own duties in cooperation with those around oneself
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
心理学　自己　自我　発達課題　大学生
psychology,　self,　ego,　developmental issue,　university[college] student

(B10234040)ミクロ経済学[Microeconomics]

科目名[英文名]	ミクロ経済学[Microeconomics]				
時間割番号	B10234040	区分	社会科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	宮田　譲, 渋澤　博幸 MIYATA Yuzuru, SHIBUSAWA Hiroyuki				
ナンバリング	GEN_LIB82322				

授業の目標

経済における個人や企業の行動を，数学モデルによって理解する。

To understand the economic behavior of individuals and firms by mathematical models.

授業の内容

ミクロ経済学は個人や企業が合理的に行動する場合に、どのような消費や生産が望ましいのかを研究するものである。ミクロ経済学的考え方は、意思決定の主体を明示することから、経済学に留まらず交通問題、都市・地域問題、環境問題などに広範に取り入れられるようになってきている。この授業では消費者行動と企業行動を中心にしてミクロ経済学の基本的考え方を講義する。

授業ではミクロ経済学の考え方をなるべく例示的に述べるとともに、その表現には主として数学モデルを用いる。

前期

第１～２週：市場経済の効率性

第３～５週：市場機構と需要・供給

第６～７週：消費者と需要

第８～１０週：消費者行動と需要曲線

第１１～１３週：企業行動と生産関数

第１４～１５週：企業の長期費用曲線と市場の長期供給曲線

事前にプリントを配布するので，プリントの予習・復習を必ず行うこと。

Microeconomics studies what consumption and production are desirable under the assumption of rational behaviors of individuals and firms. Microeconomics is applied to the studies on transportation science, urban and regional science and environmental science since the microeconomics refers to the rational decision maker. This subject will give a lecture of the fundamental concept of the microeconomics mainly refereing to the consumers' and firms' behaviors. The lecture will give concrete examples of the microeconomics concept and apply mathematics to express the microeconomic models.

1st term

1st to 2nd weeks: the efficiency of the market economy

3rd to 5th weeks: the market structure and demand/supply

6th to 7th weeks: consumers and demand

8th to 10th weeks: consumers behavior and demand curve

11th to 13th weeks: firms behavior and production functions

14th to 15th weeks: firm's long term cost function and long term market supply function

The handouts will be distributed to students prior to lectures. Students are required to carefully read the handouts before the lectures.

予習・復習内容

教科書を熟読すること。

Students are required to carefully read the textbook before/after each lecture.

関連科目

マクロ経済学

macroeconomics

教科書 1	書名	都市，地域，環境概論			ISBN	978-4-254-26165-3
	著者名	宮田　譲　他	出版社	朝倉書店	出版年	2013

教科書に関する補足事項

教科書：授業は以下の教科書に基づき行う。

宮田　譲　他,「都市，地域，環境概論」，初版，朝倉書店，2013 年

主要参考書：ミクロ経済学の具体的な応用を解説したものとして，以下を用いる。

教科書と同様の扱いをするので，購入を強く希望する。
西村和雄,「ミクロ経済学入門」，第2版，岩波書店，2001 年
宮田　譲　他,「社会科学の学び方」，初版，朝倉書店，2001 年，（科学技術入門シリーズ9）
その他：本講義では理解度調査を行うが，受講生の負担を軽減するため，授業中に重要となる項目を指示する。

参考書 1	**書名**	ミクロ経済学入門			**ISBN**	4-00-002193-1
	著者名	西村和雄	**出版社**	岩波書店	**出版年**	2001
参考書 2	**書名**	社会科学の学び方			**ISBN**	4-254-20509-0
	著者名	宮田　譲　他	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2001
参考書 3	**書名**	Intermediate Microeconomics			**ISBN**	978-0-393-12396-8
	著者名	Hal R. Varian	**出版社**	Norton and Company	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項

達成目標

A. ミクロ経済学の論理と方法
(1)経済用語の意味を正しく理解する。
(2)経済主体の合理性，資源の有限性を理解する。
(3)機会費用の意味を理解する。
(4)比較優位性の意味を理解する。お
(5)経済取引における価格の必要性を理解する。

B. 市場機構と需要・供給
(1)市場，需要，供給，市場均衡の意味を理解する。
(2)市場均衡の安定性を微分方程式を使って説明できる。
(3)需要と供給の価格弾力性を数学的に説明できる。

C. 消費者行動と需要曲線
(1)効用最大化問題をラグランジュ未定乗数法を用いて解くことができる。
(2)需要関数における代替効果と所得効果を数式および図を用いて説明できる。

D. 企業行動と生産関数
(1)生産関数の意味を理解する。
(2)企業における利潤最大化問題をラグランジュ未定乗数法を用いて解くことができる。

E. 企業行動と費用曲線
(1)費用最小化問題からラグランジュ未定乗数法を用いて費用関数を導出できる。
(2)費用関数を用いて利潤最適化問題を解き，供給関数を導出できる。
A. To understand the theory and methodology in microeconomics.
B. To understand the market structure and demand/supply.
C. To understand the consumer's behavior and demand function.
D. To understand the firm's behavior and production function.
E. To understand the firm's behavior and cost function.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価法：前期において1回の定期試験（100%）で評価する。定期試験については授業中に重点を置く内容について説明する。
成績の評価基準：前期において達成目標を全て含んだ定期試験を1回行い，点数(100 点満点)が 90 点以上を S，80 点以上を A，70 点以上を B，60 点以上を C とする。
Evaluation of achievement: The academic score of each student is eveluated by the term examination(100%). Important points for the examination shall be suggested in the lecture.
Criteia of evaluation: the term examination, which cover all contents of the lectures, shall be conducted. The full mark of the examination is 100 points. Score S is over 90 points, score A is over 80 points, score B is 70 to 79 points and score C is 60 to 69 points.

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

定期試験を1回行う。
The term examination shall be conducted at the end of the term.

その他

教官室：D806
電話番号：0532-44-6955
e-mail:miyata@ace.tut.ac.jp

room：D806
phone：0532-44-6955
e-mail:miyata@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://pm.hse.tut.ac.jp/kakenA/
http://pm.hse.tut.ac.jp/kakenA/

オフィスアワー

火曜日午後4時から5時まで

16:00 to 17:00 on every Tuesday

学習・教育到達目標との対応

建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
特に関連がある項目
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Particularly-relevant item
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード

経済学，ミクロ経済学，消費者行動，生産者行動
economics, microeconomics, consmer's behavior, producer's behavior

(B10234050)マクロ経済学[Macroeconomics]

科目名[英文名]	マクロ経済学[Macroeconomics]				
時間割番号	B10234050	区分	社会科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	渋澤　博幸 SHIBUSAWA Hiroyuki				
ナンバリング	GEN_LIB82320				

授業の目標

マクロ経済学は、所得の成長、物価の変化失業率など、全体としての経済を研究する学問である。マクロ経済学者は経済学的な出来事を説明するとともに、経済のパフォーマンスを改善するための政策を立案する。

Macroeconomics is the study of the economy as a whole, including growth in income, changes in prices, and the rate of unemployment. Macroeconomics attempts both to explain economic events and to devise policies to improve economic performance.

授業の内容

1,2 週目:マクロ経済学のデータ
3,4 週目:経済循環、国民所得
5,6 週目:IS-LM モデルの構築
7,8 週目:IS-LM モデルの応用、レポート、小テスト
9,10,11 週目:マンデル・フレミングモデル
12,13 週目:インフレーション、失業
14,15 週目:経済成長、レポート、小テスト

Course Outline
1st-2nd weeks: science and data of macroeconomics
3rd-4th weeks: market equilibrium and national income
5th-6th weeks: building IS-LM model
7th-8th weeks: applying IS-LM model, report and exam
9th-11th weeks: Mundell-Fleming Model
12th-13th weeks: inflation, deflation and unemployment
14th-15th weeks: economic growth, report and exam

予習・復習内容

英語と日本語のレジメを使って日本語で講義を行う。
講義ノートを作成して提出する。

Required Assignments
Lecture are provided in Japanese using the resume in English.
Students are required to submit several reports.

関連科目

ミクロ経済学

Microeconomics

教科書に関する補足事項

レジュメを配布する。
Papers(resume) will be distributed.

参考書 1	書名	マクロ経済学 I			ISBN	978-4-492-31409-8
	著者名	N.グレゴリー・マンキュー	出版社	東洋経済新報社	出版年	2013
参考書 2	書名	Macroeconomics, 8th Edition			ISBN	978-1-4641-2167-8

	著者名	N. Gregory Mankiw	出版社	Macmillan	出版年	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

マクロ経済の構造を、指標、循環図、モデルを用いて理解する。
IS－LM モデルを用いて財政・金融政策の効果を理解する。
マンデルフレミングモデルを用いて固定及び変動為替相場制における財政・金融政策の効果を理解する。
インフレーションと失業の関係を理解する。
技術進歩が経済成長に与える影響を理解する。

Acquiring the knowledge of macroeconomic structure using indicators, circulations and economic models.
Cultivating the ability to evaluate impacts of financial and monetary policies using the IS-LM model and the Mundell-Fleming model.
Acquiring the knowledge of the relationship between in prices and unemployment.
Enhancing the ability to understand the role of technical progress in the economic growth.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価基準：原則的に全ての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B3 年
S：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
B4
A：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B3
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

www.pm.ace.tut.ac.jp
www.pm.ace.tut.ac.jp

オフィスアワー

木曜日 9:00-10:00
Office Hours

Thursdays from 9:00 to 10:00

学習・教育到達目標との対応
マクロ経済の構造を、指標、循環図、モデルを用いて理解する。
IS－LM モデルを用いて財政・金融政策の効果を理解する。
マンデルフレミングモデルを用いて固定及び変動為替相場制における財政・金融政策の効果を理解する。
インフレーションと失業の関係を理解する。
技術進歩が経済成長に与える影響を理解する。

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
特に関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。
Acquiring the knowledge of macroeconomic structure using indicators, circulations and economic models.
Cultivating the ability to evaluate impacts of financial and monetary policies using the IS-LM model and the Mundell-Fleming model.
Acquiring the knowledge of the relationship between in prices and unemployment.
Enhancing the ability to understand the role of technical progress in the economic growth.

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
Particularly-relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society
Particularly-relevant item
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills tosearch for, organize and solve problems in a creative way

キーワード
経済学

(B10234120)民法[Civil Law]

科目名[英文名]	民法[Civil Law]				
時間割番号	B10234120	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	蔡　万里 SAI Banri				
ナンバリング	GEN_LIB82220				

授業の目標

工学部の学生に対し、民法上の諸原則を理解することを通じて、民法の機能を理解するとともに、我々の市民生活において把握しておくべき基本的な法的知識を習得することを目標とする。

For students of Faculty of Engineering, through understanding the principles of the civil law, the objective of this class is to learn the basic legal knowledge that should be grasped in our civic life.

授業の内容

配布プリントを用いて講義形式でおこなう。

第1回　ガイダンス
第2回　人・法人・物
第3回　法律行為（1）意思表示
第4回　法律行為（2）代理
第5回　法律行為（3）無効及び取消
第6回　期間と時効
第7回　物権総則
第8回　物権の変動
第9回　債権総則
第10回　契約
第11回　事務管理
第12回　不当利得
第13回　不法行為
第14回　親族と相続
第15回　まとめ・レポート

Week 1 Guidance
Week 2 Natural Person/Corporation/Object
Week 3 Legal Action (1) Declaration of Intention
Week 4 Legal Action (2) Agency
Week 5 Legal Action (3) Cancellation and Withdrawal
Week 6 Period and Aging
Week 7 Real Right General
Week 8 Transfer of Real Right
Week 9 Claim General
Week 10 Contract
Week 11 Benevolent Intervention in Another's Affairs
Week 12 Unjust Enrichment
Week 13 Tort
Week 14 Relatives and Inheritance
Week 15 Summary & Report

予習・復習内容

配った資料やメモに基づいて復習すること。

Please review the contents after class.

関連科目

法学

Jurisprudence

教科書に関する補足事項

教科書は特に指定しない。レジュメを配布する。

Textbook is not specified in particular. Please read the pre-distributed prints.

参考書 1	**書名**	民法入門			**ISBN**	
	著者名	川井　健	**出版社**	有斐閣	**出版年**	1989

参考書に関する補足事項

達成目標
1）民法の基本原理や基礎知識を理解して把握すること。
2）民法の学習を通じて法的なものの考え方を養成すること。
1) To grasp and understand the basic principles and basic knowledge of Civi Law.
2) To train the legal thinking method through the learning of Civil Law.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：授業参加度 30%　レポート 70%　左記の割合で、総合的に評価する。

Evaluation method: Degree of Participation 30% Report 70%

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
研究室：B-413
メールアドレス：saibanri@las.tut.ac.jp
電話：44-6954
Research Room: B-413
Mail: saibanri@las.tut.ac.jp
Tel: 44-6954

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業の前後
Before or After Class

学習・教育到達目標との対応
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(B) High ethical standards in relation to society as an engineer
As professional engineers, the ability to identify, resolve and evaluate the technical challenges faced by society in an ethically responsible manner
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

キーワード
法律行為、物権、債権
Legal Action, Real Rights, Claims, Contract

(B10234130)知的財産法[Intellectual Property Law]

科目名[英文名]	知的財産法[Intellectual Property Law]				
時間割番号	B10234130	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	蔡　万里 SAI Banri				
ナンバリング	GEN_LIB82220				

授業の目標

理科系の学生に対し、知的財産権の法制度全体についての一通りの体系的理解及び主要な論点における基本的な考え方を身につけてもらうことと、今後の創作活動において知的財産法に関する問題に直面した際に、自分で調査し考えることができるだけの基礎的能力を養成することを目標とする。

With the rapid development of economic globalization, the cooperation of trade, science and technology, service among countries is enhanced, and intellectual property plays a crucial rule in the globalized international stage. The main objective of this class is to help the students to understand the important issues in the field of intellectual property and gain the basic knowledge of intellectual property law.

授業の内容

配布プリントを用いて講義形式でおこなう。

第1回　ガイダンス
第2回　著作権の客体
第3回　著作権の主体
第4回　著作権の効力
第5回　著作権の利用と制限
第6回　著作隣接権
第7回　著作権の侵害と救済
第8回　特許権の保護対象
第9回　特許の要件
第10回　特許権の主体
第11回　特許権の効力
第12回　特許権の取得
第13回　特許権の侵害と救済
第14回　商標と不正競争防止
第15回　まとめ・レポート

Week 1 Guidance
Week 2 Object of Copyright
Week 3 Subject of Copyright
Week 4 The Efficacy of Copyright
Week 5 The Utility and Restrictions of Copyright
Week 6 Neighboring Rights
Week 7 Infringement and Remedies of Copyright
Week 8 Object of Patent Right
Week 9 Requirements of Patent
Week 10 Subject of Patent Right
Week 11 The Efficacy of Patent Right
Week 12 Acquisition of Patent Right
Week 13 Infringement and Remedies of Patent Right
Week 14 Trademark and Unfair Competition Prevention
Week 15 Summary & Report

予習・復習内容

配った資料やメモに基づいて復習すること。

Please review the contents after class.

関連科目

法学、民法

Jurisprudence, Civil Law

教科書に関する補足事項

教科書は特に指定しない。レジュメを配布する。

Textbook is not specified in particular. Please read the pre-distributed prints.

参考書 1	**書名**	標準著作権法			**ISBN**	
	著者名	高林　龍	**出版社**	有斐閣	**出版年**	2010
参考書 2	**書名**	標準特許法			**ISBN**	
	著者名	高林　龍	**出版社**	有斐閣	**出版年**	2002

参考書に関する補足事項

達成目標

1）知的財産権に関する権利取得の意識・能力を高めること。
2）知的財産権に関する権利保護の意識・能力を高めること。
1) To increase the awareness and ability of acquiring rights related to intellectual property.
2) To increase the awareness and ability of the protection of the intellectual property rights.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：授業参加度 30%　レポート 70%　左記の割合で、総合的に評価する。

Evaluation method: Degree of Participation 30% Report 70%

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

研究室：B-413
メールアドレス：saibanri@las.tut.ac.jp
電話：44-6954
Research Room: B-413
Mail: saibanri@las.tut.ac.jp
Tel: 44-6954

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業の前後
Before or After Class

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(B) High ethical standards in relation to society as an engineer
As professional engineers, the ability to identify, resolve and evaluate the technical challenges faced by society in an ethically responsible manner
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

キーワード

知的財産権、特許権、著作権、商標権
Intellectual Property Right, Patent Right, Copyright, Trademark Right

(B10234140)技術戦略と知的財産法[Technological Strategy and Intellectual Property Law]

科目名[英文名]	技術戦略と知的財産法[Technological Strategy and Intellectual Property Law]				
時間割番号	B10234140	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	蔡　万里 SAI Banri				
ナンバリング	GEN_LIB82220				

授業の目標

技術の研究開発や技術の商業化、技術提携など事業活動における必要不可欠な知的財産の取得・保護・活用等についての基本知識を習得することが目標である。

The Objective of this class is to learn the basic knowledge of acquisition, protection and utilization of the intellectual property rights in business activities such as R&D, technology cooperation and commercialization.

授業の内容

配布プリントを用いて講義形式でおこなう。

第1回　ガイダンス
第2回　特許の要件
第3回　特許権の主体
第4回　特許権の効力
第5回　特許権の取得
第6回　特許権の侵害と救済
第7回　著作権法（1）
第8回　著作権法（2）
第9回　商標法
第10回　実用新案法・意匠法
第11回　不正競争防止法・その他の知的財産法制度
第12回　知的財産の活用
第13回　技術標準化戦略
第14回　技術移転
第15回　まとめ・レポート

Week 1 Guidance
Week 2 Patentability Requirements
Week 3 Subject of Patent Right
Week 4 Effect of Patent Right
Week 5 Acquisition of Patent Right
Week 6 Infringement and Relief of Patent Right
Week 7 Copyright (1)
Week 8 Copyright (2)
Week 9 Trademark Right
Week 10 Utility Model Right and Design Right
Week 11 Unfair Competition Prevention
Week 12 Application of IP Rights
Week 13 Technology Standardization Strategy
Week 14 Technology Transfer
Week 15 Summary & Report

予習・復習内容

配った資料やメモに基づいて復習すること。

Please review the contents after class.

関連科目

知的財産法
民法

Jurisprudence, Civil Law, Intellectual Property Law

教科書に関する補足事項

教科書は特に指定しない。レジュメを配布する。

Textbook is not specified in particular. Please read the pre-distributed prints.

参考書 1	**書名**	標準特許法	**ISBN**	

	著者名	高林　龍	出版社	有斐閣	出版年	2002

参考書に関する補足事項

達成目標

1）情報の保護と利用のバランスについて基礎的な理解を得ること。
2）知的財産法についての基礎知識、及び技術開発における実務問題解決に直結する知識を修得すること。
1) To obtain a fundamental understanding about the balance on the protection and the utilization of information.
2) To acquire the basic knowledge of intellectual property law that is directly linked to solving the practical problems .

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：授業参加度 30%　レポート 70%　左記の割合で、総合的に評価する。

Evaluation method: Degree of Participation 30% Report 70%

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

研究室：B-413
メールアドレス：saibanri@las.tut.ac.jp
電話：44-6954
Research Room: B-413
Mail: saibanri@las.tut.ac.jp
Tel: 44-6954

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業の前後
Before or After Class

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(B) High ethical standards in relation to society as an engineer
As professional engineers, the ability to identify, resolve and evaluate the technical challenges faced by society in an ethically responsible manner
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

キーワード

技術戦略、特許権
Technology Strategy, Patent Right

(B10234150)国際知的財産法[International Intellectual Property Law]

科目名[英文名]	国際知的財産法[International Intellectual Property Law]				
時間割番号	B10234150	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	蔡　万里 SAI Banri				
ナンバリング	GEN_LIB82220				

授業の目標

日本や外国における知的財産権問題を、日本法、国際条約、米国法、中国法に分けて検討し、知的財産法をグローバルな視点で検討することのできる能力の養成を目標とする。

The objective of this class is to train the ability that can analyze the intellectual property issues with a global perspective.

授業の内容

配布プリントを用いて講義形式で行う。

第1回　ガイダンス
第2回　日本特許法（1）
第3回　日本特許法（2）
第4回　日本著作権法（1）
第5回　日本著作権法（2）
第6回　日本商標法その他
第7回　知的財産国際条約
第8回　知的財産に関する紛争の国際裁判管轄権
第9回　知的財産国際紛争の準拠法
第10回　米国における知的財産法制度（1）
第11回　米国における知的財産法制度（2）
第12回　米国における知的財産法制度（3）
第13回　中国における知的財産法制度
第14回　特定課題研究（日・米・中の比較）
第15回　まとめ・レポート

Week 1 Guidance
Week 2 Japanese Patent Law (1)
Week 3 Japanese Patent Law (2)
Week 4 Japanese Copyright Law (1)
Week 5 Japanese Copyright Law (2)
Week 6 Japanese Trademark Law
Week 7 International Treaty on Intellectual Property Right
Week 8 International Jurisdiction
Week 9 Governing Law
Week 10 American Intellectual Property Legal System (1)
Week 11 American Intellectual Property Legal System (2)
Week 12 American Intellectual Property Legal System (3)
Week 13 Chinese Intellectual Property Legal System
Week 14 Special Issue (Japan-US-China Comparison)
Week 15 Summary & Report

予習・復習内容

配った資料やメモに基づいて復習すること。

Please review the contents after class.

関連科目

知的財産法
民法

Jurisprudence, Civil Law, Intellectual Property Law

教科書に関する補足事項

教科書は特に指定しない。レジュメを配布する。

Textbook is not specified in particular. Please read the pre-distributed prints.

参考書 1	書名	国際知的財産法			ISBN	
	著者名	木棚　照一	出版社	日本評論社	出版年	2009

参考書に関する補足事項

達成目標

1）知的財産国際条約の基礎知識を獲得し、日本の知的財産法との関係を理解すること。
2）各国の立場を把握して、国際社会における知的財産課題を理解すること。
1) To obtain the basic knowledge of international intellectual property law.
2) To understand the relationship between the Japanese intellectual property law and the international intellectual property treaties.
3) To grasp the different position of each country, and get to understand the intellectual property issues in the international community.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：授業参加度 30%　レポート 70%　左記の割合で、総合的に評価する。

Evaluation method: Degree of Participation 30% Report 70%

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

研究室：B-413
メールアドレス：saibanri@las.tut.ac.jp
電話：44-6954
Research Room: B-413
Mail: saibanri@las.tut.ac.jp
Tel: 44-6954

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業の前後
Before or After Class

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(B) High ethical standards in relation to society as an engineer
As professional engineers, the ability to identify, resolve and evaluate the technical challenges faced by society in an ethically responsible manner
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

キーワード

国際知的財産法、国際条約
International Intellectual Property Law, International IPR Treaty

(B10234160)管理科学[Management Science]

科目名[英文名]	管理科学[Management Science]				
時間割番号	B10234160	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB82322				

授業の目標

社会経済を分析する能力を身に付ける。
本講義では，経営管理の観点から企業価値や資本コストを意識した経営の発想や手法についてファイナンスの基本を学ぶ。
授業形態として，英語コースの授業を兼ねるため，言語は英語主体で行われる。
Study objective is to learn an analytical capability on social and economical perspectives.
This class introduces basic finance knowledge to understand the managerial idea and tool for the company value and capital cost.
Teaching language is mainly dependent on English.

授業の内容

授業内容では，確率の基礎，金利，そして裁定取引の考えを基に，デリバティブの中のオプションの価格設定に関わる基本的発想を説明する。
主なトピックとしては，
第1週：確率の基礎，
第2週：正規確率変数，
第3週：幾何ブラウン運動，
第4週：金利，
第5週：裁定取引，
第6~7週：ブラック・ショールズ方程式，
第8~10 週：BS 式の付随項目(配当・ジャンプ・リスクパラメータ推定)，
第 11 週：期待効用による価値評価，
第 12 週：確率的次数，
第 13 週：最適化モデル，
第 14 週：確率動的計画法，
第 15 週：エキゾティックオプション，
第 16 週：期末試験，
などを予定している。

The class will disucss about basic ideas about the option valuation based on the elementary probabiity, interest rate, and arbitrage.
Class content will include following topics:
#1: baic probability,
#2: normal probability variable,
#3: geometric Brownian motion,
#4: interest rates,
#5: arbitrage trade,
#6~7: Black Scholes formula,
#8~10: additional items; dividend, jump, and volatility estimation,
#11: valuation by expected utility,
#12: stochastic order,
#13: optimization model,
#14: stochastic dynamic programming,
#15: exotic option,
#16: semester examination.

予習・復習内容

教材は moodle にアップロード予定なので，必ず予習・復習を徹底し，分からない点は調査・質問すること。

Teaching materials will be uploaded at moodle. Attending students are expected to complete pre- and re-views, investigate by themselves, and ask the lecturer.

関連科目

経営学(学部 1 年), 生産管理論, リアルオプション, ゲーム理論, MOT

Management (undergraduate 1st-2nd year), Operations Management, Real Options, Game Theory, and MOT.

教科書に関する補足事項

既に述べたように教材は moodle にアップロード予定。

As noted above, materials will be uploaded at moodle.

参考書 1	**書名**	An Elementary Introduction to Mathematical Finance (3rd.ed.)			**ISBN**	978-0-521-19253-8
	著者名	Sheldon M. Ross	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

1)正規確率変数の意味を理解できること

2)ブラック・ショールズ方程式の基本的構造が理解できること

3)ヨーロピアン・コールオプションの価格評価手法について理解できること

1) To understand the meaning of normal random variable.

2) To comprehend the basic model structure of Black Scholes formula.

3) To value an European call option.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:

期末試験 60%, レポート 20%, プレゼン 20%の配分で総合的に評価する予定である。

評価基準:

学部 3 年・博士前期課程 1 年

S:達成目標を全て達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上

A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上

C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

その他

A:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標を 65%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上

C:達成目標を 55%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

Evaluation Style:

Evaluation weight allocation is planned as Semester Examination 60%, Reports 20%, and Presentation 20%.

Evaluation Criteria:

Bachelor 3rd year, Master 1st year

S: If students achieved every above goals and their summed scores are equal or more than 90 (the maxim scores 100).

A: If students achieved 80% of above goals and their summed scores are equal or more than 80 (the maxim scores 100).

B: If students achieved at least 70% of above goals and their summed scores are equal or more than 70 (the maxim scores 100).

C: If students achieved at least 60% of above goals and their summed scores are equal or more than 60 (the maxim scores 100).

The others
A: If students achieved every above goals and their summed scores are equal or more than 80 (the maxim scores 100).
B:If students achieved at least 65% of above goals and their summed scores are equal or more than 80 (the maxim scores 100).
C:If students achieved at least 55% of above goals and their summed scores are equal or more than 55 (the maxim scores 100).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時応じる

At any time if available.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
リアル・オプション, ゲーム理論, 生産管理論
Real Options, Game Theory, Operations Management, MOT, Entrepreneurship, Management

(B10234170)生産管理論[Operations Management]

科目名[英文名]	生産管理論[Operations Management]				
時間割番号	B10234170	区分	社会科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB82320				

授業の目標

社会経済を分析する能力を身に付ける。MOT(Management of Technology)の基本を理解する。
本講義では、生産管理の概念の拡張を試みる。すなわち、製造段階での投入—産出プロセスが資材から製品への変換であるなら、製品開発プロセスではアイデアから新製品への変換であり、インキュベーションではアイデアから新規企業への変換である。このように拡張された生産管理は定常状態での日常管理から技術革新に向けた変化の管理といえる。本年度は、生産管理の基礎知識あるいはオペレーショナル段階での業務管理手法として主に SCM(Supply Chain Management)での在庫管理を、戦略的管理での技術開発管理手法としてオプションゲームの入門を簡単に説明する。技術開発管理では主に製品開発プロセスと戦略的提携の内容をリアルオプションとゲーム理論の観点から理解できることを目標とする。また、ファイナンスでは在庫は運転資本であるが、金融工学の観点からすればリアルオプションの中のタイミングオプションに関連する。さらに不確実性下での不可逆投資では競合関係も考慮する必要がある。
To learn analytical capability on social and economical perspectives.
To understand basic knowledge of Management of Technology(MOT).
This class tries to expand the concept of tradional concept of operations management. That is, if the input-output of manufacturing stage is the transformation process from materials to products, product development is the similar process from ideas to new products and start-up incubation is the process from ideas to new firms. Thus, the expanded operations management is considered as management of change for innovation from daily management at steady state.
In this academic year, the class simply explains, at first, the inventory management in Supply Chain Management (SCM) as a baic knowledge of operations management or operational management tools at operational stage, and secondary, introductional content of option-games as management tool for technological development at strategical management level. Objective in the technological development management is to understand the product development process and strategic partnership from perspectives of the real options and game theory. And the inventory is working capital in finance but is related to timing option in financial engineering. Further, at irreversible investment under uncertainty, the competitive condition is also necessary to consider.

授業の内容

生産管理が従来の物量管理からキャッシュフロー・ベースの投資の意思決定に変貌しつつある現実を背景に、基礎編では生産システムの管理としての SCM を、応用編では技術管理を各々投資の観点を通じて説明する。SCM では、確定的需要在庫モデルと確率的需要の在庫モデルを、技術管理では製品開発と戦略的提携について座学として説明した後に、各グループの技術開発事業計画の作成・プレゼンを演習として行なう。

第 1 回:生産管理の技術革新管理への変化の構造・プロセス
第 2 回:EOQ モデル
第 3 回:計画的受注残モデル
第 4 回:ELS(有限生産率)モデル
第 5 回:不完全品質モデル
第 6 回:現在価値基準と EOQ
第 7 回:WW アルゴリズム
第 8 回:クリスマスツリー・モデル
第 9 回:(Q,R)モデル
第 10 回:ポアソン需要対応モデル
第 11 回:リアルオプション
第 12 回:ゲーム理論
第 13 回:オプションゲームによる技術開発の可能性
第 14 回:技術開発計画の集団による作成演習
第 15 回:技術開発計画の集団によるプレゼンテーション演習
第 16 回:期末試験

Behind the factual trend of operations manageemnt forward cashfow based investment decisions from traditonal material amount control, this class explaines about SCM as management of production system in basic stage and about technology

management in application stage, respectively from investment perspective. The SCM part of semester schedule discusses about certain and stochastic demand inventory models, technology management part examines product development and strategic alliance, and exercise part tries each group's drawing and presentation of technology development business plan as competitive style.

#1: Changing structure and process of operations management forward technological innovation management
#2: Economic Order Quantity (EOQ) model
#3: Planned back order model
#4: Economic Lot Sizing (ELS) model
#5: Imperfect quality model
#6: Present value criterion and EOQ
#7: WW algorithm
#8: Christmas tree model
#9: (Q,R) model
#10: Poisson demand response model
#11: Real options
#12: Game theory
#13: Technology development potential with option-games
#14: Group exercise of business plan of technology development
#15: Group exercise of presentation of such plan
#16: Semester examination

予習・復習内容

予習は moodle のアップロード済みの資料参照にて、復習は授業中の質問にて各機会を設ける。
Pre-and re-view by material upload at moodle. Questions and discussion in class are also expected.

関連科目

管理科学、リアルオプション、ゲーム理論、技術管理特論、経営学、起業家育成、イノベーションマネジメント

Management Science, Real options, Game Theory, Management of Technology, Management, Entrepreneurship, Innovation Management

教科書に関する補足事項

資料は moodle にアップロードする。

Teaching materials are uploaded at moodle.

参考書 1	**書名**	技術変化のマネジメント			**ISBN**	ISBN-10: 4502322458
	著者名	藤原孝男	**出版社**	中央経済社	**出版年**	1993
参考書 2	**書名**	Production: Planning, Control, and Integration			**ISBN**	SBN-10: 0070576823
	著者名	Daniel Sipper et al.	**出版社**	McGraw-Hill	**出版年**	1998
参考書 3	**書名**	Managemtn of Technological Change (in Japanese :技術変化のマネジメント)			**ISBN**	ISBN-10: 4502322458
	著者名	Takao Fujiwara（藤原孝男）	**出版社**	Chuou Keizai（中央経済社）	**出版年**	1993

参考書に関する補足事項

達成目標

技術・生産管理について、
（1）確定的需要の在庫モデルが理解できる。
（2）確率的需要の在庫モデルが理解できる。
（3）SCM システムのタイプ間の相違をキャッシュフローの視点から理解できる。
（4）技術管理について、投資決定の観点から新しいアイデア・構想の提案ができる。
簡単な技術開発計画のプレゼンテーションが集団としてできる。
（1）able to undestand inventory models under certain demand
（2）able to undestand inventory models under stochastic demand
（3）able to undestand differences in SCM types from cashflow perspective
（4）able to propose new ideas and visions from investment decision

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：学期末に試験、レポート、プレゼン（60%＋20%＋20%）を実施し評価する。

評価基準:
学部 3 年・博士前期課程1年
S:達成目標をすべてクリアーし、総合評価合計点が 90 点以上。
A:達成目標を 80%達成し、総合評価合計点が 80 点以上。
B:達成目標を 70%達成し、総合評価合計点が 70 点以上。
C:達成目標を 60%クリアーし、総合評価合計点が 60 点以上。

その他
A:達成目標を全て達成し、総合評価合計点が 80 点以上。
B:達成目標を 65%達成し、総合評価合計点が 65 点以上。
C:達成目標を 55%クリアーし、総合評価合計点が 55 点以上。
Evaluation method: summation of total scores of semester examination (60%), reports (20%), and presentation (20%)

Eavaluation criteria:
Bachelor 3rd year/Master 1st year
S: Achieve every above goals, and summed scores are equal and more than 90 (maxim 100).
A: Achieve 80% of above goals, and summed scores are equal and more than 80 (maxim 100).
B: Achieve 70% of above goals, and summed scores are equal and more than 70 (maxim 100).
C: Achieve 60% of above goals, and summed scores are equal and more than 60 (maxim 100).

The others
A:Achieve every above goals, and summed scores are equal and more than 80 (maxim 100).
B:Achieve 65% of above goals, and summed scores are equal and more than 65 (maxim 100).
C:Achieve 55% of above goals, and summed scores are equal and more than 55 (maxim 100).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
質問・意見等は随時受け付ける。
Any time if available.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
SCM　技術管理　製品開発プロセス　戦略的提携
SCM, Technology management, Product development, and Strategic partnership

(B10234180)リアルオプション[Real Options]

科目名[英文名]	リアルオプション[Real Options]				
時間割番号	B10234180	区分	社会科学科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	水 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB82320				

授業の目標

社会経済を分析する能力を身に付ける。MOT の基本を理解する。
技術プロジェクト、ベンチャーあるいは社会インフラの設計・構築・運営に関するマネジメントは、アイデアから事業的具体化まで長時間・多額投資・高リスクなどの課題克服の意思決定を必要とする。特に、医薬品開発・インフラへの投資では採算に向けての長い回収期間が必要であり慎重で柔軟な意思決定が必要となる。加えて、技術の事業化における不確実性下での不可逆的投資決定では、埋没コスト(一旦、投資したら戻らない費用)に関連して意思決定プロセスでの戦略的柔軟性が価値を持つ。故に、本講義では、画期的ではあるが高リスクのプロジェクトのデスバレー(初期の赤字期間)克服に向けて、実物資産に関連した投資の戦略的柔軟性としてのリアルオプションの意味・類型と、その金額的価値の評価方法をリアルオプション分析(Real Options Analysis)として学習する。
Objective is to learn analytical capability about social and economical perspectives. Additional objective is to understand basic knowledge of Management of Technology (MOT).
Management of technological project, start-up, and design-build-operation of social infrastructure needs the decision making to overcome such challenges as long-term, a large amount of money, and high risk from idea conception to business start. In particular, investment in drug development and infrastructure requires careful and flexible decision making for so long time till the revenue break point. And at irreversible investment decision under uncertainty for technological commercialization, strategic flexibility has some value from sunk cost as difficult to refund after investment. Therefore, this class will examine the meaning and type of real options as strategic flexibility of investment related with real assets and the evaluation method of financial value as real options analysis for overcoming the death valley (founding initial negative profits period) of innovative but high risk projects.

授業の内容

リアルオプション分析は、教科書的な DCF(割引キャッシュフロー)法が前提とする意思決定に関する現時点での実施かあるいは永遠の放棄かという確率的に固定的仮定による限界の克服を目指す。すなわち、戦略的柔軟性の余地を組み込むことで、通常の投資決定基準の NPV(正味現現在価値)とオプション価値を合計した期待値としての拡張型 NPV に改善しようとするアプローチである。こうして、収益が不確実な状況下で不可逆的投資に関する柔軟な意思決定の経済的評価や意思決定の改善を行なう。その結果、本来なら赤字で採算割れの投資機会を一定の範囲内で黒字に変換し、投資案の推進も可能となる。基本的な内容として、金融オプションに基づく基礎的な計算方法、リアルオプションのパターン、リアルオプションの応用例などについて説明し、投資案作成のプレゼンテーションの集団別の演習を行なう予定である。

第 1 回:リアルオプションの特徴
第 2 回:NPV の再考
第 3 回:複製ポートフォリオ法
第 4 回:ヘッジポートフォリオ法
第 5 回:リスク中立確率法
第 6 回:リスク調整確率法
第 7 回:BS(ブラックショールズ)式
第 8 回:単純オプションのモデル化・評価
第 9 回:チューザーオプション
第 10 回:コンパウンドオプション
第 11 回:スイッチングオプション
第 12 回:多期間 2 項モデル
第 13 回:エクセルによる活用法の演習
第 14 回:集団別の投資案作成の演習
第 15 回:グループ別の投資案のプレゼンテーション演習
第 16 回:期末試験
Real options analysis aims for overcoming the limit of stochastic fixed assumption of text book style, discounted cash flow (DCF) method whether investment at present time or abandoment forever. That is, this is an approach to improve the Net Present Value (NPV) as an ordinal investment decision criterion into the Expanded Net Present Value (ENPV) as a expected value by including the option value as a room of strategic flexibility. Thus, it will evaluate the economic value of flexible decision on irreversible investment under uncertain returns and to improve the decisions making. As a result, it is possible to

change the originally negative profits investment opportunity into a positive profits one within an extent and to proceed such promising but risky investment alternatives. As main topics, this class deals with the basic calculation method based on financial option, patterns and application examples of real options, and group exercise of drawing and presentating investment plans.

#1: Characteristics of real options
#2: Rethink of NPV
#3: Replicated portfolio method
#4: Hedge portfolio method
#5: Risk neutral probability
#6: Risk adjusted probability
#7: Black Scholes formula
#8: Modelling and validity of simple options
#9: Chooser options
#10: Compound option
#11: Switching option
#12: Multi-period binomial model
#13: Excel spread sheet examples
#14: Group exercise: investment plan drawing
#15: Group exercise: investment plan presenting
#16: Semester examination

予習・復習内容

予習には moodle にアップロード済みの資料参照にて、復習には授業中の質問にて対応予定である。
Pre-and re-views by materials uploading at moodle. Questions and discussion in class time are also welcomed.

関連科目

経営学、ゲーム理論、起業家育成、生産管理論、管理科学、技術管理特論、イノベーションマネジメント
受講には、予備知識として経営学の事前・並行履修が望ましい。

Game theory, Entrepreneurship, Management, Operations Management, Management Science, Management of Technology, Innovation Management
Preliminary attending at Management (B1) is recommended.

教科書 1	**書名**	決定版 リアル・オプション―戦略フレキシビリティと経営意思決定			**ISBN**	ISBN-10: 4492601074
	著者名	トム・コープランド他	**出版社**	東洋経済新報社	**出版年**	2002

教科書に関する補足事項

moodle に資料をアップロードする。
Teaching materials will be uploaded at moodle.

参考書 1	**書名**	リスクとデリバティブ			**ISBN**	SBN-10: 4502650404
	著者名	西村寿夫	**出版社**	中央経済社	**出版年**	2003

参考書に関する補足事項

達成目標

ROA(リアルオプション分析)について、
(1)拡張正味現在価値が理解できる。
(2)多期間 2 項モデルが理解できる。
(3)複製ポートフォリオ法が理解できる。
(4)ヘッジポートフォリオ法が理解できる。
On real options,
(1)Able to understand Net Present Value
(2)Able to understand Multi-period binomial model
(3)Able to understand Replicated Portfolio method
(4)Able to understand Hedge Portfolio method

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:試験、レポート、プレゼンテーション(60%＋20%＋20%)にて評価する。

評価基準:

学部 3 年・博士前期課程1年
S：達成目標を全てクリアーし、総合評価合計点（100 点満点）が 90 点以上。
A：達成目標を 80%達成し、総合評価合計点（100 点満点）が 80 点以上。
B：達成目標を 70%達成し、総合評価合計点（100 点満点）が 70 点以上。
C：達成目標を 60%達成し、総合評価合計点（100 点満点）が 60 点以上。

それ以外：
A：達成目標を全て達成し、総合評価合計点（100 点満点）が 80 点以上。
B：達成目標を 65%達成し、総合評価合計点（100 点満点）が 65 点以上。
C：達成目標を 55%達成し、総合評価合計点（100 点満点）が 55 点以上。
Evaluation method:
Summed scores of examination (60%) + reports (20%) + presentation (20%)

Evaluation criteria:
Bachelor 3rd year, Master 1st year:
S: Achieved all above goals and summed scores equal or more than 90 (maximum 100).
A: Achieved 80% of above goals and summed scores equal or more than 80 (maximum 100).
B: Achieved 70% of above goals and summed scores equal or more than 70 (maximum 100).
C: Achieved 60% of above goals and summed scores equal or more than 60 (maximum 100).

The others:
A：Achieved all above goals and summed scores equal or more than 80 (maximum 100).
B：Achieved three goals and summed scores equal or more than 65 (maximum 100).
C：Achieved two goals and summed scores equal or more than 55 (maximum 100).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
質問・意見等は随時受け付ける。
Any time while available.

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方

自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
リアルオプション、戦略的柔軟性、デスバレー克服、不可逆的投資
Real optuons, Strategic flexibility, Death-valley overcoming, Irreversible investment

(B10234190)ゲーム理論[Game Theory]

科目名[英文名]	ゲーム理論[Game Theory]				
時間割番号	B10234190	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB82320				

授業の目標

製品・技術開発では、概念の構築から設計・施行・運営・廃棄まで多様な関係者と議論を重ね共通理解を得る必要がある。例えば、新技術の普及や創業でも、基礎研究などの画期的アイデアを主に大多数層に向けて噛み砕いて説明し、リスクを低減化する努力によって納得を得るオピニオンリーダーが必要となる。同様に、インフラ投資でも、周辺住民との対話が必要となり、地域の活性化、イベント開催でもプロジェクト関係者の合意を得ることが必要となる。この授業では、ゲーム理論の観点から協力・競合の戦略を説明する。キーワードとして、利害関係者の意見調整の主要概念がナッシュ均衡であり、確率に基づくゲームモデルが混合戦略であり、プレイヤー(参加者)間の情報が異なる場合が情報非対称ゲームである。座学の後でグループ別の演習を予定している。

For technological and product development, it is necessary to consensus on concept and process among a variety of experts from many sections. For example, diffusion of new technolgy and start-ups founding needs an opinion leader who can explain technical architecture simply to majority and persuade them for risk hedge. Such kind of effort is the same even with infrastructure investment. This class will discuss about Co-competion Strategy from a perspective of game theory. Keywords include Nash equilibrium, mixed strategy, and information asymmetric game. After classroom lecture, we will have also exercise of inter-group competition of business plan.

授業の内容

以下の内容を予定している。

1)ゲーム理論の概要・意義
2)囚人のジレンマ
3)ナッシュ均衡・男女の争い
4)硬貨合わせゲーム・混合戦略
5)連続的戦略・利得
6)寡占下での競争ゲーム(1)
7)寡占下での競争ゲーム(2)
8)交互進行ゲーム・部分ゲーム完全均衡
9)有限回反復ゲーム
10)無限回反復ゲーム
11) 情報非対称ゲーム
12) 情報操作・ エージェンシー問題
13) モラルハザード・オークション
14) ゲーム案の集団別作成演習
15) ゲーム案の集団プレゼンテーション演習
16)期末試験

Content will include following topics:

1)Summary and significance of game theory
2)Prisoner's dilemma
3)Nash equilibrium & battle of the sexes
4)Matching penny & mixed strategy
5)Continual strategy & payoff
6)Competition game under oligopoly(1)
7)Competition game under oligopoly(2)
8)Sequential game & subgame perfect equilibrium
9)Finitely repeated game
10) Infinitely repeated game
11) Asymmetric information game
12) Information manipulation & agency problem
13) Moral hazard & auction
14) Group exercise: drawing of business plan
15) Group exercise: presentation of business plan
16) Semester examination

予習・復習内容

予習に対しては教材を moodle にアップロード済みであり、復習に関しては以降の授業中の質問にて対応したい。
For pre-& re-views, teaching materilas are uploaded at moodle. Questions and discussion in class are welcomed.

関連科目

経営学、起業家育成、生産管理論、管理科学、リアルオプション、MOT、起業家育成、イノベーションマネジメント
Real options, Operations management, Management science, Entrepreneurship, MOT, Management, Entrepreneurship, Innovation management

教科書に関する補足事項

moodle にアップロード予定のパワーポイントに従い説明する。
Materials are uploaded at moodle.

参考書 1	**書名**	MBA ゲーム理論			**ISBN**	ISBN-10: 447837242X
	著者名	鈴木一功	**出版社**	ダイヤモンド社	**出版年**	1999

参考書に関する補足事項

達成目標

1）ナッシュ均衡を理解できる。
2）寡占下競争戦略を類型化できる。
3）交互進行ゲームでの部分ゲーム完全均衡の意味が分かる。
4）情報非対称ゲームでの対応を考えられる。
1）Able to understand Nash equilibrium
2）Able to classify competitive strategy under oligopoly
3）Able to the meaning fo subgame perfect equilibrium in sequential game
4）Able to propose a strategy in asymmetric information game

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末試験（60%),レーポート(20%),演習での集団別のプレゼンテーション(20%)によって評価する。

評価基準：
学部3年・博士前期課程1年
S: 達成目標を全て達成しており，且つテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A: 達成目標を 80%達成しており，且つテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B: 達成目標を 70%達成しており，且つテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C: 達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 60 点以上

その他
A：達成目標を全て達成しており，且つテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており，且つテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Evaluation method: Summed scores = semester examination (60%) + reports (20%) + presentation (20%)

Evaluation criteria:
Bachelor 3rd year/Master 1st year
S: Achieved all goals and the summed scores were equal or more than 90 (maximum 100).
A: Achieved 80% of above goals and the summed scores were equal or more than 80 (maximum 100).
B: Achieved 70% of above goals and the summed scores were equal or more than 70 (maximum 100).
C：Achieved 55% of goals and the summed scores were equal or more than 55 (maximum 100).

The others
A：Achieved all goals and the summed scores were equal or more than 80 (maximum 100).
B：Achieved 65% of goals and the summed scores were equal or more than 65 (maximum 100).
C：Achieved 55% of goals and the summed scores were equal or more than 55 (maximum 100).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時対応
Any time if available.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.

(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
ゲーム理論、ナッシュ均衡、交渉、モラールハザード
Game theory; Nash equilibrium; Negotiation; Morale hazard

(B10234200)経営戦略論[Strategic Management]

科目名[英文名]	経営戦略論[Strategic Management]				
時間割番号	B10234200	区分	社会科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	水 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　和子 SAKAMOTO Kazuko				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

経営戦略は、経営活動の中長期的な基本枠組みと方向性を決定するもので，企業の存続や財務業績に大きな影響を与える．戦略論には時代的背景があり，経営戦略の論理も経営環境に大きく左右されるため，本講義では，さまざまな事例を通して,時代に即した戦略フレームを学びながら，社会で活用できるための実践力を身につける．

Management strategy determines the mid- and long-term basic framework and directivity of an administrative action, and has big influence on continuation and financial performance of a company. There is a historical background in strategy theory and the logic of management strategy is also greatly influenced by business environment..In this lecture, students learn strategy frames from various examples and master the practice power for being utilizable in society .

授業の内容

1.ガイダンス：講義の内容と経営戦略に関する研究領域について概説する．
2. 経営戦略とは何か：戦略理論の発展してきた経緯と，策定プロセスについて解説する．
3. 経営目標の設定と戦略分析の枠組み：企業の経営理念やビジョンに則った戦略展開とSWOT，3C等の分析手法について解説する．
4. ドメインの定義：事業ドメインの設定，アンゾフマトリックスによる事業戦略のシナリオについて解説する．
5. 戦略フレームの応用演習：これまで学習した理論に関する複合課題を提示し，ディスカッションの実施とプレゼンテーションについて解説する..
6. 多角化戦略：市場参入と多角化の実施方法，M＆A の戦略についてケーススタディと解説を行う．
7. ポーターの競争戦略①：基本戦略であるコストリーダーシップ戦略と差別化戦略について解説する．
8. ポーターの競争戦略②：集中戦略，セグメンテーションの手法，RFM 分析について解説する．
9. ポーターの業界分析モデル：ポーターの 5 つの競争要因モデル，業界構造、ニッチ戦略について，ケーススタディと解説を行う．
10. データ分析による予測：さまざまな2次データを駆使して，現状把握と予測を行い，経営戦略との関連から考察する．
11. グローバルダイナミクス：グローバル市場での経営戦略について解説する．
12. イノベーション理論からアプローチする経営戦略：破壊的イノベーション、リバース・イノベーションの原理から新興国の攻勢と今後について解説する．
13. デザインからアプローチする経営戦略：デザインシンキングによる経営戦略事例の紹介と，デザインの効力について考察する．
14. レポート報告会：優良レポートの発表会と内容に関する講評．
15. まとめ：講義を総括する．

1. Introduction
2. What is Strategic Management？：Development circumstances and the decision process of strategic theories.
3. Framework of Strategy Analysis：Explanation about analytical skills, such as SWOT and 3C.
4. Domain：Scenario of the business strategy by Ann Zoff Matrix.
5. Application Exercise of Strategy Frame：Presentation of compound subjects, and discussion..
6. Diversification Strategy：Case studies about the strategy of market entry and M&A.
7. Competitive Strategy(1)：Cost leadership strategy and differentiation strategy.
8. Competitive Strategy(2)：Focus strategy, the technique of segmentation, RFM analysis.
9. Industry Analysis Model：Porter's Five Forces, industry structure, niche strategy.
10. Data Analysis：Grasping the present situation and prediction by secondary data.
11. Global Dynamics：Management strategy in global markets.
12. Innovation Theory：Principle of destructive innovation and reverse innovation.
13. Design Strategy：Design thinking and management strategy.
14. Report Debrief Session
15. Review

予習・復習内容

授業毎に次回の予習ポイントを解説する．

A next preparation point is explained at the time of each lecture.

関連科目

講義の順序や内容は，事前告知の上，変更になる場合がある.
Business Administration, Organization and Management, Marketing

教科書に関する補足事項
特定の教科書は使わず，講義毎にプリントを配布する.
Specific textbooks are not used but distribute prints for every lecture.,

参考書 1	**書名**	Key Strategy Tools The 80+ tools for every manager to build a winning strategy			**ISBN**	978-0-273-77886-8
	著者名	Vaughan Evans	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	2013
参考書 2	**書名**	Key Business Solutions Essential problem-solving tools and techniques that every manager needs to know			**ISBN**	978-0-273-75029-1
	著者名	Antonio E. Weiss	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標
・経営戦略における基礎概念や理論を理解する.
・ビジネスツールやフレームワークを理解し，有効な活用方法を習得する.
・様々な事象やデータを科学的に分析する技術を身につける.
・知識の体系的理解を深め，問題解決に生かすことができる.

- Participants understand the basic concept and theory in management strategy..
- Participants master the effective practical use method of business tools or frameworks.
-Participants learn the technology of analyzing various phenomena and data scientifically.
- Participants can deepen systematic understanding of knowledge and can use for problem solving.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
レポート 60%　演習課題2回(プレゼンテーション)と授業中の質疑応答など 40%　　左記の割合で，総合的に評価する.

評価基準：下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 60 点以上

ただし B4 のみ以下の評価方法となる.
A：達成目標を 65%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 80 点以上
B：達成目標を 55%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 55 点以上

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Report (60%),, two exercise subjects , questions and answers in session (40%), and a fraction of
in-class contribution.

The final grade will be determined by the total amount of points obtained according to the following scale:
S:90-100
A：80-89
B：70-79
C：60-69

B4 is as follows.
A：80-100
B：65-79
C：55-64

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細
その他
ウェルカムページ
オフィスアワー 質問・意見等は随時受け付ける. Students can say questions and opinions at any time.
学習・教育到達目標との対応
キーワード 競争戦略, 多角化戦略, イノベーション Competitive strategy, Diversification strategy, Innovation

(B10234210)デザインマネジメント[Design Management]

科目名[英文名]	デザインマネジメント[Design Management]				
時間割番号	B10234210	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　和子 SAKAMOTO Kazuko				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

製品がコモディティ化するに従い，デザインが消費者の選択や購買に果たす役割は大きくなってきている．本講ではデザインを経営資源と捉え，ビジネスにおける役割や重要性を理解した上で，デザインシンキングやプロジェクトマネジメント，ケーススタディ等を通して企業活動における効果的なデザインの活用方法を習得することを目指す．

The role which design play in selection and purchase of consumers is becoming large. This course deals with the role in the business of design after recognizing the design to be management resources. It also enhances the development of students' skill in utilizing the design for corporate activity effectively. by design thinking, project management, and case studies

授業の内容

1. ガイダンス：デザインマネジメントとは何か，なぜ重要なのかについて概説する．
2. 製品開発におけるデザインの歴史①：製品開発におけるデザインの位置づけとその変遷について解説する．
3. 製品開発におけるデザインの歴史②：主に日本におけるデザインの歴史と戦略について解説する．
4. デザインプロセスのマネジメント：デザインのクリエイティブプロセスとマネジメントへの適用について説明する．
5. デザインの発想法　：アイディアの出し方や方法論について，演習を交えながら解説する．
6. デザインシンキング①：デザインシンキングの概要と実践での活用について解説する．
7. デザインシンキング②：デザインシンキングを使った製品開発の事例について解説する．
8. デザインとイノベーション：機能とデザインの統合と是非について，いくつかの研究事例から説明する．
9. デザインマーケティング：デザイン嗜好の分析と製品開発や市場創造への活用について解説する．
10. 市場参入におけるデザインの役割　：グローバル市場への参入におけるデザインの効力について解説する．
11. デザイン保護法制：意匠保護へのアプローチ．
12. デザイン戦略事例：デザイン重視の企業の成功事例を紹介する．
13. デザイントピック①：サスティナブルデザインに関する概念と企業事例について紹介する．
14. デザイントピック②：ユニバーサルデザイン，ブランドデザイン等のデザイントレンドについて紹介する．
15. まとめ：講義を総括する．

1. Introduction：What is　Design Management？　Why is it important?
2. History of Design(1)：Positioning and its changes of the design in product development.
3. History of Design(2)：History and　strategy of design in Japan.
4. Design Process Management：Creative process of design, and application for management.
5. Idea Way of Thinking：Idea ways of thinking, methodology, exercises.
6. Design Thinking(1)：Outline of design thinking, and practice.
7. Design Thinking(2)：Product development example using design thinking.
8. Design and Inovation：Integration of Inovation and design.
9. Design Marketing：Analysis of design preference, and practical use to product development or market creation.
10. Role of Design in Market Entry：Effect of the design in entry to global markets.
11. Design Protection：Approaches to the protection of designs.
12. Design Strategy：Success cases of the company focused on a design.
13. Design Topic(1)：Concepts and company cases about sustainable design.
14. Design Topic(2)：Universal design, brand design.
15. Review

予習・復習内容

講義資料を熟読し，講義後には復習を行うこと．

It is desirable for students to read lecture materials carefully and to review after a lecture.

関連科目

経営戦略論，マーケティング論

Strategic Management, Marketing

教科書に関する補足事項

moodle に資料をアップロードする

Teaching materials are upload at moodle

参考書に関する補足事項

参考書は項目ごとにその都度，講義中にて紹介する.
Reference books are introduced in a lecture for each item.

達成目標

・デザインマネジメントの概要を理解する.
・発想法によるアイディア抽出と，事業への落とし込み方を身につける.
・デザインシンキングの理解と，実践での活用方法を習得する.
・感性と機能や技術の融合による製品開発のスキルを身につける.

The goals of this course are to
(1)Understand the outline of design management.
(2)Learn the method of idea extraction and the method of business deployment by the way of thinking.
(3)Master the practical use method of design thinking..

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
レポート 2 回 80%，その他授業中の質疑応答・演習課題など 20% 左記の割合で，総合的に評価する.

評価基準：下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 60 点以上

ただし B4 のみ以下の評価方法となる.
A：達成目標を 65%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 55%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 55 点以上

There will be two main reports: midterm (40%) and final (40%). In addition, there will be class attendance and attitude in class (20%) ..

The final grade will be determined by the total amount of points obtained according to the following scale:
S:90-100
A：80-89
B：70-79
C：60-69

B4 is as follows.
A：80-100
B：65-79
C：55-64

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

質問・意見等は随時受け付ける.
Students can say questions and opinions at any time.

学習・教育到達目標との対応

キーワード
デザイン戦略，デザインシンキング
Design strategy, Design thinking

(B1023422a)マーケティング論[Marketing]

科目名[英文名]	マーケティング論[Marketing]				
時間割番号	B1023422a	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　和子 SAKAMOTO Kazuko				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

本講義ではマーケティングの基礎概念や諸理論を学び，事例紹介やレポート課題等を通して，具体的な戦略展開やコンセプト作成などを行うとで，社会での実践的な活用方法を習得することを目標とする.

This course introduces the basic concept and theories of marketing. It also enhances the development of students' skill in concrete strategic deploy and concept creation.

授業の内容

1. ガイダンス: 日常生活の中に内在するさまざまなマーケティング事象について紹介し，マーケティングとは何かを考え，企業経営におけるマーケティングの役割と課題について解説する.
2. マーケティングの定義と領域:マーケティングの定義と形態の歴史的変遷について学習し，マーケティング理論構築のプロセスについて考察させる.
3. 市場の捉え方: 市場とは何か，原初的な課題を検討することで，顧客をどう捉えどのようにアプローチするのかを概説する.
4. マーケティング戦略 :事業機会と事業領域の選択，標的市場選定など，マーケティング戦略の立案とプロセスについて具体事例を交えながら説明する.
5. 競争戦略 :PPM，ポーターの競争戦略等について解説する.
6. 製品政策① :マーケティングにおける製品概念とプロダクトライフサイクルについて説明する.
7. 製品政策② :新製品の開発とデザイン，ブランド等について，昨今のトレンドを交えながら説明する.
8. 価格政策 :製品の価格設定と課題について解説する.
9. 流通政策: マーケティングチャネル概念、チャネル選択，ロジスティクスについて解説する.
10. 販売促進政策 :広告，販売促進について解説する.
11. サービスマーケティング: サービスの分類，特性，サービスマーケティング戦略について,事例を交えながら説明する.
12. Web マーケティング: インターネットやブログを活用してのマーケティング戦略について解説する.
13. グローバル・マーケティング :海外市場でのマーケティング戦略について，事例を交えながら説明する.
14. レポート報告会 :優良レポートのプレゼンテーションと内容に関する講評
15. まとめ :これまでの講義を総括する.
16. 期末試験

1. Introduction:Role and subject of marketing.
2. Definition and Domain of Marketing:Definition, form, the process of theory establishment.
3. Understanding of the Market: What is the market?
4. Marketing Strategy:Selection of business opportunity and domain identity, target market selection.
5. Competitive Strategy:PPM, Porter's competitive strategy.
6. Product(1) :Product concept and product lifecycle.
7. Product(2):New product development, design, brand.
8. Price:Method of a price setup.
9. Place: Channel concept, channel selection, logistics.
10. Promotion:Advertisement, sales promotion.
11. Service Marketing: The classification of service, the characteristic, service marketing
12. Web Marketing: Practical use of the Internet or a blog.
13. Global Marketing:Marketing strategy cases in oversea markets.
14. Report Debrief Session:Comment about the presentation of superior reports.
15. Review

予習・復習内容

毎講義で次回内容に関する簡単な予習課題を提示.

A next preparation point is explained at the time of each lecture.

関連科目

経営学，経営戦略論，消費者行動論

Business Administration,, Strategic Management, Consumer Behavior

教科書に関する補足事項

講義毎に資料配布.

Materials are suitably handed out at the time of each lecture.

参考書に関する補足事項

参考書は項目ごとにその都度，講義中にて紹介する.
Reference books are introduced in a lecture for each item.

達成目標

・マーケティング戦略，マーケティング管理，マーケティング・コンセプト等の基本概念を理解する.
・モノづくりに生かす知識と実践力を身につける.
・マーケティングの視点から経営環境の諸問題を捉え，課題解決の手がかりを習得する.
・マーケティング分析手法による市場の理解と提案スキルを身につける.

The goals of this course are to
(1)Obtain basic knowledge about the marketing strategy, marketing management, marketing concept.
(2)Acquire knowledge and practical skills which are harnessed in the manufacturing.
(3)Understand the market with marketing analytical skills.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
学期末試験 60%，講義への積極的関与（レポート，プレゼンテーションなど）40%の割合で、総合的に評価する.

評価基準：下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 60 点以上

ただし，B4 のみ以下の評価方法となる.
A：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 55 点以上
Your final grade will be calculated according to the following process: term-end examination (60%), Mid-term report (40%) ,and a fraction of in-class contribution.,

The final grade will be determined by the total amount of points obtained according to the following scale:
S：90-100
A：80-89
B：70-79
C：60-69

B4 is as follows.
A：80-100
B：65-79
C：55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

指定資料のみ持ち込み可.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

質問・意見等は随時受け付ける.
Students can say questions and opinions at any time.

学習・教育到達目標との対応

キーワード
マーケティング，製品開発，市場開拓，販売戦略
Marketing, Product development, Market cultivation, Sales strategy

(B1023422b)マーケティング論[Marketing]

科目名[英文名]	マーケティング論[Marketing]				
時間割番号	B1023422b	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　和子 SAKAMOTO Kazuko				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

本講義ではマーケティングの基礎概念や諸理論を学び，事例紹介やレポート課題等を通して，具体的な戦略展開やコンセプト作成などを行うとで，社会での実践的な活用方法を習得することを目標とする.

This course introduces the basic concept and theories of marketing. It also enhances the development of students' skill in concrete strategic deploy and concept creation.

授業の内容

1. ガイダンス: 日常生活の中に内在するさまざまなマーケティング事象について紹介し，マーケティングとは何かを考え，企業経営におけるマーケティングの役割と課題について解説する.
2. マーケティングの定義と領域:マーケティングの定義と形態の歴史的変遷について学習し，マーケティング理論構築のプロセスについて考察させる.
3. 市場の捉え方: 市場とは何か，原初的な課題を検討することで，顧客をどう捉えどのようにアプローチするのかを概説する.
4. マーケティング戦略 :事業機会と事業領域の選択，標的市場選定など，マーケティング戦略の立案とプロセスについて具体事例を交えながら説明する.
5. 競争戦略 :PPM，ポーターの競争戦略等について解説する.
6. 製品政策① :マーケティングにおける製品概念とプロダクトライフサイクルについて説明する.
7. 製品政策② :新製品の開発とデザイン，ブランド等について，昨今のトレンドを交えながら説明する.
8. 価格政策 :製品の価格設定と課題について解説する.
9. 流通政策: マーケティングチャネル概念、チャネル選択，ロジスティクスについて解説する.
10. 販売促進政策 :広告，販売促進について解説する.
11. サービスマーケティング: サービスの分類，特性，サービスマーケティング戦略について,事例を交えながら説明する.
12. Web マーケティング: インターネットやブログを活用してのマーケティング戦略について解説する.
13. グローバル・マーケティング :海外市場でのマーケティング戦略について，事例を交えながら説明する.
14. レポート報告会 :優良レポートのプレゼンテーションと内容に関する講評
15. まとめ :これまでの講義を総括する.
16. 期末試験

1. Introduction:Role and subject of marketing.
2. Definition and Domain of Marketing:Definition, form, the process of theory establishment.
3. Understanding of the Market: What is the market?
4. Marketing Strategy:Selection of business opportunity and domain identity, target market selection.
5. Competitive Strategy:PPM, Porter's competitive strategy.
6. Product(1) :Product concept and product lifecycle.
7. Product(2):New product development, design, brand.
8. Price:Method of a price setup.
9. Place: Channel concept, channel selection, logistics.
10. Promotion:Advertisement, sales promotion.
11. Service Marketing: The classification of service, the characteristic, service marketing
12. Web Marketing: Practical use of the Internet or a blog.
13. Global Marketing:Marketing strategy cases in oversea markets.
14. Report Debrief Session:Comment about the presentation of superior reports.
15. Review

予習・復習内容

毎講義で次回内容に関する簡単な予習課題を提示.

A next preparation point is explained at the time of each lecture.

関連科目

経営学，経営戦略論，消費者行動論

Business Administration,, Strategic Management, Consumer Behavior

教科書に関する補足事項

講義毎に資料配布.

Materials are suitably handed out at the time of each lecture.

参考書に関する補足事項

参考書は項目ごとにその都度，講義中にて紹介する.
Reference books are introduced in a lecture for each item.

達成目標

・マーケティング戦略，マーケティング管理，マーケティング・コンセプト等の基本概念を理解する.
・モノづくりに生かす知識と実践力を身につける.
・マーケティングの視点から経営環境の諸問題を捉え，課題解決の手がかりを習得する.
・マーケティング分析手法による市場の理解と提案スキルを身につける.

The goals of this course are to
(1)Obtain basic knowledge about the marketing strategy, marketing management, marketing concept.
(2)Acquire knowledge and practical skills which are harnessed in the manufacturing.
(3)Understand the market with marketing analytical skills.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
学期末試験 60%，講義への積極的関与（レポート，プレゼンテーションなど）40%の割合で、総合的に評価する.

評価基準：下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 60 点以上

ただし，B4 のみ以下の評価方法となる.
A：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 55 点以上
Your final grade will be calculated according to the following process: term-end examination (60%), Mid-term report (40%) ,and a fraction of in-class contribution.,

The final grade will be determined by the total amount of points obtained according to the following scale:
S：90-100
A：80-89
B：70-79
C：60-69

B4 is as follows.
A：80-100
B：65-79
C：55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

指定資料のみ持ち込み可.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

質問・意見等は随時受け付ける.
Students can say questions and opinions at any time.

学習・教育到達目標との対応

キーワード
マーケティング，製品開発，市場開拓，販売戦略
Marketing, Product development, Market cultivation, Sales strategy

(B10234230)消費者行動論[Consumer Behavior]

科目名[英文名]	消費者行動論[Consumer Behavior]				
時間割番号	B10234230	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　和子 SAKAMOTO Kazuko				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

心理学や社会学など多くの領域で学際的な研究が進む消費者行動論について，モノづくりに生かすための基礎概念，諸理論を理解する．さらにさまざまな事例を通して，消費者視点での市場の捉え方や社会で活用するための方法論について学び，実践力を身につける．

The consumer behavior theory has been studied in the interdisciplinary domain of many, such as psychology and sociology. This course deals with the basic concept and theories for employing in production efficiently. It also enhances the development of students' skill in analyzing markets from various cases and utilizing in society.

授業の内容

1. ガイダンス：講義の内容と消費者行動に関する研究領域について概説する．
2. 消費者の問題認識と意思決定 ：問題認識，ニーズの分類，購買意思決定のプロセスについて解説する．
3. 情報探索と選択行動：内的・外的情報検索，選択評価，決定方略等について解説する．
4. 消費者の知覚と記憶：五感を通じて外界から選択的に情報を入手して意味づけを行う知覚について説明する．
5. 消費者の学習 ：古典的条件付けとオペラント条件付けという2つの学習プロセスについて検討し，マーケティングにどう活用されているのかを説明する．
6. 消費者の態度形成と動機づけ：フィッシュバインモデルを中心に態度の形成と変容，動機づけ理論について解説する．
7. 消費者の関与と個人特性 ：関与の種類とどのような時にそれが高まるのかを解説する．またパーソナリティやライフスタイルなど個人的影響要因についても言及する．
8. 状況要因：消費者行動は，どのような状況に置かれているのかによっても変わってくる．ここでは状況要因に着目し，事例をあげながら解説する．
9. 文化的要因：消費者特性の地域や文化による差異について解説する．
10. 消費者行動の分析：行動観察法はじめ消費者を理解するためのリサーチや分析手法について解説する．
11. ブランドからアプローチする消費者行動 ：消費者のブランドへの態度形成について解説する．
12. 価格からアプローチする消費者行動：消費者の心理動向と価格について解説する．
13. 広告からアプローチする消費者行動：消費者にアピールする広告特性と広告効果について解説する．
14. レポート報告会：優良レポートのプレゼンテーションと内容に関する講評
15. まとめ ：講義を総括する．
16. 期末試験

1. Introduction
2. Problem recognition and decision-making：Classification of problem recognition and needs, the process of purchase decision-making.
3. Information Search and Selection Action：Inner / external information retrieval, selection evaluation, method abbreviation of determination.
4. Consciousness and Memory：Outline of consciousness, and consumer behavior.
5. learning：Classic conditioning and operant conditioning.
6. Attitude formation and Motivation：Multi-attribute attitude model, motivation theory.
7. Participation and Individual Characteristic：Kinds of participation, personalities, life styles.
8. Situation Factor：Analysis of situation factors.
9. Cultural Factor：Difference by the area and culture of consumer characteristics.
10. Analysis of Consumer Behavior：Research and analytical skills for understanding consumers.
11. Consumer Behavior which Approaches from Brand：Attitude formation to consumers' brand.
12. Consumer Behavior which Approaches from Price：Purchase intentions and prices.
13. Consumer Behavior which Approaches from Advertisement：Advertising characteristics and advertising effectivenesses.
14. Report Debrief Session：Comment about the presentation of superior reports.
15. Review

予習・復習内容

毎講義で次回内容に関する簡単な予習課題を提示．

A next preparation point is explained at the time of each lecture.

関連科目

マーケティング論
Marketing

教科書に関する補足事項
講義毎に資料を配布
Materials are suitably handed out at the time of each lecture.

参考書 1	**書名**	消費者行動研究の新展開			**ISBN**	978-4805108390
	著者名	阿部周造・新倉貴士(編)	**出版社**	千倉書房	**出版年**	2004

参考書に関する補足事項
参考書は項目ごとにその都度，講義中にて紹介する.
Reference books are introduced in a lecture for each item.

達成目標
・消費者行動における基礎理論を理解する.
・消費者行動がマーケティング戦略を構築する上でどう関わってくるかを理解する..
・消費者心理を科学的に分析する技術を身につける.
・知識の体系的理解を深め，問題解決に生かすことができる.

- Participants obtain the basic knowledge and theory in consumer behavior..
- Participants understand the relation between consumer behavior and the marketing strategy..
-Participants learn the technology of analyzing consumer psychology scientifically.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
学期末に科す試験の成績 60%と，レポートと授業への積極的関与(プレゼンテーションほか)40%として，総合的に評価する.

評価基準:下記のように成績を評価する.
S:達成目標をすべて達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標をすべて達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 60 点以上

ただし,B4のみ以下の評価方法となる.
A:達成目標をすべて達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 55%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 55%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 55 点以上
Your final grade will be calculated according to the following process: term-end examination (60%),, Mid-term report (40%),and a fraction of in-class contribution.,

The final grade will be determined by the total amount of points obtained according to the following scale:
S:90-100
A:80-89
B:70-79
C:60-69

B4 is as follows.
A:80-100
B:65-79
C:55-64

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
指定資料のみ持ち込み可.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー 質問・意見等は随時受け付ける. Students can say questions and opinions at any time.
学習・教育到達目標との対応
キーワード 消費者心理, 文化的差異, 市場調査 Consumer confidence, Cultural difference, Market research

(B10234250)アントレプレナーシップ基礎[Introduction to Entrepreneurship]

科目名[英文名]	アントレプレナーシップ基礎[Introduction to Entrepreneurship]				
時間割番号	B10234250	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	金 6～6	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	髙嶋　孝明 TAKASHIMA Takaaki				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

グローバル企業である IBM のビジネス変遷の歴史とそれを取り巻く環境の変化と対応を一つのケースとして理解することを通じて：

- テクノロジー企業の創業から隆盛・衰退・変革と時代の変化への対応を理解する。
- ビジネス展開とファイナンシャル構造を、IBM と日本企業とで比較検討し、日本とグローバル社会の違いを理解する。
- ビジネスマネジメントの基礎的な知識と要点を理解する。
- これらを通じて、アントレプレナーシップがいかなるものかを知り、自ら新しいビジネスを興すことへの興味を喚起させる。

Through understanding the history of business transformation of a global company IBM and the changes in the society and the business environment surrounding it:

- Understand the history of a technology company, from its founding to prosperity, decline, and transformation to adopt to changes of society.
- Understand the difference of doing business between Japan and global company by comparing business model and financial structure of IBM and a Japanese company.
- Understand the basic knowledge and key points of business management.
- Throughout these, learn entrepreneurial spirit and have an interest in business start-up.

授業の内容

講師自身の IBM での 32 年間の実務体験に基づき、IBM という企業の変遷の歴史を解説する。その中で、実際に起こった事実とその背景にある理由を紐解くことにより、新しく事業を始めること、事業の持続と発展、時代に沿った変革の重要性、これらへの気づきと理解を高める話題を提供する。授業の端々に、ビジネスマネジメントの基礎となる用語や概念の解説を織り込み、さらに起業への興味を喚起する話題を提供して、アントレプレナーシップの意識醸成と基礎知識の修得を促す。

授業スケジュール：
第 1 週 IBM の創業から隆盛期
第 2 週 経営破綻の淵からの生還
第 3 週 日本における IBM 事業展開の隆盛から衰退
第 4 週 IBM とトヨタのファイナンシャル・レポートの比較分析
第 5 週 IBM のグローバル経営と研究開発ビジネス戦略
第 6 週 IP(知的財産)ビジネス開発
第 7 週 マーケティングと契約・交渉
第 8 週 シリコンバレー/グローバル社会から見る日本

※内容は適宜変更となることもあります。

Based on the lecturer's 32 years work experience at IBM, the history of transformation of IBM, a global company, is explained. Throughout them, understand importance of starting new business, sustain and growth along social change by understanding the facts actually occurred and the reasons behind it. A number of topics and cases that will help raise awareness and understanding are provided to students.

Schedule:
Week 1: From the foundation of IBM to prosperity
Week 2: Survive from the edge of the bankruptcy
Week 3: From IBM's business prosperity to decline in Japan
Week 4: Comparative analysis of IBM and Toyota's financial report
Week 5: IBM's global operations and R & D business strategy
Week 6: IP (Intellectual Property) Business Development
Week 7: Marketing and Contract & Negotiation
Week 8: Looking at Japan from Silicon Valley and global society

＊Topics and schedules are subject to change without notice.

予習・復習内容

事前調査課題、授業中のグループ討議、ミニレポートなどを適宜行うことで、理解の定着を支援する

Reading assignment, preliminary learning tasks, group discussions during lessons, mini-reports, etc. are offered which helps deepen understanding.

関連科目

教科書に関する補足事項

講師の作成する、プレゼンテーション資料や参考資料の事前/事後配布を行う。

Presentation materials and references prepared by the lecturer are used in the class and are offered to students before and / or after each class.

参考書 1	**書名**	Business Management for the IB Diploma			**ISBN**	978-1-107-46437-7
	著者名	Peter Stimpson and Alex Smith	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2015

参考書に関する補足事項

達成目標

・IBM のビジネスの変遷を理解し、それぞれの時代の背景とビジネスの位置づけが説明できる。
・日本とグローバル社会のビジネスの違いについて、自分の意見を述べられる
・ビジネスマネジメントに関する基本的な用語と概念を理解し、以後自分で興味を持つ内容の理解や勉学に取り組める基礎を作る。

・Understand the evolution of IBM's business and explain the background and business position of each era.
・Can understand and explain the difference of business between Japan and global society.
・Understand the basic terms and concepts related to business management and make the basis for understanding and studying contents that are of interest later.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験：レポートで実施
評価方法：レポート 100%。講義中に課す各種レポートの合計で評価
S：合計点が満点の 90%以上
A：合計点が満点の 80%以上
B：合計点が満点の 70%以上
C：合計点が満点の 60%以上
Do not perform a regular test and substitute it with a report.
Evaluate with a total score of reports
S: More than 90% of full marks
A: More than 80% of full marks
B: More than 70% of full marks
C: More than 60% of full marks

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

10:00-18:00（祝祭日を除く）
メール, Facebook メッセージなどはいつでも対応
takaaki.takashima@tut.jp
https://www.facebook.com/takaaki.takashima.7

10:00-18:00（Weekday）
email and Facebook message are always available:
takaaki.takashima@tut.jp
https://www.facebook.com/takaaki.takashima.7

学習・教育到達目標との対応
ビジネスに関する興味を持ち、基礎的な知識を修得し、生涯にわたって自発的に学習する習慣を身につける。

(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
Have interests in business and master basic knowledge on business management and customs of voluntary learning throughout life.

(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
ビジネス　グローバル　企業　会社　起業　経営　アントレプレナー ベンチャーマネジメント　変革
business global company enterprise start-up venture management transformation entrepreneur

(B10234260)アントレプレナーシップ応用[Applied Entrepreneurship]

科目名[英文名]	アントレプレナーシップ応用[Applied Entrepreneurship]				
時間割番号	B10234260	区分	社会科学科目	選択必須	選択
開講学期	後期2	曜日時限	金 6～6	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男, 久米　克典, 井川　浩文, 内田　幸雄, 大須賀　俊裕, 小林　和人 FUJIWARA Takao, KUME Katsunori, IKAWA Hirofumi, UCHIDA Yukio, OSUKA Toshihiro, KOBAYASHI Kazuto				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

1　起業家精神や事業感覚の育成を図る。
2　起業する上で必要となる実務的な基礎知識を習得し、スキルを涵養する。
3　企画書を作成発表することにより、事業の基礎的な企画力、プレゼンテーション力を涵養する。
4　創業・事業開発のコンセプトの企画と教室内でのシミュレーションを行なう。
1　To learn about entrepreneurship and business sense
2　To learn about basic and practical knowledge for company founding and accumulate necessary skill.
3　To learn about basic capability of drawing and presenting business plan as exercise.
4　To plan and simulate concept of start-up and business development in class.

授業の内容

起業経験や関連業務の経験豊かな講師を招聘し、以下のような授業を行う。
1 起業家精神と事業感覚
　起業家経験を踏まえて、創業の動機と契機、創業に必要な条件、事業の成功と失敗の要因、事業の発展のための条件等について経験者が講演する。

2 起業に必要となる実務的な知識とスキル
　知的財産等に係わる実務知識とスキルを専門家が講演する。

3 事業の企画と発表
　事業企画の方法を講義し、グループスタディにより事業を企画し、企画書を学生が作成する。
　これを発表し、質疑応答を行う。

オムニバス形式授業のスケジュール:
第 1 週:導入編:ベンチャー・起業家の概念　総合教育院　藤原孝男
第 2 週:啓蒙編:事業感覚の鍛錬;再生医療用製品の開発;㈱J-TEC 専務　大須賀俊裕
第 3 週:啓蒙編:事業感覚の鍛錬;超音波活用医療デバイス開発;本多電子㈱研究部長　小林和人
第 4 週:啓蒙編:事業感覚の鍛錬;3D CAD 用ソフトウェア開発;㈱モノコミュニティ社長　内田幸雄
第 5 週:実務編:知的財産の戦略的活用;SANSUI 国際特許事務所長　井川浩文
第 6 週:実務編:事業計画の業計画の作成指導;中央製乳株式会社品質管理部長　久米克典
第 7 週:実務編:事業計画のグループ別プレゼン指導・議論;中央製乳株式会社品質管理部長　久米克典
第 8 週:総括編:デスバレー(死の谷)克服の投資決定指針について　総合教育院　藤原孝男
By inviting skilled practitioners, class contet has following topics:
1 Entrepreneurship and business sense
　Experienced entreprenurs will make speeches on mitovations and opportunity of founding, necessary condition for founding, success and failure factors, and business deployment, based on their experiences.

2 Practical knowledge and skill necessary for start-ups
　Experts will expalain about practical knowledge and skill as intellectual property.

3 Planning and presentation of business concept
　After cnsultansts' guidance, stundets will requested to plan, make presentation, and discuss about their business concept by each group.

Schedule:
#1: Introduction; Concepts of entrepreneur and start-up: TUT, Takao Fujiwara
#2: Experience of founding (Regenerative Medicine), J-TEC Senior Executive Officer, Toshihiro Osuka
#3: Experience of founding (3D CAD software development), MonoCommunity CEO, Yukio Uchida
#4: Experience of founding (Supersonic medical device), Honda Electronics, Executive of R&D, Kazuto Kobayashi
#5: Strategy of intellectual property, Sansui Patent Firm, Toyohashi Office Manager, Hirofumi Ikawa

#6: Exercise (Business Plan Drawing), Chuoseinyu, Executive Officer, Katsunori Kume
#7: Exercise (Business Plan Presentation), Chuoseinyu, Executive Officer, Katsunori Kume
#8: Concluding summary, Investment decision guideline for overcoming death0valley, TUT, Takao Fujiwara

予習・復習内容

講師が予め資料を用意している場合には moodle にアプロードし予習の機会を与えている。また、以前の週の授業内容に新しい知識・アイデアを積み重ねる様式での課題レポートの作成が復習の機会になっている。
Some material wiil be uploaded at moolde based on speekers. Pre-and re- view, active questions, and discussion are expected.

関連科目

経営学、リアルオプション、ゲーム理論、生産管理論、管理科学、技術管理論

Management, Real options, Game theory, Operations Management, Management science, and Management of Technology

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	アントレプレナーファイナンス			**ISBN**	ISBN-10: 4502587605
	著者名	R.L.スミス他	**出版社**	中央経済社	**出版年**	2004
参考書 2	**書名**	スティーブ・ジョブズⅠ・Ⅱ			**ISBN**	ISBN-10: 4062171260
	著者名	W.アイザックソン	**出版社**	講談社	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

1 将来の技術者、研究者として必要な ”業を起こす” ことの価値を理解し、経営学の基礎知識で表現できる。
2 起業のために必要な基礎知識とその活用方法を理解し、企画書の中に盛り込める。
3 事業企画書の作成方法と説明方法を理解し、実施できる。

1)To learn about basic knolwege and skill for founding start-ups.
2)To create and test new business concepts.
3)To draw and make presentation about business plan by each team

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:レポート、及びグループ作業へ参画を通した企画書作成・発表の各採点の合計によって評価する。

評価基準:
学部3年・博士前期課程1年
S: 達成目標をすべて達成し、各課題の評価合計点が 90 点以上(100 点満点)。
A: 達成目標を 80%達成し、各課題の評価合計点が 80 点以上(100 点満点)。
B: 達成目標を 70%達成し、各課題の評価合計点が 70 点以上(100 点満点)。
C: 達成目標を 60%達成し、各課題の評価合計点が 60 点以上(100 点満点)。

その他
A: 達成目標をすべて達成し、各課題の評価合計点が 80 点以上(100 点満点)。
B: 達成目標を 65%達成し、各課題の評価合計点が 65 点以上(100 点満点)。
C: 達成目標を 55%達成し、各課題の評価合計点が 55 点以上(100 点満点)。
Evaluation method: Achieved above objectives and Summed scores of reports and presentation of business plan

Evaluation criteria:
Bachelor 3rd year/ Master 1st year
S: Achieved above all goals and obtained total points of reports and presentation, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of above goals and obtained total points of reports and presentation, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of above goals and obtained total points of reports and presentation, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of reports and presentation, 60 or higher (out of 100 points).

The other students
A: Achieved above above all goals and obtained total points of reports and presentation, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65 % of above goals and obtained total points of reports and presentation, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of above goals and obtained total points of reports and presentation, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
授業は後期第 2 クオーターの金曜午後 6:00-7:30 の時間帯にて行なう予定である。

Class will be held during 18:00-19:30 on Fridays in 2nd quarter, fall semester.

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時
Anytime if available.

学習・教育到達目標との対応
(A)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力
(B)最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力
(B)最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
起業家精神、ベンチャー、アントレプレナー
Entrepreneurship, Start-ups

(B1023501a)総合日本語[Integrated Japanese]

科目名[英文名]	総合日本語[Integrated Japanese]				
時間割番号	B1023501a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_LIB14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの語彙を習得します。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn JLPT N1 level vocabulary.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回　イントロダクション
第2回　第2部　1章1課
第3回　第2部　1章2課
第4回　第2部　2章1課
第5回　第2部　2章2課
第6回　第2部　3章1課
第7回　第2部　3章2課
第8回　まとめ＄中間期試験
第9回　　第2部　4章1課
第10回　　第2部 4章2課
第11回　第2部　4章3課
第12回　第2部　5章1課
第13回　第2部　5章2課
第14回　第2部　6章1・2課
第15回　第2部　7章1・2・3課
第16回　まとめ＆期末試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Introduction
Week2. Part.2-1-1
Week3. Part.2-1-2
Week 4. Part.2-2-1
Week 5. Part.2-2-2
Week 6. Part.2-3-1
Week 7. Part.2-3-2
Week 8. Review and Exam
Week9. Part 2-4-1
Week10. Part2-4-2
Week11. Part2-4-3
Week12. Part2-5-1
Week13. Part2-5-2
Week14. Part2-6-1,2
Week15. Part2-7-1,2,3
Week16. Review and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書１	書名	新完全マスター語彙　N1			ISBN	9784883195732
	著者名	伊能裕晃ほか	出版社	スリーエーネットワーク	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）上級レベル（N1 レベル）の語彙がわかる。
2）語彙の使い分けができる。

1）To understand vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To use synonyms properly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上
B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.
Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日　13：45～14：15（事前にメールで予約してください）

Wed. 13:45～14:15(Please contact me by e-mail before your visit.)

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.

(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B10235030)日本語ＩB[Japanese 1B]

科目名[英文名]	日本語ＩB[Japanese 1B]				
時間割番号	B10235030	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	月 1～1,月 5～5,水 1～1,木 1～1,木 5～5,金 1～1,金 3	**単位数**	3.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子, 田辺　淳子, 鈴木　裕子, 石川　智嘉子 SAKAMOTO Yuko, TANABE Junko, SUZUKI Yuko, ISHIKAWA Chikako				
ナンバリング	GEN_LIB14020				

授業の目標

基礎日本語を習得する。

To master basic Japanese.

授業の内容

基礎日本語Ｉｂと同時受講してください。

第 1 回　L24-2
第 2 回　L24 の復習、会話・問題
第 3 回　L25-1
第 4 回　L25-2
第 5 回　L25 の復習、会話・問題
第 6 回　L26-1
第 7 回　L26-2
第 8 回　L26 の復習、会話・問題
第 9 回　L27-1
第 10 回　L27-2
第 11 回　L27 の復習、会話・問題
第 12 回　L28-1
第 13 回　L28-2
第 14 回　L28 の復習、会話・問題
第 15 回　L29-1
第 16 回　L29-1
第 17 回　L29 の復習、会話・問題
第 18 回　L30-1
第 19 回　L30-2
第 20 回　L30 の復習、会話・問題
第 21 回　L31-1
第 22 回　L31-2
第 23 回　L31 の復習、会話・問題
第 24 回　L32-1
第 25 回　L32-2
第 26 回　L32 の復習、会話・問題
第 27 回　L33-1
第 28 回　L33-2
第 29 回　L33 の復習、会話・問題
第 30 回　L34-1
第 31 回　L34 の復習、会話・問題
第 32 回　L35-1
第 33 回　L35-2
第 34 回　L35 の復習、会話・問題
第 35 回　L36-1
第 36 回　L36-2
第 37 回　L36 の復習、会話・問題
第 38 回　L37-1
第 39 回　L37-2
第 40 回　L37 の復習、会話・問題 1
第 41 回　L38-1

第 42 回　L38 の復習、会話・問題
第 43 回　L39-1
第 44 回　L39 の復習、会話・問題
第 45 回　L40-1
第 46 回　L40 の復習、会話・問題
第 47 回　L41-1
第 48 回　L41 の復習、会話・問題
第 49 回　L42-1
第 50 回　L42 の復習、会話・問題
第 51 回　L43-1
第 52 回　L43 の復習、会話・問題
第 53 回　L44-1
第 54 回　復習と定期試験
Take this class and Basic Japanese 1b at the same time.

1　L24-2
2　L25 review,conversation, practice question
3　L25-1
4　L25-2
5　L25 review,conversation, practice question
6　L26-1
7　L26-2
8　L26 review,conversation, practice question
9　L27-1
10　L27-2
11　L27 review,conversation, practice question
12　L28-1
13　L28-2
14　L28 review,conversation, practice question
15　L29-1
16　L29-2
17　L29 review,conversation, practice question
18　L30-1
19　L30-2
20　L30 review,conversation, practice question
21　L31-1
22　L31-2
23　L31 review,conversation, practice question
24　L32-1
25　L32-2
26　L32 review,conversation, practice question
27　L33-1
28　L33-2
29　L33 review,conversation, practice question
30　L34-1
31　L34 review,conversation, practice question
32　L35-1
33　L35-2
34　L35 review,conversation, practice question
35　L36-1
36　L36 review,conversation, practice question
37　L37-1
38　L37-2
40　L37 review,conversation, practice question
41　L38-1
42　L38 review,conversation, practice question
43　L39-1
44　L39 review,conversation, practice question
45　L40-1
46　L40 review,conversation, practice question
47　L41-1
48　L41 review,conversation, practice question

49 L42-1
50 L42 review,conversation, practice question
51 L43-1
52 L43 review,conversation, practice question
53 L44-1
54 Rev. and Exam.

予習・復習内容

1.このコースには、文字と語彙の e ラーニングがあります。シラバスをダウンロードして、自分でスケジュールを立て、学習してください。
https://lms.imc.tut.ac.jp/
2.週ごとの学習内容は、教室に掲示してあります。自分で確認してください。
3.課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。
4.課ごとに教科書の問題を宿題にします。解答後、提出してください。
1. We prepare the e-learning course of the characters and basic vocabularies. Download the syllabus, make your own schedule and study by yourself.
https://lms.imc.tut.ac.jp/
2. The syllabus is posted in the classroom, check your daily schedule yourself.
3. Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.
4. Each lesson have a "MONDAI - Practice Question". Write "MONDAI - PQ" and hand in them to the teacher who distributed them.

関連科目

教科書 1	**書名**	みんなの日本語　初級Ⅱ　第 2 版　本冊			**ISBN**	9784883196463
	著者名	スリーエーネットワーク	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	1998

教科書に関する補足事項

オリエンテーションのときに、本を紹介します。
We will introduce books at the orientation.

参考書 1	**書名**	みんなの日本語　初級Ⅱ　第 2 版翻訳・文法解説（各国語版）			**ISBN**	
	著者名	スリーエーネットワーク	**出版社**	スリーエーネットワーク 1998	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

基礎日本語を習得する。
To master basic Japanese.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、語彙テストの平均点（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students

A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
みんなの日本語　基礎日本語Ｉｂ
Minna no Nihongo Basic Japanese1b

(B10235040)日本語ⅡB[Japanese 2B]

科目名[英文名]	日本語ⅡB[Japanese 2B]				
時間割番号	B10235040	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	火 4～4,水 1～1,木 1～1,木 5～5,金 1～1	**単位数**	2.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	坂本 裕子, 田辺 淳子 SAKAMOTO Yuko, TANABE Junko				
ナンバリング	GEN_LIB14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。初中級レベルの日本語を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean lower intermediate level Japanese.

授業の内容

初中級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 L1-1
第 2 回 L1-2
第 3 回 L1-3
第 4 回 L1-4
第 5 回 L2-1
第 6 回 L2-2
第 7 回 L2-3
第 8 回 L2-4
第 9 回 L3-1
第 10 回 L3-2
第 11 回 L3-3
第 12 回 L3-4
第 13 回 L4-1
第 14 回 L4-2
第 15 回 L4-3
第 16 回 L4-4
第 17 回 L5-1
第 18 回 L5-2
第 19 回 L5-3
第 20 回 L5-4
第 21 回 L6-1
第 22 回 L6-2
第 23 回 L6-3
第 24 回 L6-4
第 25 回 L7-1
第 26 回 L7-2
第 27 回 L7-3
第 28 回 L7-4
第 29 回 L8-1
第 30 回 L8-2
第 31 回 L8-3
第 32 回 L8-4
第 33 回 ディベート
第 34 回 復習 1
第 35 回 復習 2
第 36 回 復習 3
第 37 回 復習 4
第 38 回 定期試験

Level: Lower Intermediate level(JLPT N3 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. L1-1
2. L1-2
3. L1-3
4. L1-4
5. L2-1
6. L2-2
7. L2-3
8. L2-4
9. L3-1
10. L3-2
11. L3-3
12. L3-4
13. L4-1
14. L4-2
15. L4-3
16. L4-4
17. L5-1
18. L5-2
19. L5-3
20. L5-4
21. L6-1
22. L6-2
23. L6-3
24. L6-4
25. L7-1
26. L7-2
27. L7-3
28. L7-4
29. L8-1
30. L8-2
31. L8-3
32. L8-4
33. debate
34. Rev.1
35. Rev.2
36. Rev.3
37. Rev.4
38. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。
You need to review what you have learned after every class.
Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.

関連科目

教科書 1	**書名**	中級を学ぼう 中級前期			**ISBN**	9784883194476
	著者名	平井悦子、三輪さち子	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2007

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

初中級レベル（JLPT N3 レベル）の日本語がわかる。

To understand lower intermediate text(JLPT N3 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90 点満点）、語彙テストの平均点（10 点満点）の合計点

(100 点満点)で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点
B:70～79 点
C:60～69 点

学部 4 年生
A:80 点以上
B:65～79 点
C:55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
中級日本語　日本語能力試験　N3
intermediate Japanese JLPT N3

(B10235050)日本語ⅢB[Japanese 3B]

科目名[英文名]	日本語ⅢB[Japanese 3B]				
時間割番号	B10235050	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 1～1,木 1～1,木 5～5,金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	坂本 裕子, 村松 由起子, 田辺 淳子, 中村 恵 SAKAMOTO Yuko, MURAMATSU Yukiko, TANABE Junko, NAKAMURA Megumi				
ナンバリング	GEN_LIB14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。中級レベルの日本語を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean upper intermediate level Japanese.

授業の内容

中級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 L6-1
第 2 回 L6-2
第 3 回 L6-3
第 4 回 L6-4
第 5 回 L6-5
第 6 回 L6-6
第 7 回 L7-1
第 8 回 L7-2
第 9 回 L7-3
第 10 回 L7-4
第 11 回 L7-5
第 12 回 L7-6
第 13 回 L8-1
第 14 回 L8-2
第 15 回 L8-3
第 16 回 L8-4
第 17 回 L8-5
第 18 回 L8-6
第 19 回 L9-1
第 20 回 L9-2
第 21 回 L9-3
第 22 回 L9-4
第 23 回 L9-5
第 24 回 L9-6
第 25 回 L10-1
第 26 回 L10-2
第 27 回 L10-3
第 28 回 L10-4
第 29 回 L10-5
第 30 回 L10-6
第 31 回 定期試験

Level: Upper Intermediate level(JLPT N2 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. L6-1
2. L6-2
3. L6-3
4. L6-4
5. L6-5
6. L6-6
7. L7-1

8. L7-2
9. L7-3
10. L7-4
11. L7-5
12. L7-6
13. L8-1
14. L8-2
15. L8-3
16. L8-4
17. L8-5
18. L8-6
19. L9-1
20. L9-2
21. L9-3
22. L9-4
23. L9-5
24. L9-6
25. L10-1
26. L10-2
27. L10-3
28. L10-4
29. L10-5
30. L10-6
31. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。

You need to review what you have learned after every class.
Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.

関連科目

教科書 1	**書名**	中級を学ぼう 中級中期			**ISBN**	9784883195091
	著者名	平井悦子、三輪さち子	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2009

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中級レベル(JLPT N2 レベル)の日本語がわかる。

To understand upper intermediate text(JLPT N2 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験 90%、語彙テストの平均点 10% 左記の割合で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験(90 点満点)、語彙テストの平均点(10 点満点)の合計点(100 点満点)で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点
B:70～79 点
C:60～69 点

学部 4 年生
A:80 点以上
B:65～79 点
C:55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
中級日本語　日本語能力試験　N2
intermediate Japanese JLPT N2

(B10235060)日本語ＶB[Japanese 5B]

科目名[英文名]	日本語ＶB[Japanese 5B]				
時間割番号	B10235060	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	木 1～1,金 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本 裕子, 石川 智嘉子 SAKAMOTO Yuko, ISHIKAWA Chikako				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの読解を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N2 level reading.

授業の内容

中級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 第 2 部-2(2)例題 24 練習 47、48、49 (3)例題 25
第 2 回 第 2 部-2(3)例題 26 練習 50、51 (4)例題 27 練習 52
第 3 回 第 3 部-1 例題 28 練習 53、54、55
第 4 回 第 3 部-1 練習 56 2 例題 29 練習 57
第 5 回 第 3 部-2 練習 58、59
第 6 回 第 3 部-2 練習 60、61
第 7 回 第 3 部-3 例題 30、31 練習 62
第 8 回 第 3 部-3 練習 63、64、65
第 9 回 第 3 部-4 例題 32、33 練習 66、67
第 10 回 第 3 部-3 練習 68、69、70
第 11 回 模擬試験 問題 1-5
第 12 回 模擬試験 問題 6-8
第 13 回 模擬試験 問題 9、10
第 14 回 復習 1
第 15 回 復習 2
第 16 回 定期試験

Level: Intermediate level(JLPT N2 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. S2-2-2 ex24 pr48.48.49 S2-2-3 ex25
2. S2-2-3 ex26 pr50.51 S2-2-4 ex27 pr52
3. S3-1 ex28 pr53.54.55
4. S3-1 pr56 S3-2 ex29 pr57
5. S3-2 pr58.59
6. S3-2 pr60.61
7. S3-3 ex30.31 pr62
8. S3-3 pr63.64.65
9. S3-4 ex32.33 rp66.67
10. S3-3 pr68.69.70
11. Training Q1-Q5
12. Training Q6-Q8
13. Training Q9.10
14. Review 1
15. Review 2
16. Exam

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	書名	新完全マスター読解 N2			ISBN	9784883195725
	著者名	田代ひろみ他	出版社	スリーエーネットワーク	出版年	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中級レベル(JLPT N2 レベル)の読解がわかる。

To understand reading of intermediate text(JLPT N2 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験(90　点満点)、授業への貢献度(10　点満点)の合計点(100 点満点)で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点
B:70～79 点
C:60～69 点

学部 4 年生
A:80 点以上
B:65～79 点
C:55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers,

oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

中級日本語　日本語能力試験　N2
intermediate Japanese JLPT N2

(B10235070)漢字ＩB[Kanji 1B]

科目名[英文名]	漢字ＩB[Kanji 1B]				
時間割番号	B10235070	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	火 5～5	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_LIB14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N4～N3レベルの漢字 75 字を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn 75 Kanji characters at the level of JLPT N4-N3.

授業の内容

漢字初級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回 6/12 漢字 76- 85
第2回 6/19 漢字 86- 95
第3回 6/26 漢字 96-105
第4回 7/03 漢字 106-115
第5回 7/10 漢字 116-125
第6回 7/17 漢字 126-135
第7回 7/24 漢字 136-145
第8回 8/07 漢字 146-150 と定期試験

Elementary level.
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 (Jun.12) Kanji 76- 85
Week 2 (Jun.19) Kanji 86- 95
Week 3 (Jun.26) Kanji 96-105
Week 4 (Jul.03) Kanji 106-115
Week 5 (Jul.10) Kanji 116-125
Week 6 (Jul.17) Kanji 126-135
Week 7 (Jul.24) Kanji 136-145
Week 8 (Aug.07) Kanji 146-150 and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語 IB、基礎日本語 IB
Japanese 1B, Basic Japanese 1B

教科書 1	**書名**	留学生のための漢字の教科書　初級 300(改訂版)		**ISBN**	978-4-336-05873-7
	著者名	佐藤尚子, 佐々木仁子著	**出版社** 国書刊行会	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）初級レベル（N4～N3レベル）の漢字が使える。
2）初級レベルの漢字語彙が理解できる。

1）To read and write elementary Kanji (JLP N4-N3 level).
2）To understand the vocabulary consisting of elementary Kanji characters.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or more
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or more
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

メール連絡の時は、「件名」に「Kanji IB の～です」と書いてください。(「～」にはあなたの名前)

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Kanji IB" as the subject .

オフィスアワー

金曜　11:00～12:00

Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings (E) Expression and communication skills for success home and abroad Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering (A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations (A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード 漢字　初級　N3 N4 Kanji elementary N3 N4

(B10235080)漢字ⅡB[Kanji 2B]

科目名[英文名]	漢字ⅡB[Kanji 2B]				
時間割番号	B10235080	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_LIB14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N4～N3レベルの漢字 75 字を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn 75 Kanji characters at the level of JLPT N4-N3.

授業の内容

漢字初級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　12/10　漢字 226-235
第2回　12/17　漢字 236-245
第3回　01/15　漢字 246-255
第4回　01/21　漢字 256-265
第5回　01/28　漢字 266-275
第6回　02/04　漢字 276-285
第7回　02/18　漢字 286-295
第8回　03/01　漢字 296-300 と定期試験

Elementary level.
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 (Dec.10)　Kanji 226-235
Week 2 (Dec.17)　Kanji 236-245
Week 3 (Jan.15)　Kanji 246-255
Week 4 (Jan.21)　Kanji 256-265
Week 5 (Jan.28)　Kanji 266-275
Week 6 (Feb.04)　Kanji 276-285
Week 7 (Feb.18)　Kanji 286-295
Week 8 (Mar.01)　Kanji 296-300 and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語ⅡB、基礎日本語ⅡB
Japanese 2B, Basic Japanese 2B

教科書 1	**書名**	留学生のための漢字の教科書　初級 300(改訂版)		**ISBN**	978-4-336-05873-7
	著者名	佐藤尚子, 佐々木仁子著	**出版社** 国書刊行会	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）初級レベル（N4～N3レベル）の漢字が使える。
2）初級レベルの漢字語彙が理解できる。

1）To read and write elementary Kanji (JLP N4-N3 level).
2）To understand the vocabulary consisting of elementary Kanji characters.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
メール連絡の時は、「件名」に「Kanji ⅡBの～です」と書いてください。(「～」にはあなたの名前)

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Kanji 2B" as the subject .

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00

Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応
キーワード 漢字　初級　N3 N4 Kanji elementary N3 N4

(B10235090)漢字ⅢB[Kanji 3B]

科目名[英文名]	漢字ⅢB[Kanji 3B]				
時間割番号	B10235090	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	金 5～5	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_LIB24020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N2レベルの漢字を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn JLPT N2 level Kanji.

授業の内容

中級レベルの学習者を対象とします。
第1回　L.16,17
第2回　L.18,19
第3回　L.20,21
第4回　L.22,23
第5回　L.24,25
第6回　L.26,27
第7回　L.28,29
第8回　L.30　定期試験

Level: Intermediate level (JLPT　N2 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. L.16,17
Week2. L.18,19
Week3. L.20,21
Week 4. L.22,23
Week 5. L.24,25
Week 6. L.26,27
Week 7. L.28,29
Week 8. L.30 and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語ⅢB、基礎日本語ⅢB
Japanese ⅢB, Basic Japanese ⅢB

教科書 1	**書名**	留学生のための漢字教科書　700			**ISBN**	978-4-336-050298
	著者名	佐藤尚子、佐々木仁子	**出版社**	図書刊行会	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）中級レベル（N2 レベル）の漢字が使える。
2）中級レベルの漢字語彙が理解できる。

1）To read and write intermediate Kanji (JLPT N2 level).
2）To understand vocabulary of advanced text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　 左記の割合で総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（80点満点）、小テスト・課題（10点満点）、授業への貢献度（10点満点）の合計点（100点満点）で以下のように評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日　13：15～13：45（事前にメールで予約してください）
Wed. 13：15～13：45（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B10235100)漢字ⅣB[Kanji 4B]

科目名[英文名]	漢字ⅣB[Kanji 4B]				
時間割番号	B10235100	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_LIB14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの漢字を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn JLPT N1 level Kanji.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　L.8
第2回　L.9
第3回　L.10
第4回　L.11
第5回　L.12
第6回　L.13
第7回　L.14
第8回　復習 定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. L.8
Week2. L.9
Week3. L.10
Week 4. L.11
Week 5. L.12
Week 6. L.13
Week 7. L.14
Week 8. Review& Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語ⅣB、基礎日本語ⅣB
Japanese ⅣB, Basic Japanese ⅣB

教科書 1	**書名**	留学生のための漢字教科書　上級 1000			**ISBN**	978-4-336-05355-8
	著者名	佐藤尚子、佐々木仁子	**出版社**	図書刊行会	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1）上級レベル（N1 レベル）の漢字が使える。
2）上級レベルの漢字語彙が理解できる。

1）To read and write advanced Kanji (JLPT N1 level).
2）To understand vocabulary of advanced text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（80点満点）、小テスト・課題（10点満点）、授業への貢献度（10点満点）の合計点（100点満点）で以下のように評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日　13：15～13：45（事前にメールで予約してください）
Wed.　13：15～13：45（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B10235110)漢字ＶＢ[Kanji 5B]

科目名[英文名]	漢字ＶＢ[Kanji 5B]				
時間割番号	B10235110	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの漢字を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn JLPT N1 level Kanji.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　L.24（No.1721-1752）
第2回　L.25（No.1753-1782）
第3回　L.26（No.1783-1812）
第4回　L.27（No.1813-1842）
第5回　L.28（No.1843-1872）
第6回　L.29（No.1873-1904）
第7回　L.30（No.1905-1936）
第8回　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. L.24
Week2. L.25
Week3. L.26
Week 4. L.27
Week 5. L.28
Week 6. L.29
Week 7. L.30
Week 8. Review and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語 VB、総合日本語 VB
Japanese 5B, Comprehensive Japanese 5B

教科書 1	**書名**	留学生のための漢字教科書　上級 1000			**ISBN**	978-4-336-05355-8
	著者名	佐藤尚子、佐々木仁子	**出版社**	図書刊行会	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）上級レベル（N1 レベル）の漢字が使える。
2）上級レベルの漢字語彙が理解できる。

1）To read and write advanced Kanji (JLPT N1 level).
2）To understand vocabulary of advanced text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上
B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.
Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日　13：15～13：45（事前にメールで予約してください）
Wed.　13：15～13：45（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード

(B1023512a)総合日本語ＶB[Comprehensive Japanese 5B]

科目名[英文名]	総合日本語ＶB[Comprehensive Japanese 5B]				
時間割番号	B1023512a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	月 3～3,火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本 裕子 SAKAMOTO Yuko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの文法を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N2 level grammar.

授業の内容

中級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 第 1 部 第 25 課、第 26 課
第 2 回 第 1 部 問題（第 1 課～第 20 課）、A
第 3 回 第 1 部 B、C
第 4 回 第 1 部 D、E
第 5 回 第 1 部 F、G
第 6 回 第 2 部 第 1 課
第 7 回 第 2 部 第 2 課、第 3 課
第 8 回 第 3 部 第 1 課
第 9 回 第 3 部 第 2 課
第 10 回 第 3 部 第 3 課
第 11 回 第 3 部 第 4 課
第 12 回 第 3 部 第 5 課
第 13 回 第 3 部 第 6 課
第 14 回 第 3 部 第 7 課
第 15 回 復習
第 16 回 定期試験

Level: Intermediate level(JLPT N2 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. Part.1 L25,L26
2. Part.1 reviewL1-L26,A
3. Part.1 B,C
4. Part.1 D,E
5. Part.1 F,G
6. Part.2 L1
7. Part.2 L2,L3
8. Part.3 L1
9. Part.3 L2
10. Part.3 L3
11. Part.3 L4
12. Part.3 L5
13. Part.3 L6
14. Part.3 L7
15. Review
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN2 文法			**ISBN**	9784883195657
	著者名	友松悦子他	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
中級レベル（JLPT N2 レベル）の文法がわかる。
To understand grammar of intermediate text(JLPT N2 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

キーワード
中級日本語　日本語能力試験　N2
intermediate Japanese JLPT N2

(B1023512b)総合日本語ＶB[Comprehensive Japanese 5B]

科目名[英文名]	総合日本語ＶB[Comprehensive Japanese 5B]				
時間割番号	B1023512b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	月 3～3,火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子 SAKAMOTO Yuko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの文法を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N2 level grammar.

授業の内容

中級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　第 1 部　第 25 課、第 26 課
第 2 回　第 1 部　問題（第 1 課～第 20 課）、A
第 3 回　第 1 部　B、C
第 4 回　第 1 部　D、E
第 5 回　第 1 部　F、G
第 6 回　第 2 部　第 1 課
第 7 回　第 2 部　第 2 課、第 3 課
第 8 回　第 3 部　第 1 課
第 9 回　第 3 部　第 2 課
第 10 回　第 3 部　第 3 課
第 11 回　第 3 部　第 4 課
第 12 回　第 3 部　第 5 課
第 13 回　第 3 部　第 6 課
第 14 回　第 3 部　第 7 課
第 15 回　復習と定期試験
Level: Intermediate level(JLPT N2 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

1. Part.1 L25,L26
2. Part.1 reviewL1-L26,A
3. Part.1 B,C
4. Part.1 D,E
5. Part.1 F,G
6. Part.2 L1
7. Part.2 L2,L3
8. Part.3 L1
9. Part.3 L2
10. Part.3 L3
11. Part.3 L4
12. Part.3 L5
13. Part.3 L6
14. Part.3 L7
15. Review and Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN2 文法			**ISBN**	9784883195657
	著者名	友松悦子他	**出版社**	スリーエーネ	**出版年**	2011

				ットワーク		

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中級レベル（JLPT N2 レベル）の文法がわかる。
To understand grammar of intermediate text(JLPT N2 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
中級日本語　日本語能力試験　N2
intermediate Japanese JLPT N2

(B1023513a)日本語上級ＩＢ(文法)[Advanced Japanese 1B(Grammar)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＢ(文法)[Advanced Japanese 1B(Grammar)]				
時間割番号	B1023513a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1 レベルの文法を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to learn grammar at the level of JLPT N1 level.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　12/05　第 1 部　第 11 課 目的・手段、第 12 課 原因・理由
第 2 回　12/12　第 1 部　問題(第 1 課～第 12 課)、第 13 課 可能・不可能・禁止
第 3 回　01/09　第 1 部　第 14 課 話題・評価の基準、第 15 課 比較対照
第 4 回　01/16　第 1 部　第 16 課 結末・最終の状態、問題(第 1 課～第 16 課)
第 5 回　01/23　第 1 部　第 17 課 強調、第 18 課 主張・断定
第 6 回　02/06　第 1 部　第 19 課 評価・感想、第 20 課 心情・強制的思い
第 7 回　02/13　第 1 部　問題(第 1 課～第 20 課)
第 8 回　02/27　復習と定期試験

Level: Upper intermediate - Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1 (Dec.05) Part.1 L11. Purpose and Means, L12. Cause and Reason
Week2 (Dec.12) Part.1 Review L1-L12, L13. Possibility, Impossibility and Prohibition
Week3 (Jan.09) Part.1 L14. Topic and Criteria of Evaluation, L15. Comparison and Contrast
Week4 (Jan.16) Part.1 L16. Ending and the Final issue, Review L1-L16
Week5 (Jan.23) Part.1 L17. Emphasis, L18. Assertion
Week6 (Feb.06) Part.1 L19. Evaluation and Impression, L20. Inevitable Feelings
Week7 (Feb.13) Review L1-L20
Week8 (Feb.27) Review and Final Exam

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN1 文法		**ISBN**	9784883195640
	著者名	友松悦子他	**出版社** スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル(JLPT N1 レベル)の文法がわかる。
To understand grammar of upper intermediate text (JLPT N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

＜成績の評価法＞
評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点(100 点満点)により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
メール連絡の時は、「件名」に「日本語上級ＩＢの～です」と書いてください。(「～」にはあなたの名前)
When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Advance Japanese IB (Grammar)" as the subject .

ウェルカムページ

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00
Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

日本語、JLPT　N1、文法
Japanese, JLPT N1, grammar

(B1023513b)日本語上級ＩＢ(文法)[Advanced Japanese 1B(Grammar)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＢ(文法)[Advanced Japanese 1B(Grammar)]				
時間割番号	B1023513b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子 SAKAMOTO Yuko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1 レベルの文法を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N1 level grammar.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　第 1 部　第 11 課、第 12 課
第 2 回　第 1 部　第 13 課、問題(第 1 課～第 12 課)
第 3 回　第 1 部　第 14 課、第 15 課
第 4 回　第 1 部　第 16 課、問題(第 1 課～第 16 課)
第 5 回　第 1 部　第 17 課、第 18 課、
第 6 回　第 1 部　第 19 課、第 20 課
第 7 回　第 1 部　問題(第 1 課～第 20 課)、総復習
第 8 回　第 1 部　定期試験

Level: Upper intermediate – Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Part.1 L11,L12
Week2. Part.1 L13, reviewL1-L12
Week3. Part.1 L14, L15
Week4. Part.1 L16, reviewL1-L16
Week5. Part.1 L17, L18
Week6. Part.1 L19, L20
Week7. reviewL1-L20, Review
Week8. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN1 文法		**ISBN**	9784883195640
	著者名	友松悦子他	**出版社** スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル(JLPT N1 レベル)の文法がわかる。
To understand grammar of upper intermediate text (JLPT N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験(90　点満点)、授業への貢献度(10　点満点)の合計点(100 点満点)で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点

B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程

(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
日本語、JLPT　N1、文法
Japanese, JLPT N1, grammar

(B1023514a)日本語上級ＩＢ(語彙)[Advanced Japanese 1B(Vocabulary)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＢ(語彙)[Advanced Japanese 1B(Vocabulary)]				
時間割番号	B1023514a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	石川　智嘉子 ISHIKAWA Chikako				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1 レベルの語彙を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N1 level vocabulary.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　第 1 部　第 7 章、第 1 課
第 2 回　第 1 部　第 7 章、第 2 課
第 3 回　第 1 部　第 7 章、第 3 課
第 4 回　第 1 部　第 8 章、第 1 課
第 5 回　第 1 部　第 8 章、第 2 課
第 6 回　第 1 部　第 9 章、第 1 課
第 7 回　第 1 部　第 9 章、第 2 課
第 8 回　第 1 部　定期試験
Level: Upper intermediate – Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Part.1 Section.7 Lesson.1
Week2. Part.1 Section.7 Lesson.2
Week3. Part.1 Section.7 Lesson.3
Week4. Part.1 Section.8 Lesson.1
Week5. Part.1 Section.8 Lesson.2
Week6. Part.1 Section.9 Lesson.1
Week7. Part.1 Section.9 Lesson.2
Week8. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN1 語彙			**ISBN**	9784883195732
	著者名	伊藤裕晃他	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル(JLPT N1 レベル)の語彙がわかる。
To understand vocabulary of upper intermediate text (JLPT N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験(90　点満点)、語彙テストの平均点(10　点満点)の合計点(100 点満点)で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点

B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードす

るコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
日本語、JLPT　N1、語彙
Japanese, JLPT N1, vocabulary

(B1023514b)日本語上級ＩＢ(語彙)[Advanced Japanese 1B(Vocabulary)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＢ(語彙)[Advanced Japanese 1B(Vocabulary)]				
時間割番号	B1023514b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	未定 To be assigned				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1 レベルの語彙を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N1 level vocabulary.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　第 1 部　第 7 章、第 1 課
第 2 回　第 1 部　第 7 章、第 2 課
第 3 回　第 1 部　第 7 章、第 3 課
第 4 回　第 1 部　第 8 章、第 1 課
第 5 回　第 1 部　第 8 章、第 2 課
第 6 回　第 1 部　第 9 章、第 1 課
第 7 回　第 1 部　第 9 章、第 2 課
第 8 回　第 1 部　定期試験

Level: Upper intermediate – Advanced level (JLPT N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Part.1 Section.7 Lesson.1
Week2. Part.1 Section.7 Lesson.2
Week3. Part.1 Section.7 Lesson.3
Week4. Part.1 Section.8 Lesson.1
Week5. Part.1 Section.8 Lesson.2
Week6. Part.1 Section.9 Lesson.1
Week7. Part.1 Section.9 Lesson.2
Week8. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN1 語彙			**ISBN**	9784883195732
	著者名	伊藤裕晃他	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル(JLPT N1 レベル)の語彙がわかる。

To understand vocabulary of upper intermediate text (JLPT N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験(90　点満点)、語彙テストの平均点(10　点満点)の合計点(100 点満点)で以下のように評価する。

学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点

B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程

(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
日本語、JLPT　N1、語彙
Japanese, JLPT N1, vocabulary

(B1023515a)日本語上級ⅡB(文法)[Advanced Japanese 2B(Grammar)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡB(文法)[Advanced Japanese 2B(Grammar)]				
時間割番号	B1023515a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	吉村 弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの文法を習得します。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn grammar at the level of JLPT N1.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回 06/13 イントロダクションと第3部 文章の文法 3課 自動詞・他動詞
第2回 06/20 4課 「～てくる・～ていく」、5課 受身・使役・使役受身
第3回 06/27 6課 「～てあげる・～てもらう・～てくれる」、7課 「こ・そ・あ」
第4回 07/04 8課 「は・が」
第5回 07/11 9課 接続表現
第6回 07/18 10 課 省略・繰り返し・言い換え
第7回 07/25 11 課 文体の一貫性、12 課 話の流れを考える
第8回 08/01 復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 Jun. 13 Introduction and Part 3-L3. Intransitive and Transitive Verbs
Week 2 Jun. 20 L4. Becoming and Going, L5.Passive, Causative, and Causative passive
Week 3 Jun. 27 L6. Give, receive, and get, L7. Demonstratives
Week 4 Jul. 04 L8. "wa" and "ga"
Week 5 Jul. 11 L9. Conjunctions
Week 6 Jul. 18 L10. Ellipsis, Repetition, and Replacement
Week 7 Jul. 25 L11. Consistency in Style, L12. Stream of Passage
Week 8 Aug. 01 Review and Final Exam

予習・復習内容

毎回復習と予習をしてください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class, and prepare for the next class.

You have a quiz every class.

関連科目

日本語上級ⅡB(語彙)、日本語上級ⅡB(読解)

Advanced Japanese 2B (Vocabulary), Advanced Japanese 2B (Reading)

教科書 1	**書名**	新完全マスター文法 N1			**ISBN**	9787883195640
	著者名	友松悦子ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2015

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）上級レベル（N1 レベル）の文法がわかる。
2）文法の使い分けができる。

1）To understand grammar of advanced text(JLPT N1 level).
2）To differentiate similar grammars properly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験８０％ 、小テスト・課題１０％、授業への貢献度１０％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

メール連絡の時は、「件名」に「日本語上級ⅡＢ（文法）」の～です」（「～」には名前）と書いてください
Write "I am (your name) of Advance Japanese 2B(Grammar)" as the subject of your e-mail.

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜　11:00～12:00

Fri. 11:00～12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through

papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

留学生　日本語上級　文法　日本語能力試験 N1
International students. Advanced Japanese, Grammar, JLPT N1

(B1023515b)日本語上級ⅡB(文法)[Advanced Japanese 2B(Grammar)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡB(文法)[Advanced Japanese 2B(Grammar)]				
時間割番号	B1023515b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	坂本 裕子 SAKAMOTO Yuko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1 レベルの文法を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N1 level grammar.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 第 1 部 第 11 課、第 12 課
第 2 回 第 1 部 第 13 課、問題(第 1 課～第 12 課)
第 3 回 第 1 部 第 14 課、第 15 課
第 4 回 第 1 部 第 16 課、問題(第 1 課～第 16 課)
第 5 回 第 1 部 第 17 課、第 18 課、
第 6 回 第 1 部 第 19 課、第 20 課
第 7 回 第 1 部 問題(第 1 課～第 20 課)
第 8 回 第 1 部 復習、定期試験

Level: Upper intermediate - Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Part.1 L11,L12
Week2. Part.1 L13, reviewL1-L12
Week3. Part.1 L14, L15
Week4. Part.1 L16, reviewL1-L16
Week5. Part.1 L17, L18
Week6. Part.1 L19, L20
Week7. reviewL1-L20
Week8. Review and Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN1 文法		**ISBN**	9784883195640
	著者名	友松悦子他	**出版社** スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル(JLPT N1 レベル)の文法がわかる。
To understand grammar of upper intermediate text (JLPT N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験 90%、授業への貢献度 10% 左記の割合で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験(80 点満点)、文法小テスト(10 点満点)、授業への貢献度(10 点満点)の合計点(100 点満点)で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点

B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam80%, grammar quiz 10% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程

(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
日本語、JLPT　N1、文法
Japanese, JLPT N1, grammar

(B1023516a)日本語上級ⅡB(語彙)[Advanced Japanese 2B(Vocabulary)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡB(語彙)[Advanced Japanese 2B(Vocabulary)]				
時間割番号	B1023516a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	村松 由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの語彙を習得します。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn JLPT N1 level vocabulary.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回　第2部 4章1課
第2回　第2部 4章2課
第3回　第2部 4章3課
第4回　第2部 5章1課
第5回　第2部 5章2課
第6回　第2部 6章1・2課
第7回　第2部 7章1・2・3課
第8回　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Part 2-4-1
Week2. Part2-4-2
Week3. Part2-4-3
Week 4. Part2-5-1
Week 5. Part2-5-2
Week 6. Part2-6-1,2
Week 7. Part2-7-1,2,3
Week 8. Review and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.

You have a quiz every class.

関連科目

日本語上級ⅡB(文法)、日本語上級ⅡB(読解)

Advanced Japanese2B(Grammar)、Advanced Japanese 2B(Reading)

教科書 1	**書名**	新完全マスター語彙 N1			**ISBN**	9784883195732
	著者名	伊能裕晃ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)上級レベル(N1 レベル)の語彙がわかる。

2）語彙の使い分けができる。

1）To understand vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To use synonyms properly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上
B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.

Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日　13：45～14：15（事前にメールで予約してください）

Wed.　13：45～14：15（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers,

oral reports or information media and to lead discussions or negotiations (A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード

(B1023516b)日本語上級ⅡB(語彙)[Advanced Japanese 2B(Vocabulary)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡB(語彙)[Advanced Japanese 2B(Vocabulary)]				
時間割番号	B1023516b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	未定 To be assigned				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

授業の内容

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

G

定期試験

定期試験を実施(対面)

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering

キーワード

(B10235170)工学基礎日本語Ⅰ[Basic Japanese for Engineering 1]

科目名[英文名]	工学基礎日本語Ⅰ[Basic Japanese for Engineering 1]				
時間割番号	B10235170	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	金 1～1,金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子, 吉村　弓子 SAKAMOTO Yuko, YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_LIB14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。中上級レベルの総合的な日本語力を身に付けます。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean lower advanced level Japanese.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　L1-1
第 2 回　L1-2
第 3 回　L1-3
第 4 回　L2-1
第 5 回　L2-2
第 6 回　L2-3
第 7 回　L3-1
第 8 回　L3-2
第 9 回　L3-3
第 10 回　L4-1
第 11 回　L4-2
第 12 回　L4-3
第 13 回　L5-1
第 14 回　L5-2
第 15 回　復習
第 16 回　定期試験
Level: Lower advanced level(JLPT N2-N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

1. L1-1
2. L1-2
3. L1-3
4. L2-1
5. L2-2
6. L2-3
7. L3-1
8. L3-2
9. L3-3
10. L4-1
11. L4-2
12. L4-3
13. L5-1
14. L5-2
15. Review
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。

You need to review what you have learned after every class.
Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.

関連科目

教科書 1	**書名**	新中級から上級への日本語　本冊			**ISBN**	9784789014625
	著者名	鎌田修他	**出版社**	The Japan Times	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
中上級レベル（JLPT N2-N1 レベル）の日本語がわかる。

To understand lower advanced text(JLPT N2-N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90 点満点）、授業への貢献度（10 点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering

(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

中上級日本語　日本語能力試験　N2 N1
Lower advanced Japanese JLPT N2 N1

(B1023518a)工学基礎日本語Ⅱ[Basic Japanese for Engineering 2]

科目名[英文名]	工学基礎日本語Ⅱ[Basic Japanese for Engineering 2]				
時間割番号	B1023518a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	石川　智嘉子 ISHIKAWA Chikako				
ナンバリング	GEN_LIB14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験（JLPT）N1 レベルの語彙を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N1 level vocabulary.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　第 1 部　第 1 章、第 1 課
第 2 回　第 1 部　第 1 章、第 2 課
第 3 回　第 1 部　第 2 章、第 1 課
第 4 回　第 1 部　第 2 章、第 2 課
第 5 回　第 1 部　第 3 章
第 6 回　第 1 部　第 4 章
第 7 回　第 1 部　第 5 章
第 8 回　第 1 部　中間試験、第 6 章
第 9 回　第 1 部　第 7 章、第 1 課
第 10 回　第 1 部　第 7 章、第 2 課
第 11 回　第 1 部　第 7 章、第 3 課
第 12 回　第 1 部　第 8 章、第 1 課
第 13 回　第 1 部　第 8 章、第 2 課
第 14 回　第 1 部　第 9 章、第 1 課
第 15 回　第 1 部　第 9 章、第 2 課
第 16 回　第 1 部　定期試験

Level: Upper intermediate – Advanced level (JLPT N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. Part.1 Section.1 Lesson.1
2. Part.1 Section.1 Lesson.2
3. Part.1 Section.2 Lesson.1
4. Part.1 Section.2 Lesson.2
5. Part.1 Section.3
6. Part.1 Section.4
7. Part.1 Section.5
8. Mid-term test. Section.6
9. Part.1 Section.7 Lesson.1
10. Part.1 Section.7 Lesson.2
11. Part.1 Section.7 Lesson.3
12. Part.1 Section.8 Lesson.1
13. Part.1 Section.8 Lesson.2
14. Part.1 Section.9 Lesson.1
15. Part.1 Section.9 Lesson.2
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN1 語彙			**ISBN**	9784883195732
	著者名	伊藤裕晃他	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
中上級レベル（JLPT N1 レベル）の語彙がわかる。
To understand vocabulary of upper intermediate text (JLPT N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers,

oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
日本語、JLPT　N1、語彙
Japanese, JLPT N1, vocabulary

(B1033005a)英語Ⅲ[English 3]

科目名[英文名]	英語Ⅲ[English 3]				
時間割番号	B1033005a	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	月 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	Kurt Howard SchultzKurt Howard Schultz				
ナンバリング	GEN_FOR12020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English. This course will focus on writing for academic purposes while encouraging students to write based on their English abilities. Translation from Japanese to English will be strongly discouraged.

授業の内容

Class 1 Introduction. Start Chapter 1
Class 2 Continue Chapter 1
Class 3 Conclude Chapter 1
Class 4 Review Chapter 1
Class 5 Practice Chapter 1 writing skills
Class 6 Start Chapter 2
Class 7 Continue Chapter 2
Class 8 Conclude Chapter 2
Class 9 Review Chapter 2
Class 10 Practice Chapter 2 writing skills
Class 11 Start Chapter 3
Class 12 Continue Chapter 3
Class 13 Conclude Chapter 3
Class 14 Review Chapter 3
Class 15 Practice Chapter 3 writing skills

Class 1 Introduction. Start Chapter 1
Class 2 Continue Chapter 1
Class 3 Conclude Chapter 1
Class 4 Review Chapter 1
Class 5 Practice Chapter 1 writing skills
Class 6 Start Chapter 2
Class 7 Continue Chapter 2
Class 8 Conclude Chapter 2
Class 9 Review Chapter 2
Class 10 Practice Chapter 2 writing skills
Class 11 Start Chapter 3
Class 12 Continue Chapter 3
Class 13 Conclude Chapter 3
Class 14 Review Chapter 3
Class 15 Practice Chapter 3 writing skills

予習・復習内容

Students will be held responsible for reviewing prior class activities and supplementing them with the online activities offered by the text.

Students will be held responsible for reviewing prior class activities and supplementing them with the online activities offered by the text.

関連科目

教科書 1	書名	Effective Academic Writing 1			ISBN	978-0-19-432346-8
	著者名	Alice Savege &	出版社	Oxford University	出版年	2012

		Masoud Shafiei		Press		

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Reports 50%
Participation 20%
PowerWords 30% の割合で総合的に評価する。

S：達成目標をすべて達成しており，かつ上記総合評価の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Assessment will be based on written reports 50%
Participation 20%
PowerWords 30%

Students will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points above, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points above, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033005b)英語Ⅲ[English 3]

科目名[英文名]	英語Ⅲ[English 3]				
時間割番号	B1033005b	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	月 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	Davey Charles GodfreyDavey Charles Godfrey				
ナンバリング	GEN_FOR12020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

There will be 15 lessons. The lessons will include regular tests based on the materials, as well as in-class requirements such as short presentations individually or in small groups. The lessons will include a review of the term, an exam, and an exam review.

予習・復習内容

Students should be ready to participate in class activities particularly in the speaking component. The class will be conducted in English.

There is an extra-curricula self-study requirement of Power Words 30%.

関連科目

Almost every subject has an English language component and I encourage students to bring any difficulties or problems to class.

教科書 1	書名	English Unlimited Intermediate Coursebook with e-Portfolio			ISBN	978-0521739894
	著者名	David Rea and Alex Tilbury	出版社	Cambridge University Press	出版年	

教科書に関する補足事項

The series is centred on purposeful, real-life objectives to prepare learners to use English independently for global communication. The The self-study pack has a DVD-ROM for autonomous learning, including interactive activities, audio and video, tests, and pronunciation practice. The e-Portfolio DVD-ROM enables learners to create a 'can-do' record of their work and progress. It also provides reference tools and a vocabulary trainer.

参考書 1	書名	Clear Speech: Pronunciation and Listening Comprehansion in North American English			ISBN	978-0-521-54354-5
	著者名	Judy B. Gilbert	出版社	Cambridge University Press	出版年	2012

参考書に関する補足事項

Brilliant exposition of the way English is spoken and makes the point that to listen and speak require an understanding of the rhythm of English,

達成目標

To develop an understanding of different ways of life and cultures through a variety of mediums, such as games, expressions of speech, fashion, and work, all explored through the medium of English. Students will develop their vocabulary and means of communication.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

S:レポート・期末テストの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点(100 点満点)以上

C:レポート・期末テストの合計点が 60 点(100 点満点)以上

S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

Evaluation is based on periodic tests, an end of semester exam, and class participation

Exam: 60%
Tests: 20%
Class assignments/participation: 20%

Grade: S = 90%+
A = 80%+
B = 70%+
C = 60%+
D = 59%- (rejection)

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

The exam will be based on the classwork, and will include elements of all four of the key areas of listening, speaking, reading, and writing.

その他

At the start of the semester I give my students my email and encourage them to use it if they have difficulties. I am available in the staff room at limited times for consultation. I ask that they only use English in class, in their note taking and their conversations, and point out that they have limited opportunities to use English and to speak English they need to think in English.

ウェルカムページ

www.charlesdaveybooks.com - my book design and production. I have a number of books on architecture and design

Learn English With Charles - Facebook page

オフィスアワー

The days of the lesson, and by request.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
All the below, as well as conveying a sense of English culture and cultural thinking.

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033005c)英語Ⅲ[English 3]

科目名[英文名]	英語Ⅲ[English 3]				
時間割番号	B1033005c	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	Ryan EugeneRYAN Eugene				
ナンバリング	GEN_FOR12020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ，これまで身につけた英語をさらに強化する。また，英語を媒介として世界のさまざまな文化，ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

This class is designed to help students improve their ability to both understand and reproduce native English pronunciation. The course is specifically tailored to the perceived weak points of Japanese learners of English. It builds up in three stages. The first stage covers the correct pronunciation of sounds in English which are confusing or difficult for Japanese students. The second stage introduces the syllable, stress within words and the basics of English spoken rhythm. Finally the students look at rhythm and phrasing of whole sentences. Homework will consist of studying for weekly tests which review the contents of the previous class.

Weeks:
1. The letters: M, N, NG
2. A,U, AR, IR, OR
3. The letters: L,R
4. The letters: W,V,B,P,H
5. The letters: S,SH,TH,Z
6. Consonant clusters & Katakana English
7. Part 1 Test
8. Stress in words
9. Schwa
10. Content and focus words
11. Structure words
12. Choosing focus words
13. Emphasising structure words
14. Review
15. Review

This class is designed to help students improve their ability to both understand and reproduce native English pronunciation. The course is specifically tailored to the perceived weak points of Japanese learners of English. It builds up in three stages. The first stage covers the correct pronunciation of sounds in English which are confusing or difficult for Japanese students. The second stage introduces the syllable, stress within words and the basics of English spoken rhythm. Finally the students look at rhythm and phrasing of whole sentences. Homework will consist of studying for weekly tests which review the contents of the previous class.

Weeks:
1. The letters: M, N, NG
2. A,U, AR, IR, OR
3. The letters: L,R
4. The letters: W,V,B,P,H
5. The letters: S,SH,TH,Z
6. Consonant clusters & Katakana English
7. Part 1 Test
8. Stress in words
9. Schwa
10. Content and focus words
11. Structure words

12. Choosing focus words
13. Emphasising structure words
14. Review
15. Review

予習・復習内容

関連科目

教科書 1	**書名**	Pronunciation Pairs: an introduction to the sounds of English (second Edition)			**ISBN**	9780521678087
	著者名	Ann Baker & Sharon Goldstein	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

Students will learn the basics of English sound production, including pronunciation, stress and intonation.

Students will learn the basics of English sound production, including pronunciation, stress and intonation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法： 期末テスト 30%、小テスト・課題等 40%, ALC Net Academy Power Words Level 4 Units 1-50 = 30%
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点(100 点満点)以上
(上記の達成目標を全て含む)
評価法： 期末テスト 30%、小テスト・課題等 40%, ALC Net Academy Power Words Level 4 Units 1-50 = 30%
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
(上記の達成目標を全て含む)

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

Wednesday 10:30~12:00pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
pronunciation
pronunciation

(B1033006a)英語Ⅳ[English 4]

科目名[英文名]	英語Ⅳ[English 4]				
時間割番号	B1033006a	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	月 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	Kurt Howard SchultzKurt Howard Schultz				
ナンバリング	GEN_FOR12020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English. This course will continue working on writing skills started in Spring Semester.

授業の内容

Class 1 Introduction. Start Chapter 4
Class 2 Continue Chapter 4
Class 3 Conclude Chapter 4
Class 4 Review Chapter 4
Class 5 Practice Chapter 4 writing skills
Class 6 Start Chapter 5
Class 7 Continue Chapter 5
Class 8 Conclude Chapter 5
Class 9 Review Chapter 5
Class 10 Practice Chapter 5 writing skills
Class 11 Start Chapter 6
Class 12 Continue Chapter 6
Class 13 Conclude Chapter 6
Class 14 Review Chapter 6
Class 15 Practice Chapter 6 writing skills
Class 1 Introduction. Start Chapter 4
Class 2 Continue Chapter 4
Class 3 Conclude Chapter 4
Class 4 Review Chapter 4
Class 5 Practice Chapter 4 writing skills
Class 6 Start Chapter 5
Class 7 Continue Chapter 5
Class 8 Conclude Chapter 5
Class 9 Review Chapter 5
Class 10 Practice Chapter 5 writing skills
Class 11 Start Chapter 6
Class 12 Continue Chapter 6
Class 13 Conclude Chapter 6
Class 14 Review Chapter 6
Class 15 Practice Chapter 6 writing skills

予習・復習内容

Students will be held responsible for reviewing prior class activities and supplementing them with the online activities offered by the text.
Students will be held responsible for reviewing prior class activities and supplementing them with the online activities offered by the text.

関連科目

教科書 1	書名	Effective Academic Writing 1			ISBN	978-0-19-432346-8
	著者名	Alice Savege & Masoud Shafiei	出版社	Oxford University Press	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Written reports 50%
Participation 20%
PowerWords 30% の割合で総合的に評価する。

S:達成目標をすべて達成しており，かつ上記総合評価の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

Written reports 50%
Participation 20%
PowerWords 30%

Students will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points above, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points above, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033006b)英語Ⅳ[English 4]

科目名[英文名]	英語Ⅳ[English 4]				
時間割番号	B1033006b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	Ryan EugeneRYAN Eugene				
ナンバリング	GEN_FOR12020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ，これまで身につけた英語をさらに強化する。また，英語を媒介として世界のさまざまな文化，ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

This class is designed to help students improve their ability to both understand and reproduce native English pronunciation. The course is specifically tailored to the perceived weak points of Japanese learners of English. It builds up in three stages. The first stage covers the correct pronunciation of sounds in English which are confusing or difficult for Japanese students. The second stage introduces the syllable, stress within words and the basics of English spoken rhythm. Finally the students look at rhythm and phrasing of whole sentences. Homework will consist of studying for weekly tests which review the contents of the previous class.

Weeks:
1. The letters: M, N, NG
2. A,U, AR, IR, OR
3. The letters: L,R
4. The letters: W,V,B,P,H
5. The letters: S,SH,TH,Z
6. Consonant clusters & Katakana English
7. Part 1 Test
8. Stress in words
9. Schwa
10. Content and focus words
11. Structure words
12. Choosing focus words
13. Emphasising structure words
14. Review
15. Review

This class is designed to help students improve their ability to both understand and reproduce native English pronunciation. The course is specifically tailored to the perceived weak points of Japanese learners of English. It builds up in three stages. The first stage covers the correct pronunciation of sounds in English which are confusing or difficult for Japanese students. The second stage introduces the syllable, stress within words and the basics of English spoken rhythm. Finally the students look at rhythm and phrasing of whole sentences. Homework will consist of studying for weekly tests which review the contents of the previous class.

Weeks:
1. The letters: M, N, NG
2. A,U, AR, IR, OR
3. The letters: L,R
4. The letters: W,V,B,P,H
5. The letters: S,SH,TH,Z
6. Consonant clusters & Katakana English
7. Part 1 Test
8. Stress in words
9. Schwa
10. Content and focus words
11. Structure words

12. Choosing focus words
13. Emphasising structure words
14. Review
15. Review

予習・復習内容

関連科目

教科書 1	**書名**	Pronunciation Pairs: an introduction to the sounds of English (second Edition)			**ISBN**	9780521678087
	著者名	Ann Baker & Sharon Goldstein	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

Students will learn the basics of English sound production, including pronunciation, stress and intonation.

Students will learn the basics of English sound production, including pronunciation, stress and intonation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法： 期末テスト 30%、小テスト・課題等 40%, ALC Net Academy Power Words Level 4 Units 1-50 = 30%
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点(100 点満点)以上
(上記の達成目標を全て含む)
評価法： 期末テスト 30%、小テスト・課題等 40%, ALC Net Academy Power Words Level 4 Units 1-50 = 30%
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
(上記の達成目標を全て含む)

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

Wednesday 10:30 ~12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
pronunciation
pronunciation

(B1033006c)英語Ⅳ[English 4]

科目名[英文名]	英語Ⅳ[English 4]				
時間割番号	B1033006c	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	月 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	Davey Charles GodfreyDavey Charles Godfrey				
ナンバリング	GEN_FOR12020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

There will be 15 lessons. The lessons will include regular tests based on the materials, as well as in-class requirements such as short presentations individually or in small groups. The lessons will include a review of the term, an exam, and an exam review.

予習・復習内容

Students should be ready to participate in class activities particularly in the speaking component. The class will be conducted in English.

関連科目

Almost every subject has an English language component and I encourage students to bring any difficulties or problems to class.

教科書 1	書名	English Unlimited Pre-intermediate Coursebook with e-Portfolio			ISBN	978-0521697774
	著者名	Alex Tilbury and Theresa Clementson	出版社	Cambridge University Press	出版年	2010

教科書に関する補足事項

The series is centred on purposeful, real-life objectives to prepare learners to use English independently for global communication. The The self-study pack has a DVD-ROM for autonomous learning, including interactive activities, audio and video, tests, and pronunciation practice. The e-Portfolio DVD-ROM enables learners to create a 'can-do' record of their work and progress. It also provides reference tools and a vocabulary trainer.

参考書 1	書名	Clear speech : pronunciation and listening comprehension in North American English			ISBN	978-0-521-54354-5
	著者名	Judy B. Gilbert	出版社	Cambridge University Press	出版年	

参考書に関する補足事項

Brilliant exposition of the way English is spoken and makes the point that to listen and speak require an understanding of the rhythm of English,

達成目標

To develop an understanding of different ways of life and cultures through a variety of mediums, such as games, expressions of speech, fashion, and work, all explored through the medium of English. Students will develop their vocabulary and means of communication.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

S:レポート・期末テストの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点(100 点満点)以上

S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

Evaluation is based on periodic tests, an end of semester exam, and class participation

Exam: 60%
Tests: 20%
Class assignments/participation: 20%

Grade: S = 90%+
A = 80%+
B = 70%+
C = 60%+
D = 59%- (rejection)

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
The exam will be based on the classwork, and will include elements of all four of the key areas of listening, speaking, reading, and writing.

その他
At the start of the semester I give my students my email and encourage
them to use it if they have difficulties. I am available in the staff
room at limited times for consultation. I ask that they only use English
in class, in their note taking and their conversations, and point out
that they have limited opportunities to use English and to speak English
they need to think in English.

ウェルカムページ
The days of the lesson, and by request.

オフィスアワー
All the below, as well as conveying a sense of English culture and cultural thinking.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033022a)英語 Grammar Ⅰ[English Grammar 1]

科目名[英文名]	英語 Grammar Ⅰ[English Grammar 1]				
時間割番号	B1033022a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	Ryan EugeneRYAN Eugene				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1: Course introduction; Unit 13 [Present Perfect 1]
Week 2: Unit 14 [Present perfect 2] & Unit 15 [Present perfect 3]
Week 3: Unit 15 [Present perfect 3] & Unit 16 [Past Simple or Present perfect]
Week 4: Unit 17 [Present Perfect Continuous] & Unit 18 [Present Perfect Simple or Continuous]
Week 5: Unit 18 [Present Perfect Simple or Continuous] & Unit 19 [Past Perfect]
Week 6: Unit 19 [Past Perfect] & Unit 21 [Be going to]
Week 7: Unit 23 [Will or be going to] & Unit 24 [Present Continuous for the future]
Week 8: Unit 24 [Present Continuous for the future] & Unit 25 [Present tense: when, before, after, until, etc.]
Week 9: Unit 89 [Passive sentences 1] & Unit 90 [Passive sentences 2]
Week 10: Unit 90 [Passive sentences 2] & Unit 91 [Have something done]
Week 11: Unit 91 [Have something done] & Unit 107 [Relative clauses 1]
Week 12: Unit 107 [Relative clauses 1] & Unit 108 [Relative clauses 2]
Week 13: Unit 108 [Relative clauses 2] & Unit 109 [Relative clauses 3]
Week 14: Review
Week 15: Review
Week 16: Final Test

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Week 1: Course introduction; Unit 13 [Present Perfect 1]
Week 2: Unit 14 [Present perfect 2] & Unit 15 [Present perfect 3]
Week 3: Unit 15 [Present perfect 3] & Unit 16 [Past Simple or Present perfect]
Week 4: Unit 17 [Present Perfect Continuous] & Unit 18 [Present Perfect Simple or Continuous]
Week 5: Unit 18 [Present Perfect Simple or Continuous] & Unit 19 [Past Perfect]
Week 6: Unit 19 [Past Perfect] & Unit 21 [Be going to]
Week 7: Unit 23 [Will or be going to] & Unit 24 [Present Continuous for the future]
Week 8: Unit 24 [Present Continuous for the future] & Unit 25 [Present tense: when, before, after, until, etc.]
Week 9: Unit 89 [Passive sentences 1] & Unit 90 [Passive sentences 2]
Week 10: Unit 90 [Passive sentences 2] & Unit 91 [Have something done]
Week 11: Unit 91 [Have something done] & Unit 107 [Relative clauses 1]
Week 12: Unit 107 [Relative clauses 1] & Unit 108 [Relative clauses 2]
Week 13: Unit 108 [Relative clauses 2] & Unit 109 [Relative clauses 3]
Week 14: Review
Week 15: Review
Week 16: Final Test

予習・復習内容

関連科目

火曜日の英語 VA

教科書 1	**書名**	Oxford Practice Grammar Basic with Key			**ISBN**	9780194310239
	著者名	Norman Coe, Mark Harrison & Ken	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	

		Paterson				

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：期末テスト 80%、小テスト・課題 10%、授業への貢献度 10%で評価する。

総合的な評価基準：
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出欠の取り扱いについては、４月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam (80%), quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90% or above (out of 100 points)
A: 80～89 (out of 100 points)
B: 70～79 (out of 100 points)
C: 60～69 (out of 100 points)

The term exam covers all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Room: B-512
Tel. : 44-6960

ウェルカムページ
なし

オフィスアワー
Drop in basis

学習・教育到達目標との対応
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭および情報メディア通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力

機械工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力

を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033022b)英語 Grammar Ⅰ[English Grammar 1]

科目名[英文名]	英語 Grammar Ⅰ[English Grammar 1]				
時間割番号	B1033022b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	毛利　雅子 MOURI Masako				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

英文法の基礎力を養成する。

The aim of this class is to acquire grammar knowledge.

授業の内容

1. ガイダンス、Unit 1
2. Unit 1-2
3. Unit 3-4
4. Unit 5-6
5. Unit 7-8
6. Unit 9-10
7. Unit 11-12
8. 中間テスト
9. Unit 13-14
10. Unit 15-16
11. Unit 17-18
12. Unit 19-20
13. Unit 21-22
14. Unit 23-24
15. Unit 25-26
16. 期末テスト

1. Guidance, Unit 1
2. Unit 1-2
3. Unit 3-4
4. Unit 5-6
5. Unit 7-8
6. Unit 9-10
7. Unit 11-12
8. Mid-term exam
9. Unit 13-14
10. Unit 15-16
11. Unit 17-18
12. Unit 19-20
13. Unit 21-22
14. Unit 23-24
15. Unit 25-26
16. End-term exam

予習・復習内容

次ユニットで分からない単語・熟語があれば、必ず下調べをしておくこと。

Students are required to look for vocabularies and idioms for next class in advance.

関連科目

教科書 1	**書名**	読解力をみがく基本英文法			**ISBN**	9783¥4255155609
	著者名	福井、北山、山中	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2015

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

基礎文法力を定着させ、コミュニケーションのための発信型英語力を身につける。

Students are required to obtain basic grammar knowledge and communicative skills as a goal.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：中間テスト（50%）、最終テスト（50%）　左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
　S：達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 90 点以上
　A：達成目標を 90%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 80 点以上
　B：達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 70 点以上
　C：達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。

Evaluation:
Mid-term exam（50%）, End-term exam （50%）.
Evaluation based on the described comprehensively.
Evaluation standard: Evaluation is based on the following principles with full attendance to a class.
　S: More than 90 points (among 100) of exams with full achievements of the goal.
　A: More than 80 points (among 100) of exams with 90% achievements of the goal.
　B: More than 70 points (among 100) of exams with 80% achievements of the goal.
　C: More than 60 points (among 100) of exams with 70% achievements of the goal.
※Previous evaluation (A～C) system are applied to students who entered before 2016.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業内で指示。
Will announce in class

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
Grammar

(B1033022c)英語 Grammar Ⅰ[English Grammar 1]

科目名[英文名]	英語 Grammar Ⅰ[English Grammar 1]				
時間割番号	B1033022c	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	吉川　りさ YOSHIKAWA Lisa				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

第1週：オリエンテーション、Unit 1: From My Heart To Yours
第2週：Unit 1: From My Heart To Yours
第3週：Unit 2: To Be Or Not To Be
第4週：Unit 2: To Be Or Not To Be, Unit 3: Too Many Calories?
第5週：Unit 3: Too Many Calories?
第6週：Unit 4: Life With A Roommate
第7週：Unit 4: Life With A Roommate, Unit 5: I'll Take A Vacation
第8週：Quiz, Unit 5: I'll Take A Vacation
第9週：Unit 6: How Is The Weather?
第10週：Unit 6: How Is The Weather?, Unit 7: Did You Do The Dishes?
第11週：Unit 7: Did You Do The Dishes?
第12週：Unit 8: I'm Going To College
第13週：Unit 8: I'm Going To College, Unit 9: Have You Ever Had A Job?
第14週：Unit 9: Have You Ever Had A Job?
第15週： Review and Catch Up
第16週：学期末試験
Week 1：Introduction、Unit 1: From My Heart To Yours
Week 2：Unit 1: From My Heart To Yours
Week 3：Unit 2: To Be Or Not To Be
Week 4：Unit 2: To Be Or Not To Be, Unit 3: Too Many Calories?
Week 5：Unit 3: Too Many Calories?
Week 6：Unit 4: Life With A Roommate
Week 7：Unit 4: Life With A Roommate, Unit 5: I'll Take A Vacation
Week 8：Quiz, Unit 5: I'll Take A Vacation
Week 9：Unit 6: How Is The Weather?
Week 10：Unit 6: How Is The Weather?, Unit 7: Did You Do The Dishes?
Week 11：Unit 7: Did You Do The Dishes?
Week 12：Unit 8: I'm Going To College
Week 13：Unit 8: I'm Going To College, Unit 9: Have You Ever Had A Job?
Week 14：Unit 9: Have You Ever Had A Job?
Week 15： Review and Catch Up
Week 16：Term Exam

予習・復習内容

毎週の学習内容を復習するとともに、次週の学習内容についてテキストに目を通してくること。

Reflect each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	English Insight			**ISBN**	978-4-86312-280-2
	著者名	Mark D. Stafford, Chizuko Tsumatori, Kozue Matsui	**出版社**	CENGAGE learning	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1. コミュニケーションに必要な文法力を養うこと。
2. 各文法事項を理解し、練習問題を解けるようになること。

1. To develop grammar competency required for communication.
2. To be able to solve grammar exercises.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：期末テスト 80%、小テスト・課題 10%、授業への貢献度 10%で評価する。
総合的な評価基準：
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出欠の取り扱いについては、4月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam (80%), quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90% or above (out of 100 points)
A: 80～89 (out of 100 points)
B: 70～79 (out of 100 points)
C: 60～69 (out of 100 points)

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
適宜対応ですが、確実さのため、まずは、メールにて連絡してください。
Walk-in basis; giving me an email first would be the best way to reach out.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
English Grammar

(B1033022d)英語 Grammar Ⅰ[English Grammar 1]

科目名[英文名]	英語 Grammar Ⅰ[English Grammar 1]				
時間割番号	B1033022d	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	加藤　三保子 KATOH Mihoko				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

第1週：オリエンテーション、Unit 1: From My Heart To Yours
第2週：Unit 1: From My Heart To Yours
第3週：Unit 2: To Be Or Not To Be
第4週：Unit 2: To Be Or Not To Be, Unit 3: Too Many Calories?
第5週：Unit 3: Too Many Calories?
第6週：Unit 4: Life With A Roommate
第7週：Unit 4: Life With A Roommate, Unit 5: I'll Take A Vacation
第8週：Quiz, Unit 5: I'll Take A Vacation
第9週：Unit 6: How Is The Weather?
第10週：Unit 6: How Is The Weather?, Unit 7: Did You Do The Dishes?
第11週：Unit 7: Did You Do The Dishes?
第12週：Unit 8: I'm Going To College
第13週：Unit 8: I'm Going To College, Unit 9: Have You Ever Had A Job?
第14週：Unit 9: Have You Ever Had A Job?
第15週： Review and Catch Up
第16週：学期末試験
Week 1：Introduction、Unit 1: From My Heart To Yours
Week 2：Unit 1: From My Heart To Yours
Week 3：Unit 2: To Be Or Not To Be
Week 4：Unit 2: To Be Or Not To Be, Unit 3: Too Many Calories?
Week 5：Unit 3: Too Many Calories?
Week 6：Unit 4: Life With A Roommate
Week 7：Unit 4: Life With A Roommate, Unit 5: I'll Take A Vacation
Week 8：Quiz, Unit 5: I'll Take A Vacation
Week 9：Unit 6: How Is The Weather?
Week 10：Unit 6: How Is The Weather?, Unit 7: Did You Do The Dishes?
Week 11：Unit 7: Did You Do The Dishes?
Week 12：Unit 8: I'm Going To College
Week 13：Unit 8: I'm Going To College, Unit 9: Have You Ever Had A Job?
Week 14：Unit 9: Have You Ever Had A Job?
Week 15： Review and Catch Up
Week 16：Term Exam

予習・復習内容

毎週の学習内容を復習するとともに、次週の学習内容についてテキストに目を通してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	English Insight			**ISBN**	978-4-86312-280-2
	著者名	Mark D. Stafford, Chizuko Tsumatori, Kozue Matsui	**出版社**	CENGAGE learning	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：期末テスト 80%、小テスト・課題 10%、授業への貢献度 10%で評価する。
総合的な評価基準：
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出欠の取り扱いについては、４月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam (80%), quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90% or above (out of 100 points)
A: 80～89 (out of 100 points)
B: 70～79 (out of 100 points)
C: 60～69 (out of 100 points)

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
研究室：B-511
内線電話：6959
E-mail：mihoko@las.tut.ac.jp
Office：B-511
Tel (Extension)：6959
E-mail：mihoko@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
火曜日 14:00～16:00
Tuesdays 14:00～16:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードす

るコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
English Grammar

(B1033023i)英語 Grammar Ⅱ[English Grammar 2]

科目名[英文名]	英語 Grammar Ⅱ[English Grammar 2]				
時間割番号	B1033023i	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	加藤　三保子 KATOH Mihoko				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1: オリエンテーション, Unit 45 (pp.90～91), Unit 46 (pp.92～93)
Week 2: Unit 46 (pp.92～93), Unit 47 (pp.94～95)
Week 3: Unit 48 (pp.96～97), Unit 50 (pp.100～101)
Week 4: Unit 50 (pp.100～101), Unit 51 (pp.102～103)
Week 5: Unit 56 (pp.112～113), Unit 59 (pp.118～119)
Week 6: Unit 59 (pp.118～119), Unit 62 (pp.124～125)
Week 7: Unit 64 (pp.128～129), Unit 65 (pp.130～131)
Week 8: Unit 65 (pp.130～131), Unit 68 (pp.136～137)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 73 (pp.146～147), Unit 77 (pp.154～155)
Week 11: Unit 77 (pp.154～155), Unit 78 (pp.156～157)
Week 12: Unit 83 (pp.166～167), Unit 84 (pp.168～169)
Week 13: Unit 84 (pp.168～169), Unit 86 (pp.172～173)
Week 14: Unit 87 (pp.174～175), Unit 99 (pp.198～199)
Week 15: Unit 99 (pp.198～199), Unit 100 (pp.200～201)
Week 16: Term Examination

Week 1: Course Introduction, Unit 45 (pp.90～91), Unit 46 (pp.92～93)
Week 2: Unit 46 (pp.92～93), Unit 47 (pp.94～95)
Week 3: Unit 48 (pp.96～97), Unit 50 (pp.100～101)
Week 4: Unit 50 (pp.100～101), Unit 51 (pp.102～103)
Week 5: Unit 56 (pp.112～113), Unit 59 (pp.118～119)
Week 6: Unit 59 (pp.118～119), Unit 62 (pp.124～125)
Week 7: Unit 64 (pp.128～129), Unit 65 (pp.130～131)
Week 8: Unit 65 (pp.130～131), Unit 68 (pp.136～137)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 73 (pp.146～147), Unit 77 (pp.154～155)
Week 11: Unit 77 (pp.154～155), Unit 78 (pp.156～157)
Week 12: Unit 83 (pp.166～167), Unit 84 (pp.168～169)
Week 13: Unit 84 (pp.168～169), Unit 86 (pp.172～173)
Week 14: Unit 87 (pp.174～175), Unit 99 (pp.198～199)
Week 15: Unit 99 (pp.198～199), Unit 100 (pp.200～201)
Week 16: Term Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Basic Grammar in Use Fourth Edition			**ISBN**	9781316646755
	著者名	Raymond Murphy	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1. コミュニケーションに必要な文法力を養うこと。
2. 各文法事項を理解し、練習問題を解けるようになること。

1. To develop grammar competency required for communication.
2. To be able to solve grammar exercises.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

期末テスト（80点満点）の点数に小テスト・課題（10点満点），授業への貢献度（10点満点）の点数を足して、
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the term exam (80%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S; 90 % or more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam covers all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
研究室: B-511
内線番号: 6959
e-mail: mihoko@las.tut.ac.jp
Office: B-511
TEL (Ext.): 6959
e-mail: mihoko@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
火曜日 14:00～16:00
Tuesdays 14:00～16:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
Grammar

(B1033023j)英語 Grammar Ⅱ[English Grammar 2]

科目名[英文名]	英語 Grammar Ⅱ[English Grammar 2]				
時間割番号	B1033023j	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	高橋　直子 TAKAHASHI Naoko				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1: オリエンテーション, Unit 45 (pp.90～91), Unit 46 (pp.92～93)
Week 2: Unit 46 (pp.92～93), Unit 47 (pp.94～95)
Week 3: Unit 48 (pp.96～97), Unit 50 (pp.100～101)
Week 4: Unit 50 (pp.100～101), Unit 51 (pp.102～103)
Week 5: Unit 56 (pp.112～113), Unit 59 (pp.118～119)
Week 6: Unit 59 (pp.118～119), Unit 62 (pp.124～125)
Week 7: Unit 64 (pp.128～129), Unit 65 (pp.130～131)
Week 8: Unit 65 (pp.130～131), Unit 68 (pp.136～137)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 73 (pp.146～147), Unit 77 (pp.154～155)
Week 11: Unit 77 (pp.154～155), Unit 78 (pp.156～157)
Week 12: Unit 83 (pp.166～167), Unit 84 (pp.168～169)
Week 13: Unit 84 (pp.168～169), Unit 86 (pp.172～173)
Week 14: Unit 87 (pp.174～175), Unit 99 (pp.198～199)
Week 15: Unit 99 (pp.198～199), Unit 100 (pp.200～201)
Week 16: Term Examination

Week 1: Course Introduction, Unit 45 (pp.90～91), Unit 46 (pp.92～93)
Week 2: Unit 46 (pp.92～93), Unit 47 (pp.94～95)
Week 3: Unit 48 (pp.96～97), Unit 50 (pp.100～101)
Week 4: Unit 50 (pp.100～101), Unit 51 (pp.102～103)
Week 5: Unit 56 (pp.112～113), Unit 59 (pp.118～119)
Week 6: Unit 59 (pp.118～119), Unit 62 (pp.124～125)
Week 7: Unit 64 (pp.128～129), Unit 65 (pp.130～131)
Week 8: Unit 65 (pp.130～131), Unit 68 (pp.136～137)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 73 (pp.146～147), Unit 77 (pp.154～155)
Week 11: Unit 77 (pp.154～155), Unit 78 (pp.156～157)
Week 12: Unit 83 (pp.166～167), Unit 84 (pp.168～169)
Week 13: Unit 84 (pp.168～169), Unit 86 (pp.172～173)
Week 14: Unit 87 (pp.174～175), Unit 99 (pp.198～199)
Week 15: Unit 99 (pp.198～199), Unit 100 (pp.200～201)
Week 16: Term Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Basic Grammar in Use Fourth Edition			**ISBN**	9781316646755
	著者名	Raymond Murphy	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1. コミュニケーションに必要な文法力を養うこと。
2. 各文法事項を理解し、練習問題を解けるようになること。

1. To develop grammar competency required for communication.
2. To be able to solve grammar exercises.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
中間テスト40%、期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

中間テスト、期末テストの点数に小テスト・課題（10点満点），授業への貢献度（10点満点）の点数を足して、
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the midterm exam (40%), the final exam (40%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90 % or more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam covers all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
事前予約して下さい。
appointment only

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
Grammar

(B1033023k)英語 Grammar Ⅱ[English Grammar 2]

科目名[英文名]	英語 Grammar Ⅱ[English Grammar 2]				
時間割番号	B1033023k	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	金 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	秋元　恵 AKIMOTO Megumi				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1: オリエンテーション, Unit 45 (pp.90～91), Unit 46 (pp.92～93)
Week 2: Unit 46 (pp.92～93), Unit 47 (pp.94～95)
Week 3: Unit 48 (pp.96～97), Unit 50 (pp.100～101)
Week 4: Unit 50 (pp.100～101), Unit 51 (pp.102～103)
Week 5: Unit 56 (pp.112～113), Unit 59 (pp.118～119)
Week 6: Unit 59 (pp.118～119), Unit 62 (pp.124～125)
Week 7: Unit 64 (pp.128～129), Unit 65 (pp.130～131)
Week 8: Unit 65 (pp.130～131), Unit 68 (pp.136～137)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 73 (pp.146～147), Unit 77 (pp.154～155)
Week 11: Unit 77 (pp.154～155), Unit 78 (pp.156～157)
Week 12: Unit 83 (pp.166～167), Unit 84 (pp.168～169)
Week 13: Unit 84 (pp.168～169), Unit 86 (pp.172～173)
Week 14: Unit 87 (pp.174～175), Unit 99 (pp.198～199)
Week 15: Unit 99 (pp.198～199), Unit 100 (pp.200～201)
Week 16: Term Examination

Week 1: Course Introduction, Unit 45 (pp.90～91), Unit 46 (pp.92～93)
Week 2: Unit 46 (pp.92～93), Unit 47 (pp.94～95)
Week 3: Unit 48 (pp.96～97), Unit 50 (pp.100～101)
Week 4: Unit 50 (pp.100～101), Unit 51 (pp.102～103)
Week 5: Unit 56 (pp.112～113), Unit 59 (pp.118～119)
Week 6: Unit 59 (pp.118～119), Unit 62 (pp.124～125)
Week 7: Unit 64 (pp.128～129), Unit 65 (pp.130～131)
Week 8: Unit 65 (pp.130～131), Unit 68 (pp.136～137)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 73 (pp.146～147), Unit 77 (pp.154～155)
Week 11: Unit 77 (pp.154～155), Unit 78 (pp.156～157)
Week 12: Unit 83 (pp.166～167), Unit 84 (pp.168～169)
Week 13: Unit 84 (pp.168～169), Unit 86 (pp.172～173)
Week 14: Unit 87 (pp.174～175), Unit 99 (pp.198～199)
Week 15: Unit 99 (pp.198～199), Unit 100 (pp.200～201)
Week 16: Term Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	書名	Basic Grammar in Use Fourth Edition			ISBN	9781316646755
	著者名	Raymond Murphy	出版社	Cambridge University Press	出版年	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1. コミュニケーションに必要な文法力を養うこと。
2. 各文法事項を理解し、練習問題を解けるようになること。

1. To develop grammar competency required for communication.
2. To be able to solve grammar exercises.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

期末テスト（80点満点）の点数に小テスト・課題（10点満点），授業への貢献度（10点満点）の点数を足して、
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the term exam (80%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S; 90 % or more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam covers all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
English Grammar

(B1033023I)英語 Grammar Ⅱ[English Grammar 2]

科目名[英文名]	英語 Grammar Ⅱ[English Grammar 2]				
時間割番号	B1033023I	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉川　りさ YOSHIKAWA Lisa				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1: オリエンテーション, Unit 45 (pp.90～91), Unit 46 (pp.92～93)
Week 2: Unit 46 (pp.92～93), Unit 47 (pp.94～95)
Week 3: Unit 48 (pp.96～97), Unit 50 (pp.100～101)
Week 4: Unit 50 (pp.100～101), Unit 51 (pp.102～103)
Week 5: Unit 56 (pp.112～113), Unit 59 (pp.118～119)
Week 6: Unit 59 (pp.118～119), Unit 62 (pp.124～125)
Week 7: Unit 64 (pp.128～129), Unit 65 (pp.130～131)
Week 8: Unit 65 (pp.130～131), Unit 68 (pp.136～137)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 73 (pp.146～147), Unit 77 (pp.154～155)
Week 11: Unit 77 (pp.154～155), Unit 78 (pp.156～157)
Week 12: Unit 83 (pp.166～167), Unit 84 (pp.168～169)
Week 13: Unit 84 (pp.168～169), Unit 86 (pp.172～173)
Week 14: Unit 87 (pp.174～175), Unit 99 (pp.198～199)
Week 15: Unit 99 (pp.198～199), Unit 100 (pp.200～201)
Week 16: Term Examination

Week 1: Course Introduction, Unit 45 (pp.90～91), Unit 46 (pp.92～93)
Week 2: Unit 46 (pp.92～93), Unit 47 (pp.94～95)
Week 3: Unit 48 (pp.96～97), Unit 50 (pp.100～101)
Week 4: Unit 50 (pp.100～101), Unit 51 (pp.102～103)
Week 5: Unit 56 (pp.112～113), Unit 59 (pp.118～119)
Week 6: Unit 59 (pp.118～119), Unit 62 (pp.124～125)
Week 7: Unit 64 (pp.128～129), Unit 65 (pp.130～131)
Week 8: Unit 65 (pp.130～131), Unit 68 (pp.136～137)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 73 (pp.146～147), Unit 77 (pp.154～155)
Week 11: Unit 77 (pp.154～155), Unit 78 (pp.156～157)
Week 12: Unit 83 (pp.166～167), Unit 84 (pp.168～169)
Week 13: Unit 84 (pp.168～169), Unit 86 (pp.172～173)
Week 14: Unit 87 (pp.174～175), Unit 99 (pp.198～199)
Week 15: Unit 99 (pp.198～199), Unit 100 (pp.200～201)
Week 16: Term Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Reflect each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Basic Grammar in Use Fourth Edition			**ISBN**	9781316646755
	著者名	Raymond Murphy	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1. コミュニケーションに必要な文法力を養うこと。
2. 各文法事項を理解し、練習問題を解けるようになること。

1. To develop grammar competency required for communication.
2. To be able to solve grammar exercises.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

期末テスト（80点満点）の点数に小テスト・課題（10点満点），授業への貢献度（10点満点）の点数を足して、
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the term exam (80%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S; 90 % or more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
適宜対応ですが、確実さのため、まずは、メールにて連絡してください。
Walk-in basis; giving me an email first would be the best way to reach out.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
English Grammar

(B1033024a)英語 Listening & Speaking Ⅰ[English Listening & Speaking 1]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅰ[English Listening & Speaking 1]				
時間割番号	B1033024a	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	月 1～1	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B1
担当教員[ローマ字表記]	Kurt Howard SchultzKurt Howard Schultz				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English. This class will focus on developing speaking skills using the grammar and vocabulary the student has already become comfortable with. Students will be encouraged to generate their presentations using English only. Translation from Japanese is strongly discouraged.

授業の内容

Class 1 Introduction. Start viewing movie with English subtitles only.
Class 2 Continue movie
Class 3 1st listening activity. Prepare presentations
Class 4 Continue presentations preparation
Class 5 Give presentations. 2nd listening activity
Class 6 Prepare presentations
Class 7 Give presentations. 3rd listening activity
Class 8 Prepare presentations
Class 9 Give presentations. 4th listening activity
Class 10 Prepare presentations
Class 11 Give presentations. 5th listening activity
Class 12 Prepare presentations
Class 13 Give presentations. 6th listening activity
Class 14 Prepare presentations
Class 15 Give presentations. Concluding activity

予習・復習内容

Students will be expected to review their work from the previous week in order to be prepared for their presentations. Students will also take part in judging other students' presentation for review.

関連科目

教科書 1	書名	No text			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Presentations 60%
Worksheets 20%
Participation 20% の割合で総合的に評価する。

S:達成目標をすべて達成しており, かつ上記総合評価の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

Assessment will be based on Presentations 60%

Worksheets 20%
Participation 20%

Students will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points above, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points above, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード

(B1033024b)英語 Listening & Speaking Ⅰ[English Listening & Speaking 1]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅰ[English Listening & Speaking 1]				
時間割番号	B1033024b	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	月 1～1	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B1
担当教員[ローマ字表記]	Davey Charles GodfreyDavey Charles Godfrey				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

To develop skills required for effective listening and speaking, including pronunciation and the rhythm of English. To use those skills in effective argument and debate.

授業の内容

There will be 15 lessons based on the textbook. The lessons will include regular tests based on the materials, as well as in-class requirements such as short presentations individually or in small groups. The lessons will include a review of the term, an exam, and an exam review.

予習・復習内容

Students will be given the names of two apps to download - WNYC and the BBC - to listen to and practice their speaking. These stations provide exposure to both British English and North American English. I will do my best to make available online audio for the textbooks and video where possible.

関連科目

Almost every subject has an English language component and I encourage students to bring any difficulties or problems to class.

教科書 1	書名	Pathways: Listening, Speaking, and Critical Thinking. Book Three (3)			ISBN	9781337562539
	著者名	Becky Tarver Chase and Kristin L. Johannsen	出版社	National Geographic /Cengage Learning	出版年	2018

教科書に関する補足事項

Excellent series with varied content

参考書 1	書名	Clear Speech: Pronunciation and Listening Comprehansion in North American English			ISBN	978-0-521-54354-5
	著者名	Judy B. Gilbert	出版社	Cambridge University Press	出版年	2012

参考書に関する補足事項

Brilliant exposition of the way English is spoken and makes the point that to listen and speak require an understanding of the rhythms of English.

達成目標

Listening.

To develop the skills for effective listening and responding.

to be able to talk about details in the passage and discuss its meaning.

Speaking.

To be able to construct an argument quickly and coherently. To present an argument in a logical format.

Both: to speak clearly and correctly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Evaluation is based on periodic tests, an end of semester exam, and class participation

Reading comprehension: 30%
Writing test: 30%
Class assignments/participation: 20%
Power Words: 30%

Students will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points above, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points above, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 60 or higher (out of 100 points).

Grade: S = 90%+
A = 80%+
B = 70%+
C = 60%+
D = 59%- (rejection)

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
The exam will be split between the Listening portion and the Speaking portion.
No dictionaries will be allowed in the Listening portion. A passage will be
played and there will be questions on it. The rest of the paper will be based
on work covered in class particularly looking at parts of speech.
Students will be asked to give prepare and give a presentation that is
coherent, logical, and well spoken.
All material will be taken from class work.

その他
At the start of the semester I will give my students my email and encourage
them to use it if they have difficulties. Students should only use English
in class, in their note taking and their conversations. Thye should understand
that they have limited opportunities to use English, and to learn to understand English
they need to think in English.

ウェルカムページ
www.charlesdaveybooks.com is my website. I have a number of books on architecture and design

I also have a Facebook page that they can access: Learn English With Charles

オフィスアワー
The days of the lesson, and by request.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
All the below, as well as conveying a sense of English culture and cultural thinking.

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033025a)英語 Listening & Speaking Ⅱ[English Listening & Speaking 2]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅱ[English Listening & Speaking 2]				
時間割番号	B1033025a	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	月 1～1	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B1
担当教員[ローマ字表記]	Kurt Howard SchultzKurt Howard Schultz				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English. This class will continue in the same manner from Spring Semester. Students will work on developing their English speaking skills through presentations.

授業の内容

Class 1 Introduction. Start viewing movie.
Class 2 Continue movie.
Class 3 1st listening activity. Related discussion topic.
Class 4 2nd listening activity. Related discussion topic.
Class 5 3rd listening activity. Related discussion topic.
Class 6 Presentation preparation chosen from discussion topics.
Class 7 Continued preparations
Class 8 Presentations
Class 9 4th listening activity. Related discussion topic.
Class 8 5th listening activity. Related discussion topic.
Class 10 6th listening activity. Related discussion topic.
Class 11 7th listening activity. Related discussion topic.
Class 12 Presentation preparation chosen from discussion topics.
Class 13 Continued preparations.
Class 14 Presentations.
Class 15 Concluding activities.
Class 1 Introduction. Start viewing movie.
Class 2 Continue movie.
Class 3 1st listening activity. Related discussion topic.
Class 4 2nd listening activity. Related discussion topic.
Class 5 3rd listening activity. Related discussion topic.
Class 6 Presentation preparation chosen from discussion topics.
Class 7 Continued preparations
Class 8 Presentations
Class 9 4th listening activity. Related discussion topic.
Class 8 5th listening activity. Related discussion topic.
Class 10 6th listening activity. Related discussion topic.
Class 11 7th listening activity. Related discussion topic.
Class 12 Presentation preparation chosen from discussion topics.
Class 13 Continued preparations.
Class 14 Presentations.
Class 15 Concluding activities.

予習・復習内容

Students will be expected to review their earlier work in order to prepare for presentations. They will also review their work by taking part in evaluating the presentations of other students.
Students will be expected to review their earlier work in order to prepare for presentations. They will also review their work by taking part in evaluating the presentations of other students.

関連科目

教科書 1	書名	No text			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Presentations 60%
Worksheets 20%
Participation 20%の割合で総合的に評価する。

S:達成目標をすべて達成しており，かつ上記総合評価の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

Assessment will be based on Presentations 60%
Worksheets 20%
Participation 20%

Students will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points above, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points above, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033025b)英語 Listening & Speaking Ⅱ[English Listening & Speaking 2]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅱ[English Listening & Speaking 2]				
時間割番号	B1033025b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	Davey Charles GodfreyDavey Charles Godfrey				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

To develop skills required for effective listening and speaking, including pronunciation and the rhythm of English. To use those skills in effective argument and debate. To increase the student's ability to listen effectively, and express him/herself cogently and clearly.

授業の内容

There will be 15 lessons based on the textbook. The lessons will include regular tests based on the materials, as well as in-class requirements such as short presentations individually or in small groups. The lessons will include a review of the term, an exam, and an exam review.

予習・復習内容

Students will be given the names of two apps to download - WNYC and the BBC - to listen to and practice their speaking. These stations provide exposure to both British English and North American English. I will do my best to make available online audio for the textbooks and video where possible.

関連科目

Almost every subject has an English language component and I encourage students to bring any difficulties or problems to class.

教科書 1	**書名**	Let's Talk, Level 2			**ISBN**	978-0521692847
	著者名	Leo Jones	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2007

教科書に関する補足事項

Systematic presentation of structures and vocabulary, good focus on communication activities, and a review section after every four units. The self-study section includes grammar, listening, and vocabulary practice. Has a self-study CD.

参考書 1	**書名**	Clear Speech: Pronunciation and Listening Comprehansion in North American English			**ISBN**	978-0-521-54354-5
	著者名	Judy B. Gilbert	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2012

参考書に関する補足事項

Brilliant exposition of the way English is spoken and makes the point that to listen and speak require an understanding of the rhythm of English.

達成目標

Listening.

To develop the skills for effective listening and responding.

to be able to talk about details in the passage and discuss its meaning.

Speaking.

To be able to construct an argument quickly and coherently. To present an argument in a logical format.

Both: to speak clearly and correctly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Evaluation is based on periodic tests, an end of semester exam, and class participation

Exam: 60%
Tests: 20%
Class assignments/participation: 20%

Students will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points above, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points above, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 60 or higher (out of 100 points).

Grade: S = 90%+
A = 80%+
B = 70%+
C = 60%+
D = 59%- (rejection)

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

The exam will be split between the Listening portion and the Speaking portion.
No dictionaries will be allowed in the Listening portion. A passage will be played and there will be questions on it. The rest of the paper will be based on work covered in class particularly looking at parts of speech.
Students will be asked to give prepare and give a presentation that is coherent, logical, and well spoken.
All material will be taken from class work.

その他

At the start of the semester I will give my students my email and encourage them to use it if they have difficulties. Students should only use English in class, in their note taking and their conversations. They should understand that they have limited opportunities to use English, and to learn to understand English they need to think in English.

ウェルカムページ

www.charlesdaveybooks.com is my website. I have a number of books on architecture and design

I also have a Facebook page that they can access: Learn English With Charles

オフィスアワー

The days of the lesson, and by request.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
All the below, as well as conveying a sense of English culture and cultural thinking.

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033025c)英語 Listening & Speaking Ⅱ[English Listening & Speaking 2]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅱ[English Listening & Speaking 2]				
時間割番号	B1033025c	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	吉川　りさ YOSHIKAWA Lisa				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

第1週：オリエンテーション、実力診断
第2週：単語の調音 1；英語で Presentation (1a)
第3週：単語の調音 2；英語で Presentation (1b)
第4週：単語の調音 3；英語で Presentation (1c)
第5週：単語の調音 4；ポーズ 1
第6週：単語の調音 5；ポーズ 2
第7週：単語の調音 6；文強勢 1
第8週：単語の調音 7；文強勢 2
第9週：単語の調音 8；リズム
第10週：単語の調音 9；単語強勢；中間試験
第11週：単語の調音 10；英語で Presentation (2a)
第12週：英語で Presentation (2b)
第13週：英語で Presentation (2c)
第14週：英語で Presentation (2d)
第15週：英語で Presentation (2e)
第16週：期末試験

Week 1: Orientation and assessment
Week 2: Manner of articulation 1; Presentations in English 1a
Week 3: Manner of articulation 2; Presentations in English 1b
Week 4: Manner of articulation 3; Presentations in English 1c
Week 5: Manner of articulation 4; Pause 1
Week 6: Manner of articulation 5; Pause 2
Week 7: Manner of articulation 6; Sentence stress 1
Week 8: Manner of articulation 7; Sentence stress 2
Week 9: Manner of articulation 8; Rhythm
Week 10: Manner of articulation 9; Lexical stress; Mid-term exam
Week 11: Manner of articulation 10; Presentations in English (2a)
Week 12: Presentations in English (2b)
Week 13: Presentations in English (2c)
Week 14: Presentations in English (2d)
Week 15: Presentations in English (2e)
Week 16: Final exam

予習・復習内容

毎授業時に課される課題を通して学習内容を復習し、知識の定着を図ること。

Reflect each lecture via weekly assignments and aim at understanding.

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書は使用しません。プリント・資料を毎授業時に配布します。
英語の単語の意味や発音、アクセント情報などをその場で調べれられる（電子）辞書を毎授業時に持参してください。

No textbooks will be used; Handouts and other materials will be given in every class.
Bring your own (electronic) dictionaries every class to look up for meanings, pronunciations, and lexical stress patterns.

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英語を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：中間・期末試験 60%、課題 30%、授業への貢献度 10%で評価する。

総合的な評価基準：

S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上

A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上

B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上

C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出欠の取り扱いについては、4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the mid-term and term exams (60%), weekly assignments (30%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:

S: 90% or above (out of 100 points)

A: 80～89 (out of 100 points)

B: 70～79 (out of 100 points)

C: 60～69 (out of 100 points)

B4 only

A: 80 or higher

B: 65-79

C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

適宜対応ですが、確実さのため、まずは、メールにて連絡してください。

Walk-in basis; giving me an email first would be the best way to reach out.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程

（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

情報・知能工学課程

（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

環境・生命工学課程

（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

建築・都市システム学課程

(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033025d)英語 Listening & Speaking Ⅱ[English Listening & Speaking 2]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅱ[English Listening & Speaking 2]				
時間割番号	B1033025d	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	毛利　雅子 MOURI Masako				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

第1週　オリエンテーション、Unit 1
第2週　Unit 1-2
第3週　Unit 3-4
第4週　Unit 5-6
第5週　Unitt 7-8
第6週　Unit 9-10
第7週　中間見直し
第8週　Unit 11-12
第9週　Unit 13-14
第 10 週　Unit 15-16
第 11 週　Unit 17-18
第 12 週　Unit 19-20
第 13 週　キャッチアップ
第 14 週　プレゼンテーション
第 15 週　プレゼンテーション
定期試験 リスニング
Week 1　Introduction、Unit 1
Week 2　Unit 1-2
Week 3　Unit 3-4
Week 4　Unit 5-6
Week 5　Unit 7-8
Week 6　Unit 9-10
Week 7　Catch-up
Week 8　Unit 11-12
Week 9　Unit 13-14
Week 10 Unit 15-16
Week 11 Unit 17-18
Week 12 Unit 19-20
Week 13 Catch-up
Week 14 Presentation
Week 15 Presentation
Week 16　Final Exam (Listening)

予習・復習内容

毎週の学習内容を復習するとともに、次週の学習内容についてテキストに目を通してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	English Listening and Speaking Patterns 1			**ISBN**	9784523178422
	著者名	Andrew E. Bennett	**出版社**	南雲堂	**出版年**	2017

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英語を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験（リスニング）30%、ディスカッション／グループ発表（スピーキング）50%、およびスピーキングテスト（20%）の割合で評価する。
上記の点数を足したうえで、
S：合計点が 90 点以上
A：合計点が 80 点以上
B：合計点が 70 点以上
C：合計点が 60 点以上

また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明する。
Students will be evaluated according to the term exam for listening (30%), discussion/Group presentation for speaking (50%) and TOEIC Speaking Test (20%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英語、リスニング、スピーキング
English, Listening, Speaking

(B1033026A)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026A	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Gabriel Fernandez, 英語科責任教員 Gabriel Fernandez, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまで身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方にふれる

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English. (E)

授業の内容

In this course, students will learn and practice the basic skills required to make effective presentations on topics of interest. In achieving these goals, students will also become familiar with the use of presentation software, such as PowerPoint.

Requirements: TOEIC(R) IP score 500 or above
Only students who take the placement test during the 1st week of April and attend the 4th-year class orientation (a-e classes) the first day of class will be eligible for enrollment.
Maximum class size: 20 students

Students are required to read each chapter and watch the DVD before attending classes.
You will also have to prepare a presentation by the date you have been assigned.

Week 1. Self Introduction
Week 2. How to Make Oral Presentations
Week 3. How to Write a Good PowerPoint Presentation
Week 4. How to Make a Good Impression During a Presentation
Week 5. Introducing Yourself "Model Presentation"
Week 6. Introducing Yourself "Model Presentation"
Week 7. The Global Peace Index
Week 8. The Global Peace Index
Week 9. Japan's Global Responsibility and Student's Presentation
Week 10. Model Presentation and Student's Presentation
Week 11. Catch up / make up / review "Student's Presentation"
Week 12. Social Networking and Student's Presentation
Week 13. Social Networking and Student's Presentation
Week 14. UNESCO and Student's Presentation
Week 15. UNESCO and Student's Presentation
Week 16. Final Exam

In this course, students will learn and practice the basic skills required to make effective presentations on topics of interest. In achieving these goals, students will also become familiar with the use of presentation software, such as PowerPoint.

Requirements: TOEIC(R) IP score 500 or above
Only students who take the placement test during the 1st week of April and attend the 4th-year class orientation (a-e classes) the first day of class will be eligible for enrollment.
Maximum class size: 20 students

Students are required to read each chapter and watch the DVD before attending classes.

You will also have to prepare a presentation by the date you have been assigned.

Week 1. Self Introduction
Week 2. How to Make Oral Presentations
Week 3. How to Write a Good PowerPoint Presentation
Week 4. How to Make a Good Impression During a Presentation
Week 5. Introducing Yourself "Model Presentation"
Week 6. Introducing Yourself "Model Presentation"
Week 7. The Global Peace Index
Week 8. The Global Peace Index
Week 9. Japan's Global Responsibility and Student's Presentation
Week 10. Model Presentation and Student's Presentation
Week 11. Catch up / make up / review "Student's Presentation"
Week 12. Social Networking and Student's Presentation
Week 13. Social Networking and Student's Presentation
Week 14. UNESCO and Student's Presentation
Week 15. UNESCO and Student's Presentation
Week 16. Final Exam

予習・復習内容

関連科目
Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	Presentation Workshop: Oral Communication for Academic Purposes			**ISBN**	978-4-7647-3929-1 C1
	著者名	Craig Smith, 坪田康, 石川 保茂, 壇辻正剛	**出版社**	株式会社 金星堂	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
The goal of this class is that students will become familiar with the use of presentation software, such as power point. At the end of this course, the students will be able to Give a Successful Presentation.
The goal of this class is that students will become familiar with the use of presentation software, such as power point. At the end of this course, the students will be able to Give a Successful Presentation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
Grades will be based on presentations classwork (50%), Speaking TOEIC test (20%) and Final exam (30%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

Grades will be based on presentations classwork (50%), Speaking TOEIC test (20%) and Final exam (30%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%

C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
B棟 1 階非常勤講師室
B棟 1 階非常勤講師室

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
授業の前後
授業の前後

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one’s own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one’s own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one’s own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033026B)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026B	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Ryan Eugene, 英語科責任教員 RYAN Eugene, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ, これまで身につけた英語をさらに強化する。また, 英語を媒介として世界のさまざまな文化, ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

In this class the students will learn how to take the English they already know and to communicate smoothly in a live situation. They will learn how to smoothly exchange ideas and opinions while checking both that they understand and are understood. The course includes a cultural aspect of encouraging vigorous debate and clear expression of one's own ideas. There will be regular homework, usually preparing simple written opinions on a given topic to be discussed in class.

Weeks:
1-2. Basic Communication skills: expressing opinions and agreeing /disagreeing
3. Theme 1 : vocabulary / opinions
4. Group discussion of theme 1.
5. How to express your opinion.
6. Theme 2 : vocabulary / opinions
7. Group discussion of theme 2.
8. Checking understanding
9. Theme 3 : vocabulary / opinions
10. Group discussion of theme 3.
11. Signals and fillers
12. Theme 4 : vocabulary / opinions
13. Group discussion of theme 4.
14. Theme 5 : vocabulary / opinions
15. Group discussion of theme 5.
16. Final Exam

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

All materials will be provided by your teacher.

参考書に関する補足事項

達成目標

Students will gain confidence that they can communicate purposefully and enjoyably in English with the language skills they already possess.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法： 期末テスト 30%、小テスト・課題等 50%, TOEIC speaking listening test 20%

S：90 点以上
A：80 点以上
B：70 点以上
C：60 点以上

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Room: B-512
Tel. : 44-6960

ウェルカムページ

オフィスアワー
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
conversation

(B1033026C)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026C	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Levin David Michael, 英語科責任教員 Levin David Michael, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1 Course Introduction, Unit 1

Week 2 Unit 1

Week 3 Unit 1

Week 4 Unit 1 / 2

Week 5 Unit 2

Week 6 Unit 2

Week 7 Unit 2

Week 8 Quiz, Review

Week 9 Unit 3

Week 10 Unit 3

Week 11 Unit 3

Week 12 Unit 3 / 4

Week 13 Unit 4

Week 14 Unit 4

Week 15 Unit

Week 16 Term Exam

Week 1 Course Introduction, Unit 1

Week 2 Unit 1

Week 3 Unit 1

Week 4 Unit 1 / 2

Week 5 Unit 2

Week 6 Unit 2

Week 7 Unit 2

Week 8 Quiz, Review

Week 9 Unit 3

Week 10 Unit 3

Week 11 Unit 3

Week 12 Unit 3 / 4

Week 13 Unit 4

Week 14 Unit 4

Week 15 Unit

Week 16 Term Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	Unlock, Listening & Speaking Skills 2			**ISBN**	978-1-107-68232-0
	著者名	Stephanie Dimond-Bayir	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1. To develop English listening and speaking skills. Above all, this course focuses on obtaining the ability comprehend the spoken material and express oneself with a measure of confidence.
2. To increase vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

1. To develop English listening and speaking skills. Above all, this course focuses on obtaining the ability comprehend the spoken material and express oneself with a measure of confidence.
2. To increase vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末テスト60%，TOEIC Speaking テスト20%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。

B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

Students will be evaluated according to the term exam (60%), TOEIC Speaking Test (20%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
Drop-in basis
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方

自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

English, Listening and Speaking
English, Listening and Speaking

(B1033026D)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026D	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	火 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Davey Charles Godfrey, 英語科責任教員 Davey Charles Godfrey, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。
With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.
To give students an understanding of the skills required for effective
listening and speaking,including pronunciation and the rhythm of English.

授業の内容

There will be 15 lessons. The lessons will include regular tests based on the
materials, as well as in-class requirements such as short presentations
individually or in small groups. The lessons will include a review of
the term, an exam, and an exam review.

予習・復習内容

Students will be given the names of two apps to download - WNYC, or New York public radio, and the BBC - to
listen to and practice their speaking. These stations provide exposure to both British English and
North American English. I will do my best to make available online audio

関連科目

Almost every subject has an English language component and I encourage students to bring any difficulties or problems to class.

教科書 1	書名	Pathways: Listening, Speaking, and Critical Thinking. Book 1			ISBN	9781337562515
	著者名	Becky Tarver Chase; Kristin L. Johannsen; Paul MacIntyre; Kathy Najafi; Cyndy Fettig	出版社	National Geographic Learning/ Cengage	出版年	2018

教科書に関する補足事項

Well written, varied contents.

参考書 1	書名	Clear Speech from the Start Student's Book: Basic Pronunciation and Listening Comprehension in North American English			ISBN	978-1107687158
	著者名	Judy B. Gilbert	出版社	Cambridge University Press	出版年	2012

参考書に関する補足事項

Brilliant exposition of the way English is spoken and makes the point that to
listen and speak require an understanding of the rhythms of English.

達成目標

Listening.
To identify the gist of a passage and understand its construction, and
to be able to talk about details in the passage and discuss its meaning.

Speaking. To be able to construct an argument quickly and coherently. To
present an argument in a logical format.

Both: to speak clearly and correctly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Evaluation is based on periodic tests, an end of semester exam, and class participation

Exam: 60%
TOEIC Speaking: 20%
Class assignments/participation: 20%

Grade: S = 90%+
A = 80%+
B = 70%+
C = 60%+
D = 59%- (rejection)

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

The exam will be split between the Listening portion and the Speaking portion.
No dictionaries will be allowed in the Listening portion. A passage will be played and there will be questions on it. The rest of the paper will be based on work covered in class particularly looking at parts of speech.
Students will be asked to give prepare and give a presentation that is coherent, logical, and well spoken.
All material will be taken from class work.

その他

At the start of the semester I will give my students my email and encourage them to use it if they have difficulties. Students should only use English in class, in their note taking and their conversations. They should understand that they have limited opportunities to use English, and to learn to understand English they need to think in English.

ウェルカムページ

www.charlesdaveybooks.com is my website. I have a number of books on architecture and design

I also have a Facebook page that they can access: Learn English With Charles

オフィスアワー

The days of the lesson, and by request.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033026E)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026E	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	梶浦　眞由美, 英語科責任教員 KAJIURA Mayumi, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

1. オリエンテーションと TOEIC のリスニング＆単語テスト
2. TOEIC プラクティス1、Double Take Unit 1
3. TOEIC プラクティス2、Double Take Unit 2
4. TOEIC プラクティス3、Double Take Unit 3
5. TOEIC プラクティス4、Double Take Unit 4
6. TOEIC プラクティス5、Double Take Unit 5
7. TOEIC プラクティス6、Double Take Unit 6
8. TOEIC 復習テスト Double Take Unit 7
9. TOEIC プラクティス7、Double Take Unit 8
10. TOEIC プラクティス8、リスニングスキル
11. TOEIC プラクティス9、リスニングスキル ロールプレイ
12. TOEIC プラクティス10、プレゼンテーション構成
13. TOEIC プラクティス11、プレゼンテーション表現練習
14. TOEIC プラクティス12、サマリー
15. グループプレゼンテーション
16. 定期試験

1. Orientation and TOEIC listening & Word test
2. TOEIC Practice1& Double Take Unit 1
3. TOEIC Practice 2 & Double Take Unit 2
4. TOEIC Practice 3 & Double Take Unit 3
5. TOEIC Practice 4 & Double Take Unit 4
6. TOEIC Practice 5 & Double Take Unit 5
7. TOEIC Practice 6 & Double Take Unit 6
8. TOEIC Review Quiz & Double Take Unit 7
9. TOEIC Practice 7 & Double Take Unit 8
10. TOEIC Practice 8 & Listening Skills
11. TOEIC Practice 9 & Listening Skills Role Play
12. TOEIC Practice 10 & Organizing the Presentation
13. TOEIC Practice 11 & Expressions for the Presentation
14. TOEIC Practice 12 & Summary.
15. Group Presentations.
16. Final Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考にして予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	リスニングで学ぶパラグラフ・リーディング	**ISBN**	4-523-17482-2

	著者名	デイビッド A.ミラー 著；水田和生注釈	出版社	南雲堂	出版年	2006

教科書に関する補足事項
TOEIC 演習プリントやプレゼンテーションマテリアルを授業時に配布する予定
TOEIC practice worksheets and materials for presentations will be handed out.

参考書に関する補足事項

達成目標
1.英語を聴く力及び話す力を養う。特に,文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末テスト(30%)の点数に小テスト・課題(20%)、授業の貢献度(30%)、TOEIC スピーキングテスト(20%)の点数を足したものを総合的に評価し、90 点以上を S、89~80 点を A、79~70 点を B、60~60 点を C とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また、出席と欠席の取扱については、4 月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam (30%), short quizzes, other assignment (20%),contribution to the class (30%) and TOEIC speaking test (20%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

The term exam covers all the contents listed in " Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
TOEIC の既習のリスニング。語彙の問題から出題

Review test of TOEIC listening and vocabularies

その他
連絡方法は初回の授業時に説明。グループワークでは協力して積極的に課題に取り組んでください。

Contact information will be provided in the first class.
For group work, please participate in the discussion and cooperate with your partners with enthusiasm.

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードす

るコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033026F)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026F	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	川名　真弓, 英語科責任教員 KAWANA Mayumi, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

1 授業の概要説明　導入
2 Unit 1 May I help you ?
3 Unit 2 What do you do on the weekend ?
4 Unit 3 That sounds interesting !
5 Unit 4 I'm not feeling well.
6 Unit 5 You shouldn't step there.
7 Unit 6 Why don't we buy potatoes, too ?
8 Unit 7 Would 5pm be convenient for you ?
9 Unit 8 I'll have to pass.
10 Unit 9 I have an idea.
11 Unit10 Could you do me a favor ?
12 Unit11 I thnk you could explain this more.
13 Unit12 I don't get what you mean.
14 Unit13 I'm so sorry to hear that.
15 Unit14 That's not what I meant.
16 定期試験
1 Introduction
2 Unit 1 May I help you ?
3 Unit 2 What do you do on the weekend ?
4 Unit 3 That sounds interesting !
5 Unit 4 I'm not feeling well.
6 Unit 5 You shouldn't step there !
7 Unit 6 Why don't we buy potatoes, too ?
8 Unit 7 Would 5pm be convenient for you ?
9 Unit 8 I'll have to pass.
10 Unit 9 I have an idea.
11 Unit 10 Could you do me a favor ?
12 Unit 11 I think you could explain this more.
13 Unit 12 I don't get what you mean.
14 Unit 13 I'm so sorry to hear that.
15 Unit 14 That's not what I mean
16 Examination

予習・復習内容

テキストを通読し、意味の分からない語を辞書で調べておく。また Cross-Cultural Understanding を予習しておく。

Read the textbook and look over the words which you cannot understand. Prepare Cross-Cultural Understanding.

関連科目

英語 Reading & Writing Ⅲ
English Reading & Writing Ⅲ

教科書 1	**書名**	Must-Have English Skills for Global Communication			**ISBN**	978-4-7647-4059-4
	著者名	Shinichi Shibata	**出版社**	金星堂	**出版年**	2018

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英語を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

TOEIC スピーキングテスト 20%　小テスト 40%　　定期試験　40%　　左記の割合で、総合的に評価する。小テストと定期試験の点数を足したものが 90 点以上を S，89～80 点を A，79～70 点を B,69～60 点を C とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

TOEIC Speaking test 20%　Mini tests　40 %　　Examination　40%　　Students will be evaluated according to the total score.

Grade distribution:
S: 90%　or above
A: 89-80 %
B: 79-70%
C: 69-60%
D: Under 59%

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

環境・生命工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

建築・都市システム学課程

(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033026G)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026G	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉川　りさ, 英語科責任教員 YOSHIKAWA Lisa, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

第1週:オリエンテーション、実力診断
第2週:単語の調音 1;英語で Presentation (1a)
第3週:単語の調音 2;英語で Presentation (1b)
第4週:単語の調音 3;英語で Presentation (1c)
第5週:単語の調音 4;ポーズ 1
第6週:単語の調音 5;ポーズ 2
第7週:単語の調音 6;文強勢 1
第8週:単語の調音 7;文強勢 2
第9週:単語の調音 8;リズム
第10週:単語の調音 9;単語強勢;中間試験
第11週:単語の調音 10;英語で Presentation (2a)
第12週:英語で Presentation (2b)
第13週:英語で Presentation (2c)
第14週:英語で Presentation (2d)
第15週:英語で Presentation (2e)
第16週:期末試験

Week 1: Orientation and assessment
Week 2: Manner of articulation 1; Presentations in English 1a
Week 3: Manner of articulation 2; Presentations in English 1b
Week 4: Manner of articulation 3; Presentations in English 1c
Week 5: Manner of articulation 4; Pause 1
Week 6: Manner of articulation 5; Pause 2
Week 7: Manner of articulation 6; Sentence stress 1
Week 8: Manner of articulation 7; Sentence stress 2
Week 9: Manner of articulation 8; Rhythm
Week 10: Manner of articulation 9; Lexical stress; Mid-term exam
Week 11: Manner of articulation 10; Presentations in English (2a)
Week 12: Presentations in English (2b)
Week 13: Presentations in English (2c)
Week 14: Presentations in English (2d)
Week 15: Presentations in English (2e)
Week 16: Final exam

予習・復習内容

毎授業時に課される課題を通して学習内容を復習し、知識の定着を図ること。

Reflect each lecture via weekly assignments and aim at understanding.

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書は使用しません。プリント・資料を毎授業時に配布します。
英語の単語の意味や発音、アクセント情報などをその場で調べれられる(電子)辞書を毎授業時に持参してください。

No textbooks will be used; Handouts and other materials will be given in every class.
Bring your own (electronic) dictionaries every class to look up for meanings, pronunciations, and lexical stress patterns.

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英語を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：中間・期末試験 50%、課題 20%、TOEIC Speaking 20%、授業への貢献度 10%で評価する。

総合的な評価基準：

S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上

A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上

B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上

C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

4 年次生に対する評価基準：

A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上

B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上

C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出欠の取り扱いについては、4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the mid-term and term exams (50%), weekly assignments (20%), TOEIC Speaking (20%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:

S: 90% or above (out of 100 points)

A: 80～89 (out of 100 points)

B: 70～79 (out of 100 points)

C: 60～69 (out of 100 points)

B4 only

A: 80 or higher (out of 100 points)

B: 65-79 (out of 100 points)

C: 55-64 (out of 100 points)

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

適宜対応ですが、確実さのため、まずは、メールにて連絡してください。

Walk-in basis; giving me an email first would be the best way to reach out.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

環境・生命工学課程

（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

建築・都市システム学課程

(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033026H)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026H	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	毛利　雅子, 英語科責任教員 MOURI Masako, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

第1週　オリエンテーション、Unit 1
第2週　Unit 1-2
第3週　Unit 3-4
第4週　Unit 5-6
第5週　Unitt 7-8
第6週　Unit 9-10
第7週　中間見直し
第8週　Unit 11-12
第9週　Unit 13-14
第 10 週　Unit 15-16
第 11 週　Unit 17-18
第 12 週　Unit 19-20
第 13 週　キャッチアップ
第 14 週　プレゼンテーション
第 15 週　プレゼンテーション
定期試験 リスニング
Week 1　Introduction、Unit 1
Week 2　Unit 1-2
Week 3　Unit 3-4
Week 4　Unit 5-6
Week 5　Unit 7-8
Week 6　Unit 9-10
Week 7　Catch-up
Week 8　Unit 11-12
Week 9　Unit 13-14
Week 10 Unit 15-16
Week 11 Unit 17-18
Week 12 Unit 19-20
Week 13 Catch-up
Week 14 Presentation
Week 15 Presentation
Week 16　Final Exam (Listening)

予習・復習内容

毎週の学習内容を復習するとともに、次週の学習内容についてテキストに目を通してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	English Listening and Speaking Patterns 3			**ISBN**	9784523178446
	著者名	Andrew E. Bennett	**出版社**	南雲堂	**出版年**	2017

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英語を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験（リスニング）30%、ディスカッション／グループ発表（スピーキング）50%，TOEIC Speaking Test 20% の割合で評価する。
上記の点数を足したうえで、
S：合計点が 90 点以上
A：合計点が 80 点以上
B：合計点が 70 点以上
C：合計点が 60 点以上

B4 のみ
A：合計点が 80 点以上
B：合計点が 65-79 点
C：合計点が 55-64 点

また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明する。
Students will be evaluated according to the term exam for listening (30%), discussion/Group presentation for speaking (50%) and TOEIC Speaking Test (20%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英語、リスニング、スピーキング
English, Listening, Speaking

(B1033026a)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Gabriel Fernandez, 英語科責任教員 Gabriel Fernandez, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまで身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方にふれる

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English. (E)

授業の内容

In this course, students will learn and practice the basic skills required to make effective presentations on topics of interest. In achieving these goals, students will also become familiar with the use of presentation software, such as PowerPoint.

Requirements: TOEIC(R) IP score 500 or above
Only students who take the placement test during the 1st week of April and attend the 4th-year class orientation (a-e classes) the first day of class will be eligible for enrollment.
Maximum class size: 20 students

Students are required to read each chapter and watch the DVD before attending classes.
You will also have to prepare a presentation by the date you have been assigned.

Week 1. Self Introduction
Week 2. How to Make Oral Presentations
Week 3. How to Write a Good PowerPoint Presentation
Week 4. How to Make a Good Impression During a Presentation
Week 5. Introducing Yourself "Model Presentation"
Week 6. Introducing Yourself "Model Presentation"
Week 7. The Global Peace Index
Week 8. The Global Peace Index
Week 9. Japan's Global Responsibility and Student's Presentation
Week 10. Model Presentation and Student's Presentation
Week 11. Catch up / make up / review "Student's Presentation"
Week 12. Social Networking and Student's Presentation
Week 13. Social Networking and Student's Presentation
Week 14. UNESCO and Student's Presentation
Week 15. UNESCO and Student's Presentation
Week 16. Final Exam

In this course, students will learn and practice the basic skills required to make effective presentations on topics of interest. In achieving these goals, students will also become familiar with the use of presentation software, such as PowerPoint.

Requirements: TOEIC(R) IP score 500 or above
Only students who take the placement test during the 1st week of April and attend the 4th-year class orientation (a-e classes) the first day of class will be eligible for enrollment.
Maximum class size: 20 students

Students are required to read each chapter and watch the DVD before attending classes.
You will also have to prepare a presentation by the date you have been assigned.

Week 1.　Self Introduction
Week 2.　How to Make Oral Presentations
Week 3.　How to Write a Good PowerPoint Presentation
Week 4.　How to Make a Good Impression During a Presentation
Week 5.　Introducing Yourself "Model Presentation"
Week 6.　Introducing Yourself "Model Presentation"
Week 7.　The Global Peace Index
Week 8.　The Global Peace Index
Week 9.　Japan's Global Responsibility and Student's Presentation
Week 10.　Model Presentation and Student's Presentation
Week 11.　Catch up / make up / review "Student's Presentation"
Week 12.　Social Networking and Student's Presentation
Week 13.　Social Networking and Student's Presentation
Week 14.　UNESCO and Student's Presentation
Week 15.　UNESCO and Student's Presentation
Week 16.　Final Exam

予習・復習内容

関連科目
Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	Presentation Workshop: Oral Communication for Academic Purposes			**ISBN**	978-4-7647-3929-1 C1
	著者名	Craig Smith, 坪田康, 石川 保茂, 壇辻正剛	**出版社**	株式会社 金星堂	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
The goal of this class is that students will become familiar with the use of presentation software, such as power point. At the end of this course, the students will be able to Give a Successful Presentation.
The goal of this class is that students will become familiar with the use of presentation software, such as power point. At the end of this course, the students will be able to Give a Successful Presentation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64
Grades will be based on presentations classwork (50%), Speaking TOEIC test (20%) and Final exam (30%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

B棟 1 階非常勤講師室

B棟 1 階非常勤講師室

ウェルカムページ

NA

NA

オフィスアワー

授業の前後

授業の前後

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering

(E) Expression and communication ability for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering

(E) Expression and communication ability for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad

キーワード

(B1033026b)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Ryan Eugene, 英語科責任教員 RYAN Eugene, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ, これまで身につけた英語をさらに強化する。また, 英語を媒介として世界のさまざまな文化, ものの見方に触れる。

授業の内容

In this class the students will learn how to take the English they already know and to communicate smoothly in a live situation. They will learn how to smoothly exchange ideas and opinions while checking both that they understand and are understood. The course includes a cultural aspect of encouraging vigorous debate and clear expression of one's own ideas. There will be regular homework, usually preparing simple written opinions on a given topic to be discussed in class.

Weeks:
1-2. Basic Communication skills: expressing opinions and agreeing /disagreeing
3. Theme 1 : vocabulary / opinions
4. Group discussion of theme 1.
5. How to express your opinion.
6. Theme 2 : vocabulary / opinions
7. Group discussion of theme 2.
8. Checking understanding
9. Theme 3 : vocabulary / opinions
10. Group discussion of theme 3.
11. Signals and fillers
12. Theme 4 : vocabulary / opinions
13. Group discussion of theme 4.
14. Theme 5 : vocabulary / opinions
15. Group discussion of theme 5.
16. Final Exam

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

All materials will be provided by your teacher.

参考書に関する補足事項

達成目標

Students will gain confidence that they can communicate purposefully and enjoyably in English with the language skills they already possess.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法： 期末テスト 30%、小テスト・課題等 50%, TOEIC speaking listening test 20%

90 点以上を S, 80 点以上をA、70 点以上をB、60 点以上をCとします。(上記の達成目標を全て含む)

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Room: B-512
Tel. : 44-6960

ウェルカムページ

オフィスアワー
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad

キーワード
conversation

(B1033026c)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026c	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	火 1～1	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Levin David Michael, 英語科責任教員 Levin David Michael, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1 Course Introduction, Unit 1

Week 2 Unit 1

Week 3 Unit 1

Week 4 Unit 1 / 2

Week 5 Unit 2

Week 6 Unit 2

Week 7 Unit 2

Week 8 Quiz, Review

Week 9 Unit 3

Week 10 Unit 3

Week 11 Unit 3

Week 12 Unit 3 / 4

Week 13 Unit 4

Week 14 Unit 4

Week 15 Unit

Week 16 Term Exam

Week 1 Course Introduction, Unit 1

Week 2 Unit 1

Week 3 Unit 1

Week 4 Unit 1 / 2

Week 5 Unit 2

Week 6 Unit 2

Week 7 Unit 2

Week 8 Quiz, Review

Week 9 Unit 3

Week 10 Unit 3

Week 11 Unit 3

Week 12 Unit 3 / 4

Week 13 Unit 4

Week 14 Unit 4

Week 15 Unit

Week 16 Term Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	Unlock, Listening & Speaking Skills 2			**ISBN**	978-1-107-68232-0
	著者名	Stephanie Dimond-Bayir	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1. To develop English listening and speaking skills. Above all, this course focuses on obtaining the ability comprehend the spoken material and express oneself with a measure of confidence.
2. To increase vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

1. To develop English listening and speaking skills. Above all, this course focuses on obtaining the ability comprehend the spoken material and express oneself with a measure of confidence.
2. To increase vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末テスト60%，TOEIC Speaking テスト20%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。

B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

Students will be evaluated according to the term exam (60%), TOEIC Speaking Test (20%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
Drop-in basis
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering (E) Expression and communication ability for success at home and abroad Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
キーワード English, Listening and Speaking English, Listening and Speaking

(B1033026d)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026d	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	火 1～1	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Davey Charles Godfrey, 英語科責任教員 Davey Charles Godfrey, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。
With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.
To give students an understanding of the skills required for effective
listening and speaking,including pronunciation and the rhythm of English.

授業の内容

There will be 15 lessons based on the textbook. The lessons will include regular tests based on the
materials, as well as in-class requirements such as short presentations
individually or in small groups. The lessons will include a review of
the term, an exam, and an exam review.

予習・復習内容

Students will be given the names of two apps to download - WNYC and the BBC - to
listen to and practice their speaking. These stations provide exposure
to both British English and North American English. I will do my best to
make available online audio for the textbooks and video where possible.

関連科目

Almost every subject has an English language component and I encourage students to bring any difficulties or problems to class.

教科書 1	書名	Pathways: Listening, Speaking, and Critical Thinking. Book 1			ISBN	9781337407717
	著者名	Becky Tarver Chase; Kristin L. Johannsen; Paul MacIntyre; Kathy Najafi; Cyndy Fettig	出版社	National Geographic Learning/ Cengage	出版年	2018

教科書に関する補足事項

Well written, varied contents.

参考書 1	書名	Clear Speech from the Start Student's Book: Basic Pronunciation and Listening Comprehension in North American English			ISBN	978-1107687158
	著者名	Judy B. Gilbert	出版社	Cambridge University Press	出版年	2012

参考書に関する補足事項

Brilliant exposition of the way English is spoken and makes the point that to
listen and speak require an understanding of the rhythms of English.

達成目標

Listening.
To develop the skills for effective listening and responding.
to be able to talk about details in the passage and discuss its meaning.
Speaking.
To be able to construct an argument quickly and coherently. To
present an argument in a logical format.
Both: to speak clearly and correctly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Evaluation is based on periodic tests, an end of semester exam, and class participation

Exam: 60%
TOEIC Speaking: 20%
Class assignments/participation: 20%

Grade: S = 90%+
A = 80%+
B = 70%+
C = 60%+
D = 59%- (rejection)
The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

The exam will be split between the Listening portion and the Speaking portion.
No dictionaries will be allowed in the Listening portion. A passage will be played and there will be questions on it. The rest of the paper will be based on work covered in class particularly looking at parts of speech.
Students will be asked to give prepare and give a presentation that is coherent, logical, and well spoken.
All material will be taken from class work.

その他

At the start of the semester I will give my students my email and encourage them to use it if they have difficulties. Students should only use English in class, in their note taking and their conversations. They should understand that they have limited opportunities to use English, and to learn to understand English they need to think in English.

ウェルカムページ

www.charlesdaveybooks.com is my website. I have a number of books on architecture and design

I also have a Facebook page that they can access: Learn English With Charles

オフィスアワー

The days of the lesson, and by request.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

キーワード

(B1033026e)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026e	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	梶浦　眞由美, 英語科責任教員 KAJIURA Mayumi, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

1. オリエンテーションと TOEIC のリスニング＆単語テスト
2. TOEIC プラクティス1、Double Take Unit 1
3. TOEIC プラクティス2、Double Take Unit 2
4. TOEIC プラクティス3、Double Take Unit 3
5. TOEIC プラクティス4、Double Take Unit 4
6. TOEIC プラクティス5、Double Take Unit 5
7. TOEIC プラクティス6、Double Take Unit 6
8. TOEIC 復習テスト Double Take Unit 7
9. TOEIC プラクティス7、Double Take Unit 8
10. TOEIC プラクティス8、リスニングスキル
11. TOEIC プラクティス9、リスニングスキル ロールプレイ
12. TOEIC プラクティス10、プレゼンテーション構成
13. TOEIC プラクティス11、プレゼンテーション表現練習
14. TOEIC プラクティス12、サマリー
15. グループプレゼンテーション
16. 定期試験

1. Orientation and TOEIC listening & Word test
2. TOEIC Practice1& Double Take Unit 1
3. TOEIC Practice 2 & Double Take Unit 2
4. TOEIC Practice 3 & Double Take Unit 3
5. TOEIC Practice 4 & Double Take Unit 4
6. TOEIC Practice 5 & Double Take Unit 5
7. TOEIC Practice 6 & Double Take Unit 6
8. TOEIC Review Quiz & Double Take Unit 7
9. TOEIC Practice 7 & Double Take Unit 8
10. TOEIC Practice 8 & Listening Skills
11. TOEIC Practice 9 & Listening Skills Role Play
12. TOEIC Practice 10 & Organizing the Presentation
13. TOEIC Practice 11 & Expressions for the Presentation
14. TOEIC Practice 12 & Summary.
15. Group Presentations.
16. Final Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考にして予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	リスニングで学ぶパラグラフ・リーディング			**ISBN**	4-523-17482-2
	著者名	デイビッド A.ミラー	**出版社**	南雲堂	**出版年**	2006

		著；水田和生注釈				

教科書に関する補足事項

TOEIC 演習プリントやプレゼンテーションマテリアルを授業時に配布する予定
TOEIC practice worksheets and materials for presentations will be handed out.

参考書に関する補足事項

達成目標

1.英語を聴く力及び話す力を養う。特に,文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末テスト(30%)の点数に小テスト・課題(20%)、授業の貢献度(30%)、TOEIC スピーキングテスト(20%)の点数を足したものを総合的に評価し、90 点以上を S、89~80 点を A、79~70 点を B、60~60 点を C とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また、出席と欠席の取扱については、4 月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam (30%), short quizzes, other assignment (20%),contribution to the class (30%) and TOEIC speaking test (20%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

The term exam covers all the contents listed in " Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

TOEIC の既習のリスニング。語彙の問題から出題

Review test of TOEIC listening and vocabularies

その他

連絡方法は初回の授業時に説明。グループワークでは協力して積極的に課題に取り組んでください。

Contact information will be provided in the first class.
For group work, please participate in the discussion and cooperate with your partners with enthusiasm.

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering (E) Expression and communication ability for success at home and abroad Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
キーワード

(B1033026f)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026f	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	川名　真弓, 英語科責任教員 KAWANA Mayumi, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

1 授業の概要説明、導入
2 Unit 1 May I help you ?
3 Unit 2 What do you do on the weekend ?
4 Unit 3 That sounds interesting !
5 Unit 4 I'm not feeling well.
6 Unit 5 You shouldn't step there !
7 Unit 6 Why don't we buy potatoes, too ?
8 Unit 7 Would 5pm be convenient for you ?
9 Unit 8 I'll have to pass.
10 Unit 9 I have an idea.
11 UNit 10 Could you do me a favor ?
12 Unit 11 I think you could explain this more.
13 Unit 12 I don't get what you mean.
14 Unit 13 I'm so sorry to hear that.
15 UNit 14 That's not what I meant.
16 定期試験
1 Introduction
2 Unit 1 May I help you ?
3 Unit 2 What do you do on the weekend ?
4 Unit 3 That sounds interesting !
5 Unit 4 I'm not feeling well.
6 Unit 5 You shouldn't step there !
7 Unit 6 Why don't you buy potatoes, too ?
8 Unit 7 Would 5pm be convenient for you ?
9 Unit 8 I'll have to pass.
10 Unit 9 I have an idea.
11 Unit 10 Could you do me a favor ?
12 Unit 11 I thnink you could explain this more.
13 Unit 12 I don't get what you mean.
14 Unit 13 I'm so sorry to hear that.
15 Unit 14 That's not what I meant.
15 Examination

予習・復習内容

テキストを通読し、意味の分からない語を辞書で調べておく。また Cross-Cultural Understanding を予習しておく。

Read the textbook and look over the words which you cannot understand. Prepare Cross-Cultural Understanding.

関連科目

英語 Reading & Writing Ⅲ
English reading & Writing Ⅲ

教科書 1	**書名**	Must-Have English Skills for Global Communication			**ISBN**	978-4-7647-4059-4
	著者名	Shinichi Shibata	**出版社**	金星堂	**出版年**	2018

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英語を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

TOEIC スピーキングテスト 20% 小テスト 40% 定期試験 40% 左記の割合で、総合的に評価する。小テストと定期試験の点数を足したものが 90 点以上をS，89～80 点をA，79～70 点をB，点を C とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，４月のオリエンテーションで説明したとおり。

TOEIC Speaking test 20% Mini tests 40 % Examination 40% Students will be evaluated according to the total score.

Grade distribution:
S: 90% or above
A: 89-80 %
B: 79-70%
C: 69-60%
D: Under 59%

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering

(E) Expression and communication ability for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering

(E) Expression and communication ability for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
キーワード

(B1033026g)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026g	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉川　りさ, 英語科責任教員 YOSHIKAWA Lisa, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

第1週:オリエンテーション、実力診断
第2週:単語の調音 1;英語で Presentation (1a)
第3週:単語の調音 2;英語で Presentation (1b)
第4週:単語の調音 3;英語で Presentation (1c)
第5週:単語の調音 4;ポーズ 1
第6週:単語の調音 5;ポーズ 2
第7週:単語の調音 6;文強勢 1
第8週:単語の調音 7;文強勢 2
第9週:単語の調音 8;リズム
第10週:単語の調音 9;単語強勢;中間試験
第11週:単語の調音 10;英語で Presentation (2a)
第12週:英語で Presentation (2b)
第13週:英語で Presentation (2c)
第14週:英語で Presentation (2d)
第15週:英語で Presentation (2e)
第16週:期末試験
Week 1: Orientation and assessment
Week 2: Manner of articulation 1; Presentations in English 1a
Week 3: Manner of articulation 2; Presentations in English 1b
Week 4: Manner of articulation 3; Presentations in English 1c
Week 5: Manner of articulation 4; Pause 1
Week 6: Manner of articulation 5; Pause 2
Week 7: Manner of articulation 6; Sentence stress 1
Week 8: Manner of articulation 7; Sentence stress 2
Week 9: Manner of articulation 8; Rhythm
Week 10: Manner of articulation 9; Lexical stress; Mid-term exam
Week 11: Manner of articulation 10; Presentations in English (2a)
Week 12: Presentations in English (2b)
Week 13: Presentations in English (2c)
Week 14: Presentations in English (2d)
Week 15: Presentations in English (2e)
Week 16: Final exam

予習・復習内容

毎授業時に課される課題を通して学習内容を復習し、知識の定着を図ること。

Reflect each lecture via weekly assignments and aim at understanding.

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書は使用しません。プリント・資料を毎授業時に配布します。
英語の単語の意味や発音、アクセント情報などをその場で調べれられる(電子)辞書を毎授業時に持参してください。
No textbooks will be used; Handouts and other materials will be given in every class.
Bring your own (electronic) dictionaries every class to look up for meanings, pronunciations, and lexical stress patterns.

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 英語を聴く力及び話す力を養う。特に, 文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：中間・期末試験 50%、課題 20%、TOEIC speaking 20%、授業への貢献度 10%で評価する。
総合的な評価基準：
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

4 年次生に対する評価基準：
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出欠の取り扱いについては、４月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the mid-term and term exams (50%), weekly assignments (20%), TOEIC speaking (20%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90% or above (out of 100 points)
A: 80～89 (out of 100 points)
B: 70～79 (out of 100 points)
C: 60～69 (out of 100 points)

B4 only
A: 80 or higher (out of 100 points)
B: 65-79 (out of 100 points)
C: 55-64 (out of 100 points)

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

適宜対応ですが、確実さのため、まずは、メールにて連絡してください。
Walk-in basis; giving me an email first would be the best way to reach out.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering

(E) Expression and communication ability for success at home and abroad Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
キーワード

(B1033026h)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026h	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	毛利　雅子, 英語科責任教員 MOURI Masako, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

第1週　オリエンテーション、Unit 1
第2週　Unit 1-2
第3週　Unit 3-4
第4週　Unit 5-6
第5週　Unitt 7-8
第6週　Unit 9-10
第7週　中間見直し
第8週　Unit 11-12
第9週　Unit 13-14
第 10 週　Unit 15-16
第 11 週　Unit 17-18
第 12 週　Unit 19-20
第 13 週　キャッチアップ
第 14 週　プレゼンテーション
第 15 週　プレゼンテーション
定期試験 リスニング
Week 1　Introduction、Unit 1
Week 2　Unit 1-2
Week 3　Unit 3-4
Week 4　Unit 5-6
Week 5　Unit 7-8
Week 6　Unit 9-10
Week 7　Catch-up
Week 8　Unit 11-12
Week 9　Unit 13-14
Week 10 Unit 15-16
Week 11 Unit 17-18
Week 12 Unit 19-20
Week 13 Catch-up
Week 14 Presentation
Week 15 Presentation
Week 16　Final Exam (Listening)

予習・復習内容

毎週の学習内容を復習するとともに、次週の学習内容についてテキストに目を通してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	English Listening and Speaking Patterns 3			**ISBN**	9784523178446
	著者名	Andrew E. Bennett	**出版社**	南雲堂	**出版年**	2017

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英語を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験（リスニング）30%、ディスカッション／グループ発表（スピーキング）50%，TOEIC Speaking Test 20% の割合で評価する。
上記の点数を足したうえで、
S：合計点が 90 点以上
A：合計点が 80 点以上
B：合計点が 70 点以上
C：合計点が 60 点以上

B4 のみ
A：合計点が 80 点以上
B：合計点が 65-79 点
C：合計点が 55-64 点

また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明する。
Students will be evaluated according to the term exam for listening (30%), discussion/Group presentation for speaking (50%) and TOEIC Speaking Test (20%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering (E) Expression and communication ability for success at home and abroad Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering (E) Expression and communication ability for success at home and abroad Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
キーワード 英語、リスニング、スピーキング English, Listening, Speaking

(B1033026i)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026i	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉川　りさ, 英語科責任教員 YOSHIKAWA Lisa, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

第1週：オリエンテーション、実力診断
第2週：単語の調音 1；英語で Presentation (1a)
第3週：単語の調音 2；英語で Presentation (1b)
第4週：単語の調音 3；英語で Presentation (1c)
第5週：単語の調音 4；ポーズ 1
第6週：単語の調音 5；ポーズ 2
第7週：単語の調音 6；文強勢 1
第8週：単語の調音 7；文強勢 2
第9週：単語の調音 8；リズム
第10週：単語の調音 9；単語強勢；中間試験
第11週：単語の調音 10；英語で Presentation (2a)
第12週：英語で Presentation (2b)
第13週：英語で Presentation (2c)
第14週：英語で Presentation (2d)
第15週：英語で Presentation (2e)
第16週：期末試験

Week 1: Orientation and assessment
Week 2: Manner of articulation 1; Presentations in English 1a
Week 3: Manner of articulation 2; Presentations in English 1b
Week 4: Manner of articulation 3; Presentations in English 1c
Week 5: Manner of articulation 4; Pause 1
Week 6: Manner of articulation 5; Pause 2
Week 7: Manner of articulation 6; Sentence stress 1
Week 8: Manner of articulation 7; Sentence stress 2
Week 9: Manner of articulation 8; Rhythm
Week 10: Manner of articulation 9; Lexical stress; Mid-term exam
Week 11: Manner of articulation 10; Presentations in English (2a)
Week 12: Presentations in English (2b)
Week 13: Presentations in English (2c)
Week 14: Presentations in English (2d)
Week 15: Presentations in English (2e)
Week 16: Final exam

予習・復習内容

毎授業時に課される課題を通して学習内容を復習し、知識の定着を図ること。

Reflect each lecture via weekly assignments and aim at understanding.

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書は使用しません。プリント・資料を毎授業時に配布します。
英語の単語の意味や発音、アクセント情報などをその場で調べれられる（電子）辞書を毎授業時に持参してください。

No textbooks will be used; Handouts and other materials will be given in every class.
Bring your own (electronic) dictionaries every class to look up for meanings, pronunciations, and lexical stress patterns.

参考書に関する補足事項

達成目標

英語を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び，意思を的確に表現する力を養う。
To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：中間・期末試験 50%、課題 20%、TOEIC speaking 20%、授業への貢献度 10%で評価する。
総合的な評価基準：
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

4 年次生に対する評価基準：
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出欠の取り扱いについては、4月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the mid-term and term exams (50%), weekly assignments (20%), TOEIC speaking (20%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90% or above (out of 100 points)
A: 80～89 (out of 100 points)
B: 70～79 (out of 100 points)
C: 60～69 (out of 100 points)

B4 only
A: 80 or higher (out of 100 points)
B: 65-79 (out of 100 points)
C: 55-64 (out of 100 points)

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

適宜対応ですが、確実さのため、まずは、メールにて連絡してください。
Walk-in basis; giving me an email first would be the best way to reach out.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033026j)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026j	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	毛利　雅子, 英語科責任教員 MOURI Masako, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

第1週　オリエンテーション、Unit 1
第2週　Unit 1-2
第3週　Unit 3-4
第4週　Unit 5-6
第5週　Unitt 7-8
第6週　Unit 9-10
第7週　中間見直し
第8週　Unit 11-12
第9週　Unit 13-14
第 10 週　Unit 15-16
第 11 週　Unit 17-18
第 12 週　Unit 19-20
第 13 週　キャッチアップ
第 14 週　プレゼンテーション
第 15 週　プレゼンテーション
定期試験 リスニング
Week 1　Introduction、Unit 1
Week 2　Unit 1-2
Week 3　Unit 3-4
Week 4　Unit 5-6
Week 5　Unit 7-8
Week 6　Unit 9-10
Week 7　Catch-up
Week 8　Unit 11-12
Week 9　Unit 13-14
Week 10 Unit 15-16
Week 11 Unit 17-18
Week 12 Unit 19-20
Week 13 Catch-up
Week 14 Presentation
Week 15 Presentation
Week 16　Final Exam (Listening)

予習・復習内容

毎週の学習内容を復習するとともに、次週の学習内容についてテキストに目を通してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	English Listening and Speaking Patterns 3			**ISBN**	9784523178446
	著者名	Andrew E. Bennett	**出版社**	南雲堂	**出版年**	2017

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英語を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験（リスニング）30%、ディスカッション／グループ発表（スピーキング）50%，TOEIC Speaking Test 20% の割合で評価する。
上記の点数を足したうえで、
S：合計点が 90 点以上
A：合計点が 80 点以上
B：合計点が 70 点以上
C：合計点が 60 点以上

B4 のみ
A：合計点が 80 点以上
B：合計点が 65-79 点
C：合計点が 55-64 点

また，出席と欠席の取扱については，４月のオリエンテーションで説明する。
Students will be evaluated according to the term exam for listening (30%), discussion/Group presentation for speaking (50%) and TOEIC Speaking Test (20%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英語、リスニング、スピーキング
English, Listening, Speaking

(B1033026k)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026k	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	池松　峰男, 英語科責任教員 IKEMATSU Mineo, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

第 1 週 Introduction, Grouping
第 2 週 Dialogue 1 / Introduction, dictation, & role-play 1
第 3 週 Role-play 1
第 4 週 Dialogue 2 / Introduction, dictation, & role-play 2
第 5 週 Role-play 2
第 6 週 Dialogue 3 / Introduction, dictation, & role-play 3
第 7 週 Role-play 3
第 8 週 Mid-term make-up
第 9 週 Dialogue 4 / Introduction, dictation, & role-play 4
第 10 週 Role-play 4
第 11 週 Dialogue 5 / Introduction, dictation, & role-play 5
第 12 週 Role-play 5
第 13 週 Dialogue 6 / Introduction, dictation, & role-play 6
第 14 週 Role-play 6
第 15 週 Wrap-up

Week 1 Introduction, Grouping
Week 2 Dialogue 1 / Introduction, dictation, & role-play 1
Week 3 Role-play 1
Week 4 Dialogue 2 / Introduction, dictation, & role-play 2
Week 5 Role-play 2
Week 6 Dialogue 3 / Introduction, dictation, & role-play 3
Week 7 Role-play 3
Week 8 Mid-term make-up
Week 9 Dialogue 4 / Introduction, dictation, & role-play 4
Week 10 Role-play 4
Week 11 Dialogue 5 / Introduction, dictation, & role-play 5
Week 12 Role-play 5
Week 13 Dialogue 6 / Introduction, dictation, & role-play 6
Week 14 Role-play 6
Week 15 Wrap-up

予習・復習内容

指示された部分のロール・プレーを原稿なしで行えるようにペアワークを十分すること。

Practice the designated role-play conversations by heart through a pair work.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
ロール・プレー60%, 授業への取組 20%, TOEIC Speaking テスト 20%

評価基準
ロール・プレー(60 点満点)・授業への取組(20 点満点)・TOEIC Speaking テスト(20 点満点)の点数を足したものが 90 点以上をS, 80～89点以上をA, 70～79点をB, 60～69点をCとする。出席と欠席の取扱については, 4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Assessment will be based on a role-play 60%, class-contribution 20% and TOEIC Speaking Test 20%.

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

受講上の注意

1.授業と関連のない作業は認めない。
2.授業中の居眠りは退出の対象とする。

Notice
1.Work unrelated to class activity will not be permitted.
2.Students dozing will be ordered to leave the class.

ウェルカムページ

オフィスアワー

適宜対応
Drop-in basis.

学習・教育到達目標との対応

1. 英文を聴く力及び話す力を養う。特に, 文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033026I)英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅲ[English Listening & Speaking 3]				
時間割番号	B1033026I	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	月 3～3	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	加藤　三保子, 英語科責任教員 KATOH Mihoko, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

Week 1　Introduction、Welcome Unit
Week 2　Unit 1: My interests (A & B)
Week 3　Unit 1: My interests (C & D)
Week 4　Unit 2: Descriptions (A & B)
Week 5　Unit 2: Descriptions (C & D)
Week 6　Unit 3: Rain or shine (A & B)
Week 7　Unit 3: Rain or shine (C & D)
Week 8　Unit 4: Life at home (A & B)
Week 9　Unit 4: Life at home (C & D)
Week 10　Group Presentation
Week 11　Unit 5: Health (A & B)
Week 12　Unit 5: Health (C& D)
Week 13　Unit 6: What's on TV (A & B)
Week 14　Unit 6: What's on TV (C & D)
Week 15　Catch up / Additional article (Shopping)
Week 16　Final Exam
Week 1　Introduction、Welcome Unit
Week 2　Unit 1: My interests (A & B)
Week 3　Unit 1: My interests (C & D)
Week 4　Unit 2: Descriptions (A & B)
Week 5　Unit 2: Descriptions (C & D)
Week 6　Unit 3: Rain or shine (A & B)
Week 7　Unit 3: Rain or shine (C & D)
Week 8　Unit 4: Life at home (A & B)
Week 9　Unit 4: Life at home (C & D)
Week 10　Group Presentation
Week 11　Unit 5: Health (A & B)
Week 12　Unit 5: Health (C& D)
Week 13　Unit 6: What's on TV (A & B)
Week 14　Unit 6: What's on TV (C & D)
Week 15　Catch up / Additional article (Shopping)
Week 16　Final Exam

予習・復習内容

毎週の学習内容を復習するとともに、次週の学習内容についてテキストに目を通してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	書名	Four Corners (2)			ISBN	978-0-521-12716-5
	著者名	Jack C. Richards, David Bohlke	出版社	Cambridge University Press	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
英語を聴く力及び話す力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び，意思を的確に表現する力を養う。
To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：定期試験（リスニングを含む）50%、quiz 30%, TOEIC Speaking Test 20% の割合で評価する。
上記の点数を足したものが90点以上を S, 80～89点をA, 70～79点をB, 60～69点をCとする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションおよび、第1回講義で説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam including listening test (50%), quiz (30%) and TOEIC Speaking Test (20%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
研究室 B-511
内線電話 6959
E-mail: mihoko@las.tut.ac.jp
Office B-511
Tel (Extension) 6959
E-mai: mihoko@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
毎週火曜日 14:00～16:00
Tuesdays 14:00～16:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードす

るコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英語、リスニング、スピーキング
English, Listening, Speaking

(B1033027a)英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]				
時間割番号	B1033027a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Gabriel FernandezGabriel Fernandez				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまで身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方にふれる

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English. (E)

授業の内容

In this course, students will learn and practice the basic skills required to make effective presentations on topics of interest. In achieving these goals, students will also become familiar with the use of presentation software, such as PowerPoint.

Requirements: TOEIC(R) IP score 500 or above
Only students who take the placement test during the 1st week of April and attend the 4th-year class orientation (a-e classes) the first day of class will be eligible for enrollment.
Maximum class size: 20 students

Students are required to read each chapter and watch the DVD before attending classes.
You will also have to prepare a presentation by the date you have been assigned.

Week 1. Improving Primary School Education
Week 2. Improving Primary School Education
Week 3. Japan's Low Birth Rate
Week 4. Japan's Low Birth Rate
Week 5. Exporting Labor
Week 6. Exporting Labor
Week 7. Exporting Labor
Week 8. Catch up / make up / review "Student's Presentation"
Week 9. Kidults and Student's Presentation
Week 10. Kidults and Student's Presentation
Week 11. Kidults and Student's Presentation
Week 12. Cross-Cultural Friendships and Student's Presentation
Week 13. Cross-Cultural Friendships and Student's Presentation
Week 14. Muscle Memory and Student's Presentation
Week 15. Muscle Memory and Student's Presentation
Week 16. Final Exam

In this course, students will learn and practice the basic skills required to make effective presentations on topics of interest. In achieving these goals, students will also become familiar with the use of presentation software, such as PowerPoint.

Requirements: TOEIC(R) IP score 500 or above
Only students who take the placement test during the 1st week of April and attend the 4th-year class orientation (a-e classes) the first day of class will be eligible for enrollment.
Maximum class size: 20 students

Students are required to read each chapter and watch the DVD before attending classes.

You will also have to prepare a presentation by the date you have been assigned.

Week 1. Improving Primary School Education
Week 2. Improving Primary School Education
Week 3. Japan's Low Birth Rate
Week 4. Japan's Low Birth Rate
Week 5. Exporting Labor
Week 6. Exporting Labor
Week 7. Exporting Labor
Week 8. Catch up / make up / review "Student's Presentation"
Week 9. Kidults and Student's Presentation
Week 10. Kidults and Student's Presentation
Week 11. Kidults and Student's Presentation
Week 12. Cross-Cultural Friendships and Student's Presentation
Week 13. Cross-Cultural Friendships and Student's Presentation
Week 14. Muscle Memory and Student's Presentation
Week 15. Muscle Memory and Student's Presentation
Week 16. Final Exam

予習・復習内容

関連科目
Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	Presentation Workshop: Oral Communication for Academic Purposes			**ISBN**	978-4-7647-3929-1 C1
	著者名	Craig Smith, 坪田康, 石川 保茂, 壇辻正剛	**出版社**	株式会社 金星堂	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
The goal of this class is that students will become familiar with the use of presentation software, such as power point. At the end of this course, the students will be able to Give a Successful Presentation.
The goal of this class is that students will become familiar with the use of presentation software, such as power point. At the end of this course, the students will be able to Give a Successful Presentation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
Grades will be based on presentations classwork (60%) and Final exam (40%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

Grades will be based on presentations classwork (60%) and Final exam (40%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%

B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
B棟 1 階非常勤講師室
B棟 1 階非常勤講師室

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
授業の前後
授業の前後

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad

キーワード

(B1033027b)英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]				
時間割番号	B1033027b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Gabriel FernandezGabriel Fernandez				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまで身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方にふれる

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English. (E)

授業の内容

In this course, students will learn and practice the basic skills required to make effective presentations on topics of interest. In achieving these goals, students will also become familiar with the use of presentation software, such as PowerPoint.

Requirements: TOEIC(R) IP score 500 or above
Only students who take the placement test during the 1st week of April and attend the 4th-year class orientation (a-e classes) the first day of class will be eligible for enrollment.
Maximum class size: 20 students

Students are required to read each chapter and watch the DVD before attending classes.
You will also have to prepare a presentation by the date you have been assigned.

Week 1. Improving Primary School Education
Week 2. Improving Primary School Education
Week 3. Japan's Low Birth Rate
Week 4. Japan's Low Birth Rate
Week 5. Exporting Labor
Week 6. Exporting Labor
Week 7. Exporting Labor
Week 8. Catch up / make up / review "Student's Presentation"
Week 9. Kidults and Student's Presentation
Week 10. Kidults and Student's Presentation
Week 11. Kidults and Student's Presentation
Week 12. Cross-Cultural Friendships and Student's Presentation
Week 13. Cross-Cultural Friendships and Student's Presentation
Week 14. Muscle Memory and Student's Presentation
Week 15. Muscle Memory and Student's Presentation
Week 16. Final Exam

In this course, students will learn and practice the basic skills required to make effective presentations on topics of interest. In achieving these goals, students will also become familiar with the use of presentation software, such as PowerPoint.

Requirements: TOEIC(R) IP score 500 or above
Only students who take the placement test during the 1st week of April and attend the 4th-year class orientation (a-e classes) the first day of class will be eligible for enrollment.
Maximum class size: 20 students

Students are required to read each chapter and watch the DVD before attending classes.
You will also have to prepare a presentation by the date you have been assigned.

Week 1. Improving Primary School Education
Week 2. Improving Primary School Education
Week 3. Japan's Low Birth Rate
Week 4. Japan's Low Birth Rate
Week 5. Exporting Labor
Week 6. Exporting Labor
Week 7. Exporting Labor
Week 8. Catch up / make up / review "Student's Presentation"
Week 9. Kidults and Student's Presentation
Week 10. Kidults and Student's Presentation
Week 11. Kidults and Student's Presentation
Week 12. Cross-Cultural Friendships and Student's Presentation
Week 13. Cross-Cultural Friendships and Student's Presentation
Week 14. Muscle Memory and Student's Presentation
Week 15. Muscle Memory and Student's Presentation
Week 16. Final Exam

予習・復習内容

関連科目
Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	Presentation Workshop: Oral Communication for Academic Purposes			**ISBN**	978-4-7647-3929-1 C1
	著者名	Craig Smith, 坪田康, 石川 保茂, 壇辻正剛	**出版社**	株式会社 金星堂	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
The goal of this class is that students will become familiar with the use of presentation software, such as power point. At the end of this course, the students will be able to Give a Successful Presentation.
The goal of this class is that students will become familiar with the use of presentation software, such as power point. At the end of this course, the students will be able to Give a Successful Presentation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
Grades will be based on presentations classwork (60%) and Final exam (40%).

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

Grades will be based on presentations classwork (60%) and Final exam (40%).

Grade distribution:
S: 90% and more

A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
B棟 1 階非常勤講師室
B棟 1 階非常勤講師室

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
授業の前後
授業の前後

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033027c)英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]				
時間割番号	B1033027c	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	火 1～1	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Levin David MichaelLevin David Michael				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1 Course Introduction, Unit 5

Week 2 Unit 5

Week 3 Unit 5

Week 4 Unit 5 / 6

Week 5 Unit 6

Week 6 Unit 6

Week 7 Unit 6

Week 8 Quiz, Review

Week 9 Unit 7

Week 10 Unit 7

Week 11 Unit 7

Week 12 Unit 7 / 8

Week 13 Unit 8

Week 14 Unit 8

Week 15 Unit 8

Week 16 Term Exam

Week 1 Course Introduction, Unit 5

Week 2 Unit 5

Week 3 Unit 5

Week 4 Unit 5 / 6

Week 5 Unit 6

Week 6 Unit 6

Week 7 Unit 6

Week 8 Quiz, Review

Week 9 Unit 7

Week 10 Unit 7

Week 11 Unit 7

Week 12 Unit 7 / 8

Week 13 Unit 8

Week 14 Unit 8

Week 15 Unit 8

Week 16 Term Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	Unlock, Listening & Speaking Skills 2			**ISBN**	978-1-107-68232-0
	著者名	Stephanie Dimond-Bayir	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1. To develop English listening and speaking skills. Above all, this course focuses on obtaining the ability comprehend the spoken material and express oneself with a measure of confidence.
2. To increase vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

1. To develop English listening and speaking skills. Above all, this course focuses on obtaining the ability comprehend the spoken material and express oneself with a measure of confidence.
2. To increase vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。

B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

Students will be evaluated according to the term exam (80%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
Drop-in basis
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

キーワード
English, Listening and Speaking
English, Listening and Speaking

(B1033027d)英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]				
時間割番号	B1033027d	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	火 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Levin David MichaelLevin David Michael				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1 Course Introduction, Unit 5

Week 2 Unit 5

Week 3 Unit 5

Week 4 Unit 5 / 6

Week 5 Unit 6

Week 6 Unit 6

Week 7 Unit 6

Week 8 Quiz, Review

Week 9 Unit 7

Week 10 Unit 7

Week 11 Unit 7

Week 12 Unit 7 / 8

Week 13 Unit 8

Week 14 Unit 8

Week 15 Unit 8

Week 16 Term Exam

Week 1 Course Introduction, Unit 5

Week 2 Unit 5

Week 3 Unit 5

Week 4 Unit 5 / 6

Week 5 Unit 6

Week 6 Unit 6

Week 7 Unit 6

Week 8 Quiz, Review

Week 9 Unit 7

Week 10 Unit 7

Week 11 Unit 7

Week 12 Unit 7 / 8

Week 13 Unit 8

Week 14 Unit 8

Week 15 Unit 8

Week 16 Term Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	Unlock, Listening & Speaking Skills 2			**ISBN**	978-1-107-68232-0
	著者名	Stephanie Dimond-Bayir	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1. To develop English listening and speaking skills. Above all, this course focuses on obtaining the ability comprehend the spoken material and express oneself with a measure of confidence.
2. To increase vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

1. To develop English listening and speaking skills. Above all, this course focuses on obtaining the ability comprehend the spoken material and express oneself with a measure of confidence.
2. To increase vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。

B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

Students will be evaluated according to the term exam (80%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
Drop-in basis
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering (E) Expression and communication skills for success at home and abroad Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences (E) Expression and communication skills for success home and abroad Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering (E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations (A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード English, Listening and Speaking English, Listening and Speaking

(B1033027e)英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]				
時間割番号	B1033027e	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	梶浦　眞由美 KAJIURA Mayumi				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

1. オリエンテーションと TOEIC のリスニング＆単語テスト
2. TOEIC プラクティス1、Building English Essentials Unit 1
3. TOEIC プラクティス2、Building English Essentials Unit 2
4. TOEIC プラクティス3、Building English Essentials Unit 3
5. TOEIC プラクティス4、Building English Essentials Unit 4
6. TOEIC プラクティス5、Building English Essentials Unit 5
7. TOEIC プラクティス6、Building English Essentials Unit 6
8. TOEIC 復習テスト、Building English Essentials Unit 7
9. TOEIC プラクティス7、Building English Essentials Unit 8
10. TOEIC プラクティス8、Building English Essentials Unit 9
11. TOEIC プラクティス9、コミュニケーションスキル　ロールプレイ
12. TOEIC プラクティス10、プレゼンテーション構成
13. TOEIC プラクティス11、プレゼンテーション表現練習
14. TOEIC プラクティス12、サマリー
15. グループプレゼンテーション
16. 定期試験

1. Orientation and TOEIC listening & Word test
2. TOEIC Practice1& Building English Essentials Unit 1
3. TOEIC Practice 2 & Building English Essentials Unit 2
4. TOEIC Practice 3 & Building English Essentials Unit 3
5. TOEIC Practice 4 & Building English Essentials Unit 4
6. TOEIC Practice 5 & Building English Essentials Unit 5
7. TOEIC Practice 6 & Building English Essentials Unit 6
8. TOEIC Review Quiz & Building English Essentials Unit 7
9. TOEIC Practice 7 & Building English Essentials Unit 8
10. TOEIC Practice 8 & Building English Essentials Unit 9
11. TOEIC Practice 9 & Communication Skills Role Play
12. TOEIC Practice 10 & Organizing the Presentation
13. TOEIC Practice 11 & Expressions for the Presentation
14. TOEIC Practice 12 & Summary.
15. Group Presentations.
16. Final Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考にして予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Building English Essentials 伝えるための英語力		**ISBN**	9784523178361
	著者名	木村　聡雄 / 鈴木　理枝 / 磯部　芳恵	**出版社** 南雲堂	**出版年**	2017

		/ 大和久　吏恵 / 國府方　麗夏				

教科書に関する補足事項
TOEIC 演習プリントやプレゼンテーションマテリアルを授業時に配布する予定
TOEIC practice worksheets and materials for presentations will be handed out.

参考書に関する補足事項

達成目標
1.英語を聴く力及び話す力を養う。特に,文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末テスト(40%)の点数に小テスト・課題(20%)、授業の貢献度(40%)、の点数を足したものを総合的に評価し、90 点以上を S、89~80 点を A、79~70 点を B、60~60 点を C とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。ま た、出席と欠席の取扱については、4 月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam (40%), short quizzes, other assignment (20%),contribution to the class (40%) .

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

The term exam covers all the contents listed in " Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
TOEIC の既習のリスニング。語彙の問題から出題

Review test of TOEIC listening and vocabularies

その他
連絡方法は初回の授業時に説明。グループワークでは協力して積極的に課題に取り組んでください。

Contact information will be provided in the first class.
For group work, please participate in the discussion and cooperate with your partners with enthusiasm.

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering

(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

キーワード

(B1033027f)英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]				
時間割番号	B1033027f	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	梶浦　眞由美 KAJIURA Mayumi				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Listening 及び Speaking をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Listening and Speaking skill of each student.

授業の内容

1. オリエンテーションと TOEIC のリスニング＆単語テスト
2. TOEIC プラクティス1、Building English Essentials Unit 1
3. TOEIC プラクティス2、Building English Essentials Unit 2
4. TOEIC プラクティス3、Building English Essentials Unit 3
5. TOEIC プラクティス4、Building English Essentials Unit 4
6. TOEIC プラクティス5、Building English Essentials Unit 5
7. TOEIC プラクティス6、Building English Essentials Unit 6
8. TOEIC 復習テスト、Building English Essentials Unit 7
9. TOEIC プラクティス7、Building English Essentials Unit 8
10. TOEIC プラクティス8、Building English Essentials Unit 9
11. TOEIC プラクティス9、コミュニケーションスキル　ロールプレイ
12. TOEIC プラクティス10、プレゼンテーション構成
13. TOEIC プラクティス11、プレゼンテーション表現練習
14. TOEIC プラクティス12、サマリー
15. グループプレゼンテーション
16. 定期試験

1. Orientation and TOEIC listening & Word test
2. TOEIC Practice1& Building English Essentials Unit 1
3. TOEIC Practice 2 & Building English Essentials Unit 2
4. TOEIC Practice 3 & Building English Essentials Unit 3
5. TOEIC Practice 4 & Building English Essentials Unit 4
6. TOEIC Practice 5 & Building English Essentials Unit 5
7. TOEIC Practice 6 & Building English Essentials Unit 6
8. TOEIC Review Quiz & Building English Essentials Unit 7
9. TOEIC Practice 7 & Building English Essentials Unit 8
10. TOEIC Practice 8 & Building English Essentials Unit 9
11. TOEIC Practice 9 & Communication Skills Role Play
12. TOEIC Practice 10 & Organizing the Presentation
13. TOEIC Practice 11 & Expressions for the Presentation
14. TOEIC Practice 12 & Summary.
15. Group Presentations.
16. Final Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考にして予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Building English Essentials 伝えるための英語力			**ISBN**	9784523178361
	著者名	木村　聡雄 / 鈴木	**出版社**	南雲堂	**出版年**	2017

		理枝 / 磯部 芳恵 / 大和久 吏恵 / 國府方 麗夏				

教科書に関する補足事項

TOEIC 演習プリントやプレゼンテーションマテリアルを授業時に配布する予定
TOEIC practice worksheets and materials for presentations will be handed out.

参考書に関する補足事項

達成目標

1.英語を聴く力及び話す力を養う。特に,文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English listening and speaking skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand spoken information quickly and accurately, and to speak proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末テスト(40%)の点数に小テスト・課題(20%)、授業の貢献度(40%)、の点数を足したものを総合的に評価し、90 点以上を S、89~80 点を A、79~70 点を B、60~60 点を C とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。ま た、出席と欠席の取扱については、4 月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam (40%), short quizzes, other assignment (20%),contribution to the class (40%) .

Grade distribution:
S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

The term exam covers all the contents listed in " Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

TOEIC の既習のリスニング。語彙の問題から出題

Review test of TOEIC listening and vocabularies

その他

連絡方法は初回の授業時に説明。グループワークでは協力して積極的に課題に取り組んでください。

Contact information will be provided in the first class.
For group work, please participate in the discussion and cooperate with your partners with enthusiasm.

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033027g)英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]				
時間割番号	B1033027g	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	火 1～1	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Davey Charles GodfreyDavey Charles Godfrey				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

To give students an understanding of the skills required for effective listening and speaking,including pronunciation and the rhythm of English.

授業の内容

There will be 15 lessons based on the textbook. The lessons will include regular tests based on the materials, as well as in-class requirements such as short presentations individually or in small groups. The lessons will include a review of the term, an exam, and an exam review.

予習・復習内容

Students will be given the names of two apps to download - WNYC and the BBC - to listen to and practice their speaking. These stations provide exposure to both British English and North American English. I will do my best to make available online audio for the textbooks and video where possible.

関連科目

Almost every subject has an English language component and I encourage students to bring any difficulties or problems to class.

教科書 1	書名	Pathways: Listening, Speaking, and Critical Thinking 1			ISBN	9781337407717
	著者名	Becky Tarver Chase; Kristin L. Johannsen; Paul MacIntyre; Kathy Najafi; Cyndy Fettig	出版社	National Geographic/ Cengage	出版年	

教科書に関する補足事項

Well written, varied contents.

参考書 1	書名	Clear Speech from the Start Student's Book: Basic Pronunciation and Listening Comprehension in North American English			ISBN	978-1-107-68715-8
	著者名	Judy B. Gilbert	出版社	Cambridge University Press	出版年	2012

参考書に関する補足事項

Brilliant exposition of the way English is spoken and makes the point that to listen and speak require an understanding of the rhythms of English.

達成目標

Listening.

To learn and practice note-taking, learn grammatical constructions, and build vocabulary.

To learn the skills involved in listening, identify the gist of a passage and understand its construction.

Speaking.

To learn how to construct a presentation and the skills in delivering it.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Evaluation is based on periodic tests, an end of semester exam, and class participation

Exam: 60%
Tests: 20%
Class assignments/participation: 20%

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

Grade: S = 90%+
A = 80%+
B = 70%+
C = 60%+
D = 59%- (rejection)
The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
The exam will be split between the Listening portion and the Speaking portion.
No dictionaries will be allowed in the Listening portion. A passage will be
played and there will be questions on it. The rest of the paper will be based
on work covered in class particularly looking at parts of speech.
Students will be asked to give prepare and give a presentation that is
coherent, logical, and well spoken.
All material will be taken from class work.

その他
At the start of the semester I will give my students my email and encourage
them to use it if they have difficulties. Students should only use English
in class, in their note taking and their conversations. They should understand
that they have limited opportunities to use English, and to learn to understand English
they need to think in English.

ウェルカムページ
www.charlesdaveybooks.com is my website. I have a number of books on architecture and design

I also have a Facebook page that they can access: Learn English With Charles

オフィスアワー
The days of the lesson, and by request.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
All the below, as well as conveying a sense of English culture and cultural thinking.

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering

(E) Expression and communication ability for success at home and abroad Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
キーワード

(B1033027h)英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]

科目名[英文名]	英語 Listening & Speaking Ⅳ[English Listening & Speaking 4]				
時間割番号	B1033027h	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	火 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Davey Charles GodfreyDavey Charles Godfrey				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

To give students an understanding of the skills required for effective listening and speaking,including pronunciation and the rhythm of English.

授業の内容

There will be 15 lessons based on the textbook. The lessons will include regular tests based on the materials, as well as in-class requirements such as short presentations individually or in small groups. The lessons will include a review of the term, an exam, and an exam review.

予習・復習内容

Students will be given the names of two apps to download - WNYC and the BBC - to listen to and practice their speaking. These stations provide exposure to both British English and North American English. I will do my best to make available online audio for the textbooks and video where possible.

関連科目

Almost every subject has an English language component and I encourage students to bring any difficulties or problems to class.

教科書 1	書名	Pathways: Listening, Speaking, and Critical Thinking 1			ISBN	9781337407717
	著者名	Becky Tarver Chase; Kristin L. Johannsen; Paul MacIntyre; Kathy Najafi; Cyndy Fettig	出版社	National Geographic/ Cengage	出版年	

教科書に関する補足事項

Good, varied contents.

参考書 1	書名	Clear Speech from the Start Student's Book: Basic Pronunciation and Listening Comprehension in North American English			ISBN	978-1-107-68715-8
	著者名	Judy B. Gilbert	出版社	Cambridge University Press	出版年	2012

参考書に関する補足事項

Brilliant exposition of the way English is spoken and makes the point that to listen and speak require an understanding of the rhythms of English.

達成目標

Listening.

To learn and practice note-taking, learn grammatical constructions, and build vocabulary.

To learn the skills involved in listening, identify the gist of a passage and understand its construction.

Speaking. To learn how to construct a presentation and the skills in delivering it.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Evaluation is based on periodic tests, an end of semester exam, and class participation

Assessment will be based on a reading comprehension test 30%, a writing test 30%, and class-contribution 20%
Reading Comprehension 30%
Writing test: 30%
Class assignments/participation: 20%
EST corpus test: 20%

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

Grade: S = 90%+
A = 80%+
B = 70%+
C = 60%+
D = 59%- (rejection)
The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
The exam will be split between the Listening portion and the Speaking portion.
No dictionaries will be allowed in the Listening portion. A passage will be
played and there will be questions on it. The rest of the paper will be based
on work covered in class particularly looking at parts of speech.
Students will be asked to give prepare and give a presentation that is
coherent, logical, and well spoken.
All material will be taken from class work.

その他
At the start of the semester I will give my students my email and encourage
them to use it if they have difficulties. Students should only use English
in class, in their note taking and their conversations. They should understand
that they have limited opportunities to use English, and to learn to understand English
they need to think in English.

ウェルカムページ
www.charlesdaveybooks.com is my website. I have a number of books on architecture and design

I also have a Facebook page that they can access: Learn English With Charles

オフィスアワー
The days of the lesson, and by request.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B10330280)英語 Online Learning Ⅰ[English Online Learning 1]

科目名[英文名]	英語 Online Learning Ⅰ[English Online Learning 1]				
時間割番号	B10330280	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	毛利　雅子 MOURI Masako				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングのバランスを取りながら、各学生の英語力構築を目指す。更に、学生が文化に触れ、英語を通して様々な考え方を構築していくことを期待する。

With a concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

1．オリエンテーション
2-15.　教員指導およびスーパースタンダードコース　リスニングユニット 1～25、リーディングユニット 1～25
16.　期末試験

1.　Orientation
2-15.　Instructor's guidance & Suuper Standard Course Listening Unit 1-25,
Reading Unit 1-25
16.　Final Exam

予習・復習内容

それまで学習したものを振り返りつつ、必要な復習を行う。

Frequently review material already studied previously to ensure adequate retention.

関連科目

教科書に関する補足事項

オンラインコース

On-line.

参考書に関する補足事項

達成目標

1．　教材を通しリーディング、ライティング、スピーキング、リスニング能力向上のため、オンライン学習を行うと同時に、定期的に教員の指導を受けること。
2．英語の語彙力向上。

1. To improve English ability in reading, writing, speaking and listening through the use of a professionally developed, online multimedia course as well as periodic instructor guidance
2. To develop English vocabulary

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

学習時間が最低 30 時間に満たないものは、単位習得が出来ないものとする。期末試験（100%）の結果に基づき、以下のように評価する。
S：達成目標を達成しており，テストの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，テストの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，テストの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，テストの合計点（100 点満点）が 60 点以上
期末試験は、達成目標の要点を全て網羅するものとする。出席などについては、4 月のオリエンテーションで説明する。

Students who do not complete at least 30 hours online will not receive credit.
Students will be evaluated according to results of the term exam (100%)
Grade distribution:
S: 90% and more

A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam will cover all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
メールか授業内にアポを取ること。
Make appointment by mail or in class.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one’s own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one’s own ideas and points in question at home and abroad through papers,

oral reports or information media and to lead discussions or negotiations (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード

(B10330290)英語 Online Learning Ⅱ[English Online Learning 2]

科目名[英文名]	英語 Online Learning Ⅱ[English Online Learning 2]				
時間割番号	B10330290	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	毛利　雅子 MOURI Masako				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングのバランスを取りながら、各学生の英語力構築を目指す。更に、学生が文化に触れ、英語を通して様々な考え方を構築していくことを期待する。

With a concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

1．オリエンテーション
2-15.　教員指導およびスーパースタンダードコース　リスニングユニット 26～50、リーディングユニット 26～50
16.　期末試験

1.　Orientation
2-15.　Instructor's guidance & Suuper Standard Course Listening Unit 26-50,
Reading Unit 26-50
16.　Final Exam

予習・復習内容

それまで学習したものを振り返りつつ、必要な復習を行う。

Frequently review material already studied previously to ensure adequate retention.

関連科目

教科書に関する補足事項

オンラインコース

On-line.

参考書に関する補足事項

達成目標

1．　教材を通しリーディング、ライティング、スピーキング、リスニング能力向上のため、オンライン学習を行うと同時に、定期的に教員の指導を受けること。
2．英語の語彙力向上。

1. To improve English ability in reading, writing, speaking and listening through the use of a professionally developed, online multimedia course as well as periodic instructor guidance
2. To develop English vocabulary

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

学習時間が最低 30 時間に満たないものは、単位習得が出来ないものとする。期末試験（100%）の結果に基づき、以下のように評価する。

S: 得点が 90%以上のもの
A：得点が 80-89%のもの
B：得点が 70-79%のもの
C：得点が 60-69%のもの

期末試験は、達成目標の要点を全て網羅するものとする。出席などについては、4 月のオリエンテーションで説明する。

Students who do not complete at least 30 hours online will not receive credit.
Students will be evaluated according to results of the term exam (100%)

Grade distribution:

S: 90% and more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam will cover all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one’s own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one’s own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one’s own ideas and points in question at home and abroad through papers,

oral reports or information media and to lead discussions or negotiations (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード

(B10330300)英語 Online Learning Ⅲ[English Online Learning 3]

科目名[英文名]	英語 Online Learning Ⅲ[English Online Learning 3]				
時間割番号	B10330300	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Levin David Michael, 英語科責任教員 Levin David Michael, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングのバランスを取りながら、各学生の英語力構築を目指す。更に、学生が文化に触れ、英語を通して様々な考え方を構築していくことを期待する。

With a concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

1. オリエンテーション
2-15.　教員指導およびスーパースタンダードコース　リスニングユニット 1～25、リーディングユニット 1～25
16.　　期末試験

1.　Orientation
2-15.　Instructor's guidance & Super Standard Course Listening Unit 1-25,
Reading Unit 1-25
16.　　Final Exam

予習・復習内容

それまで学習したものを振り返りつつ、必要な復習を行う。

Frequently review material already studied previously to ensure adequate retention.

関連科目

Other English classes
Other English classes

教科書に関する補足事項

オンラインコース
Online course

参考書に関する補足事項

達成目標

1.　教材を通しリーディング、ライティング、スピーキング、リスニング能力向上のため、オンライン学習を行うと同時に、定期的に教員の指導を受けること。
2.　英語の語彙力向上。

1. To improve English ability in reading, writing, speaking and listening through the use of a professionally developed, online multimedia course as well as periodic instructor guidance
2. To develop English vocabulary

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

学習時間が最低 30 時間に満たないものは、単位習得が出来ないものとする。期末試験（100%）の結果に基づき、以下のように評価する。

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。

B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

期末試験は、達成目標の要点を全て網羅するものとする。出席などについては、4 月のオリエンテーションで説明する。

Students who do not complete at least 30 hours online will not receive credit.
Students will be evaluated according to results of the term exam (100%)

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam will cover all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
Drop-in basis
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードす

るコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
English, Online Learning
English, Online Learning

(B1033031a)英語 Online Learning Ⅳ[English Online Learning 4]

科目名[英文名]	英語 Online Learning Ⅳ[English Online Learning 4]				
時間割番号	B1033031a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 6	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～3
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	池松　峰男 IKEMATSU Mineo				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングのバランスを取りながら、各学生の英語力構築を目指す。更に、学生が文化に触れ、英語を通して様々な考え方を構築していくことを期待する。

With a concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

1. オリエンテーション
2-15.　教員指導およびスーパースタンダードコース　リスニングユニット 26～50、リーディングユニット 26～50
16.　　期末試験

1.　Orientation
2-15.　Instructor's guidance & Super Standard Course Listening Unit 26-50,
Reading Unit 26-50
16.　　Final Exam

予習・復習内容

それまで学習したものを振り返りつつ、必要な復習を行う。

Frequently review material already studied previously to ensure adequate retention.

関連科目

Other English classes
Other English classes

教科書に関する補足事項

オンラインコース
Online course

参考書に関する補足事項

達成目標

1.　教材を通しリーディング、ライティング、スピーキング、リスニング能力向上のため、オンライン学習を行うと同時に、定期的に教員の指導を受けること。
2.　英語の語彙力向上。

1. To improve English ability in reading, writing, speaking and listening through the use of a professionally developed, online multimedia course as well as periodic instructor guidance
2. To develop English vocabulary

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

学習時間が最低 30 時間に満たないものは、単位習得が出来ないものとする。期末試験（100%）の結果に基づき、以下のように評価する。

S: ≧90
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

期末試験は、達成目標の要点を全て網羅するものとする。出席などについては、4 月のオリエンテーションで説明する。

Students who do not complete at least 30 hours online will not receive credit.
Students will be evaluated according to results of the term exam (100%)

Grade distribution:
S: ≧90
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam will cover all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
適宜対応
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

キーワード
English, Online Learning
English, Online Learning

(B1033031b)英語 Online Learning Ⅳ[English Online Learning 4]

科目名[英文名]	英語 Online Learning Ⅳ[English Online Learning 4]				
時間割番号	B1033031b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 6	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～3
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Levin David MichaelLevin David Michael				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングのバランスを取りながら、各学生の英語力構築を目指す。更に、学生が文化に触れ、英語を通して様々な考え方を構築していくことを期待する。

With a concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

1. オリエンテーション
2-15.　教員指導およびスーパースタンダードコース　リスニングユニット 26～50、リーディングユニット 26～50
16.　　期末試験

1.　Orientation
2-15.　Instructor's guidance & Super Standard Course Listening Unit 26-50,
Reading Unit 26-50
16.　　Final Exam

予習・復習内容

それまで学習したものを振り返りつつ、必要な復習を行う。

Frequently review material already studied previously to ensure adequate retention.

関連科目

Other English classes
Other English classes

教科書に関する補足事項

オンラインコース
Online course

参考書に関する補足事項

達成目標

1.　教材を通しリーディング、ライティング、スピーキング、リスニング能力向上のため、オンライン学習を行うと同時に、定期的に教員の指導を受けること。
2.　英語の語彙力向上。

1. To improve English ability in reading, writing, speaking and listening through the use of a professionally developed, online multimedia course as well as periodic instructor guidance
2. To develop English vocabulary

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

学習時間が最低 30 時間に満たないものは、単位習得が出来ないものとする。期末試験（100%）の結果に基づき、以下のように評価する。

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。

B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

期末試験は、達成目標の要点を全て網羅するものとする。出席などについては、4 月のオリエンテーションで説明する。

Students who do not complete at least 30 hours online will not receive credit.
Students will be evaluated according to results of the term exam (100%)

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam will cover all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
Drop-in basis
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

English, Online Learning
English, Online Learning

(B1033032a)英語 Reading & Writing Ⅰ[English Reading & Writing 1]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅰ[English Reading & Writing 1]				
時間割番号	B1033032a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	大木 ひろみ OKI Hiromi				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

授業の内容

第1週 授業紹介、Unit 2 Present Tense, Future Tense: Part 1 Sports-loving Mathematician, Part 2 Our Boss
第2週 Unit 4 Negatives: Part 1 Feeling Bad, Part 2 Quality Service
第3週 Unit 5 'It': Part 1 Long and Slow Words, Part 2 The Neighbourhood
第4週 Unit 7 Past Tense: Part 1 Full of Mysteries, Part 2 I got lost.
第5週 Unit 8 Progressive Forms: Part 1 Turning into a Nightmare, Part 2 An Accident
第6週 Unit 9 Adjectives, Adverbs: Part 1 A Panic Dream, Part 2 A Weird Dream
第7週 Unit 11 Comparing: Part 1 Low Quality Items, Part 2 My Previous Company
第8週 復習テスト、追加の練習問題
第9週 Unit 13 Questions: Part 1 Choosing Words Carefully, Part 2 Enquiries
第10週 Unit 15 To-infinities, Gerunds: Part 1 Differences in a Business Letter, Part 2 Complaints
第11週 Unit 16 Perfect Tenses: Part 1 Business Going Well, Part 2 Confirmation
第12週 Unit 20 Causatives: Part 1 What does youth mean? Part 2 Apologising
第13週 Unit 21 Subjunctive Mood: Part 1 A Dream into a Nightmare, Part 2 Advice
第14週 Unit 22 Prepositions, Conjunctions: Part 1 A Watch and a Place, Part 2 Arranging a Meeting
第15週 Unit 23 Abbreviations: Part 2 Postcards and Emails 、復習テスト
第16週 定期試験
Week 1 Course introduction, Unit 2 Present Tense, Future Tense: Part 1 Sports-loving Mathematician, Part 2 Our Boss
Week 2 Unit 4 Negatives: Part 1 Feeling Bad, Part 2 Quality Service
Week 3 Unit 5 'It': Part 1 Long and Slow Words, Part 2 Tne Neighbourhood
Week 4 Unit 7 Past Tense: Part 1 Full of Mysteries, Part 2 I got lost.
Week 5 Unit 8 Progressive Forms: Part 1 Turning into a Nightmare, Part 2 An Accident
Week 6 Unit 9 Adjectives, Adverbs: Part 1 A Panic Dream, Part 2 A Weird Dream
Week 7 Unit 11 Comparing: Part 1 Low Quality Items, Part 2 My Previous Company
Week 8 Review, Quiz, Additional exercises
Week 9 Unit 13 Questions: Part 1 Choosing Words Carefully, Part 2 Enquiries
Week 10 Unit 15 To-infinitives, Gerunds: Part 1 Differences in a Business Letter, Part 2 Complaints
Week 11 Unit 16 Perfect Tenses: Part 1 Business Going Well, Part 2 Confirmation
Week 12 Unit 20 Causatives: Part 1 What does youth mean? Part 2 Apologising
Week 13 Unit 21 Subjunctive Mood: Part 1 A Dream into a Nightmare, Part 2 Advice
Week 14 Unit 22 Prepositions, Conjunctions: Part 1 A Watch and a Place, Part 2 Arranging a Meeting
Week 15 Unit 23 Abbreviations: Part 2 Postcards and Emails, Review, Quiz
Week 16 Term exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook

関連科目

教科書 1	**書名**	Simply Reading, Simply Writing『リーディングとライティングで学ぶ大学英語』			**ISBN**	9784523178057
	著者名	テリー・オブライエン，三原京，立本秀洋，木村博是 著，	**出版社**	南雲堂	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
定期試験50%、小テスト10%、課題10%、Power Words 30%の割合で総合的に評価する。

S: 達成目標をすべて達成しており、かつ上記総合評価の合計点（100点満点）が90点以上
A: 達成目標を80%達成しており、かつ上記総合評価の合計点（100点満点）が80点以上
B: 達成目標を70%達成しており、かつ上記総合評価の合計点（100点満点）が70点以上
C: 達成目標を60%達成しており、かつ上記総合評価の合計点（100点満点）が60点以上
Assessment will be based on the term exam (50%), short quizzes (10%), assignments (10%), and Power Words (30%)

Students will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points above, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points above, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points above, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業の前後
I'll be available before and after class

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033032b)英語 Reading & Writing Ⅰ[English Reading & Writing 1]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅰ[English Reading & Writing 1]				
時間割番号	B1033032b	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 3～3	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B1
担当教員[ローマ字表記]	Davey Charles GodfreyDavey Charles Godfrey				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading:
Students should understand how different kinds of written work are constructed and practice the skills required to read fluently, including grammatical constructions.

Writing.
Students should be able to write a clear, logical argument with good sentence and paragraph construction, with correct grammar and punctuation.

授業の内容

There will be 15 lessons based on the textbook. The lessons will include regular tests based on the materials, as well as in-class requirements such as short presentations, individual or in small groups.
The lessons will include a review of the term, an exam, and an exam review.

予習・復習内容

Students will be given the names of two apps to download - WNYC and the BBC - to listen to and to read. These stations provide exposure to both British English and North American English.
Students should read the material presented.
I will do my best to make available online video where possible.

関連科目

Almost every subject has an English language component and I encourage students to bring any difficulties or problems to class.

教科書 1	書名	Select Readings Intermediate Class			ISBN	978-0-19-433212-5
	著者名	Linda Lee and Erik Gundersen	出版社	Oxford University Press	出版年	2011

教科書に関する補足事項

Challenging texts selected to help students read effectively, with exercises before and after the readings for students to practise reading skills, check comprehension and build vocabulary.

参考書 1	書名	Clear Speech: Pronunciation and Listening Comprehansion in North American English			ISBN	978-1107682955
	著者名	Judy B. Gilbert	出版社	Cambridge University Press	出版年	2012

参考書に関する補足事項

Brilliant exposition of the way English is spoken and makes the point that to read and write require an understanding of the rhythms of English.

達成目標

Improved fluency in reading and understanding texts.
Improved ability to present an argument, and more fluency in writing.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Evaluation is based on periodic tests, an end of semester exam, and class participation

Reading comprehension: 30%
Writing test: 30%

Class assignments/participation: 20%
Power Words 30%.

Students will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points above, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points above, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points above, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 60 or higher (out of 100 points).

Grade: S = 90%+
A = 80%+
B = 70%+
C = 60%+
D = 59%- (rejection)

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

The
exam will be split between the Reading portion and the Writing portion.

Dictionaries will be allowed.

The Reading exam will be based on a text plus question from the work
covered in class.

The Writing exam will be a on a subject given by the teacher and
students will be expected to present a piece of at least 300 words.

その他

At the start of the semester I will give my students my email and encourage
them to use it if they have difficulties. Students should only use English
in class, in their note taking and their conversations. They should understand
that they have limited opportunities to use English, and to learn to understand English
they need to think in English.

ウェルカムページ

www.charlesdaveybooks.com is my website. I have a number of books on architecture and design

I also have a Facebook page that they can access: Learn English With Charles

オフィスアワー

The days of the lesson, and by request.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
All the below, as well as conveying a sense of English culture and cultural thinking.

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033032c)英語 Reading & Writing Ⅰ[English Reading & Writing 1]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅰ[English Reading & Writing 1]				
時間割番号	B1033032c	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	秋元　恵 AKIMOTO Megumi				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。
また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。
With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1 Course Introduction

Week 2 Unit 1　Reading :

Week 3 Unit 1　Comprehension Check / Writing

Week 4 Unit 2　Reading:

Week 5 Unit 2　Comprehension　Check / Writing

Week 6 Unit 3　Reading

Week 7 Unit 3　Comprehension　Check / Writing

Week 8 Mid-term exam

Week 9　Unit 4　Reading

Week 10 Unit 4　Comprehension　Check / Writing

Week 11 Unit 5　Reading

Week 12 Unit 5　Comprehension　Check / Writing

Week 13 Unit 6　Reading

Week 14 Unit 6　Comprehension　Check / Writing

Week 15 Unit7　Reading

Week 16 Final exam

Week 1 Course Introduction

Week 2 Unit 1　Reading :

Week 3 Unit 1　Comprehension Check / Writing

Week 4 Unit 2　Reading:

Week 5 Unit 2 Comprehension Check / Writing

Week 6 Unit 3 Reading

Week 7 Unit 3 Comprehension Check / Writing

Week 8 Mid-term exam

Week 9 Unit 4 Reading

Week 10 Unit 4 Comprehension Check / Writing

Week 11 Unit 5 Reading

Week 12 Unit 5 Comprehension Check / Writing

Week 13 Unit 6 Reading

Week 14 Unit 6 Comprehension Check / Writing

Week 15 Unit7 Reading

Week 16 Final exam

予習・復習内容

授業課題に取り組み準備をしてのぞむこと。
Students will be expected to be prepared for each class by doing homework assignments before class.

関連科目

教科書 1	**書名**	SOCIAL KEYWORDS			**ISBN**	978-4-384-33475-3
	著者名	Akiko Miyama	**出版社**	SANSHUSHA	**出版年**	2018

教科書に関する補足事項

適宜プリント配布
Some printing materials will be distributed if necessary.

参考書に関する補足事項

達成目標

英文を読む力及び書く力を養う。
文章が伝える情報を早く正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

To develop English reading and writing skill.
Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：
中間/期末（60%）Power Words（30%），授業への貢献度（10%）の割合で評価する

評価基準
評価点数を足したものが S: ≧90 A: 80-89 B: 70-79 C: 60-69
期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，
4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the exam (60%), Power Words (30%),
and contribution to the class (10%).
Grade distribution:
S: ≧90 A: 80-89 B: 70-79 C: 60-69
The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
定期試験を実施
Examination

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業の前後
I'll be available before and after class

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033032d)英語 Reading & Writing Ⅰ[English Reading & Writing 1]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅰ[English Reading & Writing 1]				
時間割番号	B1033032d	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	高橋　直子 TAKAHASHI Naoko				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

高校までに習得した英語の基礎力を確実にしながら、Reading と Writing における英語力をさらに強化していく。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、物の見方に触れる。

While strengthening students' basic skills in English which they acquired in high school, we further build upon their English abilities in academic reading and writing. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

第 1 週　Course Introduction, pp. 1-4 : Chapter 1　How to be a "good reader": Pay attention to how you read; Vocabulary strategies (1)
第 2 週　pp.5-7: Chapter 1　How to be a "good reader": Vocabulary strategies (2)
第 3 週　pp.9-11: Chapter 2　Approach to reading: Learning to preview (1)
第 4 週　pp.12-15: Chapter 2　Approach to reading: Getting the overall meaning (1)
第 5 週　pp.15-18: Chapter 2　Approach to reading: Getting the overall meaning (2)
第 6 週　pp.19-22: Chapter 3　Finding the main idea: Looking for the main idea: Identifying the main idea (1)
第 7 週　pp.23-25: Chapter 3　Finding the main idea: Identifying the main idea (2)
第 8 週　Midterm exam, catch up and/or additional exercises
第 9 週　pp.27-29: Chapter 4　Exploring the main idea: Looking for topic sentence (1)
第 10 週　pp.30-31: Chapter 4　Exploring the main idea: Looking for topic sentence (2)
第 11 週　pp.32-33: Chapter 4　Exploring the main idea: Looking for topic sentence (3)
第 12 週　pp.35-38: Chapter 5　Reading faster: How fast should you read (1)
第 13 週　pp.39-41: Chapter 5　Reading faster: How fast should you read (2)
第 14 週　pp.42-43: Chapter 5　Reading faster: How fast should you read (3)
第 15 週　Catch up/make up/review
第 16 週　Final exam

Week 1　Course Introduction, pp. 1-4 : Chapter 1　How to be a "good reader": Pay attention to how you read; Vocabulary strategies (1)
Week 2　pp.5-7: Chapter 1　How to be a "good reader": Vocabulary strategies (2)
Week 3　pp.9-11: Chapter 2　Approach to reading: Learning to preview (1)
Week 4　pp.12-15: Chapter 2　Approach to reading: Getting the overall meaning (1)
Week 5　pp.15-18: Chapter 2　Approach to reading: Getting the overall meaning (2)
Week 6　pp.19-22: Chapter 3　Finding the main idea: Looking for the main idea: Identifying the main idea (1)
Week 7　pp.23-25: Chapter 3　Finding the main idea: Identifying the main idea (2)
Week 8　Midterm exam, catch up and/or additional exercises
Week 9　pp.27-29: Chapter 4　Exploring the main idea: Looking for topic sentence (1)
Week 10　pp.30-31: Chapter 4　Exploring the main idea: Looking for topic sentence (2)
Week 11　pp.32-33: Chapter 4　Exploring the main idea: Looking for topic sentence (3)
Week 12　pp.35-38: Chapter 5　Reading faster: How fast should you read (1)
Week 13　pp.39-41: Chapter 5　Reading faster: How fast should you read (2)
Week 14　pp.42-43: Chapter 5　Reading faster: How fast should you read (3)
Week 15　Catch up/make up/review
Week 16　Final exam

Week 1 (4/14) Course Introduction, pp.58-59: present perfect: forms (ex.1-4)
Week 2 (4/21) pp.60-61: finished action: present perfect or simple past? (ex.1-5)
Week 3 (4/28) pp.62-63: present perfect or simple past? (ex. 1-5)
Week 4 (5/12) p.64: already, yet and just (ex.1-4), p.65: since and for (ex.1 & 4)
Week 5 (5/19) pp.66-67: present perfect progressive (ex.1-4)
Week 6 (5/26) pp.68-69: past perfect (ex. 1-4)

Week 7 (6/2) p.94: passives: introduction (ex.1 & 2), p.95: simple present passive (ex.1-3)
Week 8 (6/9) p.96: future passive (ex. 1-3), p.97: simple past passive (ex. 1-4)
Week 9 (6/16) Quiz, catch up and/or additional exercises
Week 10 (6/23) p.98: present progressive passive (ex. 1 & 2), p.99: present perfect passive (ex.1 &2)
Week 11 (6/30) p.99: present perfect passive (ex.1 &2), p.145: have something done (ex. 1 & 2)
Week 12 (7/7) pp.254-255: relative who and which (ex.1-4)
Week 13 (7/14) p.256: relative that (ex, 1 & 2), p. 257: leaving out relative pronouns (ex. 1-3)
Week 14 (7/21) p.258: prepositions (ex.1-4), p. 259: relative what (ex. 1-3)
Week 15 (7/28) Catch up/make up/review
Week 16 (8/4) Term exam

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Independent Reader: Improving Essential Reading Skills			**ISBN**	9784895852814
	著者名	Kimura, Shinji and Yuko Shimizu	**出版社**	Macmillan Languagehouse	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1．大学での学習で必要な英語の読解力と作文力を養うこと。
2．英語のショートストーリーの内容を理解すること。
3．基本的な英作文を書けること。

1. To develop competency in both reading and writing required for studies at college.
2. To understand contents of short stories in English.
3. To be able to write simple sentences in English.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
中間テスト25%，期末テスト25%，Power Words 30%，小テスト10%，課題10%の割合で評価する

中間テスト、期末テスト、Power Words、小テスト、課題の点数を足して100点とした場合、
S：達成目標を達成しており，かつ中間テスト・期末テスト・Power Words・小テスト・課題の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつ中間テスト・期末テスト・Power Words・小テスト・課題の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつ中間テスト・期末テスト・Power Words・小テスト・課題の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつ中間テスト・期末テスト・Power Words・小テスト・課題の合計点（100 点満点）が 60 点以上
とする。中間、期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated based on the midterm exam (25%), the final exam (25%), Power Words (30%), short quizzes (10%), and assignments (10%).

Grade distribution:
S; 90 % or more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam covers all the contents listed in “Goals to be achieved.” Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
必要がある場合は、授業後にオフィスアワーを設けます。
I will make a time just after the class if necessary.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英語　リーディング　ライティング
English reading and writing

(B1033033a)英語 Reading & Writing Ⅱ[English Reading & Writing 2]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅱ[English Reading & Writing 2]				
時間割番号	B1033033a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	社河内　友里 SHAKOUCHI Yuri				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

英語 reading, writing の基礎力を更に発展させ、定着させる。
The aim of this class is to improve reading and writing skills.

授業の内容

1. オリエンテーション、Unit 1
2. Unit 1-2
3. Unit 3
4. Unit 4
5. Unit 5
6. Unit 6
7. 中間テスト
8. Unit 7
9. Unit 8
10. Unit 9
11. Unit 10
12. Unit 11
13. Unit 12
14. Wrap-up/Catch-up
15. Wrap-up
16. 期末テスト

1. Guidance, Unit 1
2. Unit 1-2
3. Unit 3
4. Unit 4
5. Unit 5
6. Unit 6
7. Mid-term exam
8. Unit 7
9. Unit 8
10. Unit 9
11. Unit 10
12. Unit 11
13. Unit 12
14. Wrap-up/Catch-up
15. Wrap-up
16. End-term exam

予習・復習内容

次ユニットで分からない単語・熟語があれば、必ず下調べをしておくこと。
Students are required to look for vocabularies and idioms for next class in advance.

関連科目

教科書 1	**書名**	A Good Read 2			**ISBN**	9784881987209
	著者名	Islam and Steenburgh (監修)竹内 理	**出版社**	松柏社	**出版年**	2017

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

リーディングおよびライティング力を定着させ、自分の意見を簡単にまとめられる英語力を身につける。

Students are required to acquire basic reading and writing skills and present their own ideas and thought in English as a goal.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：Power Words (30%)、中間テスト(35%)、最終テスト(35%)　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

S：達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 90 点以上

A：達成目標を 90%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B：達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 70 点以上

C：達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 60 点以上

※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準を適用する。

Evaluation:

Power Words (30%), Review exams (35%), End-term exam (35%).

Evaluation based on the described comprehensively.

Evaluation standard:

Evaluation is based on the following principles with full attendance to a class.

S: More than 90 points (among 100) of exams with full achievements of the goal.

A: More than 80 points (among 100) of exams with 90% achievements of the goal.

B: More than 70 points (among 100) of exams with 80% achievements of the goal.

C: More than 60 points (among 100) of exams with 70% achievements of the goal.

Previous evaluation (A～C) system is applied to students who entered before 2016.

定期試験

定期試験を実施(対面)

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日 13:00~14:00

Wednesday 13:00~14:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

情報・知能工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

環境・生命工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

建築・都市システム学課程

(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
リーディング、ライティング
Reading, Writing

(B1033033b)英語 Reading & Writing Ⅱ[English Reading & Writing 2]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅱ[English Reading & Writing 2]				
時間割番号	B1033033b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	吉川　りさ YOSHIKAWA Lisa				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

英語 reading, writing の基礎力を更に発展させ、定着させる。
The aim of this class is to improve reading and writing skills.

授業の内容

第１週：オリエンテーション、実力診断
第２週：パラグラフライティングとは
第３週：News 1 (Comprehension and Production)
第４週：News 2 (Comprehension and Production)
第５週：News 3 (Comprehension and Production)
第６週：News 4 (Comprehension and Production)
第７週：News 5 (Comprehension and Production)
第８週：News 6 (Comprehension and Production)
第９週：News 7 (Comprehension and Production)
第１０週：News 8 (Comprehension and Production)
第１１週：News 9 (Comprehension and Production)
第１２週：News 10 (Comprehension and Production)
第１３週：News 11 (Comprehension and Production)
第１４週：News 12 (Comprehension and Production)
第１５週：News 13 (Comprehension and Production)
第１６週：期末試験
Week 1：Orientation and assessment
Week 2：Paragraph writing
Week 3：News 1 (Comprehension and Production)
Week 4：News 2 (Comprehension and Production)
Week 5：News 3 (Comprehension and Production)
Week 6：News 4 (Comprehension and Production)
Week 7：News 5 (Comprehension and Production)
Week 8：News 6 (Comprehension and Production)
Week 9：News 7 (Comprehension and Production)
Week 10：News 8 (Comprehension and Production)
Week 11：News 9 (Comprehension and Production)
Week 12：News 10 (Comprehension and Production)
Week 13：News 11 (Comprehension and Production)
Week 14：News 12 (Comprehension and Production)
Week 15：News 13 (Comprehension and Production)
Week 16：Final exam

予習・復習内容

毎授業時に課される課題を通して学習内容を復習し、知識の定着を図ること。
Reflect each lecture via weekly assignments and aim at understanding.

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書は使用しません。プリント・資料を毎授業時に配布します。
英語の単語の意味や発音、アクセント情報などをその場で調べれられる（電子）辞書を毎授業時に持参してください。
No textbooks will be used; Handouts and other materials will be given in every class.
Bring your own (electronic) dictionaries every class to look up for meanings, pronunciations, and lexical stress patterns.

参考書に関する補足事項

達成目標

リーディングおよびライティング力を定着させ、自分の意見を簡単にまとめられる英語力を身につける。

Students are required to acquire basic reading and writing skills and present their own ideas and thought in English as a goal.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末試験 40%、課題 20%、Power Words 30%、授業への貢献度 10%で評価する。
総合的な評価基準：
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出欠の取り扱いについては、4月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the exam (40%), assignments (20%), Power Words (30%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90% or above (out of 100 points)
A: 80～89 (out of 100 points)
B: 70～79 (out of 100 points)
C: 60～69 (out of 100 points)

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April. .

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

適宜対応ですが、確実さのため、まずは、メールにて連絡してください。
Walk-in basis; giving me an email first would be the best way to reach out.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033033c)英語 Reading & Writing Ⅱ[English Reading & Writing 2]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅱ[English Reading & Writing 2]				
時間割番号	B1033033c	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	秋元　恵 AKIMOTO Megumi				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。
また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。
With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1 Course Introduction

Week 2 Unit 8 Reading

Week 3 Unit 8 Comprehension Check / Writing

Week 4 Unit 9 Reading

Week 5 Unit 9 Comprehension Check / Writing

Week 6 Unit 10 Reading

Week 7 Unit 10 Comprehension Check / Writing

Week 8 Mid-term exam

Week 9 Unit 11 Reading

Week 10 Unit11 Comprehension Check / Writing

Week 11 Unit12 Reading

Week 12 Unit12 Comprehension Check / Writing

Week 13 Unit13 Reading

Week 14 Unit13 Comprehension Check / Writing

Week 15 Unit14 Reading

Week 16 Final Exam

Week 1 Course Introduction

Week 2 Unit 8 Reading

Week 3 Unit 8 Comprehension Check / Writing

Week 4 Unit 9 Reading

Week 5 Unit 9 Comprehension Check / Writing

Week 6 Unit 10 Reading

Week 7 Unit 10 Comprehension Check / Writing

Week 8 Mid-term exam

Week 9 Unit 11 Reading

Week 10 Unit11 Comprehension Check / Writing

Week 11 Unit12 Reading

Week 12 Unit12 Comprehension Check / Writing

Week 13 Unit13 Reading

Week 14 Unit13 Comprehension Check / Writing

Week 15 Unit14 Reading

Week 16 Final Exam

予習・復習内容

授業課題に取り組み準備をしてのぞむこと。
Students will be expected to be prepared for each class by doing homework assignments before class.

関連科目

教科書 1	**書名**	SOCIAL KEYWORDS			**ISBN**	978-4-384-33475-3
	著者名	Akiko Miyama	**出版社**	SANSHUSHA	**出版年**	2018

教科書に関する補足事項

適宜プリント配布
Some printing materials will be distributed if necessary.

参考書に関する補足事項

達成目標

英文を読む力及び書く力を養う。
文章が伝える情報を早く正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

To develop English reading and writing skill.
Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：
中間/期末(60%)Power Words(30%)，授業への貢献度(10%)の割合で評価する

評価基準
評価点数を足したものが S: ≧90 A: 80-89 B: 70-79 C: 60-69
期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，
4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the exam (60%), Power Words (30%),
and contribution to the class (10%).
Grade distribution:
S: ≧90 A: 80-89 B: 70-79 C: 60-69
The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
定期試験を実施
Examination

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業の前後
I'll be available before and after class

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering

(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード

(B1033033d)英語 Reading & Writing Ⅱ[English Reading & Writing 2]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅱ[English Reading & Writing 2]				
時間割番号	B1033033d	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	高橋　直子 TAKAHASHI Naoko				
ナンバリング	GEN_FOR22020				

授業の目標

高校までに習得した英語の基礎力を確実にしながら、Reading と Writing における英語力をさらに強化していく。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、物の見方に触れる。

While strengthening students' basic skills in English which they acquired in high school, we further build upon their English abilities in academic reading and writing. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

第 1 週 テスト返却 pp. 45-49 : Chapter 6 Understanding organization: Learning how details are organized; Detail organization pattern I (1)
第 2 週 pp. 50-52 : Chapter 6 Understanding organization: Detail organization pattern I (2)
第 3 週 pp. 53-55 : Chapter 7 Recognizing logical writing: Detail organization pattern II
第 4 週 pp. 55-56 : Chapter 7 Recognizing logical writing: Detail organization pattern III (1)
第 5 週 pp. 57-59 : Chapter 7 Recognizing logical writing: Detail organization pattern III (2)
第 6 週 pp. 61-63 : Chapter 8 Finding similarities and differences: Detail organization pattern IV (1)
第 7 週 pp. 64-65 : Chapter 8 Finding similarities and differences: Detail organization pattern IV (2)
第 8 週 pp. 66-67 : Chapter 8 Finding similarities and differences: Detail organization pattern IV (3)
第 9 週 Midterm exam, catch up and/or additional exercises
第 10 週 pp. 69-72 : Chapter 9 Stepping up to longer passages: From reading paragraphs to reading texts; Identifying the structure (1)
第 11 週 pp. 73-75 : Chapter 9 Stepping up to longer passages: Identifying the structure (2)
第 12 週 pp. 77-79 : Chapter 10 Summarizing longer passages: Learning to summarize (1)
第 13 週 pp. 80-81 : Chapter 10 Summarizing longer passages: Learning to summarize (2)
第 14 週 pp. 82-84 : Chapter 10 Summarizing longer passages: Learning to summarize (3)
第 15 週 Catch up/make up/review
第 16 週 Final exam

Week 1 Returning the final exams; pp. 45-49 : Chapter 6 Understanding organization: Learning how details are organized; Detail organization pattern I (1)
Week 2 pp. 50-52 : Chapter 6 Understanding organization: Detail organization pattern I (2)
Week 3 pp. 53-55 : Chapter 7 Recognizing logical writing: Detail organization pattern II
Week 4 pp. 55-56 : Chapter 7 Recognizing logical writing: Detail organization pattern III (1)
Week 5 pp. 57-59 : Chapter 7 Recognizing logical writing: Detail organization pattern III (2)
Week 6 pp. 61-63 : Chapter 8 Finding similarities and differences: Detail organization pattern IV (1)
Week 7 pp. 64-65 : Chapter 8 Finding similarities and differences: Detail organization pattern IV (2)
Week 8 pp. 66-67 : Chapter 8 Finding similarities and differences: Detail organization pattern IV (3)
Week 9 Midterm exam, catch up and/or additional exercises
Week 10 pp. 69-72 : Chapter 9 Stepping up to longer passages: From reading paragraphs to reading texts; Identifying the structure (1)
Week 11 pp. 73-75 : Chapter 9 Stepping up to longer passages: Identifying the structure (2)
Week 12 pp. 77-79 : Chapter 10 Summarizing longer passages: Learning to summarize (1)
Week 13 pp. 80-81 : Chapter 10 Summarizing longer passages: Learning to summarize (2)
Week 14 pp. 82-84 : Chapter 10 Summarizing longer passages: Learning to summarize (3)
Week 15 Catch up/make up/review
Week 16 Final exam
pp. 1-4 : Chapter 1 How to be a "good reader": Pay attention to how you read; Vocabulary strategies (1)
Week 2 pp.5-7: Chapter 1 How to be a "good reader": Vocabulary strategies (2)
Week 3 pp.9-11: Chapter 2 Approach to reading: Learning to preview (1)
Week 4 pp.12-15: Chapter 2 Approach to reading: Getting the overall meaning (1)
Week 5 pp.15-18: Chapter 2 Approach to reading: Getting the overall meaning (2)

Week 6　pp.19-22: Chapter 3　Finding the main idea: Looking for the main idea: Identifying the main idea (1)
Week 7　pp.23-25: Chapter 3　Finding the main idea: Identifying the main idea (2)
Week 8　Midterm exam, catch up and/or additional exercises
Week 9　pp.27-29: Chapter 4　Exploring the main idea: Looking for topic sentence (1)
Week 10　pp.30-31: Chapter 4　Exploring the main idea: Looking for topic sentence (2)
Week 11　pp.32-33: Chapter 4　Exploring the main idea: Looking for topic sentence (3)
Week 12　pp.35-38: Chapter 5　Reading faster: How fast should you read (1)
Week 13　pp.39-41: Chapter 5　Reading faster: How fast should you read (2)
Week 14　pp.42-43: Chapter 5　Reading faster: How fast should you read (3)
Week 15　Catch up/make up/review
Week 16　Final exam

Week 1 (4/14) Course Introduction, pp.58-59: present perfect: forms (ex.1-4)
Week 2 (4/21) pp.60-61: finished action: present perfect or simple past? (ex.1-5)
Week 3 (4/28) pp.62-63: present perfect or simple past? (ex. 1-5)
Week 4 (5/12) p.64: already, yet and just (ex.1-4), p.65: since and for (ex.1 & 4)
Week 5 (5/19) pp.66-67: present perfect progressive (ex.1-4)
Week 6 (5/26) pp.68-69: past perfect (ex. 1-4)
Week 7 (6/2) p.94: passives: introduction (ex.1 & 2), p.95: simple present passive (ex.1-3)
Week 8 (6/9) p.96: future passive (ex. 1-3), p.97: simple past passive (ex. 1-4)
Week 9 (6/16) Quiz, catch up and/or additional exercises
Week 10 (6/23) p.98: present progressive passive (ex. 1 & 2), p.99: present perfect passive (ex.1 &2)
Week 11 (6/30) p.99: present perfect passive (ex.1 &2), p.145: have something done (ex. 1 & 2)
Week 12 (7/7) pp.254-255: relative who and which (ex.1-4)
Week 13 (7/14) p.256: relative that (ex, 1 & 2), p. 257: leaving out relative pronouns (ex. 1-3)
Week 14 (7/21) p.258: prepositions (ex.1-4), p. 259: relative what (ex. 1-3)
Week 15 (7/28) Catch up/make up/review
Week 16 (8/4)　Term exam

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Independent Reader: Improving Essential Reading Skills			**ISBN**	9784895852814
	著者名	Kimura, Shinji and Yuko Shimizu	**出版社**	Macmillan Languagehouse	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1．大学での学習で必要な英語の読解力と作文力を養うこと。
2．英語のショートストーリーの内容を理解すること。
3．基本的な英作文を書けること。

1. To develop competency in both reading and writing required for studies at college.
2. To understand contents of short stories in English.
3. To be able to write simple sentences in English.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
中間テスト25%，期末テスト25%，Power Words 30%，小テスト10%，課題10%の割合で評価する

中間テスト、期末テスト、Power Words、小テスト、課題の点数を足して100点とした場合、
S：達成目標を達成しており，かつ中間テスト・期末テスト・Power Words・小テスト・課題の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつ中間テスト・期末テスト・Power Words・小テスト・課題の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつ中間テスト・期末テスト・Power Words・小テスト・課題の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつ中間テスト・期末テスト・Power Words・小テスト・課題の合計点（100 点満点）が 60 点以上
とする。中間、期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated based on the midterm exam (25%), the final exam (25%), Power Words (30%), short quizzes (10%), and assignments (10%).

Grade distribution:
S; 90 % or more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

必要がある場合は、授業後にオフィスアワーを設けます。
I will make a time just after the class if necessary.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英語　リーディング　ライティング
English reading and writing

(B1033034b)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034b	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Kurt Howard Schultz, 英語科責任教員 Kurt Howard Schultz, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

Class 1 Introduction. Start Chapter 1
Class 2 Continue Chapter 1
Class 3 Conclude Chapter 1
Class 4 Practice Chapter 1 writing & reading skills
Class 5 Start Chapter 2
Class 6 Continue Chapter 2
Class 7 Conclude Chapter 2
Class 8 Practice Chapter 2 writing & reading skills
Class 9 Start Chapter 3
Class 10 Continue Chapter 3
Class 11 Conclude Chapter 3
Class 12 Practice Chapter 3 writing & reading skills
Class 13 Start Chapter 4
Class 14 Continue Chapter 4
Class 15 Conclude Chapter 4

予習・復習内容

Students will be held responsible for reviewing previous work and taking part in the online activities provided by the text.

関連科目

教科書 1	書名	Q:Skills for Success Reading and Writing 3			ISBN	978-0-19-481902-2
	著者名	Colin S. Ward & Margot F. Gramer	出版社	Oxford University Press	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 英文を読む力及び書く力を養う。特に, 文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Written reports 80% (EST Corpus 20%を含む)
Participation 20%

B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点(100 点満点)以上

Written reports 80% (including EST Corpus 20%)

Participation 20%

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033034c)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034c	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Ryan Eugene, 英語科責任教員 RYAN Eugene, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ, これまで身につけた英語をさらに強化する。また, 英語を媒介として世界のさまざまな文化, ものの見方に触れる。

授業の内容

1. Course introduction
2. Unit 1
3. Unit 1
4. Unit 1
5. Unit 2
6. Unit 2
7. Unit 2
8. Unit 3
9. Unit 3
10. Unit 3
11. Unit 4
12. Unit 4
13. Unit 4
14. Review
15. Review
16. Final test

予習・復習内容

関連科目

教科書 1	書名	Unlock Student's book with online workbook			ISBN	978-1-107-61400-0
	著者名	Richard O' Neill	出版社	Cambridge University Press	出版年	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

Students will gain confidence that they can communicate purposefully and enjoyably in English with the language skills they already possess.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法: 期末テスト 30%、小テスト・課題等 50%, EST Corpus 20%

S:90 点以上
A:80 点以上
B:70 点以上
C:60 点以上

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Room: B-512
Tel. : 44-6960

ウェルカムページ

オフィスアワー
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
reading writing

(B1033034d)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034d	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Levin David Michael, 英語科責任教員 Levin David Michael, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1 Course Introduction, Unit 1

Week 2 Unit 1

Week 3 Unit 1

Week 4 Unit 1

Week 5 Unit 2

Week 6 Unit 2

Week 7 Unit 2

Week 8 Unit 3

Week 9 Unit 3

Week 10 Unit 3

Week 11 Unit 4

Week 12 Unit 4

Week 13 Unit 4

Week 14 Unit 4

Week 15 Review

Week 16 Term Exam

Week 1 Course Introduction, Unit 1

Week 2 Unit 1

Week 3 Unit 1

Week 4 Unit 1

Week 5 Unit 2

Week 6 Unit 2

Week 7 Unit 2

Week 8 Unit 3

Week 9 Unit 3

Week 10 Unit 3

Week 11 Unit 4

Week 12 Unit 4

Week 13 Unit 4

Week 14 Unit 4

Week 15 Review

Week 16 Term Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

Other English classes
Other English classes

教科書 1	**書名**	Unlock Reading & Writing Skills 2			**ISBN**	978-1-107-61400-0
	著者名	Richard O'Neill	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1. To develop English reading and writing skills. Above all, this course focuses on obtaining the ability comprehend reading material and express oneself through basic English writing.
2. To increase vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

1. To develop English reading and writing skills. Above all, this course focuses on obtaining the ability comprehend reading material and express oneself through basic English writing.
2. To increase vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末テスト60%，EST Corpus 20%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。

B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

Students will be evaluated according to the term exam (60%), EST Corpus (20%), short quizzes, other assignments (10%) and contribution to the class (10%).

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp
Office: B-318
Phone: 44-6949
e-mail：levin@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ
NA
NA

オフィスアワー
Drop-in basis
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

English, Listening and Speaking
English, Listening and Speaking

(B1033034e)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034e	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	大木 ひろみ, 英語科責任教員 OKI Hiromi, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

第1週 授業紹介、Chapter 1 "Fast Food: Nothing New under the Sun!": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
第2週 Chapter 1 "Fast Food: Nothing New under the Sun!": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
第3週 Chapter 2 "Famous Dogs": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
第4週 Chapter 2 "Famous Dogs": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
第5週 Chapter 3 "When Was it Invented?": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
第6週 Chapter 3 "When Was it Invented?": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
第7週 復習テスト、追加の練習問題
第8週 Chapter 4 "Never Give Up: An Anti-Bullying Song": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
第9週 Chapter 4 "Never Give Up: An Anti-Bullying Song": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
第10週 Chapter 5 "The Migration of the Monarch Butterflies": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
第11週 Chapter 5 "The Migration of the Monarch Butterflies": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
第12週 Chapter 6 "New Foods from the New World": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
第13週 Chapter 6 "New Foods from the New World": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
第14週 Chapter 7 "Foreign Language Study Makes You a Global Citizen": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
第15週 Chapter 7 "Foreign Language Study Makes You a Global Citizen": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, 復習テスト
第16週 定期試験
Week 1 Course introduction, Chapter 1 "Fast Food: Nothing New under the Sun!": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
Week 2 Chapter 1 "Fast Food: Nothing New under the Sun!": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
Week 3 Chapter 2 "Famous Dogs": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
Week 4 Chapter 2 "Famous Dogs": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
Week 5 Chapter 3 "When Was it Invented?": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
Week 6 Chapter 3 "When Was it Invented?": Warming Up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
Week 7 Review, Quiz, Additional exercises
Week 8 Chapter 4 "Never Give Up: An Anti-Bullying Song": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
Week 9 Chapter 4 "Never Give Up: An Anti-Bullying Song": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
Week 10 Chapter 5 "The Migration of the Monarch Butterflies": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
Week 11 Chapter 5 "The Migration of the Monarch Butterflies": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Erros, Full Writing
Week 12 Chapter 6 "New Foods from the New World": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
Week 13 Chapter 6 "New Foods from the New World": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing
Week 14 Chapter 7 "Foreign Language Study Makes You a Global Citizen": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary
Week 15 Chapter 7 "Foreign Language Study Makes You a Global Citizen": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Review, Quiz
Week 16 Term exam

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目
火曜日開講の英語 Listening & Speaking III
English Listening & Speaking 3 (Tuesday)

教科書 1	**書名**	Read Well, Write Better : リーディングで鍛える英作文			**ISBN**	9784791947874
	著者名	Joan McConnell 著,武田 修一 著, 山内 圭 著,	**出版社**	成美堂	**出版年**	2017

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1. 英文を読む力及び書く力を養う。特に, 文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
定期試験60%、小テスト10%、課題10%、EST-Corpus20%の割合で評価する。

定期試験(60点満点)の点数に小テスト(10点満点)、課題(10点満点)、EST-Corpus(20点満点)の点数を足したものが90点以上を S、89～80点を A、79～70点を B、69～60点を C とする。但し、4年生は80点以上を A、79～65点を B、64～55点を C とする。定期試験の内容は達成目標をすべて含む。また, 出席と欠席の取扱については, 4月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam (60%), short quizzes (10%), assignments (10%), and EST-Corpus (20%)

Grade distribution:
S: 90 or higher
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業の前後
I'll be available before and after class

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033034f)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034f	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	諏訪　純代, 英語科責任教員 SUWA Sumiyo, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

1 授業の概要説明、導入
2 Chapter 1 パラグラフとは？
3 Chapter 2 主題文とは？
4 Chapter 3 支持文とは？
5 Chapter 4 時間順序
6 Chapter 5 空間の順序
7 Chapter 6 過程・手順と支持
8 中間試験
9 Chapter 7 因果関係による展開
10 Chapter 8 例示による展開
11 Chapter 9 定義による展開
12 Chapter 10 分類による展開
13 Chapter 11 比較・対象による展開
14 Chapter 12 まとめと復習
15 Chapter 13 パラグラフから小論文へ
16 期末試験
1 Introduction
2 Chapter 1 What is a Paragraph?
3 Chapter 2 The Topic Sentence
4 Chapter 3 Supporting Sentences
5 Chapter 4 Time Order
6 Chapter 5 Space Order
7 Chapter 6 Process and Direction
8 Mid-Term Exam
9 Chapter 7 Cause and effect
10 Chapter 8 Examples
11 Chapter 9 Definition
12 Chapter 10 Classification
13 Chapter 11 Comparison and Contrast
14 Chapter 12 Review
15 Chapter 13 From a Paragraph to a Short Essay
16 Final Exam

予習・復習内容

Reading の箇所を予習し、自分なりに理解しておく。

Prepare Reading section.

関連科目

英語 Listening & Speaking Ⅲ

English listening & Speaking Ⅲ

教科書 1	**書名**	Get Your Message Across			**ISBN**	978-4-523-17593-3
	著者名	Hisatake Jimbo et al.,	**出版社**	NAN'UN-DO	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項

適宜プリントを配布する。

To distribute materials properly.

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を読む力及び書く力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験60%、小テスト10%、課題10%、EST-Corpus20%の割合で評価する。

定期試験（60点満点）の点数に小テスト（10点満点）、課題（10点満点）、EST-Corpus（20点満点）の点数を足したものが90点以上を S、89～80点を A，79～70点を B，69～60点を C とする。定期試験の内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the term exam (60%), short quizzes (10%), assignments (10%), and EST-Corpus (20%)

Grade distribution:
S: 90% or above
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
D: Under 60%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程

(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033034g)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034g	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Davey Charles Godfrey, 英語科責任教員 Davey Charles Godfrey, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading.
Students will look at the skills of reading and the way words can change the meaning of what is being read.

Writing:
Students should be introduced to different styles of writing and understand ways an argument can develop. They will study the elements involved in planning what to write. They should also learn grammatical constructs of how to develop a piece of writing.

授業の内容

There will be 15 lessons based on the textbook. The lessons will include regular tests based on the materials, as well as in-class requirements such as short presentations, individual or in small groups. The lessons will include a review of the term, an exam, and an exam review.

予習・復習内容

Students will be given the names of two apps to download - WNYC and the BBC - to listen to and to read. These stations provide exposure to both British English and North American English.
Students should read the material presented.
I will do my best to make available online video where possible.

関連科目

All subjects are related

教科書 1	書名	Select Readings. Pre-intermediate			ISBN	978-0-19-433211-8
	著者名	Linda Lee and Erik Gundersen	出版社	Oxford University Press	出版年	2011

教科書に関する補足事項

Challenging texts selected to help students read effectively, with exercises before and after the readings for students to practise reading skills, check comprehension and build vocabulary.

参考書 1	書名	Clear Speech from the Start Student's Book: Basic Pronunciation and Listening Comprehension in North American English			ISBN	978-1-107-68715-8
	著者名	Judy B. Gilbert	出版社	Cambridge University Press	出版年	

参考書に関する補足事項

Brilliant exposition of the way English is spoken and makes the point that to read and write require an understanding of the rhythms of English.

達成目標

Improved fluency in reading and understanding texts.
Improved ability to present an argument, and more fluency in writing.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Evaluation is based on periodic tests, an end of semester exam, and class participation

Reading comprehension: 30%
Writing test 30%
Class assignments/participation: 20%
Power Words: 20%

Grade: S = 90%+
A = 80%+
B = 70%+
C = 60%+
D = 59%− (rejection)

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
The
exam will be split between the Reading portion and the Writing portion.

Dictionaries will be allowed.

The Reading exam will be based on a text plus question from the work
covered in class.

The Writing exam will be a on a subject given by the teacher and
students will be expected to present a piece of at least 300 words.

その他
At the start of the semester I will give my students my email and encourage
them to use it if they have difficulties. Students should only use English
in class, in their note taking and their conversations. They should understand
that they have limited opportunities to use English, and to learn to understand English
they need to think in English.

ウェルカムページ
www.charlesdaveybooks.com is my website. I have a number of books on architecture and design

I also have a Facebook page that they can access: Learn English With Charles

オフィスアワー
The days of the lesson, and by request.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードす

るコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033034h)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034h	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	秋元　恵, 英語科責任教員 AKIMOTO Megumi, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。
また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。
With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

Week 1 Course Introduction
Week 2 Reading1 Culture Studies 1 / Writing
Week 3 Reading1 Culture Studies 2 / Writing
Week 4 Reading2 Sociology 1 / Writing
Week 5 Reading2 Sociology 2 / Writing
Week 6 Reading3 Astronomy1 / Writing
Week 7 Reading3 Astronomy2 /Writing
Week 8 Mid-term exam
Week 9 Reading4 Sociology 3 /Writing
Week 10 Reading4 Sociology 4 /Writing
Week 11 Reading5 Business studies1 /Writing
Week 12 Reading5 Business studies2 /Writing
Week 13 Reading6 Business studies3 /Writing
Week 14 Reading6 Psychology1 /Writing
Week 15 Reading6 Psychology2 /Writing
Week 16 Final Exam

Week 1 Course Introduction
Week 2 Reading1 Culture Studies 1 / Writing
Week 3 Reading1 Culture Studies 2 / Writing
Week 4 Reading2 Sociology 1 / Writing
Week 5 Reading2 Sociology 2 / Writing
Week 6 Reading3 Astronomy1 / Writing
Week 7 Reading3 Astronomy2 /Writing
Week 8 Mid-term exam
Week 9 Reading4 Sociology 3 /Writing
Week 10 Reading4 Sociology 4 /Writing
Week 11 Reading5 Business studies1 /Writing
Week 12 Reading5 Business studies2 /Writing
Week 13 Reading6 Business studies3 /Writing
Week 14 Reading6 Psychology1 /Writing
Week 15 Reading6 Psychology2 /Writing
Week 16 Final Exam

予習・復習内容

授業課題に取り組み準備をしてのぞむこと。
Students will be expected to be prepared for each class by doing homework assignments before class.

関連科目

教科書 1	**書名**		**ISBN**	

	著者名		出版社		出版年	

教科書に関する補足事項
授業内で指示
Will be introduced in the Class

参考書に関する補足事項

達成目標
英文を読む力及び書く力を養う。
文章が伝える情報を早く正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

To develop English reading and writing skill.
Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法
中間・期末テスト 60%, 小テスト・課題 30%, 授業への貢献度 10%の割合(EST Corpus 20%を含む)で評価する。

評価基準:評価点数を足したものが

3年生
S: ≧90 A: 80-89 B: 70-79 C: 60-69
4年生のみ
A: ≧ 80 B :65-79 C: 55-64

期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また, 出席と欠席の取扱については,
4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the exam (60%), short quizzes, other assignments (30%), and contribution to the class (10%) (including EST Corpus 20%).
Grade distribution:
S: ≧90 A: 80-89 B: 70-79 C: 60-69 D:0-59

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
定期試験を実施
Examination

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業の前後
I'll be available before and after class

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033034i)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034i	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	火 1～1	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	石黒 ひとみ, 英語科責任教員 ISHIGURO Hitomi, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、特に Reading 及び Writing をさらに強化する。
With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve reading and writing skill of each student.

授業の内容

第 1 週 Course introduction, Unit 1 Olympic Cities
第 2 週 Unit 2 Internet Communities
第 3 週 Unit 3 Console Gaming
第 4 週 Unit 4 Teleworking
第 5 週 Unit 6 E-books
第 6 週 Unit 7 Multiculturalism
第 7 週 Unit 8 Space Tourism
第 8 週 Unit 10 Volunteering、EST Corpus 単語テスト1
第 9 週 Unit 12 Pop Culture Heroes
第 10 週 Unit 14 Climate Change
第 11 週 Unit 15 High-Speed Trains
第 12 週 Unit 16 Single Child Families
第 13 週 Unit 17 Identity Theft
第 14 週 Unit 19 Trans Fat
第 15 週 Unit 20 Artificial Intelligence、EST Corpus 単語テスト2
第 16 週 Term exam

Week 1 Course introduction, Unit 1 Olympic Cities
Week 2 Unit 2 Internet Communities
Week 3 Unit 3 Console Gaming
Week 4 Unit 4 Teleworking
Week 5 Unit 6 E-books
Week 6 Unit 7 Multiculturalism
Week 7 Unit 8 Space Tourism
Week 8 Unit 10 Volunteering, EST Corpus vocabulary exam 1
Week 9 Unit 12 Pop Culture HeroesA
Week 10 Unit14 Climate Change
Week 11 Unit 15 High-Speed Trains
Week 12 Unit 16 Single Child Families
Week 13 Unit 17 Identity Theft
Week 14 Unit 19 Trans Fat
Week 15 Unit 20 Artificial Intelligence, EST Corpus vocabulary exam 2
Week 16 Term exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	書名	Reading Pass 1 Second Edition			ISBN	978-4-523-17774-6
	著者名	Andrew E. Bennett	出版社	Nan'un-do	出版年	2015

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を読む力及び書く力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末テスト80%，EST Corpus 20%の割合で評価する。

評価基準：期末テスト（80点満点）の点数に小テスト・課題（10点満点），授業への貢献度（10点満点）の点数を足したものが90点以上を S、80～89点をA、70～79点をB、60～69点をCとする。期末テストの内容は、達成目標をすべて含む。また、出席・欠席の取り扱いについては、4月のオリエンテーションで説明する。

Students will be evaluated according to the term exam (80%) and EST Corpus (20%).

Grade distribution:
S: 90% or above
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

非常勤講師室　月：8:45-10:25、火：8:45-12:05, 14:35-16:15

Email: hitomi_april1@hotmail.co.jp

Part-Time Teacher's Room Monday: 8:45-10:25, Tuesday: 8:45-12:05, 14:35-16:15

Email: hitomi_april1@hotmail.co.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

非常勤講師室　月：8:45-10:25、火：8:45-12:05, 14:35-16:15

Part-Time Teacher's Room Monday: 8:45-10:25, Tuesday: 8:45-12:05, 14:35-16:15

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering (E) Expression and communication ability for success at home and abroad Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering (E) Expression and communication ability for success at home and abroad Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
キーワード 英語、リーディング、ライティング English, Reading, Writing

(B1033034j)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034j	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	火 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	加藤　三保子, 英語科責任教員 KATOH Mihoko, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

Week 1: Course introduction, Unit 1, Chapter 1 (3. reading + ex. 4-6)
Week 2: Chapter 1 (3. reading + ex. 4-6)
Week 3: Chapter 2 (3. reading + ex. 4-6)
Week 4: Chapter 2 (3. reading + ex. 4-6)
Week 5: Chapter 3 (3. reading + ex. 4-6)
Week 6: Chapter 3 (3. reading + ex. 4-6)
Week 7: Chapter 4 (3. reading + ex. 4-6)
Week 8: Chapter 4 (3. reading + ex. 4-6)
Week 9: Chapter 5 (3. reading + ex. 4-6)
Week 10: Chapter 5 (3. reading + ex. 4-6)
Week 11: Chapter 6 (3. reading + ex. 4-6)
Week 12: Chapter 6 (3. reading + ex. 4-6)
Week 13: Chapter 7 (3. reading + ex. 4-6)
Week 14: Chapter 7 (3. reading + ex. 4-6)
Week 15: Chapter 6 (3. reading + ex. 4-6)
Week 16: Term exam.
Week 1: Course introduction, Unit 1, Chapter 1 (3. reading + ex. 4-6)
Week 2: Chapter 1 (3. reading + ex. 4-6)
Week 3: Chapter 2 (3. reading + ex. 4-6)
Week 4: Chapter 2 (3. reading + ex. 4-6)
Week 5: Chapter 3 (3. reading + ex. 4-6)
Week 6: Chapter 3 (3. reading + ex. 4-6)
Week 7: Chapter 4 (3. reading + ex. 4-6)
Week 8: Chapter 4 (3. reading + ex. 4-6)
Week 9: Chapter 5 (3. reading + ex. 4-6)
Week 10: Chapter 5 (3. reading + ex. 4-6)
Week 11: Chapter 6 (3. reading + ex. 4-6)
Week 12: Chapter 6 (3. reading + ex. 4-6)
Week 13: Chapter 7 (3. reading + ex. 4-6)
Week 14: Chapter 7 (3. reading + ex. 4-6)
Week 15: Chapter 6 (3. reading + ex. 4-6)
Week 16: Term exam.

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	書名	Read This! 2			ISBN	978-0-521-74789-9
	著者名	Daphne Mackey & Alice Savage	出版社	Cambridge University Press	出版年	2016

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を読む力及び書く力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合（EST Corpus 20%)で評価する。

評価基準：期末テスト（80点満点）の点数に小テスト・課題（10点満点），授業への貢献度（10点満点）の点数を足したものが80点以上をA，79～65点をB，64～55点をCとする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the term exam (80%), quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%) (including EST Corpus 20%). The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

Grade distribution:

S: Achieved all goals and obtained total points of exam and quizzes, 90 or higher (out of 100 points).

A: Achieved all goals and obtained total points of exam and quizzes, 80 or higher (out of 100 points).

B: Achieved at least 65 % of goals and obtained total points of exam and quizzes, 70 or higher (out of 100 points).

C: Achieved at least 55 % of goals and obtained total points of exam and quizzes, 60 or higher (out of 100 points).

B4 only

A: 80 or higher

B: 65-79

C: 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

火曜日 13:00~15:00

Tuesday 13:00~15:00

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

環境・生命工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

建築・都市システム学課程

(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方

自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文読解、英作文
English reading, English writing

(B1033034k)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034k	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	池松　峰男, 英語科責任教員 IKEMATSU Mineo, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

第 1 週 Introduction　Writing topic 1 given
第 2 週 Reading 1 / Topic 1 writing
第 3 週 Reading quiz 1 / topic 1 review & topic 2 given
第 4 週 Reading 2 / topic 2 writing
第 5 週 Reading quiz 2 / topic 2 review & topic 3 given
第 6 週 Reading 3 / topic 3 writing
第 7 週 Reading quiz 3 / topic 3 review & topic 4 given
第 8 週 EST Corpus Mid-term Exam / Wrap-up Exam 1
第 9 週 Reading 4 / topic 4 writing
第 10 週 Reading quiz 4 / topic 4 review & topic 5 given
第 11 週 Reading 5 / topic 5 writing
第 12 週 Reading quiz 5 / topic 5 review & topic 6 given
第 13 週 Reading 6 / topic 6 writing
第 14 週 Reading quiz 6 / topic 6 review
第 15 週 EST Corpus Final Exam / Wrap-up Exam 2

Week 1 Introduction　Writing topic 1 given
Week 2 Reading 1 / Topic 1 writing
Week 3 Reading quiz 1 / topic 1 review & topic 2 given
Week 4 Reading 2 / topic 2 writing
Week 5 Reading quiz 2 / topic 2 review & topic 3 given
Week 6 Reading 3 / topic 3 writing
Week 7 Reading quiz 3 / topic 3 review & topic 4 given
Week 8 EST Corpus Mid-term Exam / Wrap-up Exam 1
Week 9 Reading 4 / topic 4 writing
Week 10 Reading quiz 4 / topic 4 review & topic 5 given
Week 11 Reading 5 / topic 5 writing
Week 12 Reading quiz 5 / topic 5 review & topic 6 given
Week 13 Reading 6 / topic 6 writing
Week 14 Reading quiz 6 / topic 6 review
Week 15 EST Corpus Final Exam / Wrap-up Exam 2

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について予習してくること。科学技術英単語集(EST Corpus)を自学すること。

Review each lecture and prepare for the next class. Learn the EST Corpus on a self-study basis.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を読む力及び書く力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法

読解テスト 30%, 筆記テスト 30%, 単語テスト(EST Corpus) 20%, 授業への取組 20%

評価基準

読解テスト・筆記テスト(60 点満点)および単語テスト(20 点満点)の点数に授業への取組(20 点満点)の点数を足したものが 90 点以上を S, 80～89点以上をA, 70～79点をB, 60～69点をCとする。出席と欠席の取扱については, 4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Assessment will be based on a reading comprehension test 30%, a writing test 30%, EST corpus test 20% and class-contribution 20%.

S: ≧90
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細

その他

受講上の注意

1.授業と関連のない作業は認めない。
2.授業中の居眠りは退出の対象とする。

Notice
1.Work unrelated to class activity will not be permitted.
2.Students dozing will be ordered to leave the class.

ウェルカムページ

オフィスアワー

適宜対応

Drop-in basis.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

キーワード

(B1033034I)英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅲ[English Reading & Writing 3]				
時間割番号	B1033034I	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	池松　峰男, 英語科責任教員 IKEMATSU Mineo, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

第 1 週 Introduction　Writing topic 1 given
第 2 週 Reading 1 / Topic 1 writing
第 3 週 Reading quiz 1 / topic 1 review & topic 2 given
第 4 週 Reading 2 / topic 2 writing
第 5 週 Reading quiz 2 / topic 2 review & topic 3 given
第 6 週 Reading 3 / topic 3 writing
第 7 週 Reading quiz 3 / topic 3 review & topic 4 given
第 8 週 EST Corpus Mid-term Exam / Wrap-up Exam 1
第 9 週 Reading 4 / topic 4 writing
第 10 週 Reading quiz 4 / topic 4 review & topic 5 given
第 11 週 Reading 5 / topic 5 writing
第 12 週 Reading quiz 5 / topic 5 review & topic 6 given
第 13 週 Reading 6 / topic 6 writing
第 14 週 Reading quiz 6 / topic 6 review
第 15 週 EST Corpus Final Exam / Wrap-up Exam 2

Week 1 Introduction　Writing topic 1 given
Week 2 Reading 1 / Topic 1 writing
Week 3 Reading quiz 1 / topic 1 review & topic 2 given
Week 4 Reading 2 / topic 2 writing
Week 5 Reading quiz 2 / topic 2 review & topic 3 given
Week 6 Reading 3 / topic 3 writing
Week 7 Reading quiz 3 / topic 3 review & topic 4 given
Week 8 EST Corpus Mid-term Exam / Wrap-up Exam 1
Week 9 Reading 4 / topic 4 writing
Week 10 Reading quiz 4 / topic 4 review & topic 5 given
Week 11 Reading 5 / topic 5 writing
Week 12 Reading quiz 5 / topic 5 review & topic 6 given
Week 13 Reading 6 / topic 6 writing
Week 14 Reading quiz 6 / topic 6 review
Week 15 EST Corpus Final Exam / Wrap-up Exam 2

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について予習してくること。科学技術英単語集(EST Corpus)を自学すること。
Review each lecture and prepare for the next class. Learn the EST Corpus on a self-study basis.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を読む力及び書く力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written

information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法

読解テスト 30%, 筆記テスト 30%, 単語テスト(EST Corpus) 20%, 授業への取組 20%

評価基準

読解テスト・筆記テスト(60 点満点)および単語テスト(20 点満点)の点数に授業への取組(20 点満点)の点数を足したものが 90 点以上を S, 80～89点以上をA, 70～79点をB, 60～69点をCとする。出席と欠席の取扱については, 4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Assessment will be based on a reading comprehension test 30%, a writing test 30%, EST corpus test 20% and class-contribution 20%.

S: ≧90
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細

その他

受講上の注意

1.授業と関連のない作業は認めない。
2.授業中の居眠りは退出の対象とする。

Notice
1.Work unrelated to class activity will not be permitted.
2.Students dozing will be ordered to leave the class.

ウェルカムページ

オフィスアワー

適宜対応

Drop-in basis.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを的確に表現し, 議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを的確に表現し, 議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033035a)英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]				
時間割番号	B1033035a	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	金 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Kurt Howard SchultzKurt Howard Schultz				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

Class 1 Introduction. Start Chapter 5
Class 2 Continue Chapter 5
Class 3 Conclude Chapter 5
Class 4 Practice Chapter 5 writing & reading skills
Class 5 Start Chapter 6
Class 6 Continue Chapter 6
Class 7 Conclude Chapter 6
Class 8 Practice Chapter 6 writing & reading skills
Class 9 Start Chapter 7
Class 10 Continue Chapter 7
Class 11 Conclude Chapter 7
Class 12 Practice Chapter 7 writing & reading skills
Class 13 Start Chapter 8
Class 14 Continue Chapter 8
Class 15 Conclude Chapter 8

予習・復習内容

関連科目

教科書 1	書名	Q:Skills for Success Reading and Writing 3			ISBN	978-0-19-481902-2
	著者名	Colin S. Ward & Margot F. Gramer	出版社	Oxford University Press	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 英文を読む力及び書く力を養う。特に, 文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

Written reports 80% (EST Corpus 20%を含む)
Participation 20%
達成目標をすべて達成しており, かつ上記総合評価の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

Written reports 80% (including EST Corpus 20%)
Participation 20%

Students will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points above, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points above, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points above, 60 or higher (out of 100 points).

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033035c)英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]				
時間割番号	B1033035c	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	金 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	Ryan EugeneRYAN Eugene				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ，これまで身につけた英語をさらに強化する。また，英語を媒介として世界のさまざまな文化，ものの見方に触れる。

授業の内容

1. Course introduction
2. Unit 5
3. Unit 5
4. Unit 5
5. Unit 6
6. Unit 6
7. Unit 6
8. Unit 7
9. Unit 7
10. Unit 7
11. Unit 8
12. Unit 8
13. Unit 8
14. Review
15. Review
16. Final test

予習・復習内容

関連科目

教科書 1	書名	Unlock Student's book with online workbook			ISBN	978-1-107-61400-0
	著者名	Richard O' Neill	出版社	Cambridge University Press	出版年	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

Students will gain confidence that they can communicate purposefully and enjoyably in English with the language skills they already possess.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法： 期末テスト 30%、小テスト・課題等 50%, EST Corpus 20%

S：90 点以上
A：80 点以上
B：70 点以上
C：60 点以上

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Room: B-512
Tel. : 44-6960

ウェルカムページ

オフィスアワー
Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
reading writing

(B1033035e)英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]				
時間割番号	B1033035e	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	大木　ひろみ OKI Hiromi				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

第１週　授業紹介、Chapter 8 "Isaac Lufkin: The Armless Football Player": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

第2週　Chapter 8 "Isaac Lufkin: The Armless Football Player": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

第3週　Chapter 9 "Atlantis, the Lost Empire: Fact of Fiction?": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

第4週　Chapter 9 "Atlantis, the Lost Empire: Fact of Fiction?": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

第5週　Chapter 10 "Pope Francis: A New Kind of Pope": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

第6週　Chapter 10 "Pope Francis: A New Kind of Pope": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

第7週　復習テスト、追加の練習問題

第8週　Chapter 11 "The Power of Meditation": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

第9週　Chapter 11 "The Power of Meditation": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

第10週　Chapter 12 "Sedona: Harmony with Nature": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

第11週　Chapter 12 "Sedona: Harmony with Nature": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

第12週　Chapter 13 "Malala: Champion of Education": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

第13週　Chapter 13 "Malala: Champion of Education": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

第14週　Chapter 14 "Universities: Past, Present and Future": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

第15週　Chapter 14 "Universities: Past, Present and Future": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, 復習テスト

第16週　定期試験

Week 1　Course introduction, Chapter 8 "Isaac Lufkin: The Armless Football Player": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

Week 2　Chapter 8 "Isaac Lufkin: The Armless Football Player": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

Week 3　Chapter 9 "Atlantis, the Lost Empire: Fact or Fiction?": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

Week 4　Chapter 9 "Atlantis, the Lost Empire: Fact or Fiction?": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

Week 5　Chapter 10 "Pope Francis: A New Kind of Pope": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

Week 6　Chapter 10 "Pope Francis: A New Kind of Pope": Warming Up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

Week 7　Review, Quiz, Additional exercises

Week 8　Chapter 11 "The Power of Meditation": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

Week 9　Chapter 11 "The Power of Meditation": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

Week 10　Chapter 12 "Sedona: Harmony with Nature": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

Week 11　Chapter 12 "Sedona: Harmony with Nature": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Erros, Full Writing

Week 12　Chapter 13 "Malala: Champion of Education": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

Week 13　Chapter 13 "Malala: Champion of Education": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Full Writing

Week 14　Chapter 14 "Universities: Past, Present and Future": Reading, Comprehension Questions, Guided Summary

Week 15　Chapter 14 "Universities: Past, Present and Future": Warming up for Writing, Slash Writing, Word Order, Finding Errors, Review, Quiz

Week 16 Term exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

火曜日開講の英語 Listening & Speaking IV
English Listening & Speaking 4 (Tuesday)

教科書 1	**書名**	Read Well, Write Better : リーディングで鍛える英作文			**ISBN**	9784791947874
	著者名	Joan McConnell 著,武田 修一 著, 山内 圭 著,	**出版社**	成美堂	**出版年**	2017

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 英文を読む力及び書く力を養う。特に, 文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。
1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験60%、小テスト10%、課題10%、EST-Corpus20%の割合で評価する。

定期試験(60点満点)の点数に小テスト(10点満点)、課題(10点満点)、EST-Corpus(20点満点)の点数を足したものが90点以上を S、89～80点を A、79～70点を B、69～60点を C とする。但し、4年生は80点以上を A、79～65点を B、64～55点を C とする。定期試験の内容は達成目標をすべて含む。また, 出席と欠席の取扱については, 4月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam (60%), short quizzes (10%), assignments (10%), and EST-Corpus (20%)

Grade distribution:
S: 90 or higher
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業の前後
I'll be available before and after class

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1033035g)英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]				
時間割番号	B1033035g	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	金 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	毛利　雅子 MOURI Masako				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

1. オリエンテーション、Unit 1
2. Unit 2
3. Unit 3
4. Unit 4
5. Unit 5
6. Unit 6
7. Unit 7
8. 中間テスト
9. Unit 8
10. Unit 9
11. Unit 10
12. Unit 11
13. Unit 12
14. Unit 13
15. Unit 14
16. 期末テスト

1. Guidance, Unit 1
2. Unit 2
3. Unit 3
4. Unit 4
5. Unit 5
6. Unit 6
7. Unit 7
8. Mid-term exam
9. Unit 8
10. Unit 9
11. Unit 10
12. Unit 11
13. Unit 12
14. Unit 13
15. Unit 14
16. End-term exam

予習・復習内容

英文を読む力及び各地からを養う。特に、文章が伝える情報を早く正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately and to write proper English expressnig ones' own thought.

関連科目

教科書 1	書名	Connection 2 (Pre-Intermediate Level)			ISBN	9784881986974
	著者名	Milada Broukal	出版社	松柏社	出版年	2015

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を読む力及び書く力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験(40%)、期末試験(40%)、EST コーパステスト(20%)
S: 90 点以上
A: 80-89 点
B: 70-79 点
C: 60-69 点

Students will be evaluated according to midterm exam (40%), final exam (40%) and EST Corpus (20%).

Grade distribution:
S: 90 and more
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードす

るコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
リーディング、ライティング
Reading, Writing

(B1033035i)英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]				
時間割番号	B1033035i	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	船井　純平 FUNAI Junpei				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

第1週　ガイダンス
第2週　新聞・ニュース記事①(文化)
第3週　英語のリズムについて / リスニング(situation comedy①)
第4週　新聞・ニュース記事②(海外事情、日本文化)
第5週　口語表現①～④ / リスニング(situation comedy②)
第6週　新聞・ニュース記事③(社会問題、雑学) /記事タイトルの英語
第7週　口語表現⑤ / リスニング (situation comedy③)
第8週　中間試験
第9週　テスト返却 / リスニング(映画①)
第 10 週　リスニング(映画②)
第 11 週　新聞・ニュース記事④(時事問題)
第 12 週　コロケーション　/ リスニング(situation comedy④)
第 13 週　新聞・ニュース記事⑤(芸能、音楽)　/ 英語の看板
第 14 週 口語表現⑥ / リスニング(situation comedy⑤)
第 15 週　新聞・ニュース記事⑤(健康、福祉)　/ 英語の同意語
第 16 週　期末試験

Week1Guidance
Week2News article①
Week3How people listen to English/situation comedy①
Week4News article②
Week5Colloquial expression ①~④/situation comedy②
Week6News article③
Week7Colloquial expression ⑤/situation comedy③
Week8Mid-term exam
Week9Movie①
Week10 Movie②
Week11 News article④
Week12 Collocation / situation comedy④
Week13 News article⑤
Week14 Colloquial expression ⑥/situation comedy⑤
Week15 News article⑥ / Synonyms
Week16 Term exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書は使用せず、ハンドアウトを配布する。

No textbooks used for this class. Handouts will be given.

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を読む力及び書く力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：テスト70％，EST corpus20％，授業への貢献度10％の割合で評価する。

評価基準：中間・期末テスト（70点満点）の点数に ETS corpus（20点満点），授業への貢献度（10点満点）の点数を足したものが90点以上をS，89～80点をA，79～70点をB,69－60をCとする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the term exam (70%), EST corpus (20%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90% or above
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
D: Under 60%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

キーワード

(B1033035j)英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]				
時間割番号	B1033035j	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	船井　純平 FUNAI Junpei				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

第1週　ガイダンス
第2週　新聞・ニュース記事①(文化)
第3週　英語のリズムについて / リスニング(situation comedy①)
第4週　新聞・ニュース記事②(海外事情、日本文化)
第5週　口語表現①～④ / リスニング(situation comedy②)
第6週　新聞・ニュース記事③(社会問題、雑学) /記事タイトルの英語
第7週　口語表現⑤ / リスニング (situation comedy③)
第8週　中間試験
第9週　テスト返却 / リスニング(映画①)
第 10 週　リスニング(映画②)
第 11 週　新聞・ニュース記事④(時事問題)
第 12 週　コロケーション　/ リスニング(situation comedy④)
第 13 週　新聞・ニュース記事⑤(芸能、音楽)　/ 英語の看板
第 14 週 口語表現⑥ / リスニング(situation comedy⑤)
第 15 週　新聞・ニュース記事⑤(健康、福祉)　/ 英語の同意語
第 16 週　期末試験

Week1Guidance
Week2News article①
Week3How people listen to English/situation comedy①
Week4News article②
Week5Colloquial expression ①~④/situation comedy②
Week6News article③
Week7Colloquial expression ⑤/situation comedy③
Week8Mid-term exam
Week9Movie①
Week10 Movie②
Week11 News article④
Week12 Collocation / situation comedy④
Week13 News article⑤
Week14 Colloquial expression ⑥/situation comedy⑤
Week15 News article⑥ / Synonyms
Week16 Term exam

予習・復習内容

毎週の学習内容を復習するとともに、次週の学習内容についてテキストに目を通してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書は使用せず、ハンドアウトを配布する。

No textbooks used for this class. Handouts will be given.

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を読む力及び書く力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：テスト70%, EST corpus 20パーセント、授業への貢献度10%の割合で評価する。
以上の合計が90点以上をS，89～80点をA，79－70をB、69～60点をCとする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the term exam (70%), EST corpus (20%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90% or above
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
D: Under 60%

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英語、リーディング、ライティング
English reading, English writing

(B1033035k)英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]				
時間割番号	B1033035k	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	池松　峰男 IKEMATSU Mineo				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

第 1 週 Introduction　Writing topic 1 given
第 2 週 Reading 1 / Topic 1 writing
第 3 週 Reading quiz 1 / topic 1 review & topic 2 given
第 4 週 Reading 2 / topic 2 writing
第 5 週 Reading quiz 2 / topic 2 review & topic 3 given
第 6 週 Reading 3 / topic 3 writing
第 7 週 Reading quiz 3 / topic 3 review & topic 4 given
第 8 週 EST Corpus Mid-term Exam / Wrap-up Exam 1
第 9 週 Reading 4 / topic 4 writing
第 10 週 Reading quiz 4 / topic 4 review & topic 5 given
第 11 週 Reading 5 / topic 5 writing
第 12 週 Reading quiz 5 / topic 5 review & topic 6 given
第 13 週 Reading 6 / topic 6 writing
第 14 週 Reading quiz 6 / topic 6 review
第 15 週 EST Corpus Final Exam / Wrap-up Exam 2

Week 1 Introduction　Writing topic 1 given
Week 2 Reading 1 / Topic 1 writing
Week 3 Reading quiz 1 / topic 1 review & topic 2 given
Week 4 Reading 2 / topic 2 writing
Week 5 Reading quiz 2 / topic 2 review & topic 3 given
Week 6 Reading 3 / topic 3 writing
Week 7 Reading quiz 3 / topic 3 review & topic 4 given
Week 8 EST Corpus Mid-term Exam / Wrap-up Exam 1
Week 9 Reading 4 / topic 4 writing
Week 10 Reading quiz 4 / topic 4 review & topic 5 given
Week 11 Reading 5 / topic 5 writing
Week 12 Reading quiz 5 / topic 5 review & topic 6 given
Week 13 Reading 6 / topic 6 writing
Week 14 Reading quiz 6 / topic 6 review
Week 15 EST Corpus Final Exam / Wrap-up Exam 2

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について予習してくること。科学技術英単語集(EST Corpus)を自学すること。

Review each lecture and prepare for the next class. Learn the EST Corpus on a self-study basis.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を読む力及び書く力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法

読解テスト 30%, 筆記テスト 30%, 単語テスト(EST Corpus) 20%, 授業への取組 20%

評価基準

読解テスト・筆記テスト(60 点満点)および単語テスト(20 点満点)の点数に授業への取組(20 点満点)の点数を足したものが 90 点以上を S, 80～89点以上をA, 70～79点をB, 60～69点をCとする。出席と欠席の取扱については, 4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Assessment will be based on a reading comprehension test 30%, a writing test 30%, EST corpus test 20% and class-contribution 20%.

S: ≧90
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細

その他

受講上の注意

1.授業と関連のない作業は認めない。
2.授業中の居眠りは退出の対象とする。

Notice

1.Work unrelated to class activity will not be permitted.
2.Students dozing will be ordered to leave the class.

ウェルカムページ

オフィスアワー

適宜対応

Drop-in basis.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

キーワード

(B1033035I)英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅳ[English Reading & Writing 4]				
時間割番号	B1033035I	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	火 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	川名　真弓 KAWANA Mayumi				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語のうち特に Reading 及び Writing をさらに強化する。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we especially aim to improve Reading and Writing skill of each student.

授業の内容

1週　ガイダンス
2週　Lesson 1　Introduction
3週　Lesson 2　An Ancient City of Roman Ruins
4週　Lesson 3　The Longest Surviving Castle in Japan
5週　Lesson 4　A Huge Valley with 2 Billion Years of History
6週　Lesson 5　The Greatest Symbol of China's History
7週　Lesson 6　The Mythical City in the Sky
8週　Lesson 7　Rock Sites shaped by Erosion
9週　Lesson 8　The Symbol of America
10 週　Lesson 9　The Belief in the Afterlife
11 週　Lesson 10 A Unique Ecosystem of Wildlife
12 週　Lesson 11 An Ancient Capital City of the Khmer Empire
13 週　Lesson 12 A Giant Block of Stone on a desert Plain
14 週　Lesson 13 The Sagrada Familia- Gaudi's Spirit Succeede for Many Years
15 週　Lesson 14　Research and presentation
16 週　期末試験

1週　Course Introduction
2週　Lesson 1　Introduction
3週　Lesson 2　An Ancient City of Roman Ruins
4週　Lesson 3　The Longest Surviving Castle in Japan
5週　Lesson 4　A huge Valley with 2 Billion years of History
6週　Lesson 5　The Greatest Symbol of China's History
7週　Lesson 6　The Mythical City in the Sky
8週　Lesson 7　Rock Sites Shaped by Erosion
9週　Lesson 8　The Symbol of America
10 週　Lesson 9　The Belief in the Afterlife
11 週　Lesson 10 A Unique Ecosystem of Wildlife
12 週　Lesson 11 The Ancient Capital City of the Khmer Empire
13 週　Lesson 12 A giant Block of Stone on a desert Plain
14 週　Lesson 13 The Sagrada Familia – Gaudi's Spirit Succeeded for Many Years
15 週　Lesson 14 Research and Presentation
16 週　Term Exam

予習・復習内容

テキストを通読し、意味の分からない語を辞書で調べておく。

Read the textbook and look over the words which you cannot understand.

関連科目

教科書 1	書名	Clill World Heritage			ISBN	978-4-384-33478-4 C1
	著者名	笹島　茂　編	出版社	三修社	出版年	2018

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．英文を読む力及び書く力を養う。特に，文章が伝える情報をはやく正確につかむ力及び意思を的確に表現する力を養う。

1. To develop English reading and writing skill. Above all, this course focuses on obtaining the ability to understand written information quickly and accurately, and to write proper English expressing ones' own thought.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：課題 30%、定期試験 70%の割合(EST Corpus 20%を含む)で評価する。

評価基準：課題と定期試験の点数うを足したものが、90 点以上をS，89 点～80 点をA，79 点～70 点をB、69～60 点を C とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the exams(70%) and assignments (30%) (including EST Corpus 20%)

Grade distribution:

S: 90% or above

A: 89 -80 %

B: 79-70%

C: 69-60%

D: Under 59%

B4 only

A: 80 or higher

B: 65-79

C: 55-64

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

環境・生命工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

建築・都市システム学課程

(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力

国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B10330360)英語 Reading & Writing Ⅴ[English Reading & Writing 5]

科目名[英文名]	英語 Reading & Writing Ⅴ[English Reading & Writing 5]				
時間割番号	B10330360	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	吉川　りさ YOSHIKAWA Lisa				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

英語 reading, writing の基礎力を更に発展させ、定着させる。
The aim of this class is to improve reading and writing skills.

授業の内容

第１週：オリエンテーション、実力診断
第２週：
第３週：News 1 (Comprehension and Production)
第４週：News 2 (Comprehension and Production)
第５週：News 3 (Comprehension and Production)
第６週：News 4 (Comprehension and Production)
第７週：News 5 (Comprehension and Production)
第８週：News 6 (Comprehension and Production)
第９週：News 7 (Comprehension and Production)
第１０週：News 8 (Comprehension and Production)
第１１週：News 9 (Comprehension and Production)
第１２週：News 10 (Comprehension and Production)
第１３週：News 11 (Comprehension and Production)
第１４週：News 12 (Comprehension and Production)
第１５週：News 13 (Comprehension and Production)
第１６週：期末試験
Week 1：Orientation and assessment
Week 2：Paragraph writing
Week 3：News 1 (Comprehension and Production)
Week 4：News 2 (Comprehension and Production)
Week 5：News 3 (Comprehension and Production)
Week 6：News 4 (Comprehension and Production)
Week 7：News 5 (Comprehension and Production)
Week 8：News 6 (Comprehension and Production)
Week 9：News 7 (Comprehension and Production)
Week 10：News 8 (Comprehension and Production)
Week 11：News 9 (Comprehension and Production)
Week 12：News 10 (Comprehension and Production)
Week 13：News 11 (Comprehension and Production)
Week 14：News 12 (Comprehension and Production)
Week 15：News 13 (Comprehension and Production)
Week 16：Final exam

予習・復習内容

授業時に課される課題を通して学習内容を復習・予習し、知識の定着を図ること。
Reflect and prepare for each lecture via assignments and aim at understanding.

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書は使用しません。プリント・資料を毎授業時に配布します。
英語の単語の意味や発音、アクセント情報などをその場で調べれられる（電子）辞書を毎授業時に持参してください。
No textbooks will be used; Handouts and other materials will be given in every class.
Bring your own (electronic) dictionaries every class to look up for meanings, pronunciations, and lexical stress patterns.

参考書に関する補足事項

達成目標

リーディングおよびライティング力を定着させ、自分の意見を簡単にまとめられる英語力を身につける。

Students are required to acquire basic reading and writing skills and present their own ideas and thought in English as a goal.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末試験 40%、課題 40%、授業への貢献度 20%で評価する。
総合的な評価基準：

A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出欠の取り扱いについては、4月のオリエンテーションで説明したとおり。
Students will be evaluated according to the exam (40%), assignments (40%), and contribution to the class (20%).

Grade distribution:
A: 80～89 (out of 100 points)
B: 65～79 (out of 100 points)
C: 55～64 (out of 100 points)

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

適宜対応ですが、確実さのため、まずは、メールにて連絡してください。
Walk-in basis; giving me an email first would be the best way to reach out.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B10330390)一般技術科学英語[General English for Science and Technology]

科目名[英文名]	一般技術科学英語[General English for Science and Technology]				
時間割番号	B10330390	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	池松　峰男, 英語科責任教員 IKEMATSU Mineo, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32020				

授業の目標

これまでに身につけた英語力を使い、新規分野における研究プロジェクト提案を行う。

With current English skills, students are required to make a research proposal.

授業の内容

第 1 週 Introduction
第 2 週 Brain Storming for Topic Selection
第 3 週 Lecture on Documentation, Student Work
第 4 週 Student Work
第 5 週 Student Work
第 6 週 Student Work
第 7 週 Lecture on Presentation, Student Work
第 8 週 Interim Report 1
第 9 週 Interim Report 2
第 10 週 Review of Interim Report
第 11 週 Student Work
第 12 週 Student Work
第 13 週 Student Work
第 14 週 Research Proposal 1
第 15 週 Research Proposal 2

Week 1 Introduction
Week 2 Brain Storming for Topic Selection
Week 3 Lecture on Documentation, Student Work
Week 4 Student Work
Week 5 Student Work
Week 6 Student Work
Week 7 Lecture on Presentation, Student Work
Week 8 Interim Report 1
Week 9 Interim Report 1
Week 10 Review of Interim Report
Week 11 Student Work
Week 12 Student Work
Week 13 Student Work
Week 14 Research Proposal 1
Week 15 Research Proposal 2

予習・復習内容

研究提案に向けた資料収集、分析、研究立案および発表練習。

Collecting information toward proposals, their analysis, research planning and preparation toward presentations.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1．自分にとって初めての分野の研究テーマ探索・研究提案を行う力を養う。

1. To develop skills for proposing projects in research fields, which are new to the students.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
中間報告(報告書・発表)45%, 研究提案(報告書・発表)45%, 授業への取組 10%

評価基準
中間報告および研究提案(90 点満点)の点数に授業への取組(10 点満点)の点数を足したものが 90 点以上を S, 80-89 点以上を A, 70-79 点を B, 60-69 点を C とする。

Assessment
Interim report / paper & presentation: 45%, Research proposal / paper & presentation: 45%, Contribution to the class: 10%

S: ≧90
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
適宜対応
Drop-in basis.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを的確に表現し, 議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを的確に表現し, 議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad

Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B10330400)GAC 英語プログラム[GAC English Program]

科目名[英文名]	GAC 英語プログラム[GAC English Program]				
時間割番号	B10330400	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	Ryan Eugene, 英語科責任教員 RYAN Eugene, English Manager				
ナンバリング	GEN_FOR32022				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

The course utilizes essential reading strategies such as skimming, scanning, fact-finding and paraphrasing and gives students opportunities to write about what they've read. The readings in this course are timely, original articles from a variety of publications. In addition to reading the passages, the students will share ideas about the articles and prepare interactive blogs and vocabulary lists with their classmates. Students will practice writing short answers, paragraphs, and essays, which will be reviewed by the instructor, and subsequently rewritten and revised by the students using the instructor's comments and suggestions. Students with lower TOEIC scores (around less than 600) will be offered daily online conversation practice on Skype using the service offered by Rarejob . This class, facilitated by the NYC-based teacher, uses online activities and virtual (both synchronous and asynchronous) meetings conducted through the use of web-enhanced tools.
Towards the end of the Summer holidays, the students

Week 1: Online study with City University of New York
Week 2: Classroom review & support
Week 3: Online study with City University of New York
Week 4: Classroom review & support
Week 5: Online study with City University of New York
Week 6: Classroom review & support
Week 7: Online study with City University of New York
Week 8: Classroom review & support
Week 9: Online study with City University of New York
Week 10: Classroom review & support
Week 11: Online study with City University of New York
Week 12: Classroom review & support
Weeks 13~ 15 will take place in September as a special class with a visiting teacher from New York
The course utilizes essential reading strategies such as skimming, scanning, fact-finding and paraphrasing and gives students opportunities to write about what they've read. The readings in this course are timely, original articles from a variety of publications. In addition to reading the passages, the students will share ideas about the articles and prepare interactive blogs and vocabulary lists with their classmates. Students will practice writing short answers, paragraphs, and essays, which will be reviewed by the instructor, and subsequently rewritten and revised by the students using the instructor's comments and suggestions. They will also have the opportunity to ask the instructor and their classmates questions about the course work online, and participate in a real time bi-weekly chat with the instructor to ensure a more personal approach to learning. This class, facilitated by the NYC-based teacher, uses online activities and virtual (both synchronous and asynchronous) meetings conducted through the use of web-enhanced tools.

Week 1: Online study with City University of New York
Week 2: Classroom review & support
Week 3: Online study with City University of New York
Week 4: Classroom review & support
Week 5: Online study with City University of New York
Week 6: Classroom review & support

Week 7: Online study with City University of New York
Week 8: Classroom review & support
Week 9: Online study with City University of New York
Week 10: Classroom review & support
Week 11: Online study with City University of New York
Week 12: Classroom review & support
Week 13: Online study with City University of New York
Week 14: Classroom review & support
Week 15: Online study with City University of New York

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項
The instructor will provide all materials

参考書に関する補足事項

達成目標
The goal of this reading/writing course is to help students further develop reading, vocabulary and writing skills in English through engaging themes and comprehensive practice using the methodology of the Queens College English Language Institute in an online format.
The goal of this reading/writing course is to help students further develop reading, vocabulary and writing skills in English through engaging themes and comprehensive practice using the methodology of the Queens College English Language Institute in an online format.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点(100 点満点)以上

Writing assignments and reading activities are 40% of the grade for this class.
- Weekly assignments are due on the specified date.
- Homework must be submitted on time.
- Submissions after the due date may lead to a reduction in grade.
Participation: Discussion, reflection, blogs, and classroom participation etc., are 30% of the grade for this class.
- Participation online through wikis, blogs, and chats is one of the most important components to the success of this course.
The Face to face component of this course is 30% of the grade for this class
This component will be taught in the summer following the course
Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4 only
A: 80 or higher
B: 65-79
C: 55-64

Writing assignments and reading activities are 40% of the grade for this class.
- Weekly assignments are due on the specified date.
- Homework must be submitted on time.
- Submissions after the due date may lead to a reduction in grade.

Participation: Discussion, reflection, blogs, and classroom participation etc., are 30% of the grade for this class.
- Participation online through wikis, blogs, and chats is one of the most important components to the success of this course.
The Face to face component of this course is 30% of the grade for this class
This component will be taught in the summer following the course

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

There will be no exam for this course.
There will be no exam for this course.

その他

ウェルカムページ

なし
なし

オフィスアワー

Friday 12 ~ 1pm
Friday 12 ~ 1pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード Online CUNY Online CUNY

(B10331050)ドイツ語Ⅳ[German 4]

科目名[英文名]	ドイツ語Ⅳ[German 4]				
時間割番号	B10331050	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	中村　大介 NAKAMURA Daisuke				
ナンバリング	GEN_FOR33020				

授業の目標

基本的なドイツ語の文法を理解し、簡単なドイツ語を聞き、話し、読み、書く力を習得する。

Acquire elementary skills and grammar in German and learn the German culture.

授業の内容

2回の授業で1つの課を学習する。各課の第１日目には基礎学習する。第2日目には、ダイアログでの発話や読み物を通して基礎文法を定着させる。

1 ドイツ語 III の復習（1）
2 ドイツ語 III の復習（2）
3 第6課 「映画を見に行きたい」文法説明（話法の助動詞、分離動詞）、練習問題
4 第6課 「映画を見に行きたい」会話練習、読み物
5 第7課 「私のねがい」文法説明（形容詞の格変化、zu 不定詞（句））、練習問題
6 第7課 「私のねがい」会話練習、読み物
7 復習（第6・7課）
8 第8課 「休暇旅行」文法説明（動詞の3基本形、現在完了形）、練習問題
9 第8課 「休暇旅行」会話練習、読み物
10 第9課 「オペラ鑑賞」文法説明（過去形、再帰代名詞と再帰動詞）、練習問題
11 第9課 「オペラ鑑賞」会話練習、読み物
12 復習（第8・9課）
13 第 10 課 「ホテルに宿泊」文法説明（形容詞・副詞の比較、関係代名詞）、練習問題
14 第 10 課 「ホテルに宿泊」会話練習、読み物
15 まとめ

One lesson is studied in every two classes. On the 1st day of a lesson, the basic grammar is learned. On the 2nd day, the students role-play on the basis of a dialog and read a short text.

1 Review (L1-3)
2 Review (L4-5)
3 L6 “I want to go to see a movie.” grammar, exercise/practice
4 L6 “I want to go to see a movie.” dialog, reading
5 L7 “My wish” grammar, exercise/practice
6 L7 “My wish” dialog, reading
7 Review(L6&7)
8 L8 “Trip” grammar, exercise/practice
9 L8 “Trip” dialog, reading
10 L9 “Go to the opera” grammar, exercise/practice
11 L9 “Go to the opera” dialog, reading
12 Review(L8&9)
13 L10 ″Stay at a hotel“ grammar, exercise/practice
14 L10 ″Stay at a hotel“ dialog, reading
15 Review(L6-10)

予習・復習内容

毎講義後、教科書・CD を活用して復習し、学習内容の理解・習得に努めること。
また平易な小テストを定期的に行うので、その準備をすること。
Use the textbook and CD for completing course contents.
There are several mini-tests in classes.

関連科目

『ドイツ語Ⅲ』ないし『ドイツ語 I』を履修していること。
もしくはこれらの授業と同等の初等ドイツ語能力があることが求められる。
Students are recommended to take a classe, ″German1″ or ″German3″.

教科書 1	書名	クロイツング・ネオ			ISBN	978-4-255-25345-9
	著者名	小野寿美子ほか	出版社	朝日出版社	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項
独和辞典（授業で紹介する）
German-Japanese dictionary (introduced during the !st class)

達成目標
1) ドイツ語の基礎文法が理解できる（話法の助動詞、過去形、現在完了形など）。
2) ドイツ語の簡単な日常表現を発話できる。
3) 過去の出来事について話すことができる。
1) The student will be able to understand the basic grammar.
2) The student will be able to talk about one's day to day routine.
3) The student will be able to talk about the past.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法: 出席状況、小テスト、定期試験（100%）
評価基準: 授業に継続的に出席し、小テストで合格基準点を得た者が、定期試験を受験することができる。
[B1～3, M1]
S:定期試験（100 点満点）の得点が 90 点以上
A:定期試験（100 点満点）の得点が 80 点以上
B:定期試験（100 点満点）の得点が 70 点以上
C:定期試験（100 点満点）の得点が 60 点以上

[B4,M2]
A:定期試験（100 点満点）の得点が 80 点以上
B:定期試験（100 点満点）の得点が 65 点以上
C:定期試験（100 点満点）の得点が 55 点以上
Course Evaluation
Evaluation is based primarily on a final examination (100 points). Students have to attend classes and pass all of the mini-tests.
[B1～3, M1]
S: Total points of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam, 60 or higher (out of 100 points).

[B4,M2]
A: Total points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.tut.ac.jp/teach/main.php?mode=detail&article=766
https://www.tut.ac.jp/english/schools/faculty/las/766.html

オフィスアワー
木曜日 13:30～15:30
その他、メール等で問い合わせてくれれば適宜応ずる。
Thursday from 13:30 to 15:30.
Contact by mail is also welcome.

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード

(B10332010)フランス語Ⅰ[French 1]

科目名[英文名]	フランス語Ⅰ[French 1]				
時間割番号	B10332010	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	松崎　成子 MATSUZAKI Shigeko				
ナンバリング	GEN_FOR14020				

授業の目標

フランス語の発音と文法の基礎を学び、簡単なフランス語の文が発音でき、理解できるようになる。
The main objective of this class is an acquisition of a basic French as a foreign language.
The students are expected to be able to pronounce French words, to understand and speak simple French conversation.

授業の内容

テキストに沿って進めます。第1週目2週目は1課ずつ、3週目からは各課を2週間で学びます。

	各課のタイトル	学習内容
第1週目	0課　フランス語の音と文字	・アルファベ　・綴り字の読み方
第2週目	1課　二人の出会い	・主語人称代名詞　・動詞 être の活用　・国籍の言い方
第3週目	2課　自己紹介する	・規則動詞の活用　・名前の言い方
第4週目	2課	・形容詞の性、数の一致
第5週目	3課　好きなものを言う	・母音で始まる規則動詞の活用　・名詞の性、数と定冠詞
第6週	3課	・疑問文
第7週目	4課　これはなんですか？	・疑問代名詞 que　・動詞動詞 venir
第8週目	4課	・不定詞と指示代名詞 ce
第9週目	5課　ここはどこ？	・否定文　・疑問副詞 ou　・動詞 voir
第 10 週目	5課	・il y a の表現　・量の表現
第 11 週目	6課　年齢の話	・動詞 avoir の活用　・職業を表す名詞　・動詞 faire
第 12 週目	6課	・疑問形容詞 quel
第 13 週目	7課　日本料理店に行く	・部分冠詞　・冠詞のまとめ　・動詞 aller、venir
第 14 週目	7課	・定冠詞の縮約
第 15 週目	総復習	1課～7課の復習
第 16 週目	総復習	授業

Students learn one lesson by two classes except each of the first two lessons for one class.

	lesson number	contents

1st week Introduction lesson l'alphabet/les signes orthographiques/les regles de pronontiation /saluer

2nd week Lesson 1 le pronom personnel sujet/le verbe être/ la nationalite

3rd week Lesson 2 les verbes en -er/demander et dire le nom

4th week Lesson 2 l'accord de l'adjectif

5th week Lesson 3 les verbes en -er aimer,habiter/le masculin et le feminin/ l'article defini

6th week Lesson 3 l'interrogation

7th week Lesson 4 que/le verbe venir

8th week Lesson 4 l'article indefini/ l'article demonstratif ce

9th week Lesson 5 le negation/ou /le verbe voir

10th week Lesson 5 il y a /un peu de~,assez de~,beaucoup de~

11th week Lesson 6 le verbe avoir/la profession/le verbe faire

12th week Lesson 6 l'article interrogatif quel

13th week Lesson 7 l'article partitif/tous les articles /les verbes aller venir

14th week Lesson 7 l'article contracte

15th week Review Revision L.1~ L.7

16th week Review Revision L.1~L.7

予習・復習内容

予習はありません。その週に習った内容を翌週、小テストで確認します。また、2課ないし3課終了ごとに中テストを行ないます。自宅ではそれらに照準を合わせて復習に励んで下さい。

Students don't have to prepare Lessons, but have to review classes and prepare for quizzes(sometimes) and mid-term exams(every 2 or 3 Lessons).

関連科目

教科書 1	**書名**	パリのクール・ジャパン			**ISBN**	978-4-255-35211-4
	著者名	藤田裕二	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

文法の補足説明のために、参考書から時々プリントを配布します。

For more explanations of French grammar, handouts will sometimes be given out.

参考書 1	**書名**	『本気で学ぶフランス語』			**ISBN**	978-4-86064-272-3 C2
	著者名	石川佳奈恵	**出版社**	ベレ出版社	**出版年**	2011
参考書 2	**書名**	『東京－パリ、フランス語の旅：入門から中級まで使える文法と表現』			**ISBN**	
	著者名	藤田裕二、藤田知子、鈴木 Sylvie	**出版社**	駿河台出版社	**出版年**	1997

参考書に関する補足事項

１冊あると、わからないことが出てきたときに役立ちます。授業では参考書として挙げたものを時々印刷して使います。ですが、各自の好みにあったものを追々探せば良いでしょう。

A reference book won't be necessary but it would be useful if you have one.

達成目標

1）フランス語で簡単な挨拶と自己紹介が、相手との親しさに合わせてできる。
2）フランス語の単語、文の発音が正しくできる。
3）簡単なフランス語の文章を、辞書を使て読める。
1）Be able to exchange greetings and to do self-introduction (casual form and polite form) in French.
2）Be able to pronounce French words and sentences correctly.
3）Be able to read simple French texts.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

テスト+宿題　１００％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

B1～３、M1 の学生

S：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（１００点満点）が９０点以上
A：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（１００点満点）が８０点以上
B：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（１００点満点）が７０点以上
C：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（１００点満点）が６０点以上

B4,M2 の学生

A：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（１００点満点）が８０点以上
B：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（１００点満点）が６５点以上
C：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（１００点満点）が５５点以上

tests +hormwork100%

Students who attend all classes will be evaluated as follows

B1～３、M1 Students

S: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 90 or higher(out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 80 or higher(out of 100 points).
B: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 70 or higher(out of 100 points).
C: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 60 or higher(out of 100 points).

B4,M2 Students

A: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 80 or higher(out of 100 points).
B: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 65 or higher(out of 100 points).
C: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 55 or higher(out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
なし

オフィスアワー
授業実施日の講義時間　前後
Before or after classe

学習・教育到達目標との対応
(A)幅広い人間性と考え方
　人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

キーワード

(B10332020)フランス語Ⅱ[French 2]

科目名[英文名]	フランス語Ⅱ[French 2]				
時間割番号	B10332020	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	松崎　成子 MATSUZAKI Shigeko				
ナンバリング	GEN_FOR14020				

授業の目標

フランス語の発音と文法の基礎を学ぶ。簡単なフランス語の文を発音でき、理解できるようになる。
The main objective of this class is an acquisition of a basic French as a foreign language.
The students are expected to be able to pronounce French words, to understand and speak simple French conversation.

授業の内容

テキストに沿って進めます。各課をおおよそ2週で学びます。

各課のタイトル	学習内容
第1週目　8課　布団が好き	・所有形容詞　・動詞 dormir、dire
第2週目　8課	・人称代名詞強勢形
第3週目　9課　店で買い物をする	・指示形容詞 ce・指示代名詞 celui
第4週目　9課	・形容詞の比較級・疑問副詞 combien
第5週目10課　ジャパン・エキスポ	・命令形　・補語人称代名詞・動詞 connaitre
第6週目10課	・中性代名詞 y
第7週目11課　天候の話	・代名動詞・動詞 partir
第8週目11課	・非人称構文・女性形容詞の特殊な形
第9週目12課　美術館に行く	・疑問代名詞 qui・動詞 savoir
第 10 週目12課	・複合過去形（1）
第 11 週目13課　バカンス	・複合過去形（2）・動詞 pouvoir
第 12 週目13課	・否定文（2）・疑問副詞 comment
第 13 週目14課　ユミの帰国	・単純未来
第 14 週目14課	・近接未来・感嘆文
第 15 週目　総復習	8課～14課の総復習
第 16 週目　総復習	授業

Students learn one lesson by two classes.

lesson number	contents

1st week	Lesson 8	l'adjectif possessif/le pronom tonique
2nd week	Lesson 8	les verbes dormir,dire/la famille
3rd week	Lesson 9	l'adjectif demonstratif /le pronom demonstratif
4th week	Lesson 9	la comparaison/ combien
5th week	Lesson 10	l'imperatif
6th week	Lesson 10	le pronom complement d'objet/la semaine,les mois
7th week	Lesson 11	lee verbes pronominaux
8th week	Lesson 11	le temps/l'heure
9th week	Lesson 12	qui/ le passe compode avec avoir/ les couleurs
10th week	Lesson 12	le passe compose avec avoir/le verbe savoir
11th week	Lesson 13	le passe compose avec etre/le verbe pouvoir
12th week	Lesson 13	le passe compose avec etre
13th week	Lesson 14	le future simple
14th week	Lesson 14	le future proche
15th week	Review	Revision L.8~L.14
16th week	Review	Revision L.8~L.14

予習・復習内容

短い文章の下読みを宿題として出す時があります。
授業で学んだことを翌週、小テストで確認します。また2課ないし3課終わった時点で中テストを行ないますので、それらに照準を合わせて復習を自宅でして下さい。
Students don't have to prepare Lessons, but have to review classes and prepare for quizzes(sometimes) and mid-term exams(every 2 or 3 Lessons).

関連科目

教科書 1	**書名**	『パリのクール・ジャパン』			**ISBN**	978-4-255-35211-4
	著者名	藤田裕二	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

文法の理解を助けるために、時々プリントを配布します。
For more explanations of French grammar, handouts will sometimes be given out.

参考書 1	**書名**	『本気で学ぶフランス語』			**ISBN**	978-4-86064-272-3
	著者名	石川佳奈恵	**出版社**	ベレ出版社	**出版年**	2010
参考書 2	**書名**	『東京－パリ、フランス語の旅：入門から中級まで使える文法と表現』			**ISBN**	
	著者名	藤田裕二、藤田知子、鈴木 Sylvie	**出版社**	駿河台出版社	**出版年**	1997

参考書に関する補足事項

授業で配布する文法のプリントは参考図書からのものです。皆さんは自分の好みに合ったもの1冊探して持つと良いと思いま

す。
A reference book won't be necessary but it would be useful if you have one.

達成目標

1）フランス語で簡単な挨拶、自己紹介ができる。
2）フランス語の単語、文が正しく発音できる。
3）簡単なフランス語の文を、辞書を使って読める。
1）Be able to exchange greetings and to do self-introduction (casual form and polite form) in French.
2）Be able to pronounce French words and sentences correctly.
3）Be able to read simple French texts.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

テスト+宿題　100％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

B1～3、M1 の学生

S：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（100点満点）が90点以上
A：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（100点満点）が80点以上
B：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（100点満点）が70点以上
C：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（100点満点）が60点以上

B4,M2 の学生

A：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（100点満点）が80点以上
B：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（100点満点）が65点以上
C：達成目標をすべて達成しており、かつテスト・レポートの合計点（100点満点）が55点以上

tests +hormwork100%

Students who attend all classes will be evaluated as follows

B1～3、M1 Students

S: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 90 or higher(out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 80 or higher(out of 100 points).
B: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 70 or higher(out of 100 points).
C: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 60 or higher(out of 100 points).

B4,M2 Students

A: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 80 or higher(out of 100 points).
B: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 65 or higher(out of 100 points).
C: Achieved all goals and obtained total points of quizzes and exams, 55 or higher(out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
なし

オフィスアワー
授業実施日の講義時間　前後
Before or after classe

学習・教育到達目標との対応
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

キーワード

(B10332050)フランス語Ⅳ[French 4]

科目名[英文名]	フランス語Ⅳ[French 4]				
時間割番号	B10332050	区分	外国語科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	遠藤　美加 ENDO Mika				
ナンバリング	GEN_FOR34020				

授業の目標

フランス語の基礎を学び、日常会話と読み書きの基本的能力を習得する。
フランス語圏の社会・文化への理解と興味を深める。
Learn basics of French, and acquire abilities to understand and use simple expressions in everyday life.
Widen knowledge of the French world and discover a greater interest.

授業の内容

文法学習、会話練習をおこない、作文・リスニング問題に取り組む。
映像資料等を用いて、フランス語圏の社会・文化に親しむ。

第1回　昨年度の復習　部分冠詞
第2回　数量表現　中性代名詞 en　近接未来
第3回　食べ物・飲み物
第4回　所有形容詞　人称代名詞強勢形
第5回　疑問形容詞　命令形　非人称構文
第6回　時間・天候
第7回　指示代名詞　比較級・最上級　数字(20~1000)
第8回　比較級・最上級
第9回　補語人称代名詞　中性代名詞 y
第 10 回　代名動詞
第 11 回　疑問代名詞 qui　複合過去
第 12 回　複合過去　否定文　疑問副詞 comment
第 13 回　乗り物と行き先
第 14 回　単純未来
第 15 回　まとめ
第 16 回　定期試験
Learn grammar of French, practice speaking, and do exercises in composition and listening.
Develop an interest in French-speaking society and culture with some videos.

1st week Review ; partitive article.
2nd week Expressions of quantity ; neuter pronoun "en" ; periphrastic future.
3rd week Expressions of food and drink.
4th week Possessive adjective ; personal pronoun(tonic).
5th week Interrogative adjective ; imperative ; impersonal construction.
6th week Expressions of time and weather.
7th week Demonstrative pronoun ; comparison & superlative ; number(20-1000).
8th week Comparison & superlative.
9th week Personal pronoun(object) ; neuter pronoun "y".
10th week Pronominal verb.
11th week Interrogative pronoun "qui" ; present perfect.
12th week Present perfect ; negation ; interrogative adverb "comment".
13th week Expressions of transportation and destination.
14th week Future tense.
15th week Review.
16th week Final examination.

予習・復習内容

毎回授業後に、CD・音声データを活用し、発音練習・書き写し等で復習する。
定期的に既習事項からミニテストをおこなうので、指示された重要事項を重点的に復習する。
Do a review of the last lesson by pronouncing and writing.
Prepare for mini-tests, following instructions in class.

関連科目

教科書に関する補足事項
昨年度の教科書、配布プリントを使用する。

参考書 1	**書名**	クラウン仏和辞典			**ISBN**	4385119333
	著者名	天羽均 [ほか] 編	**出版社**	三省堂	**出版年**	2015
参考書 2	**書名**	ケータイ「万能」フランス語文法			**ISBN**	4411004763
	著者名	久松健一著	**出版社**	駿河台出版社	**出版年**	2000
参考書 3	**書名**	初めてのフランス旅行会話			**ISBN**	4140394080
	著者名	杉山利恵子著	**出版社**	日本放送出版協会	**出版年**	2005
参考書 4	**書名**	E メールのフランス語			**ISBN**	4560086931
	著者名	田中幸子，イザベル・フォルテット，川合ジョルジェット著	**出版社**	白水社	**出版年**	2015

参考書に関する補足事項

達成目標
(1) フランス語の基本的な日常会話をおこなうことができる。
(2) 平易なフランス語表現を聞き取ることができる。
(3) 文法の知識と辞書の使用に基づき、フランス語の文章を読むことができる。
(4) フランス語で簡単な作文ができる。
(1) Use simple everyday French in spoken communication.
(2) Understand easy spoken French expressions.
(3) Read writings in French employing the knowledge of grammar and words.
(4) Write in plain French.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法： 授業参加度（授業中の質疑応答、会話練習・課題取組みにおける理解達成度）20%、小テスト 30%、定期試験 50%で評価する。
評価基準： 授業に継続的に出席し、小テストで合格基準に達した者が、定期試験を受験することができる。

S：授業参加度・小テスト・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：授業参加度・小テスト・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：授業参加度・小テスト・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：授業参加度・小テスト・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

但し4年生については以下の評価とする。

A：授業参加度・小テスト・定期試験の各配点の合計が 80 点以上
B：授業参加度・小テスト・定期試験の各配点の合計が 65 点以上
C：授業参加度・小テスト・定期試験の各配点の合計が 55 点以上
The students are required to attend the classes and pass mini-tests.
The final grade will be decided based on the following: participation in the class(20%), mini-tests(30%), final exam(50%).
The scale of evaluation is as follows:

[B1～3, M1]
S: Total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points, 60 or higher (out of 100 points).

[B4, M2]
A: Total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
ウェルカムページ
オフィスアワー
学習・教育到達目標との対応 （A）幅広い人間性と考え方 人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
キーワード

(B1033207a)フランス語Ⅲ[French 3]

科目名[英文名]	フランス語Ⅲ[French 3]				
時間割番号	B1033207a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	山崎　由佳 YAMAZAKI Yuka				
ナンバリング	GEN_FOR34020				

授業の目標

基本的なフランス語の文法を理解し、簡単なフランス語を聞き、話し、読み、書く力を習得する。
フランス語の学習を通じて、フランスの文化・社会に対する理解を深める。

To understand basic French grammar and acquire simple French listening, speaking, reading, and writing skills.
To enhance understanding of the French culture and society through French language study.

授業の内容

会話文の発音・書き取り、文法のまとめ、演習問題、読解練習を行い、コミュニケーションに役立つ構文や表現を学ぶ。
映像資料により、フランスの生活・文化に親しむ。

教科書の第 0 課から第 6 課までを学習する。
第1回　第 0 課　フランス文化に親しむ (Alphabet)
第2回　第 0 課　フランス文化に親しむ (綴り字と発音)
第3回　第 1 課　パリ到着 (主語人称代名詞、動詞 être)
第4回　第 1 課　パリ到着 (国籍・職業を表す名詞の性・数、数詞:1～20)
第5回　第 2 課　ホテルで (動詞 avoir、名詞と不定冠詞・定冠詞)
第6回　第 2 課　ホテルで (形容詞の性・数一致、中性指示代名詞 ce)
第7回　第 3 課　ランデヴー(第 1 群規則動詞)
第8回　第 3 課　ランデヴー(所有形容詞、疑問文)
第9回　第 4 課　カフェで (形容詞の位置)
第 10 回　第 4 課　カフェで (形容詞と名詞の女性形・複数形、否定文)
第 11 回　第 5 課　電話をかける (指示形容詞、定冠詞の縮約)
第 12 回　第 5 課　電話をかける (人称代名詞の強勢形)
第 13 回　第 6 課　道を尋ねる (疑問代名詞)
第 14 回　第 6 課　道を尋ねる (疑問副詞、中性代名詞 y)
第 15 回　まとめ
第 16 回　定期試験

The class will consist of pronouncing and dictating conversational sentences, grammatical summary, solving practice problems, and reading comprehension exercise, through which the students will learn various sentence structures and expressions that will be useful in actual French communication.
Video materials will be used to familiarize the students with the French lifestyle and culture.

The class will cover Units 0 through 6 of the textbook.

1st lesson, Unit 0 – Become Familiar with French Culture (alphabet)
2nd lesson, Unit 0 – Become Familiar with French Culture (spelling and pronunciation)
3rd lesson, Unit 1 – The Arrival at Paris (personal pronouns subjects, verb “être”– to be–)
4th lesson, Unit 1 – The Arrival at Paris (number and gender of nouns: nationalities and professions, numbers 1–20)
5th lesson, Unit 2 – At the Hotel (verb “avoir”–to have–, nouns, indefinite and definite articles)
6th lesson, Unit 2 – At the Hotel (adjective agreement with number and gender, neutral demonstrative pronoun “ce”)
7th lesson, Unit 3 – The Rendezvous (1st group verbs)
8th lesson, Unit 3 – The Rendezvous (possessive adjectives, interrogative phrases)
9th lesson, Unit 4 – At the Coffee Shop (placement of adjectives)
10th lesson, Unit 4 – At the Coffee Shop (irregular nouns and adjectives, negative phrases)
11th lesson, Unit 5 – To Make a Phone Call (demonstrative adjectives, contractions of “à” and “de” with definite article)
12th lesson, Unit 5 – To Make a Phone Call (tonic personal pronouns)
13th lesson, Unit 6 – To Ask the Way (interrogative pronouns)

14th lesson, Unit 6 – To Ask the Way (interrogative adverb, neutral pronoun “y”)
15th lesson, Summary
16th lesson, Final examination

予習・復習内容
毎講義後、教科書・CD・WEB サポートを活用して復習し、学習内容の理解・習得に努めること。
The students are advised to review what has been taught in each class session on their own using the textbook, CD and web support in order to understand and master the class contents.

関連科目
フランス語Ⅲ、フランス語Ⅳは継続した内容のため、出来るだけ併せて受講すること。
As French 3 and French 4 are the courses that are taught consecutively, the students are advised to take both of those courses as much as possible.

教科書 1	**書名**	新・彼女は食いしん坊！1 —WEB でサポート！—			**ISBN**	978-4-255-35231-2
	著者名	藤田裕二 著,	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	東京-パリ,フランス語の旅：入門から中級まで使える文法と表現			**ISBN**	978-4-411-00460-4
	著者名	藤田裕二，藤田知子, Sylvie Gillet 著,	**出版社**	駿河台出版社	**出版年**	1997
参考書 2	**書名**	本気で学ぶフランス語：発音・会話・文法の力を基礎から積み上げる			**ISBN**	978-4-86064-272-3
	著者名	石川佳奈恵 著,	**出版社**	ベレ出版	**出版年**	2010

参考書に関する補足事項

達成目標
(1)平易なフランス語を読み、その内容を理解することができる。
(2)正確な文法に基づいた初歩的なフランス語を書くことができる。
(3)フランス語による平易な会話を聞き取ることができる。
(4)フランス語で簡単な日常会話ができる。

(1) Read simple French sentences and understand their meaning.
(2) Write rudimentary French sentences based on correct grammar usage.
(3) Listen to simple French conversations and understand their meaning.
(4) Have ordinary and simple conversation using everyday French expressions.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
日本語
評価法: 出席状況、小テスト、定期試験（100%）
評価基準: 授業に継続的に出席し、小テストで合格基準点を得た者が、定期試験を受験することができる。
S:定期試験（100 点満点）の得点が 90 点以上
A:定期試験（100 点満点）の得点が 80 点以上
B:定期試験（100 点満点）の得点が 70 点以上
C:定期試験（100 点満点）の得点が 60 点以上

但し B4 の学生については下記の評価とする。
A:定期試験（100 点満点）の得点が 80 点以上
B:定期試験（100 点満点）の得点が 65 点以上
C:定期試験（100 点満点）の得点が 55 点以上

Evaluation elements : Condition of attendance, Mini tests, Final examination（100%）
Evaluation criteria: Students that attend the class sessions regularly and obtain passing scores on mini tests will be allowed to take the final examination.
S: Score of final examination, 90 or higher (out of 100points).
A: Score of final examination, 80 or higher (out of 100points).
B: Score of final examination, 70 or higher (out of 100points).
C: Score of final examination, 60 or higher (out of 100points).

However, B4 Students will be evaluated as follows:

A: Score of final examination, 80 or higher (out of 100points).
B: Score of final examination, 65 or higher (out of 100points).
C: Score of final examination, 55 or higher (out of 100points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
なし

オフィスアワー
授業時間(月曜日第 3 時限)の前後　非常勤講師室
Before and after each class session (i.e., 3rd period on Monday)
Room number B-203

学習・教育到達目標との対応
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment

キーワード

(B1033207b)フランス語Ⅲ[French 3]

科目名[英文名]	フランス語Ⅲ[French 3]				
時間割番号	B1033207b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中村　大介 NAKAMURA Daisuke				
ナンバリング	GEN_FOR34020				

授業の目標

基本的なフランス語の文法を理解し、簡単なフランス語を聞き、話し、読み、書く力を習得する。
フランス語の学習を通じて、フランスの文化・社会に対する理解を深める。

Acquire elementary skills and grammar in French and learn the culture of France.

授業の内容

各課ごとに、会話文の発音・書き取り、文法のまとめ、および演習問題・読解練習をおこない、様々な構文や表現を学ぶ。
映像資料により、フランスの生活・文化に親しむ。

教科書の第 0 課から第 6 課までを学習する。
第1回　第 0 課　フランス文化とフランス語に親しむ (Alphabet)
第2回　第 0 課　フランス文化とフランス語に親しむ (綴り字と発音)
第3回　第 1 課　パリ到着 (主語人称代名詞、動詞 Etre)
第4回　第 1 課　パリ到着 (国籍・職業を表す名詞の性・数、数詞:1～20)
第5回　第 2 課　ホテルで (動詞 Avoir、名詞と不定冠詞・定冠詞)
第6回　第 2 課　ホテルで (形容詞の性・数一致、中性指示代名詞 ce)
第7回　第 3 課 ランデヴー(第 1 群規則動詞)
第8回　第 3 課　ランデヴー(所有形容詞、疑問文)
第9回　第 4 課 カフェで (形容詞の位置)
第 10 回　第 4 課　カフェで (形容詞と名詞の女性形・複数形、否定文)
第 11 回　第 5 課 電話をかける (指示形容詞、定冠詞の縮約)
第 12 回　第 5 課 電話をかける (人称代名詞の強勢形、近未来・近過去)
第 13 回　第 6 課　道を尋ねる (疑問代名詞)
第 14 回　第 6 課　道を尋ねる (疑問副詞、中性代名詞 y)
第 15 回　まとめ
第 16 回　定期試験
1st week　Lesson0: Alphabet
2nd week　Lesson0: Spelling & Pronunciation
3rd week　Lesson1: Personal pronoun(subject) & Verb″etre″
4th week　Lesson1: Agreement(noun) & Numeral(1-20)
5th week　Lesson2: Verb″avoir″, Noun & Article(definite, indefinite)
6th week　Lesson2: Agreement(adjective) & Demonstrative pronoun″ce″
7th week　Lesson3: First group verbs
8th week　Lesson3: Possessive determiner & Interrogative sentence
9th week　Lesson4: Position of adjectives
10th week　Lesson4: Grammatical gender, Plural & Negation
11th week　Lesson5: Demonstrative adjectives & Contraction
12th week　Lesson5: Disjunctive pronouns, Near future & Recent past
13th week　Lesson6: Interrogative pronoun
14th week　Lesson6: Interrogative pro-adverb & Gender-neutral pronoun″y″
15th week　Review
16th week　Final Examination

予習・復習内容

毎講義後、教科書・CD・WEB サポートを活用して復習し、学習内容の理解・習得に努めること。
また、動詞の活用を中心とした平易な小テストを定期的におこなうので、その準備をすること。

Use the textbook, CD and the Web support for completing course contents.
There are several tests of conjugations of verbs.

関連科目

フランス語Ⅲ、フランス語Ⅳは継続した内容のため、できるだけ併せて受講すること。

Register also the class French IV if possible.

教科書 1	**書名**	新・彼女は食いしん坊！1 WEB でサポート！			**ISBN**	978-4-255-35231-2
	著者名	藤田裕二	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	東京-パリ、フランス語の旅			**ISBN**	978-4-411-00460-4
	著者名	藤田裕二、藤田知子、鈴木Sylvie	**出版社**	駿河台出版社	**出版年**	1997
参考書 2	**書名**	本気で学ぶフランス語 ： 発音・会話・文法の力を基礎から積み上げる			**ISBN**	978-4-86064-272-3
	著者名	石川佳奈恵	**出版社**	ベレ出版	**出版年**	2010

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)平易なフランス語を読み、その内容を理解することができる。
(2)正確な文法に基づいた初歩的なフランス語を書くことができる。
(3)フランス語による平易な会話を聞き取ることができる。
(4)フランス語で簡単な日常会話ができる。

(1) Read and understand easy French expressions.
(2) Write basic expressions based on the knowledge of elementary French.
(3) Follow easy French conversations.
(4) Have basic daily conversations.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法: 出席状況、小テスト、定期試験（100%）
評価基準: 授業に継続的に出席し、小テストで合格基準点を得た者が、定期試験を受験することができる。
[B1～3, M1]
S:定期試験（100 点満点）の得点が 90 点以上
A:定期試験（100 点満点）の得点が 80 点以上
B:定期試験（100 点満点）の得点が 70 点以上
C:定期試験（100 点満点）の得点が 60 点以上

[B4,M2]
A:定期試験（100 点満点）の得点が 80 点以上
B:定期試験（100 点満点）の得点が 65 点以上
C:定期試験（100 点満点）の得点が 55 点以上
Course Evaluation
Evaluation is based primarily on a final examination (100 points). Students have to attend classes and pass all of the tests of conjugations.
[B1～3, M1]
S: Total points of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam, 60 or higher (out of 100 points).

[B4,M2]
A: Total points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.tut.ac.jp/teach/main.php?mode=detail&article=766

https://www.tut.ac.jp/english/schools/faculty/las/766.html

オフィスアワー

木曜日 13:30～15:30
その他、メール等で問い合わせてくれれば適宜応ずる。
Thursday from 13:30 to 15:30.
Contact by mail or telephone is also welcome.

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード

フランス語、フランス文化
French, Culture of France

(B10333010)中国語Ⅰ[Chinese 1]

科目名[英文名]	中国語Ⅰ[Chinese 1]				
時間割番号	B10333010	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	王　進生 Oh Shinsei				
ナンバリング	GEN_FOR15020				

授業の目標

中国語の発音方法および基本的な文法を習得する。
中国語による日常的な会話能力を身につける。

In this course, students well learn Chinese pronunciation and basic Chinese grammar.
Students acquire ability for daily conversation in Chinese.

授業の内容

授業の概要
1 週目　中国語について
2 週目　発音と練習1
3 週目　発音と練習2
4 週目　発音と練習3
5 週目　第 1 課　ニーハオ　（代名詞）
6 週目　第 1 課　ニーハオ　（動詞“是”）
7 週目　第 2 課　大学　（助詞“的”）
8 週目　第 2 課　大学　（疑問詞）
9 週目　第 3 課　新宿　（否定の表現）
10 週目　第 3 課　新宿　（副詞“也”）
11 週目　第 4 課　カメラを買う　（疑問文）
12 週目　第 4 課　カメラを買う　（形容詞）
13 週目　第 5 課　家族を語る　（年齢の言い方）
14 週目　第 5 課　家族を語る　（比較）
15 週目　まとめ
16 週目　定期試験

Course Outline
1st week, Introduction of Chinese
2nd week, Pronunciation and practice 1
3rd week, Pronunciation and practice 2
4th week, Pronunciation and practice 3
5th week, Lesson 1 “Nihao” (Pronoun)
6th week, Lesson 1 “Nihao” (Verb“Shi”)
7th week, Lesson 2 University (Particle“De”)
8th week, Lesson 2 University (Interrogative)
9th week, Lesson 3 Shinjuku (Negative)
10th week, Lesson 3 Shinjuku (Adverb“Ye”)
11th week, Lesson 4 Camera (Question form)
12th week, Lesson 4 Camera (Adjective)
13th week, Lesson 5 Family (Age)
14th week, Lesson 5 Family (Comparison)
15th week, Summary
16th week, Final examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習すること。

Required Assignments

Students are required to review the contents of each lecture, and preparation for text contents of the next week.

関連科目

教科書 1	**書名**	『日中いぶこみ広場(簡明版)』			**ISBN**	978-4-255-45237-1
	著者名	相原茂ほか共著	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	『はじめての中国語学習辞典』			**ISBN**	978-4-255-00113-5
	著者名	相原茂編著	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2002

参考書に関する補足事項

達成目標

1)中国語のピンインを正確に発音できる。
2)基本的な中国語の文法を理解する。
3)簡単な中国語会話ができる。

(1) Students will be able to pronounce Chinese "Pinyin" correctly.
(2) Understand basic Chinese grammar.
(3) Students will be able to have simple conversation in Chinese.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:主に期末試験で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B1～3
S:達成目標をすべて達成しており、かつ期末試験の点数が 90 点以上
A:達成目標をほぼすべて達成しており、かつ期末試験の点数が 80 点以上
B:達成目標を概ね達成しており、かつ期末試験の点数が 70 点以上
C:達成目標を半分以上達成しており、かつ期末試験の点数が 60 点以上
B4
A:達成目標をすべて達成しており、かつ期末試験の点数が 80 点以上
B:達成目標を概ね達成しており、かつ期末試験の点数が 65 点以上
C:達成目標を半分以上達成しており、かつ期末試験の点数が 55 点以上

Course Evaluation
Evaluation is based primarily on a final examination.
B1～3
S: Total points of exam and reports, 90 points or higher.
A: Total points of exam and reports, 80 points or higher.
B: Total points of exam and reports, 70 points or higher.
C: Total points of exam and reports, 60 points or higher.
B4
A: Total points of exam and reports, 80 points or higher.
B: Total points of exam and reports, 65 points or higher.
C: Total points of exam and reports, 55 points or higher.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応 (A)幅広い人間性と考え方 人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力 (A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
キーワード 中国語 Chinese

(B10333020)中国語Ⅱ[Chinese 2]

科目名[英文名]	中国語Ⅱ[Chinese 2]				
時間割番号	B10333020	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	王　進生 Oh Shinsei				
ナンバリング	GEN_FOR15020				

授業の目標

中国語基本的な文法および中国の文化についての理解を深める。
中国語による日常的な会話能力を身につける。

Students will deepen their knowledge of basic Chinese grammar and Chinese culture.
Students acquire ability for daily conversation in Chinese.

授業の内容

授業の概要
1 週目　発音と文法の復習
2 週目　発音と文法の復習
3 週目　第 6 課　富士山　（助詞“過”）
4 週目　第 6 課　富士山　（助動詞“要”）
5 週目　第 7 課　喫茶店　（助詞“了”1）
6 週目　第 7 課　喫茶店　（時間詞）
7 週目　第 8 課　街　（前置詞）
8 週目　第 8 課　街　（助詞“了”2）
9 週目　第 9 課　京都　（“是～的”構文）
10 週目　第 9 課　京都　（進行の表し方）
11 週目　第 10 課　寿司　（助動詞“能”）
12 週目　第 10 課　寿司　（結果補語）
13 週目　第 11 課　スキー　（二重目的語）
14 週目　練習
15 週目　まとめ
16 週目　定期試験

Course Outline
1st week, Review of Chinese pronunciation and grammar
2nd week, Review of Chinese pronunciation and grammar
3rd week, Lesson 6　Fujisan　(Particle“Guo”)
4th week, Lesson 6　Fujisan　(Auxiliary“Yao”)
5th week, Lesson 7　Coffee shop　(Particle “Le”1)
6th week, Lesson 7　Coffee shop　(Time words)
7th week, Lesson 8　Street　(Preposition)
8th week, Lesson 8　Street　(Particle “Le”2)
9th week, Lesson 9　Kyoto　(Construction“Shi～de”)
10th week, Lesson 9　Kyoto　(Progress)
11th week, Lesson 10　Susi　(Auxiliary“Neng”)
12th week, Lesson 10　Susi　(Complement of result)
13th week, Lesson 11　Ski　(Double object)
14th week, Practice
15th week, Summary
16th week, Final examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習すること。

Required Assignments
Students are required to review the contents of each lecture, and preparation for text contents of the next week.

関連科目

教科書 1	**書名**	『日中いぶこみ広場(簡明版)』			**ISBN**	978-4-255-45237-1
	著者名	相原茂ほか共著	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	『はじめての中国語学習辞典』			**ISBN**	978-4-255-00113-5
	著者名	相原茂編著	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2002

参考書に関する補足事項

達成目標

1)中国語のピンインを正確に発音できる。
2)基本的な中国語の文法を理解する。
3)簡単な中国語会話ができる。

(1) Students will be able to pronounce Chinese "Pinyin" correctly.
(2) Understand basic Chinese grammar.
(3) Students will be able to have simple conversation in Chinese.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:主に期末試験で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B1～3
S:達成目標をすべて達成しており、かつ期末試験の点数が 90 点以上
A:達成目標をほぼすべて達成しており、かつ期末試験の点数が 80 点以上
B:達成目標を概ね達成しており、かつ期末試験の点数が 70 点以上
C:達成目標を半分以上達成しており、かつ期末試験の点数が 60 点以上
B4
A:達成目標をすべて達成しており、かつ期末試験の点数が 80 点以上
B:達成目標を概ね達成しており、かつ期末試験の点数が 65 点以上
C:達成目標を半分以上達成しており、かつ期末試験の点数が 55 点以上

Course Evaluation
Evaluation is based primarily on a final examination.
B1～3
S: Total points of exam and reports, 90 points or higher.
A: Total points of exam and reports, 80 points or higher.
B: Total points of exam and reports, 70 points or higher.
C: Total points of exam and reports, 60 points or higher.
B4
A: Total points of exam and reports, 80 points or higher.
B: Total points of exam and reports, 65 points or higher.
C: Total points of exam and reports, 55 points or higher.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment

キーワード
中国語
Chinese

(B10333050)中国語Ⅳ[Chinese 4]

科目名[英文名]	中国語Ⅳ[Chinese 4]				
時間割番号	B10333050	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	王　進生 Oh Shinsei				
ナンバリング	GEN_FOR35020				

授業の目標

中国語基本的な文法および中国の文化についての理解を深める。
中国語による日常的な会話能力を身につける。

Students will deepen their knowledge of basic Chinese grammar and Chinese culture.
Students acquire ability for daily conversation in Chinese.

授業の内容

授業の概要
1 週目　発音と文法の復習
2 週目　発音と文法の復習
3 週目　第 6 課　富士山　（助詞“過”）
4 週目　第 6 課　富士山　（助動詞“要”）
5 週目　第 7 課　喫茶店　（助詞“了”1）
6 週目　第 7 課　喫茶店　（時間詞）
7 週目　第 8 課　街　（前置詞）
8 週目　第 8 課　街　（助詞“了”2）
9 週目　第 9 課　京都　（“是～的”構文）
10 週目　第 9 課　京都　（進行の表し方）
11 週目　第 10 課　寿司　（助動詞“能”）
12 週目　第 10 課　寿司　（結果補語）
13 週目　第 11 課　スキー　（二重目的語）
14 週目　練習
15 週目　まとめ
16 週目　定期試験

Course Outline
1st week, Review of Chinese pronunciation and grammar
2nd week, Review of Chinese pronunciation and grammar
3rd week, Lesson 6　Fujisan　(Particle“Guo”)
4th week, Lesson 6　Fujisan　(Auxiliary“Yao”)
5th week, Lesson 7　Coffee shop　(Particle “Le”1)
6th week, Lesson 7　Coffee shop　(Time words)
7th week, Lesson 8　Street　(Preposition)
8th week, Lesson 8　Street　(Particle “Le”2)
9th week, Lesson 9　Kyoto　(Construction“Shi～de”)
10th week, Lesson 9　Kyoto　(Progress)
11th week, Lesson 10　Susi　(Auxiliary“Neng”)
12th week, Lesson 10　Susi　(Complement of result)
13th week, Lesson 11　Ski　(Double object)
14th week, Practice
15th week, Summary
16th week, Final examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習すること。

Required Assignments
Students are required to review the contents of each lecture, and preparation for text contents of the next week.

関連科目

教科書 1	**書名**	『日中いぶこみ広場(簡明版)』			**ISBN**	978-4-255-45237-1
	著者名	相原茂ほか共著	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	『はじめての中国語学習辞典』			**ISBN**	978-4-255-00113-5
	著者名	相原茂編著	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2002

参考書に関する補足事項

達成目標

1)中国語のピンインを正確に発音できる。
2)基本的な中国語の文法を理解する。
3)簡単な中国語会話ができる。

(1) Students will be able to pronounce Chinese "Pinyin" correctly.
(2) Understand basic Chinese grammar.
(3) Students will be able to have simple conversation in Chinese.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:主に期末試験で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A:達成目標をすべて達成しており、かつ期末試験の点数が 80 点以上
B:達成目標を概ね達成しており、かつ期末試験の点数が 65 点以上
C:達成目標を半分以上達成しており、かつ期末試験の点数が 55 点以上

Course Evaluation
Evaluation is based primarily on a final examination.
A: Total points of exam and reports, 80 points or higher.
B: Total points of exam and reports, 65 points or higher.
C: Total points of exam and reports, 55 points or higher.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment

キーワード

中国語
Chinese

(B1033307a)中国語Ⅲ[Chinese 3]

科目名[英文名]	中国語Ⅲ[Chinese 3]				
時間割番号	B1033307a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	王　進生 Oh Shinsei				
ナンバリング	GEN_FOR35020				

授業の目標

中国語の発音方法および基本的な文法を習得する。
中国語による日常的な会話能力を身につける。

In this course, students well learn Chinese pronunciation and basic Chinese grammar.
Students acquire ability for daily conversation in Chinese.

授業の内容

授業の概要
1 週目　中国語について
2 週目　発音と練習1
3 週目　発音と練習2
4 週目　発音と練習3
5 週目　第 1 課　ニーハオ　（代名詞）
6 週目　第 1 課　ニーハオ　（動詞“是”）
7 週目　第 2 課　大学　（助詞“的”）
8 週目　第 2 課　大学　（疑問詞）
9 週目　第 3 課　新宿　（否定の表現）
10 週目　第 3 課　新宿　（副詞“也”）
11 週目　第 4 課　カメラを買う　（疑問文）
12 週目　第 4 課　カメラを買う　（形容詞）
13 週目　第 5 課　家族を語る　（年齢の言い方）
14 週目　第 5 課　家族を語る　（比較）
15 週目　まとめ
16 週目　定期試験

Course Outline
1st week, Introduction of Chinese
2nd week, Pronunciation and practice 1
3rd week, Pronunciation and practice 2
4th week, Pronunciation and practice 3
5th week, Lesson 1 “Nihao” (Pronoun)
6th week, Lesson 1 “Nihao” (Verb“Shi”)
7th week, Lesson 2 University (Particle“De”)
8th week, Lesson 2 University (Interrogative)
9th week, Lesson 3 Shinjuku (Negative)
10th week, Lesson 3 Shinjuku (Adverb“Ye”)
11th week, Lesson 4 Camera (Question form)
12th week, Lesson 4 Camera (Adjective)
13th week, Lesson 5 Family (Age)
14th week, Lesson 5 Family (Comparison)
15th week, Summary
16th week, Final examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習すること。

Required Assignments

Students are required to review the contents of each lecture, and preparation for text contents of the next week.

関連科目

教科書 1	**書名**	『日中いぶこみ広場(簡明版)』			**ISBN**	978-4-255-45237-1
	著者名	相原茂ほか共著	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	『はじめての中国語学習辞典』			**ISBN**	978-4-255-00113-5
	著者名	相原茂編著	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2002

参考書に関する補足事項

達成目標

1)中国語のピンインを正確に発音できる。
2)基本的な中国語の文法を理解する。
3)簡単な中国語会話ができる。

(1) Students will be able to pronounce Chinese "Pinyin" correctly.
(2) Understand basic Chinese grammar.
(3) Students will be able to have simple conversation in Chinese.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:主に期末試験で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B1～3
S:達成目標をすべて達成しており、かつ期末試験の点数が 90 点以上
A:達成目標をほぼすべて達成しており、かつ期末試験の点数が 80 点以上
B:達成目標を概ね達成しており、かつ期末試験の点数が 70 点以上
C:達成目標を半分以上達成しており、かつ期末試験の点数が 60 点以上
B4
A:達成目標をすべて達成しており、かつ期末試験の点数が 80 点以上
B:達成目標を概ね達成しており、かつ期末試験の点数が 65 点以上
C:達成目標を半分以上達成しており、かつ期末試験の点数が 55 点以上

Course Evaluation
Evaluation is based primarily on a final examination.
B1～3
S: Total points of exam and reports, 90 points or higher.
A: Total points of exam and reports, 80 points or higher.
B: Total points of exam and reports, 70 points or higher.
C: Total points of exam and reports, 60 points or higher.
B4
A: Total points of exam and reports, 80 points or higher.
B: Total points of exam and reports, 65 points or higher.
C: Total points of exam and reports, 55 points or higher.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応 (A)幅広い人間性と考え方 人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ、自然と人間との共生、人類の幸福・健康・福祉について考える能力 (A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
キーワード 中国語 Chinese

(B1033307b)中国語Ⅲ[Chinese 3]

科目名[英文名]	中国語Ⅲ[Chinese 3]				
時間割番号	B1033307b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	蔡　万里 SAI Banri				
ナンバリング	GEN_FOR35020				

授業の目標

中国語学習の基礎となる発音、基本的な語彙・文法を学習し、中国語で簡単なやりとりができる程度の語彙・表現力を身につけることを目標とする。

The objective of this class is to train the ability to have a simple communication in Chinese thorough practice the pronunciation and learning the basic vocabulary and grammar.

授業の内容

第1回～第5回　基礎発音
第6回　人称代名詞・動詞“是”の文・疑問文・名前の尋ね方
第7回　指示代名詞・形容詞述語文・副詞“也”と“都”・助詞“的”
第8回　数詞述語文・動詞述語文・語気助詞・疑問詞疑問文
第9回　反復疑問文・動詞“在”・動詞“有”・助動詞“想”
第10回　復習・中間テスト
第11回　動詞“歓迎”・前置詞“在”・省略疑問文・時刻と時間詞の位置
第12回　助動詞“可以”・進行の表し方・連動文・動詞の重ね型
第13回　主述述語文・量詞・助詞“了”・時間と量とその位置
第14回　方向動詞と方向補語・前置詞“从”・前置詞“給”・比較表現“比”と“没有”
第15回　総復習
第16回　定期試験
Week 1~ Week 5 Basic pronunciation
Week 6 Personal Pronoun
Week 7 Demonstrative Pronoun
Week 8 Numeral Predicate Sentence
Week 9 Repeat question Sentence
Week 10 Review and Intermediate Test
Week 11 Verb ″HUANYING″
Week 12 Auxiliary verb ″KEYI″
Week 13 Main Predicate Sentence
Week 14 Direction Verbs and Direction Complement
Week 15 General Review
Week 16 Examination

予習・復習内容

初歩の段階では反復と模倣が大切である。毎回の授業の内容をきちんと復習してください。

Imitation and repetition is very important at the elementary stage, so you are supposed to make a continue review and pronounce practice after class.

関連科目

教科書 1	**書名**	入門ビジュアル中国			**ISBN**	978-4-255-45262-3
	著者名	衛榕群・汪暁京	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2015

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	日中いぶこみ広場			**ISBN**	978-4-255-45237-1
	著者名	相原茂・陳淑梅・飯田敦子	**出版社**	朝日出版社	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項

達成目標

中国語が自然に習慣づけられるように。
To have a basic understanding of Chinese culture and Chinese language.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：授業参加度 20%　中間テスト 30%　定期試験 50%　左記の割合で、総合的に評価する。

Evaluation method: Class Participate 20%　Intermediate Test 30%　Examination 50%

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

研究室：B-413
メールアドレス：saibanri@las.tut.ac.jp
電話：44-6954
Research Room: B-413
Mail: saibanri@las.tut.ac.jp
Tel: 44-6954

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業の前後
Before or After Class

学習・教育到達目標との対応

キーワード

中国語
Chinese

(B10334010)日本語ＩA[Japanese 1A]

科目名[英文名]	日本語ＩA[Japanese 1A]				
時間割番号	B10334010	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 1～1,月 5～5,水 1～1,木 1～1,木 5～5,金 1～1,金 3	**単位数**	3.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子, 田辺　淳子, 鈴木　裕子, 石川　智嘉子 SAKAMOTO Yuko, TANABE Junko, SUZUKI Yuko, ISHIKAWA Chikako				
ナンバリング	GEN_FOR26020				

授業の目標

基礎日本語を習得する。

To master basic Japanese.

授業の内容

基礎日本語Ｉａと同時受講してください。

第 1 回　L1-1
第 2 回　L1 の復習、会話・問題
第 3 回　L2-1
第 4 回　L2-2
第 5 回　L2 の復習、会話・問題
第 6 回　L3-1
第 7 回　L3-2
第 8 回　L3 の復習、会話・問題
第 9 回　L4-1
第 10 回　L4-2
第 11 回　L4 の復習、会話・問題
第 12 回　L5-1
第 13 回　L5-2
第 14 回　L5 の復習、会話・問題
第 15 回　L6-1
第 16 回　L6-2
第 17 回　L6 の復習、会話・問題
第 18 回　L7-1
第 19 回　L7-2
第 20 回　L7 の復習、会話・問題
第 21 回　L8-1
第 22 回　L8-2
第 23 回　L8 の復習、会話・問題
第 24 回　L9-1
第 25 回　L9-2
第 26 回　L9 の復習、会話・問題
第 27 回　L10-1
第 28 回　L10-2
第 29 回　L10 の復習、会話・問題
第 30 回　L11-1
第 31 回　L11-2
第 32 回　L11 の復習、会話・問題
第 33 回　L12-1
第 34 回　L12-2
第 35 回　L12 の復習、会話・問題
第 36 回　L13-1
第 37 回　L13 の復習、会話・問題
第 38 回　L14-1
第 39 回　L14-2
第 40 回　L14 の復習、会話・問題
第 41 回　L15-1

第 42 回　L15-2
第 43 回　L15 の復習、会話・問題
第 44 回　L16-1
第 45 回　L16-2
第 46 回　L16 の復習、会話・問題
第 47 回　L17-1
第 48 回　L17-2
第 49 回　L17 の復習、会話・問題
第 50 回　L18-1
第 51 回　L18-2
第 52 回　L18 の復習、会話・問題
第 53 回　L19-1
第 54 回　復習
第 55 回　定期試験
Take this class and Basic Japanese 1a at the same time.

1　L1-1
2　L1 review,conversation, practice question
3　L2-1
4　L2-2
5　L2 review,conversation, practice question
6　L3-1
7　L3-2
8　L3 review,conversation, practice question
9　L4-1
10　L4-2
11　L4 review,conversation, practice question
12　L5-1
13　L5-2
14　L5 review,conversation, practice question
15　L6-1
16　L6-2
17　L6 review,conversation, practice question
18　L7-1
19　L7-2
20　L7 review,conversation, practice question
21　L8-1
22　L8-2
23　L8 review,conversation, practice question
24　L9-1
25　L9-2
26　L9 review,conversation, practice question
27　L10-1
28　L10-2
29　L10 review,conversation, practice question
30　L11-1
31　L11-2
32　L11 review,conversation, practice question
33　L12-1
34　L12-2
35　L12 review,conversation, practice question
36　L13-1
37　L13 review,conversation, practice question
38　L14-1
39　L14-2
40　L14 review,conversation, practice question
41　L15-1
42　L15-2
43　L15 review,conversation, practice question
44　L16-1
45　L16-2
46　L16 review,conversation, practice question

47 L17-1
48 L17-2
49 L17 review,conversation, practice question
50 L18-1
51 L18-2
52 L18 review,conversation, practice question
53 L19-1
54 Rev.
55 Exam

予習・復習内容

1.このコースには、文字と語彙の e ラーニングがあります。シラバスをダウンロードして、自分でスケジュールを立て、学習してください。
https://lms.imc.tut.ac.jp/
2.週ごとの学習内容は、教室に掲示してあります。自分で確認してください。
3.課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。
4.課ごとに教科書の問題を宿題にします。解答後、提出してください。
1. We prepare the e-learning course of the characters and basic vocabularies. Download the syllabus, make your own schedule and study by yourself.
https://lms.imc.tut.ac.jp/
2. The syllabus is posted in the classroom, check your daily schedule yourself.
3. Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.
4. Each lesson have a “MONDAI - Practice Question”. Write “MONDAI - PQ” and hand in them to the teacher who distributed them.

関連科目

教科書 1	**書名**	みんなの日本語　初級Ⅰ　第 2 版　本冊			**ISBN**	9784883196036
	著者名	スリーエーネットワーク	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	1998

教科書に関する補足事項

オリエンテーションのときに、本を紹介します。
We will introduce books at the orientation.

参考書 1	**書名**	みんなの日本語　初級Ⅰ　第 2 版翻訳・文法解説（各国語版）			**ISBN**	
	著者名	スリーエーネットワーク	**出版社**	スリーエーネットワーク 1998	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

基礎日本語を習得する。
To master basic Japanese.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、語彙テストの平均点（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79

C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
みんなの日本語　基礎日本語Ｉａ
Minna no Nihongo Basic Japanese1a

(B10334020)日本語ⅡA[Japanese 2A]

科目名[英文名]	日本語ⅡA[Japanese 2A]				
時間割番号	B10334020	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	火 4～4,水 1～1,木 1～1,木 5～5,金 1～1	**単位数**	2.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	坂本 裕子, 田辺 淳子 SAKAMOTO Yuko, TANABE Junko				
ナンバリング	GEN_FOR26020				

授業の目標

留学生対象の授業です。初中級レベルの日本語を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean lower intermediate level Japanese.

授業の内容

初中級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 L1-1
第 2 回 L1-2
第 3 回 L2-1
第 4 回 L2-2
第 5 回 L2-3
第 6 回 L3-1
第 7 回 L3-2
第 8 回 L3-3
第 9 回 L4-1
第 10 回 L4-2
第 11 回 L4-3
第 12 回 L5-1
第 13 回 L5-2
第 14 回 L5-3
第 15 回 L5-4 Rev.
第 16 回 L6-1
第 17 回 L6-2
第 18 回 L6-3
第 19 回 L6-4 Rev.
第 20 回 L7-1
第 21 回 L7-2
第 22 回 L7-3
第 23 回 L7-4 Rev.
第 24 回 L8-1
第 25 回 L8-2
第 26 回 L8-3
第 27 回 L8-4 Rev.
第 28 回 L9-1
第 29 回 L9-2
第 30 回 L9-3
第 31 回 L9-4 Rev.
第 32 回 L10-1
第 33 回 L10-2
第 34 回 L10-3
第 35 回 復習 1
第 36 回 復習 2
第 37 回 復習 3
第 38 回 復習 4、定期試験

Level: Lower Intermediate level(JLPT N3 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. L1-1
2. L1-2
3. L2-1
4. L2-2
5. L2-3
6. L3-1
7. L3-2
8. L3-3
9. L4-1
10. L4-2
11. L4-3
12. L5-1
13. L5-2
14. L5-3
15. L5-4 Rev.
16. L6-1
17. L6-2
18. L6-3
19. L6-4 Rev.
20. L7-1
21. L7-2
22. L7-3
23. L7-4 Rev.
24. L8-1
25. L8-2
26. L8-3
27. L8-4 Rev.
28. L9-1
29. L9-2
30. L9-3
31. L9-4 Rev.
32. L10-1
33. L10-2
34. L10-3
35. rev.1
36. rev.2
37. rev.3
38. rev.4, Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。
You need to review what you have learned after every class.
Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.

関連科目

教科書 1	**書名**	中級へ行こう 第 2 版			**ISBN**	9784883197286
	著者名	平井悦子、三輪さち子	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

初中級レベル（JLPT N3 レベル）の日本語がわかる。

To understand lower intermediate text(JLPT N3 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90 点満点）、語彙テストの平均点（10 点満点）の合計点

(100 点満点)で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点
B:70～79 点
C:60～69 点

学部 4 年生
A:80 点以上
B:65～79 点
C:55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
中級日本語　日本語能力試験　N3
intermediate Japanese JLPT N3

(B10334030)日本語ⅢA[Japanese 3A]

科目名[英文名]	日本語ⅢA[Japanese 3A]				
時間割番号	B10334030	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 1～1,木 1～1,木 5～5,金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	坂本 裕子, 吉村 弓子, 中村 恵 SAKAMOTO Yuko, YOSHIMURA Yumiko, NAKAMURA Megumi				
ナンバリング	GEN_FOR26020				

授業の目標

留学生対象の授業です。中級レベルの日本語を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean upper intermediate level Japanese.

授業の内容

中級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 L1-1
第 2 回 L1-2
第 3 回 L1-3
第 4 回 L1-4
第 5 回 L1-5
第 6 回 L1-6
第 7 回 L2-1
第 8 回 L2-2
第 9 回 L2-3
第 10 回 L2-4
第 11 回 L2-5
第 12 回 L2-6
第 13 回 L3-1
第 14 回 L3-2
第 15 回 L3-3
第 16 回 L3-4
第 17 回 L3-5
第 18 回 L3-6
第 19 回 L4-1
第 20 回 L4-2
第 21 回 L4-3
第 22 回 L4-4
第 23 回 L4-5
第 24 回 L4-6
第 25 回 L5-1
第 26 回 L5-2
第 27 回 L5-3
第 28 回 L5-4
第 29 回 L5-5
第 30 回 L5-6
第 31 回 定期試験

Level: upper Intermediate level(JLPT N2 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. L1-1
2. L1-2
3. L1-3
4. L1-4
5. L1-5
6. L1-6
7. L2-1

8. L2-2
9. L2-3
10. L2-4
11. L2-5
12. L2-6
13. L3-1
14. L3-2
15. L3-3
16. L3-4
17. L3-5
18. L3-6
19. L4-1
20. L4-2
21. L4-3
22. L4-4
23. L4-5
24. L4-6
25. L5-1
26. L5-2
27. L5-3
28. L5-4
29. L5-5
30. L5-6
31. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。

You need to review what you have learned after every class.
Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.

関連科目

教科書 1	**書名**	中級を学ぼう 中級中期			**ISBN**	9784883195091
	著者名	平井悦子、三輪さち子	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2009

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中級レベル（JLPT N2 レベル）の日本語がわかる。

To understand upper intermediate text(JLPT N2 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90 点満点）、語彙テストの平均点（10 点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:

Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードす

るコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
中級日本語　日本語能力試験　N2
intermediate Japanese JLPT N2

(B10334040)日本語ＶＡ[Japanese 5A]

科目名[英文名]	日本語ＶＡ[Japanese 5A]				
時間割番号	B10334040	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	木 1～1,金 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本 裕子, 石川 智嘉子 SAKAMOTO Yuko, ISHIKAWA Chikako				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの読解を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N2 level reading.

授業の内容

中級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 イントロダクション、第 1 部-1(1)例題 1、2、3 練習 1
第 2 回 第 1 部-1(1)練習 2、3、4、5 (2)例題 4
第 3 回 第 1 部-1(2)例題 5 練習 6、7、8、9
第 4 回 第 1 部-1(3)例題 6 練習 10 (4)例題 7 練習 11、12
第 5 回 第 1 部-1(4)練習 13、14、15、16 (5)例題 8
第 6 回 第 1 部-1(5)練習 17、18、19、20 2(1)例題 9
第 7 回 第 1 部-2(1)例題 10 練習 21、22、23、24
第 8 回 第 1 部-2(2)例題 11 、12 練習 25、26、27
第 9 回 第 1 部-2(3)例題 13 練習 28、29、30、31
第 10 回 第 1 部-2(3)練習 32 (4)例題 14、15 練習 33、34
第 11 回 第 1 部-2(4)練習 35、36、37、38 (5)例題 16
第 12 回 第 1 部-2(5)練習 39、40、41 第 2 部-1 例題 17、18
第 13 回 第 2 部-1 例題 19 練習 42、43、44 2(1)例題 20
第 14 回 第 2 部-2(1)例題 21 練習 45、46 2(2)例題 22、23
第 15 回 復習
第 16 回 定期試験
Level: Intermediate level(JLPT N2 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

1. Intro. S1-1-1 ex1.2.3 pr1
2. S1-1-1 pr2.3.4.5 S1-1-2 ex4
3. S1-1-2 ex5 pr6.7.8.9
4. S1-1-3 ex6 pr10 S1-4 ex7 pr11.12
5. S1-1-4 pr13.14.15.16 S1-1-5 ex5
6. S1-1-5 pr17.18.19.20 S1-2-1 ex9
7. S1-2-1 ex10 pr21.22.23.24
8. S1-2-2 ex11.12 pr25.26.27
9. S1-2-3 ex13 pr28.29.30.31
10. S1-2-3 pr32 S1-2-4 ex14.15 pr33.34
11. S1-2-4 pr35.36.37.38 S1-2-5 ex16
12. S1-2-5 pr39.40.41 S2-1 ex17.18
13. S2-1 ex19 pr42.43.44 S1-2-1 ex20
14. S2-2-1 ex21 pr45.46 S2-2-2 ex22.23
15. Review
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	新完全マスターN2 読解			ISBN	9784883195725
	著者名	田代ひろみ他	出版社	スリーエーネットワーク	出版年	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

中級レベル（JLPT N2 レベル）の読解がわかる。

To understand reading of intermediate text(JLPT N2 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、語彙テストの平均点（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード

(B10334050)漢字ＩA[Kanji 1A]

科目名[英文名]	漢字ＩA[Kanji 1A]				
時間割番号	B10334050	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	火 5～5	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FOR26020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N4～N3レベルの漢字 75 字を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn 75 Kanji characters at the level of JLPT N4-N3.

授業の内容

漢字初級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　4/10　漢字 01-10
第2回　4/17　漢字 11-20
第3回　4/24　漢字 21-30
第4回　5/01　漢字 31-40
第5回　5/08　漢字 41-50
第6回　5/15　漢字 51-60
第7回　5/22　漢字 61-70
第8回　6/05　漢字 71-75 と定期試験

Elementary level.
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 (Apr.10)　Kanji 01-10
Week 2 (Apr.17)　Kanji 11-20
Week 3 (Apr.24)　Kanji 21-30
Week 4 (May 01)　Kanji 31-40
Week 5 (May 08)　Kanji 41-50
Week 6 (May 15)　Kanji 51-60
Week 7 (May 22)　Kanji 61-70
Week 8 (Jun.05)　Kanji 71-75 and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語 IA、基礎日本語 IA
Japanese 1A, Basic Japanese 1A

教科書 1	**書名**	留学生のための漢字の教科書　初級 300（改訂版）		**ISBN**	978-4-336-05873-7
	著者名	佐藤尚子，佐々木仁子著	**出版社** 国書刊行会	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）初級レベル（N4～N3レベル）の漢字が使える。
2）初級レベルの漢字語彙が理解できる。

1）To read and write elementary kanji (JLP N4-N3 level).
2）To understand the vocabulary consisting of elementary kanji characters.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
メール連絡の時は、「件名」に「Kanji IA の～です」と書いてください。(「～」にはあなたの名前)

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Kanji IA" as the subject .

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00

Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings (E) Expression and communication skills for success home and abroad Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering (A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations (A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード 漢字　初級　N3 N4 Kanji elementary N3 N4

(B10334060)漢字ⅡA[Kanji 2A]

科目名[英文名]	漢字ⅡA[Kanji 2A]				
時間割番号	B10334060	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FOR26020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N4～N3レベルの漢字 75 字を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn 75 Kanji characters at the level of JLPT N4-N3.

授業の内容

漢字初級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　10/15　漢字 151-160
第2回　10/22　漢字 161-170
第3回　10/29　漢字 171-180
第4回　11/05　漢字 181-190
第5回　11/12　漢字 191-200
第6回　11/19　漢字 201-210
第7回　11/26　漢字 211-220
第8回　12/03　漢字 221-225 と定期試験

Elementary level.
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 (Oct.15)　Kanji 151-160
Week 2 (Oct.22)　Kanji 161-170
Week 3 (Oct.29)　Kanji 171-180
Week 4 (Nov.05)　Kanji 181-190
Week 5 (Nov.12)　Kanji 191-200
Week 6 (Nov.19)　Kanji 201-210
Week 7 (Nov.26)　Kanji 211-220
Week 8 (Dec.03)　Kanji 221-225 and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語 IIA、基礎日本語 IIA
Japanese 2A, Basic Japanese 2A

教科書 1	**書名**	留学生のための漢字の教科書　初級 300(改訂版)		**ISBN**	978-4-336-05873-7
	著者名	佐藤尚子, 佐々木仁子著	**出版社** 国書刊行会	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）初級レベル（N4～N3レベル）の漢字が使える。
2）初級レベルの漢字語彙が理解できる。

1）To read and write elementary Kanji (JLP N4-N3 level).
2）To understand the vocabulary consisting of elementary Kanji characters.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or more
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or more
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
メール連絡の時は、「件名」に「Kanji IIA の～です」と書いてください。（「～」にはあなたの名前）

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Kanji 2A" as the subject .

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00

Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between

humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
漢字　初級　N3 N4
Kanji elementary N3 N4

(B10334070)漢字ⅢA[Kanji 3A]

科目名[英文名]	漢字ⅢA[Kanji 3A]				
時間割番号	B10334070	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	金 5～5	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_FOR26020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N2レベルの漢字を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn JLPT N2 level Kanji.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　L.1,2
第2回　L.3,4
第3回　L.5,6
第4回　L.7,8
第5回　L.9,10
第6回　L.11,12
第7回　L.13,14
第8回　L.15 と定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. L.1,2
Week2. L.3,4
Week3. L.5,6
Week 4. L.7,8
Week 5. L.9.,10
Week 6. L.11,12
Week 7. L.13,14
Week 8. L,15 and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語ⅢA、基礎日本語ⅢA
Japanese 3A, Basic Japanese 3A

教科書 1	**書名**	留学生のための漢字教科書　700			**ISBN**	978-4-336-050298
	著者名	佐藤尚子、佐々木仁子	**出版社**	図書刊行会	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）中級レベル（N2 レベル）の漢字が使える。

2）中級レベルの漢字語彙が理解できる。

1）To read and write intermediate Kanji (JLPT N2 level).
2）To understand vocabulary of intermediate text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（80点満点）、小テスト・課題（10点満点）、授業への貢献度（10点満点）の合計点（100点満点）で以下のように評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日　13：15～13：45（事前にメールで予約してください）
Wed. 13：15～13：45（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B10334080)漢字ⅣA[Kanji 4A]

科目名[英文名]	漢字ⅣA[Kanji 4A]				
時間割番号	B10334080	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_FOR14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの漢字を習得します。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn JLPT N1 level Kanji.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回　L.1
第2回　L.2
第3回　L.3
第4回　L.4
第5回　L.5
第6回　L.6
第7回　L.7
第8回　復習 定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. L.1
Week2. L.2
Week3. L.3
Week 4. L.4
Week 5. L.5
Week 6. L.6
Week 7. L.7
Week 8. Review& Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.

You have a quiz every class.

関連科目

日本語Ⅳ、基礎日本語ⅣA

Japanese 4A, Baisc Japanese 4A

教科書 1	**書名**	留学生のための漢字教科書　上級 1000			**ISBN**	978-4-336-05355-8
	著者名	佐藤尚子、佐々木仁子	**出版社**	図書刊行会	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1）上級レベル（N1 レベル）の漢字が使える。
2）上級レベルの漢字語彙が理解できる。

1）To read and write advanced Kanji (JLPT N1 level).
2）To understand vocabulary of advanced text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（80点満点）、小テスト・課題（10点満点）、授業への貢献度（10点満点）の合計点（100点満点）で以下のように評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日　13：15～13：45（事前にメールで予約してください）
Wed.　13：15～13：45（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B10334090)漢字ＶA[Kanji 5A]

科目名[英文名]	漢字ＶA[Kanji 5A]				
時間割番号	B10334090	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの漢字を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn JLPT N1 level Kanji.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　イントロダクション、L.17 (No.1498-1529)
第2回　L.18 (No.1530-1561)
第3回　L.19 (No.1561-1592)
第4回　L.20 (No.1593-1624)
第5回　L.21 (No.1625-1655)
第6回　L.22 (No.1656-1687)
第7回　L.23 (No.1688-1720)
第8回　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Introduction & L.17
Week2. L.18
Week3. L.19
Week 4. L.20
Week 5. L.21
Week 6. L.22
Week 7. L.23
Week 8. Review and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語 VA、総合日本語 VA
Japanese 5A, Comprehensive Japanese 5A

教科書 1	**書名**	留学生のための漢字教科書　上級 1000			**ISBN**	978-4-336-05355-8
	著者名	佐藤尚子、佐々木仁子	**出版社**	図書刊行会	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）上級レベル（N1 レベル）の漢字が使える。

2）上級レベルの漢字語彙が理解できる。

1）To read and write advanced Kanji (JLPT N1 level).
2）To understand vocabulary of advanced text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上
B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.
Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日　13：15～13：45（事前にメールで予約してください）
Wed.　13：15～13：45（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード

(B1033410a)日本語上級ＩＡ(文法)[Advanced Japanese 1A(Grammar)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＡ(文法)[Advanced Japanese 1A(Grammar)]				
時間割番号	B1033410a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1 レベルの文法を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to learn grammar at the level of JLPT N1.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　10/10　第 1 部　第 1 課 時間関係、第 2 課 範囲の始まり･限度
第 2 回　10/17　第 1 部　第 3 課 限定・非限定・不可、第 4 課 例示
第 3 回　10/24　第 1 部　問題(第 1 課～第 4 課)、第 5 課 関連･無関係、
第 4 回　10/31　第 1 部　第 6 課 様子、第 7 課 付随行動
第 5 回　11/07　第 1 部　第 8 課 逆接、問題(第 1 課～第 8 課)
第 6 回　11/14　第 1 部　第 9 課 条件、第 10 課 逆接条件
第 7 回　11/21　第 1 部　総復習
第 8 回　11/28　第 1 部　復習と定期試験
Level: Upper intermediate – Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1 (Oct.10) Part.1 L1. Time, L2. Start and End of a Range
Week2 (Oct.17) L3. Limit, Limitless, and Addition, L4. Illustration
Week3 (Oct.24) Review L1-L4, L5. Relevance and Irrelevance
Week4 (Oct.31) L6. State, L7. Accompanying Action
Week5 (Nov.07) L8. Contrary Connection, Review L1-L8
Week6 (Nov.14) L9. Condition, L10. Contrary Condition
Week7 (Nov.21) Part.1 Review
Week8 (Nov.28) Review and Final Exam

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
毎回小テストをします。
You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN1 文法			**ISBN**	9784883195640
	著者名	友松悦子	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル(JLPT N1 レベル)の文法がわかる。
To understand grammar of upper intermediate text (JLPT N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験80%、小テスト・課題10%、授業への貢献度10%

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点(100 点満点)により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～80.99 点
B：70～70.99 点
C：60～60.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or more
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
定期試験を実施
Examination

その他
メール連絡の時は、「件名」に「日本語上級ＩA(文法)の～です」と書いてください。(「～」にはあなたの名前)

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Advanced Japanese 1A (Grammar)" as the subject .

ウェルカムページ

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00
Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード 日本語、JLPT　N1、文法 Japanese, JLPT N1, grammar

(B1033410b)日本語上級ＩＡ(文法)[Advanced Japanese 1A(Grammar)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＡ(文法)[Advanced Japanese 1A(Grammar)]				
時間割番号	B1033410b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子 SAKAMOTO Yuko				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1 レベルの文法を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N1 level grammar.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　第 1 部　第 1 課、第 2 課
第 2 回　第 1 部　第 3 課、第 4 課
第 3 回　第 1 部　第 5 課、問題(第 1 課～第 4 課)
第 4 回　第 1 部　第 6 課、第 7 課
第 5 回　第 1 部　第 8 課、問題(第 1 課～第 8 課)
第 6 回　第 1 部　第 9 課、第 10 課
第 7 回　第 1 部　総復習
第 8 回　第 1 部　定期試験

Level: Upper intermediate – Advanced level (JLPT N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Part.1 L1, L2
Week2. Part.1 L3, L4
Week3. Part.1 L5, reviewL1-L4
Week4. Part.1 L6, L7
Week5. Part.1 L8, reviewL1-L8
Week6. Part.1 L9, L10
Week7. Part.1 Review
Week8. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN1 文法			**ISBN**	9784883195640
	著者名	友松悦子	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル(JLPT N1 レベル)の文法がわかる。

To understand grammar of upper intermediate text (JLPT N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験 90%、授業への貢献度 20%　左記の割合で評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験(90　点満点)、授業への貢献度(10　点満点)の合計点(100 点満点)で以下のように評価する。

A:80 点以上
B:65～79 点
C:55～64 点

Grading Policy:

Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A:The total score is 80 or more
B:The total score is between 65-79
C:The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験を実施
Examination

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between

humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
日本語、JLPT　N1、文法
Japanese, JLPT N1, grammar

(B1033411a)日本語上級ＩＡ(語彙)[Advanced Japanese 1A(Vocaburaly)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＡ(語彙)[Advanced Japanese 1A(Vocaburaly)]				
時間割番号	B1033411a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	石川　智嘉子 ISHIKAWA Chikako				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1 レベルの語彙を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N1 level vocabulary.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　第 1 部　第 1 章、第 1 課
第 2 回　第 1 部　第 1 章、第 2 課
第 3 回　第 1 部　第 2 章、第 1 課
第 4 回　第 1 部　第 2 章、第 2 課
第 5 回　第 1 部　第 3 章
第 6 回　第 1 部　第 4 章
第 7 回　第 1 部　第 5 章
第 8 回　第 1 部　定期試験、第 6 章

Level: Upper intermediate – Advanced level (JLPT N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Part.1 Section.1 Lesson.1
Week2. Part.1 Section.1 Lesson.2
Week3. Part.1 Section.2 Lesson.1
Week4. Part.1 Section.2 Lesson.2
Week5. Part.1 Section.3
Week6. Part.1 Section.4
Week7. Part.1 Section.5
Week8. Exam. Section.6

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN1 語彙			**ISBN**	9784883195732
	著者名	伊藤裕晃他	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル(JLPT N1 レベル)の語彙がわかる。

To understand vocabulary of upper intermediate text (JLPT N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験(90　点満点)、語彙テストの平均点(10　点満点)の合計点(100 点満点)で以下のように評価する。

学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点
B:70～79 点

C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方

自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
日本語、JLPT　N1、語彙
Japanese, JLPT N1, vocabulary

(B1033411b)日本語上級ＩＡ(語彙)[Advanced Japanese 1A(Vocaburaly)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＡ(語彙)[Advanced Japanese 1A(Vocaburaly)]				
時間割番号	B1033411b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	未定 To be assigned				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1 レベルの語彙を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N1 level vocabulary.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　第 1 部　第 1 章、第 1 課
第 2 回　第 1 部　第 1 章、第 2 課
第 3 回　第 1 部　第 2 章、第 1 課
第 4 回　第 1 部　第 2 章、第 2 課
第 5 回　第 1 部　第 3 章
第 6 回　第 1 部　第 4 章
第 7 回　第 1 部　第 5 章
第 8 回　第 1 部　定期試験、第 6 章
Level: Upper intermediate – Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Part.1 Section.1 Lesson.1
Week2. Part.1 Section.1 Lesson.2
Week3. Part.1 Section.2 Lesson.1
Week4. Part.1 Section.2 Lesson.2
Week5. Part.1 Section.3
Week6. Part.1 Section.4
Week7. Part.1 Section.5
Week8. Exam. Section.6

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN1 語彙			**ISBN**	9784883195732
	著者名	伊藤裕晃他	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル(JLPT N1 レベル)の語彙がわかる。
To understand vocabulary of upper intermediate text (JLPT N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験(90　点満点)、語彙テストの平均点(10　点満点)の合計点(100 点満点)で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点
B:70～79 点

C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方

自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
日本語、JLPT　N1、語彙
Japanese, JLPT N1, vocabulary

(B1033412a)日本語上級ⅡA(文法)[Advanced Japanese 2A(Grammar)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡA(文法)[Advanced Japanese 2A(Grammar)]				
時間割番号	B1033412a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT) N1レベルの文法を習得します。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn grammar at the level of JLPT N1.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回　04/11　イントロダクションと第1部 文の文法1 Ⅳ 文法形式の整理 A 動詞の意味に着目1
第2回　04/18　第1部 Ⅳ A・B 動詞の意味に着目1・2
第3回　04/25　第1部 Ⅳ C 古い言葉を使った言い方、D「もの・こと・ところ」を使った言い方
第4回　05/02　第1部 Ⅳ E 二つの言葉を組にする言い方、F 助詞・複合助詞
第5回　05/09　第1部 Ⅳ G 文法的性質の整理、第2部 文の文法2 1課 文の組み立て1 決まった形
第6回　05/16　第2部 2課 文の組み立て2 名詞を説明する形式、3課 文の組み立て3 接続に注意
第7回　05/23　第3部 文章の文法 1課 時制、2課 条件を表す文
第8回　06/06　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 Apr.11 Introduction and Part 1. Grammar of Sentence 1 IV. Grammatical Patterns A. Focusing on the Meaning of Verbs 1
Week 2 Apr.18 A, B. Focusing on the Meaning of Verbs 1,2
Week 3 Apr.25 C. Classical Expressions, D.Expressions using ″mono″″koto″″tokoro″
Week 4 May 02 E. Expressions using paired words, F.Particles and Compound Particles
Week 5 May 09 G. Grammatical Functions, Part 2. Grammar of Sentence 2 L1. Sentence Structure 1 Fixed Forms
Week 6 May 16 Part 2. L2. Sentence Structure 2 Forms Explaining Nouns, L3. Collocations
Week 7 May 23 Part 3. Grammar of Passage L1. Tense, L2. Condition
Week 8 Jun.06 Review and Exam

予習・復習内容

毎回復習と予習をしてください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class, and prepare for the next class.

You have a quiz every class.

関連科目

日本語上級ⅡA(語彙)、日本語上級ⅡA(読解)

Advanced Japanese 2A (Vocabulary), Advanced Japanese 2A (Reading)

教科書 1	**書名**	新完全マスター文法 N1			**ISBN**	9787883195640
	著者名	友松悦子ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2015

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1）上級レベル（N1 レベル）の文法がわかる。
2）文法の使い分けができる。

1）To understand grammar of advanced text(JLPT N1 level).
2）To differentiate similar grammars properly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
メール連絡の時は、「件名」に「日本語上級ⅡA（文法）の～です」（「～」には名前）と書いてください。
Write "I am (your name) of Advanced Japanese 2A (Grammar)" as the subject of your e-mail.

ウェルカムページ

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00

Friday 11:00～12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through

papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

留学生　日本語上級　文法　日本語能力試験 N1
International students. Advanced Japanese, Grammar, JLPT N1

(B1033412b)日本語上級ⅡA(文法)[Advanced Japanese 2A(Grammar)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡA(文法)[Advanced Japanese 2A(Grammar)]				
時間割番号	B1033412b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子 SAKAMOTO Yuko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT) N1レベルの文法を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn JLPT N1 level grammar.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　04/12　イントロダクションと第1部 文の文法1 Ⅳ 文法形式の整理 A 動詞の意味に着目1
第2回　04/19　第1部 Ⅳ A・B 動詞の意味に着目1・2
第3回　04/26　第1部 Ⅳ C 古い言葉を使った言い方、D「もの・こと・ところ」を使った言い方
第4回　05/10　第1部 Ⅳ E 二つの言葉を組にする言い方、F 助詞・複合助詞
第5回　05/17　第1部 Ⅳ G 文法的性質の整理、第2部 文の文法2 1課 文の組み立て1 決まった形
第6回　05/24　第2部 2課 文の組み立て2 名詞を説明する形式、3課 文の組み立て3 接続に注意
第7回　05/31　第3部 文章の文法 1課 時制、2課 条件を表す文
第8回　06/07　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 Apr.12 Introduction and Part 1(Grammar of Sentence 1)-IV(Grammatical Patterns)-A:Focusing on the Meaning of Verbs 1
Week 2 Apr.19 Part 1-IV-A, B: Focusing on the Meaning of Verbs 1,2
Week 3 Apr.26 Part 1-IV-C:Classical Expressions, D:Expressions using ″mono″″koto″″tokoro″
Week 4 May 10 Part 1-IV-E:Expressions using paired words, F:Particles and Compound Particles
Week 5 May 17 Part 1-IV-G:Grammatical Functions, 2(Grammar of Sentence 2)-1:Sentence Structure 1 Fixed Forms
Week 6 May 24 Part 2-2:Sentence Structure 2 Forms Explaining Nouns, 3:Collocations
Week 7 May 31 Part 3(Grammar of Passage)-1:Tense, 2:Condition
Week 8 Jun.07 Review and Exam

予習・復習内容

毎回復習と予習をしてください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class, and prepare for the next class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語上級ⅡA(語彙)、日本語上級ⅡA(読解)
Advanced Japanese 2A (Vocabulary), Advanced Japanese 2A (Reading)

教科書 1	**書名**	新完全マスター文法　N1			**ISBN**	9787883195640
	著者名	友松悦子ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2015

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）上級レベル（N1 レベル）の文法がわかる。
2）文法の使い分けができる。

1）To understand grammar of advanced text(JLPT N1 level).
2）To differentiate similar grammars properly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

メール連絡の時は、「件名」に「日本語上級（文法）の～です」（「～」には名前）と書いてください。
Write "I am (your name) of Advanced Japanese (Grammar)" as the subject of your e-mail.

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜　11:00～12:00

Friday 11:00～12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
留学生　日本語上級　文法　日本語能力試験 N1
International students. Advanced Japanese, Grammar, JLPT N1

(B1033413a)日本語上級ⅡA(語彙)[Advanced Japanese 2A(Vocaburaly)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡA(語彙)[Advanced Japanese 2A(Vocaburaly)]				
時間割番号	B1033413a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_LIB34020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの語彙を習得します。
This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to learn JLPT N1 level vocabulary.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　イントロダクション
第2回　第2部　1章1課
第3回　第2部　1章2課
第4回　第2部　2章1課
第5回　第2部　2章2課
第6回　第2部　3章1課
第7回　第2部　3章2課
第8回　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Introduction
Week2. Part.2-1-1
Week3. Part.2-1-2
Week 4. Part.2-2-1
Week 5. Part.2-2-2
Week 6. Part.2-3-1
Week 7. Part.2-3-2
Week 8. Review and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語上級ⅡA(文法)、日本語上級ⅡA(読解)
Advanced Japanese2A(Grammar)、Advanced Japanese 2A(Reading)

教科書 1	**書名**	新完全マスター語彙　N1			**ISBN**	9784883195732
	著者名	伊能裕晃ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)上級レベル(N1 レベル)の語彙がわかる。
2)語彙の使い分けができる。

1）To understand vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To use synonyms properly.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。
Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.
Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日　13：45～14：15（事前にメールで予約してください）

Wed.　13：45～14：15（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード

(B10334140)日本語ⅣA[Japanese 4A]

科目名[英文名]	日本語ⅣA[Japanese 4A]				
時間割番号	B10334140	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	金 1～1,金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子, 吉村　弓子 SAKAMOTO Yuko, YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FOR14020				

授業の目標

留学生対象の授業です。中上級レベルの総合的な日本語力を身に付けます。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean lower advanced level Japanese.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　L1-1
第 2 回　L1-2
第 3 回　L1-3
第 4 回　L2-1
第 5 回　L2-2
第 6 回　L2-3
第 7 回　L3-1
第 8 回　L3-2
第 9 回　L3-3
第 10 回　L4-1
第 11 回　L4-2
第 12 回　L4-3
第 13 回　L5-1
第 14 回　L5-2
第 15 回　復習
第 16 回　定期試験
Level: Lower advanced level(JLPT N2-N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

1. L1-1
2. L1-2
3. L1-3
4. L2-1
5. L2-2
6. L2-3
7. L3-1
8. L3-2
9. L3-3
10. L4-1
11. L4-2
12. L4-3
13. L5-1
14. L5-2
15. Review
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。

You need to review what you have learned after every class.
Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.

関連科目

教科書 1	**書名**	新中級から上級への日本語　本冊			**ISBN**	9784789014625
	著者名	鎌田修他	**出版社**	The Japan Times	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
中上級レベル（JLPT N2-N1 レベル）の日本語がわかる。

To understand lower advanced text(JLPT N2-N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90 点満点）、授業への貢献度（10 点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering

(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

中上級日本語　日本語能力試験　N2 N1
Lower advanced Japanese JLPT N2 N1

(B1033418a)総合日本語ＶA[Comprehensive Japanese 5A]

科目名[英文名]	総合日本語ＶA[Comprehensive Japanese 5A]				
時間割番号	B1033418a	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 3～3,火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本 裕子 SAKAMOTO Yuko				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの文法を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N2 level grammar.

授業の内容

中級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 第 1 部 第 1 課、第 2 課
第 2 回 第 1 部 第 3 課、第 4 課
第 3 回 第 1 部 第 5 課、問題（第 1 課～第 5 課）
第 4 回 第 1 部 第 6 課、第 7 課
第 5 回 第 1 部 第 8 課、第 9 課
第 6 回 第 1 部 第 10 課、問題（第 1 課～第 10 課）
第 7 回 第 1 部 第 11 課、第 12 課
第 8 回 第 1 部 第 13 課、第 14 課
第 9 回 第 1 部 第 15 課、問題（第 1 課～第 15 課）
第 10 回 第 1 部 第 16 課、第 17 課
第 11 回 第 1 部 第 18 課、第 19 課
第 12 回 第 1 部 第 20 課、問題（第 1 課～第 20 課）
第 13 回 第 1 部 第 21 課、第 22 課
第 14 回 第 1 部 第 23 課、第 24 課
第 15 回 復習と定期試験
Level: Intermediate level(JLPT N2 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

1. Part.1 L1,L2
2. Part.1 L3,L4
3. Part.1 L5,reviewL1-L5
4. Part.1 L6,L7
5. Part.1 L8,L9
6. Part.1 L10,reviewL1-L10
7. Part.1 L11,L12
8. Part.1 L13,L14
9. Part.1 L15,reviewL1-L15
10. Part.1 L16,L17
11. Part.1 L18,L19
12. Part.1 L20,reviewL1-L20
13. Part.1 L21,L22
14. Part.1 L23,L24
15. Review and Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	書名	新完全マスターN2 文法			ISBN	9784883195657
	著者名	友松悦子他	出版社	スリーエーネットワーク	出版年	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
中級レベル(JLPT N2 レベル)の文法がわかる。

To understand grammar of intermediate text(JLPT N2 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法:定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験(90　点満点)、授業への貢献度(10　点満点)の合計点(100 点満点)で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S:90 点以上
A:80～89 点
B:70～79 点
C:60～69 点

学部 4 年生
A:80 点以上
B:65～79 点
C:55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

キーワード
中級日本語　日本語能力試験　N2
intermediate Japanese JLPT N2

(B1033418b)総合日本語ＶA[Comprehensive Japanese 5A]

科目名[英文名]	総合日本語ＶA[Comprehensive Japanese 5A]				
時間割番号	B1033418b	**区分**	外国語科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 3～3,火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子 SAKAMOTO Yuko				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの文法を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N2 level grammar.

授業の内容

中級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　第 1 部　第 1 課、第 2 課
第 2 回　第 1 部　第 3 課、第 4 課
第 3 回　第 1 部　第 5 課、問題（第 1 課～第 5 課）
第 4 回　第 1 部　第 6 課、第 7 課
第 5 回　第 1 部　第 8 課、第 9 課
第 6 回　第 1 部　第 10 課、問題（第 1 課～第 10 課）
第 7 回　第 1 部　第 11 課、第 12 課
第 8 回　第 1 部　第 13 課、第 14 課
第 9 回　第 1 部　第 15 課、問題（第 1 課～第 15 課）
第 10 回　第 1 部　第 16 課、第 17 課
第 11 回　第 1 部　第 18 課、第 19 課
第 12 回　第 1 部　第 20 課、問題（第 1 課～第 20 課）
第 13 回　第 1 部　第 21 課、第 22 課
第 14 回　第 1 部　第 23 課、第 24 課
第 15 回　復習
第 16 回　定期試験
Level: Intermediate level(JLPT N2 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

1. Part.1 L1,L2
2. Part.1 L3,L4
3. Part.1 L5,reviewL1-L5
4. Part.1 L6,L7
5. Part.1 L8,L9
6. Part.1 L10,reviewL1-L10
7. Part.1 L11,L12
8. Part.1 L13,L14
9. Part.1 L15,reviewL1-L15
10. Part.1 L16,L17
11. Part.1 L18,L19
12. Part.1 L20,reviewL1-L20
13. Part.1 L21,L22
14. Part.1 L23,L24
15. Review
16. Exam

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスターN2 文法			**ISBN**	9784883195657
	著者名	友松悦子他	**出版社**	スリーエーネ	**出版年**	2011

				ットワーク		

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
中級レベル（JLPT N2 レベル）の文法がわかる。

To understand grammar of intermediate text(JLPT N2 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
中級日本語　日本語能力試験　N2
intermediate Japanese JLPT N2

(B1041501a)生命科学[Life Science and Chemistry]

科目名[英文名]	生命科学[Life Science and Chemistry]				
時間割番号	B1041501a	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2, B3
担当教員[ローマ字表記]	浴　俊彦, 田中　照通, 吉田　祥子, 沼野　利佳 EKI Toshihiko, TANAKA Terumichi, YOSHIDA Sachiko, NUMANO Rika				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

地球環境は生命と地球の共進化の歴史の中で形成され、現在の生物多様性の構築と人類の繁栄に至っている。しかしながら、人間の科学技術の行使と生産活動が地球環境問題を引き起こしている現在、理工系学生の必須知識として生命史を踏まえた生命科学を学ぶ必要がある。

本授業では、高専、高校で生物学および関連教科を体系的に学んでいない理工系学生に、生命と技術のインターフェースのあり方を考えさせる目的で生命科学の基本的知識を説明し、領域横断的な発想と最新の探査について講義する。また、講義を通じて、工学分野において生命を学ぶ意義を理解し、幅広い人間性と柔軟な考え方を養う。

The co-evolution of life and the environment of the earth has led to the current status of biodiversity and ecosystems. However, global environmental issues and climate changes caused by modern industrial technology advances exert severe effects on human life and activities as well as on biodiversity. Towards addressing these important issues, students will acquire basic knowledge of life science and global biodiversity and understand the significance of learning this subject in the field of engineering.

授業の内容

複数の教員が以下の内容・順序で講義を行う。

1週目　イントロダクション（浴　俊彦）

2週目　生命の基本構造（沼野利佳）

　水が生命を生んだ／不安定なタンパク質、安定な DNA／エネルギーを作る分子たち

3週目　生体エネルギーと代謝（沼野利佳）

　酵素は生物触媒である／生体内の化学反応は電子の授受で行われる

　／エネルギー分子 ATP／光合成と呼吸

4週目　分子からみた遺伝情報～生物の設計図～（浴 俊彦）

　DNA～遺伝情報をコードする分子～／複製～遺伝情報をコピーするしくみ～／転写～遺伝情報を読み出すしくみ～／翻訳～遺伝情報を使うしくみ～／DNA 修復と突然変異～遺伝情報の維持と変化～

5週目　分子からみた発生～生物の体ができあがるまで～（浴 俊彦）

　細胞と組織（1）～動物の体は細胞からできている～／細胞と組織（2）～細胞の増殖、分化、相互作用と死～／生殖のしくみ～遺伝情報は両親からやってくる～／動物の体づくり（1）～組織は誘導によって作られる～／動物の体づくり（2）～動物の体は繰り返し構造から作られる～

6週目　分子からみた情報伝達（吉田祥子）

　神経細胞は「生体電池」である／化学物質が情報を伝える

　／情報を受け取る分子／生き物にも DRAM と ROM がある／情報伝達は「かたち」と「時間」で決まる

7週目　生命工学（田中照通）

　クローニングベクター／ゲノムライブラリー／PCR の発展と応用

　／トランスジェニック生物と遺伝子治療／ES 細胞から iPS 細胞へ

8週目　生物の進化（吉田祥子）

　生命の起源／生体分子開発の歴史／生命と地球の共進化／キメラ生物の誕生

　／製造中止になった生物たちとヒトの誕生

1. Introduction to life science (T. Eki)
2. Basic structure and biochemistry of life (R. Numano)
3. Metabolism and bioenergetics (R. Numano)
4. Molecular biology and genetic information (T. Eki)
5. Molecular and developmental biology (T. Eki)
6. Neuroscience and neurotransmission (S. Yoshida)
7. Biotechnology and genetic engineering (T. Tanaka)
8. Evolution and biodiversity (S. Yoshida)

予習・復習内容

授業は指定の教科書を使って進め、また適宜参考資料を配布するので、これらを熟読し、予習、復習に努めること。

Students will have lessons based on information from the following textbook. Preview and review of the book are strongly encouraged. Handout will be given if needed.

関連科目

あらかじめ要求される基礎知識の範囲：特になし。

関連科目：生物学、分子生物学、遺伝子工学、生命化学 I、生命化学 II、環境科学

Related subjects：Biology, Molecular Biology, Genetic Engineering, Bioenergetics, Applied Microbiology, Environmental Science

教科書 1	書名	理工系学生のための生命科学・環境科学			ISBN	978-4-8079-0757-1
	著者名	榊佳之，平石明	出版社	東京化学同人	出版年	2011

教科書に関する補足事項

教科書を使用すると同時に適宜参考資料を配布する。

参考書に関する補足事項

達成目標

生命の生い立ちと進化、生命を構成する基本分子、基本的な化学反応、基本的な法則を理解し、自然と人間のインターフェースを考慮した将来の技術開発の基本となる知識を身につけること。工学分野において生命を学ぶ意義を理解すること。

To understand the origin and evolution of life and basic structure and function of biosystems.
To accumulate scientific knowledge regarding human-nature interface and harmonious coexistence.
To understand the significance of learning life science in engineering.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

［評価法］講義中または Web で提出する演習・レポート課題を 100%として成績評価する。
［評価基準］原則的にすべての講義に出席した者につき、下記の基準により評価する。

S：達成目標をすべて達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を半分以上達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Evaluation will be based on exercise and short tests every class. Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Achieved all goals and obtained points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65% of goals and obtained points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved over 50% of goal and obtained points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

担当教員と連絡先：
浴 俊彦（G-505、Ex. 6907）e-mail: eki@ens.tut.ac.jp
沼野　利佳（G-407、Ex. 6902）e-mail: numano@ens.tut.ac.jp
吉田 祥子（B-406、Ex. 6802）e-mail: syoshida@ens.tut.ac.jp
田中 照通（G-506, Ex. 6920）e-mail: terumichi-tanaka@tut.jp
Correspondence to:
Toshihiko Eki（G-505, Ex. 6907）e-mail: eki@ens.tut.ac.jp
Rika Numano（G-407, Ex. 6902）e-mail: numano@ens.tut.ac.jp
Sachiko Yoshida（B-406, Ex. 6802）e-mail: syoshida@ens.tut.ac.jp
Terumichi Tanaka（G-506, Ex. 6920）e-mail: tanakat@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

https://lms.imc.tut.ac.jp
https://lms.imc.tut.ac.jp

オフィスアワー

あらかじめ連絡の上来訪のこと。また随時電子メールで対応します。
Make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.

キーワード
DNA、RNA、タンパク質、水素結合、ATP、複製・転写・翻訳、誘導、受容体、遺伝子組換え、進化、生物多様性
DNA, RNA, protein, ATP, replication, transcription, translation, development, signal transduction, receptor, genetic engineering, evolution, biodiversity

(B1041501b)生命科学[Life Science and Chemistry]

科目名[英文名]	生命科学[Life Science and Chemistry]				
時間割番号	B1041501b	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2, B3
担当教員[ローマ字表記]	浴　俊彦, 田中　照通, 吉田　祥子, 沼野　利佳 EKI Toshihiko, TANAKA Terumichi, YOSHIDA Sachiko, NUMANO Rika				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

地球環境は生命と地球の共進化の歴史の中で形成され、現在の生物多様性の構築と人類の繁栄に至っている。しかしながら、人間の科学技術の行使と生産活動が地球環境問題を引き起こしている現在、理工系学生の必須知識として生命史を踏まえた生命科学を学ぶ必要がある。

本授業では、高専、高校で生物学および関連教科を体系的に学んでいない理工系学生に、生命と技術のインターフェースのあり方を考えさせる目的で生命科学の基本的知識を説明し、領域横断的な発想と最新の探査について講義する。また、講義を通じて、工学分野において生命を学ぶ意義を理解し、幅広い人間性と柔軟な考え方を養う。

The co-evolution of life and the environment of the earth has led to the current status of biodiversity and ecosystems. However, global environmental issues and climate changes caused by modern industrial technology advances exert severe effects on human life and activities as well as on biodiversity. Towards addressing these important issues, students will acquire basic knowledge of life science and global biodiversity and understand the significance of learning this subject in the field of engineering.

授業の内容

複数の教員が以下の内容・順序で講義を行う。

1週目　イントロダクション（浴　俊彦）

2週目　生命の基本構造（沼野利佳）

　水が生命を生んだ／不安定なタンパク質、安定な DNA／エネルギーを作る分子たち

3週目　生体エネルギーと代謝（沼野利佳）

　酵素は生物触媒である／生体内の化学反応は電子の授受で行われる

　／エネルギー分子 ATP／光合成と呼吸

4週目　分子からみた遺伝情報～生物の設計図～（浴 俊彦）

　DNA～遺伝情報をコードする分子～／複製～遺伝情報をコピーするしくみ～／転写～遺伝情報を読み出すしくみ～／翻訳～遺伝情報を使うしくみ～／DNA 修復と突然変異～遺伝情報の維持と変化～

5週目　分子からみた発生～生物の体ができあがるまで～（浴 俊彦）

　細胞と組織（1）～動物の体は細胞からできている～／細胞と組織（2）～細胞の増殖、分化、相互作用と死～／生殖のしくみ～遺伝情報は両親からやってくる～／動物の体づくり（1）～組織は誘導によって作られる～／動物の体づくり（2）～動物の体は繰り返し構造から作られる～

6週目　分子からみた情報伝達（吉田祥子）

　神経細胞は「生体電池」である／化学物質が情報を伝える

　／情報を受け取る分子／生き物にも DRAM と ROM がある／情報伝達は「かたち」と「時間」で決まる

7週目　生命工学（田中照通）

　クローニングベクター／ゲノムライブラリー／PCR の発展と応用

　／トランスジェニック生物と遺伝子治療／ES 細胞から iPS 細胞へ

8週目　生物の進化（吉田祥子）

　生命の起源／生体分子開発の歴史／生命と地球の共進化／キメラ生物の誕生

　／製造中止になった生物たちとヒトの誕生

1. Introduction to life science (T. Eki)
2. Basic structure and biochemistry of life (R. Numano)
3. Metabolism and bioenergetics (R. Numano)
4. Molecular biology and genetic information (T. Eki)
5. Molecular and developmental biology (T. Eki)
6. Neuroscience and neurotransmission (S. Yoshida)
7. Biotechnology and genetic engineering (T. Tanaka)
8. Evolution and biodiversity (S. Yoshida)

予習・復習内容

授業は指定の教科書を使って進め、また適宜参考資料を配布するので、これらを熟読し、予習、復習に努めること。

Students will have lessons based on information from the following textbook. Preview and review of the book are strongly encouraged. Handout will be given if needed.

関連科目

あらかじめ要求される基礎知識の範囲：特になし。

関連科目：生物学、分子生物学、遺伝子工学、生命化学 I、生命化学 II、環境科学
Related subjects：Biology, Molecular Biology, Genetic Engineering, Bioenergetics, Applied Microbiology, Environmental Science

教科書 1	書名	理工系学生のための生命科学・環境科学			ISBN	978-4-8079-0757-1
	著者名	榊佳之，平石明	出版社	東京化学同人	出版年	2011

教科書に関する補足事項
教科書を使用すると同時に適宜参考資料を配布する。
Use textbook and supplements.

参考書に関する補足事項

達成目標
生命の生い立ちと進化、生命を構成する基本分子、基本的な化学反応、基本的な法則を理解し、自然と人間のインターフェースを考慮した将来の技術開発の基本となる知識を身につけること。工学分野において生命を学ぶ意義を理解すること。
To understand the origin and evolution of life and basic structure and function of biosystems.
To accumulate scientific knowledge regarding human-nature interface and harmonious coexistence.
To understand the significance of learning life science in engineering.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
［評価法］講義中または Web で提出する演習・レポート課題を 100%として成績評価する。
［評価基準］原則的にすべての講義に出席した者につき、下記の基準により評価する。

S：達成目標をすべて達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を半分以上達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Evaluation will be based on exercise and short tests every class. Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Achieved all goals and obtained points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65% of goals and obtained points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved over 50% of goal and obtained points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
担当教員と連絡先：
浴 俊彦（G-505、Ex. 6907）e-mail: eki@ens.tut.ac.jp
沼野　利佳（G-407、Ex. 6902）e-mail: numano@ens.tut.ac.jp
吉田 祥子（B-406、Ex. 6802）e-mail: syoshida@ens.tut.ac.jp
田中 照通（G-506, Ex. 6920）e-mail: terumichi-tanaka@tut.jp
Correspondence to:
Toshihiko Eki（G-505, Ex. 6907）e-mail: eki@ens.tut.ac.jp
Rika Numano（G-407, Ex. 6902）e-mail: numano@ens.tut.ac.jp
Sachiko Yoshida（B-406, Ex. 6802）e-mail: syoshida@ens.tut.ac.jp
Terumichi Tanaka（G-506, Ex. 6920）e-mail: tanakat@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ
https://lms.imc.tut.ac.jp
https://lms.imc.tut.ac.jp

オフィスアワー
あらかじめ連絡の上来訪のこと。また随時電子メールで対応します。
Make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(C)【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード

DNA、RNA、タンパク質、水素結合、ATP、複製・転写・翻訳、誘導、受容体、遺伝子組換え、進化、生物多様性
DNA, RNA, protein, ATP, replication, transcription, translation, development, signal transduction, receptor, genetic engineering, evolution, biodiversity

(B1041502a)環境科学[Environmental Science]

科目名[英文名]	環境科学[Environmental Science]				
時間割番号	B1041502a	区分	学術素養科目	選択必須	必修
開講学期	前期2	曜日時限	月 1～1	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程			開講年次	B2, B3
担当教員[ローマ字表記]	各教員 KAKUKYOUIN Kakukyouin				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

現在、工学を学ぶ者すべてに求められていることは社会構造の変化つまり持続発展社会に対応した技術力である。そのための第1歩として、環境問題の本質を理解し、解決するための足掛かりとしての「環境科学」を理解することを目標とする。

What is requested for students in faculty of engineering is technology corresponding to sustainable society. As first step, students should understand essence of environmental problems, then they should also understand this Environmental Science for solution.

授業の内容

1 バイオスフィアと生物多様性 （山田）
2 環境メディアとしての大気 （東海林）
3 環境メディアとしての水 （井上）
4 環境メディアとしての土 （山内）
5 環境汚染と化学物質 （横田）
6 公害問題から環境問題へ （山田）
7 環境とエネルギー、地球環境と持続社会（滝川）
（順序は変わることがあります。）
8 復習(45 分)・定期試験(45 分)

1 Biosphere and biodiversity (Yamada)
2 Atmosphere as environmental media (Tokairin)
3 Hydrosphere as environmental media (Inoue)
4 Geosphere as environmental media (Yamauchi)
5 Environmental pollution and chemical compound (Yokota)
6 History of environmental problems
7 Environmental and energy, Global environment and sustainable society (Takikawa)
8 Review(45 min)・examination(45min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容について教科書を参考に予習してくること。
Before class, read the textbook.
After class, review the content.

関連科目

教科書 1	書名	理工系学生のための生命科学・環境科学			ISBN	
	著者名	榊佳之, 平石明	出版社	東京化学同人	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

環境と生命の関係・歴史を理解する
環境メディアとしての大気、水、土壌やそのメディアによって輸送される化学物質を理解する
過去の公害問題から現代の環境問題への変遷を知る。
環境とエネルギーの関係を理解し、その解決のための糸口を探る力を身につける。

Understand relationship between environment and life and history of that
Understand environmental media such as atmosphere, hydrosphere and geosphere and chemical compounds which is transported by the media.
Know transition from past environmental pollution to present environmental problems
Understand relationship between environment and energy, and get ability to explore the countermeasure

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

講義ごとの小テストを 50%、期末試験の点数を 50%とし評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B1～3, M1
S：小テスト・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：小テスト・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：小テスト・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：小テスト・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2
A：小テスト・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：小テスト・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：小テスト・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Quiz in every class 50%、term end examination 50%
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1～3, M1
S: Total points obtained from exams and quiz, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and quiz, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and quiz, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and quiz, 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2
A: Total points obtained from exams and quiz, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and quiz, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and quiz, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
東海林孝幸　研究室：G-405　内線：6911　Eメール：tokairin@ens.tut.ac.jp
井上隆信　研究室：D-811　内線：6852　Eメール：inoue@tutrp.tut.ac.jp
横田久里子　研究室：D-810　内線：6851　Eメール：yokota@ace.tut.ac.jp
山田剛史　研究室：G-507　内線：6906　Eメール：tyamada@ens.tut.ac.jp
滝川浩史　研究室：C-311　内線：6727　Eメール：takikawa@ee.tut.ac.jp
Takayuki TOKAIRIN　Room：G-405　Ex：6911　E-mail：tokairin@ens.tut.ac.jp
Takanobu INOUE　Room：D-811　Ex：6852　E-mail：inoue@tutrp.tut.ac.jp
Kuriko YOKOTA　Room：D-810　Ex：6851　E-mail：yokota@ace.tut.ac.jp
Tsuyoshi YAMADA　Room：G-508　Ex：6794　E-mail：tyamada@ens.tut.ac.jp
Hirofumi TAKIKAWA　Room：C-311　Ex：6727　E-mail：takikawa@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ
https://webct.edu.tut.ac.jp/webct/public/home.pl

https://webct.edu.tut.ac.jp/webct/public/home.pl

オフィスアワー
適宜メールにて受け付けます。
Accept by e-mail

学習・教育到達目標との対応

キーワード
環境

environment

(B1041502b)環境科学[Environmental Science]

科目名[英文名]	環境科学[Environmental Science]				
時間割番号	B1041502b	区分	学術素養科目	選択必須	必修
開講学期	前期2	曜日時限	火 1～1	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	情報・知能工学課程，環境・生命工学課程，建築・都市システム学課程			開講年次	B2, B3
担当教員[ローマ字表記]	各教員 KAKUKYOUIN Kakukyouin				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

現在、工学を学ぶ者すべてに求められていることは社会構造の変化つまり持続発展社会に対応した技術力である。そのための第1歩として、環境問題の本質を理解し、解決するための足掛かりとしての「環境科学」を理解することを目標とする。

What is requested for students in faculty of engineering is technology corresponding to sustainable society. As first step, students should understand essence of environmental problems, then they should also understand this Environmental Science for solution.

授業の内容

1　バイオスフィアと生物多様性　　（山田）
2　環境メディアとしての大気　　（東海林）
3　環境メディアとしての水　　（井上）
4　環境メディアとしての土　　（山内）
5　環境汚染と化学物質　　（横田）
6　公害問題から環境問題へ　　（山田）
7　環境とエネルギー、地球環境と持続社会（滝川・後藤）
（順序は変わることがあります。）
8　復習(45 分)・定期試験(45 分)

1　Biosphere and biodiversity (Yamda　)
2　Atmosphere as environmental media (Tokairin)
3　Hydrosphere as environmental media　(Inoue)
4　Geosphere as environmental media (Yamauchi)
5　Environmental pollution and chemical compound (Yokota)
6　History of environmental problems
7　Environmental and energy, Global environment and sustainable society (Takikawa)
8　Review(45 min)・examination(45min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について教科書を参考に予習してくること。
Before class, read the textbook.
After class, review the content.

関連科目

教科書 1	書名	理工系学生のための生命科学・環境科学		ISBN	
	著者名	榊佳之，平石明	出版社	東京化学同人	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

環境と生命の関係・歴史を理解する
環境メディアとしての大気、水、土壌やそのメディアによって輸送される化学物質を理解する
過去の公害問題から現代の環境問題への変遷を知る。
環境とエネルギーの関係を理解し、その解決のための糸口を探る力を身につける。

Understand relationship between environment and life and history of that
Understand environmental media such as atmosphere, hydrosphere and geosphere and chemical compounds which is transported by the media.
Know transition from past environmental pollution to present environmental problems
Understand relationship between environment and energy, and get ability to explore the countermeasure

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

講義ごとの小テストを 50%、期末試験の点数を 50%とし評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B1～3, M1
S:小テスト・期末テストの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:小テスト・期末テストの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:小テスト・期末テストの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:小テスト・期末テストの合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2
A:小テスト・期末テストの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:小テスト・期末テストの合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:小テスト・期末テストの合計点が 55 点(100 点満点)以上
Quiz in every class 50%、term end examination 50%
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1～3, M1
S: Total points obtained from exams and quiz, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and quiz, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and quiz, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and quiz, 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2
A: Total points obtained from exams and quiz, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and quiz, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and quiz, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

東海林孝幸　研究室:G-405　内線:6911　Eメール:tokairin@ens.tut.ac.jp
井上隆信　研究室:D-811　内線:6852　Eメール:inoue@tutrp.tut.ac.jp
横田久里子　研究室:D-810　内線:6851　Eメール:yokota@ace.tut.ac.jp
山田剛史　研究室:G-507　内線:6706　Eメール:tyamada@ens.tut.ac.jp
滝川浩史　研究室:C-311　内線:6727　Eメール:takikawa@ee.tut.ac.jp
Takayuki TOKAIRIN　Room:G-405　Ex:6911　E-mail:tokairin@ens.tut.ac.jp
Takanobu INOUE　Room:D-811　Ex:6852　E-mail:inoue@tutrp.tut.ac.jp
Kuriko YOKOTA　Room:D-810　Ex:6851　E-mail:yokota@ace.tut.ac.jp
Tsuyoshi YAMADA　Room:G-508　Ex:6794　E-mail:tyamada@ens.tut.ac.jp
Hirofumi TAKIKAWA　Room:C-311　Ex:6727　E-mail:takikawa@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

https://webct.edu.tut.ac.jp/webct/public/home.pl

https://webct.edu.tut.ac.jp/webct/public/home.pl

オフィスアワー

適宜メールにて受け付けます。
Accept by e-mail

学習・教育到達目標との対応

キーワード

環境
environment

(B1042503a)技術者倫理[Ethics for Engineers]

科目名[英文名]	技術者倫理[Ethics for Engineers]				
時間割番号	B1042503a	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	火 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	比屋根　均 HIYAGON Hitoshi				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

社会人や技術者には、これまでの学生生活とは異なる緊張感が要求されます。技術者になると様々な人間関係や組織の中で活動し、またモノを通じて人々や社会と繋がっていくことになります。そういう中で信用され信頼されなければ、社会人・技術者・研究者としても良い仕事などできません。
技術者はこれまで多くの問題を解決し社会を発展させてきましたが、その一方で多くの失敗、事故や倫理的な不祥事を起こしてきたのも事実です。本講義では、そうした失敗事例について考え、技術者として倫理的に行動する力を醸成していきます。
また、技術者・社会人の準備教育として、講義時間中に考える態度を重視します。
The full-fledged citizen, such as a person of occupation, an engineer, takes the responsibility much heavier than a student. An engineer works in various human relations and organizations, and he or she is connected to people and the society through 'things.' You must come to be trusted, otherwise you cannot do good works as a full-fledged citizen.
The engineers are developing society, through solving engineering problems. On the other hand, it is a fact that they had much failure, accidents and ethical disgraceful affairs. A purpose of this subject is to develop ability to act as an engineer ethically through considering such failure examples.
Therefore I'll make you thinking all over the lecture time.

授業の内容

第1回　ガイダンス
第2回　よりよい試行錯誤
第3回　科学・技術の中の知識
第4回　技術知の戦略
第5回　技術者倫理の目的／説得
第6回　誠実な仕事
第7回　義務と同意・説明責任
第8回　まとめ・定期試験
1st. Guidance.
2nd. Better trials and errors.
3rd. Knowledges in science and engineering.
4th. An intellectual strategy of engineering.
5th. The purpose of engineering ethics. And Persuasion.
6th. Faithful work.
7th. Duty, Agreement, and Accountability.
8th. Summary and The examination.

予習・復習内容

第1回の予習として、教科書冒頭の「推薦文」と「はじめに」を読んでおいてください。
各回の復習として、習った範囲の教科書を読み直し、Qを自分なりにもう一度考えてみてください。
また、講義時数の関係で教科書の全てを講義できません。講義しないところも社会人・研究者・技術者になる上で大切ですので、自習を心がけてください。第2回～8回の予習については、前回講師からの指示に従ってください。
Self Preparation for the 1st. , Read "推薦文(A blurb)" and "はじめに(Preface)" of the textbook.
After every time, read over the part of the textbook again, and think about the Questions once again.
In addition, remember that I cannot lecture in all of textbooks, and I wish you learn all of the textbook. Because it is useful to become a full-fledged citizen like an engineer, a researcher and a developer.
Self Preparation for from the 2nd. to 8th., follow each lecturer.

関連科目

技術科学哲学

Philosophy of Science and Technology

教科書 1	**書名**	技術の営みの教養基礎　技術の知と倫理			**ISBN**	978-4-8446-0793-9
	著者名	比屋根　均	**出版社**	理工図書	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

教科書を補足する講義用の資料を配布する。

Documents will be distributed.

参考書 1	**書名**	技術者倫理　日本の事例と考察－問題点と判断基準を探る			**ISBN**	978-4621085127
	著者名	田岡直規・水野朝夫・橋本義平編・日本技術士会登録技術者倫理研究会監修	**出版社**	丸善	**出版年**	2012
参考書 2	**書名**	技術者の倫理入門：大学講義			**ISBN**	978-4621300169
	著者名	杉本泰治 著；高城重厚 著,	**出版社**	丸善出版	**出版年**	2016
参考書 3	**書名**	誇り高い技術者になろう　第二版			**ISBN**	978-4-8158-0706-1
	著者名	黒田光太郎・戸田山和久・伊勢田哲治	**出版社**	名古屋大学出版会	**出版年**	2012

参考書に関する補足事項

参考書 4 書名「技術者倫理」著者名：札野順　出版社：放送大学　ISBN：978-4-595-30931-1
出版年：2009
参考書 5 書名「環境と科学技術者の倫理」著者名：P.A.Vesilind・A.S.Gunn, 日本技術士会環境部会訳編　出版社：丸善
ISBN：4-621-04779-5　出版年：2000

参考書 4 書名「技術者倫理」著者名：札野順　出版社：放送大学　ISBN：978-4-595-30931-1
出版年：2009
参考書 5 書名「環境と科学技術者の倫理」著者名：P.A.Vesilind・A.S.Gunn, 日本技術士会環境部会訳編　出版社：丸善
ISBN：4-621-04779-5　出版年：2000

達成目標

1)学生生活と技術者との主な違いや、技術者の遣り甲斐や責任について理解する。
2)技術者として直面する様々な問題について解決策を考える模擬体験をする。
3)他人の意見を聞き理解し、自分の意見を纏められる。
1)Understand the difference between students and an engineers, in their life, worth doing, and responsibility.
2)Have some simulation experience solving various problems that an engineer would be faced.
3)Able to understand the opinion of another person, and able to form your opinion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

各講義内（第１～７回）で提出する小レポート：28%、課題レポート：30%、最終試験：42%　左記の割合で総合的に評価する。
評価基準：下記のように成績を評価する。
B1～3, M1,D1
S：総合評価が 90 点（100 点満点）以上
A：総合評価が 80 点（100 点満点）以上
B：総合評価が 70 点（100 点満点）以上
C：総合評価が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A：総合評価が 80 点（100 点満点）以上
B：総合評価が 65 点（100 点満点）以上
C：総合評価が 55 点（100 点満点）以上
A small report to submit in each lecture：28%, A report：30%, Examination：42%.

Students will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

教科書「技術の知と倫理」のみ持ち込み可とする。
14 問出題。五者択一式（5つの選択肢から問題文に該当する選択肢を1つを選ぶ）
You can bring only textbook 1;"技術の営みの教養基礎　技術の知と倫理" into the examination room.
The test consists of 14 questions. And every question demands you to choose one among five sentences.

その他

居室：B 棟2階非常勤講師室。
E メール：hh009（at）edu.imc.tut.ac.jp or roofrate3-tut（at）@yahoo.co.jp
Room：B Build. 2F Room of part-time teachers
Email：hh009（at）edu.imc.tut.ac.jp or roofrate3-tut（at）yahoo.co.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業時間の前後、講義室にて
In front and back of the class, at the lecture room.

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.

キーワード

社会人、倫理、技術論
citizen、ethic、philosophy of technology

(B1042503b)技術者倫理[Ethics for Engineers]

科目名[英文名]	技術者倫理[Ethics for Engineers]				
時間割番号	B1042503b	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期2	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	比屋根　均 HIYAGON Hitoshi				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

社会人や技術者には、これまでの学生生活とは異なる緊張感が要求されます。技術者になると様々な人間関係や組織の中で活動し、またモノを通じて人々や社会と繋がっていくことになります。そういう中で信用され信頼されなければ、社会人・技術者・研究者としても良い仕事などできません。
技術者はこれまで多くの問題を解決し社会を発展させてきましたが、その一方で多くの失敗、事故や倫理的な不祥事を起こしてきたのも事実です。本講義では、そうした失敗事例について考え、技術者として倫理的に行動する力を醸成していきます。
また、技術者・社会人の準備教育として、講義時間中に考える態度を重視します。
The full-fledged citizen, such as a person of occupation, an engineer, takes the responsibility much heavier than a student. An engineer works in various human relations and organizations, and he or she is connected to people and the society through 'things.' You must come to be trusted, otherwise you cannot do good works as a full-fledged citizen.
The engineers are developing society, through solving engineering problems. On the other hand, it is a fact that they had much failure, accidents and ethical disgraceful affairs. A purpose of this subject is to develop ability to act as an engineer ethically through considering such failure examples.
Therefore I'll make you thinking all over the lecture time.

授業の内容

第1回　ガイダンス
第2回　よりよい試行錯誤
第3回　科学・技術の中の知識
第4回　技術知の戦略
第5回　技術者倫理の目的／説得
第6回　誠実な仕事
第7回　義務と同意・説明責任
第8回　まとめ・定期試験
1st. Guidance.
2nd. Better trials and errors.
3rd. Knowledges in science and engineering.
4th. An intellectual strategy of engineering.
5th. The purpose of engineering ethics. And Persuasion.
6th. Faithful work.
7th. Duty, Agreement, and Accountability.
8th. Summary and The examination.

予習・復習内容

第1回の予習として、教科書冒頭の「推薦文」と「はじめに」を読んでおいてください。
各回の復習として、習った範囲の教科書を読み直し、Qを自分なりにもう一度考えてみてください。
また、講義時数の関係で教科書の全てを講義できません。講義しないところも社会人・研究者・技術者になる上で大切ですので、自習を心がけてください。第2回～8回の予習については、前回講師からの指示に従ってください。
Self Preparation for the 1st. , Read "推薦文(A blurb)" and "はじめに(Preface)" of the textbook.
After every time, read over the part of the textbook again, and think about the Questions once again.
In addition, remember that I cannot lecture in all of textbooks, and I wish you learn all of the textbook. Because it is useful to become a full-fledged citizen like an engineer, a researcher and a developer.
Self Preparation for from the 2nd. to 8th., follow each lecturer.

関連科目

技術科学哲学

Philosophy of Science and Technology

教科書 1	**書名**	技術の営みの教養基礎　技術の知と倫理			**ISBN**	978-4-8446-0793-9
	著者名	比屋根　均	**出版社**	理工図書	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

教科書を補足する講義用の資料を配布する。

Documents will be distributed.

参考書 1	**書名**	技術者倫理　日本の事例と考察－問題点と判断基準を探る			**ISBN**	978-4621085127
	著者名	田岡直規・水野朝夫・橋本義平編・日本技術士会登録技術者倫理研究会監修	**出版社**	丸善	**出版年**	2012
参考書 2	**書名**	技術者の倫理入門：大学講義			**ISBN**	978-4621300169
	著者名	杉本泰治 著；高城重厚 著,	**出版社**	丸善出版	**出版年**	2016
参考書 3	**書名**	誇り高い技術者になろう　第二版			**ISBN**	978-4-8158-0706-1
	著者名	黒田光太郎・戸田山和久・伊勢田哲治	**出版社**	名古屋大学出版会	**出版年**	2012

参考書に関する補足事項

参考書 4 書名「技術者倫理」著者名：札野順　出版社：放送大学　ISBN：978-4-595-30931-1
出版年：2009
参考書 5 書名「環境と科学技術者の倫理」著者名：P.A.Vesilind・A.S.Gunn, 日本技術士会環境部会訳編　出版社：丸善
ISBN：4-621-04779-5　出版年：2000
参考書 4 書名「技術者倫理」著者名：札野順　出版社：放送大学　ISBN：978-4-595-30931-1
出版年：2009
参考書 5 書名「環境と科学技術者の倫理」著者名：P.A.Vesilind・A.S.Gunn, 日本技術士会環境部会訳編　出版社：丸善
ISBN：4-621-04779-5　出版年：2000

達成目標

1)学生生活と技術者との主な違いや、技術者の遣り甲斐や責任について理解する。
2)技術者として直面する様々な問題について解決策を考える模擬体験をする。
3)他人の意見を聞き理解し、自分の意見を纏められる。
1)Understand the difference between students and an engineers, in their life, worth doing, and responsibility.
2)Have some simulation experience solving various problems that an engineer would be faced.
3)Able to understand the opinion of another person, and able to form your opinion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

各講義内（第１～７回）で提出する小レポート：28%、課題レポート：30%、最終試験：42%　左記の割合で総合的に評価する。
評価基準：下記のように成績を評価する。
B1～3, M1,D1
S：総合評価が 90 点（100 点満点）以上
A：総合評価が 80 点（100 点満点）以上
B：総合評価が 70 点（100 点満点）以上
C：総合評価が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A：総合評価が 80 点（100 点満点）以上
B：総合評価が 65 点（100 点満点）以上
C：総合評価が 55 点（100 点満点）以上
A small report to submit in each lecture：28%, A report：30%, Examination：42%.

Students will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

教科書「技術の知と倫理」のみ持ち込み可とする。
14 問出題。五者択一式（5つの選択肢から問題文に該当する選択肢を1つを選ぶ）
You can bring only textbook 1;"技術の営みの教養基礎　技術の知と倫理" into the examination room.
The test consists of 14 questions. And every question demands you to choose one among five sentences.

その他

居室：B 棟2階非常勤講師室。
E メール：hh009（at）edu.imc.tut.ac.jp or roofrate3-tut（at）yahoo.co.jp
Room：B Build. 2F Room of part-time teachers
Email：hh009（at）edu.imc.tut.ac.jp or roofrate3-tut（at）yahoo.co.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業時間の前後、講義室にて
In front and back of the class, at the lecture room.

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.

キーワード

社会人、倫理、技術論
citizen、ethic、philosophy of technology

(B1042503c)技術者倫理[Ethics for Engineers]

科目名[英文名]	技術者倫理[Ethics for Engineers]				
時間割番号	B1042503c	区分	学術素養科目	選択必須	必修
開講学期	前期1	曜日時限	火 3～3	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	比屋根　均 HIYAGON Hitoshi				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

社会人や技術者には、これまでの学生生活とは異なる緊張感が要求されます。技術者になると様々な人間関係や組織の中で活動し、またモノを通じて人々や社会と繋がっていくことになります。そういう中で信用され信頼されなければ、社会人・技術者・研究者としても良い仕事などできません。
技術者はこれまで多くの問題を解決し社会を発展させてきましたが、その一方で多くの失敗、事故や倫理的な不祥事を起こしてきたのも事実です。本講義では、そうした失敗事例について考え、技術者として倫理的に行動する力を醸成していきます。
また、技術者・社会人の準備教育として、講義時間中に考える態度を重視します。
The full-fledged citizen, such as a person of occupation, an engineer, takes the responsibility much heavier than a student. An engineer works in various human relations and organizations, and he or she is connected to people and the society through 'things.' You must come to be trusted, otherwise you cannot do good works as a full-fledged citizen.
The engineers are developing society, through solving engineering problems. On the other hand, it is a fact that they had much failure, accidents and ethical disgraceful affairs. A purpose of this subject is to develop ability to act as an engineer ethically through considering such failure examples.
Therefore I'll make you thinking all over the lecture time.

授業の内容

第1回　ガイダンス
第2回　よりよい試行錯誤
第3回　科学・技術の中の知識
第4回　技術知の戦略
第5回　技術者倫理の目的／説得
第6回　誠実な仕事
第7回　義務と同意・説明責任
第8回　まとめ・定期試験
1st. Guidance.
2nd. Better trials and errors.
3rd. Knowledges in science and engineering.
4th. An intellectual strategy of engineering.
5th. The purpose of engineering ethics. And Persuasion.
6th. Faithful work.
7th. Duty, Agreement, and Accountability.
8th. Summary and The examination.

予習・復習内容

第1回の予習として、教科書冒頭の「推薦文」と「はじめに」を読んでおいてください。
各回の復習として、習った範囲の教科書を読み直し、Qを自分なりにもう一度考えてみてください。
また、講義時数の関係で教科書の全てを講義できません。講義しないところも社会人・研究者・技術者になる上で大切ですので、自習を心がけてください。第2回～8回の予習については、前回講師からの指示に従ってください。
Self Preparation for the 1st. , Read "推薦文(A blurb)" and "はじめに(Preface)" of the textbook.
After every time, read over the part of the textbook again, and think about the Questions once again.
In addition, remember that I cannot lecture in all of textbooks, and I wish you learn all of the textbook. Because it is useful to become a full-fledged citizen like an engineer, a researcher and a developer.
Self Preparation for from the 2nd. to 8th., follow each lecturer.

関連科目

技術科学哲学

Philosophy of Science and Technology

教科書 1	書名	技術の営みの教養基礎　技術の知と倫理			ISBN	978-4-8446-0793-9
	著者名	比屋根　均	出版社	理工図書	出版年	2012

教科書に関する補足事項

教科書を補足する講義用の資料を配布する。

Documents will be distributed.

参考書 1	**書名**	技術者倫理　日本の事例と考察－問題点と判断基準を探る			**ISBN**	978-4621085127
	著者名	田岡直規・水野朝夫・橋本義平編・日本技術士会登録技術者倫理研究会監修	**出版社**	丸善	**出版年**	2012
参考書 2	**書名**	技術者の倫理入門：大学講義			**ISBN**	978-4621300169
	著者名	杉本泰治 著；高城重厚 著,	**出版社**	丸善出版	**出版年**	2016
参考書 3	**書名**	誇り高い技術者になろう　第二版			**ISBN**	978-4-8158-0706-1
	著者名	黒田光太郎・戸田山和久・伊勢田哲治	**出版社**	名古屋大学出版会	**出版年**	2012

参考書に関する補足事項

参考書 4 書名「技術者倫理」著者名：札野順　出版社：放送大学　ISBN：978-4-595-30931-1
出版年：2009
参考書 5 書名「環境と科学技術者の倫理」著者名：P.A.Vesilind・A.S.Gunn, 日本技術士会環境部会訳編　出版社：丸善
ISBN：4-621-04779-5　出版年：2000

参考書 4 書名「技術者倫理」著者名：札野順　出版社：放送大学　ISBN：978-4-595-30931-1
出版年：2009
参考書 5 書名「環境と科学技術者の倫理」著者名：P.A.Vesilind・A.S.Gunn, 日本技術士会環境部会訳編　出版社：丸善
ISBN：4-621-04779-5　出版年：2000

達成目標

1)学生生活と技術者との主な違いや、技術者の遣り甲斐や責任について理解する。
2)技術者として直面する様々な問題について解決策を考える模擬体験をする。
3)他人の意見を聞き理解し、自分の意見を纏められる。
1)Understand the difference between students and an engineers, in their life, worth doing, and responsibility.
2)Have some simulation experience solving various problems that an engineer would be faced.
3)Able to understand the opinion of another person, and able to form your opinion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

各講義内（第１～７回）で提出する小レポート：28%、課題レポート：30%、最終試験：42%　左記の割合で総合的に評価する。
評価基準：下記のように成績を評価する。
　A：総合評価が 80 点以上　　B：総合評価が 65 点以上　　C：総合評価が 55 点以上
A small report to submit in each lecture：28%, A report：30%, Examination：42%.

Students will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

教科書「技術の知と倫理」のみ持ち込み可とする。
14 問出題。五者択一式（5つの選択肢から問題文に該当する選択肢を1つを選ぶ）
You can bring only textbook 1;"技術の営みの教養基礎　技術の知と倫理" into the examination room.
The test consists of 14 questions. And every question demands you to choose one among five sentences.

その他

居室：B 棟2階非常勤講師室。

E メール：hh009@edu.imc.tut.ac.jp or roofrate3-tut@yahoo.co.jp
Room：B Build. 2F Room of part-time teachers
Email：hh009@edu.imc.tut.ac.jp or roofrate3-tut@yahoo.co.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業時間の前後、講義室にて
In front and back of the class, at the lecture room.

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.

キーワード

社会人、倫理、技術論
citizen、ethic、philosophy of technology

(B1042503d)技術者倫理[Ethics for Engineers]

科目名[英文名]	技術者倫理[Ethics for Engineers]				
時間割番号	B1042503d	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	必修
開講学期	前期2	**曜日時限**	火 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	比屋根　均 HIYAGON Hitoshi				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

社会人や技術者には、これまでの学生生活とは異なる緊張感が要求されます。技術者になると様々な人間関係や組織の中で活動し、またモノを通じて人々や社会と繋がっていくことになります。そういう中で信用され信頼されなければ、社会人・技術者・研究者としても良い仕事などできません。
技術者はこれまで多くの問題を解決し社会を発展させてきましたが、その一方で多くの失敗、事故や倫理的な不祥事を起こしてきたのも事実です。本講義では、そうした失敗事例について考え、技術者として倫理的に行動する力を醸成していきます。
また、技術者・社会人の準備教育として、講義時間中に考える態度を重視します。
The full-fledged citizen, such as a person of occupation, an engineer, takes the responsibility much heavier than a student. An engineer works in various human relations and organizations, and he or she is connected to people and the society through 'things.' You must come to be trusted, otherwise you cannot do good works as a full-fledged citizen.
The engineers are developing society, through solving engineering problems. On the other hand, it is a fact that they had much failure, accidents and ethical disgraceful affairs. A purpose of this subject is to develop ability to act as an engineer ethically through considering such failure examples.
Therefore I'll make you thinking all over the lecture time.

授業の内容

第1回　ガイダンス
第2回　よりよい試行錯誤
第3回　科学・技術の中の知識
第4回　技術知の戦略
第5回　技術者倫理の目的／説得
第6回　誠実な仕事
第7回　義務と同意・説明責任
第8回　まとめ・定期試験
1st. Guidance.
2nd. Better trials and errors.
3rd. Knowledges in science and engineering.
4th. An intellectual strategy of engineering.
5th. The purpose of engineering ethics. And Persuasion.
6th. Faithful work.
7th. Duty, Agreement, and Accountability.
8th. Summary and The examination.

予習・復習内容

第1回の予習として、教科書冒頭の「推薦文」と「はじめに」を読んでおいてください。
各回の復習として、習った範囲の教科書を読み直し、Qを自分なりにもう一度考えてみてください。
また、講義時数の関係で教科書の全てを講義できません。講義しないところも社会人・研究者・技術者になる上で大切ですので、自習を心がけてください。第2回～8回の予習については、前回講師からの指示に従ってください。
Self Preparation for the 1st. , Read "推薦文(A blurb)" and "はじめに(Preface)" of the textbook.
After every time, read over the part of the textbook again, and think about the Questions once again.
In addition, remember that I cannot lecture in all of textbooks, and I wish you learn all of the textbook. Because it is useful to become a full-fledged citizen like an engineer, a researcher and a developer.
Self Preparation for from the 2nd. to 8th., follow each lecturer.

関連科目

技術科学哲学

Philosophy of Science and Technology

教科書 1	**書名**	技術の営みの教養基礎　技術の知と倫理			**ISBN**	978-4-8446-0793-9
	著者名	比屋根　均	**出版社**	理工図書	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

教科書を補足する講義用の資料を配布する。

Documents will be distributed.

参考書 1	**書名**	技術者倫理　日本の事例と考察－問題点と判断基準を探る			**ISBN**	978-4621085127
	著者名	田岡直規・水野朝夫・橋本義平編・日本技術士会登録技術者倫理研究会監修	**出版社**	丸善	**出版年**	2012
参考書 2	**書名**	技術者の倫理入門：大学講義			**ISBN**	978-4621300169
	著者名	杉本泰治 著；高城重厚 著,	**出版社**	丸善出版	**出版年**	2016
参考書 3	**書名**	誇り高い技術者になろう　第二版			**ISBN**	978-4-8158-0706-1
	著者名	黒田光太郎・戸田山和久・伊勢田哲治	**出版社**	名古屋大学出版会	**出版年**	2012

参考書に関する補足事項

参考書 4 書名「技術者倫理」著者名：札野順　出版社：放送大学　ISBN：978-4-595-30931-1
出版年：2009
参考書 5 書名「環境と科学技術者の倫理」著者名：P.A.Vesilind・A.S.Gunn, 日本技術士会環境部会訳編　出版社：丸善
ISBN：4-621-04779-5　出版年：2000
参考書 4 書名「技術者倫理」著者名：札野順　出版社：放送大学　ISBN：978-4-595-30931-1
出版年：2009
参考書 5 書名「環境と科学技術者の倫理」著者名：P.A.Vesilind・A.S.Gunn, 日本技術士会環境部会訳編　出版社：丸善
ISBN：4-621-04779-5　出版年：2000

達成目標

1)学生生活と技術者との主な違いや、技術者の遣り甲斐や責任について理解する。
2)技術者として直面する様々な問題について解決策を考える模擬体験をする。
3)他人の意見を聞き理解し、自分の意見を纏められる。
1)Understand the difference between students and an engineers, in their life, worth doing, and responsibility.
2)Have some simulation experience solving various problems that an engineer would be faced.
3)Able to understand the opinion of another person, and able to form your opinion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

各講義内（第１～７回）で提出する小レポート：28%、課題レポート：30%、最終試験：42%　左記の割合で総合的に評価する。
評価基準：下記のように成績を評価する。
B1～3, M1,D1
S：総合評価が 90 点（100 点満点）以上
A：総合評価が 80 点（100 点満点）以上
B：総合評価が 70 点（100 点満点）以上
C：総合評価が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A：総合評価が 80 点（100 点満点）以上
B：総合評価が 65 点（100 点満点）以上
C：総合評価が 55 点（100 点満点）以上
A small report to submit in each lecture：28%, A report：30%, Examination：42%.

Students will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

教科書「技術の知と倫理」のみ持ち込み可とする。
14 問出題。五者択一式（5つの選択肢から問題文に該当する選択肢を1つを選ぶ）
You can bring only textbook 1;"技術の営みの教養基礎　技術の知と倫理" into the examination room.
The test consists of 14 questions. And every question demands you to choose one among five sentences.

その他

居室：B 棟2階非常勤講師室。
E メール：hh009（at）edu.imc.tut.ac.jp or roofrate3-tut（at）yahoo.co.jp
Room：B Build. 2F Room of part-time teachers
Email：hh009（at）edu.imc.tut.ac.jp or roofrate3-tut（at）yahoo.co.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業時間の前後、講義室にて
In front and back of the class, at the lecture room.

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
特に関連がある項目
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
（B）【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
関連がある項目
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
（F）【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
特に関連がある項目
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
（B）【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
関連がある項目
（E）【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
（F）【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Particularly-relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Particularly-relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
社会人、倫理、技術論
citizen、ethic、philosophy of technology

(B1042504a)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504a	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～2
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	和泉　司 IZUMI Tsukasa				
ナンバリング	GEN_FUN11010				

授業の目標

様々な映像作品を視聴して、その内容を理解し、説明できる力を養成する。

また、内容について自分自身の意見を考え発表し、他の学生の意見を聞き、その内容について自分自身の判断をもてるようにする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.

Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.

Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第 1 回　ガイダンス
第 2 回　小論文の構成練習
第 3 回　小論文の構成練習
第 4 回　短編ドラマを見る
第 5 回　短編ドラマを見る
第 6 回　短編ドラマを見る
第 7 回　ドキュメンタリーを見る
第 8 回　ドキュメンタリーを見る
第 9 回　ドキュメンタリーを見る
第 10 回　映画を見る
第 11 回　映画を見る
第 12 回　映画を観る
第 13 回　映画を観る
第 14 回　映画を観る
第 15 回　映画を観る

1: guidance
2: practicing writing essays
3: practicing writing essays
4: watching a TV drama and writing
5: watching a TV drama and writing
6: watching a TV drama and writing
7: watching a TV documentary and writing
8: watching a TV documentary and writing
9: watching a TV documentary and writing
10: watching a movie and writing
11: watching a movie and writing
12: watching a movie and writing
13: watching a movie and writing
14: watching a movie and writing
15: summary

予習・復習内容

授業時に配布するプリントをよく読み、自分自身のまとめた内容について確認して授業に参加すること。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項

授業で適宜プリントを配布する。

参考書に関する補足事項

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

達成目標

1. 話の流れや伝えようとしている内容の中心をつかめるようになること。
2. 理解した内容を他者に伝えられるようにまとめる力を身につけること。
3. 自分自身の意見を考え、話し、他者の意見を聞き、お互いに理解しようとする意識を持つこと。

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。

B1～3, M1,D1
S:レポートの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 55 点(100 点満点)以上

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

木曜日の昼休み。その他の時間も、事前にメール等で連絡があったら受け付けます。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A) (Architecture and Building Science Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Architecture and Building Science Course) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Civil and Environmental Engineering Course)The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills

キーワード
国語　表現　読解力
Japanese expression reading

(B1042504b)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504b	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～2
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	西村　峰龍 NISHIMURA Minetatsu				
ナンバリング	GEN_FUN11010				

授業の目標

社会人にとって、敬語などの日本語運用能力は重要なスキルである。また研究においても論理的文章の読解、論文作成など論理的文章力が必要になる。
本授業では、日本語運用能力を身に付け、論理的な文章を読み解き、その内容を理解することができることを目標とする。
To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

論理的な文章を読むための基礎知識と、実際に論理的な文章を読み、読解について学ぶ。
なお、学生の習熟度により、授業内容を変更することもある。
1 週目　ガイダンス
2 週目　論理的とは何か／論説文とは
3 週目　論説文の構造・論証図とクリティカルリーデング
4 週目　文章を論理的に要約する①
5 週目　文章を論理的に要約する②
6 週目　文章を論理的に要約する③
7 週目　文章を論理的に要約する④
8 週目　文章を論理的に要約する⑤
8 週目　文章を論理的に要約する⑥
9 週目　文章を論理的に要約する⑦
10 週目　文章を論理的に要約し、議論する①
11 週目　文章を論理的に要約し、議論する②
12 週目　文章を論理的に要約し、議論する③
13 週目　文章を論理的に要約し、議論する④
14 週目　文章を論理的に要約し、議論する⑤
15 週目　まとめ
1.Guidance
2.term of respect
3.japanese grammar: passive voice　causative verb
4.Writing①
5.Writing②
5.Writing③
6.Writing④
7.Writing⑤
8.Writing⑥
9.Writing⑦
10.Logically summarize sentences and discuss①
11.Logically summarize sentences and discuss②
12.Logically summarize sentences and discuss③
13.Logically summarize sentences and discuss④
14.Logically summarize sentences and discuss⑤
15.Summary of lecture

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について配布資料等を参考に予習してくること。また、自身の日本語能力について内省を働かせること。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項

講義の際、適宜プリントを配布する。
distribute a class print.

参考書 1	**書名**	大人のための国語ゼミ			**ISBN**	4634151219
	著者名	野矢 茂樹	**出版社**	山川出版社	**出版年**	2017

参考書に関する補足事項

達成目標

1）論説文の文章構造が理解できる
2）敬語接続詞などの日本語を理解し、活用できる
3）論理的な文章を読み、その内容把握ができる

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標の達成度を、授業内での出席レポートの状況（30%）と筆記による定期試験（70%）の合計で評価（合計 100 点）する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

留意点は授業中で説明

その他

非常勤講師室

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業後すぐ

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between

humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　表現　読解　論理　論文作成　　敬語
Japanese expression reading

(B1042504c)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504c	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～2
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　裕子 SUZUKI Yuko				
ナンバリング	GEN_FUN11010				

授業の目標

他者に伝えたいことをわかりやすく伝える文章が書けるようにする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.

Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.

Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

毎回の授業は、前半は講義、後半は各自書いてきた課題文を持ち寄り、学生同士で読み合ってから提出という形式で進めます。

課題文は原則パソコンで作成としますが、手書きも可とします。ただし、最終レポートは必ずパソコンで作成してください。

第1回　全体ガイダンス
第2回　「わかりやすい表現」とは①、自己紹介
第3回　「わかりやすい表現」とは②、自己紹介読み合わせ
第4回　「わかりやすい表現」とは③、説明する文
第5回　「わかりやすい表現」とは④、説明する文読み合わせ
第6回　「わかりやすい表現」とは⑤、メール
第7回　事実文と意見文①
第8回　中間試験
第9回　事実文と意見文②
第 10 回　レポート・論文の文体、段落と中心文
第 11 回　論説文の型
第 12 回　論文の構成
第 13 回　アウトライン
第 14 回　引用・参考文献
第 15 回　レポート読み合わせ・提出

1.Guidance
2.reading①,writing①
3.reading②,peer feedback①
4.reading③,writing②
5.reading④,peer feedback②
6.reading⑤,how to write e-mail
7.writing③
8.midterm exam
9.writing④
10.writing reports①
11.writing reports②
12.writing reports③
13.writing reports④
14.writing reports⑤
15.review

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考に予習してきてください。
また、課題文の作成は授業中には行わないので、必ず家で作成して持ってきてください。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目
なし

教科書 1	**書名**	「分かりやすい表現」の技術			**ISBN**	4-06-257245-1
	著者名	藤沢晃治	**出版社**	講談社（ブルーバックス）	**出版年**	1999

教科書に関する補足事項
教科書以外に、必要に応じてプリントを配布します。

参考書 1	**書名**	レポート・論文・プレゼン　スキルズ			**ISBN**	4-87424-273-1
	著者名	石坂春秋	**出版社**	くろしお出版	**出版年**	2003
参考書 2	**書名**	文章術―「伝わる書き方」の練習			**ISBN**	4-04-704115-7
	著者名	樺島忠夫	**出版社**	角川書店（角川oneテーマ21）	**出版年**	2002
参考書 3	**書名**	インターネット完全活用編　大学生のためのレポート・論文術			**ISBN**	4-06-149677-8
	著者名	小笠原善康	**出版社**	講談社現代新書	**出版年**	2003

参考書に関する補足事項

達成目標
日本語力の基礎を身に付ける。
事実を表す文章と意見を表す文章を、意識して書き分けられる。
どんな課題を与えられても、読み手を意識した説得力のある文章が書ける。

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
出席が70％以上あり、全ての課題文を提出したものを評価の対象とします。
評価の割合は、中間試験を30％（100点満点中30点分）、平常点を10％、毎回の課題文を30％、期末の最終レポートを30％とします。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価します。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).

C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D２～３
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
非常勤講師室
連絡先:yukos@aichi-u.ac.jp
e-mail:yukos@aichi-u.ac.jp

ウェルカムページ
なし

オフィスアワー
授業直後および毎週水曜日昼休み
every Wednesday

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　日本語　表現
Japanese expression

(B1042504d)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504d	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3, B4
担当教員[ローマ字表記]	和泉　司 IZUMI Tsukasa				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

様々な映像作品を視聴して、その内容を理解し、説明できる力を養成する。
　また、内容について自分自身の意見を考え発表し、他の学生の意見を聞き、その内容について自分自身の判断をもてるようにする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第 1 回　ガイダンス
第 2 回　小論文の構成練習
第 3 回　小論文の構成練習
第 4 回　短編ドラマを見る
第 5 回　短編ドラマを見る
第 6 回　短編ドラマを見る
第 7 回　ドキュメンタリーを見る
第 8 回　ドキュメンタリーを見る
第 9 回　ドキュメンタリーを見る
第 10 回　映画を見る
第 11 回　映画を見る
第 12 回　映画を観る
第 13 回　映画を観る
第 14 回　映画を観る
第 15 回　映画を観る

1: guidance
2: practicing writing essays
3: practicing writing essays
4: watching a TV drama and writing
5: watching a TV drama and writing
6: watching a TV drama and writing
7: watching a TV documentary and writing
8: watching a TV documentary and writing
9: watching a TV documentary and writing
10: watching a movie and writing
11: watching a movie and writing
12: watching a movie and writing
13: watching a movie and writing
14: watching a movie and writing
15: summary

予習・復習内容

授業時に配布するプリントをよく読み、自分自身のまとめた内容について確認して授業に参加すること。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項

授業で適宜プリントを配布する。

参考書に関する補足事項

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

達成目標

1．話の流れや伝えようとしている内容の中心をつかめるようになること。
2．理解した内容を他者に伝えられるようにまとめる力を身につけること。
3．自分自身の意見を考え、話し、他者の意見を聞き、お互いに理解しようとする意識を持つこと。
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポートの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 55 点(100 点満点)以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

木曜日の昼休み。その他の時間も、事前にメール等で連絡があったら受け付けます。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through

papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　表現　読解力
Japanese expression reading

(B1042504e)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504e	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	日比野　浩信 HIBINO Hironobu				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

日常的な、身内相手に使用している言葉遣いだけでは不足であることは、うすうす感じていることであろう。
「正しい日本語」とは一概に規定できるものではないが、丁寧かつ不足のない言葉遣いを習得する必要がある。
ここでは敬語を中心に、礼儀正しい日本語を習得することを目的とする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第1回　ガイダンス
第2回　敬語について
第3回　尊敬語1
第4回　尊敬語2
第5回　尊敬語3
第6回　尊敬語4
第7回　尊敬語5
第8回　謙譲語1
第9回　謙譲語2
第10回　謙譲語3
第11回　謙譲語4
第12回　丁寧語1
第13回　丁寧語2
第14回　丁寧語3
第15回　まとめ
1　Guidance
2　About an honorific
3　Term of respect 1
4　Term of respect 2
5　Term of respect 3
6　Term of respect 4
7　Term of respect 5
8　Honorific words 1
9　Honorific words 2
10　Honorific words 3
11　Honorific words 4
12　Honorific expression 1
13　Honorific expression 2
14　Honorific expression 3
15　Summary

予習・復習内容

言葉は「使える」ことが大切である。授業で学んだ具体例を、スムーズに発声できるよう、練習すること。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

日本語学　国文学

教科書に関する補足事項

特になし。
プリントを準備する予定

参考書に関する補足事項

達成目標
尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いを理解し、正しい敬語を実際に使うことができるようになること
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension, self-expression and communication.
To create and comprehend various types of polite expressions and business expressions.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
質疑応答を含むことから出席40%、達成目標を全て含んだレポート(もしくはテスト)40%、その他課題等20%の割合で評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 55 点(100 点満点)以上

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
なし

オフィスアワー
授業直後の休み時間

学習・教育到達目標との対応
(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
文章の作成を通じて、論文、口頭および情報メディアなどで、自分の論点や考えなどを国の内外におきて効果的に表現し、コミュニケーションする能力

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
敬語　日本語
Japanese expression honorific

(B1042504f)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504f	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤田　祐史 FUJITA Yuji				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

広義の「科学の本」について語ること（ブックトーク）を通し、門外漢にもわかりやすく専門的内容を伝える表現力を身につける。
また、その内容についての意見交換や感想を書くことを通し、話を組み立てる力、他の人の意見を聞く力を養う。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

授業では受講者それぞれにおすすめの「科学の本」の紹介（ブックトーク）をしてもらう。1．事前に自身の紹介したい本を読みこみ、2．発表、3．意見交換、4．それぞれ感想を書く、の順に授業を進める。
第 1 回　ガイダンス
第 2 回　ブックトーク（講義）
第 3 回　ブックトーク（発表）
第 4 回　同
第 5 回　同
第 6 回　同
第 7 回　同
第 8 回　同
第 9 回　同
第 10 回　同
第 11 回　同
第 12 回　同
第 13 回　同
第 14 回　同
第 15 回　同
※ブックトークの回数、レクチャーの回数は、受講人数により第一回の授業中に調整する。
1: guidance
2: lecture and writing
3: presentation and writing
4: presentation and writing
5: presentation and writing
6: presentation and writing
7: presentation and writing
8: presentation and writing
9: presentation and writing
10: presentation and writing
11: presentation and writing
12: presentation and writing
13: presentation and writing
14: presentation and writing
15: presentation and writing

予習・復習内容

発表者は授業で紹介する本を事前に読みこみ、入念な発表準備をしてくること。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項
適宜プリントを配布する。
distribute prints

参考書に関する補足事項

達成目標
1）専門的な内容を平明かつ他の人に興味を持ってもらえるように表現できること。
2）他の人の発表・意見を聞いて、読書の関心の幅を広げること。
3）プレゼンテーションの構成力を身につけること。
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension, self-expression and communication.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
発表 50%、毎回の感想（リアクションペーパー）30%、授業への参加態度 20%の割合で総合的に評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 55 点（100 点満点）以上

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業後 20 分程度、講師控室か教室で。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　表現
Japanese Expression

(B1042504g)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504g	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　裕子 SUZUKI Yuko				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

他者に伝えたいことをわかりやすく伝える文章が書けるようにする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.

Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.

Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

毎回の授業は、前半は講義、後半は各自書いてきた課題文を持ち寄り、学生同士で読み合ってから提出という形式で進めます。

課題文は原則パソコンで作成としますが、手書きも可とします。ただし、最終レポートは必ずパソコンで作成してください。

第1回　全体ガイダンス
第2回　「わかりやすい表現」とは①、自己紹介
第3回　「わかりやすい表現」とは②、自己紹介読み合わせ
第4回　「わかりやすい表現」とは③、説明する文
第5回　「わかりやすい表現」とは④、説明する文読み合わせ
第6回　「わかりやすい表現」とは⑤、メール
第7回　事実文と意見文①
第8回　中間試験
第9回　事実文と意見文②
第 10 回　レポート・論文の文体、段落と中心文
第 11 回　論説文の型
第 12 回　論文の構成
第 13 回　アウトライン
第 14 回　引用・参考文献
第 15 回　レポート読み合わせ・提出

1.Guidance
2.reading①,writing①
3.reading②,peer feedback①
4.reading③,writing②
5.reading④,peer feedback②
6.reading⑤,how to write e-mail
7.writing③
8.midterm exam
9.writing④
10.writing reports①
11.writing reports②
12.writing reports③
13.writing reports④
14.writing reports⑤
15.review

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考に予習してきてください。
また、課題文の作成は授業中には行わないので、必ず家で作成して持ってきてください。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目
なし

教科書 1	**書名**	「分かりやすい表現」の技術			**ISBN**	4-06-257245-1
	著者名	藤沢晃治	**出版社**	講談社（ブルーバックス）	**出版年**	1999

教科書に関する補足事項
教科書以外に、必要に応じてプリントを配布します。

参考書 1	**書名**	レポート・論文・プレゼン　スキルズ			**ISBN**	4-87424-273-1
	著者名	石坂春秋	**出版社**	くろしお出版	**出版年**	2003
参考書 2	**書名**	文章術―「伝わる書き方」の練習			**ISBN**	4-04-704115-7
	著者名	樺島忠夫	**出版社**	角川書店（角川oneテーマ21）	**出版年**	2002
参考書 3	**書名**	インターネット完全活用編　大学生のためのレポート・論文術			**ISBN**	4-06-149677-8
	著者名	小笠原善康	**出版社**	講談社現代新書	**出版年**	2003

参考書に関する補足事項

達成目標
日本語力の基礎を身に付ける。
事実を表す文章と意見を表す文章を、意識して書き分けられる。
どんな課題を与えられても、読み手を意識した説得力のある文章が書ける。

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
出席が70％以上あり、全ての課題文を提出したものを評価の対象とします。
評価の割合は、中間試験を30％（100点満点中30点分）、平常点を10％、毎回の課題文を30％、期末の最終レポートを30％とします。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価します。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポート・期末テス・その他評価点の合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 55 点（100 点満点）以上

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).

C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D２～３
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
非常勤講師室
連絡先:yukos@aichi-u.ac.jp
e-mail:yukos@aichi-u.ac.jp

ウェルカムページ
なし

オフィスアワー
授業直後および毎週水曜日昼休み
every Wednesday

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目

(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　日本語　表現
Japanese expression

(B1042504h)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504h	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	西村　峰龍 NISHIMURA Minetatsu				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

社会人にとって、敬語などの日本語運用能力は重要なスキルである。また研究においても論理的文章の読解、論文作成など論理的文章力が必要になる。
本授業では、日本語運用能力を身に付け、論理的な文章を読み解き、その内容を理解することができることを目標とする。
To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

論理的な文章を読むための基礎知識と、実際に論理的な文章を読み、読解について学ぶ。
なお、学生の習熟度により、授業内容を変更することもある。
1 週目　ガイダンス
2 週目　論理的とは何か／論説文とは
3 週目　論説文の構造・論証図とクリティカルリーデング
4 週目　文章を論理的に要約する①
5 週目　文章を論理的に要約する②
6 週目　文章を論理的に要約する③
7 週目　文章を論理的に要約する④
8 週目　文章を論理的に要約する⑤
9 週目　文章を論理的に要約する⑥
10 週目　文章を論理的に要約し、議論する①
11 週目　文章を論理的に要約し、議論する②
12 週目　文章を論理的に要約し、議論する③
13 週目　文章を論理的に要約し、議論する④
14 週目　文章を論理的に要約し、議論する⑤
15 週目　まとめ

1.Guidance
2.term of respect
3.japanese grammar: passive voice　causative verb
4.Writing①
5.Writing②
5.Writing③
6.Writing④
7.Writing⑤
8.Writing⑥
9.Writing⑦
10.Logically summarize sentences and discuss①
11.Logically summarize sentences and discuss②
12.Logically summarize sentences and discuss③
13.Logically summarize sentences and discuss④
14.Logically summarize sentences and discuss⑤
15.Summary of lecture

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について配布資料等を参考に予習してくること。また、自身の日本語能力について内省を働かせること。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項

講義の際、適宜プリントを配布する。
distribute a class print.

参考書 1	**書名**	日本語を鍛えるための論理思考トレーニング			**ISBN**	9784860641702
	著者名	横尾清志	**出版社**	ベレ出版	**出版年**	2007
参考書 2	**書名**	理工系学生のための日本語表現法			**ISBN**	9784798913865
	著者名	森下稔　ほか	**出版社**	東信堂	**出版年**	2007

参考書に関する補足事項

達成目標

1）論説文の文章構造が理解できる
2）敬語接続詞などの日本語を理解し、活用できる
3）論理的な文章を読み、その内容把握ができる

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標の達成度を、授業内での出席レポートの状況（30%）と筆記による定期試験（70%）の合計で評価（合計 100 点）する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

留意点は授業中で説明

その他

非常勤講師室

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業後すぐ

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　表現　読解　論理　論文作成　　敬語
Japanese expression reading

(B1042504i)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504i	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	和泉　司 IZUMI Tsukasa				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

自分の考えをまとめ、論理的な文章を書く練習を行う。
特定のテーマ、または自分自身の設定したテーマについて、小論文（800 字）にして自分自身の考えをまとめる。
他の学生の文章を読んで、自分の意見との共通点、相違点について考え、意見を述べられるようにする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第 1 回　ガイダンス、小作文作成練習
第 2 回　小論文演習①
第 3 回　小論文演習②
第 4 回　小論文演習③
第 5 回　小論文演習④
第 6 回　小論文演習⑤
第 7 回　小論文演習⑥
第 8 回　中間まとめ
第 9 回　小論文演習⑦
第 10 回　小論文演習⑧
第 11 回　小論文演習⑨
第 12 回　小論文演習⑩
第 13 回　小論文演習⑪
第 15 回　小論文演習⑫

1: guidance
2: writing short essay
3: writing short essay
4: writing short essay
5: writing short essay
6: writing short essay
7: writing short essay
8: writing short essay
9: writing short essay
10: writing short essay
11: writing short essay
12: writing short essay
13: writing short essay
14: writing short essay
15: writing short essay

予習・復習内容

小論文の添削・講評をチェックして、論理展開や内容の不足・過剰について確認できるようにする。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜、プリントを配布する。

参考書に関する補足事項

達成目標

1）自分の意見を論理的に表現する力を身につける。
2）決まった分量で自分の意見をまとめられるようにする。
3）他者の文章を読み、そのいい点・悪い点について考えられるようにする。
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension,.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポートの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

授業を実施
Regular Class

定期試験詳細

レポートで実施

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

木曜日の昼休み。その他の時間も、事前にメール等で連絡があったら受け付けます。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A) (Architecture and Building Science Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Architecture and Building Science Course) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Civil and Environmental Engineering Course)The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills

キーワード
国語　表現　読解力　小論文
Japanese expression reading essay

(B1042504j)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504j	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	日比野　浩信 HIBINO Hironobu				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

日常的な、身内相手に使用している言葉遣いだけでは不足であることは、うすうす感じていることであろう。
「正しい日本語」とは一概に規定できるものではないが、丁寧かつ不足のない言葉遣いを習得する必要がある。
ここでは敬語を中心に、礼儀正しい日本語を習得することを目的とする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第1回　ガイダンス
第2回　敬語について
第3回　尊敬語1
第4回　尊敬語2
第5回　尊敬語3
第6回　尊敬語4
第7回　尊敬語5
第8回　謙譲語1
第9回　謙譲語2
第10回　謙譲語3
第11回　謙譲語4
第12回　丁寧語1
第13回　丁寧語2
第14回　丁寧語3
第15回　まとめ
1　Guidance
2　About an honorific
3　Term of respect 1
4　Term of respect 2
5　Term of respect 3
6　Term of respect 4
7　Term of respect 5
8　Honorific words 1
9　Honorific words 2
10　Honorific words 3
11　Honorific words 4
12　Honorific expression 1
13　Honorific expression 2
14　Honorific expression 3
15　Summary

予習・復習内容

言葉は「使える」ことが大切である。授業で学んだ具体例を、スムーズに発声できるよう、練習すること。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

日本語学　国文学

教科書に関する補足事項

特になし。
プリントを準備する予定

参考書に関する補足事項

達成目標
尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いを理解し、正しい敬語を実際に使うことができるようになること
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension, self-expression and communication.
To create and comprehend various types of polite expressions and business expressions.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
質疑応答を含むことから出席40%、達成目標を全て含んだレポート(もしくはテスト)40%、その他課題等20%の割合で評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 55 点(100 点満点)以上

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
授業を実施
Regular Class

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業直後の休み時間

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad

Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
敬語　日本語
Japanese expression honorific

(B1042504k)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504k	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	島田　大助 SHIMADA Daisuke				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

ビジネスの社会で果たす文書の役割を理解し、目的に応じた文書を作成できるようになる

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.

Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.

Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

文書を記述するために必要とする知識についての講義を行う。また、受講者には講義の内容を踏まえた文書の作成を課す。

1.　ガイダンス
2.　ビジネス文書　文字の表記につて
3.　文のしくみについて
4.　要約文の作成
5.　待遇表現についての解説
6.　待遇表現についての演習
7.　社内・社外通知文書についての書式解説
8.　社内・社外通知文書の作成
9.　稟議書についての書式解説、作成
10. 規定文書についての書式解説
11. 規定文書の作成
12. 報告書についての書式解説、作成
13. 議事録についての書式解説
14. 議事録の作成
15. 縦書き社交文書についての書式解説、作成
16. 定期試験

1.　Guidance
2.　Lecture①
3.　Lecture②
4.　Writing①
5.　Lecture③
6.　Writing②
7.　Lecture④
8.　Writing③
9.　Lecture⑤　Writing④
10. Lecture⑥
11. Writing⑤
12. Lecture⑦　Writing⑥
13. Lecture⑧　Debate①
14. Debate②　Writing⑦
15. Lecture⑨　Writing⑧
16. Final exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について配布資料等を参考に予習してくること。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

なし。

教科書に関する補足事項

教科書：必要に応じてプリントを配布する。

参考書に関する補足事項

なし。

達成目標

1）日本語力の基礎を身につける。
2）文書作成に必要な日本語力を身につける。
3）ビジネス文書作成の基本を理解する。
4）目的に応じたビジネス文書を適切な書式で記述できるようになる。

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension
To create and comprehend various types of business expressions.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価は、提出を求める課題文書（30 点）および期末試験（70 点）を合計したもので評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

授業と定期試験(対面)
Regular Class and Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

非常勤講師室
e-mail：shimada@sozo.ac.jp

ウェルカムページ

なし。

オフィスアワー

授業後すぐ。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A) (Architecture and Building Science Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Architecture and Building Science Course) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Civil and Environmental Engineering Course)The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills

キーワード
日本語　文書作成
Japanese composition　expression

(B1042504l)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504l	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	水木　一恵 MIZUKI Ichie				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

文章を要約する作業を通じて、表現に対する意識を高める。
敬語の正しい使い方を学ぶ。
To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第1回　オリエンテーション
第2回　ブックレポート①
第3回　ブックレポート②
第4回　ブックレポート③
第5回　自己分析①
第6回　自己分析②
第7回　文体
第8回　要約　説明文①
第9回　要約　説明文②
第 10 回　要約　物語文①
第 11 回　要約　物語文②
第 12 回　要約　物語文③
第 13 回　敬語
第 14 回　レポートの書き方
第 15 回　まとめ
1.Guidance
2.Report about a book 1
3.Report about a book 2
4.Report about a book 3
5.Self-introduction 1
6.Self-introduction 2
7.a style
8.Summary essay 1
9.Summary essay 2
10.Summary novel 1
11.Summary novel 2
12.Summary novel 3
13.Honorific words
14.How to write a report
15.Summary

予習・復習内容

課題文を必ず提出して下さい。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜プリントを配布します。

参考書に関する補足事項

達成目標
1)レポートの構成を学ぶ。
2)文章の要約を的確に身につける。
3)相手に伝わる文章を書く。
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To create and comprehend various types of polite expressions .
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価の割合は平常点 10%、提出課題 30%、定期試験 60%とする。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 55 点(100 点満点)以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
非常勤講師室

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応
機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A) (Architecture and Building Science Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Architecture and Building Science Course) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Civil and Environmental Engineering Course)The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills

キーワード
国語　表現　要約
Japanese expression digest

(B1042504m)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504m	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤田　祐史 FUJITA Yuji				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

広義の「科学の本」について語ること（ブックトーク）を通し、門外漢にもわかりやすく専門的内容を伝える表現力を身につける。
また、その内容についての意見交換や感想を書くことを通し、話を組み立てる力、他の人の意見を聞く力を養う。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

授業では受講者それぞれにおすすめの「科学の本」の紹介（ブックトーク）をしてもらう。1．事前に自身の紹介したい本を読みこみ、2．発表、3．意見交換、4．それぞれ感想を書く、の順に授業を進める。
第 1 回　ガイダンス
第 2 回　ブックトーク（講義）
第 3 回　ブックトーク（発表）
第 4 回　同
第 5 回　同
第 6 回　同
第 7 回　同
第 8 回　同
第 9 回　同
第 10 回　同
第 11 回　同
第 12 回　同
第 13 回　同
第 14 回　同
第 15 回　同
※ブックトークの回数、レクチャーの回数は、受講人数により第一回の授業中に調整する。
1: guidance
2: lecture and writing
3: presentation and writing
4: presentation and writing
5: presentation and writing
6: presentation and writing
7: presentation and writing
8: presentation and writing
9: presentation and writing
10: presentation and writing
11: presentation and writing
12: presentation and writing
13: presentation and writing
14: presentation and writing
15: presentation and writing

予習・復習内容

発表者は授業で紹介する本を事前に読みこみ、入念な発表準備をしてくること。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項
適宜プリントを配布する。
distribute prints

参考書に関する補足事項

達成目標
1）専門的な内容を平明かつ他の人に興味を持ってもらえるように表現できること。
2）他の人の発表・意見を聞いて、読書の関心の幅を広げること。
3）プレゼンテーションの構成力を身につけること。
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension, self-expression and communication.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
発表 50%、毎回の感想（リアクションペーパー）30%、授業への参加態度 20%の割合で総合的に評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 55 点（100 点満点）以上

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業後 20 分程度、講師控室か教室で。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　表現
Japanese Expression

(B1042504n)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504n	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	和泉　司 IZUMI Tsukasa				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

様々な映像作品を視聴して、その内容を理解し、説明できる力を養成する。

　また、内容について自分自身の意見を考え発表し、他の学生の意見を聞き、その内容について自分自身の判断をもてるようにする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.

Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.

Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第 1 回　ガイダンス
　第 2 回　小論文の構成練習
　第 3 回　小論文の構成練習
　第 4 回　短編ドラマを見る
　第 5 回　短編ドラマを見る
　第 6 回　短編ドラマを見る
　第 7 回　ドキュメンタリーを見る
　第 8 回　ドキュメンタリーを見る
　第 9 回　ドキュメンタリーを見る
　第 10 回　映画を見る
　第 11 回　映画を見る
　第 12 回　映画を観る
　第 13 回　映画を観る
　第 14 回　映画を観る
　第 15 回　映画を観る

1: guidance
2: practicing writing essays
3: practicing writing essays
4: watching a TV drama and writing
5: watching a TV drama and writing
6: watching a TV drama and writing
7: watching a TV documentary and writing
8: watching a TV documentary and writing
9: watching a TV documentary and writing
10: watching a movie and writing
11: watching a movie and writing
12: watching a movie and writing
13: watching a movie and writing
14: watching a movie and writing
15: summary

予習・復習内容

授業時に配布するプリントをよく読み、自分自身のまとめた内容について確認して授業に参加すること。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項

授業で適宜プリントを配布する。

参考書に関する補足事項

達成目標
1．話の流れや伝えようとしている内容の中心をつかめるようになること。
2．理解した内容を他者に伝えられるようにまとめる力を身につけること。
3．自分自身の意見を考え、話し、他者の意見を聞き、お互いに理解しようとする意識を持つこと。
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポートの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 55 点(100 点満点)以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
木曜日の昼休み。その他の時間も、事前にメール等で連絡があったら受け付けます。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
関連がある項目
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
（E）【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item

Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　表現　読解力
Japanese expression reading

(B1042504o)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504o	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	日比野　浩信 HIBINO Hironobu				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

日常的な、身内相手に使用している言葉遣いだけでは不足であることは、うすうす感じていることであろう。
「正しい日本語」とは一概に規定できるものではないが、丁寧かつ不足のない言葉遣いを習得する必要がある。
ここでは敬語を中心に、礼儀正しい日本語を習得することを目的とする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第1回　ガイダンス
第2回　敬語について
第3回　尊敬語1
第4回　尊敬語2
第5回　尊敬語3
第6回　尊敬語4
第7回　尊敬語5
第8回　謙譲語1
第9回　謙譲語2
第10回　謙譲語3
第11回　謙譲語4
第12回　丁寧語1
第13回　丁寧語2
第14回　丁寧語3
第15回　まとめ
1　Guidance
2　About an honorific
3　Term of respect 1
4　Term of respect 2
5　Term of respect 3
6　Term of respect 4
7　Term of respect 5
8　Honorific words 1
9　Honorific words 2
10　Honorific words 3
11　Honorific words 4
12　Honorific expression 1
13　Honorific expression 2
14　Honorific expression 3
15　Summary

予習・復習内容

言葉は「使える」ことが大切である。授業で学んだ具体例を、スムーズに発声できるよう、練習すること。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

日本語学　国文学

教科書に関する補足事項

特になし。
プリントを準備する予定

参考書に関する補足事項

達成目標
尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いを理解し、正しい敬語を実際に使うことができるようになること
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension, self-expression and communication.
To create and comprehend various types of polite expressions and business expressions.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
質疑応答を含むことから出席40%、達成目標を全て含んだレポート(もしくはテスト)40%、その他課題等20%の割合で評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 55 点(100 点満点)以上

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
なし

オフィスアワー
授業直後の休み時間

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Particularly-relevant item
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
敬語　日本語
Japanese expression honorific

(B1042504p)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504p	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	山田　陽子 YAMADA Yoko				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

普段手に取ることのない文学作品を読んで、自分の感想を書けるようになる。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.

Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.

Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

指定の図書を読んで出席し、その内容について意見交換をし、その上で自分なりの感想を書く。
課題作文（感想文）では、800 字以上の感想文を書く。

第1回　ガイダンス
第2回　夏目漱石『坊っちゃん』①
第3回　夏目漱石『坊っちゃん』②
第4回　夏目漱石『坊っちゃん』③
第5回　夏目漱石『坊っちゃん』④
第6回　宮沢賢治『銀河鉄道の夜』①
第7回　宮沢賢治『銀河鉄道の夜』②
第8回　宮沢賢治『銀河鉄道の夜』③
第9回　太宰　治『人間失格』①
第 10 回　太宰　治『人間失格』②
第 11 回　太宰　治『人間失格』③
第 12 回　太宰　治『人間失格』④
第 13 回　深沢七郎『楢山節考』①
第 14 回　深沢七郎『楢山節考』②
第 15 回　深沢七郎『楢山節考』③

Attend at a class after reading a designated book,and discuss it in class.
Then write a short essay（800 characters or more).

1　Guidance
2　Bocthan（Soseki Natsume）:reading ＆　discussion①
3　Bocthan（Soseki Natsume）:reading ＆　discussion②
4　Bocthan（Soseki Natsume）:reading ＆　discussion③
5　Bocthan（Soseki Natsume）:writig（short essay①）
6　Night On The Milky Way Train（Kenji Miyazawa）:reading ＆　discussion①
7　Night On The Milky Way Train（Kenji Miyazawa）:reading ＆　discussion②
8　Night On The Milky Way Train（kenji Miyazawa）:writig（short essay②）
9　No Longer Human（Osamu Dazai）:reading ＆　discussion①
10　No Longer Human（Osamu Dazai）:reading ＆　discussion②
11　No Longer Human（Osamu Dazai）:reading ＆　discussion③
12　No Longer Human（Osamu Dazai）:writig（short essay③）
13　The Balled of Narayama（Sichiro Hukazawa）:reading ＆　discussion①
14　The Balled of Narayama（Sichiro Hukazawa）:reading ＆　discussion②
15　The Balled of Narayama（Sichiro Hukazawa）:writig（short essay④）

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書 1	**書名**	坊っちゃん			**ISBN**	
	著者名	夏目漱石	**出版社**	新潮文庫	**出版年**	
教科書 2	**書名**	銀河鉄道の夜			**ISBN**	
	著者名	宮沢賢治	**出版社**	新潮文庫	**出版年**	

教科書に関する補足事項

教書書3　太宰治,人間失格,新潮文庫
教科書4　深沢七郎,楢山節考,新潮文庫

テキストは全て新潮文庫を原則とするが、他の文庫や単行本でも可。
国語辞典を持参すること。

Text Book 3: Osamu Dazai,No Longer Human,Shincho Bunko
Text Book 4:Sichiro Hukazawa,The Balled of Narayama,Shincho Bunko

The texts may be other than Shincho Bunko.
Bring a Japanese dictionary for a class.

参考書に関する補足事項

達成目標

① 指示に従った文章を書く
② 自分の言いたいことを明確に書く
③ 文章の構成を学ぶ
④ 気持ちの伝わる文章を書く
⑤ 文章に応じた語彙・文体を用いる
⑥ 国語力の基礎を身に付ける

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:小レポート(25%)×4回

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、全ての達成目標を総合的に判断し下記の通り評価する。

B3,M1
S:レポートの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 55 点(100 点満点)以上

[Evaluation method]　short essays(25%)×　Four times

[Evaluation criteria]
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B3, M1
S: Obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).

C: Obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
B 棟2階　非常勤講師室

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業後すぐ

after class

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語 表現 読解
Japanese expression reading

(B1042504q)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504q	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中森　康之 NAKAMORI Yasuyuki				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

プレゼンテーションの技術を学ぶ。

To learn the method of presentation

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第1週　ガイダンス
第2週　クラスコミュニケーション
第3週　発声練習
第4週　プレゼンテーション ①
第5週　プレゼンテーション②
第6週　プレゼンテーション③
第7週　プレゼンテーション④
第8週　プレゼンテーション⑤
第9週　プレゼンテーション⑥
第 10 週　プレゼンテーション⑦
第 11 週　プレゼンテーション⑧
第 12 週　プレゼンテーション⑨
第 13 週　プレゼンテーション⑩
第 14 週　プレゼンテーション⑪
第 15 週　総括
1　Guidance
2　Class　Communication
3　Voice　Training
4　Presentation①
5　Presentation②
6　Presentation③
7　Presentation④
8　Presentation⑤
9　Presentation⑥
10　Presentation⑦
11　Presentation⑧
12　Presentation⑨
13　Presentation⑩
14　Presentation⑪
15　Conclusion

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容についてあらかじめ自分で予想して考えてくること。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	声が生まれる　聞く力・話す力			ISBN	
	著者名	竹内敏晴	出版社	中央公論	出版年	

参考書に関する補足事項

達成目標

1）発声、間、目線など、プレゼンテーション技術の基礎を身に付ける。
2）PPT スライド作成の基礎を身に付ける。
3）プレゼンテーション全体の構成力の基礎を身に付ける。
1）To learn the basics of presentation techniques.
2）To acquire the basic skills of creating ppt slides.
3）To acquire a construction force of presentation.

To create and comprehend various types of polite expressions and business expressions.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的にすべての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を、プレゼンテーションによって下記の通り評価（100 点満点）する。

B1～3, M1
S：合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：合計点が 55 点（100 点満点）以上
[[Evaluation method]　Presentations（twice or three times）

[Evaluation criteria]Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1
S: Obtained total points of presentations , 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of presentations , 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of presentations , 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of presentations , 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2
A: Obtained total points of presentations , 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of presentations , 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of presentations , 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

10 分以上の遅刻厳禁。

ウェルカムページ

http://las.tut.ac.jp/~nakamori/index.html

オフィスアワー

基本的に木曜日の昼休みとするが、これ以外の時間でも在室中は随時対応する。メール等で事前に連絡があると有り難い。

Lunch break on every Thursday

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　表現　プレゼンテーション
Japanese expression presentation

(B1042504r)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504r	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	西村　峰龍 NISHIMURA Minetatsu				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

社会人にとって、敬語などの日本語運用能力は重要なスキルである。また研究においても論理的文章の読解、論文作成など論理的文章力が必要になる。
本授業では、日本語運用能力を身に付け、論理的な文章を読み解き、その内容を理解することができることを目標とする。
To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

論理的な文章を読むための基礎知識と、実際に論理的な文章を読み、読解について学ぶ。
なお、学生の習熟度により、授業内容を変更することもある。
1 週目　ガイダンス
2 週目　論理的とは何か／論説文とは
3 週目　論説文の構造・論証図とクリティカルリーデング
4 週目　文章を論理的に要約する①
5 週目　文章を論理的に要約する②
6 週目　文章を論理的に要約する③
7 週目　文章を論理的に要約する④
8 週目　文章を論理的に要約する⑤
9 週目　文章を論理的に要約する⑥
10 週目　文章を論理的に要約し、議論する①
11 週目　文章を論理的に要約し、議論する②
12 週目　文章を論理的に要約し、議論する③
13 週目　文章を論理的に要約し、議論する④
14 週目　文章を論理的に要約し、議論する⑤
15 週目　まとめ

1.Guidance
2.term of respect
3.japanese grammar: passive voice　causative verb
4.Writing①
5.Writing②
5.Writing③
6.Writing④
7.Writing⑤
8.Writing⑥
9.Writing⑦
10.Logically summarize sentences and discuss①
11.Logically summarize sentences and discuss②
12.Logically summarize sentences and discuss③
13.Logically summarize sentences and discuss④
14.Logically summarize sentences and discuss⑤
15.Summary of lecture

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について配布資料等を参考に予習してくること。また、自身の日本語能力について内省を働かせること。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項
講義の際、適宜プリントを配布する。
distribute a class print.

参考書 1	**書名**	日本語を鍛えるための論理思考トレーニング			**ISBN**	9784860641702
	著者名	横尾清志	**出版社**	ベレ出版	**出版年**	2007
参考書 2	**書名**	理工系学生のための日本語表現法			**ISBN**	9784798913865
	著者名	森下稔　ほか	**出版社**	東信堂	**出版年**	2007

参考書に関する補足事項

達成目標
1）論説文の文章構造が理解できる
2）敬語接続詞などの日本語を理解し、活用できる
3）論理的な文章を読み、その内容把握ができる

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
達成目標の達成度を、授業内での出席レポートの状況（30%）と筆記による定期試験（70%）の合計で評価（合計 100 点）する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
留意点は授業中で説明

その他
非常勤講師室

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業後すぐ

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　表現　読解　論理　論文作成　　敬語
Japanese expression reading

(B1042504s)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504s	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	和泉　司 IZUMI Tsukasa				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

自分の考えをまとめ、論理的な文章を書く練習を行う。
特定のテーマ、または自分自身の設定したテーマについて、小論文（800 字）にして自分自身の考えをまとめる。
他の学生の文章を読んで、自分の意見との共通点、相違点について考え、意見を述べられるようにする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第 1 回　ガイダンス、小作文作成練習
第 2 回　小論文演習①
第 3 回　小論文演習②
第 4 回　小論文演習③
第 5 回　小論文演習④
第 6 回　小論文演習⑤
第 7 回　小論文演習⑥
第 8 回　中間まとめ
第 9 回　小論文演習⑦
第 10 回　小論文演習⑧
第 11 回　小論文演習⑨
第 12 回　小論文演習⑩
第 13 回　小論文演習⑪
第 15 回　小論文演習⑫

1: guidance
2: writing short essay
3: writing short essay
4: writing short essay
5: writing short essay
6: writing short essay
7: writing short essay
8: writing short essay
9: writing short essay
10: writing short essay
11: writing short essay
12: writing short essay
13: writing short essay
14: writing short essay
15: writing short essay

予習・復習内容

小論文の添削・講評をチェックして、論理展開や内容の不足・過剰について確認できるようにする。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜、プリントを配布する。

参考書に関する補足事項

達成目標

1）自分の意見を論理的に表現する力を身につける。
2）決まった分量で自分の意見をまとめられるようにする。
3）他者の文章を読み、そのいい点・悪い点について考えられるようにする。
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension,.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポートの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

授業を実施
Regular Class

定期試験詳細

レポートで実施

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

木曜日の昼休み。その他の時間も、事前にメール等で連絡があったら受け付けます。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A) (Architecture and Building Science Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Architecture and Building Science Course) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Civil and Environmental Engineering Course)The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills

キーワード
国語　表現　読解力　小論文
Japanese expression reading essay

(B1042504t)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504t	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	日比野　浩信 HIBINO Hironobu				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

日常的な、身内相手に使用している言葉遣いだけでは不足であることは、うすうす感じていることであろう。
「正しい日本語」とは一概に規定できるものではないが、丁寧かつ不足のない言葉遣いを習得する必要がある。
ここでは敬語を中心に、礼儀正しい日本語を習得することを目的とする。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第1回　ガイダンス
第2回　敬語について
第3回　尊敬語1
第4回　尊敬語2
第5回　尊敬語3
第6回　尊敬語4
第7回　尊敬語5
第8回　謙譲語1
第9回　謙譲語2
第10回　謙譲語3
第11回　謙譲語4
第12回　丁寧語1
第13回　丁寧語2
第14回　丁寧語3
第15回　まとめ
1　Guidance
2　About an honorific
3　Term of respect 1
4　Term of respect 2
5　Term of respect 3
6　Term of respect 4
7　Term of respect 5
8　Honorific words 1
9　Honorific words 2
10　Honorific words 3
11　Honorific words 4
12　Honorific expression 1
13　Honorific expression 2
14　Honorific expression 3
15　Summary

予習・復習内容

言葉は「使える」ことが大切である。授業で学んだ具体例を、スムーズに発声できるよう、練習すること。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

日本語学　国文学

教科書に関する補足事項

特になし。
プリントを準備する予定

参考書に関する補足事項

達成目標
尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いを理解し、正しい敬語を実際に使うことができるようになること
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension, self-expression and communication.
To create and comprehend various types of polite expressions and business expressions.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
質疑応答を含むことから出席40%、達成目標を全て含んだレポート(もしくはテスト)40%、その他課題等20%の割合で評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他の評価点の合計点が 55 点(100 点満点)以上

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
なし

オフィスアワー
授業直後の休み時間

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード 敬語　日本語 Japanese expression honorific

(B1042504u)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504u	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	島田　大助 SHIMADA Daisuke				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

ビジネスの社会で果たす文書の役割を理解し、目的に応じた文書を作成できるようになる。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.

Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.

Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

文書を記述するために必要とする知識についての講義を行う。また、受講者には講義の内容を踏まえた文書の作成を課す。

1.　ガイダンス
2.　ビジネス文書　文字の表記につて
3.　文のしくみについて
4.　要約文の作成
5.　待遇表現についての解説
6.　待遇表現についての演習
7.　社内・社外通知文書についての書式解説
8.　社内・社外通知文書の作成
9.　稟議書についての書式解説、作成
10. 規定文書についての書式解説
11. 規定文書の作成
12. 報告書についての書式解説、作成
13. 議事録についての書式解説
14. 議事録の作成
15. 縦書き社交文書についての書式解説、作成
16. 定期試験

1.　Guidance
2.　Lecture①
3.　Lecture②
4.　Writing①
5.　Lecture③
6.　Writing②
7.　Lecture④
8.　Writing③
9.　Lecture⑤　Writing④
10. Lecture⑥
11. Writing⑤
12. Lecture⑦　Writing⑥
13. Lecture⑧　Debate①
14. Debate②　Writing⑦
15. Lecture⑨　Writing⑧
16. Final exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について配布資料等を参考に予習してくること。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

なし。

教科書に関する補足事項

教科書：必要に応じてプリントを配布する。

参考書に関する補足事項

なし。

達成目標

1）日本語力の基礎を身につける。
2）文書作成に必要な日本語力を身につける。
3）ビジネス文書作成の基本を理解する。
4）目的に応じたビジネス文書を適切な書式で記述できるようになる。

To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension.
To create and comprehend various types of polite expressions and business expressions.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価は、提出を求める課題文書（30 点）および期末試験（70 点）を合計したもので評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

授業と定期試験(対面)
Regular Class and Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

非常勤講師室
e-mail：shimada@sozo.ac.jp

ウェルカムページ

なし。

オフィスアワー

授業後すぐ。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A) (Architecture and Building Science Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Architecture and Building Science Course) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Civil and Environmental Engineering Course)The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills

キーワード
日本語　文書作成
Japanese expression composition

(B1042504v)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504v	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	水木　一恵 MIZUKI Ichie				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

文章を要約する作業を通じて、表現に対する意識を高める。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.

Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.

Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

第1回　オリエンテーション
第2回　ブックレポート①
第3回　ブックレポート②
第4回　ブックレポート③
第5回　自己分析①
第6回　自己分析②
第7回　文体
第8回　要約　説明文①
第9回　要約　説明文②
第 10 回　要約　物語文①
第 11 回　要約　物語文②
第 12 回　要約　物語文③
第 13 回　敬語
第 14 回　レポートの書き方
第 15 回　まとめ
1.Introduction
2.Report about a book 1
3.Report about a book 2
4.Report about a book 3
5.Self-introduction 1
6.Self-introduction 2
7.a style
8.Summary essay 1
9.Summary essay 2
10.Summary novel 1
11.Summary novel 2
12.Summary novel 3
13.Honorific words
14.How to write a report
15.Summary

予習・復習内容

課題文を必ず提出して下さい。

It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜プリントを配布します。

参考書に関する補足事項

達成目標

1)レポートの構成を学ぶ。
2)文章の要約を的確に身につける。
3)相手に伝わる文章を書く。
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension, self-expression and communication.
To create and comprehend various types of polite expressions and business expressions.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価の割合は平常点 10%、提出課題 30%、定期試験 60%とする。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 55 点(100 点満点)以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
非常勤講師室

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応
機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において，論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A) (Architecture and Building Science Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Architecture and Building Science Course) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
(E) (Civil and Environmental Engineering Course)The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills

キーワード
国語　表現　要約
Japanese expression digest

(B1042504w)国語表現法[Japanese Expressions]

科目名[英文名]	国語表現法[Japanese Expressions]				
時間割番号	B1042504w	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤田　祐史 FUJITA Yuji				
ナンバリング	GEN_FUN81010				

授業の目標

広義の「科学の本」について語ること（ブックトーク）を通し、門外漢にもわかりやすく専門的内容を伝える表現力を身につける。
また、その内容についての意見交換や感想を書くことを通し、話を組み立てる力、他の人の意見を聞く力を養う。

To inculcate the Japanese language ability required that of a college student, and the ability to express him/herself and fundamental communication skills of a researcher and a working adult.
Passage comprehension, writing of thesis and reports, content summarizing, presentation and debate take place in order to stretch the abilities to read, write, listen and speak.
Teaching materials include the use of literature, commentary works and newspaper and journal articles. Students also get to learn how to write resumes, entry sheets, business documents and also the appropriate use of polite expressions.

授業の内容

授業では受講者それぞれにおすすめの「科学の本」の紹介（ブックトーク）をしてもらう。1．事前に自身の紹介したい本を読みこみ、2．発表、3．意見交換、4．それぞれ感想を書く、の順に授業を進める。
第 1 回　ガイダンス
第 2 回　ブックトーク（講義）
第 3 回　ブックトーク（発表）
第 4 回　同
第 5 回　同
第 6 回　同
第 7 回　同
第 8 回　同
第 9 回　同
第 10 回　同
第 11 回　同
第 12 回　同
第 13 回　同
第 14 回　同
第 15 回　同
※ブックトークの回数、レクチャーの回数は、受講人数により第一回の授業中に調整する。
1: guidance
2: lecture and writing
3: presentation and writing
4: presentation and writing
5: presentation and writing
6: presentation and writing
7: presentation and writing
8: presentation and writing
9: presentation and writing
10: presentation and writing
11: presentation and writing
12: presentation and writing
13: presentation and writing
14: presentation and writing
15: presentation and writing

予習・復習内容

発表者は授業で紹介する本を事前に読みこみ、入念な発表準備をしてくること。
It is required that students do the proper preparation and revision of learning materials, textbooks and assignments.

関連科目

教科書に関する補足事項
適宜プリントを配布する。
distribute prints

参考書に関する補足事項

達成目標
1）専門的な内容を平明かつ他の人に興味を持ってもらえるように表現できること。
2）他の人の発表・意見を聞いて、読書の関心の幅を広げること。
3）プレゼンテーションの構成力を身につけること。
To inculcate the fundamental abilities of essay writing, passage comprehension, self-expression and communication.
To appropriately respond and use expressions to various requests.
To possess the necessary vocabulary skills and mannerism of that of a college student.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
発表 50%、毎回の感想（リアクションペーパー）30%、授業への参加態度 20%の割合で総合的に評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2,D2～3
A:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポート・期末テスト・その他評価点の合計点が 55 点（100 点満点）以上

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業後 20 分程度、講師控室か教室で。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
国語　表現
Japanese Expression

(B1043503a)日本文化[Japanese Culture]

科目名[英文名]	日本文化[Japanese Culture]				
時間割番号	B1043503a	**区分**	学術素養科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FUN81020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　4/13　イントロダクション
第2回　4/20　第3部　1.「内容理解」(中文)
第3回　4/27　第3部　1.「内容理解」(中文)
第4回　5/11　第3部　2.「内容理解」(長文)
第5回　5/18　第3部　2.「内容理解」(長文)
第6回　5/25　第3部　3.「主張理解」(長文)
第7回　6/01　第3部　3.「主張理解」(長文)
第8回　6/08　復習と中間試験
第9回　6/15　第3部　4.「統合理解」
第 10 回　6/22　第3部　4.「統合理解」
第 11 回　6/29　第3部　4.「統合理解」
第 12 回　7/06　第3部　5.「情報検索」
第 13 回　7/13　第3部　5.「情報検索」
第 14 回　7/20　第3部　5・「情報検索」
第 15 回　7/27　模擬試験
第 16 回　8/03　復習と期末試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 01 (Apr.13) Introduction
Week 02 (Apr.20) Part 3-1. Understanding content (mid-length sentences)
Week 03 (Apr.27) Part 3-1. Understanding content (mid-length sentences)
Week 04 (May 11) Part 3-2. Understanding content (long sentences)
Week 05 (May 18) Part 3-2. Understanding content (long sentences)
Week 06 (May 25) Part 3-3. Understanding argument (long sentences)
Week 07 (Jun.01) Part 3-3. Understanding argument (long sentences)
Week 08 (Jun.08) Review and Mid-term exam
Week 09 (Jun.15) Part 3-4　Integrating two essays
Week 10 (Jun.22) Part 3-4　Integrating two essays
Week 11 (Jun.29) Part 3-4　Integrating two essays
Week 12 (Jul.06) Part 3-5　Finding out what you need to know
Week 13 (Jul.13) Part 3-5　Finding out what you need to know
Week 14 (Jul.20) Part 3-5　Finding out what you need to know
Week 15 (Jul.27) Mock exam of JLPT
Week 16 (Aug.03) Review and Final exam

予習・復習内容
毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目
科学技術日本語

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解 N1			**ISBN**	9784883195718
	著者名	福岡理恵子ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1）上級レベル（N1 レベル）の文章の文型・文法・語彙がわかる。
2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：中間試験４０％ 、期末試験４０％、小テスト・課題１０％、授業への貢献度１０％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Midterm exam 40%, Final exam 40%, Quizzes and other assignments 10% , Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
メール連絡の時は、「件名」に「日本文化の～です」と書いてください。（「～」にはあなたの名前）

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Japanese Culture" as the subject .

ウェルカムページ

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00

Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
上級日本語　読解　日本語能力試験N1
Advanced Japanese　Reading Comprehension　JLPT N1

(B1043503b)日本文化[Japanese Culture]

科目名[英文名]	日本文化[Japanese Culture]				
時間割番号	B1043503b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_FUN81020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　イントロダクション
第2回　第3部　1.「内容理解」(中文)
第3回　第3部　1.「内容理解」(中文)
第4回　第3部　2.「内容理解」(長文)
第5回　第3部　2.「内容理解」(長文)
第6回　第3部　3.「主張理解」(長文)
第7回　第3部　3.「主張理解」(長文)
第8回　復習と中間試験
第9回　第3部　4.「統合理解」
第10回　第3部　4.「統合理解」
第11回　第3部　4.「統合理解」
第12回　第3部　5.「情報検索」
第13回　第3部　5.「情報検索」
第14回　第3部　5・「情報検索」
第15回　模擬試験
第16回　復習と期末試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1.　Introduction
Week2.　Part3－1
Week3.　Part3－1
Week 4.　Part3－2
Week 5.　Part3－2
Week 6.　Part3－3
Week 7.　Part3－3
Week 8.　Review and Midterm Exam
Week 9.　Part3－4
Week 10.　Part3－4
Week 11.　Part3－4
Week 12.　Part3－5
Week 13.　Part3－5
Week 14.　Part3－5
Week 15.　Part3－5
Week 16.　Review and Term exam

予習・復習内容

毎回復習してください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目
科学技術日本語

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解　N1			**ISBN**	9784883195718
	著者名	福岡理恵子ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1）上級レベル（N1 レベル）の文章の文型・文法・語彙がわかる。
2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験80％（中間試験40％、期末試験40％）、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上
B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Grading Policy: Midterm exam 40%, Final exam 40%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.
Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
金曜日　11：00～11：30（事前にメールで予約してください）

Fri.　11：00～11：30（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（E）【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B1043504a)日本語上級ＩＡ(読解)[Advanced Japanese 1A(Reading)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＡ(読解)[Advanced Japanese 1A(Reading)]				
時間割番号	B1043504a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回 10/12　イントロダクション　&　第1部　1．1)「対比」
第2回 10/19　第1部　1．1)「対比」
第3回 10/26　第1部　1．2)「言い換え」
第4回 11/02　第1部　1．2)「言い換え」
第5回 11/09　第1部　1．3)「比喩」
第6回 11/16　第1部　1．4)「疑問提示文」
第7回 11/30　第1部　1．4)「疑問提示文」
第8回 12/07　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 (Oct.12)　Introduction　&　Part1　1.1. Comparison
Week 2 (Oct.19)　Part1　1.1. Comparison
Week 3 (Oct.26)　Part1　1.2. Paraphrase
Week 4 (Nov.02)　Part1　1.2. Paraphrase
Week 5 (Nov.09)　Part1　1.3. Metaphor
Week 6 (Nov.16)　Part1　1.4. Interrogative Sentences
Week 7 (Nov.30)　Part1　1.4. Interrogative Sentences
Week 8 (Dec.07)　Review and Final exam

予習・復習内容

毎回復習してください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.

You have a quiz every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解　日本語能力試験N1			**ISBN**	9784866195718
	著者名	福岡理恵子ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)上級レベル(N1 レベル)の文章の文型・文法・語彙がわかる。

2)文章の大意が把握できる。

1)To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).

2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B1～B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

メール連絡の時は、「件名」に「日本語上級ＩＡ（読解）の～です」と書いてください。（「～」にはあなたの名前）

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Advanced Japanese IA (Reading)" as the subject .

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜　11:00～12:00

Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

日本語　読解　日本語能力試験N1
Advanced Japanese　Reading Comprehension　JLPT N1

(B1043504b)日本語上級ＩＡ(読解)[Advanced Japanese 1A(Reading)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＡ(読解)[Advanced Japanese 1A(Reading)]				
時間割番号	B1043504b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回　イントロダクション ＆ 第1部 １．1)「対比」
第2回　第1部 １．1)「対比」
第3回　第1部 １．2)「言い換え」
第4回　第1部 １．2)「言い換え」
第5回　第1部 １．3)「比喩」
第6回　第1部 １．4)「疑問提示文」
第7回　第1部 １．4)「疑問提示文」
第8回　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Introduction ＆ Part1 1.1)"Taihi"
Week2. Part1 1.1)"Taihi"
Week3. Part1 1.2) "Iikae"
Week 4. Part1 1.2) "Iikae"
Week 5. Part1 1.3) "Hiyu"
Week 6. Part1 1.4) "Gimonteijibun"
Week 7. Part1 1.4) "Gimonteijibun"
Week 8. Review and Final exam

予習・復習内容

毎回復習してください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.

You have a quiz every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解　日本語能力試験N1			**ISBN**	
	著者名	福岡理恵子ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)上級レベル(N1 レベル)の文章の文型・文法・語彙がわかる。

2)文章の大意が把握できる。

1)To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).

2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　 左記の割合で総合的に評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上
B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.
Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日　12：45～13：15（事前にメールで予約してください）
Wed.　12：45～13：15（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
日本語　日本語能力試験N1
Japanese　JLPT N1

(B1043505a)日本語上級ＩＢ(読解)[Advanced Japanese 1B(Reading)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＢ(読解)[Advanced Japanese 1B(Reading)]				
時間割番号	B1043505a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回　12/14　第1部　2．1)「指示語を問う」
第2回　12/21　第1部　2．1)「指示語を問う」
第3回　01/11　第1部　2．2)「だれが」「何を」などを問う
第4回　01/25　第1部　2．3)下線部の意味を問う
第5回　02/01　第1部　2．3)下線部の意味を問う
第6回　02/08　第1部　2．4)理由を問う
第7回　02/15　第1部　2．5)例を問う
第8回　02/22　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 (Dec.14)　Part1　2.1. Questioning on a demonstrative
Week 2 (Dec.21)　Part1　2.1. Questioning on a demonstrative
Week 3 (Jan.11)　Part1　2.2. Questioning "who" "what", etc.
Week 4 (Jan.25)　Part1　2.3. Questioning the meaning of an underlined part
Week 5 (Feb.01)　Part1　2.3. Questioning the meaning of an underlined part
Week 6 (Feb.08)　Part1　2.4. Questioning the reason
Week 7 (Feb.15)　Part1　2.5. Questioning the example
Week 8 (Feb.22)　Review and Final exam

予習・復習内容

毎回復習してください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.

You have a quiz every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解　日本語能力試験N1		**ISBN**	9784866195718
	著者名		**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)上級レベル(N1 レベル)の文章の文型・文法・語彙がわかる。

2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B1～B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

メール連絡の時は、「件名」に「日本語上級ＩＢ（読解）の～です」と書いてください。（「～」にはあなたの名前）

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Advanced Japanese IB(Reading)" as the subject .

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜　11:00～12:00
Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
日本語　日本語能力試験N1
Japanese　JLPT N1

(B1043505b)日本語上級ＩＢ(読解)[Advanced Japanese 1B(Reading)]

科目名[英文名]	日本語上級ＩＢ(読解)[Advanced Japanese 1B(Reading)]				
時間割番号	B1043505b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_FOR36020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回　第1部　2．1)「指示語を問う」
第2回　第1部　2．1)「指示語を問う」
第3回　第1部　2．2)「だれが」「何を」などを問う
第4回　第1部　2．3)下線部の意味を問う
第5回　第1部　2．3)下線部の意味を問う
第6回　第1部　2．4)理由を問う
第7回　第1部　2．5)例を問う
第8回　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1.　Part1　2.1) ″Shijigo o tou″
Week 2.　Part1　2.1) ″Shijigo o tou″
Week 3.　Part1　2.2) ″Dare ga″″Nani o″nado o tou
Week 4.　Part1　2.3) Kasen no imi o tou
Week 5.　Part1　2.3) Kasen no imi o tou
Week 6.　Part1　2.4) Riyuu o tou
Week 7.　Part1　2.5) Rei o tou
Week 8.　Review and Final exam

予習・復習内容

毎回復習してください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.

You have a quiz every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解　日本語能力試験N1		**ISBN**	
	著者名		**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）上級レベル（N1 レベル）の文章の文型・文法・語彙がわかる。
2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上
B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.
Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日　12：45～13：15（事前にメールで予約してください）
Wed.　12：45～13：15（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

日本語　日本語能力試験N1
Japanese　JLPT N1

(B1043506a)日本語上級ⅡA(読解)[Advanced Japanese 2A(Reading)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡA(読解)[Advanced Japanese 2A(Reading)]				
時間割番号	B1043506a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FUN31020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　4/13　イントロダクション
第2回　4/20　第3部　1.「内容理解」(中文)
第3回　4/27　第3部　1.「内容理解」(中文)
第4回　5/11　第3部　2.「内容理解」(長文)
第5回　5/18　第3部　2.「内容理解」(長文)
第6回　5/25　第3部　3.「主張理解」(長文)
第7回　6/01　第3部　3.「主張理解」(長文)
第8回　6/08　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 01 (Apr.13) Introduction
Week 02 (Apr.20) Part 3-1. Understanding content (mid-length sentences)
Week 03 (Apr.27) Part 3-1. Understanding content (mid-length sentences)
Week 04 (May 11) Part 3-2. Understanding content (long sentences)
Week 05 (May 18) Part 3-2. Understanding content (long sentences)
Week 06 (May 25) Part 3-3. Understanding argument (long sentences)
Week 07 (Jun.01) Part 3-3. Understanding argument (long sentences)
Week 08 (Jun.08) Review and Mid-term exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語上級ⅡA(文法)、日本語上級ⅡA(語彙)
Advanced Japanese2A(Grammar)、Advanced Japanese 2A(Vocabulary)

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解　N1			**ISBN**	9784883195718
	著者名	福岡理恵子ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)上級レベル(N1 レベル)の文章の文型・文法・語彙がわかる。

2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。
B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzzes 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or more
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or more
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
メール連絡の時は、「件名」に「日本語上級ⅡA（読解）の～です」と書いてください（「～」にはあなたの名前）。

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Advanced Japanese 2A (Reading)" as the subject.

ウェルカムページ

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00

Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

上級日本語　読解　日本語能力試験N1
Advanced Japanese　Reading Comprehension　JLPT N1

(B1043506b)日本語上級ⅡA(読解)[Advanced Japanese 2A(Reading)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡA(読解)[Advanced Japanese 2A(Reading)]				
時間割番号	B1043506b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_FUN31020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　イントロダクション
第2回　第3部　1.「内容理解」(中文)
第3回　第3部　1.「内容理解」(中文)
第4回　第3部　2.「内容理解」(長文)
第5回　第3部　2.「内容理解」(長文)
第6回　第3部　3.「主張理解」(長文)
第7回　第3部　3.「主張理解」(長文)
第8回　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1.　Introduction
Week2.　Part3－1
Week3.　Part3－1
Week 4.　Part3－2
Week 5.　Part3－2
Week 6.　Part3－3
Week 7.　Part3－3
Week 8.　Review and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語上級ⅡA(文法)、日本語上級ⅡA(語彙)
Advanced Japanese2A(Grammar)、Advanced Japanese 2A(Vocabulary)

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解　N1			**ISBN**	9784883195718
	著者名	福岡理恵子ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)上級レベル(N1 レベル)の文章の文型・文法・語彙がわかる。

2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上
B4,M2,D2～3
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.
Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜日　11：00～11：30（事前にメールで予約してください）

Fri.　11：00～11：30（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード

(B1043507a)日本語上級ⅡB(読解)[Advanced Japanese 2B(Reading)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡB(読解)[Advanced Japanese 2B(Reading)]				
時間割番号	B1043507a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FUN31020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　6/15　第3部　4.「統合理解」
第2回　6/22　第3部　4.「統合理解」
第3回　6/29　第3部　4.「統合理解」
第4回　7/06　第3部　5.「情報検索」
第5回　7/13　第3部　5.「情報検索」
第6回　7/20　第3部　5・「情報検索」
第7回　7/27　模擬試験
第8回　8/03　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 (Jun.15)　Part 3-4　Integrating two essays
Week 2 (Jun.22)　Part 3-4　Integrating two essays
Week 3 (Jun.29)　Part 3-4　Integrating two essays
Week 4 (Jul.06)　Part 3-5　Finding out what you need to know
Week 5 (Jul.13)　Part 3-5　Finding out what you need to know
Week 6 (Jul.20)　Part 3-5　Finding out what you need to know
Week 7 (Jul.27)　Mock exam of JLPT
Week 8 (Aug.03)　Review and Final exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語上級ⅡA(文法)、日本語上級ⅡA(語彙)
Advanced Japanese2A(Grammar)、Advanced Japanese 2A(Vocabulary)

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解日本語能力試験 N1			**ISBN**	9784883195718
	著者名	福岡理恵子 [ほか] 著	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）上級レベル（N1 レベル）の文章の文型・文法・語彙がわかる。
2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験８０％ 、小テスト・課題１０％、授業への貢献度１０％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
メール連絡の時は、「件名」に「日本語上級ⅡＢ（読解）の～です」と書いてください。（「～」にはあなたの名前）

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Advanced Japanese 2B (Reading)" as the subject .

ウェルカムページ

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00

Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

上級日本語　読解　日本語能力試験N1
Advanced Japanese　Reading Comprehension　JLPT N1

(B1043507b)日本語上級ⅡB(読解)[Advanced Japanese 2B(Reading)]

科目名[英文名]	日本語上級ⅡB(読解)[Advanced Japanese 2B(Reading)]				
時間割番号	B1043507b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_FUN31020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第1回　第3部　4.「統合理解」
第2回　第3部　4.「統合理解」
第3回　第3部　4.「統合理解」
第4回　第3部　5.「情報検索」
第5回　第3部　5.「情報検索」
第6回　第3部　5・「情報検索」
第7回　模擬試験
第8回　復習と定期試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1.　Part3－4
Week 2.　Part3－4
Week 3.　Part3－4
Week 4.　Part3－5
Week 5.　Part3－5
Week 6.　Part3－5
Week 7.　practice examination
Week 8.　Review and Exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語上級ⅡA(文法)、日本語上級ⅡA(語彙)
Advanced Japanese2A(Grammar)、Advanced Japanese 2A(Vocabulary)

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解　N1			**ISBN**	9784883195718
	著者名	福岡理恵子ほか	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）上級レベル（N1 レベル）の文章の文型・文法・語彙がわかる。
2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％　左記の割合で総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（80点満点）、小テスト・課題（10点満点）、授業への貢献度（10点満点）の合計点（100点満点）で以下のように評価する。

B1～3, M1,D1
S：合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：合計点が 60 点（100 点満点）以上
B4,M2,D2～3
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：合計点が 55 点（100 点満点）以上

Grading Policy: Final exam 80%, short quizzes and other assignments 10% , contribution to the class 10%.
Evaluation criteria
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points 60 or higher (out of 100 points).
B4, M2, D2～3
A: Total points 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜日　11：00～11：30（事前にメールで予約してください）

Fri.　11：00～11：30（Please contact me by e-mail before your visit.）

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B10435080)技術科学日本語Ⅰ[Japanese for Science and Technology 1]

科目名[英文名]	技術科学日本語Ⅰ[Japanese for Science and Technology 1]				
時間割番号	B10435080	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	金 1～1,金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子, 吉村　弓子 SAKAMOTO Yuko, YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FUN81020				

授業の目標

留学生対象の授業です。中上級レベルの総合的な日本語力を身に付けます。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean lower advanced level Japanese.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　L1-1
第 2 回　L1-2
第 3 回　L1-3
第 4 回　L2-1
第 5 回　L2-2
第 6 回　L2-3
第 7 回　L3-1
第 8 回　L3-2
第 9 回　L3-3
第 10 回　L4-1
第 11 回　L4-2
第 12 回　L4-3
第 13 回　L5-1
第 14 回　L5-2
第 15 回　復習
第 16 回　定期試験

Level: Lower advanced level(JLPT N2-N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. L1-1
2. L1-2
3. L1-3
4. L2-1
5. L2-2
6. L2-3
7. L3-1
8. L3-2
9. L3-3
10. L4-1
11. L4-2
12. L4-3
13. L5-1
14. L5-2
15. Review
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新中級から上級への日本語　本冊			**ISBN**	9784789014625
	著者名	鎌田修他	**出版社**	The　Japan	**出版年**	2012

				Times		

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル（JLPT N2-N1 レベル）の日本語がわかる。

To understand lower advanced text(JLPT N2-N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード 中上級日本語　日本語能力試験　N2 N1 Lower advanced Japanese JLPT N2 N1

(B1043509a)技術科学日本語Ⅱ[Japanese for Science and Technology 2]

科目名[英文名]	技術科学日本語Ⅱ[Japanese for Science and Technology 2]				
時間割番号	B1043509a	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_FUN81020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回　10/12　イントロダクション　&　第1部　1．1)「対比」
第2回　10/19　第1部　1．1)「対比」
第3回　10/26　第1部　1．2)「言い換え」
第4回　11/02　第1部　1．2)「言い換え」
第5回　11/09　第1部　1．3)「比喩」
第6回　11/16　第1部　1．4)「疑問提示文」
第7回　11/30　第1部　1．4)「疑問提示文」
第8回　12/07　復習と中間試験
第9回　12/14　第1部　2．1)「指示語を問う」
第 10 回　12/21　第1部　2．1)「指示語を問う」
第 11 回　01/11　第1部　2．2)「だれが」「何を」などを問う
第 12 回　01/25　第1部　2．3)下線部の意味を問う
第 13 回　02/01　第1部　2．3)下線部の意味を問う
第 14 回　02/08　第1部　2．4)理由を問う
第 15 回　02/15　第1部　2．5)例を問う
第 16 回　02/22　復習と期末試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 01　Oct. 12　Introduction　&　Part1　1.1. Comparison
Week 02　Oct. 19　Part1　1.1. Comparison
Week 03　Oct. 26　Part1　1.2. Paraphrase
Week 04　Nov. 02　Part1　1.2. Paraphrase
Week 05　Nov. 09　Part1　1.3. Metaphor
Week 06　Nov. 16　Part1　1.4. Interrogative Sentences
Week 07　Nov. 30　Part1　1.4. Interrogative Sentences
Week 08　Dec. 07　Review and Midterm Exam
Week 09　Dec. 14　Part1　2.1. Questioning on a demonstrative
Week 10　Dec. 21　Part1　2.1. Questioning on a demonstrative
Week 11　Jan. 11　Part1　2.2. Questioning "who" "what", etc.
Week 12　Jan. 25　Part1　2.3. Questioning the meaning of an underlined part
Week 13　Feb. 01　Part1　2.3. Questioning the meaning of an underlined part
Week 14　Feb. 08　Part1　2.4. Questioning the reason
Week 15　Feb. 15　Part1　2.5. Questioning the example
Week 16　Feb. 22　Review and Final Exam

予習・復習内容

毎回復習と予習をしてください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class, and prepare for the next class.

You have a quiz every class.

関連科目

教科書１	書名	新完全マスター読解　日本語能力試験N1			ISBN	9784886195718
	著者名	福岡理恵子ほか	出版社	スリーエーネットワーク	出版年	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）上級レベル（N1 レベル）の文章の文型・文法・語彙がわかる。
2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験８０％ 、小テスト・課題１０％、授業への貢献度１０％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

メール連絡の時は、「件名」に「技術科学日本語の～です」と書いてください（「～」にはあなたの名前）。
Write ″I am (your name) of Japanese for Science and Technology″ as the subject of your e-mail.

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜　11:00～12:00

Fri.　11:00～12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
留学生　上級日本語　読解　日本語能力試験N1
International Students, Advanced Japanese, Reading Comprehension, JLPT N1

(B1043509b)技術科学日本語Ⅱ[Japanese for Science and Technology 2]

科目名[英文名]	技術科学日本語Ⅱ[Japanese for Science and Technology 2]				
時間割番号	B1043509b	**区分**	特例科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子 MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_FUN81020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N1レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N1 level materials.

授業の内容

上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回　10/13　イントロダクション　＆　第1部　１．1)「対比」
第2回　10/20　第1部　１．1)「対比」
第3回　10/27　第1部　１．2)「言い換え」
第4回　11/10　第1部　１．2)「言い換え」
第5回　11/17　第1部　１．3)「比喩」
第6回　11/27　第1部　１．4)「疑問提示文」
第7回　12/01　第1部　１．4)「疑問提示文」
第8回　12/08　復習と中間試験
第9回　12/15　第1部　２．1)「指示語を問う」
第 10 回　12/22　第1部　２．1)「指示語を問う」
第 11 回　01/19　第1部　２．2)「だれが」「何を」などを問う
第 12 回　01/26　第1部　２．3)下線部の意味を問う
第 13 回　02/02　第1部　２．3)下線部の意味を問う
第 14 回　02/09　第1部　２．4)理由を問う
第 15 回　02/16　第1部　２．5)例を問う
第 16 回　02/23　復習と期末試験

Level: Advanced level (JLPT　N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week 01　Oct. 13　Introduction　&　Part1　1.1. Comparison
Week 02　Oct. 20　Part1　1.1. Comparison
Week 03　Oct. 27　Part1　1.2. Paraphrase
Week 04　Nov. 10　Part1　1.2. Paraphrase
Week 05　Nov. 17　Part1　1.3. Metaphor
Week 06　Nov. 24　Part1　1.4. Interrogative Sentences
Week 07　Dec. 01　Part1　1.4. Interrogative Sentences
Week 08　Dec. 08　Review and Midterm Exam
Week 09　Dec. 15　Part1　2.1. Questioning on a demonstrative
Week 10　Dec. 22　Part1　2.1. Questioning on a demonstrative
Week 11　Jan. 19　Part1　2.2. Questioning ″who″ ″what″, etc.
Week 12　Jan. 26　Part1　2.3. Questioning the meaning of an underlined part
Week 13　Feb. 02　Part1　2.3. Questioning the meaning of an underlined part
Week 14　Feb. 09　Part1　2.4. Questioning the reason
Week 15　Feb. 16　Part1　2.5. Questioning the example
Week 16　Feb. 23　Review and Final Exam

予習・復習内容

毎回復習と予習をしてください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class, and prepare for the next class.

You have a quiz every class.

関連科目

教科書１	書名	新完全マスター読解　日本語能力試験N1			ISBN	9784886195718
	著者名	福岡理恵子ほか	出版社	スリーエーネットワーク	出版年	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）上級レベル（N1 レベル）の文章の文型・文法・語彙がわかる。
2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of advanced text(JLPT N1 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験８０％ 、小テスト・課題１０％、授業への貢献度１０％　 左記の割合で総合的に評価します。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（８０点満点）、小テスト・課題（１０点満点）、授業への貢献度（１０点満点）の合計点（１００点満点）で以下のように評価します。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。

出席：欠席は、やむをえない場合5回まで許されます。
6回以上欠席した場合は単位を認定しません。
15 分以上の遅刻・早退は、欠席とみなします。
15 分未満の遅刻・早退3回は、欠席１回とみなします。

Grading Policy : Midterm exam 40% , Final exam 40%, Short quizzes and other assignments 10% , Contribution to the class 10%

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of midterm exam and term exam, 60 or higher (out of 100 points).

Attendance: Students who miss 6 or more class meetings including week1 may not take the final exam and will automatically fail the course.
Students who come 15 minutes or more late, or leave 15 minutes or more early will be considered absent.
3 tardiness within 15 minutes will be counted as 1 absence.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

メール連絡の時は、「件名」に「技術科学日本語の～です」（「～」には名前）と書いてください。
Write ″I am (your name) of Japanese for Science and Technology″ as the subject of your e-mail.

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜　11:00～12:00
Fri. 11:00～12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

留学生　上級日本語　読解　日本語能力試験N1

International Students, Advanced Japanese, Reading Comprehension, JLPT N1

(B1043704i)英語特別演習Ⅱ[Special English Practice 2]

科目名[英文名]	英語特別演習Ⅱ[Special English Practice 2]				
時間割番号	B1043704i	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	加藤　三保子, 英語科責任教員 KATOH Mihoko, English Manager				
ナンバリング	GEN_FUN81020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

1 週: オリエンテーション, Unit 8 (pp.16～17), Unit 24 (pp.48～49)
2 週: Unit 24 (pp.48～49), Unit 14 (pp.28～29)
3 週: Unit 15 (pp.30～31), Unit 16 (pp.32～33)
4 週: Unit 16 (pp.32～33), Unit 18 (pp.36～37)
5 週: Unit 19 (pp.38～39), Unit 20 (pp.40～41)
6 週: Unit 20 (pp.40～41), Unit 22 (pp.44～45)
7 週: Unit 4 (pp.8～9), Unit 25 (pp.50～51)
8 週: Unit 25 (pp.50～51), Unit 26 (pp.52～53)
9 週: 小テスト、遅れのキャッチアップなど
10 週: Unit 28 (pp.56～57), Unit 29 (pp.58～59)
11 週: Unit 29 (pp.58～59), Unit 30 (pp.60～61)
12 週: Unit 31 (pp.62～63), Unit 32 (pp.64～65)
13 週: Unit 32 (pp.64～65), Unit 34 (pp.68～69)
14 週: Unit 38 (pp.76～77), Unit 40 (pp.80～81)
15 週: Unit 40 (pp.80～81), Unit 43 (pp.86～87)
16 週: 期末テスト

Week 1: Course Introduction, Unit 8 (pp.16～17), Unit 24 (pp.48～49)
Week 2: Unit 24 (pp.48～49), Unit 14 (pp.28～29)
Week 3: Unit 15 (pp.30～31), Unit 16 (pp.32～33)
Week 4: Unit 16 (pp.32～33), Unit 18 (pp.36～37)
Week 5: Unit 19 (pp.38～39), Unit 20 (pp.40～41)
Week 6: Unit 20 (pp.40～41), Unit 22 (pp.44～45)
Week 7: Unit 4 (pp.8～9), Unit 25 (pp.50～51)
Week 8: Unit 25 (pp.50～51), Unit 26 (pp.52～53)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 28 (pp.56～57), Unit 29 (pp.58～59)
Week 11: Unit 29 (pp.58～59), Unit 30 (pp.60～61)
Week 12: Unit 31 (pp.62～63), Unit 32 (pp.64～65)
Week 13: Unit 32 (pp.64～65), Unit 34 (pp.68～69)
Week 14: Unit 38 (pp.76～77), Unit 40 (pp.80～81)
Week 15: Unit 40 (pp.80～81), Unit 43 (pp.86～87)
Week 16: Term Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Basic Grammar in Use Fourth Edition			**ISBN**	9781316646755
	著者名	Raymond Murphy	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1. コミュニケーションに必要な文法力を養うこと。
2. 各文法事項を理解し、練習問題を解けるようになること。

1. To develop grammar competency required for communication.
2. To be able to solve grammar exercises.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

期末テスト(80点満点)の点数に小テスト・課題(10点満点)，授業への貢献度(10点満点)の点数を足して、
S:達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the term exam (80%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S; 90 % or more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
研究室: B-511
内線番号: 6959
e-mail: mihoko@las.tut.ac.jp
Office: B-511
TEL (Ext.): 6959
e-mail: mihoko@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
火曜日 14:00～16:00
Tuesdays 14:00～16:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
Grammar

(B1043704j)英語特別演習Ⅱ[Special English Practice 2]

科目名[英文名]	英語特別演習Ⅱ[Special English Practice 2]				
時間割番号	B1043704j	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	高橋　直子, 英語科責任教員 TAKAHASHI Naoko, English Manager				
ナンバリング	GEN_FUN81020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

1 週: オリエンテーション, Unit 8 (pp.16～17), Unit 24 (pp.48～49)
2 週: Unit 24 (pp.48～49), Unit 14 (pp.28～29)
3 週: Unit 15 (pp.30～31), Unit 16 (pp.32～33)
4 週: Unit 16 (pp.32～33), Unit 18 (pp.36～37)
5 週: Unit 19 (pp.38～39), Unit 20 (pp.40～41)
6 週: Unit 20 (pp.40～41), Unit 22 (pp.44～45)
7 週: Unit 4 (pp.8～9), Unit 25 (pp.50～51)
8 週: Unit 25 (pp.50～51), Unit 26 (pp.52～53)
9 週: 小テスト、遅れのキャッチアップなど
10 週: Unit 28 (pp.56～57), Unit 29 (pp.58～59)
11 週: Unit 29 (pp.58～59), Unit 30 (pp.60～61)
12 週: Unit 31 (pp.62～63), Unit 32 (pp.64～65)
13 週: Unit 32 (pp.64～65), Unit 34 (pp.68～69)
14 週: Unit 38 (pp.76～77), Unit 40 (pp.80～81)
15 週: Unit 40 (pp.80～81), Unit 43 (pp.86～87)
16 週: 期末テスト

Week 1: Course Introduction, Unit 8 (pp.16～17), Unit 24 (pp.48～49)
Week 2: Unit 24 (pp.48～49), Unit 14 (pp.28～29)
Week 3: Unit 15 (pp.30～31), Unit 16 (pp.32～33)
Week 4: Unit 16 (pp.32～33), Unit 18 (pp.36～37)
Week 5: Unit 19 (pp.38～39), Unit 20 (pp.40～41)
Week 6: Unit 20 (pp.40～41), Unit 22 (pp.44～45)
Week 7: Unit 4 (pp.8～9), Unit 25 (pp.50～51)
Week 8: Unit 25 (pp.50～51), Unit 26 (pp.52～53)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 28 (pp.56～57), Unit 29 (pp.58～59)
Week 11: Unit 29 (pp.58～59), Unit 30 (pp.60～61)
Week 12: Unit 31 (pp.62～63), Unit 32 (pp.64～65)
Week 13: Unit 32 (pp.64～65), Unit 34 (pp.68～69)
Week 14: Unit 38 (pp.76～77), Unit 40 (pp.80～81)
Week 15: Unit 40 (pp.80～81), Unit 43 (pp.86～87)
Week 16: Term Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Basic Grammar in Use Fourth Edition			**ISBN**	9781316646755
	著者名	Raymond Murphy	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1. コミュニケーションに必要な文法力を養うこと。
2. 各文法事項を理解し、練習問題を解けるようになること。

1. To develop grammar competency required for communication.
2. To be able to solve grammar exercises.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

期末テスト（80点満点）の点数に小テスト・課題（10点満点），授業への貢献度（10点満点）の点数を足して、
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the term exam (80%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90 % or more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
事前予約して下さい。
appointment only

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力

を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
English Grammar

(B1043704k)英語特別演習Ⅱ[Special English Practice 2]

科目名[英文名]	英語特別演習Ⅱ[Special English Practice 2]				
時間割番号	B1043704k	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	毛利　雅子, 英語科責任教員 MOURI Masako, English Manager				
ナンバリング	GEN_FUN81020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

1 週: オリエンテーション, Unit 8 (pp.16～17), Unit 24 (pp.48～49)
2 週: Unit 24 (pp.48～49), Unit 14 (pp.28～29)
3 週: Unit 15 (pp.30～31), Unit 16 (pp.32～33)
4 週: Unit 16 (pp.32～33), Unit 18 (pp.36～37)
5 週: Unit 19 (pp.38～39), Unit 20 (pp.40～41)
6 週: Unit 20 (pp.40～41), Unit 22 (pp.44～45)
7 週: Unit 4 (pp.8～9), Unit 25 (pp.50～51)
8 週: Unit 25 (pp.50～51), Unit 26 (pp.52～53)
9 週: 小テスト、遅れのキャッチアップなど
10 週: Unit 28 (pp.56～57), Unit 29 (pp.58～59)
11 週: Unit 29 (pp.58～59), Unit 30 (pp.60～61)
12 週: Unit 31 (pp.62～63), Unit 32 (pp.64～65)
13 週: Unit 32 (pp.64～65), Unit 34 (pp.68～69)
14 週: Unit 38 (pp.76～77), Unit 40 (pp.80～81)
15 週: Unit 40 (pp.80～81), Unit 43 (pp.86～87)
16 週: 期末テスト

Week 1: Course Introduction, Unit 8 (pp.16～17), Unit 24 (pp.48～49)
Week 2: Unit 24 (pp.48～49), Unit 14 (pp.28～29)
Week 3: Unit 15 (pp.30～31), Unit 16 (pp.32～33)
Week 4: Unit 16 (pp.32～33), Unit 18 (pp.36～37)
Week 5: Unit 19 (pp.38～39), Unit 20 (pp.40～41)
Week 6: Unit 20 (pp.40～41), Unit 22 (pp.44～45)
Week 7: Unit 4 (pp.8～9), Unit 25 (pp.50～51)
Week 8: Unit 25 (pp.50～51), Unit 26 (pp.52～53)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 28 (pp.56～57), Unit 29 (pp.58～59)
Week 11: Unit 29 (pp.58～59), Unit 30 (pp.60～61)
Week 12: Unit 31 (pp.62～63), Unit 32 (pp.64～65)
Week 13: Unit 32 (pp.64～65), Unit 34 (pp.68～69)
Week 14: Unit 38 (pp.76～77), Unit 40 (pp.80～81)
Week 15: Unit 40 (pp.80～81), Unit 43 (pp.86～87)
Week 16: Term Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Basic Grammar in Use Fourth Edition			**ISBN**	9781316646755
	著者名	Raymond Murphy	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1. コミュニケーションに必要な文法力を養うこと。
2. 各文法事項を理解し、練習問題を解けるようになること。

1. To develop grammar competency required for communication.
2. To be able to solve grammar exercises.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

期末テスト（80点満点）の点数に小テスト・課題（10点満点），授業への貢献度（10点満点）の点数を足して、
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the term exam (80%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S; 90 % or more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
Grammar

(B1043704I)英語特別演習Ⅱ[Special English Practice 2]

科目名[英文名]	英語特別演習Ⅱ[Special English Practice 2]				
時間割番号	B1043704I	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉川　りさ, 英語科責任教員 YOSHIKAWA Lisa, English Manager				
ナンバリング	GEN_FUN81020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、英語を媒介として世界のさまざまな文化、ものの見方に触れる。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student. In addition, we hope to have students explore various cultures and ways of thinking through English.

授業の内容

1 週: オリエンテーション, Unit 8 (pp.16～17), Unit 24 (pp.48～49)
2 週: Unit 24 (pp.48～49), Unit 14 (pp.28～29)
3 週: Unit 15 (pp.30～31), Unit 16 (pp.32～33)
4 週: Unit 16 (pp.32～33), Unit 18 (pp.36～37)
5 週: Unit 19 (pp.38～39), Unit 20 (pp.40～41)
6 週: Unit 20 (pp.40～41), Unit 22 (pp.44～45)
7 週: Unit 4 (pp.8～9), Unit 25 (pp.50～51)
8 週: Unit 25 (pp.50～51), Unit 26 (pp.52～53)
9 週: 小テスト、遅れのキャッチアップなど
10 週: Unit 28 (pp.56～57), Unit 29 (pp.58～59)
11 週: Unit 29 (pp.58～59), Unit 30 (pp.60～61)
12 週: Unit 31 (pp.62～63), Unit 32 (pp.64～65)
13 週: Unit 32 (pp.64～65), Unit 34 (pp.68～69)
14 週: Unit 38 (pp.76～77), Unit 40 (pp.80～81)
15 週: Unit 40 (pp.80～81), Unit 43 (pp.86～87)
16 週: 期末テスト

Week 1: Course Introduction, Unit 8 (pp.16～17), Unit 24 (pp.48～49)
Week 2: Unit 24 (pp.48～49), Unit 14 (pp.28～29)
Week 3: Unit 15 (pp.30～31), Unit 16 (pp.32～33)
Week 4: Unit 16 (pp.32～33), Unit 18 (pp.36～37)
Week 5: Unit 19 (pp.38～39), Unit 20 (pp.40～41)
Week 6: Unit 20 (pp.40～41), Unit 22 (pp.44～45)
Week 7: Unit 4 (pp.8～9), Unit 25 (pp.50～51)
Week 8: Unit 25 (pp.50～51), Unit 26 (pp.52～53)
Week 9: Quiz, Catch up and/or additional exercises
Week 10: Unit 28 (pp.56～57), Unit 29 (pp.58～59)
Week 11: Unit 29 (pp.58～59), Unit 30 (pp.60～61)
Week 12: Unit 31 (pp.62～63), Unit 32 (pp.64～65)
Week 13: Unit 32 (pp.64～65), Unit 34 (pp.68～69)
Week 14: Unit 38 (pp.76～77), Unit 40 (pp.80～81)
Week 15: Unit 40 (pp.80～81), Unit 43 (pp.86～87)
Week 16: Term Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Basic Grammar in Use Fourth Edition			**ISBN**	9781316646755
	著者名	Raymond Murphy	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1. コミュニケーションに必要な文法力を養うこと。
2. 各文法事項を理解し、練習問題を解けるようになること。

1. To develop grammar competency required for communication.
2. To be able to solve grammar exercises.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末テスト80%，小テスト・課題10%，授業への貢献度10%の割合で評価する。

期末テスト（80点満点）の点数に小テスト・課題（10点満点），授業への貢献度（10点満点）の点数を足して、
S：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
とする。期末テストの内容は達成目標をすべて含む。また，出席と欠席の取扱については，4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Students will be evaluated according to the term exam (80%), short quizzes, other assignments (10%), and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S; 90 % or more
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%
The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
適宜対応ですが、確実さのため、まずは、メールにて連絡してください。
Walk-in basis; giving me an email first would be the best way to reach out.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力

を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
English Grammar

(B10437050)基礎日本語ＩA[Basic Japanese 1A]

科目名[英文名]	基礎日本語ＩA[Basic Japanese 1A]				
時間割番号	B10437050	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	火 4～4,木 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子, 石川　智嘉子 MURAMATSU Yukiko, ISHIKAWA Chikako				
ナンバリング	GEN_SPL11020				

授業の目標

基礎日本語を習得する。

To master basic Japanese.

授業の内容

日本語Ｉａと同時受講してください。

第 1 回　L19-2
第 2 回　L19 の復習、会話・問題
第 3 回　L20-1
第 4 回　L20-2
第 5 回　L20 の復習、会話・問題
第 6 回　L21-1
第 7 回　L21-2
第 8 回　L21 の復習、会話・問題
第 9 回　L22-1
第 10 回　L22-2
第 11 回　L22 の復習、会話・問題
第 12 回　L23-1
第 13 回　L23-2
第 14 回　L23 の復習、会話・問題
第 15 回　L24-1
第 16 回　復習と定期試験

Take this class and Japanese 1a at the same time.

1　L19-2
2　L19 review,conversation, practice question
3　L20-1
4　L20-2
5　L20 review,conversation, practice question
6　L21-1
7　L21-2
8　L21 review,conversation, practice question
9　L22-1
10　L22-2
11　L22 review,conversation, practice question
12　L23-1
13　L23-2
14　L23 review,conversation, practice question
15　L24-1
16　Rev. and Exam

予習・復習内容

1.このコースには、文字と語彙の ｅ ラーニングがあります。シラバスをダウンロードして、自分でスケジュールを立て、学習してください。

https://lms.imc.tut.ac.jp/

2.週ごとの学習内容は、教室に掲示してあります。自分で確認してください。

3.課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。

4.課ごとに教科書の問題を宿題にします。解答後、提出してください。

1. We prepare the e-learning course of the characters and basic vocabularies. Download the syllabus, make your own schedule and study by yourself.

https://lms.imc.tut.ac.jp/
2. The syllabus is posted in the classroom, check your daily schedule yourself.
3. Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.
4. Each lesson have a “MONDAI – Practice Question”. Write “MONDAI – PQ” and hand in them to the teacher who distributed them.

関連科目

教科書 1	**書名**	みんなの日本語　初級Ⅰ　第 2 版　本冊			**ISBN**	9784883196036
	著者名	スリーエーネットワーク	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	1998

教科書に関する補足事項
オリエンテーションのときに、本を紹介します。
We will introduce books at the orientation.

参考書 1	**書名**	みんなの日本語　初級Ⅰ　第 2 版翻訳・文法解説（各国語版）			**ISBN**	
	著者名	スリーエーネットワーク	**出版社**	スリーエーネットワーク 1998	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
基礎日本語を習得する。
To master basic Japanese.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、語彙テストの平均点（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
その他
Other

定期試験詳細
日本語Ⅰａと同一評価。
Same rating as Japanese 1a class.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
みんなの日本語　日本語Ⅰa
Minna no Nihongo Japanese1a

(B10437060)基礎日本語ＩB[Basic Japanese 1B]

科目名[英文名]	基礎日本語ＩB[Basic Japanese 1B]				
時間割番号	B10437060	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	火 4～4,木 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	村松　由起子, 石川　智嘉子 MURAMATSU Yukiko, ISHIKAWA Chikako				
ナンバリング	GEN_SPL11020				

授業の目標

基礎日本語を習得する。

To master basic Japanese.

授業の内容

日本語Ｉｂと同時受講してください。

第 1 回　L44 の復習、会話・問題
第 2 回　L45-1
第 3 回　L45 の復習、会話・問題
第 4 回　L46-1
第 5 回　L46 の復習、会話・問題
第 6 回　L47-1
第 7 回　L47 の復習、会話・問題
第 8 回　L48-1
第 9 回　L48-2
第 10 回　L48 の復習、会話・問題
第 11 回　L49-1
第 12 回　L49-2
第 13 回　L49 の復習、会話・問題
第 14 回　L50-1
第 15 回　L50-2
第 16 回　復習と定期試験

Take this class and Japanese 1b at the same time.

1　L44 review,conversation, practice question
2　L45-1
3　L45 review,conversation, practice question
4　L46-1
5　L46 review,conversation, practice question
6　L47-1
7　L47 review,conversation, practice question
8　L48-1
9　L48-2
10　L48 review,conversation, practice question
11　L49-1
12　L49-2
13　L49 review,conversation, practice question
14　L50-1
15　L50-2
16　Rev. and Exam.

予習・復習内容

1.このコースには、文字と語彙の ｅ ラーニングがあります。シラバスをダウンロードして、自分でスケジュールを立て、学習してください。

https://lms.imc.tut.ac.jp/

2.週ごとの学習内容は、教室に掲示してあります。自分で確認してください。

3.課ごとに語彙テストがあります。テストの前に新出語彙を勉強してください。

4.課ごとに教科書の問題を宿題にします。解答後、提出してください。

1. We prepare the e-learning course of the characters and basic vocabularies. Download the syllabus, make your own schedule and study by yourself.

https://lms.imc.tut.ac.jp/
2. The syllabus is posted in the classroom, check your daily schedule yourself.
3. Take a vocabulary test on the first lesson of each section. Remember the new words before the vocabulary test.
4. Each lesson have a “MONDAI – Practice Question”. Write “MONDAI – PQ” and hand in them to the teacher who distributed them.

関連科目

教科書 1	**書名**	みんなの日本語　初級Ⅱ　第 2 版　本冊			**ISBN**	9784883196463
	著者名	スリーエーネットワーク	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	1998

教科書に関する補足事項
オリエンテーションのときに、本を紹介します。
We will introduce books at the orientation.

参考書 1	**書名**	みんなの日本語　初級Ⅱ　第 2 版翻訳・文法解説（各国語版）			**ISBN**	
	著者名	スリーエーネットワーク	**出版社**	スリーエーネットワーク 1998	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
基礎日本語を習得する。
To master basic Japanese.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験 90%、語彙テストの平均点 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、語彙テストの平均点（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam 90% and the average score of vocabulary test 10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
その他
Other

定期試験詳細
日本語Ⅰａと同一評価。
Same rating as Japanese 1a class.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
みんなの日本語　日本語Ｉｂ
Minna no Nihongo Japanese1b

(B10437070)基礎日本語ⅡA[Basic Japanese 2A]

科目名[英文名]	基礎日本語ⅡA[Basic Japanese 2A]				
時間割番号	B10437070	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	木 4～4,金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	村松 由起子, 田辺 淳子 MURAMATSU Yukiko, TANABE Junko				
ナンバリング	GEN_SPL11020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N4-N3 レベルの文法を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N4-N3 level grammar.

授業の内容

初中級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 イントロ 文の文法 1 第 1 回
第 2 回 文の文法 1 第 2 回、文の文法 2 第 1 回
第 3 回 文の文法 1 第 3 回、文の文法 2 第 2 回
第 4 回 文の文法 1 第 4 回、文の文法 2 第 3 回
第 5 回 文の文法 1 第 5 回、文の文法 2 第 4 回
第 6 回 文の文法 1 第 6 回、文の文法 2 第 5 回
第 7 回 文の文法 1 第 7 回、文の文法 2 第 6 回
第 8 回 文の文法 1 第 8 回、文の文法 2 第 7 回
第 9 回 文の文法 1 第 9 回、文の文法 2 第 8 回
第 10 回 文の文法 1 第 10 回、文の文法 2 第 9 回
第 11 回 文の文法 1 第 11 回、ドリル N4 文章の文法 第 1 回
第 12 回 文の文法 1 第 12 回、ドリル N4 文章の文法 第 2 回
第 13 回 文の文法 1 第 13 回、ドリル N4 文章の文法 第 3 回
第 14 回 文の文法 1 第 14 回、ドリル N4 文章の文法 第 4 回
第 15 回 復習
第 16 回 定期試験
Level: Lower Intermediate level(JLPT N3 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

1. Introduction,Sentence Grammar1 L1
2. Sentence Grammar1 L2,Sentence Grammar2 L1
3. Sentence Grammar1 L3,Sentence Grammar2 L2
4. Sentence Grammar1 L4,Sentence Grammar2 L3
5. Sentence Grammar1 L5,Sentence Grammar2 L4
6. Sentence Grammar1 L6,Sentence Grammar2 L5
7. Sentence Grammar1 L7,Sentence Grammar2 L6
8. Sentence Grammar1 L8,Sentence Grammar2 L7
9. Sentence Grammar1 L9,Sentence Grammar2 L8
10. Sentence Grammar1 L10,Sentence Grammar2 L9
11. Sentence Grammar1 L11,DrillN4 Text Grammar L1
12. Sentence Grammar1 L12,DrillN4 Text Grammar L2
13. Sentence Grammar1 L13,DrillN4 Text Grammar L3
14. Sentence Grammar1 L14,DrillN4 Text Grammar L4
15. Review
16 Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	ドリル＆ドリル N3 文法			**ISBN**	9784896894868
	著者名	星野恵子、辻和子	**出版社**	スリーエーネ	**出版年**	2011

				ットワーク		

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

初中級レベル（JLPT N3 レベル）の文法がわかる。

To understand grammar of lower intermediate text(JLPT N3 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
中級日本語　日本語能力試験　N3
intermediate Japanese JLPT N3

(B10437080)基礎日本語ⅡB[Basic Japanese 2B]

科目名[英文名]	基礎日本語ⅡB[Basic Japanese 2B]				
時間割番号	B10437080	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	木 4～4,金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	村松 由起子, 田辺 淳子 MURAMATSU Yukiko, TANABE Junko				
ナンバリング	GEN_SPL11020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N4-N3 レベルの文法を習得します。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N4-N3 level grammar.

授業の内容

初中級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回 文の文法 1 第 15 回、文の文法 2 第 10 回
第 2 回 文の文法 1 第 16 回、文の文法 2 第 11 回
第 3 回 文の文法 1 第 17 回、文の文法 2 第 12 回
第 4 回 文の文法 1 第 18 回、文の文法 2 第 13 回
第 5 回 文の文法 1 第 19 回、文の文法 2 第 14 回
第 6 回 文の文法 1 第 20 回、文の文法 2 第 15 回
第 7 回 文の文法 1 第 21 回、完全マスターN4 文法 p104-p105
第 8 回 文の文法 1 第 22 回、完全マスターN4 文法 p116-p117
第 9 回 文の文法 1 第 23 回、完全マスターN4 文法 p128-p129
第 10 回 文章の文法 第 1.2 回
第 11 回 文章の文法 第 3.4 回
第 12 回 文章の文法 第 5.6 回
第 13 回 文章の文法 第 7.8 回
第 14 回 文章の文法 第 9.10 回
第 15 回 復習
第 16 回 定期試験
Level: Lower Intermediate level(JLPT N3 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week1. Sentence Grammar1 L15,Sentence Grammar2 L10
Week2. Sentence Grammar1 L16,Sentence Grammar2 L11
Week3. Sentence Grammar1 L17,Sentence Grammar2 L12
Week4. Sentence Grammar1 L18,Sentence Grammar2 L13
Week5. Sentence Grammar1 L19,Sentence Grammar2 L14
Week6. Sentence Grammar1 L20,Sentence Grammar2 L15
Week7. Sentence Grammar1 L21,Shin Kanzen Master N4 Grammar p104-p105
Week8. Sentence Grammar1 L22,Shin Kanzen Master N4 Grammar p116-p117
Week9. Sentence Grammar1 L23,Shin Kanzen Master N4 Grammar p128-p129
Week10. Text Grammar L1.2
Week11. Text Grammar L3.4
Week12. Text Grammar L5.6
Week13. Text Grammar L7.8
Week14. Text Grammar L9.10
Week15. Review
Week16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	ドリル＆ドリル N3 文法			**ISBN**	9784896894868
	著者名	星野恵子、辻和子	**出版社**	スリーエーネ	**出版年**	2011

				ットワーク		

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

初中級レベル（JLPT N3 レベル）の文法がわかる。

To understand grammar of lower intermediate text(JLPT N3 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード 中級日本語　日本語能力試験　N3 intermediate Japanese JLPT N3

(B10437090)基礎日本語ⅢA[Basic Japanese 3A]

科目名[英文名]	基礎日本語ⅢA[Basic Japanese 3A]				
時間割番号	B10437090	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_SPL21020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N3レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N3 level materials.

授業の内容

初中級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回 04/09　イントロダクション、第1部　基礎力をつけよう　1. 書きことばに慣れよう　1）文体
第2回 04/16　2）漢語と和語、3）助詞のような働きをする言葉
第3回 04/23　4）文型の組み合わせ、2. 読むスピードを上げよう　1）どんな話かをつかむ
第4回 05/07　2）だれが・何がを考える、3）長い文に慣れる
第5回 05/14　4）知らない言葉を推測する、5）あとの内容を予測する1
第6回 05/21　6）あとの内容を予測する2、7）指示語を意識する
第7回 05/28　8）文章の構造を理解する、9）筆者の気持ちを理解する
第8回 06/04　復習と定期試験

Level: Lower-Intermediate level (JLPT　N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 (Apr.09)　Introduction, Part1 Mastering the basics 1. Getting used to written Japanese 1) Writing styles
Week 2 (Apr.16)　2) "Kango" and "wago", 3)Words that function like particles
Week 3 (Apr.23)　4) Combination of different grammatical forms in the sentence, 2. Increasing your reading speed 1)Getting the drift of what is being said
Week 4 (May 07)　2)Who and what are being discussed?　3) Getting used to long sentences
Week 5 (May 14)　4) Inferring the meaning of unknown words, 5) Predicting what comes next (1)
Week 6 (May 21)　6) Predicting what comes next (2), 7) Demonstrative terms
Week 7 (May 28)　8) Understanding text structure, 9) Understanding the mood of the author
Week 8 (Jun.04)　Review and Final exam

予習・復習内容

毎回復習してください。

毎回小テストをします。

You need to review what you have learned after every class.

You have a quiz every class.

関連科目

日本語ⅢA、漢字ⅢA

Japanese 3A, Kanji 3A

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解日本語能力試験 N3			**ISBN**	9784883196715
	著者名	田代ひとみ, 宮田聖子, 荒巻朋子著	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）中級レベル（N3 レベル）の文章の文型・文法・語彙がわかる。

2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of intermediate text(JLPT N3 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B1～B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

メール連絡の時は、「件名」に「基礎日本語ⅢAの～です」と書いてください。(「～」にはあなたの名前)

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Intermediate Reading" as the subject .

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜　11:00～12:00

Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through

papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

日本語　読解　日本語能力試験N3
Intermediate Japanese　Reading Comprehension　JLPT N3

(B10437100)基礎日本語ⅢB[Basic Japanese 3B]

科目名[英文名]	基礎日本語ⅢB[Basic Japanese 3B]				
時間割番号	B10437100	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_SPL21020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験(JLPT)N3レベルの読解練習を通じて、日本語の読解力を養います。

This is a Japanese language class for international students. The aim of this class is to improve Japanese reading comprehension by learning Japanese Language Proficiency Test(JLPT) N3 level materials.

授業の内容

初中級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第1回 06/11　第2部　いろいろな文章を読もう　1）メール（プライベート）、2）手紙
第2回 06/18　3）メモ、4）指示文
第3回 06/25　5）意見文、　6）説明文
第4回 07/02　7）エッセイ、第3部　広告・お知らせなどから情報を探そう　1）商品の広告
第5回 07/09　2）募集広告、3）パンフレット
第6回 07/23　4）お知らせ(1)、5）お知らせ(2)
第7回 07/30　6）薬の飲み方、7）グラフ
第8回 08/06　8）メール（ビジネス）と定期試験

Level: Lower-Intermediate level (JLPT　N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

Week 1 (Jun.11)　Part 2. Reading different kinds of text 1) E-mail (private), 2) Letters
Week 2 (Jun.18)　3) Memos, 4) Instruction texts
Week 3 (Jun.25)　5) Expressions of opinion, 6) Explanatory texts
Week 4 (Jul.02)　7) Essays, Part 3 Finding out what you need to know from advertising, public notices and similar texts 1) Product advertising
Week 5 (Jul.09)　2) Enrollment adverts, 3) Pamphlets
Week 6 (Jul.23)　4) Public notices (1), 5) Public notices (2)
Week 7 (Jul.30)　6) Instructions for taking medicine, 7) Graphic material
Week 8 (Aug.06)　8) E-mail (business), Final exam

予習・復習内容

毎回復習してください。
毎回小テストをします。
You need to review what you have learned after every class.
You have a quiz every class.

関連科目

日本語ⅢB、漢字ⅢB
Japanese 3B, Kanji 3B

教科書 1	**書名**	新完全マスター読解日本語能力試験 N3			**ISBN**	9784883196715
	著者名	田代ひとみ，宮田聖子，荒巻朋子著	**出版社**	スリーエーネットワーク	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1）中級レベル（N3 レベル）の文章の文型・文法・語彙がわかる。
2）文章の大意が把握できる。

1）To understand grammar and vocabulary of intermediate text(JLPT N3 level).
2）To get the gist of the text.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験80％ 、小テスト・課題10％、授業への貢献度10％

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点（100 点満点）により次のように評価します。

B1～B3
S：90 点以上
A：80～89.99 点
B：70～79.99 点
C：60～69.99 点

B4
A：80 点以上
B：65～79.99 点
C：55～64.99 点

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B1～B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or higher
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

メール連絡の時は、「件名」に「基礎日本語ⅢBの～です」と書いてください。(「～」にはあなたの名前)

When you contact by e-mail, write "I am (your name) of Intermediate Reading" as the subject .

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜　11:00～12:00

Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through

papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

日本語　読解　日本語能力試験N3
Intermediate Japanese　Reading Comprehension　JLPT N3

(B10437110)基礎日本語ⅣA[Basic Japanese 4A]

科目名[英文名]	基礎日本語ⅣA[Basic Japanese 4A]				
時間割番号	B10437110	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	月 2～2,木 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子, 村松　由起子 YOSHIMURA Yumiko, MURAMATSU Yukiko				
ナンバリング	GEN_SPL11020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験（JLPT）N3-N2 レベルの文法を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N3-N2 level grammar.

授業の内容

初中級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　文の文法 1　第 1 回、文の文法 2　第 1 回
第 2 回　文の文法 1　第 2 回、文の文法 2　第 2 回
第 3 回　文の文法 1　第 3 回、文の文法 2　第 3 回
第 4 回　文の文法 1　第 4 回、文の文法 2　第 4 回
第 5 回　文の文法 1　第 5 回、文の文法 2　第 5 回
第 6 回　文の文法 1　第 6 回、文の文法 2　第 6 回
第 7 回　文の文法 1　第 7 回、文の文法 2　第 7 回
第 8 回　文の文法 1　第 8 回、完全マスターN3 文法　第 3 部　1 課
第 9 回　文の文法 1　第 9 回、完全マスターN3 文法　第 3 部　2 課
第 10 回　文の文法 1　第 10 回、完全マスターN3 文法　第 3 部　3 課
第 11 回　文の文法 1　第 11 回、完全マスターN3 文法　第 3 部　4 課
第 12 回　文の文法 1　第 11 回、完全マスターN3 文法　第 3 部　5 課
第 13 回　文の文法 1　第 13 回、完全マスターN3 文法　第 3 部　6 課
第 14 回　文の文法 1　第 14 回、復習
第 15 回　復習
第 16 回　定期試験

Level: Lower Intermediate level(JLPT N3-N2 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. Sentence Grammar1 L1,Sentence Grammar2 L1
2. Sentence Grammar1 L2,Sentence Grammar2 L2
3. Sentence Grammar1 L3,Sentence Grammar2 L3
4. Sentence Grammar1 L4,Sentence Grammar2 L4
5. Sentence Grammar1 L5,Sentence Grammar2 L5
6. Sentence Grammar1 L6,Sentence Grammar2 L6
7. Sentence Grammar1 L7,Sentence Grammar2 L7
8. Sentence Grammar1 L8,Shin Kanzen Master N3 Grammar Part3 L1
9. Sentence Grammar1 L9,Shin Kanzen Master N3 Grammar Part3 L2
10. Sentence Grammar1 L10,Shin Kanzen Master N3 Grammar Part3 L3
11. Sentence Grammar1 L11,Shin Kanzen Master N3 Grammar Part3 L4
12. Sentence Grammar1 L12,Shin Kanzen Master N3 Grammar Part3 L5
13. Sentence Grammar1 L13,Shin Kanzen Master N3 Grammar Part3 L6
14. Sentence Grammar1 L14,1and Review.
15. Review
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	ドリル＆ドリル N2 文法			**ISBN**	9784896894769
	著者名	星野恵子、辻和子	**出版社**	UNICOM	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
初中級レベル（JLPT N3-N2 レベル）の文法がわかる。

To understand grammar of lower intermediate text(JLPT N3-N2 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード 中級日本語　日本語能力試験　N3 N2 intermediate Japanese JLPT N3 N2

(B10437120)基礎日本語ⅣB[Basic Japanese 4B]

科目名[英文名]	基礎日本語ⅣB[Basic Japanese 4B]				
時間割番号	B10437120	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	月 2～2,木 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_SPL11020				

授業の目標

留学生対象の授業です。日本語能力試験（JLPT）N3-N2 レベルの文法を習得します。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean JLPT N3-N2 level grammar.

授業の内容

初中級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　文の文法 1　第 15 回、文の文法 2　第 8 回
第 2 回　文の文法 1　第 16 回、文の文法 2　第 9 回
第 3 回　文の文法 1　第 17 回、文の文法 2　第 10 回
第 4 回　文の文法 1　第 18 回、文の文法 2　第 11 回
第 5 回　文の文法 1　第 19 回、文の文法 2　第 12 回
第 6 回　文の文法 1　第 20 回、文の文法 2　第 13 回
第 7 回　文の文法 1　第 21 回、文の文法 2　第 14 回
第 8 回　文の文法 1　第 22 回、文の文法 2　第 15 回
第 9 回　文の文法 1　第 23 回、文章の文法　第 1 回
第 10 回　文の文法 1　第 24 回、文章の文法　第 2 回
第 11 回　文の文法 1　第 25 回、文章の文法　第 3 回
第 12 回　文の文法 1　文章の文法　第 4.5 回
第 13 回　文の文法 1　文章の文法　第 6.7 回
第 14 回　文の文法 1　文章の文法　第 8.9.10 回
第 15 回　復習
第 16 回　定期試験

Level: Lower Intermediate level(JLPT N3-N2 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. Sentence Grammar1 L15,Sentence Grammar2 L8
2. Sentence Grammar1 L16,Sentence Grammar2 L9
3. Sentence Grammar1 L17,Sentence Grammar2 L10
4. Sentence Grammar1 L18,Sentence Grammar2 L11
5. Sentence Grammar1 L19,Sentence Grammar2 L12
6. Sentence Grammar1 L20,Sentence Grammar2 L13
7. Sentence Grammar1 L21,Sentence Grammar2 L14
8. Sentence Grammar1 L22,Sentence Grammar2 L15
9. Sentence Grammar1 Text Grammar L1
10. Sentence Grammar1 L24,Text Grammar L2
11. Sentence Grammar1 L25,Text Grammar L3
12. Text Grammar L4.5
13. Text Grammar L6.7
14. Text Grammar L8.9.10
15. Review
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	ドリル＆ドリル日本語能力試験 N2 文法			**ISBN**	9784896894769
	著者名	星野恵子、辻和子	**出版社**	UNICOM	**出版年**	2010

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
初中級レベル（JLPT N3-N2 レベル）の文法がわかる。

To understand grammar of lower intermediate text(JLPT N3-N2 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad

Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード 中級日本語　日本語能力試験　N3 N2 intermediate Japanese JLPT N3 N2

(B1043713c)英語特別演習Ⅰ[Special English Practice 1]

科目名[英文名]	英語特別演習Ⅰ[Special English Practice 1]				
時間割番号	B1043713c	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	石黒　ひとみ ISHIGURO Hitomi				
ナンバリング	GEN_SPL11020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、日常的な場面で英語で簡単な会話ができるようにする。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student.

Students will develop their ability to speak English in a casual setting.

授業の内容

第1週　オリエンテーション、Unit 1. 現在時制、Unit 2. 過去時制
第2週　Unit 2. 過去時制、Unit 3. 代名詞
第3週　Unit 3. 代名詞、Unit 4. 進行形
第4週　Unit 4. 進行形、Unit 5. 助動詞
第5週　Unit 5. 助動詞、Unit 6. 未来時制
第6週　Unit 6. 未来時制、Unit 7. 疑問文と付加疑問文
第7週　Unit 7. 疑問文と付加疑問文、Unit 8. 比較
第8週　Unit 8. 比較、Unit 9. 不定詞
第9週　Unit 9. 不定詞、Unit 10. 動名詞
第 10 週　Unit 10. 動名詞、Unit 11. 受動態
第 11 週　Unit 11. 受動態、Unit 12. 形容詞節
第 12 週　Unit 12. 形容詞節
第 13 週　Unit 13. 副詞節
第 14 週　Unit 14. 名詞節
第 15 週　Unit 15. 現在完了形
第 16 週　期末試験

Week 1　Introduction、Unit 1. Simple Present Tense、Unit 2. Simple Past Tense
Week 2　Unit 2. Simple Past Tense、Unit 3. Pronouns
Week 3　Unit 3. Pronouns、Unit 4. Progressive Form
Week 4　Unit 4. Progressive Form、Unit 5. Modals
Week 5　Unit 5. Modals、Unit 6. Simple Future Tense
Week 6　Unit 6. Simple Future Tense、 Unit 7. Question Words and Tag Questions
Week 7　Unit 7. Question Words and Tag Questions、Unit 8. Comparatives
Week 8　Unit 8. Comparatives、Unit 9. Infinitives
Week 9　Unit 9. Infinitives、Unit 10. Gerunds
Week 10　Unit 10. Gerunds、Unit 11. Passive Voice
Week 11　Unit 11. Passive Voice、Unit 12. Adjective Clauses
Week 12　Unit 12. Adjective Clauses
Week 13　Unit 13. Adverb Clauses
Week 14　Unit 14. Noun Clauses
Week 15　Unit 15. Present Perfect
Week 16　Final Exam

予習・復習内容

毎週の学習内容を復習するとともに、次週の学習内容についてテキストに目を通してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Grammar Plus			**ISBN**	9784523178200
	著者名	Andrew E. Bennett, Toru Komiya	**出版社**	Nan'un-do（南雲堂）	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
（1）英文法の基礎を総復習し、英語でのコミュニケーション能力を強化する
（2）表現力の基礎としての英語語彙を増やす
(1) To understand basic English grammar and develop English communication skill.
(2) To increase English vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：期末テスト80%，小テスト・課題10%、授業への貢献度10%の割合で評価する。

評価基準：期末テスト（80点満点）の点数に小テスト・課題（10点満点）、授業への貢献度（10点満点）の点数を足したものが、90点以上を S、80～89点をA、70～79点をB、60～69点をCとする。期末テストの内容は、達成目標をすべて含む。また、出席・欠席の取り扱いについては、4月のオリエンテーションで説明する。

Students will be evaluated according to the term exam (80%), quiz and other assignments (10%) and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90% or above
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
非常勤講師室　月：8:45-10:25　火：8:45-12:05, 14:35-16:15

Email: hitomi_april1@hotmail.co.jp

Part-Time Teacher's Room Monday: 8:45-10:25, Tuesday: 8:45-12:05, 14:35-16:15

Email: hitomi_april1@hotmail.co.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
非常勤講師室　月：8:45-10:25　火：8:45-12:05, 14:35-16:15

Part-Time Teacher's Room Monday: 8:45-10:25, Tuesday: 8:45-12:05, 14:35-16:15

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
English, Grammar

(B1043713d)英語特別演習Ⅰ[Special English Practice 1]

科目名[英文名]	英語特別演習Ⅰ[Special English Practice 1]				
時間割番号	B1043713d	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	加藤　三保子 KATOH Mihoko				
ナンバリング	GEN_SPL11020				

授業の目標

Reading, Writing, Speaking, Listening のバランスに配慮しつつ、これまでに身につけた英語をさらに強化する。また、日常的な場面で英語で簡単な会話ができるようにする。

With concern for a balance of reading, writing, speaking and listening, we aim to build upon the existing English ability of each student.

Students will develop their ability to speak English in a casual setting.

授業の内容

第1週　オリエンテーション、Unit 1. 現在時制、Unit 2. 過去時制
第2週　Unit 2. 過去時制、Unit 3. 代名詞
第3週　Unit 3. 代名詞、Unit 4. 進行形
第4週　Unit 4. 進行形、Unit 5. 助動詞
第5週　Unit 5. 助動詞、Unit 6. 未来時制
第6週　Unit 6. 未来時制、Unit 7. 疑問文と付加疑問文
第7週　Unit 7. 疑問文と付加疑問文、Unit 8. 比較
第8週　Unit 8. 比較、Unit 9. 不定詞
第9週　Unit 9. 不定詞、Unit 10. 動名詞
第 10 週　Unit 10. 動名詞、Unit 11. 受動態
第 11 週　Unit 11. 受動態、Unit 12. 形容詞節
第 12 週　Unit 12. 形容詞節
第 13 週　Unit 13. 副詞節
第 14 週　Unit 14. 名詞節
第 15 週　Unit 15. 現在完了形
第 16 週　期末試験

Week 1　Introduction、Unit 1. Simple Present Tense、Unit 2. Simple Past Tense
Week 2　Unit 2. Simple Past Tense、Unit 3. Pronouns
Week 3　Unit 3. Pronouns、Unit 4. Progressive Form
Week 4　Unit 4. Progressive Form、Unit 5. Modals
Week 5　Unit 5. Modals、Unit 6. Simple Future Tense
Week 6　Unit 6. Simple Future Tense、 Unit 7. Question Words and Tag Questions
Week 7　Unit 7. Question Words and Tag Questions、Unit 8. Comparatives
Week 8　Unit 8. Comparatives、Unit 9. Infinitives
Week 9　Unit 9. Infinitives、Unit 10. Gerunds
Week 10　Unit 10. Gerunds、Unit 11. Passive Voice
Week 11　Unit 11. Passive Voice、Unit 12. Adjective Clauses
Week 12　Unit 12. Adjective Clauses
Week 13　Unit 13. Adverb Clauses
Week 14　Unit 14. Noun Clauses
Week 15　Unit 15. Present Perfect
Week 16　Final Exam

予習・復習内容

毎週の学習内容を復習するとともに、次週の学習内容についてテキストに目を通してくること。

Review each lecture and prepare for the next class with reference to the textbook.

関連科目

教科書 1	**書名**	Grammar Plus			**ISBN**	9784523178200
	著者名	Andrew E. Bennett, Toru Komiya	**出版社**	Nan'un-do（南雲堂）	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
（1）英文法の基礎を総復習し、英語でのコミュニケーション能力を強化する
（2）表現力の基礎としての英語語彙を増やす
(1) To understand basic English grammar and develop English communication skill.
(2) To increase English vocabulary as the basis of the ability to express oneself.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：期末テスト80%，小テスト・課題10%、授業への貢献度10%の割合で評価する。

評価基準：期末テスト（80点満点）の点数に小テスト・課題（10点満点）、授業への貢献度（10点満点）の点数を足したものが、90点以上を S、80～89点をA、70～79点をB、60～69点をCとする。期末テストの内容は、達成目標をすべて含む。また、出席・欠席の取り扱いについては、4月のオリエンテーションで説明する。

Students will be evaluated according to the term exam (80%), quiz and other assignments (10%) and contribution to the class (10%).

Grade distribution:
S: 90% or above
A: 80-89%
B: 70-79%
C: 60-69%

The term exam covers all the contents listed in "Goals to be achieved." Attendance policy is announced at the orientation in April.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
研究室：B-511
内線電話：6959
E-mail: mihoko@las.tut.ac.jp
Office: B-511
Tel (Extension): 6959
E-mail: mihoko@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
火曜日 15:00～17:00
Tuesdays, 15:00～17:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程

(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
英文法
English, Grammar

(B10437140)日本語特別演習Ⅰ[Special Japanese Practice 1]

科目名[英文名]	日本語特別演習Ⅰ[Special Japanese Practice 1]				
時間割番号	B10437140	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	金 1～1,金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子, 吉村　弓子 SAKAMOTO Yuko, YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_SPL11020				

授業の目標

留学生対象の授業です。中上級レベルの総合的な日本語力を身に付けます。

This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean lower advanced level Japanese.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。

講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　L5-3
第 2 回　L6-1
第 3 回　L6-2
第 4 回　L6-3
第 5 回　L7-1
第 6 回　L7-2
第 7 回　L7-3
第 8 回　L8-1
第 9 回　L8-2
第 10 回　L8-3
第 11 回　L9-1
第 12 回　L9-2
第 13 回　L9-3
第 14 回　L10-1
第 15 回　復習
第 16 回　定期試験

Level: Lower advanced level(JLPT N2-N1 level)

Students will learn the following lessons in textbook.

1. L5-3
2. L6-1
3. L6-2
4. L6-3
5. L7-1
6. L7-2
7. L7-3
8. L8-1
9. L8-2
10. L8-3
11. L9-1
12. L9-2
13. L9-3
14. L10-1
15. Review
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。

You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新中級から上級への日本語　本冊			**ISBN**	9784789014625
	著者名	鎌田修他	**出版社**	The　Japan	**出版年**	2012

				Times		

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル（JLPT N2-N1 レベル）の日本語がわかる。

To understand lower advanced text(JLPT N2-N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード 中上級日本語　日本語能力試験　N2 N1 Lower advanced Japanese JLPT N2 N1

(B10437150)日本語特別演習Ⅱ[Special Japanese Practice 2]

科目名[英文名]	日本語特別演習Ⅱ[Special Japanese Practice 2]				
時間割番号	B10437150	**区分**	学力補強科目	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	金 1～1,金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	坂本　裕子, 吉村　弓子 SAKAMOTO Yuko, YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_SPL31020				

授業の目標

留学生対象の授業です。中上級レベルの総合的な日本語力を身に付けます。
This is Japanese Language class for international students. The aim of this class it to lean lower advanced level Japanese.

授業の内容

中上級レベルの学習者を対象とします。
講義の内容は以下の通りです。

第 1 回　L5-3
第 2 回　L6-1
第 3 回　L6-2
第 4 回　L6-3
第 5 回　L7-1
第 6 回　L7-2
第 7 回　L7-3
第 8 回　L8-1
第 9 回　L8-2
第 10 回　L8-3
第 11 回　L9-1
第 12 回　L9-2
第 13 回　L9-3
第 14 回　L10-1
第 15 回　復習
第 16 回　定期試験
Level: Lower advanced level(JLPT N2-N1 level)
Students will learn the following lessons in textbook.

1. L5-3
2. L6-1
3. L6-2
4. L6-3
5. L7-1
6. L7-2
7. L7-3
8. L8-1
9. L8-2
10. L8-3
11. L9-1
12. L9-2
13. L9-3
14. L10-1
15. Review
16. Exam.

予習・復習内容

毎回復習をしてください。
You need to review what you have learned after every class.

関連科目

教科書 1	**書名**	新中級から上級への日本語　本冊			**ISBN**	9784789014625
	著者名	鎌田修他	**出版社**	The　Japan	**出版年**	2012

				Times		

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

中上級レベル（JLPT N2-N1 レベル）の日本語がわかる。

To understand lower advanced text(JLPT N2-N1 level).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 90%、授業への貢献度 10%　左記の割合で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、定期試験（90　点満点）、授業への貢献度（10　点満点）の合計点（100 点満点）で以下のように評価する。
学部 1 年生～3 年生
S：90 点以上
A：80～89 点
B：70～79 点
C：60～69 点

学部 4 年生
A：80 点以上
B：65～79 点
C：55～64 点
Grading Policy:
Final exam90% and contribution to the class10%.
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
B1 to B3 students
S: The total score is 90 or more
A: The total score is between 80-89
B: The total score is between 70-79
C: The total score is between 60-69

B4 students
A: The total score is 80 or more
B: The total score is between 65-79
C: The total score is between 55-64

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature (E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
キーワード 中上級日本語　日本語能力試験　N2 N1 Lower advanced Japanese JLPT N2 N1

(B1052001a)プログラミング演習Ⅰ[Programming 1]

科目名[英文名]	プログラミング演習Ⅰ[Programming 1]				
時間割番号	B1052001a	**区分**	専門Ⅰ共通	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	相田　慎 AIDA Shin				
ナンバリング	COM_BAC11110				

授業の目標

プログラミングは工学系では必須技能である。この演習授業は、C 言語を用いて初歩的なコンピュータプログラムを作成することで、プログラミングの基礎能力を身につけることを目標とする。初等的な内容ではあるが、より応用的、実践的なプログラミングへの橋渡しとなるものである。

Programming techniques are requisite in recent engineering communities. This course is aimed at learning elementary programming using the C language so that students will be able to tackle more advanced and practical topics of programming in subsequent courses.

授業の内容

本演習授業では、C 言語の基本的な命令やデータの表記のための最も基本的な構文から始め、変数、型、演算子、制御文などまで学習を進める。また、これらを自在に使いこなせるように、具体的な演習課題に取り組む。各授業は、講義と演習を組み合わせて行う。また、各授業の後半では、学んだ内容に関するレポート課題を出題するので、受講者は各自それに取り組んでレポートにまとめて提出する。

具体的な習得項目は以下のように予定している。

1. ガイダンス（第 1 週）
2. 読み込みと表示（第 2 週～第 3 週）
3. 変数による演算（第 4 週～第 6 週）
4. if 文による条件分岐（第 7 週～第 9 週）
5. while 文による条件付繰り返し（第 10 週～第 11 週）
6. for 文による既定回繰り返し（第 12 週～第 13 週）
7. 応用課題（第 14 週～第 15 週）

The course provides training on programming in the C language, starting from the syntax of basic operations and data expressions. It covers the elementary topics including variables, types, operations, basic input/output, conditional branching, and iterations. Each lecture consists of classroom learning and exercises. In the last part of each lecture, students are provided with exercise problems on the subject topic for their report.

The course is organized as follows:
Wk 1: Guidance
Wks 2-3: Input and output functions
Wks 4-6: Operations and variables
Wks 7-9: Conditional branching with the "if" statement
Wks 10-11: Iteration using the "while" statement
Wks 12-13: Iteration using the "for" statement
Wks 14-15: Some advanced exercises

予習・復習内容

初回のガイダンス時に別途指示がある。
Instructions will be given in the first lecture.

関連科目

原則として、事前知識は必要ない。
コンピューターを全く触ったことがないことを前提として進める。
Essentially, there is no prerequisite knowledge on computers to take this course.

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	新・明解C言語　入門編			**ISBN**	9784797377026
	著者名	柴田望洋	**出版社**	SoftBank Creative	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項

達成目標
「授業の内容」の欄にあげた各項目をプログラムで正しく利用できることを目標とする。
また、全体としての到達目標は以下の通りである。

第 1 週：計算機の基本構成が理解できる。コマンドラインで基本操作ができる。
第 2～3 週：簡単な例題を用いたソースコードの作成～コンパイル～プログラムの実行までの操作ができる。プログラムとプログラミングの概要が説明できる。
第 4～13 週：プログラミングの基礎的概念が説明できる。条件分岐と繰り返しを使ったプログラムが作成できる。
第 14～15 週：学んだプログラミングの基本を応用した、より高度なプログラミングの概念が説明できる。
Students completing this course are expected to achieve programming knowledge along with the topics described in "Contents of class". In a brief description, they are expected to be able to:
1. Explain the basic computer structure.
2. Explain the fundamental concepts of programming.
3. Handle command-line interface in a Unix-like environment.
4. Write, compile, and execute short programs in the C language.
5. Write C programs using conditional branching and iterations.
6. Combine the achieved techniques to tackle a little advanced topics.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
演習に出席した上で期限内に提出されたレポートについて、合計点で評価する。
1 本でもレポートの未提出がある場合は単位の修得を認めない。
また、特段の事情のない欠席には厳正に対処する。
S: 90 点以上　A: 80 点以上　B: 70 点以上　C: 60 点以上
The grade will be determined by evaluating the reports submitted within the deadlines, with the prerequisite condition of attendance in the class. All of the reports are mandatory. Absence from class will result in very strict penalty unless it is a legitimate case.

S: score >= 90, A: score >= 80, B: score >= 70, C: score >= 60

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
https://lms.imc.tut.ac.jp/course/view.php?id=409
https://lms.imc.tut.ac.jp/course/view.php?id=409

オフィスアワー
授業日に演習室で相談に応じる。
また、メールによる問い合わせも随時可能である。

Questions are welcome in the class. In addition, students may send email inquiries.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード
C 言語, Linux
C language, Linux

(B1052001b)プログラミング演習Ⅰ[Programming 1]

科目名[英文名]	プログラミング演習Ⅰ[Programming 1]				
時間割番号	B1052001b	**区分**	専門Ⅰ共通	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	上田　祥代 UEDA Sachiyo				
ナンバリング	COM_BAC11110				

授業の目標

プログラミングは工学系では必須技能である。この演習授業は、C 言語を用いて初歩的なコンピュータプログラムを作成することで、プログラミングの基礎能力を身につけることを目標とする。初等的な内容ではあるが、より応用的、実践的なプログラミングへの橋渡しとなるものである。

Programming techniques are requisite in recent engineering communities. This course is aimed at learning elementary programming using the C language so that students will be able to tackle more advanced and practical topics of programming in subsequent courses.

授業の内容

本演習授業では、C 言語の基本的な命令やデータの表記のための最も基本的な構文から始め、変数、型、演算子、制御文などまで学習を進める。また、これらを自在に使いこなせるように、具体的な演習課題に取り組む。各授業は、講義と演習を組み合わせて行う。また、各授業の後半では、学んだ内容に関するレポート課題を出題するので、受講者は各自それに取り組んでレポートにまとめて提出する。

具体的な習得項目は以下のように予定している。

1. ガイダンス（第 1 週）
2. 読み込みと表示（第 2 週～第 3 週）
3. 変数による演算（第 4 週～第 6 週）
4. if 文による条件分岐（第 7 週～第 9 週）
5. while 文による条件付繰り返し（第 10 週～第 11 週）
6. for 文による既定回繰り返し（第 12 週～第 13 週）
7. 応用課題（第 14 週～第 15 週）

The course provides training on programming in the C language, starting from the syntax of basic operations and data expressions. It covers the elementary topics including variables, types, operations, basic input/output, conditional branching, and iterations. Each lecture consists of classroom learning and exercises. In the last part of each lecture, students are provided with exercise problems on the subject topic for their report.

The course is organized as follows:
Wk 1: Guidance
Wks 2-3: Input and output functions
Wks 4-6: Operations and variables
Wks 7-9: Conditional branching with the "if" statement
Wks 10-11: Iteration using the "while" statement
Wks 12-13: Iteration using the "for" statement
Wks 14-15: Some advanced exercises

予習・復習内容

初回のガイダンス時に別途指示がある。
Instructions will be given in the first lecture.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	新・明解 C 言語 入門編			**ISBN**	978-4797377026
	著者名	柴田望洋	**出版社**	ソフトバンククリエイティブ	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	Beginning C, 5th Edition			**ISBN**	978-

						1430248811
	著者名	Ivor Horton	出版社	2013	出版年	

参考書に関する補足事項

達成目標

「授業の内容」の欄にあげた各項目をプログラムで正しく利用できることを目標とする。
また、全体としての到達目標は以下の通りである。

第 1 週：計算機の基本構成が理解できる。コマンドラインで基本操作ができる。
第 2～3 週：簡単な例題を用いたソースコードの作成～コンパイル～プログラムの実行までの操作ができる。プログラムとプログラミングの概要が説明できる。
第 4～13 週：プログラミングの基礎的概念が説明できる。条件分岐と繰り返しを使ったプログラムが作成できる。
第 14～15 週：学んだプログラミングの基本を応用した、より高度なプログラミングの概念が説明できる。
Students completing this course are expected to achieve programming knowledge along with the topics described in "Contents of class". In a brief description, they are expected to be able to:
1. Explain the basic computer structure.
2. Explain the fundamental concepts of programming.
3. Handle command-line interface in a Unix-like environment.
4. Write, compile, and execute short programs in the C language.
5. Write C programs using conditional branching and iterations.
6. Combine the achieved techniques to tackle a little advanced topics.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習に出席した上で期限内に提出されたレポートについて、合計点で評価する。
1 本でもレポートの未提出がある場合は単位の修得を認めない。
また、特段の事情のない欠席には厳正に対処する。
S: 90 点以上　A: 80 点以上　B: 70 点以上　C: 60 点以上

The grade will be determined by evaluating the reports submitted within the deadlines, with the prerequisite condition of attendance in the class. All of the reports are mandatory. Absence from class will result in very strict penalty unless it is a legitimate case.

S: score >= 90, A: score >= 80, B: score >= 70, C: score >= 60

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業日に演習室で相談に応じる。
また、メールによる問い合わせも随時可能である。
ueda@cs.tut.ac.jp
Questions are welcome in the class. In addition, students may send email inquiries.
ueda@cs.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード
プログラミング C 言語
Programming, C language

(B1052001c)プログラミング演習Ⅰ[Programming 1]

科目名[英文名]	プログラミング演習Ⅰ[Programming 1]				
時間割番号	B1052001c	**区分**	専門Ⅰ共通	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	桂樹　哲雄 KATSURAGI Tetsuo				
ナンバリング	COM_BAC11111				

授業の目標

プログラミングは工学系では必須技能である。この演習授業は、C 言語を用いて初歩的なコンピュータプログラムを作成することで、プログラミングの基礎能力を身につけることを目標とする。初等的な内容ではあるが、より応用的、実践的なプログラミングへの橋渡しとなるものである。

Programming techniques are requisite in recent engineering communities. This course is aimed at learning elementary programming using the C language so that students will be able to tackle more advanced and practical topics of programming in subsequent courses.

授業の内容

本演習授業では、C 言語の基本的な命令やデータの表記のための最も基本的な構文から始め、変数、型、演算子、制御文などまで学習を進める。また、これらを自在に使いこなせるように、具体的な演習課題に取り組む。各授業は、講義と演習を組み合わせて行う。また、各授業の後半では、学んだ内容に関するレポート課題を出題するので、受講者は各自それに取り組んでレポートにまとめて提出する。

具体的な習得項目は以下のように予定している。

1. ガイダンス(第 1 週)
2. 読み込みと表示(第 2 週～第 3 週)
3. 変数による演算(第 4 週～第 6 週)
4. if 文による条件分岐(第 7 週～第 9 週)
5. while 文による条件付繰り返し(第 10 週～第 11 週)
6. for 文による既定回繰り返し(第 12 週～第 13 週)
7. 応用課題 (第 14 週～第 15 週)

The course provides training on programming in the C language, starting from the syntax of basic operations and data expressions. It covers the elementary topics including variables, types, operations, basic input/output, conditional branching, and iterations. Each lecture consists of classroom learning and exercises. In the last part of each lecture, students are provided with exercise problems on the subject topic for their report.

The course is organized as follows:
Wk 1: Guidance
Wks 2-3: Input and output functions
Wks 4-6: Operations and variables
Wks 7-9: Conditional branching with the "if" statement
Wks 10-11: Iteration using the "while" statement
Wks 12-13: Iteration using the "for" statement
Wks 14-15: Some advanced exercises

予習・復習内容

初回のガイダンス時に別途指示がある。

Instructions will be given in the first lecture.

関連科目

原則として、事前知識は必要ない。
コンピューターを全く触ったことがないことを前提として進める。

Essentially, there is no prerequisite knowledge on computers to take this course.

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Beginning C, 5th Edition (Expert's Voice in C)			**ISBN**	978-1-4302-4881-1
	著者名	Ivor Horton	**出版社**	Apress	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標
「授業の内容」の欄にあげた各項目をプログラムで正しく利用できることを目標とする。
また、全体としての到達目標は以下の通りである。

第 1 週：計算機の基本構成が理解できる。コマンドラインで基本操作ができる。
第 2～3 週：簡単な例題を用いたソースコードの作成～コンパイル～プログラムの実行までの操作ができる。プログラムとプログラミングの概要が説明できる。
第 4～13 週：プログラミングの基礎的概念が説明できる。条件分岐と繰り返しを使ったプログラムが作成できる。
第 14～15 週：学んだプログラミングの基本を応用した、より高度なプログラミングの概念が説明できる。
Students completing this course are expected to achieve programming knowledge along with the topics described in "Contents of class". In a brief description, they are expected to be able to:
1. Explain the basic computer structure.
2. Explain the fundamental concepts of programming.
3. Handle command-line interface in a Unix-like environment.
4. Write, compile, and execute short programs in the C language.
5. Write C programs using conditional branching and iterations.
6. Combine the achieved techniques to tackle a little advanced topics.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
演習に出席した上で期限内に提出されたレポートについて、合計点で評価する。
1 本でもレポートの未提出がある場合は単位の修得を認めない。
また、特段の事情のない欠席には厳正に対処する。
S: 90 点以上　A: 80 点以上　B: 70 点以上　C: 60 点以上
The grade will be determined by evaluating the reports submitted within the deadlines, with the prerequisite condition of attendance in the class. All of the reports are mandatory. Absence from class will result in very strict penalty unless it is a legitimate case.

S: score >= 90, A: score >= 80, B: score >= 70, C: score >= 60

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
https://lms.imc.tut.ac.jp/enrol/index.php?id=324
https://lms.imc.tut.ac.jp/enrol/index.php?id=324

オフィスアワー
授業日に演習室で相談に応じる。
また、メールによる問い合わせも随時可能である。
katsuragi@cs.tut.ac.jp

Questions are welcome in the class. In addition, students may send email inquiries.
katsuragi@cs.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応
機械工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる。
情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる。
(D1)問題を分析し，解決手順を設計し，ハードウェア・ソフトウェアとして実現する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
(D1) Acquiring the ability to analyze problems, design solutions, and implement them as hardware and software
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(C) (Architecture and Building Science Course) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
(C) (Civil and Environmental Engineering Course)The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
C 言語, Linux
C language, Linux

(B1052002a)図学[Descriptive Geometry]

科目名[英文名]	図学[Descriptive Geometry]				
時間割番号	B1052002a	**区分**	専門Ⅰ共通	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	安井　利明 YASUI Toshiaki				
ナンバリング	COM_BAC11222				

授業の目標

三次元の物体を二次元に表現する様々な手法を学び、設計・デザインに不可欠な基礎的素養を養う。

Learn a variety of methods to draw 3D solid on 2D plane, and acquire the knowledge for designing.

授業の内容

第 1,2 週　作図の基礎Ⅰ・投影の基礎
第3週　点および直線の主投影図
第4週　平面の主投影図
第5週　点と直線の副投影図
第6週　平面の副投影図
第7週　点、直線および平面との関係
第8週　中間試験
第9週　作図の基礎Ⅱ
第 10 週　立体の切断
第 11 週　立体の相貫
第 12 週　陰影
第 13 週　平行投影
第 14 週　透視投影
第 15 週　授業の総括
第 16 週　期末試験

1st week Basic of drawing 1
2nd week Basic of projection
3rd week Principal projection of point and line
4th week Principal projection of plane
5th week Auxiliary projection of point and line
6th week Auxiliary projection of plane
7th week Relation between point, line and plane
8th week Midterm examination
9th week Basic of drawing 2
10th week Cutting of solid
11th week Intersection of solid
12th week Shade and shadow
13th week Parallel projection
14th week Perspective projection
15th week Review session
16th week Final examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキストや講義資料を参考に予習してくること。
講義資料は教務システムからダウンロードできます。
https://kyomu.office.tut.ac.jp/portal/
Carry out a preparation and review by a text book and lecture notes.
Lecture notes are downloadable from DreamCampus.
https://kyomu.office.tut.ac.jp/portal/

関連科目

・図学演習
・機械製図Ⅰ・Ⅱ、設計製図Ⅰ・Ⅱ、CAD/CAM/CAE 演習 （1系）

/Descriptive Geometry Exercise
/Machine Drawing 1
/Machine Drawing 2
/Machine Drawing 3
/CAD/CAM/CAE Exercise

教科書 1	**書名**	基礎応用 第三角法図学（第 2 版）			**ISBN**	978-4-627-08042-3
	著者名	岩井實，石川義雄，喜山宜志明，佐久田博司	**出版社**	森北出版	**出版年**	2006

教科書に関する補足事項
講義資料は教務システムからダウンロードできます。
https://kyomu.office.tut.ac.jp/portal/
Lecture notes are downloadable from DreamCampus.
https://kyomu.office.tut.ac.jp/portal/

参考書に関する補足事項

達成目標
A. 基礎的な事項
(1)図学に関する基礎的な用語を理解する。
(2)定規やコンパスなどを使って正確で、わかりやすい図を描くことができる。
(3)正多面体の図学的特性を正しく理解し、その作図に利用できる。
(4)球体の図学的特性を正しく理解し、その作図や円錐や円柱の作図に利用できる。
(5)各種の曲面に関する図学的特性を理解している。
B. 投影と基礎図形
(1)立体を各象限に置いたとき、面がどのように投影されるか理解できる。
(2)直線と角を等分することができる。
きる。
C. 点・直線の投影
(1)さまざまな点と直線を投影することができる。
D. 平面の投影
(1)副投影を利用して、さまざまな側面を描くことができる。
E.立体の相貫
(1)二つ以上の物体が相交わる相貫体について、その図学的特性を理解し、正投影を描く際に、副投影法および補助平面法を効果的に利用できる。
(2)上記の際に副投影法について正しく理解し、作図できる。
(3)上記の際に補助平面法について正しく理解し、作図できる。
F.各種の投影法
(1)正投影、斜投影、軸測投影等について、得られる投影、作図方法について、その得失点を正しく理解している。
(2)投射について理解し、立体の影や斜投影を作図できる。
(3)軸測投影、等測投影および等測図について理解し、その作図ができる。
(4)透視投影について理解し、その作図ができる。
A. Fundamental items
(1)Understand basic terminology of descriptive geometry.
(2)Draw an exact and easy-to-understand drawing by rulers and compass.
(3)Understand the characteristics of regular solid and apply it for drawing.
(4)Understand the characteristics of sphere and apply it for drawing of cone and cylinder.
(5)Understand the characteristics of curved surface.
B. Projection and basic figure
(1)Understand projection of solid on each quadrant.
(2)Divide line and angle equally.
C. Projection of point and line
(1)Project variety points and lines.
D. Projection of plane
(1)Draw variety of planes by auxiliary projection.
E.Intersection of solids
(1)Understand the characteristics of intersection of solids and apply it for drawing of principal projection.
(2)Draw the intersection of solids by auxiliary projection.
(3)Draw the intersection of solids by auxiliary plane method.
F.Variety of projection methods
(1)Understand orthographic projection, oblique projection and axonometric projection.
(2)Draw a shade and shadow of solid and oblique projection.

(3)Understand axonometric drawing and isometric drawing.
(4)Understand perspective projection and make drawing.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績:中間試験 50%, 期末試験 50%　左記の割合で総合的に評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation method] Midterm examination(50%) and Final examination(50%)
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居室:D-601
Room : D-601
Phone : ext. 6703
E-mail: yasui@tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

e-mail で随時時間を打ち合わせる。
/Before and after a lecture
/Arrange a time by e-mail

学習・教育到達目標との対応

1系:③技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力(数学, 自然科学, 情報技術, 地球環境対応技術に関する科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力)
2系:(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野, MOT, 地球環境対応技術分野, 知的財産分野の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力
3系:(D1)問題を分析し, 解決手順を設計し, ハードウエア・ソフトウエアとして実現する能力
5系〔建築コース〕:(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力, (D1)建築分野に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力
5系〔社会基盤コース〕:(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術, 地球環境対応技術の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力を身につけている。
1系:③技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力(数学, 自然科学, 情報技術, 地球環境対応技術に関する科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力)
2系:(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野, MOT, 地球環境対応技術分野, 知的財産分野の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力
3系:(D1)問題を分析し, 解決手順を設計し, ハードウエア・ソフトウエアとして実現する能力
5系〔建築コース〕:(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力, (D1)建築分野に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力
5系〔社会基盤コース〕:(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード
立体表現、製図、設計、CAD/CAM、デザインテクノロジー
drawing, designing, CAD/CAM, design technology

(B1052002b)図学[Descriptive Geometry]

科目名[英文名]	図学[Descriptive Geometry]				
時間割番号	B1052002b	**区分**	専門Ⅰ共通	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	松尾　幸二郎，小野　悠 MATSUO Kojiro, ONO Haruka				
ナンバリング	COM_BAC11222				

授業の目標

三次元の物体を二次元に表現する様々な手法を学び、設計・デザインに不可欠な基礎的素養を養う。

Learning a variety of methods to draw 3D solid on 2D plane, and acquire the knowledge for designing.

授業の内容

第 1,2 週　作図の基礎Ⅰ・投影の基礎
第3週　点および直線の主投影図
第4週　平面の主投影図
第5週　点と直線の副投影図
第6週　平面の副投影図
第7週　点、直線および平面との関係
第8週　中間試験
第9週　作図の基礎Ⅱ
第 10 週　立体の切断
第 11 週　立体の相貫
第 12 週　陰影
第 13 週　平行投影
第 14 週　透視投影
第 15 週　授業の総括
第 16 週　期末試験
1st week Basic of drawing 1
2nd week Basic of projection
3rd week Principal projection of point and line
4th week Principal projection of plane
5th week Auxiliary projection of point and line
6th week Auxiliary projection of plane
7th week Relation between point, line and plane
8th week Midterm examination
9th week Basic of drawing 2
10th week Cutting of solid
11th week Intersection of solid
12th week Shade and shadow
13th week Parallel projection
14th week Perspective projection
15th week Review session
16th week Final examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Carry out a preparation and review by a textbook and lecture notes.

関連科目

・図学演習
・建築設計演習Ⅰ（5系）
- Descriptive Geometry Exercise
- Architectural Design Workshop 1 (Dept. 5)

教科書 1	**書名**	基礎応用第三角法図学			**ISBN**	978-4-627-08042-3
	著者名	岩井實，石川義雄，喜山宜志明，佐久田博司 共著，	**出版社**	森北出版	**出版年**	2006

教科書に関する補足事項

Lecture notes are distributed in the classes.

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1)図学に関する基礎的な用語を理解する。
(2)定規やコンパスなどを使って正確で、わかりやすい図を描くことができる。
(3)正多面体の図学的特性を正しく理解し、その作図に利用できる。
(4)球体の図学的特性を正しく理解し、その作図や円錐や円柱の作図に利用できる。
(5)各種の曲面に関する図学的特性を理解している。
B. 投影と基礎図形
(1)立体を各象限に置いたとき、面がどのように投影されるか理解できる。
(2)直線と角を等分することができる。
C. 点・直線の投影
(1)さまざまな点と直線を投影することができる。
D. 平面の投影
(1)副投影を利用して、さまざまな側面を描くことができる。
E.立体の相貫
(1)二つ以上の物体が相交わる相貫体について、その図学的特性を理解し、正投影を描く際に、副投影法および補助平面法を効果的に利用できる。
(2)上記の際に副投影法について正しく理解し、作図できる。
(3)上記の際に補助平面法について正しく理解し、作図できる。
F.各種の投影法
(1)正投影、斜投影、軸測投影等について、得られる投影、作図方法について、その得失点を正しく理解している。
(2)投射について理解し、立体の影や斜投影を作図できる。
(3)軸測投影、等測投影および等測図について理解し、その作図ができる。
(4)透視投影について理解し、その作図ができる。
A. Fundamental items
(1)Understand basic terminology of descriptive geometry.
(2)Draw an exact and easy-to-understand drawing by rulers and compass.
(3)Understand the characteristics of regular solid and apply it for drawing.
(4)Understand the characteristics of sphere and apply it for drawing of cone and cylinder.
(5)Understand the characteristics of curved surface.
B. Projection and basic figure
(1)Understand projection of solid on each quadrant.
(2)Divide line and angle equally.
C. Projection of point and line
(1)Project variety points and lines.
D. Projection of plane
(1)Draw variety of planes by auxiliary projection.
E.Intersection of solids
(1)Understand the characteristics of intersection of solids and apply it for drawing of principal projection.
(2)Draw the intersection of solids by auxiliary projection.
(3)Draw the intersection of solids by auxiliary plane method.
F.Variety of projection methods
(1)Understand orthographic projection, oblique projection and axonometric projection.
(2)Draw a shade and shadow of solid and oblique projection.
(3)Understand axonometric drawing and isometric drawing.
(4)Understand perspective projection and make drawing.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績:中間試験 50%, 期末試験 50%　左記の割合で総合的に評価する。
評価基準:原則的に全ての講義に出席し、全ての演習課題を提出したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:2 回の定期試験の平均点(100 点満点)が 90 点以上
A:2 回の定期試験の平均点(100 点満点)が 80 点以上
B:2 回の定期試験の平均点(100 点満点)が 70 点以上
C:2 回の定期試験の平均点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation method] Midterm examination(50%) and Final examination(50%)
[Evaluation basis] Students who attend all classes and submit all assignments will be evaluated as follows:
S: Obtained average points of the exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained average points of the exams, 80 or higher (out of 100 points).

B: Obtained average points of the exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained average points of the exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

・松尾研ホームページ： http://www.tr.ace.tut.ac.jp/
- Matsuo Lab. homepage: http://www.tr.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー

・松尾： 随時対応可．ただし，事前連絡をすること．
- Matsuo: At any time. Please contact Matsuo by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

1系：③技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力（数学，自然科学，情報技術，地球環境対応技術に関する科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力）
2系：（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
3系：（D1）問題を分析し，解決手順を設計し，ハードウエア・ソフトウエアとして実現する能力
5系〔建築コース〕：（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力，（D1)建築分野に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
5系〔社会基盤コース〕：（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード

立体表現、製図、設計、CAD/CAM、デザインテクノロジー
drawing, designing, CAD/CAM, design technology

(B1052003a)図学演習[Descriptive Geometry Exercise]

科目名[英文名]	図学演習[Descriptive Geometry Exercise]				
時間割番号	B1052003a	**区分**	専門Ⅰ共通	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	山田　基宏，青葉　知弥 YAMADA Motohiro, AOBA Tomoya				
ナンバリング	COM_BAC11222				

授業の目標

三次元の物体を二次元に表現する様々な手法を学び、設計・デザインに不可欠な基礎的素養を養う。

Learn a variety of methods to draw 3D solid on 2D plane, and acquire the knowledge for designing.

授業の内容

第 1,2 週　作図の基礎Ⅰ・投影の基礎
第3週　点および直線の主投影図
第4週　平面の主投影図
第5週　点と直線の副投影図
第6週　平面の副投影図
第7週　点、直線および平面との関係
第8週　中間試験
第9週　作図の基礎Ⅱ
第 10 週　立体の切断
第 11 週　立体の相貫
第 12 週　陰影
第 13 週　平行投影
第 14 週　透視投影
第 15 週　授業の総括
第 16 週　定期試験
1st week Basic of drawing 1
2nd week Basic of projection
3rd week Principal projection of point and line
4th week Principal projection of plane
5th week Auxiliary projection of point and line
6th week Auxiliary projection of plane
7th week Relation between point, line and plane
8th week Midterm examination
9th week Basic of drawing 2
10th week Cutting of solid
11th week Intersection of solid
12th week Shade and shadow
13th week Parallel projection
14th week Perspective projection
15th week Review session
16th week Final examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト・e-Learning を参考に予習してくること。

Carry out a preparation and review by a text book and lecture notes.
Lecture notes are distributed through the e-Learning system (Moodle) of Information and Media Center.
https://moodle2.imc.tut.ac.jp/

関連科目

・図学
・設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、CAD/CAM/CAE 演習 （1系）
Descriptive Geometry
Machine Drawing 1
Machine Drawing 2
Machine Drawing 3
CAD/CAM/CAE Exercise

教科書 1	**書名**	基礎応用第三角法図学	**ISBN**	978-4-627-08042-3

	著者名	岩井實　他	出版社	森北出版	出版年	2007

教科書に関する補足事項

演習内容については e-Learning (Moodle) を参照

Lecture notes are distributed through the e-Learning system (Moodle) of Information and Media Center.

https://moodle2.imc.tut.ac.jp/

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項

(1)図学に関する基礎的な用語を理解する。

(2)定規やコンパスなどを使って正確で、わかりやすい図を描くことができる。

(3)正多面体の図学的特性を正しく理解し、その作図に利用できる。

(4)球体の図学的特性を正しく理解し、その作図や円錐や円柱の作図に利用できる。

(5)各種の曲面に関する図学的特性を理解している。

B. 投影と基礎図形

(1)立体を各象限に置いたとき、面がどのように投影されるか理解できる。

(2)直線と角を等分することができる。

きる。

C. 点・直線の投影

(1)さまざまな点と直線を投影することができる。

D. 平面の投影

(1)副投影を利用して、さまざまな側面を描くことができる。

E.立体の相貫

(1)二つ以上の物体が相交わる相貫体について、その図学的特性を理解し、正投影を描く際に、副投影法および補助平面法を効果的に利用できる。

(2)上記の際に副投影法について正しく理解し、作図できる。

(3)上記の際に補助平面法について正しく理解し、作図できる。

F.各種の投影法

(1)正投影、斜投影、軸測投影等について、得られる投影、作図方法について、その得失点を正しく理解している。

(2)投射について理解し、立体の影や斜投影を作図できる。

(3)軸測投影、等測投影および等測図について理解し、その作図ができる。

(4)透視投影について理解し、その作図ができる。

A. Fundamental items

(1)Understand basic terminology of descriptive geometry.

(2)Draw an exact and easy-to-understand drawing by rulers and compass.

(3)Understand the characteristics of regular solid and apply it for drawing.

(4)Understand the characteristics of sphere and apply it for drawing of cone and cylinder.

(5)Understand the characteristics of curved surface.

B. Projection and basic figure

(1)Understand projection of solid on each quadrant.

(2)Divide line and angle equally.

C. Projection of point and line

(1)Project variety points and lines.

D. Projection of plane

(1)Draw variety of planes by auxiliary projection.

E.Intersection of solids

(1)Understand the characteristics of intersection of solids and apply it for drawing of principal projection.

(2)Draw the intersection of solids by auxiliary projection.

(3)Draw the intersection of solids by auxiliary plane method.

F.Variety of projection methods

(1)Understand orthographic projection, oblique projection and axonometric projection.

(2)Draw a shade and shadow of solid and oblique projection.

(3)Understand axonometric drawing and isometric drawing.

(4)Understand perspective projection and make drawing.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎週の課題提出を 60%, 中間試験と期末試験を 40%とし, 合計で評価する。

S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上

A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上

C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

[Evaluation method] Every week report (60%) and Midterm and final examination(40%)

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

E-mail: yamada@me.tut.ac.jp
E-mail: yamada@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

木曜日13時～15時
これ以外の時間でも随時質問等を受け付けます。メール等で事前に連絡してください。
Thursday 1-3pm.
Arrange a time by e-mail

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology

Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
キーワード 立体表現、製図、設計、CAD/CAM、デザインテクノロジー drawing, designing, CAD/CAM, design technology

(B1052003b)図学演習[Descriptive Geometry Exercise]

科目名[英文名]	図学演習[Descriptive Geometry Exercise]				
時間割番号	B1052003b	**区分**	専門Ⅰ共通	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	松尾　幸二郎, 小野　悠 MATSUO Kojiro, ONO Haruka				
ナンバリング	COM_BAC11222				

授業の目標

三次元の物体を二次元に表現する様々な手法を学び、設計・デザインに不可欠な基礎的素養を養う。

Learn a variety of methods to draw 3D solid on 2D plane, and acquire the knowledge for designing.

授業の内容

第 1,2 週　作図の基礎Ⅰ・投影の基礎
第3週　点および直線の主投影図
第4週　平面の主投影図
第5週　点と直線の副投影図
第6週　平面の副投影図
第7週　点、直線および平面との関係
第8週　中間試験
第9週　作図の基礎Ⅱ
第 10 週　立体の切断
第 11 週　立体の相貫
第 12 週　陰影
第 13 週　平行投影
第 14 週　透視投影
第 15 週　授業の総括
第 16 週　定期試験
1st week Basic of drawing 1
2nd week Basic of projection
3rd week Principal projection of point and line
4th week Principal projection of plane
5th week Auxiliary projection of point and line
6th week Auxiliary projection of plane
7th week Relation between point, line and plane
8th week Midterm examination
9th week Basic of drawing 2
10th week Cutting of solid
11th week Intersection of solid
12th week Shade and shadow
13th week Parallel projection
14th week Perspective projection
15th week Review session
16th week Final examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Carry out a preparation and review by a textbook and lecture notes.

関連科目

・図学演習
・建築設計演習Ⅰ（5系）
- Descriptive Geometry Exercise
- Architectural Design Workshop 1 (Dept. 5)

教科書 1	**書名**	基礎応用第三角法図学			**ISBN**	978-4-627-08042-3
	著者名	岩井實, 石川義雄, 喜山宜志明, 佐久田博司 共著,	**出版社**	森北出版	**出版年**	2006

教科書に関する補足事項

Lecture notes are distributed in the classes.

参考書 1	書名	基礎応用第三角法図学			ISBN	978-4-627-08042-3
	著者名	岩井實，石川義雄，喜山宜志明，佐久田博司 共著，	出版社	森北出版	出版年	2006

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1)図学に関する基礎的な用語を理解する。
(2)定規やコンパスなどを使って正確で、わかりやすい図を描くことができる。
(3)正多面体の図学的特性を正しく理解し、その作図に利用できる。
(4)球体の図学的特性を正しく理解し、その作図や円錐や円柱の作図に利用できる。
(5)各種の曲面に関する図学的特性を理解している。
B. 投影と基礎図形
(1)立体を各象限に置いたとき、面がどのように投影されるか理解できる。
(2)直線と角を等分することができる。
C. 点・直線の投影
(1)さまざまな点と直線を投影することができる。
D. 平面の投影
(1)副投影を利用して、さまざまな側面を描くことができる。
E.立体の相貫
(1)二つ以上の物体が相交わる相貫体について、その図学的特性を理解し、正投影を描く際に、副投影法および補助平面法を効果的に利用できる。
(2)上記の際に副投影法について正しく理解し、作図できる。
(3)上記の際に補助平面法について正しく理解し、作図できる。
F.各種の投影法
(1)正投影、斜投影、軸測投影等について、得られる投影、作図方法について、その得失点を正しく理解している。
(2)投射について理解し、立体の影や斜投影を作図できる。
(3)軸測投影、等測投影および等測図について理解し、その作図ができる。
(4)透視投影について理解し、その作図ができる。
A. Fundamental items
(1)Understand basic terminology of descriptive geometry.
(2)Draw an exact and easy-to-understand drawing by rulers and compass.
(3)Understand the characteristics of regular solid and apply it for drawing.
(4)Understand the characteristics of sphere and apply it for drawing of cone and cylinder.
(5)Understand the characteristics of curved surface.
B. Projection and basic figure
(1)Understand projection of solid on each quadrant.
(2)Divide line and angle equally.
C. Projection of point and line
(1)Project variety points and lines.
D. Projection of plane
(1)Draw variety of planes by auxiliary projection.
E.Intersection of solids
(1)Understand the characteristics of intersection of solids and apply it for drawing of principal projection.
(2)Draw the intersection of solids by auxiliary projection.
(3)Draw the intersection of solids by auxiliary plane method.
F.Variety of projection methods
(1)Understand orthographic projection, oblique projection and axonometric projection.
(2)Draw a shade and shadow of solid and oblique projection.
(3)Understand axonometric drawing and isometric drawing.
(4)Understand perspective projection and make drawing.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績：中間試験 50%，期末試験 50%　左記の割合で総合的に評価する。
評価基準：原則的に全ての講義に出席し、全ての演習課題を提出したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：2 回の定期試験の平均点（100 点満点）が 90 点以上
A：2 回の定期試験の平均点（100 点満点）が 80 点以上
B：2 回の定期試験の平均点（100 点満点）が 70 点以上
C：2 回の定期試験の平均点（100 点満点）が 60 点以上
[Evaluation method] Midterm examination(50%) and Final examination(50%)

[Evaluation basis] Students who attend all classes and submit all assignments will be evaluated as follows:
S: Obtained average points of the exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained average points of the exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained average points of the exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained average points of the exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

【松尾】
部屋番号：D-715
電話番号：0532-44-6864（内線：6864）
メールアドレス：k-matsuo@ace.tut.ac.jp
[Matsuo]
Room: D-715
Tel: 0532-44-6864 (Ext. 6864)
E-mail: k-matsuo@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

・松尾研ホームページ： http://www.tr.ace.tut.ac.jp/
- Matsuo Lab. homepage: http://www.tr.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー

・松尾： 随時対応可．ただし，事前連絡をすること．
- Matsuo: At any time. Please contact Matsuo by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

１系：③技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力（数学，自然科学，情報技術，地球環境対応技術に関する科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力）
２系：（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
３系：（D1）問題を分析し，解決手順を設計し，ハードウエア・ソフトウエアとして実現する能力
５系〔建築コース〕：（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力，（D1)建築分野に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
５系〔社会基盤コース〕：（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード

立体表現、製図、設計、CAD/CAM、デザインテクノロジー
drawing, designing, CAD/CAM, design technology

(B1052004a)ICT基礎[Introduction to Information and Communication Technology]

科目名[英文名]	ICT基礎[Introduction to Information and Communication Technology]				
時間割番号	B1052004a	**区分**	専門Ⅰ共通	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	土屋　雅稔 TSUCHIYA Masatoshi				
ナンバリング	COM_BAC11112				

授業の目標

高度情報化社会における技術者・研究者に必要とされる情報通信技術（ICT）に関する基礎的概念の理解と基本的技術の習得を目的とする。

This is an introductory course that aims to help students build a technical vocabulary to better understand information and communication technology (ICT), to provide a sense of background, history and origins of ICT, and to have students engage with ICT in a series of hands-on exercises which will familiarize students with ICT.

授業の内容

本講義で取り扱う予定の項目は、おおむね週ごとに、以下のとおりである。

1. ガイダンス／概要
2. 情報の収集と整理
3. コンピュータ概論
4. 記数法
5. ディジタル表現
6. オペレーティングシステム＃1
7. オペレーティングシステム＃2
8. アプリケーション
9. アルゴリズムとデータ構造＃1
10. アルゴリズムとデータ構造＃2
11. ネットワーク＃1
12. ネットワーク＃2
13. セキュリティ＃1
14. セキュリティ＃2
15. 情報社会
16. 期末試験

講義と演習をくみあわせてすすめていく。

演習では、受講生の発表、ディスカッションと、小テストを行なう。

Students will be expected to attend classes and complete assignments and class quizzes. There will be a final exam.

Week 1: Course introduction.
Week 2: Collecting and organizing information.
Week 3: Introduction to computers.
Week 4: Numeral systems.
Week 5: Digital representation of information.
Week 6: Operating systems #1.
Week 7: Operating systems #2.
Week 8: Applications.
Week 9: Algorithm and data structure #1.
Week 10: Algorithm and data structure #2.
Week 11: Networking #1.
Week 12: Networking #2.
Week 13: Security #1.
Week 14: Security #2.
Week 15. Information society.
Week 16: Final exam.

予習・復習内容

受講生は、毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくる（毎週、課題レポートあ

り)ことが求められる。

Students will need to complete the assignment every week.

関連科目

特になし。

Nothing in particular.

教科書に関する補足事項

1. Wikiversity: Introduction to Computers, https://en.wikiversity.org/wiki/Introduction_to_Computers
2. Wikiversity: Computer Skills, https://en.wikiversity.org/wiki/Computer_Skills
3. Wikiversity: IT Fundamentals, https://en.wikiversity.org/wiki/IT_Fundamentals

上記の 3 つのWWWページおよびその中にリンクされているWWWページ群を教科書として使用する。
上記教科書に加えて、適宜、資料、教材を指示、提供する。
本講義のWWW情報は、https://lms.imc.tut.ac.jp/course/view.php?id=30 にある。ただし、受講者むけの情報を中心とした内容で、おおむね開講期間のみの設置(一部アクセス制限あり)。

1. Wikiversity: Introduction to Computers, https://en.wikiversity.org/wiki/Introduction_to_Computers
2. Wikiversity: Computer Skills, https://en.wikiversity.org/wiki/Computer_Skills
3. Wikiversity: IT Fundamentals, https://en.wikiversity.org/wiki/IT_Fundamentals

WWW pages mentioned above and WWW pages linked from them will be used as textbooks.
Students will be offered some course materials using WWW at https://lms.imc.tut.ac.jp/course/view.php?id=30

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 情報の概念、すなわち、その特徴や性質を理解する。
2. ICT(情報通信技術)の基本的な概念を理解する。
3. 情報処理の基本的な概念を理解し、コンピュータを用いた問題解決の具体的方法を知る。
4. 情報社会の進展とそれのもたらす影響と課題について理解する。

At the end of the course, students will:
1. be able to identify and describe the concept of information.
2. be able to identify and describe the key aspects of ICT.
3. be able to apply popular software applications to solve real world problems.
4. be able to identify and debate the societal issues.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験(50%)、受講状況(授業への参画度、プレゼンテーション、質疑応答、レポート:50%)をもとに成績をつける。
S:90点以上、A:80点以上、B:70点以上、C:60点以上。ただし、過年度生は旧年度どおり。

Weighting:
Final exam 50%.
In class work (incl. assignments) 50%.
Grading scale:
90% and above S
80% – 89% A
70% – 79% B
60% – 69% C

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

担当教官に関する情報

教官居室：情報メディア基盤センター 208 室
電子メイル：tsuchiya@imc.tut.ac.jp
WWW：http://is.cs.tut.ac.jp/~tsuchiya/

Lecturer's Room: Room 208 of Information and Media Center.
E-Mail: tsuchiya@imc.tut.ac.jp
WWW: http://is.cs.tut.ac.jp/~tsuchiya/

ウェルカムページ

オフィスアワー

火曜 1・2 時限。
Tuesday 1st and 2nd period in Room 208 of Information and Media Center.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード

情報処理　情報活用　セキュリティ　問題解決　情報社会　IT　ICT
Information processing, Security, Problem solving, Information society, Information technology, Information and communication

technology.

(B1052004b)ICT基礎[Introduction to Information and Communication Technology]

科目名[英文名]	ICT基礎[Introduction to Information and Communication Technology]				
時間割番号	B1052004b	**区分**	専門Ⅰ共通	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	南　哲人 MINAMI Tetsuto				
ナンバリング	COM_BAC11112				

授業の目標

高度情報化社会における技術者・研究者に必要とされる情報通信技術（ICT）に関する基礎的概念の理解と基本的技術の習得を目的とする。

This is an introductory course that aims to help students build a technical vocabulary to better understand information and communication technology (ICT), to provide a sense of background, history and origins of ICT, and to have students engage with ICT in a series of hands-on exercises which will familiarize students with ICT.

授業の内容

本講義で取り扱う予定の項目は、おおむね週ごとに、以下のとおりである。

1. ガイダンス／概要
2. 情報の収集と整理
3. コンピュータ概論
4. 記数法
5. ディジタル表現
6. オペレーティングシステム＃1
7. オペレーティングシステム＃2
8. アプリケーション
9. アルゴリズムとデータ構造＃1
10. アルゴリズムとデータ構造＃2
11. ネットワーク＃1
12. ネットワーク＃2
13. セキュリティ＃1
14. セキュリティ＃2
15. 情報社会
16. 期末試験

講義と演習をくみあわせてすすめていく。

演習では、受講生の発表、ディスカッションと、小テストを行なう。

Students will be expected to attend classes and complete assignments and class quizzes. There will be a final exam.

Week 1: Course introduction.
Week 2: Collecting and organizing information.
Week 3: Introduction to computers.
Week 4: Numeral systems.
Week 5: Digital representation of information.
Week 6: Operating systems #1.
Week 7: Operating systems #2.
Week 8: Applications.
Week 9: Algorithm and data structure #1.
Week 10: Algorithm and data structure #2.
Week 11: Networking #1.
Week 12: Networking #2.
Week 13: Security #1.
Week 14: Security #2.
Week 15. Information society.
Week 16: Final exam.

予習・復習内容

受講生は、毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくる（毎週、課題レポートあ

り)ことが求められる。

Students will need to complete the assignment every week.

関連科目

特になし。

Nothing in particular.

教科書に関する補足事項

1. Wikiversity: Introduction to Computers, https://en.wikiversity.org/wiki/Introduction_to_Computers
2. Wikiversity: Computer Skills, https://en.wikiversity.org/wiki/Computer_Skills
3. Wikiversity: IT Fundamentals, https://en.wikiversity.org/wiki/IT_Fundamentals

上のみっつのWWWページおよびその中にリンクされているWWWページ群を教科書として使用する。
上記教科書に加えて、適宜、資料、教材を指示、提供する。
本講義のWWW情報は、http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/gi/public/にある。ただし、受講者むけの情報を中心とした内容で、おおむね開講期間のみの設置(一部アクセス制限あり)。

1. Wikiversity: Introduction to Computers, https://en.wikiversity.org/wiki/Introduction_to_Computers
2. Wikiversity: Computer Skills, https://en.wikiversity.org/wiki/Computer_Skills
3. Wikiversity: IT Fundamentals, https://en.wikiversity.org/wiki/IT_Fundamentals

WWW pages mentioned above and WWW pages linked from them will be used as textbooks.
Students will be offered some course materials using WWW (http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/gi/public/).

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 情報の概念、すなわち、その特徴や性質を理解する。
2. ICT(情報通信技術)の基本的な概念を理解する。
3. 情報処理の基本的な概念を理解し、コンピュータを用いた問題解決の具体的方法を知る。
4. 情報社会の進展とそれのもたらす影響と課題について理解する。

At the end of the course, students will:
1. be able to identify and describe the concept of information.
2. be able to identify and describe the key aspects of ICT.
3. be able to apply popular software applications to solve real world problems.
4. be able to identify and debate the societal issues.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験(50%)、受講状況(授業への参画度、プレゼンテーション、質疑応答、レポート:50%)をもとに成績をつける。
S:90点以上、A:80点以上、B:70点以上、C:60点以上。ただし、過年度生は旧年度どおり。

Weighting:
Final exam 50%.
In class work (incl. assignments) 50%.
Grading scale:
90% and above S
80% - 89% A
70% - 79% B
60% - 69% C

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

担当教官に関する情報
教官居室：F-403
電子メイル：minami@tut.jp
WWW：https://sites.google.com/site/minamicnt/

Lecturer's Room: F-403
E-Mail: minami@tut.jp
WWW: https://sites.google.com/site/minamicnt/

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(C)【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード
情報処理　情報活用　セキュリティ　問題解決　情報社会　IT　ICT
Information processing, Security, Problem solving, Information society, Information technology, Information and communication technology.

(B1052004c)ICT基礎[Introduction to Information and Communication Technology]

科目名[英文名]	ICT基礎[Introduction to Information and Communication Technology]				
時間割番号	B1052004c	**区分**	専門Ⅰ共通	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	河合　和久 KAWAI Kazuhisa				
ナンバリング	COM_BAC11111				

授業の目標

高度情報化社会における技術者・研究者に必要とされる情報通信技術（ICT）に関する基礎的概念の理解と基本的技術の習得を目的とする。

This is an introductory course that aims to help students build a technical vocabulary to better understand information and communication technology (ICT), to provide a sense of background, history and origins of ICT, and to have students engage with ICT in a series of hands-on exercises which will familiarize students with ICT.

授業の内容

本講義で取り扱う予定の項目は、おおむね週ごとに、以下のとおりである。

1. ガイダンス／概要
2. 情報の収集と整理
3. コンピュータ概論
4. 記数法
5. ディジタル表現
6. オペレーティングシステム＃1
7. オペレーティングシステム＃2
8. アプリケーション
9. アルゴリズムとデータ構造＃1
10. アルゴリズムとデータ構造＃2
11. ネットワーク＃1
12. ネットワーク＃2
13. セキュリティ＃1
14. セキュリティ＃2
15. 情報社会
16. 期末試験

講義と演習をくみあわせてすすめていく。

演習では、受講生の発表、ディスカッションと、小テストを行なう。

Students will be expected to attend classes and complete assignments and class quizzes. There will be a final exam.

Week 1: Course introduction.
Week 2: Collecting and organizing information.
Week 3: Introduction to computers.
Week 4: Numeral systems.
Week 5: Digital representation of information.
Week 6: Operating systems #1.
Week 7: Operating systems #2.
Week 8: Applications.
Week 9: Algorithm and data structure #1.
Week 10: Algorithm and data structure #2.
Week 11: Networking #1.
Week 12: Networking #2.
Week 13: Security #1.
Week 14: Security #2.
Week 15. Information society.
Week 16: Final exam.

予習・復習内容

受講生は、毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくる（毎週、課題レポートあ

り)ことが求められる。

Students will need to complete the assignment every week.

関連科目

特になし。

Nothing in particular.

教科書に関する補足事項

1. Wikiversity: Introduction to Computers, https://en.wikiversity.org/wiki/Introduction_to_Computers
2. Wikiversity: Computer Skills, https://en.wikiversity.org/wiki/Computer_Skills
3. Wikiversity: IT Fundamentals, https://en.wikiversity.org/wiki/IT_Fundamentals

上のみっつのWWWページおよびその中にリンクされているWWWページ群を教科書として使用する。
上記教科書に加えて、適宜、資料、教材を指示、提供する。
本講義のWWW情報は、http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/gi/public/にある。ただし、受講者むけの情報を中心とした内容で、おおむね開講期間のみの設置(一部アクセス制限あり)。

1. Wikiversity: Introduction to Computers, https://en.wikiversity.org/wiki/Introduction_to_Computers
2. Wikiversity: Computer Skills, https://en.wikiversity.org/wiki/Computer_Skills
3. Wikiversity: IT Fundamentals, https://en.wikiversity.org/wiki/IT_Fundamentals

WWW pages mentioned above and WWW pages linked from them will be used as textbooks.
Students will be offered some course materials using WWW (http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/gi/public/).

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 情報の概念、すなわち、その特徴や性質を理解する。
2. ICT(情報通信技術)の基本的な概念を理解する。
3. 情報処理の基本的な概念を理解し、コンピュータを用いた問題解決の具体的方法を知る。
4. 情報社会の進展とそれのもたらす影響と課題について理解する。

At the end of the course, students will:
1. be able to identify and describe the concept of information.
2. be able to identify and describe the key aspects of ICT.
3. be able to apply popular software applications to solve real world problems.
4. be able to identify and debate the societal issues.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験(50%)、受講状況(授業への参画度、プレゼンテーション、質疑応答、レポート:50%)をもとに成績をつける。
S:90点以上、A:80点以上、B:70点以上、C:60点以上。ただし、過年度生は旧年度どおり。

Weighting:
Final exam 50%.
In class work (incl. assignments) 50%.
Grading scale:
90% and above S
80% - 89% A
70% - 79% B
60% - 69% C

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

担当教官に関する情報
教官居室：F1-206
電子メイル：kawai@tut.jp
WWW：http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/

Lecturer's Room: F1-206.
E-Mail: kawai@tut.jp
WWW: http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜2時限と金曜2時限。
Wednesday 2nd period and Friday 2nd period in Room F1-206.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(C)【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology

Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge

キーワード

情報処理　情報活用　セキュリティ　問題解決　情報社会　IT　ICT

Information processing, Security, Problem solving, Information society, Information technology, Information and communication technology.

(B11510010)機械工学技術史入門[History of Mechanical Engineering and Technology]

科目名[英文名]	機械工学技術史入門[History of Mechanical Engineering and Technology]				
時間割番号	B11510010	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期1	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	木村　雅人 KIMURA Masato				
ナンバリング	MEC_BAC11010				

授業の目標

本授業では、機械技術の歴史的展開過程をテーマを絞って概説する。
授業の目標は、現代の技術を歴史的視点から見つめることにより、ものづくりの本質を理解し、未来を拓く意欲と豊かな発想を呼び起こすことと、さらに先人の英知と努力の遺産を見ることにより、機械技術者・研究者としてのものの見方、考え方を養うことである。

The outline about history of mechanical engineering and technology is explained in this class. The aim is to generate will and a rich idea to open up the future by observing the modern technique from a historic viewpoint, and to develop a view as a mechanical engineer or researcher by watching the wisdom and the inheritance of the efforts of ancient people.

授業の内容

1週目　時計（和時計）：時計の発達の中で、他に類を見ない日本の「和時計」の生まれた背景と巧妙なメカニズムを学ぶ。
2週目　鉄砲派生技術：日本に鉄砲が伝来して以来、この製作技術を習得し、さらにさまざまな技術分野に応用していった先人たちの柔軟な発想力と応用力を学ぶ。
3週目　レンズ機器（カメラ）：人間の視覚機能を補完・強化するレンズ機器の進化の中で、視覚情報を記録に残すことを実現したカメラの進化の歴史を学ぶ。
4週目　録音機器（蓄音器）：聴覚情報を記録する機器に関して、最初にその機能を実現させた蓄音機の進化の歴史を中心に学ぶ。
5週目　繊維機械：人間の生活に不可欠な衣料をつくるために考案・改良されていった技術と繊維機械のしくみを学ぶ。
6週目　自動車技術Ⅰ（自動車の歴史）：自動車はどのように誕生し、進化していったのか、各時代の代表的車種の事例を交えてその変遷を学ぶ。
7週目　自動車技術Ⅱ（自動車技術の基礎など）：自動車はどのようなしくみで動くのか、またどのような技術で生産されるのか、その基礎技術を学ぶ。
8週目　復習 45 分、定期試験 45 分

1st week: History of clocks, especially Japanese clock. Study about unique and skillful Japanese clock and its background.
2nd week: Derivative technologies from matchlock. Study about Japanese craftsmen's flexible and applicable skills.
3rd week: History of lens tools, especially cameras. Study about development of cameras which realized visual records.
4th week: History of recording tools, especially gramophones. Study about development of gramophones which realized auditory records.
5th week: History of textile machineries. Study about development and mechanisms of textile machines.
6th week: Automobile technology partⅠ, history of automobiles. Study about evolution and transition of automobiles showing typical examples.
7th week: Automobile technology partⅡ, basic of automobile technology. Study about basic technology of automobile mechanism and production process.
8th week: Review 45min, exam. 45min.

予習・復習内容

毎回の講義内容に関し、疑問点などあればその場あるいは次回の講義の際に質問すること。また次回以降のテーマについて疑問点などあれば予めまとめておくこと。

If there are questionable points about each lecture, ask the teacher at the present lecture or next lecture. You should check and write the questionable point about a theme after the next time.

関連科目

特になし
Nothing special

教科書に関する補足事項

特定のテキストは特になし、各授業でレジュメを配布。
No textbook; resumes are handed out before each lecture.

参考書 1	**書名**	時計の社会史	**ISBN**	4-12-100715-8

	著者名	角山栄	**出版社**	中公新書	**出版年**	1992
参考書 2	**書名**	和時計―江戸のハイテク技術			**ISBN**	4-473-01462-2
	著者名	澤田平	**出版社**	淡交社	**出版年**	1996
参考書 3	**書名**	見て楽しむ江戸のテクノロジー			**ISBN**	4-410-13886-3
	著者名	鈴木一義	**出版社**	数研出版	**出版年**	2006
参考書 4	**書名**	江戸時代の科学技術－国友一貫斎から広がる世界			**ISBN**	4-88325-241-8
	著者名	市立長浜城歴史博物館	**出版社**	サンライズ出版	**出版年**	2003
参考書 5	**書名**	火縄銃の伝来と技術			**ISBN**	4-642-03383-1
	著者名	佐々木稔	**出版社**	吉川弘文館	**出版年**	2003

参考書に関する補足事項

参考書6)「図説　世界の蓄音機」三浦玄樹著、星雲社、4-7952-0764-X、1996
参考書7)「日本カメラの歴史－歴史編」歴史的カメラ審査委員会編、毎日新聞社、1975
参考書8)「繊維産業発達史概論」上出健二著、日本繊維機械学会、1993
参考書9)「やさしい繊維の基礎知識」繊維学会編著、日刊工業新聞社、4-526-05289-2、2004
参考書 10)「動力の歴史」富塚清著、三樹書房、4-89522-223-3、1998
参考書 11)「自動車「進化」の軌跡－写真で見るクルマの技術発達史」景山夙著、山海堂、4-381-10130-8、1999
参考書 12)「トヨタ生産方式－脱規模の経営をめざして」大野耐一著、ダイヤモンド社、1978

達成目標

テーマに沿った機械技術の発達に関して、歴史的展開過程の概要を理解すること、さらにそれに関与した歴史上の人物の存在と功績を理解すること、の2つを達成目標とする。
The goal is to understand the outline of the historic development process about the machanical technology along the theme, and to understand the existence and achievement of the historical person who participated in the theme.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験による評価
S:原則的にすべての講義に出席しており、かつテストの得点(100 点満点)が 90 点以上
A:原則的にすべての講義に出席しており、かつテストの得点(100 点満点)が 80 点以上
B:原則的にすべての講義に出席しており、かつテストの得点(100 点満点)が 70 点以上
C:原則的にすべての講義に出席しており、かつテストの得点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準が適用されます。
Estimation by exam
S: Attending all lectures and the score of the exam are 90 or higher (out of 100 points).
A: Attending all lectures and the score of the exam are 80 or higher (out of 100 points).
B: Attending all lectures and the score of the exam are 70 or higher (out of 100 points).
C: Attending all lectures and the score of the exam are 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

記述形式での試験を実施
Exam in describing style

その他

学内担当教員:　機械工学系 戸高義一
内線:　6704
e-mail :　todaka@me.tut.ac.jp
Teacher in charge :　Yoshikazu Todaka
Ext. :　6704
e-mail :　todaka@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.tcmit.org/　(トヨタ産業技術記念館)
http://www.tcmit.org/　(Toyota commemorative museum of industry and technology)

オフィスアワー

授業の前後:B 棟 1 階、非常勤講師室
(学内担当教員 戸高: e-mail (todaka@me.tut.ac.jp) にて相談時間を打ち合わせる。)
Before and after of the lecture, at the part-time teacher's room

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.

キーワード
技術史、和時計、火縄銃、カメラ、蓄音機、繊維機械、紡績、自動車、生産技術、トヨタ生産方式
history of technologies, Japanese clock, matchlock, camera, gramophone, textile machinery, spinning, automobile, production technology, Toyota production system

(B11510060)設計製図Ⅰ[Machine Drawing 1]

科目名[英文名]	設計製図Ⅰ[Machine Drawing 1]				
時間割番号	B11510060	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	安部　洋平, 川村　洋介 ABE Yohei, KAWAMURA Yosuke				
ナンバリング	MEC_BAC12010				

授業の目標

図面は製品の設計，製造，使用の際に必要であり，機械系技術者にとって，図面が読める，書けることは必要条件である．そこで，2 次元と 3 次元機械部品の図面を読み書きできる能力を修得する．また，関連する機械設計に関して学習する．

Drawing is necessary for design, manufacturing, and usage of machines, and it is essential qualification for mechanical engineers to read and write engineering drawings. This course develops your skills in interpreting and producing 2D and 3D engineering drawing of mechanical parts. Also, this course develops your skills in related mechanical design.

授業の内容

1-7 回の担当予定：安部, 8-15 回の担当予定：川村
1,2.製図の目的と役割，機械設計，図面の大きさ・様式・尺度，投影法，図枠，
表題欄，寸法の記入法，面の肌の表示法，2-D CAD（AutoCAD）の操作実習とVベルトの製図
3,4.断面図の表し方，寸法公差，はめあい，2-D CAD によるパッキン押さえの製図
5-7.2-D CAD によるフランジ型継手の製図，部分拡大図，キー，検図，組み立て図，部品図
8-10. 3 次元 CAD の基礎，3-D CAD(SOLIDWORKS)の操作実習
11-15. 3-D CAD によるモデリングの基礎，製図，解析

1-7 lectures : Yohei Abe, 8-15 lectures : Yosuke Kawamura
1,2.Objectives and roles of engineering drawing, Mechanical design, size, type and scale of drawing, projection, frame, title, dimension, surface finish, Computer aided design (CAD), Design exercises of CAD (AutoCAD), Drawing of V-belt.
3,4.Cross-section, tolerance (limits), fits, and drawing of gland flange with 2D CAD
5-7.Assembly drawing, Part drawing, Drawing of flange type coupling with 2D CAD
Enlarged section, key, drawing check
8-10.Basics of 3D CAD, Design exercises of 3DCAD (SOLIDWORKS)
11-15.Basics of modelling with 3D CAD

予習・復習内容

パソコン操作の基礎知識があることが望ましい．
Basic knowledge of how to use computers is useful.

関連科目

図学，図学演習，設計製図Ⅱ，設計製図Ⅲ，機械要素
Descriptive Geometry, Descriptive Geometry Exercise, Machine Drawing II, Machine Drawing III, Machine Elements

教科書 1	**書名**	標準機械製図集			**ISBN**	
	著者名	大柳康・蓮見善久著	**出版社**	理工学社	**出版年**	

教科書に関する補足事項

英語を併記した資料を配布する．
Handouts written in English and Japanese are distributed.

参考書に関する補足事項

達成目標

1）製図の役割，目的が理解できる．
2）製図規格，機械製図に関する下記の一般的事項を学び，製図に使われる用語や記号の意味が理解できる．
（1）図形の表し方，（2）線の種類と使用法，（3）文字の使用法，（4）寸法の記入法，（5）面の肌の表示法，（6）ねじおよびねじ部品の図示法，（7）ねじ部品の指示および寸法
記入法，（8）ねじ部品（六角ボルト，ナット）の簡略図示法，（9）直径，半径の表現法，（10）組立図，部品図，（11）断面図，部分拡大図の表現法，（12）キーおよびキー溝，（13）
はめあい，寸法の許容限界記入方法，（14）部分断面図の表現法
3）Auto CAD を基礎にするソフト Auto Mech の操作法を習得し，CAD を使用して JIS にもとづいた簡単な 2 次元の機械部品の作図ができる．
4）Solidworks の操作法を習得し，CAD を使用して3次元のモデリングができるとともに，2 次元の機械部品へ変換ができる．
Having successfully completed this course, you will be able to
1) Appreciate roles and objectives of engineering drawing
2) Appreciate standards of drawings such as (1) how to express figures, (2) line work (3)lettering, (4)drawing dimensions,

(5)drawing surface finish, (6)how to express screws and screw-related parts(bolts and nuts), (7)how to indicate screw-related and draw dimensions, (8)simple drawing of screw parts, (9)how to express diameter and radius, (10) assembly and part drawing, (11) enlarged section, and (12) keys and keyway, (13)fits, tolerance, and (14) partial cross section.
3) Learn how to use 2D CAD such as AutoCAD, and make simple engineering design based on JIS with that CAD.
4) Learn how to use 3D CAD such as Solidworks, and make 3D model and convert to 2D mechanical parts.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：提出された図面で評価する.
評価基準：原則的にすべての講義に出席し，全図面を提出したものにつき，下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつ提出図面の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ提出図面の合計点数（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ提出図面の合計点数（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ提出図面の合計点数（100 点満点）が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes and submit all drawings will be evaluated as follows:
S: Achieved all of goals and obtained total points of submitted drawings, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of submitted drawings, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of submitted drawings, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of submitted drawings, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

安部洋平
abe@me.tut.ac.jp, 内線 6705
川村洋介
y-kawamura@me.tut.ac.jp, 内線 6670
Yohei Abe
abe@me.tut.ac.jp, Ext. 6705
Yosuke Kawamura
y-kawamura@me.tut.ac.jp, Ext. 6670

ウェルカムページ

http://plast.me.tut.ac.jp
http://www.nak.me.tut.ac.jp/homepage
http://plast.me.tut.ac.jp
http://www.nak.me.tut.ac.jp/homepage

オフィスアワー

E-mail 等にて相談時間を打ち合せる.
Meeting can be arranged by e-mails.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

製図，CAD，図面
Engineering Drawing, Design, CAD

(B11510070)設計製図Ⅱ[Machine Drawing 2]

科目名[英文名]	設計製図Ⅱ[Machine Drawing 2]				
時間割番号	B11510070	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	安井　利明, 松原　真己 YASUI Toshiaki, MATSUBARA Masami				
ナンバリング	MEC_BAC22010				

授業の目標

機械系技術者は、製品の構造・機構・製造法を理解した上で製品の設計を行うと共に、図面化する能力が必要である。そこで、実際に稼動していた自動車用エンジンおよびその周辺機器を題材とし、各部品の構造、機構、製造法を理解するとともに、損耗状況等を観察し、展示用カットモデルおよび説明図の製作を行う。

Mechanical engineer design products and make the drawing with understanding the structure, mechanics and manufacturing methods. Machine drawing is lectured through investigation of automotive engine by disassembly and cutting.

授業の内容

第1週　ガイダンス（安井・松原）
・課題説明、受講上の注意
・エンジンについて講義
第2-6週　分解・切断・調査（安井・松原）
・エンジンおよびその周辺機器の全体像を記録と分解
・担当部品の決定
・担当部品を分解し観察と関係する資料の収集
・カットモデルの作製
・担当部品の説明図の作製
第7週　説明図一次提出（安井・松原）
第8-9週　分解・切断・調査（安井・松原）
第10-11週　担当部品についての口頭発表（安井・松原）
第12-13週　分解・切断・調査（安井・松原）
第14週　カットモデル組み立て（安井・松原）
第15週　説明図提出、レビューセッション（安井・松原）
1st week: Guidance (Yasui, Matsubara)
2nd week: Investigation of engine by disassembly and cutting (Yasui, Matsubara)
3nd week: Investigation of engine by disassembly and cutting (Yasui, Matsubara)
4nd week: Investigation of engine by disassembly and cutting (Yasui, Matsubara)
5nd week: Investigation of engine by disassembly and cutting (Yasui, Matsubara)
6nd week: Investigation of engine by disassembly and cutting (Yasui, Matsubara)
7th week: Preliminary submission of drawing (Yasui, Matsubara)
8th week: Investigation of engine by disassembly and cutting (Yasui, Matsubara)
9th week: Investigation of engine by disassembly and cutting (Yasui, Matsubara)
10th week: Presentation session 1 (Yasui, Matsubara)
11th week: Presentation session 2 (Yasui, Matsubara)
12th week: Investigation of engine by disassembly and cutting (Yasui, Matsubara)
13th week: Investigation of engine by disassembly and cutting (Yasui, Matsubara)
14th week: Assembling of cut model (Yasui, Matsubara)
15th week: Submission of final drawing, Review session (Yasui, Matsubara)

予習・復習内容

担当部品について，各自で関係資料を図書館やインターネットで収集し調査すること。
Investigate each component of engine by library and internet site.

関連科目

説明図作成のための基本製図に関する知識
B1：図学、図学演習、設計製図Ⅰ
B2：設計製図Ⅲ、機械要素、機構学
B3：機械設計、CAD/CAM/CAE 演習
B1: Descriptive Geometry, Descriptive Geometry Exercise, Machine Drawing 1
B2: Machine Drawing 3, Machine Elements, Mechanism
B3: Machine Design, CAD/CAM/CAE Exercise

教科書に関する補足事項

プリント配布

Handouts are distributed.

参考書 1	書名	標準機械製図集（第 7 版）			ISBN	978-4-8445-2748-0
	著者名	大柳康・蓮見善久	出版社	理工学社	出版年	2012

参考書に関する補足事項

達成目標

主に下記項目に対する理解を得ること
・実エンジン部品の機構、稼動状況
・使用環境下での損耗状況
・部品の役割と機能
・それらを説明する説明図の作成
・カットモデルの作成

Understand following items
(1)Mechanism of automotive engine
(2)Wear damage of automotive engine
(3)Role and function of each engine component
(4)Preparation and submission of drawing for description of functions
(5)Fabrication of cut model

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績：実習　30%　説明図　40%　発表　30%　左記の割合で総合的に評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席した者につき下記のように評価する。
　S：達成目標のすべてを達成しており，かつ実習・説明図・発表の合計点（100 点満点）が 90 点以上
　A：達成目標の 80%達成しており，かつ実習・説明図・発表の合計点（100 点満点）が 80 点以上
　B：達成目標の 70%達成しており，かつ実習・説明図・発表の合計点（100 点満点）が 70 点以上
　C：達成目標の 60%達成しており，かつ実習・説明図・発表の合計点（100 点満点）が 60 点以上
[Evaluation method] Practical work(30%), Drawing (40%) and Presentation (30%)
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of practical work, drawing and presentation, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of practical work, drawing and presentation, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of practical work, drawing and presentation, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of practical work, drawing and presentation, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

安井：居室 D-601, 内線 6703, E-mail yasui@tut.jp
松原：居室 D1-205, 内線 6682, E-mail matsubara@me.tut.ac.jp

T.Yasui: Room/ D-601, Phone/ ext.6703, E-mail/ yasui@tut.jp
M. Matsubara: Room/D1-205, Phone/ ext.6682, E-mail: matsubara@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業前後
e-mail で随時時間を打ち合わせる。
/Before and after a lecture
/Arrange a time by e-mail

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲

得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
設計、製図、カットモデル
designing, drawing, cut section model

(B11510080)プロジェクト研究[Research Project]

科目名[英文名]	プロジェクト研究[Research Project]				
時間割番号	B11510080	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	S1系教務委員 1kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	MEC_BAC28010				

授業の目標

機械工学に関連する特定の課題について，調査，解析・実験を行い，それらの結果を発表，報告書としてまとめることにより，機械工学を学ぶ意義を理解するとともに，仕事を遂行する能力を養う．本授業は 2,3 年次に履修する専門科目の学習が現実の諸課題の解決に役立つことを理解する．

Significance of studying mechanical engineering is understood and preforming ability of research works is acquired by reviewing, conducting analysis and /or experiment, presenting and reporting specific subject in mechanical engineering. Subjects of mechanical engineering in 2nd and 3rd grades are understood to be useful to solve practical technological problems.

授業の内容

授業担当教員から提案された各課題について，1 名 1 課題で取り組む．課題の選択は履修者の希望に基づく．
第 1 週・・・課題研究のガイダンス，配属決定
第 2 週・・・各研究室にて課題説明，研究の内容，進め方について説明
第 3 週～第 12 週・・・各研究室にて，資料調査，実験，解析を行なう
第 12 週～第 14 週・・・調査，実験，解析結果の整理，およびまとめ，報告書作成，発表準備
第 15 週・・・報告会，報告書作成

One subject is given to one student by a professor. In principle, the subject is selected by the student.
1st week. Guidance of the subject. Selection of laboratory
2nd week. Explanation of subject and performance of research work in laboratory
3rd to 12th week. Reviewing, analysis and experiment in laboratory
12th to 14th week. Summary of reviewing, analysis and experiment. Preparing report and presentation
15th week. Presentation of research results and submission of report.

予習・復習内容

関連科目

学部 2 年次までに学習した専門科目および数学，物理および情報処理科目
Subjects of mechanical engineering, mathematics, physics and information processing which have been studied until 2nd year.

教科書に関する補足事項

各講座・研究室でテキスト，参考資料を配布または提示する．
Handouts are given and shown from each laboratory.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)これまでに履修した専門および自然科学，情報関連科目の内容を基礎にして，与えられた課題の解決に応用できる能力を養う．
2)与えられた課題に主体的かつ自主的に取り組むことで，計画の立案，実行，結果の整理、発表・報告に至る技術者として必要な基礎的素養を身につける．
3)これからの学習に対する意義を理解すると共に，学習意欲を高める．

1) By using knowledge related to mechanical engineering, natural sciences and data information processing, etc., ability for solving problems is acquired.
2) Fundamental accomplishments of an engineer is acquired by active works of planning, research, consideration, report, and presentation.
3) Meaning of subjects which will be learned is recognized and desire to learn is accelerated.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

「研究課題への取組み（研究課題の理解，関心，創意工夫，積極性など）」70 点，「報告書および発表会」30 点の合計（100 点満点）で評価する．
原則的に毎回出席し，受講したたものにつき，下記のように成績を評価する．
評価S：合計点が 90 点以上

評価A：合計点が 80 点以上
評価B：合計点が 70 点以上
評価C：合計点が 60 点以上
70%: understanding research, research work, etc.
30%: report and presentation.
S: Total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

E-Mail: sakaguchi@me.tut.ac.jp
E-Mail: sakaguchi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

(D2)実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から観察し，説明する能力を身につけている。

(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to observe and explain things from the viewpoint of technological science

キーワード

機械工学，機械・システムデザイン，材料・生産加工，システム制御・ロボット，環境・エネルギー
Mechanical engineering, Mechanical system design, Materials and manufacturing, System control and robotics, Environment and energy

(B11510090)機械工学入門[Introduction of Mechanical Engineering]

科目名[英文名]	機械工学入門[Introduction of Mechanical Engineering]				
時間割番号	B11510090	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	S1系教務委員, 佐藤 海二, 伊﨑 昌伸, 柴田 隆行, 飯田 明由, 柳田 秀記, 中村 祐二, 森 謙一郎, 河村 庄造, 福本 昌宏, 戸高 義一, 三浦 博己, 内山 直樹, 章 忠, 足立 忠晴 1kei kyomu Iin-S, SATO Kaiji, IZAKI Masanobu, SHIBATA Takayuki, IIDA Akiyoshi, YANADA Hideki, NAKAMURA Yuji, MORI Ken-Ichiro, KAWAMURA Shozo, FUKUMOTO Masahiro, TODAKA Yoshikazu, MIURA Hiromi, UCHIYAMA Naoki, SHO Tadashi, ADACHI Tadaharu				
ナンバリング	MEC_BAC11010				

授業の目標

機械工学におけるさまざまな分野の概念を学ぶ. 機械工学の概要, 工学, ものづくりの基礎を学ぶとともに, 機械工学系の4つの研究分野を理解する.

Concepts of several fields in mechanical engineering are studied. Introduction of mechanical engineering, and fundamental of mechanics and manufacturing are understood and main four subjects of mechanical engineering are also comprehended.

授業の内容

第 1 週 機械工学の基礎 #1
第 2 週 機械工学の基礎 #2
第 3 週 機械工学の基礎 #3
第 4 週-第 6 週 機械・システムデザイン: 機構学, 機構設計, システム設計, バイオメカニクス, MEMS
第 7 週-第 9 週 材料・生産加工: 材料設計, 新素材, 材料試験・検査, 機械加工, 生産加工, ものづくり
第 10 週-第 12 週 システム制御・ロボット: ロボティクス, 知能, システム, 最適化, 計測, メカトロニクス, 信号処理
第 13 週-第 15 週 環境・エネルギー: 熱・流体工学, 燃焼工学, エネルギー変換工学
1st week. Introduction of mechanical engineering #1
2nd week. Introduction of mechanical engineering #2
3rd week. Introduction of mechanical engineering #3
4th to 6th week. Mechanical system design: mechanics of solids, mechanical dynamics, biomechanics, forming and molding, micro-electronic mechanical systems
7th to 9th week. Materials and manufacturing. Materials design, new material, material testing, manufacturing and processing
10th to 12th week. System control and robotics: robotics, optimization, measurement, mechatronics, signal processing
13th to 15th week. Environment and energy: thermal and fluid dynamics, combustion engineering, energy conversion engineering

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

講義資料を配布する.
Handouts will be provided.

参考書に関する補足事項

達成目標

1) 機械工学におけるさまざまな分野の概念を学ぶ.
2) 機械工学の概要, 力学, ものづくりの基礎を学ぶ.
3) 機械工学系の4つの研究分野を理解する.
1) Concepts of several fields in mechanical engineering are studied.
2) Introduction of mechanical engineering, and fundamental of mechanics and manufacturing are understood.
3) Main four subjects of mechanical engineering are also comprehended.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70 達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained average points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained average points of reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Achieved 70% of goals and obtained average points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained average points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

質問等は教務委員または各担当教員に e-mail で問い合わせください。
For any questions, contact lectures by e-mail.

ウェルカムページ

E-mail で随時時間を打合わせる。

Contact lecturers by e-mail.

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving

キーワード

機械工学
Mechanical engineering

(B11510100)設計製図Ⅲ[Machine Drawing 3]

科目名[英文名]	設計製図Ⅲ[Machine Drawing 3]				
時間割番号	B11510100	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 3～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	山田　基宏, 田崎　良佑 YAMADA Motohiro, TASAKI Ryosuke				
ナンバリング	MEC_BAC22010				

授業の目標

機械を設計製図するということは、要求された仕様を満たすように構造を決定（設計）し、それを製作するのに必要な指示を、機械製図法による図面によって正確に伝える（製図）ことである。設計から製図に至る一連の流れについて実践的に体験し、その概念を習得することを目標とする。

Designing and drafting a machine requires determining the structure to satisfy the specifications (drafting), and drawing it accurately with mechanical drawing method (drafting). This class aims to learn and experience the fundamental mechanical design and drafting.

授業の内容

機械要素について、設計計算を行うための基礎を習得する。その上で、機械設計に求められる種々の手法を習得する。製図は、CAD演習室に設置のパソコンを用い、Automech/Autocad R13 CAD システムにより行う。

１－４週目　材料力学および機械材料演習
５－１１週目　各種機械要素の設計計算
１２－１６週目　CADによる製図

Learn the fundamentals to design mechanical components. Then learn the designing methods. Automech/Autocad R13 CAD system is used to draft in this class.

1-4th weeks Exercises of mechanical strength and materials
5-11th weeks Exercises of mechanical components designing
12-16 weeks Drafting using CAD

予習・復習内容

毎回の演習内容を復習すると共に、次週の演習内容について各自予習してくること。

Carry out a preparation and review about the exercises.

関連科目

図学、図学演習、設計製図Ⅰ、設計製図Ⅱ、機械要素、機構学、材料力学Ⅰ、材料力学Ⅱ

Descriptive Geometry, Descriptive Geometry Exercise, Machine Drawing 1, Machine Drawing 2, Machine Elements, Mechanism, Mechanics of Solids 1, Mechanics of Solids 2

教科書に関する補足事項

演習の内容を記したプリントを配布します。

Handout

参考書１	**書名**	標準機械製図集　第5版			**ISBN**	
	著者名	北郷　薫監修・大柳康著	**出版社**	理工学社	**出版年**	1988

参考書に関する補足事項

達成目標

主に下記項目に対する理解を得ること
(1) 機械部品の機能を理解し、要求仕様に基づく基本設計を行うこと
(2) 必要に応じ強度計算等を行うこと
(3) 他人に理解してもらうことを念頭に図面を作成すること
主に下記項目に対する理解を得ること
(1) Understand the function of mechanical components and design based on the specifications.
(2) Calculate the strength if necessary.
(3) Draft the drawing which can be understandable to other people.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎週の課題提出により評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席した者につき下記のように評価する。
　S：達成目標をすべて達成しており，演習課題の合計点（100 点満点）が 90 点以上
　A：達成目標を80％達成しており，かつ演習課題の合計点（100 点満点）が 80 点以上
　B：達成目標を70％達成しており，かつ演習課題の合計点（100 点満点）が 70 点以上

C：達成目標を60％達成しており，かつ演習課題の合計点（100 点満点）が 60 点以上
[Evaluation method] Every week reports
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

E-mail: yamada@me.tut.ac.jp
E-mail: yamada@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

木曜日１３時～１５時
これ以外の時間でも随時質問等を受け付けます。メール等で事前に連絡してください。
Thursday 1-3 pm
Arrange a time by e-mail

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

設計、製図、CAD、機械部品
Design, Drafting, CAD, Mechanical components

(B11510110)機械工学基礎実験[Machine Fundamental Experiments of Engineering]

科目名[英文名]	機械工学基礎実験[Machine Fundamental Experiments of Engineering]				
時間割番号	B11510110	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	1系各教員, 安部 洋平, 関下 信正, 佐野 滋則, 笹野 順司, 白砂 絹和, 秋月 拓磨, 石井 陽介, 鹿毛 あずさ 1kei kakukyouin, ABE Yohei, SEKISHITA Nobumasa, SANO Shigenori, SASANO Junji, Shirasuna Miyori, AKIZUKI Takuma, ISHII Yosuke, KAGE Azusa				
ナンバリング	MEC_BAC28012				

授業の目標

実際に機械や装置に触れて実験することにより, 教室で学ぶ事柄についての理解を深めるとともに, いろいろな実験手法や計測手法について学ぶ. また, データ整理やレポート作成の能力を高める.

Students deeply understand matters learned in room lecture by carrying out experiment using various machine devices actually, and learn about experiment methods and measurement methods. Moreover, students develop their abilities of data management and report writing.

授業の内容

以下の7つの課題について実験を行う. 実験終了後1週間以内にレポートを提出する(すべての課題を履修し, レポートを提出すること). 1課題を2週間で実施する. ガイダンス, 実験の進め方, レポートの書き方などについての指導も行なう.

授業の進め方の詳細については第 1 週目のガイダンスにおいて詳しく解説する.
課題1 材料の凝固(笹野)
課題2 引張試験(阿部)
課題3 振動・波動実験 (石井)
課題4 水力学実験(関下)
課題5 数値計算入門(秋月)
課題6 機械工作(光石・神谷・金田・間瀬・椿・早川)
課題7 サーボモーターの制御(佐野)

7 themes of experiments are performed as follows. Students have to submit a report within a week after finishing the experiment. One theme takes for 2 week. Guidance, procedure of experiment and report writing are also conducted.
We will explain details procedures in guidance in first week.
Theme 1: Solidification (Sasano)
Theme 2: Tensile test (F. Abe)
Theme 3: Experiment on vibrations and waves (Ishii)
Theme 4: Hydraulics experiment (Sekishita)
Theme 5: Numerical Computation (Akiduki)
Theme 6: Machining (Mitsuishi, Kamiya, Kanada, Mase, Tsubaki, Hayakawa)
Theme 7: Control of servo motor (Sano)

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに, 次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
実験テーマによって作業着等が必要な場合があるので, テキストを事前に確認すること。
Students should review lecture every time, and then should prepare next contents by reading textbook. Please check textbook before experiment certainly, because work clothes may be necessary depending on the theme.

関連科目

水力学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ, 工業熱力学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ, 材料力学Ⅰ,Ⅱ, 機械工作法Ⅰ,Ⅱなど実験内容に関連する講義を受講することが強く望まれる.
To attend lectures about hydraulics, thermodynamics, the strength of materials and machining are strongly recommended.

教科書に関する補足事項

プリント配布
Printed textbooks are distributed.

参考書に関する補足事項

配布テキストに記載されている書籍, 関連する科目の教科書などを適宜参考にすること.
Please refer to books that are mentioned in distributed textbook, or refer to textbooks related subjects.

達成目標

工学の基礎実験から以下の項目を修得することが目標である.
1)各実験で学んだ実験手法, 計測手法を理解できる.
2)各実験で使用する実験機器・器具を正しく使うことができる.
3)実験で得られたデータの整理, レポートの作成ができる.
Aim of this lecture is as follows.

1) You can understand experiment method and measurement method in each theme.
2) You can use experimental devices and equipment correctly.
3) You can write report with managing obtained data by experiments.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

実験への取り組みと提出レポートで評価する．すべての課題を履修し，かつ，レポートを提出しなければ単位は認定されない．欠席等は予め担当教員へ連絡すること．
7つの課題の取り組みとレポート点（各テーマは100点満点）の平均を評価点とする．
S：達成目標をすべて達成しており，かつ，取り組みとレポート平均点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ，取り組みとレポートの平均点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつ，取り組みとレポートの平均点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ，取り組みとレポートの平均点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation method] contribution to experiments, and reports
[Evaluation basis] Only students who attend all themes and submit all reports will be evaluated. When you cannot attend, you have to contact with each teacher beforehand. Average of contribution and report points of 7 themes (out of 100 points for each theme) will be total points.
S: Achieved all goals and obtained total points of contributions and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % goals and obtained total points of contributions and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of contributions and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of contributions and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

課題1　笹野(D-513, 5240, sasano@me.tut.ac.jp)
課題2　阿部(D-616, 6715, f-abe@plast.me.tut.ac.jp)
課題3　石井(D2-204, 5114, ishii@me.tut.ac.jp)
課題4　関下(D2-303, 6687, seki@me.tut.ac.jp)
課題5　秋月(D-615, 5235, akiduki@me.tut.ac.jp)
課題6　光石(D3-201, 6689, mituisi@me.tut.ac.jp)
課題7　佐野(D2-306, 6684, sano@me.tut.ac.jp)
（部屋番号，内線番号，E-mail アドレス）
Theme 1　Sasano (D-513, 5240, sasano@me.tut.ac.jp)
Theme 2　F. Abe (D-616, 6715, f-abe@plast.me.tut.ac.jp)
Theme 3　Ishii (D2-204, 5114, ishii@me.tut.ac.jp)
Theme 4　Sekishita (D2-303, 6687, seki@me.tut.ac.jp)
Theme 5　Akiduki (D-615,5235, akiduki@me.tut.ac.jp)
Theme 6　Mitsuishi (D3-201, 6689, mituisi@me.tut.ac.jp)
Theme 7　Sano (D2-306, 6684, sano@me.tut.ac.jp)
(Room, Telephone number, E-mail address)

ウェルカムページ

オフィスアワー

各担当教員と時間を打ち合わせる。
Please make contact with each teacher.

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D2)実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から観察し，説明する能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to observe and explain things from the viewpoint of technological science

キーワード
機械, 実験, 解析, 報告書
mechanics, experiment, analysis, report

(B11530030)電気回路ＩA[Electric Circuit 1A]

科目名[英文名]	電気回路ＩA[Electric Circuit 1A]				
時間割番号	B11530030	**区分**	機械専門Ｉ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	長尾　雅行, S2系教務委員 NAGAO Masayuki, 2kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	MEC_BAC11620				

授業の目標

電気回路の基礎を理解するために、オームの法則から始まり、その拡張として電気回路の構成要素である抵抗、静電容量、インダクターの働きを理解する。正弦波交流回路は、記号法を用いて表現でき、二次元ベクトルとしての取り扱いに習熟させる。また、回路網の諸定理を駆使することで、回路解析手法を習得する。

This class introduces the fundamentals of theory and analysis of electric circuits that include functions of basic electric components, Ohm's law, Kirchhoff's law, mesh and node analysis, sinusoidal circuit analysis, phaosor vector, and others.

Upon successful completion of this class students will be able to perform analysis of basic a/c circuits.

授業の内容

1週目　　電気回路の学び方
2週目　　電気回路に必要な数学：複素数のベクトル表示
3週目　　電気回路に必要な数学：三角関数の複素数表示、行列と行列式の基礎
4～7週　　抵抗、静電容量、インダクターの働き、正弦波交流と複素数表示
8週目　　記号法による回路の表現（インダクタンス、アドミタンス）
9週～10週　回路方程式と解法（網目電流法）
11～12週　回路方程式と解法（節点電圧法）
13～14週　回路網に関する諸定理（重ね合わせの定理、テブナンの定理など）
15週目　　回路網に関する諸定理（インピーダンスのΔ－Y変換、ブリッジ回路など）
16週目　　定期試験

受講者の理解度に応じて、講義順序や時間配分を変更することがある。

1 How to learn electric circuits
2 Mathematics for electric circuits: complex numbers and vectors
3 Mathematics for electric circuits: complex notation of trigonometric function, matrix, determinant
4-7 Electric components, complex representation of alternating current
8 Phasor representation
9-10 Mesh current method
11-12 Node voltage method
13-14 Several theorems: superposition theorem, Thevenin's theorem etc.
15 Several theorems: delta-star transform, bridge circuit etc.
16 Final exam

予習・復習内容

講義終了後は教科書および授業ノートを振り返り復習すること。図書館を積極的に利用し、類似問題を多く解くことで力をつける。
次回の講義内容について、教科書を読み予習をして講義に臨むこと。
適宜実施する小テストは、実施の前週に予告するので、復習して備えること。
Review textbook and notes after class. Solving similar practice problems in other books will help you to deepen your understanding.

関連科目

物理学Ⅱ、電気回路論IB、電気回路論Ⅱ
Physics 2, Electric Circuit 1B

教科書 1	**書名**	インターユニバーシティ「電気回路 A」			**ISBN**	4-274-13272-2
	著者名	佐治　学	**出版社**	オーム社	**出版年**	2003

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項

（1）回路に関するSI単位系を正しく使うことができる。
（2）4次くらいまでの連立1次方程式を逆行列またはクラメルの公式により正しく解くことができる。
（3）記号法により正弦波交流電圧、電流、回路素子のインピーダンスなどを記述できる。

B. 回路方程式の解法
（1） 網目電流による回路方程式の立て方を理解するとともに、解法についても習熟する。
（2） 回路の電圧源を電流源に変換させることにより、節点電圧法による回路方程式を正しく立て、解くことができる。

C. 回路網に関する諸定理
（1） 重ね合わせの定理を理解し、複数の電源を含んだ回路解析を行うことができる。
（2） テブナンの定理を理解し、比較的複雑な回路網解析が正しくできるようにする。特に、ブリッジ回路の電流を、この定理を用いることで簡単に求められることを理解する。
（3） インピーダンスのΔ－Y変換について習熟するとともに、最大電力供給の原理を理解する。
A. The basics
(1) Students can use International System of Units (SI) for electric circuit correctly.
(2) Students can solve linear simultaneous equations using matrices and Cramer's rule.
(3) Students can describe equations using phasor representation with respect to sinusoidal voltage, current, and impedance of electric components.

B. Methods to solve circuit equations
(1) Students can perform circuit analysis with mesh current method.
(2) Students can perform circuit analysis with node voltage method.

C. Circuit theorems
(1) Students can perform circuit analysis based on the superposition theorem.
(2) Students can perform circuit analysis based on Thevenin's theorem.
(3) Students can perform delta-star/star-delta transformations and understand the maximum power-transfer theorem.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
定期試験 70%
小テスト 10%
レポート 20%
上記の割合で、総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
Final grade will consist of:
Final Exam 70%
Homework Assignments 20%
Short Test 10%

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
連絡先
質問事項などは次のメールアドレスに連絡すること。
e-mail: nagao@tut.jp

その他

講義内容の理解を深め、理解度を測るため、随時演習を行う。
教科書の演習問題にも自主的に取り組むこと。

To contact, send an email message to the following address:
nagao@tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
メールで問い合わせること。
Contact by an email.

学習・教育到達目標との対応
1系：(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
（数学，自然科学，情報技術，地球環境対応技術に関する科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力）

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード
直流回路、交流回路、キルヒホッフ、複素インピーダンス、重ね合せの定理
DC circuit, AC circuit, Kirchhoff, impedance, superposition theorem

(B11530040)電気回路ＩB[Electric Circuit 1B]

科目名[英文名]	電気回路ＩB[Electric Circuit 1B]				
時間割番号	B11530040	**区分**	機械専門Ｉ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	見目　喜重 KEMMOKU Yoshishige				
ナンバリング	MEC_BAC21620				

授業の目標

電気回路ＩＡ で学んだ知識をもとに、基本的な交流回路の動作を解析し、どのような場面に使用されているかを学び、その取り扱いを修得する。

Based on the knowledge learned in Electric Circuit IA, this course introduces the analysis method of the operation of a basic alternating current circuit and utilization of the method to students taking this course.

授業の内容

１週目　回路のインピーダンス
２週目　回路の周波数特性、位相（各素子の働き）
３週目　直並列回路のインピーダンス
４週目　直並列回路の周波数特性、位相
５週目　直列共振、並列共振、アンテナへの応用原理
６週目　インピーダンスに関する総まとめ
７週目　電力と力率Ｉ－有効電力
８週目　電力と力率Ｉ－無効電力、皮相電力
９週目　電力と力率Ｉ－電力の加法性、交流電力の測定
１０週目　電力と力率Ｉ－複素数による表示
１１週目　多相交流回路Ｉ－対称3相交流の基礎
１２週目　多相交流回路Ｉ－対称3相交流回路
１３週目　多相交流回路Ⅱ－電力表示
１４週目　ひずみ波交流―フーリエ級数展開
１５週目　ひずみ波交流の解析（高調波、実効値、電力、ひずみ率）
１６週目　定期試験

1st week　Impedance of a AC circuit
2nd week　Frequency characteristic and phase of a AC circuit
3rd week　Impedance of a series-parallel AC circuit
4th week　Frequency characteristic and phase of a series-parallel AC circuit
5th week　Series/parallel resonance and application to an antenna
6th week　Review about impedance
7th week　Electric power and power factor : active power
8th week　Electric power and power factor : reactive power and apparent power
9th week　Electric power and power factor : additivity of power and measurement of AC power
10th week　Electric power and power factor : complex power
11th week　Polyphase AC circuit : basis of symmetrical three-phase AC
12th week　Polyphase AC circuit : symmetrical three-phase AC circuit
13th week　Polyphase AC circuit : electric power of symmetrical three-phase AC
14th week　Distorted wave : Fourier series
15th week　Distorted wave : higher harmonic, effective value, power and distortion factor
16th week　Examination

予習・復習内容

講義の際に出されるレポート課題や小テストの見直し、および教科書の章末問題など、様々な問題を自分で解くことにより内容の理解を深めること。
また、返却されたレポート課題を見直して復習をしながらポイントを確認すること。
To understand contents of the course certainly, students are required to review the report subjects and tests, and to work the examples at the end of chapter in the text book by themselves.

関連科目

電気回路ＩＡ

Electric Circuit 1A

教科書 1	**書名**	基礎からの交流理論			**ISBN**	4-88686-230-6
	著者名	小郷寛	**出版社**	電気学会	**出版年**	2008

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	電気回路 A			**ISBN**	4-274-13272-2
	著者名	佐治学	**出版社**	オーム社	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎事項
（1）回路インピーダンスの計算ができる。
（2）位相の概念をはっきり記述できる。
（3）共振現象が理解でき、Q値の計算ができる。
B. 電力と力率
（1）電力の複素数表示が理解できる。
（2）電力(有効、無効、皮相)の概念を理解し、力率が計算できる。
C. 多相交流回路
（1）星形結線と環状結線の相違を理解し、起電力・電流等が記述できる。
（2）対称3相交流の Y－Δ変換を正しく記述できる。
D. ひずみ波交流
（1）フーリエ級数展開を理解し、具体的な例について計算できる。
（2）ひずみ波交流をフーリエ級数を用いて表示し、高調波、電力などを求めることができる。

A. Foundation
(1) Calculate impedance of a AC circuit.
(2) Describe concept of the phase.
(3) Understand series/parallel resonance, and calculate Q (quality factor).
B. Electric power and power factor
(1) Understand complex power.
(2) Understand concept of AC power (active, reactive and apparent power), and calculate power factor.
C. Polyphase alternating current circuit
(1) Understand the difference between delta and Y connection, and describe electromotive force and current.
(2) Describe Y-delta conversion of symmetrical three-phase AC certainly.
D. Distorted wave
(1) Understand Fourier series.
(2) Describe distorted save with Fourier series, and calculate higher harmonic and electric power.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート課題・小テスト 20%、期末試験 80%とし、これらの合計で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標を全て達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし、過年度学生が履修した場合には、従来（A～C）の評価基準を適用する。

Final grade will be decided based on the following : Reports 20%, Examination 80%.
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 100% of goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

連絡先（E-mail）: kemmoku@sozo.ac.jp
（E-mail）: kemmoku@sozo.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード
回路インピーダンス、直列/並列共振、交流電力、多相交流回路
impedande, series/parallel resonance, electric power, polyphase AC circuit

(B11530060)工業熱力学Ⅰ[Engineering Thermodynamics 1]

科目名[英文名]	工業熱力学Ⅰ[Engineering Thermodynamics 1]				
時間割番号	B11530060	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　孝司 SUZUKI Takashi				
ナンバリング	MEC_BAC31520				

授業の目標

自動車や航空機などの輸送機械の動力源，発電所などの動力プラントなどの最も基礎となる熱力学を機械工学的な立場から学ぶ。

The engineer's objectives in studying thermodynamics is understanding, analysis and design of a thermodynamic system – form an air-conditioner to a power plant.

授業の内容

1　熱力学とその意義
2　熱力学における諸量と単位
3　閉じた系の熱力学第1法則
4　開いた系の熱力学第1法則
5　理想気体の状態式と状態量
6　準静的過程における状態変化
7　理想気体の混合，理想気体の微視的理解
8　まとめ(45 分)／定期試験(45 分)

1 Learning Objectives
2 Frequently Used Thermodynamic Properties and Its Units
3 The First Law of Thermodynamics (for a system with moving boundary)
4 The First Law of Thermodynamics (for a control volume)
5 Equation of State for The Ideal-Gas
6 The First Law Applied to Various Processes
7 Mixtures of Ideal-Gases
8 Summary / Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

関連科目

学部1・2年：物理学Ⅱ
学部3・4年：応用熱力学，燃焼工学，エネルギー変換工学
Physics

教科書 1	**書名**	熱力学：事例でわかる考え方と使い方			**ISBN**	978-4-407-32257-6
	著者名	君島真仁，佐々木直栄，田中耕太郎，根本泰行，山田純　著，金原粲 監修	**出版社**	実教出版	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

熱力学における諸量と単位について理解する。
熱力学に関する基本的な用語(英用語を含む)とその意味を理解する。
熱力学の第1法則(エネルギー保存則)について理解する。
理想気体の状態式とその使い方について理解する。
理想気体の状態変化について理解する。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：

定期試験(期末) 100%
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標を全て達成しており，かつ評価法による得点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており，かつ評価法による得点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつ評価法による得点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 70%達成しており，かつ評価法による得点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準を適用する。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 90 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
E-mail takashi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
e-mail で随時時間を打ち合わせる.
Take an appointment by e-mail

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
熱力学
thermodynamics

(B11530070)工業熱力学Ⅱ[Engineering Thermodynamics 2]

科目名[英文名]	工業熱力学Ⅱ[Engineering Thermodynamics 2]				
時間割番号	B11530070	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　孝司 SUZUKI Takashi				
ナンバリング	MEC_BAC21520				

授業の目標

自動車や航空機などの輸送機械の動力源，発電所などの動力プラントなどの最も基礎となる熱力学を機械工学的な立場から学ぶ。

The engineer's objectives in studying thermodynamics is understanding, analysis and design of a thermodynamic system - form an air-conditioner to a power plant.

授業の内容

1　熱力学第2法則とは
2　カルノーサイクル
3　エントロピー
4　エクセルギーと自由エネルギー
5　内燃機関のしくみ
6　オットーサイクルとディーゼルサイクル
7　ブレイトンサイクル
8　まとめ(45 分)／定期試験(45 分)

1 The Second Law of Thermodynamics
2 The Carnot Cycle
3 Entropy
4 Exergy and Free-Energy
5 Internal-Combustion Engine
6 Otto-Cycle and Diesel-Cycle
7 Brayton Cycle
8 Summary / Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

関連科目

学部1・2年：物理学Ⅱ
学部3・4年：応用熱力学，燃焼工学，エネルギー変換工学
Physics

教科書 1	**書名**	熱力学：事例でわかる考え方と使い方			**ISBN**	978-4-407-32257-6
	著者名	君島真仁，佐々木直栄，田中耕太郎，根本泰行，山田純　著，金原粲 監修	**出版社**	実教出版	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

プリントを配布する。

Hand-offs will be given throughout the class.

参考書に関する補足事項

達成目標

熱力学の第2法則について理解する。
熱機関のサイクルについて理解する。
エクセルぎーについて理解する。
主要なガスサイクルについて理解する。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：
定期試験(期末)　100%

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標を全て達成しており，かつ評価法による得点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつ評価法による得点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつ評価法による得点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつ評価法による得点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 90 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
E-mail takashi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
e-mail で随時時間を打ち合わせる.
Take an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
熱力学
thermodynamics

(B11530080)工業熱力学Ⅲ[Engineering Thermodynamics 3]

科目名[英文名]	工業熱力学Ⅲ[Engineering Thermodynamics 3]				
時間割番号	B11530080	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　孝司 SUZUKI Takashi				
ナンバリング	MEC_BAC21520				

授業の目標

自動車や航空機などの輸送機械の動力源，発電所などの動力プラントなどの最も基礎となる熱力学を機械工学的な立場から学ぶ。

The engineer's objectives in studying thermodynamics is understanding, analysis and design of a thermodynamic system – form an air-conditioner to a power plant.

授業の内容

1　蒸気の性質
2　蒸気原動機の構成と動作原理
3　蒸気サイクルの熱効率(1)
4　蒸気サイクルの熱効率(2)
5　ヒートポンプと冷凍機
6　ヒートポンプおよび冷凍機のサイクル
7　空気調和
8　まとめ(45 分)／定期試験(45 分)

1 Behavior of Steam, Steam Table
2 System for Power Production and Heating & Cooling
3 Rankine Cycle (1)
4 Rankine Cycle (2)
5 Refrigerators and Heat-Pumps
6 Vapor-Compression Refrigerator Cycle
7 Air Conditioning
8 Summary / Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

関連科目

学部1・2年：物理学Ⅱ
学部3・4年：応用熱力学，燃焼工学，エネルギー変換工学
学部1・2年：物理学Ⅱ
学部3・4年：応用熱力学，燃焼工学，エネルギー変換工学

教科書 1	**書名**	熱力学：事例でわかる考え方と使い方			**ISBN**	978-4-407-32257-6
	著者名	君島真仁，佐々木直栄，田中耕太郎，根本泰行，山田純 著，金原粲 監修	**出版社**	実教出版	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

水蒸気の性質や蒸気表の使い方について理解する。
蒸気原動機の基本構成や動作原理を理解する。
ヒートポンプの基本構成や動作原理を理解する。
空気調和(湿り空気線図の使い方)について理解する。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：
定期試験(期末)　100%
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

S：達成目標を全て達成しており，かつ評価法による得点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつ評価法による得点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつ評価法による得点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつ評価法による得点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 90 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
E-mail takashi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
e-mail で随時時間を打ち合わせる.
Take an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
熱力学
熱力学

(B11530090)水力学Ⅰ[Hydraulics 1]

科目名[英文名]	水力学Ⅰ[Hydraulics 1]				
時間割番号	B11530090	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	関下　信正 SEKISHITA Nobumasa				
ナンバリング	MEC_BAC21520				

授業の目標

水力学および流体力学は、機械工学をはじめとする多くの工学分野で根幹を成す学問の一つであり、本講義では水力学について、その基礎を習得する。

The present lecture aims to acquire the basic knowledge of hydraulics. Hydraulics and fluid dynamics are basic subjects in the mechanical engineering.

授業の内容

以下の内容について講義する.

1週目：流体の性質(1)（密度・比重・圧力などの定義，圧縮性，粘性）
2週目：流体の性質(2)（粘性（続き））
　　流体静力学(1)（圧力の性質，静止流体中の圧力分布）
3週目：流体静力学(2)（液柱計，平面壁に及ぼす力）
4週目：流体静力学(3)（平面壁に及ぼす力（続き），曲面壁に及ぼす力，浮力）
5週目：流体静力学(4)（遠心力場の圧力分布）
　　流体運動の基礎理論(1)（流線と流管，連続の式）
6週目：流体運動の基礎理論(2)（ベルヌーイの定理の導出と応用）
7週目：流体運動の基礎理論(3)（ベルヌーイの定理の応用（続き），キャビテーション）
8週目：試験

1st: fluid characteristics (1)
2nd: fluid characteristics (1) and fluid statics (1)
3rd: fluid statics (2)
4th: fluid statics (3)
5th: fluid statics (4) and basic theory of fluid motions (1)
6th: basic theory of fluid motions (2)
7th: basic theory of fluid motions (3)
8th: examination

予習・復習内容

演習問題を自主的に解くことによって各回の講義内容を復習するとともに，次回の内容について配布プリントおよび参考書を用いて予習しておくこと。

Students have to revise each lecture by solving practice problem on the textbook. Moreover, students have to prepare each lecture by the textbook.

関連科目

数学(微積分学)，物理学（力学，熱力学）
mathematics, physics

教科書に関する補足事項

プリントを配布
to give out handouts

参考書 1	**書名**	水力学・流体力学			**ISBN**	978-4-254-23536-4
	著者名	市川常雄	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	1981

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 物性値・物理量の定義と単位について理解する.
2. 静止流体についての力の釣り合いとそれから得られる圧力分布の式を理解する.
3. 分布圧力による力，モーメント，力の作用点が計算できるようにする.
4. マノメータの指示値から圧力が計算できるようにする.
5. 連続の式を用いて，管路内の流速が計算できるようにする.
6. ベルヌーイの式と連続の式を用いて，管路内の圧力と流速が計算できるようにする.
7. ベルヌーイの定理に基づく流体計測法（ピトー管，絞り流量計）について理解する.
8. キャビテーション現象について理解する.

to understand the definitions of physical properties and physical quantities.
to understand the force balance of stationary fluid and the equations of pressure distributions
to calculate the force of pressure distributions, moment and the action point of the force
to calculate pressure from value measured by manometer
to calculate the velocity of pipe flows by using the continuous equation
to calculate the pressure and velocity of pipe flows by the Bernoulli's equation and the continuous equation
to understand fluid measurement techniques based on the Bernoulli's principle
to understand cavitation phenomena

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験の成績(100 点満点)で評価する。評価点が 55 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とし、得点によって達成の程度を以下のように明示する。
評価 A:80 点以上, 評価 B:65～79 点, 評価 C:55～64 点
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of examination, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65% of goals and obtained total points of examination, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55% of goals and obtained total points of examination, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://wind.me.tut.ac.jp/
http://wind.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー

質問に来る時間について、e メールで相談してください。
Students can get an appointment by e-mail for their question.

学習・教育到達目標との対応

(D1) 機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力

キーワード

水力学　流体力学　流体工学　流れ　乱流　風洞実験　流体計測
fluid dynamics, fluid engineering, flow, turbulence, wind tunnel experiments, fluid measurements

(B11530100)水力学Ⅱ[Hydraulics 2]

科目名[英文名]	水力学Ⅱ[Hydraulics 2]				
時間割番号	B11530100	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	柳田　秀記 YANADA Hideki				
ナンバリング	MEC_BAC21520				

授業の目標

流体の力学は機械工学をはじめとする多くの工学分野で根幹を成す学問のひとつである．本講義では，流体の力学について，その基礎を習得する．

Fluid mechanics is one of the most important subjects in mechanical engineering and other engineering fields. Students acquire knowledge of fundamental theories of fluid mechanics in Hydraulics 1, 2, and 3.

授業の内容

1週目：流体運動の基礎理論（運動量の法則とその応用）
2週目：流体運動の基礎理論（運動量の法則の応用(続き)）
3週目：粘性流体の流れ（層流と乱流，レイノルズ数，境界層，助走区間）
4週目：粘性流体の流れ（平行平板間の層流，円管内の層流）
5週目：粘性流体の流れ（レイノルズ数の物理的意味，レイノルズ応力，円管内の乱流）
6週目：管路系における圧力損失（管摩擦損失）
7週目：管路系における圧力損失（管摩擦損失(続き)）
8週目：復習 45 分，定期試験 45 分
1st week: Basic theories of fluid motion (momentum law and its applications)
2nd week: Basic theories of fluid motion (applications of momentum law)
3rd week: Theories of viscous flow (laminar and turbulent flows, Reynolds number, boundary layer, inlet region)
4th week: Theories of viscous flow (laminar flows between parallel plates and in circular pipe)
5th week: Theories of viscous flow (physical meaning of Reynolds number, Reynolds stress, turbulent flow)
6th week: Pressure loss in pipes (pipe friction loss)
7th week: Pressure loss in pipes (pipe friction loss (contd.))
8th week: Review (45 min) and Examination (45 min)

予習・復習内容

配布プリントの演習問題を自主的に多く解いて毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Students are requested to review each class by solving related problems in the handouts, and to prepare the next class by reading the handouts and reference book.

関連科目

数学(微積分学)，物理学(力学)，水力学Ⅰ
Hydraulics 1, Mathematics (calculus), Physics (mechanics)

教科書に関する補足事項

プリントを配布する．
Teaching materials are given.

参考書 1	**書名**	写真集　流れ			**ISBN**	
	著者名	日本機械学会	**出版社**	丸善	**出版年**	
参考書 2	**書名**	水力学			**ISBN**	
	著者名	富田幸雄	**出版社**	実教出版	**出版年**	
参考書 3	**書名**	水力学			**ISBN**	
	著者名	板谷松樹	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	
参考書 4	**書名**	Fluid Mechanics and Hydraulics --fourth edition			**ISBN**	978-0-07-183145-1
	著者名	Renald V. Giles, Jack B. Evett, Cheng Liu	**出版社**	McGraw Hill	**出版年**	
参考書 5	**書名**	水力学・流体力学			**ISBN**	4-254-23536-4
	著者名	市川常雄	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	

参考書に関する補足事項

次の参考書の内容に沿って講義するので，入手することが望ましい．
市川常雄，水力学・流体力学，朝倉書店
Lectures are given along the contents of the following book. It is advisable that students should have it.
市川常雄，水力学・流体力学，朝倉書店

達成目標

1．運動量の法則を用いて流体が及ぼす力を計算できる．
2．層流と乱流の区別，および，両者の速度分布形状の相違を理解する．
3．レイノルズ数が計算でき，流れが層流か乱流かを判定できる．
4．平行平板間と円管内の層流に関する理論を理解する．
5．管路での圧力損失の原因を理解する．
6．管路内での各種圧力損失が計算できる．

1. To be able to calculate forces exerted on plates, pipes, etc . by fluid using momentum law
2. To understand differences between laminar and turbulent flows including the difference in velocity profile
3. To be able to calculate Reynolds number and to judge flow situations laminar or turbulent
4. To understand the theories of laminar flow in parallel plates and in circular pipe
5. To understand causes of pressure losses in pipes
6. To be able to calculate pressure losses in pipes

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポートを最大 30%まで（学生個々の出来具合に応じて点数が変わる）とし，残り（70%以上）を期末試験の成績で評価する．両者の合計点（100 点満点）により達成度を評価する．
評価点が 60 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とし，得点によって達成の程度を以下のように明示する．
評価 S：合計点が 90 点以上
評価 A：合計点が 80 点以上
評価 B：合計点が 70 点以上
評価 C：合計点が 60 点以上
Each student's achievement is evaulated by the sum of examination (70% or higher) and reports (30% or lower).
Students will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

電卓を必ず持参すること．
Each student has to take a calculator with him/her.

その他

居室：D-309，電話：44-6668，e-mail：yanada@me.tut.ac.jp

Office:D-309, Tel:44-6668, e-mail:yanada@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

e-mail にて相談時間を打ち合わせる．
The date and time are arranged by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

流体，運動量の法則，層流，乱流，レイノルズ数，境界層，圧力損失，管摩擦
Fluid, Momentum law, Laminar flow, Turbulent flow, Reynolds number, Boundary layer, Pressure loss, Pipe friction

(B11530110)水力学Ⅲ[Hydraulics 3]

科目名[英文名]	水力学Ⅲ[Hydraulics 3]				
時間割番号	B11530110	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	柳田　秀記 YANADA Hideki				
ナンバリング	MEC_BAC21520				

授業の目標

機械工学を始めとする多くの分野で根幹を成している学問の一つである流体の力学について，その基礎を修得する.

Fluid mechanics is one of the most important subjects in mechanical engineering and other engineering fields. Students acquire knowledge of fundamental theories of fluid mechanics in Hydraulics 1, 2, and 3.

授業の内容

1週目　管路系における圧力損失（広がり損失，曲り損失）
2週目　管路系における圧力損失（総損失，水力勾配線，エネルギー線）
3週目　抗力と揚力（抗力と揚力の定義，各種物体の抗力係数，円柱周りの流れと圧力抵抗，カルマン渦）
4週目　抗力と揚力（境界層の運動量方程式，摩擦抵抗）
5週目　抗力と揚力（マグナス効果，循環，クッタ･ジューコフスキーの定理）
6週目　次元解析（バッキンガムのπ定理）
7週目　相似則，流体測定法（流速の測定，絞り形流量計）
8週目　復習 45 分，定期試験 45 分

1st week: Pressure losses in pipes (loss due to enlargement and other minor losses)
2nd week: Pressure losses in pipes (total loss in pipe, hydraulic grade line, energy line)
3rd week: Drag and lift (definitions and expressions of drag and lift, flow around circular cylinder, Karman vortex)
4th week: Drag and lift (momentum equation of boundary layer, frictional drag)
5th week: Drag and lift (Magnus effect, Circulation, Kutta-Joukowski theorem)
6th week: Dimensional analysis (Buckingham π theorem)
7th week: Similitude and fluid measurements (velocity measurement, restriction flowmeters)
8th week: Review (45 min) and Examination (45 min)

予習･復習内容

配布プリントの演習問題を自主的に多く解いて毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Students are requested to review each class by solving related problems in the handouts, and to prepare the next class by reading the handouts and reference book.

関連科目

初歩的な微積分学，力学，水力学Ⅰ，水力学Ⅱ
Hydraulics 1 and 2, Mathematics (calculus), Physics (mechanics)

教科書に関する補足事項

プリントを配布する.
Teaching materials are given.

参考書 1	**書名**	写真集　流れ			**ISBN**	
	著者名	日本機械学会	**出版社**	丸善	**出版年**	
参考書 2	**書名**	水力学			**ISBN**	
	著者名	富田幸雄	**出版社**	実教出版	**出版年**	
参考書 3	**書名**	水力学			**ISBN**	
	著者名	板谷松樹	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	
参考書 4	**書名**	Fluid Mechanics and Hydraulics --fourth edition			**ISBN**	978-0-07-183145-1
	著者名	Renald V. Giles, Jack B. Evett, Cheng Liu	**出版社**	McGraw Hill	**出版年**	
参考書 5	**書名**	水力学･流体力学			**ISBN**	4-254-23536-4
	著者名	市川常雄	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	

参考書に関する補足事項

次の参考書の内容に沿って講義するので，入手することが望ましい．
市川常雄，水力学・流体力学，朝倉書店
Lectures are given along the contents of the following book. It is advisable that students should have it.
市川常雄，水力学・流体力学，朝倉書店

達成目標

1．水力勾配線とエネルギー線について理解する．
2．管路内を流れる流量と管路内の圧力が計算できる．
3．抗力と揚力の定義と表示方法を理解する．
4．円柱周りの流れについて理解する．
5．平板に働く摩擦抵抗の理論を理解する．
6．マグナス効果，クッタ・ジューコフスキーの定理を理解する．
7．次元解析の方法を理解する．
8．レイノルズの相似則を理解する．
9．各種流体測定法について理解する．
1. To understand hydraulic grade line and energy line
2. To be able to calculate flow rate and pressures in a pipe
3. To understand the diffinitions and expressions of drag and lift
4. To understand flow phenomena around a circular cylinder
5. To understand frictional drag acting on a plate
6. To understand Magnus effect and Kutta-Joukowski theorem
7. To understand how to make dimensiaonal analysis
8. To understand the Reynolds similarity
9. To understand typical fluid measurement methods

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポートを最大 30%まで（学生個々の出来具合に応じて点数が変わる）とし，残り（70%以上）を期末試験の成績で評価する．両者の合計点（100 点満点）により達成度を評価する．
評価点が 60 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とし，得点によって達成の程度を以下のように明示する．
評価 S：合計点が 90 点以上
評価 A：合計点が 80 点以上
評価 B：合計点が 70 点以上
評価 C：合計点が 60 点以上

Each student's achievement is evaulated by the sum of examination (70% or higher) and reports (30% or lower).
Students will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

電卓を必ず持参すること．
Each student has to take a calculator with him/her.

その他

居室：D-309，電話：44-6668，e-mail：yanada@me.tut.ac.jp
Office:D-309, Tel:44-6668, e-mail:yanada@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

e-mail で随時時間を打ち合わせる．

The date and time are arranged by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
キーワード 圧力損失, 抗力, 揚力, マグナス効果, 境界層, 次元解析, 相似則, 流体測定法 Pressure loss, Drag, Lift, Magnus effect, Boundary layer, Dimensional analysis, Similitude, Fluid measurements

(B11530120)材料力学Ⅰ[Mechanics of Solids 1]

科目名[英文名]	材料力学Ⅰ[Mechanics of Solids 1]				
時間割番号	B11530120	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	足立　忠晴 ADACHI Tadaharu				
ナンバリング	MEC_BAC21220				

授業の目標

機械・構造物が破壊しないように安全に使用できるように，機械あるいは構造物を設計(材料選択と形状決定)を行うために，変形する材料の力学を学ぶ．材料力学では，力，モーメントが作用したときの，基本的な形状の構造部材の引張・圧縮変形、ねじり変形，曲げ変形および構造内に生じる応力を理解することを目標とする．特に材料力学Ⅰでは，構造に作用する力とモーメントを学び，引張・圧縮変形，ねじり変形により生じる応力，ひずみについて学習する．

Mechanics of a deformable body is studied in "Mechanics of Solids" for design a machine or structure: material selection and determination of dimension to use the machine or structure safely without failure and/or fracture. The purpose of the class is to understand stress and deformation of a fundamental component of the structure when forces and moments are applied. Forces and moments in the component is studied and stresses and strain in a tensioned (compressed) bar and torsional bar are discussed in "Mechanics of Solid I".

授業の内容

第 1 週 第 1 章 はじめに: 講義の目的，強度と剛性．第 2 章 材料力学の基本的な考え方．
第 2 週 第 3 章 力とモーメント：力とモーメントの概念，力とモーメントのつり合い．
第 3 週 第 3 章 力とモーメント：棒に作用する力とモーメント．内力と外力．
第 4 週 第 3 章 力とモーメント：棒の引張・ねじり・曲げ．
第 5 週 力とモーメント：構造に作用する力とモーメント．
第 6 週 中間試験および力と第 3 章のまとめ(中間試験の解説)
第 7 週 第 4 章 材料の引張変形特性．
第 8 週 第 5 章 棒の引張・圧縮変形：力のつり合い，静定問題．
第 9 週 第 5 章 棒の引張・圧縮変形：静定問題．不静定問題
第 10 週 第 5 章 棒の引張・圧縮変形：熱応力，一様強さの棒．
第 11 週 中間試験および第 4 章，第 5 章のまとめ (中間試験の解説)
第 12 週 第 6 章 軸のねじり変形：ねじりモーメントとせん断応力の関係．
第 13 週 第 6 章 軸のねじり変形：ねじり変形の仮定．
第 14 週 第 6 章 丸軸のねじり変形： 静定問題
第 15 週 第 6 章 丸軸のねじり変形： 不静定問題
第 16 週 期末試験および第 6 章のまとめ(期末試験の解説)

1. Chapter 1 Introduction: purpose of lecture: strength and stiffness. Chapter 2 Concept and principle of Mechanics of Solids.
2. Chapter 3 Forces and moments: definition of forces and moments, equilibrium of forces and moments.
3. Chapter 3 Forces and moments: forces and moments in bar, internal and external forces.
4. Chapter 3 Forces and moments: tension (compression), torsion and bending.
5. Chapter 3 Forces and moments: forces and moments in structure.
6. Examination #1 from Chapter 3. Answer and comment of examination #1.
7. Chapter 4 Mechanical property of materials
8. Chapter 5 Tension and compression of bar: equilibrium of forces, statically-determinate problem.
9. Chapter 5 Tension and compression of bar: statically-determinate and statically-indeterminate problems
10. Chapter 5 Tension and compression of bar: thermal stress, bar of uniform strength.
11. Chapter 5 Examination #2 of Chapters 4 and 5. Answer and comment of examination #2.
12. Chapter 6 Torsion of axis: relation between torsional moment and shear stress.
13. Chapter 6 Torsion of axis: assumption of torsional deformation.
14. Chapter 6 Torsion of axis: statically-determinate problem.
15. Chapter 6 Torsion of axis: statically-indeterminate problems
16. Examination #3 of Chapter 6. Answer and comment of examination #3.

予習・復習内容

各章の演習問題を適時，解くことにより授業内容を理解する．さらに授業内において，演習問題の解説と自分自身で解いた問題の解答を比較することでより理解を深める．

Problems given in each chapter must be solved by yourself to understand the contents of each chapter. By comparing solutions of some problems explained in the class, mechanics of solids will be understood deeply.

関連科目

材料力学Ⅱ，機械力学，弾性力学
Mechanics of solids II, Kinetics of Machinery, Theory of elasticity.

教科書に関する補足事項

講義内で配布される資料により授業を行う.
Lessons are given by using handouts distributed in the class.

参考書 1	**書名**	材料力学 上・下巻			**ISBN**	
	著者名	中原一郎	**出版社**	養賢堂	**出版年**	
参考書 2	**書名**	Mechanics of Materials			**ISBN**	
	著者名	F.P Beer, Johnston E.R.Jr.	**出版社**	McGraw-Hill	**出版年**	
参考書 3	**書名**	Mechanics of Engineering Materials			**ISBN**	
	著者名	P.P. Benham, R.J. Crawford and C.G. Armstrong	**出版社**	Longman	**出版年**	
参考書 4	**書名**	Mechanics of Materials			**ISBN**	
	著者名	F.P Beer and Johnston E.R.Jr.	**出版社**	McGraw-Hill	**出版年**	

参考書に関する補足事項
その他, 材料力学について多くの参考書が出版されている. 適示, 参考にすること.
Many references related to the class are published. Reading the references is recommended by yourself.

達成目標
(1) 構造物に作用する力とモーメントを求めることができる.
(2) 材料の基本的な力学的性質について理解することができる.
(3) 応力とひずみの概念について理解する.
(4) 引張・圧縮を受ける棒に生じる応力と変形を求めることができる.
(5) ねじりを受ける丸軸に生じる応力と変形を求める事ができる.
(1) Forces and moments in a structure can be determined.
(2) Mechanical properties of material are known.
(3) Concept of stress and strain is understood.
(4) Stress and deformation of a tensioned/compressed bar can be determined.
(5) Stress and deformation of a torsional axis can be determined.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法　:達成目標の到達度を以下の手段で評価する.
　　定期試験(試験 #1 30% + 試験 #2 40% + 試験 #3 30%)
評価基準:評価法による得点(100 点満点)が 55 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする. なお得点によって達成の程度を明示する.
評価 S:90 点以上, 評価 A:80 点以上, 評価 B:70 点以上, 評価 C:60 点以上
S: Achieved 90% of goals and obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
中間試験および期末試験のすべてを受験すること.
Three examinations are conducted. Students must take every examination.

その他
部屋番号: D-305
内線: 6664
Email: adachi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://solid.me.tut.ac.jp
http://solid.me.tut.ac.jp

オフィスアワー
随時. 部屋に来ること. できれば E-mail にて来室日時を連絡した方がよい.
Come to my room anytime. If possible, inform me by email before coming.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

材料力学, 構造力学, 力, モーメント. 応力, ひずみ, 引張, 圧縮, ねじり

Mechanics of solids, Structural mechanics, Force, Moment, Stress, Strain, Tension, Compression, Torsion

(B11530130)材料力学Ⅱ[Mechanics of Solids 2]

科目名[英文名]	材料力学Ⅱ[Mechanics of Solids 2]				
時間割番号	B11530130	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	竹市　嘉紀 TAKEICHI Yoshinori				
ナンバリング	MEC_BAC21220				

授業の目標

材料力学Ⅰに引き続き，曲げ変形する基本的な構造部材の応力，ひずみを学ぶ．さらに構造物に生じるひずみエネルギを理解するとともに，強度設計，剛性設計の概念の理解を深める．

The class provides fundamental knowledge on the mechanics of solids.

Understanding the strains and stresses in loaded beams, the deflection of loaded beams and the strain energy stored in the bar and beam.

授業の内容

第 1 週
3.1　はりの支持と外力
3.2　せん断力と曲げモーメント
第 2 週
3.3　片持ちはり
第 3 週
3.4　両端支持はり（単純支持はり）
第 4 週
4.1　曲げ応力
第 5 週
4.2　断面モーメントと断面係数
第 6 週
5.1　たわみ曲線
5.2　片持ちはり
第 7 週
5.3　両端支持はり（単純支持はり）
第 8 週
復習45分，試験45分
第 9 週
5.5　平等強さのはり
第 10～12 週
5.4　不静定はり
第 13 週
8.1　仕事とひずみエネルギー
8.2　引張りと圧縮によるひずみエネルギー
8.3　せん断によるひずみエネルギー
第 14 週
8.4　一般力によるひずみエネルギー
第 15 週
8.5　相反定理
8.6　カスチリアノの定理
第 16 週
復習45分，試験45分

1）3.1 Type of beams, 3.2 Shearing force and bending moment
2）3.3 Cantilever beams
3）3.4 Simple beams
4）4.1 Bending moment
5）4.2 Section modulus, moment of area and second moment of area
6）5.1 Deflection curve, 5.2 Deflection curve of cantilever beams
7）5.3 Deflection curve of simple beams
8）Review (45 min) and Intermediate examination (45 min)
9）5.5 Beam of uniform strength
10)～12）5.4 Statically indeterminate beam
13）8.1 Work and elastic strain energy, 8.2 Strain energy due to tension and compression, 8.3 Strain energy due to shear stress

14) 8.4 Shear stress
15) 8.5 Maxwell's reciprocal theorem, 8.6 Castigliano's theorem
16) Review (45 min) and Final examination (45 min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，自習の内容についてテキスト等を参考に予習してくること.
Reviewal of the previous lecture and the preparation for the next lecture are required.

関連科目

材料力学Ⅰ，弾性力学
Mechanics of Solids 1, Theory of Elasticity

教科書 1	書名	材料力学－機械設計の基礎－			ISBN	
	著者名	戸伏壽昭 他	出版社	コロナ社	出版年	

教科書に関する補足事項

指定教科書の他，英語版教科書として英語テキストをプリント配布する.
The English handouts will be distributed as the English textbook in addition to the Japanese textbook.

参考書に関する補足事項

達成目標

・はりの任意の位置に生じる曲げモーメントとせん断力が求められる
・外力が作用するはりの曲げが求められる
・ひずみエネルギを利用した構造の応力・変形解析方法を理解する
1) Determine the bending moment and shearing force at all sections along the loaded beams.
2) Determine the deflection of loaded beams.
3) Understanding the strain energy stored in the bar and beam, and theorems on strain energy.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：
中間試験の点数（100 点満点）と期末試験の点数（100 点満点）の平均点で評価する.

評価基準：
上記評価方法による得点（100 点満点）が 60 点以上の場合を合格（達成目標に到達した）とする.
また，得点によって達成の程度を以下のとおりとする.
評価S：合計点が 90 点以上
評価A：合計点が 80 点以上
評価B：合計点が 70 点以上
評価C：合計点が 60 点以上
Assessment procedure:
Evaluation will be made based on the average score of the intermediate examination and final examination. The perfect total score is 100 points.

Assessment criterion:
Credit will be given when the total score is equal to or more than 60 points out of 100 points.
S: Total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

E-Mail: takeichi@tut.jp
Phone: 0532-44-6663
E-Mail: takeichi@tut.jp
Phone: 0532-44-6663

ウェルカムページ

http://tribo.me.tut.ac.jp/class/class.html
http://d-304.me.tut.ac.jp
http://tribo.me.tut.ac.jp/class/class.html
http://d-304.me.tut.ac.jp

オフィスアワー

授業実施日の講義時間後.
もしくは, e-mail 等で日時を打ち合わせる.
Please contact me just after each class or make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
はり, 曲げ, たわみ, 応力, ひずみエネルギ
beam, bending moment, shearing force, deflection of beam, strain energy

(B11530140)機構学[Mechanism]

科目名[英文名]	機構学[Mechanism]				
時間割番号	B11530140	区分	機械専門Ⅰ	選択必須	選択
開講学期	後期1	曜日時限	金 3～3	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	内山　直樹 UCHIYAMA Naoki				
ナンバリング	MEC_BAC22020				

授業の目標

機械の動作は単純な並進運動や回転運動を，所望の運動に変換することで実現されている。機構学とは，この運動の変換のために必要となる，機械の構成部品の形状と，構成部品間の運動の伝達に関する学問である。本授業では，一般的な機械構成部品間の運動の伝達に関する性質の理解を目標とする。

Provides fundamental properties and analysys of mechanical motion that is typically generated by a combination of simple relative rotation and translation of component parts.

授業の内容

第1週　リンク機構の構成要素と自由度・変位解析
第2週　リンク機構の速度・加速度解析
第3週　リンク機構の力学的利得の解析
第4週　カムと変位線図
第5週　カム形状の創成
第6週　歯車と歯車列
第7週　遊星歯車列と差動歯車列の速度解析
第8週　復習 45 分，定期試験 45 分

1st week: Degree of freedom and displacement analysis of mechanical linkages
2nd week: Velocity and acceleration analysis of mechanical linkages
3rd week: Velocity and mechanical advantage analysis using instantaneous centers
4th week: Cam mechanisms and diagrams
5th week: Design of cam profiles
6th week: Gears and gear trains
7th week: Planetary and differential gears
8th week: Summary (45min) and final examination (45min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてプリント等を参考に予習してくること。

Required to prepare for and review each lecture contents based on handouts provided.

関連科目

三角関数，微積分，複素数，線形代数，剛体の力学に関する基本的知識を必要とする。

Fundamentals of trigonometry, Calculus, Linear algebra and Rigid body mechanics

教科書に関する補足事項

教科書：プリントを配布する。

Handouts will be provided.

参考書 1	書名	Mechanism Design,Analysis and Synthesis, Fourth Ed., Volume 1			ISBN	
	著者名	A.G.Erdman,G.N.Sandor,S.Kota	出版社	Prentice-Hall	出版年	2001

参考書に関する補足事項

達成目標

1）リンク機構の自由度，変位，速度，力学的利得，加速度の理解
2）カム機構の運動，カム線図，カム形状の創成の理解
3）歯車機構の種類，性質，角速度比の理解

(1) Expected to understand displacement, velocity, acceleration and mechanical advantage analyses of linkages.
(2) Expected to understand design and analysis of cam mechanisms
(3) Expected to understand fundamentals and velocity analysis of gears and gear trains.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法　:達成目標の到達度を以下の手段で評価する。
定期試験（100%）

評価基準:評価法による得点（100点満点）が60点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする.
なお得点によって達成の程度を明示する。
評価S:90点以上，評価A:80点以上，評価B:70点以上，評価C:60点以上
The grade will be determined by the end-of-term examination score only (100 %).

The credit of this course is given if the score of the above examination is 60% or over.
Grade levels are C(60% - less than 70%), B(70- less than 80%), A(80% - less than 90 %) and S(90% or over).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
E-mail: uchiyama@me.tut.ac.jp
E-mail: uchiyama@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ
記述なし

オフィスアワー
E-mail で随時時間を打ち合わせる。
Contact the lecturer by e-mail first.

学習・教育到達目標との対応
(D) 技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的･創造的能力
(D1) 機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的･創造的能力

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

(B11530150)機械力学[Kinetics of Machinery]

科目名[英文名]	機械力学[Kinetics of Machinery]				
時間割番号	B11530150	区分	機械専門Ⅰ	選択必須	選択
開講学期	前期2	曜日時限	水 5～5	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	佐野　滋則 SANO Shigenori				
ナンバリング	MEC_BAC21222				

授業の目標

質点・質点系・剛体の動力学は既に物理学で既修であるが，機械工学の基礎科目である材料力学，振動工学を学習する上で重要な力学の概念の理解を深めるため，機械工学の視点から質点系の動力学，剛体の平面動力学について学習する．
なお授業の水準は，技術士(機械分野)一次試験，Professional Engineering 試験を参考に定めている．
For understanding the important concepts of dynamics to learn the material and vibration engineering, dynamics of rigid body and mass system are learn.
Level of this lecture is set by reference to professional engineer (mechanical field) primary tests.

授業の内容

第 1 回　質点の運動(1)
第 2 回　質点の運動(2)
第 3 回　質点系の運動(1)
第 4 回　質点系の運動(2)
第 5 回　慣性モーメント
第 6 回　剛体の運動(1)
第 7 回　剛体の運動(2)
第 8 回　復習 45 分，定期試験 45 分

1st week　motion of point mass (1)
2nd week　motion of point mass (2)
3rd week　motion of mass system (1)
4th week　motion of mass system (2)
5th week　moment of inertia
6th week　motion of rigid body (1)
7th week　motion of rigid body (2)
8th week　summary (45 min.), periodic examination (45 min.)

予習・復習内容

復習の手助けのために課題を課す場合がある．数式の展開などは講義中に十分行えない場合もあるので，毎回の講義内容の復習は必須である．さらに次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくることが望ましい．
Review of every week lectures is essential.
Study of the next content is desirable using references.

関連科目

物理Ⅰ，振動工学，材料力学
Physics 1, Mechanical Vibration, Mechanics of Solids 1

教科書に関する補足事項

バイリンガル講義を行うので，教員が英語で作成した資料を配布する．講義は日本語で行う．
Handout will be distributed in class.

参考書 1	書名	機械の基礎力学			ISBN	
	著者名	安田仁彦	出版社	コロナ社	出版年	2010
参考書 2	書名	機械力学			ISBN	
	著者名	末岡淳男，綾部隆	出版社	森北出版	出版年	1997

参考書に関する補足事項

講義内容を十分理解するために，参考書1を購入することを強く勧める．この内容に準拠した講義を行う．

達成目標

(1)質点および質点系の運動方程式が導出できる．
(2)剛体の重心，運動量，角運動量を求める事ができる．
(3)物体の慣性モーメントを計算する事ができる．
(4)剛体の平面運動について理解する．
(5)基本的な剛体の振動（機械動力学の基礎）について理解する．

(1): equation of motion of the mass point and mass system can be derived.
(2): center of gravity of the rigid body, the momentum and the angular momentum can be derived.
(3): moment of inertia of an object can be derived.
(4): understanding the planar motion of a rigid body.
(5): understanding the vibration of the basic rigid body (foundation of the machine dynamics).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法　:達成目標の到達度を定期試験(100 点満点)で評価する.
評価基準:評価法による得点が 60 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする.
なお得点によって達成の程度を明示する.
評価 S:90 点以上, 評価 A:80 点以上, 評価 B:70 点以上, 評価 C:60 点以上
※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来(A～C)の評価基準を適用する.
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

Evaluated by out of 100 points (Periodical exam.; 100 points).

S: Total points of examination and exercises, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of examination and exercises, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of examination and exercises, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of examination and exercises, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

教員の居室:D-403
e-mail:ise@me.tut.ac.jp
Room:D-403
e-mail:ise@me.tut.jp

ウェルカムページ

なし

オフィスアワー

e-mail で随時時間を打ち合わせる.

Contact me by email before coming if possible.

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術, 地球環境対応技術の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

質点, 質点系, 剛体, 運動方程式
point mass, mass system, rigid body, equations of motion

(B11530160)機械工作法Ⅰ[Mechanical Technology 1]

科目名[英文名]	機械工作法Ⅰ[Mechanical Technology 1]				
時間割番号	B11530160	区分	機械専門Ⅰ	選択必須	選択
開講学期	後期1	曜日時限	木 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	森　謙一郎 MORI Ken-Ichiro				
ナンバリング	MEC_BAC21320				

授業の目標

機械部品を製造する場合、要求される形状、強度、精度、性能、コストなどを考慮して、多くの加工法から適当なものが選択される。本講義では、鋳造、塑性加工、溶接などの非除去加工法および熱処理・表面処理に関して説明し、それらの特徴を理解する。

For production of mechanical parts, appropriate manufacturing processes are selected by taking the required shape, strength, precision, performance, cost, etc. into cosideration. In this lecture, casting, metal forming, welding and heet treatments are explained.

授業の内容

1週目　生産加工の概要、生産加工のビデオ
2週目　鋳造の特徴・材料・鋳型・方案
3週目　鋳物欠陥、ダイキャスト、低加圧鋳造
4週目　塑性加工の特徴、鍛造加工、圧延加工
5週目　押出し加工、引抜き加工、プレス加工
6週目　溶接の特徴、アーク溶接、抵抗溶接、圧接、ろう付、切断、溶接欠陥
7週目　熱処理：焼きならし・焼きなまし・焼入れ・焼もどし、表面硬化法、まとめ
8週目　復習 45 分，定期試験 45 分

1st week: Introduction and video of production processes
2nd week: Features of casting, materials, molds, processes
3rd week: Casting defects, die casting, low pressure casting
4th week: Features of metal forming, forging, rolling
5th week: Extrusion, drwaing, press forming
6th week: Features of welding, arc welding, resistance welding, pressure welding, bronzing, cutting, welding defects
7th week: Heat treatment: normalizing, anealing, quenching, tempering, surface hardening
8th week: examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review and prepare lessons of the lecture.

関連科目

希望事項：生産加工学に関する基礎知識を有していることが望ましい。
It is desirable to have fundamental knowledge of production processes.

教科書 1	書名	機械製作法			ISBN	
	著者名	阿武芳朗，田村博	出版社	朝倉書店	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	基礎生産加工学			ISBN	
	著者名	小坂田宏造	出版社	朝倉書店	出版年	

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1) 鋳造、塑性加工、溶接などの特徴を理解して、それぞれの加工法の違いを理解する。
(2) 部品製造において最適な加工法を選択できるようにする。
(3) 熱処理と表面処理の特徴を理解する。
B. 鋳造
(1) 鋳造の特徴を理解する。
(2) 鋳造材料、砂型鋳造について学ぶ。
(3) 鋳物欠陥を理解する。
(4) ダイキャスト、低加圧鋳造の特徴を理解する。

C. 塑性加工
(1) 塑性加工の特徴を理解する。
(2) 圧延加工、鍛造加工、押出し加工、引抜き加工の特徴を理解する。
(3) プレス成形において，せん断加工、曲げ加工，深絞り加工の特徴を理解する。
D. 溶接
(1) 溶接の特徴を理解する。
(2) アーク溶接、抵抗溶接、圧接、ろう付の違いを理解する。
(3) 切断、溶接欠陥を学ぶ。
E. 熱処理・表面処理
(1) 焼なまし、焼ならし、焼入れ、焼きもどしなどの熱処理を理解する。
(2) 表面硬化法などの表面処理を理解する。

A. Fundamental knowledge
B. Casting
C. Metal forming
D. welding
E. Heat treatments and surface treatments

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
定期試験 1 回で評価する．ただし、60 点未満の場合はレポート1部を1点として 60 点まで加算する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
The evaluation is based primarily on a final examination (100 points). For a scores lower than 60 points, 1 point may be earned for each report submitted (up to 60 points).
S: Total points of examination and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of examination and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of examination and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of examination and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
森謙一郎: D-606, 内線: 6707, e-mail: mori@me.tut.ac.jp

Ken-ichiro Mori: room D-606, extension number: 6707, e-mail: mori@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://plast.me.tut.ac.jp
http://plast.me.tut.ac.jp/index.eng.html

オフィスアワー
毎週木曜日 17:00 から 18:00
Thursdays from 17:00 to 18:00

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
鋳造、塑性加工、溶接、熱処理、表面処理
casting, forming, welding, heat treatments, surface treatments

(B11530170)機械工作法Ⅱ[Mechanical Technology 2]

科目名[英文名]	機械工作法Ⅱ[Mechanical Technology 2]				
時間割番号	B11530170	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	永井　萌土 NAGAI Moeto				
ナンバリング	MEC_BAC21320				

授業の目標

ものづくりの基礎となる機械工作法は，変形加工，付加加工，除去加工に大別される．本授業では，機械工作法Ⅰに引き続いて，除去加工法の中で代表的な切削加工，砥粒加工，特殊加工の種類と特徴を体系的に理解する．ものづくりへ応用するための基礎知識を学ぶ．

The manufacturing processes, which are called “Monozukuri” in Japanese, are classified into three categories: deformation, additive, and removal processes to produce industrial products. The objective of this lecture is to introduce the fundamentals of material removal processes including metal cutting, abrasive machining, and advanced (nontraditional) machining processes. The principle and characteristics of the machining processes, and their applications to manufacturing high-value-added products are also described.

授業の内容

1週目　機械工作法の概要
2週目　切削加工の基礎
3週目　切削加工の種類と特徴
4週目　切削工具
5週目　砥粒加工（研削加工，研磨加工）
6週目　実験実習工場での加工見学
7週目　特殊加工（放電加工，レーザ加工）
8週目　まとめ（45 分）および定期試験（45 分）

1st week: Introduction of manufacturing technologies, Tour of manufacturing process at the machining shop
2nd week: Fundamentals of metal cutting
3rd week: The classification and characteristics of metal cutting processes
4th week: Cutting tools
5th week: Abrasive machining – Grinding process, Surface finishing process
6th week: Machine Shop Tour
7th week: Advanced Machining Processes – Electrical discharge machining, Laser beam machining
8th week; Summary (45 min) and Regular examination (45 min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること．

Students are required to prepare and review each lesson.

関連科目

機械工作法Ⅰ
Mechanical Technology 1

教科書 1	**書名**	新版　機械加工			**ISBN**	4254230893
	著者名	中山一雄，上原　邦雄	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2001

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)切削加工の種類および原理と特徴が理解できる．
(2)砥粒加工の種類および原理と特徴が理解できる．
(3)放電加工の原理と特徴が理解できる．
(4)レーザ加工の原理と特徴が理解できる．

(1) To gain an understanding of the classification, principle and characteristics of metal cutting.
(2) To gain an understanding of the classification, principle and characteristics of abrasive machining.
(3) To gain an understanding of the principle and characteristics of Electrical discharge machining.
(4) To gain an understanding of the principle and characteristics of laser beam machining.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：期末試験（50%），質問またはレポート（50%）の割合で、総合的に評価する.
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 60 点以上
[Evaluation method] Final exam 50%, Questions or Reports 50%
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of the goals and obtained total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of the goals and obtained total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of the goals and obtained total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
毎週木曜日 17:00～18:00
Thursday from 17:00 to 18:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
切削加工，研削加工，研磨加工，放電加工，レーザ加工
Metal cutting, Abrasive machining, Grinding process, Surface finishing process, Advanced (nontraditional) machining processes, Electrical discharge machining, Laser beam machining

(B11530180)機械要素[Machine Elements]

科目名[英文名]	機械要素[Machine Elements]				
時間割番号	B11530180	区分	機械専門Ⅰ	選択必須	選択
開講学期	前期1	曜日時限	水 4～4	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	安部　洋平 ABE Yohei				
ナンバリング	MEC_BAC22022				

授業の目標

機械を構成している機械要素の基本的な原理と応用を理解する.
Understanding of both theory and application of fundamentals of machine elements.

授業の内容

1 回目: 設計, 概論, 設計法,機械要素, 安全率 (P. 3 – P. 10).
2 回目: 規格, 公差, はめあい (P. 16 – P. 19).
3 回目: キー(P. 209- P. 210). スプライン(P. 211). ナックル継手(P. 218- 220).
4 回目: 溶接継手 (P. 222 – P. 228). パワースクリュー (P.244 – P. 246).ボルト・ナット
5 回目: ベルト (P. 256 – P. 261). ばね (P. 287 – P. 294).
6 回目: 歯車 (P. 312 – P. 321). 軸受, 潤滑(P. 370 – P. 380).
7 回目: 転がり軸受 (P. 396 – P. 399). 軸受の選定 (P. 404 – P. 409). 軸 (P. 414- P. 416).
8 週目: その他の機械要素と試験

1st week: Engineering design, introduction, design process, machine design, factor of safety (P. 3 – P. 10).
2nd week: Standards, tolerances, fits (P. 16 – P. 19).
3rd week: keys(P. 209- P. 210). Spline(P. 211). Pin in knuckle joint(P. 218- 220).
4th week: Welding joint (P. 222 – P. 228). Power screw (P.244 – P. 246). Bolt and nut.
5th week: Belt (P. 256 – P. 261). Springs, helical spring (P. 287 – P. 294).
6th week: Gear design (P. 312 – P. 321). Journal bearing, lubrication regimes,(P. 370 – P. 380).
7th week: Rolling contact bearing (P. 396 – P. 399). Design consideration (P. 404 – P. 409). Shaft (P. 414- P. 416).

予習・復習内容

1) 教科書を読んで予習と復習をする.
2) 微積の知識が必要
3) 関数電卓が必要

Students are required to prepare and review with textbook and reference.
Abilities of differential and integral calculus are required.
Scientific electronic calculator is required.

関連科目

設計製図Ⅰ, 設計製図Ⅱ, 材料力学Ⅰ, 材料力学Ⅱ, 機構学, 水力学Ⅰ
Machine Drawing 1, Machine Drawing 2, Machine Design, Mechanism, Mechanics of Solids 1, Mechanics of Solids 2, Hydraulics 1

教科書 1	書名	Mechanical Engineering Design: Principles and Concepts			ISBN	978-8120349315
	著者名	Siraj Ahmed	出版社	Prentice-Hall of India Pvt.Ltd	出版年	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

次項について理解すること,
1) 機械設計の概略

2) 機械要素の名前，機能，性能
3) 機械要素の基本的な構造と製造法
4) 機械要素選定方法

Understand following items,
1) outline of machine design
2) name, function, performance of each machine element
3) fundamentals, structure manufacturing process of each machine element
4) design parameters of each machine element

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に全ての講義に出席して課題を全て提出した学生につき，定期試験にて下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
A：Score of the examination is 90 or higher.
A：Score of the examination is 80 or higher.
B：Score of the examination is 70 or higher.
C：Score of the examination is 60 or higher.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

安部(D-604, 6705, abe@me.tut.ac.jp)
Abe(D-604, 6705, abe@me.tut.ac.jp)

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義の後

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

機械要素，設計，軸，キー，ピン，スプライン，止めねじ，軸継手，軸受，歯車，ファスナー，ばね
machine elements, machine design, shaft, keys, spline, roll pins, couplings, screw, welding, bearings, springs, belt drives, gears

(B11530190)材料工学概論[Introduction to Materials Engineering]

科目名[英文名]	材料工学概論[Introduction to Materials Engineering]				
時間割番号	B11530190	**区分**	機械専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	戸高　義一, 小林　正和 TODAKA Yoshikazu, KOBAYASHI Masakazu				
ナンバリング	MEC_BAC21322				

授業の目標

金属，ポリマー，セラミックス等の各材料の構造を原子レベルからミクロ組織レベルで横断的に理解し、その知見を基礎として材料の構造と各種特性との関係を理解し、実用材料の設計，各種特性の制御ための基礎的な事項を習得することを目標とする。

Understand the structure of materials such as metals, plymers, and seramics from atomic to micron scale in a cross-sectional manner and the relation between structures and properties of materials. Base on above knowledge, learn the basics to design an actual material and to control a property material.

授業の内容

教科書「Manufacturing, Engineering and Technology」の“Part I”について教授する。

[01st]
Introduction: Fundamentals of Materials (Their Behavior and Manufacturing Properties)
金属，セラミックス，高分子，複合材料の種類と特性
「材料の概念を構造と用途の観点から説明する。材料の特徴から材料がグループ分けできることを示し、各材料グループのもつ特徴を説明する。」

[02nd]
Atomic Bonds and Structure of Materials
材料の構造，材料の原子の結合様式
「ミクロ構造を模式的構造と実際に観察される構造とを示し、各材料グループのミクロ構造の違いを示し、各材料の特性、特に機械的性質との関係を説明する。材料の特徴に大きく関連する　電子の配列状態，各材料グループの原子・分子レベルでの結合様式，結合様式と材料特性との関係　について説明する。」

[03rd]
Crystal Structure and Microstructure of Metals
結晶構造，格子欠陥，組織解析方法（顕微鏡，XRD，etc）
「結晶構造の表し方の基本，および，各種欠陥を説明する。金属の研究に利用される組織観察の手法や組織解析方法を具体例を示して説明する。」

[04th]
Mechanical Behavior, Testing, and Manufacturing Properties of Metals
力学特性評価方法（硬さ，引張試験，etc），金属の応力とひずみの関係，塑性変形と転位
「各種試験方法を紹介する。そこで得られる応力とひずみの関係に基づいて、金属の変形の基礎を説明する。」

[05th]
Strengthening Mechanism of Metals
強化機構（転位強化，結晶粒微細化強化，固溶強化，析出強化）
「金属の各種強化機構のメカニズムと実例を説明する。」

[06th]
Microstructure and Strengthening of Metals by Heat Treatment
熱処理
「簡単な状態図を取り上げ、現れる相やその量的割合の求め方等状態図を理解するための初歩的事項について説明する。状態図を元に、金属における熱処理プロセスによる組織・特性の変化を理解する。」

[07th]
Physical Properties of Metals
物理的特性
「金属における種々の物理的特性について説明する。」

[08th]
Recitation (45min) & Periodic exam (45min)
復習 45 分, 定期試験 45 分
[01st] Introduction: Fundamentals of Materials (Their Behavior and Manufacturing Properties)
[02nd] Atomic Bonds and Structure of Materials
[03rd] Crystal Structure and Microstructure of Metals
[04th] Mechanical Behavior, Testing, and Manufacturing Properties of Metals
[05th] Strengthening Mechanism of Metals
[06th] Microstructure and Strengthening of Metals by Heat Treatment
[07th] Physical Properties of Metals
[08th] Review (45min) & Periodic exam (45min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次回の内容について教科書等を参考に予習してくること。
Review every time after the lecture and prepare for next lecture.

関連科目

教科書 1	**書名**	Manufacturing, Engineering and Technology SI (7th Edition)			**ISBN**	978-981-06-9406-7
	著者名	Serope Kalpakjian, Stephen R. Schmid	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

教科書を購入することが望ましいが、貸与することもできるので、担当教員に相談して下さい。
It is desirable to purchase the textbook, but the textbook can also be lent, so please consult with the teachers.

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)原子・分子間の結合様式とその特徴を理解する。
(2)原子・分子レベルでの材料の構造と特性の関係を理解する。
(3)結晶材料中の格子欠陥と材料特性との関係を理解する。
(4)基本的な状態図を理解し、材料の組織制御に適用できる。
(5)材料の強化法について理解する。
(1)Undarstand the inter-atomic and inter-molecular bonding mechanisms and their features.
(2)Understand the relation between an atomic structure and a property of materials.
(3)Understand the relation between lattice defects and a property of crystalline materials.
(4)Understand the basic phase diagrams and how to use them for a microstructural control of materials.
(5)Understand the strategies to strengthen materials.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート・小テスト 30%, 期末試験 70%
原則的にすべての講義に出席した者につき下記のよう に評価する。
＜評価基準＞
S: 達成目標をすべて達成し、かつ、レポート・小テスト, 期末試験の評価点(100 点満点)が 90 点以上。
A: 達成目標をすべて達成し、かつ、レポート・小テスト, 期末試験の評価点(100 点満点)が 80 点以上。
B: 達成目標を4つ達成し、かつ、レポート・小テスト, 期末試験の評価点(100 点満点)が 70 点以上。
C: 達成目標を3つ達成し、かつ、レポート・小テスト, 期末試験の評価点(100 点満点)が 60 点以上。
※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来(A～C)の評価基準を適用する。
Evaluation means: Examination(70%), Quiz and Report(30%)
Evaluation basis: Students who attend all classes will be evaluated as follows.
S: Achieve all objectives, and total marks of quiz, reports and exam. are 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieve all objectives, and total marks of quiz, reports and exam. are 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieve 4 objectives, and total marks of quiz, reports and exam. are 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieve 3 objectives, and total marks of quiz, reports and exam. are 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

D-603, 6704, todaka@me.tut.ac.jp
D-504, 6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp
D-603, ext.6704, todaka@me.tut.ac.jp
D-504, ext.6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ
＜戸高＞　http://martens.me.tut.ac.jp/
＜小林＞　http://str.me.tut.ac.jp/
＜Todaka＞　http://martens.me.tut.ac.jp/
＜Kobayashi＞　http://str.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー
＜戸高＞　e-mail にて相談時間を打ち合わせる。
＜小林＞　e-mail にて相談時間を打ち合わせる。
＜Todaka＞　Please send e-mail in advance for appointment.
＜Kobayashi＞　Please send e-mail in advance for appointment.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード
材料　構造　組織　力学特性　熱処理
Material, Structure, Microstructure, Mechanical property, Heat Treatment

(B11610021)機械工学実験[Experimental Practice for Mechanical Engineering]

科目名[英文名]	機械工学実験[Experimental Practice for Mechanical Engineering]				
時間割番号	B11610021	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	S1系教務委員 1kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	MEC_BAC38012				

授業の目標

機械工学の基礎となる基本的な実験手法，解析手法を習得するとともに，レポート作成を通して，現象への洞察力および表現力を養う.

Students learn basic experimental and analysis method which are fundamental of mechanical engineering. Discernment and power of expression are developed by making experimental reports.

授業の内容

1 週目にガイダンスを行う.
小グループ単位で下記の7課題について1課題あたり2週をかけて実施する.
課題の実施順序は、グループ毎に異なる.
課題1 固体力学及び振動工学基礎実験（石井，伊勢）
課題2 生産システム分析のためのプロジェクトスケジューリング（阪口）
課題3 接合と腐食（山田，笹野）
課題4 原動機の性能評価（中村，松岡）
課題5 流体力学・伝熱工学基礎実験（光石）
課題6 金属材料の組織制御と特性評価（戸髙，足立，三浦，小林）
課題7 厚肉容器の製作における切削と鍛造の加工性評価（永井，阿部）

Guidance is held at first week.
Students perform 7 themes of experiments as follows, in which students are divided into small groups. One theme takes for 2 week. The order, in which the students perform theme, depends on group.
Theme 1: Fundamental experiments of solid mechanics and vibration engineering (Ishii, Ise)
Theme 2: Project scheduling for production system analysis (Sakaguchi)
Theme 3: Joining and corrosion (Yamada, Sasano)
Theme 4: Performance evaluation of engine (Namamura, Matsuoka)
Theme 5: Fundamental experiments of aeromechanics and heat transfer engineering (Mitsuishi)
Theme 6: Microstructure control and mechanical properties of metallic materials (Todaka, Adachi, Miura, Kobayashi)
Theme 7: Processing characteristics of machining and forging in fabricating thick wall vessel (Nagai, Abe)

予習・復習内容

実験中に事故の起きないようにガイダンスに配布された安全に関する手引きを十分理解すること. また，配布された資料を事前に読んで課題の内容を理解し，実験後はレポートの作成を行うとともに課題に関連する内容について復習すること.

Students should understand manual contents about safety, which is distributed in first week guidance. Students should understand experimental procedure by reading distributed texts beforehand, and also review about related contents is necessary after the experiments, with writing experimental report.

関連科目

課題毎に異なる.

教科書に関する補足事項

資料のプリント等を配布する. 指示のある場合は適宜ダウンロード，印刷を行うこと.

Printed textbooks etc. are distributed. When there are instructions, you should download and print it appropriately.

参考書に関する補足事項

達成目標

各実験においてはそれぞれ以下の項目を目標としている.
・実験手法・計測手法の基本原理を理解する.
・実験機器・器具の用途などを覚える.
・実験機器・器具を正しく，安全に取り扱うことができる.
・実験で得られたデータの整理，レポートの作成ができる.

Aim of every theme is as follows.

You can understand a fundamental principle of experiment technique and the measurement technique.
You can learn the uses of laboratory devices and equipment.
You can use laboratory devices and equipment correctly and safely.
You can write fine experimental reports to summarize data obtained in experiments.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

実験への取り組みと提出レポートで評価する.
すべての課題を履修し，かつ，レポートを提出しなければ単位は認定されない.
7つの課題のレポート点（各 100 点満点）の平均を評価点とする.
評価S：90点以上，評価A：80点以上，評価B：70点以上，評価C：60点以上
Evaluation method] contribution to experiments, and reports
[Evaluation basis] Only students who attend all themes and submit all reports will be evaluated. Average of report points of 7 themes (out of 100 points for each theme) will be total points.
Grade levels are C(60% - less than 70%), B(70- less than 80%), A(80% - less than 90 %) and S(90% or over).

定期試験

授業を実施
Regular Class

定期試験詳細

その他

各課題に関する問い合わせは各担当の教員へ.
課題1　石井(D2-204, 5114, ishii@me.tut.ac.jp)
　　伊勢(D-403, 6673, ise@me.tut.ac.jp)
課題2　阪口(D-405, 6675, sakaguchi@me.tut.ac.jp)
課題3　山田(D-616, 7081, yamada@me.tut.ac.jp)
　　笹野(D-513, 5240, sasano@me.tut.ac.jp)
課題4　中村(D-311, 6647, yuji@me.tut.ac.jp)
　　松岡(D-312, 5101, matsuoka@me.tut.ac.jp)
課題5　光石(D3-201, 6689, mituisi@me.tut.ac.jp)
課題6　戸高(D-603, 6704, todaka@me.tut.ac.jp)
　　足立(D2-510, 5222, n-adachi@me.tut.ac.jp)
　　三浦(D-508, 6697, miura@me.tut.ac.jp)
　　小林(D-504, 6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp)
課題7　永井(D-607, 6701, nagai@me.tut.ac.jp)
　　阿部(D-616, 6715, f-abe@me.tut.ac.jp)
取りまとめ代表者：小林，(D-504, 6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp)
If you have any question, please make contact with each teacher.
Theme 1　Ishii (D2-204, 5144, ishii@me.tut.ac.jp)
　　Ise (D-403, 6673, ise@me.tut.ac.jp)
Theme 2　Sakaguchi (D-405, 6675, sakaguchi@me.tut.ac.jp)
Theme 3　Yamada(D-616, 7081, yamada@me.tut.ac.jp)
　　Sasano(D-513, 5240, sasano@me.tut.ac.jp)
Theme 4　Nakamura(D-311, 6647, yuji@me.tut.ac.jp)
　　Matsuoka(D-312, 5101, matsuoka@me.tut.ac.jp)
Theme 5　Mitsuishi(D3-201, 6689, mituisi@me.tut.ac.jp)
Theme 6　Todaka(D-603, 6704, todaka@me.tut.ac.jp)
　　Adachi(D2-510, 5222, n-adachi@me.tut.ac.jp)
　　Miura(D-508, 6697, miura@me.tut.ac.jp)
　　Kobayashi(D-504, 6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp)
Theme 7　Nagai(D-607, 6701, nagai@me.tut.ac.jp)
　　Abe(D-616, 6715, f-abe@me.tut.ac.jp)
Responsible person: Kobayashi (D-504, 6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp)

ウェルカムページ

担当教員毎に異なる.
Different in each teacher

オフィスアワー

担当教員毎に異なるため担当教員と打ち合わせる.
Please make contact with each teacher.

学習・教育到達目標との対応

(D2)実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から観察し，説明する能力を身につけている。
(D5)研究成果の実用化，知的財産関係，MOT（技術経営）に関する基礎知識を獲得している。

(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to observe and explain things from the viewpoint of technological science
(D5) Acquire basic knowledge about the practical application of research results, intellectual property and management of technology (MOT)

キーワード
機械，実験，解析，報告書
mechanics, experiment, analysis, report

(B11610023)機械工学実験[Experimental Practice for Mechanical Engineering]

科目名[英文名]	機械工学実験[Experimental Practice for Mechanical Engineering]				
時間割番号	B11610023	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	S1系教務委員 1kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	MEC_BAC38012				

授業の目標

機械工学の基礎となる基本的な実験手法，解析手法を習得するとともに，レポート作成を通して，現象への洞察力および表現力を養う.

Students learn basic experimental and analysis method which are fundamental of mechanical engineering. Discernment and power of expression are developed by making experimental reports.

授業の内容

1 週目にガイダンスを行う.
小グループ単位で下記の7課題について1課題あたり2週をかけて実施する.
課題の実施順序は、グループ毎に異なる.
課題1 固体力学及び振動工学基礎実験（石井，伊勢）
課題2 生産システム分析のためのプロジェクトスケジューリング（阪口）
課題3 接合と腐食（山田，笹野）
課題4 原動機の性能評価（中村，松岡）
課題5 流体力学・伝熱工学基礎実験（光石）
課題6 金属材料の組織制御と特性評価（戸髙，足立，三浦，小林）
課題7 厚肉容器の製作における切削と鍛造の加工性評価（永井，阿部）

Guidance is held at first week.
Students perform 7 themes of experiments as follows, in which students are divided into small groups. One theme takes for 2 week. The order, in which the students perform theme, depends on group.
Theme 1: Fundamental experiments of solid mechanics and vibration engineering (Ishii, Ise)
Theme 2: Project scheduling for production system analysis (Sakaguchi)
Theme 3: Joining and corrosion (Yamada, Sasano)
Theme 4: Performance evaluation of engine (Namamura, Matsuoka)
Theme 5: Fundamental experiments of aeromechanics and heat transfer engineering (Mitsuishi)
Theme 6: Microstructure control and mechanical properties of metallic materials (Todaka, Adachi, Miura, Kobayashi)
Theme 7: Processing characteristics of machining and forging in fabricating thick wall vessel (Nagai, Abe)

予習・復習内容

実験中に事故の起きないようにガイダンスに配布された安全に関する手引きを十分理解すること. また，配布された資料を事前に読んで課題の内容を理解し，実験後はレポートの作成を行うとともに課題に関連する内容について復習すること.

Students should understand manual contents about safety, which is distributed in first week guidance. Students should understand experimental procedure by reading distributed texts beforehand, and also review about related contents is necessary after the experiments, with writing experimental report.

関連科目

課題毎に異なる.

教科書に関する補足事項

資料のプリント等を配布する. 指示のある場合は適宜ダウンロード，印刷を行うこと.

Printed textbooks etc. are distributed. When there are instructions, you should download and print it appropriately.

参考書に関する補足事項

達成目標

各実験においてはそれぞれ以下の項目を目標としている.
・実験手法・計測手法の基本原理を理解する.
・実験機器・器具の用途などを覚える.
・実験機器・器具を正しく，安全に取り扱うことができる.
・実験で得られたデータの整理，レポートの作成ができる.

Aim of every theme is as follows.

You can understand a fundamental principle of experiment technique and the measurement technique.
You can learn the uses of laboratory devices and equipment.
You can use laboratory devices and equipment correctly and safely.
You can write fine experimental reports to summarize data obtained in experiments.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

実験への取り組みと提出レポートで評価する.
すべての課題を履修し，かつ，レポートを提出しなければ単位は認定されない.
7つの課題のレポート点（各 100 点満点）の平均を評価点とする.
評価S：90点以上，評価A：80点以上，評価B：70点以上，評価C：60点以上
Evaluation method] contribution to experiments, and reports
[Evaluation basis] Only students who attend all themes and submit all reports will be evaluated. Average of report points of 7 themes (out of 100 points for each theme) will be total points.
Grade levels are C(60% - less than 70%), B(70- less than 80%), A(80% - less than 90 %) and S(90% or over).

定期試験

授業を実施
Regular Class

定期試験詳細

その他

各課題に関する問い合わせは各担当の教員へ.
課題1　石井(D2-204, 5114, ishii@me.tut.ac.jp)
　　伊勢(D-403, 6673, ise@me.tut.ac.jp)
課題2　阪口(D-405, 6675, sakaguchi@me.tut.ac.jp)
課題3　山田(D-616, 7081, yamada@me.tut.ac.jp)
　　笹野(D-513, 5240, sasano@me.tut.ac.jp)
課題4　中村(D-311, 6647, yuji@me.tut.ac.jp)
　　松岡(D-312, 5101, matsuoka@me.tut.ac.jp)
課題5　光石(D3-201, 6689, mituisi@me.tut.ac.jp)
課題6　戸高(D-603, 6704, todaka@me.tut.ac.jp)
　　足立(D2-510, 5222, n-adachi@me.tut.ac.jp)
　　三浦(D-508, 6697, miura@me.tut.ac.jp)
　　小林(D-504, 6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp)
課題7　永井(D-607, 6701, nagai@me.tut.ac.jp)
　　阿部(D-616, 6715, f-abe@me.tut.ac.jp)
取りまとめ代表者：小林，(D-504, 6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp)
If you have any question, please make contact with each teacher.
Theme 1　Ishii (D2-204, 5144, ishii@me.tut.ac.jp)
　　Ise (D-403, 6673, ise@me.tut.ac.jp)
Theme 2　Sakaguchi (D-405, 6675, sakaguchi@me.tut.ac.jp)
Theme 3　Yamada(D-616, 7081, yamada@me.tut.ac.jp)
　　Sasano(D-513, 5240, sasano@me.tut.ac.jp)
Theme 4　Nakamura(D-311, 6647, yuji@me.tut.ac.jp)
　　Matsuoka(D-312, 5101, matsuoka@me.tut.ac.jp)
Theme 5　Mitsuishi(D3-201, 6689, mituisi@me.tut.ac.jp)
Theme 6　Todaka(D-603, 6704, todaka@me.tut.ac.jp)
　　Adachi(D2-510, 5222, n-adachi@me.tut.ac.jp)
　　Miura(D-508, 6697, miura@me.tut.ac.jp)
　　Kobayashi(D-504, 6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp)
Theme 7　Nagai(D-607, 6701, nagai@me.tut.ac.jp)
　　Abe(D-616, 6715, f-abe@me.tut.ac.jp)
Responsible person: Kobayashi (D-504, 6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp)

ウェルカムページ

担当教員毎に異なる.
Different in each teacher

オフィスアワー

担当教員毎に異なるため担当教員と打ち合わせる.
Please make contact with each teacher.

学習・教育到達目標との対応

(D2)実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から観察し，説明する能力を身につけている。
(D5)研究成果の実用化，知的財産関係，MOT（技術経営）に関する基礎知識を獲得している。

(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to observe and explain things from the viewpoint of technological science
(D5) Acquire basic knowledge about the practical application of research results, intellectual property and management of technology (MOT)

キーワード
機械，実験，解析，報告書
mechanics, experiment, analysis, report

(B11610070)卒業研究[Supervised Research]

科目名[英文名]	卒業研究[Supervised Research]				
時間割番号	B11610070	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期＋後1	**曜日時限**	火 4～5,水 4～5,木 5～5,金 4～5	**単位数**	6
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	S1系教務委員 1kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	MEC_BAC48010				

授業の目標

本学および機械工学課程の教育理念である創造的・実践的能力を備えた指導的技術者としての能力を身につけるためには、単なる講義のみではなく、未解決の問題に取り組む研究活動を行うことが重要である。卒業研究を行うことにより、未解決の問題に興味がわき、問題を解決するために自発的に学習する態度が身につき、これがさらに新しい問題を発見することにつながる。この研究を通して、明確な問題意識、問題解決力、課題探求力、計画立案能力、創造性、判断力、責任感、ねばり強さ、協調性、プレゼンテーション力、倫理観を身につける。

A research work of an unresolved engineering problem must be carried out in addition to class to become a leading engineer having creative and applied abilities that is education philosophy of department of mechanical engineering. Through carrying out the supervised research, active studying and researching are developed. By actively studying and researching, the research is developed furthermore. Finally, abilities of problem-consciousness, problem-solving, problem-questing, planning, creativity, judgement, responsibility, toughness, cooperativeness, presentation, and ethics are polished up in the process of the research work.

授業の内容

研究室毎に異なる。

The subject is different for every laboratory.

予習・復習内容

研究室毎に異なる。
Different for every laboratory.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

卒業研究を行うことにより、明確な問題意識、問題解決力、課題探求力、計画立案能力、創造性、判断力、責任感、ねばり強さ、協調性、プレゼンテーション力、倫理観を身につける。

Abilities of problem-consciousness, problem-solving, problem-questing, planning, creativity, judgement, responsibility, toughness, cooperativeness, presentation, and ethics are polished up in the process of the research work.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績は，研究業績，論文内容，発表会を総合して評価する.
評価点が 55 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする.
評価A：80 点以上，評価B：65 点以上，評価C：55 点以上
Evaluated comprehensively by results, thesis and presentation.
A: obtained total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: obtained total points, 65 or higher (out of 100 points).
C: obtained total points, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

その他
Other

定期試験詳細

その他

質問は指導教員に問い合わせてください。

For any questions, contact your supervisor.
ウェルカムページ
オフィスアワー
学習・教育到達目標との対応
キーワード 機械工学、機械・システムデザイン、材料・生産加工、システム制御・ロボット、環境・エネルギー Mechanical engineering, Mechanical system design, Materials and manufacturing, System control and robotics, Environment and energy

(B11610080)機械工学輪講[Seminar in Mechanical Engineering]

科目名[英文名]	機械工学輪講[Seminar in Mechanical Engineering]				
時間割番号	B11610080	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	前期＋後1	曜日時限	木 3～3	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	S1系教務委員 1kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	MEC_BAC48010				

授業の目標

本学および機械工学課程の教育理念である創造的・実践的能力を備えた指導的技術者としての能力を身につけることを目的として，他者の研究論文などを講読することによって，問題設定，それに対するアプローチ，得られた結果の解釈，考察などの方法等を学ぶ．これによって，未解決の問題に興味を抱き，問題を解決するために自発的に学習する態度が身につき，これがさらに新しい問題を発見することにつながる．この科目を通して，明確な問題意識，問題解決力，課題探求力，計画立案能力，創造性，判断力，責任感，ねばり強さ，協調性，プレゼンテーション力，倫理観を身につける．

To become a leading engineer having creative ability and applied skill, problem setting ability, approaching ability to problem, considering method are acquired on the basis of several literature. In the class, active work for resolving problems is acquired by gaining relevant knowledge. Finally, problem consciousness, problem resolving ability, planning ability, creative ability, judgement ability, responsibility sense, toughness, cooperativeness, presentation skill are achieved.

授業の内容

研究室毎に異なる。

Different in each laboratory

予習・復習内容

Different in each laboratory

関連科目

研究室毎に異なる。

Different in each laboratory

教科書に関する補足事項

研究室毎に異なる。

Different in each laboratory

参考書に関する補足事項

達成目標

1) 明確な問題意識を身につける.
2) 問題解決力を身につける.
3) 課題探求力を身につける.
4) 周辺知識を身につける.
5) 判断力を身につける.
6) 責任感を身につける.
7) プレゼンテーション力を身につける.
8) 倫理観を身につける.

1) Problem consciousness is acquired.
2) Problem resolving is acquired.
3) Problem questing is acquired.
4) Relevant knowledge is gained.
5) Judgement ability is acquired.
6) Responsibility sense is acquired.
7) Presentation skill is acquired.
8) Ethics is acquired.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

発表内容，討論，レポートなどで総合的に評価される.
A：達成目標基礎的事項のすべてを達成していること. 80 点以上
B：達成目標基礎的事項の6つを達成していること. 65 点以上
C：達成目標基礎的事項の5つを達成していること. 55 点以上

Evaluated comprehensively by presentation, discussion, reports, etc.

A: Achieved all goals, 80 or higher (out of 100 points). B: Achieved 65% of goals, 65 or higher (out of 100 points). C: Achieved 55% of goals, 55 or higher (out of 100 points).
定期試験 その他 Other
定期試験詳細
その他 質問は指導教員に問い合わせてください。 For any questions, contact your supervisor.
ウェルカムページ
オフィスアワー
学習・教育到達目標との対応
キーワード 機械工学、機械・システムデザイン、材料・生産加工、システム制御・ロボット、環境・エネルギー Mechanical engineering, Mechanical system design, Materials and manufacturing, System control and robotics, Environment and energy

(B11610090)実務訓練[Internship]

科目名[英文名]	実務訓練[Internship]				
時間割番号	B11610090	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期2	**曜日時限**	月 1～5,火 1～5,水 1～5,木 1～5,金 1～5	**単位数**	6
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	S1系教務委員 1kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	MEC_BAC49010				

授業の目標

企業、研究機関などで日常行なわれている研究、開発、設計などの実務を経験することにより、企業等で何が問題とされ、その問題に対して、どのようなアプローチや解決策がとられているかを知る。訓練指導者あるいは担当者との密接な接触を通じて，将来指導的技術者となるために必要な人間性の陶冶を図るとともに，実践的な技術感覚を身に付ける.

Engineering approaching and solutions to technological problems are also known by experiencing research, development, design, production in a company, research institute, etc. Human character is cultivated to become a leading engineer in the future through personal contact to of trainers.

授業の内容

学部第4年次学生が従事可能な実務のうち，実務訓練の目的にふさわしい業務。具体的には、企業における設計、研究、開発等の補助業務を訓練指導者あるいは担当者の指示のもとに遂行する。

A Job matched to purpose of this class out of ones which 4th-year undergraduate can work, namely design, research, development, etc. in the company or institute is carried out as directed by the trainers.

予習・復習内容

実務訓練先の担当者の指示に従う.

follow instruction of the trainers.

関連科目

学部において学んだ全ての科目が関連する。

The object is related to every classes in undergraduate school.

教科書に関する補足事項

実務訓練先の担当者の指示に従う。

follow instruction of the trainers.

参考書に関する補足事項

達成目標

特に企業・研究機関等で実務に従事することにより、業務遂行のためのコミュニケーション、他の科目で習得した知識の活用法等を学習するとともに、それらの重要性を認識する。

By working in the company or institute, communication for performing the job and application of learned classes are studied and their importance is recognized again.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

「実務訓練評定書」、「実務訓練報告書」、「訓練状況の調査結果」および「実務訓練発表会」での発表内容に基づき，成績の評価を 100 点満点で行う.

A:評価点数が 80 点以上

B:評価点数が 65 点以上

C:評価点数が 55 点以上

Evaluated comprehensively by an assessment, report survey result and presentation of on-the-job training.

A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Achieved 65% of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).

C: Achieved 55% of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細

その他

質問は指導教員に問い合わせてください。

For any questions, contact your supervisor.

ウェルカムページ
オフィスアワー
学習・教育到達目標との対応
キーワード 機械工学 Mechanical engineering

(B11610101)機械創造実験[Creative Experiment for Mechanical Engineering]

科目名[英文名]	機械創造実験[Creative Experiment for Mechanical Engineering]				
時間割番号	B11610101	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	竹市　嘉紀, 秋月　拓磨, 松原　真己, 川村　洋介, 白砂　絹和 TAKEICHI Yoshinori, AKIZUKI Takuma, MATSUBARA Masami, KAWAMURA Yosuke, Shirasuna Miyori				
ナンバリング	MEC_BAC38012				

授業の目標

・マイクロコンピュータを内蔵したコントロールユニットを用いてロボットを設計製作し，機構学，機械力学，制御工学，計測工学，材料力学などを実践的に修得する.
・少人数グループによる設計製作，競技会および報告会を通して，創造性，独創性，問題解決能力，プレゼンテーション能力，質疑応答能力および評価能力を身に付ける.

1) Designing and constructing the robot for competition by using control unit containing microcomputer.

2) Applying the knowledge of the subjects such as Mechanism, Kinetics of Machinery, Control Engineering, Measurement & Instrumentation and Mechanics of Solids in a practical experiment.

3) Acquiring creativity, originality, capability for problem-solving, presentation skill, question asking skill and evaluation skill through design production, competition and presentation program.

授業の内容

授業の終わりに作業報告書を作成して提出する.（指定の週に実施.）
但し，最終週の最終報告書については指定期日までに完成させて提出する.

第1週
・ガイダンス
・作業報告書の書き方の説明
・機構学基礎
・基礎課題A
第2週目
・基礎課題B
・本課題の発表とルール説明
・RoboLab の説明（概要）
第3週目
・RoboLab の説明（演習）
・基礎設計報告会に関する説明
・基礎設計報告会資料作成
第4週目
・基礎設計報告会
・本課題作品製作
・作業報告書の作成
第5週～第10週
・本課題作業
・作業報告書の作成
第11週
・最終調整
・競技会
第12週
・最終報告会に関する説明
・部品チェック
・最終報告会の資料作成
第13週
・最終発表会
・後片付け
第14週
・表彰式

・最終報告書に関する説明
・最終報告書の作成
第15週
・最終報告書の作成

1st week
Guidance
Explanation of daily report
Review of the kinematic of mechanism
Practical exercises A
2nd week
Practical exercises B
Explanation of the competition
Introduction of RoboLab (Basic)
3rd week
Introduction of RoboLab (Practice)
Explanation about the presentation of fundamental design
Preparation for the presentation of fundamental design
4th week
Presentation of fundamental design
Making machine for competition
Making daily report
5th – 10th week
Making machine for competition
Making daily report
11th week
Final adjustment of machine
Competition
12th week
Explanation about the final presentation
Checking the parts
Preparation for the final presentation
13th week
Final presentation
Checking the parts
14th week
Awarding ceremony
Explanation about the final report
Making final report
15th week
Making final report

予習・復習内容
・毎回の実験で問題となった点を検討するとともに，次週の取り組みについて対応案を検討しておくこと.
・作業報告書の指導内容について検討を行うこと.

Reviewal of the issues in the previous experiment and considering the resolution for the next experiment are required.
Considering the direction about daily report is required.

関連科目
機構学，機械力学，制御工学，計測工学，材料力学等

Mechanism, Kinetics of Machinery, Control Engineering, Measurement and Instrumentation, Mechanics of Solids 1 & 2 etc.

教科書に関する補足事項
初日にプリントを配布する

The text will be distributed on the first day of the lecture.

参考書 1	**書名**	Beginning LEGO MINDSTORMS EV3			**ISBN**	978-1430264361
	著者名	Mark Rollins	**出版社**	Apress	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	Instant LEGO Mindstorm EV3			**ISBN**	978-1849519748
	著者名	Gary Garber	**出版社**	Packt Publishing	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標
・物作りのプロセスを通して，問題発見能力，解決能力，創造性，独創性を高める.
・LEGO MindStorms を用いたロボットのデザインおよび製作を通し，機構学，機械力学などの知識を課題解決に向けて実践的に応用できる.
・ROBOLAB を用いたプログラム作成を通して，プログラミング，制御工学，計測工学などの知識を課題解決に向けて実践的に応用できる.
・グループ内での協議や討論を通して，自分の意見を的確に伝える事ができ，また，相手の意見を正確に把握できるコミュニケーション能力を身につける.
・報告会でのプレゼンテーションを通し，口頭発表力を養う.
・作業報告書，最終報告書の作成を通し，論理的な記述力を養う.

1) Cultivating creativity, originality and capability for problem-solving through manufacturing process.

2) Applying the knowledge of the Mechanism and Kinetics of Machinery for problem resolution through the design and constructing the robot by using LEGO MindStorms.

3) Applying the knowledge of the Programing, Control Engineering and Measurement & Instrumentation for problem resolution through the programing by using RoboLab.

4) Enhance communication skills through the discussion and consultation with the members of a group.

5) Acquiring oral presentation skill.

6) Cultivating the skill for logical description by making daily report and final report.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：
報告書（作業報告書，最終報告書），プレゼンテーションおよび取り組み姿勢（積極性）などを以下の配点により総合的に評価する．但し，作業報告書は後日の提出は認めない．
・報告書（作業報告書，最終報告書）… 60点
・プレゼンテーション…… 5点
・作品の評価…… 5点
・競技会の成績…… 10点
・取り組み姿勢（積極性）…… 20点

評価基準：
上記評価方法による得点（100 点満点）が 60 点以上の場合を合格（達成目標に到達した）とする.
また，得点によって達成の程度を以下のとおりとする.
評価S：合計点が 90 点以上
評価A：合計点が 80 点以上
評価B：合計点が 70 点以上
評価C：合計点が 60 点以上
Assessment procedure:
Evaluation will be made based on the following point allocation.
The perfect total score is 100 points.
Reports (daily report, final report) --- 60 points
Presentation (final) ---------- 5 points
Evaluation of machine ---------- 5 points
Score of competition ---------- 10 points
Extent of efforts ---------- 20 points
* Overdue daily report and final report are not accepted.

Assessment criterion:
Credit will be given when the total score is equal to or more than 60 points out of 100 points.
S: Total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

E-mail: create@me.tut.ac.jp
Phone: 0532-44-6660 or 0532-44-6691 (Office of Department of Mechanical Engineering)
E-mail: create@me.tut.ac.jp
Phone: 0532-44-6660 or 0532-44-6691 (Office of Department of Mechanical Engineering)

ウェルカムページ

http://www.me.tut.ac.jp/creative_exp
http://www.me.tut.ac.jp/creative_exp

オフィスアワー

e-mail 等で日時を打ち合わせる.
Please contact us just after each class or make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D2)実験を計画・遂行し, データを正確に解析し, 技術科学的な視点から観察し, 説明する能力を身につけている。
(D3)技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し, 諸問題を工学的に解決するためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チームメンバーの価値観を互いに理解して, チームとしての目標達成に個性的に寄与できる能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to observe and explain things from the viewpoint of technological science
(D3) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(G) Ability to work with a team
Have the ability to mutually respect the values of individual team members; and to contribute to goal achievement as a team through working cooperatively with other team members

キーワード

デザイン, 制御, 機構, プログラミング
design, control, kinetics of machinery, programming

(B11610103)機械創造実験[Creative Experiment for Mechanical Engineering]

科目名[英文名]	機械創造実験[Creative Experiment for Mechanical Engineering]				
時間割番号	B11610103	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	横山　博史，田崎　良佑，西川原　理仁，青葉　知弥，鹿毛　あずさ YOKOYAMA Hiroshi, TASAKI Ryosuke, NISHIKAWARA Masahito, AOBA Tomoya, KAGE Azusa				
ナンバリング	MEC_BAC38012				

授業の目標

・マイクロコンピュータを内蔵したコントロールユニットを用いてロボットを設計製作し，機構学，機械力学，制御工学，計測工学，材料力学などを実践的に修得する．
・少人数グループによる設計製作，競技会および報告会を通して，創造性，独創性，問題解決能力，プレゼンテーション能力，質疑応答能力および評価能力を身に付ける．

1) Designing and constructing the robot for competition by using control unit containing microcomputer.

2) Applying the knowledge of the subjects such as Mechanism, Kinetics of Machinery, Control Engineering, Measurement & Instrumentation and Mechanics of Solids in a practical experiment.

3) Acquiring creativity, originality, capability for problem-solving, presentation skill, question asking skill and evaluation skill through design production, competition and presentation program.

授業の内容

授業の終わりに作業報告書を作成して提出する．（指定の週に実施．）
但し，最終週の最終報告書については指定期日までに完成させて提出する．

第1週
・ガイダンス
・作業報告書の書き方の説明
・機構学基礎
・基礎課題A
第2週目
・基礎課題B
・本課題の発表とルール説明
・RoboLab の説明（概要）
第3週目
・RoboLab の説明（演習）
・基礎設計報告会に関する説明
・基礎設計報告会資料作成
第4週目
・基礎設計報告会
・本課題作品製作
・作業報告書の作成
第5週～第10週
・本課題作業
・作業報告書の作成
第11週
・最終調整
・競技会
第12週
・最終報告会に関する説明
・部品チェック
・最終報告会の資料作成
第13週
・最終発表会
・後片付け
第14週
・表彰式

・最終報告書に関する説明
・最終報告書の作成
第15週
・最終報告書の作成

1st week
Guidance
Explanation of daily report
Review of the kinematic of mechanism
Practical exercises A
2nd week
Practical exercises B
Explanation of the competition
Introduction of RoboLab (Basic)
3rd week
Introduction of RoboLab (Practice)
Explanation about the presentation of fundamental design
Preparation for the presentation of fundamental design
4th week
Presentation of fundamental design
Making machine for competition
Making daily report
5th – 10th week
Making machine for competition
Making daily report
11th week
Final adjustment of machine
Competition
12th week
Explanation about the final presentation
Checking the parts
Preparation for the final presentation
13th week
Final presentation
Checking the parts
14th week
Awarding ceremony
Explanation about the final report
Making final report
15th week
Making final report

予習・復習内容
・毎回の実験で問題となった点を検討するとともに，次週の取り組みについて対応案を検討しておくこと.
・作業報告書の指導内容について検討を行うこと.

Reviewal of the issues in the previous experiment and considering the resolution for the next experiment are required.
Considering the direction about daily report is required.

関連科目
機構学，機械力学，制御工学，計測工学，材料力学等

Mechanism, Kinetics of Machinery, Control Engineering, Measurement and Instrumentation, Mechanics of Solids 1 & 2 etc.

教科書に関する補足事項
初日にプリントを配布する

The text will be distributed on the first day of the lecture.

参考書 1	**書名**	Beginning LEGO MINDSTORMS EV3			**ISBN**	978-1430264361
	著者名	Mark Rollins	**出版社**	Apress	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	Instant LEGO Mindstorm EV3			**ISBN**	978-1849519748
	著者名	Gary Garber	**出版社**	Packt Publishing	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

・物作りのプロセスを通して，問題発見能力，解決能力，創造性，独創性を高める.
・LEGO MindStorms を用いたロボットのデザインおよび製作を通し，機構学，機械力学などの知識を課題解決に向けて実践的に応用できる.
・ROBOLAB を用いたプログラム作成を通して，プログラミング，制御工学，計測工学などの知識を課題解決に向けて実践的に応用できる.
・グループ内での協議や討論を通して，自分の意見を的確に伝える事ができ，また，相手の意見を正確に把握できるコミュニケーション能力を身につける.
・報告会でのプレゼンテーションを通し，口頭発表力を養う.
・作業報告書，最終報告書の作成を通し，論理的な記述力を養う.

1) Cultivating creativity, originality and capability for problem-solving through manufacturing process.

2) Applying the knowledge of the Mechanism and Kinetics of Machinery for problem resolution through the design and constructing the robot by using LEGO MindStorms.

3) Applying the knowledge of the Programing, Control Engineering and Measurement & Instrumentation for problem resolution through the programing by using RoboLab.

4) Enhance communication skills through the discussion and consultation with the members of a group.

5) Acquiring oral presentation skill.

6) Cultivating the skill for logical description by making daily report and final report.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：
報告書（作業報告書，最終報告書），プレゼンテーションおよび取り組み姿勢（積極性）などを以下の配点により総合的に評価する．但し，作業報告書は後日の提出は認めない．
・報告書（作業報告書，最終報告書）… 60点
・プレゼンテーション…… 5点
・作品の評価…… 5点
・競技会の成績…… 10点
・取り組み姿勢（積極性）…… 20点

評価基準：
上記評価方法による得点（100 点満点）が 60 点以上の場合を合格（達成目標に到達した）とする.
また，得点によって達成の程度を以下のとおりとする.
評価S：合計点が 90 点以上
評価A：合計点が 80 点以上
評価B：合計点が 70 点以上
評価C：合計点が 60 点以上
Assessment procedure:
Evaluation will be made based on the following point allocation.
The perfect total score is 100 points.
Reports (daily report, final report) --- 60 points
Presentation (final) ---------- 5 points
Evaluation of machine ---------- 5 points
Score of competition ---------- 10 points
Extent of efforts ---------- 20 points
* Overdue daily report and final report are not accepted.

Assessment criterion:
Credit will be given when the total score is equal to or more than 60 points out of 100 points.
S: Total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

E-mail: create@me.tut.ac.jp
Phone: 0532-44-6660 or 0532-44-6691 (Office of Department of Mechanical Engineering)
E-mail: create@me.tut.ac.jp
Phone: 0532-44-6660 or 0532-44-6691 (Office of Department of Mechanical Engineering)

ウェルカムページ

http://www.me.tut.ac.jp/creative_exp
http://www.me.tut.ac.jp/creative_exp

オフィスアワー

e-mail 等で日時を打ち合わせる.
Please contact us just after each class or make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D2)実験を計画・遂行し, データを正確に解析し, 技術科学的な視点から観察し, 説明する能力を身につけている。
(D3)技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し, 諸問題を工学的に解決するためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チームメンバーの価値観を互いに理解して, チームとしての目標達成に個性的に寄与できる能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to observe and explain things from the viewpoint of technological science
(D3) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(G) Ability to work with a team
Have the ability to mutually respect the values of individual team members; and to contribute to goal achievement as a team through working cooperatively with other team members

キーワード

デザイン, 制御, 機構, プログラミング
design, control, kinetics of machinery, programming

(B1161011a)応用数学Ⅰ[Applied Mathematics 1]

科目名[英文名]	応用数学Ⅰ[Applied Mathematics 1]				
時間割番号	B1161011a	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	阪口　龍彦 SAKAGUCHI Tatsuhiko				
ナンバリング	MEC_BAC31112				

授業の目標

応用数学Ⅰの講義内容は線形代数である。線形代数は、理工系の諸分野における基礎であるばかりでなく、数理統計学などの社会科学の分野においても大変有用である。本講義を通して、問題解決の道具としての線形代数に関する主要な知識を獲得する。

The course content is linear algebra. Linear algebra is not only basic in many science and engineering fields but also useful in social science including statistics. Students are expected to achieve fundamental knowledge of it as mathematical tools for solving various kinds of problem.

授業の内容

第1週　行列と連立1次方程式
第2週　行列の階数、行列式
第3週　ベクトル空間、1次独立
第4週　線形写像と表現行列
第5週　1 次変換、直交変換
第6週　固有値、固有ベクトル
第7週　行列の対角化
第8週　まとめ(45 分), 期末試験(45 分)

1st week: Matrix and simultaneous linear equations
2nd week: Rank of matrix and determinant
3rd week: Vector space, linear independence
4th week: Linear mapping and representation matrix
5th week: Linear transformation and orthogonal transformation
6th week: Eigenvalue and eigenvector
7th week: Diagonalization of matrix
8th week: Review(45 min), examination(45 min)

予習・復習内容

演習問題を自主的に解いて毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容についてテキスト等を参考に予習する。
Review every time after the lecture by solving practice problems, and prepare for next lecture.

関連科目

専門Ⅱ・選択必修Ⅱ・システム工学分野の諸科目、統計解析
Statistical analysis

教科書 1	**書名**	Schaum's Outline of Advanced Mathematics for Engineers and Scientists			**ISBN**	978-0-07-163540-0
	著者名	Murray R. Spiegel	**出版社**	Mc Graw Hill	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	初歩から学べる線形代数			**ISBN**	978-4-563-00375-3
	著者名	佐藤恒雄, 野澤宗平共著,	**出版社**	培風館	**出版年**	2007

参考書に関する補足事項

図書館には多数の関連書籍が収蔵されているので、読み易い本を見つけて参考にするとよい。

達成目標

1) 行列の基本変形が確実にできる。
2) ガウスの消去法を用いて連立1次方程式が解ける。
3) 空間の次元と基底について理解する。

4) 直交変換、直交基底について理解する。
5) 基底の変換と線形写像の表現行列について理解する。
6) 固有値について理解する。
7) 行列の対角化法を習得する。

1) Elementary transformations
2) Solve simultaneous liner equations by Gaussian elimination
3) Understand dimension and basis of linear space
4) Understand orthogonal transformation and basis
5) Understand linear mapping
6) Diagonalize square matrix

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験の成績で評価する。
評価基準:すべての課題レポートを提出したものに対して、下記の基準で評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70 達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained average points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained average points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained average points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained average points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義の質問は随時受け付ける。

Accept at any time

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

線形代数
線形代数

(B1161011b)応用数学Ⅰ[Applied Mathematics 1]

科目名[英文名]	応用数学Ⅰ[Applied Mathematics 1]				
時間割番号	B1161011b	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	阪口　龍彦 SAKAGUCHI Tatsuhiko				
ナンバリング	MEC_BAC31112				

授業の目標

応用数学Ⅰの講義内容は線形代数である。線形代数は、理工系の諸分野における基礎であるばかりでなく、数理統計学などの社会科学の分野においても大変有用である。本講義を通して、問題解決の道具としての線形代数に関する主要な知識を獲得する。

The course content is linear algebra. Linear algebra is not only basic in many science and engineering fields but also useful in social science including statistics. Students are expected to achieve fundamental knowledge of it as mathematical tools for solving various kinds of problem.

授業の内容

第1週　行列と連立1次方程式
第2週　行列の階数、行列式
第3週　ベクトル空間、1次独立
第4週　線形写像と表現行列
第5週　1 次変換、直交変換
第6週　固有値、固有ベクトル
第7週　行列の対角化
第8週　まとめ(45 分), 期末試験(45 分)

1st week: Matrix and simultaneous linear equations
2nd week: Rank of matrix and determinant
3rd week: Vector space, linear independence
4th week: Linear mapping and representation matrix
5th week: Linear transformation and orthogonal transformation
6th week: Eigenvalue and eigenvector
7th week: Diagonalization of matrix
8th week: Review(45 min), examination(45 min)

予習・復習内容

演習問題を自主的に解いて毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容についてテキスト等を参考に予習する。
Review every time after the lecture by solving practice problems, and prepare for next lecture.

関連科目

専門Ⅱ・選択必修Ⅱ・システム工学分野の諸科目、統計解析
Statistical analysis

教科書 1	**書名**	Schaum's Outline of Advanced Mathematics for Engineers and Scientists			**ISBN**	978-0-07-163540-0
	著者名	Murray R. Spiegel	**出版社**	Mc Graw Hill	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	初歩から学べる線形代数			**ISBN**	978-4-563-00375-3
	著者名	佐藤恒雄, 野澤宗平共著,	**出版社**	培風館	**出版年**	2007

参考書に関する補足事項

図書館には多数の関連書籍が収蔵されているので、読み易い本を見つけて参考にするとよい。

達成目標

1) 行列の基本変形が確実にできる。
2) ガウスの消去法を用いて連立1次方程式が解ける。
3) 空間の次元と基底について理解する。

4) 直交変換、直交基底について理解する。
5) 基底の変換と線形写像の表現行列について理解する。
6) 固有値について理解する。
7) 行列の対角化法を習得する。

1) Elementary transformations
2) Solve simultaneous liner equations by Gaussian elimination
3) Understand dimension and basis of linear space
4) Understand orthogonal transformation and basis
5) Understand linear mapping
6) Diagonalize square matrix

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:定期試験の成績で評価する。
評価基準:すべての課題レポートを提出したものに対して、下記の基準で評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70 達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained average points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained average points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained average points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained average points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義の質問は随時受け付ける。

Accept at any time

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

線形代数
線形代数

(B1161012a)応用数学Ⅱ[Applied Mathematics 2]

科目名[英文名]	応用数学Ⅱ[Applied Mathematics 2]				
時間割番号	B1161012a	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	柳田　秀記 YANADA Hideki				
ナンバリング	MEC_BAC31112				

授業の目標

ベクトル解析は力学、流体力学、電磁気学など“場”の理論の記述に極めて有用である。本科目では、ベクトル解析を数学の道具として身につける。

Vector analysis is very useful in describing the theories of ″field″ such as gravitational filed, velocity field in fluid, electric field, etc. Students acquire fundamental knowledge of vector analysis as a mathematical tool.

授業の内容

第1週　ベクトルの内積・外積・三重積
第2週　ベクトル関数の微分
第3週　スカラー場の勾配
第4週　ベクトル場の発散と回転
第5週　ベクトルの線積分
第6週　ベクトルの面積分と体積積分
第7週　積分定理
第8週　復習 45 分，定期試験 45 分

1st week:Vector algebla, unit vectors, linear dependence and linear independence, dot product
2nd week:Cross product, triple products
3rd week:Differentiation of vector function
4th week:Gradient of scalar field
5th week:Divergence and curl of vector fields
6th week:Line integral of vector fields
7th week:Surface integral and colume integral of vector fields, integral theorems
8th week:Review (45 min) and examination (45 min)

予習・復習内容

教科書の演習問題を自主的に多く解いて毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Students are requested to solve problems in the textbook and to prepare the next class by reading the textbook.

関連科目

力学，流体力学，応用数学Ⅰ
Mechanics, Fluid mechanics, Calculus, Applied mathematics 1

教科書 1	**書名**	Advanced Mathematics for Engineers and Scientists			**ISBN**	
	著者名	Murry R. Spiegel	**出版社**	McGraw Hill	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Vector Analysis			**ISBN**	
	著者名	Seymour Lipschutz, Dennis Spellman, Mussay R. Spiegel	**出版社**	McGraw Hill	**出版年**	
参考書 2	**書名**	線形代数とベクトル解析			**ISBN**	
	著者名	E. クライツィグ（堀　素夫訳）	**出版社**	培風館	**出版年**	
参考書 3	**書名**	応用数学要論シリーズ別巻・応用解析要論			**ISBN**	
	著者名	田代嘉宏	**出版社**	森北出版	**出版年**	

参考書に関する補足事項

ベクトル解析の参考書は上記以外にも図書館に多数あります.
There are many books of vector analysis in library.

達成目標

(1) ベクトルの内積，外積，三重積の計算ができる。
(2) ベクトル関数の微分ができる。

(3) スカラー場の勾配が計算できる。
(4) ベクトル場の発散・回転とそれを組み合わせた計算ができる。
(5) 勾配・発散・回転の意味を理解し，工学的問題に適用できる。
(6) 積分定理を理解し，その計算ができる。

1.To be able to calculate sum, dot product, cross product, triple product of vectors
2.To be able to differentiate vector functions
3.To be able to calculate gradient of sclalar fields
4.To be able to calculate divergence, curl of vector fields and their combination
5.To be able to integrate vector fields along cuves, on surfaces and in vomules

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末試験（100 点満点）のみで評価する。

評価基準：
評価 S：合計点が 90 点以上
評価 A：合計点が 80 点以上
評価 B：合計点が 70 点以上
評価 C：合計点が 60 点以上
Each student's achievement is evaulated by the examination (100%).
Students will be evaluated as follows:
S: Obtained points of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained points of exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained points of exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居室：D-309，電話：44-6668，e-mail：yanada@me.tut.ac.jp
Office:D-309, Tel:44-6668, e-mail:yanada@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

E-mail にて時間を打ち合わせる.
The date and time are arranged by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

Vector, Scalar, Dot product, Cross product, Gradient, Divergence, Curl, Line integral, Integral theorem

(B1161012b)応用数学Ⅱ[Applied Mathematics 2]

科目名[英文名]	応用数学Ⅱ[Applied Mathematics 2]				
時間割番号	B1161012b	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期2	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	柳田　秀記 YANADA Hideki				
ナンバリング	MEC_BAC31112				

授業の目標

ベクトル解析は力学、流体力学、電磁気学など“場”の理論の記述に極めて有用である。本科目では、ベクトル解析を数学の道具として身につける。

Vector analysis is very useful in describing the theories of ″field″ such as gravitational filed, velocity field in fluid, electric field, etc. Students acquire fundamental knowledge of vector analysis as a mathematical tool.

授業の内容

第1週　ベクトルの内積・外積・三重積
第2週　ベクトル関数の微分
第3週　スカラー場の勾配
第4週　ベクトル場の発散と回転
第5週　ベクトルの線積分
第6週　ベクトルの面積分と体積積分
第7週　積分定理
第8週　復習 45 分，定期試験 45 分

1st week:Vector algebla, unit vectors, linear dependence and linear independence, dot product
2nd week:Cross product, triple products
3rd week:Differentiation of vector function
4th week:Gradient of scalar field
5th week:Divergence and curl of vector fields
6th week:Line integral of vector fields
7th week:Surface integral and colume integral of vector fields, integral theorems
8th week:Review (45 min) and examination (45 min)

予習・復習内容

教科書の演習問題を自主的に多く解いて毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Students are requested to solve problems in the textbook and to prepare the next class by reading the textbook.

関連科目

力学，流体力学，応用数学Ⅰ
Mechanics, Fluid mechanics, Calculus, Applied mathematics 1

教科書 1	**書名**	Advanced Mathematics for Engineers and Scientists			**ISBN**	
	著者名	Murry R. Spiegel	**出版社**	McGraw Hill	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Vector Analysis			**ISBN**	
	著者名	Seymour Lipschutz, Dennis Spellman, Mussay R. Spiegel	**出版社**	McGraw Hill	**出版年**	
参考書 2	**書名**	線形代数とベクトル解析			**ISBN**	
	著者名	E. クライツィグ（堀　素夫訳）	**出版社**	培風館	**出版年**	
参考書 3	**書名**	応用数学要論シリーズ別巻・応用解析要論			**ISBN**	
	著者名	田代嘉宏	**出版社**	森北出版	**出版年**	

参考書に関する補足事項

ベクトル解析の参考書は上記以外にも図書館に多数あります.
There are many books of vector analysis in library.

達成目標

(1) ベクトルの内積，外積，三重積の計算ができる。
(2) ベクトル関数の微分ができる。

(3) スカラー場の勾配が計算できる。
(4) ベクトル場の発散・回転とそれを組み合わせた計算ができる。
(5) 勾配・発散・回転の意味を理解し，工学的問題に適用できる。
(6) 積分定理を理解し，その計算ができる。

1.To be able to calculate sum, dot product, cross product, triple product of vectors
2.To be able to differentiate vector functions
3.To be able to calculate gradient of sclalar fields
4.To be able to calculate divergence, curl of vector fields and their combination
5.To be able to integrate vector fields along cuves, on surfaces and in vomules

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末試験（100 点満点）のみで評価する。

評価基準：
S：試験の成績が 90 点以上
A：試験の成績が 80 点以上
B：試験の成績が 70 点以上
C：試験の成績が 60 点以上
Each student's achievement is evaulated by the examination (100%).
Students will be evaluated as follows:
S: Obtained points of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained points of exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained points of exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居室：D-309，電話：44-6668，e-mail：yanada@me.tut.ac.jp
Office:D-309, Tel:44-6668, e-mail:yanada@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

E-mail にて時間を打ち合わせる.
The date and time are arranged by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

Vector, Scalar, Dot product, Cross product, Gradient, Divergence, Curl, Line integral, Integral theorem

(B1161013a)応用数学Ⅲ[Applied Mathematics 3]

科目名[英文名]	応用数学Ⅲ[Applied Mathematics 3]				
時間割番号	B1161013a	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三好　孝典 MIYOSHI Takanori				
ナンバリング	MEC_BAC31112				

授業の目標

微分方程式は，4 大力学(機械力学，材料力学，流体力学，熱力学)のみならず，自動車工学，制御工学など，全ての機械工学に関わる学習項目である．本授業ではそれらを習得し，今後の専門科目に必要な数学的基礎知識を身に付ける．

Differential Equation is the important items of the every engineering. In this class, you will study the fundamental knowledge for differential equation and understand the physical phenomenon.

授業の内容

1．微分方程式とは

2．1 階常微分方程式：変数分離形・完全微分形

3．1 階常微分方程式：線形微分方程式

4．1 階常微分方程式：同次形

5．高階常微分方程式

6．線形微分方程式の一般則

7．定係数 2 階線形微分方程式

8．演習45分　＋　定期試験45分

1．Overview of differential equation

2．1st order differential equation: Separation of variables・Exact equation

3．1st order differential equation: Linear equation

4．1st order differential equation: Homogeneous equation

5．General linear differential equation of order N

6．Fundamental theorem on linear differential equations

7．2nd order differential equation

8．Review 45min　＋　examination 45min

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Please review the exercise of each lecture.

関連科目

応用数学Ⅰ, Ⅱ

Applied mathematics Ⅰ, Ⅱ

教科書 1	**書名**	Advanced Mathematics for Engineers and Scientists	**ISBN**	978-0-07-163540-0

	著者名	Murray R. Spiegel	出版社	McGraw-Hill	出版年	
教科書に関する補足事項						
参考書 1	**書名**	応用解析要論			**ISBN**	978-4627026001
	著者名	田代嘉宏	**出版社**	森北出版	**出版年**	198
参考書に関する補足事項						

達成目標

(1) 微分方程式の概念を理解し,自然現象を微分方程式で表現することができる.

(2) 基本的な 1 階線形微分方程式(同次形・変数分離形など)が解ける.

(3) 基本的な定係数 2 階線形微分方程式が解ける.

(4) 基本的な高階線形微分方程式が解ける.

(5) 応用として, 実現象の挙動(微分方程式の解)を数式で表現することができる.

(1)
To understand concept of differential equation
(2)
To solve fundamental 1st order differential equation
(3)
To solve fundamental 2st order differential equation
(4)
To solve fundamental nth order differential equation
(5)
To represent the actual phenomenon in differential equatiation and its solution

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習課題(30%)および定期試験(70%)

評価基準:下記のように評価する。
S:達成目標基礎的事項の 90%以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 90 点以上
A:達成目標基礎的事項の 80%以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 80 点以上
B:達成目標基礎的事項の 70%以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 70 点以上
C:達成目標基礎的事項の 60%以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 60 点以上

report 30% and examination 70%

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S:total score of examination and report is 90 points or higher
A:total score of examination and report is 80 points or higher
B:total score of examination and report is 70 points or higher
C:total score of examination and report is 60 points or higher

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

三好 孝典 miyoshi@tut.jp 0532-44-6698
Tananori Miyoshi miyoshi@tut.jp 0532-44-6698

ウェルカムページ

http://www.syscon.me.tut.ac.jp/
http://www.syscon.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー

講義時間 前後

Around lecture time
学習・教育到達目標との対応 (C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力 数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。 (C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
キーワード 微分方程式，1次微分方程式，2次微分方程式，同次方程式 differential equation, 1st-order differential equation, 2nd-order differential equation, homogeneous equation

(B1161013b)応用数学Ⅲ[Applied Mathematics 3]

科目名[英文名]	応用数学Ⅲ[Applied Mathematics 3]				
時間割番号	B1161013b	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三好　孝典 MIYOSHI Takanori				
ナンバリング	MEC_BAC31112				

授業の目標

微分方程式は，4 大力学(機械力学，材料力学，流体力学，熱力学)のみならず，自動車工学，制御工学など，全ての機械工学に関わる学習項目である．本授業ではそれらを習得し，今後の専門科目に必要な数学的基礎知識を身に付ける．

Differential Equation is the important items of the every engineering. In this class, you will study the fundamental knowledge for differential equation and understand the physical phenomenon.

授業の内容

1．微分方程式とは

2．1 階常微分方程式：変数分離形・完全微分形

3．1 階常微分方程式：線形微分方程式

4．1 階常微分方程式：同次形

5．高階常微分方程式

6．線形微分方程式の一般則

7．定係数 2 階線形微分方程式

8．演習45分　＋　定期試験45分

1．Overview of differential equation

2．1st order differential equation: Separation of variables・Exact equation

3．1st order differential equation: Linear equation

4．1st order differential equation: Homogeneous equation

5．General linear differential equation of order N

6．Fundamental theorem on linear differential equations

7．2nd order differential equation

8．Review 45min　＋　examination 45min

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Please review the exercise of each lecture.

関連科目

応用数学Ⅰ, Ⅱ

Applied mathematics Ⅰ, Ⅱ

教科書 1	**書名**	Advanced Mathematics for Engineers and Scientists	**ISBN**	978-0-07-163540-0

	著者名	Murray R. Spiegel	出版社	McGraw-Hill	出版年	
教科書に関する補足事項						
参考書 1	**書名**	応用解析要論			**ISBN**	978-4627026001
	著者名	田代嘉宏	**出版社**	森北出版	**出版年**	198
参考書に関する補足事項						

達成目標

(1) 微分方程式の概念を理解し,自然現象を微分方程式で表現することができる.

(2) 基本的な 1 階線形微分方程式(同次形・変数分離形など)が解ける.

(3) 基本的な定係数 2 階線形微分方程式が解ける.

(4) 基本的な高階線形微分方程式が解ける.

(5) 応用として, 実現象の挙動(微分方程式の解)を数式で表現することができる.

(1)
To understand concept of differential equation
(2)
To solve fundamental 1st order differential equation
(3)
To solve fundamental 2st order differential equation
(4)
To solve fundamental nth order differential equation
(5)
To represent the actual phenomenon in differential equatiation and its solution

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習課題(30%)および定期試験(70%)

評価基準:下記のように評価する。
S:達成目標基礎的事項の 90%以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 90 点以上
A:達成目標基礎的事項の 80%以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 80 点以上
B:達成目標基礎的事項の 70%以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 70 点以上
C:達成目標基礎的事項の 60%以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 60 点以上

report 30% and examination 70%

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S:total score of examination and report is 90 points or higher
A:total score of examination and report is 80 points or higher
B:total score of examination and report is 70 points or higher
C:total score of examination and report is 60 points or higher

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

三好 孝典 miyoshi@tut.jp 0532-44-6698
Tananori Miyoshi miyoshi@tut.jp 0532-44-6698

ウェルカムページ

http://www.syscon.me.tut.ac.jp/
http://www.syscon.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー

講義時間 前後

Around lecture time
学習・教育到達目標との対応 (C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力 数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。 (C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
キーワード 微分方程式，1次微分方程式，2次微分方程式，同次方程式 differential equation, 1st-order differential equation, 2nd-order differential equation, homogeneous equation

(B1161014a)応用数学Ⅳ[Applied Mathematics 4]

科目名[英文名]	応用数学Ⅳ[Applied Mathematics 4]				
時間割番号	B1161014a	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	前期2	曜日時限	月 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	章　忠 SHO Tadashi				
ナンバリング	MEC_BAC31112				

授業の目標

ラプラス変換・フーリエ級数は，4 大力学（機械力学，材料力学，流体力学，熱力学）のみならず，自動車工学，制御工学など，全ての機械工学に関わる学習項目である．本授業ではそれらを習得し，今後の専門科目に必要な数学的基礎知識を身に付ける．

Laplace transform and Fourier series are the learning items involved in all of mechanical engineering such as four mechanics (machine mechanics, material mechanics, fluid mechanics, thermodynamics), and automotive engineering, control engineering. In this lecture, we will learn mathematical basic knowledge required for the future of specialized subjects.

授業の内容

この科目は2クラスに分けて授業を行う予定である。
クラス分けなど詳細については年度当初に連絡する。

以下の内容を各週に一番づつ進める.
1週目：ラプラス変換：基礎
2週目：ラプラス変換：性質と法則
3週目：ラプラス変換：逆変換と微分方程式への応用
4週目：フーリエ級数：信号表現
5週目：フーリエ級数：信号解析
6週目：フーリエ級数：特性とパーセバル等式
7週目：フーリエ変換とまとめ
8週目：復習 45 分、定期末試験 45 分

This lecture will be carried out by two classes.
For more information will be contacted by student office.

1th week: Laplace transform: Foundation
2th week: Laplace transform: Properties and rule
3th week: Laplace transform: Inverse transform and application of the differential equation
4th week: Fourier series: Signal representation
5th week: Fourier series: Signal analysis
6th week: Fourier series: characteristics and Parseval equation
7th week: Fourier Transform and summary
8th week: Lecture Review 45 minutes and regular test 45 minutes

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること.
Required to prepare and review each lecture contents based on handouts provided.

関連科目

応用数学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ
Applied Mathematics 1,2,3

教科書 1	書名	Schaum's Outline of Advanced Mathematics for Engineeering and Scientists			ISBN	978-0-07-163540-0
	著者名	Murray R. Spiegel	出版社	Mc Graw Hill	出版年	

教科書に関する補足事項

講義で使用するレジュメは計測システム研究室のホームページから閲覧できます.
Handouts will be provided in Homepage.

参考書 1	書名	すぐわかるフーリエ解析			ISBN	
	著者名	石村園子	出版社	東京図書	出版年	

参考書 2	**書名**	フーリエ解析入門			**ISBN**	
	著者名	谷川明夫	**出版社**	共立出版	**出版年**	
参考書 3	**書名**	応用解析要論			**ISBN**	
	著者名	田代嘉宏	**出版社**	森北出版	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) ラプラス変換, フーリエ変換の概念を理解し,自然現象を表現することができる.
(2) ラプラス変換の基本演算ができる.
(3) ラプラス変換を用いて線形微分方程式が解ける.
(4) フーリエ級数を用いて信号の表現ができる.
(5) フーリエ級数を用いて信号の解析ができる.
(1) Understand the concept of the Laplace transform to the Fourier transform, it is possible to represent natural phenomena.
(2) Understand basic operation of the Laplace transform.
(3) Understand the solve method of linear differential equations using Laplace transform.
(4) Understand the represent method of the signal by using Fourier series.
(5) Understand analyze method of the signal using Fourier series.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:演習課題(30%)と定期試験(70%)の割合で, 総合的に評価する.
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき, 下記のように成績を評価する.
評価基準:下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており, かつ試験, 演習課題の合計点が(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標基礎的事項の4つ以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 80-89 点以上
B:達成目標基礎的事項の3つ以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 70-79 点以上
C:達成目標基礎的事項の2つ以上を達成し, かつ試験, 演習課題の合計点が 60-69 点以上
The final grade will be determined by exercises 30% and final test 70%, comprehensively.

Basically, students are expected to attend all courses.
The credit of this course is given if the score of the above exercises and test is 60% or over.
Grade levels are C (60% - less than 69%), B (70 - less than 79%) and A (80 - less than 90%) and S (90% or over).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験では, 演習課題や教科書, 参考書などの持ち込みは禁止します.
In the final tests, bring in exercises and textbooks, reference books will be prohibited.

その他

章 忠
zhang@me.tut.ac.jp
0532-44-6711

office:D-610
Tel 0532-44-6711
E-mail zhang@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://is.me.tut.ac.jp/
http://www.syscon.me.tut.ac.jp/
http://is.me.tut.ac.jp/
http://www.syscon.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー

授業実施日の 14:40-15:40, ただし, これ以外の日時でも適宜質問等に応じる.
Accept at any time by E-mail

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード
自然科学，数学，情報技術
Natural science, mathematics, information technology

(B1161014b)応用数学Ⅳ[Applied Mathematics 4]

科目名[英文名]	応用数学Ⅳ[Applied Mathematics 4]				
時間割番号	B1161014b	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	前期2	曜日時限	木 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	章　忠 SHO Tadashi				
ナンバリング	MEC_BAC31112				

授業の目標

ラプラス変換・フーリエ級数は，4 大力学（機械力学，材料力学，流体力学，熱力学）のみならず，自動車工学，制御工学など，全ての機械工学に関わる学習項目である．本授業ではそれらを習得し，今後の専門科目に必要な数学的基礎知識を身に付ける．

Laplace transform and Fourier series are the learning items involved in all of mechanical engineering such as four mechanics (machine mechanics, material mechanics, fluid mechanics, thermodynamics), and automotive engineering, control engineering. In this lecture, we will learn mathematical basic knowledge required for the future of specialized subjects.

授業の内容

この科目は2クラスに分けて授業を行う予定である。
クラス分けなど詳細については年度当初に連絡する。

以下の内容を各週に一番づつ進める.
1週目：ラプラス変換：基礎
2週目：ラプラス変換：性質と法則
3週目：ラプラス変換：逆変換と微分方程式への応用
4週目：フーリエ級数：信号表現
5週目：フーリエ級数：信号解析
6週目：フーリエ級数：特性とパーセバル等式
7週目：フーリエ変換とまとめ
8週目：復習 45 分、定期末試験 45 分

This lecture will be carried out by two classes.
For more information will be contacted by student office.

1th week: Laplace transform: Foundation
2th week: Laplace transform: Properties and rule
3th week: Laplace transform: Inverse transform and application of the differential equation
4th week: Fourier series: Signal representation
5th week: Fourier series: Signal analysis
6th week: Fourier series: characteristics and Parseval equation
7th week: Fourier Transform and summary
8th week: Lecture Review 45 minutes and regular test 45 minutes

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること.
Required to prepare and review each lecture contents based on handouts provided.

関連科目

応用数学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ
Applied Mathematics 1,2,3

教科書 1	書名	Schaum's Outline of Advanced Mathematics for Engineeering and Scientists			ISBN	978-0-07-163540-0
	著者名	Murray R. Spiegel	出版社	Mc Graw Hill	出版年	

教科書に関する補足事項

講義で使用するレジュメは計測システム研究室のホームページから閲覧できます.
Handouts will be provided in Homepage.

参考書 1	書名	すぐわかるフーリエ解析			ISBN	
	著者名	石村園子	出版社	東京図書	出版年	

参考書 2	**書名**	フーリエ解析入門			**ISBN**	
	著者名	谷川明夫	**出版社**	共立出版	**出版年**	
参考書 3	**書名**	応用解析要論			**ISBN**	
	著者名	田代嘉宏	**出版社**	森北出版	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) ラプラス変換，フーリエ変換の概念を理解し,自然現象を表現することができる.
(2) ラプラス変換の基本演算ができる.
(3) ラプラス変換を用いて線形微分方程式が解ける.
(4) フーリエ級数を用いて信号の表現ができる.
(5) フーリエ級数を用いて信号の解析ができる.
(1) Understand the concept of the Laplace transform to the Fourier transform, it is possible to represent natural phenomena.
(2) Understand basic operation of the Laplace transform.
(3) Understand the solve method of linear differential equations using Laplace transform.
(4) Understand the represent method of the signal by using Fourier series.
(5) Understand analyze method of the signal using Fourier series.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：演習課題（30%）と定期試験（70%）の割合で，総合的に評価する.
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験，演習課題の合計点が（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標基礎的事項の4つ以上を達成し，かつ試験，演習課題の合計点が 80-89 点以上
B：達成目標基礎的事項の3つ以上を達成し，かつ試験，演習課題の合計点が 70-79 点以上
C：達成目標基礎的事項の2つ以上を達成し，かつ試験，演習課題の合計点が 60-69 点以上
The final grade will be determined by exercises 30% and final test 70%, comprehensively.

Basically, students are expected to attend all courses.
The credit of this course is given if the score of the above exercises and test is 60% or over. Grade levels are C (60% - less than 69%), B (70 - less than 79%) and A (80 - less than 90%) and S (90% or over).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験では，演習課題や教科書，参考書などの持ち込みは禁止します.
In the final tests, bring in exercises and textbooks, reference books will be prohibited.

その他

章　忠
zhang@me.tut.ac.jp
0532-44-6711

office：D-610
Tel 0532-44-6711
E-mail zhang@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://is.me.tut.ac.jp/
http://www.syscon.me.tut.ac.jp/
http://is.me.tut.ac.jp/
http://www.syscon.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー

授業実施日の 14:40-15:40，ただし，これ以外の日時でも適宜質問等に応じる.
Accept at any time by E-mail

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活

用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード
自然科学, 数学, 情報技術
Natural science, mathematics, information technology

(B11610150)機械設計[Machine Design]

科目名[英文名]	機械設計[Machine Design]				
時間割番号	B11610150	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	前期	曜日時限	火 5～5	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	竹市　嘉紀, 石黒　正治 TAKEICHI Yoshinori, ISHIGURO Masaharu				
ナンバリング	MEC_BAC32010				

授業の目標

機械の設計を行うには，機械工学，材料工学全般にわたる幅広い知識が必要となる.
本講義では日頃学んでいる機械工学や材料工学に関する多くの科目が，実際の機械の設計にどのように関わり，また役立っているかについて，具体的な例を引きながら説明する.
前半では機械設計全般に係わる基礎的内容を，後半では企業の方を講師にお招きし，現場の観点からメカトロニクスを中心とした講義を行う.

Abundant knowledge on the mechanical engineering and the material engineering is necessary to design the machine. This class explains the importance of many subjects for mechanical engineering in order to design the machines by giving practical examples of machine design.
The first half of the class gives the fundamental knowledge required for the machine design.
The second half of the class gives the fundamental knowledge on the mechatronics.

授業の内容

【前半】
第 1 週
1. 設計とは何か？
第 2 週
2. 設計で決める内容（その 1：形状と寸法）
第 3 週
3. 設計で決める内容（その 2：材質）
第 4 週
4. 設計で決める内容（その 3：加工法）
第 5 週
5. 設計に必要な知識（その 1：力と強さ）
第 6 週
6. 設計に必要な知識（その 2：機構と構造）
7. 設計に必要な知識（その 3：ねじ）
第 7 週
8. 設計に必要な知識（その 4：その他の機械部品）
第 8 週
復習45分，試験45分

【後半】
第 1 週
電子機械（メカトロニクス）の概要と役割
第 2 週
センサーの基礎
第 3 週
デジタル回路、アナログ回路、信号変換の基礎
第 4 週
主なアクチュエータとその活用
第 5 週
シーケンス制御の基礎
第 6 週
コンピュータ制御の基礎
第 7 週
簡単な電子機械（メカトロニクス）設計
第 8 週
復習45分，試験45分

First half of the class:
1) Introduction of the machine design
2) Shape and size
3) Materials
4) Processing method
5) Force and strength
6) Mechanism and structure, Various screw
7) Various machine components
8) Review (45 min) and examination (45 min)

Second half of the class:
1) Introduction of mechatronics
2) Fundamental of sensor
3) Digital circuit, analog circuit, fundamental of signal transformation
4) Actuators
5) Sequence control
6) Computer control
7) Design of electronic machine
8) Review (45 min) and examination (45 min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること.
Reviewal of the previous lecture and the preparation for the next lecture are required.

関連科目

機械設計は機械工学や材料工学を集大成したものであり，機械工学課程で開講される専門科目について幅広い知識をもつことが必要である.
Machine Elements, Machine Drawing 1, Machine Drawing 2, Mechanism, Mechanics of Solids 1, Mechanics of Solids 2

教科書 1	**書名**	入門電子機械			**ISBN**	
	著者名	安田仁彦，田中泰孝 他	**出版社**	コロナ社	**出版年**	

教科書に関する補足事項

【前半】講義に当たってプリント（日本語）を配布する.
【後半】上記の「教科書」を使用する.
前後半とも，英語版の教科書として英語の資料をウェルカムページ（下記）からダウンロードして持参する.

First half of the class:
The text will be distributed on the first day of the lecture.

Second half of the class:
Use Textbook mentioned above.

For both the first and second half, download English documents as English textbooks from the welcome page (see below) and bring them.

参考書 1	**書名**	機械設計の基礎知識			**ISBN**	
	著者名	米山 猛	**出版社**	日刊工業新聞	**出版年**	
参考書 2	**書名**	実際の設計・機械設計の考え方と方法			**ISBN**	
	著者名	畑村洋太郎	**出版社**	日刊工業新聞	**出版年**	
参考書 3	**書名**	アクチュエータの駆動と制御			**ISBN**	
	著者名	武藤高義	**出版社**	コロナ社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

参考書 4 書名「機械系の電子回路」著者名：高橋晴雄　出版社：コロナ社
参考書 5 書名「インターユニバーシティ「ロボット制御」」著者名：大熊繁　出版社：オーム社

達成目標

1) 機械設計の流れと内容を正しい理解を得る.
2) 材料の選定，加工・強度・性能評価など，日頃学んでいる様々な専門科目が実際の機械設計にどのように役立つかについて理解を深める.
1) Understanding the appropriate workflow of the machine design.
2) Understanding how the knowledge in the mechanical engineering are applied to practical machine design.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：

前半と後半の点数の平均点で評価する.
【前半】小課題(30 点満点)と試験(70 点満点)の合計点(100 点満点)
【後半】試験(100 点満点)

評価基準:
上記評価方法による得点(100 点満点)が 60 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする.
また, 得点によって達成の程度を以下のとおりとする.
評価S:合計点が 90 点以上
評価A:合計点が 80 点以上
評価B:合計点が 70 点以上
評価C:合計点が 60 点以上
Assessment procedure:
Final evaluation will be made based on the average of the scores obtained in the first and second half of the class.
First half of the class:
Evaluation will be made based on the evaluation of the submitted reports (perfect scores is 30 points) and the score of the examination (perfect scores is 70 points). The perfect total score is 100 points.
Second half of the class:
Evaluation will be made based on the of examination. The perfect total score is 100 points.

Assessment criterion:
Credit will be given when the total score is equal to or more than 60 points out of 100 points.
S: Total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
後半の非常勤講師への問い合わせについては, 前半の竹市が受け付けます.
E-Mail: takeichi@tut.jp
Phone: 0532-44-6663
Takeichi will take all questions on this class.
E-Mail: takeichi@tut.jp
Phone: 0532-44-6663

ウェルカムページ
http://tribo.me.tut.ac.jp/class/class.html
http://d-304.me.tut.ac.jp
http://tribo.me.tut.ac.jp/class/class.html
http://d-304.me.tut.ac.jp

オフィスアワー
授業実施日の講義時間後.
または, e-mail 等で日時を打ち合わせる.
Please contact us just after each class or make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
機械，設計，メカトロニクス，センサー，アクチュエーター
machine, design, mechatronics, sensor, actuator

(B11610160)統計解析[Statistical Analysis]

科目名[英文名]	統計解析[Statistical Analysis]				
時間割番号	B11610160	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期1	**曜日時限**	火 4～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	戸高　義一, 真下　智昭, 笹野　順司 TODAKA Yoshikazu, MASHIMO Tomoaki, SASANO Junji				
ナンバリング	MEC_BAC31112				

授業の目標

座学で統計学の基礎を学び、プログラミング演習でデータ処理を体験する。

To understand the basics of statistics through lectures and to experience data processing through programming exercise.

授業の内容

第 1 週
＜座学＞　事象, 確率, 順列と組み合わせ
＜演習＞　Excel および VBA の基本操作

第 2 週
＜座学＞　確率変数, 確率分布
＜演習＞　Excel および VBA の基本操作

第 3 週
＜座学＞　分布の平均と分散
＜演習＞　データ編集

第 4 週
＜座学＞　2項分布, ポアソン分布
＜演習＞　データ編集

第 5 週
＜座学＞　正規分布
＜演習＞　グラフ描画

第 6 週
＜座学＞　標本調査
＜演習＞　データの可視化

第 7 週
＜座学＞　信頼区間
＜演習＞　回帰分析

第 8 週
＜座学＞　期末試験(90 分)
＜演習＞　振り返り, 課題

担当
第1週～第8週の第4時限：　戸高
第1週～第8週の第5時限：　真下, 笹野
1st week
Lecture: Basic probability (Todaka)
Exercise: Introduction of Excel VBA (Mashimo and Sasano)

2nd week
Lecture: Random variables and Probability distributions (Todaka)
Exercise: First step of VBA programming (Mashimo and Sasano)

3rd week
Lecture: Mathematical expectation (Todaka)

Exercise: Data processing (Mashimo and Sasano)

4th week
Lecture: Special probability distributions (Todaka)
Exercise: Data processing (Mashimo and Sasano)

5th week
Lecture: Special probability distributions (Todaka)
Exercise: Graph drawing (Mashimo and Sasano)

6th week
Lecture: Sampling theory (Todaka)
Exercise: Data visualization (Mashimo and Sasano)

7th week
Lecture: Estimation theory (Todaka)
Exercise: Regression analysis (Mashimo and Sasano)

8th week
Lecture: Examination(90min)
Exercise: Review

予習・復習内容
毎回の課題内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review every time after the lecture and prepare for next lecture.

関連科目
線形代数
Linear algebra

教科書 1	**書名**	Schaum's Outline of Probability and Statistics, 4th Edition			**ISBN**	978-0071795579
	著者名	John Schiller, R. Alu Srinivasan, Murray Spiegel	**出版社**	Mc Graw Hill	**出版年**	2012
教科書に関する補足事項						
参考書 1	**書名**	やさしく学ぶ統計学 Excel による統計解析			**ISBN**	978-4-489-02043-8
	著者名	石村貞夫	**出版社**	東京図書	**出版年**	2008
参考書 2	**書名**	Excel で学ぶ統計解析入門			**ISBN**	978-4-274-06772-3
	著者名	管民郎, 福島隆司	**出版社**	オーム社	**出版年**	2009
参考書 3	**書名**	技術者のための高等数学7　確率と統計 （第8版）			**ISBN**	978-4563011215
	著者名	E. クライツィグ （著), Erwin Kreyszig （原著), 田栗 正章（翻訳), 近藤 次郎（翻訳), 堀 素夫 (翻訳)	**出版社**	培風館	**出版年**	2004
参考書に関する補足事項						

達成目標
1. 統計学の基礎を理解する。
2. データの処理手順を流れ図で記述できる。
3. Visual Basic でプログラムを作成することができる。
4. Excel のマクロについて理解する。
1) Understand the basics of probability and statistics.
2) Learn to be able to describe a data processing procedure in a flow chart.
3) Understand the basics of programming using Visual Basic.
4) Understand how to use Excel macros.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末試験（50%）と小テスト・課題レポート（50%）で評価する。

評価基準:
すべての講義に出席し、かつすべての課題レポートを提出した者に対して、下記の評価を行う。

S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準を適用する。
Evaluation means: Examination(50%), Quiz and Report(50%)

Evaluation basis: Students who attend all classes will be evaluated as follows.

S: Achieved all goals and obtained total points of exam., quiz, and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam., quiz, and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam., quiz, and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam., quiz, and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
＜戸高＞ ext.6704, todaka@me.tut.ac.jp
＜真下＞ ext.6716, mashimo@eiiris.tut.ac.jp
＜笹野＞ ext.5240, sasano@me.tut.ac.jp
＜Todaka＞ ext.6704, todaka@me.tut.ac.jp
＜Mashimo＞ ext.6716, mashimo@eiiris.tut.ac.jp
＜Sasano＞ ext.5240, sasano@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時、e-mail で対応する。
Please send e-mail in advance for appointment.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving

キーワード
統計，線形代数，プログラミング，エクセル，ExcelVBA
Statistics, Linear algebra, Excel, ExcelVBA

(B11620010)弾性力学[Theory of Elasticity]

科目名[英文名]	弾性力学[Theory of Elasticity]				
時間割番号	B11620010	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	後期	曜日時限	月 4～4	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	足立　忠晴 ADACHI Tadaharu				
ナンバリング	MEC_BAC31222				

授業の目標

材料力学 I および II に引き続き，構造物の複雑な変形，応力についてより理解を深め，構造設計へ応用する方法を理解することが求められる．ひずみと応力の表示方法とその性質をより深く理解し，構造物内に生じる複雑な応力に基づいた実際の構造物の破損，破壊の評価方法を知り，その方法を構造物の設計に応用できることを目標とする．

Complicated deformations and stresses in a structure are studied deeply to design a machine or a structure after studying "Mechanics of Solids I and II". The purpose of the class are follows: to understand definition and characteristics of stresses and strains, to know evaluation method for failure and fracture of a structure when complicated stresses occurs in the structure, to apply the evaluation method to design of the structure.

授業の内容

第 1 部 応力とひずみの性質
1 授業の概要と目的．第 1 章 応力とひずみの定義
2 第 2 章 応力とひずみの座標変換，第 3 章 主応力・主ひずみ
2 第 3 章 主応力・主ひずみ
3 第 4 章 応力とひずみの関係
4 第 5 章 組み合わせ応力
5 第 5 章 組み合わせ応力
6 中間試験の実施と解答
第 2 部 構造物の降伏条件
7 第 6 章 円板と厚肉円筒の応力
8 第 6 章 円板と厚肉円筒の応力
9 第 7 章 材料の引張変形特性
10 第 8 章 降伏と脆性破壊の条件
11 第 8 章 降伏と脆性破壊の条件
12 中間試験の実施と解答
第 3 部 構造物の破壊条件
13 第 9 章 応力集中
14 第 10 章 き裂の進展条件
15 第 10 章 き裂の進展条件
16 期末試験の実施と解答

Part I Characteristics of stress and strain
1. Purpose of class. Chapter 1 Definition of stress and strain.
2. Chapter 2 Coordinate transforms of stress and strain. Chapter 3 Principal stresses and strains.
3. Chapter 3 Principal stresses and strains
4. Chapter 4 relation of stress and strain
5. Chapter 5 Combined stress
6. Examination #1 of Chapters 1 to 5. Answers and comments of examination #1.
Part II Failure and brittle fracture of structure
7. Chapter 6 Stress of circular plate and hollow cylinder
8. Chapter 6 Stress of circular plate and hollow cylinder
9. Chapter 7 Mechanical properties of materials
10. Chapter 8 Conditions of yield and brittle fracture
11. Chapter 8 Conditions of yield and brittle fracture
12. Examination #2 of Chapters 6 to 8. Answers and comments of examination #2.
Part III Fracture of structure
13. Chapter 9 Stress concentration.
14. Chapter 10 Fracture mechanics
15. Chapter 10 Fracture mechanics
16. Examination #3 of Chapters 9 and 10. Answers and comments of examination #3.

予習・復習内容

授業進行に対応して配布資料の演習問題を適時，解いて理解を深めること．授業内において，いくつかの演習問題の解答を行

うので，自分自身の解答と比較して理解度を確認すること.
Problems given in each chapter must be solved by yourself to understand the contents of each chapter. By comparing solutions of some problems explained in the class, mechanics of solids will be understood deeply.

関連科目
数学（微分・積分，微分方程式，テンソル），材料力学Ⅰ，材料力学Ⅱ
Mathematics (Differential. Integral. Differential equation, Tensor), Mechanics of Solids I and II.

教科書に関する補足事項
配布資料により講義を行う.
Lessons are given by using handouts distributed in the class.

参考書 1	**書名**	材料力学 上・下巻			**ISBN**	
	著者名	中原一郎	**出版社**	養賢堂	**出版年**	
参考書 2	**書名**	Materials Selection in Mechanical Design			**ISBN**	
	著者名	M.F. Ashby	**出版社**	Butterworth-Heinemann	**出版年**	
参考書 3	**書名**	Mechanics of Engineering Materials			**ISBN**	
	著者名	P.P. Benham, R.J. Crawford and C.G. Armstrong	**出版社**	Longman	**出版年**	
参考書 4	**書名**	機械設計のための材料選定			**ISBN**	
	著者名	M.F. アシュビー	**出版社**	内田老鶴圃	**出版年**	

参考書に関する補足事項
下記の文献も参考としている.
参考書 4 書名「材料強度学」著者名：日本材料学会編　出版社：日本材料学会

達成目標
1) 応力成分とひずみ成分を理解する.
2) 応力とひずみ関係(一般化されたフックの法則)を理解する.
3) 応力とひずみの関係(フックの法則)を理解する.
4) 降伏条件により構造物の降伏を評価できる.
5) 破壊力学に基づいて構造物の破壊を評価できる.
6) 機械構造物の強度設計を行うことができる.
(1) Definition and characteristics of stress and strain are understood.
(2) Relation of stress and strain: generalized Hooke's law is understood.
(3) Principal stress and strain are understood.
(4) Yielding of a structure can be evaluated by using yield criteria.
(5) Fracture of a structure can be evaluated on the basis of fracture mechanics.
(6) Concept of strength design is understood.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法　：達成目標の到達度を以下の手段で評価する.
　　定期試験（試験 #1 30% + 試験 #2 40% + 試験 #3 30%）
評価基準：評価法による得点(100 点満点)が 55 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする. なお得点によって達成の程度を明示する.
評価 S：90 点以上，評価 A：80 点以上，評価 B：70 点以上，評価 C：60 点以上
S: Achieved 90% of goals and obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
中間試験および期末試験を実施する. いずれの試験も必ず受験すること.
Three examinations are conducted. Students must take every examination.

その他
部屋番号: D-305 室
内線: 6664
Email: adachi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://solid.me.tut.ac.jp/solid/
http://solid.me.tut.ac.jp/solid/

オフィスアワー

特に指定しない. 随時, 受け付ける.
Come to my room anytime. If possible, inform me by email before coming.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

弾性力学, 材料力学, 応力, ひずみ, 主応力, 主ひずみ. 降伏条件, 破壊力学. 強度設計
Elastic mechanics, Mechanics of solids, Stress, Strain, Principal stress, Principal strain, Yield criteria, Fracture mechanics, Strength design

(B11620040)制御工学[Control Engineering]

科目名[英文名]	制御工学[Control Engineering]				
時間割番号	B11620040	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三好　孝典, 真下　智昭 MIYOSHI Takanori, MASHIMO Tomoaki				
ナンバリング	MEC_BAC31422				

授業の目標

自動制御とは何かについて学ぶ. 本講では, 自動制御の発展の技術史, 制御工学の基礎, モデリングと制御, 制御の応用を講述する. 制御工学は, ロボット・宇宙ロケット・自動車など, 工学の基礎技術であるが、抽象的な理論を含むため, ややもすると消化不良を起こす学問である. 本講義では出来るだけわかりやすく講述し, 制御工学の最小限の基礎を把握できることを目標とする.

To understand modeling and classical control theory of dynamical systems.

授業の内容

制御工学はシステム工学の基礎論であり, また広い応用部野をもつ. その理論体系は, 応用数学を駆使したシステム論としてかなり整備されている. 本授業では主に連続系の制御理論である古典制御を講述する. 特に, 制御技術がどのような分野で, どのように活用・活躍しているかについても力点を置いて講義し, 自動制御がモノづくりになくてはならないものであることを理解し, 制御工学、オートメーション工学に興味を抱けるよう講義を行なう. 現代制御理論は 4 年生の現代制御工学とシステム制御特論で開講されているので, 制御に興味のある学生は系統的に履修し, 学習してほしい。

1週目　制御工学概説
　　・制御とは何か　・制御の応用例　・自動制御工学の技術史
2週目　システムのモデリング
　　・モデリングとは　・制御とモデリングの関係
　　・プロセスモデル　・電気モデル　・機械モデル
　　・ニューラルネットワーク　・ファジィモデル
3週目　伝達関数
　　・定義　・計算法
4週目　ブロック線図
　　・表記法　・結合法
　　・システムの伝達関数とブロック線図
5週目　時間応答（1）
　　・過渡応答　・定常応答　・ラプラス変換
6週目　時間応答（2）
　　・インパルス応答
7週目　時間応答（3）
　　・ステップ応答
8週目　中間試験
9週目　周波数応答（1）
　　・概念　・ボード線図　・ボード線図の結合
10週目　周波数応答（2）
　　・ベクトル線図　・演習
11週目　制御系の安定性（1）
　　・安定性と極
12週目　制御系の安定性（2）
　　・判別法（ナイキスト）　・安定余裕
13週目　フィードバック制御系の特性（1）
・過渡応答
14週目　フィードバック制御系の特性（2）
　　・定常特性
15週目　フィードバック制御系の設計
　　・極配置法　・PID 制御
16週目　期末試験
1) Introduction -What is control?
2) Modelling
3) Transfer function
4) Block diagram
5) Time response (1)

6) Time response (2)
7) Time response (3)
8) Middle test
9)Frequency response (1)
Bode diagram
10)Frequency response (2)
Vector rocus
11)Stability(1)
Stability and pole
12)Stability(2)
Nyquist diagram
13)Control characteristics(1)
Transient respons
14)Control characteristics(2)
Static state
15)Feedback control
Pole displacement　PID control
16)Final test

予習・復習内容

・教科書で予習・復習することを望む。
・レポートは必ず提出すること。
・返却されたレポートの復習をすること。
Study textbook before lecture

関連科目

現代制御工学, ロボット工学, システム制御特論(大学院)
Robotics and Mathematics(Linear algebra, Matrix, Laplace transform and Differential equations.

教科書 1	**書名**	制御工学－技術者のための, 理論・設計から実装まで－（日本語）			**ISBN**	978-4-407-32575-1
	著者名	寺嶋一彦ほか	**出版社**	実教出版	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

英語のテキストは適宜配布する.
書名　Control Engineering - From Thoery to Practice -　(English)
著者　K.Terashima and Miyoshi et. all　(2016)
English text book is distributed. Free charge.
Title　Control Engineering - From Thoery to Practice -　(English)
Author K.Terashima and Miyoshi et. all　(2016)

参考書 1	**書名**	システム制御工学			**ISBN**	4-254-20118-4
	著者名	寺嶋一彦編著	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2003

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)自動制御の概念, 原理、自動制御の流れを把握する.
(2)システムのモデリング, 入出力の関係を理解する.
(3)伝達関数, ブロック線図, ボード線図を自由に描けるようにする.
(4)周波数応答の物理的意味を把握し, 描けるようにする.
(5)時間応答(時間の世界)と周波数応答(周波数の世界)の 2 つを理解し、対応していることを理解する。
(6)制御系の設計ができるようにする。
To understand concept of control engineering.
To understand the modeling and input-output relationship.
To understand the transfer function, block diagram, and bode diagram.
To understand the physical meaning of frequency response.
To understand the time response and frequency response.
To design the controller.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法
(1)定期テスト(中間テスト、期末テスト)　90%(2)課題レポート 10%
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を90%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B：達成目標を80％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を70％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
Test 90%, Report 10%
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S：total score of examination and report is 90 pointrs or higher.
A：total score of examination and report is 80 pointrs or higher.
B：total score of examination and report is 70 pointrs or higher.
C：total score of examination and report is 60 pointrs or higher.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

真下智昭
D-611 Tel; 0532-44-6716 Email; mashimo@eiiris.tut.ac.jp
三好孝典
D-509 Tel; 0532-44-6698 Email; miyoshi@tut.jp
Tomoaki Mashimo

Takanori Miyoshi
D-509 Tel; 0532-44-6698 Email; miyoshi@tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業実施日の講義時間前後
Around lecture time

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

制御工学、オートメーション、自動制御、モデリング、伝達関数、フィードバック制御、フィードフォワード制御、シーケンス制御、振動制御、周波数応答、時間応答
feedback control, feedforward control, PID control, control, modelling

(B11620050)計測工学[Measurement and Instrumentation]

科目名[英文名]	計測工学[Measurement and Instrumentation]				
時間割番号	B11620050	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	章　忠 SHO Tadashi				
ナンバリング	MEC_BAC31420				

授業の目標

計測技術と信号処理技術の基礎及び各計測対象に対する計測法を学び、基本的な工学の基礎としての計測システムの知識を習得する。

Learn the measurement methods for each measurement object and the signal processing technology, and the basic knowledge of measurement systems.

授業の内容

第 1 週　計測工学概論
第 2 週　計測器基本特性とグラフ・最小二乗法
第 3 週　測定誤差とその表現法
第 4 週　長さと角度の測定
第 5 週　力学量の測定
第 6 週　状態量の測定
第 7 週　物質量の測定
第 8 週　まとめ 45 分と中間試験 45 分
第 9 週　ディジタル信号の基礎
第 10 週　信号処理とシステム
第 11 週　フーリエ変換と Z 変換
第 12 週　フィルタリングの基礎
第 13 週　信号種類と処理方法
第 14 週　ウェーブレット変換
第 15 週　情報理論と信号処理
第 16 週　まとめ 45 分と定期試験 45 分

1th week: Introduction of measurement engineering
2th week: The instrument basic characteristics, graph and the least squares method
3th week: Measurement error and its representation
4th week: Measurement of the length and angle
5th week: Measurements of the mechanical quantity
6th week: Measurement of the quantity of state
7th week: Measurement of the amount of substance
8th week: summary by 45 minutes and the intermediate test 45 minutes
9th week: Basis of the digital signal
10th week: signal processing and system
11th week: Fourier transform and z-transform
12th week: Basis of filtering
13th week: Signal type and processing methods
14th week: wavelet transforms
15th week: information theory and signal processing
16th week: Summary 45 minutes and regular test 45 minutes

予習・復習内容

毎週の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキストなどを参考に予習すること

Required to prepare and review each lecture contents based on handouts provided.

関連科目

応用数学 III、応用数学 IV
1. Applied Mathematics 3
2. Applied Mathematics 4

教科書 1	**書名**	SCHAUM'S Digital Signal Processing Second Edition	**ISBN**	978-0-07-163509-7

	著者名	Monson H. Hayes, Sc.D.	**出版社**	Mc Graw Hill	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	ディジタル信号処理			**ISBN**	
	著者名	貴家仁志	**出版社**	昭晃堂	**出版年**	
参考書 2	**書名**	はじめての計測工学 改訂第 2 版			**ISBN**	
	著者名	南茂夫・木村一郎・荒木勉	**出版社**	講談社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

授業で使用しているレジュメなどは計測システム研究室のホームページで閲覧できます。
Handouts will be provided in Homepage.

達成目標

A. 基礎的な事項
(1)計測の意義やそれぞれの分野での位置付けを理解する。
(2)計測系の構成や特性を把握し、計測値の誤差解析と信頼性の評価ができる。
(3) 各物理量の計測原理を理解する。
(4) 信号の離散化やフィルタ処理などの信号処理の基礎を習得する。
(5) 非定常信号を対象とした時間-周波数解析の必要性を理解する。
B. 応用的な事項
(1)機械工学、制御工学などの分野に応用できる。
(2)工業製品の検査のための計測系の構築に応用できる。
(3)各自の研究に計測原理が応用できる。
(4)各基礎項目の具体的展開を認識し、実際のシステムに応用できる。
A. Basic items
(1) understand the position in each field of measurement significance.
(2) Understand the characteristics of the measuring system, the measurement error and the reliability evaluation.
(3) Understand the measurement principle of each physical quantity.
(4) Learn the basics of signal processing, such as digital signal processing and filter processing.
(5) Understand the needs of time-frequency analysis for non-stationary signal.
B. Application items
(1) Understand the applications in areas such as mechanical engineering and control engineering.
(2) Have the ability to the construction of the measurement system for the inspection of industrial products.
(3) Measurement principle to their research can be applied.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:中間試験 50%, 定期試験 50%で, 総合的に評価する。
評価基準:原則的にすべての授業に出席したものにつき, 下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており, かつ試験の合計点が(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標基礎的事項の7つ以上を達成し, かつ試験の合計点が 80-89 点以上
B:達成目標基礎的事項の6つ以上を達成し, かつ試験の合計点が 70-79 点以上
C:達成目標基礎的事項の5つ以上を達成し, かつ試験の合計点が 60-69 点以上
The final grade will be determined by intermediate test 50% and final test 50%, comprehensively.

Basically, students are expected to attend all courses.
The credit of this course is given if the score of the above tests are 60% or over. Grade levels are C (60% - less than 69%), B (70 - less than 79%) and A (80 - less than 90%) and S (90% or over).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

中間試験と定期試験では, 演習課題や教科書、参考書の持ち込みは禁止しています。
In the intermediate test and final tests, bring in exercises and textbooks, reference books will have been prohibited.

その他

章 忠

部屋：D-610
Tel 0532-44-6711
E-mail zhang@me.tut.ac.jp
office：D-610
Tel 0532-44-6711
E-mail zhang@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://is.me.tut.ac.jp/pukiwiki/
http://is.me.tut.ac.jp/pukiwiki/

オフィスアワー

e-mail で随時時間を打ち合わせる。
Accept at any time by E-mail

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

力学，制御工学，システム工学，材料工学，エネルギー変換学、生産加工学
Signal processing, Pattern recognition, Nonlinear systems, Systems engineering

(B11620090)生産加工学[Manufacturing Process]

科目名[英文名]	生産加工学[Manufacturing Process]				
時間割番号	B11620090	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	森　謙一郎, 柴田　隆行 MORI Ken-Ichiro, SHIBATA Takayuki				
ナンバリング	MEC_BAC31322				

授業の目標

塑性変形を利用して素材を所定の形状に成形する塑性加工法において、各種加工法の特徴を学び、塑性加工における変形抵抗、加工限界などを修得する。 また、工作物に力学的なエネルギーを与え変形と破壊によって不要な部分を切りくずとして分離させる機械加工法において、各種加工法の特徴を学び、切削加工法の基礎理論、加工精度、工具寿命などを修得する。
This class is separated into two parts:

Part 1 (Prof. Ken-ichiro Mori)
In metal forming processes using plastic deformation, various processes such as rolling, forging, extrusion, drawing, sheet-metal forming, powder metal forming, etc., are explained, and characteristics, products, decects, tools, lucrication, etc., of the processes are descibed.

Part 2 (Prof. Takayuki Shibata)
Metal cutting processes can be categorized into a material-removal process, in which a thin layer of material is removed from a workpiece through chip formation by the application of mechanical energy on a sharp cutting tool. This lecture is an introduction to the fundamentals of metal cutting processes, and presents the basic concepts relevant to all machining operations. The theory of metal cutting including the mechanics of chip formation and the model typically used for the basic cutting operations allowing the calculation of force and power in machining is also described. Moreover, the types and characteristic of cutting-tool materials, and the mechanism of tool wear are then discussed.

Both lectures are given in Japanese using an English text in order to increase global awareness.

授業の内容

担当：森
1週目　英語読解,塑性加工と塑性変形の概要 (English reading, outline of plastic deformation and forming processes)
2週目　鉄鋼製造と圧延(Steelmaking and rolling)
3週目　押出し，引抜き (Extrusion and drawing)
4週目　鍛造加工 (Forging)
5週目　せん断加工，曲げ加工，矯正 (Shearing, bending and straightening)
6週目　板成形：Sheet metal forming
7週目　特殊塑性加工：Specialised forming processes
8週目　まとめ 45 分，中間試験 45 分：Summary: 45 min. and regular examination: 45 min

担当：柴田
9週目　ものづくりの定義、機械加工法の分類と特徴
10週目　切削加工法の種類と特徴、切削加工用工作機械（旋削，中ぐり，形削り，平削り，ブローチ加工）
11週目　切削加工法の種類と特徴，切削加工用工作機械（穴あけ，フライス削り，マシニングセンタ）
12週目　切削加工の基礎理論（せん断角、せん断ひずみ、切削抵抗、切削方程式）
13週目　切りくず形態，構成刃先，切削熱と切削温度
14週目　加工精度，仕上面粗さ，加工変質層
15週目　切削工具（工具の種類と特徴，工具材料，工具の損耗と寿命）
16週目　まとめ 45 分，期末試験 45 分

Part 1 (Prof. Ken-ichiro Mori)
1st week:English reading, outline of plastic deformation and forming processes（英語読解,塑性加工と塑性変形の概要）
2nd week: Steelmaking and rolling（鉄鋼製造と圧延）
3rd week: Extrusion and drawing3週目　押出し，引抜き：
4th week: Forging4週目　鍛造加工：
5th week: Shearing, bending and straightening（せん断加工，曲げ加工，矯正）
6th week: Sheet metal forming（板成形）

7th week: Specialised forming processes（特殊塑性加工）
8th week: Summary: 45 min. and regular examination: 45 min（まとめ 45 分，中間試験 45 分）

Part 2 (Prof. Takayuki Shibata)
9th week: The definition and classification of "Monozukuri" (manufacturing) processes
10th week: The classification and characteristics of different types of metal cutting processes (Turning, Boring, Shaping, Planing, and Broaching)
11th week: The classification and characteristics of different types of metal cutting processes (Drilling, Milling, and Machining Center)
12th week: The theory of metal cutting
13th week: Chip formation process, built-up edge, and cutting temperature
14th week: Machining accuracy, surface roughness, and surface damaged layer
15th week: Cutting tools and the mechanism of tool wear
16th week: Summary: 45 min. and Regular examination: 45 min

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review and prepare lessons of the lecture.

関連科目
機械工作法Ⅰ、機械工作法Ⅱ
希望事項：生産加工学に関する基礎知識を有していることが望ましい。

Mechanical Technology 1,2
It is desirable to have fundamental knowledge of production processes.

教科書 1	**書名**	Manufacturing, Engineering and Technology SI (7th Edition)			**ISBN**	9810694067
	著者名	Serope Kalpakjian, Stephen R. Schmid	**出版社**	Pearson Education Centre	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項
１－８週目（森）：英語資料
９－１６週目（柴田）：教科書（英語）
Part 1 (Prof. Ken-ichiro Mori) 1st-8th weeks: English version of reference book
Part 2 (Prof. Takayuki Shibata) 9th-16th weeks: Text Book "Manufacturing, Engineering and Technology"

参考書 1	**書名**	塑性加工学　改訂版			**ISBN**	
	著者名	小坂田宏造，森謙一郎	**出版社**	養賢堂	**出版年**	2001
参考書 2	**書名**	新版　機械加工			**ISBN**	978-4-254-23089
	著者名	中山一雄，上原邦雄	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2001

参考書に関する補足事項
１－８週目（森）：参考書1「塑性加工学　改訂版」
９－１６週目（柴田）：参考書2「新版　機械加工」
Part 1 (Prof. Ken-ichiro Mori) 1st-8th weeks: reference book
Part 2 (Prof. Takayuki Shibata) 9th-16th weeks: reference book

達成目標
担当：森
(1) 基礎的な事項
a. 材料の塑性変形挙動を理解する。
b. 部品製造における塑性加工の位置づけと他の生産加工法との違いを理解する。
c. 圧延加工、鍛造加工、押出し、板材成形などの各塑性加工法の特徴を理解して、部品製造において最適な加工法を選択できるようにする。
(2) 塊状物の加工
a. 熱間、温間、冷間加工の特徴を理解する。
b. 圧延加工の特徴を理解する。
c. 鍛造加工を理解して、加工荷重が計算できるようにする。
d. 押出し加工と引抜き加工の違いを理解する。
(3) 板材成形
a. せん断加工の特徴を理解する。
b. 曲げ加工の特徴を理解し、スプリングバック、割れ、そりなどの欠陥防止について学ぶ。
c. 深絞り加工を理解して、成形製品の形状の特徴、r値との関係を学ぶ。

d. 張出し加工、しごき加工、スピニング加工の特徴を理解する。
(4) 変形抵抗
a. 変形抵抗の意味を理解する。
b. 変形抵抗に及ぼす影響因子を理解する。
(5) 加工限界
a. くびれの発生メカニズムを理解して、1軸引張試験における発生条件を導き、塑性座屈の発生メカニズムを理解する。
b. 延性破壊に及ぼす影響因子を理解して、その防止法を学ぶ。
担当：柴田
以下の切削加工法の基礎知識を習得する。
（1）切削加工法の種類とそれらの特徴が理解できる。
（2）切削現象の基礎理論が理解できる。
（3）加工精度を支配する要因が理解できる。
（4）切削工具の損耗と寿命について理解できる。
Part 1 (Prof. Ken-ichiro Mori)
(1) Understand forming processes for manufacturing mechanical components, and the differences from other manufacturing processes.
(2) Understand the features of each of the following forming processes: such as rolling, forging, extrusion, extrusion processing, sheet-metal forming and powder-metal forming. Gain the ability to select optimal manufacturing processes.
Part 2 (Prof. Takayuki Shibata)
(1) To gain an understanding of the classification and characteristics of different types of metal cutting processes.
(2) To gain an understanding of the basic theory of metal cutting process.
(3) To gain an understanding of dominant factors of machining accuracy
(4) To gain an understanding of the mechanism of tool wear and failure, and tool-life equation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：中間試験と期末試験の平均で評価する。ただし、中間試験が 55 点未満の場合はレポート1部を1点として 55 点まで加算する。
A：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
The evaluation is based primarily on a final examination (100 points). For a scores lower than 55 points, 1 point may be earned for each report submitted (up to 55 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
森謙一郎: D-606, 内線: 6707, e-mail: mori@me.tut.ac.jp
Ken-ichiro Mori: room D-606, extension number: 6707, e-mail: mori@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://plast.me.tut.ac.jp(森)

http://plast.me.tut.ac.jp

オフィスアワー
毎週火曜日 17:00～18:00（森）
毎週火曜日 17:00～18:00（柴田）
Tuesdays from 17:00 to 18:00 (Prof. Ken-ichiro Mori)
Tuesdays from 17:00 to 18:00 (Prof. Takayuki Shibata)

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

圧延、鍛造、押出し、引抜き、板材成形、特殊加工、機械加工、切削加工、切削抵抗、加工精度、工具摩耗
metal forming, rolling, forging, extrusion, drawing, sheet-metal forming, specialised forming processes, machining, cutting, cutting resistance, accuracy, tool wear

(B11620110)流体力学[Fluid Mechanics]

科目名[英文名]	流体力学[Fluid Mechanics]				
時間割番号	B11620110	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	飯田　明由, 横山　博史 IIDA Akiyoshi, YOKOYAMA Hiroshi				
ナンバリング	MEC_BAC31522				

授業の目標

流体力学は、機械工学はもとより、エネルギー工学、環境工学、土木建築工学等の様々な分野でその基礎を構築するものの一つである。この講義では、流体力学の理論体系が実験結果や実際の工業的あるいは日常的な流体現象をどのように記述、表現しているかを解説する。

Fluid mechanics is one of the basics in various fields such as energy engineering, environmental engineering, civil engineering. This lecture explains the theoretical system of fluid mechanics, how to describe the experimental results daily fluid phenomena.

授業の内容

第 01 回　連続体の力学
第 02 回　流体の性質
第 03 回　流れに作用する力
第 04 回　流れの可視化（流線・流跡線・流脈線）
第 05 回　レイノルズの輸送理論
第 06 回　保存則（質量・運動量・エネルギー）
第 07 回　ポテンシャル理論
第 08 回　前半のまとめ（45 分）、中間試験（45 分）
第 09 回　流体力学の最新トピックス
第 10 回　ダランベールのパラドックス
　理想流体における流れと実際の流れの違いについて解説する.
第 11 回　オイラーの運動方程式
　オイラーの運動方程式の導出と物理的な意味について解説する.
第 12 回　粘性流体の応力テンソル
　応力テンソルの導出とその意味について解説する.
第 13 回　粘性流体の運動方程式の導出
　ナビエ・ストークス方程式を導出し，各項の物理的な意味を説明する.
第 14 回　運動方程式の厳密解(1)
　NS方程式をモデル化し，厳密解を求める（ポアゾイユ流れおよびレイリー問題）.
第 15 回　遅い流れの線形近似
　NS方程式を線形化する手法について学ぶ.
第 16 回　まとめ（45 分）,期末試験（45 分）
01: Continuum Mechanics
02: Properties of fluid
03: Force Acting on Flow
04: Visualization of Fluid Motion (Stream line, Streak line, Path line)
05: Reynolds Transport Theorem
06: Conservation Theory (Mass, Momentum and Energy)
07: Potential Theory
08: 1st Conclusion and examination
09: Topics of Fluid Dynamic Research
10: D'Alembert's Paradox
11: Euler's Equations of Motion
12: Viscous Stress Tensor
13: Equation of Motion for Viscous Fluid (Navier-Stokes Equation)
14: Exact solution of NS Equation
15: Linearization of NS Equation
16: 2nd Conclusion and Examination

予習・復習内容

・各講義の最後に次回講義内容のプリントを配布するので，配布資料を事前に読んでおくことにより，講義内容を予習する.
・講義内容に関する演習課題のプリントを配布し，講義内容を復習する.
In order to assist with "preparation of a lecture" , handout will distribute before the lecture.

関連科目

力学、水力学、流体力学

Physics（Dynamics）, Hydrodynamics

教科書に関する補足事項

プリント配布

Print

参考書 1	**書名**	流体力学			**ISBN**	
	著者名	日野幹男	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	1992
参考書 2	**書名**	Fluid mechanics			**ISBN**	0073398276
	著者名	Frank M. White	**出版社**	McGraw-Hill	**出版年**	2016

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 流体力学的な概念や公式の意味を正しく理解できる。
(2) 用語や単位系を正しく使用することができる。
(3) 流体力学的な問題を微分方程式で表し、物理量を求めることができる。
(4) オイラーの連続の式・運動方程式、ナビエ・ストークス(NS)方程式を説明し、質量、運動量の保存則を理解できる。
(5) 流れ関数、複素速度ポテンシャルを用いて流れの状態を説明できる。
(6) レイノルズ数の物理的意味を理解し、レイノルズの相似則を説明できる。
(7) NS 方程式の厳密解を解き、線形近似を行うことができる。

to understand fluid dynamics concepts and formulations
to use technical words and units
to describe fluid dynamics phenomena by differential equations
to explain Euler's continuous equation, Navie-Stokes Equation and to understand mass and momentum conservation
to explane flow function and potential

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：中間試験（50 点満点）・定期試験（50 点満点）で評価する。
評価基準：
学部 3 年生得点によって、評価 S は 90 点以上、評価 A は 80 点以上、評価 B は 70 点以上、評価 C は 60 点以上とする。
学部 4 年生得点によって、評価 A は 80 点以上、評価 B は 65 点以上、評価 C は 55 点以上とする。
Evaluation method: Evaluate with intermediate test (full score of 50 points) and Final test (full score of 50 points).
Evaluation criteria for B3:
The total score of intermediate and final tests (full score of 100 points) is 60 points or more, it is regarded as passing level of this lecture (achievement target has been reached).
The evaluation S is 90 points or more, the evaluations A is 80 points or more, the evaluation B is 70 points or more, and the evaluation C is 60 points or more.
Evaluation criteria for B4:
The total score of intermediate and final tests (full score of 100 points) is 55 points or more, it is regarded as passing level of this lecture (achievement target has been reached).
The evaluations A is 80 points or more, the evaluation B is 65 points or more, and the evaluation C is 55 points or more.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

部屋 D-410 内線：6680
e-mail：iida@me.tut.ac.jp
Room: D410, ex 6680
email：iida@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://aero.me.tut.ac.jp
http://ec.me.tut.ac.jp/yokoyama/lectures/index.html（学内）
http://aero.me.tut.ac.jp
http://ec.me.tut.ac.jp/yokoyama/lectures/index.html (in University)

オフィスアワー

事前にメールで確認

Need an appointment by e-mail

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
力学　水力学　流体力学
Physics（Dynamics）, Hydrodynamics, Fluid Dynamics

(B11620200)振動工学[Mechanical Vibration]

科目名[英文名]	振動工学[Mechanical Vibration]				
時間割番号	B11620200	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	河村　庄造 KAWAMURA Shozo				
ナンバリング	MEC_BAC31220				

授業の目標

本講義では，運転中の機械や構造物の運動を振動工学の立場から解明するための基礎を学ぶ．これまでに学習した力学，機械力学を基礎とし，機械・構造物の弾性体としての特性も考慮した柔軟な運動を解析するための基本原理を理解する．

初めに動力学の基礎を確認する．その後，1 自由度振動系の自由振動及び強制振動，2 自由度振動系の自由振動及び強制振動について系統的に学習する．

なお授業の水準は，技術士(機械分野)一次試験，Professional Engineering 試験を参考に定めている．

This lecture will provide the fundamental knowledge of vibration engineering to understand the dynamic behavior of machines or structures during operation. For a single degree of freedom system and a two degree of freedom system, the free vibration and forced vibration are treated.

授業の内容

1 授業方針・予定説明
さまざまな機械振動とその波形
2 振動系のモデル化
1 自由度系：運動方程式
3 1 自由度系：非減衰自由振動
4 1 自由度系：非減衰自由振動
5 1 自由度系：減衰自由振動
6 1 自由度系：減衰自由振動
7 1 自由度系：非減衰強制振動
8 1 自由度系：減衰強制振動
9 1 自由度系：減衰強制振動
10 中間試験
11 多自由度系：運動方程式
12 2 自由度系：非減衰自由振動
13 2 自由度系：非減衰自由振動
14 2 自由度系：非減衰強制振動
15 2 自由度系：非減衰強制振動
16 定期試験

1 Guidance of the lecture
Various mechanical vibrations and its wave forms
2 Modeling of vibratory systems
1-degree-of-freedom system: Equation of motions
3 1-degree-of-freedom system: Free vibration without damper
4 1-degree-of-freedom system: Free vibration without damper
5 1-degree-of-freedom system: Free vibration with damper
6 1-degree-of-freedom system: Free vibration with damper
7 1-degree-of-freedom system: Forced vibration without damper
8 1-degree-of-freedom system: Forced vibration with damper
9 1-degree-of-freedom system: Forced vibration with damper
10 Examination (1)
11 Multi-degree-of-freedom system: Equation of motions
12 2-degree-of-freedom system: Free vibration without damper
13 2-degree-of-freedom system: Free vibration without damper
14 2-degree-of-freedom system: Forced vibration without damper
15 2-degree-of-freedom system: Forced vibration without damper
16 Examination (2)

予習・復習内容

復習の手助けのために課題を課す場合がある．数式の展開などは講義中に十分行えない場合もあるので，毎回の講義内容の復習は必須である．さらに次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくることが望ましい．

Self-preparation and review are necessary.

関連科目

微分積分Ⅰ・Ⅱ，線形代数Ⅰ・Ⅱ，微分方程式，物理学Ⅰ(力学)，物理学Ⅳ(振動・波動)，機械力学
Physics, Dynamics

教科書に関する補足事項

参考資料(英語)に基づいて講義を行う．資料は配布する．
Handouts will be prepared

参考書 1	**書名**	振動工学の基礎　新装版			**ISBN**	978-4-627-66682-5
	著者名	岩壺卓三・松久寛	**出版社**	森北出版	**出版年**	
参考書 2	**書名**	振動工学－基礎編			**ISBN**	
	著者名	安田仁彦	**出版社**	コロナ社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 機械・構造物の運動を支配する運動方程式が構築できる
(2) 振動系の自由振動が理解できる
(3) 振動系の強制振動が理解できる
(4) 実現象と動力学の理論との関係が理解できる
(1) Construct of equation of motion governing the dynamic behavior of the system
(2) Understand the free vibration
(3) Understand the forced vibration
(4) Understand the relation of actual phenomenon and theoretical result

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法　:達成目標の到達度を中間試験(50 点満点)と定期試験(50 点満点)の合計(100 点満点)で評価する．
評価基準:
S:達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており，かつ試験の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつ試験の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつ試験の合計点(100 点満点)が 60 点以上
Method: two examinations (full score 100).
Level:
Level S: upper 90 points, Level A: upper 80 points, Level B: upper 70 points, Level C: upper 60 points

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

河村庄造:部屋番号 D-404, E-Mail:kawamura@me.tut.ac.jp
Contact person: Prof. Shozo Kawamura E-Mail:kawamura@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

E-Mail 等で随時時間を打ち合わせる．
Ask by E-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード

振動工学, 1 自由度系, 2 自由度系, 自由振動, 強制振動
Vibration engineering, 1-DOF system, 2-DOF system, Free vibration, Forced vibration

(B11620210)材料科学[Materials Engineering]

科目名[英文名]	材料科学[Materials Engineering]				
時間割番号	B11620210	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	伊崎　昌伸, 三浦　博己 IZAKI Masanobu, MIURA Hiromi				
ナンバリング	MEC_BAC31322				

授業の目標

各種機器，部材などの素材，およびそれらを製造・試作・評価するための材料を考える場合，鉄鋼材料や非鉄金属材料だけでなく，半導体・磁性体材料,に関する知識を持つことが必要である。
本講義では，これらの材料を理解するための材料学的基礎知識である電子状態，結合，結晶構造などの固体化学，重要な数種類ずつの材料の製造方法や力学的性質，電磁気的性質・工学的な特徴など，それらを構成材料として用いる場合に重要な項目に限定して講義する。
Knowledge about semi-conductors, magnetic materials in addition to ferrous and nonferrous metals are necessary to fabricate or design instruments and component parts. Most basic and essential knowledge about material science, i.e., electron binding, crystal structure, solid state chemistry, material processing, mechanical properties, magnetic properties, will be lectured.

授業の内容

第 1－8 回は伊崎，第 9-15 回は三浦が担当する。

第1回　材料基礎 1（原子と電子）
第2回　材料基礎2（電子の状態と結合）
第3回　材料基礎3（結晶構造）
第4回　材料基礎4（座標とミラー指数）
第5回　材料基礎5（合金構造）
第6回　材料基礎6（化合物構造と回折現象）
第7回　機能材料1（半導体）
第8回　機能材料2（太陽電池・熱電材料）
第9回 金属材料（材料プロセス）
第10回 金属材料（結晶構造と変態 Ⅰ）
第11回 金属材料（結晶構造と変態 Ⅱ）
第12回 金属材料（格子欠陥）
第13回　金属材料（拡散）
第14回 平衡状態図の基礎と熱処理 Ⅰ
第15回 平衡状態図の基礎と熱処理 Ⅱ
第16回　期末試験

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Lectures: 1st－8th given by Prof. Izaki, 9th -15th by Prof. Miura

1st basics of materials（atoms and electrons）
2nd basics of materials（electronic state and binding）
3rd basics of materials（crystal structures）
4th basics of materials（coordinates and Miller indexes）
5th basics of materials（structures of alloys）
6th basics of materials（structures of compounds and diffraction）
7th functional materials (semi-conductors)
8th functional materials (solar battery・ thermoelectric materials)
9th Metallic materials（material processing）
10th Metallic materials（crystal structure and transformation Ⅰ）
11th Metallic materials（crystal structure and transformation Ⅱ）
12th Metallic materials（lattice defects）
13th Metallic materials（diffusion）
14th Fundamentals of equilibrium phase diagrams and heat treat ments Ⅰ
15th Fundamentals of equilibrium phase diagrams and heat treat ments Ⅱ
16th Exam.

予習・復習内容
レポート課題を出しますから，予習と復習を行って下さい。
Self Preparation and Review are essential. Reports are sometimes required.

関連科目
g.材料工学概論
Basic subjects about physics, chemicals and materials science engineering.

教科書に関する補足事項
テキスト配布

text will be hand out.

参考書 1	**書名**	金属材料概論			**ISBN**	978-4-254-24012-2
	著者名	小原嗣郎	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	1991
参考書 2	**書名**	図でよくわかる機械材料学			**ISBN**	978-4-339-04605-2
	著者名	渡辺義見 他	**出版社**	コロナ社	**出版年**	2015

参考書に関する補足事項
Texts writen-in English will be provided. However, the above books in Japanese are good for references.

達成目標
I. 基礎的事項：原子の構造，電子の状態，結晶構造などの材料に関する基礎を学ぶ
1.合金や化合物の代表的な結晶構造について学ぶ
2. X 線回折などの結晶による回折現象について学ぶ。
3. 電子のエネルギー状態に及ぼす光や熱の影響について学ぶ
4. 太陽電池の動作原理と用いられる材料特性について学ぶ。
5. 熱電材料の材料特性について学ぶ
II. 種々の材料の特性と応用分野について学ぶ
1. 金属材料（鉄鋼・非鉄金属）について：結晶構造と欠陥,相変態，強化機構，熱処理，平衡状態図，材料特性，応用分野を学ぶ。
2. 複合材料・セラミックス・ポリマーについて：材料特性と応用分野について学ぶ

I. Essential subjects
1. Basic knowledge about atomic structures, electron states, crystal structures 2. Typical alloys and compounds
3. Diffraction phenomena in crystals such as X-ray diffraction
4. Effects of light and heat on the states of electrons 5. Basic theory of solar battery and properties
6. Properties of thermoelectric materials
7. Magnetism and magnetic materials
II. Various material properties and applications
1. Metallic materials(ferrous and non-ferrous metallic materials): crystal structure and defects, transformation, mechanisms of strengthening, heat treatments, phase diagrams, material properties, applications

2. Properties of composites, ceramics, polymers and their applications

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
すべての課題を提出していること.
% 定期試験 8 割，レポート 2 割
評価基準：下記のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつ試験点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標 I～Ⅲのうち2つ達成しており，かつ試験点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標 I～Ⅲのうち１．５項目分を達成しており，かつ試験点（100 点満点）が 55 点以上
All reports must be submitted.
Exam. 80%, reports 20% Evaluation of results

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 75% of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 50% of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

伊﨑 (D-505：6694,e-mail：m-izaki@me.tut.ac.jp)
三浦 (D-508：6697,e-mail：miura@me.tut.ac.jp)
Izaki (D-505：6694,e-mail：m-izaki@me.tut.ac.jp)
Miura (D-508：6697,e-mail：miura@me.tut.ac.jp)

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時、メールで事前に連絡をすること。
please inform us by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学，自然科学，情報技術，地球環境対応技術に関する科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力

(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
(D1) Acquiring knowledge in subjects that make up the foundation of mechanical engineering:

キーワード

固体化学，セラミックス、ポリマー、金属、機械材料、構造材料、機能材料
solid state chemistry, ceramics, polymer, metals, engineering materials, structural materials, functional materials

(B11620220)応用熱工学[Applied Thermal Engineering]

科目名[英文名]	応用熱工学[Applied Thermal Engineering]				
時間割番号	B11620220	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中村　祐二 NAKAMURA Yuji				
ナンバリング	MEC_BAC31520				

授業の目標

熱力学は気体の状態，熱の仕事変換の基本的関係を与えるが，実際の熱エネルギーの計測，生成，輸送，蓄熱，変換，省エネ，高効率をどのように行っているか知る機会は少ない．特に，近年では省エネルギーは大きな問題になってきている．本講義では上述の熱エネルギー利用について熱力学との関連を明確にすることを目標とする．

Thermodynamics gives fundamental relations between properties of fluids and thermal works, but the descriptions of measurement, trnasport, generation, regeneration and so on are limited. The aim of this lecture is to make clear the relation between the thermodynamics and thermal equipment.

授業の内容

第 1 週:熱エネルギーと温度
第 2 週:エネルギー
第 3 週:熱エネルギーへの変換
第 4 週:熱の測り方
第 5 週:熱の作り方
第 6 週:新エネルギー
第 7 週:熱の伝わり方
第 8 週:熱の伝え方
第 9 週:放射
第 10 週:熱を伝える機器
第 11 週:熱を上げる，下げる
第 12 週:熱で物の形態を変える
第 13 週:熱を貯める
第 14 週:熱を節約する
第 15 週:熱を効率よく利用する
第 16 週:試験
#1 Thermal energy and temperature
#2 Energy
#3 Transformation to thermal energy
#4 Measurement of heat
#5 Generation of heat
#6 New energy
#7 Heat transport phenomena
#8 Method of heat transport
#9 Thermal radiation
#10 Thermal instruments
#11 Heat pump
#12 Formation of matter by heat
#13 Regeneration of heat
#14 Saving of heat
#15 Utilization of heat with high efficiency
#16 Examination

予習・復習内容

教科書には例題が載っている．必ず，熱力学の教科書を参照し，解答するようにしてください．
Carry out exercises in text.

関連科目

熱力学 I,II,III
Thermodynamics I, II, III

教科書 1	**書名**	熱とエネルギーを科学する			**ISBN**	978-4-501-41900-4 C3
	著者名	化学工学会 SCE・Net 編	**出版社**	東京電機大学出版局	**出版年**	2011

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	やさしく学べる工業熱力学			ISBN	
	著者名	中島健	出版社	森北出版	出版年	2004

参考書に関する補足事項

達成目標

1)熱エネルギーの生成，輸送，変換の応用例を理解すること
2)熱力学で学習した基礎的事項が，本講義で提示される応用例で活用できること.
3)持続可能なエネルギー利用について，理解を深めること
#1 Understand the generation, transport, and transformation of heat energy
#2 Be able to apply the fundamental knowledge of thermodynamics
#3 Understand the knowledge of sustainable energy.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：
達成目標の到達度を以下の手段で評価する。
定期試験（70%）＋レポート（30%）
評価基準：
評価法による得点（100 点満点）が 55 点以上の場合を合格（達成目標に到達した）とする。なお得点によって達成の程度を明示する。
評価 S：90 点以上，評価 A：80 点以上，評価 B：70 点以上，評価 C：60 点以上
Evaluation:
The lecturer will rate your score via combination of final exam (70%) and homeworks (30%). To qualify the coursework, each student must pass 55 point out of 100 and the rating is as follows: S (> 90 points), A (> 80 points), B (> 70 points), C (> 60 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

e-mail で随時時間を打ち合わせる.
Send mail to the lecturer to book, if you would like to visit to have face-to-face-discussion.

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad

キーワード
熱工学, 熱力学, エネルギー変換工学
Thermal engineering, Thermodynamics, Energy conversion engineering

(B11620230)複素解析[Complex Analysis]

科目名[英文名]	複素解析[Complex Analysis]				
時間割番号	B11620230	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	後期	曜日時限	金 3～3	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　孝司 SUZUKI Takashi				
ナンバリング	MEC_BAC31122				

授業の目標

複素解析は伝熱学、流体力学、静電気学やその他多くの工学的問題に応用されている。この講義では、複素数を含む問題を取り扱う上で必要となる基礎知識や技能を習得する。

Complex analysis has many applications in heat conduction, fluid flow, electrostatics, and in many other engineering areas. The objective of this class is to equip students with necessary knowledges and skills to enable them handle mathematical problems involving complex numbers.

授業の内容

1. 複素数と複素平面
2. 複素数の極形式、ド・モアブルの低利
3. 複素関数、複素関数による写像
4. 複素関数の極限、連続性、微分
5. コーシー・リーマンの関係式
6. 初等関数(1); 指数関数、三角関数
7. 初等関数(2); 対数関数、べき
8. まとめ　／　中間試験
9. 複素平面上の曲線、線積分
10. 線積分の計算
11. コーシーの積分定理
12. べき級数とべき級数で与えられる関数
13. テイラー級数とローラン級数
14. 特異点と留数
15. 留数定理と積分計算
16. まとめ　／　期末試験

1. Complex numbers and their geometric representation
2. Polar form of complex numbers, and De Moivre's theorem
3. Complex functions, and mappings by complex functions.
4. Limit, continuity and differentials of complex functions
5. Cauchy-Riemann equations
6. The elementary functions (1); exponential function and trigonometric function
7. The elementary functions (2); logarithmic function and general power
8. Summary / Mid-term examination
9. Curves on complex plane, and line integrals
10. Evaluation methods for line integrals
11. Cauchy's integral theorem
12. Power series and functions given by power series
13. Taylor series and Laurent series
14. Singularities and Residues
15. Residue theorem evaluation of integrals
16. Summary / Term-end Examination

予習・復習内容

関連科目

応用数学Ⅰ～Ⅳ、流体力学など複素数を利用する専門科目

Applied Mathematics 1-4

教科書 1	書名	Schaum's Outline of Advanced Mathematics for Engineeering and Scientists			ISBN	978-0-07-163540-0
	著者名	Murray R. Spiegel	出版社	Mc Graw Hill	出版年	1971
教科書に関する補足事項						
参考書 1	書名	複素解析入門			ISBN	978-4-320-01845-7

	著者名	原　惟行・松永秀章共著	**出版社**	共立出版	**出版年**	
参考書 2	**書名**	技術者のための高等数学4 複素関数論(原書第8版)			**ISBN**	
	著者名	E.クライツィグ著	**出版社**	培風館	**出版年**	
参考書 3	**書名**	Schaum's onlines Complex Variables, Second edition			**ISBN**	978-07-161569-3
	著名	Murray R. Spigel at al.	**出版社**	McGraw Hill	**出版年**	2009

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 複素数の計算や複素関数の基本的な操作を行うことができる。
2. コーシー・リーマンの関係式を用いて関数の正則性を調べることができる。
3. 複素関数の線積分の計算ができる。
4. 特異点における留数が計算でき、それを積分計算に利用できる。
5. 複素関数による写像が利用できる。

Upon successful completion of this class, the students will be able to:

1. Operate with complex numbers and carry-out basic operations on complex functions,
2. Use the Cauchy-Riemann equations to show that a function is analytic,
3. Demonstrate knowledges of line integrals in complex plane,
4. Understand residue at singularity and their use in integration,
5. Demonstrate the understanding of mapping by complex function.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法

中間試験 50%　期末試験 50%　　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Total Points = Mid-term Examination (50%) + Term-end Examination (50%)

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 90 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

E-mail takashi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

事前に E-mail 等で予約のこと。

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills

Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

複素数　複素解析　複素関数

(B11621020)応用振動工学[Applied Mechanical Vibration]

科目名[英文名]	応用振動工学[Applied Mechanical Vibration]				
時間割番号	B11621020	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	河村　庄造 KAWAMURA Shozo				
ナンバリング	MEC_BAC33022				

授業の目標

3 年次の「振動工学」で振動工学の基礎を学習したので，それを実際の機械・構造物の振動メカニズムの解明やトラブルシューティングへ応用するための考え方や手法を学ぶ．

そのため実際の機械・構造物を有限要素法等でモデル化した場合に得られる多自由度振動系の解析手法，次に比較的単純な部材のモデルである弦やはりの解析手法について学習し，理解を深める．

なお授業の水準は，技術士(機械分野)一次試験，Professional Engineering 試験を参考に定めている．

This lecture will provide the knowledge of vibration engineering to understand the dynamic behavior of machines or structures during operation. For a multi degree of freedom system and a continuous system, the free vibration and forced vibration are treated.

授業の内容

1：多自由度系の振動とモード解析(運動方程式，自由振動)
2：多自由度系の振動とモード解析(モード座標変換，モード空間における自由振動解析)
3：多自由度系の振動とモード解析(モード空間における自由振動解析，強制振動解析)
4：弦の振動(運動方程式，自由振動，一般解，強制振動)
5：弦の振動(一般解，強制振動)
6：はりの振動(運動方程式，自由振動)
7：はりの振動(自由振動，強制振動)
8：定期試験(45 分)・定期試験の説明(45 分)
1：Multi-degree-of-freedom system (Equation of motion, free vibration)
2：Multi-degree-of-freedom system (Coordinate transformation, Free vibration in the modal space)
3：Multi-degree-of-freedom system (Forced vibration in the modal space)
4：Vibration of string (Equation of motion, free vibration)
5：Vibration of string (Forced vibration)
6：Vibration of beam (Equation of motion, free vibration)
7：Vibration of beam (Forced vibration)
8：Examination (45 minute), Explanation (45 minute)

予習・復習内容

復習の手助けのために課題を課す場合がある．数式の展開などは講義中に十分行えない場合もあるので，毎回の講義内容の復習は必須である．さらに次回の内容について参考資料等を参考に予習してくることが望ましい．

Self-preparation and review are necessary.

関連科目

機械力学，振動工学
Dynamics, Vibration Engineering

教科書に関する補足事項

参考資料(英語)に基づいて講義を行う．資料は配布する．
Handouts will be prepared

参考書 1	**書名**	振動工学の基礎　新装版			**ISBN**	978-4-627-66682-5
	著者名	岩壷卓三・松久寛	**出版社**	森北出版	**出版年**	
参考書 2	**書名**	振動工学－基礎編			**ISBN**	
	著者名	安田仁彦	**出版社**	コロナ社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 多自由度系の振動が理解できる
(2) 連続体(弦，はり)の振動が理解できる
(3) 実現象と振動工学の理論との関係が理解できる
(1) Understand the vibration of multi degree of freedom system
(2) Understand the continuous system
(3) Understand the relation of actual phenomenon and theoretical result

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法　:達成目標の到達度を定期試験で評価する.

評価基準:

A:達成目標をすべて達成しており, かつ試験の点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標を 70%達成しており, かつ試験の点(100 点満点)が 65 点以上

C:達成目標を 60%達成しており, かつ試験の点(100 点満点)が 55 点以上

Method: examination (full score 100).

Level:

Level A: upper 80 points, Level B: upper 65 points, Level C: upper 55 points

定期試験

定期試験を実施(対面)

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

河村庄造:部屋番号 D-404, E-Mail:kawamura@me.tut.ac.jp

Contact person: Prof. Shozo Kawamura E-Mail:kawamura@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

E メール等で随時時間を打ち合わせる

Ask by E-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1)機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D4)機械・システムデザインコース, 材料・生産加工コース, システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード

機械振動, 多自由度系, 連続体

Vibration engineering, multi degree of freedom system, continuous system

(B11621030)精密加工学[Precision Machining]

科目名[英文名]	精密加工学[Precision Machining]				
時間割番号	B11621030	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期2	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	柴田　隆行 SHIBATA Takayuki				
ナンバリング	MEC_BAC33022				

授業の目標

今日の先端技術産業を支える加工技術は，精密から超精密へ，微細から超微細へとめまぐるしく進化しており，現在では，原子・分子を直接操作するまでに至っている．本授業では，自動車産業，電機産業，半導体産業，電子産業，情報産業などの多くの分野の発展に必要不可欠な精密加工技術の中で，除去加工法に分類される砥粒加工技術および特殊加工技術に関する原理，特徴，その応用例を紹介し，ものづくりの基礎的知識を学習する．なお，本講義は，英語テキストを用いて日本語で講義を行い，グローバルな知識を修得する．

Manufacturing technology to support today's advanced-technology manufacturing industries (automotive industry, electrical machinery industry, semiconductor industry, electronics industry, information industry, etc.) evolves remarkably from precision- to ultraprecision-machining or from micro- to nano-fabrication. Nowadays it become possible to directly manipulate single atoms and molecules. This lecture will focus on abrasive machining and advanced (nontraditional) machining processes that are classified in material removal processing to gain an understanding the principle and characteristics of the machining processes and their applications to manufacturing high-value-added products.
This lecture is given in Japanese using an English text in order to increase global awareness.

授業の内容

I. 砥粒加工法 (Chapter 26)
1 週目　砥粒加工法(概要)
2 週目　研削加工
3 週目　研磨加工
II. 特殊加工法 (Chapter 27)
4 週目　放電加工
5 週目　レーザ加工
6 週目　電子ビーム加工
7 週目　化学加工と電解加工
III. まとめと定期試験
8 週目　まとめ 45 分，定期試験 45 分
I. Abrasive Machining (Chapter 26)
1st week; Introduction of abrasive machining
2nd week; Grinding process
3rd week; Surface finishing process
II. Advanced (Nontraditional) Machining Processes (Chapter 27)
4th week; Electrical discharge machining
5th week; Laser beam machining
6th week; Electron beam machining
7th week; Chemical machining and Electrochemical machining
III. Summary and Examination
8th week; Summary: 45 min, and Regular examination: 45 min

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容について教科書・テキスト等を参考に予習してくること．
特に，英語の教科書・テキストを使って日本語で講義を行うため，毎回の受講前には，加工技術に関する専門用語の英語と日本語の対応を必ず学習しておくこと．
Students are required to prepare and review each lesson.

関連科目

機械工作法Ⅱ，生産加工学
Mechanical Technology 2, Manufacturing Process

教科書 1	**書名**	Manufacturing, Engineering and Technology SI (7th Edition)			**ISBN**	9810694067
	著者名	Serope Kalpakjian, Stephen R. Schmid	**出版社**	Pearson Education Centre	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

補足資料：講義内容を記したプリント（英語）を配布する.

参考書 1	書名	新版　機械加工			ISBN	
	著者名	中山一雄，上原邦雄	出版社	朝倉書店	出版年	2001

参考書に関する補足事項

達成目標

以下の砥粒加工技術および特殊加工技術の基礎を習得する.
（1）砥粒加工技術の種類とそれらの特徴が理解できる.
（2）研削加工法の基本的な原理が理解できる.
（3）研磨加工法の基本的な原理が理解できる.
（4）特殊加工法（放電加工，レーザ加工，電子ビーム加工，化学加工・電解加工）の原理・特徴が理解できる.
(1) To gain an understanding of the classification and characteristics of abrasive machining.
(2) To gain an understanding of the principle of grinding process.
(3) To gain an understanding of the principle of surface finishing process.
(3) To gain an understanding of the principle and characteristics of advanced (nontraditional) machining processes.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験 1 回で評価する.
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する.
　A：達成目標をすべて達成しており，かつ定期試験の得点（100 点満点）が 80 点以上
　B：達成目標を3つ達成しており，かつ定期試験の得点（100 点満点）が 65 点以上
　C：達成目標を2つ達成しており，かつ定期試験の得点（100 点満点）が 55 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 75 % of goals and obtained total points of exam, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 50 % of goals and obtained total points of exam, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://mems.me.tut.ac.jp/class/premac/
http://mems.me.tut.ac.jp/class/premac/

オフィスアワー

毎週月曜日 17:00～18:00
Monday from 17:00 to 18:00

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード

研削加工，研磨加工，放電加工，レーザ加工，電子ビーム加工，化学加工，電解加工
Grinding process, Surface finishing process, Electrical discharge machining, Laser beam machining, Electron beam machining, Chemical machining, Electrochemical machining

(B11621040)塑性加工学[Material Forming Process]

科目名[英文名]	塑性加工学[Material Forming Process]				
時間割番号	B11621040	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	森　謙一郎 MORI Ken-Ichiro				
ナンバリング	MEC_BAC33022				

授業の目標

塑性加工の特徴を理解するとともに、3次元的な応力・ひずみの概念、降伏条件式、応力－ひずみ増分関係式、体積一定条件式などの塑性変形の基礎式を理解し、塑性変形の基礎式に基づいて塑性加工問題を解く各種の解析法について学ぶ。

In addition to understanding the characteristics of metal forming processes, three-dimensional stress and strain, yield criteria, stress-strain increment relationship, volume constancy, etc. are explained, and analytical methods for metal forming processes are also explained.

授業の内容

1 週目　変形抵抗(11 章)
2 週目　3次元応力，座標軸の回転における応力変化（13 章）
3 週目　力のつりあい，3次元ひずみ(13 章)
4 週目　体積一定条件，弾性変形の応力―ひずみ関係（13 章）
5 週目　降伏条件(14 章)
6 週目　塑性変形の応力―ひずみ関係，相当ひずみ，塑性変形仕事（14 章）
7 週目　スラブ法(15 章)
8 週目　まとめ 45 分，期末試験 45 分

1st week: Flow sress (Chapter 11)
2nd week: Three-dimensional stress, change in stress by rotation of co-odinates (Chapter 13)
3rd week: Equilibrium equation of forces, three-dimensional strain (Chapter 13)
4th week: Volume constancy, relationship between stress and strain for elastic deformation (Chapter 13)
5th week: Yield criterion (Chapter 14)
6th week: Relationship between stress and strain for plastic deformation, equivalent strain, work of plastic deformation (Chapter 14)
7th week: Slab method (Chapter 15)
8th week: Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review and prepare lessons of the lecture.

関連科目

生産加工学
Manufacturing Processes

教科書に関する補足事項

参考書の英語プリント
English version of reference book

参考書 1	**書名**	塑性加工学　改訂版			**ISBN**	
	著者名	小坂田宏造，森謙一郎	**出版社**	養賢堂	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 基礎的な事項
a. 3 次元的な固体力学を理解する。
b. 金属材料の塑性変形における基礎式を理解する。
(2) 3 次元固体力学
a. 3次元的な応力およびひずみを理解する。
b. 座標軸の回転に伴う応力変化を理解し、モールの応力円を使えるようにする。
c. ひずみで表される体積一定条件を理解する。
(3) 塑性力学の基礎式と解析法

a. 3次元応力で塑性変形を開始する降伏条件を理解する。
b. 弾性変形と塑性変形の応力—ひずみ関係の違いを理解する。
c. 相当応力、相当ひずみの概念を理解する。
d. 1次元的な力のつりあいを基礎としたスラブ法を理解する。

(1) Fundamental knowledge
(2) Three-dimensional solid mechanics
(3) Plasticity

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価法：中間試験（100 点満点）と期末試験（100 点満点）の平均で評価する． ただし、55 点未満の場合はレポート1部を 1 点として 55 点まで加算する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

The evaluation is based primarily on a final examination (100 points). For a scores lower than 55 points, 1 point may be earned for each report submitted (up to 55 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

森謙一郎: D-606, 内線: 6707, e-mail: mori@me.tut.ac.jp
Ken-ichiro Mori: room D-606, extension number: 6707, e-mail: mori@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://plast.me.tut.ac.jp
http://plast.me.tut.ac.jp/index.eng.html

オフィスアワー

毎週月曜日 17:00 から 18:00
Mondays from 17:00 to 18:00

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

塑性加工、固体力学、塑性力学
metal forming, solid mechanics, plasticity

(B11621050)トライボロジー[Tribology]

科目名[英文名]	トライボロジー[Tribology]				
時間割番号	B11621050	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期2	曜日時限	月 4～4	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	竹市　嘉紀 TAKEICHI Yoshinori				
ナンバリング	MEC_BAC33022				

授業の目標

トライボロジーの基本的な考え方を理解する.

Understanding the basic idea of Tribology.

授業の内容

第 1 週　トライボロジーの諸問題
第 2 週　表面粗さ
第 3 週　金属表面の硬さ
第 4 週　弾性接触と塑性接触
第 5 週　摩擦理論(凝着説)
第 6 週　摩耗の分類と摩耗機構
第 7 週　潤滑理論
第 8 週　復習45分, 試験45分

1) Tribological issues
2) Surface roughness
3) Hardness of metal surface
4) Elastic contact and plastic contact
5) Theory of wear (Adhesive wear)
6) Type of wear and wear mechanism
7) Lubrication theory
8) Review (45 min) and examination (45 min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること.

Reviewal of the previous lecture and the preparation for the next lecture are required.

関連科目

教科書 1	書名	Manufacturing – Engineering and Technology (7th Edition)			ISBN	978-981-06-9406-7
	著者名	S. Kalpakjian, S. R. Schmid	出版社	Pearson	出版年	2013

教科書に関する補足事項

教科書「Manufacturing – Engineering and Technology (7th Edition)」は貸与する.
貸与手続きについては, 講義開始前にメールにて連絡予定.
また, 教科書とあわせて, 講義の初日にプリントを配布.

We lend the textbook "Manufacturing – Engineering and Technology (7th Edition)" to the students.
This procedure will be informed by e-mail before the class.
In addition, the handouts will be distributed on the first day of the lecture.

参考書 1	書名	トライボロジー概論			ISBN	978-4842501574
	著者名	木村好次・岡部平八郎	出版社	養賢堂	出版年	1994

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 摩擦の考え方を理解する.
(2) クーロンの法則および摩擦理論を理解する.
(3) 固体潤滑剤の種類その用途を知る.
(4) 固体潤滑剤の作用機構を理解する.
(5) 摩耗の種類を知るとともにその対策法を理解する.
(6) 耐摩耗性向上の機構を理解する.

(1) Understanding the basic idea of friction.
(2) Understanding the Coulomb's law and friction theory.
(3) To know the various solid lubricants and its use.
(4) Understanding the lubrication mechanism of solid lubricant.
(5) To know the type of wear and understanding the wear reducing methods.
(6) Understanding the improving mechanism of wear reducing properties.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:
小課題の合計点数(30 点満点)と定期試験の点数(70 点満点)で評価する.

評価基準:
上記評価方法による得点(100 点満点)が 55 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする.
また, 得点によって達成の程度を以下のとおりとする.
A:80 点以上, B:65 点以上, C:55 点以上

Assessment procedure:
Evaluation will be made based on the evaluation of the submitted reports (perfect scores is 30 points) and the score of the examination (perfect scores is 70 points). The perfect total score is 100 points.

Assessment criterion:
Credit will be given when the total score is equal to or more than 55 points out of 100 points.
A: 80-100 points, B: 65-79 points, C: 55-64 points.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

E-Mail: takeichi@tut.jp
Phone: 0532-44-6663

E-Mail: takeichi@tut.jp
Phone: 0532-44-6663

ウェルカムページ

http://tribo.me.tut.ac.jp/class/class.html
http://d-304.me.tut.ac.jp
http://tribo.me.tut.ac.jp/class/class.html
http://d-304.me.tut.ac.jp

オフィスアワー

授業実施日の講義時間後.
もしくは, e-mail 等で日時を打ち合わせる.

Please contact me just after each class or make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード
トライボロジー，表面，潤滑，摩擦，摩耗
tribology, surface, lubrication, friction, wear

(B11622040)材料解析[Materials Analysis]

科目名[英文名]	材料解析[Materials Analysis]				
時間割番号	B11622040	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期1	曜日時限	月 3～3	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	伊﨑　昌伸, 横山　誠二 IZAKI Masanobu, YOKOYAMA Seiji				
ナンバリング	MEC_BAC34022				

授業の目標

材料のキョラクタリゼーションの基本となる結晶構造解析，組成の分析法について原理，測定，解析の基礎知識と手法を修得する.

・結晶とX線などの波との干渉による材料解析現象を物理的に理解する。

・材料の組成分析の原理，測定法を理解する。

Structural characterization is necessary to develop and fabricate materials available to industrial applications. Knowledge of symmetry, lattice system, and diffraction theory will be lectured to understand and to use structural characterization technique with X-ray and electron beam. In addition, the composition of substance is most important for characterization of a substance. measurement of chemical composition will be lectured.

授業の内容

第 1 週　結晶と対称性
第 2 週　回折を利用した構造評価 I（X 線回折，ブラックの式，構造因子）
第 3 週　逆格子 I（逆格子の幾何学，エワルドの方法）
第 4 週　逆格子 II（逆空間，回折条件，ラウエの回折関数）
第 5 週　固体の組成分析
第 6 週　溶液の濃度分析 I（機器分析）
第 7 週　溶液の濃度分析 II（容量分析 1）
第 8 週　溶液の濃度分析 II（容量分析 2）＋定期試験
（第 1 週～第 4 週：伊崎担当）
（第 5 週～第 8 週：横山担当）

1st Crystal and symmetry
2nd Diffraction theory I (Bragg's low, Structural factor)
3rd Diffraction theory II (Reciprocal lattichere)
4th Diffraction theory III (Ewald sphere)
5th Measurement of compositions with instruments
6th Measurement of compositions of a solid with EPMA
7th Preparation solution and analysis of a solution with instrument
8th Analysis of gaseous species in a solid and exam.
(1st～4th：Izaki)
(5th～8th：Yokoyama)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。また，講義で宿題を課します。
Self preparation before every classes and review after every classes are essential. Reports and homework are sometime required.

関連科目

材料工学概論
材料科学

Material engineering

教科書に関する補足事項

資料を配布する。
Text written in english is provided.

参考書 1	書名	Introduction to X-ray powder diffractometry			ISBN	0-471-51339-3
	著者名	R. jenkins, R.L.Snyder	出版社	John Wiley &Sons	出版年	1996
参考書 2	書名	材料の構造と物性			ISBN	
	著者名	日本金属学会	出版社	日本金属学会	出版年	

参考書 3	**書名**	Quantitative Chemical Analysis			**ISBN**	978-1429239899
	著者名	Daniel C. Harris	**出版社**	W.H.Freeman & Co Ltd	**出版年**	2010
参考書 4	**書名**	分析化学概論（化学教科書シリーズ）			**ISBN**	1997
	著者名	田中稔	**出版社**	丸善	**出版年**	4621

参考書に関する補足事項

達成目標

1．結晶の対称性について理解する。
2．結晶による X 線の干渉現象を理解し、活用する知識を習得する。
3．機器分析についての基本的な知識と理解
4．容量分析についての基本的な知識と理解
1．Crystalline state
2．Diffraction theory
3．To understand fundamental knowledge of instrumental analysis.
4．To understand preparation and handling of an aqueous solution,

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：伊崎：定期試験 80%，レポート 20%により評価する。横山：定期試験 80%，小テスト 20%により評価する。
（伊崎担当分と横山担当分の平均で評価）

評価基準：下記のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつ評価点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 4 つ達成しており，かつ評価点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 3 つ達成しており，かつ評価点（100 点満点）が 55 点以
All reports must be submitted.
Izaki:Exam. 80%, Reports:20%; Yokoyama::Exam. 80%, Small test:20%
Average score (Izaki's score + Yokoyama's score)
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

伊崎：D-505，6694，t-izaki@me.tut.ac.jp
横山：D-507，6696，yokoyama@me.tut.ac.jp

izaki：D-505，6694，t-izaki@me.tut.ac.jp
Yokoyama：D-507，6696，yokoyama@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

伊崎： http://tf.me.tut.ac.jp/

izaki： http://tf.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー

伊崎,横山：随時，事前に連絡して下さい
Inform us by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード
結晶　干渉 機器分析
crystal diffraction characterization Instrumental analysis

(B11622050)接合加工学[Bonding Technology]

科目名[英文名]	接合加工学[Bonding Technology]				
時間割番号	B11622050	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期2	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	福本　昌宏 FUKUMOTO Masahiro				
ナンバリング	MEC_BAC34022				

授業の目標

金属材料の接合加工としての，固相接合，ろう付けの非溶融接合プロセス，熱切断，表面改質技術について，基礎原理，適用事例などについて学ぶ.

To understand the fundamental princple and applications of solid state welding, brazing, thermal cutting and surface modification processes as a normal joining technology for the metallic materials.

金属材料の接合加工としての，固相接合，ろう付けの非溶融接合プロセス，熱切断，表面改質技術について，基礎原理，適用事例などについて学ぶ.

To understand the fundamental princple and applications of solid state welding, brazing, thermal cutting and surface modification processes as a normal joining technology for the metallic materials.

授業の内容

第1週　固相接合概論，圧接，摩擦圧接
1st week, Solid state welding, pressure welding, friction welding, friction stir welding
第2週　爆発圧接，拡散接合，拡散ろう付け
2nd week, Explosion welding, diffusin bonding, Transient liquid phase welding
第3週　ろう接，はんだ付け
3rd week, Soldering, brazing
第4週　ろう付け
4th week, Brazing
第5週　熱切断，表面改質概論
5th week, Thermal cutting, surface modification
第6週　肉盛り溶接，溶射
6th week, Cladding, thermal spraying
第7週　最新溶射法
7th week, Advanced thermal spraying
第8週　まとめ（45 分）と期末試験（45 分）
8th week, Summary: 45 min. and regular examination: 45 min.

第1週　固相接合概論，圧接，摩擦圧接
1st week, Solid state welding, pressure welding, friction welding, friction stir welding
第2週　爆発圧接，拡散接合，拡散ろう付け
2nd week, Explosion welding, diffusin bonding, Transient liquid phase welding
第3週　ろう接，はんだ付け
3rd week, Soldering, brazing
第4週　ろう付け
4th week, Brazing
第5週　熱切断，表面改質概論
5th week, Thermal cutting, surface modification
第6週　肉盛り溶接，溶射
6th week, Cladding, thermal spraying
第7週　最新溶射法
7th week, Advanced thermal spraying
第8週　まとめ（45 分）と期末試験（45 分）
8th week, Summary: 45 min. and regular examination: 45 min.

予習・復習内容

次回講義範囲を事前に予習してくること。
Pre-study on next part is desired.

次回講義範囲を事前に予習してくること。
Pre-study on next part is desired.

関連科目
学部3年次に開講している「機械の材料と加工」。
B3 subject "Materials and Processing in Mechanical Engineering"

学部3年次に開講している「機械の材料と加工」。
B3 subject "Materials and Processing in Mechanical Engineering"

教科書 1	**書名**	Manufacturing, Engineering and Technology SI (7th Edition)			**ISBN**	9810694067
	著者名	Serope Kalpakjian, Stephen R. Schmid, Chih-Wah Kok	**出版社**	Pearson Education Centre	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項
上記教科書を購入すること。※関連内容の補助プリントを配布する。
Textbook shown above have to be purchased. Additionally, relating handouts will be given in the class.

上記教科書を購入すること。※関連内容の補助プリントを配布する。
Textbook shown above have to be purchased. Additionally, relating handouts will be given in the class.

参考書 1	**書名**	溶接・接合工学の基礎			**ISBN**	4-621-03814-1 C3057
	著者名	溶接学会編	**出版社**	丸善	**出版年**	1993
参考書 2	**書名**	溶接要論			**ISBN**	4-8445-2723-1 C3053
	著者名	岡根　功	**出版社**	理工学社	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標
To understand following items.
(1)固相接合の原理，摩擦接合の原理
principle of solid state welding, friction welding
(2)拡散ろう付けの原理，等温凝固現象
principle of transient liquid phase welding, isothermal solidification
(3)ろう付けの原理，フラックスの役割，ろう材の役割
principle of brazing, role of flux, role of solder material
(4)熱切断の原理，肉盛り溶接と溶射法の相違
principle of thermal cutting, difference between metal cladding and thermal spraying

To understand following items.
(1)固相接合の原理，摩擦接合の原理
principle of solid state welding, friction welding
(2)拡散ろう付けの原理，等温凝固現象
principle of transient liquid phase welding, isothermal solidification
(3)ろう付けの原理，フラックスの役割，ろう材の役割
principle of brazing, role of flux, role of solder material
(4)熱切断の原理，肉盛り溶接と溶射法の相違
principle of thermal cutting, difference between metal cladding and thermal spraying

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：授業中演習課題（10%）および最終試験の結果（90%）で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席した者につき下記のように評価する。
A：達成目標基礎的事項のすべてを達成し，かつレポート，演習課題の合計点が 80 点以上
B：達成目標基礎的事項の2つを達成し，かつレポート，演習課題の合計点が 65 点以上

C：達成目標基礎的事項の1つを達成し，かつレポート，演習課題の合計点が 55 点以上
Evaluation means: final Examination (90%), Quiz and Report (10%)
Criterion: Evaluate results for the students presented at all the lectures essentially as below.
A: achieve all objectives and total marks of reports and exam. over 80.
B: achieve 4 objectives and total marks of reports and exam. over 65.
C: achieve 3 objectives and total marks of reports and exam. over 55.

評価法：授業中演習課題（10%）および最終試験の結果（90%）で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席した者につき下記のように評価する。
A：達成目標基礎的事項のすべてを達成し，かつレポート，演習課題の合計点が 80 点以上
B：達成目標基礎的事項の2つを達成し，かつレポート，演習課題の合計点が 65 点以上
C：達成目標基礎的事項の1つを達成し，かつレポート，演習課題の合計点が 55 点以上
Evaluation means: final Examination (90%), Quiz and Report (10%)
Criterion: Evaluate results for the students presented at all the lectures essentially as below.
A: achieve all objectives and total marks of reports and exam. over 80.
B: achieve 4 objectives and total marks of reports and exam. over 65.
C: achieve 3 objectives and total marks of reports and exam. over 55.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
新規概念等を自分の言葉・文章で説明できるよう心掛けること.
To explain in your own expression/word on newly studied technological concepts.
新規概念等を自分の言葉・文章で説明できるよう心掛けること.
To explain in your own expression/word on newly studied technological concepts.

その他
D-503 室・内線　6692・メールアドレス fukumoto@tut.jp

Room:D-503, Extension:6692, e-mail:fukumoto@tut.jp

ウェルカムページ
http://isf.me.tut.ac.jp/
http://isf.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー
上記 e-mail にて常時対応
anytime to the above e-mail address.
上記 e-mail にて常時対応
anytime to the above e-mail address.

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード
固相接合，表面改質，溶射　solid state welding, surface modification, thermal spraying
固相接合，表面改質，溶射　solid state welding, surface modification, thermal spraying

(B11622060)構造材料学[Structural Materials]

科目名[英文名]	構造材料学[Structural Materials]				
時間割番号	B11622060	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期1	曜日時限	木 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	戸高　義一 TODAKA Yoshikazu				
ナンバリング	MEC_BAC34022				

授業の目標

構造用金属材料の格子欠陥と強度，破壊などの力学的性質の基本を金属組織との関係から理解する。実用鉄鋼材料や非鉄材料の化学組成や熱処理プロセスを、力学的性質を制御する原理を含めて、理解する。

Understand the basics of mechanial properties of structural materials, such as lattice defects, strength and fracture, from a microstructural perspective.

Understand the chemical composition and heat treatment procedure of steels and non-ferrous materials including the mechanisms to control mechanical properties.

授業の内容

[01st] Chap. 1 ~ 4
材料科学・工学の概説，金属・合金の結晶構造
[02nd] Chap. 4
金属・合金の結晶構造
[03rd] Chap. 6
金属・合金の格子欠陥
[04th] Chap. 7
金属・合金の拡散
[05th] Chap. 8, 9
金属・合金の機械的性質，強化機構
[06th] Chap. 9, 10
金属・合金の強化機構，破壊
[07th] Chap. 11, 12
金属・合金の状態図，相変態
[08th]
復習 45 分，定期試験 45 分

[01st] Chap. 1 ~ 4: Introduction of materials science and engineering, Crystal structures in metals and alloys
[02nd] Chap. 4: Crystal structures in metals and alloys
[03rd] Chap. 6: Imperfections in metals and alloys
[04th] Chap. 7: Diffusion in metals and alloys
[05th] Chap. 8, 9: Mechanical properties, Strengthening mechanisms in metals and alloys
[06th] Chap. 9, 10: Strengthening mechanisms, Failure in metals and alloys
[07th] Chap. 11, 12: Phase Diagrams, Phase transformations in metals and alloys
[08th] Review (45min) & Periodic exam. (45min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について教科書等を参考に予習してくること。

Review every time after the lecture and prepare for next lecture.

関連科目

学部2年次：材料工学概論
学部3年次：機械の材料と加工
B2: Introduction to Materials Engineering
B3: Materials and Processing in Mechanical Engineering

教科書 1	書名	Materials Science and Engineering (9th Edition)			ISBN	978-1118319222
	著者名	William D. Callister, Jr., David G. Rethwisch	出版社	Wiley	出版年	2014

教科書に関する補足事項

教科書を購入することが望ましいが、貸与することもできるので、担当教員に相談して下さい。
関連の資料を配布する。

It is desirable to purchase the textbook, but the textbook can also be lent, so please consult with the teachers.
The relating handouts will be given in the class.

参考書に関する補足事項

達成目標

主に下記項目に対する理解を得ること
(1) 金属・合金の結晶構造と格子欠陥を理解する。
(2) 金属・合金の力学的性質，強化機構の基礎を理解する。
(3) 金属・合金の破壊を理解する。
(4) 金属・合金の状態図，相変態を理解する。
(1) Understand the crystal structures and imperfections in metals and alloys.
(2) Understand the basics of mechanical properties and strengthening mechanisms of metals and alloys.
(3) Understand the failure in metals and alloys.
(4) Understand the phase diagrams and phase transformations in metals and alloys.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：小テスト・レポート 20%，定期試験 80%で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席した者につき下記のように評価する。
A：達成目標基礎的事項のすべてを達成し，かつ試験，演習課題の合計点が 80 点以上
B：達成目標基礎的事項の3つを達成し，かつ試験，演習課題の合計点が 65 点以上
C：達成目標基礎的事項の2つを達成し，かつ試験，演習課題の合計点が 55 点以上
Evaluation means: Examination (80%), Quiz and Report (20%)
Evaluation basis: Students who attend all classes will be evaluated as follows.
A: Achieve all objectives, and total marks of reports and exam. are 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieve 3 objectives, and total marks of reports and exam. are 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieve 2 objectives, and total marks of reports and exam. are 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

D-603, ext.6704, todaka@me.tut.ac.jp
D-603, ext.6704, todaka@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://martens.me.tut.ac.jp/
http://martens.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー

e-mail にて相談時間を打ち合わせる。
Please send e-mail in advance for appointment.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード

金属・合金　結晶構造　組織　格子欠陥　強化機構　相変態
Metal / Alloy, Crystal Structure, Microstructure, Lattice Defect, Strengthening Mechanism, Phase Transformation

(B11622070)材料信頼性工学[Reliability Engineering for Materials]

科目名[英文名]	材料信頼性工学[Reliability Engineering for Materials]				
時間割番号	B11622070	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期2	曜日時限	木 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	三浦 博己, 小林 正和 MIURA Hiromi, KOBAYASHI Masakazu				
ナンバリング	MEC_BAC34022				

授業の目標

各種機器，部材などの素材，およびそれらを製造・試作・評価するための材料を考える場合，鉄鋼材料や非鉄金属材料だけでなく，広く有機材料(特に，プラスティック)，無機材料(エンジニアリング・セラミックス，半導体・磁性体材料)の使用下での損傷、破損、破壊などに関する知識を持つことが必要である。本講義では，構造材料で特に重要な力学的評価の考え方とその実際の破壊事例への適用を講述する。また，水素，腐食など，実際の破壊事例に多く登場する現象を理解するために必要な知識，手法などについても講義する。あわせて，様々な破壊事例に関し，ケーススタディーとしていくつかのケースを学習する。

Knowledge about destruction and failure mechanisms of materials such as polymers, ceramics inadition to ferrous and non-ferrous metallic materials are necessary for manufacturing instruments, component parts materials. Following subjects will be lectured; evaluation of mechanical characteristics, applications to prevent failure, understanding of some failure cases on the base above knowledge and techniques. Some actual cases of failure induced by hydrogen embrittlement and corrosion will be also introduced.

授業の内容

1 回目　応力による破壊評価（応力拡大係数）
2 回目　エネルギーによる破壊評価（エネルギー解放率）
3 回目　亀裂先端の塑性域（小規模降伏条件、平面歪み条件）
4 回目　破壊試験法
5 回目　疲労破壊
6 回目　強度と破壊 I
7 回目　強度と破壊 II
8 回目　試験

Subjects for lecture
1st Evaluation of failure by stress(stress intensity factor)
2nd Evaluation of failure by energy(energy release)
3rd Effects of plastic region at crack tip (micro yielding, plane strain condition)
4th Methods for fracture experiments
5th Fatigue fracture
6th Strength and fracture 1
7th Strength and fracture 2
8th Exam.

予習・復習内容

予習・復習内容：毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Self Preparation and Review are essential

関連科目

物理・化学などの材料の基礎，機械の材料と加工，材料物理化学，材料解析，構造材料学など
basic physic, chemistry, material processing, physical chemistry of materials, material analysis, structural material

教科書に関する補足事項

プリントを配布する。
Text may be hand out if necessary

参考書 1	書名	材料強靭学			ISBN	4-900041-86-6 C3053
	著者名	小林俊郎	出版社	アグネ技術センター	出版年	2000
参考書 2	書名	Strength and Toughness of Materials			ISBN	4-431-20038-X
	著者名	T. Kobayashi	出版社	Springer-Verlag Tokyo	出版年	2004
参考書 3	書名	Fracture Mechanics: Fundamentals and Applications,			ISBN	978-

		2nd Edition				0849342608
	著者名	T. L. Anderson	出版社	CRC Press	出版年	1994

参考書に関する補足事項

達成目標

I. 基本事項
1) 応力拡大係数，エネルギー解放率，き裂先端開口変位と行った弾性破壊力学の内容を理解している
2) 亀裂先端の塑性域とは何か，理解している
Ⅱ. 応用事項
1) 小規模降伏条件，平面歪み条件を知っており，破壊靭性値を適切に求めることが出来る
2) 安定破壊とＲカーブ挙動を知っており，き裂伝播抵抗を求めることが出来る
3) 実際の破壊試験法を理解しており，破壊靭性値を求めることが出来る
4) 疲労破壊プロセスを理解している
5) 疲労破壊に破壊力学を適用して解析できる
6)クリープ破壊とその評価，破断強度と破断時間の推定法を理解している
7)水素脆化，腐食環境下の疲労特性について理解している
8)腐食要因と湿食について理解している
Ⅲ.知識の工業的利用
1)延性脆性遷移挙動を理解している
2)過去の失敗事例（破損事故など）の知識を有しており，そのような情報へのアクセス方法も理解している
3)実際の工業製品の力学的評価法を理解している
4)フラクトグラフィーにより，破壊起点や破損原因を特定できる
5)非破壊検査法の基礎を知っている
I. Essential subjects
1) Stress intensity factor
2) Understand plastic region at crack tip
Ⅱ. Applications
1) Understand micro yielding, plane strain condition, and evaluate fracture toughness 2) Understand stable fracture and R-curve behavior, and evaluate crack propagation resistance
3) Understand methods for fracture experiments and estimate fracture toughness
4) Understand processes of fracture and failure
5) Apply fracture mechanics to fatigue fracture
6) Understand methods for estimating fracture strength and fracture time in creep fracture
7) Understand hydrogen embrittlement and fatigue property under corrosion environment
8) Understand corrosion factor and wet corrosion
Ⅲ. Industrial applications of knowledge
1) Understand ductile and brittle transition
2) Have knowledge of past faults (disruptive accident) and understand how to access such information
3) Understand mechanical property evaluation method in actual industrial products
4) Identify fracture origin and failure reason by fractography
5) Understand basis of non-destructive inspection method

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

すべての課題を提出していること.
定期試験 8 割，レポート 2 割
評価基準：下記のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつ試験点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標 I～Ⅲのうち2つ達成しており，かつ試験点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標 I～Ⅲのうち1．5項目分を達成しており，かつ試験点（100 点満点）が 55 点以上
All reports must be submitted.
Exam. 80%, reports 20%

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 75% of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 50% of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

三浦: D-508, 6697, miura@me.tut.ac.jp
小林: D-504, 6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp
Miura: D-508, ext.6697, miura@me.tut.ac.jp
Kobayashi: D-504, ext.6706, m-kobayashi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時，メールにて連絡してください。
Any time. However, please send us e-mail in advance for appointment.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力
(D4)4コースのうちで1つの専門コースに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力
〇機械・システムデザインコース
〇材料・生産加工コース
〇システム制御・ロボットコース
〇環境・エネルギーコース

(D1) Acquiring knowledge in subjects that make up the foundation of mechanical engineering:
(D4) A broad range of expertise and the ability to carry out technological development in one of the following four professional courses of study:

キーワード

構造材料，材料強度，材料選択，機械設計，疲労破壊
structural material, material strength, material selection, mechanical design, fatigue fracture

(B11623060)現代制御工学[Modern Control Engineering]

科目名[英文名]	現代制御工学[Modern Control Engineering]				
時間割番号	B11623060	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	三好　孝典 MIYOSHI Takanori				
ナンバリング	MEC_BAC35020				

授業の目標

本授業では，制御対象の入出力関係を時間に関する動的な特性としてとらえる現代制御理論を学習して，より数学的に制御器の設計が行えるようになることを目標とする.

The purpose of this lecture is to design the controller mathematically by studying modern control engineering.

授業の内容

第 1 週　状態方程式

第 2 週　状態方程式から伝達関数，伝達関数から状態方程式

第 3 週　座標変換

第 4 周　システムの応答

第 5 周　システムの安定性

第 6 週　状態フィードバック，極配置

第 7 週　最適制御，応用例

第 8 週　復習 45 分，定期試験 45 分

(1) State equation

(2) Transfer function from state equation, and state equation from transfer function

(3) Coordinate transformation

(4) Response of system

(5) Stability of system

(6) State feedback and pole placement

(7) Optimal control and its application

(8) Review 45min, examination 45min

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること.

Please review the excercise of each lecture.

関連科目

制御工学（3 年）

Control Engineering

教科書 1	**書名**	豊橋技科大・高専制御工学研究連携プロジェクト編：制御工学	**ISBN**	978-4-407-32575-1

	著者名	寺嶋一彦，三好孝典他	出版社	実教出版	出版年	2012

教科書に関する補足事項

We give the English materials which translated the textbook mentioned above into English.

参考書に関する補足事項

達成目標

1．制御対象を状態方程式で表現できるようになる.

2．状態方程式と伝達関数の関係を理解する.

3．状態フィードバックの概念を理解する.

4．安定性の判別ができるようになる.

5．最適制御器をリカッチ方程式を用いて設計できるようになる.

1．To represent the target in transfer function.

2．To understand the relationship state equation and transfer function.

3. To understand the state feedback.

4．To carry out stability criterion.

5．To design the optimal controller with Ricatti equation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：演習課題（30%）および定期試験（70%）で評価する。

評価基準：下記のように評価する。
A：達成目標を80%達成しており，かつ試験，演習課題の合計点が 80 点以上
B：達成目標を70%達成しており，かつ試験，演習課題の合計点が 65 点以上
C：達成目標を60%達成しており，かつ試験，演習課題の合計点が 55 点以上

Report(30%) and examination(70%)
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A：total score of examination and report is 80 pointrs or higher.
B：total score of examination and report is 65 pointrs or higher.
C：total score of examination and report is 55 pointrs or higher.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

三好　孝典　D-509　miyoshi@me.tut.ac.jp　　Tel.0532-44-6698
Takanori Miyoshi D-509 miyoshi@me.tut.ac.jp　　Tel.0532-44-6698

ウェルカムページ

http://www.syscon.me.tut.ac.jp/
http://www.syscon.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー

授業実施日の講義時間 前後

Around lecture time

学習・教育到達目標との対応

(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード

現代制御，リカッチ方程式，最適制御

現代制御，リカッチ方程式，最適制御 Modern control, Ricatti equation, Optimal control

(B11623090)システム工学[System Engineering]

科目名[英文名]	システム工学[System Engineering]				
時間割番号	B11623090	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	真下　智昭 MASHIMO Tomoaki				
ナンバリング	MEC_BAC35020				

授業の目標

システム工学では，機械工学，電気電子工学，情報工学などに基づいて構成されるシステムを扱う．センサ，アクチュエータなどの要素技術の原理を理解した上で，これらの要素を組み合わせたシステムの設計手法や制御手法に関する基礎知識を学習する．

System Engineering deals with an interdisciplinary system consisting of mechanics, electronics, and computer science. Students study the principles of basic components such as sensors and actuators and learn the fundamental design and control of systems.

授業の内容

1. センサ
2. アクチュエータ
3. システム制御
4. 画像の基本
5. 画像処理
6. 物体検出
7. 視覚フィードバックシステム
8. 復習，テスト

1. Sensors
2. Actuators
3. System Control
4. Images
5. Image Processing
6. Object Detection
7. Visual Feedback System
8. Review and Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容について予習してくること。

Students review the lecture contents and prepare for the next lecture every week.

関連科目

計測工学，制御工学，機械力学

Instrumentation engineering, Control Engineering

教科書に関する補足事項

必要に応じて資料を配布する．

English handouts will be provided.

参考書 1	**書名**	ROBOTICS（ロボティクス）			**ISBN**	978-4888982085
	著者名	日本機械学会	**出版社**	日本機械学会	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）システムを構築するために必要な要素技術の原理を理解すること．

（2）簡単なシステムの設計と制御ができるようになること．

(1) Understand the principles of basic components that are necessary to design systems.

(2) Enable the design and control of systems.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法

定期試験（80%），レポート（20%）

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

A：達成目標を 80%以上達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上

B：達成目標を 65%以上達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%以上達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Examination 80% and Reports 20%

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A：Total score of examination and report is 80 points or higher.
B：Total score of examination and report is 65 points or higher.
C：Total score of examination and report is 55 points or higher.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

真下 智昭
email: mashimo@eiiris.tut.ac.jp

Tomoaki Mashimo
email: mashimo@eiiris.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

email で随時時間を打ち合わせる.
Contact the lecturer by e-mail first.

学習・教育到達目標との対応

(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード

(B11623100)システム最適化[Systems Optimization]

科目名[英文名]	システム最適化[Systems Optimization]				
時間割番号	B11623100	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	内山　直樹 UCHIYAMA Naoki				
ナンバリング	MEC_BAC35020				

授業の目標

制約条件のもとで目的関数を最大あるいは最小化する数理計画法の基礎事項を理解する。

Provides fundamentals of mathematical programming that optimizes an objective function under constraints.

授業の内容

第 1 週:数理計画法の概要
第 2 週:線形計画法の概要
第 3 週:シンプレックス法(1)
第 4 週:シンプレックス法(2)
第 5 週:非線形計画法の概要
第 6 週:勾配法
第 7 週:2次補間法
第 8 週:復習 45 分, 定期試験 45 分

1st week: Fundamentals of mathematical programming
2nd week: Fundamentals of linear programming
3rd week: Simplex algorithm I
4th week: Simplex algorithm II
5th week: Fundamentals of nonlinear programming
6th week: Gradient method
7th week: Quadratic interpolation method
8th week: Summary (45min) and final examination (45min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次回の内容について教科書等を参考に予習してくること。

Required to prepare for and review each lecture contents based on a textbook.

関連科目

微積分, 線形代数に関する基本的知識を必要とする。

Calculus and Linear algebra

教科書に関する補足事項

プリントを配布します。

Handouts will be provided.

参考書 1	**書名**	数理計画法の基礎			**ISBN**	978-4627916418
	著者名	坂和 正敏	**出版社**	森北出版	**出版年**	1999
参考書 2	**書名**	Schaum's Outline of Operations Research 2nd Edition			**ISBN**	978-0070080201
	著者名	Richard Bronson	**出版社**	McGraw-Hill Education	**出版年**	1997

参考書に関する補足事項

達成目標

1)数理計画法の基礎事項を理解する。
2)線形計画法の概要を理解する。
3)シンプレックス法のアルゴリズムを理解する。
4)非線形計画法の概要を理解する。
5)勾配法, 2次補間法のアルゴリズムを理解する。

(1) Expected to understand fundamentals of mathematical programming.

(2) Expected to understand the theory of the simplex method.
(3) Expected to understand fundamentals of nonlinear programming.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法　:達成目標の到達度を以下の手段で評価する。
　　定期試験（100%）

評価基準:評価法による得点（100点満点）が55点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする.
　　なお得点によって達成の程度を明示する。
　　評価A:80点以上，評価B:65点以上，評価C:55点以上
The grade will be determined by the end-of term examination score only (100 %).

The credit of this course is given if the score of the above examination is 55% or over.
Grade levels are C (55% - less than 65%), B (65 - less than 80%) and A (80% or over).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

E-mail: uchiyama@me.tut.ac.jp
E-mail: uchiyama@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

記述なし

オフィスアワー

E-mail で随時時間を打ち合わせる。
Contact the lecturer by e-mail first.

学習・教育到達目標との対応

(D) 技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
　技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力
(D1) 機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D2)実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から観察し，説明する能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to observe and explain things from the viewpoint of technological science

キーワード

数理計画法，線形計画法，非線形計画法
Mathematical Programming, Linear Programming, Nonlinear Programming

(B11624060)燃焼工学[Combustion Engineering]

科目名[英文名]	燃焼工学[Combustion Engineering]				
時間割番号	B11624060	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	中村　祐二 NAKAMURA Yuji				
ナンバリング	MEC_BAC36022				

授業の目標

燃焼に伴う物理現象および化学現象を講義する。特に各種燃焼器の特性・性能を評価するために必要となる基礎知識を習得することを目的とする。

This coursework is devoted to learn fundamentals of physical and chemical processes in combustion. The main aim of the coursework is to learn the way to evaluate the performance of the combustors through deep understanding of the precise flame structure and achievable maximum temperature due to the exothermic reaction system.

授業の内容

1週目　燃焼の分類
2週目　化学反応と熱力学（その1）
3週目　化学反応と熱力学（その2）
4週目　断熱火炎温度（1）
5週目　断熱火炎温度（2）
6週目　着火と消炎
7週目　層流火炎の構造と特徴
8週目　試験(90 分)

#1 introduction to Combustion
#2 chemical reaction and thermodynamics (1)
#3 chemical reaction and thermodynamics (2)
#4 adiabatic flame temperature (1)
#5 adiabatic flame temperature (2)
#6 ignition and extinction
#7 structure in laminar flames
#8 final exam (90 min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Students are expected to complete their homework (if any) and exercise/training on a voluntarily basis to gain deep understanding what was taught in the coursework.

関連科目

流体力学、伝熱工学、応用熱力学

Fluid dynamics, Heat transfer, Applied thermodynamics

教科書に関する補足事項

必要に応じて資料を配布する

Instructors will provide the materials as necessary

参考書 1	**書名**	An Introduction to Combustion			**ISBN**	978-2881246081
	著者名	Warren C. Strahle	**出版社**	CRC Press	**出版年**	1993
参考書 2	**書名**	Combustion Engineering (3rd ed.)			**ISBN**	
	著者名	Yukio Mizutani	**出版社**	Morikita Publisher	**出版年**	2002
参考書 3	**書名**	燃焼工学，第 3 版			**ISBN**	
	著者名	水谷幸夫	**出版社**	森北出版	**出版年**	2002
参考書 4	**書名**	Combustion Engineering			**ISBN**	

	著者名	K. Ohtake, T. Fujiwara	**出版社**	Corona Publisher	**出版年**	1985
参考書 5	**書名**	燃焼工学			**ISBN**	
	著者名	大竹一友・藤原俊隆	**出版社**	コロナ社	**出版年**	1985

参考書に関する補足事項
特になし

For international student, please consult the instructor for reference textbooks.

達成目標
(1)エネルギ供給における燃焼の役割および技術的諸問題を理解する。
(2)燃料に関する知識を習得する。
(3)燃焼の化学と熱力学を習得する。
(4)代表的な火炎構造・燃焼機構を学習する。
*Understanding of the role of combustion in energy problem
*Gain deep understanding on fuel to be burned
*Understand the fundamental chemical steps and thermodynamics on combustion
*Learn the major flame structure and its features

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法:
達成目標の到達度を以下の手段で評価する。
定期試験(期末試験 70%)+レポート(30%)
評価基準:
評価法による得点(100 点満点)が 55 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする。なお得点によって達成の程度を明示する。
評価 A:80 点以上, 評価 B:65 点以上, 評価 C:55 点以上

Instructors will rate your score via combination of final exam (70%) and homeworks (30%). To qualify the coursework, you must pass 55 point out of 100 and rating is as follows: A (> 80 points), B (> 65 points), C (> 55 points)

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
持ち込み可とすることがあるが, 持ち込めるものは印刷物, ノートに限る(電子資料は不可)
It is possible to allow students to bring their printed materials (including notes); electric materials are not allowed.

その他
中村祐二;部屋番号:D−311、内線:6647、E-mail:yuji@me.tut.ac.jp
If you have any question, please ask course instructors (Assoc. Prof. Nakamura).
Assoc. Prof. Nakamura: Rm D311, ext. 6647, mail:yuji@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ
なし
N/A

オフィスアワー
e-mail で随時時間を打ち合わせる.

Send mail to instructors to book their time first, if you would like to visit to have face-to-face-discussion

学習・教育到達目標との対応
(D1) 機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力
(D4) 4 コースのうちで 1 つの専門コースに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力
○機械・システムデザインコース
○材料・生産加工コース
○システム制御・ロボットコース
○環境・エネルギーコース

(D1)機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース, 材料・生産加工コース, システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1

つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード
燃焼, 熱工学, 熱力学, 化学反応
Combustion, Thermal Engineering, Thermodunamics, Chemical Reaction

(B11624070)熱エネルギー変換[Thermal Energy Conversion]

科目名[英文名]	熱エネルギー変換[Thermal Energy Conversion]				
時間割番号	B11624070	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期2	曜日時限	火 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　孝司 SUZUKI Takashi				
ナンバリング	MEC_BAC36020				

授業の目標

熱エネルギーを機械的仕事に変換する熱機関について，それらの基礎理論や特性を学ぶ．熱機関から排出される有害物質は社会問題にもなっており，本講義では環境問題にも触れ，エンジニアとしてどのように対処すべきかを学ぶ．

Heat engine is a kind of energy conversion system in which mechanical work is performed.

授業の内容

1週：導入／内燃機関の歴史
2週：熱機関の種類と特徴、効率、経済性
3週：内燃機関のための熱力学
4週：ガスタービン
5週：蒸気動力プラント
6週：火花点火機関
7週：圧縮点火機関
8週：まとめ 45 分／期末試験 45 分

1 Introduction
2 Thermal Efficiency and Cost Performance of Heat Engines
3 Thermodynamics for Heat Engines
4 Gas Turbines & Jet Engines
5 Steam Power Plants
6 Spark-Ignition Engines
7 Compression-Ignition Engines
8 Summary / Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

関連科目

工業熱力学，応用熱力学，燃焼工学，水力学，流体力学
Thermodynamics

教科書に関する補足事項

プリント配布

Hand-offs will be given throughout the class.

参考書 1	書名	機械工学便覧　応用システム編γ４　内燃機関			ISBN	
	著者名	日本機械学会	出版社	丸善	出版年	2006
参考書 2	書名	熱力学・事例でわかる考え方と使い方			ISBN	
	著者名	君島真仁ほか	出版社	実教出版	出版年	
参考書 3	書名	ファーストブック熱工学がわかる			ISBN	
	著者名	門田和雄・長谷川大和	出版社	技術評論社	出版年	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)代表的な熱機関の構造や動作原理を理解する．

(2)代表的な熱機関の特徴や性能評価法について学習する.
(3)熱機関に使用される燃料，採られている環境対策について学習する.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:
定期試験(期末) 100%
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A:達成目標を全て達成しており，かつ評価法による得点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつ評価法による得点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつ評価法による得点(100 点満点)が 55 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

E-mail takashi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

e-mail で随時時間を打ち合わせる.
Take an appointment by e-mail

学習・教育到達目標との対応

キーワード

エネルギー変換，熱機関
Internal-Combustion Engine, Heat Engines, Energy Conversion

(B11624080)応用流体力学[Applied Fluid Mechanics]

科目名[英文名]	応用流体力学[Applied Fluid Mechanics]				
時間割番号	B11624080	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	飯田　明由 IIDA Akiyoshi				
ナンバリング	MEC_BAC36022				

授業の目標

流体力学は、機械工学はもとより、エネルギー工学、環境工学、土木建築工学等の様々な分野でその基礎を構築するものの一つである。この講義では、流体力学の理論体系が実験結果や実際の工業的あるいは日常的な流体現象をどのように記述、表現しているかを解説する。 内容は流体力学の基礎である流体に作用する応力，運動量，連続の式，渦，非圧縮 NS 方程式を含み，乱流についても説明する.

Fluid mechanics is not only the fundamental subject of mechanical engineering, but also its application areas range from bio-mechanics energy engineering, environmental engineering, architectural and civil engineering, wide up to space engineering.
In this course, study about fundamental of fluid mechanics, and applications of actual industrial fluid. Includes stress and strain rate descriptions, fluid statics, use of differential and finite control volume analysis with continuity, momentum, and energy equations, vorticity, potential flow, incompressible viscous flow using Navier-Stokes equations, dimensional analysis, boundary layers, separation, introduction to turbulence.

授業の内容

01　層流境界層の概念
　境界層の物理的な意味と境界層方程式の導出を行なう.

02　境界層の性質
　境界層方程式の解を求め，境界層の性質について学ぶ.

03　層流境界層の運動方程式
　層流境界層に関する運動方程式について学ぶ.

04　層流と乱流、遷移
　層流と乱流の違い，遷移課程について学ぶ.

05　管路の乱流と壁面粗さ
　円管内の乱流について学ぶ.

06　物体の受ける流体力
　物体周りの流れと流体力の関係について円柱を例にとって解説する.

07　噴流・後流
　噴流や物体の後にできる流れの性質について学ぶ.

08　まとめ及び試験
　これまでの講義のまとめと乱流の基礎理論についての学習　及び　定期試験

01 Concept of boundary layer
Explain concept and physical meaning of boundary layer.
Introduce equations of the boundary layer.
02 Properties of the boundary layer.

In order to study properties of boundary layer, solve the simplified boundary layer equations.
03 The equation of motion of boundary layer
Learn about the equation of motion on the laminar boundary layer.
04 Laminar flow and Turbulence. Transition of Flows
Understand difference of laminar and turbulent flow.
Learn about the transition of flows.
05 Turbulence of pipe flow. Surface roughness
Learn about the turbulence of the circle pipe.
06 Aerodynamic force act on body
Explain the properties of aerodynamic forces by using the example of the circular cylinder case.
Understand the relationship between fluid forces and Reynolds numbers
07 Jet and Wake
Learn about the properties of the jet and wake.
08 Summary of Lecture and Test
Summary of this lecture and study about the basic theory of turbulence (if time is available).
Final Test

予習・復習内容
・各講義の最後に次回講義内容のプリントを配布するので，配布資料を事前に読んでおくことにより，講義内容を予習する.
・講義内容に関する演習課題のプリントを配布し，講義内容を復習する.

関連科目
力学、水力学、流体物理学、統計力学

教科書に関する補足事項
プリント配布
Print

参考書 1	**書名**	流体力学			**ISBN**	
	著者名	日野幹男	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	1992
参考書 2	**書名**	An Introduction to Fluid Dynamics			**ISBN**	
	著者名	G. K. Batchelor	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2000
参考書 3	**書名**	Physical Fluid Dynamics			**ISBN**	
	著者名	D. J. Tritton	**出版社**	Oxford Univ Pr	**出版年**	1988

参考書に関する補足事項
英語に慣れるため，英語の教材を各自で図書館で調べておくように.

達成目標
(1) 流体力学的な概念や公式の意味を正しく理解できる。
(2) 用語や単位系を正しく使用することができる。
(3) 流体力学的な問題を微分方程式で表し、物理量を求めることができる。
(4) 境界層方程式、その運動方程式を導き、ブラジウス解を算出できる。
(5) 境界層のはく離とその制御法について説明できる。
(6) 乱流の発生とレイノルズ応力について説明できる。
(7) 管路の乱流、噴流、後流について理解している。
(8) 自動車や風車などの流れ場について説明できる。
(9) 数値流体解析について理解し，解析手法について説明できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：定期試験で評価する。
評価基準：評価法による得点(100 点満点)が 55 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする。なお、その得点によって、評価 A は 80 点以上、評価 B は 65 点以上、評価 C は 55 点以上とする。

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
部屋：D 棟 D-410 内線：6680

e-mail：iida@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://aero.me.tut.ac.jp

オフィスアワー
月曜日 13:00-15:00

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D2)実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から観察し，説明する能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to observe and explain things from the viewpoint of technological science

キーワード

(B11624090)流体エネルギー変換[Fluid Energy Conversion]

科目名[英文名]	流体エネルギー変換[Fluid Energy Conversion]				
時間割番号	B11624090	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期2	曜日時限	月 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	柳田　秀記 YANADA Hideki				
ナンバリング	MEC_BAC36020				

授業の目標

流体エネルギーと機械的エネルギー相互の変換をする流体機械(ポンプ，水車など)について，その基礎理論や特性を学ぶ.

Students acquire knowledge of fundamental principles and characteristics of fluid machinery such as pump and hydraulic turbine in which mechanical and fluid energy are mutually converted.

授業の内容

1 週:流体機械の定義と分類，ターボ機械の種類と作動原理
2 週:オイラーヘッド
3 週:遠心ポンプの特性
4 週:軸流ポンプの特性
5 週:ターボポンプの作動点
6 週:ターボ機械の相似則と比速度
7 週:水車の種類と特性
8 週:復習 45 分，定期試験 45 分

1st week:Definition and classification of fluid machinery, types of turbo machinery
2nd week:Euler head
3rd week:Characteristics of centrifugal pumps
4th week:Characteristics of axial pumps
5th week:Operating points of turbo pumps
6th week:Similarity and specific speed
7th week:Characteristics of hydraulic turbines
8th week:Review (45 min) and examination (45 min)

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Students are requested to review each class by solving problems assigned and to prepare the next class by reading the printed teaching material.

関連科目

水力学，流体力学
Hydraulics, Fluid mechanics,

教科書に関する補足事項

プリント配布

A printed teaching material is given.

参考書 1	書名	ターボ機械　入門編　新改訂版			ISBN	
	著者名	ターボ機械協会	出版社	日本工業出版	出版年	2005
参考書 2	書名	Centrifugal and Axial Flow Pumps			ISBN	
	著者名	A. J. Stepanoff	出版社	John Wiley & Sons, Inc	出版年	
参考書 3	書名	流体機械の基礎			ISBN	
	著者名	井上雅弘・鎌田好久	出版社	コロナ社	出版年	1989
参考書 4	書名	Fluid Machinery			ISBN	
	著者名	G. S. Sawhney	出版社	I. K. International	出版年	

				Publishing House Pvt. Ltd.		
参考書 5	**書名**	流体機械			**ISBN**	
	著者名	村上光清・部谷尚道	**出版社**	森北出版	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)ターボ機械の作動原理と種類を理解する.
(2)ターボ機械における損失を理解する.
(3)ターボ機械の効率や動力を求めることができる.
(4)ターボ機械の負荷特性と作動点を理解する.
(5)ターボ機械の相似則を理解する.
(1)To understand types and working principles of turbomachines
(2)To understand energy losses in turbomachines
(3)To be able to calculate efficiency, shaft power or hydraulic power, etc. of turbomachines
(4)To understand operating points of turbomachines
(5)To unaderstand similarity of turbomachines

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

試験 80%, 課題 20%として 100 点満点で評価する.
評価点が 55 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とし, 得点によって達成の程度を以下のように明示する.
評価 A:80 点以上
評価 B:65～79 点
評価 C:55～64 点
Each student's achievement is evaulated by the sum of examination (80%) and reports (20%).
Students will be evaluated as follows:
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

電卓を必ず持参すること.
Each student has to take a calculator with him/her.

その他

居室:D-309, 電話:44-6668, e-mail:yanada@me.tut.ac.jp
Office:D-309, Tel:44-6668, e-mail:yanada@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

e-mail で随時時間を打ち合わせる.
The date and time are arranged by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース, 材料・生産加工コース, システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード

流体機械, ターボ機械, ポンプ, 水車
Fluid machinery, Turbo machinery, Pump, Hydraulilc turbine

(B11630030)CAD／CAM／CAE演習[CAD/CAM/CAE Exercise]

科目名[英文名]	CAD／CAM／CAE演習[CAD/CAM/CAE Exercise]				
時間割番号	B11630030	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 4～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	足立　忠晴，中村　祐二，横山　博史，永井　萌土 ADACHI Tadaharu, NAKAMURA Yuji, YOKOYAMA Hiroshi, NAGAI Moeto				
ナンバリング	MEC_BAC32020				

授業の目標

機械の設計，製造現場において，CAD による設計，コンピュータによる解析および数値制御(NC)に基づいた加工および組立(CAM)がコンピュータを利用して行われている．本講義において，これら一連の技術を理解することを目的とする．授業は講義と実習で構成され，これまで得てきた知識に基づいて，求められた仕様に対して，学生自身が新たに考えた機械構造を設計し，解析し，さらには加工までを行い，まとめとして，設計した機械構造の特徴を説明するための発表会を行う．講義内の実習において，できるだけ自主的に調査，行動，検討することが求められる．

Computer-aided design (CAD), numerical simulation (computer-aided engineering: CAE) and computer-aided manufacturing (CAM) are applied in practical processes of designing and manufacturing machines. In the class: CAD-CAM-CAE Exercise, these techniques are studied. The content of the class consists of lecture and practical works. On the basis of engineering knowledge gained in other classes, a new machine or structure is designed for given specification, analyzed and manufactured by a student. Finally the summary of the machine or structure is presented and discussed. Voluntary and active reviews and works are required in the class.

授業の内容

第 1 回 講義内容の説明．課題説明など．講義：CAD/CAM の概要
第 2 回 講義：FEM 概論 #1．実習：Solidworks による CAD 操作
第 3 回 講義：FEM 概論 #2．実習：Solidworks による CAD の操作
第 4 回 実習：Solidworks による有限要素解析．実習：Solidworks による有限要素解析
第 5 回 講義：設計 I 課題説明．実習：設計 I，検討
第 6 回 実習：設計 I，CAD モデル作成．実習：設計 I，CAD モデル作成
第 7 回 実習：設計 I，FEM 解析．実習：設計 I，FEM 解析・評価
第 8 回 実習：設計 I，報告書作成．実習：設計 I，報告書(設計 I)作成，報告書(設計 I)提出
第 9 回 講義：講評（設計 I）．設計 II 課題説明．実習：設計 II，CAD モデル作成
第 10 回 実習：設計 II，CAD モデル作成．実習：設計 II，FEM 解析
第 11 回 実習：設計 II，FEM 解析．実習：設計 II，FEM 解析，評価
第 12 回 実習：CAM プログラム(NC コード)作成＋加工シミュレーション
第 13 回 実習：CAM プログラム(NC コード)作成＋加工シミュレーション
第 14 回 実習：設計 II：報告書(設計 II)作成・プレゼンテーション(設計 II)準備
第 15 回実習：設計 II：報告書(設計 II)作成・プレゼンテーション(設計 II)準備，報告書(設計 II)提出
第 16 回 プレゼンテーション(設計 II)．講評（設計 II）

1. Explanation of class. Lecture: review of CAD/CAM.
2. Lecture: overview of finite element method (FEM). CAD training by Solidworks.
3. Lecture: overview of finite element method (FEM). CAD training by: Solidworks.
4. FEM training by Solidworks.
5. Explanation of design assignment #1. Design #1 of machine/structure.
6. Design #1: design, modelling and analysis of machine/structure.
7. Design #1: design, modelling and analysis of machine/structure.
8. Design #1: design, modelling and analysis of machine/structure. Making and submitting report of machine/structure.
9. Evaluation of designed machine/structure (Design #1). Explanation of design assignment #2. Design #2: design of machine/structure.
10. Design #2: design, modelling and analysis of machine/structure.
11. Design #2: design, modelling and analysis of machine/structure.
12. Programing numerical control code for manufacturing, and manufacturing simulation.
13. Programing numerical control code for manufacturing, and manufacturing simulation.
14. Preparation for presentation of designed machine/structure and making report (Design II).
15. Preparation for presentation of designed machine/structure and submitting report (Design II).
16. Presentation and evaluation of designed machine/structure (Design II).

予習・復習内容

授業の進行にしたがって，ソフトウェアの使用方法を修得していく必要がある．設計に必要な知識は Web，図書館などにて自分で入手すること

Operation of Solidworks must be mastered by yourself. Knowledge necessary to design must be found out on internet and/or in library.

関連科目

図学，図学演習，設計製図 I，設計製図 II，設計製図 III，機械設計．同じ学期に開講されている弾性力学を受講していることが望ましい．
Descriptive Geometry, Descriptive Geometry Exercise, Machine Drawing 1, 2 and 3, Machine Design. Attendance of theory of elasticity is recommended.

教科書に関する補足事項

Handouts are given in the lecture.
Handouts are given in the lecture.

参考書に関する補足事項

設計のために必要に応じて参考書，インターネットからの情報などを参考にすること．
If you need, some books and information on web sites are used as references for design.

達成目標

(1) CAD から CAM までの一連のコンピュータ援用技術を理解する．
(2) これまで得た機械工学に関する知識を機械設計へ活用する方法を学ぶ．
(3) 技術的な課題について問題解決能力，創造力，プレゼンテーション能力を養う．
(1) Process from CAD to CAN is understood.
(2) Application of mechanical engineering knowledge can be applied to mechanical design.
(3) Abilities to solve problems, create and presentation are cultivated.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎回，提出を求められる課題の内容および数回の報告書・発表の内容により評価される．具体的には設計 I 報告書 10%，設計 II 報告書 40%，CAM 報告書 20%および毎回求められるレポート 30%により評価する．なお，3 つの報告書をすべて提出しなければ単位が認定されない．
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する．
S：達成目標をすべて達成しており，報告書・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A：達成目標をすべて達成しており，報告書・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B：達成目標をすべて達成しており，報告書・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C：達成目標をすべて達成しており，報告書・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
Report of design #1: 10%, Report of design #2, Report of CAM: 20%, Short report of each class: 30%
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 90% of goals and obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

実習中にできるだけ質問することを勧める．授業終了後も随時，質問をうける．
Asking in the class is strongly recommended. After class, a student can ask anytime.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

CAD，CAM，CAE，有限要素法
CAD, CAM, CAE, Finite element method

(B11630040)材料力学Ⅰ[Mechanics of Materials 1]

科目名[英文名]	材料力学Ⅰ[Mechanics of Materials 1]				
時間割番号	B11630040	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	足立　忠晴 ADACHI Tadaharu				
ナンバリング	MEC_BAC21220				

授業の目標

機械・構造物が破壊しないように安全に使用できるように，機械あるいは構造物を設計(材料選択と形状決定)を行うために，変形する材料の力学を学ぶ．材料力学では，力，モーメントが作用したときの，基本的な形状の構造部材の引張・圧縮変形、ねじり変形，曲げ変形および構造内に生じる応力を理解することを目標とする．特に材料力学Ⅰでは，構造に作用する力とモーメントを学び，引張・圧縮変形，ねじり変形により生じる応力，ひずみについて学習する．

Mechanics of a deformable body is studied in "Mechanics of Solids" for design a machine or structure: material selection and determination of dimension to use the machine or structure safely without failure and/or fracture. The purpose of the class is to understand stress and deformation of a fundamental component of the structure when forces and moments are applied. Forces and moments in the component is studied and stresses and strain in a tensioned (compressed) bar and torsional bar are discussed in "Mechanics of Solid I".

授業の内容

第 1 週 第 1 章 はじめに: 講義の目的，強度と剛性．第 2 章 材料力学の基本的な考え方．
第 2 週 第 3 章 力とモーメント：力とモーメントの概念，力とモーメントのつり合い．
第 3 週 第 3 章 力とモーメント：棒に作用する力とモーメント．内力と外力．
第 4 週 第 3 章 力とモーメント：棒の引張・ねじり・曲げ．
第 5 週 力とモーメント：構造に作用する力とモーメント．
第 6 週 中間試験および力と第 3 章のまとめ(中間試験の解説)
第 7 週 第 4 章 材料の引張変形特性．
第 8 週 第 5 章 棒の引張・圧縮変形：力のつり合い，静定問題．
第 9 週 第 5 章 棒の引張・圧縮変形：静定問題．不静定問題
第 10 週 第 5 章 棒の引張・圧縮変形：熱応力，一様強さの棒．
第 11 週 中間試験および第 4 章，第 5 章のまとめ (中間試験の解説)
第 12 週 第 6 章 軸のねじり変形：ねじりモーメントとせん断応力の関係．
第 13 週 第 6 章 軸のねじり変形：ねじり変形の仮定．
第 14 週 第 6 章 丸軸のねじり変形： 静定問題
第 15 週 第 6 章 丸軸のねじり変形： 不静定問題
第 16 週 期末試験および第 6 章のまとめ(期末試験の解説)

1. Chapter 1 Introduction: purpose of lecture: strength and stiffness. Chapter 2 Concept and principle of Mechanics of Solids.
2. Chapter 3 Forces and moments: definition of forces and moments, equilibrium of forces and moments.
3. Chapter 3 Forces and moments: forces and moments in bar, internal and external forces.
4. Chapter 3 Forces and moments: tension (compression), torsion and bending.
5. Chapter 3 Forces and moments: forces and moments in structure.
6. Examination #1 from Chapter 3. Answer and comment of examination #1.
7. Chapter 4 Mechanical property of materials
8. Chapter 5 Tension and compression of bar: equilibrium of forces, statically-determinate problem.
9. Chapter 5 Tension and compression of bar: statically-determinate and statically-indeterminate problems
10. Chapter 5 Tension and compression of bar: thermal stress, bar of uniform strength.
11. Chapter 5 Examination #2 of Chapters 4 and 5. Answer and comment of examination #2.
12. Chapter 6 Torsion of axis: relation between torsional moment and shear stress.
13. Chapter 6 Torsion of axis: assumption of torsional deformation.
14. Chapter 6 Torsion of axis: statically-determinate problem.
15. Chapter 6 Torsion of axis: statically-indeterminate problems
16. Examination #3 of Chapter 6. Answer and comment of examination #3.

予習・復習内容

各章の演習問題を適時，解くことにより授業内容を理解する．さらに授業内において，演習問題の解説と自分自身で解いた問題の解答を比較することでより理解を深める．

Problems given in each chapter must be solved by yourself to understand the contents of each chapter. By comparing solutions of some problems explained in the class, mechanics of solids will be understood deeply.

関連科目

材料力学Ⅱ，機械力学，弾性力学
Mechanics of solids II, Kinetics of Machinery, Theory of elasticity.

教科書に関する補足事項

講義内で配布される資料により授業を行う.
Lessons are given by using handouts distributed in the class.

参考書 1	**書名**	Mechanics of Engineering Materials			**ISBN**	
	著者名	P.P. Benham, R.J. Crawford and C.G. Armstrong	**出版社**	Longman	**出版年**	
参考書 2	**書名**	材料力学 上・下巻			**ISBN**	
	著者名	中原一郎	**出版社**	養賢堂	**出版年**	
参考書 3	**書名**	Mechanics of Materials			**ISBN**	
	著者名	F.P Beer, Johnston E.R.Jr.	**出版社**	McGraw-Hill	**出版年**	

参考書に関する補足事項
その他, 材料力学について多くの参考書が出版されている. 適示, 参考にすること.
Many references related to the class are published. Reading the references is recommended by yourself.

達成目標
(1) 構造物に作用する力とモーメントを求めることができる.
(2) 材料の基本的な力学的性質について理解することができる.
(3) 応力とひずみの概念について理解する.
(4) 引張・圧縮を受ける棒に生じる応力と変形を求めることができる.
(5) ねじりを受ける丸軸に生じる応力と変形を求める事ができる.
(1) Forces and moments in a structure can be determined.
(2) Mechanical properties of material are known.
(3) Concept of stress and strain is understood.
(4) Stress and deformation of a tensioned/compressed bar can be determined.
(5) Stress and deformation of a torsional axis can be determined.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法　:達成目標の到達度を以下の手段で評価する.
　　定期試験(試験 #1 30% + 試験 #2 40% + 試験 #3 30%)
評価基準:評価法による得点(100 点満点)が 55 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする. なお得点によって達成の程度を明示する.
評価 S:90 点以上, 評価 A:80 点以上, 評価 B:70 点以上, 評価 C:60 点以上
S: Achieved 90% of goals and obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
中間試験および期末試験のすべてを受験すること.
Three examinations are conducted. Students must take every examination.

その他
部屋番号: D-305
内線: 6664
Email: adachi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://solid.me.tut.ac.jp
http://solid.me.tut.ac.jp

オフィスアワー
随時. 部屋に来ること. できれば E-mail にて来室日時を連絡した方がよい.
Come to my room anytime. If possible, inform me by email before coming.

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
キーワード 材料力学, 構造力学, 力, モーメント. 応力, ひずみ, 引張, 圧縮, ねじり Mechanics of solids, Structural mechanics, Force, Moment, Stress, Strain, Tension, Compression, Torsion

(B11630070)機械の材料と加工[Materials and Processing in Mechanical Engineering]

科目名[英文名]	機械の材料と加工[Materials and Processing in Mechanical Engineering]				
時間割番号	B11630070	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	福本　昌宏, 戸高　義一 FUKUMOTO Masahiro, TODAKA Yoshikazu				
ナンバリング	MEC_BAC31322				

授業の目標

金属加工の代表である溶接法について、アーク溶接、抵抗溶接などの基本原理、適用例を学習するとともに、溶接部の組織と機械強度との関係を学ぶ。

金属の構造・組織と力学特性との関係を理解し、実用材料の設計，各種特性の制御ための基礎的な事項を習得することを目標とする。

To understand the fundamental principle and applications of the normal welding processes and the relation between microstructure of the weld part and mechanical properties.
Through understanding the relation between a structure/microstructure and a mechanical property of metals, learn the basics of actual material design and property control.

授業の内容

下記に示す内容を順次講義し，講義内容を受けて適宜関連課題の演習を行う.

1 週目　溶接の特徴，溶接の分類，溶融溶接の要点と接合機構，ガス溶接の原理 ［福本］
1st week: Chapter 30 Fusion Welding Processes, 30.1, 30.2 Oxyfuel-gas welding
2 週目　アーク溶接の原理，電源特性，自己制御作用，表面清浄作用，被覆アーク，サブマージアーク溶接の原理と制御因子 ［福本］
2nd week: Chapter 30, 30.3 Arc-welding Processes
3 週目　炭酸ガスアーク，エレクトロガス，ミグ，ティグ溶接の原理と特徴・用途 ［福本］
3rd week: Chapter 30, 30.3 Arc-welding Processes
4 週目　プラズマアーク，駆動アーク，アークスタッド溶接，電子ビーム溶接技術の原理と特徴・用途 ［福本］
4th week: Chapter 30, 30.4, 30.5 Arc-welding
5 週目　レーザー，エレクトロスラグ，各種抵抗，テルミット等非アーク溶接技術の原理と特徴・用途 ［福本］
5th week: Chapter 30, 30.6, 30.7 Electron-beam, Laser-beam welding
6 週目　溶接部の特徴，組織，溶接変形と残留応力 ［福本］
6th week: Chapter 30, 30.9 Weld joint, Weld quality
7 週目　溶接欠陥およびその影響，溶接設計，溶接継手の強度計算 ［福本］
7th week: Chapter 30, 30.9 Testing
8 週目　溶接施工，溶接部の試験と評価(45 分)，および後半部分の試験(45 分) ［福本］
8th week: Summary: 45min. and regular examination: 45min.

09 週目　金属の構造（結晶構造，格子欠陥） ［戸高］
09th week: Chap.01, The structure of metals (crystal structures, lattice defects) ［TODAKA］
10 週目　金属の構造（回復，再結晶，結晶粒成長，拡散） ［戸高］
10th week: Chap.01, The structure of metals (recovery, recrystallization, grain growth, diffusion) ［TODAKA］
11 週目　金属の機械的性質（引張試験，硬さ試験） ［戸高］
11th week: Chap.02, Mechanical properties of metals (tensile test, hardness test) ［TODAKA］
12 週目　金属の機械的性質（疲労試験，衝撃試験，クリープ試験） ［戸高］
12th week: Chap.02, Mechanical properties of metals (fatigue test, impact test, creep test) ［TODAKA］
13 週目　金属の物理的性質，相変態（状態図） ［戸高］
13th week: Chap.03 & 04, Physical properties of metals & Phase transformation (Phase diagrams) ［TODAKA］
14 週目　相変態（TTT, CCT） ［戸高］
14th week: Chap.04, Phase transformation (TTT, CCT) ［TODAKA］
15 週目　熱処理 ［戸高］
15th week: Chap.04, Heat treatment ［TODAKA］
16 週目　まとめ(45 分)，および前半部分の試験(45 分) ［戸高］
16th week: Summary (45 min) and regular exam. (45 min) ［TODAKA］
1st week: Chapter 30 Fusion Welding Processes, 30.1, 30.2 Oxyfuel-gas welding ［FUKUMOTO］
2nd week: Chapter 30, 30.3 Arc-welding Processes ［FUKUMOTO］
3rd week: Chapter 30, 30.3 Arc-welding Processes ［FUKUMOTO］

4th week: Chapter 30, 30.4, 30.5 Arc-welding [FUKUMOTO]
5th week: Chapter 30, 30.6, 30.7 Electron-beam, Laser-beam welding [FUKUMOTO]
6th week: Chapter 30, 30.9 Weld joint, Weld quality [FUKUMOTO]
7th week: Chapter 30, 30.9 Testing [FUKUMOTO]
8th week: Summary (45min.) and regular exam. (45min) [FUKUMOTO]

09th week: Chap.01, The structure of metals (crystal structures, lattice defects) [TODAKA]
10th week: Chap.01, The structure of metals (recovery, recrystallization, grain growth, diffusion) [TODAKA]
11th week: Chap.02, Mechanical properties of metals (tensile test, hardness test) [TODAKA]
12th week: Chap.02, Mechanical properties of metals (fatigue test, impact test, creep test) [TODAKA]
13th week: Chap.03 & 04, Physical properties of metals & Phase transformation (Phase diagrams) [TODAKA]
14th week: Chap.04, Phase transformation (TTT, CCT) [TODAKA]
15th week: Chap.04, Heat treatment [TODAKA]
16th week: Summary (45 min) and regular exam. (45 min) [TODAKA]

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について講義資料・テキスト等を参考に予習してくること.

Review every time after the lecture and prepare for next lecture.

関連科目
学部2年次： 材料工学概論
学部3年次： 材料選択法
学部4年次： 接合加工学，構造材料学，材料工学基礎，材料信頼性工学
B2: Introduction to Materials Engineering
B4: Bonding technology, Structural materials, Intro. materials science, Reliability engineering for materials

教科書 1	**書名**	Manufacturing, Engineering and Technology SI (7th Edition)			**ISBN**	978-981-06-9406-7
	著者名	Serope Kalpakjian, Stephen R. Schmid	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項
上記教科書を購入すること。※関連内容の補助プリントを配布する。
Textbook shown above have to be purchased. Additionally, relating handouts will be given in the class.

It is desirable to purchase the textbook, but the textbook can also be lent, so please consult with the teachers.
The relating handouts will be given in the class.

参考書 1	**書名**	溶接要論			**ISBN**	4-8445-2723-1 C3053
	著者名	岡根 功	**出版社**	理工学社	**出版年**	2011
参考書 2	**書名**	溶接・接合工学の基礎			**ISBN**	4-621-03814-1 C3057
	著者名	溶接学会編	**出版社**	丸善	**出版年**	1993
参考書 3	**書名**	材料の科学と工学 <1> - <4>			**ISBN**	978-4563067120
	著者名	W.D. キャリスター(著), William D.,Jr. Callister (原著), 入戸野 修 (翻訳)	**出版社**	培風館	**出版年**	2002
参考書 4	**書名**	マテリアル工学シリーズ 1 材料科学概論			**ISBN**	978-4254236910
	著者名	佐久間健人，井野博満	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2000

参考書に関する補足事項
参考書 4
書名「マテリアル工学シリーズ 2 材料組織学， 著者名：高木節雄，津崎兼彰， 出版社：朝倉書店，
ISBN：978-4254236927， 出版年：2000

参考書 5
書名「マテリアル工学シリーズ 3 材料強度学」， 著者名：加藤雅治，熊井真次，尾中晋， 出版社：朝倉書店，ISBN：978-

4254236934,　出版年:1999
Textbook 4:
書名「マテリアル工学シリーズ 2　材料組織学,　著者名:高木節雄, 津崎兼彰,　出版社:朝倉書店,
ISBN:978-4254236927,　出版年:2000

Textbook 5:
書名「マテリアル工学シリーズ　3　材料強度学」,　著者名:加藤雅治, 熊井真次, 尾中晋,　出版社:朝倉書店, ISBN:978-4254236934,　出版年:1999

達成目標

主に下記項目に対する理解を得ること

A. 溶接に係る重要事項
(1) ガス溶接, アーク溶接, MIG/MAG/TIG溶接, レーザー溶接, 電子ビーム溶接, テルミット溶接宇の特性、極性、ピンチ効果を理解する。
(2) アークの特性, ピンチ効果, 表面清浄作用
(3) 溶接電源の特性, 自己制御作用
(4) 溶接部の組織, 溶接変形と残留応力
B. 基礎的事項
(1) 金属の構造・組織を理解する。
(2) 金属の構造・組織と機械的特性との関係を理解する。
(3) 金属の材質制御のための熱処理プロセスを理解する。
A. on the Welding
(1) Gas welding, Arc welding, Submerge welding, MIG/MAG/TIG welding, Laser welding, EB welding, Resistance welding
(2) Pinch effect, Surface cleaning effect
(3) Character of electric source for welding, Self controlling principle
(4) Microstructure of the weld metal, weld design, Residual stress in the weld
B. Basics
(1) Understand structure and microstructure of metals.
(2) Understand relation between structure / microstructure and mechanical properties of metals.
(3) Understand heat treatments for microstructural control.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:レポート, 演習課題(10%)および最終試験(90%)で評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席した者につき下記のように評価する。
S:達成目標「B. 基礎的事項」のすべてを達成し, かつレポート, 演習課題, 最終試験の合計点が 90 点以上
A:達成目標「B. 基礎的事項」のすべてを達成し, かつレポート, 演習課題, 最終試験の合計点が 80 点以上
B:達成目標「B. 基礎的事項」の 2 つを達成し, かつレポート, 演習課題, 最終試験の合計点が 70 点以上
C:達成目標「B. 基礎的事項」の 2 つを達成し, かつレポート, 演習課題, 最終試験の合計点が 60 点以上
Evaluation means: Final Examination (90%), Quiz and Report (10%)
Evaluation basis: Students who attend all classes will be evaluated as follows.
S: Achieve all objectives of "B. Basics", and total marks of quiz, reports and exam. are 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieve all objectives of "B. Basics", and total marks of quiz, reports and exam. are 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieve 2 objectives of "B. Basics", and total marks of quiz, reports and exam. are 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieve 2 objectives of "B. Basics", and total marks of quiz, reports and exam. are 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

授業内容を自筆ノートとして的確にまとめること。ものごとを自分の言葉で、また図を使って説明することを心掛けて欲しい。

ext.6692, fukumoto@tut.jp
ext.6704, todaka@me.tut.ac.jp
Make a self-written note of each lecture.
It is greatly encouraged to explain things by your own words using figure.

ext.6692, fukumoto@tut.jp
ext.6704, todaka@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

At anytime by e-mail.
At anytime by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)機械・システムデザインコース，材料・生産加工コース，システム制御・ロボットコース及び環境・エネルギーコースのうちで1つの専門コースにに関する幅広い専門知識と技術開発の実行能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among the Mechanical Systems Design Course, Materials and Manufacturing Course, System Control and Robotics Course and Environment and Energy Course

キーワード
工業材料，特性，構造，組織，溶接，接合
industrial material, property, structure, microstructure, welding, joining

(B11630080)材料物理化学[Physical Chemistry of Materials]

科目名[英文名]	材料物理化学[Physical Chemistry of Materials]				
時間割番号	B11630080	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	横山　誠二, 安井　利明 YOKOYAMA Seiji, YASUI Toshiaki				
ナンバリング	MEC_BAC31320				

授業の目標

機械材料などの製造および材料の使用において化学反応プロセスが関与する. 物理化学がは反応の終点およびそれに至る時間に関する知見を与える基礎学問である. 作製技術ならびに各種物性について、固体物理, 化学熱力学に立脚して学ぶ。また, バルク材料創製のための物理化学・移動現象について学び, それを応用できる応力を習得することを目的とする。

The materials for machine are produced through chemical reaction process. In addition, the materials used in machines are influenced by chemical reaction like oxidation. Comprehension of the physical chemistry is important for even mechanical engineer who design a chemical plant, electric generator and so on. Objectives of this subjects are to understand chemical thermodynamics and transport phenomena. Chemical thermodynamics gives us proceeding direction of chemical reaction. Transport phenomena gives us information the rate of chemical reaction.

授業の内容

第 1 回～第 8 回は化学熱力学, 化学平衡論(担当:横山), 第 9 回から第 15 回は移動現象, 反応速度論, 気体分子運動論, プラズマ(担当:安井)に関して講述する。

横山担当分は 2 週目以降, 毎回小テストとレポートを課す.

第 1 週目:基礎事項(温度, 圧力, 濃度など)
第 2 週目:状態方程式(理想気体, 実在気体)
第 3 週目:熱力学第 1 法則(熱とエンタルピー)
第 4 週目:熱力学第 2 法則とエントロピー
第 5 週目:相平衡と化学ポテンシャル
第 6 週目:ケミカルポテンシャルと平衡
第 7 週目:化学平衡と反応の標準 Gibbs エネルギーⅠ
第 8 週目:化学平衡と反応の標準 Gibbs エネルギーⅡ＋中間試験(45 分)
第 9 週目:移動現象の基礎(1)
第 10 週目:移動現象の基礎(2)
第 11 週目:拡散
第 12 週目:反応速度論
第 13 週目:演習
第 14 週目:気体分子運動論
第 15 週目:電離気体(プラズマ)
第 16 週目:期末試験

1st week – 8th week:Chemical thermodynamics(S. Yokoyama)
1st week: Fundamental issues (Temperature, pressure, concentration and so on)
2nd week: State equation (Ideal and real gases)
3rd week: First law of thermodynamics (Heat, Heat capacity and enthalpy)
4th week: Second law of thermodynamics and entropy
5th week: phase equilibrium and chemical potential
6th week: Chemical potential and equilibrium
7th week: Chemical equilibrium and Gibbs energy 1
8th week: Chemical equilibrium and Gibbs energy 2 and exam.
9th week: Fundamentals of transport phenomena 1
10th week: Fundamentals of transport phenomena 2
11th week: Diffusion
12th week: Chemical reaction rate
13th week: Exercise
14th week: Kinematics of gases
15th week: Plasma
16th week: Exam.

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに, 次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Review the content of every class. In addition, read the text before next class.

関連科目

材料プロセス工学（大学院）
接合加工学（学部4年）
表面プロセス工学特論（大学院）
Bonding Technology
Material Processing (Master)
Advanced Surface Modification Engineering (Master)

教科書に関する補足事項
関連内容のプリントを教務システムからダウンロードする。

Handouts are downloadable from information system, Dream Campus.

参考書 1	**書名**	Atkins' Physical Chemistry			**ISBN**	019969740X
	著者名	Peter Atkins, Julio De Paula	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	Transport phenomena			**ISBN**	0470115394
	著者名	R. Byron Bird et al	**出版社**	Wiley	**出版年**	2006
参考書 3	**書名**	熱力学			**ISBN**	9784627630215
	著者名	新井雅隆　古畑朋彦	**出版社**	森北出版	**出版年**	2008

参考書に関する補足事項
化学熱力学には多数の本が出版されている. 森北出版熱力学は英和対照となっている。
移動現象論（輸送現象論）には多数の本が出版されている.
Many books on thermodynamics and transport phenomena are available.

達成目標
1）学術用語，記号が理解できること
2）状態方程式，熱容量とエンタルピー，エントロピー，Gibbs エネルギー，化学平衡，金属製，精錬，水溶液についての知識を有し，これらを理解すること
3）拡散、化学反応速度、気体分子運動論、電離気体についての基本的な知識と理解
4）上記項目を応用できること

1)To understand the signs for technical terms.
2)To understand the technical terms.
3)To apply the things that the technical terms mean to practical usage.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
成績は横山および安井担当分を合算し，それを 100 点として以下のように評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
　ただし、過年度学生は以下のように評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を〇％達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

横山担当分
小テスト 10 点＋レポート 20 点＋定期試験 70 点で採点

安井担当分
レポート 30%，試験 70%で評価する. ただし，すべてのレポート課題を提出していること.

S. Yokoyama
Test of review (10 points (full mark)), assignment(20 points(full mark)) and exam. (70 points(full mark))
T. Yasui

Assignment(30 points(full mark, students must submit all reports)) and exam. (70 points(full mark))

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated by using average of Yokoyama's and Yasui's score.
S：Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A：Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points)
B：Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C：Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

For repeating students, the following old evaluation basis will be applied.
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
横山誠二（部屋 D-507, 内線 6696, e-mail:yokoyama@me.tut.ac.jp）
安井利明（部屋 D-601, 内線 6703, e-mail:yasui@me.tut.ac.jp）
S. Yokoyama（D-507, Ext:6696, e-mail:yokoyama@me.tut.ac.jp）
T. Yasui（D-601, Ext:6703, e-mail:yasui@me.tut.ac.jp）

ウェルカムページ
なし

オフィスアワー
随時、事前に連絡をすること
Any time, but inform your visit by e-mail and etc. before going our office.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
化学熱力学，状態方程式，自由エネルギー，化学平衡，製錬
Physical chemistry, chemical equilibrium, heat capacity, Gibbs energy, diffusion, plasma, state equation, mass transfer

(B11630100)熱流体輸送学[Thermal Fluids Transport]

科目名[英文名]	熱流体輸送学[Thermal Fluids Transport]				
時間割番号	B11630100	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	北村　健三 KITAMURA Kenzo				
ナンバリング	MEC_BAC31522				

授業の目標

本講義では、流体の運動エネルギーや熱エネルギーが輸送される機構および法則について、まず基礎的な理解を得る。つぎに、簡単な法則から流体の運動量エネルギーや熱の輸送を支配する方程式を導出する。さらに、これらの支配方程式を単純な体系について解くことにより、熱の移動量や、流体を輸送するために必要な動力等が計算できる能力を養う。本講を通じて、流れや熱など我々の身近に見られる自然現象の面白さ、あるいは自然現象を巧みに利用することにより、数多くの熱・流体機器が開発されていることが理解できれば幸いである。

The class aims to obtain the fundamental knowledge on the mechanisms and principal laws for the heat and momentum transport. Based on the laws, we will next derive the governing equations for the heat and momentum transfer. Solving the governing equations under given boundary conditions, we will obtain correlations for the momentum and heat transport. Through the course of the lectures, we will furnish the ability to calculate the heat transfer coefficients and the pressure losses for the specific configurations of flow and heat transfer.

授業の内容

以下の各単元について講義および演習を行う。

1 週目 熱輸送の基礎(I)・・温度と熱、単位と物性値
2 週目 熱輸送の基礎(II)・・熱輸送の3過程と諸法則
3 週目 熱伝導(I)・・熱伝導のメカニズムとフーリエの法則
4 週目 熱伝導(II)・・熱伝導方程式の導出とその解法
5 週目 熱伝導(III)・・平板の定常一次元熱伝導問題
6 週目 熱伝導(IV)・・円筒の定常一次元熱伝導問題
7 週目 熱伝導(V)・・非定常熱伝導問題
8 週目・・中間試験
9 週目 対流伝熱(I)・・流体の流れと分類
10 週目 対流伝熱(II)・・流体の流れを支配する方程式（連続の式、運動量保存式）
11 週目 対流伝熱(III)・・熱輸送を支配する方程式(熱エネルギー式)
12 週目 対流伝熱(IV)・・管内流の伝熱
13 週目 対流伝熱(V)・・相似則と無次元パラメータ、物体に作用する流体力と熱輸送
14 週目 対流伝熱(VI)・・境界層の概念、境界層近似と境界層方程式の導出
15 週目 対流伝熱(VII)・・平板からの伝熱
16 週目 期末試験

The following subjects will be treated through lectures and exercises.
1st week: Introduction of Heat Transfer (I)・・Temperature and heat, Unit and thermal properties.
2nd week: Introduction of Heat Transfer (II) ・・Basic mechanisms and laws of heat transfer.
3rd week: Heat conduction (I)・・Mechanisms of heat conduction and the Fourier's law.
4th week: Heat conduction (II)・・Derivation of conduction equations and their analytical treatments.
5th week: Heat conduction (III)・・One-dimensional, steady-state heat conduction through plates.
6th week: Heat conduction (IV)・・One-dimensional, steady-state heat conduction through cylinders.
7th week: Heat conduction (V)・・Time-varying conduction.
8th week: Midterm examination on heat conduction
9th week: Convective heat transfer (I)・・Classification of flows.
10th week: Convective heat transfer (II)・・Governing equations for the momentum transfer of flows.
11th week: Convective heat transfer (III)・・Governing equations for the heat transfer of flows.
12th week: Convective heat transfer (IV)・・Heat transfer of duct and pipe flows
13th week: Convective heat transfer (V)・・Analogy of heat and momentum transfer.
14th week: Convective heat transfer (VI)・・Concept of boundary layer, boundary layer assumption.
15th week: Convective heat transfer (VII)・・Heat transfer from flat plate.
16th week: Review examination on Convective heat transfer.

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Review and preview the contents of the last and next weeks.

関連科目

できれば微分方程式、偏微分方程式について基礎的知識を有していることが望ましい。また、流体力学とくに粘性流体の力学についても初歩的な知識を有するのが望ましい。ただし、関連する専門講義の進度を考慮して、初学者でも十分内容が理解できるよう配慮します。

Basic knowledge on the normal- and partial-differential equations will be necessary. Also, the basic knowledge on the Fluid-dynamics, in particular, for the viscous-fluid is preferable.

教科書に関する補足事項

授業では講義の概要を記したプリントを配布します。また、希望者には洋書 D.R.Pitts and L.E.Sissom, SCHAUM's outlines series "Heat Transfer, 2nd Edition"(McGraw-Hill)を貸与します。

Handsouts that summarize the lectures will be distributed. Also the reference book by D.R.Pitts and L.E.Sissom, "Heat Transfer, 2nd Edition in SCHAUM's outlines series "(McGraw-Hill) will be rented upon request.

参考書 1	**書名**	基礎伝熱工学			**ISBN**	
	著者名	北村健三・大竹一友	**出版社**	共立出版	**出版年**	
参考書 2	**書名**	Heat Transfer			**ISBN**	
	著者名	J. P. Holman	**出版社**	McGraw-Hill	**出版年**	
参考書 3	**書名**	伝熱概論			**ISBN**	
	著者名	甲藤好郎	**出版社**	養賢堂	**出版年**	
参考書 4	**書名**	伝熱工学(上下巻)			**ISBN**	
	著者名	J.P Holman、 平田賢監訳	**出版社**	ブレイン図書出版	**出版年**	

参考書に関する補足事項

講義の内容が十分理解できない場合、更に深い内容を知りたい場合は、参考書1「基礎伝熱工学」を参照すること。

達成目標

1) 固体内における熱の移動について理解すること
2) 流れによる熱の輸送についてメカニズムを理解すること
3) 流体の運動および熱の移動を記述する基本法則および支配方程式について理解すること
4) 支配方程式を解く事により、単純な体系下における熱移動量が計算できる能力を有すること

The aims of the class are:
1) To obtain the knowledge on the heat conduction,
2) To understand the mechanisms of heat transport by convection,
3) To understand the principal laws and the governing equations for the heat and momentum transport, and
4) To furnish the abilities to calculate the heat transfer coefficient and pressure loss for the basic configurations of flow and heat transfer.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

S:達成目標をすべて達成しており, かつ中間および期末テストの平均点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつ中間および期末テストの平均点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつ中間および期末テストの平均点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつ中間および期末テストの平均点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来(A～C)の評価基準が適用されます。

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained the average points of mid- and end-term examinations, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained the average points of mid- and end-term examinations, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained the average points of mid- and end-term examinations, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained the average points of mid- and end-term examinations, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

試験では計算問題を出題します。関数電卓を持参すること。
The examinations will contain some calculation problems. Scientific calculator will be necessary.

その他

試験結果のメールでの問い合わせには一切回答しませんので注意して下さい。
The lecturer will not answer the inquiries on the scores of exams by electronic mails.

ウェルカムページ

記述なし

オフィスアワー

質問があれば講義終了後に受け付けます。

The questions on the lecture shall be asked after the class.

学習・教育到達目標との対応

(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力

社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。

(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment

Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.

キーワード

熱移動、熱伝導、対流伝熱

Heat Transfer, Heat condution, Convective Heat Transfer

(B11630110)水力学Ⅰ[Hydraulics 1]

科目名[英文名]	水力学Ⅰ[Hydraulics 1]				
時間割番号	B11630110	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	関下　信正 SEKISHITA Nobumasa				
ナンバリング	MEC_BAC21520				

授業の目標

水力学および流体力学は、機械工学をはじめとする多くの工学分野で根幹を成す学問の一つであり、本講義では水力学について、その基礎を習得する。

The present lecture aims to acquire the basic knowledge of hydraulics. Hydraulics and fluid dynamics are basic subjects in the mechanical engineering.

授業の内容

以下の内容について講義する.

1週目：流体の性質(1)（密度・比重・圧力などの定義，圧縮性，粘性）
2週目：流体の性質(2)（粘性（続き））
　　流体静力学(1)（圧力の性質，静止流体中の圧力分布）
3週目：流体静力学(2)（液柱計，平面壁に及ぼす力）
4週目：流体静力学(3)（平面壁に及ぼす力（続き），曲面壁に及ぼす力，浮力）
5週目：流体静力学(4)（遠心力場の圧力分布）
　　流体運動の基礎理論(1)（流線と流管，連続の式）
6週目：流体運動の基礎理論(2)（ベルヌーイの定理の導出と応用）
7週目：流体運動の基礎理論(3)（ベルヌーイの定理の応用（続き），キャビテーション）
8週目：試験

1st: fluid characteristics (1)
2nd: fluid characteristics (1) and fluid statics (1)
3rd: fluid statics (2)
4th: fluid statics (3)
5th: fluid statics (4) and basic theory of fluid motions (1)
6th: basic theory of fluid motions (2)
7th: basic theory of fluid motions (3)
8th: examination

予習・復習内容

演習問題を自主的に解くことによって各回の講義内容を復習するとともに，次回の内容について教科書および参考書を用いて予習しておくこと。

Students have to revise each lecture by solving practice problem on the textbook. Moreover, students have to prepare each lecture by the textbook.

関連科目

数学(微積分学)，物理学（力学，熱力学）
mathematics, physics

教科書に関する補足事項

プリントを配布
to give out handouts

参考書 1	**書名**	水力学・流体力学			**ISBN**	978-4-254-23536-4
	著者名	市川常雄	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	1981

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 物性値・物理量の定義と単位について理解する.
2. 静止流体についての力の釣り合いとそれから得られる圧力分布の式を理解する.
3. 分布圧力による力，モーメント，力の作用点が計算できるようにする.
4. マノメータの指示値から圧力が計算できるようにする.
5. 連続の式を用いて，管路内の流速が計算できるようにする.
6. ベルヌーイの式と連続の式を用いて，管路内の圧力と流速が計算できるようにする.
7. ベルヌーイの定理に基づく流体計測法（ピトー管，絞り流量計）について理解する.
8. キャビテーション現象について理解する.

to understand the definitions of physical properties and physical quantities.
to understand the force balance of stationary fluid and the equations of pressure distributions
to calculate the force of pressure distributions, moment and the action point of the force
to calculate pressure from value measured by manometer
to calculate the velocity of pipe flows by using the continuous equation
to calculate the pressure and velocity of pipe flows by the Bernoulli's equation and the continuous equation
to understand fluid measurement techniques based on the Bernoulli's principle
to understand cavitation phenomena

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験の成績(100 点満点)で評価する。評価点が 55 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とし、得点によって達成の程度を以下のように明示する。
評価 A:80 点以上, 評価 B:65～79 点, 評価 C:55～64 点

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of examination, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65% of goals and obtained total points of examination, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55% of goals and obtained total points of examination, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://wind.me.tut.ac.jp/
http://wind.me.tut.ac.jp/

オフィスアワー

質問に来る時間について、e メールで相談してください。
Students can get an appointment by e-mail for their question.

学習・教育到達目標との対応

(D1) 機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力

キーワード

水力学　流体力学　流体工学　流れ　乱流　風洞実験　流体計測
fluid dynamics, fluid engineering, flow, turbulence, wind tunnel experiments, fluid measurements

(B11630120)工業熱力学Ⅰ[Engineering Thermodynamics 1]

科目名[英文名]	工業熱力学Ⅰ[Engineering Thermodynamics 1]				
時間割番号	B11630120	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　孝司 SUZUKI Takashi				
ナンバリング	MEC_BAC31520				

授業の目標

自動車や航空機などの輸送機械の動力源，発電所などの動力プラントなどの最も基礎となる熱力学を機械工学的な立場から学ぶ。

The engineer's objectives in studying thermodynamics is understanding, analysis and design of a thermodynamic system – form an air-conditioner to a power plant.

授業の内容

1　熱力学とその意義
2　熱力学における諸量と単位
3　閉じた系の熱力学第1法則
4　開いた系の熱力学第1法則
5　理想気体の状態式と状態量
6　準静的過程における状態変化
7　理想気体の混合，理想気体の微視的理解
8　まとめ(45 分)／定期試験(45 分)

1 Learning Objectives
2 Frequently Used Thermodynamic Properties and Its Units
3 The First Law of Thermodynamics (for a system with moving boundary)
4 The First Law of Thermodynamics (for a control volume)
5 Equation of State for The Ideal-Gas
6 The First Law Applied to Various Processes
7 Mixtures of Ideal-Gases
8 Summary / Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

関連科目

学部1・2年：物理学Ⅱ
学部3・4年：応用熱力学，燃焼工学，エネルギー変換工学
Physics

教科書に関する補足事項

プリントを配布する。
但し、講義には参考書「熱力学：事例でわかる考え方と使い方」を持参することが強く望まれる。
Hand-offs will be given throughout the class.
Use of the reference book shown below is strongly recommended.

参考書 1	**書名**	熱力学：事例でわかる考え方と使い方			**ISBN**	978-4-407-32257-6
	著者名	君島真仁，佐々木直栄，田中耕太郎，根本泰行，山田純 著，金原粲 監修	**出版社**	実教出版	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

熱力学における諸量と単位について理解する。
熱力学に関する基本的な用語(英用語を含む)とその意味を理解する。
熱力学の第1法則(エネルギー保存則)について理解する。
理想気体の状態式とその使い方について理解する。
理想気体の状態変化について理解する。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:

定期試験(期末) 100%

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上

A:達成目標を〇%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標を〇%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上

C:達成目標を〇%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).

A: Achieved 90 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).

C: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

E-mail takashi@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

e-mail で随時時間を打ち合わせる.

Take an appointment by e-mail

学習・教育到達目標との対応

(D1)機械工学の基盤となる力学, 制御, システム工学, 材料工学, 生産加工, エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

熱力学

thermodynamics

(B11630140)メカトロニクス[Mechatronics]

科目名[英文名]	メカトロニクス[Mechatronics]				
時間割番号	B11630140	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	火 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	佐藤　海二 SATO Kaiji				
ナンバリング	MEC_BAC31422				

授業の目標

本講義を履修することによって，以下の能力を修得する.

1）メカトロニクスを構成するアクチュエータや機械要素，センサの基礎知識を身につけ，その原理や特性を理解できる.
2）メカトロニクスの構成要素を適切に選択し，メカトロニクスを設計することができる.

Students will acquire the following skills by taking this course.
1) Learn basic knowledge of elements in mechatronics such as actuators, mechanical elements and sensors, and gain an understanding of principle characteristics and precision deterioration factors.
2) Be able to choose suitable elements for mechatronics and design mechatronics.

授業の内容

1 週目：メカトロニクス基礎
2 週目：アクチュエータ（1）
3 週目：アクチュエータ（2）
4 週目：アクチュエータ（3）
5 週目：機械要素の特性（1）
6 週目：機械要素の特性（2）
7 週目：機械要素の特性（3）
8 週目：これまでのまとめと中間テスト
9 週目：計測技術（1）
10 週目：計測技術（2）
11 週目：計測技術（3）
12 週目：システム構成（1）
13 週目：システム構成（2）
14 週目：システム構成（3）
15 週目：まとめ

1st week Introduction
2nd week Actuators (1)
3rd week Actuators (2)
4th week Actuators (3)
5th week Characteristics of mechanical elements (1)
6th week Characteristics of mechanical elements (2)
7th week Characteristics of mechanical elements (3)
8th week Review and midterm examination
9th week Measurement technologies (1)
10th week Measurement technologies (2)
11th week Measurement technologies (3)
12th week System configuration (1)
13th week System configuration (2)
14th week System configuration (3)
15th week Review

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容について資料等を参考に予習してくること.
Students are required to prepare for and review each lecture contents based on handouts provided.

関連科目

制御工学. 計測工学，機械設計，機械要素
Control Engineering, Measurement and Instrumentation, Machine Design, Mechanical Elements

教科書に関する補足事項

教科書：特定の教科書は使用しない．講義資料を用意するので，各自講義に持参すること．
No textbook is required for this class.

参考書 1	**書名**	メカトロニクス入門			**ISBN**	978-4-627-94422-0
	著者名	土谷武士，深谷健一共著	**出版社**	森北出版	**出版年**	2004
参考書 2	**書名**	メカトロニクス入門			**ISBN**	4-563-06743-1
	著者名	初澤毅著	**出版社**	培風館	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項
参考書は例です．
The above reference documents are shown as examples.

達成目標
1）メカトロニクスの特徴と基本となる用語や原理を説明できるようにする．
2）メカトロニクスに適した構成要素と組み合わせ，それらの特徴を説明できるようにする．
1) To understand features of mechatronics, basic technical terms and fundamental principle for the mechatronics
2) To explain the suitable components and their combination for the mechatronics and their features.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：中間試験＋定期試験 90%，演習・小テスト 10% で総合的に評価する．
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する．
S：達成目標を 90%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

The final grade will be determined by midterm and final examinations 90%, and quizzes 10%, comprehensively
S: Achieved 90% of goals and obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65% of goals and obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55% of goals and obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
事前にメールで確認
Need an appointment by e-mail

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

案内，軸受，動力伝達要素，アクチュエータ，計測，センサ，制御，運動システム，電気回路，フィルタ
Guide, bearing, power transmission, actuator, measurement, sensor, control, motion system, electric circuit, filter

(B11630150)機械力学[Kinetics of Machinery]

科目名[英文名]	機械力学[Kinetics of Machinery]				
時間割番号	B11630150	区分	機械専門Ⅱ	選択必須	選択
開講学期	前期2	曜日時限	水 5～5	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	機械工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	佐野　滋則 SANO Shigenori				
ナンバリング	MEC_BAC21222				

授業の目標

質点・質点系・剛体の動力学は既に物理学で既修であるが，機械工学の基礎科目である材料力学，振動工学を学習する上で重要な力学の概念の理解を深めるため，機械工学の視点から質点系の動力学，剛体の平面動力学について学習する．
なお授業の水準は，技術士(機械分野)一次試験，Professional Engineering 試験を参考に定めている．
For understanding the important concepts of dynamics to learn the material and vibration engineering, dynamics of rigid body and mass system are learn.
Level of this lecture is set by reference to professional engineer (mechanical field) primary tests.

授業の内容

第 1 回　質点の運動(1)
第 2 回　質点の運動(2)
第 3 回　質点系の運動(1)
第 4 回　質点系の運動(2)
第 5 回　慣性モーメント
第 6 回　剛体の運動(1)
第 7 回　剛体の運動(2)
第 8 回　復習 45 分，定期試験 45 分

1st week　motion of point mass (1)
2nd week　motion of point mass (2)
3rd week　motion of mass system (1)
4th week　motion of mass system (2)
5th week　moment of inertia
6th week　motion of rigid body (1)
7th week　motion of rigid body (2)
8th week　summary (45 min.), periodic examination (45 min.)

予習・復習内容

復習の手助けのために課題を課す場合がある．数式の展開などは講義中に十分行えない場合もあるので，毎回の講義内容の復習は必須である．さらに次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくることが望ましい．
Review of every week lectures is essential.
Study of the next content is desirable using references.

関連科目

物理Ⅰ，振動工学，材料力学
Physics 1, Mechanical Vibration, Mechanics of Solids 1

教科書に関する補足事項

バイリンガル講義を行うので，教員が英語で作成した資料を配布する．講義は日本語で行う．
Handout will be distributed in class.

参考書 1	書名	機械の基礎力学			ISBN	
	著者名	安田仁彦	出版社	コロナ社	出版年	2010
参考書 2	書名	機械力学			ISBN	
	著者名	末岡淳男，綾部隆	出版社	森北出版	出版年	1997

参考書に関する補足事項

講義内容を十分理解するために，参考書1を購入することを強く勧める．この内容に準拠した講義を行う．

達成目標

(1)質点および質点系の運動方程式が導出できる．
(2)剛体の重心，運動量，角運動量を求める事ができる．
(3)物体の慣性モーメントを計算する事ができる．
(4)剛体の平面運動について理解する．
(5)基本的な剛体の振動（機械動力学の基礎）について理解する．

(1): equation of motion of the mass point and mass system can be derived.
(2): center of gravity of the rigid body, the momentum and the angular momentum can be derived.
(3): moment of inertia of an object can be derived.
(4): understanding the planar motion of a rigid body.
(5): understanding the vibration of the basic rigid body (foundation of the machine dynamics).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法　:達成目標の到達度を定期試験(100 点満点)で評価する.
評価基準:評価法による得点が 60 点以上の場合を合格(達成目標に到達した)とする.
なお得点によって達成の程度を明示する.
評価 S:90 点以上, 評価 A:80 点以上, 評価 B:70 点以上, 評価 C:60 点以上
※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来(A～C)の評価基準を適用する.
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

Evaluated by out of 100 points (Periodical exam.; 100 points).

S: Total points of examination and exercises, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of examination and exercises, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of examination and exercises, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of examination and exercises, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

教員の居室:D-403
e-mail:ise@me.tut.ac.jp
Room:D-403
e-mail:ise@me.tut.jp

ウェルカムページ

なし

オフィスアワー

e-mail で随時時間を打ち合わせる.

Contact me by email before coming if possible.

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術, 地球環境対応技術の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

質点, 質点系, 剛体, 運動方程式
point mass, mass system, rigid body, equations of motion

(B12510040)基礎電磁気学[Basic Electromagnetism]

科目名[英文名]	基礎電磁気学[Basic Electromagnetism]				
時間割番号	B12510040	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	福田　光男 FUKUDA Mitsuo				
ナンバリング	ELC_BAC21010				

授業の目標

電磁気学は，電気・電子情報工学分野の中でも最も重要な基礎科目です。電界、磁界および電磁界を記述する方程式の基礎から応用までを学びます。講義は現象論の立場から、実験事実に基づいて、微分・積分形の式を用いて説明し、電気・電子情報工学の基礎的問題を考える力を養います。高専本科卒業生の電磁気レベルを想定し、3年生以降で学習する電磁気学の理解を深めるための基礎を確立します。

Electromagnetism is the most important basic subject in the field of electrical, electronic and information engineering. This course covers equations from the basics to an advanced level to describe an electric field, magnetic field and electromagnetic field. The lectures will help students to develop their ability to think about the basic problems of electric and electronic information engineering by explaining them phenomenologically with the use of differential-integral formulae based on facts. This course is designed to establish the basics in order to deepen understanding about electromagnetism, which will be learned in the third year or later, assuming the electromagnetism level for technical college graduates.

授業の内容

１週目　静電気
　クーロンの法則と電界、ガウスの法則
２－３週目　静電気
　静電ポテンシャル（電位）、導体系とコンデンサ、誘電体と電束密度
４－５週目　定常電流
　電流密度ベクトル、定常電流保存則、コンデンサと抵抗
６－７週目　静磁気
　磁気におけるクーロン則と磁界、ガウスの定理、ローレンツ力
８－９週目　青磁気
　ビオ・サバールの法則、アンペールの法則、磁性体と磁束
１０-１１週目　電磁誘導
　電磁誘導の法則、運動電磁誘導とローレンツ力、インダクタンス
１２-１３週目　準定常電流
　変位電流、電荷保存則、表皮効果
１４-１５週目　マクスウェルの方程式と電磁波の放射
　積分系マクスウェルの方程式、微分系マクスウェル方程式、進行波と波動方程式、電磁波の放射
１６週目　定期試験

1st week: Static electricity
Coulomb's law and electric field, Gauss' law
2nd and 3rd weeks: Static electricity
Static electricity potential (electric potential); conductor system and capacitors; derivative and electric flux density
4th & 5th weeks: Stationary electric current
Current density vector; law of conservation of stationary electric current; capacitors and resistors
6th & 7th weeks: Static magnetism
Coulomb's law and magnetic field, Gauss's theorem and Lorentz force for magnetism
8th & 9th weeks: Static magnetism
Biot-Savart law; Ampere's law; magnetic substance and magnetic flux
10th & 11th weeks: Electromagnetic induction
The law of electromagnetic induction; motor electromagnetic induction and Lorentz force; inductance
12th & 13th weeks: Quasi-stationary electric current
Displacement current; principle of conservation; skin effect
14th & 15th weeks:
Maxwell's Equations and radiation of electromagnetic wave
Integral forms of Maxwell's Equations; differential form of Maxwell's Equations; progressive wave and wave equations; radiation of electromagnetic wave
16th week: Periodic exam

予習・復習内容

基礎電磁気学演習とセットで、講義内容の演習を通じて復習し、内容の理解を深めること。

Understand the lectures with excecise of basic electromagnetism.

関連科目

物理学Ⅰ，物理学Ⅱ，基礎電磁気学演習，電磁気学，電磁波工学
＊本科目を受講する場合は，基礎電磁気学演習も受講すること
Physcis，excecise of basic electromagnetism.
Students are required to taking this lecture with excecise of basic electromagnetism.

教科書に関する補足事項

テキストは使用しませんが、各週のテーマに沿って、必要項目を確認しながら講義します。
Distribute prints along with the topics.

参考書 1	**書名**	基礎電磁気学			**ISBN**	
	著者名	飯尾勝矩、上川井良太郎、小野イクオ	**出版社**	森北出版	**出版年**	
参考書 2	**書名**	電磁気学－初めて学ぶ人のために			**ISBN**	
	著者名	砂川重信	**出版社**	培風館	**出版年**	
参考書 3	**書名**	電磁気学			**ISBN**	
	著者名	砂川重信	**出版社**	岩波書店	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

静電気，静磁気，電磁界について，物理現象が説明できること．また，基礎方程式を立て，具体的な電磁気現象の解析ができること．
Understand electric field, magnetic field, and electromagnetic fields.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験40%，期末試験40%，小テスト・レポート等20%の総合で評価する．

S：試験・小テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：試験・小テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：試験・小テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：試験・小テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

中間試験40%，期末試験40%，小テスト・レポート等20%の総合で評価する．
Course evaluation
Evaluation is based primarily on a interim (40 points) and a final examination (40 points) and reports (20 points).

S: Total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

教員居室：C-407，電子メールアドレス：fukuda@ee.tut.ac.jp
Room: C-407, E-mail: fukuda@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

www.photon.ee.tut.ac.jp
www.photon.ee.tut.ac.jp

オフィスアワー

在室時であればいつでも
Please contact by e-mail

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
電気，磁気，電磁気，電磁波
electric field, magnetic field, electromagnetic field, electromagnetic wave

(B12510080)電気回路Ⅱ[Electric Circuit 2]

科目名[英文名]	電気回路Ⅱ[Electric Circuit 2]				
時間割番号	B12510080	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	中村　雄一 NAKAMURA Yuichi				
ナンバリング	ELC_BAC21012				

授業の目標

電気回路Ⅰを踏まえ、ひずみ波交流および多層交流回路について学ぶ。
更に、抵抗・コンデンサ（キャパシタンス）・コイル（インダクタンス）からなる受動電気回路に、直流、交流、インパルスなどの電圧源・電流源を印加したときの電圧・電流波形を計算し、定常状態になる前の過渡現象に関する直感力を育成し、その解法について学ぶ。
Based on the electrical circuit I, to learn about the distorted wave AC and multi-phase AC circuit.
Furthermore, the response of passive electrical circuits composed of resistor, capacitor (capacitance), and coil (inductance) is calculated when a direct current, alternating current, and such as an impulse voltage is applied to the curcuits. The transient phenomena before a steady state is analised.

授業の内容

1～2 週目　フーリエ級数展開と交流回路への応用（Chapt. 17）
3週目　3相交流回路（Chapt. 12）
4週目　非対称3相交流回路（Chapt. 12）
5～6週目　過渡現象・単エネルギー回路（Chapt. 7.1-7.3）
7～8週目　単エネルギー回路（Chapt. 7.4-7.5）
9週目　複エネルギー回路（Chapt. 8）
10 週目　中間試験
11～12 週目　ラプラス変換（Chapt. 15）
13～15 週目　ラプラス変換による回路解法（Chapt. 16.1-16.3）
16 週目　定期試験
1-2 weeks: Application to Fourier series expansion and AC circuit (Chapt. 17)
3 weeks: multi-phase AC circuit (Chapt. 12)
4 weeks: asymmetrical three-phase AC circuit (Chapt. 12)
5-6 weeks: transient phenomenon in first-order circuit (Chapt. 7.1-7.3)
7-8 weeks: first-order circuit with power source (Chapt. 7.4-7.5)
9 weeks: second-order circuit (Chapt. 8)
10 weeks: midterm exam
11-12 weeks: Laplace transform (Chapt. 15)
13-15 weeks: Application of Laplace transform (Chapt. 16.1-16.3)
16 week: Final exam

予習・復習内容

各週の講義は原則として教科書・参考書の章や節に対応しています。
また必要に応じて補足資料も配付します。
教科書には多くの例題、章末問題等がありますが、すべては講義内で取り上げられませんので、各自で予習、復習として解いてください。試験、小テストなどは、これらテキストの例題などに基づいて行います。
Lecture of the week corresponds to chapters and sections of textbook in general.
Additional supplements will be distributed if needed.
Textbook has many examples at the end of each chapter, but there is no time to cover all of them in the class. The students should solve them by yourself.

関連科目

電気・電子情報数学基礎、電気回路Ⅰ、電気回路演習、電気回路Ⅲ、電気回路論

教科書 1	**書名**	Fundamentals of Electric Circuits, Fifth Edition			**ISBN**	978-1259071393
	著者名	Charles K. Alexander, Matthew N. O. Sadiku	**出版社**	McGraw-Hill	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

テキスト(Fundamentals of Electric Circuits)は最初の講義時間に貸与します。
In the first lecture, we will lend you the text (the foundation of the electric circuit).

参考書 1	**書名**	インターユニバーシティ 電気回路 A			**ISBN**	978-4274132728
	著者名	佐治 学	**出版社**	オーム社	**出版年**	2003
参考書 2	**書名**	インターユニバーシティ 電気回路B			**ISBN**	978-4274130823
	著者名	日比野 倫夫	**出版社**	オーム社	**出版年**	1997

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1) 抵抗・コンデンサ・コイル単独の電圧・電流の関係を理解する。
(2) 時定数の物理的意味を理解し，時定数を考慮した波形を描く。
(3) キルヒホッフの電圧・電流則を理解する。
(4) 線形1階1次同時微分方程式を解く。
(5) 直流定常解、交流定常解を復習する。
B. ひずみ波交流
(1) フーリエ級数展開を理解し、具体的な例について計算できる。
(2) ひずみ波交流をフーリエ級数を用いて表示し、高調波、電力などを求めることができる。
C. 3相交流回路
(1) 星形結線と環状結線の相違を理解し、起電力・電流等が記述できる。
(2) 対称3相交流回路におけるY－Δ変換を正しく記述できる。
D. 非対称3相交流回路
(1) 非対称3相交流回路を理解し、起電力・電流等が記述できる。
(2) 非対称3相交流回路におけるY－Δ変換を正しく記述できる。
E. 単エネルギー回路の過渡現象
(1) 素子の関係式を導き、キルヒホッフの電圧・電流則から回路方程式を導出できる。
(2) 回路方程式に基づき定常解および時定数を求められる。
(3) 素子の性質から初期値を求められる。
(4) 一般解に初期値を代入し、過渡解を計算できる。
F. 複エネルギー回路の過渡現象
(1) 線形2階1次同時微分方程式を解ける。
(2) 定常解および過渡解を求められる。
(3) 1次初期値および2次初期値を求められる。
(4) 一般解に初期値を代入し、過渡解を計算できる。
G. ラプラス変換による解法
(1) 回路解析法の仕組みを理解する。
(2) ラプラス変換とラプラス逆変換の導出を理解する。
(3) ラプラス変換に関する定理を理解する。
(4) 単純極をもつ回路を解ける。
(5) 重複極をもつ回路を解ける。

A. Basic matters
(1) Understand the resistance capacitor coil single relationship of voltage and current.
(2) Understand the physical meaning of the time constant, and draw a waveform based on it.
(3) Understand the voltage and current Kirchhoff's law.
(4) Solve a first order linear differential equations.
(5) Understand DC and AC steady-state solutions.
B. Distorted wave AC
(1) Understand the Fourier series expansion, and calculate for a specific example.
(2) A distorted wave AC is expressed using a Fourier series.
C. Multiphase AC circuit
(1) Understand the differences of the delta and the wye connection, and can describe the electromotive force and current.
(2) Correctly describe the Y-Δ conversion in the balanced three-phase AC circuit.
D. Unbalanced multi-phase AC circuit
(1) Understand the unbalanced three-phase AC circuit, and can describe the electromotive force and current.
(2) Correctly describe the Y-Δ conversion in the unbalanced three-phase AC circuit.
E. Transient phenomenon of first-order circuit
(1) Lead to relation of elements, and derive the circuit equation from the Kirchhoff's law.
(2) Derive the steady-state solution and the time constant from the circuit equation.
(3) Derive the initial value from the nature of the element.

(4) Derive the transient solution from the general solution.
F. Transient phenomenon of second-order circuit
(1) Derive linear second order differential equations. It consists of resistors and the equivalent of two energy storage elements
(2) Derive a steady-state solution and a transient solution.
(3) Derive primary and secondary initial values.
(4) Derive the transient solution from the general solution.
G. Laplace transform
(1) Understand the mechanism of circuit analysis method.
(2) Understand the derivation of the Laplace transform and inverse Laplace transform.
(3) Understand the theorem about the Laplace transform.
(4) Solve a circuit with a simple pole.
(5) Solve a circuit with duplicate pole.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則として毎回講義の最初に前回までの理解を確認するために小テストを実施する。
小テスト(30%)、中間試験＋期末試験(70%)で総合的に評価する。
総合点 100 点満点で、評価 S:90 点以上, 評価 A:80 点以上, 評価 B:70 点以上, 評価 C:60 点以上。
As a general rule, a short test is carried out to confirm your understanding at the beginning of each lecture.
The short tests (30%) and the sum of midterm exam and final exam (70%).

S: Total points of exams and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exams and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exams and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exams and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

中村 雄一
部屋:C-412, 電話:44-6734, e-mail:nakamura@ee.tut.ac.jp
Yuichi Nakamura
Room: C-412 (C1-205)
e-mail: nakamura@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

月曜から金曜日、12～13 時、他の時間でもメールで予約すれば対応します。
At any time Monday through Friday. However, it is desirable to contact beforehand by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理, 化学, 電気・電子回路, 制御, システム工学, 材料工学, エネルギー変換工学, 情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

過渡現象、2階常微分方程式、ラプラス変換、フーリエ変換

(B12510090)電気回路Ⅲ[Electric Circuit 3]

科目名[英文名]	電気回路Ⅲ[Electric Circuit 3]				
時間割番号	B12510090	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	石山　武 ISHIYAMA Takeshi				
ナンバリング	ELC_BAC21012				

授業の目標

状態方程式による過渡現象の解析法、入出力端における電圧と電流の関係から行列で特性を表せる二端子対回路、分布定数回路である伝送線路の伝送特性について学ぶ。

The main objectives of this course include the following:
1. Analysis of transient phenomena by the state equation.
2. Understand two-port network which is an electrical network with two separate ports for input and output.
3. Understand the transmission characteristics of the transmission line.

授業の内容

１週目　状態方程式とは
２－３週目　状態方程式による過渡現象の解き方
４－５週目　二端子対網の行列表示
６－７週目　二端子対網の接続法
８－９週目　回路網の合成
１０週目　フィルタ回路
１１－１２週目　分布定数回路の基礎方程式
１３ー１４週目　反射と透過
１５週目　正弦波定常状態
１６週目　定期試験

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
その他
適宜，演習問題を課す。
1, State equation
2-3, Apply the state equation to transient phenomena
4-5, Matrix representation of two-port network
6-7, Interconnection of two-port network
8-9, Ladder network synthesis
10, Passive filters
11-12, Basic equations of distributed constant circuit
13-14, Reflection and transmission
15, Sinusoidal steady state
16, Regular examination

予習・復習内容

関連科目

電気回路I、II
電気回路演習
電気・電子情報数学基礎
電気回路論
Electric Circuit 1, 2
Electric Circuit Exercise
Mathematics for Electrical, Electronics and Information Engineering
Electrical Circuit

教科書 1	**書名**	Fundamentals of Electric Circuits (5th edition), ペーパーバック	**ISBN**	0073380571

	著者名	Charles K. Alexander, Matthew N. O. Sadiku	**出版社**	McGraw Hill	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	電気回路B			**ISBN**	
	著者名	日比野倫夫	**出版社**	オーム社	**出版年**	
参考書 2	**書名**	電気回路 II			**ISBN**	
	著者名	佐藤義久	**出版社**	オーム社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

A.状態方程式
(1)状態方程式を用いて回路の解析ができること。

B.二端子対回路
(1)電気回路からインピーダンス行列、アドミッタンス行列、縦続行列、G行列、H行列を求めることができる。
(2)行列の演算を行うことで、電気回路の合成ができる。
(3)フィルタの性質を理解し，その特性を計算できること.

C.分布定数回路
(1)伝送回路の基礎方程式を理解する。
(2)反射と透過、定在波、インピーダンス整合を理解する。
(3)無損失線路、無歪線路など特殊条件の分布定数回路の計算ができる。

Through the course, students will be able to:
-analyze the circuit using the state equation.
-determine the z, y, t, g, h parameters.
-synthesize two-port networks
-design typical passive filters.
- understand the basic equation of the transmission circuit.
- understand reflection, transmission, standing wave, the impedance matching.
- analyze typical distribution constant circuits.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習問題 30%、期末試験を 70%とし、これらの合計で評価する。
総合点 100 点満点で、評価 S:90 点以上，A:80 点以上，評価 B:70 点以上，評価 C:60 点以上。
Reports (30%) and final examination (70%)
S: Total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義終了後に質問に応じます．その他の時間の場合，事前に e-mail 等で連絡して下さい.

I will respond to questions after the lecture ended or please contact by e-mail anytime.

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

(B12510100)電子回路Ⅰ[Electronic Circuit 1]

科目名[英文名]	電子回路Ⅰ[Electronic Circuit 1]				
時間割番号	B12510100	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	河野　剛士 KAWANO Takeshi				
ナンバリング	ELC_BAC21010				

授業の目標

電子回路の基本的要素であるトランジスタ、ダイオード等の電子素子の働き、およびそれらから構成される電子回路の動作に対する基本的考え方を理解する。

The course serves as an introduction to the principles of electronic circuits using resistor, capacitor, pn-junction transistor, bipolar junction transistor. One of the student outcomes of this course is an ability to design circuits to meet performance requirements within realistic constraints.

授業の内容

1-2.　電子回路を学ぶ前に
3-5.　トランジスタによる増幅の原理
6-8.　トランジスタの小信号等価回路
8/9.　中間試験）
10-11.　増幅回路の入出力抵抗と整合
12-13.　直流バイアス回路と安定指数
14-15.　各種増幅回路の基本的事項
16.　期末試験）

Lec 1-2.　Introduction
Lec 3-5.　Principles of bipolar transistors
Lec 6-8.　Small-signal models of transistors
Lec 8-9.　Midterm Exam
Lec 10-11. Input/output resistance of amplifier
Lec 12-13. Bipolar transistor biasing
Lec 14-15. Other amplifiers
Lec 16.　Final Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Self-study required before and after each class
Weekly homework provided

関連科目

電気回路 IA, IB

Prerequisites:
Electric Circuit 1A
Electric Circuit 1B

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	基礎電子回路演習			**ISBN**	978-4274032547
	著者名	雨宮好文 著,	**出版社**	オーム社	**出版年**	1989
参考書 2	**書名**	Fundamentals of Microelectronics; 2nd International Student Edition			**ISBN**	978-1118165065
	著者名	Behzad Razavi	**出版社**	Wiley; 2 edition	**出版年**	2013

参考書 3	書名	わかるアナログ電子回路			ISBN	978-4817302274
	著者名	江間義則，和田成夫，深井澄夫，金谷範一 共著,	出版社	日新出版	出版年	2006

参考書に関する補足事項

達成目標

1．電子回路を学ぶ前に
・ダイオードの基本的特性を理解する。
・ダイオードを含む電子回路の動作（例えば，入力電圧と出力電圧の関係）を理解する。
・L，Cを含む回路の周波数特性を理解する。
2．トランジスタによる増幅の原理
・トランジスタの基本的特性および増幅の原理を理解する。
・信号源，出力抵抗とトランジスタの接続関係に注目して，ベース接地，エミッタ接地，およびコレクタ接地増幅回路の動作とその特徴と違いを理解する。
・電流増幅率と電流増幅度の違い，電流増幅率と直流電流増幅率の違い，エミッタ接地電流増幅率βとベース接地電流増幅率αの関係を述べることができる。
・トランジスタを用いた定電流回路の動作を理解する。
3．トランジスタの小信号等価回路
・トランジスタ等の非線形素子を含む回路に関して，負荷線と動作点に注目して，その動作ならびに小信号等価回路を理解する。
・トランジスタの小信号回路において，hパラメータの物理的意味を理解し，hパラメータを用いたトランジスタの等価回路ならびにその簡略化した等価回路を導出できる。また，入力解放，出力短絡が実現しやすいことを理解する。
・ベースーエミッタ間交流抵抗 r とコレクタ電流 ID の関係，hパラメータ hfe，hie および r の関係，電流増幅度 Av，負荷抵抗 RL およびrの関係を理解し，計算ができる。
4．増幅回路の入出力抵抗と整合
・信号源の内部抵抗，負荷抵抗を含めてトランジスタ増幅回路の入力抵抗，出力抵抗の意味を理解し，計算することができる。
・整合，有能電力の意味を理解し，計算できる。
・エミッタホロワの特徴を理解し，入力抵抗，出力抵抗，増幅度を求める回路を書くことができ，それらを計算できる。
・デシベルの意味を理解し，計算することができる。
5．直流バイアス回路と安定指数
・直流バイアス回路を書くことができ，これにより，トランジスタの特性のばらつきに依存せず，負帰還により直流コレクタ電流（バイアス電流）を安定化できることを理解する。
・安定指数の意味を理解し，コレクタ電流を計算することができる。
6．各種増幅回路の基本的事項
・直接結合増幅回路を始めとする各種増幅回路における，バイパスコンデンサなどの回路素子の働きを理解し，回路計算を行うことができる。また、多段増幅回路の仕組みと動作を理解することができる。
・ダーリントン接続，差動増幅回路を理解し，回路計算を行うことができる。
At the end of this course, the successful student will have a fundamental understanding of the working principles of devices and circuits (diode, transistor, common base/emitter/corrector configurations, small-signal model of transistor, h parameters, input/output resistance of transistor, decibel, bipolar transistor biasing, emitter follower, amplifiers) used in electrical engineering.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に全ての講義に出席した者につき、下記のように成績を評価する。
レポート・演習 20%、中間試験 40%、期末試験 40%とし、これらの合計で評価する。
S: 90 点以上　A: 80 点以上　B: 70 点以上　C: 60 点以上
The final grade will be based on Homework (20%), Midterm (40%) and Final Exam (50%)
S: 100-90, A: 89-80, B: 79-70, C: 69-60

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.int.ee.tut.ac.jp/icg/member/~takekawano
http://www.int.ee.tut.ac.jp/icg/member/~takekawano

オフィスアワー

基本的に授業実施日の午前中（～12 時）をオフィスアワーとするが、これ以外の時間でも在室中は随時質問等を受け付けま

す。
メール等で事前に連絡してください。
Wednesday 1:00 PM - 2:00 PM in C-603 (C building)

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

Acquiring knowledge in subjects that make up the foundation of electrical and electronic information engineering: physics, chemistry, electric and electronic circuit, control engineering, systems engineering, materials science, energy transfer engineering, information engineering, communication engineering, etc., developing practical and creative ability to solve problems

キーワード

ダイオード、トランジスタ、増幅回路、hパラメータ
diode, transisotr, amplifier, h parameter

(B12510110)電子回路Ⅱ[Electronic Circuit 2]

科目名[英文名]	電子回路Ⅱ[Electronic Circuit 2]				
時間割番号	B12510110	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	江間　義則, S2系教務委員 EMA Yoshinori, 2kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ELC_BAC21010				

授業の目標

電子装置を作製する際必要なアナログ電子回路の基礎を学ぶ。トランジスタの増幅動作をしっかり理解し、負帰還、正帰還、電力増幅などの解析、設計の基礎理論を修得する。

The basic analog electronic circuits are studied. The design theories of the amplifier circuit, the negative feedback circuit, the positive feedback circuit (oscillator), power amplifiers, power supply circuits are learned.

授業の内容

第1回　　復習:トランジスタの等価回路、バイアスのかけ方
第2、3、4回　CR結合増幅回路
第5、6回　　負帰還増幅回路
第7、8、9回　　各種の増幅回路（電力増幅、直流増幅、広帯域増幅、等）
第10、11回　　アナログICの要素回路、　演算増幅器の基礎
第12、13回　発振回路
第14、15回　電源回路
第16回　定期期末試験
（なお、中間試験は第8回頃の講義の後半に45分間で行う）

1st; Review of the equivalent circuit of transistor.
2nd-4th; CR-connected amplifier.
5th-6th; Negative feedback amplifier.
7th-9th; Power amplifier and others.
10th-11th; Basics of analog integrated circuit.
12th-13th; Oscillators.
14th-15th; Power supply circuit.
16th; Regular examination.

予習・復習内容

毎回の講義内容と教科書と読み返して授業ノートを作成し、演習問題を解く。
次回講義の内容について,テキストなどを参考に予習しておくこと。

Reviews of content of a lecture, a schoolbook, and a notebook are needed to develop the understanding.

関連科目

電子回路Ⅰ、電子回路論
Electronic circuit I, Electronic circuit logic.

教科書 1	**書名**	わかるアナログ電子回路(改訂版)			**ISBN**	978-4-8173-0227-4
	著者名	江間義則 [ほか] 共著	**出版社**	日新出版	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	基礎電子回路演習			**ISBN**	
	著者名	雨宮好文	**出版社**	オーム社	**出版年**	
参考書 2	**書名**	アナログ電子回路演習			**ISBN**	
	著者名	石橋幸男	**出版社**	倍風館	**出版年**	
参考書 3	**書名**	アナログ電子回路			**ISBN**	
	著者名	藤井信生	**出版社**	昭晃堂	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

A.基礎的な事項
(1)用語を正しく理解すること。
(2)回路構成素子の機能を理解すること。
(3)等価回路から解析のための式を導出できること。
B.CR結合増幅回路
(1)増幅器を多段接続する場合の解析法を学ぶ。
C.負帰還増幅回路
(1)帰還回路の性質を理解する。
(2)負帰還回路実現法を学ぶ。
D.各種の増幅回路
(1)電力増幅などの回路の原理を理解する。
E.アナログIC、演算増幅器
(1)アナログICの要素回路の動作を理解する。
(2)演算増幅器の基本回路形式(逆相、正相増幅)を理解する。
(3)演算増幅器の各種の応用回路について学ぶ。
F.発振回路
(1)発振の原理と条件について学ぶ。
(2)各種発振回路の動作を理解する。
G.電源回路
(1)交流から安定した直流を得る方法をを理解する。

1) Understanding the words of electric and electronic circuit.
2) Understanding the theoretical concepts of transistor and amplifier.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的にすべての講義に出席したものにつき、達成目標の達成度を総合的に評価するレポート(10点満点), 中間試験(40点満点), 期末試験(50点満点)の合計点で評価する。評点基準(合計点で) A:80 点以上, B:65 点以上, C: 55 点以上 。

Report 10%
Midterm examination 40%
Final examination 50%

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験を実施
Examination

その他

非常勤なのでメールで連絡ください。
E-mail address:ema.y.mishima8@gmail.com
(迷惑メールと区別するためメール題目のはじめに「豊技大学生:」を入れてください)

Please insert "TUT student" in the title of e-mail.
E-mail address:ema.y.mishima8@gmail.com

ウェルカムページ

オフィスアワー

非常勤なのでメールで連絡下さい。
Please e-mail to contact.

学習・教育到達目標との対応

(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理、化学、電気・電子回路、制御、システム工学、材料工学、エネルギー変換工学、情

報通信等の諸学問に関する知識を獲得し、それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

Undergraduate program of electrical and electronic information engineering.
(D1) Acquiring knowledge in subjects that make up the foundation of electrical and electronic information engineering.

キーワード
電子回路、トランジスタ
Electrical circuit, transistor

(B12510120)基礎無機化学[Basic Inorganic Chemistry]

科目名[英文名]	基礎無機化学[Basic Inorganic Chemistry]				
時間割番号	B12510120	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	松田　厚範 MATSUDA Atsunori				
ナンバリング	ELC_BAC11012				

授業の目標

エレクトロニクス分野に関わる無機化学の基礎と基本的な考え方について学ぶ。

Learn inorganic chemistry concerning the electronics field

授業の内容

1.元素と周期表
（1）元素の起源と原子の構成
（2）周期表
（3）元素の一般的性質
（4）元素の性質とその周期性

2.分子とそのモデル
（1）共有結合
（2）共有結合と軌道
（3）分子の立体構造と極性
（4）分子の対称性

3.イオン性固体と金属
（1）結晶構造
（2）イオン性固体（二元金属塩）
（3）イオン性固体（三元金属塩）
（4）金属および類金属

4.基礎無機反応
（1）酸と塩基
（2）酸化と還元
（3）溶媒

*中間試験・期末試験を行う。
1. Elements and Periodic Table
(1) Formation of elements and structure of atoms
(2) Periodic table
(3) General properties of elements
(4) Periodic changes of element properties

2. Molecules and Their Models
(1) Covalent bond
(2) Covalent bond and orbitals
(3) 3D-conformation and polarity of molecules
(4) Symmetry of molecules

3. Ionic Solids and Metals
(1) Crystal structure
(2) Ionic solids (AX salts)
(3) Ionic solids (ABX salts)
(4) Metallic elements and metalloid elements

4. Fundamental inorganic chemical reaction
(1) Acid and Base
(2) Oxidation and reduction

(3) Solvents

* Intermediate and final examination will be given.

予習・復習内容

*毎回の講義内容を復習するとともに、事前の指示・課題・配布資料に基き予習を行うこと。

*Do the review and homework on the contents of the given lectures. Prepare the coming lectures according to advance directives, assignments and distributed documents.

関連科目

化学Ⅰ、化学II、基礎無機化学

Chemistry I, Chemistry II, Basic Inorganic Chemistry

教科書に関する補足事項

教科書：独自の英文テキストを配布します。

TEXT：Original TEXT BOOK in English will be provided.

参考書 1	**書名**	シュライバー・アトキンス無機化学（上）第4版			**ISBN**	9784807906673
	著者名	P. W. Atkins ほか著、田中勝久、平尾一之、北川進 訳	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2008
参考書 2	**書名**	Shriver・Atokins Inorganic Chemistry (1) 4th Edition			**ISBN**	9784807906673
	著者名	P. W. Atkins et al.	**出版社**	Tokyo Kakagu Dojin	**出版年**	2008
参考書 3	**書名**	Shriver・Atokins Inorganic Chemistry (2) 4th Edition			**ISBN**	9784807906680
	著者名	P. W. Atkins et al.	**出版社**	Tokyo Kakagu Dojin	**出版年**	2008
参考書 4	**書名**	シュライバー・アトキンス無機化学（下）第4版			**ISBN**	9784807906680
	著者名	P. W. Atkins ほか著、田中勝久、平尾一之、北川進	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2008
参考書 5	**書名**	Exercise of Inorganic Chemistry			**ISBN**	9784807905935
	著者名	Hirao et al.,	**出版社**	Tokyo Kakagu Dojin	**出版年**	2005
参考書 6	**書名**	演習無機化学			**ISBN**	9784807905935
	著者名	平尾一之　田中勝久　中平敦、幸塚広光、滝澤博胤	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項

特になし

Nothing special

達成目標

（1）元素の起源と原子の構成を理解する
（2）周期表を理解する
（3）元素の一般的性質と周期性を理解する
（4）共有結合を理解する
（5）共有結合と軌道を理解する
（6）分子の立体構造と極性を理解する
（7）分子の対称性を理解する
（8）結晶構造を理解する
（9）イオン性固体を理解する
（10）金属および類金属を理解する
（11）酸と塩基を理解する
（12）酸化と還元を理解する
（13）プロトン性・非プロトン性溶媒を理解する

(1) Learn Formation of elements and structure of atoms
(2) Learn Periodic table
(3) Learn general properties of elements and periodic changes of element properties
(4) Learn covalent bond
(5) Learn covalent bonds and orbitals
(6) Learn 3D-conformation and polarity of molecules
(7) Learn symmetry of molecules
(8) Learn crystal structures
(10) Learn structure and properties of metallic and metalloid elements

(12) Learn oxidation and reduction
(13) Learn protic and aprotic solvents

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート・小テスト(20%)および試験(80%)により総合的に行う。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準を適用する。
Report(20%)and Examinations (80%)
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).
For the students of past fiscal year will be evaluated by the conventional system based on A, B, and C marks.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

試験は原則、中間試験と期末試験を行う。
Intermediate examination and final examination will be commonly given.

その他

メールアドレス:matsuda@　の後に ee.tut.ac.jp を付ける
TEL:0532－44－6799(直通)
FAX:0532-48-5833(旧 5 系事務室)
E-mail:matsuda(at)ee.tut.ac.jp (at)=@
TEL:0532－44－6799
FAX:0532-48-5833

ウェルカムページ

http://ion.ee.tut.ac.jp/
http://ion.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

E-mail などで、随時受け付ける。
As needed by E-mail etc.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

元素、周期表、結晶構造、酸と塩基、酸化還元
Element, Periodic table, Crystal structure, Acid-base, Redox

(B12510130)電気・電子情報工学基礎実習[Fundamental Experiments of Electrical, Electronic and Information Engineering]

科目名[英文名]	電気・電子情報工学基礎実習[Fundamental Experiments of Electrical, Electronic and Information Engineering]				
時間割番号	B12510130	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	岡田　浩 OKADA Hiroshi				
ナンバリング	ELC_BAC18010				

授業の目標

電気・電子工学、情報工学に関連した基本的な実習を通じて、物理現象の理解のための方法論を体験するとともに、物理量の統計的処理や誤差、有効数字の考え方など、これから工学を学ぶ上で必要な素養を体得する。

Through fundamental laboratory works, master following skills and concepts for engineers.

(1) Understand a basic methodology for comprehension of phenomena

(2) Understand handling, processing and analysis of experimental data. Ability of technologically correct expression of data based-on a concept of error, figure of merits.

授業の内容

グループを組み、以下のテーマについて実習を行うとともに、レポートを作成する。教員とのディスカッションを通じ、より深い理解を得る。

・科学技術史、およびレポート作成時の留意事項（座学）
・オシロスコープの使い方
　−周波数特性の測定
　−位相差の測定
　−微分回路と積分回路とスイッチのチャタリング
　−音速の測定
　−ダイオードの特性
・PC の組み立て
・HDD、DVD-Drive の構造
・スネルの法則の検証、吸光度の測定
・光の回折・干渉の計測

実習のスケジュールや、進め方の詳細については、最初の実習時間にガイダンス（場所は掲示する）を実施する。

Work on following experiment subjects. Laboratory report are prepared by each students. Discuss the results with staffs for further understanding.

+ Technological history and guidance for laboratory report preparation (lecture)

+ Oscilloscope operation
- basic operation and waveform observation
- measurement of acoustic velocity
- measurement of phase difference
- differentiation- and integration-circuit, and chattering prevention circuit
- current-voltage characteristics of diode

+ Dismount and build of computer
+ Structure of HDD and DVD drives

+ Snell's law and absorption of light
+ Diffraction and interference of light

Details of schedule and plan of the experiments will be announced at the first class of this subject.

予習・復習内容

実習の前に指導書をよく読んでおくこと。また、事前にレポートで執筆できるところを書いておくことを勧める。

Read carefully the textbook before the experiments. Preparation of laboratory report prior to the class as much as possible is highly recommended.

関連科目

電気・電子情報工学課程の全ての科目
All subjects on the division

教科書に関する補足事項

実習のテキストは別途配布する。
科学史については、種々の啓蒙書や伝記が出版されているので、各自でも参考にされたい。
Textbook will be distributed at the class.

参考書に関する補足事項

達成目標

・教科書に記載されているような基本的な物理現象を目の当たりにすることで、実際の実験系と、定義や数式をリアルに結びつけられるようになる。
・有効数字、誤差、分散といった実測値データの取り扱い上、留意すべき概念を身につける。
・実習の内容や、得られた結果を理解するとともに、その内容を自らの言葉でレポートに表現できるようになる。

(1) Ability to explain a practical phenomena based-on physical definition and equation appeared in textbooks.
(2) Ability of technologically correct expression of data based-on a concept of error, figure of merits.
(3) Complete laboratory report which describes ones understanding

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

実習の実施日のうちに提出するレポートを 70%、実習時間中の態度を 30%としてテーマ毎に採点し、その合計で評価する。ただし、1つでも欠席あるいはレポート未提出の実験がある場合には単位を認めない。

S:達成目標をすべて達成しており、かつレポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており、かつレポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており、かつレポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており、かつレポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

Evaluation consist of following points
Laboratory Report: 70%
Attitude on laboratory work: 30%
*Laboratory report on each experimental subjects should be handed on the laboratory work day.

Credit will not be published if the students has one or more uncompleted laboratory report.

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

詳細は開講時に開催するガイダンスで資料を配布する。

Details of schedule and plan of the experiments will be explained at the first class of this subject.

ウェルカムページ

http://www.ee.tut.ac.jp
http://www.ee.tut.ac.jp

オフィスアワー
質問等は随時受け付けるが、事前に e-mail などでコンタクトすることが望ましい。
Student can access the staffs any time, however, making a appointment via e-mail etc is desired.

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D2)実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から考察し，説明することができる。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge
(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to consider and explain things from the viewpoint of technological science

キーワード
電気・電子情報工学基礎実習
電気・電子情報工学基礎実習 Fundamental Experiments of Electrical, Electronic and Information Engineering

(B12510140)電気・電子情報工学実験Ⅰ[Experimental Practice for Electrical, Electronic and Information Engineering 1]

科目名[英文名]	電気・電子情報工学実験Ⅰ[Experimental Practice for Electrical, Electronic and Information Engineering 1]				
時間割番号	B12510140	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	若原　昭浩, 岩田　達哉, 針谷　達, 藤枝　直輝, 河村　剛 WAKAHARA Akihiro, IWATA Tatsuya, HARIGAI Toru, FUJIEDA Naoki, KAWAMURA Go				
ナンバリング	ELC_BAC28010				

授業の目標

実験活動を通じて、実験方法、実験手順、チームワークを習得することにより、電気・電子情報工学に関する原理、法則を体得する。また、研究者ならびに技術者としての問題解決能力を養うと共に、報告書の作成能力の育成を目的とする。

The students are expected to learn the principles and laws for electric and electronic information engineering through a series of experiments to realize how necessary it is to learn the experimental method, procedure and teamwork. In addition, the students are expected to be able to analyze and interpret ethical problems as well as to write a technical report with clear statements.

授業の内容

実験は、指示された予定表に従って、グループによって実施する。具体的なテーマは、以下に示すとおりである。

1. 回転機
2. 変圧器（特性と結線法）
3. 論理回路Ⅰ（組み合せ論理回路）
4. 論理回路Ⅱ（順序回路）
5. 計算機基礎
6. ブリッジ回路
7. LCR 回路
8. 発振回路
9. 信号処理
10. 線形演算回路
11. 錯体合成（鉄フェナントロリン錯体の吸収スペクトル）
12. 無機塩合成（硫酸銅(II)五水和物の合成と結晶水の脱離）

A series of experiments will be carried out with a schedule for each student.
The experimental themes are shown as follows:

A. Rotators
B. Transformers
C. Logic Circuits Ⅰ (Combinational Circuits)
D. Logic Circuits Ⅱ (Sequential Circuits)
E. Introduction to Computer Organization
F. AC bridge circuits
G. LCR circuits
H. Oscillator circuits
I. Signal processing
J. Operational amplifier circuits for linear computation
K. Synthesis of complex molecules
L. Synthesis of inorganic salts

予習・復習内容

実験を実施する前に、指導書を読んで、あらかじめ実験の概要を理解しておく。
実験の手順、時間的計画のほか、共同実験者との協力方法などについて考えておく。

実験後は報告書を作成し、実験日から 1 週間以内に実験担当者に提出すること。
（実験担当者によって、報告書の締切時間などが異なるので、その指示に従うこと）

Before an experiment is carried out, the students are required to read the textbook and study the abstract. In addition, the students should think the experimental procedure and plan.

関連科目

電気・電子情報工学課程の全ての科目
All in undergraduate program.

教科書に関する補足事項

指導書:「電気・電子情報工学実験Ⅰ」（豊橋技術科学大学　電気・電子情報工学系学生実験委員会編）

※ 開講時に開催する説明会で配布する。
The text: [Experimental Practice for Electrical, Electronic and Information Engineering 1]
The text will be distributed in the 1st lecture (guidance).

参考書 1	書名	理科系の作文技術			ISBN	9784121006240
	著者名	木下 是雄	出版社	中央公論新社	出版年	1981

参考書に関する補足事項
指導書に実験課題ごとに参考文献を記載
References are shown in the text for each theme.

達成目標
A. 回転機: (1) 直流電動機と起動器の構造を理解する。(2) 運転法および速度制御法を習得する。(3) 直巻機、分巻機、及び複巻機の特性を理解する。
B. 変圧器: (1) 変圧器の取り扱いに関する基礎的事項を習得する。(2) 等価回路から理論的に変圧器の特性を理解する。
C. 論理回路 I (組み合せ論理回路): (1) 基本ゲートの動作を理解する。(2) 基本ゲートにより構成される組み合わせ論理回路の代表的な例として、半加算器、全加算器、エンコーダ、デコーダの動作を理解する。(3) PLD 素子を用いた論理回路設計法を習得する。
D. 論理回路 II(順序回路): 順序回路の代表的な例として、フリップフロップ、シフトレジスタおよびカウンタを構成し、それらの動作を理解する。
E. 計算機基礎: 「論理回路 I 」および「論理回路 II 」において学んできた論理回路の基礎素子を結び付け、実際に動作する超小型超簡易計算機を Programmable LSI に実現し、その動作を確認することで、論理回路の応用と計算機の原理を学ぶ。
F. ブリッジ回路: 交流ブリッジ回路を用いて未知抵抗及びインダクタンスの測定を行い、その動作原理を理解し、使用法を習得する。
G. LCR 回路: 抵抗、容量、インダクタンスによる線形受動回路の周波数応答、過渡応答の測定を通じて回路理論の基礎を理解する。
H. 発振回路: オペアンプを用いて三角波発振回路、矩形波発振回路、正弦波発振回路、AGC 付き正弦発振回路を実現し、その特性を理解する。
I. オペアンプで作製した AM 変調回路、AM 復調回路の動作原理を理解する。
J. 線形演算回路: オペアンプを用いた加算回路、加減算回路、積分回路などの線形演算回路の評価を通じ、それらの演算の実行過程を理解する。
K. 錯体合成: 金属イオンと呈色試薬(配位子)との錯体形成反応を例に取り、分光光度法による組成決定の基礎を理解する。
L. 無機塩合成: 硫酸銅(II)五水和物を例に取り、化学合成の基本的な進め方や器具の操作法を習得すると共に、結晶構造の変化による色の変化を通して、物性と原子配列の関連性を理解する。
A. Rotators: (1) Understand the structures of DC motors and starters. (2) Acquire the operating and speed-controlling methods. (3) Understand the basic characteristics for series, shunt and compound motors.
B. Transformers: (1) Acquire the basic operating suggestions of transformers. (2) Understand theoretically the characteristics of transformers based on the equivalent circuit.
C. Logic Circuits I (Combinational Circuits): (1) Understand the behavior of basic gates. (2) Understand the behavior of combinational circuits such as a half adder, a full adder, an encoder, and a decoder. (3) Acquire the operation of logic circuit design with programmable logic devices.
D. Logic Circuits II (Sequential Circuits): Understand the behavior of components of sequential circuits such as various flip-flops, a shift register, and a counter.
E. Introduction to Computer Organization: Understand the basis of applied logic circuits and computer organization through the design of a super-simple computer and the investigation of its behavior.
F. AC bridge circuits: Understand the operational principle of AC bridge circuits and learn the skill in using them through the measurements of unknown resistances and inductances.
G. LCR circuits: Understand the basic of the circuit theory through the measurement of frequency response and transient response, of linear passive circuit which is consisted of resistor, capacitor and inductor.
H. Oscillator circuits: Assemble and characterize oscillator circuits for triangle, rectangular, and sinusoidal waves and understand their characteristics.
I. Signal processing: Understand the operating principles of modulated and demodulated circuits for AM constructed of operational amplifiers.
J. Operational amplifier circuits for linear computation: Understand the operational principle of adder, subtraction, and integrator circuits based on operational amplifiers through their characterization.
K. Synthesis of complex molecules: Understand the basics of compositional determination with a spectrophotometric method conducting experiments on complex forming reaction among metal ions and color reagents (ligands).
L. Synthesis of inorganic salts: By synthesizing $CuSO_4 \cdot 5H_2O$, learn how to conduct the fundamental synthesis and handle apparatuses. In addition, understand the relationship between atomic arrangement and characteristics of materials.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
実験終了後所定の規則に従い提出し、受理されたレポートを、テーマごとに 100 点満点で採点し、その合計を平均化した点数で評価する。ただし、レポートの点数には実験態度を含む。1 つでも欠席あるいはレポート未受理の実験がある場合には単位を認めない。評価 A: 80 点以上、評価 B: 65 点以上、評価 C: 55 点以上。
The students who attend all classes, and the submitted reports which are accepted in all themes, will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of mini-exams and reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Achieved 65 % of goals and obtained total points of mini-exams and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained total points of mini-exams and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.ee.tut.ac.jp/
http://www.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

それぞれの実験課題の担当教員から連絡する。
これ以外の時間帯に訪問を希望する場合は、e-mail、内線電話などで随時時間を打ち合わせる。
担当教員および連絡先は、開講時に開催する説明会でリストを配布するので参照のこと。
It is preferable to make an appointment in advance using an e-mail or a telephone for each teacher.
The address or number must be picked up from its supporting materials which are distributed in the guidance.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

電気・電子情報工学実験Ⅰ
Experimental Practice for Electrical, Electronic and Information Engineering 1

(B12510150)プロジェクト研究[Research Project]

科目名[英文名]	プロジェクト研究[Research Project]				
時間割番号	B12510150	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	S2系教務委員 2kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ELC_BAC28010				

授業の目標

電気・電子情報工学に関連する特定の課題について、調査、解析・実験を行い、それらの結果を発表、報告書としてまとめることにより、電気・電子情報工学を学ぶ意義を理解すると共に、限られた時間内で仕事を遂行する能力を養う。本授業は 4 年次に取り組む特別研究（卒業研究）のいわばミニ版であり、2, 3 年次に履修する専門科目の学習が現実の諸課題の解決にどのように役立つか理解する。

In this course, students conduct research, analysis and experiments concerning the specific problems relating to electrical, electronic and information engineering along with presenting and writing a report about the results with the aim of understanding the significance of learning electrical, electronic and information engineering and developing the ability to perform assignments in the limited time available. This course is a miniature version of Supervised Research (graduate work) for fourth-year students, and aims at enabling students to understand how the major subjects for second-year and third-year students will be helpful to solve actual problems.

授業の内容

授業担当教員から提示された各課題について、1 名 1 課題で取り組む。課題の選択は履修者の希望に基づく。
第 1 週・・・課題研究のガイダンス、配属決定
第 2 週・・・各研究室にて課題説明、研究の内容、進め方について説明
第 3 週～第 11 週・・・各研究室にて、資料調査、実験、解析を行なう
第 12 週～第 14 週・・・調査、実験、解析結果の整理、およびまとめ、報告書作成、発表準備
第 15 週・・・発表、報告会

Each student is expected to work on each subject, which is provided by the instructor, on an individual basis. The subject is selected based on the preference of each enrolled student.

1st week: Guidance of study on a given subject, decision of laboratory program
2nd week: Explanation on the subjects, details of research and research procedure at each laboratory
3rd to 11th weeks: Resource research, experiments and analysis at each laboratory
12th to 14th weeks: Investigation, experiments, organization and summarization of analysis results, report writing, preparation for presentation
15th week: Presentation, report session

予習・復習内容

各教員、研究室の指示に従うこと。
Refer to the supervisors of each theme.

関連科目

学部 2 年次までに学習した専門科目および数学、物理および情報処理科目
Special subjects in the second year.
The lectures on mathematics, physics, and information processing.

教科書に関する補足事項

テキスト、参考資料を配布または提示する.
The texts or references will be notified or handed from the supervisor.

参考書に関する補足事項

達成目標

達成目標(D2) 実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から考察し，説明する能力を涵養する
達成目標(D3) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題を工学的に解決するためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力を涵養する
達成目標（G） 他の研究室メンバーと協調して仕事をするための能力を涵養する
(D2) The ability to plan and carry out experimentation, accurately analyze data, make technical observations, and effectively communicate results.

(D3) The ability to demonstrate an understanding of the practical problems and challenges experienced by engineers, devise engineering solutions to these problems while working within design parameters.
(G) The ability to work in teams.
Understanding the value of working together with others as a team member, the ability to contribute individually to achieve team targets.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

各達成目標の配点は (D2)40 点, (D3)40 点, (G)20 点とし, 合計 100 点満点で採点する.
評価 S:90 点以上, 評価 A:80 点以上, 評価 B:70 点以上, 評価 C:60 点以上。
The point is given out of 100, where each goal is weighted as shown below; 40 for D2, 40 for D3, and 20 for G.
The student is qualified for the achievements if the point is equal or greater than 60 points. The achievement is graded by S (equal or greater than 90 points), A (between 80 and 89 points), B (between 70 and 79 points), and C (between 60 and 69 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

研究実施日に各担当教員に問い合わせること.

Refer to the supervisors of each theme.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B12510160)電気回路Ⅰ[Electric Circuit 1]

科目名[英文名]	電気回路Ⅰ[Electric Circuit 1]				
時間割番号	B12510160	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	田村　昌也 TAMURA Masaya				
ナンバリング	ELC_BAC21012				

授業の目標

電気回路の基礎である,

- 抵抗, コンデンサ, インダクタの振る舞いを理解する.
- 記号法や二次元ベクトルを用いて正弦波交流回路を表現できる.
- 回路網の諸定理を駆使することで回路を解析できる.
- 交流回路の動作解析, および応用が理解できる.

The aim is to understand the basis of electric circuit as follows:

* Natures and behaviors of resistor, capacitor, and inductor under AC and DC.
* Sinusoid analysis using Phasor and vector approach.
* Circuit analysis adopting the circuit theorems suitable for each circuit.
* Operation and application analysis of AC circuit.

授業の内容

1週目　抵抗、コンデンサ、コイルおよび電源の性質　(Resistors, Capacitors, Inductors and Sources)
2週目　オームの法則と正弦波交流　(Ohm's Law and Sinusoids)
3週目　フェーザ表示　(Phasors)
4週目　回路素子とフェーザ表示　(Phasor Relationships for Circuit Elements)
5週目　インピーダンスとアドミタンス　(Impedance and Admittance)
6週目　キルヒホッフの法則　(Kirchhoff's Laws)
7週目　節点解析と網目解析　(Nodal and Mesh Analysis)
8週目　中間試験　(Mid-term exam)
9週目　重ね合わせの定理、テブナンの定理、ノートンの定理　(Superposition, Thevenin's Theorem, Norton's Theorem)
10週目　Y-Δ変換、ホイートストンブリッジ、最大電力の定理(Wye-Delta transformations, Wheatstone bridge, Maximum Power Transfer)
11週目　直列共振回路とQ値　(Series Resonant Circuit and Q factor)
12週目　並列共振回路とQ値　(Parallel Resonant Circuit and Q factor)
13週目　コイル同士の結合　(Magnetically Coupled Circuits)
14週目　コイル同士の結合　(Magnetically Coupled Circuits)
15週目　交流電力解析　(AC Power Analysis)
16週目　期末試験　(Term-end exam)

※　なお本講義は電気回路演習と連携して進行する.

1st wk.　Resistors, Capacitors, Inductors and Sources
2nd wk.　Ohm's Law and Sinusoids
3rd wk.　Phasors
4th wk.　Phasor Relationships for Circuit Elements
5th wk.　Impedance and Admittance
6th wk.　Kirchhoff's Laws
7th wk.　Nodal and Mesh Analysis
8th wk.　Mid-term exam
9th wk.　Superposition, Thevenin's Theorem, Norton's Theorem
10th wk. Wye-Delta Transformations, Wheatstone Bridge, Maximum Power Transfer
11th wk. Series Resonant Circuit and Q factor
12th wk. Parallel Resonant Circuit and Q factor
13th wk. Magnetically Coupled Circuits
14th wk. Magnetically Coupled Circuits
15th wk. AC Power Analysis
16th wk. Term-end exam

* This lecture will be given in cooperation with Electric Circuit Exercise.

予習・復習内容

毎回の授業ノートを作成し，復習ならびに次回の内容について予習しておくこと.

As each lecture provides its supporting materials, students are required to review previous classes and study in advance for the next class.

関連科目

電気回路演習，電気回路Ⅱ，電気回路Ⅲ，電気回路論

Electric Circuit Exercise, Electric Circuit 2, Electric Circuit 3, Electrical Circuit

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Fundamentals of Electric Circuits (5th edition), ペーパーバック			**ISBN**	0073380571
	著者名	Charles K. Alexander, Matthew N. O. Sadiku	**出版社**	McGraw Hill	**出版年**	2012
参考書 2	**書名**	インターユニバーシティ 電気回路 A 改訂2版			**ISBN**	4-274-13272-2
	著者名	佐治 学	**出版社**	オーム社	**出版年**	2003
参考書 3	**書名**	新インターユニバーシティ 電気回路 I			**ISBN**	978-4-274-20931-4
	著者名	山口作太郎	**出版社**	オーム社	**出版年**	2010
参考書 4	**書名**	回路理論基礎（電気学会大学講座）			**ISBN**	4-88686-204-7
	著者名	柳沢健	**出版社**	電気学会	**出版年**	1986

参考書に関する補足事項

講義ごとに関連する参考書と対応するページを説明する.

希望者には教科書を貸与する. 英語の辞書を持参すること.

教科書名：Fundamentals of Electric Circuits (5th edition), ペーパーバック

著者名　：Charles K. Alexander, Matthew N. O. Sadiku

ISBN　：73380571　出版社：McGraw Hill　出版年：2012

Pages of references corresponding to the content of a lecture will be explained in each class.

Applicants can borrow the English textbook.

It is preferable to bring their English dictionary.

Text　：Fundamentals of Electric Circuits (5th edition), paperback

Author：Charles K. Alexander, Matthew N. O. Sadiku

ISBN　：73380571　Publishing company：McGraw Hill　Publishing year：2012

達成目標

A. 基本的な事項

（1）抵抗，コンデンサ，インダクタの振る舞いを理解する.

（2）網目電流解析を習熟する.

（3）節点電圧解析を習熟する.

B. 回路網に関する諸定理

（1）重ね合わせの定理を用いて複数の電源を含んだ回路解析を行うことができる.

（2）テブナンの定理を用いて回路網解析を行うことができる.

C. 共振回路

（1）直列共振回路、並列共振回路の特性をそれぞれ理解できる.

（2）Q 値の意味が理解できる.

D. コイル同士の結合

（1）2つのコイルの合成インダクタンスを導出できる.

（2）理想変成器、単巻変成器の動作が理解できる.

E. 電力と力率

（1）電力を複素数で表現できる.

（2）電力（有効、無効、皮相）の概念を理解し，力率を導出できる.

A. Fundamentals

(1) Understand the natures and behaviors of resistor, capacitor, and inductor under AC and DC.

(2) Acquire mesh analysis.

(3) Acquire node analysis.

B. Circuit theorems

(1) Analyze circuit network with several sources utilizing superposition.

(2) Analyze circuit network utilizing Thevenin's and Norton's theorems.

C. Resonant circuit

(1) Understand the phenomenon of series and parallel resonances.

(2) Understand Q factor.

D. Magnetic coupling
(1) Extract inductances of coupled inductors.
(2) Understand the nature and behaviors of ideal transformer and autotransformer.
E. Power and Power Factor
(1) Calculate complex power.
(2) Understand the relationship between complex power and power factor.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する.
評価方法：中間試験 40%，期末試験 40%，レポートや小テスト 20%の総合 100 点（100%）として，
S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標をすべて達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).
* Mid-term exam:40%, Term-end exam:40%, Mini exam or report:20%

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

担当教員室：C-405
E-mail：tamura@ee.tut.ac.jp
Office:C-405
E-mail:tamura@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.comm.ee.tut.ac.jp/em/index.html

http://www.comm.ee.tut.ac.jp/em/index.html

オフィスアワー

随時対応．ただし，メールや講義後などに事前にアポイントメントを取ることが望ましい.
As needed. It is preferable to make an appointment in advance.

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

電気回路(Electric Circuit)
Electric Circuit

(B12530030)電気・電子情報数学基礎[Mathematics for Electrical, Electronics and Information Engineering]

科目名[英文名]	電気・電子情報数学基礎[Mathematics for Electrical, Electronics and Information Engineering]				
時間割番号	B12530030	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	内田　裕久 UCHIDA Hironaga				
ナンバリング	ELC_BAC21020				

授業の目標

フーリエ級数(変換)とラプラス変換は科学と工学の様々な分野で使用される基礎的な解析法である．本講義では，ラプラス変換と逆変換，合成積(たたみこみ)，そしてラプラス変換を用いる常微分方程式の解法について説明する．さらに任意の周期関数を cos および sin 関数の和で表すフーリエ級数について述べ，さらに周期関数ではない関数もフーリエ積分によって表すことができること，そしてフーリエ変換と逆変換について説明する．

Fourier series (transform) and Laplace transform are fundamental analytical methods in many different fields of science and technology. In this course, I will explain Laplace transform and inverse Laplace one, convolution, and methods to solve ordinary differential equations using the Laplace transform. Then, I will explain Fourier series that can express a periodic function by the sum of cosine and sine functions, Fourier integral that can express any functions, and Fourier transform and inverse one.

授業の内容

1 週目　関数の基礎，ラプラス変換の基礎
2 週目 基本的な関数のラプラス変換，ラプラス変換の性質：線形法則
3 週目　移動法則，微分と積分法則
4 週目　合成積
5 週目 ラプラス逆変換
6 週目　ラプラス逆変換の性質
7 週目　ラプラス変換の常微分方程式への応用
8 週目　中間試験
9 週目　フーリエ級数の基本
10 週目　フーリエ余弦級数と正弦級数
11 週目　フーリエ級数の偏微分方程式への応用
12 週目　波動方程式の解法
13 週目　フーリエ変換の基本，フーリエ複素積分表示
14 週目　フーリエ変換と逆変換
15 週目　フーリエ変換の性質
16 週目　期末試験

1st week: Basics of mathematical functions, Basic definition of Laplace transform
2nd week: Laplace transforms of basic functions, linearity
3rd week: Shifting, derivative, integral
4th week: Convolution
5th week: Inverse Laplace transform
6th week: Properties of inverse Laplace transform
7th week: Solution of ordinary differential equation
8th week: Midterm examination
9th week: Basics of Fourier series
10th week: Fourier sine and cosine series
11th week: Solution of partial differential equation
12th week: Solution of wave equation
13th week: Basics of Fourier transform, complex form of Fourier integral
14th week: Fourier transform, inverse Fourier transform
15th week: Properties of Fourier transform
16th week: Final examination

予習・復習内容

問題を宿題として課します．
Homework problems of examples and exercises in the textbook are assigned.

関連科目

必要とされる基礎知識：数学(三角関数，微分，積分)
Required basic knowledge: mathematics (trigonometric function, derivation, integral)

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	やさしく学べるラプラス変換・フーリエ解析　増補版			**ISBN**	978-4-320-01944-7
	著者名		**出版社**	共立出版	**出版年**	2010

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1) ラプラス変換によって常微分方程式が代数演算で解けることを理解する.
(2) 周期関数が sin と cos の級数によって合成できることを理解する.
(3) 時間領域信号と周波数領域信号の関係, およびフーリエ変換の役割を理解する.
B. ラプラス変換
(1) 基本的な関数についてラプラス変換およびラプラス逆変換ができる.
(2) 合成積(たたみこみ)の意味と利用について理解する.
(3)常微分方程式の初期値問題をラプラス変換により解くことができる.
C.フーリエ級数, フーリエ変換
(1) 周期関数のフーリエ級数展開を求めることができる.
(2)フーリエ級数を用いて偏微分方程式を解くことができる.
(3)フーリエ変換と逆変換, およびそれらの性質を理解する.

A. Fundamentals
(1) Understand that ordinary differential equations are solved by algebraic operations using the Laplace transform.
(2) Understand that periodic functions are composed by series of sine and cosine functions.
(3) Understand that relations between time domain signal and frequency domain one, which are converted by the Fourier and inverse transforms.

B. Laplace transform
(1)Understand the Laplace transform and inverse one for basic functions.
(2) Understand meaning and application of the convolution.
(3) Solve initial-value problems of differential equations using by the Laplace transform.

C. Fourier series and Fourier transform
(1)Derive Fourier series for periodic functions.
(2) Calculate partial differential equations using Fourier series.
(3) Understand the Fourier transform, the inverse one and their properties.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験 40%, 期末試験 40%, レポート等 20%の割合で評価する.
S:合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:合計点(100 点満点)が 60 点以上

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業時間後，他の時間の場合は事前予約が望ましい.

Right after the lecture. Prior appointment is necessary for other time.

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills

Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

ラプラス変換　フーリエ級数　フーリエ変換

Laplace transform, Fourier series, Fourier transform

(B12530060)電気機械工学Ⅰ[Electric Machinery 1]

科目名[英文名]	電気機械工学Ⅰ[Electric Machinery 1]				
時間割番号	B12530060	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	佐藤　光彦 SATO Mitsuhiko				
ナンバリング	ELC_BAC23020				

授業の目標

1）電気機器の電磁誘導に基づく電気エネルギーと機械エネルギーとの変換について学ぶ。
2）企業の研究開発事例について学ぶ。

1）Learning about energy conversion between electrical power and mechanical power.
2）Learning the research and development examples in the company.

授業の内容

前記科目は 15 回＋1 回定期試験
第　1－12週：1電気機器(種類)
2電磁エネルギー変換（磁気エネルギーとインダクタンス）、3電磁エネルギー変換（交番磁界と回転磁界）
4直流電動機（構造と原理）、5直流電動機（特性について）
6変圧器（構造と原理）、7変圧器（特性について）
8誘導電動機（構造と原理）、9誘導電動機（特性について）
10同期電動機（構造と原理）、11同期電動機（特性について）
12電気機器の歴史的変遷
第13－15週：企業の電気機器の研究開発事例について実用的観点から学ぶ。
企業が直面する知的財産を踏まえた研究開発について学ぶ。

1-12 weeks:
lesson1：Electric machine (Types)
lesson2：Electromagnetic energy conversion (Magnetic energy and inductance)
lesson3：Electromagnetic energy conversion (Alternating field and rotating magnetic field)
lesson4：Direct current motors (Structure and principle)
lesson5：Direct current motors (Motor characteristics)
lesson6：Transformer(Structure and principle)
lesson7：Transformer(Transformer characteristics)
lesson8：Induction motors (Structure and principle)
lesson9：Induction motors (Motor characteristics)
lesson10：Synchronous motor (Structure and principle)
lesson11：Synchronous motor (Motor characteristics)
lesson12：Historical transition of the electric machines

13 -15 weeks:
Learning from a practical point of view about the research and development example of the electric machine of the company.
Learning about the research and development in the company in consideration of many patents.

予習・復習内容

予習・復習を中心として講義に関する自宅学習を行うこと。
Performing preparations for lessons, and performing the review.

関連科目

絶縁技術、力学、電磁気学、電気回路論、電気材料論、エネルギー変換工学、電気機器設計法及び製図、電気・電子情報工学基礎実験、など

教科書 1	**書名**	インターユニバーシティ　電気機器学			**ISBN**	978-4274132056
	著者名	松井　信行	**出版社**	オーム社	**出版年**	2000

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
・電気機器(役割と種類)について理解し、電磁エネルギー変換、直流電動機、変圧器、誘導電動機
同期電動機について理解する。
・企業の電気機器の研究開発事例について実用的観点から理解する。
・企業が直面する知的財産を踏まえた研究開発について理解する。

・Understanding about 'energy conversion between electrical power and mechanical power', direct current motor, transformer, induction motor and synchronous motor.
・Understanding from a practical point of view about the research and development example of the electric machine in the company.
・Understanding about the research and development in the company in consideration of many patents.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
レポート 20%、期末試験 80%とし、これらの合計で評価する。総合点 100 点満点で、評価 S:90 点以上, 評価 A:80 点以上, 評価 B:70 点以上, 評価 C:60 点以上, 不合格:59 点以下
※ただし、過年度生が履修した場合には、従来(A～C)の評価基準を適用する。
Results of exams(80%) and reports(20%).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
講義の前後
Before and after the lecture

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理, 化学, 電気・電子回路, 制御, システム工学, 材料工学, エネルギー変換工学, 情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
電気機器、電磁エネルギー変換、直流電動機、変圧器、誘導電動機、同期電動機、IPM
Electric machine, electromagnetic energy conversion, Direct current, Transformer, Induction, Synchronous, IPM

(B12530070)電気機械工学Ⅱ[Electric Machinery 2]

科目名[英文名]	電気機械工学Ⅱ[Electric Machinery 2]				
時間割番号	B12530070	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前2＋後1	**曜日時限**	金 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	稲田　亮史 INADA Ryoji				
ナンバリング	ELC_BAC25020				

授業の目標

パワー半導体デバイスを用いたスイッチングにより電力変換・制御を行う技術であるパワーエレクトロニクスの基礎を理解することを目標とする．まず，パワー半導体デバイスの種類とそれらの基礎特性を学ぶ．次に，サイリスタコンバータ，DC-DC コンバータおよびインバータ等の基本的な電力変換回路の構成とスイッチングの制御手法について学ぶ．

The aim of this lecture is to understand the fundamentals for power electronics. Firstly, we learn the fudamental properties of power semiconductor devices used as swithching devices in various power conversion circuits. Then, we learn the operating principles and controlling method of switching devices in typical power conversion circuits such as thyristor converter, DC-DC converter and inverter.

授業の内容

（前期 2）
1 週目　パワーエレクトロニクス概論
2 週目　ひずみ波形の電圧，電流，電力の取り扱い
3 週目　パワー半導体デバイスの基礎特性(1)（ダイオード，サイリスタ，GTO）
4 週目　パワー半導体デバイスの基礎特性(2)（トランジスタ，パワーMOSFET，IGBT）
5 週目　スイッチングによる電力変換
6 週目　スイッチングデバイスのオンオフと損失
7 週目　単相ダイオードコンバータの原理と特性
8 週目　中間試験
（後期 1）
9 週目　単相サイリスタコンバータの原理と特性
10 週目　三相サイリスタコンバータの原理と特性
11 週目　DC－DC コンバータの原理と特性Ⅰ（直流チョッパ）
12 週目　DC－DC コンバータの原理と特性Ⅱ（スイッチングレギュレータ）
13 週目　単相インバータの原理と特性
14 週目　三相インバータの原理と特性
15 週目　全体まとめ
16 週目　期末試験

(Spring-2)
1st week:　Introduction for power electronics
2nd week:　Analysis for distorted voltage or current signals
3rd week:　Fundamentals for power semiconductor devices (1) Diode and thyristor
4th week:　Fundamentals for power semiconductor devices (2) Power transistor, MOSFET and IGBT
5th week:　Power conversion by switching devices
6th week:　Power loss in switching devices
7th week:　Single-phase diode converter
8th week:　Mid-term examination

(Fall-1)
9th week:　Single-phase thyristor converter
10th week:　Three-phase thyristor converter
11th week:　DC-DC converter (1) DC chopper circuit
12th week:　DC-DC conberter (2) Switching regulator
13th week:　Single-phase inverter
14th week:　Three-phase inverter
15th week:　Summary of the lecture
16th week:　End-term examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について配布資料等を参考に予習してくること。
Based on the handout to distribute, carrying out review and preparation for each lecture.

関連科目

電気機械工学Ⅰ，電気回路Ⅰ，電気回路Ⅱ，電子回路Ⅰ

Electric Machinery 1, Electric circuit 1, Electric circuit 2, Electronic circuit 1

教科書に関する補足事項

各回の講義で使用する資料をレジュメとして配布する。

The copies of PPT slides (based on the contents in the textbook mentioned above) are given as the resume for each lecture.

参考書 1	**書名**	パワーエレクトロニクス			**ISBN**	978-4-339-01200-2
	著者名	江間 敏，高橋 勲	**出版社**	コロナ社	**出版年**	2002
参考書 2	**書名**	Power Electronics (in Japanese)			**ISBN**	978-4-339-01200-2
	著者名	Sathoshi Ema and Isao Takahashi	**出版社**	Corona-sha	**出版年**	2002
参考書 3	**書名**	パワーエレクトロニクス入門			**ISBN**	978-4-627-74091-4
	著者名	片岡 昭雄	**出版社**	森北出版	**出版年**	1997
参考書 4	**書名**	Introduction of Power Electronics (in Japanese)			**ISBN**	978-4-627-74091-4
	著者名	Akio Kataoka	**出版社**	Morikita Publishing Co. Ltd.	**出版年**	1997
参考書 5	**書名**	新インターユニバーシティ パワーエレクトロニクス			**ISBN**	978-4-274-20627-6
	著者名	堀 孝正	**出版社**	オーム社	**出版年**	2008
参考書 6	**書名**	Power Electronics (in Japanese)			**ISBN**	978-4-274-20627-6
	著者名	Takamasa Hori, et al.	**出版社**	Ohm-sha	**出版年**	2008

参考書に関する補足事項

達成目標

1) 各種パワー半導体デバイスについて説明できること.
2) スイッチングによる電力変換・制御の原理を説明できること.
3) 各種サイリスタコンバータの原理と特性について説明できること.
4) 各種 DC-DC コンバータの原理と特性について説明できること.
5) 各種インバータの原理と特性について説明できること.

1) Explain the structure and operation principles for power semiconductor devices.
2) Explain the principles power conversion and controlling by using switching devices.
3) Explain the fundamentals for single & three-phase thyristor converter.
4) Explain the fundamentals for DC-DC converter.
5) Explain the fundamentals for single & three-phase Inverter.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則として全ての講義に出席した者につき，中間試験（50 点満点）と期末試験（50 点満点）で評価し，両試験の点数の和が 60 点以上を合格とする.

S：達成目標をすべて達成しており，かつ中間・期末試験の点数の和が 90 点以上
A：達成目標を 85%達成しており，かつ中間・期末試験の点数の和が 80 点以上
B：達成目標を 75%達成しており，かつ中間・期末試験の点数の和が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ中間・期末試験の点数の和が 60 点以上

Evaluation is based on the total score (100 points) with mid-term examination (50 points) and end-term examination (50 points).
S: Total points of mid-term and end-term examinations, 90 or higher.
A: Total points of mid-term and end-term examinations, 80 or higher.
B: Total points of mid-term and end-term examinations, 70 or higher.
C: Total points of mid-term and end-term examinations, 60 or higher.

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.tut.ac.jp/university/faculty/ee/141.html
http://www.tut.ac.jp/university/faculty/ee/141.html

オフィスアワー

月曜日 16:30～17:30
Monday 16:30-17:30

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

パワーエレクトロニクス，パワー半導体デバイス，サイリスタコンバータ，直流チョッパ，電圧形インバータ，PWM 制御
Power Electronics, Power Semiconductor Devices, Thyrister Converter, DC Chopper Circuit, Inverter with voltage source, PWM controlling

(B12530080)プログラミング演習Ⅱ[Programming 2]

科目名[英文名]	プログラミング演習Ⅱ[Programming 2]				
時間割番号	B12530080	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　幸太郎 SUZUKI Koutarou				
ナンバリング	ELC_BAC25020				

授業の目標

授業の目的は C 言語のプログラミングに欠かせない基礎知識を修得することである。これまでの「プログラミング演習 I」で学んだプログラミングの技能に、新たな知識／概念を加えることにより、この先必要になるであろうさらに高度なプログラミングのための基礎知識を修得する。

授業は講義形式の解説とプログラミング演習課題の組み合わせで行う。
You learn basic knowledge about the C language.
This course gives you a higher skill on programming to expand the skill that you learned in programming 1.
A lecture and practice are included in this course.

授業の内容

「プログラミング演習 I」の続きからスタートし、基本的には下記の順に進める（例外的に「ファイル入出力」は先に行う）。

1週目　ガイダンス（演習室の利用方法、ログインの仕方、エディタ／コンパイラの使い方）
2週目　プログラミング演習 I の復習、ファイル入出力の基礎
3週目　配列 1（配列とは、配列操作）
4週目　配列 2（多次元配列）
5週目　関数 1（関数とは、値の渡し方、受け取り方）
6週目　関数 2（配列の渡し方、記憶クラス）
7週目　データの基本型（整数型、浮動小数点型、ビット列、演算子）
8週目　マクロ（プリプロセッサ）、列挙体等
9週目　文字列の基本（文字列とは、文字列操作）
10 週目　ポインタ 1（ポインタとは）
11 週目　ポインタ 2（ポインタと配列）
12 週目　文字列とポインタ 1（配列で表現する文字列とポインタで表現する文字列の違い）
13 週目　文字列とポインタ 2（ポインタによる文字列操作）
14 週目　応用課題 1
15 週目　応用課題 2
This course starts from a continuance of programming 1.

1st week: guidance (how to use the practice room, computers, editors and the compiler)
2nd-15th weeks:
- Review of programming 1, file input and output
- Array 1 (basics)
- Array 2 (multidimensional array)
- Function 1 (basics, how to pass values, how to return values)
- Function 2 (how to pass arrays, storage class)
- Data type (int, float, bit sequence, operator)
- Macro (preprocessor) and enumerated type
- Basics of string (how to use strings)
- Pointer 1 (how to use pointers)
- Pointer 2 (pointer and array)
- String and pointer 1 (difference between arrays and pointers)
- String and pointer 2 (how to use pointers for character strings)
- Fainal report 1
- Fainal report 2

予習・復習内容

配布した資料を事前に読んでおくこと。授業時に示す課題についてレポートを作成すること。
You read the documents for preparations for lessons before a class.

関連科目

プログラミング演習 I
Programming 1

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	新・明解 C 言語 入門編			**ISBN**	978-4797377026
	著者名	柴田望洋	**出版社**	ソフトバンククリエイティブ	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	Beginning C, 5th Edition			**ISBN**	978-1430248811
	著者名	Ivor Horton	**出版社**	Apress	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項
参考書は「プログラミング演習 I」と同じである。
The reference books are the same as in Programming 1.

達成目標
C 言語の基礎知識・概念（ポインタまで）を理解するとともに、エディタ／コンパイラ／ライブラリなどを正しく使用できること。

1. エディタの使用方法とプログラムのコンパイル、リンク、実行方法の理解
2. プリプロセッサの役割と動作の理解
3. C 言語におけるデータ型、制御構造、演算子の理解
4. 配列、ポインタの理解
5. 関数、変数、記憶クラスの理解
6. 入出力関数、ライブラリ関数の理解
7. 1 から 6 を利用し、独創的なプログラムを一から作り上げるプログラミング技能の習得
1. Understand how to use the editor and the compiler
2. Understand how to use the macro
3. Understand data types, structures, operators
4. Understand how to use the pointer and the array
4. Understand how to use the function, the variable, and the scope
6. Understand input/output function and functions on the library
7. You learn programming skills to make up original programs from the beginning with 6 skills mentioned above

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
各回の演習課題のレポート（50 点満点）と、達成目標全体の達成度合いを総合的に評価する応用課題（50 点満点）の合計点で評価する。
S: 90 点以上　A: 80 点以上　B: 70 点以上　C: 60 点以上
※ただし、過年度生が履修した場合には従来（A～C）の評価基準を適用する。
You are evaluated at the total point as sum of weekly reports (50%) and final reports (50%).
S: 90 or higher (out of 100 points).
A: 80 or higher (out of 100 points).
B: 70 or higher (out of 100 points).
C: 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細
定期試験は応用課題のレポートとして実施する。

その他
教員居室: F-307
E-mail : gotoh [at] tut.jp
Room : F-307
E-mail : gotoh [at] tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
教員居室で随時相談に応じる。ただし、メール等で日時の調整をすることが望ましい。
I guide you at any time in my room.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
プログラミング、C言語

(B12530090)電気計測[Electric Measurement]

科目名[英文名]	電気計測[Electric Measurement]				
時間割番号	B12530090	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	岡田　浩 OKADA Hiroshi				
ナンバリング	ELC_BAC26020				

授業の目標

種々の物理・化学現象を電気的に計測するための基礎的な知識について理解を深める．また、計測の手段となるセンサならびに各種の計測装置，計算機との接続法，インターフェイスと信号電送技術、応用計測技術について講義する。実際の計測の場に知識を活用できる応用力を養うことを目標とする．

Understand basic concepts and technologies of electrical measurement of various electric and chemical phenomena. Also, understand fundamental sensors, measurement facilities, interface technologies for computer based-measurement systems, communications technologies, and applied measurement systems.

授業の内容

1-4 週目　電子計測の基礎
5-7 週目　センサ
8, 9 週目　データ変換
10 週目　電子計測器
11, 12 週目　ディジタル計測制御システム
13, 14 週目　測定値と制御信号の伝送
15 週目　応用計測
16 週目 試験

【予習・復習内容】
予め教科書の講義内容該当範囲を一読しておく。受講内容を簡潔にノートにまとめるとともに、学習内容、疑問点をクリアーにし、問題解決能力を高める。

【レポート課題】
随時、各講義内容に関連した課題を出す。

1st – 4th week: Fundamentals of electrical measurement
5th – 7th week: Sensors
8th – 9th week: Conversion of data
10th week: Electronic measurement
11th – 12th week: Digital measurement system
13th – 14th week: Data communication of measured values and controlling sygnal
15th week: Applied measurements
16th: Final exam.

[Homework]
Homework (report) subjects will be given as occasion arises.

予習・復習内容

Check the textbook prior to the class. After the class, rearrange the notebook and try quiz on the handouts.

関連科目

電気回路および電子回路

Electric circuit, and Electronic circuit

教科書 1	**書名**	「電気・電子計測」(新インターユニバーシティ)	**ISBN**	ISBN978-4-274-20593-

	著者名	田所嘉昭編著	出版社	オーム社	出版年	平成 20

教科書に関する補足事項
参考資料などは、随時配布する。

References will be distributed in the class as occasion arises.

参考書 1	書名	Introduction to Instrumentation and Measurements 2nd Edition			ISBN	
	著者名	Robert B. Northrop	出版社	CRC Press	出版年	

参考書に関する補足事項

達成目標
A.基礎的な事項
(1) 測定の方法，測定値の評価，単位について理解する.

B.センサ
(1) 各種センサの機能，原理，使用法を理解する.

C.データ変換
(1) 演算増幅器の理解，特に仮想接地を用いた回路の原理を理解する.
(2) 演算増幅器を用いた各種演算回路の構成を理解し，特徴を把握する.
(3) 電圧と周波数の変換法，周波数変換法，電圧と時間の変換法を理解する.
(4) アナログ-ディジタル変換，及びディジタル－アナログ変換の原理を理解する.

D.電子計測器
(1) 基本的な電子計測器の原理と特徴，そして使用法について理解する.

E. ディジタル計測制御システム
(1) 計算機の基本構成を理解し，計測器との接続法と駆動法を理解する.

F. 測定値と制御信号の伝送
(1) 信号の遠隔伝送手段であるテレメータの原理を理解する.

G. 応用計測
(1) 各種センサを組み合わせた応用的な計測技術の基本となる技術を理解する.
(2) 実際の測定系を構成する上で必要な知識や、測定データの取り扱いで留意すべき基本事項など、実際の場面で必要な基礎事項を理解する。
A. Fundamentals of measurement
(1) Understand category of measurement, evaluation of measurement, and units

B. Sensors
(1) Understand functions, principles, and operation of sensors

C. Data conversion
(1) Understand circuit using op-amps
(2) Understand and design op-amp circuit
(3) Conversion between voltage and frequency, between voltage and time
(4) Understand Analog/Digital and Digital/Analog conversion

D. Electronic measurement
(1) Understand operation and principles of electronic measurement facilities

E. Digital measurement/control system
(1) Understand basic structure of computers
(2) Understand interface and connection between measurement facilities and computers

F. Communication technology of measured values and control signals
(1) Understand telemetry system for remote sensing/controlling

G. Applied measurement
(1) Understand fundamental technologies of applied measurement consisted by various sensors
(2) Acquire basic know-how and points should be noted for constructing applied measurement

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
レポート 20%, 期末試験 80%とし, これらの合計で評価する.

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する.
S:達成目標をすべて達成しており, かつ試験・補習・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつ試験・補習・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつ試験・補習・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつ試験・補習・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

レポート, 試験の結果のみで評価する. 講義中の演習は理解を深めるために行うのであり, 評価には全く関係しない.
Evaluation consists of two points:
Report 20%
Final examination 80%

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
講義終了後に質問に応じる. その他の時間も可能な限り対応するが, 事前に e-mail 等で日時の予約をしておくことが望ましい.
Student can access the staffs any time, however, making an appointment via e-mail etc is desired.

学習・教育到達目標との対応

(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理, 化学, 電気・電子回路, 制御, システム工学, 材料工学, エネルギー変換工学, 情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
電気計測、センサ、制御
measurement, instrumentation, sensor, control

(B12530100)電力工学Ⅰ[Electrical Power Engineering 1]

科目名[英文名]	電力工学Ⅰ[Electrical Power Engineering 1]				
時間割番号	B12530100	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	櫻井　庸司 SAKURAI Yoji				
ナンバリング	ELC_BAC23020				

授業の目標

電気エネルギーの安定供給の観点から、種々の発電方式、送電、エネルギー貯蔵に関する基礎的な知識および基本的な技術を学ぶ。

This course aims for students to learn the fundamental knowledge and the basic technologies relating to the various power generation methods, power transmission and energy storage, from the view point of stable supply of electrical energy.

授業の内容

1・2週目　エネルギー消費の現状と電気エネルギー
3・4週目　エネルギー資源と地球環境問題
5・6週目　発電機と火力発電のしくみ
7・8週目　核エネルギーの利用、水力発電のしくみ
9・10 週目　化学エネルギーから電気エネルギーへの変換
11・12 週目　光から電気エネルギーへの変換
13・14 週目　熱電発電および種々の発電システム
15 週目　　電気エネルギーの伝送および貯蔵
16 週目　　定期試験

1st & 2nd weeks: Current state of energy consumption and electric energy
3rd & 4th weeks: Energy resources and global environment problems
5th & 6th weeks: Mechanism of power generators and thermal power generation
7th & 8th weeks: Use of nuclear energy, system of hydroelectric power generation
9th & 10th weeks: Conversion from chemical energy to electric energy
11th & 12th weeks: Conversion from light to electric energy
13th & 14th weeks: Thermoelectric generation and various power generation systems
15th week: Transmission and storage of electric energy
16th week: Periodic exam

予習・復習内容

【予習・復習内容】
毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

【レポート課題】
講義内容の理解を深めるためにレポート課題を出す予定であり、次回の授業開始時にレポートを提出すること。

関連科目

物理、化学、電力工学Ⅱ
Physics, Chemistry, Electrical Power Engineering 2

教科書 1	**書名**	電気エネルギー概論			**ISBN**	978-4274206429
	著者名	依田正之　編著	**出版社**	オーム社	**出版年**	2008
教科書に関する補足事項						
参考書 1	**書名**	電力システム工学			**ISBN**	978-4274206405
	著者名	大久保仁　編著	**出版社**	オーム社	**出版年**	2008
参考書 2	**書名**	新版　エネルギー変換			**ISBN**	978-4-13-062827-3
	著者名	斎藤孝基・飛原英治・畔津昭彦	**出版社**	東京大学出版会	**出版年**	2006
参考書に関する補足事項						

達成目標

A. 電気エネルギーとエネルギー資源

(1)エネルギーとエクセルギーの違いを理解する
(2)世界および日本のエネルギー消費形態の違いを説明できる
(3)電気エネルギーへの変換のエネルギーフローが図示できる
(4)石油、天然ガス、石炭、原子核燃料、水力、地熱の埋蔵量を知る
(5)地球温暖化現象の原因を理解し、再生可能(自然)エネルギーの役割を知る

B. 現在の発電技術
(1)熱力学の法則、カルノーサイクル、ランキンサイクルを理解する
(2)発電機のしくみを説明できる
(3)蒸気タービンの構成を説明できる
(4)ベルヌーイの定理、ファラデーの電磁誘導、フレミングの左手の法則を説明できる
(5)水車・風車の種類と特徴を説明できる。

C. 原子力発電
(1)原子核の結合エネルギーを計算できる
(2)核分裂と核融合の違いを説明できる
(3)原子炉の種類とその特徴を説明できる
(4)核融合炉の種類とその特徴を説明できる

D. 電気化学変換としての電池
(1)一次電池、二次電池および燃料電池の違いを説明できる
(2)電池・燃料電池の種類とそれらの特徴を説明できる
(3)電池・燃料電池の特性や構成を説明できる

E. 太陽光発電
(1)光電効果、光起電力効果を説明できる
(2)太陽電池の構成、出力特性を説明でき、変換効率を求められる
(3)太陽電池の種類と特徴を説明できる

F. 熱電発電
(1)ゼーベック効果、ペルチェ効果、トムソン効果を説明できる
(2)熱電子放出、接触電離機構を説明できる
(3)熱電発電、熱電子発電、アルカリ金属熱電変換器の動作原理および仕組みを説明できる

G. エネルギー輸送と貯蔵
(1)電力流通設備の構成例、日本における幹線連系系統を描ける
(2)交流送電の主要設備を挙げることができ、変電所の構成を描ける
(3)配電の仕組みを説明できる(直交流変換、周波数変換の必要性を含む)
(4)電力貯蔵の必要性を、負荷曲線を描いて説明できる
(5)主な電力貯蔵の方式(揚水発電、電池、超伝導コイルなど)を説明できる

A. Electric energy and energy resources
(1) Understand the difference between energy and exergy.
(2) Explain the difference in energy consumption in Japan and abroad.
(3) Illustrate the energy flow of conversion to electric energy.
(4) Learn the reserves of oil, natural gas, coal, nuclear fuel, water power resources and geothermal energy.
(5) Understand the causes of global warming; and learn the function of renewable (natural) energy.

B. Today's power generation technologies
(1) Understand the laws of thermodynamics, Carnot's cycle and Rankine cycle.
(2) Explain the mechanism of generators.
(3) Explain the mechanism of steam turbine.
(4) Explain Bernoulli's theorem, Faraday's electromagnetic induction and Fleming's left-hand rule.
(5) Explain the types and characteristics of water turbine and windmill.

C. Nuclear power generation
(1) Calculate nuclear binding energy.
(2) Explain the difference between nuclear fission and nuclear fusion.
(3) Explain the types and features of nuclear reactors.
(4) Explain the types and features of a nuclear fusion plant.

D. Cells as the electrochemical transducer
(1) Explain the difference among primary cells, secondary cells and fuel cells.
(2) Explain the types and features of batteries/fuel cells.
(3) Explain the properties and composition of batteries/fuel cells.

E. Solar power generation
(1) Explain the photoelectric effect and photovoltaic effect.
(2) Explain the solar cell composition and output characteristics; and obtain the conversion efficiency.

(3) Explain the types and characteristics of solar batteries.

F. Thermoelectric generation
(1) Explain Seebeck effect, Peltier effect and Thomson effect.
(2) Explain thermionic emission and contact ionization mechanism.
(3) Explain the operating principles and mechanism of thermoelectric generation, thermionic generation and alkali metal thermoelectric converter (AMTEC).

G. Energy transport and storage
(1) Illustrate the composition example of power distribution facilities and the trunk line interconnection system in Japan.
(2) List the main facilities for AC transmission and describe the composition of substations.
(3) Explain the mechanism of power distribution (including the necessity of DC/AC conversion and frequency conversion).
(4) Explain the necessity of power storage by drawing a load curve.
(5) Explain the main methods of power storage (pumped-storage generation, batteries and superconducting coils etc.).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に全ての講義に出席した者につき、定期試験 1 回・レポート（定期試験：80%、レポート：20%）により評価し、60 点以上を合格とする。
（S:90 点以上、A:80 点以上、B:70 点以上、C:60 点以上）
[Evaluation method] exam(80%)+reports(20%)

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居室：Ｃ－305
電話：6722
E-mail : sakurai@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.cec.ee.tut.ac.jp/
http://www.cec.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

講義の直後。その他の時間も対応するが、事前予約が望ましい。
Right after the lecture. Prior appointment is necessary for other time.

学習・教育到達目標との対応

(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理、化学、電気・電子回路、制御、システム工学、材料工学、エネルギー変換工学、情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し、それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

キーワード

電気エネルギー、エネルギー変換、発電、送電、電力貯蔵

(B12530110)計算機アーキテクチャ概論[Introduction to Computer Architecture]

科目名[英文名]	計算機アーキテクチャ概論[Introduction to Computer Architecture]				
時間割番号	B12530110	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	青野　雅樹 AONO Masaki				
ナンバリング	ELC_BAC25020				

授業の目標

コンピュータの基本アーキテクチャであるノイマン型(プログラム内蔵方式)計算機について，その基本動作の仕組み，計算機の各構成要素の動作の仕組み，ならびにアセンブラによるプログラム方法を理解する。特に，プロセッサアーキテクチャ，キャッシュメモリと仮想記憶に代表されるメモリアーキテクチャに焦点を当てる。MIPS アセンブラ言語を用いて，これらの概念の理解を高める。

The main focus of this class is the basic understanding of von Neumann (a.k.a. stored-program based) computer architecture. Objectives of this class include the understanding of how computer instructions should be chosen, how they should be stored in computer memory, how they should be fetched initially from a file (program) kept in a disk, from the main memory, or from the upper memory hierarchies such as the primary and secondary caches, to the CPU (registers). MIPS assembly language, as an example of RISC (Reduced Instruction Set Computer), has to be understood to augment the understanding of these concepts.

授業の内容

1週目 計算機の歴史
2週目 計算機の基本的な仕組み
3週目 計算機での数値表現、命令表現
4週目 命令セットアーキテクチャ(その 1)
5週目 命令セットアーキテクチャ(その 2)
6週目 MIPS アセンブラ(その 1)
7週目 MIPS アセンブラ(演習，情報メディア基盤センター第 2 端末室利用予定)
8週目 MIPS アセンブラ(その 2)
9週目 キャッシュメモリアーキテクチャ(その 1)
10週目 キャッシュメモリアーキテクチャ(その 2)
11週目 仮想記憶アーキテクチャ(その 1)
12週目 仮想記憶アーキテクチャ(その 2)
13週目 プロセッサアーキテクチャ(その 1)
14週目 プロセッサアーキテクチャ(その 2)
15週目 期末テスト
1-st week: History of Computers
2-nd week: Basic Principles of Computers
3-rd week: Computer Representations of Numbers and Instruction Sets
4-th week: Instruction Set Architecture (Part 1)
5-th week: Instruction Set Architecture (Part 2)
6-th week: MIPS Assembly Language (Part 1)
7-th week: MIPS Assembly Language (On-The-Job-Training at IMC (2-nd Terminal Room) 1-st Floor)
8-th week: MIPS Assembly Language (Part 2)
9-th week: Cache Memory Architecture (Part 1)
10-th week: Cache Memory Architecture (Part 2)
11-th week: Virtual Memory (Part 1)
12-th week: Virtual Memory (Part 2)
13-th week: Processor Architecture (Part 1)
14-th week: Processor Architecture (Part 2)
15-th week: Final Exam

予習・復習内容

教科書の演習問題は事前に予習・復習を兼ねて各自実施すること。
また、MIPS アセンブラの詳説が含まれるため、http://pages.cs.wisc.edu/~larus/spim.html にある QtSimulator(Windows 版)の使い方を勉強しておくことが望ましい。
Examples and "Check Yourself" exercises in each chapter are recommended to do before or after the class. Also, to understand MIPS assemble language, it is strongly recommended to download "QtSimulator" (Windows edition), install it, and

practice it, which is available at http://pages.cs.wisc.edu/~larus/spim.html.

関連科目

計算機アーキテクチャ(情報・知能工学工学課程 3 年次開講)

教科書に関する補足事項

教科書(以下)は系事務室(F 棟 2F 情報・知能工学系事務室)で豊富(合計 20 部以上)に準備される予定です。また、別途、MIPS アセンブラの資料を配布します。

書名:Computer Organization and Design, Fifth Edition
著者:David A. Patterson and John L. Hennessy
出版社:Morgan Kaufmann
ISBN: 978-0124077263

The following textbook can be borrowed from CS office (2F of F-building):

Book title: Computer Organization and Design, Fifth Edition
Authors: David A. Patterson and John L. Hennessy
Publisher: Morgan Kaufmann
ISBN: 978-0124077263

参考書 1	**書名**	コンピュータの構成と設計 第5版 (上)(下)			**ISBN**	978-4822298425, 978-
	著者名	デイビッド・A・パターソン (著), ジョン・L・ヘネシー (著), 成田光彰 (翻訳)	**出版社**	日経BP社	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	コンピュータアーキテクチャ			**ISBN**	978-4274133046
	著者名	内田 啓一郎、小柳 滋	**出版社**	オーム社	**出版年**	2004

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)コンピュータの命令セットの基本概念と実行制御の仕組みが理解できる。
(2)コンピュータのデータの内部表現(特に2の補数表現と IEEE の実数表現)が理解できる。
(3)アムダールの法則が理解できる。
(4)CPU の性能評価を CPI で計算できる。
(5)アセンブリ言語(MIPS)での簡単なプログラムが理解できる。
(6)キャッシュの基本概念が理解でき CPI での性能評価ができる。
(7)仮想記憶の基本概念が理解できる。
(8)パイプライン処理の基本概念が理解できる。

(1) Basic understanding of computer instructions and the control mechanism of computer instructions
(2) Basic understanding of computer data representation (especially on 2's complement and IEEE floating point representation)
(3) Basic understanding of Amdahl's law
(4) Basic understanding of performance computation of CPU by CPI
(5) Basic understanding of MIPS assemble language as an example of RISC
(6) Basic understanding of cache memory and CPI computation under several layers of caches
(7) Basic understanding of virtual memory
(8) Basic understanding of pipeline mechanism of instruction sets

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に以下すべてを満たしたものにつき, 成績の評価を行う。
・全ての講義に出席する
・全てのレポートを提出する

評価は, 達成目標の全体の達成を総合的に評価する定期試験(80 点)とレポート(20 点満点)の合計点で行う。
S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来(A～C)の評価基準を適用する。

A student taking this class must
・attend all the classes
・submit all the assignments
%
Evaluations are done by adding 80% from final exam and 20% from assignments.
S: 90% or more, A: 80% or more, B: 70% or more C: 60% or more

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

教員居室：C-511
内線：6764
E-mail：aono@tut.jp
Teacher's room location：C-511
Extension：6764
E-mail：aono@tut.jp

ウェルカムページ

http://www.kde.cs.tut.ac.jp/~aono/myLecture.html
http://www.kde.cs.tut.ac.jp/~aono/myLecture.html

オフィスアワー

事前に e-mail で予約連絡をすること。
Any time, but an appointment has to be made in advance by e-mail (to aono@tut.jp)

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

ノイマン型コンピュータ，命令セットアーキテクチャ(ISA)，RISC，記憶階層，アセンブラ，パイプライン
von Neumann computer, instruction set architecture (ISA), RISC, memory hierarchy, MIPS assembly language, pipeline

(B12530130)通信工学概論[Introduction to Communication Engineering]

科目名[英文名]	通信工学概論[Introduction to Communication Engineering]				
時間割番号	B12530130	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	大平　孝 OHIRA Takashi				
ナンバリング	ELC_BAC25020				

授業の目標

今日および将来の情報通信ネットワーク社会を支える通信システムの概要を理解する。具体的には、通信システム全体を概観し基本的な構成やしくみを学ぶとともに、通信システムの主要技術であるフーリエ変換、周波数スペクトル、変調、雑音などを理解することを目標とする。

Learn fundamentals of telecommunication systems, hardware configurations, and how they work. Know the key concepts including Fourier transform, frequency spectrum, modulation, and noise.

授業の内容

第 1 週:通信方式序論
第 2 週:フーリエ級数
第 3 週:フーリエ変換
第 4 週:周波数スペクトル
第 5 週:確率過程と雑音
第 6 週:通信路容量
第 7 週:振幅変調
第 8 週:直交変調
第 9 週:角度変調
第 10 週:標本化と量子化
第 11 週:パルス変調
第 12 週:デジタル変調
第 13 週:最適受信
第 14 週:伝送特性
第 15 週:回線設計
第 16 週:期末試験
1: Introduction to telecommunications
2: Fourier series
3: Fourier transform
4: Frequency spectrum
5: Statistics and noise
6: Channel capacity
7: Amplitude modulation
8: Quadrature modulation
9: Angle modulation
10: Sampling and quantization
11: Pulse modulation
12: Digital modulation
13: Matched receiver
14: Transmission performance
15: Link design
16: Semester exam

予習・復習内容

教科書で予習するとともに授業ノートで復習すること。

Read the textbook chapter before each lesson. Do the homework exercise for review.

関連科目

数学全般、通信工学、情報ネットワーク、ディジタル信号処理、情報理論、高周波回路工学など。

教科書 1	**書名**	通信方式			**ISBN**	978-4-274-21473-8
	著者名	守倉正博 編著	**出版社**	オーム社	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 通信システムのしくみと原理について基礎的な理解を得る.
(2) 通信の基本知識である周波数スペクトルとフーリエ変換についての基本知識を得る.
(3) 変調・雑音・回線設計など通信方式理論と要素技術の基本知識を得る.
(1) Understand the system and principle of telecommunication.
(2) Know the key concepts including frequency spectrum and Fourier transform.
(3) Know the theory on modulation, noise, and link budget.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験で評価する。
S:達成目標をすべて達成しており, テスト得点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, テスト得点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, テスト得点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, テスト得点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend the semester exam will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% goals and obtained total points of exam 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% goals and obtained total points of exam 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% goals and obtained total points of exam 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験を受験しない場合は履修放棄とする。

その他

ウェルカムページ

http://www.comm.ee.tut.ac.jp/
http://www.comm.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

随時対応. ただし, メールや講義後などに事前アポイントメントを取ることが望ましい
Make an appointment beforehand.

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理, 化学, 電気・電子回路, 制御, システム工学, 材料工学, エネルギー変換工学, 情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

フーリエ変換、回線、変調、雑音、通信路
telecommunication, link, channel, modulation, noise

(B12530150)電気回路演習[Electric Circuit Exercise]

科目名[英文名]	電気回路演習[Electric Circuit Exercise]				
時間割番号	B12530150	**区分**	電気・電子情報専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	川島　朋裕 KAWASHIMA Tomohiro				
ナンバリング	ELC_BAC11022				

授業の目標

電気回路演習を通じて、
・抵抗、コンデンサ、インダクタの振る舞いを理解する。
・記号法や二次元ベクトルを用いて正弦波交流回路を表現できる。
・回路網の諸定理を駆使し、直流・交流回路を解析できる。
・交流回路の動作および、応用回路の動作を理解できる。
The course objectives are to understand the basic principles in electric circuits as follows:
・Natures and behaviors of resistors, capacitors and inductors in DC and AC circuits.
・Sinusoidal analyses using phasor and vector approaches.
・Circuit analyses adopting the suitable theorems for DC and AC circuit.
・Operation and application analyses for AC circuits.

授業の内容

下記に関する基礎的・応用的な問題の演習を行う。
１週目　抵抗、コンデンサ、コイルおよび電源の性質（Resistors, Capacitors, Inductors and Sources）
２週目　オームの法則と正弦波交流（Ohm's Law and Sinusoids）
３週目　フェーザ表示（Phasors）
４週目　回路素子とフェーザ表示（Phasor Relationships for Circuit Elements）
５週目　インピーダンスとアドミッタンス（Impedance and Admittance）
６週目　キルヒホッフの法則（Kirchhoff's Laws）
７週目　節点解析と網目解析（Nodal and Mesh Analysis）
８週目　中間試験（Mid-term Exam）
９週目　重ね合わせの理，テブナンの定理，ノートンの定理（Superposition's, Thevenin's, and Norton's Theorem）
１０週目　Y－Δ／Δ－Y 変換，ブリッジ回路，最大電力の定理（Wye-Delta/Delta-Wye Transformations, Bridge Circuits, and Maximum Power Theorem）
１１週目　直列共振回路とQ値（Series Resonant Circuit and Q factor）
１２週目　並列共振回路とQ値（Parallel Resonant Circuit and Q factor）
１３週目　自己/相互インダクタンスと結合係数（Self/Mutual Inductance and Coupling Coefficient）
１４週目　変成器と変圧器（Impedance Transformer and Voltage Transformer）
１５週目　交流電力解析（AC Power Analysis）
１６週目　期末試験（Term-end Exam）

注：なお本講義は電気回路Ⅰと連携して進行する。
（The class has a relationship with electric circuit Ⅰ.）
1st week Resistors, Capacitors, Inductors and Sources
2nd week Ohm's Law and Sinusoids
3rd week Phasors
4th week Phasor Relationships for Circuit Elements
5th week Impedance and Admittance
6th week Kirchhoff's Laws
7th week Nodal and Mesh Analysis
8th week Mid-term Exam
9th week Superposition's, Thevenin's, and Norton's Theorem
10th week Wye-Delta/Delta-Wye Transformations, Bridge Circuits, and Maximum Power Theorem
11th week Series Resonant Circuit and Q factor
12th week Parallel Resonant Circuit and Q factor
13th week Self/Mutual Inductance and Coupling Coefficient
14th week Impedance Transformer and Voltage Transformer
15th week AC Power Analysis
16th week Term-end Exam

・This class has a relationship with electric circuit I.

予習・復習内容

電気回路Ⅰの内容を良く復習しておくこと。

Students are required to review previous lessens of electric circuit I.

関連科目

電気回路Ⅰ

Electric circuit I

教科書 1	**書名**	Fundamentals of Electric Circuits (5th edition), ペーパーバック			**ISBN**	0-073-38057-1
	著者名	Charles K. Alexander and Matthew N. O. Sadiku	**出版社**	Mc Graw Hill	**出版年**	2012

教科書に関する補足事項

教科書に関連した内容の参考資料を配布する場合がある。

英語の辞書を持参すること。

Each lecture will provide supporting materials.

It is preferable to bring an English dictionary.

参考書 1	**書名**	インターユニバーシティ 電気回路 A 改訂 2 版			**ISBN**	4-274-13272-2
	著者名	佐治 学	**出版社**	オーム社	**出版年**	2003
参考書 2	**書名**	新インターユニバーシティ 電気回路Ⅰ			**ISBN**	978-4-274-20931-4
	著者名	山口 作太郎	**出版社**	オーム社	**出版年**	2010
参考書 3	**書名**	回路理論基礎（電気学会大学講座）			**ISBN**	978-4-88686-204-4
	著者名	柳沢 健	**出版社**	電気学会	**出版年**	1986

参考書に関する補足事項

講義ごとに指示する。

References will be instructed in each lecture.

達成目標

A. 基礎的な事項

（1）抵抗、コンデンサ、インダクタの振る舞いを理解する。

（2）網目電流解析を習熟する。

（3）節点電圧解析を習熟する。

B. 回路網に関する諸定理

（1）重ね合わせの定理を用いて複数の電源を含んだ回路解析を行うことができる。

（2）テブナンおよびノートンの定理を用いて回路網解析を行うことができる。

C. 共振回路

（1）直列共振回路、並列共振回路の特性をそれぞれ理解できる。

（2）Q値の意味が理解できる。

D. 自己・相互インダクタンス、変成器・変圧器

（1）2つのコイルの合成インダクタンスを導出できる。

（2）理想変成器、単巻変成器、変圧器の動作が理解できる。

E. 電力と力率

（1）電力を複素数で表現できる。

（2）電力（有効、無効、皮相）の概念を理解し、力率を導出できる。

A. Fundamentals

(1) Understand the natures and behaviors of resistors, capacitors and inductors in DC and AC circuits.

(2) Acquire mesh analysis.

(3) Acquire nodal analysis.

B. Circuit theorems

(1) Analyze circuit network with several sources utilizing superposition theorem.

(2) Analyze circuit network utilizing Thevenin's and Norton's theorems.

C. Resonant circuits
(1) Understand the phenomena of series and parallel resonances.
(2) Understand the meanings of Q factor.

D. Self/Mutual inductance and Impedance/Voltage transformer
(1) Derive the inductance of coupled inductors.
(2) Understand characteristics and behaviors of an ideal transformer and auto-transformer.

E. Power and power factor
(1) Calculate complex power.
(2) Understand the relationship between complex power and power factor.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価方法：小テスト(30%)、定期試験(50%)、レポート課題・授業中の質疑応答等（20%）の割合で総合的に評価する。
S：達成目標をすべて達成しており、かつ小テスト・定期試験・レポート課題・授業中の質疑応答等の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており、かつ小テスト・定期試験・レポート課題・授業中の質疑応答等の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており、かつ小テスト・定期試験・レポート課題・授業中の質疑応答等の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており、かつ小テスト・定期試験・レポート課題・授業中の質疑応答等の合計点（100 点満点）が 60 点以上
S: Achieved all goals and obtained total points of exams and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exams and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exams and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exams and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

担当教員の居室：C-314
E メールアドレス：kawashima(_at_)ee.tut.ac.jp
連絡の際は(_at_)を@に変更して下さい。
Office: C-314
E-mail: kawashima[at]ee.tut.ac.jp
(Please replace [at] to @ when you send an e-mail.)

ウェルカムページ

オフィスアワー

上記連絡先に連絡後、随時対応。

It is preferable to make an appointment.

学習・教育到達目標との対応

(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

電気回路(Electric Circuit) 演習(Exercise) 電気回路演習(Electric Circuit Exercise)
Electric circuit exercise

(B12530160)基礎電磁気学演習[Basic Electromagnetism Exercise]

科目名[英文名]	基礎電磁気学演習[Basic Electromagnetism Exercise]				
時間割番号	B12530160	**区分**	電気・電子情報専門Ｉ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	後藤　太一 GOTO Taichi				
ナンバリング	ELC_BAC21020				

授業の目標

電磁気学は，電気・電子情報工学分野の中でも最も重要な基礎科目の1つです．マクスウェルの方程式と呼ばれる電界，磁界そして電磁界を記述する方程式の基礎から応用までを学びます．この演習科目は，基礎電磁気学とセットになっており，基礎電磁気学で学んだ内容を演習を通じて応用力を養います．

Electromagnetism is one of the most important subjects in the electrical and electronic information engineering. Maxwell's equation is derived with the description of electric field, magnetic field, and electromagnetic field. This subject follows the contents of Basic Electromagnetism. Several questions related to the electromagnetism are solved by attendees.

授業の内容

基礎電磁気学と連携して，以下の項目に関する演習を行う．

（1～3回目）静電気
　〇クーロンの法則と電界
　〇ガウスの定理
　〇静電ポテンシャル（電位）
　〇導体系とコンデンサ
　〇誘電体と電束密度
（4～6回目）定常電流
　〇電流密度ベクトル
　〇定常電流保存則
　〇コンデンサと抵抗
（7～9回目）静磁気
　〇磁気におけるクーロン則と磁界
　〇ガウスの定理
　〇ローレンツ力
　〇ビオ・サバールの法則
　〇アンペールの法則
　〇磁性体と磁束
（10～11回目）電磁誘導
　〇電磁誘導の法則
　〇運動電磁誘導とローレンツ力
　〇インダクタンス
（12～13回目）準定常電流
　〇変位電流
　〇電荷保存則
　〇表皮効果
（14～15回目）マクスウェルの方程式と電磁波の放射
　〇積分形マクスウェルの方程式
　〇微分形マクスウェル方程式
　〇進行波と波動方程式
　〇電磁波の放射

(1st – 3rd)
Coulomb's law and static electric field
Gauss's law
Electrostatic potential
Conductive system and capacitor
Dielectric system and electric flux density

(4th – 6th)
Current density
Steady current conservation law

Capacitor and resistance

(7th – 9th)
Coulomb's law on magnetism and magnetic field
Gauss's law
Lorentz force
Biot-Savart law
Ampere's rule
Magnetic materials and magnetic flux

(10th – 11th)
Electromagnetic induction
Electromagnetic induction and Lorents force

(12th – 13th)
Displacement current
Law of conservation charge
Skin effect

(14th – 15th)
Maxwell's law
Travelling wave and wave equation
Radiation of electromagnetic wave

予習・復習内容
授業中に出す課題をよく復習すること.
Review lessons.

関連科目
物理学Ⅰ, 物理学Ⅱ, 基礎電磁気学, 電磁気学, 電磁波工学
Physics, Electromagnetism, Electromagnetic wave engineering

教科書に関する補足事項
演習問題のプリントを随時配布する.
Handouts will be distributed in the classes.

参考書 1	**書名**	電磁気学－初めて学ぶ人のために			**ISBN**	9784563022372
	著者名	砂川重信	**出版社**	培風館	**出版年**	1997
参考書 2	**書名**	電磁気学 (物理テキストシリーズ 4)			**ISBN**	978-4000077446
	著者名	砂川重信	**出版社**	岩波書店	**出版年**	1987
参考書 3	**書名**	電磁気学演習			**ISBN**	9784000077453
	著者名	砂川重信	**出版社**	岩波書店	**出版年**	1987

参考書に関する補足事項
参考書 4 書名「詳解電磁気学演習」著者名：後藤憲一, 山崎修一郎　出版社：共立出版
ISBN：9784320030220　出版年：1970
参考書 5 書名「電磁気〈上〉(バークレー物理学コース)」著者名：Edward M. Purcell, 飯田 修一
出版社：丸善　ISBN：9784621033005　出版年：1989

達成目標
静電気, 静磁気, 電磁界について, 物理現象が説明できること. また, 基礎方程式を立て, 具体的な電磁気現象の解析ができること.
Explain physical phenomena like static electric field, static magnetic field, and electromagnetic field.
Analyze electromagnetic phenomena using basic equations.Report (70%) + Answer in classes (30%).

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
基礎電磁気学と連携して、特に電気・電子情報工学分野に要求される電磁気現象の深い理解を目途に, 様々な角度から演習を行う. 基礎電磁気学のシラバスに沿ってレポートを課す.
レポートの内容（70％）と, 授業中の演習への取り組み（30％）を総合的に勘案して単位認定を行う.

Report (70%) + Answer in classes (30%).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
ウェルカムページ http://www.spin.ee.tut.ac.jp/staff-gototaichi.html http://taichigoto.boy.jp/wordpress/ http://www.spin.ee.tut.ac.jp/staff-gototaichi.html http://taichigoto.boy.jp/wordpress/
オフィスアワー 希望者は，メール（goto@ee.tut.ac.jp）にて，面談日時を調節後，随時受け付けます． You can send e-mail to goto@ee.tut.ac.jp for questions. If it is needed, we can arrange the meeting time place.
学習・教育到達目標との対応
キーワード 電気，電子，磁気，電磁気，電磁波，光，マイクロ波，通信

(B12610010)線形代数[Linear Algebra]

科目名[英文名]	線形代数[Linear Algebra]				
時間割番号	B12610010	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	河野　剛士 KAWANO Takeshi				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

理工学に要求される線形代数の基礎的概念や基本的手法を理解・修得し、線形空間とユークリッド空間の諸性質を理解する。

This course is for people who want to learn the basic concepts of linear algebra. The course covers systems of linear equations, determinants, vector spaces, inner products, eigenvalues and eigenvectors.

授業の内容

1-2.線形代数の背景，行列演算と正則行列
3.連立一次方程式と階数（行基本変形と階段行列）
4.連立一次方程式と階数（連立一次方程式の解法）
5.行列式（定義と基本性質）
6.行列式（余因子，展開，図形的意味など）
7.ベクトル空間と線形写像（一次独立，一次従属，基底と次元）
8.(中間試験)
9-10.ベクトル空間と線形写像（線形写像と表現行列、像と核など）
11-12.内積（正規直交化法など）
13.内積（直交補空間，直交行列など）
14.固有値と固有ベクトル（定義，性質など）
14.固有値と固有ベクトル（三角化，対角化など）
15.固有値と固有ベクトル（実対称行列の対角化など）
15.2次形式
16.(期末試験)

Lec 1-2. Background of linear algebra, Matrix operations, Regular matrix
Lec 3. Systems of linear equations, The rank of a matrix 1 (Row operations, matrix in echelon form)
Lec 4. Systems of linear equations, The rank of a matrix 2 (Solving a system)
Lec 5. Determinants 1 (Properties of determinants)
Lec 6. Determinants 2 (Cofactor etc.)
Lec 7. Vector spaces, Linear transformations 1 (Linear dependence, Linear independence, Bases, Dimension)
Lec 8. Midterm Exam
Lec 9-10. Vector spaces, Linear transformations 2 (Linear mapping, Representation matrix, Image, Kernel, etc.)
Lec 11-12. Inner products 1 (Orthogonalization etc.)
Lec 13. Inner products 2 (Orthogonal complement, Orthogonal matrix etc.)
Lec 14. Eigenvalues and eigenvectors 1 (Properties of eigenvalues and eigenvectors)
Lec 15. Eigenvalues and eigenvectors 2 (Diagonalization etc.), 3 (Quadratic form)
Lec 16. Final Exam

予習・復習内容

授業前に予習、授業後に復習を行っておく
演習問題・レポートを与える事がある
Self-study required before and after each class
Weekly homework (tentative)

関連科目

・修得を済ませていることが強く望まれる科目：
　線形代数Ⅰ, Ⅱ(一般基礎Ⅰ)，またはこれに相当する科目
・関連する科目
　確率統計，数値解析，電気回路論，量子力学Ⅰ，量子力学Ⅱ，制御工学など
Prerequisite:
Linear Algebra (1, 2)

Relations to other coursers:
Probability and Statistics, Numeric Analysis, Electrical Circuit, Quantum Mechanics (1, 2), and Control Engineering etc.

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	教養の線形代数			**ISBN**	978-4563003760
	著者名	村上正康，佐藤恒雄，野澤宗平，稲葉尚志 共著，	**出版社**	培風館	**出版年**	2008
参考書 2	**書名**	Linear Algebra and its Applications; 5 edition			**ISBN**	978-1292092232
	著者名	David C. Lay	**出版社**	Pearson Education Limited; Global ed	**出版年**	2015

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 線形空間の基本的な考え方を修得する。
   線形空間の基本について定義から始め、具体的な例を示しながら概念を述べる。
2. 行列、逆行列について基本的な計算能力をつける。
   行列、逆行列の基本的な演算を演習を通じて学び、基礎的な計算能力を培う。
3. 行列を通じて、連立一次方程式の解法を修得する。
   連立一次方程式を行列の性質を利用し解くための解法を理解する。
4. 行列式について基本的な計算能力を修得する。
   行列式の具体的な計算を行い、行列との関係を理解する。
5. 次元、基底について理解する。
   次元、基底について概念を修得し、線形空間との関係を理解する。
6. 線形写像の像および核について、連立一次方程式および行列と共に理解する。
   線形写像について理解を深め、その標準形について理解する。
7. 内積空間、正規直交化について理解する。
   計量的な概念を扱う基本となる内積とベクトルの正規化、直交化を理解する。
8. 固有値、固有ベクトルの概念を理解する。
   固有値問題を解くことで、固有値・固有ベクトルの意味を理解し、2 次形式への応用ができる。

At the end of this course, the successful student will have a fundamental understanding of the working principles of Linear algebra (matrix, matrix inversion, systems of linear equations, matrix operations, dimension, bases, linear transformations, image, kernel, inner product, orthogonalization, eigenvalue, eigenvector) used in science and technology.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験(50%)、期末試験(50%)。これらの合計(100 点満点)で評価する。
S: 90 点以上　A: 80 点以上　B: 70 点以上　C: 60 点以上
The final grade will be based on Midterm (50%) and Final Exam (50%)
S: 100-90, A: 89-80, B: 79-70, C: 69-60

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.int.ee.tut.ac.jp/icg/member/~takekawano
http://www.int.ee.tut.ac.jp/icg/member/~takekawano

オフィスアワー

基本的に授業実施日の午前中（～12 時）をオフィスアワーとするが、これ以外の時間でも在室中は随時質問等を受け付けます。
メール等で事前に連絡してください。

Wednesday 1:00 PM - 2:00 PM in C-603 (C building)

学習・教育到達目標との対応

技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術分野，地球環境対応技術分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力

The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances utilizing the ability realized from the

acquisition of a basic knowledge in science and technology; the mastery of subjects in mathematics, natural science, information technology, global environmental technology, and intellectual property
キーワード

(B12610020)確率統計[Probability and Statistics]

科目名[英文名]	確率統計[Probability and Statistics]				
時間割番号	B12610020	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	竹内　啓悟 TAKEUCHI Keigo				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

工学のみならずあらゆる分野で必要となる確率統計について、基礎的な理論を理解し、確率統計の基礎的な計算技術を習得する。

The aim of this lecture is to learn basic theory and computation skills in probability and statistics.

授業の内容

第1週　公理的確率論
第2週　確率変数、離散分布
第3週　連続確率変数、確率密度関数
第4週　多変数確率分布、条件付き確率分布、周辺確率分布
第5週　平均、分散、共分散
第6週　モーメント、母関数、特性関数
第7週　大数の法則
第8週　中間試験
第9週　中心極限定理と正規分布
第10週　ガンマ分布、カイ二乗分布、t 分布
第11週　統計的推測、母集団、標本、統計量
第12週　点推定
第13週　区間推定
第14週　仮説検定
第15週　ベイズ推定
第16週　期末試験

レポート内容

授業中に毎回出題する練習問題を参考にして、1回のレポートを課す。

#1 Axiomatic probability theory
#2 Discrete random variables and discrete distributions
#3 Continuous random variables and probability density functions
#4 Multivariate distributions, conditional distributions, and marginal distributions
#5 Mean, variance, and covariance
#6 Moments, generating functions, and characteristic function
#7 Law of large numbers
#8 Mid-term examination
#9 Central limit theorem and normal distribution
#10 Gamma distribution, chi-square distribution, and t-distribution
#11 Statistical inference, population, samples, and statistic
#12 Point estimation
#13 Interval estimation
#14 Hypothesis testing
#15 Bayesian inference
#16 Regular examination

Reports:
One report based on exercises provided in every lecture.

予習・復習内容

次回内容についてはテキスト等を参考に予習してくること。

講義資料を WWW で提供するので、前回までの講義内容を復習すること。
Prepare by yourself with a textbook or materials provided on Web.

関連科目

初歩的な確率、微分積分学、フーリエ/ラプラス変換は既習として進める。
複素関数論の一部を先取りで取り扱う。
Basic knowledge on elementary probability, calculus, and Fourier/Laplace transforms is desired.

教科書に関する補足事項

講義資料を使って講義を進める。

The lecture is based on lecture notes.

参考書 1	**書名**	Probability and statistics : Schaum's outlines			**ISBN**	978-0071795579
	著者名	Murray R. Spiegel, John J. Schiller, R. Alu Srinivasan	**出版社**	McGraw-Hill	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

1)確率統計の基本的な定義や概念を理解できる。
2)非一様な確率分布の平均や(共)分散を計算できる。
3)確率変数の和の平均や分散を計算できる。
4)正規分布の基本的な性質とその由来を理解できる。
5)点推定のための基本的な推定量を導出できる。
6)区間推定や仮説検定の基本的な方法を理解できる。

1) Ability to understand basic definitions and concepts in probability and statistics.
2) Ability to compute the mean and (co)variance of non-uniform random variables.
3) Ability to compute the mean and variance of the sum of random variables.
4) Ability to understand basic properties and background of the normal distribution.
5) Ability to derive basic estimators in point estimation.
6) Ability to understand basic methods in interval estimation and hypothesis testing.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート 30%、中間試験 30%、期末試験 40%とし、これらの合計で総合的に評価する。
The final grade is determined by a report (30%), a mid-term exam (30%), and a final exam (40%).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

中間試験や期末試験に関する注意は講義時に行う。
Details will be explained in lectures.

その他

部屋:C-408
E-mail:takeuchi@ee.tut.ac.jp
部屋:C-408
E-mail:takeuchi@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://comm.ee.tut.ac.jp/~takeuchi/lecture/
http://comm.ee.tut.ac.jp/~takeuchi/lecture/

オフィスアワー

随時
Any time

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

確率変数、期待値、正規分布，統計的推測
Random variables, expectations, normal distribution, statistical inference

(B12610030)応用解析学[Applied Mathematical Analysis]

科目名[英文名]	応用解析学[Applied Mathematical Analysis]				
時間割番号	B12610030	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	髙橋　一浩 TAKAHASHI Kazuhiro				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

電気・電子工学の基礎として、集合、偏微分法および重積分法を理解し求めることができるようにする。

This lecture aims to understand and find set, partial differentiation, and multiple integration as basis of electrical and electronic engineering.

授業の内容

1週目　実数と連続関数(復習)
2週目　1 変数関数の微分(復習)
3週目　平面の点列、2 変数関数の極限と連続性
4週目　偏導関数(偏微分、高階偏導関数)
5週目　偏導関数(全微分可能性と全微分、接平面と法線の方程式)
6週目　偏導関数(合成関数の微分、Taylor の定理)
7週目　陰関数の定理、2 変数関数の極値
8週目　条件付き極値
9週目　中間試験
10週目　1 変数関数の積分(復習)
11週目 1 変数関数の積分(復習)
12週目　重積分(縦線集合、区域上の重積分の定義、重積分の性質)
13週目　重積分(変数変換、広義の重積分)
14週目　多重積分
15週目　多重積分の応用
16週間　期末試験

Week 1: Real numbers, Continuous function (Brushup)
Week 2: Differentiation of functions of single variable (Brushup)
Week 3: Limits and continuity of functions of two variables
Week 4: Partial differentiation
Week 5: Partial differentiation
Week 6: Partial differentiation
Week 7: Implicit function theorem, extrema of functions of two variables
Week 8: Conditional extrema
Week 9: Intermediate examination
Week 10: Integration of functions of a single variable (Brushup)
Week 11: Integration of functions of a single variable (Brushup)
Week 12: Multiple integral
Week 13: Multiple integral
Week 14: Multiple integration
Week 15: Application of multiple integration
Week 16: Final examination

予習・復習内容

復習は、板書と、講義中の口頭説明の内容をしっかり理解すること。

Students make own notebook by using the handouts, text book, and reference book.

関連科目

微分積分Ⅰ・Ⅱ，線形代数，確率統計，複素関数論

Differential and Integral Calculus I・II, Linear Algebra, Probability and Statistics, Complex Function Theory

教科書に関する補足事項

毎回講義の英文概要を配布する。

Summary of the lecture will distribute.

参考書 1	**書名**	基礎微分積分学			**ISBN**	978-4-87361-695-7
	著者名	江口正晃他	**出版社**	学術図書出版	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）点の近傍、集積点、集合の内部、境界、外部の定義が理解できる。
（2）開集合、閉集合、連結、領域の定義が理解できる。
（3）偏微分を実行できる。高次偏導関数を求めることができる。
（4）全微分可能という意味を理解して、全微分を求めることができる。
（5）曲面上の各点における接平面、法線の定義が理解できる。
（6）接平面を表す方程式、法線を表す方程式を求めることができる。
（7）合成関数、陰関数の定義が理解できる。
（8）合成関数の偏導関数、陰関数の導関数を求めることができる。
（9）2変数関数の展開式、2変数関数の極値を求めることができる。
（10）重積分を累次積分により計算することができる。変数変換をして重積分を計算する
ことができる。
（11）2変数の広義積分を計算することができる。曲面の面積を求めることができる。
(1) To understand a definition of a neighborhood of a point, accumulation point, interior of a set, boundary, exterior of a set
(2) To understand a definition of open set, closed set, combination, domain
(3) To find higher order partial derivatives
(4) To find total differential equation
(5) To understand a definition of an equation of a tangent plane and a normal line to a curve
(6) To find a tangent plane equation and normal equation
(7) To understand a definition of composite and implicit function
(8) To find partial derivative of composite function and derivative of the implicit function
(9) To find expansion of function of two variables and extrema of function of two variables
(10) To solve multiple integral using repeated integral
(11) To solve improper integral of two variables and to find curved surface area

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的にすべての講義に出席したものにつき、次のように成績を評価する。
演習・レポート 40 点+中間試験 30 点+期末試験 30 点
総合点 100 点満点で、評価 S：90 点以上，評価 A：80 点以上，評価 B：70 点以上，評価 C：60 点以上。
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
Reports: 40%, Intermediate exam: 30%, Final exam: 30%
S:90 or higher (out of 100 points)
A:80 or higher
B:70 or higher
C:60 or higher

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時対応。事前に e-mail 等で日時の予約をしておくと確実です。
As needed. It is preferable to make an appointment in advance.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

応用解析、微分、積分
Applied matthematical analysis, differential and integral calculus

(B12610040)複素関数論[Complex Function Theory]

科目名[英文名]	複素関数論[Complex Function Theory]				
時間割番号	B12610040	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	須田　善行, 中村　雄一 SUDA Yoshiyuki, NAKAMURA Yuichi				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

複素数を変数として微積分を行う複素関数論は定積分の計算、フーリエ変換やラプラス変換などの関数変換を基礎付け、応用上も重要である。本講義では複素関数論の基礎事項とその応用を理解する。

This course aims for students to gain an understanding of the theories of "Complex Function", which is the basic of Fourier transform and Laplace transform.

授業の内容

1週目　複素数、複素平面
2週目　ド・モアブルの定理、オイラーの公式
3週目　複素関数、初等的な複素関数
4週目　多価関数
5週目　正則な複素関数
6週目　コーシー・リーマン方程式
7週目　複素積分、コーシーの積分定理
8週目　コーシーの積分表示
9週目　第9週までに中間試験を実施する
10週目　べき級数
11週目　テイラー展開
12週目　ローラン展開
13週目　ローラン展開に関する演習
14週目　特異点
15週目　留数定理
16週目　定期試験

1st week: Complex number and complex number plane
2nd week: De Moivre's theorem and Euler's formula
3rd week: Function of a complex variable
4th week: Multiple-value function
5th week: Regular functions of a complex variable
6th week: Cauchy-Riemann equation
7th week: Complex integration and Cauchy integral theorem
8th week: Cauchy integral formula
9th week: Intermediate exam
10th week: Power series
11th week: Taylor series
12th week: Laurent series
13th week: Practice on Laurent series
14th week: Singular point
15th week: Residue theorem
16th week: Periodic exam

予習・復習内容

講義後に講義内容を復習した上に、次回講義の講義内容を予習してくること。
さらに、毎講義で課す演習課題の解答例を講義中に説明するので、その内容についても復習しておくこと。
Studying the next chapter by yourself is recommended.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	工学系学生のための複素関数攻略への一本道			**ISBN**	
	著者名	板垣正文	**出版社**	森北出版	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

A.複素関数
(1)高等学校の延長として複素数を導入し、その加減乗除ができ、複素平面上の点として表現することができる。
(2)複素数を極表示でき、ド･モアブルの定理により演算することができる。
(3)点集合や領域、曲線などを式で表現することができる。

B.複素関数
(1)基本的な一次関数の円－円対応、鏡像、一次写像を理解する。
(2)複素関数の連続性や、正則関数の定義とその性質を理解し、コーシー･リーマンの関係式を導出することができる。
(3)多項式や三角関数などの初等関数の演算や写像ができる。

C.複素積分
(1)複素関数の線積分を理解する。
(2)コーシーの積分定理を理解し、正則関数は原始関数を持つことを理解する。
(3)コーシーの積分表示を理解し、複素関数の積分を行うことが出来る。

D.関数の級数展開
(1)べき級数の収束半径を与える定理を理解する。
(2)複素関数をテイラー展開することができる。
(3)複素関数の特異点を分類し、複素関数を特異点近傍でローラン展開することができる。

E.留数とその応用
(1)留数の定義とその求め方を理解し、実際に計算することが出来る。
(2)留数が実関数の定積分へ応用できることを理解する。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

講義時間中の演習を 20%、中間試験を 30%、期末試験を 50%とし、これらの合計で評価する。

総合点 100 点満点で計算し、評価 S:90 点以上、評価 A:80 点以上、評価 B:70 点以上、評価 C:60 点以上、60 点未満は評価 D とする。
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

部屋:C-310
電話:6726
E-mail:suda@ee.tut.ac.jp
Staff room: C-310
Extension: 6726
E-mail: suda@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://pes.ee.tut.ac.jp/
http://pes.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

いつでも受け付けるが、事前に電子メールでコンタクトをお願いします。
Contact me by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B1261005a)電磁気学[Electromagnetism]

科目名[英文名]	電磁気学[Electromagnetism]				
時間割番号	B1261005a	区分	電気・電子情報専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	前期	曜日時限	木 3～3,金 4～4	単位数	3
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	櫻井　庸司, 内田　裕久 SAKURAI Yoji, UCHIDA Hironaga				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

電磁気学は電気・電子情報工学の最も基礎となる学問である。本講義では、真空中の静電界・静磁界に関する諸法則の物理的意味を理解した上で、物質中の電磁界及び電磁誘導、変位電流などの時間依存項を含む電磁界について学び、マクスウェルの方程式を十分理解し、その応用展開ができるようになることを目標とする。

Electromagnetism is one of the most important subjects in the field of electrical and electronic information engineering. This course aims for students to learn the fundamentals and applications of electromagnetism based upon the understanding on electromagnetic field governed by various laws/theorems/equations, such as Maxwell's equations.

授業の内容

Ⅰ　a クラス: 櫻井, b クラス: 内田
第1週 1　ガイダンス、電磁気の法則, ベクトル場の微分
第1週 2　ベクトル場の積分

Ⅱ　木3: a クラス, 金4:b クラス 櫻井
第2週　静電界
第3週　ガウスの法則
第4週　静電界におけるつりあい
第5週　電荷によって作られる電界
第6週　静電ポテンシャル
第7週　電気双極子
第8週　コンデンサ
第9週　中間試験（電界）
第10週　電界の求め方
第11週　静電エネルギー
第12週　静電界内のエネルギー
第13週　誘電体
第14週　分極電荷
第15週　誘電体のある場合の電界と力
第16週　期末試験（電界）

Ⅲ　木3: b クラス, 金4: a クラス 内田
第2週　静磁界
第3週　アンペールの法則
第4週　ベクトルポテンシャル
第5週　電流の作るベクトルポテンシャル
第6週　ビオサバールの法則
第7週　ループ電流に働く力
第8週　中間試験（磁界）
第9週　磁性体中の静磁界
第10週　磁化電流
第11週　誘導電流
第12週　誘導電流に働く力
第13週　誘導法則
第14週　マクスウェル方程式
第15週　真空中のマクスウェル方程式：平面波
第16週　期末試験（磁界）

Ⅰ Class a: Sakurai, class b: Uchida
1st week 1: Guidance, The laws of electromagnetism, differential calculus of vector fields
1st week 2: Integral calculus of vector fields

Ⅱ Thursday, the 3rd period: class a, Friday the 4th period: class b, Sakurai
2nd week: Electrostatics
3rd week: Gauss' Law
4th week: Equilibrium in an electrostatic field
5th week: Fields of charges
6th week: Electrostatic potential
7th week: Electric dipole
8th week: Condensers
9th week: Midterm Examination of electric field
10th week: Methods for finding the electrostatic field
11th week: Electrostatic energy
12th week: Energy in the electrostatic field
13th week: Dielectrics
14th week: Polarization vector
15th week: Fields and forces with dielectrics
16th week: Final Examination of electrostatic field

Ⅲ Thursday, the 3rd period: class b, Friday the 4th period: class a, Uchida
2nd week: Magnetostatics
3rd week: Ampère's law
4th week: The Magnetic field in various situations
5th week: The vector potential of known currents
6th week: The law of Biot and Savart
7th week: The forces on a current loop
8th week: Midterm examination of magnetic field
9th week: Magnetostatics in magnetic material
10th week: Magnetizing current
11th week: Induced currents
12th week: Forces on induced currents
13th week: The Laws of induction
14th week: The Maxwell equations
15th week: Solutions of Maxwell's equations in free Space
16th week: Final examination of magnetic field

予習・復習内容
【予習・復習内容】
シラバス内容を良く確認し、次の授業で行う内容について、事前にテキストなどに目を通して予習しておくこと。
特に数式などは、自分で式展開まで行い、理解しておくこと。
【演習レポートについて】
講義の理解を確かめるため、講義内容の区切りごとに演習レポートを課す。

Check the contents of syllabus and prepare for a class. In particular, derive formulae by yourself in advance.
In order to evaluate the level of understanding, homework will be given for each partition of lecture content.

関連科目
基礎電磁気学、基礎電磁気学演習、電磁波工学

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	The Feynman Lectures on Physics Volume II: Mainly Electromagnetism and Matter			**ISBN**	
	著者名	Feynman, Leighton, Sands	**出版社**	フリーオンラインテキストとして公開 http://www.feynmanlectures.info/ http://www.feynmanlectures.caltech.edu/	**出版年**	
参考書 2	**書名**	ファインマン物理学Ⅲ 電磁気			**ISBN**	
	著者名	ファインマン, レイ	**出版社**	岩波書店	**出版年**	

		トン，サンズ著／宮島龍興訳				
参考書 3	**書名**	電磁気学			**ISBN**	
	著者名	砂川重信	**出版社**	岩波書店	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基本的な事項
(1)キーワードを覚え、物理的意味を正しく理解する。
(2)ベクトル場の微分・積分を理解する。
(3)計算で求めたポテンシャル、電界、磁束密度などの変化の概略を図に描くことができる。

B. 静電界
(1)ガウスの法則の物理的意味を理解し、対称性の高い電荷の周りの電界を求めることができる。
(2)静電ポテンシャルを理解し、電荷、電界との関係を説明できること。
(3)誘電体について理解し、分極電荷、真電荷の違いについて説明できる。
(4)分極ベクトルを理解し、電束密度との関係を説明できる。

C. 静磁界
(1)磁界中の直線電流に作用するローレンツ力をベクトルを用いて表現し、計算することができる。
(2)直線電流の周りの磁束密度をビオサバール，アンペールの法則を用いて求めることができる。
(3)ベクトルポテンシャルの定義と応用を理解する。
(4)変位電流の必要性について理解する。

D. 電磁誘導
(1)ファラデーの電磁誘導の法則を理解し、説明できる。
(2) 自己誘導と相互誘導を理解し、自己インダクタンスと相互インタクダンスについて説明できる。

E. マクスウェル方程式
(1)マクスウェル方程式の物理的な意味を理解する。
(2) 自由空間中のマクスウェル方程式から波動方程式を導出できる。

A. Need-to-know Basics
(1) Remember fundamental keywords, and correctly understand their physical meanings.
(2) Understand the differential and integral calculus of vector fields.
(3) Calculate and draw special changes for potential, electric field, magnetic flux density etc.

B. Electrostatic Field
(1) Understand the physical meaning of Gauss' law, and calculate electric fields around electric charges with high symmetries.
(2) Understand electrostatic potential, and explain the relationship between electric charge and electric field.
(3) Understand dielectrics, and explain the difference between polarization charge and true charge.
(4) Understand polarization vector, and explain its relation with electric flux density.

C. Magnetostatic Field
(1) Express and calculate the Lorentz's force acting on a linear current in electromagnetic field with vector.
(2) Calculate the magnetic flux density around a linear current by using Biot-Savart's law and Ampere's law.
(3) Understand definition and application of the vector potential.
(4) Understand the necessity of the displacement current.

D. Electromagnetic Induction
(1) Understand and explain Faraday's law of induction.
(2) Understand self-induction/ mutual induction, and explain self-inductance/ mutual inductance.

E. The Maxwell Equations
(1) Understand the physical meaning of Maxwell equations.
(2) Derive wave equations from Maxwell's equations in free space.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的に全ての講義に出席した者につき、中間・期末試験およびレポート(試験:70%、レポート:30%)により評価し、55 点以上

を合格とする。
（S:90 点以上、A:80 点以上、B:70 点以上、C:60 点以上）
[Evaluation method] exam(70%)+reports(30%)
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.cec.ee.tut.ac.jp/
http://www.cec.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー
講義の直後。その他の時間も対応するが、事前予約が望ましい。
Right after the lecture. Prior appointment is necessary for other time.

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード
電界，クーロンの法則，ガウスの法則，静電ポテンシャル，誘電体 磁界，ベクトルポテンシャル，アンペールの法則，ビオサバールの法則，磁性体，マクスウェル方程式
Electric field, Coulomb's law , Gauss' law, electrostatic potential, dielectrics, magnetic field, Ampère's law, Biot-Savart's law, Magnetic Materials, Maxwell Equations

(B1261005b)電磁気学[Electromagnetism]

科目名[英文名]	電磁気学[Electromagnetism]				
時間割番号	B1261005b	区分	電気・電子情報専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	前期	曜日時限	木 3～3,金 4～4	単位数	3
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	内田　裕久, 櫻井　庸司 UCHIDA Hironaga, SAKURAI Yoji				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

電磁気学は電気・電子情報工学の最も基礎となる学問である。本講義では、真空中の静電界・静磁界に関する諸法則の物理的意味を理解した上で、物質中の電磁界及び電磁誘導、変位電流などの時間依存項を含む電磁界について学び、マクスウェルの方程式を十分理解し、その応用展開ができるようになることを目標とする。

Electromagnetism is one of the most important subjects in the field of electrical and electronic information engineering. This course aims for students to learn the fundamentals and applications of electromagnetism based upon the understanding on electromagnetic field governed by various laws/theorems/equations, such as Maxwell's equations.

授業の内容

Ⅰ　a クラス: 櫻井, b クラス: 内田
第1週 1　ガイダンス、電磁気の法則, ベクトル場の微分
第1週 2　ベクトル場の積分

Ⅱ　木3: a クラス, 金4:b クラス 櫻井
第2週　静電界
第3週　ガウスの法則
第4週　静電界におけるつりあい
第5週　電荷によって作られる電界
第6週　静電ポテンシャル
第7週　電気双極子
第8週　コンデンサ
第9週　中間試験（電界）
第10週　電界の求め方
第11週　静電エネルギー
第12週　静電界内のエネルギー
第13週　誘電体
第14週　分極電荷
第15週　誘電体のある場合の電界と力
第16週　期末試験（電界）

Ⅲ　木3: b クラス, 金4: a クラス 内田
第2週　静磁界
第3週　アンペールの法則
第4週　ベクトルポテンシャル
第5週　電流の作るベクトルポテンシャル
第6週　ビオサバールの法則
第7週　ループ電流に働く力
第8週　中間試験（磁界）
第9週　磁性体中の静磁界
第10週　磁化電流
第11週　誘導電流
第12週　誘導電流に働く力
第13週　誘導法則
第14週　マクスウェル方程式
第15週　真空中のマクスウェル方程式：平面波
第16週　期末試験（磁界）

Ⅰ Class a: Sakurai, class b: Uchida
1st week 1: Guidance, The laws of electromagnetism, differential calculus of vector fields
1st week 2: Integral calculus of vector fields

Ⅱ Thursday, the 3rd period: class a, Friday the 4th period: class b, Sakurai
2nd week: Electrostatics
3rd week: Gauss' Law
4th week: Equilibrium in an electrostatic field
5th week: Fields of charges
6th week: Electrostatic potential
7th week: Electric dipole
8th week: Condensers
9th week: Midterm Examination of electric field
10th week: Methods for finding the electrostatic field
11th week: Electrostatic energy
12th week: Energy in the electrostatic field
13th week: Dielectrics
14th week: Polarization vector
15th week: Fields and forces with dielectrics
16th week: Final Examination of electrostatic field

Ⅲ Thursday, the 3rd period: class b, Friday the 4th period: class a, Uchida
2nd week: Magnetostatics
3rd week: Ampère's law
4th week: The Magnetic field in various situations
5th week: The vector potential of known currents
6th week: The law of Biot and Savart
7th week: The forces on a current loop
8th week: Midterm examination of magnetic field
9th week: Magnetostatics in magnetic material
10th week: Magnetizing current
11th week: Induced currents
12th week: Forces on induced currents
13th week: The Laws of induction
14th week: The Maxwell equations
15th week: Solutions of Maxwell's equations in free Space
16th week: Final examination of magnetic field

予習・復習内容
【予習・復習内容】
シラバス内容を良く確認し、次の授業で行う内容について、事前にテキストなどに目を通して予習しておくこと。
特に数式などは、自分で式展開まで行い、理解しておくこと。
【演習レポートについて】
講義の理解を確かめるため、講義内容の区切りごとに演習レポートを課す。

Check the contents of syllabus and prepare for a class. In particular, derive formulae by yourself in advance.
In order to evaluate the level of understanding, homework will be given for each partition of lecture content.

関連科目
基礎電磁気学、基礎電磁気学演習、電磁波工学

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	The Feynman Lectures on Physics Volume II: Mainly Electromagnetism and Matter			**ISBN**	
	著者名	Feynman, Leighton, Sands	**出版社**	フリーオンラインテキストとして公開 http://www.feynmanlectures.info/ http://www.feynmanlectures.caltech.edu/	**出版年**	
参考書 2	**書名**	ファインマン物理学Ⅲ 電磁気			**ISBN**	
	著者名	ファインマン, レイ	**出版社**	岩波書店	**出版年**	

		トン，サンズ著／宮島龍興訳				
参考書 3	**書名**	電磁気学			**ISBN**	
	著者名	砂川重信	**出版社**	岩波書店	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基本的な事項
(1)キーワードを覚え、物理的意味を正しく理解する。
(2)ベクトル場の微分・積分を理解する。
(3)計算で求めたポテンシャル、電界、磁束密度などの変化の概略を図に描くことができる。

B. 静電界
(1)ガウスの法則の物理的意味を理解し、対称性の高い電荷の周りの電界を求めることができる。
(2)静電ポテンシャルを理解し、電荷、電界との関係を説明できること。
(3)誘電体について理解し、分極電荷、真電荷の違いについて説明できる。
(4)分極ベクトルを理解し、電束密度との関係を説明できる。

C. 静磁界
(1)磁界中の直線電流に作用するローレンツ力をベクトルを用いて表現し、計算することができる。
(2)直線電流の周りの磁束密度をビオサバール，アンペールの法則を用いて求めることができる。
(3)ベクトルポテンシャルの定義と応用を理解する。
(4)変位電流の必要性について理解する。

D. 電磁誘導
(1)ファラデーの電磁誘導の法則を理解し、説明できる。
(2) 自己誘導と相互誘導を理解し、自己インダクタンスと相互インタクダンスについて説明できる。

E. マクスウェル方程式
(1)マクスウェル方程式の物理的な意味を理解する。
(2) 自由空間中のマクスウェル方程式から波動方程式を導出できる。

A. Need-to-know Basics
(1) Remember fundamental keywords, and correctly understand their physical meanings.
(2) Understand the differential and integral calculus of vector fields.
(3) Calculate and draw special changes for potential, electric field, magnetic flux density etc.

B. Electrostatic Field
(1) Understand the physical meaning of Gauss' law, and calculate electric fields around electric charges with high symmetries.
(2) Understand electrostatic potential, and explain the relationship between electric charge and electric field.
(3) Understand dielectrics, and explain the difference between polarization charge and true charge.
(4) Understand polarization vector, and explain its relation with electric flux density.

C. Magnetostatic Field
(1) Express and calculate the Lorentz's force acting on a linear current in electromagnetic field with vector.
(2) Calculate the magnetic flux density around a linear current by using Biot-Savart's law and Ampere's law.
(3) Understand definition and application of the vector potential.
(4) Understand the necessity of the displacement current.

D. Electromagnetic Induction
(1) Understand and explain Faraday's law of induction.
(2) Understand self-induction/ mutual induction, and explain self-inductance/ mutual inductance.

E. The Maxwell Equations
(1) Understand the physical meaning of Maxwell equations.
(2) Derive wave equations from Maxwell's equations in free space.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的に全ての講義に出席した者につき、中間・期末試験およびレポート(試験:70%、レポート:30%)により評価し、55 点以上

を合格とする。
（S:90 点以上、A:80 点以上、B:70 点以上、C:60 点以上）

[Evaluation method] exam(70%)+reports(30%)
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.spin.ee.tut.ac.jp/
http://www.spin.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー
講義の直後。その他の時間も対応するが、事前予約が望ましい。
Right after the lecture. Prior appointment is necessary for other time.

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード
電界，クーロンの法則，ガウスの法則，静電ポテンシャル，誘電体 磁界，ベクトルポテンシャル，アンペールの法則，ビオサバールの法則，磁性体，マクスウェル方程式
Electric field, Coulomb's law , Gauss' law, electrostatic potential, dielectrics, magnetic field, Ampère's law, Biot-Savart's law, Magnetic Materials, Maxwell Equations

(B1261006a)電子回路論[Electronic Circuitry]

科目名[英文名]	電子回路論[Electronic Circuitry]				
時間割番号	B1261006a	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	穂積　直裕 HOZUMI Naohiro				
ナンバリング	ELC_BAC31012				

授業の目標

電子機器の設計製作と信号処理に必要なアナログ・ディジタル電子回路の基礎を学ぶ。

To learn basics of analog and digital circuits that are necessary for designing and assembling electronic devices.

授業の内容

電子回路を学ぶためには実際に組み立てて動作させてみるのが最も大切と言われます。一方大学卒レベルでは、ただ作って動かすだけではなく、回路の解析や設計の基本を習得していることが求められます。この授業では、できるだけ「ものづくり」につながる講義を目指し、実際の動作と理論を比較できるように、実演をまじえて、理解を深めるように工夫します。授業は楽しくやりますが、皆さんは真面目に参加してください。

【基礎】
　1週目　電子回路を学ぶために必要な電気回路理論の基礎の復習
　2週目　MOS トランジスタの構造・動作原理と基礎特性
　3週目　MOS トランジスタの解析モデル

【アナログ電子回路】
　4週目　MOS トランジスタによる電圧増幅回路の基本原理
　5週目　MOS トランジスタによる電圧増幅回路の小信号解析
　6週目　MOS トランジスタによる電圧増幅回路の周波数特性
　7週目　差動増幅回路
　8週目　演算増幅器の特性解析
　9週目　演算増幅器の応用回路
　10週目　中間試験

【ディジタル電子回路】
　11週目　スイッチング素子（MOSFET）
　12週目　論理機能の実現
　13週目　論理ゲートの性能（論理しきい値と雑音余裕）
　14週目　論理ゲートの性能（遅延，負荷容量駆動回路）
　15週目　論理ゲートの性能（消費電力）
　16週目　定期試験

予習・復習内容

レジュメ等を参照して毎回の講義内容を復習すること。レジュメ等は web で公開するので、概ね予習しておくこと。

It is often said that assembling is the best way to learn electronic circuits but as university level students it is required to be good enough at analysis and designing. This series of lectures is aiming to practical understanding of electronic circuits, making use of both theoretical explanation and demonstration. Lectures may be done in friendly circumstances but students are requested to be serious enough to acquire the basics.

(Basics)
(1) Review of basics of electric circuit theory that is necessary for electronic circuits.
(2) Structure, behavior and basic properties of MOS transistors.
(3) Analytical model of MOS transistors.
(Analog circuits)
(4) Basics of voltage amplifier by MOS transistor.
(5) Small signal analysis for MOS amplifier.
(6) Frequency characteristics of MOS amplifier.
(7) Deferential amplifiers.
(8) Analysis of operational amplifiers.
(9) Application of operational amplifiers.

(10)Mid-term examination.
(Digital circuits)
(11) Switching devices (MOS FET).
(12) Logic function.
(13) Performance of logic gates (logic threshold and noise margin).
(14) Performance of logic gates (delay, load capacity).
(15) Performance of logic gates (power loss).
(16) Final examination.

予習・復習内容

電子回路論は実学です。実際に回路動作の理解や回路設計ができるようになることが目的です。レジメや参考書で理解できないことは、授業で質問したり、インターネットで調べたりして、「将来研究室や会社で使える知識」に育ててください。

Electronic circuity is a practical matter. The purpose of the subject is not only to understand the behavior of the circuit but also to be able to design the circuit, and make use of your knowledge and experience in the lab or factory in the future. Your enthusiasm is highly encouraged.

関連科目

電気回路論、論理回路論、半導体工学

Electric circuits, logic circuits, semiconductor engineering.

教科書に関する補足事項

教科書等

適宜講義資料を配布する。

Most of materials will be distributed on website. Students are requested to preview before each lecture.

参考書 1	**書名**	Analog Circuit Design			**ISBN**	978-1-259-25271-6
	著者名	Sergio Franco	**出版社**	McGraw-Hill International Edition	**出版年**	
参考書 2	**書名**	アナログ電子回路			**ISBN**	
	著者名	髙木茂孝	**出版社**	培風館	**出版年**	
参考書 3	**書名**	新インターユニバーシティ電子回路			**ISBN**	
	著者名	岩田聡	**出版社**	オーム社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

参考書

(1) McGraw-Hill International Edition, Sergio Franco「Analog Circuit Design」ISBN 978-1-259-25271-6
(2) 培風館, 髙木茂孝「アナログ電子回路」(2～7 週目の内容)
(3) オーム社, 岩田聡編「新インターユニバーシティ電子回路」(8, 9 週目の内容)
(4) オーム社, 田所嘉昭編「新インターユニバーシティ ディジタル回路」(11～15 週目)

(1) McGraw-Hill International Edition, Sergio Franco「Analog Circuit Design」ISBN 978-1-259-25271-6

達成目標

1. MOS トランジスタの構造と動作原理を説明し、基本的な電圧増幅回路が設計できる。
2. 動作点(バイアス)と小信号の概念を理解し, 基本的な電圧増幅回路の設計と解析ができる。
3. 増幅回路の周波数特性を計算し, そのボーデ線図を描ける。
4. 電圧増幅率や帯域の改善方法を理解し設計に反映できる。
5. 差動増幅回路の差動ならびに同相入力に対する特徴を説明できる。
6. 演算増幅器を用いた負帰還回路の解析ができる。
7. 簡単な CMOS 論理ゲート内のトランジスタ動作を理解するとともに, 組み合わせ回路を構成できる。
8. スイッチング回路の非理想性を定性的に延べ, 定量的に計算できる。

(1) Understand the structure and behavior of MOS transistors and be able to design basic voltage amplifiers.
(2) Understand the concepts of biasing and small signal analysis, and be able to design and analyze basic voltage amplifiers.
(3) Understand the frequency characteristics of amplifiers and be able to draw a Bode chart.
(4) Understand how to improve voltage gain and frequency band and be able to reflect into designing.
(5) Be able to explain features of differential amplifiers in terms of differential and common phase inputs.
(6) Be able to analyze negative feedback circuits using operational amplifiers.
(7) Understand the behavior of transistors in simple CMOS logic gates, and be able to produce a

(8) Be able to qualitatively describe non-idealistic behavior of switching circuits and to quantitatively calculate.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標の到達度を確認する中間ならびに期末試験の合計点により評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

教員室は C-309 号室、内線 6934、e-mail:hozumi@ee.tut.ac.jp。
Office: C-309, Tel: ex6934、e-mail:hozumi@ee.tut.ac.jp。

ウェルカムページ

http://icceed.tut.ac.jp/hozumi/
http://icceed.tut.ac.jp/hozumi/

オフィスアワー

講義の直後。その他の時間もよほど忙しくない限り懇切に応対します。電子メールまたは口頭にて事前に予約することが望ましい。
After the lecture is over. Students are kindly invited to the lab at any time but it is preferable to reserve by either telephone or e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理、化学、電気・電子回路、制御、システム工学、材料工学、エネルギー変換工学、情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し、それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

キーワード

MOS トランジスタ、増幅回路、論理回路。
MOS transistor, amplifier, logic circuit.

(B1261006b)電子回路論[Electronic Circuitry]

科目名[英文名]	電子回路論[Electronic Circuitry]				
時間割番号	B1261006b	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	穂積　直裕 HOZUMI Naohiro				
ナンバリング	ELC_BAC31012				

授業の目標

電子機器の設計製作と信号処理に必要なアナログ・ディジタル電子回路の基礎を学ぶ。

To learn basics of analog and digital circuits that are necessary for designing and assembling electronic devices.

授業の内容

電子回路を学ぶためには実際に組み立てて動作させてみるのが最も大切と言われます。一方大学卒レベルでは、ただ作って動かすだけではなく、回路の解析や設計の基本を習得していることが求められます。この授業では、できるだけ「ものづくり」につながる講義を目指し、実際の動作と理論を比較できるように、実演をまじえて、理解を深めるように工夫します。授業は楽しくやりますが、皆さんは真面目に参加してください。

【基礎】

1週目　電子回路を学ぶために必要な電気回路理論の基礎の復習
2週目　MOS トランジスタの構造・動作原理と基礎特性
3週目　MOS トランジスタの解析モデル

【アナログ電子回路】

4週目　MOS トランジスタによる電圧増幅回路の基本原理
5週目　MOS トランジスタによる電圧増幅回路の小信号解析
6週目　MOS トランジスタによる電圧増幅回路の周波数特性
7週目　差動増幅回路
8週目　演算増幅器の特性解析
9週目　演算増幅器の応用回路
10週目　中間試験

【ディジタル電子回路】

11週目　スイッチング素子（MOSFET）
12週目　論理機能の実現
13週目　論理ゲートの性能（論理しきい値と雑音余裕）
14週目　論理ゲートの性能（遅延，負荷容量駆動回路）
15週目　論理ゲートの性能（消費電力）
16週目　定期試験

予習・復習内容

レジュメ等を参照して毎回の講義内容を復習すること。レジュメ等は web で公開するので、概ね予習しておくこと。

It is often said that assembling is the best way to learn electronic circuits but as university level students it is required to be good enough at analysis and designing. This series of lectures is aiming to practical understanding of electronic circuits, making use of both theoretical explanation and demonstration. Lectures may be done in friendly circumstances but students are requested to be serious enough to acquire the basics.

(Basics)
(1) Review of basics of electric circuit theory that is necessary for electronic circuits.
(2) Structure, behavior and basic properties of MOS transistors.
(3) Analytical model of MOS transistors.
(Analog circuits)
(4) Basics of voltage amplifier by MOS transistor.
(5) Small signal analysis for MOS amplifier.
(6) Frequency characteristics of MOS amplifier.
(7) Deferential amplifiers.
(8) Analysis of operational amplifiers.
(9) Application of operational amplifiers.

(10)Mid-term examination.
(Digital circuits)
(11) Switching devices (MOS FET).
(12) Logic function.
(13) Performance of logic gates (logic threshold and noise margin).
(14) Performance of logic gates (delay, load capacity).
(15) Performance of logic gates (power loss).
(16) Final examination.

予習・復習内容

電子回路論は実学です。実際に回路動作の理解や回路設計ができるようになることが目的です。レジメや参考書で理解できないことは、授業で質問したり、インターネットで調べたりして、「将来研究室や会社で使える知識」に育ててください。

Electronic circuity is a practical matter. The purpose of the subject is not only to understand the behavior of the circuit but also to be able to design the circuit, and make use of your knowledge and experience in the lab or factory in the future. Your enthusiasm is highly encouraged.

関連科目

電気回路論、論理回路論、半導体工学

Electric circuits, logic circuits, semiconductor engineering.

教科書に関する補足事項

教科書等

適宜講義資料を配布する。

Most of materials will be distributed on website. Students are requested to preview before each lecture.

参考書 1	**書名**	Analog Circuit Design			**ISBN**	978-1-259-25271-6
	著者名	Sergio Franco	**出版社**	McGraw-Hill International Edition	**出版年**	
参考書 2	**書名**	アナログ電子回路			**ISBN**	
	著者名	髙木茂孝	**出版社**	培風館	**出版年**	
参考書 3	**書名**	新インターユニバーシティ電子回路			**ISBN**	
	著者名	岩田聡	**出版社**	オーム社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

参考書

(1) McGraw-Hill International Edition, Sergio Franco「Analog Circuit Design」ISBN 978-1-259-25271-6
(2) 培風館, 髙木茂孝「アナログ電子回路」(2～7 週目の内容)
(3) オーム社, 岩田聡編「新インターユニバーシティ電子回路」(8, 9 週目の内容)
(4) オーム社, 田所嘉昭編「新インターユニバーシティ ディジタル回路」(11～15 週目)

(1) McGraw-Hill International Edition, Sergio Franco「Analog Circuit Design」ISBN 978-1-259-25271-6

達成目標

1. MOS トランジスタの構造と動作原理を説明し、基本的な電圧増幅回路が設計できる。
2. 動作点(バイアス)と小信号の概念を理解し, 基本的な電圧増幅回路の設計と解析ができる。
3. 増幅回路の周波数特性を計算し, そのボーデ線図を描ける。
4. 電圧増幅率や帯域の改善方法を理解し設計に反映できる。
5. 差動増幅回路の差動ならびに同相入力に対する特徴を説明できる。
6. 演算増幅器を用いた負帰還回路の解析ができる。
7. 簡単な CMOS 論理ゲート内のトランジスタ動作を理解するとともに, 組み合わせ回路を構成できる。
8. スイッチング回路の非理想性を定性的に延べ, 定量的に計算できる。

(1) Understand the structure and behavior of MOS transistors and be able to design basic voltage amplifiers.
(2) Understand the concepts of biasing and small signal analysis, and be able to design and analyze basic voltage amplifiers.
(3) Understand the frequency characteristics of amplifiers and be able to draw a Bode chart.
(4) Understand how to improve voltage gain and frequency band and be able to reflect into designing.
(5) Be able to explain features of differential amplifiers in terms of differential and common phase inputs.
(6) Be able to analyze negative feedback circuits using operational amplifiers.
(7) Understand the behavior of transistors in simple CMOS logic gates, and be able to produce a

(8) Be able to qualitatively describe non-idealistic behavior of switching circuits and to quantitatively calculate.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標の到達度を確認する中間ならびに期末試験の合計点により評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

教員室は C-309 号室、内線 6958、e-mail:hozumi@ee.tut.ac.jp。
Office: C-309, Tel: ex6958, e-mail:hozumi@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://icceed.tut.ac.jp/hozumi/
http://icceed.tut.ac.jp/hozumi/

オフィスアワー

講義の直後。その他の時間もよほど忙しくない限り懇切に応対します。電子メールまたは口頭にて事前に予約することが望ましい。
After the lecture is over. Students are kindly invited to the lab at any time but it is preferable to reserve by either telephone or e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理、化学、電気・電子回路、制御、システム工学、材料工学、エネルギー変換工学、情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し、それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

キーワード

MOS トランジスタ、増幅回路、論理回路。
MOS transistor, amplifier, logic circuit.

(B1261007a)論理回路論[Logic Circuitry]

科目名[英文名]	論理回路論[Logic Circuitry]				
時間割番号	B1261007a	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	澤田　和明 SAWADA Kazuaki				
ナンバリング	ELC_BAC31012				

授業の目標

組合わせ論理回路の知識をもとにして，非同期式・同期式順序論理回路の動作原理，ならびに設計の基礎知識を習得する．加えて，ディジタル計算機に必要な構成要素（計数回路や演算回路）について，動作原理と設計方法を学ぶ．これらにより，論理回路全容についてその基本的事項を理解・習得する．

On the basis of the knowledge of the combination logic circuit, the purpose of this class is to understand the operation principle of the asynchronous-synchronous sequential logic circuit and the basic knowledge of the design for sequential circuits . In addition,this class handle the components for the digital computer (counting circuit or an arithmetic circuit). Through these, we learn the basics about the logic circuit entirety.

授業の内容

１ー2週目　　論理回路Ｉの復習（１－４章）
３－５週目　順序回路の表現（5章）
６－８週目　フリップフロップ（6章）
9週目　　順序回路の設計（7章）
１０－１１週目　レジスタと計数回路（8章）
１２－１３週目　演算回路（9章）
１４－１５週目　論理装置の設計（１０章）
１６週目　　定期試験

予習・復習内容
　毎回の講義内容と教科書と読み返して授業ノートを作成し、演習問題を解く。
　次回講義の内容について,テキストなどを参考に予習しておくこと。

備考
　各段階でレポート課題を課す
1-2 weeks: Review of the computational logic circuit
3-5weeks: Representation of the sequential circuit
6-7 weeks: flip flop
8-9 weeks: Design of sequential circuits
10 week: Register and counter(1)
11 week: Midterm examination
12 weeks: Register and counter(2)
13-14 weeks: Arithmetic circuit
15 week: The design of the logical unit
16 week: Final examination

予習・復習内容

事後の学習が出来るように課題を課している
Homework is imposed after the class.

関連科目

基礎論理回路

Basic Logic Circuitry

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Digital Logic Design, Fourth Edition			**ISBN**	978-0750645829
	著者名	Brian Holdsworth, Clive Woods	**出版社**	Newnes	**出版年**	2002

参考書 2	**書名**	論理回路の基礎(改訂版)			**ISBN**	4-7692-0204-0
	著者名	田丸啓吉	**出版社**	工学図書	**出版年**	平成 17
参考書 3	**書名**	デジタル回路設計とコンピュータアーキテクチャ			**ISBN**	978-4-7981-1534-4
	著者名	David M.Harris and Sarah L. Harris(著)天野英晴他(訳)	**出版社**	株式会社 翔泳社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1) 順序回路の状態の概念を理解し、組合わせ回路と順序回路の違いを理解できる.
(2) 状態を表す遷移表、状態図、状態遷移関数を理解できる.
(3) フリップフロップ(D, SR, JK, T)の動作と駆動条件を理解する.
(4) 入力や状態変数と出力の関係が与えられたときに, 論理回路を構成できる.
(5) ディジタル計算機における構成要素(レジスタ, カウンタ, 演算回路)の動作を理解できる.
(6) 計算機で使用する数の表現を理解し, その表現に基づいて演算ができる.
(7) 論理回路の信号伝播に伴う現象(遅延等)を理解できる.

B. 順序回路の状態
(1) 順序回路の動作を状態遷移図で表現できる.
(2) 状態遷移図で示された状態をフリップフロップの出力に対応付け, 状態遷移表により動作を表すことができる.
(3) 状態の等価性, 両立性に基づき簡単化が行える.

C. 順序回路の設計
(1) 状態遷移表からフリップフロップの入出力関係を満足する回路を構成できる.
(2) フリップフロップの出力から順序回路の出力を与える回路を構成できる.

D. ディジタル計算機の構成要素
(1) フリップフロップを用いて, レジスタを構成できる.
(2) フリップフロップを用いて, カウンタを構成できる.
(3) 加減算回路を構成できる.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習 20%、期末試験 80%ととし, これらの合計で評価する
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する.
A:達成目標をすべて達成しており, かつ試験・演習の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を3項目達成しており, かつ試験・演習の合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を2項目達成しており, かつ試験・演習の合計点(100 点満点)が 55 点以上

Reports: 20%, Midterm examination 40%, Final examination 40%

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

オフィス:C605号室
内線:6739(外線 0532-44-6739)
E-mail:sawada[at]eee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義終了後に質問に応じる. その他の時間も質問等に対応するが, 事前に e-mail 等で日時の予約をしておくことが望ましい.

I am open to discussion at any time. Appointments are necessarily by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B1261007b)論理回路論[Logic Circuitry]

科目名[英文名]	論理回路論[Logic Circuitry]				
時間割番号	B1261007b	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	澤田　和明 SAWADA Kazuaki				
ナンバリング	ELC_BAC31012				

授業の目標

組合わせ論理回路の知識をもとにして，非同期式・同期式順序論理回路の動作原理，ならびに設計の基礎知識を習得する．加えて，ディジタル計算機に必要な構成要素（計数回路や演算回路）について，動作原理と設計方法を学ぶ．これらにより，論理回路全容についてその基本的事項を理解・習得する．

On the basis of the knowledge of the combination logic circuit, the purpose of this class is to understand the operation principle of the asynchronous-synchronous sequential logic circuit and the basic knowledge of the design for sequential circuits . In addition,this class handle the components for the digital computer (counting circuit or an arithmetic circuit). Through these, we learn the basics about the logic circuit entirety.

授業の内容

１ー2週目　　論理回路Ｉの復習（１－４章）
３－５週目　順序回路の表現（5章）
６－８週目　フリップフロップ（6章）
9週目　　順序回路の設計（7章）
１０－１１週目　レジスタと計数回路（8章）
１２－１３週目　演算回路（9章）
１４－１５週目　論理装置の設計（１０章）
１６週目　　定期試験

予習・復習内容
　毎回の講義内容と教科書と読み返して授業ノートを作成し、演習問題を解く。
　次回講義の内容について,テキストなどを参考に予習しておくこと。

備考
　各段階でレポート課題を課す
1-2 weeks: Review of the computational logic circuit
3-5weeks: Representation of the sequential circuit
6-7 weeks: flip flop
8-9 weeks: Design of sequential circuits
10 week: Register and counter(1)
11 week: Midterm examination
12 weeks: Register and counter(2)
13-14 weeks: Arithmetic circuit
15 week: The design of the logical unit
16 week: Final examination

予習・復習内容

事後の学習が出来るように課題を課している
Homework is imposed after the class.

関連科目

基礎論理回路

Basic Logic Circuitry

教科書に関する補足事項

参考書１	**書名**	Digital Logic Design, Fourth Edition			**ISBN**	978-0750645829
	著者名	Brian Holdsworth, Clive Woods	**出版社**	Newnes	**出版年**	2002

参考書 2	**書名**	論理回路の基礎(改訂版)			**ISBN**	4-7692-0204-0
	著者名	田丸啓吉	**出版社**	工学図書	**出版年**	平成 17
参考書 3	**書名**	デジタル回路設計とコンピュータアーキテクチャ			**ISBN**	978-4-7981-1534-4
	著者名	David M.Harris and Sarah L. Harris(著)天野英晴他(訳)	**出版社**	株式会社 翔泳社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1) 順序回路の状態の概念を理解し、組合わせ回路と順序回路の違いを理解できる.
(2) 状態を表す遷移表、状態図、状態遷移関数を理解できる.
(3) フリップフロップ(D, SR, JK, T)の動作と駆動条件を理解する.
(4) 入力や状態変数と出力の関係が与えられたときに, 論理回路を構成できる.
(5) ディジタル計算機における構成要素(レジスタ, カウンタ, 演算回路)の動作を理解できる.
(6) 計算機で使用する数の表現を理解し, その表現に基づいて演算ができる.
(7) 論理回路の信号伝播に伴う現象(遅延等)を理解できる.

B. 順序回路の状態
(1) 順序回路の動作を状態遷移図で表現できる.
(2) 状態遷移図で示された状態をフリップフロップの出力に対応付け, 状態遷移表により動作を表すことができる.
(3) 状態の等価性, 両立性に基づき簡単化が行える.

C. 順序回路の設計
(1) 状態遷移表からフリップフロップの入出力関係を満足する回路を構成できる.
(2) フリップフロップの出力から順序回路の出力を与える回路を構成できる.

D. ディジタル計算機の構成要素
(1) フリップフロップを用いて, レジスタを構成できる.
(2) フリップフロップを用いて, カウンタを構成できる.
(3) 加減算回路を構成できる.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習 20%、期末試験 80%ととし, これらの合計で評価する
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する.
A:達成目標をすべて達成しており, かつ試験・演習の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を3項目達成しており, かつ試験・演習の合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を2項目達成しており, かつ試験・演習の合計点(100 点満点)が 55 点以上

Reports: 20%, Midterm examination 40%, Final examination 40%

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

オフィス:C605号室
内線:6739(外線 0532-44-6739)
E-mail:sawada[at]eee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義終了後に質問に応じる. その他の時間も質問等に対応するが, 事前に e-mail 等で日時の予約をしておくことが望ましい.

I am open to discussion at any time. Appointments are necessarily by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B1261009a)電気回路論[Electrical Circuit]

科目名[英文名]	電気回路論[Electrical Circuit]				
時間割番号	B1261009a	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	村上　義信 MURAKAMI Yoshinobu				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

近年，人間の手による回路解析のための手法のみでなく，コンピュータにプログラム化し易い系統的な回路解析の手法が重要になってきている。このような新しい時代の流れに沿った回路解析手法について理解する。

The systematic electric circuit analysis for the computer analysis has been required . This lecture will give students the knowledge of the systematic solution for the circuit analysis.

授業の内容

1-3週目 1. 微分方程式による回路解析
4-7週目　2. ラプラス変換による回路解析
8週目　　中間試験
9-10週目　4. 状態方程式による回路解析
11-12週目 5. グラフ理論の基礎
13-15週目　6. 一般回路解析法
16 週目　定期試験

1. Circuit Analysis using a Partial Differential Equation (1st-3rd week)
2. Laplace Transform (4th-7th week)
3. Circuit Analysis using a Partial Differential Equation (9th-10th week including a midterm examination)
4. Basic Graph Theory (11th-12th week)
5. General Electric Circuit Analysis (13th-15th week)
6. Final Examination (16th week)

予習・復習内容

復習を中心として講義に関する自宅学習を行うこと。

Students should study mainly on a review.

関連科目

電気回路論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、電気回路演習、電気・電子情報数学基礎

Electric Circuit 1-3, Electric Circuit Exercise, Mathematics for Electrical, Electronics and Information Engineering

教科書に関する補足事項

レジュメを配布。

Provide the resume

参考書に関する補足事項

一般的な電気回路の教科書

General text book for the electrical circuit theory

達成目標

1.　微分方程式による回路解析

1．1　回路素子　・L，C，Rの回路素子における電圧と電流の関係式を，物理的意味を踏まえて理解する。・キルヒホッフの電流則・電圧則を理解し，計算できる。

1．2　簡単な回路解析　・リアクタンス素子を1つだけ含む簡単な回路の過渡現象に関して，回路方程式を導出し，その解法を理解でき，計算できる。具体的には，特殊解と同次解，過渡現象と定常応答，固有振動形と時定数を理解する。線形一次微分方程式の一般解を導出できる。

1．3　回路微分方程式　・一般の回路微分方程式を導出でき，その解法を理解し，計算できる。第一種初期条件，第二種初期条件を理解でき，計算できる。・ステップ関数とインパルス関数およびそれらの関係を理解する。・静止状態について理解する。

2.　状態方程式による回路解析

2．1　回路の状態方程式　・状態変数および標準形状態方程式を理解し，導出できる。

2．2　状態方程式の解　・零入力応答，零状態応答，状態推移行列とその性質を理解し，状態方程式の一般解を理解できる。・状態推移行列を計算でき，状態方程式を解くことができる。・コンピュータを用いた状態方程式の解法について，その原理を理解し，簡単な計算ができる。

3.　ラプラス変換

3．1　ラプラス変換の基本的性質　・ラプラス変換およびその基本的性質を理解し，計算できる。

3．2　ラプラス逆変換　・ラプラス逆変換を理解し，計算できる。・ラプラス変換を用いて状態推移行列を求めることができる。

3．3　微分方程式のラプラス変換　・ラプラス変換を用いて微分方程式を解くことができる。・正弦波入力の定常応答（交流理論）を理解し，計算できる。

3．4　ラプラス変換による回路解析　・初期値のあるキャパシタンスおよびリアクタンスのラプラス変換について，初期値を電源

で表現できることを理解し，計算できる。・回路のステップ応答とインパルス応答を理解し，計算できる。・テブナンの定理，ノートンの定理を理解し，内部インピーダンスを含む電源の変換ができる。
３．５　伝達関数（例題のみ）　・伝達関数，伝達関数とインパルス応答の関係，インパルス応答，ステップ応答の関係，正弦波定常応答，伝達関数の極と零点，固有振動周波数と極について理解し，教科書の例題を解くことができる。
４．　グラフ理論の基礎
４．１　回路のグラフ　・回路のグラフに関して，節点と枝，有向グラフ，道，連結グラフ，カットセット，閉路，木と補木，節点数・枝数と木枝数・補木枝数の関係について理解し，関係問題を解くことができる。
４．２　接点接続行列，カットセット行列，閉路行列　・接点接続行列を理解し，求めることができる・基本カットセットと基本閉路を理解し，基本カットセット行列，基本閉路行列を求めることができる。・節点接続行列，基本カットセット行列を用いて，キルヒホッフの電流則を表すことができる。・基本閉路行列を用いて，キルヒホッフの電圧則を表すことができる。
４．３　基本的定理　・カットセットと閉路の直交性を理解し，このことを基礎として，節点接続行列・基本カットセット行列と基本閉路行列が直交していることを理解できる。・基本カットセット行列と基本閉路行列の関係を理解し，相互に変換することができる。・枝電圧ベクトルを節点接続行列と節点電圧ベクトルを用いて表すことができる。・枝電圧ベクトルを基本カットセット行列と木枝電圧ベクトルを用いて表すことができる。・枝電流ベクトルを基本閉路行列と補木枝電流ベクトルを用いて表すことができる。・枝電圧ベクトルと枝電流ベクトルの直交性（テレゲンの定理）を理解する。
５．　一般回路解析法
５．１　節点方程式　・節点方程式の意味を理解し，回路の節点方程式を導出することができる。・節点方程式における電源の処理を理解し，解を求めることができる。・節点方程式を用いて交流定常応答を解析することができる。
５．２　カットセット方程式と閉路方程式　・カットセット方程式と閉路方程式を求めるためには木枝を決定する必要があること，すべての電圧源を木枝に，すべての電流源を補木枝に選択するとよいことを理解する。・カットセット方程式の意味を理解し，基本カットセット行列をもとに回路のカットセット方程式を導出することができる。・閉路方程式の意味を理解し，基本閉路行列をもとに回路の閉路方程式を導出することができる。・カットセット方程式と閉路方程式の解を求めることができる。
1. Electric circuit analysis using a differential equation
1．1　Electric circuit element
1．2　Basic electric circuit analysis
1．3　Differential equation for electric circuit
2. Electric circuit analysis using a state equation
2．1　State equation
2．2　Solution for a state equation　・
3. Laplace transformation
3．1　Fundamental property of Laplace transformation
3．2　Inverse Laplace transform
3．3　Laplace transformation for differential equation
3．4　Electric circuit analysis using Laplace equation
3．5　Transfer function
4．　Graph theory
4．1　Graph for electric circuit
4．2　Node incidence matrix, Cut-set matrix, Loop matrix
4．3　Fundamental theory
5．　General circuit analysis method
5．1　Circuit analysis method using nodal equation
5．2　Circuit analysis method using cut-set equation
5．3　Circuit analysis method using loop equation

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
基本的に中間試験(50%)＋期末試験(50%)で評価する。
両試験の平均得点率が 50%以上 60%未満の場合は任意提出課題点(最大 10 点)を上乗せする場合がある。但し、この場合の最大点数は 60 点となる。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 60 点以上
または、達成目標を 50%以上達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点
In principle, the results of those who have attended all lectures are evaluated based on the following criteria.
Fundamentally, a mid-term examination (50%) ＋ a final semester examination (50%)
If an average score on both of the above examinations is 50% or more, but lower than 60%, voluntary submission assignment point(s) (maximum 10 points) may be added to the score. In this case however, the maximum score is 60 points.
Grade S: 90 points or more, Grade A: 80 points or more, Grade B: 70 points or more, Grade C: 60 points or more

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居室：Ｃ－３０８、電話 44-6724、E-mail: murakami@ee.tut.ac.jp
Room：Ｃ－３０８、TEL 44-6724、E-mail: murakami@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.dei.ee.tut.ac.jp/
http://www.dei.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

講義終了後または随時（E-mail で時間を事前に問い合わせて下さい）。
After the lecture or at any time (Please take an appointment by e-mail in advance)

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

(B1261009b)電気回路論[Electrical Circuit]

科目名[英文名]	電気回路論[Electrical Circuit]				
時間割番号	B1261009b	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	村上　義信 MURAKAMI Yoshinobu				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

近年，人間の手による回路解析のための手法のみでなく，コンピュータにプログラム化し易い系統的な回路解析の手法が重要になってきている。このような新しい時代の流れに沿った回路解析手法について理解する。

The systematic electric circuit analysis for the computer analysis has been required . This lecture will give students the knowledge of the systematic solution for the circuit analysis.

授業の内容

1-3週目 1. 微分方程式による回路解析
4-7週目　2. ラプラス変換による回路解析
8週目　　中間試験
9-10週目　4. 状態方程式による回路解析
11-12週目 5. グラフ理論の基礎
13-15週目　6. 一般回路解析法
16 週目　定期試験

1. Circuit Analysis using a Partial Differential Equation (1st-3rd week)
2. Laplace Transform (4th-7th week)
3. Circuit Analysis using a Partial Differential Equation (9th-10th week including a midterm examination)
4. Basic Graph Theory (11th-12th week)
5. General Electric Circuit Analysis (13th-15th week)
6. Final Examination (16th week)

予習・復習内容

復習を中心として講義に関する自宅学習を行うこと。

Students should study mainly on a review.

関連科目

電気回路論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、電気回路演習、電気・電子情報数学基礎

Electric Circuit 1-3, Electric Circuit Exercise, Mathematics for Electrical, Electronics and Information Engineering

教科書に関する補足事項

レジュメを配布。

Provide the resume

参考書に関する補足事項

一般的な電気回路の教科書

General text book for the electrical circuit theory

達成目標

1.　微分方程式による回路解析

1．1　回路素子　・L，C，Rの回路素子における電圧と電流の関係式を，物理的意味を踏まえて理解する。・キルヒホッフの電流則・電圧則を理解し，計算できる。

1．2　簡単な回路解析　・リアクタンス素子を1つだけ含む簡単な回路の過渡現象に関して，回路方程式を導出し，その解法を理解でき，計算できる。具体的には，特殊解と同次解，過渡現象と定常応答，固有振動形と時定数を理解する。線形一次微分方程式の一般解を導出できる。

1．3　回路微分方程式　・一般の回路微分方程式を導出でき，その解法を理解し，計算できる。第一種初期条件，第二種初期条件を理解でき，計算できる。・ステップ関数とインパルス関数およびそれらの関係を理解する。・静止状態について理解する。

2.　状態方程式による回路解析

2．1　回路の状態方程式　・状態変数および標準形状態方程式を理解し，導出できる。

2．2　状態方程式の解　・零入力応答，零状態応答，状態推移行列とその性質を理解し，状態方程式の一般解を理解できる。・状態推移行列を計算でき，状態方程式を解くことができる。・コンピュータを用いた状態方程式の解法について，その原理を理解し，簡単な計算ができる。

3.　ラプラス変換

3．1　ラプラス変換の基本的性質　・ラプラス変換およびその基本的性質を理解し，計算できる。

3．2　ラプラス逆変換　・ラプラス逆変換を理解し，計算できる。・ラプラス変換を用いて状態推移行列を求めることができる。

3．3　微分方程式のラプラス変換　・ラプラス変換を用いて微分方程式を解くことができる。・正弦波入力の定常応答（交流理論）を理解し，計算できる。

3．4　ラプラス変換による回路解析　・初期値のあるキャパシタンスおよびリアクタンスのラプラス変換について，初期値を電源

で表現できることを理解し，計算できる。・回路のステップ応答とインパルス応答を理解し，計算できる。・テブナンの定理，ノートンの定理を理解し，内部インピーダンスを含む電源の変換ができる。
３．５　伝達関数（例題のみ）　・伝達関数，伝達関数とインパルス応答の関係，インパルス応答，ステップ応答の関係，正弦波定常応答，伝達関数の極と零点，固有振動周波数と極について理解し，教科書の例題を解くことができる。
４．　グラフ理論の基礎
４．１　回路のグラフ　・回路のグラフに関して，節点と枝，有向グラフ，道，連結グラフ，カットセット，閉路，木と補木，節点数・枝数と木枝数・補木枝数の関係について理解し，関係問題を解くことができる。
４．２　接点接続行列，カットセット行列，閉路行列　・接点接続行列を理解し，求めることができる・基本カットセットと基本閉路を理解し，基本カットセット行列，基本閉路行列を求めることができる。・節点接続行列，基本カットセット行列を用いて，キルヒホッフの電流則を表すことができる。・基本閉路行列を用いて，キルヒホッフの電圧則を表すことができる。
４．３　基本的定理　・カットセットと閉路の直交性を理解し，このことを基礎として，節点接続行列・基本カットセット行列と基本閉路行列が直交していることを理解できる。・基本カットセット行列と基本閉路行列の関係を理解し，相互に変換することができる。・枝電圧ベクトルを節点接続行列と節点電圧ベクトルを用いて表すことができる。・枝電圧ベクトルを基本カットセット行列と木枝電圧ベクトルを用いて表すことができる。・枝電流ベクトルを基本閉路行列と補木枝電流ベクトルを用いて表すことができる。・枝電圧ベクトルと枝電流ベクトルの直交性（テレゲンの定理）を理解する。
５．　一般回路解析法
５．１　節点方程式　・節点方程式の意味を理解し，回路の節点方程式を導出することができる。・節点方程式における電源の処理を理解し，解を求めることができる。・節点方程式を用いて交流定常応答を解析することができる。
５．２　カットセット方程式と閉路方程式　・カットセット方程式と閉路方程式を求めるためには木枝を決定する必要があること，すべての電圧源を木枝に，すべての電流源を補木枝に選択するとよいことを理解する。・カットセット方程式の意味を理解し，基本カットセット行列をもとに回路のカットセット方程式を導出することができる。・閉路方程式の意味を理解し，基本閉路行列をもとに回路の閉路方程式を導出することができる。・カットセット方程式と閉路方程式の解を求めることができる。
1. Electric circuit analysis using a differential equation
1．1　Electric circuit element
1．2　Basic electric circuit analysis
1．3　Differential equation for electric circuit
2. Electric circuit analysis using a state equation
2．1　State equation
2．2　Solution for a state equation　・
3. Laplace transformation
3．1　Fundamental property of Laplace transformation
3．2　Inverse Laplace transform
3．3　Laplace transformation for differential equation
3．4　Electric circuit analysis using Laplace equation
3．5　Transfer function
4．　Graph theory
4．1　Graph for electric circuit
4．2　Node incidence matrix, Cut-set matrix, Loop matrix
4．3　Fundamental theory
5．　General circuit analysis method
5．1　Circuit analysis method using nodal equation
5．2　Circuit analysis method using cut-set equation
5．3　Circuit analysis method using loop equation

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
基本的に中間試験(50%)＋期末試験(50%)で評価する。
両試験の平均得点率が 50%以上 60%未満の場合は任意提出課題点(最大 10 点)を上乗せする場合がある。但し、この場合の最大点数は 60 点となる。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 60 点以上
または、達成目標を 50%以上達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点
In principle, the results of those who have attended all lectures are evaluated based on the following criteria.
Fundamentally, a mid-term examination (50%) ＋ a final semester examination (50%)
If an average score on both of the above examinations is 50% or more, but lower than 60%, voluntary submission assignment point(s) (maximum 10 points) may be added to the score. In this case however, the maximum score is 60 points.
Grade S: 90 points or more, Grade A: 80 points or more, Grade B: 70 points or more, Grade C: 60 points or more

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居室：Ｃ－３０８、電話 44-6724、E-mail: murakami@ee.tut.ac.jp
Room：Ｃ－３０８、TEL 44-6724、E-mail: murakami@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.dei.ee.tut.ac.jp/
http://www.dei.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

講義終了後または随時（E-mail で時間を事前に問い合わせて下さい）。
After the lecture or at any time (Please take an appointment by e-mail in advance)

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

(B12610100)数値解析[Numeric Analysis]

科目名[英文名]	数値解析[Numeric Analysis]				
時間割番号	B12610100	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 5～5	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	市川 周一, 竹内 啓悟 ICHIKAWA Shuichi, TAKEUCHI Keigo				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

C 言語は，研究者・技術者の間でプログラミングに広く用いられている．本講義では，C 言語を用いて基礎的なプログラミング技術を学び，あわせて基礎的な数値計算技術を習得する．

C programming language is widely used among researchers and engineers. The aims of this lecture are as follows.

＊To learn and exercise fundamental programming techniques in C language

＊To learn and exercise fundamental techniques in numerical analysis

授業の内容

テーマごとに，講義（1 回）と演習（1 回）を行うことを原則とする．

第 1 週 ガイダンス，基本事項の確認
第 2～3 週 基本データ型と演算
第 4～5 週 関数の近似，浮動小数点数
第 6～7 週 関数，方程式
第 8～9 週 変数，ポインタ，配列
第 10～11 週 連立一次方程式
第 12～13 週 数値積分
第 14～15 週 ファイル，構造体
第 16 週 期末試験

In principle, each theme consists of one lecture and one exercise.

Week 1: Guidance, Introduction
Week 2, 3: Basic data types and arithmetic
Week 4, 5: Approximation, Floating-point numbers
Week 6, 7: Function, Equation
Week 8, 9: Variable, Pointer, Array
Week 10, 11: System of linear equations
Week 12, 13: Numerical integration
Week 14, 15: File I/O, Struct
Week 16: Examination

予習・復習内容

・前回までの講義・演習内容は必ず把握しておくこと．講義スライドはWWWで提供する．
・演習は，講義内容を実践するものである．演習時間が短いため，演習前に演習内容を予習しておくこと．

Review the past items before attending to the class of new items.
Lecture slides will be provided in the web site (see below).
Check the lecture slides before attending to the exercise, which is only 90 minutes long.

関連科目

専門 I『プログラミング演習 I』『同 II』

講義は基本事項の確認から行うが，専門 I『プログラミング演習 I』と同程度の予備知識を前提とする．具体的には，条件文(if)と繰返し構文(for, while)を用いて C 言語プログラムを作成できる程度の予備知識を仮定する．
Programming 1
Programming 2

This lecture overviews the basic items of C language, while assuming the knowledge that corresponds to the lectures Programming 1 and 2. In particular, operators, selection statements (if), and iteration statements (for, while) are essential in this lecture.

教科書 1	**書名**	英語で学ぶ数値解析			**ISBN**	9784339060720
	著者名	陳小君／共著,山本哲朗／共著,	**出版社**	コロナ社	**出版年**	2002

教科書に関する補足事項
講義資料は WWW で公開する.

Lecture slides will be provided in web site of the lecture.

参考書 1	**書名**	だれでもわかる数値解析入門 : 理論と C プログラム			**ISBN**	9784764902480
	著者名	新濃清志, 船田哲男 共著,	**出版社**	近代科学社	**出版年**	1995

参考書に関する補足事項
教科書が英語なので, 日本語の参考書も紹介しておく.
「だれでもわかる数値解析入門」は C 言語のプログラム例が載っており, 本講義の範囲を網羅しているという意味で紹介した.
本講義では基礎的事項だけを扱うため, 数値解析の教科書であれば他の本でも問題ないと思われる.
C 言語に関する参考書も用意するとよいが, 講義内容をカバーする参考書であれば何でもよい. 過去の講義で利用した教科書を利用してよい. 各自で用意しておくこと.

Check Japanese syllabus for Japanese references.

達成目標
(1) 基本的な数値解析手法(反復法, 連立一次方程式, 等)について理解する.
(2) C 言語で簡単な数値解析プログラムを作成する.
(3) 色々なデータ型, 演算, ライブラリ関数について理解する.
(4) 関数や構造体を用いたプログラム設計について理解する.
(5) プログラムの作成方法, 文書化方法の基本を理解する.

(1) To understand fundamental techniques in numerical analysis; e.g. iterative method, linear equations.
(2) To write simple programs of numerical analysis in C language.
(3) To understand various data types, operators, library functions.
(4) To understand the design of programs using functions and structs.
(5) To learn the basic methods to write programs and technical documents.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
基本的に演習課題 50%, 期末試験 50%とし, これらの合計で評価する.
ただし全ての演習課題の提出を単位取得条件とし, 1 回でも未提出(或いは不受理)であれば評価 D(不可)とする.
演習課題は, 講義の進捗に応じて随時出題する.

Exercise 50% and Examination 50%.
Assignments will be given in exercises.
It is mandatory to submit all reports;
If any of reports are skipped or rejected, the student will be disqualified.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
定期試験に関する注意は講義時間内に行う. また前年度の問題はWWWで公開する.
Before the term examination, check the term exam of the last year which is provided in the lecture web site.

その他

ウェルカムページ
http://www.ccs.ee.tut.ac.jp/~ichikawa/lecture/
http://www.ccs.ee.tut.ac.jp/~ichikawa/lecture/

オフィスアワー
講義室・電子メールなどで事前に面会予約を取ることを推奨する.

The communication via e-mails are welcome. Make a reservation via e-mail before coming to meet the lecturer.

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
プログラミング，C 言語
Programming, C language

(B1261011a)量子力学Ⅰ[Quantum Mechanics 1]

科目名[英文名]	量子力学Ⅰ[Quantum Mechanics 1]				
時間割番号	B1261011a	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	関口　寛人 SEKIGUCHI Hiroto				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

物理現象をミクロな観点から取り扱う量子力学は、電子を粒子性と波動性の二面性をもつものとして取り扱う。
量子力学は、固体物性や半導体工学、スピントロニクスやフォトニクスの基本的物理で、電気・電子情報工学分野を目指す技術者には不可欠の科目である。本講義は、量子力学の基礎的な考え方と現象の物理的理解を通じて、その応用力を培うことを目標とする。

The quantum mechanics dealing with microscopic phenomena have particle and wave nature of electron. Quantum mechanics is basic physics of Solid State Electronics and Semiconductor Engineering, Spintronics and Photonics. In addition, it's an indispensable subject for an engineer of electronics and electronic information engineering. This lecture aims for cultivating the applied skill through a quantum-mechanical basic thinking and the physical understanding of the phenomena.

授業の内容

1 週目：量子力学とは、黒体輻射、光電効果
2 週目：コンプトン効果、ラザフォード散乱、ボーアの原子モデル
3 週目：ボーアの原子モデル、物質波、確率波
4 週目：不確定性原理、平面波、演算子
5 週目：シュレディンガー方程式、波動関数、期待値
6 週目：定常状態におけるシュレディンガー方程式、自由粒子
7 週目：確率流密度、障壁型ポテンシャル
8 週目：中間試験
9 週目：トンネル効果、ヒルベルト空間、オブザーバブル
10 週目：エルミート演算子、無限に深い井戸型ポテンシャル（宿題）
11 週目：重ね合わせの状態、交換子、ブラケット、
12 週目：量子井戸
13 週目：調和振動子
14 週目：極座標シュレディンガー方程式
15 週目：水素原子モデル
16 週目：期末試験

1st week: Introduction of quantum mechanics, blackbody radiation, photoelectric effect
2nd week: Compton effect, Rutherford scattering, Bohr atom
3rd week: Bohr atom, matter wave, provability wave
4th week: Uncertainty principle, plane wave, operator
5th week: Schrodinger equation, wave function, expectation value
6th week: Time-independent Schrodinger equation, free particle
7th week: Density of probability flow, potential step
8th week: Midterm exam
9th week: Tunnel effect, Hilbert space, observable
10th week: Hermitian operator, infinite well
11th week: Complete system, commutator, bracket
12th week: potential well
13th week: Harmonic oscillator
14th week: The Schrodinger equation in polar coordinates
15th week: Hydrogen atom model
16th week: Final exam

予習・復習内容

講義で取ったノートを中心に復習を行うこと。
Review the notebook which you took by a lecture

関連科目

必要とされる基礎知識の範囲：力学，電磁気学，数学（線形代数，複素関数，微分方程式を含む）

関連科目：微分積分，線形代数，物理学，確率統計，応用解析学，複素関数論，
基礎電磁気学，電磁気学，量子力学 II，固体電子工学，電気材料論，分光分析学

Physics, Electromagnetism, Mathematics (Linear Algebra, Complex Function Theory and Differential Equations) should be understood.
Related subject: Differential-integral equation, Linear Algebra, Physics, Probability and Statistics, Applied Mathematical Analysis, Complex Function Theory, Basic Electromagnetism, Quantum mechanics II, Solid State Electronics, Physics of Electric Material and Spectroscopic Analysis

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	基礎電子物性工学			**ISBN**	978-4-339-01826-4
	著者名	阿部正紀	**出版社**	コロナ社	**出版年**	2008
参考書 2	**書名**	量子力学			**ISBN**	978-4-7853-2132-1
	著者名	小出昭一郎 著,	**出版社**	裳華房	**出版年**	1990
参考書 3	**書名**	Quantum Physics 3rd edition			**ISBN**	978-0-471-05700-0
	著者名	Stephen Gasiorowicz	**出版社**	WILEY	**出版年**	2003

参考書に関する補足事項

達成目標
A. 基礎的な事項
(1) エネルギーの量子化，粒子の波動性について説明できる.
(2) 物理量の古典論的記述と量子論的記述の対応関係を説明できる.
(3) 演算子の基本的性質を理解し，演算子を用いた計算ができる.
B. 量子力学の基礎
(1) シュレディンガー波動方程式を立てることができる
(2) 固有値と期待値の物理的な意味を説明できる.
(3) 波動関数と確率密度について理解する.
(4) 波束による粒子描像の概念を理解し，説明できる.
C. ポテンシャル問題
(1) 量子井戸に対する量子準位と波動関数を求めて，図示できる.
(2) 山形ポテンシャル問題から，トンネル効果を導くことができる.
(3) 極座標系シュレディンガー方程式を理解し，角運動量について説明ができる.

A. Basic elements
(1) Could explain the meaning of the quantization of energy and the wave nature of matter
(2) Could explain the difference of descriptions of physical quantity based on classical theory and quantum theory
(3) Understand the fundamental nature of operator and calculate using operator
B. Basis of quantum mechanics
(1) Knowledge to solve the Schrodinger equation for the potential bases
(2) Could explain the physical sense of eigenvalue and expectation value
(3) Could explain the meaning of the wavefunction and the probability density
(4) Could explain the concept of picture of matter by wave packet
C. Potential problem
(1) Knowledge to solve the quantum level and the wavefunction using the Schrodinger equation
(2) Could explain the tunneling effect by solving the potential barrier problem
(3) Understand the Schrodinger equation in spherical coordinates and could explain the angular momentum

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
中間試験40%、期末試験40%、演習（小テスト、レポート）20%の合計として、総合的に評価する。
S：総合評価点（100 点満点）が 90 点以上
A：総合評価点（100 点満点）が 80 点以上
B：総合評価点（100 点満点）が 70 点以上
C：総合評価点（100 点満点）が 60 点以上
Evaluation is based on some quizzes and some reports (20 points), a midterm exam (40 points) and a final exam (40 points).
S: Total points of exam and reports, 90 or higher
A: Total points of exam and reports, 80 or higher
B: Total points of exam and reports, 70 or higher

C: Total points of exam and reports, 60 or higher

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居室: C-610
TEL: 6744
E-mail: sekiguchi@ee.tut.ac.jp

Room: C-610
TEL: 6744
E-mail: sekiguchi@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.int.ee.tut.ac.jp/oeg/
http://www.int.ee.tut.ac.jp/oeg/

オフィスアワー

講義終了後または E-mail にて随時
電話・メールにてスケジュール調整可能
End of lecture or Please contact by an e-mail

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B1261011b)量子力学Ⅰ[Quantum Mechanics 1]

科目名[英文名]	量子力学Ⅰ[Quantum Mechanics 1]				
時間割番号	B1261011b	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	関口　寛人 SEKIGUCHI Hiroto				
ナンバリング	ELC_BAC31010				

授業の目標

物理現象をミクロな観点から取り扱う量子力学は、電子を粒子性と波動性の二面性をもつものとして取り扱う。
量子力学は、固体物性や半導体工学、スピントロニクスやフォトニクスの基本的物理で、電気・電子情報工学分野を目指す技術者には不可欠の科目である。本講義は、量子力学の基礎的な考え方と現象の物理的理解を通じて、その応用力を培うことを目標とする。

The quantum mechanics dealing with microscopic phenomena have particle and wave nature of electron. Quantum mechanics is basic physics of Solid State Electronics and Semiconductor Engineering, Spintronics and Photonics. In addition, it's an indispensable subject for an engineer of electronics and electronic information engineering. This lecture aims for cultivating the applied skill through a quantum-mechanical basic thinking and the physical understanding of the phenomena.

授業の内容

1 週目：量子力学とは、黒体輻射、光電効果
2 週目：コンプトン効果、ラザフォード散乱、ボーアの原子モデル
3 週目：ボーアの原子モデル、物質波、確率波
4 週目：不確定性原理、平面波、演算子
5 週目：シュレディンガー方程式、波動関数、期待値
6 週目：定常状態におけるシュレディンガー方程式、自由粒子
7 週目：確率流密度、障壁型ポテンシャル
8 週目：中間試験
9 週目：トンネル効果、ヒルベルト空間、オブザーバブル
10 週目：エルミート演算子、無限に深い井戸型ポテンシャル（宿題）
11 週目：重ね合わせの状態、交換子、ブラケット、
12 週目：量子井戸
13 週目：調和振動子
14 週目：極座標シュレディンガー方程式
15 週目：水素原子モデル
16 週目：期末試験

1st week: Introduction of quantum mechanics, blackbody radiation, photoelectric effect
2nd week: Compton effect, Rutherford scattering, Bohr atom
3rd week: Bohr atom, matter wave, provability wave
4th week: Uncertainty principle, plane wave, operator
5th week: Schrodinger equation, wave function, expectation value
6th week: Time-independent Schrodinger equation, free particle
7th week: Density of probability flow, potential step
8th week: Midterm exam
9th week: Tunnel effect, Hilbert space, observable
10th week: Hermitian operator, infinite well
11th week: Complete system, commutator, bracket
12th week: potential well
13th week: Harmonic oscillator
14th week: The Schrodinger equation in polar coordinates
15th week: Hydrogen atom model
16th week: Final exam

予習・復習内容

講義で取ったノートを中心に復習を行うこと。
Taking review the notebook which you took by a lecture

関連科目

必要とされる基礎知識の範囲：力学，電磁気学，数学（線形代数，複素関数，微分方程式を含む）

関連科目：微分積分，線形代数，物理学，確率統計，応用解析学，複素関数論，
基礎電磁気学，電磁気学，量子力学 II，固体電子工学，電気材料論，分光分析学

Physics, Electromagnetism, Mathematics (Linear Algebra, Complex Function Theory and Differential Equations) should be understood.
Related subject: Differential-integral equation, Linear Algebra, Physics, Probability and Statistics, Applied Mathematical Analysis, Complex Function Theory, Basic Electromagnetism, Quantum mechanics II, Solid State Electronics, Physics of Electric Material and Spectroscopic Analysis

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	量子力学(I)			**ISBN**	978-4-7853-2132-1
	著者名	小出昭一郎	**出版社**	裳華房	**出版年**	1990
参考書 2	**書名**	Quantum Physics 3rd edition			**ISBN**	978-0-471-05700-0
	著者名	Stephen Gasiorowicz	**出版社**	WILEY	**出版年**	2003
参考書 3	**書名**	基礎電子物性工学			**ISBN**	978-4-339-01826-4
	著者名	阿部正紀	**出版社**	コロナ社	**出版年**	2008

参考書に関する補足事項

達成目標
A. 基礎的な事項
(1) エネルギーの量子化，粒子の波動性について説明できる.
(2) 物理量の古典論的記述と量子論的記述の対応関係を説明できる.
(3) 演算子の基本的性質を理解し，演算子を用いた計算ができる.
B. 量子力学の基礎
(1) シュレディンガー波動方程式を立てることができる
(2) 固有値と期待値の物理的な意味を説明できる.
(3) 波動関数と確率密度について理解する.
(4) 波束による粒子描像の概念を理解し，説明できる.
C. ポテンシャル問題
(1) 量子井戸に対する量子準位と波動関数を求めて，図示できる.
(2) 山形ポテンシャル問題から，トンネル効果を導くことができる.
(3) 極座標系シュレディンガー方程式を理解し，角運動量について説明ができる.

A. Basic elements
(1) Could explain the meaning of the quantization of energy and the wave nature of matter
(2) Could explain the difference of descriptions of physical quantity based on classical theory and quantum theory
(3) Understand the fundamental nature of operator and calculate using operator
B. Basis of quantum mechanics
(1) Knowledge to solve the Schrodinger equation for the potential bases
(2) Could explain the physical sense of eigenvalue and expectation value
(3) Could explain the meaning of the wavefunction and the probability density
(4) Could explain the concept of picture of matter by wave packet
C. Potential problem
(1) Knowledge to solve the quantum level and the wavefunction using the Schrodinger equation
(2) Could explain the tunneling effect by solving the potential barrier problem
(3) Understand the Schrodinger equation in spherical coordinates and could explain the angular momentum

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
中間試験40%、期末試験40%、演習（小テスト、レポート）20%の合計として、総合的に評価する。
S：総合評価点（100 点満点）が 90 点以上
A：総合評価点（100 点満点）が 80 点以上
B：総合評価点（100 点満点）が 70 点以上
C：総合評価点（100 点満点）が 60 点以上

Evaluation is based on some quizzes and some reports (20 points), a midterm exam (40 points) and a final exam (40 points).
S: Total points of exam and reports, 90 or higher

A: Total points of exam and reports, 80 or higher
B: Total points of exam and reports, 70 or higher
C: Total points of exam and reports, 60 or higher

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
居室: C1-205
TEL: 6781
E-mail: takagi@ee.tut.ac.jp

Room: C1-205
TEL: 6781
E-mail: takagi@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://www.spin.ee.tut.ac.jp/
http://www.spin.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー
講義終了後または E-mail にて随時
電話・メールにてスケジュール調整可能
End of lecture or Please contact by an e-mail

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B12610120)電気・電子情報工学実験Ⅱ[Experimental Practice for Electrical, Electronic and Information Engineering 2]

科目名[英文名]	電気・電子情報工学実験Ⅱ[Experimental Practice for Electrical, Electronic and Information Engineering 2]				
時間割番号	B12610120	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	通年	**曜日時限**	水 3～5	**単位数**	4
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	若原　昭浩, 坂井　尚貴, 針谷　達, 藤枝　直輝, 東城　友都, 山根　啓輔, 岩田　達哉, 後藤　太一, 河村　剛, 宮路　祐一, 谷本　壮 WAKAHARA Akihiro, SAKAI Naoki, HARIGAI Toru, FUJIEDA Naoki, TOJO Tomohiro, YAMANE Keisuke, IWATA Tatsuya, GOTO Taichi, KAWAMURA Go, MIYAJI Yuichi, TANIMOTO Tsuyoshi				
ナンバリング	ELC_BAC38010				

授業の目標

実験活動を通じて電気・電子情報工学に関する原理・法則を体得する。すなわち、実験装置および器具の使用方法、実験の計画・実施方法、報告書の作成法、さらにチームワークの方法を習得することにより、研究者ならびに技術者としての基礎学力と問題解決能力を養うことを目的とする。

The students are expected to learn the principles and laws for electric and electronic information engineering through a series of experiments to realize how necessary it is to learn the experimental method, procedure and teamwork. In addition, the students are expected to be able to analyze and interpret ethical problems as well as to write a technical report with clear statements.

授業の内容

本科目は、通年にわたって履修する必修科目である。実験テーマは 17 課題(後期選択テーマが 3 課題)あり、1 週間に 1 課題ずつ実験を行う。
具体的なテーマは、以下に示す通りである。

実験課題--実験回数
1. PWM インバータの基礎--1
2. 誘導電動機--1
3. 同期発電機--1
4. 送電線路におけるコロナ放電--1
5. 太陽電池の作製と評価(2 週実験)-- 2
6. 半導体発光素子の特性--1
7. CMOS 集積回路と設計(2 週実験)--2
8. COT(コンピュータオペレーション演習)--1
9. 誘電体の特性評価--1
10. マイコンを用いた制御プログラムの作成--1
11. 磁性体の磁化特性--1
12. 低電力 MOS 増幅器の設計と評価--1
13. アクティブ・フィルタの製作と評価--1
14. 分布定数回路と高速パルスの伝送--1

材料・電気電子選択コース
a. 液相からの光学薄膜のコーティングと評価(2 週実験)--2
b. 表面処理による撥水・親水性制御--1
c. 金属化合物の酸化・還元電位測定--1

情報・電気電子選択コース
d. アンテナの試作と特性測定(2 週実験)--2
e. ディジタル無線通信の基礎--1
f. 組み込み論理回路--1

A series of experiments will be carried out with a schedule for a year.
The experimental themes constructed of 17 are shown as follows:

1. PWM inverter fundamentals
2. Induction motor
3. Synchronous Generator
4. Corona discharge on transmission line

5. Fabrication and characterization of solar cell (2 weeks)
6. Characteristics of semiconductor light-emitting devices
7. CMOS integrated circuits: Design and characterization (2 weeks)
8. COT (Computer operation training)
9. Characterization of dielectric materials
10. Control Programming for Microcomputers
11. Magnetic properties of magnetic materials
12. Design of low-power MOS amplifier
13. Design and Measurement of Active Filters
14. Distributed constant network and transmission of high-speed pulse

Selected course for chemical materials
a. Coating and evaluation of optical thin films prepared from liquid materials (2 weeks)
b. Control of hydrophobicity and hydrophilicity by surface modification
c. Redox potential measurements of a metallic compound

Selected course for information technologies
d. Antenna prototyping and characteristic measurement (2 weeks)
e. Fundamentals of digital wireless communication
f. Logic Circuits for Embedded Systems

The students are required to study a homework to carry out the experiment.

予習・復習内容

受講前に各テーマに設定されている予習課題に取り組むこと.

関連科目

数学、化学、英語等教養科目、および工業高等専門学校専門科目全般
Mathematics, Chemistry, English and All for a technical junior college.

教科書に関する補足事項

指導書:「電気・電子情報工学実験 II」(豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系学生実験委員会編)
参考書:「電気・電子情報工学実験 II」に実験課題ごとに参考文献を記載
The text: [Experimental Practice for Electrical, Electronic and Information Engineering 2]
The text will be distributed in the 1st lecture (guidance).

参考書に関する補足事項

References are shown in the text for each theme.

達成目標

1. PWM インバータの基礎: IGBT ブリッジ回路を PWM 制御する実験を通して、インバータの代表的な制御法である PWM 制御の原理を理解する。
2. 誘導電動機:誘導電動機の特徴を理解し、L 型円線図の原理を理解する。
3. 同期発電機:同期発電機の特徴を理解し、起磁力法の原理を理解する。
4. 送電線路におけるコロナ放電:高電圧装置の取り扱い方法を習得する。送電線路におけるコロナ放電現象を理解する。
5. 太陽電池の作製と評価(2 週実験):pn 接合型の Si 太陽電池を作製し、基礎的な薄膜形成技術と、太陽電池の動作原理・特性を理解する。
6. 半導体発光素子の特性:発光ダイオードおよび半導体レーザの電気的・光学的特性を理解するとともに、回折の基礎を学ぶ。
7. CMOS 集積回路と設計(2 週実験):回路構成要素である MOSFET の特性測定と回路設計、パターン観察を通じて、CMOS 集積回路技術の基本原理を理解する。
8. COT(コンピュータオペレーション演習):タッチタイピングを習得する。
9. 誘電体の特性評価:誘電体の複素誘電率および誘電緩和現象を測定することによって、その特徴を理解する。
10. マイコンを用いた制御プログラムの作成:マイコンを通じたシリアルデータ通信により LED 点灯の制御及び半田ごて先端の温度制御のプログラムの作成を行い、機器制御の基礎を理解する。
11. 磁性体の磁化特性:様々な強磁性体材料について磁化曲線を測定することによって、その特徴を理解する。
12. 低電力 MOS 増幅器の設計と評価:MOS トランジスタによるアナログ回路について理解し、ソース接地増幅器に関して、与えられた仕様からこれを満たすための設計 パラメータの決定方法を習得する.
13. アクティブ・フィルタの製作と評価:OP アンプを使ったアクティブ・フィルタの基本的な動作原理や特性について理解する。
14. 分布定数回路と高速パルスの伝送:特性インピーダンス、伝播速度、減衰定数、インピーダンスの不整合系に現れる信号の反射など、分布定数回路における信号の伝播について理解する。

材料・電気電子選択コース
a. 液相からの光学薄膜のコーティングと評価:ゾル-ゲル、ディップコーティング法により、液相からコーティング薄膜を作製する。作製した膜の光反射率をはじめ、種々の特性を評価し、コーティング薄膜に関する基礎的な事項を学ぶ。
b. 表面処理による撥水・親水性制御:物質表面の粗さや表面エネルギーを変化させることで、撥水・親水性を制御する。撥水・親水性を決定づける因子について学び、表面設計の基礎を習得する。

c. 金属化合物の酸化・還元電位測定：金属化合物の酸化還元電位の測定を通じて酸化・還元反応の仕組みを理解し、電池の基礎を理解する。

情報・電気電子選択コース
d. アンテナの試作と特性測定：(1) 実験を通じてアンテナの原理を学ぶ。(2) ネットワークアナライザやアンテナの回転機構などの測定機器の使い方になれる。
e. ディジタル無線通信の基礎：ディジタル変復調の原理を学び、ソフトウェア無線機による実験を通して、ビット誤り率などを測定し理解を深める。
f. 組み込み論理回路：(1) FPGA を用いた論理回路設計手法を学ぶ。(2) ルックアップテーブル、フリップフロップなどの FPGA の構成要素を理解する。(3) 回路設計の違いが合成された論理回路に与える影響を理解する。
1. PWM inverter fundamentals: Learn the PWM principle through a PWM control experiment of an IGBT bridge circuit.
2. Induction motor: Understand the characteristics of induction motors and the fundamentals of Heyland diagram.
3. Synchronous Generator：Understand the characteristics of synchronous generator and the principle of the magnetomotive force method.
4. Corona discharge on transmission line：Learn the usage of high voltage equipment and understand the phenomena of corona discharge on transmission line.
5. Fabrication and characterization of solar cell (2 weeks): Fabricate Si-based pn-junction solar cells and understand principle of thin-film deposition and device operation.
6. Characteristics of semiconductor light-emitting devices: Understand the electrical and optical characteristics of light-emitting diodes and semiconductor lasers and learn the basics of diffraction.
7. CMOS integrated circuits: Design and characterization (2 weeks): Understand the fundamentals of CMOS integrated circuits and technology through MOSFET characterization, observation of integrated circuits, and designing basic CMOS circuits.
8. COT (Computer operation training): Acquire a touch typing method.
9. Characterization of dielectric materials: Understand the features of dielectric materials with measuring its complex permittivities and dielectric relaxation phenomena.
10. Control Programming for Microcomputers: Acquire the basis of control systems using microcomputers through the development of the control program of the lighting of LEDs and the temperature of a soldering iron.
11. Magnetic properties of magnetic materials: Understand the features of ferromagnetic materials with measuring its magnetic hysteresis loops.
12. Design of low-power MOS amplifier: Understanding analog circuits using MOS transistors and learning a design method to determine circuit parameters of a common-source amplifier to meet given specifications.
13. Design and Measurement of Active Filters: Understand fundamental principle and characteristics of OP amp-based active filters.
14. Distributed constant network and transmission of high-speed pulse: understand physical properties of signal propagations such as propagation velocity, attenuation constant, and reflection by impedance mismatch on distributed constant networks

Selected course for chemical materials
a. Coating and evaluation of optical thin films prepared from liquid materials (2 weeks): Synthesize thin optical coatings with sol-gel and dip-coating methods. Understand the fundamentals of coatings by measuring various properties especially the optical properties.
b. Control of hydrophobicity and hydrophilicity by surface modification: Control hydrophobicity and hydrophilicity by changing surface roughness and surface energy. Understand the fundamentals of surface design by learning factors deciding hydrophobicity and hydrophilicity.
c. Redox potential measurements of a metallic compound: Understand the principles of oxidative and reductive reaction through redox potential measurements of a metallic compound as well as the basis of batteries.

Selected course for information technologies
d. Antenna prototyping and characteristic measurement (2 weeks): (1) Learn the antenna principle thorough the experiment. (2) Become familiar with measurement instruments including a vector network analyzer and an antenna turn table.
e. Fundamentals of digital wireless communication: learn digital modulations and demodulations and understand bit error rate through experiments with software radio peripherals
f. Logic Circuits for Embedded Systems: (1) Acquire the operation of logic circuit design with FPGAs. (2) Understand the components of FPGAs such as look-up tables and flip-flops. (3) Understand the effect of the difference of circuit designs to synthesized logic circuits.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

実験終了後所定の規則に従い提出し、受理されたレポートを、テーマごとに 100 点満点で採点し、その合計を平均化した点数で評価する。ただし、レポートの点数には実験態度および口頭試問を含む。1 つでも欠席あるいはレポート未受理の実験がある場合には単位を認めない。

総合点 100 点満点で、評価 A：80 点以上，評価 B：65 点以上，評価 C：55 点以上。

The students who attend all classes, and the submitted reports which are accepted in all themes, will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of mini-exams and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65 % of goals and obtained total points of mini-exams and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained total points of mini-exams and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

開講時に開催する説明会でリストを配布する。

ウェルカムページ

http://www.ee.tut.ac.jp
http://www.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

それぞれの実験課題の担当教員から連絡する。これ以外の時間帯に訪問を希望する場合は、e-mail、内線電話などで随時時間を打ち合わせる。担当教員および連絡先は、開講時に開催する説明会でリストを配布するので参照のこと。
It is preferable to make an appointment in advance using an e-mail or a telephone for each teacher.
The address or number must be picked up from its supporting materials which are distributed in the guidance.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

電気・電子情報工学実験Ⅱ
Experimental Practice for Electrical, Electronic and Information Engineering 2

(B12610130)電気・電子情報工学プロジェクト実験[Experimental Project for Electrical, Electronic and Information Engineering]

科目名[英文名]	電気・電子情報工学プロジェクト実験[Experimental Project for Electrical, Electronic and Information Engineering]				
時間割番号	B12610130	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	S2系教務委員 2kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ELC_BAC48010				

授業の目標

各研究室において，コース専門分野の基礎を実験を通して理解を深める。併せて、実験器具・装置の使用方法、実験計画の作成方法、実験の実施方法、および報告書の作成方法を修得する。

In this course, the students learn the fundamentals on the specific subjects of the corresponding course in each laboratory. Additionally, the students learn how to use devices and equipment, how to plan experiments, how to conduct experiments, and how to write technical reports.

授業の内容

研究室毎に異なる。

The contents of this subject are different in each laboratory.

予習・復習内容

各教員、研究室の指示に従うこと。

Follow the instructions from the supervisor and the staffs in the laboratory.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

達成目標(D2) 実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から考察し，説明する能力を涵養する

達成目標(D3) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題を工学的に解決するためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力を涵養する

達成目標（G） 他の研究室メンバーと協調して仕事をするための能力を涵養する

(D2) The ability to plan and carry out experimentation, accurately analyze data, make technical observations, and effectively communicate results.

(D3) The ability to demonstrate an understanding of the practical problems and challenges experienced by engineers, devise engineering solutions to these problems while working within design parameters.

(G) The ability to work in teams.

Understanding the value of working together with others as a team member, the ability to contribute individually to achieve team targets.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

各達成目標の配点は (D2)40 点，(D3)40 点，(G)20 点とし，合計 100 点満点で採点する.

総合点 100 点満点で、評価 A：80 点以上，評価 B：65 点以上，評価 C：55 点以上。

The point is given out of 100, where each goal is weighted as shown below; 40 for D2, 40 for D3, and 20 for G.

The student is qualified for the achievements if the point is equal or greater than 55 points. The achievement is graded by A (equal or greater than 80 points), B (between 65 and 79 points), and C (between 55 and 64 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

それぞれの実験課題の担当教員から連絡する。これ以外の時間帯に訪問を希望する場合は、e-mail、内線電話などで随時時間を打ち合わせる。

Ask to the supervisor of each laboratory. Make reservations for interview via e-mail or telephone.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B12610140)卒業研究[Supervised Research]

科目名[英文名]	卒業研究[Supervised Research]				
時間割番号	B12610140	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期＋後1	**曜日時限**	木 3～3,木 5～5	**単位数**	4
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	S2系教務委員 2kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ELC_BAC48010				

授業の目標

本学の教育理念である創造的、実践的能力を備えた指導的技術者・研究者としての能力を身につけるためには、単なる講義のみではなく、未解決の問題に取り組まなければならない。このような未解決の問題に取り組むことにより，自発的に学習する態度が身につき、これがさらに新しい問題を発見することにつながる。この特別実験を通して、明確な問題意識、問題解決力、課題探求力、計画立案力、創造力、判断力、責任感、ねばり強さ、協調性、プレゼンテーション力、倫理観を身につける。本学においてこれまでに修得したことが，総合的に評価される。

It is essential for the leading engineers and researchers with creative and practical abilities, which are stated in our educational principles, to tackle unsolved problems along with the learning in classrooms. The attitude of autonomous study is derived from the challenge to unsolved problems, which leads to finding new problems. Through this subject, the students are supposed to acquire the abilities to notice, solve, and find problems, the ability to make plans, the creativity, the determination, the sense of responsibility, the patience, the cooperation, the presentation, the ethics, which are essential for the leading engineers and researchers. The abilities acquired in this university would be totally evaluated.

授業の内容

研究室毎に異なる。

The contents of this subject are different in each laboratory.

予習・復習内容

各教員、研究室の指示に従うこと。

Follow the instructions from the supervisor and the staffs in the laboratory.

関連科目

研究室毎に異なる。

The related subjects are different in each laboratory.

教科書に関する補足事項

研究室毎に異なる。

The text books are different in each laboratory.

参考書に関する補足事項

達成目標

達成目標(D3)　研究上の問題点と課題を理解し，諸問題を工学的に解決するためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力を涵養すること

達成目標(D4)　各自の研究テーマに関連する幅広い専門知識と運用能力を獲得すること

達成目標(D5)　研究開発した技術の技術移転，知財関係，マネジメントの基礎的知識を獲得すること

達成目標(E)　国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力を涵養すること

達成目標(F)　最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力を獲得すること

達成目標(G)　他の研究室メンバーと協調して仕事をするための能力を涵養すること

(D3) The ability to demonstrate an understanding of the practical problems and challenges experienced by engineers, devise engineering solutions to these problems while working within design parameters

(D4) A broad range of expertise and the ability to carry out technological development in one of the following four professional courses of study:

1) Mechanical Systems Design Course

2) Materials and Manufacturing Course

3) System Control and Robotics Course

4) Environment and Energy Course

(D5) Practical application of research results, awareness of intellectual property issues, and the acquisition of basic knowledge regarding the Management of Technology (MOT)

(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills

Utilizing technical writing, reporting or announcements issued through informative media sources, the ability to effectively disseminate one's research results and ideas at home and abroad
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology
(G) The ability to work in teams
Understanding the value of working together with others as a team member, the ability to contribute individually to achieve team targets

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

各達成目標の配点は (D3)20 点, (D4)20 点, (D5)10 点, (E)20 点, (F)20 点, (G)10 点とし, 合計 100 点満点で採点する. 成績評価 A:80 点以上, 評価 B:65 点以上, 評価 C:55 点以上。
The point is given out of 100.
Each goal is weighted as shown below; 20 for D3, 20 for D4, 10 for D5, 20 for E, 20 for F, and 10 for G.
The student is qualified for the achievements if the point is equal or greater than 55 points. The achievement is graded by A (equal or greater than 80 points), B (between 65 and 79 points), and C (between 55 and 64 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B12610150)実務訓練[Internship]

科目名[英文名]	実務訓練[Internship]				
時間割番号	B12610150	区分	電気・電子情報専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	後期2	曜日時限	月 1～5,火 1～5,水 1～5,木 1～5,金 1～5	単位数	6
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	S2系教務委員 2kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ELC_BAC49010				

授業の目標

企業・官公庁等で実務に従事することにより，指導的技術者として必要な人間性の陶冶を図るとともに，実践的技術感覚を体得させる。本学においてこれまでに修得したことが，総合的に評価される。

In the internship at a company or public agency, the students are supposed to cultivate their characters as leading engineers and to acquire the practical senses of engineering. The abilities acquired in this university would be totally evaluated.

授業の内容

学部第4年次学生が従事できる実務のうち，実務訓練の目的にふさわしい業務

The jobs that are eligible to the fourth-year students and that suit to the purposes of on-the-job training (OJT).

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

達成目標(D3) 諸問題を工学的に解決するためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力を涵養すること
達成目標(D5) 知財関係，マネジメントの基礎的知識を獲得すること
達成目標(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力を獲得すること
達成目標(F) 最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力を涵養すること
達成目標(G) チームで仕事をするための能力を涵養すること

(D3) The ability to demonstrate an understanding of the practical problems and challenges experienced by engineers, devise engineering solutions to these problems while working within design parameters.
(D5) The acquisition of basic knowledge concerning technology transfer, intellectual property and the management of research and development.
(E) The ability of self-expression and communication for domestic and international activities
The ability to publicize and communicate research results and ideas through academic papers, oral presentations, and various media at home and abroad
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology
(G) The ability to work in teams
Understanding the value of working together with others as a team member, the ability to contribute individually to achieve team targets

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

「実務訓練評定書」,「実務訓練報告書」,「訓練状況の調査結果」および「実務訓練報告会におけるプレゼンテーション」に基づき評価する。
各達成目標の配点は (D3)20 点，(D5)20 点，(E)20 点，(F)20 点，(G)20 点とし，合計 100 点満点で採点する.
評価 A:80 点以上，評価 B:65 点以上，評価 C:55 点以上。

The point is given out of 100, considering the OJT evaluation sheet, the OJT report, the inspection of OJT, and the presentation in OJT public hearing.
The points are weighted with each goal as shown below; 20 for D3, 20 for D5, 20 for E, 20 for F, and 20 for G.
The achievement is graded by A (equal or greater than 80 points), B (between 65 and 79 points), and C (between 55 and 64 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない None during exam period
定期試験詳細
その他
ウェルカムページ
オフィスアワー
学習・教育到達目標との対応
キーワード

(B12620020)基礎論理回路[Fundamental Logic Circuitry]

科目名[英文名]	基礎論理回路[Fundamental Logic Circuitry]				
時間割番号	B12620020	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 5～5	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	市川　周一 ICHIKAWA Shuichi				
ナンバリング	ELC_BAC31022				

授業の目標

論理回路は，コンピュータを含むディジタル回路の動作を理解し，あるいは設計するための基礎である．本講義では論理回路の未修者を対象として，論理回路の基礎，特に組合せ回路について学ぶ．また，後期科目『論理回路論』を受講するための基礎知識と基礎技術を身につけることを目標とする．

The knowledge of logic circuit is essential for engineers to understand and to design digital systems such as computers. This lecture aims at beginners of logic circuit, and overviews the fundamentals of logic circuit (particularly combinational logic circuit). Another aim of this lecture is to prepare for the lecture "Logic Circuitry" (held in winter term).

授業の内容

第 1 週： ガイダンス
第 2 週： 数の表現
第 3～5 週： 論理関数の基礎
第 6～7 週： 加法標準形と乗法標準形
第 8～11 週： 論理の簡単化
第 12～14 週：組合せ回路
第 15 週： 論理の簡単化（続き）
第 16 週： 期末試験

講義の進捗に応じて，演習課題を随時出題する．

Week 1: Guidance
Week 2: Number systems
Week 3, 4, 5: Logic function
Week 6, 7: Canonical forms
Week 8, 9, 10, 11: Function simplification
Week 12, 13, 14: Combinational logic circuit
Week 15: Simplification (revisited)
Week 16: Examination

Assignments will be given for each items.

予習・復習内容

講義前に教科書と講義資料の該当部分を一読してから出席すること．講義後も資料とノートを読み直して，理解できなかった部分を残さないようにすること．

Before attending to the lecture, read the corresponding section of the textbook.

関連科目

専門 II 必修『論理回路論』
Logic Circuitry (held in winter term)

教科書に関する補足事項

専門 II『論理回路論』と共通の参考書を使用している．
The same text book is used in this lecture and Logic Circuitry (held in winter term).

参考書 1	**書名**	論理回路の基礎（改訂版）			**ISBN**	
	著者名	田丸啓吉	**出版社**	工学図書	**出版年**	平成元年
参考書 2	**書名**	Digital Logic Design (Fourth Edition)			**ISBN**	
	著者名	B. Holdsworth, C. Woods	**出版社**	Newnes	**出版年**	2002

参考書に関する補足事項

英語教科書を推奨しているため，同等の内容を扱う日本語参考書を合わせて紹介する.
Refer to the Japanese syllabus for Japanese references.

達成目標

(1) ブール代数の諸定理を理解し，組合せ回路の設計に応用できる.
(2) 論理関数を標準形に変形し記述できる.
(3) 論理関数を簡単化することができる.
(4) 論理ゲートの構造と機能を理解できる.
(5) MIL 記号を用いた論理回路図を理解し，記述することができる.
(6) 基本的な組合せ回路の機能を理解し，あるいは設計できる.

(1) To understand Boolean algebra, and to apply it to design combinational circuit
(2) To describe logic functions in canonical forms
(3) To simplify logic functions
(4) To understand the structure and function of logic gates
(5) To understand and to draw logic circuit diagrams in MIL format
(6) To understand and to design fundamental combinational circuits

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習 40%，試験 60%の総合で評価する.
Assignments (40%) and Examination (60%)

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.ccs.ee.tut.ac.jp/~ichikawa/lecture/
http://www.ccs.ee.tut.ac.jp/~ichikawa/lecture/

オフィスアワー

随時対応．講義室・電子メールなどで事前に面会予約を取ることを推奨.
The communication via e-mails are welcome. Make a reservation via e-mail before coming to meet the lecturer.

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

ブール代数，論理設計，ディジタル回路
Boolean algebra, logic design, digital circuit

(B12620030)物理化学[Physical Chemistry]

科目名[英文名]	物理化学[Physical Chemistry]				
時間割番号	B12620030	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	服部　敏明 HATTORI Toshiaki				
ナンバリング	ELC_BAC31022				

授業の目標

本講では，最初に気体の性質，次に気体を基にした熱力学の原理，最後に一般化された熱力学の諸量について学習する．熱力学は科学と工学の様々な現象の理解に使われる重要な学問である．材料を意識して、気体の圧力、体積、温度、物質量，仕事，熱，内部エネルギー，エンタルピー，エントロピー，自由エネルギーの定量的な扱い方を修得する．

In this course you will learn properties of gas and principles of thermodynamics. Thermodynamics applies to a wide variety of phenomena in science and engineering. By the end of the semester, you should be able to make quantitative uses of thermodynamic parameters as materials: pressure, volume, temperature, amount of substances, work, heat, internal energy, enthalpy, entropy, free energy.

授業の内容

1　理想気体の状態方程式、物質量
2　気体の分子運動論
3　実在気体の状態式、分子間相互作用
4　対応状態の原理
5　熱力学第一法則、仕事、熱、内部エネルギー
6　定容過程、定圧過程、熱容量（定容熱容量、定圧熱容量）、エンタルピー
7　断熱変化
8　中間テスト
9　熱化学、ヘスの法則、キルヒホフの法則、標準エンタルピー変化、エンタルピー変化の計算
10　状態関数、経路関数、実在気体における定容熱容量と定圧熱容量の関係、ジュール-トムソン効果
11　熱力学第二法則、エントロピー、可逆過程とクラウジウスの不等式
12　熱力学第三法則、標準反応エントロピー、可逆過程のエントロピー変化の計算方法
13　自発変化と自由エネルギー（ヘルンホルツエネルギー、ギブスエネルギー）
14　自由エネルギーの計算方法
15　基本式、マクスウェルの関係式、ギブスーヘルンホルツの式
16　期末テスト

1 Ideal gas law, amount of substances
2 Kinetic theory of gases
3 Equation describing real gas and interaction between molecules
4 Principle of corresponding state
5 First law of thermodynamics, system and surroundings, work, heat, internal energy
6 Isochoric process and isobaric process, heat capacity (Cv at constant volume, Cp at constant pressure), enthalpy
7 Adiabatic process
8 Mid-term examination
9 Thermochemistry, Hess's law, Kirchhoff's law, standard enthalpy change, calculation of enthalpy change
10 State function, path function, relationship between Cv and Cp on real gas,
Joule-Thomson effect
11 Second law of thermodynamics, entropy, Clausius inequality and reversible process
12 Third law of thermodynamics, standard entropy, calculation ways of entropy change for four reversible processes
13 Spontaneous change and free energy (Helmholtz energy and Gibbs energy)
14 Standard Gibbs energy, calculation ways of Gibbs energy change
15 Fundamental equation, Maxwell relation, Gibbs-Helmholtz equation
16 Final examination

予習・復習内容

熱力学の学習には丁寧によく考える事（熟考）と繰り返し考えることが要求される．単発に授業だけの理解で熱力学を修得する事は難しい．授業の前または授業の後で，参考図書をじっくり読む事または分からない場合は何度も繰り返して理解できるまで読む事を勧める．

Acquisition of thermodynamics requires a careful thinking (serious contemplation). Before and after the class, students should read the reference book repeatedly to understand abstract concepts completely.

関連科目

基礎無機化学、無機化学、量子力学 I、応用物理化学、熱統計力学、電気化学、分光分析学
Basic inorganic chemistry, Inorganic chemistry, Quantum mechanics, Applied physical chemistry, Statistical thermodynamics, Electrochemistry, Spectroscopic Analysis

教科書に関する補足事項
パワーポイント資料が講義の二三日前にアップされる。授業前にダウンロードしておくこと。
The Power point texts will be uploaded two or three days before the lecture. Download them before the class.

参考書 1	**書名**	アトキンス 物理化学（上） 第 10 版			**ISBN**	978-4-8079-0908-7
	著者名	Julio de Paula (著), Peter Atkins (原著), 千原 秀昭 (翻訳), 中村 亘男 (翻訳)	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2017
参考書 2	**書名**	Atkins' Physical Chemistry 10th ed.			**ISBN**	9780199697403
	著者名	Peter Atkins and Julio de Paula	**出版社**	OXFORD University Press	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項
講義の目的は材料を理解する上で必要な熱力学をマスターすることにあるため、化学に立脚したものとなる。他の参考書として化学系の熱力学(化学熱力学)が学べるものを勧める。
The aim of the lecture is to master the thermodynamics necessary for understanding the material, so it is based on chemistry. You may learn chemical thermodynamics as other reference books.

達成目標
1）化学量論を理解し、理想気体の状態方程式を用いて物質量を計算できること
2）気体の諸法則を分子運動論と関連づけて説明できること
3）分子間相互作用の点から実在気体の状態式を理解し、ファンデルワールス式およびビリアル展開式を使えること。
4）実在気体の状態式から対応状態の原理を検証できること
5）系と外界を区別して仕事、熱、内部エネルギーの関係を理解できること
6）温度変化を伴う定容過程における内部エネルギー変化と定圧過程におけるエンタルピー変化を計算できること
7）断熱変化を定温変化と区別して理解できること
8）熱化学方程式を理解し、ヘスの法則とキルヒホフの法則を使って、標準反応エンタルピーを計算できること
9）状態関数と経路関数の意味を理解し、実在気体での定容熱容量と定圧熱容量の関係を説明できること
10）ジュール-トムソン効果を説明できること
11）エントロピーを理解し、クラウジウスの不等式を説明できること
12）4つの可逆過程でのエントロピー変化を計算できること
13）系と外界のエントロピー変化を理解し、自由エネルギー変化を説明できること
14）反応のエンタルピー変化とエントロピー変化から、反応の自由エネルギー変化を計算できること
15）マクスウェルの関係式やギブスヘルンホルツの関係式を使って熱力学の諸量を計算できること

By the end of the course, students should be able to do the following:
1) Understand ideal gas equation with amount of substance, and stoichiometry.
2) Explain kinetic theory of gas with relation to ideal gas law.
3) Understand real gas equations with relation to molecular interaction, and make fully use of van der Waals equation and virial equation.
4) Explain principle of corresponding state using real gas equations
5) Understand the relation of work, heat, and internal energy with distinction between system and surroundings.
6) Calculate internal energy change on isochoric process, and enthalpy change on isobaric process, with temperature change.
7) Understand adiabatic process in contrast with isothermal process
8) Understand thermochemical equation, standard enthalpy of transition and formation, and calculate standard reaction enthalpy using Hess's law and Kirchhoff's law.
9) Understand state function and path function, and explain the relationship between Cv and Cp on real gas using internal pressure.
10) Explain Joule-Thomson effect.
11) Understand entropy, and explain Clausius inequality.
12) Understand standard entropy, and calculate entropy change for typical four reversible processes.
13) Understand free energy (Helmholtz energy and Gibbs energy) .
14) Calculate standard Gibbs energy using enthalpy change and entropy change
15) Calculate thermodynamic parameters using fundamental equation, Maxwell relation, and Gibbs-Helmholtz equation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：レポート（20%）＋中間試験（40%）＋定期試験（40%）で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
The final evaluation will be the sum of four categories; reports (20%), Examination I (40%) and Examination II (40%).
Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points, 90 or higher (out of 100 points)
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
中間試験は定期試験と同等であり、必ず受ける必要があります。
The mid-term exam are equivalent to regular exam and must be received.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時時間をメイルで打ち合わせて受け付ける.
It is desirable to contact beforehand by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
物理化学、熱力学、気体の性質、気体の分子運動論
Physical chemistry, thermodynamics, gas properties, kinetic theory of gases

(B12620040)無機化学[Inorganic Chemistry]

科目名[英文名]	無機化学[Inorganic Chemistry]				
時間割番号	B12620040	区分	電気・電子情報専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期	曜日時限	月 2～2	単位数	1.5
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	松田　厚範 MATSUDA Atsunori				
ナンバリング	ELC_BAC31022				

授業の目標

エレクトロニクス分野に関わる無機化学の基礎と基本的な考え方について学ぶ。

Learn inorganic chemistry concerning the electronics field

授業の内容

1.元素と周期表
（1）元素の起源と原子の構成
（2）周期表
（3）元素の一般的性質
（4）元素の性質とその周期性

2.分子とそのモデル
（1）共有結合
（2）共有結合と軌道
（3）分子の立体構造と極性
（4）分子の対称性

3.イオン性固体と金属
（1）結晶構造
（2）イオン性固体（二元金属塩）
（3）イオン性固体（三元金属塩）
（4）金属および類金属

4.基礎無機反応
（1）酸と塩基
（2）酸化と還元
（3）溶媒

*中間試験・期末試験を行う。
1. Elements and Periodic Table
(1) Formation of elements and structure of atoms
(2) Periodic table
(3) General properties of elements
(4) Periodic changes of element properties

2. Molecules and Their Models
(1) Covalent bond
(2) Covalent bond and orbitals
(3) 3D-conformation and polarity of molecules
(4) Symmetry of molecules

3. Ionic Solids and Metals
(1) Crystal structure
(2) Ionic solids (AX salts)
(3) Ionic solids (ABX salts)
(4) Metallic elements and metalloid elements

4. Fundamental inorganic chemical reaction
(1) Acid and Base
(2) Oxidation and reduction

(3) Solvents

* Intermediate and final examination will be given.

予習・復習内容

*毎回の講義内容を復習するとともに、事前の指示・課題・配布資料に基き予習を行うこと。

*Do the review and homework on the contents of the given lectures. Prepare the coming lectures according to advance directives, assignments and distributed documents.

関連科目

化学Ⅰ、化学II、基礎無機化学

Chemistry I, Chemistry II, Basic Inorganic Chemistry

教科書に関する補足事項

教科書：独自の英文テキストを配布します。

TEXT：Original TEXT BOOK in English will be provided.

参考書 1	**書名**	シュライバー・アトキンス無機化学（上）第4版			**ISBN**	9784807906673
	著者名	P. W. Atkins ほか著、田中勝久、平尾一之、北川進 訳	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2008
参考書 2	**書名**	Shriver・Atokins Inorganic Chemistry (1) 4th Edition			**ISBN**	9784807906673
	著者名	P. W. Atkins et al.	**出版社**	Tokyo Kakagu Dojin	**出版年**	2008
参考書 3	**書名**	Shriver・Atokins Inorganic Chemistry (2) 4th Edition			**ISBN**	9784807906680
	著者名	P. W. Atkins et al.	**出版社**	Tokyo Kakagu Dojin	**出版年**	2008
参考書 4	**書名**	シュライバー・アトキンス無機化学（下）第4版			**ISBN**	9784807906680
	著者名	P. W. Atkins ほか著、田中勝久、平尾一之、北川進	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2008
参考書 5	**書名**	Exercise of Inorganic Chemistry			**ISBN**	9784807905935
	著者名	Hirao et al.,	**出版社**	Tokyo Kakagu Dojin	**出版年**	2005
参考書 6	**書名**	演習無機化学			**ISBN**	9784807905935
	著者名	平尾一之　田中勝久　中平敦、幸塚広光、滝澤博胤	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項

特になし

Nothing special

達成目標

（1）元素の起源と原子の構成を理解する
（2）周期表を理解する
（3）元素の一般的性質と周期性を理解する
（4）共有結合を理解する
（5）共有結合と軌道を理解する
（6）分子の立体構造と極性を理解する
（7）分子の対称性を理解する
（8）結晶構造を理解する
（9）イオン性固体を理解する
（10）金属および類金属を理解する
（11）酸と塩基を理解する
（12）酸化と還元を理解する
（13）プロトン性・非プロトン性溶媒を理解する

(1) Learn Formation of elements and structure of atoms
(2) Learn Periodic table
(3) Learn general properties of elements and periodic changes of element properties
(4) Learn covalent bond
(5) Learn covalent bonds and orbitals
(6) Learn 3D-conformation and polarity of molecules
(7) Learn symmetry of molecules
(8) Learn crystal structures
(10) Learn structure and properties of metallic and metalloid elements

(12) Learn oxidation and reduction
(13) Learn protic and aprotic solvents

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート・小テスト(20%)および試験(80%)により総合的に行う。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準を適用する。
Report(20%)and Examinations (80%)
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).
For the students of past fiscal year will be evaluated by the conventional system based on A, B, and C marks.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

試験は原則、中間試験と期末試験を行う。
Intermediate examination and final examination will be commonly given.

その他

メールアドレス:matsuda@　の後に ee.tut.ac.jp を付ける
TEL:0532－44－6799(直通)
FAX:0532-48-5833(旧 5 系事務室)
E-mail:matsuda(at)ee.tut.ac.jp (at)=@
TEL:0532－44－6799
FAX:0532-48-5833

ウェルカムページ

http://ion.ee.tut.ac.jp/
http://ion.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

E-mail などで、随時受け付ける。
As needed by E-mail etc.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

元素、周期表、結晶構造、酸と塩基、酸化還元
Element, Periodic table, Crystal structure, Acid-base, Redox

(B12620050)電力工学Ⅱ[Electrical Power Engineering 2]

科目名[英文名]	電力工学Ⅱ[Electrical Power Engineering 2]				
時間割番号	B12620050	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	稲田　亮史 INADA Ryoji				
ナンバリング	ELC_BAC33020				

授業の目標

火力・水力・原子力発電所で発電された電力は，工場や家庭などの消費者まで，安全かつ効率よく輸送・分配されなければならず，そのために巨大なシステムが構築されている。本講義では，電力系統をシステムとして捉え，発電・変電・送配電に用いられる機器や設備、および運用や制御を学習し、電力技術の素養を修得することを目標とする。

Electrical power system is constructed to transport and supply the electrical power safely and effectively from power station to consumers in industrial factory or home. The aim of this lecture is to learn the apparatus and facilities for transmission, transformation and supplying for electrical power used in electrical power system and their operation and controlling.

授業の内容

1 週目　電力システムの運用状況と構成
2 週目　送電・変電機器・設備の概要
3 週目　送電線路の電気特性と送電容量
4 週目　有効電力と無効電力の送電特性 (1)ベクトル図と電力円線図の意味と作図法
5 週目　有効電力と無効電力の送電特性 (2)電力潮流計算
6 週目　電力システムの運用と制御
7 週目　中間試験
8 週目　電力システムの安定性
9 週目　電力システムの故障計算
10 週目　過電圧とその保護・絶縁協調
11 週目　電力システムにおける開閉現象
12 週目　配電システム
13 週目　直流送電
14 週目　環境に優しい新しい電力システム
15 週目　全体まとめ
16 週目　期末試験

1st week: Construction of current electrical power system
2nd week: Apparatus and facilities for electrical power transmission and transformation
3rd week: Electrical properties and capacity of power transmission line
4th week: Characterization of effective and reactive powers (1) Power circle diagram
5th week: Characterization of effective and reactive powers (2) Power flow analysis
6th week: Operation and controlling of electrical power system
7th week: Mid-term examination
8th week: Stability of electrical power system
9th week: Fault analysis of electrical power system
10th week: Over-voltage and its protection / Insulation coordination
11th week: Opening and Closing phenomenon in electrical power system
12th week: Power-supply system
13th week: DC power transmission
14th week: Eco-friendly advanced electrical power system
15th week: Summary of the lecture
16th week: End-term examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について配布資料等を参考に予習してくること。

Based on the handout to distribute, carrying out review and preparation for each lecture.

関連科目

電力工学Ⅰ，電気回路Ⅰ，電気回路Ⅱ，電気回路Ⅲ，エネルギー創生工学，電気機械工学Ⅰ，電気機械工学Ⅱ

Electrical Power Engineering 1, Electrical Circuit 1, Electrical Circuit 2, Electrical Circuit 3, Engineering of Energy Generation, Electric Machinery 1, Electric Machinery 2

教科書に関する補足事項

各講義で使用する資料をレジュメとして配布する。

The copies of PPT slides (based on the contents in the textbook mentioned above) are given as the resume for each lecture.

参考書 1	**書名**	電力システム工学			**ISBN**	978-4-274-21472-1
	著者名	石亀　篤司	**出版社**	オーム社	**出版年**	2015
参考書 2	**書名**	Electrical Power System Engineering			**ISBN**	978-4-274-21472-1
	著者名	Atushi Ishigame, et al.	**出版社**	Ohm-sha	**出版年**	2013
参考書 3	**書名**	新インターユニバーシティ 電力システム工学			**ISBN**	978-4-274-20640-5
	著者名	大久保　仁	**出版社**	オーム社	**出版年**	2008
参考書 4	**書名**	Electrical Power System Engineering (in Japanese)			**ISBN**	978-4-274-20640-5
	著者名	Jin Okubo	**出版社**	Ohm-sha	**出版年**	2008

参考書に関する補足事項

達成目標

・基礎的な事項
(1)負荷特性、電力システムの構成、電力送電方式を理解する
(2)送電容量の求め方を理解する
(3)単位法(p.u.法)を理解する
・電力系統の設備および機器の特性
(1)ケーブルの特徴・特性を理解する
(2)変電所の機能と仕組みを理解する
(3)交流送電および直流送電の違いを理解する
・電力系統の運用・制御
(1)送電線路を等価回路で表す
(2)線路定数を理解する
(3)送電特性および受電特性の式を導出し、電力円線図を描くことができる
(4)電圧制御・周波数制御の必要性およびその方式を理解する
(5)電力系統の安定度とは何かを理解し、その向上対策を把握する
(6)電力系統の運用方法を理解する
・電力系統の異常・故障時の現象と計算
(1)交流過電圧、開閉サージ、雷サージの特性を理解する
(2)絶縁強調とは何かを理解する
(3)種々の故障形態を理解する
(4)故障計算の手法を会得する
(5)接地方式を理解する
・Fundamental subjects
(1)Understand load characteristics, construction of electrical power system and methods for power transmission.
(2)Understand calculation method for power transmission capacity.
(3)Understand per-unit (p.u,) expression.
・Apparatus and facilities of electrical power system
(1)Understand features and properties of power transmission cables.
(2)Understand function and construction of substation.
(3)Understand difference between AC and DC power transmission.
・Operation and controlling of electrical power system
(1)Express equivalent circuit of power transmission line.
(2)Understand line constants in equivalent circuit of power transmission line.
(3)Express power circuit diagram.
(4)Understand the necessity and method to voltage and frequency controlling.
(5)Understand the stability of electrical power system and its improvement methods.
(6)Understand the operation and controlling methods for electrical power system.
・Phenomenon and analysis for fault in electrical power system
(1)Understand the properties of AC over-voltage, Contact surge and Thunder surge.
(2)Understand insulation coordination.
(3)Understand various forms of fault in electrical power system.
(4)Understand fault analysis method in electrical power system.
(5)Understand ground connection methods.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則として全ての講義に出席した者につき，中間試験(50 点満点)と期末試験(50 点満点)で評価し，両試験の点数の和が 60 点以上を合格とする.

S：達成目標をすべて達成しており，かつ中間・期末試験の点数の和が 90 点以上
A：達成目標を 85%達成しており，かつ中間・期末試験の点数の和が 80 点以上
B：達成目標を 75%達成しており，かつ中間・期末試験の点数の和が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ中間・期末試験の点数の和が 60 点以上
Evaluation is based on the total score (100 points) with mid-term examination (50 points) and end-term examination (50 points).
S: Total points of mid-term and end-term examinations, 90 or higher.
A: Total points of mid-term and end-term examinations, 80 or higher.
B: Total points of mid-term and end-term examinations, 70 or higher.
C: Total points of mid-term and end-term examinations, 60 or higher.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.tut.ac.jp/university/faculty/ee/141.html
http://www.tut.ac.jp/university/faculty/ee/141.html

オフィスアワー

月曜日 16:30～17:30（講義の後）
Monday 16:30-17:30

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード

電力システム、電力円線図、電力潮流計算、周波数制御、電圧制御、故障計算、安定度
Electrical Power System, Power circle diagram, Power flow analysis, Frequency controlling, Voltage controlling, Fault analysis, Stability of electrical power system

(B12620070)熱統計力学[Statistical thermodynamics]

科目名[英文名]	熱統計力学[Statistical thermodynamics]				
時間割番号	B12620070	区分	電気・電子情報専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	後期	曜日時限	木 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	中村　雄一 NAKAMURA Yuichi				
ナンバリング	ELC_BAC31022				

授業の目標

前期の物理化学で学んだ熱力学をミクロな分子に基づいて学習する．すなわち，物質が非常に多くの分子または原子から構成されるという微視的な観点に立って，物質の熱力学的性質を理解する統計熱力学を修得する．

The thermodynamics learned in the physical chemistry is lectured on the basis of the microscopic molecules.

That is, you, students, will understand the statistical thermodynamics, that tells the thermodynamic properties of materials from the microscopic point of view where the materials consist of huge number of molecules or atoms.

授業の内容

参考書の Chapter15 に沿って以下の内容を講義する．授業の進み方に合わせて予習および復習をすること．

1週　配置と重み
2週　ボルツマン分布
3～5週　分子分配関数
6～7週　分子エネルギー
8週　中間試験
9～10 週　カノニカルアンサンブル
11 週　内部エネルギーと比熱
12～13 週　エントロピー
14～15 週　平衡定数
16 週　期末試験

Lecture the following contents along the Chapter15 of the reference book. Perform preparations for lectures and review them well.

1 week; Configurations and weights
2 weeks; The Boltzmann distribution
3-5 weeks; Molecular partition function
6-7 weeks; Molecular energies
Week 8; Midterm exam
9-10 weeks; The canonical ensemble
11 week; The internal energy and heat capacity
12-13 weeks; The entropy
14-15 weeks; The equilibrium constants
16 week; Final exam

予習・復習内容

一度の授業だけで修得する事は難しい．
授業の前および授業の後で，参考書をじっくり読む事または何度も繰り返して理解できるまで読む事が必要となる．

It is difficult to understand by only one lecture.
It is necessary to read the textbook carefully and repeatedly before and after a lecture until it can be understood.

関連科目

基礎無機化学，無機化学，物理化学，応用物理化学，電気化学，量子力学 I，分光分析学

Basic Inorganic Chemistry, Inorganic Chemistry, Physical Chemistry, Applied Physical Chemistry, Electrochemistry, Spectroscopic Analysis, Quantum Mechanics 1

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	アトキンス物理化学　下巻　第 8 版			ISBN	978-4-8079-0696-3
	著者名	Julio de Paula, Peter Atkins（原	出版社	東京化学同人	出版年	2010

		著), 千原 秀昭, 中村 亘男 (翻訳)				
参考書 2	**書名**	Atkins' Physical Chemistry; 10th Revised 版			**ISBN**	978-0199697403
	著者名	Peter Atkins, Julio De Paula	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	2014
参考書 3	**書名**	アトキンス物理化学 〈下〉 第 10 版			**ISBN**	978-4807909094
	著者名	Peter Atkins, Julio de Paula (著), 中野元裕, 上田 貴洋他 2 名 (翻訳)	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2017

参考書に関する補足事項

教科書・参考書によって統計力学や統計熱力学の学び方が異なる. 初学者は, 先ず一つの教科書を理解してから, 次に進むことを勧める.
なお記入した参考書(8 版)は英語参考書の日本語訳であるが, 教科書より版が古いため章構成が少々異なる。英語参考書の 15 章は, 参考書の 16,17 章に相当する.

達成目標

配置の重み, ボルツマン分布, 分配関数, カノニカル・アンサンブル, 統計力学に基づく様々な熱力学関数, 残余エントロピーなどの概念を理解し, それらに関わる式を応用できるようにする.
You, students, should understand configurations and weight, the Boltzman distribution, partition function, canonical ensemble, various thermodynamic functions based on statistical mechanics and the concepts such as residual entropy and be able to apply the equations related to them.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:原則毎回の復習小テスト(30%)および(中間試験+定期試験)(70%)で総合的に評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A:小テストと中間試験および期末試験の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:小テストと中間試験および期末試験の合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:小テストと中間試験および期末試験の合計点(100 点満点)が 55 点以上
The short tests in every class (in principle) (30%) and the sum of midterm exam and final exam (70%).

A: Total points of exams and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exams and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exams and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

中村 雄一 部屋:C-412, 電話:44-6734, e-mail:nakamura@ee.tut.ac.jp
Yuichi Nakamura
Room: C-412 (C1-205)
e-mail: nakamura@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

月曜から金曜日、12～13 時、他の時間でもメールで予約すれば対応します。
At any time Monday through Friday. However, it is desirable to contact beforehand by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D4)材料エレクトロニクスコース, 機能電気システムコース, 集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて, 幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース, 機能電気システムコース, 集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて, 幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース, 機能電気システムコース, 集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて, 幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード

熱統計力学、統計熱力学、統計力学、熱力学

(B12620090)固体電子工学Ⅰ[Solid State Electronics 1]

科目名[英文名]	固体電子工学Ⅰ[Solid State Electronics 1]				
時間割番号	B12620090	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	若原　昭浩 WAKAHARA Akihiro				
ナンバリング	ELC_BAC32022				

授業の目標

マイクロエレクトロニクスの基礎的学問として，結晶構造，逆格子，結晶結合，フォノンなど，結晶の持つ基本的な物理的性質を理解する。

Microelectronics is based on deep understanding of solid-state physics.
To study microelectronics in graduate school, you will learn the foundamental of solid-state physics, such as crystal structure, reciprocal lattice, binding, and phonons.
The final goal of this class is to understand the basic physical nature of the crystal and can solve the typical examples.

授業の内容

下記の内容に対して、予習・復習を行うこと。授業の進行に対して、理解を深めるためレポートを課す。

第1週目　ガイダンス、固体電子工学について、結晶構造
第2週目　結晶構造(電子の結合)
第3週目　原子配列と結晶構造
第4週目　結晶構造、逆格子
第5週目　逆格子
第6週目　逆格子
第7週目　逆格子
第8週目　中間試験
第9週目　結晶結合：希ガス結晶，イオン結晶
第 10 週目　結晶結合：共有結合，金属結合，原子半径
第 11 週目　弾性
第 12 週目　弾性、立方結晶の弾性波
第 13 週目　立方結晶の弾性波
第 14 週目　立方結晶の弾性波、フォノンⅠ・結晶の振動
第 15 週目　フォノンⅠ・結晶の振動
フォノンⅡ
第 16 週目　定期試験

For the progress of the lesson, doing the preparation and review of following contents. It imposes a report for understanding.
1st week; Guidance, a solid-state electronics
2nd week; Crystal structure (Bravais lattice)
3rd week; Crystal structure (Typical structure)
4th week; Miller indices and lattice spacing
5th week; Diffraction from lattice plane (Bragg law)
6th week; Reciprocal lattice
7th week; Scattering factor and Structural factor
8th week; Midterm exam
9th week; crystal bond:
10th week; Elasticity and elastic constants
11th week; Elastic wave (simple cubic lattice)
12th week; Phonon I (monoatomic lattice)
13th week; Phonon I (biatomic lattice, quantization)
14th week; Phonin II (thermal properties)
15th week; Summary and overall Q&A
16th week; Final exam

予習・復習内容

予習用の英文概要(A4、2 枚程度)を配布するので、教科書、参考書とあわせて予習し、自分オリジナルの講義ノートを作成しておくこと。
概要を用いて、専門英語や固体電子工学分野で用いられる典型的な英語表現を調べ、英単語帳を作っておく。

講義の冒頭に、予習内容・英語単語帳の作成に関する自己点検を行います。
概要の理解を前提に、グループディスカッション形式で講義を進めます。

Handouts of next lecture will deliver.
Students make own notebook by using the handouts, text book, and reference book.
Self-assessment related to preparation of the lecture will be done at the beginning of the class.
On the assumption for the understanding of the overview, the discussion based learning will be done in the class.

関連科目

物理化学, 量子力学 I

高専での科目例:
電気電子材料、電子物性、固体電子工学など

Physical chemistry, Quantum mechanics 1 and II, Solid State Electronics 2

Subject example in technical colleges:
Solid-state physics, Materials science, Electrical and electronic materials, Electronic properties, Solid-state electronics, etc.

教科書に関する補足事項

テキストは使用せずに、固体物理学入門(上) 第 8 版を参考書として使用し、プリントを配布する。

毎回、次回講義内容の英文概要を配布するので、これを基に予習する。
講義の際に、講義の詳細をまとめた英文資料を配布する。
The following text book is used as the reference, and distributind prints.
Summary of the next lecture will distribute.
Detailed resume will distribute at the class.

参考書 1	**書名**	固体物理学入門			**ISBN**	978-4-621-07653-8
	著者名	キッテル [著],宇野良清, 津屋昇, 新関駒二郎, 森田章, 山下次郎 共訳,	**出版社**	丸善	**出版年**	2005
参考書 2	**書名**	固体物理学演習			**ISBN**	
	著者名	沼居貴陽	**出版社**	丸善	**出版年**	2005
参考書 3	**書名**	固体電子物性 (新インターユニバーシティー)			**ISBN**	
	著者名	若原昭浩 編著	**出版社**	オーム社	**出版年**	2009
参考書 4	**書名**	Introduction to Solid State Physics, 8th Ed.			**ISBN**	0-471-41526-X
	著者名	Charles Kittel	**出版社**	John Wiley & Sons, Inc	**出版年**	2011
参考書 5	**書名**	Solid State Physics: An Introduction			**ISBN**	
	著者名	Philip Hofmann	**出版社**	Wiley-VCH	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 結晶構造
(1) 基本単位格子を求められる。
(2) 格子変換操作ができる。
(3) 2 次元および 3 次元のブラベ格子が描ける。
(4) 単純立方, 対心立方, 面心立方のそれぞれの特徴を把握している。
(5) 基本的結晶構造(NaCl 構造, CsCl 構造, 六方最密構造, ダイヤモンド構造, ZnS 構造)が描ける。
(6) 面指数を求められる。

B. 回折と逆格子
(1) ブラッグの反射条件, ラウエの条件を利用できる。
(2) 逆格子ベクトルが求められる。
(3) ブリルアンゾーンを求められる。
(4) 構造因子および原子形状因子を理解し、基本的な結晶構造に対する構造因子を求められる。

C. 結晶結合と弾性
(1) 結晶の種類を列挙でき，それぞれの特徴を示すことができる。
(2) 原子間の引力および斥力を理解し，ポテンシャル曲線が描ける。
(3) 凝集エネルギーやマーデルングエネルギーが求められる。
(4) 原子半径，イオン半径を推定できる。
(5) ヤング率とポアソン比とを弾性スティフネス定数で表せる。
(6) 縦波および横波の速度を求められる。

D. フォノン
(1) 角周波数と波動ベクトルとの分散関係を描ける。
(2) 光学的フォノンと音響学的フォノンそれぞれの分散関係や原子の変位が描ける。

A. Crystal structure
(1) draw the unit cell and primitive unit cell.
(2) can do lattice operations, such as translational symmetry operation.
(3) draw Bravais lattice of two-dimensional and three-dimensional.
(4) explain the features of simple cubic, body centered cubic, and face centered cubic lattices.
(5) explain the typical crystal structures. (NaCl structure, CsCl structure, a hexagonal close-packed structure, diamond structure, ZnS structure) .
(6) the Millar indices is obtained.

B. Diffraction and reciprocal lattice
(1) calculate the diffraction angle using the Bragg law or Laue condition.
(2) determine reciprocal lattice vectors.
(3) estimate the Brillouin zone.
(4) understand the structure factor and the atomic scattering factor, and determine the structure factor for the basic crystal structure.

C. Crystal binding and elastic
(1) type of crystal can enumerate, and can describe their characteristics.
(2) understand the attraction and repulsion force between the atoms, and can draw the potential curve.
(3) calcurlate the Madelung constant and the cohesive energy.
(4) estimate the atomic radius and the ionic radius.
(5) express the Young's modulus and Poisson's ratio by the elastic stiffness constant.
(6) explain the phase speed of longitudinal waves and shear waves.

D. Phonon
(1) draw the dispersion relation of the angular frequency and wave vector.
(2) draw displacement of the atoms for optical phonon and acoustic phonon.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：定期試験(中間)40%、定期試験(期末)40%、その他授業中の自己点検(予習点)・質疑応答・レポート 20%の割合で総合的に評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標をすべて達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を3つ達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を2つ達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
Evaluation:
periodic exam (40%, intermediate) (40%, end of period)
20%, self-assessment, the question-and-answer session, and reports

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: achieve all of the goals, and the total evaluation points of the test report (100 points) is more than 90 points
A: achieve all of the goals, and the total evaluation points of the test report (100 points) is more than 80 points
B: achieved three large goals, and the total point of the test report (100 points) is more than 70 points

C: achieved two large goals, and the total point of the test report (100 points) is more than 60 points

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

期末試験で到達目標を達成出来なかった場合は、春期休業中に補習課題を課し、3 月月末までに追試を行います。

If you cannot achieve the goals in the final exam, you can have re-exam by submitting a report on supplementary course work during the spring holiday.

その他

居室：C-608

Tel：44-6742

E-mail：wakahara@ee.tut.ac.jp

Office: RM C-608

e-mail: wakahara@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://int.ee.tut.ac.jp/

http://int.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

メールなどで、アポイントを取って下さい。

As needed. It is preferable to make an appointment in advance.

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

D4)4つのコースの中の一つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力

〇材料エレクトロニクスコース

電気・電子情報工学分野を支える物質，材料，プロセス技術，計測技術にいたる幅の広い基礎知識と技術の修得とその運用能力の獲得

〇機能電気システムコース

電気エネルギーの発生・輸送・制御・計測やその利用・応用，さらには未来社会のエネルギーシステムに関連する幅広い基礎知識と技術の修得とその運用能力の獲

〇集積電子システムコース

半導体デバイスやシステム応用にいたる広い範囲のエレクトロニクス基礎知識と技術の修得とその運用能力の獲得

(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive ability for technological sciences Acquiring engineering expertise, applying practical and creative ability toward problem solving

(D4) A broad range of expertise and the operational capability in one of the following four professional courses of study:

1) Electronic Materials Course

Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of materials science, process technology, and measurement technology.

2) Electrical Systems Course

Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of electrical energy related to its generation, transportation, control, measurement, applications, and future system.

3) Integrated Electronics Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of electronics for integrated circuits, sensors, optical and electronic semiconductor devices.

(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード
固体物理、結晶、回折、フォノン
Solid state physics, crystal, diffraction, phonon

(B12620100)量子力学Ⅱ[Quantum Mechanics 2]

科目名[英文名]	量子力学Ⅱ[Quantum Mechanics 2]				
時間割番号	B12620100	区分	電気・電子情報専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	後期	曜日時限	木 5～5	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	石山　武 ISHIYAMA Takeshi				
ナンバリング	ELC_BAC32020				

授業の目標

量子力学Ⅰで学んだ内容を基礎に、角運動量の合成と角運動量間の相互作用、多粒子系の状態の表し方、電子と電磁場との相互作用など、量子力学のより深い理解を目標とする。

The main objectives of this course are to understand the total angular momentum, interaction between the angular momenta, quantum theory of many-particle systems, and interaction between electrons and electromagnetic field.

授業の内容

１週目　状態ベクトルと行列表現の復習
２－３週目　摂動論と変分法
４－５週目　電子のスピン
６－７週目　原子と角運動量
８－１０週目　第二量子化
１１－１２週目　相対論的電子論
１３－１５週目　電子と電磁場の相互作用
１６週目　定期試験

1, matrix formulation of quantum mechanics
2-3, Perturbation theory and variation method
4-5, Spin angular momentum
6-7, Many-particle system
8-10, Second quantization
11-12, Relativistic quantum mechanics
13-15, Interaction between charged particles and the electromagnetic field
16, Regular examination

予習・復習内容

関連科目

量子力学Ⅰ、固体電子工学Ⅰ、Ⅱ
Quantum Mechanics 1, Solid State Electronics 1, Solid State Electronics 2

教科書 1	書名	量子力学(I)			ISBN	978-4-7853-2132-1
	著者名	小出昭一郎	出版社	裳華房	出版年	1990
教科書 2	書名	量子力学(II)			ISBN	
	著者名	小出昭一郎	出版社	裳華房	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	Quantum Physics 3rd edition			ISBN	978-4-339-01826-4
	著者名	Stephen Gasiorowicz	出版社	WILEY	出版年	2003

参考書に関する補足事項

達成目標

1）摂動法を用いてエネルギー固有値の近似解を求めることができること。
2）角運動量の合成について理解すること。
3）第二量子化について基礎的な理解を得ること。
4）ディラック方程式や電子と電磁場の相互作用について基礎的な理解を得ること。

Through the course, students will be able to:

−analyze perturbed energy levels.
−understand spin angular momentum.
−understand basic concepts of second quantization.
−understand Dirac equation and interaction between charged particles and the electromagnetic field.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習問題 40%、期末試験を 60%とし、これらの合計で評価する。
総合点 100 点満点で、評価 S:90 点以上, 評価 A:80 点以上, 評価 B:70 点以上, 評価 C:60 点以上。
Reports (40%) and final examination (60%)
S: Total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義終了後に質問に応じます。その他の時間の場合、事前に e-mail 等で連絡して下さい。
I will respond to questions after the lecture ended or please contact by e-mail anytime.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース, 機能電気システムコース, 集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて, 幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース, 機能電気システムコース, 集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて, 幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース, 機能電気システムコース, 集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて, 幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース, 機能電気システムコース, 集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて, 幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード

量子力学
Quantum Mechanics

(B12620130)通信工学Ⅰ[Communication Engineering 1]

科目名[英文名]	通信工学Ⅰ[Communication Engineering 1]				
時間割番号	B12620130	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	上原　秀幸 UEHARA Hideyuki				
ナンバリング	ELC_BAC35020				

授業の目標

情報伝達系としてのディジタル無線通信システムの基礎を修得することを目標とする。携帯電話や無線 LAN をはじめとする無線通信技術は、我々の社会生活に欠くことのできない中核の技術であるとともにその発展は日進月歩であるが、その本質と基本原理は不変である。本講義を通じて、ディジタル無線通信システムのモデル化とその性能評価に必要な数理，ディジタル変復調技術，および雑音を受けた信号の表現について理解できることを目標とする。

The objective of this class is to acquire the basics of wireless digital communications as signal transmission systems. Wireless communication technologies such as a cellular phone and a wireless LAN are now indispensable for our life, and their progress is so rapid. However their essence and fundamentals are not changed. Through this class, students can learn wireless communication technologies, focusing on digital modulation and demodulation, mathematical expression of signal and noise, and performance evaluation of the systems.

授業の内容

1-2 週目：確定信号とスペクトル　-フーリエ解析-
3-4 週目：不規則信号とスペクトル　-自己相関関数と電力スペクトル密度-
5-6 週目：線形システム　-信号および雑音のフィルタ出力-
7 週目：中間試験
8 週目：無線通信路
9-11 週目：ディジタル変復調 (1)　-BPSK-
12-13 週目：ディジタル変復調 (2)　-多値化-
14-15 週目：ディジタル変復調 (3)　-広帯域化-
16 週目：定期試験

1-2: Deierministic Signals and Spectra - Fourier analysis -
3-4: Random Signals and Spectra - Auto correlation function and Power spectral density -
5-6: Linear Systems　- Filter outputs of signal and noise-
7: Midterm exam
8: Wireless channels - Free space propagation -
9-11: Digital modulation and demodulation (1) - Binary scheme -
12-13: Digital modulation and demodulation (2) - Multi-level scheme -
14-15: Digital modulation and demodulation (3) - Broadband scheme -
16: Final exam

予習・復習内容

講義資料等を DreamCampus で公開しているので、予習・復習に活用すること。
予習：講義資料を読み，空欄を埋める。
復習：演習問題を解き直す。
Lecture notes are available at DreamCampus.
Fill in the blanks on the handouts for preparation.
Solve again the problems for review.

関連科目

線形代数、確率統計等の数学科目、信号解析論、情報ネットワーク、情報理論
Linear algebra, Probability and stochastic processes, Signal processing, Information networks, Information theory

教科書に関する補足事項

講義資料等を DreamCampus で公開している。
Lecture notes are avilable at DreamCampus.

参考書 1	**書名**	無線通信工学			**ISBN**	978-4-274-20792-1
	著者名	片山正昭編著	**出版社**	オーム社	**出版年**	2009
参考書 2	**書名**	移動通信技術の基礎			**ISBN**	978-4526036309
	著者名	横山光雄著	**出版社**	日刊工業新聞社	**出版年**	1994
参考書 3	**書名**	通信システム工学			**ISBN**	978-

						4254228786
	著者名	安達文幸著	出版社	朝倉書店	出版年	2010
参考書 4	書名	ディジタル無線通信入門			ISBN	978-4563014872
	著者名	高畑文雄編著	出版社	培風館	出版年	2002
参考書 5	書名	Digital communications : fundamentals and applications			ISBN	0-13-091722-2
	著者名	Bernard Sklar	出版社	Prentice-Hall International	出版年	2001
参考書 6	書名	Modern digital and analog communication systems			ISBN	0-19-511009-9
	著者名	B.P. Lathi	出版社	Oxford University Press	出版年	1998
参考書 7	書名	Wireless communications			ISBN	978-0-521-83716-3
	著者名	Andrea Goldsmith	出版社	Cambridge University Press	出版年	2005

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 通信で扱う基本的な信号の性質を理解し、時間領域および周波数領域で数式表現できる.
(2) 雑音の統計的性質を理解し、時間領域および周波数領域で数式表現できる.
(3) 雑音を受けた信号のフィルタ応答を理解し、数式表現できる.
(4) 電波伝搬特性としての自由空間伝搬損を理解し計算できる.
(5) ディジタル変復調の原理を理解できる.
(6) 誤り率を計算し、特性を評価できる.
(7) 多値化および広帯域化の意義を理解できる.
(1) Understand the fundamental properties of signals in communication systems, and mathematically express them in time and frequency domains.
(2) Understand the fundamental properties of noise in communication systems, and mathematically express them in time and frequency domains.
(3) Derive the filter outputs of signals and noise.
(4) Calculate the free space path loss.
(5) Understand the fundamental principles of digital modulation and demodulation.
(6) Derive the error rate and evaluate the performance of the system.
(7) Understand the significance of multi-level and broadband schemes.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験 40%、期末試験 60%とし、達成目標の全体の達成度を総合的に評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 60 点以上
Midterm exam 40%, Final exam 60%.
S: Achieved all goals and obtained total points of both exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 90 % of goals and obtained total points of both exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of both exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained total points of both exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験(中間試験と期末試験の両方)を受験しない者は履修放棄とする。
Students have to take both midterm and final exams, otherwise will not be graded.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時対応. ただし，メールや講義後などに事前にアポイントメントを取ることが望ましい
Appoint a time slot via email.

学習・教育到達目標との対応

(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの１つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4) A broad range of expertise and the operational capability in one of the following four professional courses of study:
2) Electrical Systems Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of electrical energy related to its generation, transportation, control, measurement, applications, and future system.
3) Integrated Electronics Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of electronics for integrated circuits, sensors, optical and electronic semiconductor devices.
4) Information and Communication System Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of high-frequency, analog hardware, digital hardware, and networking for information, communication, control, and measurement systems.

(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード
無線通信、移動通信、ディジタル通信、信号処理
Wireless communications, Mobile communications, Digital communications, Signal prosessing

(B12620160)電気化学[Electrochemistry]

科目名[英文名]	電気化学[Electrochemistry]				
時間割番号	B12620160	区分	電気・電子情報専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期	曜日時限	火 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	松田　厚範 MATSUDA Atsunori				
ナンバリング	ELC_BAC31022				

授業の目標

エレクトロニクス分野に関わる電気化学の基礎と基本的な考え方について学びます。

In this class, you will learn the basics of electrochemistry and some other topics in physical chemistry.

授業の内容

エレクトロニクス分野に関わる電気化学の基礎と基本的な考え方について学びます。

技科大 2 系では、アトキンス「物理化学」を用いて複数の講義で物理化学を学んでいきます。
3 年前期の物理化学（服部）で 1-3 章を、3 年後期の応用物理化学（武藤）で 4-6 章を、4 年前期の分光分析学（武藤）で 13-15 章を、3 年後期の熱統計力学（服部）で 16-17 章を取り扱っています。本講義では 7 章と 22 章および 25 章の一部を学びます。さらに発展的な話題として電気化学分析手法の基礎と最近注目の電池の話題を取り上げながら、学習内容と本学の研究との関係を示していきます。

0. 本講義内容の説明と、教科書 1-6 章の復習

1. 化学平衡　（アトキンス　7 章 1-4）（10th Edition Chapter 6A & 6B）
（1）ギブスエネルギーの極小
（2）平衡状態
（3）平衡に対する圧力の影響
（4）平衡に対する温度の影響

2. 平衡電気化学　（アトキンス　7 章 5-9）（10th Edition Chapter 6C & 6D）
（1）半電池と電極
（2）電池の種類
（3）起電力
（4）標準電位の応用

3. 電池（教科書範囲外）
（1）1次電池、2次電池
（2）燃料電池

4. 実験的な化学反応速度論（アトキンス 22 章）（10th Edition Chapter 20）
（1）実験法
（2）反応速度
（3）積分型速度式
（4）反応速度の温度依存性

5. 電極における諸過程（アトキンス 25 章後半）（10th Edition Chapter 21F）

6. 電気化学測定法（教科書範囲外）
（1）基準電極と3電極系
（2）サイクリックボルタンメトリーほか主要な電気化学測定法

*中間試験・期末試験を行う。

0. Brief introduction of thermodynamics (chapter 1-4)
1. Chemical equilibrium

the equilibrium constant
the response of equilibia to the conditions
Electrochemical cells
Electrode potentials
2. Chemical kinetics
The rates of chemical reactions
Integrated rate laws
Reactions approaching equilibrium
The Arrhenius equation
Reaction mechanisms
3. Process at electrodes
4. Variation of electrochemical cells
5. Experimental electrochemistry

Homework
Online quizzes.
Explain some electrochemical phenomena

予習・復習内容
*毎回の講義内容を復習するとともに、事前の指示・課題・配布資料に基き予習を行うこと。

Please prepare by yourself with a textbook and a material provided.

関連科目
基礎物理化学、応用物理化学、熱統計力学
Physical chemistry, Advanced physical chemistry, Spectroscopy, Statistical thermodynamics

教科書に関する補足事項
テキストは貸与する予定です。
You may borrow a TEXT Book.

参考書 1	**書名**	アトキンス物理化学（上・下）第8版			**ISBN**	9784807906956
	著者名	P.Atkins・J.Paula 著、千原英昭・中村亘男訳	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2009
参考書 2	**書名**	ベーシック電気化学			**ISBN**	9784759808612
	著者名	大堺利行・桑畑進	**出版社**	化学同人	**出版年**	2000

参考書に関する補足事項

達成目標
（1）ギブスエネルギーと平衡の関係を理解する。
（2）平衡状態を理解する。
（3）平衡に対する圧力の影響を考える。
（4）平衡に対する温度の影響を考える。
（5）半電池と電極を理解する。
（6）電池の種類を学ぶ。
（7）起電力がどのように決まるか理解する。
（8）標準電位の応用を知る。
（9）化学反応速度の実験法を学ぶ。
（10）反応速度を理解する。
（11）反応速度式と反応次数を学ぶ。
（12）反応速度の温度依存性・アレニウス式を理解する。
(1) understand the relation between Gibbs energy and equilibrium.
(2) understand the equilibrium condition.
(3) understand the effect of pressure on equilibrium.
(4) understand the effect of temperature onequilibrium.
(5) understand the half-cell and electrode.
(6) understand the characteristics of each electric cell.
(7) understand the mechanism of electromotive force
(8) learn the application of standard electrodes.
(9) learn the experimental method of chemical kinetics.
(10) understand the chemical kinetics.

(11) learn the rate law and its order.
(12) understand the dependency of kinetics on temperature.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート等(20%)、および試験(80%)により総合的に行う。
評価基準:原則的にすべての講義に出席し、すべてのレポート、小テストを完了したものに対し、
成績を評価する。
The final grade will be determined by homework report(20%), mid-exam (40%), and a final-exam (40%).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

中間試験、期末試験の前の週の講義で内容を説明する。
Details will be explained in the class just before the exams.

その他

E-mail:matsuda@ee.tut.ac.jp
E-mail:matsuda@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://icg.ee.tut.ac.jp/
http://www.int.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

講義直後もしくはEメールで対応可。

Just after the lecture or by e-mail

学習・教育到達目標との対応

キーワード

化学平衡、電極電位、起電力、ネルンスト式、電池、反応速度、反応次数、アレニウス式
Chemical equilibrium, Electrode potential, emf, Nernst equation, Electrochemical cell, chemical kinetics, rate order, Arrhenius' equation

(B12620170)固体電子工学Ⅱ[Solid State Electronics 2]

科目名[英文名]	固体電子工学Ⅱ[Solid State Electronics 2]				
時間割番号	B12620170	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	福田　光男 FUKUDA Mitsuo				
ナンバリング	ELC_BAC32022				

授業の目標

固体電子工学Ⅰでは、固体の構造的理解を重点的に学んできたが、本講義では金属、誘電体および半導体といった固体中の周期ポテンシャル内における電子の運動を取り上げ、エレクトロニクスへの応用について理解する。

In Solid State Electronics 1, students essentially stidied crystal structure. In Solid State Electronics 2, properties of metal, dielectric, and semiconductor are lectured on the base of electron dynamics in periodic poytential energy. In addition, the application of their material to electronics is studied.

授業の内容

1週目　量子力学の基礎（シュレーディンガー方程式の解法（復習））
2－3週目　自由電子フェルミ気体Ⅰ（自由電子モデル、フェルミ-ディラック分布）
4－5週目　自由電子フェルミ気体Ⅱ（電気伝導度、電子比熱、電界磁界中の運動）
6－7週目　エネルギーバンドⅠ（ブロッホ関数とバンド形成）
8－9週目　エネルギーバンドⅡ（電子の波動方程式、ブリルアンゾーン）
10週目　固体中の電子の運動Ⅰ（運動方程式）
11－12週目　固体中の電子の運動Ⅱ（ホール、有効質量）
13－14週目　半導体Ⅰ（バンドギャップ、光吸収発光過程、キャリアー濃度）
15週目　半導体Ⅱ（不純物導入による制御）、エネルギーバンド計算法
16週目　定期試験

1st week, basic of quantum theory (Schrodinger equation, etc.)
2nd and 3rd weeks, Free electron Fermi gas 1(free electron model, Fermi-Dirac dsitribution)
4th and 5th weeks, Free electron Dermi gas 2(electric conductivity, heat capacity of the electron gas, electron motion in elecrtromagnetic field)
6th and 7th weeks, Energy band 1(Bloch function and band structure)
8th and 9th weeks, Energy band 2 (Wave function of electron in periodic potential, Brillouin zone)
10th week, Electron motion in periodic potential energy 1 (Equation of motion)
11th and 12th weeks, Electron motion in periodic potential energy 2 (Hole, effective mass)
13th and 14th weeks, Semiconductor 1 (bandgap, photon emission and absorption processes, carrier concentration)
15th week, Semiconductor 2 (impurity conductivity, thermoelectric effects)
16th week, Examination

予習・復習内容

シラバス内容を良く確認し、次の授業で行う内容について、事前にテキストなどに目を通して予習しておくこと。
　特に数式などは、自分で式展開まで行い、理解しておくこと。

As lectures are provided in Japanese using the following reference books (writing on a blackboard in English), students are required to study the English words related to the reference books.

関連科目

固体電子工学Ⅰ、量子力学Ⅰ

Solid State Electronics 1. Quantum Mechanics 1

教科書に関する補足事項

テキストは使用せずに、固体物理学入門（上）　第 8 版を参考書として使用し、必要に応じてプリント等を配布する。
The following text book is used as the reference, and distributind prints if necessary.

参考書 1	**書名**	固体物理学入門（上）　第 8 版			**ISBN**	978-4-621-07653-8
	著者名	C.キッテル著，宇野他訳	**出版社**	丸善	**出版年**	
参考書 2	**書名**	Introduction to Solid State Physics, 8th Ed.			**ISBN**	0-471-41526-X
	著者名	Charles Kittel	**出版社**	John Wiley & Sons, Inc	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 自由電子モデル
（1）3次元自由電子気体の波動関数、エネルギーレベルを導出できる。
（2）状態密度を求めることが出来る。
（3）フェルミーディラック分布則が理解できる。
（4）電気伝導度、電子比熱、熱伝導度の導出が出来る。
（5）磁界中の電子の運動が記述できる。
（6）ホール効果と電気伝導現象の関係が理解できる。

B. エネルギーバンド
（1）金属、半導体、絶縁体の相違をバンド図を用いて説明できる。
（2）ブリルアンゾーンとバンドギャップが理解できる。
（3）ブロッホ関数の性質を導出できる。
（4）周期的ポテンシャル内の電子の波動方程式が理解できる。
（5）ゾーン境界付近の近似解とバンドギャップの関係を記述できる。

C. 固体中の電子の運動
（1）電子の運動方程式が導出できる。
（2）ホールの概念を正しく記述できる。
（3）有効質量を正しく理解できる。
（4）キャリア濃度を導出できる。
（5）不純物導入による電気伝導度の制御が理解できる。
（6）各ゾーン形式の相違を記述できる。
（7）エネルギーバンド計算法の基礎事項が理解できる。

A free electron model
(1) Understand wave function and energy level of 3-dimensional electron gas.
(2) Understand density of states.
(3) UNderstand Dermi-Dirac distribution function.
(4) Understand electric conductivity, heat capacity, and thermal conductivity.
(5) Understand electron motion in Magnetic field.
(6) Understand relationship between Hole effect and electric conduction phenomena.

B. Energy band
(1) Understan the band of metal semiconductor and insulator.
(2) Understand Brillouin zone and band gap.
(3) Understand Bloch function and its properties.
(4) Understand the wave function of electron in periodic energy potential.
(5) Understand the relationship between band gap and the approximation value at the vicinity of zone edge.

C. Electron dynamics in solid
(1) Understand the equation on electron motion.
(2) Understand the concept of hole.
(3) Understand effective mass.
(4) Understand Carrier concentration.
(5) Understand electric conductivity control by impurity.
(6) Understand Ectended, reduced, and periodic zone schemes.
(7) Understand the calculation method of energy band.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験80%、レポート20%とし、これらを総合的に評価する。

A：試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：試験・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：試験・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Course evaluation
Evaluation is based primarily on a final examination (80 points) and reports (20 points).

A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居室：C-407，電話：6729，メールアドレス：fukuda_mitsuo@eee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

www.photon.eee.tut.ac.jp

www.photon.eee.tut.ac.jp

オフィスアワー

在室時であればいつでも

Wednesdays from 17:00 to 18:00

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

金属、半導体、誘電体、バンドギャップ、自由電子、有効質量

metal, semiconductor, insulator, band gap, free electron, effective mass

(B12620180)電気材料論[Physics of Electric Material]

科目名[英文名]	電気材料論[Physics of Electric Material]				
時間割番号	B12620180	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	若原　昭浩 WAKAHARA Akihiro				
ナンバリング	ELC_BAC32020				

授業の目標

電子・電気デバイスは、材料固有の物性を応用したものであり、優れたデバイスの実現には、構成材料の基礎物性をまず理解することが重要である。本講義では、電気材料として、主に誘電体、磁性体を取り上げ、その基礎物性、物理現象を理解することを目標とする。

Electronic and electrical devices are realized by applying a material-specific properties. To realization of the good performance, it is important to first understand the basic physical properties of the constituent materials. In this lecture, dielectrics and magnetic materials are pick up as an electrical material, and the goal is to understand the basic physical properties and the physical phenomena.

授業の内容

1　週目　誘電体でのエネルギー損失（誘電体損）と tanδ
2～3週目　誘電体の分極機構：界面分極、配向分極、イオン分極、赤外分極、光学分極
4～5週目　誘電体の種類：常誘電体、強誘電体、反強誘電体、フェリ誘電体
6～7週目　圧電性と逆圧電性、垂直応力とせん断応力、ひずみエネルギー、圧電テンソル
8～9週目　対称中心をもつ結晶と圧電特性、電気機械結合定数、電気光学効果
10　週目　磁性と磁気双極子
11～12 週目　磁性体の種類：常磁性、反磁性の量子論
13～14 週目　強磁性と反強磁性、交換相互作用
15　週目　磁気抵抗効果、磁気光学効果
16　週目　定期試験

For the progress of the lesson, doing the preparation and review of following contents. It imposes a report for understanding.
1st-week; Gudance, Energy loss (the dielectric loss) tanδ
2-3 weeks; Polarization mechanism in dielectrics: interface polarization, orientation polarization, ionic polarization, infrared polarization, optical polarization
4-5 weeks; Types of dielectrics: paraelectric, ferroelectric, anti-ferroelectric, ferrielectric materials
6-7 weeks; piezoelectrics: normal and shear stresses, strain energy, piezoelectric tensor, piezoelectric properties of several crystals
8th electromechanical coupling constant, electro-optical effect,
9th week; Midterm exam
10th week; magnetic and magnetic dipole
11-12 weeks; magnetic materials: paramagnetic, diamagnetic quantum theory
13-14 weeks; ferromagnetic and antiferromagnetic, exchange interaction
15th week; magnetoresistance effect, magneto-optical effect, Summary and overall Q&A
16th week; Final exam

予習・復習内容

毎回、次回講義の概要(A4、2 枚程度)を配布するので、教科書、参考書とあわせて予習し、自分オリジナルの講義ノートを作成すること。
概要中に記載の、英語の専門用語に関する英単語帳を作っておく。
講義の冒頭に、予習内容・英語単語帳の作成に関する自己点検を行います。
概要の理解を前提に、グループディスカッション形式で講義を進めます。

Handouts of next lecture will deliver.
Students make own notebook by using the handouts, text book, and reference book.
Self-assessment related to preparation of the lecture will be done at the begining of the class.
On the assumption for the understanding of the overview, the discussion in the class

関連科目

学部科目：固体電子工学 I、II、電磁気学、
大学院科目：光・量子電子工学、

Quantum mechanics 1 and II, Solid State Electronics 1 and 2, Electromagnetism

Subject example in technical colleges:
Electromagnetism, Solid-state physics, Materials science, Electrical and electronic materials, Electronic properties, Solid-state electronics, etc.

教科書に関する補足事項
各回毎の講義資料を、事前に配布します。

English-language summary of the next lecture will distribute.

参考書 1	**書名**	キッテル 固体物理学入門 第 8 版〈下〉			**ISBN**	978-4621076545
	著者名	チャールズ キッテル (著), 宇野 良清, 新関 駒二郎, 山下 次郎, 津屋 昇, 森田 章 (翻訳)	**出版社**	丸善	**出版年**	200
参考書 2	**書名**	Introduction to Solid State Physics, 8th Ed.			**ISBN**	
	著者名	Charles Kittel	**出版社**	John Wiley & Sons, Inc	**出版年**	2005
参考書 3	**書名**	基礎電子物性工学（大学講義シリーズ）			**ISBN**	978-4-339-00119-8
	著者名	川辺和夫、平木昭夫、岩見基弘	**出版社**	コロナ社	**出版年**	1979
参考書 4	**書名**	Solid State Physics: An Introduction			**ISBN**	
	著者名	Philip Hofmann	**出版社**	Wiley-VCH	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
1）誘電体でのエネルギー損失を理解する。
2）様々な誘電体の分極機構を理解する。
3）強誘電体、反強誘電体、フェリ誘電体を理解する。
4）圧電性、逆圧電性を理解する。
5）圧電テンソルを理解し、圧電性と結晶の対称性の関係を理解する。
6）磁性起源としてのスピンの役割を理解し、元素の電子状態と磁性との関係を把握する。
7）結晶性材料における磁性を通じて、磁気異方性、磁歪、磁区を理解する。
8）交換相互作用、超交換相互作用の役割を理解し、酸化物磁性材料の物性を理解する。

1) understand the energy loss in the dielectric.
2) understand the polarization mechanism of various dielectrics.
3) understand the ferroelectric, anti-ferroelectric, and ferri dielectric phenomena.
4) understand the piezoelectric phenomena.
5) understand the piezoelectric tensor and explain the relationship between the piezoelectric and the crystalline symmetry.
6) understand the spin role as a origin of magnetic phenomena, and to grasp the relation between the electron state and the magnetic properties.
7) understand magnetic anisotropy, magnetostriction, the magnetic domain through the magnetic in crystalline materials.
8) understand the role of exchange interaction and the super-exchange interaction

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：定期試験(中間)40%、定期試験(期末)40%、その他授業中の自己点検(予習点)・質疑応答・レポート 20%の割合で総合的に評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A：すべての達成目標を 80%以上達成し、かつ定期試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：すべての達成目標を 65%以上達成し、かつ定期試験・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：すべての達成目標を 55%以上達成し、かつ定期試験・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Evaluation:
periodic exam (40%, intermediate) (40%, end of period)
20%, self-assessment, the question-and-answer session, and reports

Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

A: achieve all of the goals, and the total evaluation points of the test report (100 points) is more than 80 points
B: achieved has achieved three large goals, and the total point of the test report (100 points) is more than 65 points
C: achieved has achieved two large goals, and the total point of the test report (100 points) is more than 55 points

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
期末試験で到達目標を達成出来なかった場合は、夏期休業中に補習課題を課し、後期授業開始前に追試を行います。
If you cannot achieve the goals in the final exam, you can have re-exam by submitting a report on supplementary course work during the summer holiday

その他
居室：C-608
Tel：44-6742
E-mail：wakahara@ee.tut.ac.jp
Office: RM C-608
e-mail: wakahara@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://www.int.ee.tut.ac.jp/
http://int.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー
随時。メールなどでアポを取って下さい。

As needed. It is preferable to make an appointment in advance.

学習・教育到達目標との対応
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

D4)4つのコースの中の一つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力

〇材料エレクトロニクスコース
電気・電子情報工学分野を支える物質，材料，プロセス技術，計測技術にいたる幅の広い基礎知識と技術の修得とその運用能力の獲得

〇機能電気システムコース
電気エネルギーの発生・輸送・制御・計測やその利用・応用，さらには未来社会のエネルギーシステムに関連する幅広い基礎知識と技術の修得とその運用能力の獲

〇集積電子システムコース
半導体デバイスやシステム応用にいたる広い範囲のエレクトロニクス基礎知識と技術の修得とその運用能力の獲得

(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive ability for technological sciences Acquiring engineering expertise, applying practical and creative ability toward problem solving

(D4) A broad range of expertise and the operational capability in one of the following four professional courses of study:

1) Electronic Materials Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of materials science, process technology, and measurement technology.

2) Electrical Systems Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of electrical energy related to its generation, transportation, control, measurement, applications, and future system.

3) Integrated Electronics Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of electronics for integrated circuits, sensors, optical and electronic semiconductor devices.

(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード
電気材料、誘電体、磁性体
electrical materials, dielectrics, magnetic materials,

(B12620200)分光分析学[Spectroscopic Analysis]

科目名[英文名]	分光分析学[Spectroscopic Analysis]				
時間割番号	B12620200	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	服部　敏明 HATTORI Toshiaki				
ナンバリング	ELC_BAC31020				

授業の目標

本講義では、分子の回転、振動、電子遷移状態、磁気共鳴および質量分析に関する分光学を学び、演習により実際のスペクトルの解析法を身につける事を目的とする。

In this course you will learn fundamental methods to analyze a variety of molecular spectra on rotation, vibration, electronic transition and magnetic resonance, and mass spectrometry. By the end of the semester, you should be able to determine the molecular structure by comprehensive analysis of spectroscopy.

授業の内容

1　分光学の一般的性質
2　回転スペクトル
3　振動スペクトル、ラマンスペクトル
4　赤外スペクトル解析の演習
5　原子の電子遷移スペクトル
6　二原子分子の電子遷移スペクトル
7　多原子分子の電子遷移スペクトル、蛍光とリン光
8　中間テスト
9　磁場中の磁気共鳴
10　核磁気共鳴(NMR)スペクトル
11　NMR でのパルス技術
12　H-NMR スペクトル解析の演習
13　電子常磁性共鳴(EPR)スペクトル
14　質量分析法
15　スペクトルの解析の総合演習
16　期末テスト

1　General features of molecular spectroscopy
2　Molecular rotation and rotational spectroscopy
3　Vibrational spectroscopy and Raman spectroscopy
4　Exercise in analysis of infra-red (IR) adsorption spectra
5　Electronic spectra of atoms
6　Electronic spectra of diatomic molecules
7　Electronic spectra of polyatomic molecules, fluorescence, phosphorescence
8　Mid-term Examination
9　Magnetic resonance
10　Nuclear magnetic resonance (NMR) spectra
11　Pulse techniques in NMR
12　Exercise in analysis of NMR spectra
13　Electron paramagnetic resonance (EPR) spectra
14　Mass (MS) spectrometry
15　Exercise in comprehensive analysis of IR, NMR and MS spectra
16　Regular Examination

予習・復習内容

演習以外は、参考書などを参考にして予習および復習は各自で行なってください。

Except of exercises, students should read the reference book before and after the class.

関連科目

量子力学、物理化学、応用物理化学、熱統計力学

Quantum mechanics, Physical chemistry, Applied physical chemistry, Statistical thermodynamics

教科書に関する補足事項

資料を配布する。

The copies will be distributed.

参考書 1	**書名**	アトキンス 物理化学（上） 第 10 版			**ISBN**	978-4-8079-0908-7
	著者名	Julio de Paula (著), Peter Atkins (原著), 千原 秀昭 (翻訳), 中村 亘男 (翻訳)	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2017
参考書 2	**書名**	Atkins' Physical Chemistry 10th ed.			**ISBN**	9780199697403
	著者名	Peter Atkins and Julio de Paula	**出版社**	OXFORD University Press	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項

達成目標

1) ランバートベールの法則を用いて濃度計算ができること
2) 電磁波の波長(エネルギー)と、物質との相互作用を説明できること
3) 分子の回転モードと回転エネルギーから回転スペクトルを説明できること
4) 分子振動、モースポテンシャルエネルギー、振動モードから IR スペクトルを説明できること
5) ラマンスペクトルを説明できること
6) 赤外吸収スペクトルから分子の官能基の存在を推定できること
7) 項を使って原子のスペクトルを説明できること
8) 項を使って二原子分子の電子遷移スペクトルを説明できること
9) 多原子分子の多様なスペクトルを説明できること
10) 蛍光とリン光を説明できること
11) 磁場中の核磁気共鳴(NMR)と電子常磁性共鳴(EPR)を説明できること
12) NMR における化学シフトを説明できること
13) H-NMR スペクトルから分子の構造を推定できること
14) スピンの緩和現象とパルス NMR の有用性を説明できること
15) 構造特性に基づく多様な EPR スペクトルを説明できること
16) 質量分析法の装置、原理、スペクトルを説明できること
17) 様々なスペクトルの包括的な解析から分子の構造を決定できること

1) Calculate the concentration using Beer-Lambert law.
2) Explain the relation between wavelength (energy) and interactions with materials.
3) Explain rotational spectra by moment inertia and rotational energy.
4) Explain infra-red adsorption spectra by vibrational motion, Morse potential energy and vibrational modes.
5) Understand Raman spectra.
6) Estimate functional groups of organic molecules from IR spectra.
7) Explain atomic spectra with the symbol terms.
8) Explain electronic spectra of diatomic molecules with the symbol terms.
9) Understand a variety of electron spectra of polyatomic molecules.
10) Understand fluorescence and phosphorescence.
11) Understand nuclear magnetic resonance and electron paramagnetic resonance.
12) Explain chemical sifts of NMR spectra based on molecular structure.
13) Estimate molecular structure from H-NMR spectra.
14) Understand the mechanism of spin relaxation and efficiency of pulse techniques.
15) Explain a variety of EPR spectra based on molecular structure.
16) Understand apparatus and principle of mass spectrometry.
17) Determine molecular structure by comprehensive analysis of several spectra.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：レポート（20%）＋中間試験（40%）＋定期試験（40%）で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
The final evaluation will be the sum of four categories; reports (20%), Examination I (40%) and Examination II (40%).
Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points, 90 or higher (out of 100 points)
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面） Examination(Face to Face)
定期試験詳細 中間試験は定期試験と同等であり、必ず受ける必要があります。 The mid-term exam are equivalent to regular exam and must be received.
その他
ウェルカムページ
オフィスアワー 随時時間をメイルで打ち合わせて受け付ける. It is desirable to contact beforehand by e-mail.
学習・教育到達目標との対応
キーワード 機器分析、分光法 Instrumental analysis, Spectroscopy

(B12620210)計測工学[Measurement and Instrumentation]

科目名[英文名]	計測工学[Measurement and Instrumentation]				
時間割番号	B12620210	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	杉浦　敏文 SUGIURA Toshifumi				
ナンバリング	ELC_BAC36022				

授業の目標

各種の物理量を電気的に計測するための知識について理解を深める。各物理量を電気量に変換する方法の原理，計測の基礎，応用計測技術について講義する。本講義を通じて実際の計測の場に活用できるような知識を養う事を目的とする。

The purpose of the class is development of an understanding about knowledge to measure physical quantity electrically. In this lecture, method of convert physical quantity into electricity quantity, basic of measurements, application of applied measurement technology are lectured.

授業の内容

1 週目　計測の基礎，数値解析
2 週目　測定と標準，単位
3 週目　雑音
4 週目　アナログセンサ，ロックインアンプ
5 週目　ディジタル，AD 変換，DA 変換
6 週目　電圧，電流測定
7 週目　抵抗測定
8-9 週目　高周波回路特性,スミス図表
10 週目　周波数と位相測定
11 週目　電力測定
12 週目　磁気測定
13 週目　材料特性測定
14-15 週目　電気電子計測応用
16 週目　定期試験

1. The basics of measurements, Numerical analysis
2. The measurement and standard
3. Noise
4. Analog sensors lock in amplifier
5. Digital, AD/DA conversion
6. Voltage and current measurement
7. Resistance measurements
8-9. High frequency circuit characteristics, Smith chart
10. Frequency and phase measurement
11. Power measurement
12. Magnetic measurement
13. The materials properties measurement
14-15. Electric and electronic measurement application
16. Final exam.

予習・復習内容

事前に教科書に目を通しておくこと。講義で取ったノートを中心に復習を行うこと。
また，教科書の演習問題を行うこと。

Taking a look at a textbook beforehand and review the notebook which you took by lecture. In addition, solve the practice problem of the textbook.

関連科目

必要とされる基礎知識の範囲：電気計測，電磁気学，電気回路，数学（線形代数，複素関数，微分方程式を含む）
関連科目：微分積分，線形代数，物理学，確率統計，応用解析学，複素関数論，
電気計測，基礎電磁気学，電磁気学，電気回路

Electric Measurement, Electromagnetism, Electrical Circuitry, Mathematics (Linear Algebra, Complex Function Theory and Differential Equations) should be understood.

Related subject: Differential-integral equation, Linear Algebra, Physics, Probability and Statistics, Applied Mathematical Analysis, Complex Function Theory, Measurement, Basic Electromagnetism, Electromagnetism, Electrical Circuitry.

教科書 1	**書名**	「電気・電子計測」(大学課程基礎コース 2)			**ISBN**	
	著者名	大浦宣徳、関根松夫共著	**出版社**	オーム社	**出版年**	
教科書に関する補足事項						
参考書 1	**書名**	「電気・電子計測」(新インターユニバーシティ)			**ISBN**	
	著者名	田所壽昭編著	**出版社**	オーム社	**出版年**	
参考書 2	**書名**	「電気電子計測」			**ISBN**	
	著者名	岡野大祐著	**出版社**	オーム社	**出版年**	
参考書 3	**書名**	「電気電子応用計測」			**ISBN**	
	著者名	井出英人編著	**出版社**	オーム社	**出版年**	
参考書に関する補足事項						

達成目標

A.基礎的な事項
(1)測定の方法、測定値の評価、ノイズ、単位について理解する。

B.デジタル量とアナログ量
(1)デジタル、アナログについて各特徴を理解する。
(2)自然量をアナログ量として電気信号に変換する方法を理解する。
(3)アナログ信号をデジタル信号に変換する方法およびその原理を理解する

C.電気電子計測
(1)電圧、電流、インピーダンス、電力, 高周波回路などを測定する方法およびその原理を理解する

D.磁界計測
(1)磁界の諸特性を測定する方法およびその原理を理解する。

E.電気電子計測
(1)各種センサを組み合わせた応用的な計測技術の基本となる技術を理解する。
(2)実際の測定系を構築する上で必要な知識や、実際の場面で必要な基礎事項を理解する。

A. Basic matter
(1) Understanding of measurement method, evaluation, a noise and a unit.

B. Digital and analog
(1) Understanding of characteristics of digital and analog.
(2) Understanding of conversion method from physical quantity into electricity quantity.
(3) Understanding of principle of the AD/DA conversion.

C. Electricity and electronic measurement
(1) Understanding of measurement principle of voltage, current, impedance, power and high frequency circuit.

D. Magnetic field measurement
(1) Understanding of measurement principle of magnetic field.

E. Electricity and Electronic measurement
(1) Understanding of applied measurement technologies.
(2) Understanding of basic knowledge of building real measurement system.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート 30 %、期末試験 70 %とし、これら合計で評価する。
総合点 100 点満点で、評価 A:80 点以上, 評価 B:65 点以上, 評価 C:55 点以上。
Students will be evaluated with final exam 70 % and reports 30 %:
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験 定期試験を実施（対面） Examination(Face to Face)
定期試験詳細
その他 教員居室：C410(C1-205)、e-mail：takagi@ee.tut.ac.jp C410(C1-205)、e-mail：takagi@ee.tut.ac.jp
ウェルカムページ http://www.spin.ee.tut.ac.jp http://www.spin.ee.tut.ac.jp
オフィスアワー 事前に e-mail 等で日時の予約をしておくことが望ましい。 At any time Monday through Friday. However, it is desirable to contact beforehand by e-mail.
学習・教育到達目標との対応
キーワード 電気計測、センサ

(B12620240)集積回路工学[Intro. Integrated Circuits]

科目名[英文名]	集積回路工学[Intro. Integrated Circuits]				
時間割番号	B12620240	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	石川　靖彦 ISHIKAWA Yasuhiko				
ナンバリング	ELC_BAC34020				

授業の目標

集積回路は現代の産業と社会の基盤を形成している。半導体工学から進展してきたこの広い分野を理解するための基礎として、基本デバイス、作製工程(プロセス)、基本回路、シミュレーション技術、メモリ、パッケージ、信頼性等を学ぶ。

Integrated Circuits (ICs) are widely used key semiconductor components in various fields of industries. The purpose of this lecture, "Introduction to Integrated Circuits" is to understand the basic IC technologies such as Device Physics, Fabrication, Circuits, Simulation, Memory, Jisso (Packaging), and Reliability.

授業の内容

1週目　集積回路の背景と学び方、半導体の基礎
2週目　pn 接合
3週目　バイポーラトランジスタ
4週目　MOS トランジスタ
5週目　演習1(MOS トランジスタ)
6週目　集積回路の要素プロセス1
7週目　集積回路の要素プロセス2
8週目　演習2(集積回路の要素プロセス)
9週目　演習3(集積回路の製造工程)
10 週目　デジタル集積回路の基本回路1
11 週目　デジタル集積回路の基本回路2
12 週目　演習4(デジタル集積回路)
13 週目　メモリ集積回路
14 週目　パッケージと実装
15 週目　集積回路の信頼性
16 週目　定期試験

Week 1 Background of Integrated Circuits (ICs), Fundamentals of Semiconductors
Week 2 Semiconductor pn Junction
Week 3 Bipolar Transistors
Week 4 MOS Transistors
Week 5 Problems 1 (MOS transistors)
Week 6 Elementary Process Technologies in IC Fabrication 1
Week 7 Elementary Process Technologies in IC Fabrication 2
Week 8 Problems 2 (Elementary Process Technologies in IC Fabrication)
Week 9 Problems 3 (Production Processes for ICs)
Week 10 Basic Circuits in Digital ICs 1
Week 11 Basic Circuits in Digital ICs 2
Week 12 Problems 4 (Digital ICs)
Week 13 Memory ICs
Week 14 Packaging and Implementation/Jisso
Week 15 Reliability of ICs
Week 16 Final Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容について教科書を参考に予習してくること。

Review the contents and prepare for the next lecture.

関連科目

半導体工学 I, II

Semiconductor Electronics 1, Semiconductor Electronics 2

教科書に関する補足事項

必要に応じてレジュメを配付する。

Handouts will be distributed if necessary.

参考書 1	**書名**	Semiconductor devices : physics and technology	**ISBN**	9780470873670

	著者名	S.M. Sze, M.K. Lee	**出版社**	Wiley	**出版年**	2013
参考書 2	**書名**	集積回路			**ISBN**	9784274209888
	著者名	石田誠 編著	**出版社**	オーム社	**出版年**	2011
参考書 3	**書名**	半導体デバイス入門：その原理と動作のしくみ			**ISBN**	9784864810180
	著者名	柴田直 著	**出版社**	数理工学社	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項

達成目標

A.集積回路に用いられる半導体デバイス
(1) pn 接合、バイポーラ、MOSトランジスタの動作原理、特性を理解する。
(2) 微細化に伴うMOSトランジスタの特性、比例縮小則を理解する。
B.集積回路の作製法
(1) 集積回路プロセスの要素工程を理解する。
(2) バイポーラ、MOS集積回路作製手順を平面図、断面図から見て理解できるようにする。
(3) 配線技術についての理解と問題点と理解する。
C.デジタル集積回路
(1) 基本論理ゲートの回路の方式を理解する。
(2) CMOS回路の動作原理、特性を理解する。
(3) マスクパターン、設計ルールについて理解する。
D.メモリ集積回路
(1) 半導体メモリ素子の種類、基本構成と特徴を理解する
(2) データの読み書きの原理を理解する。
E.集積回路の後工程
(1) パッケージの種類と特徴を理解する。
(2) 集積回路の信頼性を支配する要因を理解する。

Understanding the following aspects of ICs
A:Semiconductor Device
(1) Mechanisms of pn-junction in semiconductors, Operation mechanism of Bipolar and MOS transistors
(2) Characteristics of MOSFET, Scaling
B:Fabrication processes for ICs
(1) Elementary processes
(2) Fabrication processes for Bipolar and MOS transistors.
(3) Interconnect technologies
C:Digital integrated circuits
(1) Logical gate
(2) Operation mechanisms of CMOS circuits
(3) Mask patterning and Design rule
D:Memory integrated circuits
(1) Semiconductor memory elements
(2) Mechanisms of the read and write operation
E:Back end processing of ICs
(1) Packaging and Jisso technology
(2) Reliability aspects of ICs

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験およびレポート課題の得点で評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A：定期試験およびレポート課題の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：定期試験およびレポート課題の合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：定期試験およびレポート課題の合計点（100 点満点）が 55 点以上
Evaluation: Final Exam and Reports

Criterion of Evaluation: For students, who attend all the lectures, evaluate as follows
A: Score of final exam and reports more than or equal to 80 out of 100
B: Score of final exam and reports more than or equal to 65 out of 100
C: Score of final exam and reports more than or equal to 55 out of 100

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

来室する場合は事前に E-mail でコンタクトのこと。
Please make an appointment by email.

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード

(B12620250)基礎電気回路[Fundamental Electrical Circuitry]

科目名[英文名]	基礎電気回路[Fundamental Electrical Circuitry]				
時間割番号	B12620250	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	若原　昭浩 WAKAHARA Akihiro				
ナンバリング	ELC_BAC31020				

授業の目標

本講義は、高専にて電気回路を履修したことのない学生が、3 年次後期開講の電気回路論の履修に必須な基礎的知識を習得するために設定されている。電気回路の基礎を理解するために、オームの法則から始まり、その拡張として電気回路の構成要素である抵抗、静電容量、インダクターの働きを理解する。正弦波交流回路は、記号法を用いて表現でき、二次元ベクトルとしての取り扱いに習熟させる。また、回路網の諸定理を駆使することで、回路解析手法を習得する。

This lecture is prepared for students who graduated non-electrical and electronic department of a technical college to catchup the basis of electric circuit as follows:

* Natures and behaviors of resistor, capacitor, and inductor under AC and DC.
* Sinusoid analysis using Phasor and vector approach.
* Circuit analysis adopting the circuit theorems suitable for each circuit.
* Operation and application analysis of AC circuit.

授業の内容

1週目　電気回路の対象、数学的記述（複素数、行列と行列式の基礎）
2週目　複素数のベクトル表示 、三角関数の複素数表示、
3週目　正弦波交流と複素数表示、フェーザ、
4～5週　抵抗、静電容量、インダクター、
6～7週　キルヒホッフの法則、 インダクタンス、アドミタンス
8週目　中間試験
9週目　回路方程式と解法（網目電流法）
10週目　回路方程式と解法（節点電圧法）
11週目　回路網に関する諸定理（重ね合わせの定理、テブナンの定理など）
12週目　回路網に関する諸定理（インピーダンスのΔ－Y変換、ブリッジ回路など）
13週目　共振回路
14週目　変圧器回路
15週目　多相交流
16週目　定期試験

1st wk. Resistors, Capacitors, Inductors and Sources
2nd wk. Ohm's Law and Sinusoids
3rd wk. Phasors
4th wk. Phasor Relationships for Circuit Elements
5th wk. Impedance and Admittance
6th wk. Kirchhoff's Laws
7th wk. Nodal and Mesh Analysis
8th wk. Mid-term exam
9th wk. Circuit Theorems I
10th wk. Circuit Theorems II
11th wk. Resonant Circuit and Q factor
12th wk. Resonant Circuit and Q factor
13th wk. Magnetically Coupled Circuits
14th wk. Magnetically Coupled Circuits
15th wk. AC Power Analysis
16th wk. Term-end exam

* This lecture will be given in cooperation with Electric Circuit Exercise.

予習・復習内容

個々の講義に対する概要を事前に配布するので、次回講義までに概要と教科書を元に予習しておくこと。

毎回の講義内容と教科書と読み返して授業ノートを作成し、演習問題を解く。

As each lecture provides its supporting materials, students are required to review previous classes and study in advance for the next class.

関連科目

電気回路I、電気回路Ⅱ

Electrical Circuit

教科書 1	**書名**	Fundamentals of Electric Circuits (5th edition), ペーパーバック			**ISBN**	0073380571
	著者名	Charles K. Alexander, Matthew N. O. Sadiku	**出版社**	McGraw Hill	**出版年**	2012
教科書 2	**書名**	インターユニバーシティ「電気回路 A」			**ISBN**	
	著者名	佐治　学	**出版社**	オーム社	**出版年**	２００４

教科書に関する補足事項

Applicants can borrow the English textbook.

It is preferable to bring their English dictionary.

参考書 1	**書名**	インターユニバーシティ　電気回路 A　改訂2版			**ISBN**	4-274-13272-2
	著者名	佐治　学	**出版社**	オーム社	**出版年**	2003
参考書 2	**書名**	新インターユニバーシティ　電気回路 I			**ISBN**	978-4-274-20931-4
	著者名	山口作太郎	**出版社**	オーム社	**出版年**	2010
参考書 3	**書名**	回路理論基礎（電気学会大学講座）			**ISBN**	4-88686-204-7
	著者名	柳沢健	**出版社**	電気学会	**出版年**	1986

参考書に関する補足事項

Pages of references corresponding to the content of a lecture will be explained in each class.

達成目標

A.基礎

(1)交流と直流の下での抵抗、コンデンサ、インダクタの性質と挙動を解くことができる。

(2)網目電流法により回路解析ができる。

(3)接点法を用いて回路解析ができる。

B.回路定理

(1)重ね合わせの定理を用いて複数の電源を含む回路網を解析できる。

(2)テブナンとノートンの定理を利用して回路網が解析できる。

C.共振回路

(1)直列共振と並列共振の現象を理解する。

(2)Q 因子が理解できる。

D.磁気結合

(1)結合インダクタのインダクタンスを抽出できる。

(2)理想変圧器の性質と挙動を理解できる。

E.電力および力率

(1)複素電力を計算できる。

(2)複素電力と力率との関係が理解できる。

A. Fundamentals

(1) One can solve natures and behaviors of resistor, capacitor, and inductor under AC and DC.

(2) Acquire mesh analysis.

(3) Acquire node analysis.

B. Circuit theorems

(1) Analyze circuit network with several sources utilizing superposition.

(2) Analyze circuit network utilizing Thevenin's and Norton's theorems.

C. Resonant circuit

(1) Understand the phenomenon of series and parallel resonances.

(2) Understand Q factor.

D. Magnetic coupling

(1) Extract inductances of coupled inductors.
(2) Understand the nature and behaviors of ideal transformer.

E. Power and Power Factor
(1) Calculate complex power.
(2) Understand the relationship between complex power and power factor.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験・小テスト・レポート(70%+10%+20%)で評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

中間試験 40%、期末試験 40%、小テストおよびレポート 20%として総合的に評価する。

* Mid-term exam:40%, Term-end exam:40%, Mini exam or report:20%

その他

居室:C-608
E-mail:wakahara@ee.tut.ac.jp
Office:C-608
E-mail:wakahara@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.int.ee.tut.ac.jp/
http://www.int.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー

E-mail で常時。
その他、電話・メールにてスケジュール調整可能
As needed. It is preferable to make an appointment in advance.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive ability for technological sciences Acquiring engineering expertise, applying practical and creative ability toward problem solving

(D1) Acquiring knowledge in subjects that make up the foundation of electrical and electronic information engineering: physics, chemistry, electric and electronic circuit, control engineering, systems engineering, materials science, energy transfer engineering, information engineering, communication engineering, etc., developing practical and creative ability to solve problems

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to

problem solving

キーワード
直流回路、交流回路、キルヒホッフ、複素インピーダンス、重ね合せの定理
Electric Circuit

(B12620260)エネルギー創生工学[Engineering of Energy Generation]

科目名[英文名]	エネルギー創生工学[Engineering of Energy Generation]				
時間割番号	B12620260	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	滝川　浩史 TAKIKAWA Hirofumi				
ナンバリング	ELC_BAC33020				

授業の目標

エネルギーに関する諸問題を認識し、持続性社会の維持に必要な電気エネルギーの発生と供給の重要性を理解する。その上で化石燃料や核エネルギー，自然エネルギーなど多様なエネルギー源・資源から電気エネルギーを創生する様々な技術と問題点について学び，理解する。また電気エネルギーの輸送，貯蔵技術や有効な利用技術と問題点についても学び，理解する。

The students realize problems about the energy and understand importance of generation and supply of the electric energy necessary for sustainable society. They learn various techniques and problems to generate electric energy from a variety of energy sources and resources including fossil fuel, nuclear energy, and the natural energy. In addition, they learn the technologies related to electrical energy transportation, energy storage, and the effective use, and recognize their problems.

授業の内容

1, 2 週目　熱力学の基礎
3 週目　エネルギー事情，化石燃料の枯渇，電気エネルギーの位置付け
4, 5 週目　地球温暖化とその対策
6 週目　熱機関の分類，往復動エンジン，ガスタービン，
7 週目　蒸気原動所，複合発電
8 週目　燃料電池
9 週目　太陽電池などの直接発電
10, 11 週目　核エネルギー（核分裂，核融合）と発電
12 週目　化石燃料から脱却した発電方式、水力、太陽エネルギー
13 週目　自然エネルギー（風力，地熱，海洋エネルギーなど）
14 週目　電気エネルギーの輸送，負荷変動，貯蔵方式
15 週目　コージェネレーションシステム
16 週目　定期試験

※資料を事前に入手し予習してください。 資料と教科書を見比べ復習してください。
※エネルギーに関する基礎や学内外エネルギー関係設備などに関する課題のレポートを出します。
Weeks 1 & 2: Basis of thermodynamics
Week 3: Energy situation, depletion of fossil fuel, positioning of electric energy
Week 4 & 5: Global warming and countermeasures
Week 6 Classification of heat engine, gas engines and turbine
Week 7: Steam power station
Week 8: Fuel cells
Week 9: Direct power generation; solar cells, etc.
Weeks 10 & 11: Nuclear energy (fission, fusion) and power generation
Week 12: Hydropower and solar power generations
Week 13: Renewable energy; wind, geothermal, and ocean energy
Week 14: Electrical energy transport and storage system
Week 15: Cogeneration system
Week 16: Examination

Obtain summarized references beforehand, prepare for next lectures, and review after the lecture.
Request reports about basics of energy and energy related-facilities.

予習・復習内容

授業内容をまとめた資料で，予習・復習をしてもらいます。
エネルギー関係の学内（可能な場合，学外も）の施設見学をします。

Prepare for and review lectures using summarized references.
Visit to the energy-related facilities.

関連科目
電力工学Ⅰ・Ⅱ，電気機械工学Ⅰ・Ⅱ，熱統計力学，固体電子工学
電力工学Ⅰ・Ⅱ，電気機械工学Ⅰ・Ⅱ，熱統計力学，固体電子工学

教科書に関する補足事項
資料配布
Originally summarized references are offered.

参考書 1	**書名**	エネルギー変換			**ISBN**	
	著者名	斎藤孝基・飛原英治・畔津昭彦	**出版社**	東京大学出版	**出版年**	
参考書 2	**書名**	現在エネルギー・環境論			**ISBN**	
	著者名	エネルギー教育研究会	**出版社**	電力新報社	**出版年**	
参考書 3	**書名**	電気エネルギー基礎			**ISBN**	
	著者名	榊原建樹	**出版社**	オーム社	**出版年**	
参考書 4	**書名**	電気エネルギー工学			**ISBN**	
	著者名	鬼頭幸男	**出版社**	コロナ社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
A.エネルギーに関する諸問題
(1)世界の一次エネルギー資源の埋蔵量とその分布や，化石燃料の枯渇を理解する。
(2)人類が使うエネルギーフローと電気エネルギーの位置付けを理解する。
(3)地球温暖化現象を理解し，その対策を分類して考察・理解する。

B.現在の発電方式と期待される新しい発電方式
(1)初歩的な熱力学を理解し，現在稼動している往復動エンジン，ランキンサイクル，ブレイトンサイクルなどによる動力発生方式とその問題点を理解する。
(2) 複合発電やコジェネレーションによるエネルギーの硬度利用法を理解する。
(3)燃料電池や太陽電池などの新しいエネルギーを用いた発電技術についても理解する。

C.化石燃料から脱却した発電方式
(1)自然エネルギーである水力，太陽エネルギー，風力，地熱，海洋エネルギーによる発電技術について知識を獲得し，理解する。
(2)自然エネルギーの利用を増やすための問題点を整理・理解する。

D.電気エネルギーの輸送と貯蔵
(1)現在の電気エネルギー輸送法と電力負荷変動と設備利用率の低下を理解する。
(2)電力貯蔵技術（揚水，超導伝導マグネット，二次電池，圧縮空気など）の現状について知識を獲得し理解する。
(3)熱と電力とを同時供給することによるエネルギー利用の高効率化について知識を獲得し理解する。

Understand the following matters
A. Problems about the energy
B. Current electricity generating systems and prospective new systems
C. Electricity generating system that got rid of fossil fuel
D. Transportation and storage of the electric energy

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき，レポート点を 20%，期末試験を 80%とし，これらの合計で評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 65%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 65% of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
担当教官の部屋・電話番号：C-311（内線 6727）
e-mail:takikawa@ee.tut.ac.jp

Lecturer's room and phone: C-311, ext.6727
e-mail:takikawa@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://pes.ee.tut.ac.jp/
http://pes.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー
随時
At all times

学習・教育到達目標との対応
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力
（D1）電気・電子情報工学の基礎となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード
発電，電気エネルギーへの変換，電気エネルギーの創成・貯蔵・利用
Electric energy, generation, conversion, storage, the use of the electric energy

(B12620270)応用物理化学[Applied Physical Chemistry]

科目名[英文名]	応用物理化学[Applied Physical Chemistry]				
時間割番号	B12620270	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 3〜3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3〜
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	武藤　浩行 MUTO Hiroyuki				
ナンバリング	ELC_BAC31022				

授業の目標

高性能な特性を発現させるためには、高度な材料設計が要求される。たとえば、半導体素子などは、純粋なゲルマニウムに精密に制御されたドーピングを行うことにより作製されている。本講義では、エレクトロニクス材料の設計に必要な基本的な化学を修得することを目的とする。

The aim of this course is to introduce the fundamental principles of physical chemistry.

授業の内容

1. 概略
2. 相の安定性と相転移
3. 相境界の位置

単純な混合物

4. 部分モル堆積
5. 混合の熱力学
6. 溶液の化学ポテンシャル
7. 束一的性質①
8. 束一的性質②
9. 溶媒の活量
10. 溶液中のイオン活量

相図

11. 概要
12. 相、成分、自由度
13. 成分系
14. 活用例
15. 演習

16. 期末試験

1st week Guidance
2nd week Physical transformations of pure substances 1
3rd week Physical transformations of pure substances 2
4th week Partial molar volume
5th week Thermodynamics of mixture
6th week Chemical potential
7th week Colligative properties 1
8th week Colligative properties 2
9th week Activity of solutions
10th week Ionic strength
11th week Phase diagram
12th week Phase, component and degree of freedam
13th week Colligative properties
14th week Binary liquid mixtures
15th week Exercise
16th week Final Examination

予習・復習内容

関連科目
基礎熱力学、基礎物理化学、化学、物理学

教科書に関する補足事項
テキスト等を当日配布する。

参考書 1	**書名**	アトキンス物理化学（上） 第８版（Atkins' Physical Chemistry (Tenth Edition)）			**ISBN**	978-0199697403
	著者名	アトキンス	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	
参考書 2	**書名**	Physical chemistry			**ISBN**	
	著者名	P.W. Atkins	**出版社**	Oxford : Oxford University Press	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
(1)単純な物質、混合物の性質が理解出来る
(2)固体、液体、気体の性質に関する物理化学的性質を理解できる
(3)相図の読み取りができる
(4)新規材料設計に関する基礎的な知見が示せる
1) To understand the properties of simple mixture
2) To understand phase diagram

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
講義を受講するに当たり、1 時間の予習、講義後に 1 時間の復習をすること。
評価法：中間試験（40%），期末試験（40%）およびレポート（20%）により単位の認定を行う。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

〇5 段階評価 …学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次向けの開講科目
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
従来の評価
A：達成目標をすべて達成しており，かつ試験・補習・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上 B：達成目標を3つ達成しており，かつ試験・補習・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上 C：達成目標を2つ達成しており，かつ試験・補習・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

適宜、演習、レポートを課す。
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved XX 80 goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved XX 70 of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved XX 60 of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

and

A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved XX 65 of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved XX 55 of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

for repeating a course

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

武藤浩行（E-mail：muto-at-ee.tut.ac.jp　-at-を@に変えて送信してください。）
ウェルカムページ
オフィスアワー 随時
学習・教育到達目標との対応
キーワード 物理化学　相平衡　相図　化学ポテンシャル

(B12620280)電磁波工学[Electromagnetic Wave Engineering]

科目名[英文名]	電磁波工学[Electromagnetic Wave Engineering]				
時間割番号	B12620280	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	石川　靖彦 ISHIKAWA Yasuhiko				
ナンバリング	ELC_BAC31020				

授業の目標

電磁気学で学んできた静電界、静磁界および電磁誘導等の知識の上に立って、電磁波の基礎について学ぶ。これにより、電磁波の基本的な性質を理解する。

Study the principal of electromagnetic wave based on the knowledge of static electric field, static magnetic field, and electromagnetic induction.

授業の内容

1週目　ガイダンス
2週目　電流と電荷の変換、ベクトルポテンシャル
3週目　ベクトルポテンシャル（直線電流）
4週目　ビオ・サバールの法則、ループ電流に働く力
5週目　力学的エネルギーと電気的エネルギー
6週目　磁束密度とベクトルポテンシャル
7週目　ベクトルポテンシャルと量子力学
8週目　静場と動場の比較
9週目　中間試験
10週目　マクスウエル方程式
11週目　進行する場、光の速さ
12週目　ポテンシャルと波動方程式
13週目　平面波1
14週目　平面波2
15週目　電磁波
16週目　定期試験

1st week: Guidance
2nd week: Transformation of currents and charges, vector potential
3rd week: Vector potential
4th week: Biot-Savart law
5th week: Mechanical energy and electrical energy
6th week: Magnetic flux density and vector potential
7th week: Vector potential and quantum mechanics
8th week: Static and dynamic fields
9th week: Interim examination
10th week: Maxwell's equations
11th week: Travelling field and speed of light
12th week: Potential and electromagnetic wave equation
13th week: Plane wave 1
14th week: Plane wave 2
15th week: Electromagnetic waves
16th week: Final examination

予習・復習内容

復習を中心に、理解を深めること。

Understand the lectures with review.

関連科目

電磁気学、半導体工学、量子力学Ⅰ

Electromagnetics, quantum mechanics

教科書に関する補足事項

教科書は指定しない。

参考書：ファインマン物理学Ⅲ、電磁気学（岩波書店）

No text book

A study-aid book: The Feynman Lectures on Physics vol. II, Electromagnetics; http://www.feynmanlectures.caltech.edu/II_toc.html (free download)

参考書 1	書名	電磁気学			ISBN	9784000077132
	著者名	ファインマン，レイトン，サンズ［著］；宮島龍興訳	出版社	岩波書店	出版年	1986

参考書に関する補足事項

http://www.feynmanlectures.caltech.edu/II_toc.html (free download)
http://www.feynmanlectures.caltech.edu/II_toc.html (free download)

達成目標

A. 共通事項
（1）電磁波に関する物理現象を理解し各種現象の定性的な説明ができる。
B. 各項目
（1）マクスウエルの式の意味を説明できる。
（2）ベクトルポテンシャルの意味を説明できる。
（3）ポインティングベクトルの意味を説明できる。
（4）平面波の位相、伝播定数、位相及び郡速度を説明できる。
（5）直線偏光、円偏光及び楕円偏光、干渉を説明できる。
（6）TE 波と TM 波の相違及び反射を説明できる。
（7）電磁波の干渉を説明できる。

A. Common
(1) Understand the physcal phenomena related to electromagnetic waves
B. each item
(1) Understand the physical meaning of Maxwell equation
(2) Understand the vector potential
(3) Understand the Poyinting vector
(4) Understand the phase, propagation constant, phase and group velocity.
(5) Understand linearly polarized wave, circular polarized wave, and elliptically polarized wave.
(6) Understand TE and TM wave.
(7) Understand interference of electromagnetic wave

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験・期末試験の合計を100%として評価する。
S：中間試験・期末試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：中間試験・期末試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：中間試験・期末試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：中間試験・期末試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上
Course evaluation
Evaluation is based on the interim and final examinations (100 points).

S: Total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

来室する場合は事前に E-mail でコンタクトのこと。
Please make an appointment by email.

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード
電磁波、光波、偏光、反射、屈折、干渉、回折
electromagnetic wave, vector potential, poynting vector, polarization, reflection, refraction

(B12620290)高周波回路工学[RF Circuit Engineering]

科目名[英文名]	高周波回路工学[RF Circuit Engineering]				
時間割番号	B12620290	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	大平　孝 OHIRA Takashi				
ナンバリング	ELC_BAC31020				

授業の目標

将来のエネルギシステムや情報機器の発展には高周波技術が益々重要となる。これに資する新しいハードウェアを開発するには、高周波信号の振る舞いに対する深い洞察力ならびに新しいトポロジを発想する先見力を養うことが必須である。本科目では高周波工学の基礎を学ぶとともに、具体的回路網を例に挙げてその理解を深める。

Learn the theory on radio-frequency circuits including the concepts of immittance, Smith chart, multiple-port network parameters, matrix expressions, power transfer, and their mathematical formulations.

授業の内容

第1週　電圧電流の複素数表現・入射反射表現・オイラーの公式
第2週　1ポート回路のイミタンス・反射係数・スミスチャート
第3週　多ポートへの次元拡張とポートパラメータの行列表現
第4週　抵抗と FET からなる基本2ポート回路の S/Y/Z 行列
第5週　多ポート回路の直列並列接続
第6週　回路の対称性と励振モード
第7週　線形2ポート回路の設計
第8週　イミタンス行列の直感的導出法
第9週　ウィルキンソン分配合成
第10週　直交ハイブリッドとマジックティー
第11週　電源から最大電力を得る最適負荷イミタンス
第12週　集中定数リアクタンス素子による整合
第13週　伝達系の入力出力同時整合
第14週　2ポート kQ 積と最大電力伝達効率
第15週　メビウス変換とイミタンス測定
第16週　定期試験

1: Complex analysis of voltage and current
2: One-port immittance on Smith chart
3: Dimensional expansion of port parameters
4: S/Y/Z matrices for basic two-port circuits
5: Series and parallel connections of multi-port network
6: Symmetric circuit analysis
7: Linear two-port design
8: Serendipitous way to find an immittance matrix
9: Wilkinson power divider and combiner
10: Quadrature hybrid and magic Tee
11: Maximum available power and optimum load
12: Impedance matching by lumped-constant elements
13: Two-port simultaneous matching
14: Two-port kQ product and maximum power transfer efficiency
15: Moebius transformation for immittance measurement
16: Semester exam

予習・復習内容

予習・復習内容
　毎回の授業ノートで復習し、
　次回の内容について予習しておくこと（予習方法は授業で説明する）

Do the homework exercise on the notebook after every lesson. Be advised to prepare for the next.

関連科目

電子回路 I、電子回路 II、集積回路工学

Electronic circuit I, Electronic circuit II, Integrated circuit engineering

教科書に関する補足事項

教科書は使わない。ノート講義。

Live lecture on the blackboard without resort to textbooks.

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 高周波イミタンスと反射係数の関係をスミス図表上で表示できる。
(2) 2／3／4ポート回路図から S パラメータを計算できる。
(3) 複雑な回路構成を基本構成に分解してその振る舞いを考察できる。
(4) 電源と負荷を最適整合させる回路を設計できる。
(5) キャリブレーションの概念を用いてイミタンスを正確に測定する方法を説明できる。

Understand the theory to:
(1) Plot an immittance on Smith chart
(2) Estimate S parameters from 2/3/4-port schemes
(3) Analyze complicated network behaviors by circuit decomposition
(4) Design a circuit to match source and load
(5) Accurately measure an immittance exploiting Moebius transformation

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

設定目標に対する達成度を総合的に評価する試験（100点満点）で評価 する。

A: 80 点以上
B: 65 点以上
C: 55 点以上

A: Obtained total points of exam 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

事前にアポイントを取ること
Make an appointment beforehand.

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード

高周波、回路、インピーダンス、S パラメータ、スミスチャート
Radio frequency, circuit, immittance, S parameter, Smith chart

(B12620300)半導体工学Ⅰ[Semiconductor Electronics 1]

科目名[英文名]	半導体工学Ⅰ[Semiconductor Electronics 1]				
時間割番号	B12620300	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	澤田　和明 SAWADA Kazuaki				
ナンバリング	ELC_BAC34020				

授業の目標

半導体材料の基礎事項について講義する。引き続き、半導体エレクトロニクスの基本デバイスであるPN接合を取り上げ、その動作原理を習得する。

The purpose of this class is to provide an introduction to physics of silicon materials and deal with p-n junction, which are the building block of most important semiconductor devices.

授業の内容

1～5週目　半導体物理の初歩についての以下の内容
・固体のバンド理論、電子および正孔濃度
・フェルミ・ディラックの分布関数
・平衡状態での重要な式、電子と正孔の輸送
6～10週目　非平衡状態の半導体についての以下の内容
・注入、再結合過程の物理
・低水準注入における寿命、表面再結合
・再結合－発生中心のソース
11～15週目　PN接合のついての以下の内容
・階段接合の空間電荷領域
・キャパシタンス－電圧特性
・電流－電圧特性、接合の降伏
16週目　定期試験

1-5 week: Elements of Semiconductor Physics
* The band theory of solids
* Electrons and Holes in Semiconductors
* Fermi-Dirac Distribution Function
* Important Formulas for Semiconductors in Equilibrium
* Transport of Electrons and Holes

6-10 week: Semiconductors under Non-Equilibrium Conditions
* Injection
* Kinetics of the Recombination Process
* Lifetime in Low-Level Injection
* Surface Recombination
* Origin of Recombination-Generation Center

11-15 week: p-n Junction
* Space-Charge Region for Step Junctions
* Capacitance-Voltage Characteristics
* Current -Voltage Characteristics
* Junction Breakdown

予習・復習内容

Homework is imposed after the class.

関連科目

関連科目：半導体工学Ⅱ、固体電子工学Ⅱ

Semiconductor Electronics 2

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	半導体デバイスの基礎			**ISBN**	
	著者名	難波進　監修、岸野正剛　著	**出版社**	オーム社	**出版年**	
参考書 2	**書名**	「半導体デバイスの基礎」			**ISBN**	4-274-13018-5
	著者名	グローブ（垂井康夫監訳）	**出版社**	オーム社	**出版年**	平成 25
参考書 3	**書名**	Physics and Technology of Semiconductor Devices			**ISBN**	0-471-32998-3
	著者名	A.S.Grove	**出版社**	Wiley	**出版年**	1967

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
（1）固体のバンド構造に対して基礎的に理解する。
（2）半導体の平衡状態と非平衡状態に関する物理的描像を会得する。
（3）PN接合の基本特性を理解し、エネルギバンド図を描くことができる。
B. 半導体の非平衡状態
（1）少数キャリヤおよび光による注入現象を定性的に理解する。
（2）少数キャリヤの寿命について、物理的概念を把握する。
C. 種々の接合特性
（1）PN接合における空間電荷領域を物理的に理解し、接合容量を定量的に求める。
（2）PN接合における整流特性をバンド図から定性的に理解するとともに、実際のPNダイオードの電圧電流特性（整流特性）を定量的に算出する。
（3）PN接合の降伏現象および過渡応答について定性的に理解する。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポートを15%、期末試験を85%とし、これらの合計で評価する。

総合点 100 点満点で、評価 A:80 点以上，評価 B:65 点以上，評価 C:55 点以上。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

C-605（澤田和明教員室）、Tel　0532-44-6739（内線6739）、E-mail;sawada@ee.tut.ac.jp

C-605、Tel 0532-44-6739 、E-mail;sawada@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時（メールなどによるアポイント）

I am open to discussion at any time. Appointments are necessarily by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B12620310)組込みシステム[Embedded Systems]

科目名[英文名]	組込みシステム[Embedded Systems]				
時間割番号	B12620310	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	市川　周一 ICHIKAWA Shuichi				
ナンバリング	ELC_BAC35020				

授業の目標

各種の機器に組み込まれ，それを制御するための計算機システムを『組込みシステム』とよぶ．今日の電気・情報製品の多くは組込みシステムで制御されており，組込みシステムの知識は電子情報分野の技術者の基礎教養になっている．本講義では，組込みシステムの諸側面（特にオペレーティングシステム）について学び，実務に必要な基礎事項を理解することを目的とする．

Embedded systems are the computer systems, which are embedded in various equipment. Since many electronic and information devices are now controlled by their embedded systems, the knowledge of embedded systems is essential for the engineers of electronics and information technology.

This lecture introduces various aspects of embedded systems. The purpose of this lecture is to understand the details of embedded software and operating systems.

授業の内容

第 1 週　ガイダンス，概論
第 2～3 週　組込みプロセッサ
第 4～5 週　オペレーティングシステムの基礎
第 6～7 週　カーネル
第 8～9 週　入出力とファイルシステム
第 10～11 週　プロセス管理と並行処理
第 12～13 週　メモリ管理と仮想記憶
第 14 週　ネットワーク
第 15 週　組込みシステムの事例
第 16 週　期末試験

Week 1: Guidance, Introduction
Week 2, 3: Embedded hardware
Week 4, 5: Basics of operating systems
Week 6, 7: Kernel
Week 8, 9: I/O and File systems
Week 10, 11: Process management and concurrent processing
Week 12, 13: Memory management and virtual memory
Week 14: Network
Week 15: Applications of embedded systems
Week 16: Examination

予習・復習内容

講義前に教科書の該当部分を一読してから出席すること．講義後もノートを読み直して，理解できなかった部分を残さないようにすること．

Before attending to the lecture, read the corresponding section of the textbook.

関連科目

講義は基本事項の確認から行うが，コンピュータとプログラミングの基礎を理解していることを前提とする．具体的には，専門I「計算機アーキテクチャ概論」「プログラミング演習 I」専門 II「数値解析」に相当する知識を前提とする．

Prerequisite: the basics of computer system and programming.
The students are expected to have finished the following subjects: computer architecture, computer programming.

教科書 1	**書名**	IT Text オペレーティングシステム（改訂２版）		**ISBN**	9784274221569
	著者名	野口健一郎	**出版社** オーム社	**出版年**	2002

教科書に関する補足事項

講義の主要部分は教科書に沿って行われる．

同等の英語テキストを参考書欄に掲載したので，意欲のあるものはぜひ英語テキストを読んでもらいたい.
Most of the lectures follow the contents of the textbook.
English textbook is found in the Reference part of this document.

参考書 1	書名	Operating systems : internals and design principles			ISBN	1-292-06135-9
	著者名	William Stallings	出版社	Pearson	出版年	2015

参考書に関する補足事項

達成目標
(1) 組込みシステムの基礎的な概念と用語を理解する.
(2) 組込みシステムの各項目に関して幾つかのテーマを自主的に選択し，具体的な実現に関して調査を行って，結果をレポートにまとめる.

(1) To understand the basic concepts and technical terms of embedded systems
(2) To investigate the selected subjects in embedded systems, and to write reports on these subjects.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
基本的にレポート課題 50%，期末試験 50%とし，これらの合計で評価する.
レポートは講義の進捗に合わせて随時出題する.
Reports (50%) and Term examination (50%)

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.ccs.ee.tut.ac.jp/~ichikawa/lecture/
http://www.ccs.ee.tut.ac.jp/~ichikawa/lecture/

オフィスアワー
E-mail による質問を随時受け付ける. 面談希望者には，講義時や E-mail により相談場所と時間を打ち合わせる.

The communication via e-mails are welcome. Make a reservation via e-mail before coming to meet the lecturer.

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード
オペレーティングシステム
operating systems

(B12620320)信号解析論[Signal Processing]

科目名[英文名]	信号解析論[Signal Processing]				
時間割番号	B12620320	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	田村　昌也 TAMURA Masaya				
ナンバリング	ELC_BAC35020				

授業の目標

信号解析技術は，通信・制御・音声・画像・計測などの幅広い分野のシステムを実現する上で必須である．本講義を通じて信号解析，特にディジタル信号処理の原理本質を理解し，高度な専門分野のシステムへ応用するための基礎力を身につけることを目標とする．

Signal processing is essential to achieve the system in various fields such as communication, control, imaging, and measurement. The aim of this lecture is to understand the fundamental principle of digital signal processing and acquire the basics to apply to the above.

授業の内容

１週目　信号解析の基本概念
２週目　フーリエ級数
３週目　フーリエ変換
４週目　信号の標本化
５週目　離散時間信号
６週目　線形時不変システム（インパルス応答とたたみ込み）
７週目　線形時不変システム（線形差分方程式と周波数応答）
８週目　中間試験
９週目　z 変換
１０週目　z 変換
１１週目　離散フーリエ変換
１２週目　離散フーリエ変換
１３週目　FFT と窓関数
１４週目　ディジタルフィルタ
１５週目　ディジタルフィルタの設計
１６週目　期末試験

1st wk. Fundamental concept of digital signal processing
2nd wk. Fourier series
3rd wk. Fourier transform
4th wk. Sampling theorem
5th wk. Discrete-time signal
6th wk. Linear time-invariant system (Impulse response and Convolution)
7th wk. Linear time-invariant system (Linear difference equation and Frequency response)
8th wk. Mid-term exam
9th wk. z transform
10th wk. z transform
11th wk. Discrete Fourier transform
12th wk. Discrete Fourier transform
13th wk. Fast Fourier transform and Window function
14th wk. Digital filter
15th wk. Design of Digital filter
16th wk. Term-end exam

予習・復習内容

毎回の授業ノートを作成し，復習，ならびに次回の内容について予習しておくこと．

As each lecture provides its supporting materials, students are required to review previous classes and study in advance for the next class.

関連科目

通信工学Ⅰ，通信工学Ⅱ

Communication Engineering 1, Communication Engineering 2

教科書に関する補足事項

教科書は使用しない．ノートによる講義．

There is no textbook. Lecture will be only delivered by chalk talk.

参考書 1	**書名**	Introduction to Signal Processing			**ISBN**	978-0132091725
	著者名	Sophocles J. Orfanidis	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	
参考書 2	**書名**	ディジタル信号処理の基礎			**ISBN**	4-7856-1155-3
	著者名	樋口龍雄	**出版社**	昭晃堂	**出版年**	
参考書 3	**書名**	基本を学ぶ信号処理			**ISBN**	978-4-274-21265-9
	著者名	浜田望	**出版社**	オーム社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

参考書 4 書名「ディジタル信号処理（第2版）」著者名：萩原将文　出版社：森北出版
ISBN：978-4-627-70132-8

参考書 4 書名「ディジタル信号処理（第2版）」著者名：萩原将文　出版社：森北出版
ISBN：978-4-627-70132-8

達成目標

(1) 連続時間システムと離散時間システム，アナログ信号処理とディジタル信号処理の違いを説明できる.
(2) 離散時間システムにおけるたたみ込みとインパルス応答を理解できる.
(3) 離散時間システムを差分方程式で記述し，周波数応答を求めることができる.
(4) z 変換の定義，性質を理解できる.
(5) 離散フーリエ変換の定義，性質を理解できる.
(6) ディジタルフィルタをたたみ込みおよび差分方程式と表現できる.
(7) ディジタルフィルタの周波数特性を理解できる.
(8) ディジタルフィルタを仕様に基づいて設計できる.
(1) Differences between continuous-time and discrete-time signals, analog and digital signal processing can be explained.
(2) Convolution and Impulse response in Discrete-time system can be understood.
(3) Linear difference equation and Frequency response in Discrete-time system can be extracted.
(4) Definition and nature of z transform can be understood.
(5) Definition and nature of Discrete Fourier transform can be understood.
(6) Digital filter can be expressed by convolution and Linear difference equation.
(7) Frequency response in digital filter can be understood.
(8) Digital filter can be designed based on the specification.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標の全体の達成度を総合的に評価する試験（100 点満点）で評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

担当教員室　：C-405
Eメールアドレス：電磁波工学研究室のウェブサイト
http://www.comm.ee.tut.ac.jp/em/index.html
を参照.
Office:C-405
E-mail:tamura@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.comm.ee.tut.ac.jp/em/index.html
http://www.comm.ee.tut.ac.jp/em/index.html

オフィスアワー

随時対応．ただし，メールや講義後などに事前にアポイントメントを取ることが望ましい.
As needed. It is preferable to make an appointment in advance.

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード
信号解析，z 変換，フーリエ変換，伝達関数，たたみ込み演算
Signal processing, z-transform, Fourier transform, Transfer function, Convolution

(B12622020)高電圧工学[High Voltage Engineering]

科目名[英文名]	高電圧工学[High Voltage Engineering]				
時間割番号	B12622020	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	穂積　直裕 HOZUMI Naohiro				
ナンバリング	ELC_BAC33020				

授業の目標

高電圧技術は電力機器から電子機器まで、さまざまな電気システムに恩恵を与えているが、扱いを誤るとシステムの安全性・信頼性を大きく低下させる。本講義では、高電圧絶縁設計に要求される高度の技術について基礎から応用までを学ぶ。

High voltage technology gives benefits in various electric and electronic systems from an electrical power apparatus to electronic equipment. But its safety and reliability will be greatly reduced when we take their wrong handling. In this lecture, the high voltage and the electrical insulation technologies from the fundamentals to the applications will be explained.

授業の内容

1. 高電圧工学の学問上および技術上の位置づけ
　ー 現代生活とエネルギー　ー
2. 高電圧と人体の安全確保
3-7. 高電圧工学の基礎
　静電界の計算および気体・固体・液体の電気絶縁物性
8-9. 高電圧機器の絶縁
　変圧器、コンデンサ、電力ケーブル、回転機、送変電機器、碍子・ブッシング
10. 高電圧絶縁設計
　過電圧、絶縁協調、統計処理、信頼性と安全率
11-12. 高電圧機器絶縁評価法
　絶縁評価方法の種類、絶縁破壊試験、耐電圧試験、絶縁劣化診断試験
13. 高電圧発生装置
　インパルス電圧、交流電圧、直流電圧の発生
14. 高電圧測定法
　電圧、電流波形、各種測定方式
15. 高電圧応用
　高電界応用、静電気応用、放電応用技術
16. 期末試験

1. The relation between the high voltage engineering and our modern life
2. High voltage technology and the the safety of human body
3-7. The basics of high voltage engineering
The electrostatic field analysis, electrical insulation properties of gaseous, liquid and solid dielectrics
8-9. The electrical insulation technologies in the high voltage apparatus
High voltage transformers, capacitors, cables, generator and motors, insulators and bushings
10. High voltage insulation design
Overvoltages and electrical insulation, insulation coordination, statistical analysis and evaluation, reliability and safety factor
11-12. Electrical insulation test and diagnosis of high voltage apparatus
Kind of the electrical insulation evaluation method, breakdown test, voltage withstand test, electrical insulation degradation and their diagnosis
13. High voltage generator
Generation of impulse, AC and DC high voltage and their principles
14. High voltage measurements
The voltage and its waveform, current and its waveform, various measurement system
15. Applications of high voltage technology
Application of high electric field technology, electrostatic application, application of electric discharge technologies
16. Final examination

予習・復習内容

復習を中心として講義に関する自宅学習を行うこと。

Home study mainly on the review of the lecture is requested.

関連科目

電磁気学・電気回路論

Electromagnetics, Electric circuits

教科書 1	**書名**	高電圧・絶縁工学			**ISBN**	
	著者名	小崎正光編	**出版社**	オーム社	**出版年**	

教科書に関する補足事項

必要に応じて、web 等により資料を配付。

Documents will be distributed through website if necessary.

参考書に関する補足事項

達成目標

A.高電圧工学の学問上および技術上の位置づけ、高電圧と人体の安全確保

(1) 高電圧工学が生かされる技術分野について知る。

(2) 高電圧を扱う上での危険と安全対策について理解すること。

B.静電界の計算

(1) 有限要素法、差分法、電荷重畳法など、高電圧機器の設計に必要な電界計算法の基礎を理解すること、

(2) 有限要素法および有限要素法で 1 次元の簡単な電界計算を実施すること。

C.気体・固体・液体の電気絶縁物性

(1) 気体、固体、液体絶縁体に高電圧が印加されたときの電気伝導、絶縁破壊のメカニズムを理解すること。

D.高電圧機器の絶縁

変圧器、コンデンサ、電力ケーブル、回転機、送変電機器、碍子・ブッシングなど、高電圧機器の構造を知り、特に絶縁設計上のポイントを理解すること。

E.高電圧絶縁設計と機器絶縁評価法

(1) 電力ケーブルを例に劣化を考慮した簡単な絶縁設計の考え方を理解すること。

(2) 絶縁破壊試験、耐電圧試験、絶縁劣化診断試験の概要を理解すること。

F.高電圧発生装置

交流電圧、衝撃電圧および直流電圧を発生させる試験用高電圧電源についてその動作を理解すること。また、簡単な回路については仕様に応じて回路定数を設定できること。

G.高電圧測定法

(1) 交流電圧、衝撃電圧および直流電圧(または電流)を、波形がもつ周波数成分に応じて正しく測定できる測定系の構造と回路を理解すること。

H.高電圧応用

電力機器以外の高電圧工学応用分野について理解し、電気工学を志す者が高電圧技術を身につけておくことの重要性を理解すること。

A. The relation between the high voltage engineering and our modern life

(1) To know the engineering field where the high voltage technology plays an important role.

(2) To understand the danger of high voltage and its protection method to keep safety of human body.

B. Electrostatic field analysis

(1) To understand the methodology and the principle of electrostatic field analysis such as finite-element method, finite-difference method, substitute charge method.

(2) To analyze one-dimensional electric field with finite-element method, finite-difference method.

C. Electrical insulation properties of gaseous, liquid and solid dielectrics

(1) To understand electrical conduction and breakdown mechanisms of gaseous, liquid and solid dielectrics under the high field application.

D. Electrical insulation technologies in high voltage apparatuses

(1) To know and to understand the structures and the key points of electrical insulation design of high voltage apparatuses such as high voltage transformers, capacitors, cables, generator and motors, insulators and bushings.

E. Electrical insulation design of high voltage apparatuses and the tests and the diagnosis

(1) To understand how to design the high voltage electrical insulation with consideration of the degradation, for example, in the simple case of power cables

(2) To understand the outline of electrical insulation tests such as breakdown tests, voltage withstand tests, diagnosis of electrical insulation degradation.

F. High voltage generator

(1) To understand the principle and the performance of high voltage testing generators such as impulse, AC and DC generators.

(2) To design the electric circuit parameters in the simple case.

G. High voltage measurements

To understand the principle and the circuit structure of proper measurement system of the impulse, AC and DC high voltage, high current and their waveforms with consideration of their frequency components.

H. Applications of high voltage technology
To know and to understand the various application of high voltage and high electric field technology outside the electric power apparatuses such as electrostatic application, application of electric discharge technologies and their importance.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末試験（100点満点）により評価し、55点以上を合格とする。
（A：80点以上，B：65点以上，C：55点以上）

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
講義を4回以上、無断欠席したものは、期末試験の受験資格がない。
（欠席せざるを得ない場合は、事前にメールにて欠席理由とともに連絡のこと）

Registered students are requested to attend more than 12 lectures.
E-mail pre-notification of the absence with its reason will not be counted as absence.

その他
総合研究実験棟　F2-302
E-mail: hozumi@icceed.tut.ac.jp

Office: F2-205
E-mail: hozumi@icceed.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
講義終了後または随時（E-mail で時間を事前に問い合わせて下さい）。
Please contact before or after the lectures, or make appointment by e-mail

学習・教育到達目標との対応

キーワード
高電圧、電界計算、誘電体、絶縁体、誘電特性、電気絶縁特性、電気伝導、絶縁破壊、絶縁劣化、電力機器、絶縁設計、計測
High voltage, electric field analysis, dielectrics, electrical insulating materials, dielectric properties, electrical insulation properties, electric conduction, electric breakdown, insulation degradation, power apparatuses, insulation design, high voltage measurements

(B12622030)電離気体[Ionized Gas]

科目名[英文名]	電離気体[Ionized Gas]				
時間割番号	B12622030	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	滝川　浩史 TAKIKAWA Hirofumi				
ナンバリング	ELC_BAC33020				

授業の目標

電気・電子工学分野においてよく利用されている電離気体・プラズマの基礎と応用について修学する。まず、電離気体中の衝突過程を学び、気体放電の開始について理解する。次にプラズマの性質やプラズマ振動、プラズマの生成や測定について理解を深め、放電プラズマの代表的な応用について学び，理解する。

Students learn the basics of ionized gas, plasma, electrical discharges and related matters.

授業の内容

(1)電離気体（プラズマ）とは（2 回）
　自然界のプラズマ現象、近世のプラズマ研究と応用、プラズマとは、現在のプラズマ応用
(2)電離気体中の衝突現象（3 回）
　速度分布関数、衝突過程、原子の電子状態、分子衝突、速度分布平均、クーロン衝突
(3)放電の開始と定常状態（2 回）
　直流放電、高周波・マイクロ波放電
(4)プラズマの性質（3 回）
　プラズマの定義、流体方程式、輸送係数、デバイ遮へい、プラズマ密度・温度、シース
(5)放電応用：生成（2 回）
　直流放電、高周波放電、マイクロ波放電、粒子生成とエネルギーバランス
(6)放電応用：利用（3 回）
　アーク放電，グロー放電，コロナ放電
(7)定期試験

※教科書で予習してください。教科書，ノート，資料で復習してください。
※理解を深めるためにレポート課題を出します。
(1) About the plasma and ionized gas (2 weeks)
(2) Collision phenomena in ionized gas (3 weeks)
Collision process, electronic state of the atom, molecular collision, coulomb collision
(3) Generation and steady state of the electric discharge (2 weeks)
Direct current electric discharge, high frequency, microwave electric discharge
(4) Characteristics of the plasma (3 weeks)
Definition, Transportation coefficient, Debye shielding, density, temperature, sheath
(5) Electric discharge: Generation (2 weeks)
DC/AC discharge, high frequency discharge, a microwave discharge, particle generation and energy balance
(6) Electric discharge: Typical (3 weeks)
Arc, glow, corona
(7) Examination

-Please prepare for and review the lessons with textbook and notebook.
-Request reports to obtain deep understanding.

予習・復習内容

授業の最初に前回の復習，授業の最後に次回の予習について説明する。
I review the last time in the beginning of the class and explain next preparations for lessons in the last of the class.

関連科目

電磁気学，高電圧工学，エネルギー創生

電磁気学，高電圧工学，エネルギー創生

教科書 1	**書名**	インターユニバーシティシリーズ　プラズマエレクトロニクス	**ISBN**	

	著者名	菅井秀郎	出版社	オーム社	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	高電圧プラズマ工学			**ISBN**	
	著者名	林泉	**出版社**	丸善	**出版年**	
参考書 2	**書名**	放電プラズマ工学			**ISBN**	
	著者名	八坂保能	**出版社**	森北出版	**出版年**	

参考書に関する補足事項

以上の参考書は一例であり，他に有益な参考書は多数あり。
以上の参考書は一例であり，他に有益な参考書は多数あり。

達成目標

(1) 電離気体とは何かについて、身近にある電離気体、プラズマの色々な性質、電離気体の応用について知識を獲得し理解する。
(2) 微視的にプラズマを理解するため、単一粒子の運動、衝突の考え方、弾性衝突で失うエネルギー、原子の励起と電離、分子の励起と解離・電離について知識を獲得し理解する。
(3) 電離気体がどう生成するかを理解するため、タウンゼントによる気体の絶縁破壊、パッシェンによる放電開始電圧、プラズマ状態への移行、タウンゼント理論の限界について知識を獲得し理解する。
(4) 放電用の高電圧電源を直流、パルス、高周波に分けて知識を獲得し理解する。
(5) 巨視的にみたプラズマを理解するため、分布関数と平均値、プラズマ基礎方程式、電気的中性、プラズマの分布と流体方程式、固体に接するプラズマシースについて知識を獲得し理解する。
(6) 放電におけるプラズマの生成と粒子バランスとパワーバランスを学び、理解する。
(7) アーク放電，グロー放電，コロナ放電など代表的な放電形態を利用した様々な放電応用について知識を獲得し理解する。
Understand the following matters.
(1)Basics of ionized gas and plasma
(2)Microscopic and macroscopic phenomena of the particles in ionized gas
(3)Townsend theory and Paschen's law
(4)Arc, glow, corona, DC, RF, Microwave plasmas

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的にすべての講義に出席したものにつき，試験(80%)とレポート(20%)で評価する
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 65%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 65 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

C-311（内線 6727）
takikawa@ee.tut.ac.jp
C-311（内線 6727）
takikawa@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ

www.arc.ee.tut.ac.jp
www.arc.ee.tut.ac.jp

オフィスアワー

随時
At all time

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力
（D4）4つのコースの中の専門コースについて，幅広い知識と運用能力

(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの１つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力
（D4）４つのコースの中の専門コースについて，幅広い知識と運用能力

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード
電離気体、プラズマ、放電
ionized gas, plasma, electric discharge

(B12623010)半導体工学Ⅱ[Semiconductor Electronics 2]

科目名[英文名]	半導体工学Ⅱ[Semiconductor Electronics 2]				
時間割番号	B12623010	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	関口　寛人 SEKIGUCHI Hiroto				
ナンバリング	ELC_BAC34022				

授業の目標

半導体工学Ⅰの理解の上にたって、基本的な半導体素子(トランジスタ、光デバイス)の動作原理と特性を理解する。

Understand fundamental principles of operation of semiconductor devices such as bipolar junction transistor, metal-oxide-semiconductor field-effect transistor, light-emitting diodes and laser diodes.

授業の内容

1週目：ガイダンス、PN 接合
2－4週目：バイポーラトランジスタ
5－6週目：半導体の表面理論（MOS 構造）
7－11週目：表面電界型トランジスタ
8週目：中間試験
12－15週目：光デバイス(光検出器，太陽電池，LED，レーザ)
16週目：定期試験

1st week: Guidance, pn junction
2nd – 4th week: Bipolar junction transistor
5th – 6th week: Metal-oxide-semiconductor capacitor
7th – 11th week: MOS field-effect transistor
8th week: Midterm exam
12th – 15th week: Optical devices (Light-emitting diode, Laser diode, Photodiode)
16th week: Final exam

予習・復習内容

授業後に講義内容について復習を行っておく

Review the contents of each lecture

関連科目

半導体工学Ⅰ、固体電子工学Ⅰ、固体電子工学Ⅱ
Semiconductor Electronics 1, Solid State Electronics 1, Solid State Electronics 2

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	半導体デバイス			**ISBN**	978-4782855508
	著者名	S.M. Sze	**出版社**	産業図書	**出版年**	1987
参考書 2	**書名**	半導体デバイスの基礎			**ISBN**	978-4274130182
	著者名	Andrew S. Grove	**出版社**	オーム社	**出版年**	1995
参考書 3	**書名**	Semiconductor Devices -Physics and Technology-			**ISBN**	978-0-470-87367-0
	著者名	S.M. Sze	**出版社**	WILEY	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) バイポーラ・トランジスタの電流利得と動作モードについて説明できる.
(2) MOS キャパシタのバンド構造を描くことができ，反転状態における空乏層幅やしきい値電圧が理論的に導くことができる.
(3) MOSFET の基本特性を理論的に説明でき，MOSFET の動作の物理的限界について理解している.
(4) 光デバイス(発光ダイオード，レーザダイオード，光検出器)の構造・原理について説明ができる.
(1) Understand the current gain and modes of operation of bipolar junction transistor
(2) Describe the band structure of MOS capacitor and calculate the maximum width of the depletion layer and threshold voltage

(3) Understand the fundamental characteristic of MOSFET and the physical limits of operation (Short-Channel effect, threshold voltage roll-off, punch-through) of semiconductor devices
(4) Understand the fundamental principle and device structures of optical devices (Light-emitting diode, Laser diode, and Photodiode)

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
達成目標の全体の達成を総合的に評価する中間試験(40%)、期末試験 40%)と演習問題・レポート(20%)の合計(100 点)で評価する。
A: 80 点以上、B: 65 点以上、C: 55 点以上、D:55 点未満。

Course Evaluation
Evaluation is based on some reports (20 points), a midterm exam (40 points) and a final exam (40 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher
B: Total points of exam and reports, 65 or higher
C: Total points of exam and reports, 55 or higher

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
部屋:C-610
電話:0532-44-6744
E メール:sekiguchi@ee.tut.ac.jp
Room: C-610
TEL: 6744
E-mail: sekiguchi@ee.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://www.int.ee.tut.ac.jp/oeg/
http://www.int.ee.tut.ac.jp/oeg/

オフィスアワー
講義終了後、もしくはメール等でアポイントを取った上でその他の時間も随時対応する。
End of lecture or Please contact by an e-mail

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B12624020)通信工学Ⅱ[Communication Engineering 2]

科目名[英文名]	通信工学Ⅱ[Communication Engineering 2]				
時間割番号	B12624020	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	上原　秀幸, 大平　孝 UEHARA Hideyuki, OHIRA Takashi				
ナンバリング	ELC_BAC35020				

授業の目標

本講義ではまず、無線通信システムの全体構成を簡単に復習し、送受信機と電波伝搬空間とのインターフェースである伝送線路とアンテナについて学ぶ。次に、陸上移動通信における電波伝搬特性とそれがディジタル通信方式に与える影響について学ぶ。高周波回路工学で学んだ多ポート理論ならびに通信工学Ⅰで学んだ変復調技術と合わせ、無線通信システムを一体化して捉え理解することを目標とする。

The class consists of two parts. The first half starts with the hardware configuration for wireless communication systems. Then we learn the transmission lines and antennas as the interface between the transmitter-receiver and the space for radio wave propagation. The second half is intended for learning the radio wave propagation characteristics and their effects on the performance of land mobile communication systems.

Through this class, students can understand wireless communication systems, integrated with multi-port theory and modulation/demodulation techniques provided in the previous grade.

授業の内容

1 週目：無線通信システムのブロック構成と各部の役割
2 週目：分布定数線路における信号伝搬
3 週目：開放・短絡スタブの特性と役割
4 週目：方べき定理とインピーダンス変換
5 週目：アンテナの動作原理と性能指標
6 週目：アンテナの複数配列による指向性形成
7 週目：ステアリングベクトルと電波方向推定
8 週目：中間試験
9 週目：陸上移動電波伝搬特性の概要
10 週目：自由空間伝搬損と無線回線設計
11-12 週目：電波伝搬特性 (1) -フラットフェージング-
13-14 週目：電波伝搬特性 (2) -周波数選択性フェージング-
15 週目：ダイバーシチ技術
16 週目：定期試験

前半を大平が、後半を上原が担当する。

1: Block diagram of wireless communication systems
2: Wave propagation on distributed-constant transmission lines
3: Open and short stub
4: Power-point theorem for impedance matching
5: Wave radiation from antennas
6: Array antennas for beamforming
7: Steering vector for direction-of-arrival estimation
8: Midterm exam
9: Introduction to radio wave propagation in land mobile communications
10: Free space path loss and link budget design
11-12: Flat fading
13-14: Frequency selective fading
15: Diversity techniques
16: Final exam

The first half is provided by Prof. Ohira, and the second half by Prof. Uehara.

予習・復習内容

前半：毎回の授業にて予習復習の要点を示す。
後半：講義資料等を DreamCampus で公開しているので、予習・復習に活用すること。予習：講義資料を読み，空欄を埋める。復習：演習問題を解き直す。
1st half: Provides a homework exercise for review and a brief prologue for next lesson.
2nd half: Lecture notes are available at DreamCampus. Fill in the blanks on the handouts for preparation. Solve again the

problems for review.

関連科目

線形代数、確率統計等の数学科目，通信工学 I、信号解析論、高周波回路工学

Linear Algebra, Probability and Stochastic Process, Communication Engineering 1, Signal Processing, and RF Circuit Engineering.

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。

前半：ノート講義。一部資料を配布することがある。

後半：講義資料等を DreamCampus で公開している。

No textbook

1st half: Live lecture on the black board.

2nd half: Lecture notes are available at DreamCampus.

参考書 1	**書名**	移動通信技術の基礎			**ISBN**	978-4526036309
	著者名	横山光雄著	**出版社**	日刊工業新聞社	**出版年**	1994
参考書 2	**書名**	ディジタル無線通信入門			**ISBN**	978-4563014872
	著者名	高畑文雄編著	**出版社**	培風館	**出版年**	2002
参考書 3	**書名**	Microwave Engineering			**ISBN**	
	著者名	David M. Pozar	**出版社**	Wiley	**出版年**	
参考書 4	**書名**	Digital communications : fundamentals and applications			**ISBN**	0-13-091722-2
	著者名	Bernard Sklar	**出版社**	Prentice-Hall International	**出版年**	2001
参考書 5	**書名**	Wireless communications			**ISBN**	978-0-521-83716-3
	著者名	Andrea Goldsmith	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項

達成目標

前半

(1) 無線通信システムの構成を説明できる
(2) 分布定数線路のポートパラメータが計算できる
(3) 開放・短絡スタブを使ってフィルタが設計できる
(4) 線路を用いたインピーダンス変換が設計できる
(5) アンテナの性能指標を説明できる
(6) アレーアンテナの指向性が計算できる
(7) 電波が到来する方向を計算できる

後半

(1) 陸上移動電波伝搬の統計的な性質を理解できる
(2) 自由空間伝搬損から回線設計できる
(3) フェージングの発生メカニズムと統計的性質を説明できる
(4) フェージング対策技術としてのダイバーシチ技術を理解できる

1st half

(1) Understand the configuration of wireless communication systems
(2)Calculate the port parameters of transmission lines きる
(3) Design filter circuits employing open and short stubs
(4) Design impedance matching circuits employing transmission lines
(5) Understand the performance index of antennas
(6) Calculate the directivity of array antennas
(7) Estimate the direction of radio wave arrivals

2nd half

(1) Understand the stochastic properties of land mobile radio wave propagation.
(2) Calculate the free space path loss and link budget.
(3) Explain the mechanism and stochastic properties of both flat and frequency selective fading.
(4) Understand the diversity techniques.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験 50%、期末試験 50%とし、達成目標の全体の達成度を総合的に評価する。

A：達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Midterm 50%, Final 50%
A: Achieved all goals and obtained total points of both exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of both exams, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained total points of both exams, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験（中間試験と期末試験の両方）を受験しない者は履修放棄とする。
Students have to take both midterm and final exams, otherwise will not be graded.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時対応．ただし，メールや講義後などに事前にアポイントメントを取ることが望ましい
Appoint a time slot via email.

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学課程
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの１つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4) A broad range of expertise and the operational capability in one of the following four professional courses of study:
4) Information and Communication System Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of high-frequency, analog hardware, digital hardware, and networking for information, communication, control, and measurement systems.

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード

無線通信、移動通信、ディジタル通信、電波伝搬、アンテナ、高周波回路
Wireless communications, Radio wave propagation, Antennas, RF circuits

(B12624030)情報ネットワーク[Information Networks]

科目名[英文名]	情報ネットワーク[Information Networks]				
時間割番号	B12624030	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	上原　秀幸 UEHARA Hideyuki				
ナンバリング	ELC_BAC35022				

授業の目標

日頃何気なく利用している携帯電話網やインターネットを支えている情報通信ネットワーク、その要素技術の原理・構成・機能を理解するとともに、情報通信ネットワークの設計・評価に必要な基礎理論を習得することを目的とする。

The objective of this class is to acquire the basics of information networks such as the Internet and the cellular phone networks that we usually and widely use. Through this class, students can learn the fundamental principles, structures and functions of each component of networks, and also learn the basic theory necessary for designing and evaluating information networks.

授業の内容

1-2 週目：ネットワークアーキテクチャとプロトコル階層
3-4 週目：誤り制御技術（誤り検出・訂正）
5-6 週目：誤り制御技術（ARQ）
7 週目：中間試験
8-9 週目：メディアアクセス制御（ALOHA）
10-11 週目：メディアアクセス制御（CSMA と無線 LAN）
12-13 週目：ルーティング
14-15 週目：TCP とフロー制御
16 週目：期末試験
1-2: Network architecture and protocol hierarchies
3-4: Error controls (Error detection and correction)
5-6: Error controls (ARQ)
7: Midterm exam
8-9: Media access control (ALOHA)
10-11: Media access control (CSMA and wireless LAN)
12-13: Routing protocols
14-15: flow control and congestion control in TCP
16: Final exam

予習・復習内容

講義資料等を DreamCampus で公開するので、予習・復習に活用すること。
予習：講義資料を読み，空欄を埋める。
復習：演習問題を解き直す。
Lecture notes are avilable at DreamCampus.
Fill in the blanks on the handouts for preparation.
Solve again the problems for review.

関連科目

通信工学 I および II
Communication engineering 1 and 2

教科書に関する補足事項

講義資料等を DreamCampus で公開する
Lecture notes are avilable at DreamCampus.

参考書 1	**書名**	Data networks			**ISBN**	978-0132009164
	著者名	Dimitri Bertsekas, Robert Gallager	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	1992
参考書 2	**書名**	Computer networks			**ISBN**	978-0132126953
	著者名	Andrew S. Tanenbaum, David J. Wetherall	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 情報通信ネットワークの構成要素とその機能、プロトコル階層化の意義が理解できる。
(2) 誤り検出、訂正の原理を理解し実行できる。
(3) 再送制御の仕組みを説明できる。
(4) メディアアクセス制御（ALOHA や CSMA）の必要性と動作原理を説明でき、その性能を評価できる。
(5) 経路選択の仕組みを説明できる。
(6) TCP とフロー制御の動作原理を説明できる。
(1) Understand the fundamental components and their functions of information networks, and also understand the significance of protocol hierarchies.
(2) Understand the principles of error detection and correction and design them.
(3) Explain the mechanism of ARQ.
(4) Explain the mechanism of MAC protocols such as ALOHA and CSMA, and evaluate their performance.
(5) Explain the mechanism of routing algorithms.
(6) Explain the flow and congestion controls in TCP.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験 40%、期末試験 60%とし、達成目標の全体の達成度を総合的に評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Midterm 40%, Final 60%.
A: Achieved all goals and obtained total points of both exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of both exams, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained total points of both exams, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験（中間試験と期末試験の両方）を受験しない者は履修放棄とする。
Students have to take both midterm and final exams, otherwise will not be graded.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時対応．ただし，メールや講義後などに事前にアポイントメントを取ることが望ましい。
Appoint a time slot via email.

学習・教育到達目標との対応

(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの１つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。
(D4) A broad range of expertise and the operational capability in one of the following four professional courses of study:
4) Information and Communication System Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of high-frequency, analog hardware, digital hardware, and networking for information, communication, control, and measurement systems.

(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード

情報通信ネットワーク、無線 LAN、インターネット、プロトコル
Information and communication networks, Wireless LAN, Internet, Protocols

(B12630030)情報理論[Information Theory and Coding]

科目名[英文名]	情報理論[Information Theory and Coding]				
時間割番号	B12630030	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	渡辺　一帆 WATANABE Kazuho				
ナンバリング	ELC_BAC35022				

授業の目標

情報通信や情報処理、符号化、データ圧縮の基礎となるシャノンにより確立された情報理論について講述する。

The objective of this course is to learn the fundamental theory of information communication, processing, coding, and compression, which was established by Shannon and called information theory.

授業の内容

第 1 週:情報理論とは、確率・統計の基礎
第 2 週:エントロピーとダイバージェンス
第 3 週:相互情報量
第 4 週:漸近的等分割性
第 5 週:各種の情報源
第 6 週:符号の基本的性質
第 7 週:情報源符号化法
第 8 週:逐次符号化法
第 9 週:中間試験
第 10 週:通信路のモデル
第 11 週:通信路容量
第 12 週:通信路符号化
第 13 週:連続情報源のエントロピー
第 14 週:連続情報源の符号化
第 15 週:レート歪み関数
第 16 週:期末試験
1: Introduction
2: Entropy and divergence
3: Mututal information
4: Asymptotic equipartition property
5: Information sources
6: Fundamentals of coding
7: Source coding
8: Stream codes
9: Midterm examination
10: Channel model
11: Channel capacity
12: Channel coding
13: Continuous sources
14: Coding for continuous sources
15: Rate-distortion function
16: Final examination

予習・復習内容

講義で理解できなかった内容は、小テストやその類題を復習することが望ましい。

It is desirable to solve exercises similar to those assigned in each class.

関連科目

確率・統計論、通信工学
Probability and Statistics、Communication Engineering 1

教科書に関する補足事項

適宜資料を配布する。
Lecture slides are distributed.

参考書 1	**書名**	情報と符号化の数理	**ISBN**	978-

						4563005993
	著者名	韓太舜，小林欣吾共著,	出版社	培風館	出版年	1999
参考書 2	書名	情報理論：基礎から応用まで			ISBN	978-4-7649-0389-0
	著者名	中川聖一 著,	出版社	近代科学社	出版年	2010
参考書 3	書名	Information theory, inference, and learning algorithms			ISBN	978-0521642989
	著者名	David J.C. MacKay,	出版社	Cambridge University Press	出版年	2003

参考書に関する補足事項

達成目標

A.基礎的な事項
(1)エントロピー、符号化、データ圧縮の関連を理解できる。
(2)相互情報量の概念を正しく理解できる。
B.情報源のモデル
　各種の情報源の性質を理解できる。
C.離散的情報源の符号化
（1）クラフトの定理の内容を理解できる。
（2）情報源符号化定理を理解できる。
（3）ハフマン符号を理解できる。
D.離散的通信路の符号化
（1）通信路符号化定理を理解できる。
（2）ハミング符号を理解できる。
E.連続情報源と連続的通信路
（1）エントロピー最大の定理を理解できる。
（2）ベクトル量子化の概念を理解できる。
A. Fundamentals
(1)The relations among entropy, coding and data compression.
(2)The exact concept of mutual information
B. Information Sources
　Properties of various sources
C. Source Coding
(1) Kraft's inequality
(2) Source coding theorems
(3) Huffman code
D. Channel Coding
(1) Chennel coding theorem
(2) Humming code
E. Coding for Continuous Sources
(1) Maximum entropy principle
(2) Vector quantization

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験 40%　定期試験 60%　　左記の割合で、総合的に評価する。
Scores will be measured comprehensively by the following ratio:
Midterm exam 40%, Final exam 60%

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

渡辺 F-502, 6893,　wkazuho@cs.tut.ac.jp
K. Watanabe F-502, 6893,　wkazuho@cs.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時
as needed

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
情報理論、エントロピー、符号化、データ圧縮、シャノン
Information Theory, Entropy, Coding, Data Compression, Shannon

(B12630060)生体電子工学[Bioelectronics Engineering]

科目名[英文名]	生体電子工学[Bioelectronics Engineering]				
時間割番号	B12630060	区分	電気・電子情報専門Ⅱ	選択必須	選択
開講学期	前期1	曜日時限	水 4～4	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	杉浦　敏文 SUGIURA Toshifumi				
ナンバリング	ELC_BAC31020				

授業の目標

人間の身体（解剖と生理、及び機能）を電子・情報工学の視点から学び、関連する高度な専門分野の情報を理解できる基礎学力を身につけると共に、それを通して自らの生き方を内省し、学生諸君が単なる知識人ではなく真の教養人となるきっかけとなることを目標とする。

授業の内容

第 1 回　生物としての人間、骨格系
第 2 回　筋肉系、循環系（心臓と肺）
第 3 回　消化器系、受精に至るまで（君は一人ではない）
第 4 回　神経細胞の構造と電気現象
第 5 回　脳の構造と機能Ⅰ:末梢神経系
第 6 回　脳の構造と機能Ⅱ:中枢神経系
第 7 回　最新医療機器
第 8 回　講義の復習と期末試験

予習・復習内容

予習は各自の興味のある範囲で行い、分からないことを授業中に質問をすること。
復習は講義で興味を持ったことを図書館・インターネット（常に正しいとは限らないが）などで調べて A4 用紙 1 枚にまとめ、次回講義日の正午までにレポートとして提出すること。提出方法はメールの添付ファイルとする。

関連科目

教科書に関する補足事項

必要に応じて資料を配布する。

参考書 1	書名	人体生理学ノート　改訂 7 版			ISBN	
	著者名	真島英信、松村幹郎改訂	出版社	金芳堂	出版年	2009
参考書 2	書名	標準生理学			ISBN	
	著者名	小澤、福田監修	出版社	医学書院	出版年	2014
参考書 3	書名	プロメテウス 解剖学アトラス　頭部・神経解剖			ISBN	
	著者名	坂井、河田監訳	出版社	医学書院	出版年	2014

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 身体と機械の違いを理解し、自分の身体の中で起こっていることを知ること
2. 筋肉、骨格系の構造と仕組みを知り、その機能を学ぶ
3. 消化器系の構造と仕組みを知り、”食べる”ことの意味を学ぶ
4. 細胞レベルから脳までをシステムとして捉え、その制御方法について学ぶ
5. 身体、意識、及び自己を全体として考える能力を獲得する
6. 最新医療機器に関する知見を得る
7. 自分の考えを簡潔に述べる練習をする

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート 30%　定期試験 70%　　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準:下記のように成績を評価する。
A:テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B:テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C:テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

定期試験 授業と定期試験(対面) Regular Class and Examination(Face to Face)
定期試験詳細
その他 連絡方法:sugiura.toshifumi@shizuoka.ac.jp　まで。
ウェルカムページ
オフィスアワー 講義の前後の時間
学習・教育到達目標との対応 (A)幅広い人間性と考え方 人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。 (B)技術者としての正しい倫理観と社会性 技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。 (A) Personality and outlook with a broad perspective Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings (B) Sound ethics and social awareness as engineers Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
キーワード 生理、解剖、生体、医療機器

(B12630070)新エネルギー工学[New Energy Engineering]

科目名[英文名]	新エネルギー工学[New Energy Engineering]				
時間割番号	B12630070	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	滝川　浩史, 窪塚　直亮, 松井　俊道, 志村　欣一, 水谷　安伸, 村田　裕彦 TAKIKAWA Hirofumi, KUBOZUKA Naoaki, MATSUI Toshimichi, SHIMURA Kinichi, MIZUTANI Yasunobu, MURATA Hirohiko				
ナンバリング	ELC_BAC33020				

授業の目標

我々が必要とするエネルギー種の理解をもとに，従来の化石燃料や原子力燃料に依存した体制からの脱却に向け，多様な新エネルギー源とその利用方法や問題点について学ぶ。具体的には，再生可能エネルギー，バイオマス，新燃料，水素などの新エネルギー等を利用した電気エネルギーや熱エネルギーの創生と有効利用について修学する。

Based on the understanding of the energy class that we need, students study about various new energy sources, the usage and the problems toward the breakaway from the system which depended on the conventional fossil fuel and atomic energy fuel. Specifically, students learn about generation of utilization of electric energy and the thermal energy using new energy such as renewable energy, biomass, new fuel, and hydrogen.

授業の内容

1. 新エネルギーの概要
2. 再生可能エネルギーの現状
3. 需要家における再生可能エネルギー等の最適利用
4. 再生可能エネルギー等の系統連系における技術的要件
5. 都市ガスおよび熱エネルギー利用技術
6. 水素エネルギーと燃料電池技術
7. 新エネルギーとスマートグリッド技術
8. 総括

※上記のキーワードに関し，インターネット等で予習してください。資料を基に復習してください。
※毎回の講義に関し，レポート課題を出します。

1. Summary of the new energy
2. Current renewable energy
3. Suitable use of the renewable energy in consumers
4. Technical requirements in the system interconnection of the renewable energy
5. Use of city gas and thermal energy technology
6. Hydrogen energy and fuel cell technology
7. New energy and smart grid technology
8. Generalization

- About the keywords mentioned above, please prepare for next class on the Internet. Please prepare for and review the lecture based on originally prepared references.
- About a lecture of every time, report homework is imposed.

予習・復習内容

最初の回に，本講義の全体像について説明する。

In the first time, the perspective of this lecture is explained.

関連科目

電力工学Ⅰ・Ⅱ，エネルギー創生学，電気機械工学Ⅰ・Ⅱ，熱統計力学，電気法規，など
電力工学Ⅰ・Ⅱ，エネルギー創生学，電気機械工学Ⅰ・Ⅱ，熱統計力学，電気法規，など

教科書に関する補足事項

プリント等

Originally summarized references are offered.

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 新エネルギーの概要
(1)エネルギーの消費形態，現状のエネルギー供給源に関する基本的な知識を得て理解する。
(2)新エネルギーの位置付づけや分類について基本的な知識を得て理解する。
(3)地熱，波力，バイオマス，新燃料の現状や課題点について基本的な知識を得て理解する。

B. 再生可能エネルギーの利用
(1)太陽エネルギー，風力，地熱などの再生可能エネルギーの現状について基本的な知識を得て理解する。
(2)需要家における再生可能エネルギーの最適利用方法と課題について基本的な知識を得て理解する。
(3)再生可能エネルギーを利用する際の系統連携に関する課題と技術について基本的な知識を得て理解する。

C. 熱エネルギーと電気エネルギー
(1)化石燃料の高効率利用技術や未利用熱の利用技術について基本的な知識を得て理解する。
(2)燃料電池自動車を中心とした水素エネルギー利用技術および高効率発電技術としての燃料電池の技術開発動向について基本的な知識を得て理解する。

D. スマートグリッド技術
(1)高機能化した電力網であるスマートグリッドの考え方，構成，機器，利用法について基本的な知識を得て理解する。
(2)新エネルギーとの関連を理解し，エネルギーの有効利用の考え方を理解する。
Understand the following matters,
A. Summary of the new energy
B. The use of the renewable energy
C. Thermal energy and electric energy
D. Smart grid technology

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき，毎回の講義に対するレポートを総合して評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 65%達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 65 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
1：滝川浩史（代表：教員室 C-311，内線 6727，e-mail: takikawa@ee.tut.ac.jp）
2，3，4：中部電力
5，6：東邦ガス
7：シンフォニアテクノロジー
非常勤の先生への連絡は滝川を経由してください。
1: Takikawa (代表：教員室 C-311，内線 6727，e-mail: takikawa@ee.tut.ac.jp)
2, 3, 4: Chubu electric power Co., Inc.
5, 6: Toho gas Co., Ltd.
7: Sinfonia technology Co., Ltd.
Please go by way of Takikawa for communications with others.

ウェルカムページ
http://www.pes.ee.tut.ac.jp/
http://www.pes.ee.tut.ac.jp/

オフィスアワー
滝川：随時
Takikawa: at any time
Others: Befor and after class

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード

(B12630080)電気・電子情報工学輪読[Electrical, Electronic and Information Engineering Seminar]

科目名[英文名]	電気・電子情報工学輪読[Electrical, Electronic and Information Engineering Seminar]				
時間割番号	B12630080	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	S2系教務委員 2kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ELC_BAC31020				

授業の目標

3 年次までに修得した知識を基盤として、電気・電子情報工学の各コースに関連した専門書や論文、雑誌等を精読することを通じて、専門技術に必要な基礎理論、知識、手法等から最先端技術に至るまでを学び理解することを目的とする。加えて、高いレベルでの技術研究ならびに国際的な連携研究を行うためには、コミュニケーション能力がその基礎となる。そのために、専門書等で理解したことを論理的に説明、質疑応答する表現力、コミュケーション力を養うことも目的とする。

Based on the subjects that have been studied till the third year, the students are supposed to study the fundamental theory, knowledge, techniques, and advanced technologies for each academic domain, by carefully reading the academic books, papers, and journals that are related to each course of the department of electrical, electronic, and information engineering.

In addition, communication skills are essential for high-level research and international cooperation. The students are supposed to acquire the ability to explain the knowledge on specific domain logically, the expression of questions and answers, and the communication skills.

授業の内容

教員が指定する電気・電子情報技術に関する専門書や論文を精読し，理解したところを説明する。
教員は説明方法について直接指導を行う。

Each student presents their knowledge on the specific technologies in electrical, electronic, or information engineering, which are assigned by the supervisor. The supervisor directly coaches the presentation skills.

予習・復習内容

講義の中で説明，指示する。

The supervisor assigns the subjects in the lectures.

関連科目

指導教員に問い合わせること。

教科書に関する補足事項

講義の中で指定する。

The books or papers are specified by the supervisor.

参考書に関する補足事項

達成目標

専門用語を理解し、専門書および論文を読み理解することができる。
論文や専門書、卒業研究に関する専門知識や技術、課題、問題点、解決方法、結果等について、自分の考えを含め，論理的かつ具体的に、限られた時間内または文字数内で整理して分かりやすく、口頭または文章で表現できる。
相手の話を理解し適切な応答ができる。

To acquire the ability to fully understand the technical terms, academic books and papers.
To acquire the ability to present the specific knowledge, techniques, themes, problems, solutions, and results, that are related to academic books, papers, and its own thesis, by oral presentation in a limited time or by technical document in limited length.
To acquire the ability to understand the contents of the talk, and to make adequate responses.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

専門書や論文の理解度、説明の方法，質問への回答，議論への参加の様子から総合的に判定する。
総合点 100 点満点で、評価 A：80 点以上，評価 B：65 点以上，評価 C：55 点以上。

The point is given out of 100, totally considering the understanding of the specific topic, the presentation, the answers to questions, and the attitude in discussions. The student is qualified for the achievements if the point is equal or greater than 55 points. The achievement is graded by A (equal or greater than 80 points), B (between 65 and 79 points), and C (between 55 and 64 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細
その他 指導教員に問い合わせること。 Refer to the supervisor.
ウェルカムページ
オフィスアワー 指導教員に問い合わせること。 Refer to the supervisor.
学習・教育到達目標との対応
キーワード

(B12630100)電気設計製図[Design and Drawing of Electric Machine]

科目名[英文名]	電気設計製図[Design and Drawing of Electric Machine]				
時間割番号	B12630100	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	山谷　忠義 YAMATANI Tadayoshi				
ナンバリング	ELC_BAC31020				

授業の目標

電気機器（産業用モータ／発電機）の設計を通じて、電気回路、電磁気、材料力学、伝熱、流体、機械製図などの知識の修得とその応用を学ぶ。

Through the design of electrical equipment (industrial motor / generator), electrical circuit, we learn electromagnetism, material mechanics, heat transfer, fluid, the acquisition and application of knowledge, such as engineering drawings.

授業の内容

私が教科書を基本にパワーポイントで順次説明を行います。各授業前に小テストを渡します。そして、次の授業時に前週の小テストを生徒に発表してもらいます。

1 週目（4/10）1.総説
2 週目（4/17） 2.規格・仕様書
3 週目（4/24）3.電気材料
4 週目（5/1）4.温度上昇
5 週目（5/8）5.冷却方式
6 週目（5/15）6.保護方式
7 週目（5/22）7.誘導起電力
8 週目（5/29）＜中間試験＞
9 週目（6/5）8.巻線
10 週目（6/12） 9.漏れリアクタンス
11 週目（6/19）10.磁気回路
12 週目（6/26）11.損失および効率
13 週目（7/3）12.使用および定格
14 週目（7/10）13.寸法の決定
15 週目（7/24）14.機械的設計
16 週目（8/7）≪定期試験≫

I performed sequentially described in PowerPoint to basic textbooks. I pass out the small test before each lesson. And, Students will be explained the small test of the previous week at the next lesson.

1st（4/10）Chapter 1 Outline
2nd（4/17） Chapter 2 Standaed & Specification
3rd（4/24）Chapter 3 Electric Material
4th（5/1）Chapter 4 Thermodynamics
5th（5/8）Chapter 5 Cooling
6th（5/15）Chapter 6 ProtectionChapter
7th（5/22）Chapter 7 Induction Voltage
8th（5/29）Chapter 8 Wiring
9th（6/5）Intermediate Test
10th（6/12） Chapter 9 Leakage Reactance
11th（6/19）Chapter 10 Magnetic Circuit
12th（6/26）Chapter 11 Loss＆Efficiency
13th（7/3）Chapter 12 Using＆Rating
14th（7/10）Chapter 13 Decide About The Size
15th（7/24）Chapter 14 Mechanical Design
16th（8/7）Final Test

予習・復習内容

毎週行う小テストの内容を把握することが大切です。
復習しておくと基礎力を身に着けることが出来ます。
It is important to understand the contents of the small test to be performed every week.
The review to you can wear a basic force idea.

関連科目

教科書 1	書名	電機設計概論　4 版改訂			ISBN	
	著者名	電気学会	出版社	オーム社	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	R.ﾘﾋﾞﾀｰ電気機械原論			ISBN	
	著者名	廣瀬敬一	出版社	コロナ社	出版年	

参考書に関する補足事項

達成目標

1 章、2 章、3 章　基礎的な事項
(1) 電気工学、機械工学および関連工学の基礎理論の充分な研究の上に、機器の設計が成り立つことを理解する。
(2) IEC、ISO、JIS、JEC、JEM 等の規格が良い製品を低廉な価格で製作させる効果があり製造者、使用者にとって重要であることを知る。
(3) 電気機器を構成する材料について理解する。
4 章　温度上昇
(1) 固体内の熱伝導、固体表面と流体間の熱伝達、固体の熱容量の理解と機器の過渡温度、定常温度の温度上昇を理解する。
5 章　冷却
(1) 管路摩擦抵抗、ﾌｧﾝ、ﾎﾟﾝﾌﾟ等の圧力源、の理解と冷媒と冷却構造を理解する。
6 章　保護法式
(1) 回転機械の人体に対する保護、異物混入に対する保護、水分に対する保護法式について理解する。
7 章　誘導起電力
(1) 電磁誘導によりｺｲﾙに起電力を誘導する為の磁束とｺｲﾙの鎖交の変化は 2 種類あり、その静止起電力と速度起電力について理解する。
8 章 巻線
(1) 産業用回転機の一次巻線、二次巻線の構成について理解する。
9 章 漏れリアクタンス
(1) 電気機器では自己巻線だけに鎖交する漏れ磁束があり、これより発生する逆起電力の比例係数である漏れﾘｱｸﾀﾝｽについて理解する。
10 章　磁気回路
(1) 起磁力分布としての回転磁界、鉄心の飽和特性などの理解と電気機器各所の磁束分布を理解する。
11 章 損失および効率
(1) 電気機器の損失である、固定損、直接負荷損、励磁損、漂遊負荷損について理解する。
12 章 使用および定格
(1) 電気機器の温度上昇は負荷状態で変わる。この動作様式を使用といい JEC-2100 における動作状態の分類を理解する。
13 章 寸法の決定
(1) 要求された条件を満足さる重要因子として容量と回転速度があり、これらを基に回転機の主要寸法を決定する手順を理解する。
14 章　機械的設計
(1) 遠心力、ﾄﾙｸ、曲げﾓｰﾒﾝﾄに対しての強度の検討法、様々な加振力の結果としての振動、騒音の発生メカニズムと抑制法を知る。
15 章 回転機設計例
(1) 水車発電機や三相誘導電動機の設計例から、実際の設計手順を理解する。
16 章 製図の基本
(1) 製図の共通基本と機械製図の基礎を理解する。
工場見学（最近の電機機械の動向）
(1) 実際の製造現場を見学することで、産業用大形発電機の製造工程を理解し、授業内容の理解を深める。
Chapter 1st、2nd、3rd　Basic matters
(1) Electrical engineering, on the sufficient study of the basic theory of mechanical engineering and related engineering, we understand that the design of the equipment is established.
(2) IEC, ISO, JIS, JEC,JEM has the effect of standards to manufacture a good product with inexpensive price such manufacturers, to know that it is important for the user.
(3) We understand about the material constituting the electrical equipment.
Chapter 4　Temperature rise
(1) Thermal conductivity in the solid, heat transfer between the solid surface and the fluid, transient temperature of understanding and equipment of a solid heat capacity, to understand the temperature rise of the steady-state temperature.
Chapter 5　Cooling
(1) We understand the pumping action by the fan to the pipe friction resistance. Also, we understand the type and cooling structure of the refrigerant.

Chapter 6 Protection
(1) Protection against the human body of the rotating electrical machine, protection against contamination, we understand about protection law equation for rain.
Chapter 7 Induction Voltage
(1) There are two types of changes in the linkage of the magnetic flux and the coil for inducing an electromotive force in the coil by electromagnetic induction. And we understand about the still electromotive force and the speed electromotive force.
Chapter 8 Wiring
(1) We are understand the structure of the primary winding and the secondary winding for industrial rotary machine.
Chapter 9 Leakage Reactance
(1) We understand that the leakage flux to Interlinked the winding is present for electrical machine. And we understand the leakage reactance is a proportionality is electromotive force generated thereby.
Chapter 10 Magnetic Circuit
(1) Electric rotating magnetic field as a magnetomotive force distribution, to understand the understanding and magnetic flux distribution of electrical equipment throughout, such as saturation characteristics of the iron core.
Chapter 11 Loss＆Efficiency
(1) Is the loss of electrical equipment, fixed loss, direct load loss, excitation loss, You understand about the stray load loss.
Chapter 12 Using＆Rating
(1) Temperature rise of electrical equipment change in the load state. You understand the classification of the operating state of this mode of operation in JEC-2100 and use.
Chapter 13 Decide About The Size
(1) The requested conditions there is capacity and rotation speed as the satisfaction monkey important factor, to understand the procedure for determining the main dimensions of the rotating machine to these groups.
Chapter 14 Mechanical Design
(1) We study method of the centrifugal force and the torque,the bending moment, to understand the suppression method and the generation mechanism of vibration and noise due to a variety of exciting force.
Chapter 15 Example Of Electric Machinery
(1) From design example of water turbine generator and three-phase induction motor, we understand the actual design procedure.
Chapter 16 Drafting Study
(1) We understand the Basic skills and the mechanical drawing.
Factory Study（Recent trend of electromechanical）
(1) By tour the actual manufacturing site, to understand the production process of industrial large generator, a better understanding of the course content.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎授業の出席点を各 20 点、中間試験および期末試験を 80 点とし、これらの合計で評価する。（総合点 100 点満点で、評価 A：80 点以上，評価 B：65 点以上，評価 C：55 点以上。）
Each 20 points the attendance point of every class, an intermediate test and final test was a 80 points, it will be evaluated in these totals. (A comprehensive point 100-point scale, rating A: 80 points or more, evaluation B: 65 points or more, evaluation C: 55 points or more.)

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(B12630120)電気法規[Laws for Electric Utility]

科目名[英文名]	電気法規[Laws for Electric Utility]				
時間割番号	B12630120	**区分**	電気・電子情報専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期1	**曜日時限**	金 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	中島　賢吉 NAKASHIMA Kenkichi				
ナンバリング	ELC_BAC31020				

授業の目標

エネルギー使用の中枢をなす電気について、安定供給、環境保全などの時代要請にどのように応えていくべきか、また、最近の電気規制改革、自己責任の流れを受けた電気関係法規について、事業及び保安規制概要を学ぶ。

Students understand how we should meet the request on the steady supply of electrical energy as well as environmental conservation. Students learn about the laws related to the electricity, for example Electric Utility Industry Law, including business regulation, preservation regulation, under recent regulation reforms.

授業の内容

1週目　電気関係法規の大要と電気事業
2週目　電気工作物の保安に関する法規
3週目　電気工作物の技術基準
4週目　電気工作物の技術基準
5週目　電気に関する標準規格
6週目　その他の関係法規（原子力、環境等）
7週目　電気施設管理
8週目　総括、定期試験

Week 1 Outline of electrical regulations and electrical utility
Week 2 Electricity business act (business regulation)
Week 3&4 Electricity business act (safty regulation)
Week 5 Electricians act, electricity work arc, electrical appliances and mterials safety and others.
Week 6 Technical standards of electric equipments
Week 7 Technical standards of electric equipment and electric facilities management
Week 8 Summary, regular examination

予習・復習内容

In the first time, the perspective of this lecture is explained.

関連科目

電力工学　Ⅰ
電力工学　Ⅱ
Electrical engineering I, II

教科書 1	**書名**	「電気法規と電気施設管理」（平成 30 年版）		**ISBN**	
	著者名	竹野正二著	**出版社**	東京電機大学出版局	**出版年**	2018

教科書に関する補足事項

電気事業法改正及び電気施設管理の最新データ等の内容について追加レジュメを配布することで、法令の解釈等を学ぶ。

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 電気関係法規の体系を理解する
2. 電気事業法ほか電気関係法規による事業及び保安規制概要を理解する
3. 電気施設管理の概要を理解する
4. 電気主任技術者申請に必要な電気法規を理解する

Understand the following matters,
1. the system of the electric law concerned
2. Bussiness and safty regulations in electricity business act and others concerned
3. Summary of the electric facilities management

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験で評価する
評価基準：原則として全講義に出席した者につき、下記のように成績を評価する
A:定期試験の成績（100 点満点）が 80 点以上
B:定期試験の成績（100 点満点）が 65 点以上
C:定期試験の成績（100 点満点）が 55 点以上

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 65 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

非常勤講師室（B棟 2 階）

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義時間の前後
Befor and after class

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D4)材料エレクトロニクスコース，機能電気システムコース，集積電子システムコース及び情報通信システムコースの1つの専門コースについて，幅広い専門知識と運用能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving
(D4) Have a broad expertise and operational ability in one of the specialized courses among Electronic Materials Course, Electrical Systems Course, Integrated Electronics Course and Information and Communication System Course.

キーワード

(B12630140)制御工学[Control Engineering]

科目名[英文名]	制御工学[Control Engineering]				
時間割番号	B12630140	区分	電気・電子情報専門Ⅱ	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	水 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	電気・電子情報工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	福村　直博 FUKUMURA Naohiro				
ナンバリング	ELC_BAC36020				

授業の目標

フィードバック制御系の基礎事項を学習した後に、システムの時間特性、制御系の設計法を習得し、さらに現代制御理論の基本的な事項を学ぶ。

This course provides the basis of feedback control system, stability and time characteristic of system, and design method for the control system. It also covers modern control theory.

授業の内容

1 週目　自動制御・ブロック線図
2 週目　フィードバック制御系の基礎
3 週目　ラプラス変換
4,5 週目　伝達関数
6,7 週目　基本要素の時間応答と周波数応答
8 週目　2次要素
9,10 週目　安定性
11 週目　フィードバック制御の特性（過渡特性と定常特性）
12,13 週目　周波数領域での制御系の設計
14 週目　システムの状態空間表現
15 週目　時間領域での制御系設計
16 週目　期末試験

1st week　Introduction of control system and block diagrams
2nd week　Introduction of feedback control system
3rd week　Laplace transformation
4th and 5th week　Transfer function
6th and 7th week　Time response and frequency response of basic elements
8th week　Second order element
9th and 10th week　Stability
11th week　Steady state and transient responses
12th and 13th week　Design of feedback control systems in frequency domain
14th week　State variable representation of systems
15th week　Design of feedback control systems in time domain
16th week　Final Exam

予習・復習内容

講義資料は事前に Dream Campus にて公開するので事前にダウンロードしておくこと。
演習の宿題を課すことがある。
Lecture material is disclosed to a Dream Campus System beforehand.
Homework is sometimes imposed.

関連科目

教科書に関する補足事項

講義資料は事前に Dream Campus よりダウンロードすること
Lecture material is exhibited in Dream Campus, so you should download it.

参考書 1	書名	制御工学　技術者のための、理論・設計から実装まで			ISBN	978-4-407-32575-1
	著者名	豊橋技術科学大学・高等専門学校制御工学教育連携プロジェクト	出版社	実教出版	出版年	2012

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）制御システムの基礎
1） システムの表現法（伝達関数とブロック線図）を理解できる
2）周波数応答の表示法としてのナイキスト線図、ボード線図を理解できる
3）ラウス・フルビッツとナイキスト安定判別法によってシステムの安定判別ができる
（2）システムの時間特性
1）過渡特性と定常特性を理解できる
2）速応性を理解できる
3）定常偏差を理解できる
（3）周波数領域でのフィードバック制御系の設計
1）周波数応答によるシステムを設計できる
（4） 状態方程式と状態フィードバック
1）制御系を表現する状態方程式を書きくだすことができる。
2）与えられた制御系に対して，その可制御性と可観測性を調べることができる。
3）極配置制御による安定な状態フィードバック系の係数ベクトルを計算できる。
4）状態観測器を用いた状態フィードバック系を構成することができる。
（1）Basic concept of control system
1) Understand representation of the system using transfer function and block diagram
2) Understand Nyquist diagram and Bode diagram as a representation of frequency responses
3) Be able to use Routh and Hurwitz stability criterion and Nuquist stability test to test the stability of a system
（2）Time response of system
1) Understand transient and steady state characteristics.
2) Understand responsiveness of systems
3) Understand steady-state error
（3）Design of feedback system in frequency domain
1) Be able to design feedback system in frequency domain
（4）State equation and state-feedback
1) Be able to describe state equation representing systems
2) Be able to check controllability and Observability of system
3) Be able to design state-feedback system using pole assignment method
4) Be able to design state-feedback system using state observer

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
達成目標の全体の達成を総合的に評価する期末試験（100 点満点）で評価する
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を85％達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を70％達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 55 点以上

The evaluation is based primarily on a final examination (100 points).
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained point of final exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 85 % of goals and obtained point of final exam, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained point of final exam, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日の16：20～17：50とするが、これ以外の時間でも在室時は随時質問等を受け付ける.
事前にメールなどで連絡することが望ましい.
Wendsnesday from 16:20 to 17:50

学習・教育到達目標との対応

(D1)電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情

報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying electrical and electronic information engineering, including physics, chemistry, electric/electronic circuits, control, system engineering, material engineering, energy conversionenergy conversion engineering as well as information and communication; and have the practical and creative skills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

制御工学　フィードバック制御　伝達関数　システムの安定性　制御系の設計

Control Theory, Feedback Control, Design of Control System

(B12630150)信頼性工学[Reliability Engineering]

科目名[英文名]	信頼性工学[Reliability Engineering]				
時間割番号	B12630150	区分	電気・電子情報専門Ⅱ	選択必須	選択
開講学期	後期1	曜日時限	金 2～2	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	電気・電子情報工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	今井　正文 IMAI Masafumi				
ナンバリング	ELC_BAC31020				

授業の目標

機器やシステムの信頼性・保全性を解析する方法および信頼性・保全性を向上させるための設計方法を学ぶ.
First a reliability analysis method of a system is explained.
Next design method to improve the reliability and preservation is learned.

授業の内容

1 信頼性について(歴史, 意義, 目的, 用語)
2 信頼性の基礎数理(信頼度, 不信頼度, 故障率, 故障時間, 故障数の分布)
3 信頼性解析(直列, 並列システム, 多数決, 待機冗長システム)
4 一般システムの信頼性解析(構造関数と信頼度)
5 保全性とアベイラビリティ(保全度, 修繕率)
6 保全システム(直列, 並列システム並列, 待機冗長システム)
7 故障モードの同定(故障モード致命度分析, 故障木)、ヒューマンエラー
8 定期試験
1 About the reliability
2 Basic mathematical principle of the reliability
3 Reliability analysis
4 Reliability analysis of the public system
5 maintenance and availability
6 maintenance system
7 Distinction of failure mode, human error
8 exam

予習・復習内容

講義時に演習問題プリントを配布, 毎週の課題を指示します.
A practice problem print is distributed and an weekly problem is directed.

関連科目

教科書に関する補足事項

なし(講義時にプリントを配布)
none (A lecture print is distributed.)

参考書 1	書名	システム信頼性工学			ISBN	4320080815
	著者名	室津義定 [ほか]著,	出版社	共立出版	出版年	1996
参考書 2	書名	ヒューマンエラー			ISBN	4303729809
	著者名	James Reason 著,	出版社	海文堂出版	出版年	1994

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 平均寿命などの信頼性指標の統計的推定および検定の方法を修得する.
(2) 故障率, 信頼度などの, システムの信頼性を求める手法を修得する.
(3) 修理を伴うシステムの有用性を求める手法を修得する.
(4) システムの故障モードの特定, 信頼性向上の手法を修得する.
(1) statistical estimation of the reliability of the average life span
(2) calculate method of the reliability and failure rate
(3) the utility of the system with maintenance
(4) the specification of failure mode, improvement of the reliability

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:レポート(20%)と試験(80%)で評価する.
評価基準:原則的にすべての講義に出席した者に対して成績を評価する.

grade calculation: report（20%）,Assessment（80%）

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

E-mail:mimai@sozo.ac.jp

TEL:050-2017-2218

http://ba.sozo.ac.jp/mimai/

E-mail:mimai@sozo.ac.jp

TEL:050-2017-2218

http://ba.sozo.ac.jp/mimai/

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義の前後（E-mail での質問は随時受け付けます）.

A question by e-mail is accepted at any time.

学習・教育到達目標との対応

（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D2)実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的な視点から考察し，説明することができる。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving

(D2) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to consider and explain things from the viewpoint of technological science

キーワード

信頼性, 信頼度, 故障率, ヒューマンエラー

reliability, failure rate, human error

(B13510040)プログラミング演習Ⅱ[Programming 2]

科目名[英文名]	プログラミング演習Ⅱ[Programming 2]				
時間割番号	B13510040	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　幸太郎 SUZUKI Koutarou				
ナンバリング	CMP_BAC12212				

授業の目標

授業の目的は C 言語のプログラミングに欠かせない基礎知識を修得することである。これまでの「プログラミング演習 I」で学んだプログラミングの技能に、新たな知識／概念を加えることにより、この先必要になるであろうさらに高度なプログラミングのための基礎知識を修得する。

授業は講義形式の解説とプログラミング演習課題の組み合わせで行う。
You learn basic knowledge about the C language.
This course gives you a higher skill on programming to expand the skill that you learned in programming 1.
A lecture and practice are included in this course.

授業の内容

「プログラミング演習 I」の続きからスタートし、基本的には下記の順に進める（例外的に「ファイル入出力」は先に行う）。

1週目　ガイダンス（演習室の利用方法、ログインの仕方、エディタ／コンパイラの使い方）
2週目　プログラミング演習 I の復習、ファイル入出力の基礎
3週目　配列 1（配列とは、配列操作）
4週目　配列 2（多次元配列）
5週目　関数 1（関数とは、値の渡し方、受け取り方）
6週目　関数 2（配列の渡し方、記憶クラス）
7週目　データの基本型（整数型、浮動小数点型、ビット列、演算子）
8週目　マクロ（プリプロセッサ）、列挙体等
9週目　文字列の基本（文字列とは、文字列操作）
10 週目　ポインタ 1（ポインタとは）
11 週目　ポインタ 2（ポインタと配列）
12 週目　文字列とポインタ 1（配列で表現する文字列とポインタで表現する文字列の違い）
13 週目　文字列とポインタ 2（ポインタによる文字列操作）
14 週目　応用課題 1
15 週目　応用課題 2
This course starts from a continuance of programming 1.

1st week: guidance (how to use the practice room, computers, editors and the compiler)
2nd-15th weeks:
- Review of programming 1, file input and output
- Array 1 (basics)
- Array 2 (multidimensional array)
- Function 1 (basics, how to pass values, how to return values)
- Function 2 (how to pass arrays, storage class)
- Data type (int, float, bit sequence, operator)
- Macro (preprocessor) and enumerated type
- Basics of string (how to use strings)
- Pointer 1 (how to use pointers)
- Pointer 2 (pointer and array)
- String and pointer 1 (difference between arrays and pointers)
- String and pointer 2 (how to use pointers for character strings)
- Fainal report 1
- Fainal report 2

予習・復習内容

配布した資料を事前に読んでおくこと。授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。
You read the documents for preparations for lessons before a class.

関連科目

プログラミング演習 I
Programming 1

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	新・明解 C 言語 入門編			**ISBN**	978-4797377026
	著者名	柴田望洋	**出版社**	ソフトバンククリエイティブ	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	Beginning C, 5th Edition			**ISBN**	978-1430248811
	著者名	Ivor Horton	**出版社**	Apress	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項
参考書は「プログラミング演習 I」と同じである。
The reference books are the same as in Programming 1.

達成目標
C 言語の基礎知識・概念（ポインタまで）を理解するとともに、エディタ／コンパイラ／ライブラリなどを正しく使用できること。

1. エディタの使用方法とプログラムのコンパイル、リンク、実行方法の理解
2. プリプロセッサの役割と動作の理解
3. C 言語におけるデータ型、制御構造、演算子の理解
4. 配列、ポインタの理解
5. 関数、変数、記憶クラスの理解
6. 入出力関数、ライブラリ関数の理解
7. 1 から 6 を利用し、独創的なプログラムを一から作り上げるプログラミング技能の習得
1. Understand how to use the editor and the compiler
2. Understand how to use the macro
3. Understand data types, structures, operators
4. Understand how to use the pointer and the array
4. Understand how to use the function, the variable, and the scope
6. Understand input/output function and functions on the library
7. You learn programming skills to make up original programs from the beginning with 6 skills mentioned above

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
各回の演習課題のレポート（50 点満点）と、達成目標全体の達成度合いを総合的に評価する応用課題（50 点満点）の合計点で評価する。
S: 90 点以上　A: 80 点以上　B: 70 点以上　C: 60 点以上
※ただし、過年度生が履修した場合には従来（A～C）の評価基準を適用する。
You are evaluated at the total point as sum of weekly reports (50%) and final reports (50%).
S: 90 or higher (out of 100 points).
A: 80 or higher (out of 100 points).
B: 70 or higher (out of 100 points).
C: 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細
定期試験は応用課題のレポートとして実施する。

その他
教員居室：F-307
E-mail： gotoh [at] tut.jp
Room : F-307
E-mail： gotoh [at] tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
教員居室で随時相談に応じる。ただし、メール等で日時の調整をすることが望ましい。
I guide you at any time in my room.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
プログラミング、C言語

(B13510050)プログラミング演習Ⅲ[Programming 3]

科目名[英文名]	プログラミング演習Ⅲ[Programming 3]				
時間割番号	B13510050	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	金澤　靖, 秋葉　友良 KANAZAWA Yasushi, AKIBA Tomoyoshi				
ナンバリング	CMP_BAC22212				

授業の目標

C 言語を用いて、再帰呼び出し、連結リスト、スタック、キューなど、アルゴリズムとデータ構造についての基本概念を理解した上で、ソートアルゴリズムや探索アルゴリズムなど、より実践的なアルゴリズムを活用する能力を身につけることを目的とする。

The goal of this course is to understand the basic concepts of algorithms and data structures such as recursive calls, linked lists, stacks and queues using C language, and to acquire the ability to address more practical topics such as sorting and searching algorithms.

授業の内容

アルゴリズムとデータ構造についての基礎概念、およびそれらを応用したプログラミングについて学習する。授業は、簡単な講義とプログラミング演習を組み合わせて行う。各講義後には、学んだ知識を実際のプログラミングで使いこなせるよう、関連するいくつかの課題に対して各自で取り組み、その成果をレポートとして報告してもらう。具体的な学習項目を次に示す。

1-2 週目：再帰呼び出し
3-4 週目：構造体・連結リスト・スタック・キュー
5-6 週目：ソートアルゴリズムと計算量
7-8 週目：数値計算と誤差
9-10 週目：探索アルゴリズム
11-12 週目：確率と数値計算
13-15 週目：応用課題

This course covers the basic concepts of algorithms and data structures, and their advanced applications. The course consists of lectures and programming exercises. After each lecture, students are provided with some related exercises and submit a report, so as to acquire the ability to apply the learned concepts to practical programming. The topics of the course are as follows:

1st-2nd wks: Recursive calls
3rd-4th wks: Structures, linked lists, stacks and queues
5th-6th wks: Sorting algorithms and complexity
7th-8th wks: Numerical computations and errors
9th-10th wks: Searching algorithms
11th-12th wks: Probability and numerical computations
13th-15th wks: Advanced exercises

予習・復習内容

初回のガイダンス時に別途指示がある。

Instructions will be given in the first class.

関連科目

プログラミング演習Ⅰ / プログラミング演習Ⅱ

Programming 1 / Programming 2

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	プログラミングの宝箱 アルゴリズムとデータ構造 第 2 版			**ISBN**	9784797363289
	著者名	紀平 拓男, 春日 伸弥	**出版社**	ソフトバンククリエイティブ	**出版年**	1996
参考書 2	**書名**	定本 C プログラマのためのアルゴリズムとデータ構造			**ISBN**	9784797304954
	著者名	近藤 嘉雪	**出版社**	ソフトバンククリエイティブ	**出版年**	1998
参考書 3	**書名**	C 言語による最新アルゴリズム事典			**ISBN**	9784874084144
	著者名	奥村 晴彦	**出版社**	技術評論社	**出版年**	1991
参考書 4	**書名**	Algorithms in C: Parts 1-4, Fundamentals, Data Structures, Sorting, and Searching, 3rd Edition			**ISBN**	0201314525
	著者名	Robert Sedgewick	**出版社**	Addison-Wesley	**出版年**	1998

参考書に関する補足事項

達成目標

次の各項目について達成することを目標とする。
・再起呼び出し・連結リスト・スタック・キュー、木などを用いた C プログラムを作成できる。
・計算における近似と誤差、アルゴリズムの時間計算量について説明できる。
・アルゴリズムとデータ構造を応用した高度な C プログラムを作成できる。
Students completing this course are expected to be able to:
- Write C programs using recursive calls, linked lists, stacks, queues and trees.
- Explain the approximation and errors in computation and the time complexity of algorithms.
- Apply algorithms and data structures to write advanced C programs.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習に出席した上で期限内に提出されたレポートについて、合計点で評価する。1 本でもレポートの未提出がある場合は単位の修得を認めない。また特段の事情のない欠席には厳正に対処する。
A: 80 点以上　B: 65 点以上　C: 55 点以上
Students will be graded by assignments/reports submitted within the deadline. All assignments/reports must be submitted in order to pass the course. Absences will not be excused except in exceptional circumstances.
A: Score >= 80, B: Score >= 65, C: Score >= 55

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業日に演習室で相談に応じる。またメールによる問い合わせは随時可能である。
Consultation will be provided in the lab during the class time. Students are welcome to send an email asking about the course at any time.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

(B13510060)プログラミング演習Ⅳ[Programming 4]

科目名[英文名]	プログラミング演習Ⅳ[Programming 4]				
時間割番号	B13510060	区分	情報・知能専門Ⅰ	選択必須	必修
開講学期	後期	曜日時限	金 3～3	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	井佐原　均, 村越　一支, S3系教務委員－2ISAHARA Hitoshi, MURAKOSHI Kazushi, 3kei kyomu Iin-S2				
ナンバリング	CMP_BAC22212				

授業の目標

「プログラミング演習 Ⅰ」・「プログラミング演習 Ⅱ」・「プログラミング演習 Ⅲ」で得た C による構造化プログラミング経験を発展させ、オブジェクト指向プログラミング言語 Java のプログラミングに必要な基礎知識の修得を目的とする。これらは「ソフトウェア演習」、「情報・知能工学実験」等で行われるさらに高度なプログラミングのための基礎知識とする。

授業は講義形式の解説と演習課題のプログラミングの組合せで進める。
Provide an understanding of the basic principles of object-oriented programming for more high level programming exercise class such as Software Exercise I to IV.

Every class of this subject consists of lecture and programming practice.

授業の内容

統合開発環境 Eclipse を用い、概ね以下のとおり指定した教科書の順に進める（全15回, 試験を行わないが, 毎週レポートを課す）。

1～4 週:
Java の基礎
クラスとオブジェクト
カプセル化
5~7 週
オーバーロード, オーバーライド
抽象クラス、ポリモフィズム、インターフェース
8~11 週
GUI
内部クラス
スレッド
12～15 週
　最終レポート作成

This subject handles different feature of the JAVA in each week.
Each experiments in the class utilize eclipse integrated development environment (IDE) for JAVA programming.
In the class, some functions of eclipse IDE shall be explain if it's necessary.

Each class focus on the contents in below.
week 1-4:
* Java basics
* Class and Objects
* Encapsulation

week 5-7:
Overlord and Override
Abstract Class, Polymorphism and Interface

week 8-11:
GUI
Inner Class
Thread

week 12-15:
Final exercise and its report.

予習・復習内容

授業時間内では、簡単な演習を含めて Java の基礎的な内容について説明を行う。
このため、Eclipse の詳細な使用方法や、Java の詳細について、授業時間内では説明しないものもある。
このようなものが必要となる課題は課されないが、Java や統合開発環境への理解が深まるため、各自で予習・復習を行うことが望ましい。
また、最終レポート課題では、各自で一からプログラムを作成を行うため、Java への理解を深めるために積極的に予習を行うことが望ましい。
講義は毎回、前回の内容と異なる、あるいは発展した内容を取り扱うため、授業時間内に理解できなかった箇所などについては、次回の授業までにしっかりと復習を行うこと。
In this class introduces some basic Java class, methods and functions of Eclipse IDK.
If you want to create better program, it is need some self preparations to learn details of Java or Eclipse IDK.
Moreover, you have to create a complex GUI program from scratch in the final report.
Thus you should to do preparations yourself to complete the final report.

Each week handles different or extended experiments from a last week.
If you hadn't understand some point in the class, you should brush up experiments until next week.

関連科目

プログラミング演習 I,II,III
情報・知能工学基礎実験
情報・知能工学実験
ソフトウェア演習 I,II,III,IV
Programming I, II and III
Software I, II, III and IV
Basic Experiments in Computer Science and Engineering,
Experiments in Computer Science and Engineering

教科書 1	**書名**	Head First Java			**ISBN**	978-0-596-00920-5
	著者名	Kathy Sierra, Bert Bates	**出版社**	O'Reilly Media	**出版年**	2005
教科書 2	**書名**	Head first Java			**ISBN**	4873112796
	著者名	Kathy Sierra（著), Bert Bates（著), 島田 秋雄（監修), 神戸 博之（監修), 高坂 一城（監修), 夏目 大（翻訳）	**出版社**	オライリージャパン	**出版年**	2006

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	コア Java2〈Vol.1〉基礎編 改訂版			**ISBN**	
	著者名	ケイ S. ホーストマン 他	**出版社**	アスキー	**出版年**	2001
参考書 2	**書名**	Java プログラミングマスターコース			**ISBN**	
	著者名	ブルース・エッケル	**出版社**	ピアソン・エデュケーション	**出版年**	1999
参考書 3	**書名**	デザインパターンとともに学ぶオブジェクト指向のこころ			**ISBN**	
	著者名	アラン・シャロウェイ 他	**出版社**	ピアソン・エデュケーション	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項

参考 Web サイト: @IT(アットマーク・アイティ) http://www.atmarkit.co.jp/index.html
・Java プログラミング入門「Eclipse ではじめるプログラミング」が初歩からわかりやすく説明されている.

達成目標

Java の基本（オブジェクト指向プログラミングからマルチスレッドまで）を理解すると同時に、統合開発環境 Eclipse 上でのソースコード編集や自動コンパイルの仕組みを習得する。

1. オブジェクト指向、統合開発環境 Eclipse の使用方法と実行方法の理解。
2. Java と C の類似点と相違点の理解
3. Java におけるクラスとオブジェクトと、メソッドとフィールドの理解。
4. 汎化・継承の理解。

5. メソッドのオーバーライド・オーバーロードによるオブジェクトの振る舞いの違いの理解。
5. 入出力メソッドなど、クラスメソッドによる処理の理解。
6. インターフェースを用いた汎用性・保守性の高いクラス設計の理解。
7. マルチスレッドによる並列処理の理解。
8. これらを駆使して、独創的なプログラムを一から作り上げる能力を身につける。
To understand Java basics and to master writing Java program with eclipse IDK.

More precise, there are 8 objectives for this class in below.

1. To understand the object-oriented Programming, writing, compiling and running Java programs with eclipse IDK.
2. To understand the difference between Java and C language.
3. To understand the class, object, method and field in Java.
4. To understand the inheritance relationship.
5. To understand the method override and overlord with its difference of objects behavior.
6. To understand to construct a class with high versatility and maintainability
7. To understand the multi-thread processing.
8. To master to create a original Java program from scratch.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的にすべての講義に出席したものにつき、各回の演習課題のレポート(50 点満点)と、達成目標全体の達成度合いを総合的に評価する最終レポート(50 点満点)の合計点で評価する。
S: 90 点以上 A: 80 点以上 B: 70 点以上 C: 60 点以上
Students who attend all classes will be evaluated by short reports for every week (50 points) and final report (50 points).
S: over 90 points. A: 80-89 points. B: 70-79 points. C: 60-69 points.

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

【前半】井佐原

【後半】村越
room: F-507 (6899)
e-mail: mura [at] tut.jp
[former half] Isahara

[later half] Murakoshi
room: F-507 (6899)
e-mail: mura [at] tut.jp

ウェルカムページ

講義中に周知する。
It is notified during the lecture.

オフィスアワー

質問、意見等随時受けます。
Any time.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
オブジェクト指向，Java プログラミング，統合開発環境 Eclipse
Object-Oriented Programming, Java, eclipse IDK

(B13510070)離散数学基礎[Introduction to Discrete Mathematics]

科目名[英文名]	離散数学基礎[Introduction to Discrete Mathematics]				
時間割番号	B13510070	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	石田　好輝 ISHIDA Yoshiteru				
ナンバリング	CMP_BAC11112				

授業の目標

離散構造を持つシステムをモデル化し、分析するツールとして、グラフ・ネットワーク理論の基礎を習得する。

To model the system with a discrete structure, to use as analysis tools, a student learns the basics of graph network theory.

授業の内容

計算機を用いた問題解決の対象となるシステムの多くは、グラフ・ネットワークなどの離散構造をしている。そこで、離散構造を持つシステムをモデル化し、分析するツールとして、グラフ・ネットワーク理論を取り上げる。

1週目―3週目　数学的準備と離散数学の基礎概念（集合，写像，関数，数学的帰納法，背理法，鳩の巣原理(ディリクレの抽出し論法)）
4週目―6週目　グラフの基礎概念
・路，閉路，連結性
・木、カットセット
・オイラー路、オイラー閉路とハミルトン路、ハミルトン閉路
7週目―8週目　平面グラフと双対グラフ
9週目―10週目　ネットワーク設計とグラフの連結性
11週目―12週目　最短路問題入門
・動的計画法と最短路問題
・閉路がない場合
・ダイクストラ法
13週目―15週目　2部グラフのマッチング
・2 部グラフのマッチングとは
・完全マッチング
・最大マッチング
16 週目　定期試験

Many systems that become the subject of problem solving using a computer system, have a discrete structure, such as a graph network. Therefore, we model the system with a discrete structure, and
learn the graph network theory as analysis tools.

1-3 weeks mathematical preparation and discrete mathematics of the basic concepts (set, mapping, function, mathematical induction, reductio ad absurdum, nest principle of pigeon (Dirichlet of the extracted reasoning))
4-6 weeks basic concepts of graph theory
- path, circuit
- tree, cut set
- Euler path, Euler circuit
- Hamilton path, Hamilton circuit
7-8 weeks planar graph and dual graph
9-10 weeks network design and connectivity of graph
11 -12 weeks introductory shortest path problem
- Dynamic programming and shortest path problem
- The case where no closed-circuit
- Dijkstra method
13-15 weeks bipartite matching of graph
- The matching of graph
- complete matching
Maximum matching
Week 16 regular test

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに,次週の内容について配布資料(プリント)等を参考に予習してくること。
In addition to review each time of lectures, you are ask to attend the lecture with preparation in reference to such handouts (print) about the contents of the next week.

関連科目
特に予備知識は要らないように配慮します。
No prior knowledge is required.

教科書に関する補足事項
教科書・・・講義内容を記したプリントを配布します。

No textbook is used as each time a hand out is distributed.

参考書に関する補足事項

達成目標
1) グラフ・ネットワーク理論の基本的な知識・理解を有すること
2) 最小木問題、最短路問題、最大流問題を解くアルゴリズムを使いこなせること
3) 離散構造を持つシステムのグラフ・ネットワークによるモデル化への理解を深めること

1) To have a basic knowledge and understanding of the graph network theory
2) To master algorithms to solve the minimum tree problem, shortest path problem, and the maximum flow problem
3)To have deep understanding of modeling of systems with discrete structure using the graph network.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末試験・レポート(80%+20%)で評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
Credit is given considering final exam(80%) and assignments(20%)

S:Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points)
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B:Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C:Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
居室:F504, e-mail: ishida@tut.jp
Office:F504, e-mail: ishida@tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時。メールにて事前に御連絡下さい.

Please make reservation by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
グラフ、ネットワークの設計と分析、離散システムのモデリングと分析，木，閉路，連結性、最小木，最短路、最大流
Graph, analysis and network design, analysis and modeling of discrete systems, wood, closed, connectivity, minimum spanning trees, shortest path, maximum flow

(B13510080)データ構造基礎論[Introduction to Data Structures]

科目名[英文名]	データ構造基礎論[Introduction to Data Structures]				
時間割番号	B13510080	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	高橋　由雅 TAKAHASHI Yoshimasa				
ナンバリング	CMP_BAC12012				

授業の目標

コンピュータにデータを記憶させる場合の「記憶のさせ方」（データ構造）には様々な方式がある。プログラミングの基礎となる代表的なデータ構造として、配列、リストとポインタ、スタック、キュー、木などのデータ構造の考え方を理解する。

The module provides an introduction to data structures, which form the important of much of applicable computer programming. The theory behind data structures andthe basic ideas will be introduced, along with examples occurring in diverse algorithms for computer programming..

There are no prerequisites for this module.

授業の内容

１週目　データ構造とは？
２週目　計算量とO記法
３週目　O記法による計算量の計算
４週目　配列（１次元配列、２次元配列）
５週目　リストとポインタ
６週目　リストの作成と基本操作（１）構造体と自己参照定義
７週目　リストの作成と基本操作（２）連結リストの作成と節点の追加・削除
８週目　スタック
９週目　キュー
１０週目　木構造
１１週目　木構造と再帰
１２週目　木のデータ走査
１３週目　２分探索木
１４週目　２分探索法とハッシュ法
１５週目　講義のまとめ
１６週目　定期試験

1st week What is the data structures?
2nd week Computational complexity and order description
3rd week Estimation of computational complexity by order method
4th week Array (one-dimensional and Two-dimensional).
5th week List and pointer
6th week Making a list and the basic operation(1)
7th week Making a list and the basic operation(2)
8th week Stack
9th week Queue
10th week Tree structure
11th week Tree structure and recursion
12th week Data scanning on the tree
13th week Searching tree
14th week Hashing method
15th week Recapitulation
16th week Examination at the end of the term

予習・復習内容

毎回、教科書等で予習・復習をすること。また、講義資料については指定する URL から参照・ダウンロードできようにしますので復習等に役立ててください。

Supporting material will be made available on the class website (to be announced).

関連科目

教科書 1	**書名**	基礎から学ぶデータ構造とアルゴリズム	**ISBN**	978-4-320-12243-7

	著者名	穴田有一、林雄二	出版社	共立出版	出版年	2009
教科書 2	書名	基礎から学ぶデータ構造とアルゴリズム			ISBN	978-4-320-12243-7
	著者名	穴田有一、林雄二	出版社	共立出版	出版年	2009

教科書に関する補足事項

教科書は日本語ですが、講義資料や板書はすべて英語です。
Although the textbook is Japanese, lecture materials and board books are all in English.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)計算量の概念を理解し、簡単なアルゴリズムについて、O記法による計算量の計算ができる。
2)配列の概念を理解し、1次元配列、2次元配列によるデータの更新、削除、挿入の操作ができる。
3)リストとポインタの概念を理解し、データの更新、削除、挿入の操作ができる。
4)スタックの概念を理解し、プッシュとポップによるデータの格納、取り出しの操作ができる。
5)キューの概念および、エンキュー、デキューによるデータの操作を理解する。
6)木構造によるデータの関連づけと用語を理解し、必要な表現ができる。
7)再帰呼び出しの概念と用法を理解する。
8)データ構造に応じた代表的なデータ探索法について、そのアルゴリズムを理解する。
1)understand the basic definitions of probability;
2)understand and perform calculations for computaional complexity of algorithms;
3)understand the form and logical basis of array structures and be able to use the data structure;
4)understand the form and logical basis of stacks and queues, and be able to use the data structures;
5)recognize the termilogy of tree structures;
6)understand the form and logical basis of tree structures and recursions;
7)recognize traversing the tree in depth first and in width first;
8)understand the form and logical basis of binary trees and traversing the trees;
9)understand the form and logical basis of hash methods;

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績評価は定期試験70%、課題・小テスト30%の割合で行う。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100点満点)が90点以上
A:達成目標を90%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100点満点)が80点以上
B:達成目標を80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100点満点)が70点以上
C:達成目標を70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100点満点)が60点以上
Classroom performance 30%
Written examination　70%
Total score for
S: 90-100
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

教科書の持込み不可。
Closed books and no materials.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

毎週金曜日、午後1:00－3:00

Friday 1:00-3:00 PM

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
データ構造、アルゴリズム、計算量、配列、ポインタ、リスト、スタック、キュー、再帰、2分木
data structure, algorithm, computaional complexity, array, pointer, list, stack, qeue, recursion, binary tree

(B13510090)情報・知能工学基礎実験[Basic Experiments in Computer Science and Engineering]

科目名[英文名]	情報・知能工学基礎実験[Basic Experiments in Computer Science and Engineering]				
時間割番号	B13510090	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	東　広志, 吉田　光男, 長谷川　孔明, 桂樹　哲雄, 相田　慎, 中村　純哉, 原田　耕治 HIGASHI Hiroshi, YOSHIDA Mitsuo, HASEGAWA Komei, KATSURAGI Tetsuo, AIDA Shin, NAKAMURA Junya, HARADA Koji				
ナンバリング	CMP_BAC28012				

授業の目標

情報・知能工学に関する原理、法則を単なる概念的理解にとどめず、実験活動を通じて体得する。すなわち、実験装置および器具の使用法、実験の計画・実施方法、さらにはチームワークの方法などを習得することにより、研究者ならびに技術者としての基礎学力と問題解決能力を養うと共に、報告書の作成能力の育成を目的とする。

You learn deeply principles and theories in computer science and engineering through this experiment.
By developing how to use experimental equipments and instruments, to plan and implement the experiment, and to collaborate with other people, you learn fundamental academic and problem-solving abilities for researchers and engineer.
Additionally, the class is to learn how to write technical reports.

授業の内容

第 1 週:ガイダンス(実験の進め方、レポートの書き方等について)
第 2 週:オシロスコープ測定実験
第 3 週～第 14 週:小グループに分かれて、以下のテーマを順次行う(1 週 1 テーマ)。
LCR 回路 増幅回路 発振回路 変復調回路 DA 変換回路 論理回路Ⅰ(組み合せ論理回路)
論理回路Ⅱ(順序回路) パーソナルコンピュータの分解と組み立て 計算機間データ通信の基礎
計算機基礎Ⅰ 計算機基礎Ⅱ 計算機基礎Ⅲ
第 15 週:レポート指導

1st week: guidance (how to carry out the experiments and to write reports)
2nd week: Oscilloscopes
3rd--14th weeks: the class is divided into subgroups and the following themes are conducted one by one.
- LCR Circuits
- Amplifier Circuits
- Oscillation Circuits
- Modulation and Demodulation Circuits
- DA Converters
- Logical Circuit I (Logical Operation Circuits)
- Logical Circuit II (Sequential Circuits)
- Disassemble and Assemble of PCs
- Basics for Data Communication Among Computers
- Basics of Computers I
- Basics of Computers II
- Basics of Computers III

15th week: Guidance for Writing Reports

予習・復習内容

初回のガイダンス時に別途指示がある。
The instruction for the preparations and reviews are shown at the guidance in the first week.

関連科目

情報・知能工学課程のすべての科目に関連する。
This class relates all of the class in the Course of Computer Science and Engineering.

教科書に関する補足事項

実験指導書を配布する。
The guides are distributed.
Some themes use web documents.

参考書 1	**書名**	理科系の作文技術			**ISBN**	978-4-12-100624-0
	著者名	木下是雄	**出版社**	中公新書	**出版年**	1981

参考書に関する補足事項

各実験テーマにおいて、個別の参考資料が紹介される場合がある。
The teachers can introduce supplemental materials at each experimental theme.

達成目標

A. オシロスコープ測定実験
(1)オシロスコープの動作原理を理解し、使用方法に精通して、周辺技術を含めた電気信号測定技術の基礎が理解できる。

B. LCR 回路
(1)抵抗、容量、インダクタンスによる線形受動回路の周波数応答、過渡応答の測定を通じて回路理論の基礎が理解できる。

C. 増幅回路
(1)汎用演算増幅器(OP-amp)の働きを理解し、その基本的な使い方が理解できる。
(2)オペアンプを用いた応用回路を実現し、それらの特性が理解できる。

D. 発振回路
(1)オペアンプを用いて三角波発振回路、矩形波発振回路、正弦波発振回路、AGC 付き正弦発振回路を実現し、その特性が理解できる。

E. 変復調回路
(1)AM 変調回路、AM 復調回路をオペアンプで構成し、その特性の計測を通してその原理が理解できる。

F. DA 変換回路
(1)定電流型 DA 変換回路を構成し、その動作を計測することにより、原理や特性が理解できる。

G. 論理回路Ⅰ(組み合せ論理回路)
(1)基本ゲートの動作が理解できる。
(2)基本ゲートにより構成される組み合わせ論理回路の代表的な例として、半加算器、全加算器、エンコーダ、デコーダの動作が理解できる。
(3)PLD 素子を用いた論理回路設計法が理解できる。

H. 論理回路Ⅱ(順序回路)
(1)基本的な順序回路である、各種のフリップフロップの動作が理解できる。
(2)フリップフロップを用いたシフトレジスタやカウンタを構成し、それらの動作が理解できる。

I. パーソナルコンピュータの分解と組み立て
(1)パーソナルコンピュータの分解・組立作業を通して PC の内部構成について説明できる。
(2)PC および PC の内部部品を扱う際の実践的知識が理解できる。

J. 計算機間データ通信の基礎
(1)RS-232C を用いた計算機間シリアル・データ伝送を通して、ディジタルデータ通信の基礎が理解できる。

K. 計算機基礎Ⅰ
(1)論理回路Ⅰ及び論理回路Ⅱにおいて学んできた論理回路素子を結びつけ、実際に動作する超小型超簡易計算機を Programmable LSI に実現し、その動作を確認することで論理回路の応用と計算機の原理が理解できる。

L. 計算機基礎Ⅱ
(1)ワンボード計算機(KUE-CHIP2)のアセンブラプログラムを書き、ステップ実行させることによって、計算機のアーキテクチャが理解できる。
(2)加算、減算、分岐、Load、Store 命令実行後のアキュムレータやフラグ、レジスタ、あるいはメモリの変化を観察することによって、機械語命令の動作や CPU の構成が理解できる。

M. 計算機基礎Ⅲ
(1)計算機基礎 II に引き続き、KUE-CHIP2 を用いて、簡単ないくつかの命令を組み合わせたアセンブラ・プログラミングが理解できる。
(2)無条件ジャンプ命令の実行を観察することにより、順序実行以外のプログラムの実行形態が理解できる。
(3)条件付ジャンプ命令の実行を観察することにより、プログラムの制御機構が理解できる。
(4)プログラムの制御構造を応用したプログラミングが理解できる。

A. Oscilloscopes
(1) You learn the principles of oscilloscopes, master its usage, and understand basics of measurement techniques of electrical signals and peripheral technologies.

B. LCR Circuits

(1) You understand the basics of circuit theories through the measurements of frequency and transitional responses of linear passive circuit composed of resistances, capacitances, and inductances.

C. Amplifier Circuits
(1) You understand operation of operational amplifies and the usage of it.
(2) You understand the property of operational amplifies by implementing applied circuits.

D. Oscillation Circuits
(1) You implement oscillation circuits of triangle, rectangle, and sinusoidal waves, oscillation circuit with AGC of sinusoidal waves and understand their property.

E. Modulation and Demodulation Circuits
(1) You implement AM modulation and demodulation circuits with operational amplifiers, measure the their properties and understand their principles.

F. DA Concerters
(1) You implement a constant current type DA convertor and understand the principles and properties by measuring it.

G. Logical Circuits I (Logical Operation Circuits)
(1) You understand the operations of the basic gates.
(2) You understand the operations of a half adder, adder, encoder, and decoder which are representatives of logical operation circuits composed of the basic gates.
(3) You understand the design procedure of logical circuits with PLD elements.

H. Logical Circuits II (Sequential Circuits)
(1) You understand some types of the flip-flops which are fundamental sequential circuits.
(2) You implement shift-registers and counters with the flip-flops and understand their operations.

I. Disassemble and Assemble of PCs
(1) You understand the internal structure of PCs through disassemble and assemble of it.
(2) You learn the practical knowledges for the use of PC and its internal parts.

J. Basics for Data Communication among Computers
(1) You understand the basics of digital data communication through serial data transfers with RS-232C between computers.

K. Basics of Computers I
(1) You implement tiny simple computers on Programmable LSI composed of logical circuit elements that you learn in Logical Circuit I and II. You understand the application of the logical circuits and the principles of computers by observing the operations of the computers.

L. Basics of Computers II
(1) You understand architectures of computers by writing assembly programs and implementing them on a one-board computer (KUE-CHIP2).
(2) You understand the structure of computers and operations of machine code commands through observing the changes of the accumulator, flags, registers, and memory while executing the commands of addition, subtraction, branch, load, and store.

M. Basics of Computers III
(1) Following Basics of Computers II, you understand assembly programming using simple commands.
(2) You understand the execution procedure other than sequential executions by observing the execution of an unconditional branch command.
(3) You understand the control mechanisms of programming by observing the execution of a conditional branch command.
(4) You understand programming using the control mechanisms of programming.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

実験終了後 1 週間以内に提出されたレポートを 70%、実験時間中の態度を 30%としてテーマ毎に採点し、その合計で評価する。ただし、1つでも欠席あるいはレポート未提出の実験がある場合には単位を認めない。
A:80 点以上、B:65 点以上、C:55 点以上。

The evaluation for each theme is based on
- report that you should submit in 1 week after the experiment (70%)
- attitude in the class (30%).

The final evaluation is the sum of the evaluations for all themes.
However, you can not obtain the class, if you have even one unsubmitted report or absence for the class.
A: over 80, B: over 65, C: over 55

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

説明会で指導書および連絡先リストを配布する。

The guide and the contact addresses of the teachers are passed out in the first class.

ウェルカムページ

http://www.cs.tut.ac.jp/jikken/
http://www.cs.tut.ac.jp/jikken/

オフィスアワー

それぞれの実験課題の担当教員から連絡する。これ以外の時間帯に訪問を希望する場合は、E-mail、内線電話などで随時時間を打ち合わせる。担当教員および連絡先は、説明会で配布する連絡先リストを参照のこと。
The office hour is announced from the teacher for each theme.
If you want to visit on the other time, you can set the time by E-mail and extensions.
The contact addresses of the teachers are available in the list passed at the first class.

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード

(B13510100)プロジェクト研究[Research Project]

科目名[英文名]	プロジェクト研究[Research Project]				
時間割番号	B13510100	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	S3系教務委員 3kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	CMP_BAC28010				

授業の目標

学生らが自ら考え，設計し，作成するような実践的な課題に取り組むことにより，発想力・自主性・積極性，プログラムの設計・作成能力，他の学生との協調・協働能力，プレゼンテーション能力を養う.

By letting students think by themselves, design, and challenge some practical themes, creativity, autonomy, aggressiveness, ability to design and produce programs, coordination, cooperation with the other students, and presentation skills are cultivated.

授業の内容

15 週を前半(9週) と後半(6週) に分けて、異なる形態で実施する.
原則として、前半は目的とする実践的課題に必要な基礎概念や技術、および実装方法を各自で学び、後半は実践的課題に取り組む. ただし、詳細は研究室に依存する.
また、最初のガイダンスと最後の発表会(プレゼンテーション)は演習室・会議室等で合同で実施する.
H29 年度の担当研究室は以下のとおりである. 内容の詳細については、後刻、通知する。

石田研究室, 藤戸研究室, 三浦研究室, 北崎研究室
In this lecture 15 weeks are divided into first 9 weeks and second 6 weeks where lectures are carried out in different forms.

As a general rule, the first part is devoted to learn basic concepts and technologies and how to implement it required to challenge the practical issue.

The second half is to challenge the practical issues.
However, details will be dependent on the laboratory.

The following laboratories are in charge of this lecture in year 2017:
Prof. Ishida's Laboratory, Prof. Fujito's Laboratory, Prof. Miura's Laboratory, Prof. Kitazaki's Laboratory.

More detailed information will be announced later.

予習・復習内容

研究室毎に異なる。
Depends on the laboratory.

関連科目

ICT 基礎, プログラミング演習 I/II/III/IV, 情報・知能工学基礎実験

Introduction to Information and Computer Technology, Programming Exercises I/II/III/IV, Basic Experiments in Computer Science and Engineering

教科書に関する補足事項

最初のガイダンスでは共通の資料を配布する. それ以降は、必要な資料や文献等は研究室単位で通知する.

The first lecture is devoted to the guidance of the lecture and some explanation materials are distributed.
From the second lecture, required materials and references will be noticed at each laboratory.

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) デバッガや開発環境を利用したプログラミング開発が行える.

(2) 中規模以上の課題型プログラミングやシステム開発に対する機能仕様書、技術仕様書、成果報告書が書ける.
(3) グループ内の協働によるプログラミングやシステム開発が行える.
(4) 簡潔かつ適切なプレゼンテーションが行える.

(1) To perform programming development using the debugger and development environment.
(2) To write functional and technical specifications, and final report we write for medium-sized or more of challenge-type programming.
(3) To perform programming and systems development by cooperating in the group.
(4) To make a brief and appropriate presentation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

・基礎課題(前半 5 週分): 20%
・外部仕様書: 10%
・最終報告書(外部仕様, 内部仕様を含む): 20%
・発表会でのプレゼンテーション: 10%
・完成したプログラムに対する評価: 10%
・完成したプログラムに対する個人の寄与度: 10%
・指導教員の評価(研究姿勢など): 20%

A:80 点以上、B:65 点以上、C:55 点以上

・Basic understanding: 20%
・External specification: 10%
・Final Report(including external and internal specification): 20%
・Presentation at the joint presentation: 10%
・Evaluation of the developed program: 10%
・The student's contribution to the developed program: 10%
・Evaluation by the supervisor(attitude to research activity): 20%

A:not less than 80, B:not less than 65, C:not less than 55

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

合同発表会(プレゼンテーション)を試験期間直前に行う。また、発表会後に最終報告書の提出を課す。
Joint presentation is required just before the exam weeks. Final report is also needed after the joint presentation.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

各指導教員に問い合わせること。
Ask each supervisor of the project.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学, データ構造とアルゴリズム, 計算機アーキテクチャ, プログラミング, 情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チーム内の個々の要員の価値観を互いに尊重するとともに, 協調して, チームとしての目標達成に寄与することができる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(G) Ability to work with a team
Have the ability to understand what to do and what other people should do when working with others in a coordinated manner and to implement them or take actions.

キーワード

(B13510110)論理回路基礎[Introduction to Logic Circuits]

科目名[英文名]	論理回路基礎[Introduction to Logic Circuits]				
時間割番号	B13510110	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	三浦　純 MIURA Jun				
ナンバリング	CMP_BAC12112				

授業の目標

コンピュータのハードウェアの基本的な仕組みの一つとして，論理回路（特に，組み合わせ回路）を学ぶ．そのために，論理数学と論理回路をさまざまな角度から理解し，基礎知識を習得する．さらに，いろいろな組み合わせ回路の基本設計や簡単化の手法を習得する．

To introduce the fundamentals of logic circuits, especially combinational circuits. Topics covered are: Boolean algebra, logic functions and logic gates, simplification of logic functions, and combinational circuits design.

授業の内容

1 週目：概要
2 週目：2 進数，論理代数
3 週目：論理関数とその性質
4 週目：ド・モルガンの定理とシャノンの展開定理
5 週目：加法標準形と乗法標準形
6 週目：真理値表とカルノー図
7 週目：論理関数と論理回路
8 週目：中間試験
9 週目：組み合わせ回路の最適化
10 週目：カルノー図による最適化
11 週目：クワイン・マクラスキー法による最適化
12 週目：多段論理回路とドントケアの利用
13 週目：AND/OR 回路，NAND 回路，NOR 回路の設計
14 週目：応用論理回路（マルチプレクサ，デマルチプレクサ，デコーダなど）
15 週目：応用論理回路（加算器，2 ビット以上の加算器，多数決回路など）
16 週目：期末試験
Week1: Introduction.
Week2: Binary numbers, Boolean algebra.
Week3: Logic functions and its characteristics.
Week4: De Morgan's theorem, Shannon's expansion theorem.
Week5: Disjunctive normal form, Conjunctive normal form.
Week6: Truth table, Karnaugh map.
Week7: Logic functions and logic gates.
Week8: Mid-term exam.
Week9: Combinational logic optimization.
Week10: Optimization using Karnaugh maps.
Week11: Optimization using the Quine-McClusky method.
Week12: Multi-layer logic circuit, Don't-care term.
Week13: Universality of logic gates.
Week14: Combinational logic circuit examples 1 (Multiplexor/De-multiplextor, Encoder/Decoder).
Week15: Combinational logic circuit examples 2 (Half adder, Full adder, Voting circuit)
Week16: Final exam.

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について教科書を見て予習してくること．

Regularly reviewing and preparing for the lecture using provided materials are desirable.

関連科目

計算機アーキテクチャ概論，論理回路応用

Computer Architecture, Logic Circuit Design

教科書に関する補足事項

講義資料を配布する

Handouts will be provided

参考書 1	**書名**	コンピュータサイエンスで学ぶ論理回路とその設計	**ISBN**	978-4764902756

	著者名	柴山潔著	出版社	近代科学社	出版年	1999

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)論理代数の定理(ド・モルガンの定理など)が理解できる. 真理値表が書ける.
(2)論理ゲートを MIL 記法で記述できる.
(3)論理変数を使った任意の論理式を加法および乗法標準形に変形できる.
(4)カルノー図による組み合わせ回路の簡単化ができる.
(5)クワイン・マクラスキー法による組み合わせ回路の簡単化ができる.
(6)加算器, マルチプレクサ, デコーダなど基本的な組み合わせ回路を理解できる.
To understand Boolean algebra and important theorems.
To learn how to draw circuit diagrams.
To learn how to convert logic functions into normal forms.
To learn how to simply logic functions using Karnaugh maps.
To learn how to simply logic functions using Quine-McClusky method.
To understand various combinational circuits and learn how to design them.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価には, 達成目標の全体の達成を総合的に評価する試験(70 点満点)とレポート(30 点満点)の合計点を用いる.
S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来(A～C)の評価基準を適用する.
Evaluation is based on exams (70%) and assignments (30%).
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

部屋:C-604
Email:jun.miura@tut.jp
Room: C-604
Email: jun.miura@tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

事前に email で予約すること.
Get an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術, 地球環境対応技術の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学, データ構造とアルゴリズム, 計算機アーキテクチャ, プログラミング, 情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

論理回路，論理代数，回路設計
Logic circuits, Boolean algebra, combinational circuits.

(B13530070)数理生命情報学序論[Introduction to Mathematics for Life Science and Informatics]

科目名[英文名]	数理生命情報学序論[Introduction to Mathematics for Life Science and Informatics]				
時間割番号	B13530070	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	栗田　典之 KURITA Noriyuki				
ナンバリング	CMP_BAC23122				

授業の目標

生命情報学（バイオインフォマティクス）の現状を理解し、その数理モデルの基本概念について学ぶ。

The purpose of this course is to introduce the basic concepts of mathematical models for bioinformatics.

授業の内容

1. バイオインフォマティクスの歴史と現状
2. バイオインフォマティクスに必要な分子生物学：(1)DNA,タンパク質
3. バイオインフォマティクスに必要な分子生物学：(2)遺伝子発現の機構
4. 配列解析：(1)相同配列
5. 配列解析：(2)相同配列の比較
6. 配列解析：(3)機能予測
7. タンパク質の立体構造解析：(1)構造データ
8. タンパク質の立体構造解析：(2)構造の分類
9. タンパク質の立体構造解析：(3)構造予測
10. タンパク質の立体構造解析：(4)機能の予測
11. ゲノム塩基配列解析：(1)塩基配列の決定
12. ゲノム塩基配列解析：(2)遺伝子の機能予測
13. トランスクリプトーム解析
14. プロテオーム解析
15. まとめ
16. 定期試験

1. Introduction of bioinformatics
2. Molecular biology for bioinformatics: (1) DNA, protein
3. Molecular biology for bioinformatics: (2) Mechanism of gene expression
4. Sequencing analysis: (1) Homology sequence
5. Sequencing analysis: (2) Comparison of sequences
6. Sequencing analysis: (3) Prediction of function
7. Analysis of protein structures: (1) Data base of structures
8. Analysis of protein structures: (2) Classification of structures
9. Analysis of protein structures: (3) Prediction of structures
10. Analysis of protein structures: (4) Prediction of functions
11. Analysis of genome sequences: (1) Determination of base sequences
12. Analysis of genome sequences: (2) Prediction of genome functions
13. Transcriptome analysis
14. Proteome analysis
15. Summary
16. Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について教科書等を参考に予習してくること。

It is highly recommended to go through the text in advance of the class.

関連科目

数学（線形代数、確率・統計、微分積分、離散数学）

Mathematics (linear algebra, probability and statistics, calculus, discrete mathematics)

教科書 1	**書名**	はじめてのバイオインフォマティクス	**ISBN**	4-06-153862-

						4
	著者名	藤博幸 編,	出版社	講談社	出版年	2006

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	分子生物学のためのバイオインフォマティクス入門			ISBN	4-320-05580-2
	著者名	J.C. Setubal, J. Meidanis 著,	出版社	共立出版	出版年	2001

参考書に関する補足事項

達成目標

・バイオインフォマティクスの歴史と現状についての理解
・バイオインフォマティクスに必要な分子生物学の理解
・配列解析の基本概念の理解
・タンパク質の立体構造解析の基本概念の理解
・ゲノム塩基配列解析の基本概念の理解
・トランスクリプトーム、プロテオーム解析の基本概念の理解

Understanding of history and present state of bioinformatics
Understanding of molecular biology for bioinformatics
Understanding of basic concepts of sequencing analysis
Understanding of basic concepts of protein structure analysis
Understanding of basic concepts of genome sequence analysis
Understanding of basic concepts of transcriptome and proteome analyses

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
受講状況及びレポート 30%、定期試験及び小テスト 70%　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
Reports and classroom performance 30%
Examinations 70%

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業実施日の講義時間の後

After the lecture time in class date

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活

用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード
生命情報、バイオインフォマティクス、分子生物学、数理モデル、アルゴリズム
bioinformatics, life science, molecular biology, mathematical models, algorithms

(B13530080)データ分析序論[Introduction to Statistical Data Analysis]

科目名[英文名]	データ分析序論[Introduction to Statistical Data Analysis]				
時間割番号	B13530080	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	岡田　美智男 OKADA Michio				
ナンバリング	CMP_BAC22422				

授業の目標

データ分析の基本的な考え方や統計的検定の技法を EXCEL 等のソフトウェアを駆使しながら実践的に学ぶ. 特にデータ分析の背後にある理論を理解し, 実験データを分析し活用できるようにする.

Understanding the foundation of statistical data analysis and practical data analysis methods using the analysis tools and functions in Excel, such as basic descriptive statistics of data, correlation between two variables, linear regression analysis, discriminant analysis and principal component analysis.

授業の内容

講義と演習から構成される。

(1-3 週) 統計解析の基礎, データの可視化, 基本統計量
(4-6 週) 統計的な検定手法の基礎的な考え方
(7-9 週) 2変数間の関係, 回帰分析及び重回帰分析の基本的な考え方
(10-12 週) 判別分析の基礎的な考え方, 判別分析の各種手法
(13-15 週) 総合課題

(1-3) Fundamental of descriptive statistics of data, visualization methods using the histogram and graph tools.
(4-6) Statistical hypothesis testing such as Multivariate Analysis of Variance, t-test, chi-square test.
(7-9) Correlation between two variables, linear regression analysis and multiple regression analysis.
(10-12) Discriminant analysis and applicable ways to pattern recognition methods.
(13-15) Practices for practical applications.

予習・復習内容

講義資料を Web 上で公開しますので、講義中だけではなく, 予習や復習に利用してください.
Notes for the lectures will be uploaded on our class Web page.
Please use them for your preparation and review.

関連科目

教科書に関する補足事項

講義資料を Web 上に用意します. テキストは使用しません.

Notes for the lectures will be uploaded on our class Web page.

参考書 1	**書名**	すぐわかるEXCELによる多変量解析			**ISBN**	
	著者名	内田治	**出版社**	東京図書	**出版年**	2000

参考書に関する補足事項

達成目標

①データ解析の基礎的な考え方を理解する
②相関, 回帰分析, 重回帰分析を理解し、活用できるようにする
③t検定、分散分析、$\chi 2$ 検定などの統計的検定の考え方を理解し, 活用できるようにする
④判別分析の考え方を理解し、活用できるようにする
(1) Understanding fundamental issues of statistical data analysis.
(2) Learning practical ways for data analysis using Excel statistical functions and tools.
(3) Getting fundamental knowledge of statistical hypothesis testing, linear regression analysis and multiple regression analysis, discriminant analysis.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

(1) 授業への取組 (30%)

(2) 授業内での課題提出(40%), その考察の内容(30%):実際のデータサンプルを与えるので、それを整理・分析した結果を Web ページ(授業の Wiki Page)を介して提出する。
(1) Attendance-late for the lectures (30%)
(2) Short practice reports in the lectures (40%)
(3) Contents of the consideration for your analysis data (30%)

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
火曜日4限
Tue.4

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術, 地球環境対応技術の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード
データ解析, 統計的検定, 主成分分析, 回帰分析, 重回帰分析, 判別分析
Descriptive statistics of data, visualization, Statistical hypothesis testing, Multivariate Analysis of Variance, t-test, chi-square test, multiple regression analysis, discriminant analysis

(B13530090)計算機アーキテクチャ概論[Introduction to Computer Architecture]

科目名[英文名]	計算機アーキテクチャ概論[Introduction to Computer Architecture]				
時間割番号	B13530090	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	青野　雅樹 AONO Masaki				
ナンバリング	CMP_BAC22122				

授業の目標

コンピュータの基本アーキテクチャであるノイマン型(プログラム内蔵方式)計算機について，その基本動作の仕組み，計算機の各構成要素の動作の仕組み，ならびにアセンブラによるプログラム方法を理解する。特に，プロセッサアーキテクチャ，キャッシュメモリと仮想記憶に代表されるメモリアーキテクチャに焦点を当てる。MIPS アセンブラ言語を用いて，これらの概念の理解を高める。

The main focus of this class is the basic understanding of von Neumann (a.k.a. stored-program based) computer architecture. Objectives of this class include the understanding of how computer instructions should be chosen, how they should be stored in computer memory, how they should be fetched initially from a file (program) kept in a disk, from the main memory, or from the upper memory hierarchies such as the primary and secondary caches, to the CPU (registers). MIPS assembly language, as an example of RISC (Reduced Instruction Set Computer), has to be understood to augment the understanding of these concepts.

授業の内容

1週目 計算機の歴史
2週目 計算機の基本的な仕組み
3週目 計算機での数値表現、命令表現
4週目 命令セットアーキテクチャ(その 1)
5週目 命令セットアーキテクチャ(その 2)
6週目 MIPS アセンブラ(その 1)
7週目 MIPS アセンブラ(演習，情報メディア基盤センター第 2 端末室利用予定)
8週目 MIPS アセンブラ(その 2)
9週目 キャッシュメモリアーキテクチャ(その 1)
10週目 キャッシュメモリアーキテクチャ(その 2)
11週目 仮想記憶アーキテクチャ(その 1)
12週目 仮想記憶アーキテクチャ(その 2)
13週目 プロセッサアーキテクチャ(その 1)
14週目 プロセッサアーキテクチャ(その 2)
15週目 期末テスト

1-st week: History of Computers
2-nd week: Basic Principles of Computers
3-rd week: Computer Representations of Numbers and Instruction Sets
4-th week: Instruction Set Architecture (Part 1)
5-th week: Instruction Set Architecture (Part 2)
6-th week: MIPS Assembly Language (Part 1)
7-th week: MIPS Assembly Language (On-The-Job-Training at IMC (2-nd Terminal Room) 1-st Floor)
8-th week: MIPS Assembly Language (Part 2)
9-th week: Cache Memory Architecture (Part 1)
10-th week: Cache Memory Architecture (Part 2)
11-th week: Virtual Memory (Part 1)
12-th week: Virtual Memory (Part 2)
13-th week: Processor Architecture (Part 1)
14-th week: Processor Architecture (Part 2)
15-th week: Final Exam

予習・復習内容

教科書の演習問題は事前に予習・復習を兼ねて各自実施すること。
また、MIPS アセンブラの詳説が含まれるため、http://pages.cs.wisc.edu/~larus/spim.html にある QtSimulator(Windows 版)の使い方を勉強しておくことが望ましい。
Examples and "Check Yourself" exercises in each chapter are recommended to do before or after the class. Also, to

understand MIPS assemble language, it is strongly recommended to download "QtSimulator" (Windows edition), install it, and practice it, which is available at http://pages.cs.wisc.edu/~larus/spim.html.

関連科目

計算機アーキテクチャ(情報・知能工学工学課程 3 年次開講)

教科書に関する補足事項

教科書(以下)は系事務室(F 棟 2F 情報・知能工学系事務室)で豊富(合計 20 部以上)に準備される予定です。また、別途、MIPS アセンブラの資料を配布します。

書名:Computer Organization and Design, Fifth Edition
著者:David A. Patterson and John L. Hennessy
出版社:Morgan Kaufmann

The following textbook can be borrowed from CS office (2F of F-building):

Book title: Computer Organization and Design, Fifth Edition
Authors: David A. Patterson and John L. Hennessy
Publisher: Morgan Kaufmann
ISBN: 978-0124077263

参考書 1	**書名**	コンピュータの構成と設計 第5版 (上)(下)			**ISBN**	978-4822298425, 978-
	著者名	デイビッド・A・パターソン (著), ジョン・L・ヘネシー (著), 成田光彰 (翻訳)	**出版社**	日経BP社	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	コンピュータアーキテクチャ			**ISBN**	978-4274133046
	著者名	内田 啓一郎、小柳 滋	**出版社**	オーム社	**出版年**	2004

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)コンピュータの命令セットの基本概念と実行制御の仕組みが理解できる。
(2)コンピュータのデータの内部表現(特に2の補数表現と IEEE の実数表現)が理解できる。
(3)アムダールの法則が理解できる。
(4)CPU の性能評価を CPI で計算できる。
(5)アセンブリ言語(MIPS)での簡単なプログラムが理解できる。
(6)キャッシュの基本概念が理解でき CPI での性能評価ができる。
(7)仮想記憶の基本概念が理解できる。
(8)パイプライン処理の基本概念が理解できる。

(1) Basic understanding of computer instructions and the control mechanism of computer instructions
(2) Basic understanding of computer data representation (especially on 2's complement and IEEE floating point representation)
(3) Basic understanding of Amdahl's law
(4) Basic understanding of performance computation of CPU by CPI
(5) Basic understanding of MIPS assemble language as an example of RISC
(6) Basic understanding of cache memory and CPI computation under several layers of caches
(7) Basic understanding of virtual memory
(8) Basic understanding of pipeline mechanism of instruction sets

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に以下すべてを満たしたものにつき, 成績の評価を行う。
・全ての講義に出席する
・全てのレポートを提出する

評価は, 達成目標の全体の達成を総合的に評価する定期試験(80 点)とレポート(20 点満点)の合計点で行う。
S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上

C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
A student taking this class must
・attend all the classes
・submit all the assignments
%
Evaluations are done by adding 80% from final exam and 20% from assignments.
S: 90% or more, A: 80% or more, B: 70% or more C: 60% or more

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

教員居室：C-511
内線：6764
E-mail：aono@tut.jp
Teacher's room location：C-511
Extension：6764
E-mail：aono@tut.jp

ウェルカムページ

http://www.kde.cs.tut.ac.jp/~aono/myLecture.html
http://www.kde.cs.tut.ac.jp/~aono/myLecture.html

オフィスアワー

事前に e-mail で予約連絡をすること。
Any time, but an appointment has to be made in advance by e-mail (to aono@tut.jp)

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード

ノイマン型コンピュータ，命令セットアーキテクチャ(ISA)，RISC，記憶階層，アセンブラ，パイプライン
von Neumann computer, instruction set architecture (ISA), RISC, memory hierarchy, MIPS assembly language, pipeline

(B13530100)認知科学序論[Introduction to Brain and Cognitive Sciences]

科目名[英文名]	認知科学序論[Introduction to Brain and Cognitive Sciences]				
時間割番号	B13530100	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	北﨑　充晃 KITAZAKI Michiteru				
ナンバリング	CMP_BAC23022				

授業の目標

ヒトの認知機能研究に関する基礎科学的知識を身につける。さらに，基礎科学を技術に展開する考え方の基礎を培う。

To learn the basic principles underlying human brain and cognition from the perspective of applying the knowledges to engineering.

授業の内容

外界の情報が，感覚器官を通して脳に入力し処理されて認知が生じていると言われています。この場合，認知とは，外界の情報が脳内に表現されることと等しいでしょう。しかし，私たちは，普段，外界が脳内部に表現されているとは感じません。自分は，世界の中にいるのであって，外界が脳内にあるとは思えません。この問題は，哲学的色彩もあり，未だ科学的には解明されていません。ここで言えることは，認知はそれほど単純なものではないということです。このような認知の特性や仕組みについて，またその研究法についても説明します。

第 1 講　講義概論
第 2 講　認知科学の問題とは：心はどこにあるのか，世界はどこにあるのか？
第 3 講　情動：悲しいから泣くのか，泣くから悲しいのか？
第 4 講　記憶 1：忘れるとは何か，忘れたことは思い出せないのか？
第 5 講　記憶 2：好みとは何か，サブリミナルパーセプションとは？
第 6 講　神経 1：学習とは何か，ネズミも道具を使うのか？
第 7 講　神経 2：動物およびヒトの脳を調べる方法
第 8 講　感覚：心の物理的な測り方
第 9 講　視覚 1：視力とは何か？
第 10 講　視覚 2：見えのリアリティ
第 11 講　聴覚 1：生物の居ない森で音は鳴るのか？
第 12 講　聴覚 2：音のリアリティ
第 13 講　触覚，嗅覚，味覚，複合感覚：黄色い声とは何か？
第 14 講　認知 1：注意すると何が変わるのか？
第 15 講　認知 2：2 つの脳と 2 つの性，知能とは何か？
期末試験

Our sense of perception and cognition are created by the processing of sensory information in the brain. Thus, a representation of the world in the brain produces our sense of perception and cognition. We, however, do not perceive the world in the brain. The world is perceived “here” in front of us. This is one of the most difficult points to understand in perception. Many difficult questions arise in the research field of perception and cognition. We will introduce these questions, learn how to investigate them, and present the current findings to understand the functions and mechanisms of perception and cognition.

Lecture Schedule
1. Introduction (Horikawa and Kitazaki)
2. Questions in cognitive sciences: What is the mind? Where does the world exist?
3. Affection: Crying as a result of sadness or sadness as a result of crying?
4. Memory 1: What is memory? What is forgetting?
5. Memory 2: What is preference? Subliminal perception
6. Neural mechanisms 1: What is learning? Animal psychology
7. Neural mechanisms 2: How does one investigate the human and animal brain?
8. Sensation: How does one measure the human mind?
9. Visual perception 1: Visual acuity and vision
10. Visual perception 2: Visual reality. Visual functions
11. Auditory perception 1: What is sound?
12. Auditory perception 2: Auditory reality. Auditory function.
13. Haptics, smell, taste, and multisensory perception: What is “yellow” voice?
14. Cognition 1: What is attention?
15. Cognition 2: Left and right brains. What is intelligence?

Final Examination

予習・復習内容

事前に配布する講義資料を熟読し予習すること。講義終了後は，参考書やインターネットを活用して関連情報について自ら調べて復習すること。

Read the documents provided before each lecture. Review the lectures in consultation with references and other resources such as the Internet.

関連科目

教科書に関する補足事項

事前に講義資料を電子的に配布する。

Documents (slides) will be provided via web before commencement of the lectures.

参考書 1	**書名**	サブリミナル・マインド			**ISBN**	
	著者名	下條信輔	**出版社**	中公新書	**出版年**	
参考書 2	**書名**	＜意識＞とは何だろうか			**ISBN**	
	著者名	下條信輔	**出版社**	講談社現代新書	**出版年**	
参考書 3	**書名**	認知心理学：知のアーキテクチャを探る			**ISBN**	
	著者名	道又 他著	**出版社**	有斐閣	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) ヒトの認知に関する研究において何が問題であるかを理解する。
(2) それを研究する方法論と実験技術を理解する。
(3) 実験データの正しい解釈方法を身につける。
(4) ヒトの低次視覚・認知についての基礎科学的知見を理解する。
(5) ヒトの高次視覚・認知についての基礎科学的知見を理解する。
(6) ヒトの記憶，情動，推論について基礎科学的知見を理解する。
(7) ヒトの知覚・認知を支える脳機能についての基礎科学的知見を理解する。
(8) 認知に関する基礎科学的知見を工学へ応用する態度を身につける。

To understand the questions that need to be resolved in the research field of perception and cognition
To understand the methodology and experimental techniques to investigate perception and cognition
To understand how to interpret data of behavioral and neuronal experiments
To understand scientific findings on low-level perception in humans
To understand scientific findings on high-level perception in humans
To understand scientific findings on human memory, affection, and thinking
To understand scientific findings on brain functions and mechanisms for perception and cognition
To gain insight into the application of basic sciences in engineering

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎講義時の小課題 30%および記述・論述式の期末試験 70%によって総合的に評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ小課題・期末試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ小課題・期末試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつ小課題・期末試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ小課題・期末試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上

Grades will be based on reports from each lecture (30%) and the final examination (70%)
S: 90 points or higher (out of 100)
A: 80 points or higher (out of 100)
B: 70 points or higher (out of 100)
C: 60 points or higher (out of 100)

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
火曜日 16:20-17:20
16:20-17:20, Tuesday

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード
心理，知覚，認知，神経，脳
psychology, perception, cognition, neurosciences, brain

(B13530110)知能情報学概論[Introduction to Knowledge Informatics]

科目名[英文名]	知能情報学概論[Introduction to Knowledge Informatics]				
時間割番号	B13530110	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	3系各教員, S3系教務委員 3kei kakukyouin, 3kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	CMP_BAC21220				

授業の目標

コンピュータによる知能情報の処理やその基盤となる情報科学およびこれらに関連する研究分野ついて理解を深めることを目的として、視聴覚、神経認知、計算機化学、人工知能、人工生命、ヒューマン・ロボット・インタラクション(HRI)などについて入門的に概説する。

The objective of this class is to introduce to the students the overview of the intelligent information processing ranging from audiovisual data processing, neurocognitive science, computational chemistry, artificial intelligence, artificial life, to human-robot interaction (HRI).

授業の内容

1) 鯉田 講義の概要、神経生理学の基礎
2) 鯉田 視覚神経科学の研究手法
3) 鯉田 論文の輪読
4) 青野 データサイエンス：マルチメディアデータ処理を通して
5) 土屋 自然言語処理入門
6) 秋葉 機械翻訳のしくみ
7) 井佐原 多言語情報処理
8) 梅村 機械学習アルゴリズム入門
9) 渡辺 統計的学習理論の概観
10)高橋 化学と人工知能
11)村越 神経情報科学
12)北崎 バーチャルリアリティ序論
13)福村 ヒトの随意運動の制御モデル
14)松井 聴覚の計算モデル化とその応用
15)中内 視覚認知情報学について

Basically, each class (in total 15 times) is taught by a different teacher, lecturing introductory materials of his expertise.

1) Koida,Guidance, Introduction to neuroscience
2) Koida, Research technique of neurophysiology in vision
3) Koida, Reading a research paper
4) Aono, Data Science through Multimedia Data Processing
5) Tsuchiya, Introduction of Natural Language Processing
6) Akiba, Inside of Machine Translation
7) Isahara, Multilingual Information Processing
8) Umemura, An introduction to machine learning algorithm
9) Watanabe, Overview of Statistical Learning Theory
10) Takahashi, Artificial intelligence and chemistry
11) Murakoshi, Computational Neuroscience
12) Kitazaki, Introduction to Virtual Reality
13) Fukumura, Control model of human voluntary movement
14) Matsui, Computational model of auditory system and its application
15) Nakauchi, Visual cognition and perception

予習・復習内容

Each teacher will ask students either to write a report on a particular subject or to undergo a mini test during the class. Thus, it is imperative to bring something to write with.

関連科目

教科書に関する補足事項

講義資料の提供方法については、各担当教員より連絡。参考図書、参考文献は講義内で紹介する。

Some teachers will deliver the material to students.

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 知能情報学とは何かについて理解する

2. 知能情報学に関係する分野（視聴覚、神経認知、計算機化学、人工知能、人工生命、ヒューマン・ロボット・インタラクション）について理解する
3. 知能情報学の様々な研究分野の最先端技術の一部と分野間の関連性の概要について理解する

Basic understanding of the intelligent information processing

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価法：13名の担当者それぞれが出す課題レポート（各100点満点の平均）により評価する。
評価基準：
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Report (or mini test): 100%

S: 90-100
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード

視聴覚、神経認知、計算機化学、人工知能、人工生命、ヒューマン・ロボット・インタラクション
Visual neuroscience, computer chemistry,artificial intelligence, artificial life, human-robot interaction

(B13530120)情報工学概論[Introduction to Computer Science and Engineering]

科目名[英文名]	情報工学概論[Introduction to Computer Science and Engineering]				
時間割番号	B13530120	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	3系各教員, S3系教務委員 3kei kakukyouin, 3kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	CMP_BAC22320				

授業の目標

コンピュータによる知能情報の処理やその基盤となる情報科学およびこれらに関連する研究分野ついて理解を深めることを目的として、情報メディア、知能ロボット、アルゴリズム、ネットワーク、計算機アーキテクチャなどについて入門的に概説する。

The objective of this class is to introduce to the students the overview of the computer science and engineering ranging from parallel processing, data mining, natural language processing, information retrieval, algorithm complexity, computer vision, image processing, cognitive science, visual information science, to computational robotics.

授業の内容

各教員の専門にしたがって，わかりやすく最新の話題を提供する。

1) 南 ガイダンス(情報工学とは？)
2) 南 情報工学と脳
3) 南 認知神経工学研究
4) 藤戸 アルゴリズム入門
5) 栗山 CG 技術の基礎と変遷
6) 菅谷 コンピュータビジョン
7) 大村 ユビキタス技術による日常生活・作業支援
8) 岡田 HRI(Human-Robot Interaction)技術とその応用
9) 金澤 画像処理と 3 次元計測技術
10)三浦 知能ロボットのための情報処理技術
11)石田 人工知能の最近の動向
12)河合 東三河サイエンスカフェ—生涯学習としての情報教育—
13)後藤 計算分子科学と機械学習
14)栗田 高精度分子シミュレーションを用いた創薬
15)鈴木 情報セキュリティと暗号理論入門

Basically, each class (in total 15 times) is taught by a different teacher, lecturing introductory materials of his expertise.

1) Minami, Guidance
2) Minami, Information engineering and brain
3) Minami, Cognitive Neurotechnology
4) Fujito, Introduction to Algorithms
5) Kuriyama, Fundamentals and Trends of Computer Graphics
6) Sugaya, Computer Vision
7) Ohmura, Daily Life Support with Ubiquitous Computing Technologies
8) Okada, Human-Robot Interaction Design and its Application
9) Kanazawa, Image Processing and 3-D Reconstruction
10) Miura, Computing Technologies for Intelligent Robotics
11) Ishida, Recent Trends for Connecting AI's
12) Kawai, Science Cafe as Continuing Education in Informatics
13) Goto, Computational Molecular Science and Machine Learning
14) Kurita, In silico drug design based on ab initio molecular simulations
15) Suzuki, Introduction to Information Security and Cryptology

予習・復習内容

Each teacher will ask students either to write a report on a particular subject or do a mini test during the class. Thus, it is imperative to bring something to write with.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考図書、参考文献は講義内で紹介する

Some teachers will deliver the material to students.

参考書に関する補足事項

達成目標

1．情報工学とは何かについて理解する

2. 情報工学に関係する分野(情報メディア、知能ロボット、アルゴリズム、ネットワーク、計算機アーキテクチャ)の概要について理解する
3. 情報工学の様々な研究分野の最先端技術の一部と分野間の関連性の概要を理解する

Basic understanding of the computer science and engineering

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価法:13名の担当者それぞれが出す課題レポート(各100点満点の平均)により評価する。
評価基準:
S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

Report (or mini test): 100%

S: 90-100
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術, 地球環境対応技術の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード

情報メディア、知能ロボット、アルゴリズム、ネットワーク、計算機アーキテクチャ

(B13530150)通信工学概論[Introduction to Communication Engineering]

科目名[英文名]	通信工学概論[Introduction to Communication Engineering]				
時間割番号	B13530150	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	大平　孝 OHIRA Takashi				
ナンバリング	CMP_BAC22320				

授業の目標

B12530130 と同一授業

授業の内容

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills

Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード

(B13530160)知能情報数学[Intelligent Information Mathematics]

科目名[英文名]	知能情報数学[Intelligent Information Mathematics]				
時間割番号	B13530160	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	栗田　典之, 松井　淑恵 KURITA Noriyuki, MATSUI Toshie				
ナンバリング	CMP_BAC21122				

授業の目標

この授業では、複素関数論の基礎を学びます。複素関数論が、物理学、量子力学、量子化学、流体力学、電磁気学など様々な研究分野で、いかに有用な理論であるかを、実際に演習問題を解きながら、体得することを目標とします。

In this class, we will learn basic concepts on complex analysis, which is efficient in many research fields of physics, chemistry as well as information science.

授業の内容

1、2週目　複素数と複素平面
3週目　複素関数
4週目　指数関数・対数関数
5週目　三角関数
6、7週目　複素関数の微分法
8週目　複素関数の積分法
9週目　コーシーの積分定理
10週目　コーシーの積分公式
11週目　ベキ級数・テーラー展開
12週目　ローラン展開と特異点
13週目　留数定理
14、15週目　実積分への応用

16週目　試験

1st and 2nd weeks: Complex numbers and complex plane
3rd week: Complex function
4th week: Exponential function and logarithmic fuction
5th week: Trigonometric function
6th and 7th weeks: Differentiation of complex function
8th week: Integration of complex function
9th week: Cauchy's theorem
10th week: Cauchy's integral formula
11th week: Power series representation and Taylor's theorem
12th week: Laurent's theorem and singularities
13th week: Cauchy's residue theorem
14th and 15th weeks: Applications of contour integration
16th week: Examination

予習・復習内容

授業中に説明した問題を、次の授業までに、自力で解けるようにする。
The concepts learned in the class will be applied to real problems and understood by students.

関連科目

基礎数学（微分・積分）

Fundamental mathematics

教科書 1	**書名**	テキスト複素解析			**ISBN**	978-4-320-01937-9
	著者名	小寺平治	**出版社**	共立出版	**出版年**	2010
教科書に関する補足事項						
参考書 1	**書名**	Fundamentals of complex analysis			**ISBN**	978-1-292-02375-5
	著者名	Saff Snider	**出版社**	Pearson	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	なっとくする複素関数			**ISBN**	4-06-154526-4
	著者名	小野寺嘉孝	**出版社**	講談社	**出版年**	2014
参考書 3	**書名**	複素解析入門			**ISBN**	978-4-320-11090-8
	著者名	原惟行	**出版社**	共立出版	**出版年**	2014
参考書 4	**書名**	Introduction to complex analysis			**ISBN**	978-0-19-852562-2
	著者名	H. A. Priestley	**出版社**	Oxford university press	**出版年**	2003
参考書に関する補足事項						

達成目標

現実（実空間）とシミュレーションの舞台となる抽象空間との関わりを理解し
有効で高能率のシミュレーションアルゴリズムを開発できるような数学的
素養を習得する。
1）関数空間の理解
2）複素関数とその演算の理解
3）信号のフーリエ級数展開・テーラー展開・ローラン展開と留数
4）積分経路・正則性・特異点
5）フーリエ変換
6）コーシーの積分定理、積分公式
The purpose of this class is to understand the following basic concepts on complex analysis.
(1) Complex space
(2) Complex functions
(3) Cauchy's theorem and integral formula
(4) Power series representation and Taylor's theorem
(5) Laurent's theorem and singularities
(6) Cauchy's residue theorem

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:
授業は問題演習と小テストを含み、その結果と定期試験の結果によって総合的に評価する。
小テスト（60%）、定期試験（40%）

評価基準:
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S:Achieved all goals and obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A:Achieved 90% of goals and obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B:Achieved 80% of goals and obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C:Achieved 60% of goals and obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
祝日以外の水曜日の 17:00 から 19:00

17:00-19:00 on Wednesday

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

キーワード
複素関数・正則・積分経路
Complex analysis

(B13530170)電気回路ＩB[Electric Circuit 1B]

科目名[英文名]	電気回路ＩB[Electric Circuit 1B]				
時間割番号	B13530170	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	見目　喜重 KEMMOKU Yoshishige				
ナンバリング	CMP_BAC11422				

授業の目標

電気回路ＩＡ で学んだ知識をもとに、基本的な交流回路の動作を解析し、どのような場面に使用されているかを学び、その取り扱いを修得する。

Based on the knowledge learned in Electric Circuit IA, this course introduces the analysis method of the operation of a basic alternating current circuit and utilization of the method to students taking this course.

授業の内容

１週目　回路のインピーダンス
２週目　回路の周波数特性、位相（各素子の働き）
３週目　直並列回路のインピーダンス
４週目　直並列回路の周波数特性、位相
５週目　直列共振、並列共振、アンテナへの応用原理
６週目　インピーダンスに関する総まとめ
７週目　電力と力率Ｉ－有効電力
８週目　電力と力率Ｉ－無効電力、皮相電力
９週目　電力と力率Ｉ－電力の加法性、交流電力の測定
１０週目　電力と力率Ｉ－複素数による表示
１１週目　多相交流回路Ｉ－対称3相交流の基礎
１２週目　多相交流回路Ｉ－対称3相交流回路
１３週目　多相交流回路Ⅱ－電力表示
１４週目　ひずみ波交流―フーリエ級数展開
１５週目　ひずみ波交流の解析（高調波、実効値、電力、ひずみ率）
１６週目　定期試験

1st week　Impedance of a AC circuit
2nd week　Frequency characteristic and phase of a AC circuit
3rd week　Impedance of a series-parallel AC circuit
4th week　Frequency characteristic and phase of a series-parallel AC circuit
5th week　Series/parallel resonance and application to an antenna
6th week　Review about impedance
7th week　Electric power and power factor : active power
8th week　Electric power and power factor : reactive power and apparent power
9th week　Electric power and power factor : additivity of power and measurement of AC power
10th week　Electric power and power factor : complex power
11th week　Polyphase AC circuit : basis of symmetrical three-phase AC
12th week　Polyphase AC circuit : symmetrical three-phase AC circuit
13th week　Polyphase AC circuit : electric power of symmetrical three-phase AC
14th week　Distorted wave : Fourier series
15th week　Distorted wave : higher harmonic, effective value, power and distortion factor
16th week　Examination

予習・復習内容

講義の際に出されるレポート課題や小テストの見直し、および教科書の章末問題など、様々な問題を自分で解くことにより内容の理解を深めること。
また、返却されたレポート課題を見直して復習をしながらポイントを確認すること。

To understand contents of the course certainly, students are required to review the report subjects and quiz and to work the examples at the end of chapter in the text book by themselves.

関連科目
電気回路ＩＡ
Electric Circuit 1A

教科書１	**書名**	基礎からの交流理論			**ISBN**	4-88686-230-6
	著者名	小郷寛	**出版社**	電気学会	**出版年**	2008

教科書に関する補足事項

参考書１	**書名**	電気回路A			**ISBN**	4-274-13272-2
	著者名	佐治学	**出版社**	オーム社	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標
A. 基礎事項
（1）回路インピーダンスの計算ができる。
（2）位相の概念をはっきり記述できる。
（3）共振現象が理解でき、Q値の計算ができる。
B. 電力と力率
（1）電力の複素数表示が理解できる。
（2）電力(有効、無効、皮相)の概念を理解し、力率が計算できる。
C. 多相交流回路
（1）星形結線と環状結線の相違を理解し、起電力・電流等が記述できる。
（2）対称3相交流の Ｙ－Δ変換を正しく記述できる。
D. ひずみ波交流
（1）フーリエ級数展開を理解し、具体的な例について計算できる。
（2）ひずみ波交流をフーリエ級数を用いて表示し、高調波、電力などを求めることができる。
A. Foundation
(1) Calculate impedance of a AC circuit.
(2) Describe concept of the phase.
(3) Understand series/parallel resonance, and calculate Q (quality factor).
B. Electric power and power factor
(1) Understand complex power.
(2) Understand concept of AC power (active, reactive and apparent power), and calculate power factor.
C. Polyphase alternating current circuit
(1) Understand the difference between delta and Y connection, and describe electromotive force and current.
(2) Describe Y-delta conversion of symmetrical three-phase AC certainly.
D. Distorted wave
(1) Understand Fourier series.
(2) Describe distorted save with Fourier series, and calculate higher harmonic and electric power.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
レポート課題・小テスト 20%、期末試験 80%とし、これらの合計で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標を全て達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし、過年度学生が履修した場合には、従来（A～C）の評価基準を適用する。
Final grade will be decided based on the following : Reports 20%, Examination 80%.
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 100% of goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
連絡先（E-mail）: kemmoku@sozo.ac.jp

(E-mail): kemmoku@sozo.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
回路インピーダンス、直列/並列共振、交流電力、多相交流回路
impedande, series/parallel resonance, electric power, polyphase AC circuit

(B13530180)電子回路Ⅰ[Electronic Circuit 1]

科目名[英文名]	電子回路Ⅰ[Electronic Circuit 1]				
時間割番号	B13530180	**区分**	情報・知能専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	河野　剛士 KAWANO Takeshi				
ナンバリング	CMP_BAC11422				

授業の目標

電子回路の基本的要素であるトランジスタ、ダイオード等の電子素子の働き、およびそれらから構成される電子回路の動作に対する基本的考え方を理解する。

The course serves as an introduction to the principles of electronic circuits using resistor, capacitor, pn-junction transistor, bipolar junction transistor. One of the student outcomes of this course is an ability to design circuits to meet performance requirements within realistic constraints.

授業の内容

1-2.　電子回路を学ぶ前に
3-5.　トランジスタによる増幅の原理
6-8.　トランジスタの小信号等価回路
8/9.　中間試験）
10-11.　増幅回路の入出力抵抗と整合
12-13.　直流バイアス回路と安定指数
14-15.　各種増幅回路の基本的事項
16.　期末試験）

Lec 1-2.　Introduction
Lec 3-5.　Principles of bipolar transistors
Lec 6-8.　Small-signal models of transistors
Lec 8-9.　Midterm Exam
Lec 10-11. Input/output resistance of amplifier
Lec 12-13. Bipolar transistor biasing
Lec 14-15. Other amplifiers
Lec 16.　Final Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Self-study required before and after each class
Weekly homework provided

関連科目

電気回路 IA, IB

Prerequisites:
Electric Circuit 1A
Electric Circuit 1B

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	基礎電子回路演習			**ISBN**	978-4274032547
	著者名	雨宮好文 著,	**出版社**	オーム社	**出版年**	1989
参考書 2	**書名**	Fundamentals of Microelectronics; 2nd International Student Edition			**ISBN**	978-1118165065
	著者名	Behzad Razavi	**出版社**	Wiley; 2 edition	**出版年**	2013

参考書 3	書名	わかるアナログ電子回路			ISBN	978-4817302274
	著者名	江間義則，和田成夫，深井澄夫，金谷範一 共著,	出版社	日新出版	出版年	2006

参考書に関する補足事項

達成目標

1．電子回路を学ぶ前に
・ダイオードの基本的特性を理解する。
・ダイオードを含む電子回路の動作（例えば，入力電圧と出力電圧の関係）を理解する。
・L，Cを含む回路の周波数特性を理解する。
2．トランジスタによる増幅の原理
・トランジスタの基本的特性および増幅の原理を理解する。
・信号源，出力抵抗とトランジスタの接続関係に注目して，ベース接地，エミッタ接地，およびコレクタ接地増幅回路の動作とその特徴と違いを理解する。
・電流増幅率と電流増幅度の違い，電流増幅率と直流電流増幅率の違い，エミッタ接地電流増幅率βとベース接地電流増幅率αの関係を述べることができる。
・トランジスタを用いた定電流回路の動作を理解する。
3．トランジスタの小信号等価回路
・トランジスタ等の非線形素子を含む回路に関して，負荷線と動作点に注目して，その動作ならびに小信号等価回路を理解する。
・トランジスタの小信号回路において，hパラメータの物理的意味を理解し，hパラメータを用いたトランジスタの等価回路ならびにその簡略化した等価回路を導出できる。また，入力解放，出力短絡が実現しやすいことを理解する。
・ベースーエミッタ間交流抵抗 r とコレクタ電流 ID の関係，hパラメータ hfe，hie および r の関係，電流増幅度 Av，負荷抵抗 RL およびrの関係を理解し，計算ができる。
4．増幅回路の入出力抵抗と整合
・信号源の内部抵抗，負荷抵抗を含めてトランジスタ増幅回路の入力抵抗，出力抵抗の意味を理解し，計算することができる。
・整合，有能電力の意味を理解し，計算できる。
・エミッタホロワの特徴を理解し，入力抵抗，出力抵抗，増幅度を求める回路を書くことができ，それらを計算できる。
・デシベルの意味を理解し，計算することができる。
5．直流バイアス回路と安定指数
・直流バイアス回路を書くことができ，これにより，トランジスタの特性のばらつきに依存せず，負帰還により直流コレクタ電流（バイアス電流）を安定化できることを理解する。
・安定指数の意味を理解し，コレクタ電流を計算することができる。
6．各種増幅回路の基本的事項
・直接結合増幅回路を始めとする各種増幅回路における，バイパスコンデンサなどの回路素子の働きを理解し，回路計算を行うことができる。また、多段増幅回路の仕組みと動作を理解することができる。
・ダーリントン接続，差動増幅回路を理解し，回路計算を行うことができる。
At the end of this course, the successful student will have a fundamental understanding of the working principles of devices and circuits (diode, transistor, common base/emitter/corrector configurations, small-signal model of transistor, h parameters, input/output resistance of transistor, decibel, bipolar transistor biasing, emitter follower, amplifiers) used in electrical engineering.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に全ての講義に出席した者につき、下記のように成績を評価する。
レポート・演習 20%、中間試験 40%、期末試験 40%とし、これらの合計で評価する。
S: 90 点以上　A: 80 点以上　B: 70 点以上　C: 60 点以上
The final grade will be based on Homework (20%), Midterm (40%) and Final Exam (50%)
S: 100-90, A: 89-80, B: 79-70, C: 69-60

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.int.ee.tut.ac.jp/icg/member/~takekawano
http://www.int.ee.tut.ac.jp/icg/member/~takekawano

オフィスアワー

基本的に授業実施日の午前中（～12 時）をオフィスアワーとするが、これ以外の時間でも在室中は随時質問等を受け付けま

す。
メール等で事前に連絡してください。
Wednesday 1:00 PM - 2:00 PM in C-603 (C building)

学習・教育到達目標との対応

電気・電子情報工学の基盤となる物理，化学，電気・電子回路，制御，システム工学，材料工学，エネルギー変換工学，情報通信等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
Acquiring knowledge in subjects that make up the foundation of electrical and electronic information engineering: physics, chemistry, electric and electronic circuit, control engineering, systems engineering, materials science, energy transfer engineering, information engineering, communication engineering, etc., developing practical and creative ability to solve problems

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

ダイオード、トランジスタ、増幅回路、hパラメータ
diode, transisotr, amplifier, h parameter

(B13530190)電気回路ＩA[Electric Circuit 1A]

科目名[英文名]	電気回路ＩA[Electric Circuit 1A]				
時間割番号	B13530190	**区分**	情報・知能専門Ｉ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	長尾　雅行, S2系教務委員 NAGAO Masayuki, 2kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	CMP_BAC11422				

授業の目標

電気回路の基礎を理解するために、オームの法則から始まり、その拡張として電気回路の構成要素である抵抗、静電容量、インダクターの働きを理解する。正弦波交流回路は、記号法を用いて表現でき、二次元ベクトルとしての取り扱いに習熟させる。また、回路網の諸定理を駆使することで、回路解析手法を習得する。

This class introduces the fundamentals of theory and analysis of electric circuits that include functions of basic electric components, Ohm's law, Kirchhoff's law, mesh and node analysis, sinusoidal circuit analysis, phaosor vector, and others.

Upon successful completion of this class students will be able to perform analysis of basic a/c circuits.

授業の内容

1週目　　電気回路の学び方
2週目　　電気回路に必要な数学：複素数のベクトル表示
3週目　　電気回路に必要な数学：三角関数の複素数表示、行列と行列式の基礎
4～7週　　抵抗、静電容量、インダクターの働き、正弦波交流と複素数表示
8週目　　記号法による回路の表現（インダクタンス、アドミタンス）
9週～10週　回路方程式と解法（網目電流法）
11～12週　回路方程式と解法（節点電圧法）
13～14週　回路網に関する諸定理（重ね合わせの定理、テブナンの定理など）
15週目　　回路網に関する諸定理（インピーダンスのΔ－Y変換、ブリッジ回路など）
16週目　　定期試験

受講者の理解度に応じて、講義順序や時間配分を変更することがある。

1 Learning electric circuits
2 Mathematics for electric circuits: complex numbers and vectors
3 Mathematics for electric circuits: complex notation of trigonometric function, matrix, determinant
4-7 Electric components, complex representation of alternating current
8 Phasor representation
9-10 Mesh current method
11-12 Node voltage method
13-14 Several theorems: superposition theorem, Thevenin's theorem etc.
15 Several theorems: delta-star transform, bridge circuit etc.
16 Final exam

予習・復習内容

講義終了後は教科書および授業ノートを振り返り復習すること。図書館を積極的に利用し、類似問題を多く解くことで力をつける。

次回の講義内容について、教科書を読み予習をして講義に臨むこと。

適宜実施する小テストは、実施の前週に予告するので、復習して備えること。

Review textbook and notes after class. Solving similar practice problems in other books will help you to deepen your understanding.

関連科目

物理学Ⅱ、電気回路論IB、電気回路論Ⅱ

Physics 2, Electric Circuit 1B

教科書 1	**書名**	インターユニバーシティ「電気回路 A」			**ISBN**	4-274-13272-2
	著者名	佐治　学	**出版社**	オーム社	**出版年**	2003

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
（1）回路に関するSI単位系を正しく使うことができる。
（2）4次くらいまでの連立1次方程式を逆行列またはクラメルの公式により正しく解くことができる。
（3）記号法により正弦波交流電圧、電流、回路素子のインピーダンスなどを記述できる。

B. 回路方程式の解法
（1） 網目電流による回路方程式の立て方を理解するとともに、解法についても習熟する。
（2） 回路の電圧源を電流源に変換させることにより、節点電圧法による回路方程式を正しく立て、解くことができる。

C. 回路網に関する諸定理
（1） 重ね合わせの定理を理解し、複数の電源を含んだ回路解析を行うことができる。
（2） テブナンの定理を理解し、比較的複雑な回路網解析が正しくできるようにする。特に、ブリッジ回路の電流を、この定理を用いることで簡単に求められることを理解する。
（3） インピーダンスのΔ－Y変換について習熟するとともに、最大電力供給の原理を理解する。
A. The basics
(1) Students can use International System of Units (SI) for electric circuit correctly.
(2) Students can solve linear simultaneous equations using matrices and Cramer's rule.
(3) Students can describe equations using phasor representation with respect to sinusoidal voltage, current, and impedance of electric components.

B. Methods to solve circuit equations
(1) Students can perform circuit analysis with mesh current method.
(2) Students can perform circuit analysis with node voltage method.

C. Circuit theorems
(1) Students can perform circuit analysis based on the superposition theorem.
(2) Students can perform circuit analysis based on Thevenin's theorem.
(3) Students can perform delta-star/star-delta transformations and understand the maximum power-transfer theorem.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
定期試験 70%
小テスト 10%
レポート 20%
上記の割合で、総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
Final grade will consist of:
Final Exam 70%
Homework Assignments 20%
Short Test 10%

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
連絡先
質問事項などは次のメールアドレスに連絡すること。
e-mail: nagao@tut.jp

その他
講義内容の理解を深め、理解度を測るため、随時演習を行う。
教科書の演習問題にも自主的に取り組むこと。

To contact, send an email message to the following address:
nagao@tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
メールで問い合わせること。
Contact by an email.

学習・教育到達目標との対応
3系：(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
(数学・自然科学・情報技術分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力)

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
直流回路、交流回路、キルヒホッフ、複素インピーダンス、重ね合せの定理
DC circuit, AC circuit, Kirchhoff, impedance, superposition theorem

(B1361003a)アルゴリズムとデータ構造[Algorithms and Data Structures]

科目名[英文名]	アルゴリズムとデータ構造[Algorithms and Data Structures]				
時間割番号	B1361003a	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤戸　敏弘 FUJITO Toshihiro				
ナンバリング	CMP_BAC32012				

授業の目標

計算機を用いて問題を効率的に解くために必要となる基本的なアルゴリズムと，さらにその基本となるデータ構造について学ぶ．本講義では単に方法を習得するだけではなく，その理論的裏付けを理解することを重視する．

To study fundamental algorithms and basic data structures for efficiently solving problems on computers.
It is considered as important ingredients of the course not only to acquire techniques but also to understand the reasoning behind why they work.

授業の内容

１～3週目．アルゴリズムとその計算量（問題と問題例/計算量の評価/オーダー表記）
4週目．基本データ構造：リスト，スタック，キュー
5週目．基本データ構造：完全2分木，2分探索木，中順，平衡2分探索木，AVL 木．
6週目．集合の取り扱い：辞書とハッシュ表
7週目．順序つき集合の処理：優先度つき待ち行列，ヒープ．
8～10週目．整列アルゴリズム：ヒープソート，クイックソート，クイックソートの平均計算量，計算量の下界，線形時間ソート
11週目．グラフのデータ構造．
12週目．グラフの探索．
13～14週目．グラフ問題：トポロジカル・ソート，連結性，最小スパニング木．
15週目．アルゴリズムの設計手法と実現例：縮小法（第 q 要素選択），分割統治法(マージソート，長大数計算，行列積，凸包)，動的計画法（フィボナッチ数，SUBSET-SUM 問題，最短路問題），貪欲算法（凸性，最小木），最大最小性（線形計画問題，最大パス問題，マッチング問題）
16週目．定期試験

weeks 1 through 3. Algorithms and their running time (problems and problem instances, asymptotic evaluation of running time, asymptotic notations).
week 4. Basic data structures: lists, stacks, queues.
week 5. Basic data structure: complete binary trees, binary search trees, in-order traversal, balanced binary search trees, AVL trees.
week 6. Sets: dictionaries and hash tables.
week 7. Ordered sets: priority queues and heaps.
weeks 8 through 10. Sorting algorithms: heap sort, quick sort, average case analysis of quicksort, lower bounds for sorting time, linear-time sort.
week 11. Data structures for representing graph data.
week 12. Searching in graphs.
weeks 13 through 14. Graph problems: topological sort, connectivity, minimum spanning tree.
week 15. Algorithm design principles: reduction, divide-and-conquer, dynamic programming, greedy heuristics, min-max relations.
week 16. Final Exam.

予習・復習内容

ウェルカムページで事前に公開されている講義計画・講義用資料を参照して，予習・復習により講義内容とその理解を確認すること．
It is highly recommended to go through all the course materials provided on the course welcome pages for self preparation and reviews.

関連科目

本講義ではC言語を使ってプログラムを作成することは主眼としていないが，ここで学んだデータ構造やアルゴリズムがC言語を使っていつでもすぐに実装できるように，C言語の実装法を含んだ教科書を選定してある．「プログラミング演習」などを履修して，C言語についての基礎知識があることが望ましい．この他，離散数学に関する初歩的な用語は理解していることが望ましい．

While no programming practice is involved in this course, the textbook is chosen such that it contains how to install algorithms and data structures learnt in the course, using the C language. It is desirable to be familiar with programming in C or similar languages by taking "Programming" courses. Besides, familiarity with basic concepts and terminologies in discrete mathematics is assumed.

教科書に関する補足事項

以下の，教育用に free で配布されているテキストを使用する：
"Data Structures and Algorithm Analysis", Edition 3.2 (C++ Version), by Clifford A. Shaffer.
（https://people.cs.vt.edu/shaffer/Book/ から pdf ファイルをダウンロード可）
Will use the following textbook:
"Data Structures and Algorithm Analysis", Edition 3.2 (C++ Version), by Clifford A. Shaffer,
which is freely available (from https://people.cs.vt.edu/shaffer/Book/) in PDF form for educational and other non-commercial use.

参考書 1	**書名**	アルゴリズム設計とデータ構造			**ISBN**	978-4781913650
	著者名	平田富夫 著,	**出版社**	サイエンス社	**出版年**	2015
参考書 2	**書名**	Introduction to Algorithms, Third Edition			**ISBN**	9780262033848
	著者名	Thomas H. Cormen, Charles E. Leiserson, Ronald L. Rivest and Clifford Stein	**出版社**	The MIT Press	**出版年**	2009
参考書 3	**書名**	アルゴリズムイントロダクション 第 3 版 総合版（世界標準 MIT 教科書）			**ISBN**	978-4764904088
	著者名	T. コルメン, R. リベスト, C. シュタイン, C. ライザーソン	**出版社**	近代科学社	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

A.アルゴリズムと計算量
（1)問題と問題例の区別，アルゴリズムの計算量をオーダーで表記することができる.
（2)データ構造を理解するために必要な程度のグラフ理論の用語が使える.
B.基本的な基本データ構造
（1)リスト/スタック/キューのデータ構造の特徴と実現方法を示すことができる.
C.集合の取り扱い
（1)辞書のサポートする基本演算が理解でき，ハッシュ表を用いて辞書を実現することができる.
（2)集合族の併合処理をサポートするデータ構造として，配列による実現，ポインタによる実現，木による実現が行える.
D.順序つき集合の処理
（1)優先度つき待ち行列を連結リストやヒープを使って実現できる.
（2)2分探索木のサポートする基本演算が理解でき，これを実現することができる.
（3)平衡木の原理が理解でき，これを実現することができる.
E.整列アルゴリズム
（1)バブルソート/バケットソート/ヒープソート/クイックソートのアルゴリズムのメカニズムが理解でき，これらの計算時間の評価，適当なデータ構造を用いた実現が行える.
（2)計算の下界値の議論が理解できる.
F. アルゴリズムの設計手法と実現例：
（1)アルゴリズムの代表的な設計手法である，縮小法，分割統治法，動的計画法，貪欲算法，最大最小性の基本原理が理解できている.
（2)上記手法によりアルゴリズムが設計されている第 q 要素選択，マージソート，SUBSET-SUM 問題，最短路問題，最小木問題に対して，実装のために適切なデータ構造を選択することができる

To acquire the ability to do the followings:
(1) to distinguish problems and problem instances, and analyze running time of algorithms asymptotically.
(2) to use terminologies in graph theory necessary for understanding data structures.
(3) to explain features of lists, stacks, and queues, and how to implement them.
(4) to understand basic operations supporting dictionary data structures and install them using hash tables.
(5) to install data structures for supporting set operations, using arrays, pointers, and trees.
(6) to install priority queues using linked lists and heaps.
(7) to understand basic operations supporting binary search trees, and install them.
(8) to understand principles of balanced trees and install them.
(9) to understand the mechanism of heap sort and quick sort, analyze their running time, and install them.
(10) to understand the lower bounds for time used in sorting.
(11) to understand fundamental algorithm design principles of reduction, divide-and-conquer, dynamic programming, greedy heuristics, min-max relations.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標全体の達成度を総合的に評価する中間試験・定期試験(合計 80%)とレポート(20%)の合計点により評価する.
S：90 点以上 A：80 点以上 B：70 点以上 C：60 点以上

[Evaluation basis]
Students will be evaluated, in terms of goals to be achieved, based on total scores of exams (mid-term and final: 80%) and home works (20%) as follows:
S: 90 or higher (out of 100 points).
A: 80 or higher (out of 100 points).
B: 70 or higher (out of 100 points).
C: 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験では，アルゴリズムやデータ構造の仕組み（メカニズム）を理解しているかどうかに重点を置く.
Exams will be designed to test whether the mechanism of algorithms and data structures is well understood or not..

その他

ウェルカムページ

http://www.algo.cs.tut.ac.jp/~fujito/class/AD/

http://www.algo.cs.tut.ac.jp/~fujito/class/AD/

オフィスアワー

火曜日の第 4 時限 を講義内容に関する質問を受け付けるオフィスアワーとする.
質問がある学生は，質問点を絞り込んだ上で居室（C-612）に来られたし.

Tuesday, 4th period (14:40 - 16:10).

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

アルゴリズム，データ構造
algorithms, data structures

(B1361003b)アルゴリズムとデータ構造[Algorithms and Data Structures]

科目名[英文名]	アルゴリズムとデータ構造[Algorithms and Data Structures]				
時間割番号	B1361003b	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤戸　敏弘 FUJITO Toshihiro				
ナンバリング	CMP_BAC32012				

授業の目標

計算機を用いて問題を効率的に解くために必要となる基本的なアルゴリズムと，さらにその基本となるデータ構造について学ぶ．本講義では単に方法を習得するだけではなく，その理論的裏付けを理解することを重視する．

To study fundamental algorithms and basic data structures for efficiently solving problems on computers.
It is considered as important ingredients of the course not only to acquire techniques but also to understand the reasoning behind why they work.

授業の内容

１～3週目．アルゴリズムとその計算量（問題と問題例/計算量の評価/オーダー表記）
4週目．基本データ構造：リスト，スタック，キュー
5週目．基本データ構造：完全2分木，2分探索木，中順，平衡2分探索木，AVL 木．
6週目．集合の取り扱い：辞書とハッシュ表
7週目．順序つき集合の処理：優先度つき待ち行列，ヒープ．
8～10週目．整列アルゴリズム：ヒープソート，クイックソート，クイックソートの平均計算量，計算量の下界，線形時間ソート
11週目．グラフのデータ構造．
12週目．グラフの探索．
13～14週目．グラフ問題：トポロジカル・ソート，連結性，最小スパニング木．
15週目．アルゴリズムの設計手法と実現例：縮小法（第 q 要素選択），分割統治法(マージソート，長大数計算，行列積，凸包)，動的計画法（フィボナッチ数，SUBSET-SUM 問題，最短路問題），貪欲算法（凸性，最小木），最大最小性（線形計画問題，最大パス問題，マッチング問題）
16週目．定期試験

weeks 1 through 3. Algorithms and their running time (problems and problem instances, asymptotic evaluation of running time, asymptotic notations).
week 4. Basic data structures: lists, stacks, queues.
week 5. Basic data structure: complete binary trees, binary search trees, in-order traversal, balanced binary search trees, AVL trees.
week 6. Sets: dictionaries and hash tables.
week 7. Ordered sets: priority queues and heaps.
weeks 8 through 10. Sorting algorithms: heap sort, quick sort, average case analysis of quicksort, lower bounds for sorting time, linear-time sort.
week 11. Data structures for representing graph data.
week 12. Searching in graphs.
weeks 13 through 14. Graph problems: topological sort, connectivity, minimum spanning tree.
week 15. Algorithm design principles: reduction, divide-and-conquer, dynamic programming, greedy heuristics, min-max relations.
week 16. Final Exam.

予習・復習内容

ウェルカムページで事前に公開されている講義計画・講義用資料を参照して，予習・復習により講義内容とその理解を確認すること．
It is highly recommended to go through all the course materials provided on the course welcome pages for self preparation and reviews.

関連科目

本講義ではC言語を使ってプログラムを作成することは主眼としていないが，ここで学んだデータ構造やアルゴリズムがC言語を使っていつでもすぐに実装できるように，C言語の実装法を含んだ教科書を選定してある．「プログラミング演習」などを履修して，C言語についての基礎知識があることが望ましい．この他，離散数学に関する初歩的な用語は理解していることが望ましい．

While no programming practice is involved in this course, the textbook is chosen such that it contains how to install algorithms and data structures learnt in the course, using the C language. It is desirable to be familiar with programming in C or similar languages by taking ″Programming″ courses. Besides, familiarity with basic concepts and terminologies in discrete mathematics is assumed.

教科書に関する補足事項

以下の，教育用に free で配布されているテキストを使用する：
"Data Structures and Algorithm Analysis", Edition 3.2 (C++ Version), by Clifford A. Shaffer.
（https://people.cs.vt.edu/shaffer/Book/　から pdf ファイルをダウンロード可）

Will use the following textbook:
"Data Structures and Algorithm Analysis", Edition 3.2 (C++ Version), by Clifford A. Shaffer,
which is freely available (from https://people.cs.vt.edu/shaffer/Book/) in PDF form for educational and other non-commercial use.

参考書 1	**書名**	アルゴリズム設計とデータ構造			**ISBN**	978-4781913650
	著者名	平田富夫 著,	**出版社**	サイエンス社	**出版年**	2015
参考書 2	**書名**	Introduction to Algorithms, Third Edition			**ISBN**	9780262033848
	著者名	Thomas H. Cormen, Charles E. Leiserson, Ronald L. Rivest and Clifford Stein	**出版社**	The MIT Press	**出版年**	2009
参考書 3	**書名**	アルゴリズムイントロダクション 第 3 版 総合版（世界標準 MIT 教科書）			**ISBN**	978-4764904088
	著者名	T. コルメン，R. リベスト，C. シュタイン，C. ライザーソン	**出版社**	近代科学社	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

A.アルゴリズムと計算量
（1)問題と問題例の区別，アルゴリズムの計算量をオーダーで表記することができる.
（2)データ構造を理解するために必要な程度のグラフ理論の用語が使える.
B.基本的な基本データ構造
（1)リスト/スタック/キューのデータ構造の特徴と実現方法を示すことができる.
C.集合の取り扱い
（1)辞書のサポートする基本演算が理解でき，ハッシュ表を用いて辞書を実現することができる.
（2)集合族の併合処理をサポートするデータ構造として，配列による実現，ポインタによる実現，木による実現が行える.
D.順序つき集合の処理
（1)優先度つき待ち行列を連結リストやヒープを使って実現できる.
（2)2分探索木のサポートする基本演算が理解でき，これを実現することができる.
（3)平衡木の原理が理解でき，これを実現することができる.
E.整列アルゴリズム
（1)バブルソート/バケットソート/ヒープソート/クイックソートのアルゴリズムのメカニズムが理解でき，これらの計算時間の評価，適当なデータ構造を用いた実現が行える.
（2)計算の下界値の議論が理解できる.
F. アルゴリズムの設計手法と実現例：
（1)アルゴリズムの代表的な設計手法である，縮小法，分割統治法，動的計画法，貪欲算法，最大最小性の基本原理が理解できている.
（2)上記手法によりアルゴリズムが設計されている第 q 要素選択，マージソート，SUBSET-SUM 問題，最短路問題，最小木問題に対して，実装のために適切なデータ構造を選択することができる

To acquire the ability to do the followings:
(1) to distinguish problems and problem instances, and analyze running time of algorithms asymptotically.
(2) to use terminologies in graph theory necessary for understanding data structures.
(3) to explain features of lists, stacks, and queues, and how to implement them.
(4) to understand basic operations supporting dictionary data structures and install them using hash tables.
(5) to install data structures for supporting set operations, using arrays, pointers, and trees.
(6) to install priority queues using linked lists and heaps.
(7) to understand basic operations supporting binary search trees, and install them.
(8) to understand principles of balanced trees and install them.
(9) to understand the mechanism of heap sort and quick sort, analyze their running time, and install them.
(10) to understand the lower bounds for time used in sorting.
(11) to understand fundamental algorithm design principles of reduction, divide-and-conquer, dynamic programming, greedy heuristics, min-max relations.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標全体の達成度を総合的に評価する中間試験・定期試験(合計 80%)とレポート(20%)の合計点により評価する.

S:90 点以上 A:80 点以上 B:70 点以上 C:60 点以上
[Evaluation basis]
Students will be evaluated, in terms of goals to be achieved, based on total scores of exams (mid-term and final: 80%) and home works (20%) as follows:
S: 90 or higher (out of 100 points).
A: 80 or higher (out of 100 points).
B: 70 or higher (out of 100 points).
C: 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
定期試験では，アルゴリズムやデータ構造の仕組み(メカニズム)を理解しているかどうかに重点を置く.
Exams will be designed to test whether the mechanism of algorithms and data structures is well understood or not..

その他

ウェルカムページ
http://www.algo.cs.tut.ac.jp/~fujito/class/AD/

http://www.algo.cs.tut.ac.jp/~fujito/class/AD/

オフィスアワー
火曜日の第 4 時限 を講義内容に関する質問を受け付けるオフィスアワーとする.
質問がある学生は，質問点を絞り込んだ上で居室(C-612)に来られたし.

Tuesday, 4th period (14:40 - 16:10).

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
アルゴリズム，データ構造
algorithms, data structures

(B1361004a)確率・統計論[Probability and Statistics]

科目名[英文名]	確率・統計論[Probability and Statistics]				
時間割番号	B1361004a	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中内　茂樹 NAKAUCHI Shigeki				
ナンバリング	CMP_BAC31112				

授業の目標

情報工学のみならず，自然科学や工学など多くの分野におけるデータの背後にある確率・統計現象を正しく把握し，活用するための数学的基礎を学ぶ.

Probability and Statistics is an introduction to data analysis. The student studies randomness with emphasis on understanding variation, collects information in the face of uncertainty, checks distributional assumptions, tests hypotheses, uses probability as a tool for anticipating what the distribution of data may look like under a set of assumptions, and uses appropriate statistical models to draw conclusions from data.

授業の内容

1週目　サンプリングとデータ
2週目　記述統計
3週目　確率論
4週目　離散確率変数
5週目　連続確率変数
6週目　正規分布
7週目　中心極限定理
8週目　【中間試験】
9週目　信頼区間
10 週目　仮説検定 1
11 週目　仮説検定 2
12 週目　カイ2乗分布
13 週目　線形回帰と相関
14 週目　F 分布と分散分析
15 週目　まとめ
16 週目　期末試験
1 Sampling and Data
2 Descriptive Statistics
3 Probability Topics
4 Discrete Random Variables
5 Continuous Random Variables
6 The Normal Distribution
7 The Central Limit Theorem

8 Intermediate Exam

9 Confidence Intervals
10 Hypothesis Testing: Single Mean and Single Proportion
11 Hypothesis Testing: Two Means, Paired Data, Two Proportions
12 The Chi-Square Distribution
13 Linear Regression and Correlation
14 F Distribution and One-Way ANOVA
15 Summary
16 Examination

予習・復習内容

この講義の教科書、例題などはすべて以下の URL で閲覧・入手することができます。
http://cnx.org/contents/MBiUQmmY@17.44:2T34_25K@11/Introduction

用語集、講義ビデオなどの補足資料は以下の URL で閲覧・入手することができます。
http://cnx.org/contents/XgdE-Z55@40.9:suk7Knt7@7/Additional-Resources
Additional resources for this course, glossary, video lectures, etc., can be found at the following URL:

http://cnx.org/contents/XgdE-Z55@40.9:suk7Knt7@7/Additional-Resources

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書名:Introductory Statistics　出版社:OpenStax Colloege　ISBN:978-1-304-89164-8
教科書名:Collaborative Statistics 出版社:OpenStax　　ISBN:078-1-304-89164-8

この講義の教科書、例題などはすべて以下の URL で閲覧・入手することができます。
http://cnx.org/contents/MBiUQmmY@17.44:2T34_25K@11/Introduction

用語集、講義ビデオなどの補足資料は以下の URL で閲覧・入手することができます。
http://cnx.org/contents/XgdE-Z55@40.9:suk7Knt7@7/Additional-Resources
Title:Introductory Statistics　Publishing company :OpenStax Colloege　ISBN:978-1-304-89164-8
Title:Collaborative Statistics Publishing company :OpenStax　　ISBN:078-1-304-89164-8
To browse the Collaborative Statistics textbook online, visit the collection home page at cnx.org/content/col10522/latest. You will then have three options.
You may obtain a PDF of the entire textbook to print or view offline by clicking on the "Download PDF" link in the "Content Actions" box.
You may order a bound copy of the collection by clicking on the "Order Printed Copy" button.
You may view the collection modules online by clicking on the "Start >>" link, which takes you to the first module in the collection.

参考書に関する補足事項

日本語で書かれた確率・統計に関する教科書は図書館に豊富にあり、自由に閲覧できます。

達成目標

A.基礎的な事項
(1)確率論の基礎になる順列，組み合わせの諸公式を使うことができる.
(2)現象から確率変数を見い出して数式表現ができる.

B. 確率の定義・基本的な性質
(1)様々な問題に対して，場合の数を正確にかぞえることによってその確率が計算できる.
(2)条件付き確率やベイズの定理を導くとともに，具体的な例題において確率を求めることができる.

C. 確率変数と確率分布
(1)確率密度が与えられたとき，確率分布や期待値，分散などを計算することができる.
(2)2項分布，ポアソン分布を描いて，平均や分散などを求めることができる.

D. 正規分布と統計処理
(1)正規分布から種々の統計量を導き出せる.
(2)標本データを正規分布に対応させることによって，母集団の種々の統計量を求めることができる.

E. 仮説検定
(1) 検定の基本的な手順を理解し，データに対して平均や分散に対する検定ができる.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
　演習・レポート点 20%、小テスト(中間試験含む)40%、期末試験 40%とし、その合計で総合的に評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
　S:合計点(100 点満点)が 90 点以上
　A:合計点(100 点満点)が 80 点以上
　B:合計点(100 点満点)が 70 点以上
　C:合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.vpac.cs.tut.ac.jp/~naka/Lecture/Lecture.htm （ID, PWD は講義中にアナウンスします）
http://www.vpac.cs.tut.ac.jp/~naka/Lecture/Lecture.htm （ID and PWD will be informed during lecture）

オフィスアワー
質問、意見等随時受け付けます。ただし、事前にメールでアポイントを取ること。
・部屋：総研棟 702-2
・内戦番号：7073
・Eメールアドレス：nakauchi[at]tut.jp （[at]は実際には@）
You can reach me at
Room: F2-702-2
Tel: 7073
e-mail: nakauchi[at]tut.jp （[at] should be replaced by @）

学習・教育到達目標との対応
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
(D1)問題を分析し，解決手順を設計し，ハードウェア・ソフトウェアとして実現する能力

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
(D1) Acquiring the ability to analyze problems, design solutions, and implement them as hardware and software

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
確率　統計
probability statistics

(B1361004b)確率・統計論[Probability and Statistics]

科目名[英文名]	確率・統計論[Probability and Statistics]				
時間割番号	B1361004b	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中内　茂樹 NAKAUCHI Shigeki				
ナンバリング	CMP_BAC31112				

授業の目標

情報工学のみならず，自然科学や工学など多くの分野におけるデータの背後にある確率・統計現象を正しく把握し，活用するための数学的基礎を学ぶ.

Probability and Statistics is an introduction to data analysis. The student studies randomness with emphasis on understanding variation, collects information in the face of uncertainty, checks distributional assumptions, tests hypotheses, uses probability as a tool for anticipating what the distribution of data may look like under a set of assumptions, and uses appropriate statistical models to draw conclusions from data.

授業の内容

1週目　サンプリングとデータ
2週目　記述統計
3週目　確率論
4週目　離散確率変数
5週目　連続確率変数
6週目　正規分布
7週目　中心極限定理
8週目　【中間試験】
9週目　信頼区間
10 週目　仮説検定 1
11 週目　仮説検定 2
12 週目　カイ2乗分布
13 週目　線形回帰と相関
14 週目　F 分布と分散分析
15 週目　まとめ
16 週目　期末試験
1 Sampling and Data
2 Descriptive Statistics
3 Probability Topics
4 Discrete Random Variables
5 Continuous Random Variables
6 The Normal Distribution
7 The Central Limit Theorem

8 Intermediate Exam

9 Confidence Intervals
10 Hypothesis Testing: Single Mean and Single Proportion
11 Hypothesis Testing: Two Means, Paired Data, Two Proportions
12 The Chi-Square Distribution
13 Linear Regression and Correlation
14 F Distribution and One-Way ANOVA
15 Summary
16 Examination

予習・復習内容

この講義の教科書、例題などはすべて以下の URL で閲覧・入手することができます。
http://cnx.org/contents/MBiUQmmY@17.44:2T34_25K@11/Introduction

用語集、講義ビデオなどの補足資料は以下の URL で閲覧・入手することができます。
http://cnx.org/contents/XgdE-Z55@40.9:suk7Knt7@7/Additional-Resources
Additional resources for this course, glossary, video lectures, etc., can be found at the following URL:

http://cnx.org/contents/XgdE-Z55@40.9:suk7Knt7@7/Additional-Resources

関連科目

教科書に関する補足事項

教科書名：Introductory Statistics　出版社：OpenStax Colloege　ISBN：978-1-304-89164-8
教科書名：Collaborative Statistics 出版社：OpenStax　　ISBN：078-1-304-89164-8

この講義の教科書、例題などはすべて以下の URL で閲覧・入手することができます。
http://cnx.org/contents/MBiUQmmY@17.44:2T34_25K@11/Introduction

用語集、講義ビデオなどの補足資料は以下の URL で閲覧・入手することができます。
http://cnx.org/contents/XgdE-Z55@40.9:suk7Knt7@7/Additional-Resources
Title：Introductory Statistics　Publishing company ：OpenStax Colloege　ISBN：978-1-304-89164-8
Title：Collaborative Statistics Publishing company ：OpenStax　　ISBN：078-1-304-89164-8

To browse the Collaborative Statistics textbook online, visit the collection home page at cnx.org/content/col10522/latest. You will then have three options.
You may obtain a PDF of the entire textbook to print or view offline by clicking on the “Download PDF” link in the “Content Actions” box.
You may order a bound copy of the collection by clicking on the “Order Printed Copy” button.
You may view the collection modules online by clicking on the “Start >>” link, which takes you to the first module in the collection.

参考書に関する補足事項

日本語で書かれた確率・統計に関する教科書は図書館に豊富にあり、自由に閲覧できます。

達成目標

A.基礎的な事項
(1)確率論の基礎になる順列，組み合わせの諸公式を使うことができる.
(2)現象から確率変数を見い出して数式表現ができる.

B. 確率の定義・基本的な性質
(1)様々な問題に対して，場合の数を正確にかぞえることによってその確率が計算できる.
(2)条件付き確率やベイズの定理を導くとともに，具体的な例題において確率を求めることができる.

C. 確率変数と確率分布
(1)確率密度が与えられたとき，確率分布や期待値，分散などを計算することができる.
(2)2項分布，ポアソン分布を描いて，平均や分散などを求めることができる.

D. 正規分布と統計処理
(1)正規分布から種々の統計量を導き出せる.
(2)標本データを正規分布に対応させることによって，母集団の種々の統計量を求めることができる.

E. 仮説検定
(1) 検定の基本的な手順を理解し，データに対して平均や分散に対する検定ができる.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
　演習・レポート点 20%、小テスト（中間試験含む）40%、期末試験 40%とし、その合計で総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
　S：合計点（100 点満点）が 90 点以上
　A：合計点（100 点満点）が 80 点以上
　B：合計点（100 点満点）が 70 点以上
　C：合計点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.vpac.cs.tut.ac.jp/~naka/Lecture/Lecture.htm （ID, PWD は講義中にアナウンスします）

オフィスアワー
質問、意見等随時受け付けます。ただし、事前にメールでアポイントを取ること。
・部屋：総研棟 702-2
・内戦番号：7073
・Eメールアドレス：nakauchi[at]tut.jp （[at]は実際には@）

学習・教育到達目標との対応
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力
(D1)問題を分析し，解決手順を設計し，ハードウェア・ソフトウェアとして実現する能力

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
(D1) Acquiring the ability to analyze problems, design solutions, and implement them as hardware and software

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
確率　統計
probability statistics

(B13610050)形式言語論[Formal Language Theory]

科目名[英文名]	形式言語論[Formal Language Theory]				
時間割番号	B13610050	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	増山　繁 MASUYAMA Shigeru				
ナンバリング	CMP_BAC31212				

授業の目標

コンピュータサイエンス分野の基礎となる「形式言語とオートマトン」について、その基礎的な概念を理解し使いこなせるようにすることを目的とする。

To understand and master the basic concepts of "Formal Languages and Automata" that provide the basis of computer science.

授業の内容

第1週～第2週 序論
・形式言語、言語、オートマトンとは
・順序機械と有限オートマトン
・形式言語とそのクラス階層
第3週～5週　有限状態機械と決定性有限オートマトン
・順序機械
・状態遷移図
・決定性有限オートマトン
第6週～7週　非決定性有限オートマトン
・決定性有限オートマトンと非決定性有限オートマトン
・非決定性有限オートマンから決定性有限オートマトンへの変換法
第8週～10週　正規表現
・正規表現とは
・正規表現と有限オートマトン
第12週～13週　文脈自由文法とプッシュダウンオートマトン
・文脈自由言語とは
・非決定性プッシュダウンオートマトンと文脈自由言語
第13週～14週　構文解析アルゴリズム
・CKY 法（CYK 法）
・Earley 法
第15週　文脈自由言語でない言語の存在（Pumping Lemma）
第16週　定期試験

First week and second week Introduction
- Formal language, language, automaton
- Sequential machine and finite automaton
-Formal language and its class hierarchy
Week 3 to 5 finite state machine and deterministic finite automata
- Sequential machine
-State transition diagram
-Deterministic finite automata
Week 6 to 7 non-deterministic finite automata
-Deterministic and non-deterministic finite automata
Mutual conversion method between deterministic finite automata and non-deterministic finite automata
Week 8 to 10 Regular expression
- The regular expression
- Regular expressions and finite automata
Week 12 to 13 Context-free grammars and push-down automata
- Context-free language
- non-deterministic push-down automaton and context-free language
Week 13 to 14 parsing algorithm
・ CKY method （CYK method）

・Earley method

Week 15 Existence proof of non context-free language (using Pumping Lemma)
Week 16 regular test

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに,次週の内容について配布資料(プリント)等を参考に予習してくること。

In addition to review each time of lectures, you are ask to attend the lecture with preparation in reference to such handouts (print) about the contents of the next week.

関連科目
基礎から懇切丁寧に指導するので特別な予備知識は必要としない.
No prior knowledge is required.

教科書に関する補足事項
[教科書]
適宜プリント配布. 講義は, 配布するプリントに基づいて行なう.
[参考書]

No textbook is used and at each time a hand out is distributed.

参考書に関する補足事項

達成目標
1. 形式言語論を通じて自然言語や順序回路などの具体的な対象を抽象的にモデル化して問題解決が図れるようにすること
2. 非決定性有限オートマトンから決定性有限オートマトンへの変換ができること
3. 有限オートマトンの代数的特徴付けが理解でき、状態数最小化、有限オートマトンで受理できないことの判定ができること
4. 文脈自由言語に対する構文解析アルゴリズムが使いこなせること

1. it is possible to achieve the abstract is modeled to problem-solving a specific subject, such as a natural language and the order circuit through the formal language theory
2. It can be converted from a non-deterministic finite automata to deterministic finite automata
3. algebraic characterization of finite automata can be appreciated, the number of states minimized, that can determine things that can not be accepted by the finite automaton
4. That literate parsing algorithm for context-free language

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
期末試験・レポート(80%+20%)で評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A:達成目標をすべて達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

期末試験・レポート(80%+20%)で評価する。

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
教員居室:
F503, 内線 6894, e-mail: masuyama@tut.jp,
URL: http://www.la.cs.tut.ac.jp/~masuyama/

教員からのメッセージ:
講義の後，こまめに復習することが大切である．プリントを用意するので，納得できるまで良く読み返してほしい．特に，新しい内容を学ぶたびに，まず，紙と鉛筆で具体例に対して分析してしてみて，じっくりと自分の頭で納得いくまで考えて欲しい．

Office：F503, e-mail: masuyama@tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時（e メールにより事前にアポイントメントをとってください）．
e メールによる質問も歓迎．

Please make reservation by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)Acquiring the ability to analyze problems, design solutions, and implement them as hardware and software

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
形式言語、オートマトン、正規表現、構文解析
formal language, automata, regular expression, parsing

(B13610070)情報ネットワーク[Information Networks]

科目名[英文名]	情報ネットワーク[Information Networks]				
時間割番号	B13610070	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	梅村　恭司 UMEMURA Kyoji				
ナンバリング	CMP_BAC32312				

授業の目標

情報ネットワーク技術の概要と基礎について，インターネット技術を中心に学ぶ．また，有線ネットワークにおけるデータリンクレイヤとネットワークセキュリティの基礎についても学ぶ．情報ネットワークシステムの基礎的な動作原理について理解することを目標とする．

This lecture provides overviews and fundamentals of computer network, focusing on Internet. It includes data link layer and network security. The goal of this lecture is to understand how computer network works.

授業の内容

1 週目　コンピュータネットワークと階層プロトコル
2 週目　インターネットにおけるネットワーク階層
3 週目　下位層メディアハードウェア
4 週目　下位層プロトコル
5 週目　インターネット層と IP
6 週目　IP を支えるインターネット層プロトコル
7 週目　経路制御と RIP
8 週目　トランスポート層:コネクションレス型プロトコル:UDP
9 週目　トランスポート層：コネクション型プロトコル:TCP
10 週目　ソケットプログラミング
11 週目　上位階層プロトコル：DNS
12 週目　上位階層プロトコル：WWW
13 週目　共通鍵暗号方式
14 週目　公開鍵暗号方式
15 週目　IPv6
16 週目　定期試験

Week 1: Overview and Layered Protocol of OSI
Week 2: Overview and Layered Protocol of TCP/IP
Week 3: Hardware of network
Week 4: Link Layer Protocols
Week 5: IP Protocols
Week 6: Other Network Layer Protocols
Week 7: Routing and RIP
Week 8: UDP / connectionless transport layer Protocols
Week 9: TCP / connection oriented transport layer Protocols
Week 10: Socket Programming
Week 11: DNS / naming in Application layer
Week 12: WWW / Application layer protocol
Week 13: Common key crypto system
Week 14: Public key crypto system
Week 15: IPv6
Week 16: Examination

予習・復習内容

授業のスライドをドリームキャンパスにて公開する。事前の準備は想定していないが，このスライドを参照しながら教科書を再読することを想定している。

The material for lecture can be obtained from dream campus system.

関連科目

特になし
特になし

教科書に関する補足事項

スライドとプリントで授業をする。スライドは公開する。前提知識が不足していると思われる場合には，参考書を読むことが必要で

ある。
The PDF of slides are available. The handout are used to check the understanding.

参考書 1	書名	コンピュータネットワーク入門 － TCP/IP プロトコル群とセキュリティ			ISBN	SBN978-4-7819-1166-
	著者名	小口正人	出版社	サイエンス社	出版年	2007

参考書に関する補足事項

達成目標
・コンピュータネットワークと階層プロトコルの基本概念が理解できる。
・TCP/IP を中心としたインターネットの仕組みが理解できる。
・ネットワークアプリケーションの動作原理が理解できる。
・IP アドレスと経路制御の仕組みが理解できる。
・暗号の動作原理が理解できる。
・Protocol and Protocol hierarchy.
・TCP/IP and Protocols used in internet.
・Structure of network application program.
・Routing and role of IP address
・Principle of cryptography.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法　定期試験 100%
評価基準
A:達成目標を達成しており，かつ，テスト（100 点満点）が 80 点以上
B:達成目標をほぼ達成しており，かつ，テスト（100 点満点）が 65 点以上
C:達成目標のうち重要な項目を達成しており，かつ，テスト(100 点満点）が 55 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved most of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved important goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
出席はとらないが，授業中に強調したところが出題されるので授業を出席しないで試験だけを受けることは不利である。

その他
電子メール：umemura@tut.jp, C-304, 6762
umemura@tut.jp, C-304, 6762

ウェルカムページ
http://www.ss.cs.tut.ac.jp/
http://www.ss.cs.tut.ac.jp/

オフィスアワー
9:00 から 13:30　できるだけ、事前にメール等で訪問を知らせていただくことを希望する。
From 9:00 to 13:30: Appointment by E-mail is strongly recommended.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science,

information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
インターネット　通信　TCP/IP 公開鍵暗号
computer network, TCP/IP, RSA

(B13610080)卒業研究[Supervised Research]

科目名[英文名]	卒業研究[Supervised Research]				
時間割番号	B13610080	区分	情報・知能専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	前期＋後1	曜日時限	月 4～5,火 5～5,水 3～3,木 5～5,金 5～5	単位数	6
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	S3系教務委員 3kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	CMP_BAC48010				

授業の目標

本学の教育理念である創造的、実践的能力を備えた指導的技術者・研究者としての能力を身につけるためには、単なる講義のみではなく、未解決の問題に取り組まなければならない。このような未解決の問題に取り組むことにより，自発的に学習する態度が身につき、これがさらに新しい問題を発見することにつながる。本科目を通して、明確な問題意識、問題解決力、課題探求力、計画立案力、創造力、判断力、責任感、ねばり強さ、協調性、プレゼンテーション力、倫理観を身につける。

To develop the ability to act as leading engineers and researchers with a practical ability,which is the philosophy of TUT, just a lecture is not sufficient but must challenge unresolved problems. By challenging such unsolved problems, a student can acquire attitude to voluntarily learning, which leads to discovery of a new problem. Throughout this course, a student can develop a clear motivation, problem solving skills, problem investigation ability, planning skills, creativity, judgment, sense of responsibility, tenacity, coordination, presentation skills, and a sense of ethics.

授業の内容

研究室毎に異なる。

Depending on the laboratory.

予習・復習内容

研究室毎に異なる。

Depending on the laboratory.

関連科目

研究室毎に異なる。

Depending on the laboratory.

教科書に関する補足事項

研究室毎に異なる。

Depending on the laboratory.

参考書に関する補足事項

達成目標

明確な問題意識、問題解決力、課題探求力、計画立案力、創造力、判断力、責任感、ねばり強さ、協調性、プレゼンテーション力、倫理観を身につける。

To develop clear awareness of the problem, problem solving skills, problem, planning skills, creativity, judgment, sense of responsibility, tenacity, coordination, presentation skills, and sense of ethics.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

発表会で研究成果を報告し，卒業論文を提出すること。

成績は，プレゼンテーションの内容（20%），研究姿勢（40%）【研究態度（20%）＋デザイン能力（20%）】，論文の仕上がり（40%）の割合で評価する。

A:80 点以上、B:65 点以上、C:55 点以上

発表会で研究成果を報告し，卒業論文を提出すること。

成績は，プレゼンテーションの内容（20%），研究姿勢（40%）【研究態度（20%）＋デザイン能力（20%）】，論文の仕上がり（40%）の割合で評価する。

Give final resentation and graduation thesis are must.

Results are evaluated by the contents of the presentation (20%), research attitude (40%) [research activity (20%) + design

capacity (20%)], degree of perfection of the paper(40%).
A:More than or equal to 80 B:More than or equal to 65 C:More than or equal to 55

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
研究室毎に連絡する。
Notified by each laboratory.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チーム内の個々の要員の価値観を互いに尊重するとともに，協調して，チームとしての目標達成に寄与することができる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
(G) Ability to work with a team
Have the ability to understand what to do and what other people should do when working with others in a coordinated manner and to implement them or take actions.

キーワード

(B13610090)実務訓練[Internship]

科目名[英文名]	実務訓練[Internship]				
時間割番号	B13610090	区分	情報・知能専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	後期2	曜日時限	月 1～5,火 1～5,水 1～5,木 1～5,金 1～5	単位数	6
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	S3系教務委員 3kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	CMP_BAC49010				

授業の目標

社会との密接な接触を通じて，指導的技術者として必要な人間性を養成するとともに，実践的技術感覚を体得させる。
Through close contact with society, train the necessary human nature to act as a leading engineer, and develop the practical technology sense.

授業の内容

学部第4年次学生が従事できる実務のうち，実務訓練の目的にふさわしい業務。
Job that a forth-grade undergraduate student can engage and suitable for the purpose of this on-the-job-traning program.

予習・復習内容

実務訓練先に応じて異なる。
Depending on the place where on-the-job training is conducted.

関連科目

教科書に関する補足事項

実務訓練先の担当者の指示に従う。
Follow the instructions of the person in charge of the practical training destination.

参考書に関する補足事項

達成目標

特に企業・官公庁等で実務に従事することにより、業務遂行のためのコミュニケーション、他の科目で習得した知識の活用法等を学習するとともに、それらの重要性を認識する。
To learn communication skills for business activity and how to apply their knowledge obtained by
given subjects as well as to recognize their importance by engaging in practices at companies and government agencies, etc.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

★実務訓練評定書(25%)
★実務訓練報告書(25%)
★訓練状況の調査結果(20%)
★報告会の発表内容(30%: 発表 15%, ポスター15%)
に基づき、合計 100 点満点で成績の評価を行う。

A:80 点以上、B:65 点以上、C:55 点以上

Practical training assessment certificate, practical training report, survey results of the training situation, based on the announcement contents of the briefing, to perform the evaluation of overall performance

* Report from Employer (25%)
* Reports from Student (25%)
* Survey by Visit (20%)
* Poster Presentation (30%: presentation:15%, poster making:15%)

A: more than or equal to 80 B: more than or equal to 65 C: more than or equal to 55

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

実務訓練終了後、合同でポスター発表を行う。

After on-the-job training, a joint poster presentation is required.

その他

実務訓練先の担当者の指示に従うこと。遅刻しないこと。健康に気をつけ、インフルエンザ等にかからないよう注意すること。社会人として自覚をもって行動すること。また、実務訓練先に応じて、機密情報に接する機会もあるため、情報の取り扱いには注意すること。

Follow the instructions by the person in charge at the on-the-job training destination.
Not be late.
Take care for health, be careful not to catch the flu.
Act with awareness as a member of society.
Be careful if you have a chance to access classified information.

ウェルカムページ

オフィスアワー

実務訓練先の担当者の指示に従う。

Follow the instructions by the person in charge of the practical training destination.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チーム内の個々の要員の価値観を互いに尊重するとともに，協調して，チームとしての目標達成に寄与することができる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
(G) Ability to work with a team
Have the ability to understand what to do and what other people should do when working with others in a coordinated manner and to implement them or take actions.

キーワード

(B13610100)情報・知能工学実験[Laboratory Experiments on Computer Science and Engineering]

科目名[英文名]	情報・知能工学実験[Laboratory Experiments on Computer Science and Engineering]				
時間割番号	B13610100	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	通年	**曜日時限**	金 3～5	**単位数**	4
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	S3系教務委員, 桂樹 哲雄, 相田 慎, 上田 祥代, 吉田 光男, 杉本 俊二, 林 宏太郎, 木村 慧, 原田 耕治, 長谷川 孔明, 佐藤 幸紀 3kei kyomu Iin-S, KATSURAGI Tetsuo, AIDA Shin, UEDA Sachiyo, YOSHIDA Mitsuo, SUGIMOTO Shunji, HAYASHI Kotaro, KIMURA Kei, HARADA Koji, HASEGAWA Komei, SATO Yukinori				
ナンバリング	CMP_BAC32012				

授業の目標

実験による観測・確認を通じて、授業で学んだ情報・知能工学に関する現象・理論などに対する理解を深めると共に、実践的な測定法、プログラミング技術、および報告書の作成方法の習得を進める。また、限られた時間・機材のもとで、設計および実装を計画的に進める能力を養う。実験は、今後取り組む研究・開発に必要不可欠なプロセスであり、その基本的な方法・技術、および複数人の共同作業による目標の達成までの過程を、基礎的なテーマを通して学ぶ。

Through observations of experiments, you understand deeply phenomenons and theories related to computer science and engineering that you have learned in classes so far.

Moreover, the class develops an ability of carrying out design and implementation with limited equipments and times.

Experiment is a basic process for research and development.

You learn the collaboration with other people and the methodology and technology of the process through fundamental themes.

授業の内容

以下の 8 テーマ＋ガイダンスを履修する。実施スケジュールは別途定める。

＊ガイダンス・技術文書作成入門(1 週)
＊組み込みシステム(6 週)
＊論理回路(3 週)
＊マイクロプロセッサ(3 週)
＊CPU の論理設計(6 週)
＊ネットワークセキュリティ(3 週)
＊生体情報処理(3 週)
＊ディジタル画像処理(2 週)
＊情報可視化実験(3 週)

You take eight experimental themes and a guidance.
The schedule of this class is set later.
- Guidance, Instruction for report writing (1 week)
- Integrated Systems (6 weeks)
- Logical Circuits (3 weeks)
- Microprocessor (3 weeks)
- Logical Design of CPU (6 weeks)
- Network Security (3 weeks)
- Biological information processing (3 weeks)
- Digital image processing (2 week)
- Information Visualization (3 week)

予習・復習内容

情報・知能工学実験説明会において別途指示がある。

The instruction for the preparations and reviews are shown at the guidance in the first week.

関連科目

情報・知能工学課程におけるすべての科目に関連する。

This class relates all of the class in the Course of Computer Science and Engineering.

教科書に関する補足事項

実験指導書を配布する。またテーマによってはウェブ資料を活用する。

The guides are distributed.

Some themes use web documents.

参考書 1	**書名**	理科系の作文技術			**ISBN**	978-4-12-100624-0
	著者名	木下是雄	**出版社**	中公新書	**出版年**	1981

参考書に関する補足事項

各実験テーマにおいて、個別の参考資料が紹介される場合がある。

The teachers can introduce supplemental materials at each experimental theme.

達成目標

各実験テーマの達成目標は以下のとおりである。

＊組み込みシステム
組み込みシステムプログラミングの基礎的な技術を習得することを目的とする。具体的には、Arduino 基板を用い、各種センサ情報に基づいた機器の制御、 ワイヤレス通信を用いた機器のリモコン操作等のプログラミングを行うことによって、マイコン制御技術について体験的に学習する。また限られた時間・機材のもとで、設計および実装を計画的に進める能力を養う。

＊論理回路
実習ボード（ロジックトレーナ）上に組合せ回路や順序回路を設計・実現し論理回路の理解を深める。さらに素子遅延に起因するハザードをオシロスコープで観測することで理論と実機とのふるまいの違いを体感する。

＊マイクロプロセッサ
教育用ボード KUE-CHIP2 を用いて計算機の動作原理を理解する。アセンブリ言語プログラムを機械語に変換し、命令の取り出し・解読・実行のサイクルを観察することで計算機のソフト・ハード両面の理解を実践的に深める。

＊CPU の論理設計
MieruPC は、FPGA ベースでスタンドアローンな組み込みの教育用計算機である。ハードウェア記述言語によりプロセッサを記述し論理合成・ダウンロードすることにより最先端の論理設計技法を習得する。

＊ネットワークセキュリティ
DoS 攻撃とは、ネットワーク上のサーバに攻撃を行い、正常なサービスの提供を不能にする攻撃のことである。サーバへの DoS 攻撃を検出し、フィルタリングすることにより DoS 攻撃への対処方法を習得する。

＊生体情報処理
「脳波」が脳のどのような活動を反映しているかを理解した上で、1 チャネル脳波計を用いて実際に脳活動を計測し、得られた波形の分析および有意差検定を行う。脳神経系における情報処理の仕組み、およびその活動を計測し分析する技術の基礎を理解することが本実験の目的である。

＊ディジタル画像処理
本実験では、C++を利用したディジタル画像の取り扱いについて学ぶ。
ディジタル画像がどの様な形式で記録されるのかといった基本的なデータ構造について理解を深め、代表的な画像フォーマットの一つである PNM を利用した画像処理プログラムを作成する。

＊情報可視化実験
情報可視化とは、データがもつ特性を、人が理解しやすい表現で提示する技術である。
本実験では、多次元尺度構成法による GUI プログラムの作成を通して、情報可視化技術とオブジェクト指向プログラミングの基礎を学ぶ。

The purposes for each themes are as follows.

＊Integrated Systems
The purpose is to learn basic techniques for integrated system programming.
Specifically, you can learn techniques for a control of a microprocessor through the control of devices based on information captured by sensors and remote control of the device via wireless communication techniques.
Moreover, the class develops an ability of carrying out design and implementation with limited equipments and times.

＊Logical Circuits
You deeply understand a logical circuit through designing and implementing the logical operations and sequential circuits on a experimental board (logic trainer).
Moreover, you experience the difference between theories and realities by observing a hazard caused by an element delay by an oscilloscope.

＊Microprocessor
You understand the principal of computer by using an educational board (KUE-CHIP2).
You understand the hardware and software of computer through translating assembly code into machine code and observing cycles for the load, decode, and implementation of commands.

* Logical Design of CPU
MieruPC is an FPGA-based stand-alone integrated computer for education.
You learn frontiers techniques for logical design by logically synthesizing and downloading a processor which is described in a hardware description language.

* Network Security
DoS attack is an attack to network servers and to destruct normal service.
You learn how to cope with the DoS attack by detection and filtering the attack.

* Biological information processing
This topic is designed to help you learn how an electroencephalogram (EEG) is recorded from the scalp, and perform EEG measurements and analysis including the statistical significance test, using a single-channel EEG recording device. The goal is to understand the mechanisms of information processing in the nervous system, and to acquire the basic techniques required for measuring and analyzing the biological signals.

* Digital image processing
This experiment will enable you to learn how to handle digital images in C++.
First, the fundamental knowledge about digital images, such as the typical formats, is introduced, and then, you develop several image processing programs implementing C++ code with a typical image format, PNM.

* Information Visualization
Information visualization is a technique for presenting latent features of data with expressions suitable for human understanding.
By creating a GUI program for information visualization with multi-dimensional scaling, you learn the basics of information visualization and object-oriented programming.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
実験終了後 1 週間以内に提出されたレポートを 70%、実験時間中の態度を 30%としてテーマ毎に採点し、その合計で評価する。ただし、1 つでも欠席あるいはレポート未提出の実験がある場合には、単位の修得を認めない。
A:80 点以上、B:65 点以上、C：55 点以上。
The evaluation for each theme is based on
- report that you should submit in 1 week after the experiment (70%)
- attitude in the class (30%).
The final evaluation is the sum of the evaluations for all themes.
However, you can not obtain the class, if you have even one unsubmitted report or absence for the class.
A: over 80, B: over 65, C: over 55

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
説明会で指導書および連絡先リストを配布する。

The guide and the contact addresses of the teachers are passed out in the first class.

ウェルカムページ
http://www.cs.tut.ac.jp/jikken/
http://www.cs.tut.ac.jp/jikken/

オフィスアワー
それぞれの実験課題の担当教員から連絡する。これ以外の時間帯に訪問を希望する場合は、E-mail、内線電話などで随時時間を打ち合わせる。担当教員および連絡先は、説明会で配布する連絡先リストを参照のこと。
The office hour is announced from the teacher for each theme.
If you want to visit on the other time, you can set the time by E-mail and extensions.
The contact addresses of the teachers are available in the list passed at the first class.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

（G）チームで仕事をするための能力
チーム内の個々の要員の価値観を互いに尊重するとともに，協調して，チームとしての目標達成に寄与することができる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

(G) Ability to work with a team
Have the ability to understand what to do and what other people should do when working with others in a coordinated manner and to implement them or take actions.

キーワード

(B1361011a)ソフトウェア演習 I [Computer Programming 1]

科目名[英文名]	ソフトウェア演習 I [Computer Programming 1]				
時間割番号	B1361011a	**区分**	情報・知能専門 II	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	火 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	河合　和久 KAWAI Kazuhisa				
ナンバリング	CMP_BAC32212				

授業の目標

C言語でのプログラミングを基礎から応用まで演習問題を通じて復習する。本講義は、英語スライドを用いたバイリンガル講義形式で行ない、グローバルな知識の修得をすすめる。

Your C language programming skills are blushed up from the basics to the advanced level through exercises. This lecture is given in Japanese using English slides in order to increase global awareness.

授業の内容

第 1 週:C 言語・コメント、データ型、演算子
第 2 週:C 言語・ファイル処理、制御構造、文字列とポインタ
第 3 週:C 言語・ポインタ、配列、関数とポインタ
第 4 週:C 言語・構造体(線形リスト、2分木、ハッシュ)
第 5 週:C 言語・構造体、ライブラリを使った演習問題
第 6 週:C 言語・マクロ、応用課題(1)
第 7+0.5 週:C 言語・応用課題(2)、課題解説

定期試験を行なう。

1st week: Comments, Data type and operator in C language
2nd week: File processing, control structure, and relationship between character string and pointer in C language
3rd week: Pointer, array, and relationship between function and pointer in C language
4th week: Structure (linear list, binary tree, hash) in C language
5th week: Structure and exercises using library in C language
6th week: Macro in C language, Application (1)
7th+0.5 week: Application (2), Explanation of exercises

We will also have a regular examination.

予習・復習内容

C言語の基礎について、授業ごとに予習する。授業ごとの復習を兼ねて、与えられた課題を行なう。
Students will need to review the fundamentals of C programming language every week. As a review of the class, students will need to hand in the program lists of the exercise questions in C programming language every week.

関連科目

プログラミング演習 I、プログラミング演習 II、プログラミング演習 III
Programming 1, Programming 2, Programming 3

教科書に関する補足事項

WWWで資料を配布する。
Slides and exercise questions will be distributed on the lecture Web page.

参考書 1	**書名**	C Programming : A Modern Approach (Second Edition)			**ISBN**	978-0393979503
	著者名	K. N. King	**出版社**	W. W. Norton	**出版年**	2008
参考書 2	**書名**	新版　明解C言語 入門編			**ISBN**	978-4797327922
	著者名	柴田望洋	**出版社**	ソフトバンククリエイティブ	**出版年**	2004
参考書 3	**書名**	The C Programming Language (Second Edition)			**ISBN**	978-0131103627

	著者名	B. W. Kernighan, D. M. Ritchie	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	1988
参考書 4	**書名**	プログラミング言語C 第 2 版 ANSI 規格準拠			**ISBN**	978-4320026926
	著者名	B. W. カーニハン、D. M. リッチー	**出版社**	共立出版	**出版年**	1989

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)手続き型のプログラミングを用いた基礎的・応用的プログラムが書けるようになる。
(2)ポインタと配列の違いが理解でき，リスト構造，2分探索木など基本的なデータ構造を利用したプログラムが書けるようになる。

At the end of the course, students will:
(1) be able to write a code of a basic and advanced program by a procedural programming language.
(2) be able to understand the relationship between "pointer" and "array", and to write a code using the fundamental data structures such as a linear list or a binary search tree.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎週課す演習課題の点数(60%)と定期試験(40%)で評価する。ただし、授業に出席せず課題のみ提出しても点数として認めない。
S:課題・試験の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:課題・試験の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:課題・試験の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:課題・試験の合計点(100 点満点)が 60 点以上

Students will be evaluated by exercises of every week (60%) and a regular examination (40%). Notice that students are not allowed to only hand in the exercises without participation in the class.

S: Achieved all goals and obtained total points of the exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of the exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved all goals and obtained total points of the exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved all goals and obtained total points of the exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

・教官居室:F1－206
・電子メイル:kawai@tut.jp
・WWW:http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/
Lecturer's Room: F1-206.
E-Mail: kawai@tut.jp
WWW: http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/

ウェルカムページ

http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/sw/public/
http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/sw/public/ (Some pages are written in Japanese.)

オフィスアワー

水曜2時限と金曜2時限。
Wednesday 2nd period and Friday 2nd period in Room F1-206.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
手続き型プログラミング，C 言語
Procedural programming, C language

(B1361011b)ソフトウェア演習Ⅰ[Computer Programming 1]

科目名[英文名]	ソフトウェア演習Ⅰ[Computer Programming 1]				
時間割番号	B1361011b	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	火 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	菅谷　保之 SUGAYA Yasuyuki				
ナンバリング	CMP_BAC32212				

授業の目標

演習問題を通じて C 言語の基礎を学び、独自のプログラミングに応用できるようになる。

The aims of this class are to learn a fundamental of programming language C by some examinations and to have skills for implementing original programs.

授業の内容

1週目:C 言語・変数と関数
2週目:C 言語・配列と文字列
3週目:C 言語・構造体
4週目:C 言語・ポインタとメモリ管理
5週目:C 言語・簡単なデータ構造
6週目:C 言語・再帰呼び出しと関数へのポインタ
7+0.5 週目:C 言語の演習課題＋試験

1. Variables and functions
2. Arrays and strings
3. Structures
4. Pointers
5. Simple data structures
6. Recursive call and pointer to functions
7. report and test

予習・復習内容

予習:事前にウェブページ(http://www.iim.cs.tut.ac.jp/~sugaya/lecture/software/)を確認して当日の講義内容を確認する
復習:講義内容の理解度をチェックシートにて確認する
Self preparation: Check contents of next class on the web site, http://www.iim.cs.tut.ac.jp/~sugaya/lecture/software/.

Self review:Check self understandings by a check sheet.

関連科目

教科書に関する補足事項

講義に使用する資料は WEB ページで公開する。
Texts will be uploaded on the web site.

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)手続き型のプログラミングを用いた基礎的・応用的プログラムが書けるようになる。
(2)ポインタと配列の違いが理解でき，基本的なデータ構造を利用したプログラムが書けるようになる。

1) one can implement fundamental and developed programs by C language.
2) one can understand differences between a pointer and an array and can implement programs by using fundamental data structures.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習課題(40%)と試験(60%)で判断する。
S: 90 点以上
A: 80 点以上
B: 70 点以上

C: 60 点以上。
score = report(40%) + examination(60%)
S: 90 >= score
A: 80 >= score
B: 70 >= score
C: 60 >= score

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.iim.cs.tut.ac.jp/~sugaya/lecture/software/
http://www.iim.cs.tut.ac.jp/~sugaya/lecture/software/

オフィスアワー

随時、ただし事前に sugaya@iim.cs.tut.jp まで電子メールで予約すること
Please make an appointment by e-mail sugaya@iim.cs.tut.ac.jp.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

プログラミング
programming

(B1361012a)ソフトウェア演習Ⅱ[Computer Programming 2]

科目名[英文名]	ソフトウェア演習Ⅱ[Computer Programming 2]				
時間割番号	B1361012a	区分	情報・知能専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	前期2	曜日時限	火 4～5	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	青野 雅樹 AONO Masaki				
ナンバリング	CMP_BAC32212				

授業の目標

C++言語でのプログラミングを基礎から典型的な応用事例までの書法を修得する。

The main focus of this class is to understand through C++ programming language the object-oriented programming techniques including class design with constructors and destructors, data hiding with access control mechanisms, name space, class inheritance, and polymorphism by means of function overloading and overriding. An emphasis is put on how to write a good C++ code with high mentainability and extensibility. In order to achieve the objectives, it is imperative to take good use of object-oriented programming as well as to write sufficient amount of appropriate comments.

授業の内容

1週目:C＋＋・基礎(Cとの類似点、相違点)(参照オペレータ、入出力ストリームなど
2週目:C＋＋・オブジェクト指向の基礎(オブジェクト・クラス・名前空間)
3週目:C＋＋・クラスを使ったプログラミング(データの保護・コンストラクタなど)
4週目:C＋＋・クラスの継承(含仮想関数)とポリモルフィズム
5週目:C＋＋・演算子のオーバーロード、簡単なテンプレート
6週目:C＋＋・例外処理、STL 利用法
7+0.5 週目:C＋＋・多重継承、メンバー関数へのポインタ等、応用事例

1 回:定期試験

1-st week: C++ basics (similarity and dissimilarity with C, I/O stream, etc.)
2-nd week: C++ class design basics (object generation, class design, name spaces)
3-rd week: C++ class access mechanism (data hiding, constructors and destrcutors)
4-th week: C++ class inheritance (inc. virtual functions), polymorphism
5-th week: C++ operator overloading, simple templates
6-th week: C++ exception handling, STL examples
7-th + 0.5 week: C++ multiple class inheritance, pointers to member fuinctions, etc.
Final exam: sometime after 6-th week

予習・復習内容

g++ (バージョン 4.9 以上)に慣れていることが好ましい。http://www.cplusplus.com/ は、英語のサイトであるが、非常に詳しくC++言語の説明やサンプルがあるので予習・復習に利用してほしい。また、講師が準備するホームページでも C++で、覚えてほしい基本プログラミングや応用プログラミング例を事例を使い解説しているので、そちらでも復習をしてほしい。
It is recommended to be accustomed to g++ (version > 4.9 with C++11). Good references of C++ functional specification with examples are available at http://www.cplusplus.com/. Also, please refer to lecturer's web pages (http://www.kde.cs.tut.ac.jp/~aono/myLecture.html) (although they are basically in Japanese), which have many C++ program examples.

関連科目

ソフトウェア演習Ⅲ

教科書 1	書名	C++ Language On-line Tutorial	ISBN	

	著者名		出　版社	http://www.cplusplus.com/doc/tutorial/	出版年	

教科書に関する補足事項

C++言語
http://www.cplusplus.com/

C++ language specification:
http://www.cplusplus.com/

参考書 1	**書名**	The C++ Programming Language, Fourth Edition			**ISBN**	978-0321563842
	著者名	Bjarne Stroustrup	**出　版社**	Addison Wesley	**出版年**	2013
参考書 2	**書名**	Effective Modern C++			**ISBN**	978-1-491-90399-5
	著者名	Scott Meyers	**出　版社**	O'Reilly	**出版年**	2015
参考書 3	**書名**	C++ How to Program, 10th Edition			**ISBN**	978-0134448237
	著者名	Deitel	**出　版社**	Prentice-Hall	**出版年**	2016

参考書に関する補足事項

達成目標

オブジェクト指向型のプログラミングとして C++言語を用いて，オブジェクト，クラス，クラスの継承等の基本的な概念を理解でき，クラスとそのインスタンスを用いたプログラムが書けるようになる。

By using C ++ language as a programming object-oriented language, each student is expected to understand the basic concepts of class design, class inheritance, and polymorphism. Each student is also expected to write a beautiful piece of programs with high readability, maintenability, and extensibility.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎回出す演習課題＋小課題（通常一週間以内に提出：50 点）と定期テスト（50 点）の合計で判断する。小課題の提出（出席）がない場合は、演習課題の点は加算されない。

評価基準：＊原則として＊　すべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

A student taking this class must
・attend all the classes
・submit all the assignments

Evaluations are done by adding 50% from the final exam and 50% from each assignment.
Assignment includes a program assignment plus an "on-the-spot" small exercise assignment which has to be submitted every time by the end of the class.

S:90% or more, A: 80% or more, B: 70% or more, C: 60% or more

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験を実施する。

その他

ウェルカムページ

青野雅樹：http://www.kde.cs.tut.ac.jp/~aono/myLecture.html

http://www.kde.cs.tut.ac.jp/~aono/myLecture.html

オフィスアワー

随時、ただし事前に aono@tut.jp で電子メールで予約すること

Any time, but an appointment has to be made in advance by e-mail (to aono@tut.jp)

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills

Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

オブジェクト指向型プログラミング，クラス，クラス継承，データハイディング，ポリモルフィズム(オーバーロード，オーバーライド)，名前空間

object-oriented programing, class, class inheritance, data hiding, polymorophism (e.g. overloading, overriding), name space

(B1361012b)ソフトウェア演習Ⅱ[Computer Programming 2]

科目名[英文名]	ソフトウェア演習Ⅱ[Computer Programming 2]				
時間割番号	B1361012b	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期2	**曜日時限**	火 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　幸太郎 SUZUKI Koutarou				
ナンバリング	CMP_BAC32212				

授業の目標

C言語の拡張として設計されたオブジェクト指向言語であるC＋＋言語でのプログラミングを修得する。

This class teaches programming skill of object-oriented language using C++ language that is designed by extending C language.

授業の内容

1週目：クラス宣言とオブジェクト指向
2週目：クラス配列と入出力関数
3週目：クラスの継承
4週目：仮想関数
5週目：テンプレートと例外処理
6週目：静的メンバと参照
7+0.5 週目：演算子のオーバーライドと総復習
Week 1. Class definition via object-oriented design
Week 2. Array of class instances and Input/Output functions
Week 3. Inheritance of class
Week 4. Virtual function
Week 5. Template and exception handling
Week 6. Static member and reference
Seek 7+0.5. Overwrite of operator and final exercise

予習・復習内容

Web 上に公開されている電子テキストとサンプルソースコードを参照する。

Html textbook and sample source codes are supplied as a private document (not accessible from outside the campus).

関連科目

ソフトウェア演習Ⅰ
Computer Programming 1

教科書に関する補足事項

Web 上に電子テキストを公開する。

An html textbook is supplied as an e-learning document.

参考書に関する補足事項

電子テキスト上に参考となるリンク情報を公開する。

URLs of relevant resources are shown on the html textbook.

達成目標

オブジェクト指向型のプログラミング言語であるC＋＋を用いて，オブジェクト，クラス，クラスの継承等の基本的な概念を理解でき，クラスとそのインスタンスを用いたプログラムが書けるようになる。

The goal of this class is to learn basic concepts of object, class, inheritance etc. by using object-oriented programming language C++, and obtain the skill of developing a system with those concepts.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習課題の得点50%と定期試験50%で判断する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ演習課題と定期試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつ演習課題と定期試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 75%達成しており，かつ演習課題と定期試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ演習課題と定期試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上
演習課題の得点50%と定期試験50%で判断する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ演習課題と定期試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつ演習課題と定期試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 75%達成しており，かつ演習課題と定期試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ演習課題と定期試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ソフトウェア演習Ｉで振り分けたベーシックコースを対象とする。
This class is held for basic course students assigned in Computer Programming 1.

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時、ただし事前に電子メールで予約すること。
Anytime, but reservation by e-mail is required.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

手続き的プログラミング、オブジェクト指向型プログラミング
Object-oriented programming

(B1361013a)ソフトウェア演習Ⅲ[Computer Programming 3]

科目名[英文名]	ソフトウェア演習Ⅲ[Computer Programming 3]				
時間割番号	B1361013a	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期1	**曜日時限**	火 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	栗山　繁 KURIYAMA Shigeru				
ナンバリング	CMP_BAC32212				

授業の目標

Java 言語の基礎と基本的なデータ操作方法，および GUI，データベース，並列処理，Web システムの構築方法等を修得し，アプリケーションの開発を通じて応用力を修得する。

This lecture teaches basic concept and grammar of Java language, and train the skill of developing software by giving examples of data operations & conversions, GUI, parallel processing, and Web applications.

授業の内容

1週目：クラスの構築，継承とインタフェース
2週目：フレームワーク
3週目：GUI の作成とグラフ描画
4週目：データベース
5週目：スレッドによる並行処理
6週目：サーブレット
7+0.5 週目：総復習演習問題

Week 1. Class definition, inheritance, and interface
Week 2. Framework for abstract data structure
Week 3. GUI and graph drawing with swing
Week 4. Text data management with XML and JSON
Week 5. Parallel processing using thread
Week 6. Servlet
Week 7+0.5. Final exercise

予習・復習内容

予習と復習には、Web 上に公開された電子テキストを参照する。

An html-based textbook and sample source codes are supplied for preparation and review.

関連科目

ソフトウェア演習Ⅰ、ソフトウェア演習 II

Computer Programming 1 and 2

教科書に関する補足事項

Web 上に電子テキストを公開する。

An html textbook and sample source codes are supplied as a private document (not accessible from outside the campus).

参考書に関する補足事項

電子テキスト上に参考となるリンク情報を掲載する。

Relevant resources are given as link informations with URLs on the textbook.

達成目標

オブジェクト指向型のプログラミングとしての Java 言語を用いて、フレームワーク，GUI、データベース、並行処理，および Web アプリケーション構築等のプログラミングの基本的な知識と応用力を得ること。

The goal of this class is to obtain basic knowledge about Java programming language and skill of developing software system using framework, GUI, database, thread, and servlet.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習課題点50%と期末試験50%で判断する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 75%達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上
演習課題点50%と期末試験50%で判断する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上

A：達成目標を 90%達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 75%達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ソフトウェア演習Ｉで振り分けたアドバンスコースを対象とする。
This class is held for the students belonging to advanced course.

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時、ただし事前に電子メールで予約すること。
Anytime, but reservation by e-mail is required.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

オブジェクト指向型プログラミング、Java
Object-oriented programming language, Java

(B1361013b)ソフトウェア演習Ⅲ[Computer Programming 3]

科目名[英文名]	ソフトウェア演習Ⅲ[Computer Programming 3]				
時間割番号	B1361013b	区分	情報・知能専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	後期1	曜日時限	火 4～5	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	青野　雅樹 AONO Masaki				
ナンバリング	CMP_BAC32212				

授業の目標

ブジェクト指向言語としての Java 言語の基礎と代表的な応用事例を修得する。 具体的には、アクセス制御子、クラスの継承、抽象クラスや抽象関数を使ったポリモルフィズム、入出力と例外処理、マルチスレッドプログラミング、インタフェース機能、パッケージ、GUI などの理解と、システムが提供する代表的なクラスの使用法などの修得することを目的とする。

The main focus of this class is to understand through Java programming language the object-oriented programming techniques including class design with constructors and destructors, data hiding with access control mechanisms, name space, class inheritance, and polymorphism by means of function overloading and overriding. An emphasis is put on how to write a good Java code with high mentainability and extensibility. In order to achieve the objectives, it is imperative to take good use of object-oriented programming as well as to write sufficient amount of appropriate comments.

授業の内容

1週目：Java 言語イントロ ＋ファイル処理（例外処理）
2週目：文字列（日本語等を含む）＋多次元配列、クラスとアクセス制御
3週目：クラスと関数、データ構造（線形リスト、2分木等）
4週目：クラスの継承とポリモルフィズム
5週目：システムクラスとジェネリクス（リスト、ソーティングなど）
6週目：マルチスレッドプログラミング
7+0.5 週目：インタフェースとスレッドを使った GUI プログラミング 、ネットワークプログラミング

1 回：定期テスト
1-st week: Java basics (including file I/O and exception handling)
2-nd week: Java Strings, multi-dimensional arrays, class and access control
3-rd week: Java class and functions, data structures (linked list, binary tree, etc.)
4-th week: Java class inheritance (inc. abstract class + interfaces), polymorphism
5-th week: Java utility classes and generics (e.g. ArrayList, HashMap, and TreeMap)
6-th week: Java multithread programming
7-th + 0.5 week: Java GUI (Swing) and Server-side Java with Tomcat (Java Web server)
Final exam: sometime after 6-th week

予習・復習内容

Java（バージョン 1.8 以上）を自分の PC 等にインストールして、予習・復習が出来る環境を各自構築しておくことが好ましい。また、講師が用意するホームページでも、例を用いた解説で、Java 言語で知っていてほしい基本プログラミングの解説をしているので、そちらを復習目的や課題の参考資料として活用することが好ましい。
It is recommended that each student install (in his/her PC) Java (> version 1.8.0 or later downloaded from Oracle as Java SDK) for study at home. Also, please refer to lecturer's Web page, which contains many Java program examples used in the class with external links.

関連科目

ソフトウェア演習Ⅱ

教科書 1	書名	Java Language On-line free e-book: Introduction to Programming Using Java, 7th Edition			ISBN	
	著者名		出版社	http://math.hws.edu/javanotes/	出版年	

教科書に関する補足事項

http://math.hws.edu/javanotes/にある Java のオンライン教科書の利用を推奨する。

課題提出にあたっては、Moodle を使用する。

I recommend referring to http://math.hws.edu/javanotes/ as an on-line Java textbook.

For the submission of program assignment, we utilize Moodle at https://moodle2.imc.tut.ac.jp/ for uploading students' programs for each assignment. Also, please refer to lecturer's web pages (http://www.kde.cs.tut.ac.jp/~aono/myLecture.html) (although they are basically in Japanese), which have many Java program examples.

参考書 1	**書名**	Java In A Nutshell, Sixth edition (Java8 compatible)			**ISBN**	978-1449370824
	著者名	David Flanagan	**出版社**	O'Reilly	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	The Java Programming Language, Fourth Edition			**ISBN**	978-0321349804
	著者名	Ken Arnold, James Gosling, David Holmes	**出版社**	Addison Wesley	**出版年**	2005
参考書 3	**書名**	Effective Java (Second Edition)			**ISBN**	978-0-321-356680
	著者名	Joshua Bloch	**出版社**	Addison Wesley	**出版年**	2008

参考書に関する補足事項

達成目標

オブジェクト指向型のプログラミングとして Java 言語を用いて，オブジェクト，クラス，クラスの継承等の基本的な概念を理解でき，クラスとそのインスタンスを用いたプログラムが書けるようになる。

By using Java language as a programming object-oriented language, each student is expected to understand the basic concepts of class design, class inheritance, and polymorphism. Each student is also expected to write a beautiful piece of programs with high readability, maintenability, and extensibility.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎回出す演習課題＋小課題（通常一週間以内に提出：50 点）と定期テスト（50 点）の合計で判断する。小課題の提出（出席）がない場合は、演習課題の点は加算されない。

評価基準：＊原則として＊ すべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。

A student taking this class must, in principle,
・attend all the classes
・submit all the assignments

Evaluations are done by adding 50% from the final exam and 50% from each assignment.
Assignment includes a program assignment plus an "on-the-spot" small exercise assignment which has to be submitted every time by the end of the class.

S: 90% or more, A: 80% or more, B: 70% or more, C: 60% or more

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

青野雅樹：http://www.kde.cs.tut.ac.jp/~aono/myLecture.html

http://www.kde.cs.tut.ac.jp/~aono/myLecture.html

オフィスアワー

随時、ただし事前に aono@tut.jp まで電子メールで予約すること

Any time, but it is recommended that an appointment has to be made in advance by e-mail (to aono@tut.jp)

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills

Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

オブジェクト指向型プログラミング，クラス，クラス継承，データハイディング，ポリモルフィズム

object-oriented programing, class, class inheritance, data hiding, polymorophism (overloading and overriding)

(B1361014a)ソフトウェア演習Ⅳ[Computer Programming 4]

科目名[英文名]	ソフトウェア演習Ⅳ[Computer Programming 4]				
時間割番号	B1361014a	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期2	**曜日時限**	火 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	井佐原　均, 上野　未貴 ISAHARA Hitoshi, UENO Miki				
ナンバリング	CMP_BAC32212				

授業の目標

オブジェクト指向を身に着け，仕様書や UML などのソフトウェアの上流設計を学び，大規模な開発にも耐えるソースコードを書けること

To understand the object oriented programming and write readable source codes for the development of large-scaled software.

授業の内容

1 オブジェクト指向，バージョン管理システム 1
2 ソフトウェア設計，バージョン管理システム 2
3 中間課題, UML, コードレビュー
4 チーム開発 1
5 チーム開発 2
6 チーム開発 3
7 チーム発表
レポート
1 Object oriented programming, Version control system 1
2 Software design, Version control system 2
3 Midterm report, UML, Code review
4 Team programming 1
5 Team programming 2
6 Team programming 3
7 Team presentation
Report

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1 自ら作りたいソフトウェアを作ることができるようになること
2 既存コードのリファクタリングや複数人でのチーム開発もできること
3 各人の得意能力をソフトウェア設計全体に反映できること
1 Can create software you imagine.
2 Can modify existing source code for team programming.
3 Can apply personal ability for designing software.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的にすべての講義に出席したものにつき，
レポート，ディスカッション，授業内の小レポートにより評価する.
A : 80 % 以上
B : 65-79 %
C : 55-64 %
Students who attend all classes will be evaluated by reports, discussions, and small examinations in class.
A: 80 % or higher
B: 65-79%
C: 55-64%

定期試験

レポートで実施

By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

金曜 午後 1 時-2 時

Friday 1-2 p.m.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills

Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

オブジェクト指向プログラミング，UML，ソフトウェア設計，チーム開発，バージョン管理システム

Object oriented programming, UML, Software design, Team programming, Version control system

(B1361014b)ソフトウェア演習Ⅳ[Computer Programming 4]

科目名[英文名]	ソフトウェア演習Ⅳ[Computer Programming 4]				
時間割番号	B1361014b	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期2	**曜日時限**	火 4～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	梅村　恭司 UMEMURA Kyoji				
ナンバリング	CMP_BAC32212				

授業の目標

オブジェクト指向とインターフェース設計を理解し，プログラムを協力してつくるための素養を養うこと

(1) To understand object oriented programming and design of interface.
(2) To obtain grounding knowledge for collaborating software development.

授業の内容

1 演習全体の説明と GitHub
2 インターフェースとテストケース
3 ペアプログラミング
4 ペアプログラミング
5 リファクタリング
6 実装とテストケースによるパフォーマンス試験
7 モジュールの性能評価演習
レポート
1 GitHub
2 Module interface design and Test case design
3 Pair Programming
4 Pair Programming
5 Code Improvement
6 Mutal Test
7 Performance measurement
Report

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1 分業してソフトウェアを作るときの素養を養うこと

1 Understanding the basics of team programming.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポートとモジュールの性能評価によって成績をつける
A : 80 % 以上
B : 65-79 %
C : 55-64 %
Students will be evaluated by reports, and the evaluation result of the developed module.
A: 80 % or higher
B: 65-79%
C: 55-64%

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
10:00～13:00　メールによる事前アポイントメントが必要である。
10:00～13:00　Appointment by mail is required.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
オブジェクト指向プログラミング，ソフトウェア工学
Object oriented programming, Software Engineering

(B1361015a)離散数学論[Discrete Mathematics]

科目名[英文名]	離散数学論[Discrete Mathematics]				
時間割番号	B1361015a	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	石田　好輝 ISHIDA Yoshiteru				
ナンバリング	CMP_BAC31112				

授業の目標

情報科学やコンピュータサイエンスの基礎となる離散数学を習得する。単なる知識だけでなく、演習や関連問題を解決していく事を通じて数学的帰納法など離散数学の思考法と問題解決法を身につける。

Acquire fundamentals of computer sciences by discrete mathematics. We will aim at not only knowledge but solving concrete and related problems based on methods such as the mathematical induction.

授業の内容

離散数学の基礎事項，なかでもグラフ理論，組合せ解析などの項目を中心に、情報科学と関連づけて取り扱う。主な講義内容は以下の通りである。

１　概要
２　集合論
３　関係論
４　関数と写像
５　グラフと一筆書き
６　平面グラフと彩色
７　有向グラフ
８　重み付グラフと最適化
９　グラフと探索
１０　２部グラフとマッチング（半順序集合と束）
１１　代数系（群）
１２　代数系（環・体・整域）
１３　組合せ解析
１４　群論と応用
１５　総括
１６　定期試験

Discrete Mathematics
(Computer science will be related to fundamentals of discrete mathematics.)

Table of Contents

１　Introduction
２　Set theory
３　Relation
４　Function and mapping
５　Graph
６　Plannar graph
７　Directed graph
８　Weighted graph
９　Search on graph
１０　Matching on bipartite graph
１１　Abstract algebra (Group)
１２　Abstract algebra (Ring, Field and Integral domain)
１３　Combinatorics
１４　Applications
１５　Summary
１６　Examination

予習・復習内容

教科書の資料を予習・復習および配布資料の復習をしておくこと

Preparation and review of the textbook with the study of materials (if any) at moodle

関連科目

アルゴリズム・データ構造，形式言語論
Algorithm and Data Structure, Formal language theory

教科書 1	書名	マグロウヒル大学演習 離散数学			ISBN	978-4274130052
	著者名	Seymour Lipschutz 著	出版社	オーム社	出版年	

教科書に関する補足事項
授業中に紹介する参考書をレベルや授業の進行に合わせて読むと理解しやすい。

参考書に関する補足事項

達成目標
A. 基礎的な事項
　情報科学の基礎となる離散数学の基本的背景・事項を理解できる。
B. 離散数学の基礎事項
　離散数学を理解するのに必要な集合論，関係及び関数等を理解できる。
C. グラフ理論
　グラフを用いて問題を表現し、さらに様々なグラフ解析手法が適用できる。
D. 組合せ解析
　数え上げの基本原理等について理解できる。

A. Fundamentals
　Basics for information siences
B. Basic components of discrete mathematics
　Sets, relations, and functions
C. Graph theory
　Expression and analysis by graphs
D. Combinatorics
　Principles for enumeration

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
定期試験の成績で評価する。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
部屋番号：F－504，内線：6895
Room: F504, Ext: 6895

ウェルカムページ

オフィスアワー
毎回の講義終了後および同日の午後
After lectures

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
数学的帰納法，グラフ，ネットワーク，代数系，組合せ
mathematical Induction, grahp, network, algebra, combinatorics

(B1361015b)離散数学論[Discrete Mathematics]

科目名[英文名]	離散数学論[Discrete Mathematics]				
時間割番号	B1361015b	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	石田　好輝 ISHIDA Yoshiteru				
ナンバリング	CMP_BAC31112				

授業の目標

情報科学やコンピュータサイエンスの基礎となる離散数学を習得する。単なる知識だけでなく、演習や関連問題を解決していく事を通じて数学的帰納法など離散数学の思考法と問題解決法を身につける。

Acquire fundamentals of computer sciences by discrete mathematics. We will aim at not only knowledge but solving concrete and related problems based on methods such as the mathematical induction.

授業の内容

離散数学の基礎事項，なかでもグラフ理論，組合せ解析などの項目を中心に、情報科学と関連づけて取り扱う。主な講義内容は以下の通りである。

１　概要
２　集合論
３　関係論
４　関数と写像
５　グラフと一筆書き
６　平面グラフと彩色
７　有向グラフ
８　重み付グラフと最適化
９　グラフと探索
１０　２部グラフとマッチング（半順序集合と束）
１１　代数系（群）
１２　代数系（環・体・整域）
１３　組合せ解析
１４　群論と応用
１５　総括
１６　定期試験

Discrete Mathematics
(Computer science will be related to fundamentals of discrete mathematics.)

Table of Contents

１　Introduction
２　Set theory
３　Relation
４　Function and mapping
５　Graph
６　Plannar graph
７　Directed graph
８　Weighted graph
９　Search on graph
１０　Matching on bipartite graph
１１　Abstract algebra (Group)
１２　Abstract algebra (Ring, Field and Integral domain)
１３　Combinatorics
１４　Applications
１５　Summary
１６　Examination

予習・復習内容

教科書の資料を予習・復習および配布資料の復習をしておくこと

Preparation and review of the textbook with the study of materials (if any) at moodle

関連科目

アルゴリズム・データ構造，形式言語論
Algorithm and Data Structure, Formal language theory

教科書 1	書名	マグロウヒル大学演習 離散数学			ISBN	978-4274130052
	著者名	Seymour Lipschutz 著	出版社	オーム社	出版年	

教科書に関する補足事項
授業中に紹介する参考書をレベルや授業の進行に合わせて読むと理解しやすい。

参考書に関する補足事項

達成目標
A. 基礎的な事項
　情報科学の基礎となる離散数学の基本的背景・事項を理解できる。
B. 離散数学の基礎事項
　離散数学を理解するのに必要な集合論，関係及び関数等を理解できる。
C. グラフ理論
　グラフを用いて問題を表現し、さらに様々なグラフ解析手法が適用できる。
D. 組合せ解析
　数え上げの基本原理等について理解できる。

A. Fundamentals
　Basics for information siences
B. Basic components of discrete mathematics
　Sets, relations, and functions
C. Graph theory
　Expression and analysis by graphs
D. Combinatorics
　Principles for enumeration

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
定期試験の成績で評価する。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
部屋番号：F－504，内線：6895
Room: F504, Ext: 6895

ウェルカムページ

オフィスアワー
毎回の講義終了後および同日の午後
After lectures

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
数学的帰納法，グラフ，ネットワーク，代数系，組合せ
mathematical Induction, grahp, network, algebra, combinatorics

(B13621010)論理回路応用[Logic Circuit Design]

科目名[英文名]	論理回路応用[Logic Circuit Design]				
時間割番号	B13621010	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三浦　純 MIURA Jun				
ナンバリング	CMP_BAC31222				

授業の目標

論理回路はコンピュータのハードウェアの基礎であるが，特に順序論理回路は計算機能の根幹となるものである。本講義では組み合わせ論理回路の知識をもとにして，この順序論理回路について学ぶ.

To introduce the fundamentals of logic circuits, especially sequential circuits. Topics covered are: representation for sequential circuits, flip-flops, state minimization, sequential circuit examples, and sequential circuit design.

授業の内容

1～2週目 組み合わせ論理回路の復習
3週目 順序回路の表現
4～6週目 フリップフロップ
7週目　中間試験
8～9週目 順序回路の設計
10～11週目 状態の最小化
12～13週目 レジスタと計数回路
14～15週目 順序回路の応用
16週目 定期試験

Weeks 1-2: Introduction and summary of combinational logic circuits.
Week 3: Representation for sequential circuits.
Weeks 4-6: Flip-flops.
Week 7: Mid-term exam.
Weeks 8-9: Design of sequential circuits.
Weeks 10-11: State minimization.
Weeks 12-13: Registers and counters.
Weeks 14-15: Application of sequential logic.
Week 16: Final exam.

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について資料を見て予習してくること.

Regularly reviewing and preparing for the lecture using provided materials are desirable.

関連科目

論理回路基礎
Introduction to logic circuits

教科書に関する補足事項

講義資料を配布する.
Handouts will be provided.

参考書 1	**書名**	コンピュータサイエンスで学ぶ論理回路とその設計			**ISBN**	978-4764902756
	著者名	柴山潔 著,	**出版社**	近代科学社	**出版年**	1999
参考書 2	**書名**	Logic circuit design (in Japanese)			**ISBN**	978-4764902756
	著者名	Kiyoshi Shibayama	**出版社**	Kindai Kagaku Sha	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 順序回路の状態の概念が理解できる
(2) 組合わせ回路と順序回路の違いが理解できる
(3) フリップフロップ等の基本的な回路が理解できる

(4) 入力・状態変数・出力の関係から，論理回路を構成できる

To understand the concept of state machines.
To understand the similarity and the difference between combinational circuits and sequential circuits.
To understand basic sequential circuits including flip-flops.
To learn how to design sequential circuits.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価には，達成目標の全体の達成を総合的に評価する試験(70 点満点)とレポート(30 点満点)の合計点を用いる.
A: 80 点以上 B: 70 点以上 C: 60 点以上
Evaluation is based on exams (70%) and assignments (30%).
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

部屋：C-604
Email: jun.miura@tut.jp
Room: C-604
Email: jun.miura@tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

事前に email で予約をすること
Get an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード

論理回路，順序回路
Logic circuits, sequential logic circuits.

(B13621020)計算機アーキテクチャ[Computer Architecture]

科目名[英文名]	計算機アーキテクチャ[Computer Architecture]				
時間割番号	B13621020	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	大村　廉, 佐藤　幸紀 OMURA Ren, SATO Yukinori				
ナンバリング	CMP_BAC32122				

授業の目標

高速処理のためのコンピュータのアーキテクチャと設計技法について学ぶ.

The goal is to obtain the knowledge on the computer architecture and design methods for high speed processing.

授業の内容

1 週目　　コンピュータアーキテクチャの導入
2 週目　　命令セットアーキテクチャ
3 週目　　ハードウェアによる命令処理の詳細
4 週目　　パイプラインによる高速化
5～6 週目　パイプラインハザード
7～8 週目　キャッシュメモリの基本原理
9 週目　　セットアソシアティブキャッシュ
10～11 週目 パイプラインとハザード
12～13 週目 分岐方向予測と分岐先予測
14～15 週目 投機的実行
16 週目　　定期試験

1) Introduction to computer architecture
2) Instruction set architecture
3) Details of hardware-based instruction processing
4) speedup based on pipelining
5-6) pipeline hazard
7-8) basic principles of cache memory
9) set associative cache
10-11) pipeline and hazard
12-13) predictions of branch direction and branch target
14-15) speculative execution
16) final test

予習・復習内容

・授業で使用するスライドを HP 上で公開しますので、それらを参照し、予習と復習を行ってください。
・授業中に板書した内容を撮影し HP 上で公開しますので、それらを参照し、復習を行ってください。

＊ Prepare and review the above-mentioned items on the course materials uploaded on the website.
＊ Review each lesson based on the photographed images of the records written on the whiteboard, which are uploaded on the website.

関連科目

計算機アーキテクチャ概論
Introduction to Computer Architecture

教科書に関する補足事項

講義資料を HP 上で公開。
The course materials are uploaded on the website.

参考書に関する補足事項

達成目標

以下の項目を説明できることが達成目標である。
A)高速化の原理(並列動作と局所性の利用)
B)命令セットアーキテクチャ(命令形式、アドレッシング方法)
C)キャッシュメモリの構成、および、動作

D)命令パイプラインとハザードへの対策方法
E)分岐予測に基づく投機的実行
The goal is to be able to explain the following items.
A) Principles of speedup (parallel processing and utilization of locality)
B) Instruction set architecture (instruction format and addressing methods)
C) Structure and operation of cache memory
D) Instruction pipelining and countermeasures against hazards
E) Speculative execution based on branch prediction

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に以下すべてを満たしたものにつき，成績の評価を行う。
・全ての講義に出席する
・達成目標の到達度を評価する全ての小テストと定期試験を受ける
・講義において常に静粛にする

評価には，小テスト(30 点満点)と期末テスト(70 点満点)の合計(100 点満点)を用いる。
A: 80 点以上　B: 65 点以上　C: 55 点以上

It is mandatory to attend all classes and take all small tests and final test, which evaluate the achievement of the goals. All students are required to always keep quiet in the class.

Total points are the sum of the points for the small tests and the final test, which are 30% and 70%, respectively, out of 100 points. The evaluation is performed based on the followings:
A: total points are 80 or higher
B: total points are 65 or higher
C: total points are 55 or higher

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.ppl.cs.tut.ac.jp/lecture/

http://www.ppl.cs.tut.ac.jp/lecture/

オフィスアワー

事前に e-mail で予約をすること。
Students are to make an appointment via e-mail if they want to see the lecturer.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード

コンピュータアーキテクチャ、パイプライン、キャッシュ、分岐予測
Computer architecture, Pipelining, Cache, Branch prediction

(B13621030)オペレーティングシステム[Operating Systems]

科目名[英文名]	オペレーティングシステム[Operating Systems]				
時間割番号	B13621030	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	大村　廉 OMURA Ren				
ナンバリング	CMP_BAC32122				

授業の目標

全てのアプリケーションソフトウェアの基盤となるオペレーティングシステムについて，その基本概念や実現方法を理解する．特に，プロセス・仮想記憶・ファイルシステムの機構を理解し，CPU・メモリ・ストレージといった計算資源の管理の仕組みを理解する．また，オペレーティングシステムの動作を理解したうえで，適切なシステムコールを用い，プログラムを作成する方法を理解する．

The aim of this class is to understand the concepts and implementation of operating systems that work as a base software of all applications, especially about architectures of processes, virtual memory, and file systems, and mechanisms of resource management, such as CPU, memory, and storage. Additionally, this class also aims to understand some practical methods to implement a program using appropriate system calls with the knowledge of corresponding operating systems behavior.

授業の内容

1 週目　　オペレーティングシステムとは何か？
2 週目　　オペレーティングシステムの構成
3～4 週目　プロセス
5 週目　　CPUスケジューリング
6～7 週目　相互排除
8 週目　　中間試験
9～12 週目　メモリ管理と仮想記憶
13～14 週目 ファイルシステム
15 週目　　入出力と割込みと制御
16 週目　　期末試験

- Week 1: Purpose and grouping of distributed systems
- Weeks 2 and 3: Processes
- Weeks 4 and 5: Communication
- Weeks 6 and 7: Naming
- Week 8: Midterm examination
- Weeks 9 through 11: Synchronization
- Weeks 12 through 15: Consistency
- Week 16: Final examination

予習・復習内容

事前にスライドを配布するので，予習として，スライドを確認すると共に参考図書としてあげる書籍などで内容を確認しておくことを強く推奨する．また，復習として，スライドの再度確認をおこなうと共に，スライド中のキーワード元にインターネット等で検索を行い，事例を確認することを推奨する．

The slides used in this class will be made available on the Web site beforehand, and it is strongly recommended that the students prepare for the lecture by reading them over and confirming their contents using the reference book, Modern Operating Systems (Global edition). It is also recommended that the students conduct an Internet search on the keywords on the slides to find practical examples.

関連科目

計算機の仕組みを理解している必要がある（関連科目：「計算機アーキテクチャ」）．
C 言語によりプログラムが作成できる必要がある（関連科目：「ソフトウェア演習」）．
アセンブリ言語あるいは C 言語の動作（メモリ配置やスタック操作など）を理解していることが望ましい．
The knowledge of computer architecture is required (Computer Architecture);
The skill of programming with C language is required(Computer Programming);
The knowledge of assembly language and detailed operations of C language, such as memory and stack operations, are recommended.

教科書に関する補足事項

教科書：講義の内容を記したプリントやその他資料を教育支援システム(Moodle)等で配布する．
As a primary reference, the slides used in class will be made available on the Web site (Moodle) and can be downloaded. Additional materials will also be placed on the site.

参考書 1	**書名**	Modern Operating Systems: Global Edition	**ISBN**	978-

						1292061429
	著者名	Andrew S. Tanenbaum , and Herbert Bos	**出版社**	Pearson Education Limited	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	OS の基礎と応用—設計から実装、DOS から分散 OS Amoeba まで			**ISBN**	978-4894712065
	著者名	A.S. タネンバウム(著), Andrew S. Tanenbaum (原著), 引地 信之 (翻訳), 引地 美恵子 (翻訳)	**出版社**	ピアソンエデュケーション	**出版年**	2000

参考書に関する補足事項

達成目標

以下の項目を理解することを目的とする.
(1)オペレーティングシステムの必要性とその機能
(2)CPU・メモリといった資源管理技術
(3)仮想記憶の機構
(4)ファイルシステムの概念とその基本的な機構
(5)オペレーティングシステムの動作を理解したうえで, 適切なシステムコールを用いてプログラムを作成できる
The aim of this class is to understand the following:
1) the necessity of operating systems and the functions;
2) the management techniques for computational resources, such as CPU and memory;
3) the mechanisms of virtual memory;
4) the concept and basic mechanisms of file systems; and
5) the way to implement a program using appropriate systems calls with the knowledge of operating systems' behavior.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標の全体の達成を総合的に評価する中間試験(50%)と期末試験(50%)の合計点で評価する.
ただし, 授業中の小テストや課題について加味して, 総合的に評価を行う.
A:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上
[Evaluation basis] Students are evaluated by midterm examination (50%) and final examination (50%). In addition, scores of quizzes in classes and assignments are considered for total evaluation.
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

出題範囲や設問の方法については, 授業内で説明を行なう.
The scope and questions of examinations are explained in class.

その他

居室:C-509
内線:6750
E-mail: ren@tut.jp
Room: C-509
Internal Phone #: 6750
E-mail: ren@tut.jp

ウェルカムページ

http://www.usl.cs.tut.ac.jp
http://www.usl.cs.tut.ac.jp

オフィスアワー

基本的に授業実施日の午後 1 時～5 時の間をオフィスアワーとするが, これ以外の時間でも在室中は随時質問等を受け付けます. 授業実施日でも不在の場合もあるので, メール等で事前に連絡してください.
My office hours are basically from 1:00 to 5:00 PM Monday through Friday. I will also be available to answer your questions outside of my office hours. However, because I may be out of my office on occasion because of a meeting or business trip, please contact me in advance.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード
オペレーティング・システム，システムソフトウェア，システムプログラム
Operating System, System Software, System Programming

(B13621040)コンパイラ[Compiler]

科目名[英文名]	コンパイラ[Compiler]				
時間割番号	B13621040	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	秋葉　友良 AKIBA Tomoyoshi				
ナンバリング	CMP_BAC32222				

授業の目標

プログラミング言語処理系を構成する各種要素技術を学び、コンパイラを設計・実装する技術を習得する。
To acquire knowledge and skills for designing and implementing a compiler, by means of understanding underlying techniques used behind a language processing system for programming languages.

授業の内容

第1回 言語処理系概要
第2回 形式言語と言語仕様記述
第3回 字句解析(有限状態オートマトンと字句解析)
第4回 字句解析(字句解析の実際,lex)
第5回 下向き構文解析(LL 法)
第6回 下向き構文解析(LL 法の実際)
第7回 上向き構文解析(LR オートマトン)
第8回 上向き構文解析(LR 表,SLR 法)
第9回 上向き構文解析(CLR 法,LR 法の実際,yacc)
第10回 中間表現と意味解析
第11回 目的コード生成
第12回 最適化(1)
第13回 最適化(2)
第14回 実行時環境
第15回 動的コンパイラ技術
第16回 期末試験

Week 1: Overview of a compiler and a programming language processing system
Week 2: Formal language theory, designing a programming language
Week 3: Lexical analysis (1)
Week 4: Lexical analysis (2)
Week 5: Syntactic parsing (1), a top-down parser and the LL parsing method
Week 6: Syntactic parsing (2), implementation of the LL parsing method
Week 7: Syntactic parsing (3), a bottom-up and shift-reduce parser
Week 8: Syntactic parsing (4), the LR parsing method
Week 9: Syntactic parsing (5), SLR, CLR, LALR and their implementation
Week 10: imtermediate representation and semantic analysis
Week 11: Code generation
Week 12: Optimization (1)
Week 13: Optimization (2)
Week 14: Run-time environment
Week 15: Dynamic compilation
Week 16: Final exam

予習・復習内容

レポートを3回実施。講義に使用したスライドは公開します。
Reporting assignments are to be given three times.
All the in-class presentation slides are to be provided through the official web site.

関連科目

形式言語論, アルゴリズムとデータ構造, ソフトウェア演習
Formal Language Theory, Algorithms and Data Structures, Computer Programming

教科書 1	**書名**	コンパイラとバーチャルマシン			**ISBN**	978-4274133084
	著者名	今城哲二他	**出版社**	オーム社	**出版年**	2004

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	コンパイラ　原理・技法・ツール Ⅰ			**ISBN**	978-4781905853
	著者名	A.V.エイホ, 他	**出版社**	サイエンス社	**出版年**	1990
参考書 2	**書名**	コンパイラ　原理・技法・ツール Ⅱ			**ISBN**	978-4781905860
	著者名	A.V.エイホ, 他	**出版社**	サイエンス社	**出版年**	1990

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1) 言語処理系に関する用語を正しく理解し、使うことができる。
(2) コンパイラの構成と各フェーズの役割を説明できる。
(3) 形式言語の概念と言語処理系との関係を説明できる。

B. 字句解析、構文解析
(1) プログラミング言語の形式的記述方法を説明でき、文法を記述できる。
(2) 正規表現から字句解析プログラムを構成する方法を説明でき、字句解析を実現する簡単なプログラムを作成できる。
(3) 構文解析の各種手法を説明でき、構文解析を実現する簡単なプログラムを作成できる。

C. 中間表現、意味解析、目的コード生成
(1) 中間表現と名前表、意味解析の役割を説明できる。
(2) 中間表現から目的コードを生成する処理の流れを説明でき、コンパイラの処理をまねて具体的なプログラム片から対応する目的コードを作成できる。

D. 最適化、実行時環境、動的コンパイラ技術
(1) 最適化の概念と各種手法について説明できる。
(2) 実行時環境との連携、動的コンパイラ技術など、発展的な内容を説明できる。

A. Basics
(1) Students are required to understand the terminologies related to compilers and to use them appropriately.
(2) Students are required to explain all the subsystems of a compiler and their roles.
(3) Students are required to explain the relation between the elements used in designing a programming language and the concepts introduced in formal language theory .

B. Lexical analysis, Syntactic parsing
(1) Students are required to explain the formal definition methods of a programming language and to design a grammar for it.
(2) Students are required to explain the method of deriving a lexical analysis subsystem from a definition of tokens written by regular language, and to implement a simple program of lexical analysis.
(3) Students are required to explain methods of syntactic parsing and to implement a simple program of parsing a program.

C. Intermediate representation, semantic analysis, code generation
(1) Students are required to explain the role of intermediate representation, symbol tables, and semantic analysis.
(2) Students are required to explain the process of generating object codes from intermediate representation, and to imitate it by means of converting a small program to an actual sequence of object codes.

D. Optimization, run-time environment, dynamic compilation
(1) Students are required to explain the concepts of optimaization and its actual methods.
(2) Students are required to explain the advanced topics of compilation: the incorporation of run-time environment with compilers and the techniques for dynamic compilation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標の全体の達成を総合的に評価する試験(80 点満点)とレポート(20 点満点)の合計点で評価する。
A: 80 点以上　B: 65 点以上　C: 55 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 90 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

部屋: C-505
電子メール：akiba@cs.tut.ac.jp
Room number of instructor: C-505
e-mail：akiba@cs.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.nlp.cs.tut.ac.jp/~akiba/compiler/
http://www.nlp.cs.tut.ac.jp/~akiba/compiler/

オフィスアワー

火曜の6時限目。
メールによる問い合わせは随時可能です。
6th period of Tuesday
Contact to the instructor by e-mail at first.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード

コンパイラ, 言語処理系
compiler, language processing system

(B13621050)組込システム[Embedded System]

科目名[英文名]	組込システム[Embedded System]				
時間割番号	B13621050	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	長瀬　雅之 NAGASE Masayuki				
ナンバリング	CMP_BAC32120				

授業の目標

組込みシステムの基本技術を理解する。また、人工衛星開発を事例に組込みシステムの開発の実際を体感することで、基本技術の理解を深める。

To learn basics of embedded systems and their development.

To have a deeper understanding of embedded systems through examples of embedded systems development projects for artificial satellite systems.

授業の内容

第1週：概論、組込みシステムとは？
第2週：CPU を理解する（ピンアサインとシステムバス）
第3週：CPU を理解する（プログラム実行サイクルと CPU クロック）
第4週：CPU を理解する（メモリアクセス、I/O アクセス）
第5週：CPU を理解する（メモリ空間、メモリ保護）
第6週：CPU を理解する（割込み）
第7週：組込みシステムのハードウェア構成
第8週：組込みシステムのソフトウェア開発
第9週：組込みシステム開発の特徴
第 10 週：開発事例：人工衛星システム開発 1（設計検討：CPU 負荷計算）
第 11 週：開発事例：人工衛星システム開発 2（設計検討：耐放射線対策、異常時対策）
第 12 週：開発事例：人工衛星システム開発 3（開発：ブートシーケンス）
第 13 週：開発事例：人工衛星システム開発 4（試験：デバッグ）
第 14 週：開発事例：人工衛星システム開発 5（運用：定常時の確認、異常検知）
第 15 週：開発事例：人工衛星システム開発 6（運用：遠隔保守）
第 16 週：定期試験

Week1: Introduction to embedded systems.
Week2: CPU (pin assignment and system bus).
Week3: CPU (program execution cycle and CPU clock).
Week4: CPU (memory access, I/O access)
Week5: CPU (memory space, memory management)
Week6: CPU (interrupt)
Week7: Hardware configuration of embedded systems
Week8: Software configuration of embedded systems
Week9: Characteristics of embedded systems development
Week10: Development of artificial satellite systems 1 (Design: CPU load calculation)
Week11: Development o artificial satellite systems 2 (Design: Anti-radiation, Fail-safe)
Week12: Development of artificial satellite systems 3 (Development: Boot sequences)
Week13: Development of artificial satellite systems 4 (Test: Debugging)
Week14: Development of artificial satellite systems 5 (Operation: Monitoring)
Week15: Development of artificial satellite systems 6 (Operation: Remote maintenance)
Week16: Final examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次週の内容について配布資料等を用いて予習してくること

関連科目

計算機アーキテクチャ
Computer Architecture

教科書に関する補足事項

講義資料を配布する
Handouts will be provided.

参考書に関する補足事項

達成目標

A)組込みシステムの概要を説明できる
B)組込みシステムの特徴・特殊性を説明できる
C)組込みソフトウェアの開発事例について説明できる

Understand the basics of embedded systems.
Understand the characteristics of embedded systems.
Understand the flow of embedded systems development.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標の全体の達成を総合的に評価する試験(70 点満点)とレポート(30 点満点)の合計点で評価する
A: 80 点以上　B: 65 点以上　C: 55 点以上

Evaluation is based on exams (70%) and assignments (30%).
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

講師連絡先:nagase@sec.co.jp

ウェルカムページ

講義中に周知する

オフィスアワー

事前に e-mail で予約すること

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード

組込みシステム
Embedded systems

(B13621060)分散システム[Distributed Systems]

科目名[英文名]	分散システム[Distributed Systems]				
時間割番号	B13621060	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	大村　廉 OMURA Ren				
ナンバリング	CMP_BAC32122				

授業の目標

コンピュータネットワーク，分散処理における概念やアーキテクチャ，並びに諸問題について，主にその基礎的な理論的側面について講義を行う.

The aim of this class is to understand the concepts, techniques, and problems in computer networking, system architectures, and processing algorithms used in distributed computing. This class will mainly cover a basic theoretical discussion of the above items.

授業の内容

・1 週目　　分散システムの目標と種類
・2～3 週目　プロセス
・4～5 週目　通信
・6～7 週目　ネーミング
・8 週目　　中間試験
・9～11 週目　同期
・12～15 週目　一貫性
・16 週目　　定期試験

- Week 1: Purpose and grouping of distributed systems
- Weeks 2 and 3: Processes
- Weeks 4 and 5: Communication
- Weeks 6 and 7: Naming
- Week 8: Midterm examination
- Weeks 9 through 11: Synchronization
- Weeks 12 through 15: Consistency
- Week 16: Final examination

予習・復習内容

事前にスライドを配布するので，予習として，スライドを確認すると共に参考図書としてあげる書籍などで内容を確認しておくことを強く推奨する．また，復習として，スライドの再度確認をおこなうと共に，スライド中のキーワードをインターネット等で検索し，事例などを確認することを推奨する.

The slides used in this class will be made available on the Web site beforehand, and it is strongly recommended that the students prepare for the lecture by reading them over and confirming their contents using the reference book, Distributed Systems: Principles and Paradigms (2nd Edition). It is also recommended that the students conduct an Internet search on the keywords on the slides to find practical examples.

関連科目

オペレーティングシステム，情報ネットワーク，ネットワーク工学特論
Operating Systems; Information Network; Networking, Advanced

教科書に関する補足事項

教科書：講義の内容を記したプリントやその他資料を教育支援システム(Moodle)等で配布する.

As a primary reference, the slides used in class will be made available on the Web site (Moodle) and can be downloaded. Additional materials will also be placed on the site.

参考書 1	**書名**	Distributed Systems: Principles and Paradigms (2nd Edition)			**ISBN**	978-0132392273
	著者名	Andrew S. Tanenbaum, and Maarten Van Steen	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	2006
参考書 2	**書名**	分散システム～原理とパラダイム 第 2 版			**ISBN**	978-4894714984

	著者名	アンドリュー・S・タネンバウム（著），マールティン・ファン・スティーン（著），Andrew S. Tanenbaum（著），Maarten van Steen（著），水野 忠則（翻訳），佐藤 文明（翻訳），鈴木 健二（翻訳），竹中 友哉（翻訳），西山 智（翻訳），峰野 博史（翻訳），宮西 洋太郎（翻訳）	出版社	ピアソン	出版年	2009

参考書に関する補足事項

達成目標

以下の項目を理解することを目的とする．
（1）分散システムの目標とアーキテクチャの種類
（2）リソースへの名前付けとアクセス方法
（3）システム間の同期とロックの方法
（4）一貫性の概念と分散システムでの様々な一貫性

The aim of this class is to understand the following:
1) the purpose of distributed systems and the grouping of system architectures;
2) the naming methods and access to computational resources;
3) synchronization between systems and a lock method; and
4) the concept and variations of consistency in distributed systems.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標の全体の達成を総合的に評価する中間試験(50%)と期末試験(50%)の合計点で評価する．
ただし，授業中の小テストや課題について加味して，総合的に評価を行う．
A:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
[Evaluation basis] Students are evaluated by midterm examination (50%) and final examination (50%). In addition, scores of quizzes in classes and assignments are considered for total evaluation.
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

出題範囲や設問の方法については，授業内で説明を行なう．
The scope and questions of examinations are explained in class.

その他

居室：C-509
内線：6750
E-mail：ren@tut.jp

Room: C-509
Internal Phone #: 6750
E-mail: ren@tut.jp

ウェルカムページ

http://www.usl.cs.tut.ac.jp
http://www.usl.cs.tut.ac.jp

オフィスアワー

基本的に授業実施日の午後 1 時～5 時の間をオフィスアワーとするが，これ以外の時間でも在室中は随時質問等を受け付けます．授業実施日でも不在の場合もあるので，メール等で事前に連絡してください．
My office hours are basically from 1:00 to 5:00 PM Monday through Friday. I will also be available to answer your questions

outside of my office hours. However, because I may be out of my office on occasion because of a meeting or business trip, please contact me in advance.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード
分散システム，コンピュータネットワーク，システムソフトウェア
Distributed System, Computer Network, System Software

(B13622010)ヒューマン情報処理[Human Information Processing]

科目名[英文名]	ヒューマン情報処理[Human Information Processing]				
時間割番号	B13622010	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	北崎　充晃 KITAZAKI Michiteru				
ナンバリング	CMP_BAC33022				

授業の目標

ヒトが外界の情報をどのように受容し，処理し，認知しているか，またそれを元にヒトはどのように行動し，判断しているかについて，知覚心理学，認知神経科学，社会心理学等の専門的知見を学ぶ。そして，これらの基礎科学的知見に基づいて開発されているヒューマンインタフェースを概観し，将来のインタフェースを研究・開発できる資質を身につける。

To understand, based on findings from scientific studies on perceptual psychology, cognitive neurosciences, social psychology, and related research fields, how the human brain receives sensory inputs, perceives the world, performs action, and is involved in decision making. To review current human interface technologies based on these scientific studies and apply this knowledge to developing human interfaces.

授業の内容

第 1 講　概念：ヒトの情報処理とは何か
第 2 講　知覚 1：明るさ，色，奥行き
第 3 講　知覚 2：運動，顔認知，注意
第 4 講　知覚 3：聴覚，触覚，嗅覚，味覚
第 5 講　認知 1：学習，記憶
第 6 講　認知 2：言語，問題解決，推論，人工知能
第 7 講　認知 3：情動，性格，知能
第 8 講　社会：対人魅力，ステレオタイプ，集団
第 9 講　研究法 1：実験計画，心理物理学的測定法，反応時間
第 10 講　研究法 2：記述統計，グラフ，統計的検定
第 11 講　脳科学 1：脳機能計測
第 12 講　脳科学 2：脳機械インタフェース
第 13 講　インタフェース 1：人間工学と認知特性
第 14 講　インタフェース 2：バーチャルリアリティの基礎
第 15 講　インタフェース 3：テレイグジスタンス，複合・拡張現実感，コンテンツ
第 16 講　期末試験

Lecture Schedule
1. Introduction
2. Perception 1: Lightness, Color, and Depth
3. Perception 2: Motion, Face, and Attention
4. Perception 3: Auditory perception, Haptics, Smell, Taste
5. Cognition 1: Learning and Memory
6. Cognition 2: Language, Problem solving, and AI
7. Cognition 3: Affection and Intelligence
8. Social psychology: Attractiveness, Stereotypes, and Groups
9. Method 1: Experimental design, Psychophysics, and Reaction time
10. Method 2: Statistics, Graphs, and Statistical tests
11. Brain 1: Functional measurement of the brain
12. Brain 2: Brain-machine interface
13. Interface 1: Ergonomics and cognition
14. Interface 2: Basics of virtual reality
15. Interface 3: Tele-existence, Augmented reality, and Contents
Final Examination

予習・復習内容

講義資料を事前に配布するので熟読し予習すること。講義終了後には参考書を熟読し，また関連情報をインターネット検索や論文検索などによって復習し理解を深めること。

Read the documents provided before each lecture. Review the lectures in consultation with the references provided and other resources such as the Internet.

関連科目

「心理学」

「臨床心理学 1, 2」

Psychology, Clinical Psychology I, and 2

教科書に関する補足事項

講義資料は電子的に配布する。

Documents (slides) will be provided via web before commencement of the lectures.

参考書 1	**書名**	Cognitive Neuroscience; Fourth International Student Edition			**ISBN**	978-0393922288
	著者名	Michael S. Gazzaniga	**出版社**	W. W. Norton & Company	**出版年**	2008
参考書 2	**書名**	新版　認知心理学　知のアーキテクチャを探る			**ISBN**	978-4641124530
	著者名	道又 他	**出版社**	有斐閣	**出版年**	2011
参考書 3	**書名**	知覚心理学　心の入り口を科学する			**ISBN**	978-4623057696
	著者名	北岡 編著	**出版社**	ミネルヴァ書房	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

ヒューマン情報処理の概念を把握する。
ヒューマン情報処理に関する基礎科学的知見（知覚心理学，認知神経科学，社会心理学）を身につける。
ヒューマン情報処理に関する研究方法を理解する。
ヒューマン情報処理を応用したインタフェース研究を理解し，基礎科学的知見を研究開発に繋げる資質を身につける。

The focus of the class will be to understand follows:
Concepts of human information processing, perception, cognitive neurosciences, social psychology, and other related research fields from scientific studies.
Methodologies to investigate human information processing, current human interface technologies based on human information processing.
Applications of this knowledge of basic sciences to developing human interfaces.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎講義時の小課題 30%および記述・論述式の期末試験 70%によって総合的に評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ小課題・期末試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ小課題・期末試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつ小課題・期末試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ小課題・期末試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上
Grades will be based on reports from each lecture (30%) and the final examination (70%)
S: 90 points or higher (out of 100)
A: 80 points or higher (out of 100)
B: 70 points or higher (out of 100)
C: 60 points or higher (out of 100)

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

F405 室，内線 6889
mich@tut.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

毎講義終了後 2 時間
Two hours after regular lectures

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード
知覚，認知，心理，インタフェース，バーチャルリアリティ
perception, cognition, psychology, interface, virtual reality

(B13622020)数理モデル論[Computational and Mathematical Modeling]

科目名[英文名]	数理モデル論[Computational and Mathematical Modeling]				
時間割番号	B13622020	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	村越　一支 MURAKOSHI Kazushi				
ナンバリング	CMP_BAC31222				

授業の目標

複雑系にたいする基本的考え方とさまざまなモデルを紹介し、これらの理論について例に基づいて概観する。全体を通じてシステム論的見方、定式化、解析の能力を養い、受講者各自の分野でモデル化、解析、シミュレーションまで行えるようになることを目指す。

Introduce basic way of thinking and various models for complex system.

The aim of this class is to build a viewpoint of the system theory, formularization, ability of analysis, modeling, and simuation.

授業の内容

1　Introduction　概要
2、3　Linear Systems　線形システム
4，5　Nonlinear Systems　非線形システム
6，7　Network Models　ネットワークモデル
8，9　Cellular Automaton　細胞オートマトン
10，11　Probabilistic Systems　確率システム
12　Markov Process　マルコフ過程
13，14　Game Theory　ゲーム理論
15，16　Agents　エージェント

1　Introduction
2、3　Linear Systems
4，5　Nonlinear Systems
6，7　Network Models
8，9　Cellular Automaton
10，11　Probabilistic Systems
12　Markov Process
13，14　Game Theory
15，16　Agents

予習・復習内容

講義中に出す演習課題を Moodle 上の資料や配布資料を参考に、予習・復習する。

関連科目

学部科目：情報数学 I，数値解析論
大学院科目：システム・知能科学特論（博士前期）、複雑系・知能科学特論（博士後期）

ダイナミカルシステム理論、確率論、進化システム、エージェントなど知っていれば理解しやすい。

教科書に関する補足事項

プリントを講義中適宜配布して用いる。
講義中に参考書や参考文献を紹介する。

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎的な事項
(1) 力学系、複雑系の数学的な記述を理解する。
(2) 記述した数学モデルで、基本的解析やシミュレーションができる。
B.力学系基礎
(1)線形システムの挙動の固有値による分類を理解する。
(2)非線形システムの基本的概念を学び、相図による解析を行えるようにする。
C.ネットワークモデル
(1)スケールフリーネットなどネットワークの様々なトポロジーを学ぶ。
(2)ネットワーク上の情報の伝播を学ぶ。

D.確率システム
(1)単純マルコフ過程を含め、確率システムの基本的知識を学ぶ。
(2)浸透モデルや閾値定理を例に、確率システムでの複雑系のモデル化を学ぶ。
E.ゲーム論的モデルおよびエージェント
(1)囚人のジレンマおよびしっぺ返し戦略を理解する。
(2)エージェントによる複雑系のモデル化を学ぶ。

A. fundamental matters
(1) understand mathematical description of dynamical systems and complex systems.
(2) can analyze and simulate mathematical description models.
B. fundamental linear systems
(1) understand classification by eigenvalue of behavior in linear systems
(2) learn basic concepts of linear systems, and can analyze linear system using phase diagram.
C. Network models
(1) learn various topologies of networks.
(2) learn propagation of information of networks.
D. Probabilistic Systems
(1) learn basic knowledgs of probabilistic systems including simple Markov process
(2) learn modeling complex systems on probabilistic systems.
E. Game theory and Agents
(1) understand Prisoner's dilemma and tit-for-tat strategy.
(2) learn modeling complex systems using agents.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法:
レポート2回(100%)
評価基準:
A:レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上
Evaluation mehtod:
two Reports (100%)
Evaluation basis:
A:obtained points of reports, 80 or higer
B:obtained points of reports, 65 or higer
C:obtained points of reports, 55 or higer

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
毎回の講義終了後および同日午後

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード

Systems Sciences, Network Science, Complex Systems, Probabilistic Systems, Game Theory, Agents
Systems Sciences, Network Science, Complex Systems, Probabilistic Systems, Game Theory, Agents

(B13622040)知能情報処理[Intelligent Information Processing]

科目名[英文名]	知能情報処理[Intelligent Information Processing]				
時間割番号	B13622040	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	村越　一支 MURAKOSHI Kazushi				
ナンバリング	CMP_BAC33122				

授業の目標

知能的な情報処理につながる記号論理・知識表現の基礎を学び、それを問題解決に応用する方法論を学ぶ。

The aim of this class is to understand the basis of symbolic logic and knowledge representation toward intelligent information processing, and to learn methods to apply those to problem solving.

授業の内容

A. 導入：記号論理の位置づけ、記号論理の基礎となる集合
B. 命題論理：命題・真理値、命題論理式、統語論・意味論、恒真性・矛盾性
C. 述語論理：述語付け、量化子、述語論理式、統語論・意味論
D. 知識表現
E. 問題解決
E1. 命題論理による推論
E2. 一階述語論理による推論
E3. 学習による知識獲得
F. まとめ

予定
A. 1週
B. 2週～4週
C. 5週～7週
D. 8週～9週
E. 10週
E1. 11～12週
E2. 13週
E3. 14週
F. 15週
定期試験 16週

A. Intoroduction: position of symbolic logic, set as basis of symbolic logic
B. Propositional Logic: proposition and truth-value, propositional logic sentence, syntax and semantics, tautologies and contradictions
C. Predicate Logic: predications, quatifier, predicate logic sentence, syntax and semantics
D. Knowledge Representation
E. Problem Solving
E1. Inference using Propositional Logic
E2. Inference using First-order Predicate Logic
E3. Knowledge Acquisition by learning
F. Summary

Schedule
A. 1st week
B. 2nd-4th week
C. 5th-7th week
D. 8th-9th week
E. 10th week
E1. 11th-12th week
E2. 13th week
E3. 14th week
F. 15th week
Examination 16th weeek

予習・復習内容

予習や復習のために参考図書にあげた本以外に、

この講義では、前半は論理数学、後半は知識工学の内容という構成になっているので、
それぞれをキーワードに本を探すと良い。

関連科目

先修すべき科目は特にない。

教科書に関する補足事項

参考:オールウド他,「日常言語の論理学」, 産業図書, １９７９ ISBN-13: 978-4782800119
大原育夫,「新人工知能の基礎知識」, 近代科学社, ２００８ ISBN-13: 978-4764903562
Stuart Russell 他,「エージェントアプローチ人工知能第2版」, 共立出版, ２００８ ISBN-13: 978-4320122154

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 導入:記号論理の位置づけと記号論理の基礎となる集合を理解する。
B. 命題論理:
・命題論理における文の形式化が正しく行なえる。
・統語論と意味論を理解する。
・真理表および間接推理による恒真性の証明が行なえる。
C. 述語論理:
・述語論理学における文の形式化が正しく行なえる。
・量化の意味を理解し、扱える。
・述語論理学における統語論と意味論を理解する。
D. 知識表現:知識表現の方法・扱い方を理解する。
E. 問題解決:B～Dを用いて問題解決する方法を習得している。
A: Intoroduction: understand position of symbolic logic and set as basis of symbolic B. Propositional Logic:
- can symbolize sentence in propositional logic
- understand syntax and semantics
- can prove tautologies by truth-table mehtod and indirect reasoning
C. Predicate Logic:
- can symbolize sentence in predicate logic
- understand quantifier and can handle quantifer
- understand syntax and sematntics
D. Knowledge Representation: undersntand methods and handlings
E. Problem Solving: learn methods to solve prolems using B.-D.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:
期末試験(100%)
学部3年
評価基準:
S:テストの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:テストの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:テストの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:テストの合計点(100 点満点)が 60 点以上
学部4年
評価基準:
A:テストの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:テストの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:テストの合計点(100 点満点)が 55 点以上
Evaluation mehtod:
Examination (100%)
Evaluation basis:
A:obtained points of exam, 80 or higer
B:obtained points of exam, 65 or higer
C:obtained points of exam, 55 or higer

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

教員居室: F-507 (6899)

e-mail: mura [at] tut.jp

room: F-507 (6899)
e-mail: mura [at] tut.jp

ウェルカムページ

追加の情報がある場合は、下記の Lecture Information をクリック
http://www.ci.cs.tut.ac.jp/~mura/

http://www.ci.cs.tut.ac.jp/~mura/

オフィスアワー

毎講義後

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード

(B13622070)シミュレーション工学[Simulation Engineering]

科目名[英文名]	シミュレーション工学[Simulation Engineering]				
時間割番号	B13622070	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	後藤　仁志 GOTO Hitoshi				
ナンバリング	CMP_BAC31322				

授業の目標

一般的に工学研究の方法論には 2 つのアプローチ、実験と理論の研究があり、この講義では、それら 2 つの研究方法の中間的な特徴を持つ数値シミュレーションを用いて様々な微分方程式の解法アルゴリズムを学びます。

In general, there are two approaches, experimental and theoretical study, to methodology of engineering research, and in this lecture, we will learn the solutions of various differential equations by using numerical simulations having intermediate characteristics of the two research methods.

授業の内容

1. 数値解析とシミュレーション（第1週）
・数値解析とは何か
・シミュレーションとは何か
2. MATLAB 入門（第2～3週）
・基本的なコマンドと演算機能
・MATLAB グラフィックスの概要
・MATLAB プログラミングの基礎
3. MATLAB における微分方程式の数値解（第4～5週）
・Runge-Kutta 法
4. 微分方程式と動力学（第6～7週）
・連成振動
・RLC 回路
5. 非線形微分方程式（第8～10週）
・van der Pol 方程式
・Lorenz 方程式
5. 伝導・拡散のシミュレーション（第11～13週）
・熱伝導方程式
・拡散方程式
6. 振動のシミュレーション（第13～14週）
・波動方程式
7. その他のシミュレーション（第15週）
・Volterra 方程式
8. 期末試験（第16週）

1. Numerical Analysis and Simulation (the 1st week)
> What is the numerical analysis?
> What is the computer simulation?
2. Introduction to MATLAB (the 2-3 weeks)
> Basic commands and arithmetic functions
> MATLAB Graphics Overview
> Basics of MATLAB programming
3. Numerical solution of differential equations in MATLAB (the 4-5 weeks)
> Euler method
> Runge-Kutta method
4. Differential equations and dynamics (the 6-7 weeks)
> Coupled vibration
> RLC circuit
5. Nonlinear differential equations (the 8-10 weeks)
> van der Pol equation
> Lorenz equation
6. Simulation of conduction and diffusion (the 11-13 weeks)
> Heat conduction equation

> Diffusion equation
7. Simulation of vibration (the 13-14 weeks)
> Wave equation
8.The other simulation (the 15 week)
> Volterra equation
9. Final exam (the 16 week)

予習・復習内容
講義は Moodle システムを活用して進められる。
事前に公開する講義資料を用いて予習すること。

Lecture is advanced by using the Moodle system.
To the preparation on the next lecture using the referenced notes distributed in advance.

関連科目
数値解析論：Numerical analysis

Numerical analysis (B3)

教科書に関する補足事項
テキストや課題は Moodle を使って配布する。
MATLAB の入門書を一読しておくことが望ましい。

Text and challenges will be distributed using the Moodle system.
It is desirable to read the MATLAB beginning guide.

参考書 1	**書名**	MATLAB/Scilab で理解する数値計算			**ISBN**	978-4130624503
	著者名	櫻井哲也	**出版社**	東京大学出版	**出版年**	2003
参考書 2	**書名**	微分方程式で数学モデルを作ろう			**ISBN**	978-4535781733
	著者名	D. バージェス，M. ポリー　著／垣田高夫，大町比佐栄訳	**出版社**	日本評論社	**出版年**	1990
参考書 3	**書名**	道具としての微分方程式			**ISBN**	978-4534036971
	著者名	野崎亮太	**出版社**	日本実業出版社	**出版年**	2004
参考書 4	**書名**	Scilab で学ぶわかりやすい数値計算法			**ISBN**	978-4627096110
	著者名	川田昌克 著,	**出版社**	森北出版	**出版年**	2008

参考書に関する補足事項

達成目標
研究開発ツールとして企業の研究者・技術者が実際に用いている MATLAB を使いこなすことができる
「現象」を微分方程式で表現し，シミュレーションモデルを構築し，実行できるまでの総合力を身につける.

To master the MATLAB that are actually used by corporate researchers and engineers, as a tool of R&D.
To learn the comprehensive ability for describing the ″phenomenon″ by using differential equations, translating a simulation model, submitting the simulation run, and analyzing the calculation results.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
達成目標の全体の達成を総合的に評価する試験（70 点満点）とレポート（30 点満点）の合計点で評価する。
A: 90 点以上　A: 80 点以上　B: 70 点以上　C: 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

関連 Web サイトは講義で指示される。

Related web site will be designated in the lecture.

オフィスアワー

適宜. 事前にメールでアポイントメントをとること.

At an appropriate time. Advance appointments by e-mail are required.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード

数値解析, 微分方程式, 第三の科学, 運動方程式, 伝導, 拡散, 振動
Numerical analysis, differential equations, third in science, the equation of motion, conduction, diffusion, vibration

(B13630010)情報理論[Information Theory and Coding]

科目名[英文名]	情報理論[Information Theory and Coding]				
時間割番号	B13630010	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	渡辺　一帆 WATANABE Kazuho				
ナンバリング	CMP_BAC31122				

授業の目標

情報通信や情報処理、符号化、データ圧縮の基礎となるシャノンにより確立された情報理論について講述する。

The objective of this cource is to learn the fundamental theory of information communication, processing, coding, and compression, which was established by Shannon and called information theory.

授業の内容

第 1 週:情報理論とは、確率・統計の基礎
第 2 週:エントロピーとダイバージェンス
第 3 週:相互情報量
第 4 週:漸近的等分割性
第 5 週:各種の情報源
第 6 週:符号の基本的性質
第 7 週:情報源符号化法
第 8 週:逐次符号化法
第 9 週:中間試験
第 10 週:通信路のモデル
第 11 週:通信路容量
第 12 週:通信路符号化
第 13 週:連続情報源のエントロピー
第 14 週:連続情報源の符号化
第 15 週:レート歪み関数
第 16 週:期末試験
1: Introduction
2: Entropy and divergence
3: Mututal information
4: Asymptotic equipartition property
5: Information sources
6: Fundamentals of coding
7: Source coding
8: Stream codes
9: Midterm examination
10: Channel model
11: Channel capacity
12: Channel coding
13: Continuous sources
14: Coding for continuous sources
15: Rate-distortion function
16: Final examination

予習・復習内容

関連科目

確率・統計論、通信工学

Probability and Statistics、Communication Engineering 1

教科書に関する補足事項

適宜資料を配布する。

Lecture slides are distributed.

参考書 1	**書名**	情報と符号化の数理	**ISBN**	978-4563005993

	著者名	韓太舜，小林欣吾共著,	**出版社**	培風館	**出版年**	1999
参考書 2	**書名**	情報理論：基礎から応用まで			**ISBN**	978-4-7649-0389-0
	著者名	中川聖一 著,	**出版社**	近代科学社	**出版年**	2010
参考書 3	**書名**	Information theory, inference, and learning algorithms			**ISBN**	978-0521642989
	著者名	David J.C. MacKay,	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2003

参考書に関する補足事項

達成目標

A.基礎的な事項
(1)エントロピー、符号化、データ圧縮の関連を理解できる。
(2)相互情報量の概念を正しく理解できる。
B.情報源のモデル
　各種の情報源の性質を理解できる。
C.離散的情報源の符号化
（1）クラフトの定理の内容を理解できる。
（2）情報源符号化定理を理解できる。
（3）ハフマン符号を理解できる。
D.離散的通信路の符号化
（1）通信路符号化定理を理解できる。
（2）ハミング符号を理解できる。
E.連続情報源と連続的通信路
（1）エントロピー最大の定理を理解できる。
（2）ベクトル量子化の概念を理解できる。
A. Fundamentals
(1)The relations among entropy, coding and data compression.
(2)The exact concept of mutual information
B. Information Sources
　Properties of various sources
C. Source Coding
(1) Kraft's inequality
(2) Source coding theorems
(3) Huffman code
D. Channel Coding
(1) Chennel coding theorem
(2) Humming code
E. Coding for Continuous Sources
(1) Maximum entropy principle
(2) Vector quantization

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験 40%　定期試験 60%　　左記の割合で、総合的に評価する。
Scores will be measured comprehensively by the following ratio:
Midterm exam 40%, Final exam 60%

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

渡辺 F-502, 6893,　wkazuho@cs.tut.ac.jp
K. Watanabe F-502, 6893,　wkazuho@cs.tut.ac.jp

オフィスアワー

随時

as needed

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
情報理論、エントロピー、符号化、データ圧縮、シャノン
Information Theory, Entropy, Coding, Data Compression, Shannon

(B13630030)数値解析論[Numerical Analysis]

科目名[英文名]	数値解析論[Numerical Analysis]				
時間割番号	B13630030	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	後藤　仁志 GOTO Hitoshi				
ナンバリング	CMP_BAC31222				

授業の目標

数値解析の基礎的な事項を理解する．また計算例，シミュレーション例を物理系や制御系など関連課題から紹介し，計算機を用いた課題解決ができるようになる事を目指す．

We will learn the basic matters of numerical analysis. Various computational examples will be introduced from the relevant issues of physical and statistical systems. Goal of this class is to be able to solve problems using the computer.

授業の内容

1．ガイダンス（第 1 週）
2．MATLAB 入門（第 2 週）
3．数の表現，誤差（第 3 週）
4．関数の近似と補完（第 4-5 週）
5．最小二乗法（第 6-7 週）
6．連立一次方程式と行列（第 8-10 週）
7．固有値問題（第 11-13 週）
8．非線形方程式（第 14-15 週）
9．定期試験（第 16 週）

1. Guidance of numerical analysis (the 1st week)
2. Introduction to MATLAB (the 2nd week)
3. Representation of numbers and numerical error in computer (the 3rd week)
4. Interpolation and approximation of functions (the 4-5 weeks)
5. Least-square method (the 6-7 weeks)
6. Simultaneous linear equations and matrix operation (the 8-10 weeks)
7. Eigenvalue problem (the 11-13 weeks)
8. Non-linear equation (the 14-15 weeks)
9. Final exam (the 16 week)

予習・復習内容

講義は Moodle を活用して進められる．
事前に講義資料を公開する予定なので，予習すること．
Lecture is advanced by using the Moodle system.
To the preparation on the next lecture using the referenced notes distributed in advance.

関連科目

シミュレーション工学，数理モデル論
Simulation Engineering (B4)

教科書に関する補足事項

テキストや課題等は Moodle を使って配布する．
Text and challenges will be distributed using the Moodle system.
It is desirable to read the MATLAB beginning guide.

参考書 1	**書名**	MATLAB/Scilab で理解する数値計算			**ISBN**	978-4130624503
	著者名	櫻井哲也	**出版社**	東京大学出版会	**出版年**	2003
参考書 2	**書名**	だれでもわかる数値解析入門			**ISBN**	978-4764902480
	著者名	新濃清志，船田哲男	**出版社**	近代科学社	**出版年**	1995
参考書 3	**書名**	Scilab で学ぶわかりやすい数値計算法			**ISBN**	978-4627096110
	著者名	川田 昌克	**出版社**	森北出版	**出版年**	2008

参考書に関する補足事項

達成目標
数値解析の基礎にある数学を理解するとともに，1)問題を解析，2)解法を検討，3)アルゴリズムの改良，4)結果の評価という数値解析の一連の手順を身に付ける。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
定期試験（70 点満点）と講義中の演習・レポート（30 点満点）の合計点で評価する。
S: 90 点以上 A: 80 点以上 B: 70 点以上 C: 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
講義で指定する。

Related web site will be designated in the lecture.

オフィスアワー
適宜．ただし，事前にメール(gotoh@tut.jp)によりアポイントメントをとること．

At an appropriate time. Advance appointments by e-mail are required.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
数値解析，微分方程式，
数値解析，微分方程式，シミュレーション，Numerical Analysis, Differential Equation, Simulation

(B13630060)画像情報処理[Image Processing]

科目名[英文名]	画像情報処理[Image Processing]				
時間割番号	B13630060	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	栗山　繁 KURIYAMA Shigeru				
ナンバリング	CMP_BAC32522				

授業の目標

デジタル画像データの処理／解析／認識／生成等の基盤技術を、簡単な演習を通じて習得する。

This class teaches basic method of processing, analyzing, recognizing, and synthesizing digital images through simple exercises using MATLAB programming.

授業の内容

1週目：画像の基本的性質と種類，特性
2週目：限定色表示とカラーモデル
3週目：濃淡変換とフィルタリング
4週目：2値画像処理と形状特徴量
5週目：特徴量の計算
6週目：物体検出
7週目：高速検出アルゴリズム
8週目：動物体の追跡
9週目：画像識別
10 週目：演習課題
11 週目：演習課題
12 週目：演習課題の発表会
13 週目：画像符号化と情報秘匿
14 週目：CG モデリング
15 週目：CG レンダリング
Week 1. Fundamentals of digital images
Week 2. Color quantization and color space model
Week 3. Grayscale conversion and filtering
Week 4. Binarization and shape features
Week 5. Computation of features
Week 6. Object detections
Week 7. Fast detection algorithm
Week 8. Tracking of moving object
Week 9. Image classification
Week 10. Preparation for an exercise
Week 11. Preparation for an exercise
Week 12. Presentation of an exercise
Week 13. Image encoding and data hiding
Week 14. Computer graphics: modeling
Week 15. Computer graphics: rendering

予習・復習内容

予習・復習用に、以前に用いた講義内容と翌週の講義内容は Web テキストとして公開する。

An html-based textbook is supplied for preparation and review.

関連科目

デジタル信号処理、多変量解析論

Digital signal processing, Multivariate analysis.

教科書に関する補足事項

Web 上に英語で書かれた電子テキストを配布する（日本語の補助用教材も配布する）.

This class distributes a digital textbook written both in English and Japanese.

参考書 1	**書名**	ディジタル画像処理			**ISBN**	978-4-903474-50-2
	著者名		**出版社**	CG-ARTS 協会	**出版年**	2015
参考書 2	**書名**	Fundamentals of Digital Image Processing			**ISBN**	978-0-470-84472-4
	著者名	Chris Solomon and	**出版社**	Wiley-Blackwell	**出版年**	2011

		Toby Breckon				
参考書 3	**書名**	Digital Signal and Image Processing using MATLAB			**ISBN**	978-1-84821-640-2
	著者名	Gerard Blanchet and Maurice Charbit	**出版社**	Wiley	**出版年**	2014
参考書 4	**書名**	コンピュータグラフィックス			**ISBN**	978-4-903474-49-6
	著者名		**出版社**	CG-ARTS 協会	**出版年**	2015
参考書 5	**書名**	Computer Graphics: Principles and Practice (3rd Edition)			**ISBN**	078-5342399523
	著者名	John F. Hughes	**出版社**	Addison-Wesley Professional	**出版年**	2013
参考書 6	**書名**	ビジュアル情報処理 -CG・画像処理入門-			**ISBN**	978-4-903474-49-6
	著者名		**出版社**	CG-ARTS 協会	**出版年**	2015

参考書に関する補足事項

達成目標

デジタル画像に関する基本的な性質と各種処理の基本的な技術を習得する。

The goal of this class is to learn fundamental properties and various processing of digital images.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

演習課題30%と期末試験70%で判断する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

A:達成目標をすべて達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標を 80%達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点(100 点満点)が 65 点以上

C:達成目標を 60%達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点(100 点満点)が 55 点以上

Score is calculated by the combination of Report(Exercise) 30% and Examination(Paper test) 70%

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

A:達成目標をすべて達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標を 80%達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点(100 点満点)が 65 点以上

C:達成目標を 60%達成しており，かつ演習課題と期末試験の合計点(100 点満点)が 55 点以上

定期試験

定期試験を実施(対面)

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

常時. ただし，E-メールでの予約を要する.

Anytime, but requires reservation by E-mail.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data

structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

画像情報　コンピュータビジョン　コンピュータグラフィックス　画像解析　画像識別　画像信号処理

Digital images, Computer vision, Computer graphics, Image analysis and recognition, Image signal processing

(B13630080)音声・自然言語処理論[Speech and Natural Language Processing]

科目名[英文名]	音声・自然言語処理論[Speech and Natural Language Processing]				
時間割番号	B13630080	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	秋葉　友良 AKIBA Tomoyoshi				
ナンバリング	CMP_BAC32522				

授業の目標

人間が日常的に利用する言語を計算機処理するための手法として、音声情報処理と自然言語処理のモデルを学び、これらを利用したアプリケーションを構築する技術を習得する。

Learning computational models for speech and language processing and techniques for applying them to develop computational systems that can process human language automatically.

授業の内容

第 1 回 音声と言語の諸相
第 2 回 音声言語処理のモデル(1)
第 3 回 音声言語処理のモデル(2)
第 4 回 音声言語処理のモデル(3)
第 5 回 音声言語処理のモデル(4)
第 6 回 自然言語処理のモデル(1)
第 7 回 自然言語処理のモデル(2)
第 8 回 自然言語処理のモデル(3)
第 9 回 自然言語処理のモデル(4)
第 10 回 検索・質問応答システム(1)
第 11 回 検索・質問応答システム(2)
第 12 回 検索・質問応答システム(3)
第 13 回 翻訳システム(1)
第 14 回 翻訳システム(2)
第 15 回 翻訳システム(3)
第 16 回 期末試験
Week 1: Overview of speech and language
Week 2: Computational models of spoken language processing (1)
Week 3: Computational models of spoken language processing (2)
Week 4: Computational models of spoken language processing (3)
Week 5: Computational models of spoken language processing (4)
Week 6: Computational models of natural language processing (1)
Week 7: Computational models of natural language processing (2)
Week 8: Computational models of natural language processing (3)
Week 9: Computational models of natural language processing (4)
Week 10: Information retrieval and question answering systems (1)
Week 11: Information retrieval and question answering systems (2)
Week 12: Information retrieval and question answering systems (3)
Week 13: Machine translation (1)
Week 14: Machine translation (2)
Week 15: Machine translation (3)
Week 16: Final exam

予習・復習内容

教科書の「フリーソフトウェアによる演習」をレポート課題とします。授業で使用したスライドは公開します。
A mini-project examination is to be assigned by using the chapter 8 of the textbook.
All the in-class presentation slides are to be provided through the official web site.

関連科目

確率・統計論、情報理論、形式言語論、ディジタル信号処理、機械学習・パターン認識論

Probability and Statistics, Information Theory and Coding, Formal Language Theory, Digital Signal Processin, Machine Learning and Pattern Recognition

教科書 1	**書名**	音声言語処理と自然言語処理			**ISBN**	978-4-339-02469-2
	著者名	中川聖一編著	**出版社**	コロナ社	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基本的な事項
(1) 音声・自然言語処理の科学的モデルと工学的モデルの違いを理解する。
(2) 音声学と言語学の関係を理解する。
(3) 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。
(4) 人間の言語獲得の課程と第2言語の学習について理解する。

B. 音声言語処理のモデル
(1) 音声の音響分析のモデルについて理解する。
(2) 音声認識のモデルを理解する。
(3) 音声合成のモデルを理解する。

C. 自然言語処理のモデル
(1) 形態素解析のモデルを理解する。
(2) 構文解析のモデルを理解する。
(3) 意味解析・文脈解析のモデルを理解する。

D. 音声・自然言語処理の応用
(1) 検索システムの実現方法を理解する。
(2) 翻訳システムの実現方法を理解する。

A. Basics
(1) Students are required to understand the difference between scientific and engineering models for speech and language processing.
(2) Students are required to understand the relation of phonetics and linguistics.
(3) Students are required to understand the characteristics of spoken language and written language.
(4) Students are required to understand the human's process of native and second language acquisition.

B. Computational models of spoken language processing
(1) Students are required to understand the computational model for speech analysis.
(2) Students are required to understand the computational model of automatic speech recognition.
(3) Students are required to understand the computational model of speech synthesis.

C. Computational models of natural language processing
(1) Students are required to understand the computational model of morphological analysis.
(2) Students are required to understand the computational model of syntactic parsing.
(3) Students are required to understand the computational model of semantic and discourse analysis.

D. Application of spoken and natural language processing
(1) Students are required to understand the implementation method of information retrieval system.
(2) Students are required to understand the implementation method of machine translation system.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標の全体の達成を総合的に評価する試験(80 点満点)とレポート(20 点満点)の合計点で評価する。
A: 80 点以上　B: 65 点以上　C: 55 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 90 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

部屋: C-505
電子メール：akiba@cs.tut.ac.jp
Room number of instructor: C-505
e-mail：akiba@cs.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.nlp.cs.tut.ac.jp/~akiba/SLP-NLP/
http://www.nlp.cs.tut.ac.jp/~akiba/SLP-NLP/

オフィスアワー

火曜の6時限目。
メールによる問い合わせは随時可能です。
6th period of Tuesday
Contact to the instructor by e-mail at first.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

音声言語処理、自然言語処理、音声認識、音声合成、形態素解析、構文解析、意味解析、談話解析、情報検索、対話システム、翻訳システム、入力インターフェース
spoken language processing, natural language processing, speech recognition speech synthesis, morphological analysis, syntactic parsing, semantic analysis, discourse analysis, information retrieval, dialog system, machine translation, human-machine interfance

(B13630090)ディジタル信号処理[Digital Signal Processing]

科目名[英文名]	ディジタル信号処理[Digital Signal Processing]				
時間割番号	B13630090	区分	情報・知能専門Ⅱ	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	月 5～5	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	松井　淑恵 MATSUI Toshie				
ナンバリング	CMP_BAC32322				

授業の目標

デジタル信号処理に関わる基礎的技術を学びます。

This course provides fundamental techniques of digital signal processing.

授業の内容

1) ディジタル信号処理の用途
2) 複素数・複素空間の復習、MATLAB 入門
3) アナログ信号とディジタル信号
4) 信号の表現法
5) 信号処理システムとは
6) 線形時不変システム
7) ハードウェア実現
8) z 変換
9) システムの伝達関数
10) システムの周波数特性
11) 信号の周波数解析とサンプリング定理
12) 離散フーリエ変換、高速フーリエ変換
13) 窓関数による信号の切り出しと短時間フーリエ変換
14) ディジタルフィルタ
15) まとめと補足

授業の状況に応じて、上記の項目を実施する授業回が多少前後することがあります。

1. Introduction: Applications of digital signal processing
2. Complex numbers and two-dimentional complex plane; MATLAB demos
3. Analog signals and digital signals
4. Representation of digital signals
5. Digital signal processing (DSP) systems
6. Linear time-invariant (LTI) systems
7. Block diagram notation for hardware implementation
8. z-transforms
9. Transfer functions of systems
10. Frequency response of LTI system
11. Frequency analysis and sampling theorem
12. Discrete Fourier transform (DFT) and fast Fourier transform (FFT)
13. Windowing and short-time Fourier transform (STFT)
14. Digital filter design
15. Summary and supplement

Depending on the situation, the week for the above content is subject to be changed.

予習・復習内容

関連科目

微分・積分 I/II, 線形代数 I/II, 微分方程式, 応用線形代数論

Differential and Integral Calculus 1/2, Linear Algebra 1/2, Differential Equations, Applied Linear Algebra

教科書に関する補足事項

プリントを配布します。

Handouts will be prepared.

参考書 1	書名	ディジタル信号処理			ISBN	978-4274216077
	著者名	貴家仁志	出版社	オーム社	出版年	2014
参考書 2	書名	DSP First 2nd ed., Global Edition			ISBN	978-

						1292113869
	著者名	James H. McClellan, Ronald W. Schafer, Mark A. Yoder	出版社	Pearson Education Limited	出版年	2016

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 信号処理の基本を理解する
(2) フーリエ展開/フーリエ変換/離散フーリエ変換を理解する
(3) システムの表現方法を理解する
(4) 様々な領域における信号解析法を理解する
(5) デジタルフィルタの基本と設計法を理解する
(1) Understanding fundamentals of signal processing
(2) Understanding Fourier expansion, Fourier transform, and discrete Fourier transform.
(3) Understanding frequency response and transfer function
(4) Understanding signal analysis in various domains
(5) Understanding fundamentals and design methods of digital filters

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法: 課題レポート(30%)および定期試験(70%)で評価します。

評価基準: 原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価します。
A: 課題レポートと定期試験の総合点(100 点満点)が 80 点以上
B: 課題レポートと定期試験の総合点(100 点満点)が 65 点以上
C: 課題レポートと定期試験の総合点(100 点満点)が 55 点以上
Your overall grade in this class will be decided based on the following:
- Weekly assignments: 30%
- Final examination: 70%

Students who attend all the classes will be evaluated as follows:
A: Obtained total points of weekly assignments and a final examination, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of weekly assignments and a final examination, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of weekly assignments and a final examination, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

必要に応じて随時対応します。メールなどで事前に連絡を取ってください。
On a necessary basis. Please contact me by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学, データ構造とアルゴリズム, 計算機アーキテクチャ, プログラミング, 情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
キーワード

(B13630100)計算理論[Theory of Computation]

科目名[英文名]	計算理論[Theory of Computation]				
時間割番号	B13630100	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	藤戸　敏弘 FUJITO Toshihiro				
ナンバリング	CMP_BAC32022				

授業の目標

授業の目標：計算機の登場によって数学の新しい分野が生まれた．「計算する」とはどういう意味か，計算機はすべての問題を解きうるのか，「実用的に計算できる」ということを数学ではどのように扱っているのか等，計算可能性と計算の複雑さの理論における基礎を学ぶ．

A new subject area has been introduced in mathematics by the advent of computers. We study basics in the theory of computability and computational complexity, including what is meant by "computable", whether a computer can solve all the possible problems, and how "practical computability" is treated in mathematics.

授業の内容

1週目．導入，有限オートマトン
2週目．書き込み可能有限オートマトン
3週目．チューリング(Turing)機械（単テープ，多テープ，非決定性）
4週目．ランダムアクセス機械 RAM(決定性，非決定性)，Church-Turing の提唱
5週目．万能チューリング機械，決定可能性（認識可能性）
6週目．可算集合と非可算集合
7週目．対角線論法，問題の還元
8週目．停止問題，計算不可能問題
9週目．計算の複雑さ，多項式時間等価性
10週目．クラス P と NP，クラス NP の特徴付け
11週目．多項式時間還元，NP 完全性
12週目．充足可能性問題（Cook の定理），さまざまな SAT(satisfiability)問題，NP 完全性の証明
13週目．NP 完全なグラフ問題
14週目．Cook 定理の証明
15週目．公開鍵暗号（ナップサック暗号）
16週目．定期試験

week 1: Introduction, Finite automata.
week 2: Writable finite automata.
week 3: Turing machine (single tape, multiple tapes, nondeterministic).
week 4: Random access machine RAM (deterministic, nondeterministic), Church-Turing thesis.
week 5: Universal Turing machine, Decidability (Recognizability).
week 6: Countable and uncountable sets.
week 7: Diagonal argument, reducibility.
week 8: Halting problem, computable problems.
week 9: Computational complexity, polynomial-time equivalence.
week 10: Classes P and NP, characterization of class NP.
week 11: polynomial time reducibility, NP-completeness.
week 12: Satisfiability problem (Cook's theorem), various satisfiability problems, how to prove NP-completeness.
week 13: NP-complete graph problems
week 14: Proof of Cook's theorem
week 15: Public key cryptosystem (knapsack cryptosystem)
week 16. Final Exam

予習・復習内容

ウェルカムページで事前に公開されている講義計画・講義用資料を参照して，予習・復習により講義内容とその理解を確認すること．

It is highly recommended to go through all the course materials provided on the course welcome pages for self preparation and reviews.

関連科目

「アルゴリズムとデータ構造」，「形式言語論」．
計算オーダーの評価，グラフ理論の基本的な用語，有限オートマトンについて理解していることが望ましい．

"Algorithms and Data Structures", "Formal Languages".

It is desirable to understand asymptotic analysis of running time, basic terminologies in the graph theory, and finite automata.

教科書に関する補足事項

教科書：特になし（必要に応じてプリントを配布する）.

All the course materials used will be provided through the course home pages.

参考書 1	**書名**	Introduction to the Theory of Computation			**ISBN**	113318779X
	著者名	Michael Sipser	**出版社**	Course Technology Ptr	**出版年**	2012
参考書 2	**書名**	アルゴリズム理論入門（情報系教科書シリーズ）			**ISBN**	978-4785631253
	著者名	岩間一雄	**出版社**	昭晃堂	**出版年**	2001
参考書 3	**書名**	計算量の理論（コンピュータサイエンス大学講座）			**ISBN**	978-4764901308
	著者名	笠井 琢美	**出版社**	近代科学社	**出版年**	1987

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 計算不可能な問題・対角線論法
(1) 計算不可能な問題の存在の証明における対角線論法の役割が理解できる.
B. 決定性チューリング機械, RAM
(1) 計算を議論するための計算機モデルとしてのチューリング機械, RAM の等価性が理解できる.
(2) 決定性計算により多項式時間で解ける問題のクラスとしてのクラス P が理解できる.
C. 非決定性チューリング機械, 非決定性計算
(1) 非決定計算の意味が理解できる.
(2) 非決定性計算により多項式時間で解ける問題のクラスとしてのクラス NP が理解できる.
D. 多項式時間帰着可能性と NP 完全性
(1) 多項式時間帰着の仕組みと NP 完全性が理解できる.
(2) 簡単な帰着方法が存在する問題の NP 完全性を証明することができる.

(1) To understand the role of diagonal argument used in the proof of the existence of undecidable problems.
(2) To understand the equivalence of different computation models such as Turing machine and random access machine when computability only is concerned.
(3) To understand class P of problems deterministically computable in polynomial time.
(4) To understand the mechanism of nondeterministic computation.
(5) To understand class NP of problems nondeterministically computable in polynomial-time.
(6) To understand the mechanism of polynomial time reductions and NP-completeness.
(7) To be able to prove the NP-completeness of problems having simple polynomial time reductions.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

達成目標全体の達成度を総合的に評価する定期試験(80%)とレポート(20%)の合計点により評価する。
A：80 点以上 B：65 点以上 C：55 点以上
[Evaluation basis]
Students will be evaluated, in terms of goals to be achieved, based on total scores of exams (80%) and home works (20%) as follows:
A: 80 or higher (out of 100 points).
B: 65 or higher (out of 100 points).
C: 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.algo.cs.tut.ac.jp/~fujito/class/Keisan/

http://www.algo.cs.tut.ac.jp/~fujito/class/Keisan/

オフィスアワー

火曜日の第 4 時限 を講義内容に関する質問を受け付けるオフィスアワーとする.
質問がある学生は，質問点を絞り込んだ上で居室（C-612）に来られたし.

Tuesday, 4th period (14:40 - 16:10)

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
計算モデル，計算量，計算可能性・不可能性，計算困難性
Model of computation, Complexity, Computability, Intractability, Computational hardness.

(B13630120)ソフトウェア工学[Software Engineering]

科目名[英文名]	ソフトウェア工学[Software Engineering]				
時間割番号	B13630120	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	河辺　義信 KAWABE Yoshinobu				
ナンバリング	CMP_BAC32220				

授業の目標

ソフトウェア開発手順とその各フェーズで採用されている技法・要素技術を紹介するとともに，ユーザの要求を満たすソフトウェアをどのように作ればよいかを考える.

The objectives of the class are:

1. to help students learn various methodologies used in phases of the software development process, and
2. to develop skills to construct software that satisfies users' requirements.

授業の内容

1 週目　ソフトウェア工学の概観
2 週目　開発プロセス
3 週目　要求分析と仕様記述
4 週目～7 週目 モデル化と UML
8 週目 設計・実装・テスト・運用保守
9 週目 形式手法とは
10 週目 検証と妥当性検査
11 周目 STAMP/STPA
12 週目 これまでの振り返り・課題演習・解説
13 週目 形式的仕様記述の実践 (1) --- IOA 仕様記述言語の概要
14 週目 形式的仕様記述の実践 (2) --- 記述例
15 週目 形式的仕様記述の実践 (3) --- 大規模なシステムの記述
16 週目 レポート提出

1. Overview
2. Software Processes
3. Software Requirements and Specifications
4 -- 7. Software Modeling with UML
8. Implementation and Maintenance of Software
9. Formal Methods
10. Verification & Validation
11. STAMP/STPA
12. mid-term exam
13. Overview of Formal Specification Language
14. Describing Specifications Formally
15. Specifying Larger Systems

予習・復習内容

配布プリントの次回分を読んでおくこと. また，授業中に出される課題演習を完成させること.

Students shall read handouts carefully, and all assignments given in the class should be completed.

関連科目

教科書に関する補足事項

プリントを配布する.

Handouts will be distributed.

参考書 1	**書名**	ソフトウェア工学 ―プロセス・開発方法論・UML―			**ISBN**	978-4781910222
	著者名	鈴木正人	**出版社**	サイエンス社	**出版年**	2003
参考書 2	**書名**	形式手法の技術講座			**ISBN**	978-4883732586
	著者名	佐原伸	**出版社**	ソフト・リサーチ・センター	**出版年**	2008

参考書 3	書名	ソフトウェア工学とコンピュータゲーム			ISBN	978-4939007637
	著者名	Rundy Rucker 著（中本浩 訳）	出版社	ADDISON-WESLEY・ボーンデジタル	出版年	2003

参考書に関する補足事項

達成目標

1) 開発プロセスについて理解する
2) ソフトウェア開発で用いられる各種の設計・分析・実装手法を理解する
3) UML を用いて簡単な問題の分析・設計ができる
4) 形式手法を用いた仕様記述・検証の概略を理解する
5) テスト・検証・保守・再利用に関する主な手法を理解する
6) ソフトウェア工学の最近の話題について知る

The goals are:
1) to understand software development processes,
2) to understand methodologies for software development, analysis and implementation,
3) to learn how to analyze and specify software with UML,
4) to understand basics of formal methods,
5) to understand techniques for testing and verification, and
6) to learn recent topics in software engineering.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート(30%)と課題演習(70%)で評価する.

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する.
A: 達成目標をすべて達成しており，かつレポートと課題の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B: 達成目標を 80%達成しており，かつレポートと課題の合計点（100 点満点）が 65 点以上
C: 達成目標を 60%達成しており，かつレポートと課題の合計点（100 点満点）が 55 点以上
The mid-term exam counts for 70% of the course grade, and the final report is worth 30%.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

E-mail: kawabe@aitech.ac.jp
E-mail: kawabe@aitech.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

メールにて対応する.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
ソフトウェア開発, UML, 形式手法, 要求, 仕様
software development, UML, formal methods, software requirements gathering, specification

(B13630150)機械学習・パターン認識論[Machine Learning and Pattern Recognition]

科目名[英文名]	機械学習・パターン認識論[Machine Learning and Pattern Recognition]				
時間割番号	B13630150	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	金澤　靖 KANAZAWA Yasushi				
ナンバリング	CMP_BAC32422				

授業の目標

音声や画像などに代表される情報メディアを認識・理解するための基礎技術であるパターン認識と機械学習において，その基礎理論を理解するとともに，その代表的手法の原理を理解する.

The aim of this course is to help students acuire an understanding of the fundamental principles of machine learning and pattern recognition.

授業の内容

1 週目 序論
2 週目 確率分布(1)
3 週目 確率分布(2)
4 週目 線形回帰モデル
5 週目 線形識別モデル(1)
6 週目 線形識別モデル(2)
7 週目 ニューラルネットワーク
8 週目 カーネル法・サポートベクターマシン(1)
9 週目 カーネル法・サポートベクターマシン(2)
10 週目 混合モデルと EM アルゴリズム(1)
11 週目 混合モデルと EM アルゴリズム(2)
12 週目 サンプリング法
13 週目 カーネル主成分分析
14 週目 アンサンブル学習(1)
15 週目 アンサンブル学習(2)
16 週目 定期試験

(1) Introduction
(2) Probability distribution #1
(3) Probability distribution #2
(4) Linear regression model
(5) Linear discriminant model #1
(6) Linear discriminant model #2
(7) Neural network
(8) Kernel method and support vector machine #1
(9) Kernel method and support vector machine #2
(10) Mixture model and EM algorithm #1
(11) Mixutre model and EM algorithm #2
(12) Sampling
(13) Principle component analysis
(14) Ensemble learning #1
(15) Ensemble learning #2
(16) Examination

予習・復習内容

講義スライドおよび配布資料は Web にて公開しているので，講義前に予習すると共に講義資料を印刷し，講義後に改めて復習すること.

We highly recommend to prepare each lecture by reading the contents by handouts and Web.

関連科目

線形代数 I/II，確率・統計論，数値解析論

Linear algebra I/II, Probability and statistics, Numerical analysis

教科書に関する補足事項

本講義では，毎回講義資料(図や式のみ)を各自で印刷する．配布資料や講義の際に使用したスライドは講義用 Web ページで公開する.

ただし，より理解を深めるために，以下の参考書を読むことを勧める．
Handouts will be prepared.

参考書 1	**書名**	Pattern Recognition and Machine Learning			**ISBN**	978-0387310732
	著者名	C. Bishop	**出版社**	Springer	**出版年**	
参考書 2	**書名**	パターン認識と機械学習 上			**ISBN**	978-4621061220
	著者名	CM ビショップ著、元田浩ほか訳	**出版社**	丸善出版	**出版年**	2012
参考書 3	**書名**	パターン認識と機械学習 下			**ISBN**	978-4621061244
	著者名	CM ビショップ著、元田浩ほか訳	**出版社**	丸善出版	**出版年**	2012
参考書 4	**書名**	パターン認識と学習の統計学			**ISBN**	978-4000068468
	著者名	麻生英樹ほか	**出版社**	岩波書店	**出版年**	2003
参考書 5	**書名**	はじめてのパターン認識			**ISBN**	978-4627849716
	著者名	平井有三著	**出版社**	森北出版	**出版年**	2012
参考書 6	**書名**	パターン識別			**ISBN**	978-4915851247
	著者名	Richard O.Duda, Peter E.Hart, David G.Stork 著 ; 尾上守夫監訳	**出版社**	新技術コミュニケーションズ	**出版年**	2007

参考書に関する補足事項

達成目標
(1) 基礎となる確率理論，決定理論，回帰，クラス分類手法を理解する．
(2) 学習に必要となる基礎的な最適化手法を理解する．
(3) カーネル法の原理を理解する．
(4) サポートベクターマシンの原理を理解する．
(5) ブースティングの原理を理解する
The goals of this course are to
(1) Understand and explain the basis of probability, regression, and classification.
(2) Understand the basis of optimization.
(3) Understand the basis of kernel method.
(4) Understand the basis of support vector machine.
(5) Understand the basis of boosting.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
　定期試験(60%)および課題レポート(40%)で評価する．課題は 2～3 回を予定．
評価基準
　A:テスト・レポートの総合点（100 点満点）が 80 点以上
　B:テスト・レポートの総合点（100 点満点）が 65 点以上
　C:テスト・レポートの総合点（100 点満点）が 55 点以上
Your overall grade in the class will be decided based on the following:
- Examination: 60%
- Report: 40%

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.img.cs.tut.ac.jp/~kanazawa/Lectures/
http://www.img.cs.tut.ac.jp/~kanazawa/Lectures/

オフィスアワー

随時。ただし，E-mail 等により事前に連絡を取ることが望ましい

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

パターン認識，機械学習，カーネル法，サポートベクターマシン，ブースティング
pattern recognition, machine learning, kernel method, support vector machine, boosting

(B13630160)プログラム言語論[Programming Languages]

科目名[英文名]	プログラム言語論[Programming Languages]				
時間割番号	B13630160	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	梅村　恭司 UMEMURA Kyoji				
ナンバリング	CMP_BAC32222				

授業の目標

記号処理向き言語 LISP を通じて、プログラミング言語とプログラミングに対する理解を深める。

The aim of this lecture is to understand the relation ship between programming and programming language, using LISP.

授業の内容

1週目　動的な型をもつ構造データ
2週目　LISP の基本関数と C との対応
3週目　関数型プログラミングによるリスト処理
4週目　メモリ管理
5週目　関数型データよる制御構造の記述
6週目　関数型プログラミングによるバックトラックの記述
7週目　マクロによる自己拡張機能
8週目　正規表現とデータタイプ
9週目　自由文脈文法の処理
10 週目　リストと配列
11 週目　副作用のあるリスト処理
12 週目　述語論理と形式的証明
13 週目　論理型プログラミング言語
14 週目　論理型プログラミング言語による記号処理
15 週目　論理型プログラミング言語の実現法
16 週目　期末試験

授業では，C との比較を行うため，C 言語の理解も深まる

Week 1: Dynamic typed data structure.
Week 2: Fundamental Lisp functions and their correspondence to C language.
Week 3: List processing basic.
Week 4: Memory Management
Week 5: Functions as a data type.
Week 6: Non deterministic programming.
Week 7: Macro and self expanding features of LISP.
Week 8: Pattern and Data stricture.
Week 9: Context Free Grammer parser
Week 10: List and array
Week 11: Side Effect in Lisp
Week 12: Logic and Proof.
Week 13: Logic Programming.
Week 14: Symbolic Processing by Logic
Week 15: Implementation of logic programming language
Week 16: Examination

予習・復習内容

配布する資料に添って授業を行うが，授業で解説したプログラムコードについては，授業後に動作させて確認する事を想定している。

The programs which are explained in this lecture should be tried after the lecture.

関連科目

データ構造論、プログラム構成法，

教科書に関する補足事項

講義中に資料を配布する。

The text material should be downloaded by the specified URL. This URL will be explained in the first lecture.

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)関数型で書かれた基本的なプログラムを理解できる
(2)関数型プログラミングスタイルの利点を理解する
(3)プログラミング言語のメモリ管理の機能を理解する
(4)プログラミング言語におけるパターンマッチングの役割を理解する
(5)非決定的なプログラミングを理解する
(1) Understanding LISP program for list processing.
(2) Understanding Functional Style of Programming.
(3) Understanding Memory management in Programming Language.
(4) Understanding Pattern Matching.
(5) Understanding Non Deterministic Programming

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法　定期試験 100%
評価基準
A:達成目標を達成しており，かつ，テスト(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標をほぼ達成しており，かつ，テスト(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標のうち重要な項目を達成しており，かつ，テスト(100 点満点)が 55 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved most of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved important goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

出席はとらないが，授業中に強調したところが出題されるので授業を出席しないで試験だけを受けることは不利である。

その他

部屋番号:C304
電話番号:6762
Eメール:umemura@tut.jp
room:C304
tel:6762
Mail:umemura@tut.jp

ウェルカムページ

http://www.ss.cs.tut.ac.jp/
http://www.ss.cs.tut.ac.jp/

オフィスアワー

9:00 から 13:30, あらかじめメールなどで訪問の連絡をしていただけることを希望する。
From 9:00 to 13:30, Appointment by mail is strongly recommended

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
関数型言語　オブジェクト指向
functional programming, logic programming, object oriented programming

(B13630170)応用線形代数論[Applied Linear Algebra]

科目名[英文名]	応用線形代数論[Applied Linear Algebra]				
時間割番号	B13630170	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	栗田　典之 KURITA Noriyuki				
ナンバリング	CMP_BAC31122				

授業の目標

線形代数学は、工学分野において不可欠な数学であるとともに、それ自体華麗な理論です。
本授業では、まず、線形代数学の基礎を身に付け、その知識を応用して、計算科学、情報科学の分野で現れるさまざまな問題を解くことを目標にします。
In this class, we will learn basic concepts on linear algebra and apply them to real problems in some research fields of computer science.

授業の内容

（1）行列（第1、2週）
　・行列の定義
　・演算の法則
　・数の集合との相異点
（2）行列の基本操作とその応用（第3、4週）
　・連立1次方程式
　・行基本操作
　・逆行列の決定
（3）行列式（第5、6週）
　・行列式の性質
　・余因数展開
　・逆行列と連立方程式への応用
　・行列の積の行列式
（4）ベクトルと計量（第7、8週）
　・ベクトルの成分
　・平面、空間の座標幾何への応用
　・空間ベクトルの外積
（5）線形変換（第9、10週）
　・平面の線形変換
　・直交変換
　・アフィン変換
（6）固有値とその応用（第11、12、13週）
　・固有値と行列の対角化
　・対称行列の対角化
　・2次曲線の標準化
（7）さまざまな問題への応用（第14、15週）
　・計算化学への応用
　・漸化式への応用
　・連立微分方程式への応用
　・補間多項式
　・最小二乗法

定期試験（第16週）
1st and 2nd weeks: Linear equations and marrices
3rd and 4th weeks: Transpose and inverse of matrix
5th and 6th weeks: Determinant of matrix
7th and 8th weeks: Vector spaces
9th and 10th weeks: Linear transformations
11th,12th and 13th weeks: Eigenvalues and eigenvectors
14th and 15th weeks: Applications of the concepts to real problems
16th week: Examination

予習・復習内容

この授業を履修予定の方は、教科書の1章、2章を事前に読んで、授業の準備をして下さい。

1 回目の授業の際、線形代数学に関する基礎知識を調べる予備テストを行います。
At the end of each class, the students will take a mini-examination for checking whether they can understand the concepts taught in the class or not.

関連科目
記述なし

教科書 1	**書名**	線形代数の基礎			**ISBN**	4-7819-0846-2
	著者名	寺田文行、木村宣昭	**出版社**	サイエンス社	**出版年**	2007

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	工科系線形代数			**ISBN**	4-901683-02-0
	著者名	筧三郎	**出版社**	数理工学社	**出版年**	2002
参考書 2	**書名**	Linear algebra and its applications			**ISBN**	978-0-321-98328-4
	著者名	David C. Lay	**出版社**	Pearson	**出版年**	2016
参考書 3	**書名**	Linear algebra step by step			**ISBN**	978-0-19-965444-4
	著者名	Kuldeep Singh	**出版社**	Oxford university press	**出版年**	2015

参考書に関する補足事項

達成目標
(1)行列の演算法則の習得
(2)行列を用いた連立1次方程式の解法の習得
(3)逆行列の計算手法の習得
(4)行列式の余因数展開方法の習得
(5)行列式の演算方法の習得
(6)固有値方程式の解法の習得
(7)行列を用いた漸化式、連立微分方程式の解法の習得
(8)固有値方程式を解くプログラムの作成、検証、適用
The purpose of this class is to understand the following basic concepts on linear agebra.
(1) Matrix operations
(2) Solution method of linear equations
(3) Transpose and inverse of matrix
(4) Determinant of matrix
(5) Eigenvalues and eigenvectors
(6) Solution method of recurrence formula

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法:
達成目標(1)から(7)に関しては、中間テストを行い、不合格者にはこれらに関する課題を中間レポートとして提出して頂く。達成目標(8)に関しては、各グループ毎にプログラムを作成し、その検証、具体的な問題への適用を行い、その結果を最終レポートとして提出して頂く。
成績は、中間テスト(60%)、最終レポート(40%)を考慮して評価する。
評価基準:
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved XX 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved XX 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
記述なし

オフィスアワー
祝日以外の月曜簿の 15:00 から 18:00
15:00-18:00 on Monday

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
固有値方程式、固有値、固有ベクトル、行列、連立1次方程式、
Matrix, Eigenvalue, Eigenvector, Linear equationDiagonalization

(B13630180)通信工学[Communication Engineering]

科目名[英文名]	通信工学[Communication Engineering]				
時間割番号	B13630180	区分	情報・知能専門Ⅱ	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	木 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	上原　秀幸 UEHARA Hideyuki				
ナンバリング	CMP_BAC32322				

授業の目標

情報伝達系としてのディジタル無線通信システムの基礎を修得することを目標とする。携帯電話や無線 LAN をはじめとする無線通信技術は、我々の社会生活に欠くことのできない中核の技術であるとともにその発展は日進月歩であるが、その本質と基本原理は不変である。本講義を通じて、ディジタル無線通信システムのモデル化とその性能評価に必要な数理，ディジタル変復調技術，および雑音を受けた信号の表現について理解できることを目標とする。

The objective of this class is to acquire the basics of wireless digital communications as signal transmission systems. Wireless communication technologies such as a cellular phone and a wireless LAN are now indispensable for our life, and their progress is so rapid. However their essence and fundamentals are not changed. Through this class, students can learn wireless communication technologies, focusing on digital modulation and demodulation, mathematical expression of signal and noise, and performance evaluation of the systems.

授業の内容

1-2 週目：確定信号とスペクトル　-フーリエ解析-
3-4 週目：不規則信号とスペクトル　-自己相関関数と電力スペクトル密度-
5-6 週目：線形システム　-信号および雑音のフィルタ出力-
7 週目：中間試験
8 週目：無線通信路
9-11 週目：ディジタル変復調 (1)　-BPSK-
12-13 週目：ディジタル変復調 (2)　-多値化-
14-15 週目：ディジタル変復調 (3)　-広帯域化-
16 週目：定期試験

1-2: Deierministic Signals and Spectra - Fourier analysis -
3-4: Random Signals and Spectra - Auto correlation function and Power spectral density -
5-6: Linear Systems　- Filter outputs of signal and noise-
7: Midterm exam
8: Wireless channels - Free space propagation -
9-11: Digital modulation and demodulation (1) - Binary scheme -
12-13: Digital modulation and demodulation (2) - Multi-level scheme -
14-15: Digital modulation and demodulation (3) - Broadband scheme -
16: Final exam

予習・復習内容

講義資料等を DreamCampus で公開しているので、予習・復習に活用すること。
予習：講義資料を読み，空欄を埋める。
復習：演習問題を解き直す。
Lecture notes are available at DreamCampus.
Fill in the blanks on the handouts for preparation.
Solve again the problems for review.

関連科目

線形代数、確率統計等の数学科目、ディジタル信号処理、情報ネットワーク、情報理論
Linear algebra, Probability and stochastic processes, Digital signal processing, Information networks, Information theory

教科書に関する補足事項

講義資料等を DreamCampus で公開している。
Lecture notes are avilable at DreamCampus.

参考書 1	書名	無線通信工学			ISBN	978-4-274-20792-1
	著者名	片山正昭編著	出版社	オーム社	出版年	2009
参考書 2	書名	移動通信技術の基礎			ISBN	978-4526036309
	著者名	横山光雄著	出版社	日刊工業新聞社	出版年	1994
参考書 3	書名	通信システム工学			ISBN	978-4254228786

	著者名	安達文幸著	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2010
参考書 4	**書名**	ディジタル無線通信入門			**ISBN**	978-4563014872
	著者名	高畑文雄編著	**出版社**	培風館	**出版年**	2002
参考書 5	**書名**	Digital communications : fundamentals and applications			**ISBN**	0-13-091722-2
	著者名	Bernard Sklar	**出版社**	Prentice-Hall International	**出版年**	2001
参考書 6	**書名**	Modern digital and analog communication systems			**ISBN**	0-19-511009-9
	著者名	B.P. Lathi	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	1998
参考書 7	**書名**	Wireless communications			**ISBN**	978-0-521-83716-3
	著者名	Andrea Goldsmith	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 通信で扱う基本的な信号の性質を理解し、時間領域および周波数領域で数式表現できる.
(2) 雑音の統計的性質を理解し、時間領域および周波数領域で数式表現できる.
(3) 雑音を受けた信号のフィルタ応答を理解し、数式表現できる.
(4) 電波伝搬特性としての自由空間伝搬損を理解し計算できる.
(5) ディジタル変復調の原理を理解できる.
(6) 誤り率を計算し、特性を評価できる.
(7) 多値化および広帯域化の意義を理解できる.
(1) Understand the fundamental properties of signals in communication systems, and mathematically express them in time and frequency domains.
(2) Understand the fundamental properties of noise in communication systems, and mathematically express them in time and frequency domains.
(3) Derive the filter outputs of signals and noise.
(4) Calculate the free space path loss.
(5) Understand the fundamental principles of digital modulation and demodulation.
(6) Derive the error rate and evaluate the performance of the system.
(7) Understand the significance of multi-level and broadband schemes.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間試験 40%、期末試験 60%とし、達成目標の全体の達成度を総合的に評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 60 点以上
Midterm exam 40%, Final exam 60%.
S: Achieved all goals and obtained total points of both exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 90 % of goals and obtained total points of both exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of both exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained total points of both exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験(中間試験と期末試験の両方)を受験しない者は履修放棄とする。
Students have to take both midterm and final exams, otherwise will not be graded.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時対応．ただし，メールや講義後などに事前にアポイントメントを取ることが望ましい
Appoint a time slot via email.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(D4) A broad range of expertise and the operational capability in one of the following four professional courses of study:
2) Electrical Systems Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of electrical energy related to its generation, transportation, control, measurement, applications, and future system.
3) Integrated Electronics Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of electronics for integrated circuits, sensors, optical and electronic semiconductor devices.
4) Information and Communication System Course
Acquiring the basic skills, knowledge, and operation capability in the areas of high-frequency, analog hardware, digital hardware, and networking for information, communication, control, and measurement systems.

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
無線通信、移動通信、ディジタル通信、信号処理
Wireless communications, Mobile communications, Digital communications, Signal prosessing

(B13630190)制御工学[Control Engineering]

科目名[英文名]	制御工学[Control Engineering]				
時間割番号	B13630190	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	福村　直博 FUKUMURA Naohiro				
ナンバリング	CMP_BAC31322				

授業の目標

フィードバック制御系の基礎事項を学習した後に、システムの時間特性、制御系の設計法を習得し、さらに現代制御理論の基本的な事項を学ぶ。

This course provides the basis of feedback control system, stability and time characteristic of system, and design method for the control system. It also covers modern control theory.

授業の内容

1 週目　自動制御・ブロック線図
2 週目　フィードバック制御系の基礎
3 週目　ラプラス変換
4,5 週目　伝達関数
6,7 週目　基本要素の時間応答と周波数応答
8 週目　2次要素
9,10 週目　安定性
11 週目　フィードバック制御の特性（過渡特性と定常特性）
12,13 週目　周波数領域での制御系の設計
14 週目　システムの状態空間表現
15 週目　時間領域での制御系設計
16 週目　期末試験

1st week　Introduction of control system and block diagrams
2nd week　Introduction of feedback control system
3rd week　Laplace transformation
4th and 5th week　Transfer function
6th and 7th week　Time response and frequency response of basic elements
8th week　Second order element
9th and 10th week　Stability
11th week　Steady state and transient responses
12th and 13th week　Design of feedback control systems in frequency domain
14th week　State variable representation of systems
15th week　Design of feedback control systems in time domain
16th week　Final Exam

予習・復習内容

講義資料は事前に Dream Campus にて公開するので事前にダウンロードしておくこと。
演習の宿題を課すことがある。
Lecture material is disclosed to a Dream Campus System beforehand.
Homework is sometimes imposed.

関連科目

教科書に関する補足事項

講義資料は事前に Dream Campus よりダウンロードすること
Lecture material is exhibited in Dream Campus, so you should download it.

参考書 1	**書名**	制御工学　技術者のための、理論・設計から実装まで			**ISBN**	978-4-407-32575-1
	著者名	豊橋技術科学大学・高等専門学校制御工学教育連携プロジェクト	**出版社**	実教出版	**出版年**	2012

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）制御システムの基礎
1） システムの表現法（伝達関数とブロック線図）を理解できる
2）周波数応答の表示法としてのナイキスト線図、ボード線図を理解できる
3）ラウス・フルビッツとナイキスト安定判別法によってシステムの安定判別ができる
（2）システムの時間特性
1）過渡特性と定常特性を理解できる
2）速応性を理解できる
3）定常偏差を理解できる
（3）周波数領域でのフィードバック制御系の設計
1）周波数応答によるシステムを設計できる
（4） 状態方程式と状態フィードバック
1）制御系を表現する状態方程式を書きくだすことができる。
2）与えられた制御系に対して，その可制御性と可観測性を調べることができる。
3）極配置制御による安定な状態フィードバック系の係数ベクトルを計算できる。
4）状態観測器を用いた状態フィードバック系を構成することができる。
（1）Basic concept of control system
1) Understand representation of the system using transfer function and block diagram
2) Understand Nyquist diagram and Bode diagram as a representation of frequency responses
3) Be able to use Routh and Hurwitz stability criterion and Nuquist stability test to test the stability of a system
（2）Time response of system
1) Understand transient and steady state characteristics.
2) Understand responsiveness of systems
3) Understand steady-state error
（3）Design of feedback system in frequency domain
1) Be able to design feedback system in frequency domain
（4）State equation and state-feedback
1) Be able to describe state equation representing systems
2) Be able to check controllability and Observability of system
3) Be able to design state-feedback system using pole assignment method
4) Be able to design state-feedback system using state observer

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
達成目標の全体の達成を総合的に評価する期末試験（100 点満点）で評価する
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を85％達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を70％達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 55 点以上

The evaluation is based primarily on a final examination (100 points).
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained point of final exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 85 % of goals and obtained point of final exam, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 70 % of goals and obtained point of final exam, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日の16：20～17：50とするが、これ以外の時間でも在室時は随時質問等を受け付ける.
事前にメールなどで連絡することが望ましい.
Wendsnesday from 16:20 to 17:50

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
制御工学　フィードバック制御　伝達関数　システムの安定性　制御系の設計
Control Theory, Feedback Control, Design of Control System

(B13630200)インタフェースデザイン論[Interface Design]

科目名[英文名]	インタフェースデザイン論[Interface Design]				
時間割番号	B13630200	区分	情報・知能専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期	曜日時限	月 3～3	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	岡田　美智男 OKADA Michio				
ナンバリング	CMP_BAC33022				

授業の目標

ヒューマンインタフェース，ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、メディアデザインなどの歴史的な背景を把握するとともに，基本的な概念，ユーザビリティ，ユーザインタフェースデザイン，ユーザエクスペリエンスのデザインとその応用を学ぶ。

Fundamental and advanced issues on media design, human interface design and human-computer interaction will be discussed such as usability, user experience design, universal design, human errors, human model.

授業の内容

第 1-2 週:ガイダンス、ヒューマインインタフェースの歴史的背景を学ぶ
第 3-4 週:『誰のためのデザイン？』の議論に基づいて、使いやすさやユーザビリティの基礎を学ぶ
第 5-6 週:ユーザモデルとヒューマンエラーについて学ぶ
第 7-8 週:ユーザエクスペリエンスのデザインやメディアデザインについて学ぶ
第 9-10 週:ヒューマン・エージェント・インタラクション，ヒューマン・ロボット・インタラクション技術について学ぶ
第 11-12 週:志向姿勢，メディアの等式，パーシエイシブ技術について学ぶ
第 13-14 週:ソーシャルインタフェース技術について学ぶ
第 15 週:まとめ

(1-2) Guidance for the class, Historical background of Human-computer interaction and Human interface design.
(3-4) Fundamental issues for usability and accessibility in human interface.
(5-6) User-models and human errors.
(7-8) Media design and user-experience design.
(9-10) Human-agent interaction, Human-robot interaction.
(11-12) Design stance and intentional stance to the system's behaviors, persuasive technology.
(13-14) Social interface design.
(15) Summary and reflection.

予習・復習内容

講義資料を Web 上に公開するので、あらかじめ学習しておくこと。
Notes for the lectures will be uploaded on our class Web page.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜，関連資料を配布する.

Notes for the lectures will be uploaded on our class Web page.

参考書 1	書名	誰のためのデザイン?—認知科学者のデザイン原論			ISBN	
	著者名	ドナルド・A. ノーマン	出版社	新曜社	出版年	1990
参考書 2	書名	複雑さと共に暮らす—デザインの挑戦			ISBN	
	著者名	ドナルド・A. ノーマン	出版社	新曜社	出版年	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

メディアデザイン，ヒューマンインタフェース，ヒューマン・コンピュータインタラクションで用いられる、基本的な考え方，基礎技術とその応用領域、課題等を幅広く習得する。

Understanding fundamental and advanced issues for designing human interface and human-computer interface.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

(1) 授業への取組状況 20%
(2) 授業期間中に行うレポート、プレゼンの内容 40%

(3) 最終課題の内容 40%
(1) Attendance-late for the lectures (20%)
(2) Short reports in the lectures (40%)
(3) Final presentation and discussion (40%)

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
月曜日4時限
Mon.4

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード
メディアデザイン，ヒューマンインタフェース，ヒューマン・コンピュータ・インタラクション
Media design, Human interface, Usability, Human-errors, Human-Computer Interaction

(B13630210)ソフトウェア設計論[Software Design Methodology]

科目名[英文名]	ソフトウェア設計論[Software Design Methodology]				
時間割番号	B13630210	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	河合　和久 KAWAI Kazuhisa				
ナンバリング	CMP_BAC32222				

授業の目標

ソフトウェア開発の上流工程である要求分析・設計について、その基礎的な概念を理解し、基本的な方法論を習得することを目的とする。

This course aims to have students understand the principles of requirement analysis and design that are upper processes of software development and acquire their basic methodology.

授業の内容

本講義で取りあつかう予定の項目は、おおむね週ごとに、以下のとおりである。

1. ガイダンス／PT／概要
2. ソフトウェア開発概論
3. 開発プロセス
4. プロジェクト管理
5. 要求分析1
6. 要求分析2
7. 要求分析3
8. モデル化技法1
9. モデル化技法2
10. モデル化技法3
11. 仕様書1
12. 仕様書2
13. 構造化分析設計1
14. 構造化分析設計2
15. 構造化分析設計3
16. 期末試験

講義と演習を組み合わせてすすめていく。また、定期的に小テストを行なう。

Students will be expected to attend classes and complete assignments. There will be a final exam.
Week 1: Course introduction.
Week 2: Introduction to software development.
Week 3: Software development process.
Week 4: Project management.
Week 5: Requirement acquisition and analysis, 1.
Week 6: Requirement acquisition and analysis, 2.
Week 7: Requirement acquisition and analysis, 3.
Week 8: Modeling method, 1.
Week 9: Modeling method, 2.
Week 10: Modeling method, 3.
Week 11: Specification document, 1.
Week 12: Specification document, 2.
Week 13: Structured analysis and design technique, 1.
Week 14: Structured analysis and design technique, 2.
Week 15: Structured analysis and design technique, 3.
Week 16: Final exam.

予習・復習内容

受講生は、毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくる（毎週、課題レポートあ

り)ことが求められる。

Students will need to complete the assignment every week.

関連科目

先修しておくべき科目は、特にない。

Nothing in particular.

教科書に関する補足事項

WWWを用いて、適宜、資料、教材を指示、提供する。

本講義のWWW情報は、http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/sd/public/ にある。ただし、受講者むけの情報を中心とした内容で、おおむね開講期間のみの設置(一部アクセス制限あり)。

Students will be offered some course materials using WWW (http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/sd/public/).

参考書 1	**書名**	ソフトウェア工学の基礎			**ISBN**	978-4-320-12313-7
	著者名	神長裕明ほか	**出版社**	共立出版	**出版年**	2012

参考書に関する補足事項

達成目標

1. ソフトウェアのライフサイクルに基づいて、各開発フェーズの目的を、そこで作成される成果物とともに理解する。
2. オブジェクト指向分析・設計、構造化分析・設計、互いの違いを理解する。
3. 設計の原理に基づいて、複数のソフトウェア設計の品質を評価する項目について理解する。
4. 与えられた要求仕様について、一般的なプログラム設計方式および設計表記法を用いた設計を行ない、設計仕様書として記述できる(小規模プログラム)。

At the end of the course, students will:

1. be able to understand the purpose and products of each phase of software development life-cycle.
2. be able to understand object-oriented analysis and design, structured analysis and design, and the difference between them.
3. be able to understand the evaluation of software design products.
4. be able to design (small-scale) software by prevailing method.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験(50%)、課題レポート(30%)、小テスト(20%)をもとに、達成目標の達成度を総合的に評価し、下記のように成績を評価する。

S:90点以上、A:80点以上、B:70点以上、C:60点以上(B3生)

A:80点以上、B:65点以上、C:55点以上(B4生)

Weighting:
Final Examination 50%.
Reports 30%.
Quizzes 20%.
Grading scale(B3):
90% and above S
80% - 89% A
70% - 79% B
60% - 69% C
Grading scale(B4):
80% and above A
65% - 79% B
55% - 64% C

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

担当教官に関する情報

教官居室：F1-206
電子メイル：kawai@tut.jp
WWW：http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/

Lecturer's Room: F1-206.
E-Mail: kawai@tut.jp
WWW: http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜2時限と金曜2時限。

Wednesday 2nd period and Friday 2nd period in Room F1-206.

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

ソフトウェア工学　要求分析　設計
Software engineering, Requirements analysis, Design.

(B13630220)データベース[Database]

科目名[英文名]	データベース[Database]				
時間割番号	B13630220	区分	情報・知能専門Ⅱ	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	木 5～5	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	北崎　充晃 KITAZAKI Michiteru				
ナンバリング	CMP_BAC32422				

授業の目標

コンピュータにより大量のデータを効率よく管理、処理するデータベース管理システムの基本概念と、そのデータ設計、データ操作、データ管理手法について学ぶ。

The purpose of this course is to introduce the basic concepts of database management system, and its data design, data manipulation, and data management techniques.

授業の内容

1. データベースとは何か
2. リレーショナルデータモデル
3. リレーションスキーマ
4. リレーショナル代数演算
5. リレーショナル代数表現
6. データベース言語 SQL
7. データベース設計
8. 正規化理論
9. 高次の正規化
10. データベース管理システム
11. トランザクション
12. 障害時回復
13. 同時実行制御
14. データベース技術の応用
15. まとめ
16. 定期試験

1. What is a database?
2. Relational data model
3. Relation schema
4. Relational algebra
5. Relational algebra expression
6. Database language SQL
7. Database design
8. Normalization theory
9. Higher normal forms
10. Database management system
11. Transaction
12. Recovery
13. Concurrency
14. Applications of database technology
15. Summary
16. Exam.

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について教科書等を参考に予習してくること。

It is highly recommended to go through all the course materials provided on the course web for self-preparation and reviews.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Database System Concepts			**ISBN**	978-0071289597
	著者名	A. Silberschatz, H. F. Korth, S. Sudarshan	**出版社**	McGraw Hill Higher Education	**出版年**	2010
参考書 2	**書名**	データベース入門			**ISBN**	978-4781911403
	著者名	増永良文 著	**出版社**	サイエンス社	**出版年**	2006

参考書に関する補足事項

達成目標

・データベースとデータベース管理システムの基本概念が理解できる。
・リレーション、正規形、主キーなどの基本概念を理解し、必要な構造が表現(記述)できる。
・リレーショナル代数演算を理解し、代数表現を用いて基本的なデータ操作が記述できる。
・データベース言語 SQL を用いて、基本的なデータ操作が記述できる。
・データベース管理システムの標準的なアーキテクチャである3層スキーマ構造を理解できる。
・データベースを運用する際に不可欠となるトランザクション処理について理解できる。

They understand the basic concepts of databases and database management systems.
They understand the basic concepts of relation, normal forms, primary key.
They can write basic data operations using the algebraic expression.
They can write basic data operations using the database language SQL.
They understand the three-levels architecture of a database management system.
They understand the basic mechanism of transaction management.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間レポート 30%および記述・論述式の期末試験 70%によって総合的に評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつレポート課題・期末試験の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつレポート課題・期末試験の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつレポート課題・期末試験の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつレポート課題・期末試験の合計点(100 点満点)が 60 点以上
Grades will be based on reports from the interim report (30%) and the final examination (70%)
S: 90 points or higher (out of 100)
A: 80 points or higher (out of 100)
B: 70 points or higher (out of 100)
C: 60 points or higher (out of 100)

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業実施日の講義時間　前後

Before and after the lecture time in class date

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード

データベース、データベース管理システム、リレーショナル代数、SQL、正規化、トランザクション

Database, database management system, relational algebra, SQL, normalization, transaction

(B13630230)分子情報学[Chemoinformatics]

科目名[英文名]	分子情報学[Chemoinformatics]				
時間割番号	B13630230	**区分**	情報・知能専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	情報・知能工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	高橋　由雅 TAKAHASHI Yoshimasa				
ナンバリング	CMP_BAC31422				

授業の目標

化学関連分野における分野固有の情報処理技術の必要性を理解し、種々の分子情報システムを構築する上で不可欠となる分子構造処理のための基礎的事項、並びに化学構造処理アルゴリズムについて学ぶ。

The module provides an introduction to chemoinormatics and molecular informatics, which form the important basis of chemical information handing and computational reserch work in chemistry. Fundamental issues of chemical structure handling for the computer and the related matematiccal basis fprmolecular graphs in terms of graoph theory will be introduced, along with examples occurring in chemical structure handling required in computational research work.

There are no prerequisites for this module.

授業の内容

１週　分野固有の情報処理技術の必要性
２週　化学構造情報の表現(1)：線形表記、結合表
３週　化学構造情報の表現(2)：分子グラフと数学的表現
４週　分子グラフの符号化と同型判定（1）
５週　分子グラフの符号化と同型判定 (2)
６週　部分構造マッチング(1)：逐次探索法とセットリダクション法）
７週　部分構造マッチング(2)：Ullmann のアルゴリズム
８週　部分構造特徴解析
９週　環認識/環解析
１０週　トポロジカルシンメトリー
１１週　トポロジカルインデックス(1)：Wiener 数, Hosoya インデックス
１２週　トポロジカルインデックス(2)：Randic の分枝インデックスほか
１３週　化学構造の類似性評価
１４週　構造多様性とデータサンプリング
１５週　分子情報処理の課題と展望
１６週　定期試験
mation technology?
2nd week Representation of chemical structure information (1): fragment code, linear notation and connection table)
3rd week Representation of chemical structure information (2): molecular graph and mathematical representation
4th week Molecular graph isomorphism(1): vertex labelling
5th week Molecular graph isomorphism(2): Morgan's algorithm
6th week Substructure matching(1): atom-by-atom matching and set reduction method
7th week Substructure matching(2): Ullmann's subgraph isomorhism alorithm
8th week Strucrue feature analysis
9th week RIng perception/Ring analysis
10th week Topological symmetry of molecular graphs
11th week Topological indices(1): Wiener's index, Hosoya's index and Randic index
12th week Topological indices(2): Molecular connectivity indices
13th week Quantitative evaluation of structure similairty
14th week Structure diversity and data sampling
15th week Problems for the future in chemical information sciences
16th week Examination at the end of the term

予習・復習内容

講義資料については、毎週、事前に（前日までに）指定する URL から参照・ダウンロードできようにしますので、予習・復習に役立ててください。
Material of each class will be available in advaance by downloading from the class web site.

関連科目

線形代数、離散数学
linear algebra, descrete mathematics

教科書に関する補足事項

講義資料や板書はすべて英語。講義資料は前日までに指定 web サイト(初回の講義で指定)に提示する。受講者は事前に各自ダウンロードして講義に持参すること。

Lecture materials and board books are all in English. Materials will be made available in the form of hard copies or on the class website (to be announced).

参考書に関する補足事項

達成目標

1)化学構造表現とグラフ理論における基本概念と定義の対応関係を理解する。
2)分子グラフの隣接行列、結合行列、結合表が記述できる。
3)グラフ同型の概念と構造表現の規範化の必要性を理解する。
4)Morgan の符号化アルゴリズムを理解し、与えられた分子グラフの規範番号付けができる。
4)部分構造マッチングのための集合縮約(set reduction)アルゴリズムを理解する。
5)Ullmann のアルゴリズムを理解し、部分同型写像を表す写像行列を求めることができる。
6)分子グラフの対称性の概念を理解し、等価な頂点原子や結合辺を判定することができる。
7)分子グラフの代表的なグラフ不変量の定義を理解し、値を計算できる。
1) They learn graph representations of chemical structures.
2) They understand mathematical expressions and computer representation of chemical structures (adjacency matrix, connectivity matrix, and connection table)
3) They learn a basic concept of graph isomorphism and understand the need for canonical representation of molecular graphs.
4) They understand Morgan's algorithm for the canonical representation of a molecular graph..
5) They learn set reduction method and Ullmann's algorithm for substructure matching.
6) They lean graph invariants and topological indices derived from molecular graphs.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績評価は定期試験によって行う。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A:定期試験(100 点満点)の結果が 80 点以上
B:定期試験(100 点満点)の結果が 65 点以上
C:定期試験(100 点満点)の結果が 55 点以上
Written examination　100%
Total score for
A: 80-100
B: 65-79
C: 55-64

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

講義資料等の持込み不可
Closed books and materials.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

毎週金曜日、午後1:00－3:00

Friday 1:00-3:00 PM

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
分子情報、ケモインフォマティクス、分子グラフ、グラフマイニング、データマイニング
molecular informatics, chemoinformatics, molecular graph, graph maining、structure similairy

(B13630240)多変量解析論[Multivariate Analysis]

科目名[英文名]	多変量解析論[Multivariate Analysis]				
時間割番号	B13630240	区分	情報・知能専門Ⅱ	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	火 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	岡田　美智男 OKADA Michio				
ナンバリング	CMP_BAC31122				

授業の目標

統計解析および多変量解析の基本的な考え方，技法を EXCEL 等のソフトウェアを駆使しながら実践的に学ぶ．特に多変量解析の背後にある理論を理解し，多変量データを分析し活用できるようにする．

Understanding the foundation of statistical data analysis, especially multivariate data analysis and their practical data analysis techniques using the analysis tools and functions in Excel.

授業の内容

講義と演習から構成される。

(1-2 週) 統計解析の基礎，データの可視化，基本統計量

(3-4 週) 2変数間の相関，分散・共分散行列

(5-7 週) 回帰モデル，重回帰モデルとその分散分析による評価

(8-10 週) 判別分析，主成分分析

(11-12 週) 統計的な検定手法，t 検定，独立性検定，F 検定

(13-15 週) 総合課題

(1-2) Fundamental of descriptive statistics of data, visualization methods using the histogram and graph tools.

(3-4) Correlation between two variables, computation of co-variance matrix and correlation matrix.

(5-7) Linear single regression analysis and multiple regression analysis.

(8-10) Discriminant analysis and component principle analysis.

(11-12) Statistical hypothesis testing such as Multivariate Analysis of Variance, t-test, chi-square test.

(13-15) Practices for practical applications.

予習・復習内容

講義資料を Web 上で公開するので、その内容を事前に学習しておいてください。

Notes for the lectures will be uploaded on our class Web page.

Please use them for your preparation and review.

関連科目

教科書に関する補足事項

講義資料を Wiki に公開し，講義中に参照できるようにします．

Notes for the lectures will be uploaded on our class Web page.

参考書 1	書名	すぐわかるEXCELによる多変量解析			ISBN	
	著者名	内田治	出版社	東京図書	出版年	2000

参考書に関する補足事項

達成目標

①統計解析の基礎を理解する

②相関，回帰分析，重回帰分析を理解し、活用できるようにする

③統計的検定の考え方を理解し，活用できるようにする

④判別分析や主成分分析を理解し、活用できるようにする

(1) Understanding fundamental issues of multivariate data analysis.

(2) Learning practical ways for multivariate data analysis using Excel statistical functions and tools.

(3) Getting fundamental knowledge of statistical hypothesis testing, linear regression analysis and multiple regression analysis, discriminant analysis and principle component analysis.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

(1) 授業への取組 (30%)

(2) 授業内での課題提出(40%)，考察の内容(30%)：実際のデータサンプルを与えるので、それを整理・分析して Wiki のページを介して提出する。

(1) Attendance-late for the lectures (30%)

(2) Short practice reports in the lectures (40%)

(3) Contents of the consideration for your analysis data (30%)

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
火曜日４限
Tue.4

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)情報・知能工学の基礎となる数学，データ構造とアルゴリズム，計算機アーキテクチャ，プログラミング，情報ネットワーク等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.
(D1) Acquire knowledge in various disciplines underlying computer science and engineering, including mathematics, data structure and algorithm, computer architecture, programming, and information network; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving

キーワード
多変量データ解析，主成分分析，回帰分析，重回帰分析，判別分析
Descriptive statistics of data, Multivariate data analysis, Statistical hypothesis testing, Multivariate Analysis of Variance, t-test, chi-square test, multiple regression analysis, discriminant analysis

(B14510010)基礎物理化学Ⅰ[Basic Physical Chemistry 1]

科目名[英文名]	基礎物理化学Ⅰ[Basic Physical Chemistry 1]				
時間割番号	B14510010	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	松本　明彦 MATSUMOTO Akihiko				
ナンバリング	ENV_BAC11012				

授業の目標

物質の状態変化や化学反応を，熱力学的観点から考察するための基礎を修得する。このために，熱力学で必須の概念である平衡，熱，仕事，エンタルピー，エントロピー，自由エネルギーなどについて理解し，それらがどのように状態変化や化学反応に関係するかを学ぶ。

This class aims understanding fundamental concept of thermodynamics to learn phase transitions and chemical reactions of materials.

授業の内容

熱力学がどのような場面でどんな事を予測・理解するのに役立つものなのかを，幾つかの具体例を挙げて解説し，熱力学の有用性について理解をはかる。その後順次，各熱力学関数の内容と計算法を学び，化学の問題に適用して行く。

講義内容と順序は次のように予定している。
1週目 熱力学の活躍する場面
2週目 平衡、釣り合い、可逆
3週目 自由エネルギーの性質－1
4週目 純物質の相変化
5週目 熱力学第1法則（1）
6週目 熱力学第1法則（2）
7週目 定圧熱容量と定容熱容量
8週目 中間試験
9週目 反応熱
10 週目 可逆過程と不可逆過程
11 週目 エントロピー
12 週目 熱力学第2法則
13 週目 熱力学第3法則
14 週目 自由エネルギーの性質－2(1)
15 週目 自由エネルギーの性質－2(2)
16 週目　定期試験

1st week　Thermodynamics and our life
2nd week　Equilibrium, balance, reversible change
3rd week　Features of free energy-1
4th week　Phase change of pure substances
5th week　The first law of thermodynamics(1)
6th week　The first law of thermodynamics(2)
7th week　Heat capacities at constant pressure and constant volume
8th week　Mid-term exam
9th week　Reaction heat
10th week　Reversible and Non-reversible processes
11th week　Entropy
12th week　The second low of thermodynamics
13th week　The third low of thermodynamics
14th week　Property of Free energy-2(1)
15th week　Property of Free energy-2(2)
16th week　The final exam

予習・復習内容

予習は教科書をよく読み，内容を理解しておくようにする。復習は講義内容を見直すとともに，教科書の例題，章末の問題を解いてみることで理解を深めることができる。章末の問題は，教科書の内容を理解しただけでは難しいものも多い。この場合は図書館などに配架されている，熱力学や物理化学の書籍を参考にすると良い。

Self preparation and review based on text book and reference books are strongly recommended.

関連科目

基礎物理化学 II(基礎物理化学 I とあわせて物理化学の基礎を学ぶために構成された科目のため，受講することが望ましい。)
Basic Physical Chemistry II and Physical Chemistry

教科書に関する補足事項

講義はこの教科書に沿って，板書を主に英語で行う。
適宜資料を配布する。
Additional handouts will be provided in classes.

参考書 1	**書名**	Atkins' Physical Chemistry; 10th Revised Edition			**ISBN**	978-0199697403
	著者名	Peter Atkins and Julio De Paula	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	アトキンス 物理化学（上）			**ISBN**	978-4807906956
	著者名	Julio de Paula・Peter Atkins 著，千原・中村 訳	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2009
参考書 3	**書名**	Student Solutions Manual to Accompany Atkins' Physical Chemistry; 10th Revised Edition			**ISBN**	978-0198708001
	著者名	C. Trapp, M.I. Cady,C. Giunta	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	2014
参考書 4	**書名**	「入門化学熱力学 － 現象から理論へ －」			**ISBN**	
	著者名	山口 喬 著	**出版社**	培風館	**出版年**	

参考書に関する補足事項

参考書 1 は，環境・生命工学課程3年次の物理化学の教科書
参考書 2 は，参考書 2 の旧版の翻訳版
参考書 3 は，参考書 2 の問題の解説と解答例。数値，計算に誤りが多いので注意しながら使うと良い
その他，図書館に配架の物理化学の教科書・参考書
Reference book 1 is the text book of the lecture "Physical Chemistry".
Reference book 2 is the Japanese-transnational version of the original 8th edition.
Reference book 3 is a solution manual of exercises and problems in the text book. (N.B. There are several numerical errors and mistakes in calculation.)
Other books on physical chemistry in the university library

達成目標

(1) 熱力学的な系，平衡，自由エネルギーについて理解する。
(2) 熱力学法則を理解し，簡単な熱力学計算ができる。
(3) 簡単な反応系の安定相を予測できる。

(1) Understanding of concepts of thermodynamic systems, equilibrium and free energy
(2) Understanding of the lows of thermodynamics, and evaluating basic thermodynamic state functions by calculations
(3) Predicting a stable phases of simple reaction systems

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：原則としてすべての授業に出席した者について中間試験，期末試験を実施する。
中間試験（配点 100 点）と期末試験（配点 100 点）の結果を 50%ずつの割合で総合的に評価する。

評価基準：下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ中間試験・期末試験の平均点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ中間試験・期末試験の平均点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつ中間試験・期末試験の平均点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ中間試験・期末試験の平均点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be able to take mid-term and final exams.
The grade point will be evaluated based on the average point of the two exams as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

中間試験と期末試験を実施する。
範囲は，それぞれの試験の直前回までの講義で扱った部分までとする。
試験の際の注意事項は以下のとおり。
1. 解答には関数電卓を使用してよい。
2. 机上には筆記用具，学生証，関数電卓を置いてよい。その他のものは鞄に入れて机の脇に置くこと。
3. 携帯電話・スマートフォンは電源を切り，鞄に入れておくこと。
4. 答案用紙には解答に至る計算過程を記すこと。解答用紙の表面に書ききれないときは裏面を使ってよい。
5. 試験開始後 30 分から試験終了5分前までに答案用紙を提出して退室してよい。その際は，自分の持ち物を持って席を離れ，提出後に席に戻らないこと。

There will be one ninety-minutes examinations during the term and a regularly scheduled final examination. All of the exams will be closed-notes and closed-book.
Student may use a scientific calculator during the exam.

その他

担当教員：松本明彦　研究室：B-505, E-mail：　aki*at*ens.tut.ac.jp(*at*の部分を@に変えて送信してください)
Prof. in charge: Akihiko Matsumoto, Lab room#:B-505, E-mail：　aki*at*ens.tut.ac.jp (When text, replace ″*at*″ to ″@″)

ウェルカムページ

オフィスアワー

在室時は随時受け付けます。
At any time but booking is required in advance. E-mail: aki followed by ″@ens.tut.ac.jp″

学習・教育到達目標との対応

未来環境コース：C
生命・物質コース：C,D2

Sustainable Development Course：C
Life and Materials Science Course：C, D2

キーワード

熱力学　比熱　熱容量　自由エネルギー　平衡　エントロピー
Thermodynamics, Specific heat, Heat capacity, Equilibrium, Entropy

(B14510020)基礎分析化学Ⅰ[Basic Analytical Chemistry 1]

科目名[英文名]	基礎分析化学Ⅰ[Basic Analytical Chemistry 1]				
時間割番号	B14510020	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	齊戸　美弘 SAITO Yoshihiro				
ナンバリング	ENV_BAC11012				

授業の目標

分析化学の基礎的な知識を修得することを目的とする。

Clear understanding of basic analytical techniques widely employed in modern analytical chemistry.

授業の内容

本講義は、各種分析方法の基本原理、機器分析法の概論としての装置、およびその実際への応用について概説してその理解を深める。

1　物質と電磁波の相互作用
2　分子スペクトル分析法の原理と装置
3　定量的計算とベアーの法則
4　電磁波を利用する各種機器分析法の原理と装置
5　分離科学とその応用技術
など

Outline of this lecture:
1) Fundamentals of electromagnetic wave;
2) Spectroscopic analysis of molecules;
3) Quantification on the basis of Beer's law; and
4) Various analytical techniques using electromagnetic wave.
5) Separation Techniques

予習・復習内容

あらかじめ授業資料を熟読し、概要を把握するとともに、講義終了後の復習をすることを前提として授業を進める

Printed materials will be provided.

関連科目

基礎分析化学Ⅱ、分析化学、分離科学、など

Basic Analytical Chemistry 2, Analytical Chemistry, Separation Science

教科書に関する補足事項

授業資料を配布する。

参考書 1	**書名**	Analytical Chemistry, 7th Edition			**ISBN**	978-0-470-88757-8
	著者名	G. D. Christioan, P. K. Dasgupta, K. A. Schug	**出版社**	Wiley	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項

達成目標

分光の原理の習得
エネルギー量子化の基本概念の習得
吸光と発光の原理の習得
ベアーの法則の理解
紫外可視分光法および蛍光光度法の理解
クロマトグラフィーの基本

Clear understanding of the following items:
1) Spectroscopic analytical methods;
2) Absorption and emission of electromagnetic wave
3) Beer's law
4) Chromatographic Techniques

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験（100点満点）で評価する。
評価基準：原則として、全ての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S: 達成目標を完全に達成しており，かつ試験 100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を十分に達成しており，かつ試験 100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標をよく達成しており，かつ試験（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標をかなり達成しており，かつ試験（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved almost all of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved majority of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved most of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
その他
Other

定期試験詳細
授業中に小テスト等を実施するとともに、定期試験を実施することを原則とする。
Some short examinations might be scheduled during the regular lecture.

その他
部屋番号: B-402
内線番号: 6803

ウェルカムページ

オフィスアワー
平日　午前 8 時から 9 時、午後 4 時から 5 時

8:00 a.m. to 9:00 a.m. and 4:00 p.m. to 5:00 p.m.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

(B14510050)プロジェクト研究[Research Project]

科目名[英文名]	プロジェクト研究[Research Project]				
時間割番号	B14510050	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	S4系教務委員 4kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ENV_BAC28010				

授業の目標

環境・生命工学の各分野の実験を通じて、基礎的実験技術と知識を習得するとともに研究遂行のための基礎的能力（実験設計、データの整理や研究成果の発表の方法等）を養う。

In the course, the students will perform a fundamental research on the environmental and life sciences under the direction of his/her supervisor in the laboratory. The aims of this lessen are to acquire the knowledge and experimental and analytical skills required for his/her research subject. The students will acquire the skills and capacities of presentation by discussing in the final presentation.

授業の内容

環境・生命工学の各教員が提示する研究テーマのなかから1つを選び、その教員の研究室で研究を行う。研究成果は学期後半にまとめて発表を行う。なお、テーマは実施前に提示する。

The students are required to have his/her research subject under the direction of his/her supervisor and perform his/her research by acquiring the experimental and analytical skills in the laboratory. The students will be expected to learn the scientific and social background of his/her research subject by collecting and reading the references relating to his/her research.

予習・復習内容

担当教員により必要な図書、文献などが教示され、また研究テーマに関する資料が事前に配布されるので、熟読・予習し、研究の経過とともに復習に積極的に取り組むこと。

関連科目

環境・生命工学課程で開講されているすべての専門科目

教科書に関する補足事項

各教員で実験資料を作成し、配布する。

参考書に関する補足事項

Supervisor will recommend textbooks, papers, and research materials to students.

達成目標

（1）実験技法・計測技法の基本原理を理解する。
（2）実験機器・器具の用途などを理解する。
（3）実験機器・器具を正しく安全に取り扱うことができる。
（4）実験で得られたデータの整理、レポートの作成ができる。

To master fundamental experimental techniques and analytical skills required for research on a given field of environmental and life sciences.
To be able to present and discuss on the results of his/her research.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

実験の実施と最終レポートに対し、下記のような基準で成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており、実施とレポートの評価の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A: 達成目標をすべて達成しており、実施とレポートの評価の合計点（100 点満点）が 80 点以上。
B: 達成目標をかなり達成しており、実施とレポートの評価の合計点（100 点満点）が 70 点以上。
C: 達成目標をいくつか達成しており、実施とレポートの評価の合計点（100 点満点）が 60 点以上。

The score of the course is based on the report and the presentation. (the quality of his/her research, presentation skills, discussions and answering the questions on his/her presentation etc).

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved majority of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved most of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
担当教員：研究を担当する各教員（連絡先は、環境・生命工学系ホームページを参照すること）。

各テーマへの配属、本科目全般の進行等に関する問い合わせ：
平成 30 年度学部 2 年次担任（柴富一孝）：B-507 （内線 6810） 電子メール：shiba@ens.tut.ac.jp

一般的な問い合わせ：
平成 30 年度教務委員（高島和則）：G-504 （内線 6919） 電子メール：takashima@ens.tut.ac.jp
Faculty in charge of this subject:
Associate Professor Kazutaka SHIBATOMI; Room B-507; Ext. 6810; E-mail: shiba@ens.tut.ac.jp

Curriculum Committee in Department of Environmental and Life Sciences:
In FY 2018: Professor Kazunori TAKASHIMA; Room G-504; Ext 6919, E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ
環境・生命工学系ホームページ http://ens.tut.ac.jp/
http://ens.tut.ac.jp/en/

オフィスアワー
各教員のオフィスアワーに質問等を受け付ける。また電子メールでも逐次受け付ける。
Students are encouraged visiting by appointment.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
（G）チームで仕事をするための能力
チームの一員としての自己の役割を自覚し，周囲と協働して自分が行うべき責務を行い，プロジェクトを完成させる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D4) (Sustainable Development Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under givenrestrictions
Life and Materials Science Course
(D4) (Materials and Life Sciences Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks undergiven restrictions
(G) Ability to work with a team
Have the ability to complete projects while being aware or the roles to play as a team member and performing one's own duties in cooperation with those around oneself

キーワード
環境・生命工学、実験技術、データ整理、レポート作成、研究基礎

(B14510060)環境・生命工学基礎実験[Laboratory Experiments on Environmental and Life Sciences]

科目名[英文名]	環境・生命工学基礎実験[Laboratory Experiments on Environmental and Life Sciences]				
時間割番号	B14510060	**区分**	応用化学・生命専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	東海林　孝幸, 田中　照通, 髙島　和則, 柴富　一孝 TOKAIRIN Takayuki, TANAKA Terumichi, TAKASHIMA Kazunori, SHIBATOMI Kazutaka				
ナンバリング	ENV_BAC28012				

授業の目標

環境・生命工学において必要とされる先端環境技術分野、生態工学分野、生命工学分野、分子機能化学分野に関する課題について実験し、これら分野に必要な実験操作を習熟し、専門課程科目の学習に必要な基礎的能力を習得させることを目標とする。

To acquire the basic experimental techniques for the research in Advanced Environmental Technology, Ecological Engineering, Bioscience and Biotechnology, and Molecular Chemistry.

授業の内容

下記の課題について実験を行う。

・先端環境技術分野に関する課題
・生態工学分野に関する課題
・生命工学分野に関する課題
・分子機能化学分野に関する課題

1. Orientation (T. Tokairin)
2～4. Research subjects in Advanced Environmental Technology (K. Takashima).
5～7. Research subjects in Ecological Engineering (T. Tokairin).
8. Report
9～11. Research subjects in Bioscience and Biotechnology (T. Tanaka).
12～14. Research subjects in Molecular Chemistry (K. Shibatomi).
15. Report

予習・復習内容

それぞれの課題に関する実験書・資料が配布されるので、予め熟読・理解し、実験終了後はそれらの読解とともに復習に努めること。

Read the textbook before/after each class.

関連科目

物理学、化学、生物学、数学などの基礎科目

教科書に関する補足事項

実験書：初回のガイダンスの際に配布する。
参考資料：必要に応じて配布する。

Textbook will be given at the Orientation.

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 実験に取り組む態度（実験室でのマナーを含む）
(2) 実験レポートの書き方
(3) 実験操作の習熟
(4) 各課題の意義と解析方法の理解

1) take a serious approach to the research
2) make out a report for each research topic
3) acquire the basic experimental techniques
4) understand the background and theoretical concept of the research topic

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved two of goals and obtained points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved one goal and obtained points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved one goal and obtained points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
平成 29 年度とりまとめ担当：
東海林孝之　G-405（内線 6911）　電子メール：tokairin@ens.tut.ac.jp
平成 30 年度講師とりまとめ担当：
後日連絡予定

一般的な連絡は下記まで
平成 29 年度教務委員: 高島　和則; G-504 (内線 6919);　電子メール：takashima@ens.tut.ac.jp
平成 30 年度教務委員: 後日連絡予定
Faculty in charge of this subject:
In FY2017: Lecturer Takayuki TOKAIRIN; Room #: G-405; Ext.: 6911; E-mail: tokairin@ens.tut.ac.jp
In FY2018: TBA

For general inquiry：
In FY2017: Professor Kazunori TAKASHIMA; Room #: G-504; Ext.: 6919; E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp
In FY2018: TBA

ウェルカムページ
環境・生命工学系ホームページ：http://ens.tut.ac.jp/

オフィスアワー
実験内容については、あらかじめ各課題の担当教員に連絡のこと。科目全体に関する相談は、教務委員に連絡のこと。

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード
環境、生命、先端環境技術、生態工学、生命工学、分子機能化学

(B14510080)基礎電気電子工学[Fundamental Electric and Electronic Engineering]

科目名[英文名]	基礎電気電子工学[Fundamental Electric and Electronic Engineering]				
時間割番号	B14510080	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	髙島　和則, 有吉　誠一郎 TAKASHIMA Kazunori, ARIYOSHI Seiichiro				
ナンバリング	ENV_BAC21010				

授業の目標

講義および問題演習を通じて、静電気学を中心とする電気磁気学の基礎を学ぶ。

To understand and develop skills for solving problems on fundamental electrostatics.

授業の内容

１－３週目　　クーロンの法則および問題演習・単元末試験
４－６週目　　ガウスの法則および問題演習・単元末試験
７－９週目　　電位および問題演習・単元末試験
１０－１２週目　導体および接地、鏡像法、問題演習・単元末試験
１３－１５週目　コンデンサーおよび静電場のエネルギー、問題演習・単元末試験

week 1 – 3　Coulomb's law (lectures, exercise lesson and quiz)
week 4 – 6　Gauss' law (lectures, exercise lesson and quiz)
week 7 – 9　Electric potential (lectures, exercise lesson and quiz)
week 10 – 12　Conductors, ground and method of images (lectures, exercise lesson and quiz)
week 13 – 15　Capacitor and electrostatic energy (lectures, exercise lesson and quiz)

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

必要に応じて資料を配布

Handout will be given as needed

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）クーロンの法則およびガウスの法則を理解し運用する。
（2）電位を理解し運用する。
（3）導体を理解する。
（4）コンデンサと静電エネルギーを理解する。
1. To understand Coulomb's law and Gauss' law
2. To understand electric potential
3. To understand conductors
4. To understand capacitor and electrostatic energy

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験（含単元末試験）により評価する。
評価基準：原則的に下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 100 % of goals and obtained point of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained point of exams, 80 or higher (out of 100 points).

B: Achieved 70 % of goals and obtained point of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained point of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

高島和則 ー 居室: G-504、内線番号: 6919、メールアドレス: takashima@ens.tut.ac.jp
有吉誠一郎 ー 居室: G-404、内線番号: 6908、メールアドレス: ariyoshi@ens.tut.ac.jp
Dr. Kazunori Takashima
Office: G-504 (phone 6919)
E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp

Dr. Seiichiro Ariyoshi
Office: G-404 (phone 6908)
E-mail: ariyoshi@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

記述なし

オフィスアワー

随時応対可
ただし、事前にメールにて連絡すること。

Make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

(B14510090)基礎有機化学Ⅰ[Basic Organic Chemistry 1]

科目名[英文名]	基礎有機化学Ⅰ[Basic Organic Chemistry 1]				
時間割番号	B14510090	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	伊津野　真一, 岩佐　精二 ITSUNO Shinichi, IWASA Seiji				
ナンバリング	ENV_BAC11010				

授業の目標

有機化合物の化学(有機化学)の大学における最初の講義として有機化合物の種類とその命名法や性質を学び、合成法や反応を有機電子論を活用して理解できるようになること。

This class will give an overviews of basic organic compounds and their importance in life and help your understanding as for organic compounds based on chemical bonding and their structure.
And also will give an overviews of basic properties, nomenclature and chemical reactions(synthetic methods and typical reactions) of basic organic compounds such as alkanes, alkenes, alkines, diens, polyenes, aromatic compounds, organohalo compounds. Especially, electronic theory of organic chemistry is useful for the understanding of each chemical reactions.

授業の内容

有機化合物の概要と実生活との関連について述べる。
次に有機化合物を理解する上で必須である化学結合と構造について学ぶ。
さらに最も基本的な有機化合物であるアルカン、アルケン、アルキン、ジエン、ポリエン、芳香族化合物、有機ハロゲン化合物などについて、その基本的な性質や命名法と反応(合成法と代表的な反応)を系統的に解説する。とくに反応の理解に有機電子論を活用する。
第1週:第1章　有機化学とは何か、第2章　有機化学の基礎
第2週:第3章　化学結合と電子構造、第4章　電子の動きと共鳴
第3週:演習
第4週:第5章　構造式と化合物の分類および命名
第5週:第6章　シス―トランス異性と立体配座
第6週:第7章　キラル炭素と鏡像異性
第7週:中間試験
第8週:第8章　有機化学反応の分類と進み方
第9週:第9章　アルカンのラジカル反応
第10週:第10章　ハロアルカンの求核置換反応
第11週:第11章　アルケンの求電子付加反応
第12週:第12章　ベンゼンの構造
第13週:第13章　ベンゼンの求電子置換反応
第14週:第14章　カルボニル化合物と求核付加反応　第15章カルボン酸と誘導体
第15週:定期試験

前半を伊津野が担当、後半を岩佐が担当する。

This class will give an overviews of basic organic compounds and their importance in life and help your understanding as for organic compounds based on chemical bonding and their structure.
And also will give an overviews of basic properties, nomenclature and chemical reactions(synthetic methods and typical reactions) of basic organic compounds such as alkanes, alkenes, alkines, diens, polyenes, aromatic compounds, organohalo compounds. Especially, electronic theory of organic chemistry is useful for the understanding of each chemical reactions.

1:Chapter 1　What is organic chemistry、Chapter 2　Basic organic chemistry
2:Chapter 3　Chemical bonding and electronic structure、Chapter 4　Movement of electron and resonance
3:Practice
4:Chapter 5　Molecular structure,　classification of organic compounds and their nomenclature
5:Chapter 6　Cis―trans isomer and conformation
6:Chapter 7　Chiral carbon and enantiomers
7:Examination
8:Chapter 8　Classification of organic reactions and their mechanism

９:Chapter 9 Radical reactions of alkanes
１０:Chapter 10 Nucleophilic substitution reactions to halo alkanes
１１:Chapter 11 Electrophilic addition reactions to alkenes
１２:Chapter 12 Structure of benzene
１３:Chapter 13 Electrophilic substitution reactions of benzene
１４:Chapter 14 Carbonyl compounds and nucleophilic addition reactions、 Chapter 15 Carboxylic acids derivatives
１５:Examination

the first of half: Prof. Itsuno
the second of half: Prof. Iwasa

予習・復習内容
予習:教科書(川端　潤 著、ビギナーズ　有機化学)を読んでくること。
復習:章末問題を解答してみること。

関連科目
基礎有機化学 II

Basic Organic Chemistry II

教科書 1	**書名**	ビギナーズ　有機化学			**ISBN**	
	著者名	川端　潤	**出版社**	化学同人	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
1)有機分子の水素と炭素を省略した記述法、すなわち線表示式や多角形式を完全に理解する。
2)有機化合物の構造を立体的に捉えることができる。
3)有機化合物の反応について有機電子論で理解する。
4)結合の離合を矢印による電子の移動によって有機電子論的に理解する。

1)To understand how to draw of organic molecules
2)To understand stereochemistry of organic molecules
3)To understand the mechanism of each chemical processes
4)To understand chemical process using electronic theory of organic chemistry

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法:中間試験(2回)と期末試験で評価を行う。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記の成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が90点以上
A:達成目標の 80%を達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が80点以上
B:達成目標の 70%を達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が70点以上
C:達成目標の 60%を達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が60点以上
Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
伊津野　B-502, 6813, itsuno@ens.tut.ac.jp
岩佐　B-506, iwasa@ens.tut.ac.jp
Itsuno: B-502, 6813, itsuno@ens.tut.ac.jp
Iwasa: B-506, iwasa@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://ens.tut.ac.jp/chiral/
http://ens.tut.ac.jp/orgchem/
http://www.tutms.tut.ac.jp/STAFF/IWASA/index.html.ja

http://ens.tut.ac.jp/chiral/
http://ens.tut.ac.jp/orgchem/
http://www.tutms.tut.ac.jp/STAFF/IWASA/index.html.ja

オフィスアワー

オフィスアワー：質問、意見等随時受けます。

anytime

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

有機反応、有機電子論
organic reaction、organic compound

(B14510100)基礎無機化学Ⅰ[Basic Inorganic Chemistry 1]

科目名[英文名]	基礎無機化学Ⅰ[Basic Inorganic Chemistry 1]				
時間割番号	B14510100	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	水嶋　生智 MIZUSHIMA Takanori				
ナンバリング	ENV_BAC11010				

授業の目標

無機化学の基礎となる、原子の電子配置と性質、化学結合、固体の構造と性質、基礎無機反応について理解する。

The objective of the coursework is to understand basic inorganic chemistries including electronic configurations and chemical properties of atoms, chemical bonding, structures and properties of solids, and basic inorganic reactions.

授業の内容

1. 原子の構造
2. 電子の軌道と量子数
3. 電子配置
4. 元素の一般的性質と周期性、演習
5. 共有結合
6. 共有結合と軌道
7. 混成軌道
8. 分子の立体構造と極性
9. 分子の対称性、演習
10. 中間試験
11. 結晶構造
12. イオン性固体における結合と性質
13. 金属における結合と性質、演習
14. 酸と塩基
15. 酸化と還元、演習
16. 定期試験

1. Atomic structure
2. Electronic orbitals and quantum numbers
3. Electronic configuration
4. General properties of elements and their periodicity, Practice
5. Covalent bonding
6. Covalent bonding and molecular orbitals
7. Hybrid orbital
8. Conformation and polar character of molecules
9. Symmetric properties of molecules, Practice
10. Examination
11. Crystal structures
12. Ionic bonds and their properties
13. Metallic bonds, Practice
14. Acid and base
15. Oxidation and reduction, Practice
16. Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容について予習すること

Preparing for and reviewing the classwork are required.

関連科目

基礎無機化学Ⅱ

Basic Inorganic Chemistry 2

教科書 1	**書名**	基本無機化学(第 3 版)			**ISBN**	
	著者名	荻野　博、飛田　博実、岡崎 雅明	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)原子の構成、電子配置、および元素の一般的性質と周期性を理解する。
2)共有結合と軌道、分子の立体構造と極性との関係を理解する。
3)結晶構造、イオン性固体における結合、金属における結合と性質を理解する。
4)基礎無機反応（酸と塩基、酸化と還元）を理解する。
1) Understanding of atomic constitution, electronic configuration, and general properties of elements and their periodicity.
2) Understanding of covalent bonding, molecular orbitals, conformation and polar character of molecules.
3) Understanding of crystal structures, ionic bonds and their properties, and metallic bonds.
4) Understanding basic inorganic reactions (acid and base, oxidation and reduction)

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法
試験 80%、 レポート 20%

評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標を 90%以上達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Evaluation method
Examination 80%, Report 20%

Evaluation basis
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 90% of goals and obtained total points of the examinations, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of the examinations, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of the examinations, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of the examinations, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業中および終了時、または随時。
電子メールによる質問等も歓迎する。
I invite questions in and after the class, or as needed.
I also welcome questions via e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science,

information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

(B14510110)基礎生命科学Ⅰ[Basic Biochemistry 1]

科目名[英文名]	基礎生命科学Ⅰ[Basic Biochemistry 1]				
時間割番号	B14510110	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期1	**曜日時限**	月4～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	沼野　利佳 NUMANO Rika				
ナンバリング	ENV_BAC11010				

授業の目標

生命科学は、現在目覚ましい発展を続ける生物科学を基礎とし、それを正しく医学医療・環境保全・産業技術などに結びつけることにより人類の福祉に寄与する学問である。生命科学の理解を深めるために必要となる生化学や分子生物学の基礎、さらに代表的な生体分子の種類、構造、機能に関する知識を習得することを目的とする。

Life sciences contribute to human healthcare via understanding the structures and functions of important biomolecules such as nucleic acids, proteins, carbohydrates. This course will provide the students with the opportunity to study on basic biochemistry and life sciences.

授業の内容

各週2コマの授業について、以下のテーマで講義を実施する。

1週目　生化学の基礎、水の化学
2週目　質量作用の法則、酸と塩基、pH、緩衝液
3週目　立体化学とアミノ酸
4週目　ペプチド結合およびポリペプチド鎖の化学的性質
5週目　核酸とDNA複製
6週目　転写
7週目　翻訳(タンパク質合成)
8週目　復習、定期試験

This course will be given by two instructors (Numano).

1st week: Introduction of biochemistry, chemistry of water
2nd week: Law of mass action, pH, acids and bases, buffers
3rd week: Basic stereochemistry, amino acids
4th week: Chemical property of peptide bond and the polypeptide chain
5th week: A nucleic acid and DNA replication
6th week: Transcription
7th week: Translation
8th week: Review/Term-end Examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに次回の内容について教科書を読み予習すること。
復習(自習)のための練習問題を配付します。
Problem-solving exercise will be provided after every class for self review.

関連科目

生物学、基礎生化学、基礎生命科学Ⅱ、生命科学、遺伝子工学、分子生物学Ⅰ,Ⅱ、応用微生物学

Biology, Besic Biochemistry, Basic Biochemistry 2, Life Science and Chemistry, Genetic Engineering, Molecular Biology 1, 2, Applied Microbiology

教科書1	**書名**	ホートン　生化学(第5版)			**ISBN**	978-4-8079-0834-9
	著者名	L.A. Moran, H.R. Horton, K.G. Scrimgeour, M.D. Perry 著、鈴木紘一、笠井献一、宗川吉汪　監訳	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	ベーシック　生化学			**ISBN**	
	著者名	畑山	**出版社**	化学同人	**出版年**	2009
参考書 2	**書名**	理工系学生のための生命科学・環境科学			**ISBN**	
	著者名	榊、平石編	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）生命の基となる主要な元素や分子、pH、緩衝液を理解できる。
（2）光学異性体などを理解できる。
（3）標準アミノ酸（タンパク質を構成する20種）の構造をかくことができる。
（4）生命を支える多糖類やタンパク質（一次構造）を正しくイメージできる。
（5）遺伝物質 DNA から、生体物質のタンパク質が合成される仕組みを理解できる。

1. To understand important elements and biomolecules, chemical properties of water, pH, and buffer
2. To understand chirality in amino acids and sugars
3. To be able to draw structural formula of standard amino acids
4. To understand structures and functions of carbohydrates and proteins
5. To understand central dogma (from DNA to protein)

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：期末試験により評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
[Evaluation method] Term-end examination 100%

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

沼野利佳　G-407 室、内線 6902、メールアドレス：numano@ens.tut.ac.jp

Dr. Rika Numano:Room: G-407, Phone: 6902, E-mail: numano@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業実施日の講義時間前後や休み時間に随時。その他の日時の場合は事前に E-メールや電話で予約してください。

Please make an appointment.

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード
水、生物、アミノ酸、タンパク質、DNA
water, living things, amino acid, protein, DNA

(B14510130)基礎技術科学英語Ⅱ[Basic English for science and technology 2]

科目名[英文名]	基礎技術科学英語Ⅱ[Basic English for science and technology 2]				
時間割番号	B14510130	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	岩佐　精二 IWASA Seiji				
ナンバリング	ENV_BAC21012				

授業の目標

化学に関する英文の意味を正しく理解し、その科学的内容を正しく理解する能力を養う。
化学に関する基本的な事柄を英語で表現できる。
Understand proper meaning of scientific literature in chemistry.
Acquire the writing skill of basic sentences about chemistry.

授業の内容

この科目は各教員が分担して、前期1および前期2に講義する。各教員とも教科書および各分野における英文テキストの輪読を行なう。なおテキストの Paragraph １～21は各自自習すること。

前期1：
１週目　Paragraph 22～24
２週目　Paragraph 25～28
３週目　Paragraph 29～31
４週目　Paragraph 32～34
５週目　Paragraph 35～37
６週目　Paragraph 38～40
７週目　Paragraph 41～43
８週目　前期1試験

前期2：
９週目　Paragraph 44～48
１０週目　Paragraph 49～53
１１週目　Paragraph 54～58
１２週目　中間試験
１３週目　Paragraph 59～61
１４週目　有機化学に関する英文テキストの輪読と解説
１５週目　前期2期末試験

1. Paragraph 22～24
2. Paragraph 25～28
3. Paragraph 29～31
4. Paragraph 32～34
5. Paragraph 35～37
6. Paragraph 38～40
7. Paragraph 41～43
8. examination 1
9. Paragraph 44～48
10. Paragraph 49～53
11. Paragraph 54～58
12. examination 2
13. Paragraph 59～61
14. reading of a literature in organic chemistry
15. examination 3

予習・復習内容

予習：教科書 「やさしい化学英語」（中村喜一郎・青柳忠克共著、オーム社）
read the textbook before/after the class.

関連科目

基礎技術科学英語Ⅰ
Basic English for science and technology Ⅰ

教科書に関する補足事項
必要な資料を講義中に配布する。

参考書 1	**書名**	やさしい化学英語			**ISBN**	
	著者名	中村喜一郎・青柳忠克共著	**出版社**	オーム社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
1.化学に関する基本的な英単語を覚える。
2.文法をふまえて正しく翻訳することができる。
3.内容を科学的に正しく理解できる。
4.最新の科学技術論文を翻訳できる。
5.化学に関する基本的な事柄を英語で表現できる。
1) Learn basic chemical terms.
2) Translate english sentences in chemistry.
3) Understand proper meaning of scientific literature in chemistry.
4) Acquire the writing skill of basic sentences in chemistry.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：中間試験と期末試験で評価を行う。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記の成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が90点以上
A:達成目標の 80%を達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が80点以上
B: 達成目標の 70%を達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が70点以上
C: 達成目標の 60%を達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が60点以上

Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
岩佐精二(B－506、E-mail：iwasa-at-ens.tut.ac.jp(″-at-″を@に変更して送信してください)、TEL：44－6817)

ウェルカムページ
岩佐：http://www.tutms.tut.ac.jp/STAFF/IWASA/index.html.ja
http://ens.tut.ac.jp/orgchem/

オフィスアワー
岩佐：質問は随時受け付ける。

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
〇生命・物質工学コース
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course

Life and Materials Science Course (E) Expression and communication skills for success home and abroad Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
キーワード

(B14510150)基礎技術科学英語[Basic English for science and technology]

科目名[英文名]	基礎技術科学英語[Basic English for science and technology]				
時間割番号	B14510150	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	辻　秀人 TSUJI Hideto				
ナンバリング	ENV_BAC11012				

授業の目標

実際に技術科学英語を読んで、その構造、用語、意味、特徴、および独特の表現を理解できるようになること。

The aims of the course are to help students to read scientific and technical English sentences dealing with polymer science as an example and to understand their terms, structure, meaning, characteristic and unique expressions.

授業の内容

講義で配布する技術科学英文の輪読を行なうとともに、技術科学英語の構造、用語、特徴、および独特の表現に関する解説を行なう。

The course provides the explanation regarding their terms, structure, meaning, characteristic and unique expressions.The students will read and translate two pages of scientific and technical English sentences in the text by turns for each class.

予習・復習内容

毎回講義までに、配布する英文教材の2ページ分を和訳し、発表できるようにしておくこと。

The students are required to prepare the Japanese translation of two pages of English scientific and technical sentences for each class.

関連科目

基礎技術科学英語 II、技術科学英語

Basic English for science and technology 2

English for science and technology 1

教科書 1	**書名**	Polymers			**ISBN**	
	著者名	D. Walton, P. Lorimer	**出版社**	Oxford Science Publications	**出版年**	

教科書に関する補足事項

講義には、配布する技術科学英文と英和辞典（リーダーズ英和辞典など語彙数が多く、専門的な用語が網羅されているものが必要。電子辞書としてもある。）を必ず持参すること。

Bring a dictionary with many words such as Kenkyusha's English-Japanese Dictionary For The General Readers.

参考書 1	**書名**	入門 新高分子科学			**ISBN**	
	著者名	大澤 善次郎	**出版社**	裳華房	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

技術科学英文を読んで、文の構造と用語の意味などを理解した正確な和訳ができること。

At the end of the course, students are expected to be able to read and translate scientific and technical English sentences and understand their terms, structure, meaning, characteristic and unique expressions.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法

輪読の発表状況(50%)、定期試験(50%)

評価基準

S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上

A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上

B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上

C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).

A: Achieved 80 %goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).

C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
講義直後
After the class.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media

キーワード

(B14530060)電気回路ＩB[Electric Circuit 1B]

科目名[英文名]	電気回路ＩB[Electric Circuit 1B]				
時間割番号	B14530060	**区分**	環境・生命専門Ｉ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程, 情報・知能工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	見目　喜重 KEMMOKU Yoshishige				
ナンバリング	ENV_BAC21020				

授業の目標

電気回路ＩＡ で学んだ知識をもとに、基本的な交流回路の動作を解析し、どのような場面に使用されているかを学び、その取り扱いを修得する。

Based on the knowledge learned in Electric Circuit IA, this course introduces the analysis method of the operation of a basic alternating current circuit and utilization of the method to students taking this course.

授業の内容

１週目　回路のインピーダンス
２週目　回路の周波数特性、位相（各素子の働き）
３週目　直並列回路のインピーダンス
４週目　直並列回路の周波数特性、位相
５週目　直列共振、並列共振、アンテナへの応用原理
６週目　インピーダンスに関する総まとめ
７週目　電力と力率Ｉ－有効電力
８週目　電力と力率Ｉ－無効電力、皮相電力
９週目　電力と力率Ｉ－電力の加法性、交流電力の測定
１０週目　電力と力率Ｉ－複素数による表示
１１週目　多相交流回路Ｉ－対称3相交流の基礎
１２週目　多相交流回路Ｉ－対称3相交流回路
１３週目　多相交流回路Ⅱ－電力表示
１４週目　ひずみ波交流―フーリエ級数展開
１５週目　ひずみ波交流の解析（高調波、実効値、電力、ひずみ率）
１６週目　定期試験

1st week　Impedance of a AC circuit
2nd week　Frequency characteristic and phase of a AC circuit
3rd week　Impedance of a series-parallel AC circuit
4th week　Frequency characteristic and phase of a series-parallel AC circuit
5th week　Series/parallel resonance and application to an antenna
6th week　Review about impedance
7th week　Electric power and power factor : active power
8th week　Electric power and power factor : reactive power and apparent power
9th week　Electric power and power factor : additivity of power and measurement of AC power
10th week　Electric power and power factor : complex power
11th week　Polyphase AC circuit : basis of symmetrical three-phase AC
12th week　Polyphase AC circuit : symmetrical three-phase AC circuit
13th week　Polyphase AC circuit : electric power of symmetrical three-phase AC
14th week　Distorted wave : Fourier series
15th week　Distorted wave : higher harmonic, effective value, power and distortion factor
16th week　Examination

予習・復習内容

講義の際に出されるレポート課題や小テストの見直し、および教科書の章末問題など、様々な問題を自分で解くことにより内容の理解を深めること。
また、返却されたレポート課題を見直して復習をしながらポイントを確認すること。
To understand contents of the course certainly, students are required to review the report subjects and quiz and to work the examples at the end of chapter in the text book by themselves.

関連科目

電気回路ＩＡ
Electric Circuit 1A

教科書１	**書名**	基礎からの交流理論			**ISBN**	4-88686-230-6
	著者名	小郷寛	**出版社**	電気学会	**出版年**	2008

教科書に関する補足事項

参考書１	**書名**	電気回路A			**ISBN**	4-274-13272-2
	著者名	佐治学	**出版社**	オーム社	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 基礎事項
（1）回路インピーダンスの計算ができる。
（2）位相の概念をはっきり記述できる。
（3）共振現象が理解でき、Q値の計算ができる。
B. 電力と力率
（1）電力の複素数表示が理解できる。
（2）電力(有効、無効、皮相)の概念を理解し、力率が計算できる。
C. 多相交流回路
（1）星形結線と環状結線の相違を理解し、起電力・電流等が記述できる。
（2）対称3相交流の Y－Δ変換を正しく記述できる。
D. ひずみ波交流
（1）フーリエ級数展開を理解し、具体的な例について計算できる。
（2）ひずみ波交流をフーリエ級数を用いて表示し、高調波、電力などを求めることができる。

A. Foundation
(1) Calculate impedance of a AC circuit.
(2) Describe concept of the phase.
(3) Understand series/parallel resonance, and calculate Q (quality factor).
B. Electric power and power factor
(1) Understand complex power.
(2) Understand concept of AC power (active, reactive and apparent power), and calculate power factor.
C. Polyphase alternating current circuit
(1) Understand the difference between delta and Y connection, and describe electromotive force and current.
(2) Describe Y-delta conversion of symmetrical three-phase AC certainly.
D. Distorted wave
(1) Understand Fourier series.
(2) Describe distorted save with Fourier series, and calculate higher harmonic and electric power.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート課題・小テスト 20%、期末試験 80%とし、これらの合計で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標を全て達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ期末試験・レポート課題等の合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし、過年度学生が履修した場合には、従来（A～C）の評価基準を適用する。
Final grade will be decided based on the following : Reports 20%, Examination 80%.
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 100% of goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

連絡先（E-mail）: kemmoku@sozo.ac.jp
（E-mail）: kemmoku@sozo.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術，地球環境対応技術の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technologyand technology for a global environment; and have the ability to utilize such knowledge.
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード
回路インピーダンス、直列/並列共振、交流電力、多相交流回路
impedande, series/parallel resonance, electric power, polyphase AC circuit

(B14530080)電子回路Ⅰ[Electronic Circuit 1]

科目名[英文名]	電子回路Ⅰ[Electronic Circuit 1]				
時間割番号	B14530080	**区分**	応用化学・生命専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	河野　剛士 KAWANO Takeshi				
ナンバリング	ENV_BAC11020				

授業の目標

電子回路の基本的要素であるトランジスタ、ダイオード等の電子素子の働き、およびそれらから構成される電子回路の動作に対する基本的考え方を理解する。

The course serves as an introduction to the principles of electronic circuits using resistor, capacitor, pn-junction transistor, bipolar junction transistor. One of the student outcomes of this course is an ability to design circuits to meet performance requirements within realistic constraints.

授業の内容

1-2.　電子回路を学ぶ前に
3-5.　トランジスタによる増幅の原理
6-8.　トランジスタの小信号等価回路
8/9.　中間試験）
10-11.　増幅回路の入出力抵抗と整合
12-13.　直流バイアス回路と安定指数
14-15.　各種増幅回路の基本的事項
16.　期末試験）

Lec 1-2.　Introduction
Lec 3-5.　Principles of bipolar transistors
Lec 6-8.　Small-signal models of transistors
Lec 8-9.　Midterm Exam
Lec 10-11. Input/output resistance of amplifier
Lec 12-13. Bipolar transistor biasing
Lec 14-15. Other amplifiers
Lec 16.　Final Exam

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
Self-study required before and after each class
Weekly homework provided

関連科目

電気回路 IA, IB

Prerequisites:
Electric Circuit 1A
Electric Circuit 1B

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	基礎電子回路演習			**ISBN**	978-4274032547
	著者名	雨宮好文 著,	**出版社**	オーム社	**出版年**	1989
参考書 2	**書名**	Fundamentals of Microelectronics; 2nd International Student Edition			**ISBN**	978-1118165065
	著者名	Behzad Razavi	**出版社**	Wiley; 2 edition	**出版年**	2013

参考書 3	書名	わかるアナログ電子回路			ISBN	978-4817302274
	著者名	江間義則，和田成夫，深井澄夫，金谷範一 共著，	出版社	日新出版	出版年	2006

参考書に関する補足事項

達成目標

1．電子回路を学ぶ前に
・ダイオードの基本的特性を理解する。
・ダイオードを含む電子回路の動作（例えば，入力電圧と出力電圧の関係）を理解する。
・L，Cを含む回路の周波数特性を理解する。
2．トランジスタによる増幅の原理
・トランジスタの基本的特性および増幅の原理を理解する。
・信号源，出力抵抗とトランジスタの接続関係に注目して，ベース接地，エミッタ接地，およびコレクタ接地増幅回路の動作とその特徴と違いを理解する。
・電流増幅率と電流増幅度の違い，電流増幅率と直流電流増幅率の違い，エミッタ接地電流増幅率βとベース接地電流増幅率αの関係を述べることができる。
・トランジスタを用いた定電流回路の動作を理解する。
3．トランジスタの小信号等価回路
・トランジスタ等の非線形素子を含む回路に関して，負荷線と動作点に注目して，その動作ならびに小信号等価回路を理解する。
・トランジスタの小信号回路において，hパラメータの物理的意味を理解し，hパラメータを用いたトランジスタの等価回路ならびにその簡略化した等価回路を導出できる。また，入力解放，出力短絡が実現しやすいことを理解する。
・ベースーエミッタ間交流抵抗 r とコレクタ電流 ID の関係，hパラメータ hfe，hie および r の関係，電流増幅度 Av，負荷抵抗 RL およびrの関係を理解し，計算ができる。
4．増幅回路の入出力抵抗と整合
・信号源の内部抵抗，負荷抵抗を含めてトランジスタ増幅回路の入力抵抗，出力抵抗の意味を理解し，計算することができる。
・整合，有能電力の意味を理解し，計算できる。
・エミッタホロワの特徴を理解し，入力抵抗，出力抵抗，増幅度を求める回路を書くことができ，それらを計算できる。
・デシベルの意味を理解し，計算することができる。
5．直流バイアス回路と安定指数
・直流バイアス回路を書くことができ，これにより，トランジスタの特性のばらつきに依存せず，負帰還により直流コレクタ電流（バイアス電流）を安定化できることを理解する。
・安定指数の意味を理解し，コレクタ電流を計算することができる。
6．各種増幅回路の基本的事項
・直接結合増幅回路を始めとする各種増幅回路における，バイパスコンデンサなどの回路素子の働きを理解し，回路計算を行うことができる。また、多段増幅回路の仕組みと動作を理解することができる。
・ダーリントン接続，差動増幅回路を理解し，回路計算を行うことができる。
At the end of this course, the successful student will have a fundamental understanding of the working principles of devices and circuits (diode, transistor, common base/emitter/corrector configurations, small-signal model of transistor, h parameters, input/output resistance of transistor, decibel, bipolar transistor biasing, emitter follower, amplifiers) used in electrical engineering.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的に全ての講義に出席した者につき、下記のように成績を評価する。
レポート・演習 20%、中間試験 40%、期末試験 40%とし、これらの合計で評価する。
S: 90 点以上　A: 80 点以上　B: 70 点以上　C: 60 点以上
The final grade will be based on Homework (20%), Midterm (40%) and Final Exam (50%)
S: 100-90, A: 89-80, B: 79-70, C: 69-60

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.int.ee.tut.ac.jp/icg/member/~takekawano
http://www.int.ee.tut.ac.jp/icg/member/~takekawano

オフィスアワー

基本的に授業実施日の午前中（～12 時）をオフィスアワーとするが、これ以外の時間でも在室中は随時質問等を受け付けま

す。
メール等で事前に連絡してください。
Wednesday 1:00 PM - 2:00 PM in C-603 (C building)

学習・教育到達目標との対応

キーワード
ダイオード、トランジスタ、増幅回路、hパラメータ
diode, transisotr, amplifier, h parameter

(B14530090)基礎生化学[Basic Biochemistry]

科目名[英文名]	基礎生化学[Basic Biochemistry]				
時間割番号	B14530090	区分	環境・生命専門Ⅰ	選択必須	選択
開講学期	後期2	曜日時限	月 4～5	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	環境・生命工学課程			開講年次	B1
担当教員[ローマ字表記]	吉田　祥子 YOSHIDA Sachiko				
ナンバリング	ENV_BAC13120				

授業の目標

基礎生命科学で学んだ生体を構成する分子の構造と機能に関する基本的知識を基礎に、細胞活動を支える機能分子と動的現象である代謝を理解し、細胞活動を支える熱力学の基礎を学習する。
Understanding enzymes, co-enzymes and vitamins.
Understanding glycolysis, TCA cycle and electron transport system basically.
Understanding biosynthesis of biomolecules.

授業の内容

代謝とは、生きている細胞で行われる化学反応のネットワーク全体のことである。細胞はその活動のために、同化、変換、合成、分解などの生化学的反応を行っている。反応の集合体である代謝経路は高度に制御されており、その原理は熱力学によって説明することができる。代謝過程と制御は化学工学の重要な応用問題と解答を与えてくれる。
基礎生化学は、十分な演習を交えながら以下の内容を基本から学習する。
1週目：酵素とは何か　からだの中の触媒たんぱく
2週目：酵素のダイナミクス　阻害剤と薬
3週目：酵素の反応機構　電子の移動で進む反応
4週目：補酵素とビタミン　生体反応を進める物質
5週目：解糖とクエン酸回路　炭素骨格の解体と還元分子の抽出
6週目：電子伝達と ATP 合成　生体電池が作るエネルギー
7週目：アミノ酸代謝　細胞の構造を作る
8週目：定期試験
1：Enzymes
2：Dynamics of enzyme and its inhibitors
3：Enzyme reaction
4：Co-enzyme and vitamin
5：Glycolysis and TCA cycle
6：Electron transport and ATP synthesis
7：Amino acid, Nucleic acid and fatty acid metabolism
8：Examination

予習・復習内容

講義資料と復習課題を Web 上(https://lms.imc.tut.ac.jp)に提示する。
View the Web (https://lms.imc.tut.ac.jp).

関連科目

基礎生命科学、生命科学、生命化学Ⅰ、生命化学Ⅱ

Basic Biochemistry I, Life Science and Chemistry, Chemistry for Life Science 2

教科書 1	書名	ホートン　生化学　第5版			ISBN	
	著者名	L.A. Moran, H.R. Horton, K.G. Scrimgeour, M.D. Perry 著、鈴木紘一、笠井献一、宗川吉汪　監訳	出版社	東京化学同人	出版年	2013

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1　細胞が活動するためにどのような反応分子を開発したか理解する。
2　「代謝経路」の熱力学計算ができる。
To understand enzyme and co-enzyme.

To understand metabolism basically.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

[評価法] Web 上に指示される課題の提出と出席　40%、期末試験　60%
[評価基準] 原則的にすべての講義に出席した者につき、下記の基準により成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

吉田　祥子　（B-406、Ex. 6802）
e-mail: syoshida@ens.tut.ac.jp
Sachiko Yoshida（B-406、Ex. 6802）
e-mail: syoshida@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

https://lms.imc.tut.ac.jp
https://lms.imc.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-mail によって時間を打ち合わせた上で訪問
Get appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

光学異性体、ATP、疎水性・親水性、酵素、熱力学、電気化学的ポテンシャル
Enzyme, co-enzyme, vitamin, ATP

(B14530100)基礎生命科学Ⅱ[Basic Biochemistry 2]

科目名[英文名]	基礎生命科学Ⅱ[Basic Biochemistry 2]				
時間割番号	B14530100	**区分**	応用化学・生命専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	田中　照通 TANAKA Terumichi				
ナンバリング	ENV_BAC23120				

授業の目標

基本的な生体分子の仕組みと機能を理解し、生命現象としての物質の流れを理解する。
To learn the basic knowledge of biochemistry and molecular biology, especially the common system of the life.

授業の内容

1 週目：基本的な生体高分子
2 週目：濃度と平衡
3 週目：タンパク質、酵素と酵素反応速度論
4 週目：酵素反応における阻害とアロステリクック反応
5 週目：pH、pKa、等電点
6 週目：一般塩基触媒と酵素の活性中心
7 週目：解糖系
8 週目：TCA 回路
9 週目：光合成
10 週目：脂肪酸と、脂肪酸回路と尿素回路
11 週目：細胞と染色体
12 週目：遺伝子と遺伝子発現の概略
13 週目：ゲノムとゲノムプロジェクト
14 週目：変異と遺伝子疾患
15 週目：演習
16 週目：定期試験

・basis of chemistry
・enzymes
・

予習・復習内容

授業内容は原則として毎回、ミニテストを実施することで内容把握の確認を行うとともに、出欠の記録とする。ミニテストは授業内容の理解を補助するものとして位置づけているので難易度は下げてある。毎回のミニテストで好成績をとることで定期試験の得点を向上させることが可能であるが、ミニテストのみを復習しても満点は取れないように設定してあるので授業内容をきちんと復習して欲しい。
(1) 'mini test' will be done every time to check you knowledge. When the score of the mini-test is below 50%, you will be handled as 'being absent'. So, you should recite every content of the lecture.
(2) You will earn the Credit by major 'Test's.

関連科目

・基礎生命科学Ⅰ（B14510110）
・基礎生化学（B14530090）
・生物学(B01031270)
・any lectures concerning about Biology.

教科書 1	**書名**	生化学(第 5 版)			**ISBN**	
	著者名	ホートン	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	
教科書 2	**書名**	生化学(第 5 版)			**ISBN**	
	著者名	コーン・スタンプ	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	

教科書に関する補足事項

教科書3　書名「生化学」著者名：レーニンジャー

教科書に記載されている内容は印刷物として配布しない。教科書に記載されていないもので必要と思われるものは随時配布を

行う。ただし、欠席者に対して後日配布することはない。また、電子媒体での資料配付は行わない。
Any text is acceptable. So you will use the text which you already have.

参考書 1	**書名**	Recombinant DNA			**ISBN**	0-7167-1484-1
	著者名	Watson et al	**出版社**	Scientific American Books	**出版年**	
参考書 2	**書名**	Enzyme Structure and Mechanism			**ISBN**	
	著者名	アラン・ファーシュト	**出版社**	Freeman	**出版年**	
参考書 3	**書名**	微生物学			**ISBN**	
	著者名	スタニエ他	**出版社**	培風館	**出版年**	
参考書 4	**書名**	The Microbial World			**ISBN**	4-563-03747-8, 4-563
	著者名	Stanier	**出版社**		**出版年**	
参考書 5	**書名**	エコテクノロジー入門			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	朝倉書店	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
生命現象を理解するための基本である生体分子の名称・構造・挙動を把握する。
・To know and understand in details of basis metabolism, enzymes, biomaterials.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
各授業時におけるミニテスト(2 割)と学期末試験の成績(8 割)によって評価を行う。各ミニテストにおいて成績が 50%に満たない場合はその授業は「欠席」として扱う。「欠席」が 4 回以上の場合には「履修放棄」として扱うので、毎回それなりの復習が必要である。成績評価は5段階(SABCD)で行う。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved XX % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved XX % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
The date of the Tests will be changed, if necessary.

その他
terumichi-tanaka@tut.jp
G-506
・G-506　・e-mail:terumichi-tanaka@tut.jp
Before you come to me, send me an e-mail to make an appointment in advance.

ウェルカムページ
none

オフィスアワー
特に設定はしません。希望者は事前にメールを送信して約束をしてから教員室を訪ねて下さい。
terumichi-tanaka@tut.jp
Anytime, when you have an appointment.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野, MOT, 地球環境対応技術分野, 知的財産分野の科目を修得することにより, 科学技術に関する基礎知識を修得し, それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills

Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
キーワード 生物　分子　遺伝子 genome, gene, DNA, central dogma,

(B14530110)基礎有機化学Ⅱ[Basic Organic Chemistry 2]

科目名[英文名]	基礎有機化学Ⅱ[Basic Organic Chemistry 2]				
時間割番号	B14530110	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	吉田　絵里 YOSHIDA Eri				
ナンバリング	ENV_BAC22122				

授業の目標

分子の成り立ちについて正しく理解し、それに基づいて、化合物の性質や反応を説明することができる。また、社会や産業、環境の問題と化学技術との関わりについて理解する。

授業の内容

1回目　結合と構造異性
2回目　アルカンとシクロアルカン
3回目　アルケンとアルキン
4回目　芳香族化合物
5回目　立体異性
6回目　有機ハロゲン化物
7回目　アルコール、フェノール、チオール
8回目　中間試験
9回目　アルデヒドとケトン
10 回目　カルボン酸とその誘導体
11 回目　アミンと窒素化合物
12 回目　スペクトル分光法による分子構造の決定
13 回目　高分子の性質
14 回目　合成高分子
15 回目　生体高分子

予習・復習内容

必ず復習を行い、講義で得た知識を確実に身につけるように努めること。

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)有機化合物を骨格や性質で分類することができる。
(2)官能基の性質と反応を理解できる。
(3)有機化合物の立体構造を理解できる。
(4)高分子の構造と性質について理解できる。
(5)高分子の基本的な合成法を理解できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価法：中間試験(50%)と期末試験(50%)の平均点により評価する。
評価の基準：原則的にすべての講義に出席した者につき、期末試験結果を基に成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテストの平均点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテストの平均点が 80 点以上 90 点未満
B:達成目標を 70%達成しており，かつテストの平均点が 70 点以上 80 点未満
C:達成目標を 60%達成しており，かつテストの平均点が 60 点以上 70 点未満
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準を適用する。

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

部屋：B-503, 内線：6814, E-mail: eyoshida@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

官能基、有機反応

(B14530120)基礎無機化学Ⅱ[Basic Inorganic Chemistry 2]

科目名[英文名]	基礎無機化学Ⅱ[Basic Inorganic Chemistry 2]				
時間割番号	B14530120	**区分**	応用化学・生命専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	水嶋　生智 MIZUSHIMA Takanori				
ナンバリング	ENV_BAC22120				

授業の目標

各元素の物理的、化学的性質、および遷移金属錯体の構造と性質を理解する

The objective of the coursework is to understand physical and chemical properties of elements, and structures and properties of transition metal complexes.

授業の内容

1. 典型金属の化学(1)
2. 典型金属の化学(2)
3. 典型金属の化学(3)、演習
4. 非金属元素の化学(1)
5. 非金属元素の化学(2)
6. 非金属元素の化学(3)、演習
7. 遷移金属の化学(1)
8. 遷移金属の化学(2)
9. 遷移金属の化学(3)、演習
10. 中間試験
11. 遷移金属錯体(1)
12. 遷移金属錯体(2)
13. 遷移金属錯体(3)
14. 遷移金属錯体(4)
15. 遷移金属錯体(5)、演習
16. 定期試験

1. Chemistry of representative metals (1)
2. Chemistry of representative metals (2)
3. Chemistry of representative metals (3), Practice
4. Chemistry of representative elements (1)
5. Chemistry of representative elements (2)
6. Chemistry of representative elements (3), Practice
7. Chemistry of transition metals (1)
8. Chemistry of transition metals (2)
9. Chemistry of transition metals (3), Practice
10. Examination
11. Transition metal complexes (1)
12. Transition metal complexes (2)
13. Transition metal complexes (3)
14. Transition metal complexes (4)
15. Transition metal complexes (5), Practice
16. Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに、次回の内容について予習すること

Preparing for and reviewing the classwork are required.

関連科目

基礎無機化学Ⅰ

Basic Inorganic Chemistry 1

教科書 1	**書名**	基本無機化学(第 3 版)			**ISBN**	
	著者名	荻野　博、飛田　博実、岡崎 雅明	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1) 典型金属、非金属元素、および遷移金属の物理的・化学的性質を理解する。
2) 遷移金属錯体の構造と性質を理解する
1) Understanding of physical and chemical properties of representative metals, representative elements, and transition metals.
2) Understanding of structures and properties of transition metal complexes.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法
試験 80%、 レポート 20%

評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標を 90%以上達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

Evaluation method
Examination 80%, Report 20%

Evaluation basis
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 90% of goals and obtained total points of the examinations, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of the examinations, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of the examinations, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of the examinations, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業中および終了時、または随時。
電子メールによる質問等も歓迎する。
I invite questions in and after the class, or as needed.
I also welcome questions via e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

(B14530130)基礎分析化学Ⅱ[Basic Analytical Chemistry 2]

科目名[英文名]	基礎分析化学Ⅱ[Basic Analytical Chemistry 2]				
時間割番号	B14530130	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	水嶋　生智, 柴富　一孝 MIZUSHIMA Takanori, SHIBATOMI Kazutaka				
ナンバリング	ENV_BAC22120				

授業の目標

後期1（水嶋）

最も基本的な化学分析法である滴定法には様々なものがあり、それらは水溶液内における様々なイオン平衡を基礎にしている。ここでは、各種のイオン平衡に関する基礎理論および滴定法の原理を学ぶ。

後期2（柴富）

核磁気共鳴分析・質量分析・赤外線分光分析の基礎原理と有機分析への応用を学ぶ。

Fall Semester 1 (Mizushima)

The objective of this class is to understand the various ionic equilibria in aqueous solutions and various titration methods based on the ionic equilibria.

Fall Semester 2 (Shibatomi)

To understand the basic principle of NMR, Mass, and IR spectrometry and their application for structural analysis of organic compounds.

授業の内容

1. 分析化学の基礎、酸塩基平衡(1)
2. 酸塩基平衡(2)
3. 中和滴定
4. 沈殿平衡(1)
5. 沈殿平衡(2)
6. 錯生成平衡とキレート滴定(1)
7. 錯生成平衡とキレート滴定(2)
8. 演習、定期試験
9. 質量分析法（1）
10. 質量分析法（2）
11. 核磁気共鳴分光法（1）
12. 核磁気共鳴分光法（2）
13. 核磁気共鳴分光法（3）
14. 赤外分光法 （1）
15. 赤外分光法 （2）
16. 期末試験

1. Basis of analytical chemistry, Acid-base equilibria(1)
2. Acid-base equilibria(2)
3. Acid-base titrations
4. Precipitation equilibria(1)
5. Precipitation equilibria(2)
6. Complexometric equilibria and chelatometric titration(1)
7. Complexometric equilibria and chelatometric titration(2)
8. Practice, Examination
9. Mass spectrometry(1)
10. Mass spectrometry(2)
11. Nuclear magnetic resonance (1)
12. Nuclear magnetic resonance (2)
13. Nuclear magnetic resonance (3)
14. Infrared Spectroscopy(1)
15. Infrared Spectroscopy(2)
16. Exam.

予習・復習内容

教科書の次回の講義範囲を前もって読んでおくこと

Pre-reading of the subject of coming class is highly recommmended.

関連科目

基礎分析化学 I

Basic Analytical Chemistry 1

教科書 1	**書名**	基礎からわかる 分析化学			**ISBN**	
	著者名	加藤正直・ 塚原聡 /共著	**出版社**	森北出版	**出版年**	2009

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	ビギナーズ有機構造解析			**ISBN**	9784759809800
	著者名	川端 潤	**出版社**		**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

1) イオン平衡に関する基礎理論を理解する。
2) イオン平衡に関する計算問題を解くことができる。
3) イオン平衡を利用した様々な滴定法の原理を理解する。
4) イオン平衡を利用した様々な滴定法に関する計算問題を解くことができる。
5) 質量分析、IR, NMR 分光法の基礎原理を理解する
6) 基礎的な有機分子の構造解析が行える
1) To understand the fundamental principle on ionic equilibria.
2) To solve the problems on ionic equilibria.
3) To understand the fundamental principle on titration methods.
4) To solve the problems on titration methods.
5) To understand the basic principle of NMR, Mass, and IR spectrometry.
6) To understand how to determine the structure of organic compounds.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法

定期試験 50%、小テスト・レポートなど 50%

評価基準

原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標を 90%以上達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

Evaluation method

Regular Examination 50%, Mini-examination・Report 50%

Evaluation basis

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 90% of goals and obtained total points of the examinations, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of the examinations, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of the examinations, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of the examinations, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時受け付けます。

As requested.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

(B14530140)基礎物理化学Ⅱ[Basic Physical Chemistry 2]

科目名[英文名]	基礎物理化学Ⅱ[Basic Physical Chemistry 2]				
時間割番号	B14530140	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	手老　龍吾 TERO Ryugo				
ナンバリング	ENV_BAC22122				

授業の目標

エネルギー、エンタルピー、エントロピーなど、「基礎物理化学I」で学んだ熱力学的な概念が、実際の気体や溶液中、また反応においてどのように用いられるのかを理解し、エネルギーに関わるパラメーターを用いて系の状態や反応を記述できるようになることを目標とする。

完全に可逆的な系において系の状態がどう決まるのか、化学平衡、溶液の熱力学、希薄溶液の平衡および理想状態からのずれといった項目に分けて学ぶ。また、化学反応における反応速度論の基礎と活性化エネルギーについて、分子運動論と統計力学に基づく視点を身につける。

The course succeeds Basic Physical Chemistry 1, and deals with the thermodynamics and related parameters, such as Gibbs energy, enthalpy and entropy, in gas phases and solution. This course is aimed to provide students with the fundamental understanding of the thermodynamic properties from both macroscopic and microscopic view points.

授業の内容

第 1 週で熱力学の基礎についてのおさらいと本講義の概要を説明したのち、第 11 週までは気体や溶液で起きるいくつかの具体的な現象についての熱力学的にどのように説明されるのかを解説する。ここまでは平衡状態であることが前提であるが、第 12 週以降は平衡状態に限らず、化学反応が進む際の記述について説明する。熱力学的な「マクロ」な視点と、分子論的な「ミクロ」の視点と、違う入り口からどちらからも同じ出口（現象）に到達できることを説明する。

第 1 週：系の「状態」と「方向」を決めるもの
第 2 週：2 つの物質間の平衡：気体同士の場合
第 3 週：2 つの物質間の平衡：気体と液体または固体が共存する場合
第 4 週：「溶ける」「混ざる」を熱力学的に説明する
第 5 週：「溶ける」「混ざる」を原子・分子の視点で説明する
第 6 週：凝固点降下、沸点上昇、浸透圧はどうして起きるか
第 7 週：理想と実在のギャップ：ヘンリーの法則と分配平衡
第 8 週：中間試験
第 9 週： 状態を決める：相図と自由度
第 10 週：平衡と反応速度：往復切符と片道切符
第 11 週：分子の運動エネルギー：平均値から分かること
第 12 週：分子の運動エネルギー：多数の分子の分布
第 13 週：その反応は起こせるか：活性化エネルギーと反応速度
第 14 週：反応が進むのならば：速度定数、アレニウスの式
第 15 週：見方を変えると：マクロとミクロの視点
第 16 週：期末試験

Week
1. What determines "state" and "direction"
2. Equilibrium in gas phase
3. Equilibrium between gas and condensed phase
4. Mixing: thermodynamic interpretation
5. Mixing: molecular interpretation
6: Colligative properties
7: Henry's low
8: Midterm examination
9: Phase diagram and degree of freedom
10: Reaction rate and equilibrium
11: Kinetic energy of molecules: average
12: Kinetic energy of molecules: distribution
13: Activation energy and reaction rate
14: Arrhenius equation and rate constant
15: Molecular interpretation of thermodynamic properties
16: Final examination

予習・復習内容

「Elements of Physical Chemistry」を用いて英語での問題演習と復習を行う。
予習として各回の該当部分を最低限一読し、講義後は該当部分の再読や演習問題等を使って復習すること。

第 1 週:「基礎物理化学 I」のおさらい (Chapters 2, 4)
第 2 週: 7.1 – 7.6
第 3 週: 5.1 – 5.5
第 4 週: 6.1 – 6.4
第 5 週: 4.7 – 4.9
第 6 週: 6.7
第 7 週: 6.8

第 9 週: 6.9 – 6.12
第 10 週: 10.3 – 10.8
第 11 週: 1.4 – 1.5
第 12 週: 1.5 – 1.6
第 13 週: 22.2
第 14 週: 10.9 – 10.10
第 15 週: 10.11

Reference book 1 is mainly used for practical exercise.
Read the corresponding parts of the book prior to the lecture. Homework problems are distributed in each lecture.

Week
1: Review of Basic Physical Chemistry I (Chapters 2, 4)
2: 7.1 – 7.6
3: 5.1 – 5.5
4: 6.1 – 6.4
5: 4.7 – 4.9
6: 6.7
7: 6.8

9: 6.9 – 6.12
10: 10.3 – 10.8
11: 1.4 – 1.5
12: 1.5 – 1.6
13: 22.2
14: 10.9 – 10.10
15: 10.11

関連科目
基礎物理化学 I
Basic Physical Chemistry I

教科書に関する補足事項
参考書 1 を講義中の演習等に使用する。希望者には大学から貸し出し予定(冊数に限りあり)。
参考書 1 は参考書 2 Atkins' Physical Chemistry 10th ed.の該当部分でも代用可。

Reference Book 1 is used for practical exercises in lectures. It may be circulated from the university if needed (number is limited).
Corresponding chapters of Reference book 2 "Atkins' Physical Chemistry 10th ed." is substitutable for Reference Book 1.

参考書 1	**書名**	Elements of Physical Chemistry (6th ed)			**ISBN**	978-0199608119
	著者名	Peter Atkins, Julio de Paula	**出版社**	Oxford Univ. Press	**出版年**	2015
参考書 2	**書名**	Atkins' Physical Chemistry 10th ed.			**ISBN**	978-0199697403
	著者名	Peter Atkins, Julio	**出版社**	Oxford University	**出版年**	2014

		de Paula		Press		
参考書 3	**書名**	アトキンス 物理化学〈上〉〈下〉 第 8 版			**ISBN**	978-4807906963
	著者名	Peter Atkins, Julio de Paula (著), 千原秀昭, 中村 亘男 (翻訳)	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2009
参考書 4	**書名**	入門化学熱力学 改訂版 現象から理論へ			**ISBN**	978-4563045272
	著者名	山口 喬	**出版社**	培風館	**出版年**	1991

参考書に関する補足事項

参考書 1 を講義中の演習等に使用する。希望者には大学から貸し出し予定(冊数に限りあり)。
参考書 1 は参考書 2 Atkins' Physical Chemistry 10th ed.の該当部分でも代用可。
Reference Book 1 is used for practical exercises in lectures. It may be circulated from the university if needed (number is limited).
Corresponding chapters of Reference book 2 "Atkins' Physical Chemistry 10th ed." is substitutable for Reference Book 1.

達成目標

(1) 化学平衡の平衡点について理解し、平衡点の温度・圧力による変化、平衡組成を理解する。
(2) 理想溶液の性質を通して、凝固点降下、沸点上昇、ヘンリーの法則などの束一的性質を熱力学的に理解する。
(3) 系の状態と進む方向を示す指標としての自由エネルギーの扱いを理解する
(4) 化学反応とその起きやすさについて記述するための基礎(速度式、アレニウスの式、活性化エネルギー、律速過程)などの用語とその意味を理解する。
(5) 化学反応に関する現象について、マクロとミクロの視点から同一の現象が説明できること理解する。
Understanding of,
1: equilibrium and its dependence on temperature and pressure on the basis of Gibbs energy.
2: the origin of colligative properties.
3: basic parameters of chemical reaction
4: thermodynamic properties on the basis of both macroscopic and microscopic interpretation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:中間試験、期末試験、レポート・演習等(各 40%、40%、20%)で評価する。ただし、講義における理解度・進捗などを考慮してレポート・演習を実施しない場合は中間試験(50%), 期末試験(50%)で評価する。

評価基準:原則としてすべての授業に出席した者について, 下記のように成績を評価する。
S:中間試験・期末試験・レポートの合計点が 90%以上(達成目標をすべて達成したものとみなす。)
A:中間試験・期末試験・レポートの合計点が 80%以上(達成目標を十分達成したものとみなす。)
B:中間試験・期末試験・レポートの合計点が 70%以上(達成目標を達成したものとみなす。)
C:中間試験・期末試験・レポートの合計点が 60%以上(達成目標を概ね達成したものと判断する。)

Midterm exam: 40%, final exam 40%, homework problems 20%.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

在室時は随時受け付けます。ただし、事前の予約を推奨します。
At all reasonable time, but appointment is recommended.

学習・教育到達目標との対応

（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
〇生命・物質工学コース
(D2) 化学工学関連の科目を習得することにより，化学工学量論，熱力学，移動現象論などの専門基礎知識を獲得し，それらを駆使して問題を解決する能力を身につけている。

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
Sustainable Development Course
Life and Materials Science Course
(D2) (Materials and Life Sciences Course) Acquire basic knowledge in specialized fields, such as chemistry engineering stoichiometry, thermodynamics and transport phenomena through taking courses relating to chemistry engineering; and havethe ability to solve problems leveraging such knowledge.

キーワード
ギブスエネルギー、化学平衡、化学ポテンシャル、可逆過程、不可逆過程、速度定数、活性化エネルギー、熱力学、反応速度論
Gibbs energy, chemica equilibrium, chemical potential, reversible process, irreversible process, rate constant, activation energy, thermodynamics, chemical kinetics

(B14530160)基礎技術科学英語Ⅲ[Basic English for science and technology 3]

科目名[英文名]	基礎技術科学英語Ⅲ[Basic English for science and technology 3]				
時間割番号	B14530160	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	伊津野　真一, 原口　直樹 ITSUNO Shinichi, HARAGUCHI Naoki				
ナンバリング	ENV_BAC21022				

授業の目標

科学技術に必要な英語の基本的な表現を理解し、英語文献の内容を正確に把握する能力を養う。

This subject deals with the basic understanding of fundamental technical English.

授業の内容

後期1（担当：原口）
後期2（担当：伊津野）

後期 1
1 週目　基礎技術科学英語総論
2 週目　基礎編　覚えておきたい接頭語・接尾語
3 週目　基礎編　よく出くわす化学英語用語
4 週目　基礎編　よく使われる構文
5 週目　基本英文型
6 週目　例題Ⅰ
7 週目　例題Ⅱ
8 週目　例題Ⅲ

後期 2
適宜教科書に準じた参考資料を基に授業を進める。
9 週目　英語論文の読み方Ⅰ
10 週目　英語論文の読み方Ⅱ
11 週目　演習問題Ⅰ
12 週目　演習問題Ⅱ
13 週目　演習問題Ⅲ
14 週目　演習問題四
15 週目　演習問題五
16 週目　演習問題六

Fall term 1 (Haraguchi)

Introduction
Basic scientific prefix and suffix
Basic scientific word
Basic scientific synthax
Reading of scientific textbook

Fall term 2 (Itsuno)
How to read English written scientific paper.

予習・復習内容

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。
In addition to reviewing the lecture content every time, prepare for the contents of the next time by referring to texts.

関連科目

基礎技術科学英語 I, II
Basic English for science and technology 1, 2

教科書に関する補足事項

Original resume will be prepared.

参考書 1	**書名**	化学英語文献への誘い 英語演習を通して化学を学ぶ			**ISBN**	978-4-7827-0649-7
	著者名	伊藤浩一・蒲池幹治	**出版社**	三共出版	**出版年**	2011
参考書 2	**書名**	Organic Chemistry, 8th edition, International edition			**ISBN**	978-0-8400-5453-1
	著者名	John E. McMurry	**出版社**	BROOKS/COLE	**出版年**	2012

参考書に関する補足事項

達成目標

科学に関する基本的な英単語を覚える
科学に関する英文を的確に読み取ることができる
内容を科学的に正確に理解できる
科学技術論文を読むことができる
科学技術に関する表現に用いることのできる語彙を増やす
基本的な科学技術英語を聞きとることができる

(1)Knowledge of basic English words related to science
(2)Reading of English sentence on science
(3)Understanding of English sentence on science
(4)Reading of scientific articles
(5)Increase of vocabulary that can be used for expression about science and technology
(6)Listening of English about science and technology

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験(60%), 授業中の英文音読、内容説明(20%)、小テスト(20%)を考慮して総合的に評価する
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する
S:達成目標をすべて達成しており、かつ試験・演習等の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A:達成目標をすべて達成しており、かつ試験・演習等の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B:達成目標を 3 つ達成しており、かつ試験・演習等の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C:達成目標を 2 つ達成しており、かつ試験・演習等の合計点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation method] Exam (60%), Presentation (20%), quiz (20%)

[Evaluation basis]
S: To achieve all the goals. Exam > 90 points
A: To achieve all the goals. Exam > 80 points
B: To achieve 75% of the goals. Exam > 70 points
C: To achieve 50% of the goals. Exam > 60 points

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

伊津野真一(B-502, e-mail: itsuno@ens.tut.ac.jp)
原口直樹(B-403, e-mail: haraguchi@ens.tut.ac.jp)
Shinichi Itsuno(B-502, e-mail: itsuno@ens.tut.ac.jp)
Naoki Haraguchi(B-403, e-mail: haraguchi@ens.tut.ac.jp)

ウェルカムページ

http://ens.tut.ac.jp/chiral/

http://ens.tut.ac.jp/chiral/

オフィスアワー

随時
any time

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程

(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media

キーワード
科学技術英語、語彙力
technical English

(B14530170)基礎高分子化学[Basic Polymer Chemistry]

科目名[英文名]	基礎高分子化学[Basic Polymer Chemistry]				
時間割番号	B14530170	**区分**	環境・生命専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	原口　直樹 HARAGUCHI Naoki				
ナンバリング	ENV_BAC22122				

授業の目標

本講義では、高分子の歴史に始まり、高分子の合成と反応、高分子の溶液、高分子固体、機能性高分子や生体高分子に関して広く学び、高分子科学の基礎を習得することを目的とする。

This subject aims at master of fundamental polymer science, such as the history of polymer, reaction and synthesis of polymer, polymer solution, solid property of polymer, functional polymer and biopolymer.

授業の内容

(1)高分子の歴史
(2)高分子合成(速度論、逐次重合)
(3)高分子合成(連鎖重合)
(4)高分子合成(構造規制、特殊構造高分子)
(5)高分子反応(官能基変換)
(6)高分子反応(触媒)
(7)高分子の溶液
(8)高分子固体(ガラス転移)
(9)高分子固体(結晶、非晶)
(10)高分子固体(変形、自由体積)
(11)機能性高分子(エンジニアリングプラスチック)
(12)機能性高分子(高分子触媒)
(13)機能性高分子(刺激応答性高分子)
(14)生体高分子
(15)まとめ、復習

(1) History of polymer science
(2) Polymer synthesis (kinetics, sequential polymerization)
(3) Polymer synthesis (chain polymerization)
(4) Polymer synthesis (control of structure, non-linear polymer)
(5) Polymer reaction (functional group transformations)
(6) Polymer reaction (catalyst)
(7) Polymer solution
(8) Solid property of polymer (glass transition)
(9) Solid property of polymer (crystalline, amorphous)
(10) Solid property of polymer (deformation, free volume)
(11) Functional polymer (engineering plastics)
(12) Functional polymer (polymeric catalyst)
(13) Functional polymer (stimuli-responsive polymer)
(14) Biopolymers
(15) Summary, review

予習・復習内容

授業内容を良く復習すること。

Review of the content of class is recommended.

関連科目

高分子材料工学、高分子科学

教科書 1	**書名**	高分子の化学			**ISBN**	978-4782705445
	著者名	北野 博巳他	**出版社**	三共出版	**出版年**	2008

教科書に関する補足事項

補足プリントを配付します。

Supplementary handouts will be distributed.

参考書 1	**書名**	基礎高分子科学	**ISBN**	978-4807906352

	著者名	高分子学会編	出版社	東京化学同人	出版年	2006

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）高分子の合成・反応についての基礎的な知識と理解
（2）高分子の溶液・固体についての基礎的な知識と理解
（3）機能性高分子についての基礎的な知識と理解
(1) understanding and knowledge of polymer synthesis and reaction
(2) understanding and knowledge of solution property of polymer
(3) understanding and knowledge of functional polymer

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験 50%、小テスト 30%、その他授業中の質疑応答など 20%で総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標をすべて達成しており、かつ合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 2 つ以上達成しており、かつ合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 1 つ以上達成しており、かつ合計点（100 点満点）が 60 点以上
[Evaluation method] examination 50%, quiz 30%, question-and-answer session in class 20%.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved more than two goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved more than one goal and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

居室：Ｂ－403
TEL:0532-44-6812
E-mail:haraguchi-at-ens.tut.ac.jp (″-at-″を@に変更して送信してください)
Room：Ｂ－403
TEL:0532-44-6812
E-mail:haraguchi-at-ens.tut.ac.jp (Change ″-at-″ to ″@″)

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日 14:30～15:30 を原則として、随時
14:30～15:30, Wednesday

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

キーワード

高分子
polymer

(B14600020)環境・生命工学実験[Laboratory Works in Environmental and Life Sciences]

科目名[英文名]	環境・生命工学実験[Laboratory Works in Environmental and Life Sciences]				
時間割番号	B14600020	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	通年	**曜日時限**	金 3～5	**単位数**	4
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	沼野　利佳, 有吉　誠一郎 NUMANO Rika, ARIYOSHI Seiichiro				
ナンバリング	ENV_BAC38012				

授業の目標

化学, 化学工学, 生命科学, 生物工学, 電気・電子工学, 生態工学、環境工学などに関する実験を通じて, 研究遂行のための基礎的能力を習得させるとともに, 環境・生命工学分野の内容を理解する。

This course provides students a practical and hands-on introduction to the major features of investigation relating to environmental and life sciences, such as chemistry, chemical engineering, biological science, bioengineering, electrical and electronic engineering, ecological engineering, and environmental engineering.

授業の内容

次の 23 テーマのうち, 8 つを選択し、履修する。

1) 地磁気を用いた MRI(磁気共鳴画像)
2) オペアンプを用いたアナログ演算回路
3) コンピュータによる熱伝導計測と解析
4) 吸着法を用いた多孔体の細孔特性化
5) 分光法による分子構造解析と計算化学
6) 液体クロマトグラフィー
7) 人工脂質膜の構造と流動性の観察
8) 無機材料の合成と評価
9) 希土類マンガナイトの合成
10) 環境微生物の計測
11) 酵母を用いた遺伝子操作実験
12) 動物の解剖と臓器の観察
13) 脳の活動をひかりで測定する
　－酵素の特異性を利用したバイオデバイスの作成と測定－
14) 緑色蛍光蛋白質(GFP)の精製
15) ウイルス実験(バクテリオファージλと宿主大腸菌の相互作用)
16) 哺乳類細胞で遺伝子発現を変化させる
17) イオン結合型キラル高分子の合成と不斉触媒への応用
18) アミノ酸誘導体の合成とX線結晶構造解析
19) バイオベースポリマーの合成および特性評価
20) α,β-不飽和カルホニル化合物の位置選択的還元反応と有機化合物の構造決定
21) 有機分子触媒を利用した不斉合成反応
22) ラジカル重合によるポリスチレンの合成
23) ガラス細工の基礎

注意:
1) 選択は原則として希望順とする。
2) 事前に希望調査を行った上で調整し, 選択テーマを割り当てる。
3) 希望が集中した場合, 下位の希望テーマを選択させることがある。
4) 割り当てられたテーマの変更・交換は認めない。

Eight experimental subjects from among 24 subjects are allocated to each student.

1) Earth's field MRI (Magnetic Resonance Imaging)
2) Operational Amplifiers and Their Basic Applications
3) Measurement and Computer Simulation of Heat Conduction
4) Characterization of Porous Materials by Adsorption
5) Analysis of Molecular Structures by using Spectroscopy and Computational Chemistry
6) Liquid Chromatography

7) Structure and Fluidity of Artificial Lipid Membranes
8) Synthesis and Evaluation of Inorganic Material
9) Synthesis of Rare Earth Manganite
10) Measurement of environmental microorganisms
11) Yeast Genetic Engineering
12) Anatomical understanding the insight of vertebrate animal
13) Enzyme-linked Photo Assay－Biodevice construction and detection－
14) Green Fluorescent Protein (GFP) Expression and Purification
15) Infection and Titration of Bacteriophage λ (Study of interactions between bacteriophage and host cells)
16) Changeable Expression of Reporter Gene in Mammalian Cells
17) Synthesis of Ionically Bonded Chiral Polymer and Its Application to Asymmetric Catalysis
18) Synthesis of an Amino Acid Derivative and X-ray Crystal Structure Analysis
19) Synthesis and Characterization of Biobased Polymer
20) Regioselective Reduction of α,β-unsaturated Carbonyl Comound and Structual Determinatins
21) Asymmetric Organic Transformation with Organocatalyst
22) Preparation of polystyrene by radical polymerization
23) Fundamentals of Glassblowing

Students submit their preference after the guidance. The preferences are considered for the allocation of subjects, but not all are filled.

予習・復習内容

事前に各実験テーマの概要を記した資料が配布されるので、自習により事前準備を行うとともに、実施した実験については結果の考察を行いながら復習に努めること。

The documents for the experimental subjects are provided. Read the documents and understand the outline of the experiments prior to the laboratory works.
After the laboratory work, analyze and consider the experimental results.

関連科目

環境・生命工学課程で開講されるすべての講義，演習科目

All lecture courses and practical subjects in Department of Environmental and Life Sciences.

教科書に関する補足事項

実験内容については，オリジナルテキストを配布する。
レポートの書き方は，下記の参考書等を参照し、予習することを推奨する。

The textbook containing outlines of the research subjects are provided.

参考書 1	**書名**	理科系の作文技術			**ISBN**	
	著者名	木下是雄	**出版社**	中公新書	**出版年**	
参考書 2	**書名**	新版 大学生のためのレポート・論文術			**ISBN**	
	著者名	小笠原喜康	**出版社**	講談社現代新書	**出版年**	
参考書 3	**書名**	理系のためのレポート・論文完全ナビ			**ISBN**	
	著者名	見延庄士郎	**出版社**	講談社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

1) 実験手法・計測手法の基本原理を理解する。
2) 実験機器・器具の用途などを覚える。
3) 実験機器・器具を正しく，安全に取り扱うことができる。
4) 実験で得られたデータの整理ができる。
5) 適切なレポートが作成できる。
6) 実験の遂行、レポートの提出等について決められた時間管理、厳守ができる。

1). Understand basic principles of experimental techniques and measurement methods.
2). Understand how to use experimental instruments and apparatus.
3). Learn proper and safe ways of handling experimental instruments and apparatus.
4). Learn how to analyze experimental data.
5). Learn how to write scientific reports.
6). Learn time management and habits of punctuality in laboratory works and documentation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：割り当てられたすべてのテーマに関するレポートで評価する。
評価基準：割り当てられたテーマを全て履修したものにつき、下記のように成績を評価する。（各テーマごとに，定められたすべての実験を行い，かつ，レポートが提出されたものを「履修した」と見なす。）

S: 達成目標をすべて達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A: 達成目標を 80%達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B: 達成目標を 70%達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C: 達成目標を 60%達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
Students are evaluated by reports.
In order to get evaluation, each student needs to attend and perform all of eight experimental subjects (24 weeks), and to submit the reports for all the subjects. Evaluation is made in the following way:
S: Achieved all the goals and obtained points of reports 90 or higher (out of 100 points)
A: Achieved 80% of the goals and obtained points of reports 80 or higher (out of 100 points)
B: Achieved 70% of the goals and obtained points of reports 70 or higher (out of 100 points)
C: Achieved 60% of the goals and obtained points of reports 60 or higher (out of 100 points)

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
2018 年度 とりまとめ担当教員：
有吉誠一郎 G-404(内線 6908); ariyoshi@ens.tut.ac.jp

一般的な連絡は下記まで。
2018 年度 教務委員：
高島和則 G-504(内線 6919); takashima@ens.tut.ac.jp
Faculty in charge of this subject:
In FY2018, Associate Professor Seiichiro Ariyoshi; Room number G-404; Ext. 6908; email: ariyoshi@ens.tut.ac.jp

For general inquiry:
In FY2018, Professor Kazunori TAKASHIMA; Room number G-504; Ext. 6919; email: takashima@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ
環境・生命工学系ホームページ：http://ens.tut.ac.jp/
Department of Environmental and Life Sciences: http://ens.tut.ac.jp/

オフィスアワー
1) 各テーマの内容等に関する質問は，テーマ担当教員にアポイントメントを取った上で行って下さい。
2) この科目全般に関する質問はとりまとめ担当教員に連絡をとってください。
Make appointment prior to contact the coordinator of the subject.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D3) 実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的視点から考察し，説明する能力を身につけている。
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
(D3) (Sustainable Development Course) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to consider and explain things from the viewpoint of technological science
(D4) (Sustainable Development Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under givenrestrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge
(D4) (Materials and Life Sciences Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks undergiven restrictions

キーワード

実験, 演習, 物理学、化学, 生物学, 環境、電気・電子, 工学, データ整理、レポート作成、研究基礎
Experiment, practice, physics, chemistry, biology, environment, electricity and electronics, engineering, data processing, report assignment, practical research

(B14600040)卒業研究[Supervised Research]

科目名[英文名]	卒業研究[Supervised Research]				
時間割番号	B14600040	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期＋後1	**曜日時限**	月 1～1,月 4～4,火 5～5,水 4～5,金 4～5	**単位数**	8
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	S4系教務委員 4kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ENV_BAC48010				

授業の目標

配属された研究室の指導教員の指導の下で、環境・生命工学に関する研究を実施する。研究を遂行するために必要な基礎知識、実験等に必要な技術、データの解析方法を習得するとともに、研究課題の学術的・社会的意義について理解する。さらに、研究の成果として卒業論文を作成することにより、論文の構成能力、文章作成能力を習得し、卒業研究発表会における研究成果の発表・質疑応答を通じて、口頭発表能力を養う。

In the course, the students will perform researches on the environmental and life sciences under the direction of his/her supervisor in the laboratory. The aims of this lessen are to acquire the knowledge and experimental and analytical skills required for his/her research subject, to learn the scientific and social importance of his/her subject by researching for related studies by others, and to write a graduation thesis. The students will acquire the skills and capacities of presentation by discussing in the final presentation.

授業の内容

3年次後期末までに卒業研究配属要件を満たした者は、卒業研究を実施する研究室に配属され、指導教員の下で卒業研究を実施する。指導教員が課した課題について、学術的・社会的意義を学習し、研究を遂行するために必要な技術を習得して研究を行う。研究成果はその要旨を作成・提出して、卒業研究発表会において口頭発表し、質疑に応えるとともに、卒業論文としてとりまとめ、提出する。

The students are required to have his/her research subject under the direction of his/her supervisor and perform his/her research by acquiring the experimental and analytical skills in the laboratory. The students will be expected to learn the scientific and social background of his/her research subject by collecting and reading the references relating to his/her research. The results from his/her research must be described as a graduation thesis. The students must also present the results from his/her research, discuss, and answer the questions with the reviewers in the final presentation.

予習・復習内容

指導教員より研究テーマに関する文献・専門書等の指示があるので、それらを熟読・理解し、また自ら文献検索を行うなど、積極的に予習に努めること。特に技術習得や研究の社会的、学術的意義を強く意識しながら関連文献を読解し、予習，復習に努める。研究経過とともに得られる実験技術やデータ等の考察・復習を常日頃行うこと。

関連科目

環境・生命工学課程のすべての科目および基礎科目

教科書に関する補足事項

研究課題ごとに指導教員の指示による。

参考書に関する補足事項

達成目標

環境・生命工学分野における先端研究の理解と研究技法の習得を目標としており、具体的には下記の事項を達成することを目標とする。

（1）研究課題の背景、意義、および目的を理解する。
（2）研究の遂行に必要な基礎知識および実験等の技術を習得し、問題を解決できる。
（3）データの解析方法を理解し、実践できる。
（4）卒業論文として研究成果をまとめる能力を習得する。
（5）研究成果を適切に要約し、卒業研究発表会において適切に発表する能力を習得する。
（6）社会に通用する安全衛生および時間管理の意識を向上させる。
（7）組織の中で協調しながら仕事ができる能力を養う。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

卒業論文および卒業研究発表会における口頭発表により評価する。卒業研究発表においては、提出されたその要旨とともに口頭発表において社会的・学術的意義、目的、およびそれに対応した結論を明示し、口頭試問、質疑に適切に応える。卒業論文は環境・生命工学系の教員が閲覧し、適宜修正を求める。成績は、上記の内容および研究の達成度を詳細に判定して指導教員が評価する。

評価基準:
A: 達成目標をすべて達成しており、卒業論文および口答試問評価の合計点(100 点満点)が 80 点以上。
B: 達成目標をかなり達成しており、卒業論文および口答試問評価の合計点(100 点満点)が 65 点以上。
C: 達成目標をいくつか達成しており、卒業論文および口答試問評価の合計点(100 点満点)が 55 点以上。

発表論文要旨、論文等の提出は決められた期限を厳守すること。

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
担当教員: 各研究室の指導教員
一般的な事項に関する照会先:
平成 29 年度教務委員: 高島 和則、G-504 (内線 6919) 電子メール:takashima@ens.tut.ac.jp
平成 30 年度教務委員: 後日連絡予定

Faculty in charge of this training program: Supervisor
For general inquiry:
In FY2017: Professor Kazunori TAKASHIMA; Room #: G-504; Ext.: 6919; E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp
In FY2018: TBA

ウェルカムページ
環境・生命工学系ホームページ:http://ens.tut.ac.jp/

オフィスアワー
指導教員が指示した時間

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し, 諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し, 諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会, 環境, 技術等の変化に対応して, 継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チームの一員としての自己の役割を自覚し, 周囲と協働して自分が行うべき責務を行い, プロジェクトを完成させる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D4) (Sustainable Development Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under

givenrestrictions Life and Materials Science Course (D4) (Materials and Life Sciences Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks undergiven restrictions (E) Expression and communication skills for success home and abroad Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media (F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc. (G) Ability to work with a team Have the ability to complete projects while being aware or the roles to play as a team member and performing one's own duties in cooperation with those around oneself
キーワード 環境, 生命、先端的環境技術、生態工学, 生命工学、分子機能化学

(B14600050)実務訓練[Internship]

科目名[英文名]	実務訓練[Internship]				
時間割番号	B14600050	区分	環境・生命専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	後期2	曜日時限	月 1～5,火 1～5,水 1～5,木 1～5,金 1～5	単位数	6
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	S4系教務委員 4kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ENV_BAC49010				

授業の目標

社会との密接な接触、実体験を通じて、工学技術等の実動感覚を体得させ、指導的技術者として必要な基礎人間力の向上と人間性の陶冶を図る。

In this training program, all the students will have a chance to work in a company or public institution, and also get a set of fundamental skills that are required as a leading scientist or engineer.

授業の内容

学部第4年次学生が従事できる実務のうち、実務訓練の目的にふさわしい企業・官公庁等の実務に従事し、業務に従事し、現場で指導を受ける。指導教員による実務訓練視察および実務訓練先の担当者との連携を通じて、実務訓練の効果を向上させる。

All the students will be assigned to a company or public institution, and work as a trainee. The achievement in this training program could be enhanced by the collaboration of supervisor of the student and the trainer in the company or public institution.

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

企業・官公庁等で実務に従事し、
・業務遂行のためのコミュニケーション
・他の科目で習得した知識の活用法
・業務に関する実践的思考力（スケジュール計画と時間管理、判断力、他）
などを習得するとともに、それらの重要性を認識する。

In this training program, all the students will have a chance to work in a company or public institution, and also get a set of fundamental skills that are required as a leading scientist or engineer.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

実務訓練評定書、実務訓練報告書、訓練状況の調査結果、および実務訓練報告会における口頭発表の結果に基づき総合的に評価する。

総合点 100 点満点で、評価 A:80 点以上, 評価 B:65 点以上, 評価 C:55 点以上。

[Evaluation basis] Students who attend all training schedule will be evaluated on the basis of the evaluation by the trainer, training report submitted by the student and the final presentation as follows:

A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Achieved majority of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).

C: Achieved most of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
派遣先の決定等、実務訓練全般に関する問い合わせ:
平成 29 年度実務訓練担当教員(原口　直樹): B-403(内線 6812)　電子メール: haraguchi@ens.tut.ac.jp
平成 30 年度実務訓練担当教員:　後日連絡予定

その他、一般的な問い合わせ:
平成 29 年度教務委員(高島　和則): G-504 (内線 6919)　電子メール: takashima@ens.tut.ac.jp
平成 30 年度教務委員:　後日連絡予定
Faculty in charge of this training program:
In FY2017: Associate Professor Naoki HARAGUCHI; Room #: B-403; Ext.: 6812; E-mail: haraguchi@ens.tut.ac.jp
In FY2018: TBA

For general inquiry:
In FY2017: Professor Kazunori TAKASHIMA; Room #: G-504; Ext.: 6919; E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp
In FY2018: TBA

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(G)チームで仕事をするための能力
チームの一員としての自己の役割を自覚し，周囲と協働して自分が行うべき責務を行い，プロジェクトを完成させる能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D4) (Sustainable Development Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under givenrestrictions
Life and Materials Science Course
(D4) (Materials and Life Sciences Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks undergiven restrictions
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through

papers, oral reports or information media
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
(G) Ability to work with a team
Have the ability to complete projects while being aware or the roles to play as a team member and performing one's own duties in cooperation with those around oneself

キーワード

(B1460006a)技術科学英語Ⅰ[English for science and technology 1]

科目名[英文名]	技術科学英語Ⅰ[English for science and technology 1]				
時間割番号	B1460006a	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	東海林　孝幸 TOKAIRIN Takayuki				
ナンバリング	ENV_BAC11012				

授業の目標

本科目の目的は、日々躍進する科学技術の分野で、新しい情報を迅速かつ正確に入手し、自分なりに消化・発信していくために必要な実践的英語力を身に付けることにある。

The objective of this class is to acquire practical English in science and technology fields through internet.

授業の内容

【授業回数】

授業は前期 15 回で最終回に定期試験を行う。

【授業形式】

TOEIC のスコアを基にクラス分けをおこない、1 クラスを1教員が担当する。動画視聴、演習、ペア・グループワーク等多様な形式で授業を行う。

【授業内容】

Voice of America News のコンテンツの中から学生諸君が興味を持つと思われるトピックをとりあげ、EnglishCentral（動画を用いて学習するオンライプログラム）を用いて語彙やリスニング・スピーキングの練習をインタラクティブに行う。

Unit 1　A Burger for a Fine Dining Experience
（ファストフードバーガーで高級料理の楽しみを）
Unit 2　Hold Me?（恋愛映画の中の真実の愛）
Unit 3　Spies are Everywhere（あなたのインターネットデータを追跡）
Unit 4　Making Peace Through Music（音楽を通じて平和作り）
Unit 5　Glaciers Come, Glaciers Go（氷河の変化を写真撮影）
Unit 6　Picking Up Language in the Womb（お腹の中の言語学習）
Unit 7　The End of Space Travel?
（アトランティスの着陸：スペースシャトル時代の終わり）
Unit 8　A Talent Blossoms（才能は開花する）　　・・・前半
Unit 9 Robots for Everyday Use（日常使いのロボット）
Unit 10 Video Games as a Career（ビデオゲームは娯楽だけとは限らない）
Unit 11 How the Internet Began（インターネット：その始まり）
Unit 12 Social Networking and Productivity
（ソーシャル・ネットワーキングは生産性に影響を及ぼす？）
Unit 13 The Large Hadron Collider（大型ハドロン衝突型加速器）
Unit 14 Encouraging More Microfinance（小規模金融は多い方が良い）
Unit 15 All the World's Books Online
（Google が世界中の本をオンライン化することを計画）
試験
Textbook:　Voice of America News

Unit 1　A Burger for a Fine Dining Experience
Unit 2　Hold Me?
Unit 3　Spies are Everywhere
Unit 4　Making Peace Through Music
Unit 5　Glaciers Come, Glaciers Go
Unit 6　Picking Up Language in the Womb
Unit 7　The End of Space Travel?
Unit 8　A Talent Blossoms

Unit 9 Robots for Everyday Use
Unit 10 Video Games as a Career
Unit 11 How the Internet Began
Unit 12 Social Networking and Productivity
Unit 13 The Large Hadron Collider
Unit 14 Encouraging More Microfinance
Unit 15 All the World's Books Online

Examination

予習・復習内容

【予習】
授業に積極的に参加するための事前準備として、オンライン上にある EnglishCentral を用いた自主コーナーの利用をすすめる。これを用いればテキストの内容を各自のペースで無理なく効率よく学ぶことができる。また、テキストのコンテンツだけではなく各トピックに関連した動画を用いた学習もできるので、各自の興味や関心に応じて学習を深めることも可能である。

【復習】
理解の度合を確認するために、授業の中で小テストを実施する。

関連科目

基礎技術科学英語 I, 基礎技術科学英語 II, 基礎科学技術英語 III, 技術科学英語 II
English for science and technology 2, Basic English for science and technology 1, Basic English for science and technology 2, Basic English for science and technology 3

教科書 1	**書名**	VOA News Clip Collection			**ISBN**	978-4-7919-1022-9
	著者名	安浪誠祐、Richard, S. Lavin	**出版社**	株式会社 成美堂	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)科学技術に関する一般会話、ニュースやスピーチ等の視聴における積極的態度。
(2)頻出する語彙・文法・文章構成などの基礎知識。
(3)有用な情報を抽出し、正確に理解する読解力・理解力。
(4)理解した情報を自分の言葉でまとめ、発展させる発信力。
(1)General conversation skill for science and technology
(2)Basic skills of English grammar and vocabulary
(3)Reading skills
(4)Expression ability using English

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

【評価方法】
授業への出席と貢献度(30%)、小テスト(40%)、試験(30%)によって評価する。また、原則として、欠席が 4 回以上になった場合は履修放棄とみなす。

【評価基準】
成績は下記のように評価する。
S:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and quiz, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and quiz, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved all goals and obtained total points of exam and quiz, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved all goals and obtained total points of exam and quiz, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

1. 電子辞書、テキスト、配布物等の持ち込みは不可とする。
2. 小テストや試験に無断欠席、あるいは遅刻した者に対して、追試験は行わない。
3. 氏名や学生番号が書かれていない答案は採点しない。
1. Must not use an electric dictionary, textbook and other documents related to the exam.

2. No re-examination for students who did not attend the examination

その他

連絡担当教員:　東海林孝幸
G－405、TEL:0532-44-6911
E-mail:　tokairin-at-ens.tut.ac.jp (″-at-″を@に変更して送信してください)
Instructor: Takayuki Tokairin (東海林孝幸)
Room: G－405、TEL:0532-44-6911
E-mail:　tokairin-at-ens.tut.ac.jp (″-at-″ is @)

ウェルカムページ

オフィスアワー

月曜日 10:30～11:30　。その他の時間帯は連絡担当教員が質問を取り次ぐ。
月曜日 10:30～11:30　。その他の時間帯は連絡担当教員が質問を取り次ぐ。

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media

キーワード

科学技術英語
科学技術英語

(B1460006b)技術科学英語Ⅰ[English for science and technology 1]

科目名[英文名]	技術科学英語Ⅰ[English for science and technology 1]				
時間割番号	B1460006b	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	梅影　創 UMEKAGE So				
ナンバリング	ENV_BAC11012				

授業の目標

本科目の目的は、日々躍進する科学技術の分野で、新しい情報を迅速かつ正確に入手し、自分なりに消化・発信していくために必要な実践的英語力を身に付けることにある。

To develope communication skills in English. Especially, this course will focus on nurturing listening ability.

授業の内容

【授業回数】

授業は 15 回、最終回に定期試験を行う。

【授業形式】

TOEIC のスコアを基に2クラスに分け、1 クラスを1教員が担当する。動画視聴、演習、ペア・グループワーク等多様な形式で授業を行う。

【授業内容】

Voice of America News のコンテンツの中から学生諸君が興味を持つと思われるトピックをとりあげ、EnglishCentral（動画を用いて学習するオンライプログラム）を用いて語彙やリスニング・スピーキングの練習をインタラクティブに行う。

前期

第 1～2 回　Unit 1　A Burger for a Fine Dining Experience
（ファストフードバーガーで高級料理の楽しみを）
第 3～4 回　Unit 2　Hold Me?（恋愛映画の中の真実の愛）
第 5～6 回　Unit 3　Spies are Everywhere（あなたのインターネットデータを追跡）
第 7～8 回　Unit 4　Making Peace Through Music（音楽を通じて平和作り）
第 9～10 回　Unit 5　Glaciers Come, Glaciers Go（氷河の変化を写真撮影）
第 11～12 回　Unit 6　Picking Up Language in the Womb（お腹の中の言語学習）
第 13～14 回　Unit 7　The End of Space Travel?
（アトランティスの着陸：スペースシャトル時代の終わり）
第 15 回　期末テスト

1～2　Unit 1　A Burger for a Fine Dining Experience
3～4　Unit 2　Hold Me?
5～6　Unit 3　Spies are Everywhere
7～8　Unit 4　Making Peace Through Music
9～10　Unit 5　Glaciers Come, Glaciers Go
11～12　Unit 6　Picking Up Language in the Womb
13～14　Unit 7　The End of Space Travel?
15　final exam

予習・復習内容

【予習】

授業に積極的に参加するための事前準備として、オンライン上にある EnglishCentral を用いた自　主コーナーの利用をすすめる。これを用いればテキストの内容を各自のペースで無理なく効率よ　く学ぶことができる。また、テキストのコンテンツだけではなく各トピックに関連した動画を用　いた学習もできるので、各自の興味や関心に応じて学習を深めることも可能である。

【復習】

理解の度合を確認するために、授業の中で随時小テストを実施する。

Check the VOA contents on the web and ansewer the questions in the dext book.

関連科目

基礎科学技術英語 I，基礎科学技術英語 II，基礎科学技術英語 III

English for science and technology 2, 3

教科書 1	書名	VOA News Clip Collection			ISBN	978-4-7919-1022-9
	著者名	Richard, S. Lavin	出版社	Seibido	出版年	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)科学技術に関する一般会話、ニュースやスピーチ等の視聴における積極的態度。
(2)頻出する語彙・文法・文章構成などの基礎知識。
(3)有用な情報を抽出し、正確に理解する読解力・理解力。
(4)理解した情報を自分の言葉でまとめ、発展させる発信力。
To develop the ability for understanding spoken English.
To improve the ability for English pronunciation and grammer.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

【評価方法】
授業への出席と貢献度(20%)、小テスト(40%)、試験(40%)によって評価する。また、原則として、欠席が3回以上になった場合は履修放棄とみなす。
欠席 1 回につき、総点から 10 点減点する。遅刻 1 回につき、総点から 5 点減点する。
【評価基準】
成績は下記のように評価する。
S:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 60 点以上
【Evaluation】
Attendance(20%)、short test(40%)、final exam(40%)
Students who miss the class for three times will be vanished.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 90 % of goals and obtained total points of atendance and exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of atendance and exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of atendance and exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of atendance and exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

1. 電子辞書、テキスト、配布物等の持ち込みは不可とする。
2. 小テストや試験に無断欠席、あるいは遅刻した者に対して、追試験は行わない。
3. 氏名や学生番号が書かれていない答案は採点しない。

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

月曜日 10:30～11:30 。その他の時間帯は連絡担当教員が質問を取り次ぐ。
anytime

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences

(E) Expression and communication skills for success home and abroad Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
キーワード 技術科学英語

(B1460007a)技術科学英語Ⅱ[English for science and technology 2]

科目名[英文名]	技術科学英語Ⅱ[English for science and technology 2]				
時間割番号	B1460007a	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期1	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	原口　直樹 HARAGUCHI Naoki				
ナンバリング	ENV_BAC21012				

授業の目標

本科目は日々躍進する科学技術の分野で、新しい情報を迅速かつ正確に入手し、各々が消化・発信していくために必要な英語基礎力を身に付けることを目標とする。

This subject aims to learn the basic English skills for science and technology.

授業の内容

科学技術の分野で最近注目されている動画ニュースに触れながら、同分野で頻出する語彙・文法・文章構成などの基礎知識や言語的特徴を学習する。

教科書の内容は授業の中で理解できるように構成されているが、授業外学習ツールとして、付属の自習用 DVD や Web 英語学習システムの利用を薦める。これらを用いると各自のペースで効率よく学ぶことができ、知識の定着が強化される。

加えて、フリーディスカッションなどを行い、実践的なコミュニケーション能力の向上を目指す。

Unit 7 The End of Space Travel?
Unit 8 A Talent Blossomes
Unit 9 Robots for Everyday Use
Unit 10 Video Games as a Career
Unit 11 How the Internet Began
Unit 12 Social Networking and Productivity
Unit 13 The Large Hadron Collider
Unit 14 Encouraging More Microfinance
Unit 15 All the World's Books Online
Unit 7 The End of Space Travel?
Unit 8 A Talent Blossomes
Unit 9 Robots for Everyday Use
Unit 10 Video Games as a Career
Unit 11 How the Internet Began
Unit 12 Social Networking and Productivity
Unit 13 The Large Hadron Collider
Unit 14 Encouraging More Microfinance
Unit 15 All the World's Books Online

予習・復習内容

【予習】

授業に積極的に参加するための事前準備として、オンライン上にある EnglishCentral を用いた自主コーナーの利用を薦める。これを用いればテキストの内容を各自のペースで無理なく効率よく学ぶことができる。また、テキストのコンテンツだけではなく、各トピックに関連した動画を用いた学習もできるので、各自の興味や関心に応じて学習を深めることも可能である。

【復習】

理解度確認のため、小テストを随時実施する。

関連科目

基礎技術科学英語 I, 基礎技術科学英語 II, 基礎技術科学英語 III, 技術科学英語 I
Basic English for science and technology 1, 2, 3,English for science and technology 1

教科書 1	**書名**	VOA Newa Clip Collection 映像で見るVOAニュース			**ISBN**	978-4-7919-1022-9
	著者名	Seisuke Yasunami Richard S. Lavin	**出版社**	成美堂	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
(1)科学技術分野で頻出する英語の語彙・文法・文章構成などの基礎知識を習得している。
(2)(1)の基礎知識から、科学技術英語の言語的特徴を理解できる。
(3)科学技術に関するニュースを視聴し、正しく意味を理解できる。
(4)科学技術に関するニュースの要点を抽出し、スピーチ形式にまとめられる。
(1) Master of the basic knowledge, such as vocabulary, grammar, sentence structure of English in science and technology.
(2) Understanding of English features in science and technology.
(3) Understanding of the news on science and technology, correctly.
(4) extraction of news highlights on science and technology and making a speech in English.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
【評価方法】
試験(60%)、小テスト(20%)、授業への出席と貢献度(20%)によって評価する。また、原則として、欠席が 3 回以上になった場合は履修放棄とみなす。
【評価基準】
成績は下記のように評価する。
S:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:上記評価項目の合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation method]
examination 60%, quiz 20%, attendance and contribution 20%.

[Evaluation basis]
S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
連絡担当教員: 原口 直樹
居室:B－403
TEL:0532-44-6812
E-mail:haraguchi-at-ens.tut.ac.jp (″-at-″を@に変更して送信してください)
Room:B－403
TEL:0532-44-6812
E-mail:haraguchi-at-ens.tut.ac.jp (Change ″-at-″ to ″@″)

ウェルカムページ

オフィスアワー
月曜日 10:30～11:30 を原則として随時
10:30-11:30, Monday

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media

キーワード

技術科学英語
English for science and technology

(B1460007b)技術科学英語Ⅱ[English for science and technology 2]

科目名[英文名]	技術科学英語Ⅱ[English for science and technology 2]				
時間割番号	B1460007b	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期1	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	有吉　誠一郎 ARIYOSHI Seiichiro				
ナンバリング	ENV_BAC21012				

授業の目標

本科目の目的は、日々躍進する科学技術の分野で、新しい情報を迅速かつ正確に入手し、自分なりに消化・発信していくために必要な英語基礎力を身に付けることにある。

The purpose of this lecture is to learn English basic skills in order to obtain new information quickly and exactly in the field of science and technology.

授業の内容

1～2 週目　Unit-8 A Talent Blossoms（才能は開花する）
3～4 週目　Unit-9 Robots for Everyday Use（日常使いのロボット）
5～6 週目　Unit 13 The Large Hadron Collider（大型ハドロン衝突型加速器）
7 週目　Unit-10 Video Games as a Career（ビデオゲームは娯楽だけとは限らない）
8 週目　定期試験
Week 1-2　Unit-8 A Talent Blossoms
Week 3-4　Unit-9 Robots for Everyday Use
Week 5-6　Unit 13 The Large Hadron Collider
Week 7　Unit-10 Video Games as a Career
Week 8　term-end examination

予習・復習内容

関連科目

基礎技術科学英語 I
基礎技術科学英語 II
基礎技術科学英語 III
技術科学英語 I
Basic English for science and technology 1
Basic English for science and technology 2
Basic English for science and technology 3
English for science and technology 1

教科書 1	**書名**	VOA Newa Clip Collection 映像で見るVOAニュース			**ISBN**	978-4-7919-1022-9
	著者名	Seisuke Yasunami and Richard S. Lavin	**出版社**	成美堂	**出版年**	2014

教科書に関する補足事項

教科書 1 の参照 URL
http://ja.englishcentral.com/
Reference URL of Textbook1
http://ja.englishcentral.com/

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 科学技術分野で頻出する英語の語彙・文法・文章構成などの基礎知識を習得する。
(2) 科学技術英語の言語的特徴を理解する。
(3) 科学技術に関するニュースを視聴し、正しく意味を理解する。
(4) 科学技術に関するニュースの要点を抽出し、スピーチ形式にまとめる。
(1) To learn the basic knowledge such as the English vocabulary, grammar and sentence composition in the field of science and technology
(2) To understand the linguistic feature of English for science and technology
(3) To understand the meaning definitely by watching the news about science and technology
(4) To summarize it the speech form by extracting the main point of the news about science and technology

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：

以下の割合で総合的に評価する。
定期試験（50%）、小テスト（30%）、その他授業中の質疑応答など（20%）

評価基準：
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上
[Evaluation method]
Students are evaluated in the ratio of the following generally.
term-end examination (50 %), Small test (30 %), and others (20 %)

[Evaluation basis]
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 100 % of goals and obtained point of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained point of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained point of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained point of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
事前にメールにて連絡すること
Make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media

キーワード
技術科学英語
English for science and technology

(B14600090)環境・生命工学演習[Seminar on Environmental and Life Sciences]

科目名[英文名]	環境・生命工学演習[Seminar on Environmental and Life Sciences]				
時間割番号	B14600090	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期＋後1	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	S4系教務委員 4kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ENV_BAC31010				

授業の目標

3年次までに所定の単位数以上を修得した者は、卒業研究を実施するために配属された各研究室において環境・生命工学に関する演習を受講し、卒業研究の専門分野に必要な基礎知識と研究を遂行するための基本的方法論を習得する。

All the students assigned to the laboratory for graduation work will have a special training to understand the fundamental background of his/her graduation work by reading corresponding technical and scientific papers.

授業の内容

配属された研究室の指導教員の下で、専門書、学術論文等の輪読・学習を行うとともに、それらの内容についての論議を行う。これらの学習、質疑応答を通じて研究に必要な基礎知識と基本的な方法論を学習する。

Under the supervision of the adviser, the student will receive a special training to understand the corresponding technical and scientific papers to his/her graduation work.

予習・復習内容

指導教員が指定した専門書および文献を熟読・理解し、予習に努める。また、演習の後は質疑応答の内容を踏まえて復習に努めること。

Self study on the provided topic and papers should be required in advance.

関連科目

環境・生命工学課程で開講されている関連分野のすべての授業科目

All the subjects in Department of Environmental and Life Sciences. English reading skill is highly required.

教科書に関する補足事項

配属研究室で適宜指定する。

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)卒業研究に関連する基礎知識を習得し、理解する。
(2)学習した内容を適切に要約し、発表することができる。
(3)研究課題の背景及び目的を理解する。
(4)データの解析方法を理解する。
(5)研究成果を適切に要約し、発表する能力を習得する。

All the students assigned to the laboratory for graduation work will have a special training to understand the fundamental background of his/her graduation work by reading corresponding technical and scientific papers.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績評価のための課題については配属研究室で指示する。課題に関する輪読、説明、質問への回答、論議への参加状況、卒業研究に関連する基礎知識の習得状況等について、指導教員が総合的に判定し、以下のように成績評価する。

S: 達成目標をすべて達成しており、演習実施とレポートの評価の合計点(100 点満点)が 90 点以上。
A: 達成目標をすべて達成しており、演習実施とレポートの評価の合計点(100 点満点)が 80 点以上。
B: 達成目標をかなり達成しており、演習実施とレポートの評価の合計点(100 点満点)が 70 点以上。
C: 達成目標をいくつか達成しており、演習実施とレポートの評価の合計点(100 点満点)が 60 点以上。

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all the goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all the goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved majority of the goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved most of the goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
担当教員:
配属研究室の指導教員(連絡先については系ホームページ等で確認のこと)

その他、一般的な問い合わせ:
平成 29 年度教務委員(高島　和則): G-504 (内線 6919)　電子メール: takashima@ens.tut.ac.jp
平成 30 年度教務委員:　後日連絡予定
Faculty in charge of this subject:
Supervisor

For general inquiry:
In FY2017: Professor Kazunori TAKASHIMA; Room #: G-504; Ext.: 6919; E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp
In FY2018: TBA

ウェルカムページ
環境・生命工学系ホームページ:http://ens.tut.ac.jp/

オフィスアワー
指導教員が指示した時間。

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学, 生物, 物理, 数学を基本とし, 専門科目群を修得することにより, 先端環境技術, 環境リスク制御, 環境評価・修復の技術, 科学的知識を獲得し, それらを駆使し課題を探究し, 組み立て解決する能力を身につけている。
(D3) 実験を計画・遂行し, データを正確に解析し, 技術科学的視点から考察し, 説明する能力を身につけている。
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し, 諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより, 技術, 科学的知識を獲得し, それらを駆使し課題を探究し, 組み立て解決する能力を身につけている。
(D3) 有機化学, 無機化学, 分析化学, 物理化学, 生命科学, 等の専門基礎を習得することにより, 生命・物質を原子・分子レベルで理解し, 解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し, それらを駆使して課題を探求し, 組み立て, 解決する能力を身につけている。
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し, 諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文, 口頭及び情報メディアを通じて, 自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会, 環境, 技術等の変化に対応して, 継続的に自ら学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have

design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
(D3) (Sustainable Development Course) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to consider and explain things from the viewpoint of technological science
(D4) (Sustainable Development Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under givenrestrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge
(D4) (Materials and Life Sciences Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks undergiven restrictions
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.

キーワード
環境・生命工学、先端環境技術、生態工学、生命工学、分子機能化学
環境・生命工学、先端環境技術、生態工学、生命工学、分子機能化学

(B14620030)有機化学[Organic Chemistry]

科目名[英文名]	有機化学[Organic Chemistry]				
時間割番号	B14620030	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	伊津野　真一 ITSUNO Shinichi				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

有機化合物の結合の特徴や反応様式、立体化学に関する基礎的事項を学習する。
本講義では、英語テキストを用いて日本語で講義を行い、グローバルな知識を修得する。
This subject deals primarily with the basic principles to understand the structure and reactivity of organic molecules.

授業の内容

1 週目．有機化学概説
2 週目．構造と結合
3 週目．極性共有結合；酸と塩基
4 週目．有機化合物：アルカンとその立体化学
5 週目．有機化合物：アルカンとその立体化学（続き）
6 週目．有機化合物：シクロアルカンとその立体化学
7 週目．演習
8 週目．四面体中心における立体化学
9 週目．立体化学(続き）
10 週目．有機反応の概観
11 週目．アルケン：構造と反応性
12 週目．演習
13 週目 アルケン：反応
14 週目 アルケン：合成
15 週目 アルキン：有機合成序論
16 週目 定期試験

1. General aspect on organic chemistry
2. Structure and Bonding.
3. Polar Covalent Bonds; Acids and Bases.
4. Organic Compounds: Alkanes and Their Stereochemistry 1.
5. Organic Compounds: Alkanes and Their Stereochemistry 2.
6. Organic Compounds: Cycloalkanes and Their Stereochemistry 1
7. Exam
8. Stereochemistry at Tetrahedral Centers.
9. Stereochemistry
10. An Overview of Organic Reactions.
11. Alkenes: Structure and Reactivity.
12. Exam
13. Alkenes: Reactions
14. Alkene: Synthesis.
15. Alkynes: An Introduction to Organic Synthesis.
16. Exam.

予習・復習内容

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習し、教科書にある問題を解いてみること。
次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

関連科目

基礎有機化学 I,II
有機合成学
有機元素化学
Basic organic chemistry, Organic synthesis

教科書 1	**書名**	Organic Chemistry	**ISBN**	

	著者名	J. McMurry	出版社	Mary Finch	出版年	
教科書 2	書名	有機化学　上			ISBN	
	著者名	マクマリー	出版社	東京化学同人	出版年	

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	Organic Chemistry			ISBN	
	著者名	John McMurry	出版社	Mary Finch	出版年	

参考書に関する補足事項

Organic Chemistry, eighth edition, John McMurry 英語テキストは4系で用意したものを貸し出す。

達成目標

(1)有機化合物における有機分子の成り立ちを把握する。
(2)化学結合、有機化合物の構造を理解する。
(3)アルカン及びシクロアルカン誘導体についての化学を理解する。
(4)有機分子の立体化学を理解する。
(5)アルケンの合成と反応を理解する。
(6)アルキンの合成と反応を理解する。
(7)有機ハロゲン化物の合成と反応を理解する。
(8)反応機構をかけるようにする。

1. To understand chemical bonding and structure of organic compounds.
2. To understand chemistry of alkanes and cycloalkanes.
3. To understand stereochemistry of organic compounds.
4. To understand reaction and synthesis of alkenes.
5. To understand reaction and synthesis of alkynes.
6. To understand reaction mechanism of some fundamental organic reactions.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：中間試験(50%)、期末試験(50%)で評価を行う。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記の成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が90点以上
A:達成目標の 80%を達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が80点以上
B:達成目標の 70%を達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が70点以上
C:達成目標の 60%を達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が60点以上

S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

B-502, 内線 6813
itsuno@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://ens.tut.ac.jp/chiral/
http://ens.tut.ac.jp/chiral/

オフィスアワー

金曜日 15:00-17:00

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学, 生物, 物理, 数学を基本とし, 専門科目群を修得することにより, 先端環境技術, 環境リスク制御, 環境評価・修復の

技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード
有機化学

(B14620040)無機化学[Inorganic Chemistry]

科目名[英文名]	無機化学[Inorganic Chemistry]				
時間割番号	B14620040	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	水嶋　生智, 中野　裕美 MIZUSHIMA Takanori, NAKANO Hiromi				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

固体化学を理解する上で重要である結晶構造の基礎とそれを解析するための X 線、電子線回折法の理論, さらに固体材料の作製法, 固体の電子物性、欠陥と不定比性について理解する。

The objective of the coursework is to understand basic solid-state chemistry including crystal structures, X-ray and electron diffractions, synthesis of solid materials, electronic properties, defects and nonstoichiometry, and microporous and mesoporous solids.

授業の内容

前期Ⅰ(中野)

1-3. An Introduction to Crystal Structures(結晶構造入門)

4-6. Physical Methods for Characterising Solids(X 線回折法、電子線回折法の基礎)

7. Synthesis of Solids(固体材料の製法)

8. 復習 45 分、 定期試験　45 分

前期Ⅱ(水嶋)

1-2. Solid: Their Bonding and Electronic Properties(固体の化学結合と電子物性)

3-5. Defects and Nonstoichiometry(欠陥と不定比性)

6-7. Microporous and Mesoporous Solids(ゼオライト)

8. 復習 45 分、 定期試験　45 分

Spring Semester I (Nakano)

1-3. An Introduction to Crystal Structures

4-6. Physical Methods for Characterising Solids(X-ray diffraction、electron diffraction)

7. Synthesis of Solids

8. Review 45 min., regular examination 45 min.

Spring Semester II (Mizushima)

1-2. Solid: Their Bonding and Electronic Properties

3-5. Defects and Nonstoichiometry

6-7. Microporous and Mesoporous Solids (Zeolites)

8. Review 45 min., regular examination 45 min.

予習・復習内容

講義内容の予習、復習を行うこと。

Preparing for and reviewing the classwork are required.

関連科目

基礎無機化学、基礎物理化学

Basic inorganic chemistry, Basic physical chemistry

教科書 1	**書名**	入門固体科学			**ISBN**	
	著者名	L.Smart　、　E.Moore 著、河本邦仁、平尾一之訳	**出版社**	化学同人	**出版年**	1996

教科書に関する補足事項

教科書1(日本語)を各自用意すること。

The textbook must be prepared.

参考書 1	**書名**	Solid State Chemistry: An Introduction, Fourth Edition			**ISBN**	
	著者名	Lesley E. Smart, Elaine A. Moore	**出版社**	CRC Press	**出版年**	2012

参考書に関する補足事項

参考書は貸し出す。
The reference book will be lend to the students.

達成目標

1) 固体中の原子又はイオンの配列と結晶構造を理解する。
2) X 線回折法および電子線回折法の原理と結晶構造解析への応用を理解する。
3) 無機材料の合成法とその特徴を理解する。
4) 固体の電子物性を理解する。
5) 固体における欠陥や不定比性と物性との関係を理解する。
6) ゼオライトの構造、性質と応用を理解する。

1) Understanding of geometries of atoms or ions in solids, and crystal structures.
2) Understanding of theory of x-ray and electron diffractions, and their application to crystal structure analysis.
3) Understanding of synthetic procedures of solids and their features.
4) Understanding of electronic properties of solids.
5) Understanding of defects and nonstoichiometry in solids and their influences on the properties.
6) Understanding of structures, properties, and applications of zeolites.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法
中野: 小テスト 50%、 試験 50%
水嶋: 小テスト 50%、 試験 50%

評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標を 90%以上達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

Evaluation method
Nakano: mini-examination 50%, regular examination 50%
Mizushima: mini-examination 50%, regular examination 50%

Evaluation basis
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 90% of goals and obtained total points of the examinations, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of the examinations, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of the examinations, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of the examinations, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業中や終了時、または随時受け付ける。
電子メールによる質問等も歓迎する。

We invite questions in and after the class, or as needed.
We also welcome questions via e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース

(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード

(B14620050)分析化学[Analytical Chemistry]

科目名[英文名]	分析化学[Analytical Chemistry]				
時間割番号	B14620050	区分	環境・生命専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	後期	曜日時限	火 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	齊戸　美弘 SAITO Yoshihiro				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

最近の分析化学は、分析装置を用いた機器分析が主流である。ここでは、各種機器分析手法の基本原理について理解する。

Clear understanding of basic instrumental analytical techniques widely employed in modern analytical chemistry.

授業の内容

1. 分光分析の概要 (Overview of Spectroscopic Analytical Methods)
2. 紫外・可視吸光光度法 (UV/Vis. Spectroscopy)
3. 赤外吸収分析法 (Infrared Spectroscopy)
4. 蛍光光度法 (Fluorescence Spectroscopy)
5. 原子吸光分析法と発光分光分析法 (Atomic Absorption Spectroscopy)
6. X線を利用する分析法 (Analytical methods using X-ray)
7. 核磁気共鳴法 (Nuclear Magnetic Resonance)
8. クロマトグラフィー (Chromatographic Techniques)

Outline of this lecture:

1) Overview of Spectroscopic Analytical Methods
2) UV/Vis. Spectroscopy
3) Infrared Spectroscopy
4) Fluorescence Spectroscopy
5) Atomic Absorption Spectroscopy
6) Analytical methods using X-ray
7) Nuclear Magnetic Resonance
8) Chromatographic Techniques

予習・復習内容

あらかじめ教科書の該当ページを熟読し、概要を把握するとともに、講義終了後の復習をすることを前提として講義を進める。
Preliminary self study of the text book is required.

関連科目

分離科学
Separation Science

教科書 1	書名	Principles of Instrumental Analysis, 6th Edition			ISBN	978-0-495-01201-6
	著者名	D. A. Skoog, F. J. Holler, S. R. Crouch	出版社	Cengage Learning	出版年	2007

教科書に関する補足事項

教科書の扱いについては最初の講義の際に連絡します。
The details of the textbook will be announced in the first lecture.

参考書 1	書名	Analytical Chemistry, 7th Ed.			ISBN	0470887575
	著者名	Gary D. Christian, Purnendu (Sandy) Dasgupta	出版社	Wiley	出版年	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

電磁波を利用する各種機器分析法の原理および特徴を理解する。

Clear understanding of basic instrumental analytical techniques using electromagnetic wave widely employed in modern analytical chemistry.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験（100点満点）で評価する。
評価基準：原則として、全ての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S: 達成目標を完全に達成しており，かつ試験 100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を十分に達成しており，かつ試験 100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標をよく達成しており，かつ試験（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標をかなり達成しており，かつ試験（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved almost all of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved majority of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved most of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
その他
Other

定期試験詳細
授業中に小テスト等を実施する場合がある。また定期試験に代えてレポートを課す場合もある。
Some short examinations might be scheduled during the regular lecture.

その他
部屋番号：B-402、内線:6803、E-mail： saito@の後に ens.tut.ac.jp を付ける。

Room #: B-402; Ext.: 6803; E-mail: saito@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時受け付けます。
Anytime, however, appointment is recommended.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード

(B14620060)物理化学[Physical Chemistry]

科目名[英文名]	物理化学[Physical Chemistry]				
時間割番号	B14620060	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	松本　明彦 MATSUMOTO Akihiko				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

これまで学んだ熱力学の基礎の理解を深めながら，化学熱力学の基本的な内容を理解し，具体的な現象の推算や解析する能力を身につける。

Well understanding of fundamental concepts of chemical thermodynamics, and improving ability to analyze thermodynamic phenomena.

授業の内容

教科書の Part 1: Thermodynamics (第 1 部：化学熱力学)に沿って以下の内容を解説する。

1: The properties of gases (1) / 1 週目　気体の性質(1)
2: The properties of gases (2) / 2 週目　気体の性質(2)
3: The first law of thermodynamics (1) / 3 週目　熱力学第一法則(1)
4: The first law of thermodynamics (2) / 4 週目　熱力学第一法則(2)
5: The second law of thermodynamics (1) / 5 週目　熱力学第二法則(1)
6: The second law of thermodynamics (2) / 6 週目　熱力学第二法則(2)
7: The second and third law of thermodynamics (3) / 7 週目　熱力学第二,第三法則(3)
8: Mid-term examination / 8 週目　中間試験
9: Physical transformations of pure substances / 9 週目　純物質の物理的な変態
10: Simple mixtures (1) / 10 週目　単純な混合物(1)
11: Simple mixtures (2) /11 週目　単純な混合物(2)
12: Phase diagram / 12 週目　相図
13: Chemical equilibrium (1) / 13 週目　化学平衡(1)
14: Chemical equilibrium (2) / 14 週目　化学平衡(2)
15: Examination / 15 週目　期末試験

Lecture will be given on the bases of Part 1: Thermodynamics of the text book as below.

1: The properties of gases (1)
2: The properties of gases (2)
3: The first law of thermodynamics (1)
4: The first law of thermodynamics (2)
5: The second law of thermodynamics (1)
6: The second law of thermodynamics (2)
7: The second and third law of thermodynamics (3)
8: Mid-term examination
9: Physical transformations of pure substances
10: Simple mixtures (1)
11: Simple mixtures (2)
12: Phase diagram
13: Chemical equilibrium (1)
14: Chemical equilibrium (2)
15: Examination

予習・復習内容

教科書に沿った予習と授業の復習を欠かさないようにするとともに，教科書の例題，自習問題，演習，問題を解いて理解を深めるように努める。

Self preparation and review based on the text book are strongly recommended. Solving "Examples"in each chapter, and "Exercises" and "Problems" at the end of each chapter is useful and important.

関連科目

反応速度論、分子物理化学、環境・生命工学実験
熱・エネルギー工学、分析化学、化学工学、プロセス装置工学
基礎物理化学Ⅰ、基礎物理化学Ⅱ

Reaction Kinetics, Molecular Physical Chemistry, Environmental and Life Sciences Experiments, Analytical Chemistry, Chemical Engineering, Basic Physical Chemistry I and II

教科書に関する補足事項

環境・生命工学系で用意した以下の教科書を貸し出す。
"Atkins' Physical Chemistry, Tenth Edition"
by Peter Atkins and Julio de Paula
Oxford University Press(2014)
ISBN:978-0199697403
The text book (see below) will be loaned at the Department Office.
"Atkins' Physical Chemistry, Tenth Edition"
by Peter Atkins and Julio de Paula
Oxford University Press(2014)
ISBN:978-0199697403

参考書 1	**書名**	アトキンス物理化学(上)第 10 版			**ISBN**	978-4807909087
	著者名	Peter Atkins, Julio de Paula	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2017
参考書 2	**書名**	Student Solutions Manual to Accompany Atkins' Physical Chemistry			**ISBN**	978-0198708001
	著者名	C. Trapp, M, Cady, C. Giunta	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項

参考書 1 は教科書の翻訳。
参考書 2 は教科書中の問題の解説と解答例。ただし，数値，計算結果に間違いが多いので，注意して使うとよい。
その他，図書館に配架されている熱力学，物理化学の教科書を参考にするとよい。
Books on physical chemistry at the library are also useful.
Reference book 1 is a Japanese-transnational version of the original 10th edition.
Reference book 2 is a solution manual of exercises and problems in the text book. There are several numerical errors and mistakes in calculation.
Other books on physical chemistry at the library

達成目標

(1) 化学熱力学の用語・概念を正しく理解できる。
(2) 熱力学法則を理解し，熱力学計算ができる。
(3) 簡単な反応系の安定相を予測できる。
(1) Understanding of terms in the field of chemical thermodynamics.
(2) Understanding of the lows of thermodynamics, and evaluating basic thermodynamic state functions by calculations
(3) Predicting a stable phases of reaction systems

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：原則としてすべての授業に出席した者について中間試験，期末試験を実施する。
中間試験(配点 100 点)と期末試験(配点 100 点)の結果を 50%ずつの割合で総合的に評価する。

評価基準：下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ中間試験・期末試験の平均点(100 点満点)が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ中間試験・期末試験の平均点(100 点満点)が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつ中間試験・期末試験の平均点(100 点満点)が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ中間試験・期末試験の平均点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準を適用する。

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be able to take mid-term and final exams.
The grade point will be evaluated based on the average point of the two exams as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

1. 解答には関数電卓を使用してよい。
2. 机上には筆記用具，学生証，関数電卓を置いてよい。その他のものは鞄に入れて机の脇に置くこと。
3. 携帯電話・スマートフォンは電源を切り，鞄に入れておくこと。
4. 答案用紙には解答に至る計算過程を記すこと。解答用紙の表面に書ききれないときは裏面を使ってよい。
5. 試験開始後 30 分から試験終了5分前までに答案用紙を提出して退室してよい。その際は，自分の持ち物を持って席を離れ，提出後に席に戻らないこと。

There will be one ninety-minutes examinations during the term and a regularly scheduled final examination. All of the exams will be closed-notes and closed-book.

その他

松本明彦（B-505、E-mail: aki-at-tut.jp 内線 6811）
＊E-mail は，「-at-」を「@」に直して送信してください。

Prof. in charge: Akihiko Matsumoto, Lab room#:B-505, E-mail： aki*at*ens.tut.ac.jp (When text, replace ″*at*″ to ″@″)

ウェルカムページ

オフィスアワー

質問等は随時受け付けるが，なるべく事前に連絡することが望ましい.

At any time but booking is required in advance. E-mail: aki followed by ″@ens.tut.ac.jp″

学習・教育到達目標との対応

未来環境コース：D1
生命・物質コース：D1,D2,D3

Sustainable Development Course：D1
Life and Materials Science Course：D1,D2,D3

キーワード

熱力学， 化学平衡
Thermodynamics, Chemical equilibrium

(B14620070)高分子材料工学[Polymer materials science and engineering]

科目名[英文名]	高分子材料工学[Polymer materials science and engineering]				
時間割番号	B14620070	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	辻　秀人 TSUJI Hideto				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

高分子材料は現代社会において必要不可欠な存在となっている。本講義では、高分子の基礎概念、合成と反応、構造、特性、および機能を学ぶとともに、バイオベース高分子材料に付いても習得する。

The polymeric materials are essential in daily life. This course deals with the basic concept, synthesis and reactions, structures, characteristics, and functions of polymers and biobased polymers.

授業の内容

高分子材料の基礎と応用について論じる。

1. 序論
2. バイオベース高分子
3. 高分子の同定
4. 高分子の合成(I)
5. 高分子の合成(II)
6. 高分子の分子量(I)
7. 高分子の分子量(I)
8. 高分子の構造(I)
9. 高分子の構造(II)
10. 高分子の表面特性(I)
11. 高分子の表面特性(II)
12. 高分子の分解(I)
13. 高分子の分解(II)
14. 高分子の機械的特性(I)
15. 高分子の機械的特性(II)

復習内容：課題問題の解答を作成すること。

1. Introduction
2. Biobased polymers
3. Identification of polymers
4. Polymer synthesis (I)
5. Polymer synthesis (II)
6. Molecular weights of polymers (I)
7. Molecular weights of polymers (II)
8. Structures of polymers (I)
9. Structures of polymers (II)
10. Surface properties of polymers (I)
11. Surface properties of polymers (II)
12. Degradation of polymers (I)
13. Degradation of polymers (II)
14. Mechanical properties of polymers (I)
15. Mechanical properties of polymers (II)

予習・復習内容

有機化学に関する基礎知識が必要であるため、有機化学関連講義を前期に履修するか、各自で学習して理解しておくこと。教科書内の問題の解答を、レポートとして提出すること。

To understand this lecture, the knowledge of organic chemistry is required. So before this lecture, the students should learn organic chemistry in the lectures given in the spring term or by themselves. Answer the given problems in the text book and prepare the report regarding them.

関連科目

有機化学の基礎を理解していること。有機化学と物理化学を履修している方が望ましい。

Organic chemistry.

教科書 1	**書名**	Polymer Analysis			**ISBN**	9780471813637
	著者名	Barbara Stuart	**出版社**	Wiley	**出版年**	2002
教科書に関する補足事項						
参考書 1	**書名**	コンパクト高分子化学—機能性高分子材料の解説を中心として			**ISBN**	4782704135
	著者名	宮下 徳治	**出版社**	三共出版	**出版年**	2000
参考書 2	**書名**	入門　新高分子科学			**ISBN**	4785330783
	著者名	Zenjiro Ohsawa	**出版社**	Shokabo	**出版年**	

参考書に関する補足事項

講義中の私語は厳禁。

The private conversations are strictly prohibited.

達成目標

高分子材料の作製法、構造、物理特性、および機能を理解すること。

At the end of the course, participants are expected to understand the basic concept, synthesis and reactions, structures, characteristics, and functions of polymers and biobased polymers.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

試験(50%)、レポート(40%)、授業での対応（10%)により評価する。

追試は行なわない。

予習・復習およびレポートの提出は不可欠。

評価基準：原則的にすべての講義に出席し、レポートを提出し、試験を受けたものにつき、下記のように成績を評価する。

S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上

A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上

B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上

C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).

A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports,70 or higher (out of 100 points).

C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

授業中日および定期試験期間中に試験を実施する。

Examination (50%) and report for given problems (50%)

その他

G-606, Phone: 44-6922、e-mail: tsuji@ens.tut.ac.jp

G-606, Phone: 44-6922、e-mail: tsuji@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

講義直後

Immediately after each class.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程

〇未来環境工学コース

(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。

〇生命・物質工学コース

(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。

(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード
高分子
Polymers, Macromolecuels

(B14620080)生命化学Ⅰ[Chemistry for Life Science 1]

科目名[英文名]	生命化学Ⅰ[Chemistry for Life Science 1]				
時間割番号	B14620080	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	浴 俊彦 EKI Toshihiko				
ナンバリング	ENV_BAC33222				

授業の目標

生化学は生命現象を分子レベルで、言い換えれば化学の言葉で説明しようとする学問である。生命化学Ⅰでは、生体を構成する物質の構造と機能に関する生化学の基本的知識を理解させる。なお、生化学を学習する観点から、本科目の受講生は、生命化学Ⅱ、ならびに分子生物学Ⅰ,Ⅱを履修することが望ましい。

This course will provide the students with opportunity to study on a basic part of biochemistry, especially important biomolecules and their structures and functions, protein stereo-chemistry, enzymology, and bio-membrane systems. In addition to the class, the students are recommended to participate in courses of Chemistry for Life Science 2 and Molecular Biology 1 and 2.

授業の内容

生化学は、代謝、遺伝、発生などの生命現象はすべて生体を構成する分子や原子によると考えて、複雑な現象をまず単純な素過程に分け、それぞれの素過程に関わる重要な分子を取り出して構造や性質を調べ、さらにそれらの分子が協調して生体内でどのような働きをしているかを調べる学問である。生命化学Ⅰでは、生化学の基礎となる生体分子の構造と機能を中心に各講義を原則、以下の順序で進める。

1 週目: Chapter 1:生化学の歴史、生体を構成する主な分子の構造と機能
2 週目: Chapter 1:細胞の構造と機能、生命と進化
3 週目: Chapter 2: 水の物理的・化学的性質、
4 週目: Chapter 2:水のイオン化、緩衝液
5 週目: Chapter 3:アミノ酸
6 週目: Chapter 3:タンパク質の一次構造
7 週目: Chapter 4:タンパク質の三次元構造と機能(1)
8 週目: 中間試験(1 章～3 章) ＊実施回変更の可能性あり
9 週目: Chapter 4:タンパク質の三次元構造と機能(2)
10 週目: Chapter 5:酵素の特性
11 週目: Chapter 6:酵素の反応機構
12 週目: Chapter 7:糖質
13 週目: Chapter 8:補酵素とビタミン
14 週目: Chapter 9:脂質と生体膜(1)
15 週目: Chapter 9:脂質と生体膜(2)
16 週目:期末試験(4 章～9 章)

Biochemistry is the discipline that explains biological phenomena such as heredity, metabolism, development from the aspect of biomolecules and elements in the organism. It describes the complexed phenomenon with several simple elementary steps and the involved molecules, and the interactions among the steps.

The class of Chemistry for Life Science 1 will be held on the following schedule, focusing on basic biochemistry, explanation of biomolecules (proteins, lipids, carbohydrates, coenzymes and vitamins) and basic enzymology.

1st week: History of Biochemistry, Structure and Functions of Major Biomolecules(Chapter 1)
2nd week: Cell Structure and Function, Evolution(Chapter 1)
3rd week: Chemistry of Water (Chapter 2)
4th week: Buffers(Chapter 2)
5th week: Amino acids (Chapter 3)
6th week: The Primary Structures of Proteins (Chapter 3)
7th week: Proteins: Three-Dimensional Structure and Function (1) (Chapter 4)
8th week: Midterm Examination (Chapters 1, 2, 3) ＊Note: Tentative schedule
9th week: Proteins: Three-Dimensional Structure and Function (2) (Chapter 4)
10th week: Properties of Enzymes (Chapter 5)
11th week: Mechanisms of Enzymes (Chapter 6)
12th week: Carbohydrates(Chapter 7)
13th week: Coenzymes and Vitamins (Chapter 8)
14th week: Lipids and Membranes (1)(Chapter 9)

15th week: Lipids and Membranes (2)(Chapter 9)
16th week: Term-end Examination (Chapters 4-9)

予習・復習内容

化学(特に有機化学)の基礎知識が求められる。事前に教科書の内容を予習しておくこと。
英語教科書の予習用に、各章の技術英語の和訳資料を配付するので参考にすること。
各章の復習に際しては、重要な用語、法則、分子の特性、機能、構造について重点的に理解するとともに、適宜、各章ごとに練習問題を配付するので自習すること。
The students will be required for the knowledgment of basic (organic) chemistry.
For self preparation, handouts summarizing technical terms in Japanese and English in each chapter will be given.
For review, problem-solving exercise will be provided in each chapter.

関連科目

生命化学 II、分子生物学 I, II、遺伝子工学、応用微生物学、基礎生命科学 I, II、基礎生化学
Chemistry for Life Science 2, Molecular Biology 1, 2, Genetic Engineering, Applied Microbiology, Basic Biochemistry 1, 2, Basic Biochemistry

教科書に関する補足事項

教科書(Principles of Biochemistry International ed of 5th revised ed. (L.A. Moran, H.R. Horton, K.G. Scrimgeour, M.D. Perry)、2011 年、 ISBN: 978-0321795793)は第一回の講義に環境・生命工学系で用意したものを貸し出すので、各自が管理すること。期末試験時に返却・回収予定(紛失等の場合は原則、弁済)。
英語教科書の予習用に、各章ごとに技術英語の和訳資料を配付する。
3 章後半以降は、パワポイント資料も配付する。
講義では必要に応じて英語辞書の持ち込みも可。
The textbook (Principles of Biochemistry International ed of 5th revised ed. (L.A. Moran, H.R. Horton, K.G. Scrimgeour, M.D. Perry), 2011, ISBN: 978-0321795793) will be lent to a student in the 1st week and returned in the last week (the term-end examination).
Note: keep and handle the lent textbook carefully. When the lent textbook was lost or broken, it should be recompensed by the user.
Handouts summarizing technical terms in Japanese and English in each chapter will be given.

参考書 1	**書名**	ホートン 生化学(第5版)			**ISBN**	978-4-8079-0834-9
	著者名	L.A. Moran, H.R. Horton, K.G. Scrimgeour, M.D. Perry 著、鈴木紘一、笠井献一、宗川吉汪 監訳	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2013
参考書 2	**書名**	ベーシック 生化学			**ISBN**	978-4-7598-1176-6
	著者名	畑山	**出版社**	化学同人	**出版年**	2009

参考書に関する補足事項

達成目標

(1)生化学の基本的事項(生命の元素、水の化学、pH、酸と塩基、化学平衡、立体異性体、細胞小器官の種類とその役割、生体分子の非共有的相互作用)について理解する。
(2)生体を構成する物質の種類(アミノ酸、タンパク質、糖質、脂質、補酵素とビタミンなど)、その構造と役割について理解する。
(3)アミノ酸や糖などの代表的な生体分子の構造式がかける。
(4)生体分子(特にタンパク質)の立体構造と機能を理解する。
(5)酵素の特性(特に酵素反応速度論)を理解する。
(6)多糖および生体膜の構造と機能を理解する。
1. To understand basic knowledgment of biochemistry (elements of biomolecules, chemistry of water, stereoisomer, cell and organelle, pH, chemical equilibrium, buffer, non-covarelent interactions)
2. To understand representative biomolecules (amino acids, proteins, carbohydrates, lipids, coenzymes and vitamins) and their functions
3. To be able to draw graphical formula of representative amino acids and sugars
4. To understand three-dimensional structures of proteins and functions
5. To understand properties and kinetics of enzymes
6. To understand structures and functions of polysaccharides and bio-membrane

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

[評価法] 講義期間半ばに実施する中間試験(40%)、および期末試験(60%)により成績を評価する。
[評価基準] 原則的にすべての講義に出席した者につき、下記のように成績を評価する。
S: 達成目標をすべて達成しており, かつ中間テスト・学期末試験の合計点(100 点満点)が 90 点以上
A: 達成目標を 80%達成しており、かつ中間テスト・学期末試験の合計点(100 点満点)が 80 点以上
B: 達成目標を 70%達成しており、かつ中間テスト・学期末試験の合計点(100 点満点)が 70 点以上
C: 達成目標を 60%達成しており、かつ中間テスト・学期末試験の合計点(100 点満点)が 60 点以上

[Evaluation method] Mid-term examination (40%), Term-end examination (60%)

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of mid-term and term-end exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of mid-term and term-end exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of mid-term and term-end exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of mid-term and term-end exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

期末試験以外に、中間試験を期間半ば（8 週目頃）に予定しているが、実施週は事前に講義で案内するので注意のこと（日程変更の可能性もある）。試験（中間試験、期末試験）に関する注意事項がある場合、試験前までの講義で案内する。
In addition to the term-end examination, the midterm examination will be planned around the 8th week, but this is tentative.
The defiend schedule will be announced in the class before exam.

その他

浴 俊彦 G505 内線：6907 E-mail: eki@ens.tut.ac.jp
Toshihiko Eki (room: G-505) phone: 6907 E-mail: eki@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

原則、授業実施日の授業後に受け付ける（または事前に対応時間を調整して来室のこと）。
At the end of every class (or acceptable time by making an appointment).

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード

Biochemistry, Enzyme, Biomolecules, Protein, Carbohydrate, Vitamin
Biochemistry, Enzyme, Biomolecules, Protein, Carbohydrate, Vitamin

(B14620110)熱・エネルギー工学[Thermal and Energy Engineering]

科目名[英文名]	熱・エネルギー工学[Thermal and Energy Engineering]				
時間割番号	B14620110	区分	環境・生命専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	後期	曜日時限	月 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	小口　達夫 OGUCHI Tatsuo				
ナンバリング	ENV_BAC34122				

授業の目標

この授業ではエネルギーの利用に関する3つの要素、1）エネルギーの発生、2）エネルギーの伝達、3）エネルギーの変換、の各過程の科学的基礎とその応用についての基本的な素養を習得します。そして、エネルギー技術の現状と未来について、熱プロセスを基盤にしたシステムとしての見方を身につけることを目標とします。

Students are going to understand:
1. The origin of energy for our life,
2. How to transfer the energy,
3. How to transform the energy.
And, students will be able to understand the mechanism of energy in our social system.

授業の内容

熱・エネルギー工学は、環境・生命工学で学ぶ学生にとって大変重要な基盤科目です。エネルギーは文明を支える源ですから、エネルギー技術は「持続可能な社会」を実現する基盤です。この授業では、まず始めにエネルギー技術や産業プロセス等を理解する上で重要な基礎知識を整理し、様々なバックグラウンドを持った受講者のスタートラインを揃えます。その上で、持続可能な社会を実現する熱・エネルギー工学的な方策や将来展望を探り、我々が目指すべき将来の“軟着陸点（ソフト・ランディング）”を検討します。

1：エネルギーの歴史と基本要件
2：エネルギーの発生
3：熱エネルギーと熱力学
4：熱機関
5：熱エネルギーと化学反応
6：エネルギーと燃焼
7：エネルギーの変換・輸送・貯蔵技術
8：エクセルギーの概念と収支
9：持続可能な社会のエネルギー技術
10：熱エネルギーの伝達(1)輻射[1]
11：熱エネルギーの伝達(2)輻射[2]
12：熱エネルギーの伝達(3)熱伝導[1]
13：熱エネルギーの伝達(4)熱伝導[2]
14：熱エネルギーの伝達(5)対流[1]
15：熱エネルギーの伝達(6)対流[2]

予習内容：
Moodle で事前配布する資料（講義スライド）に目を通しておく.

復習内容：
講義中に課す簡単な課題について，十分考察をしておく.
1: The history of energy / requirements for energy in our society
2: Generation of energy
3: Thermal energy and thermodynamics
4: Heat engines
5: Thermodynamics and chemical reactions
6: Energy from combustion process
7: Transformation, transferring, and storage of energy
8: The concept of ″exergy″
9: Global technology for sustainable society
10：Heat transfer (1) radiation [1]
11：Heat transfer (2) radiation [2]
12：Heat transfer (3) conduction [1]
13：Heat transfer (4) conduction [2]

14：Heat transfer (5) convection [1]
15：Heat transfer (6) convection [2]

予習・復習内容
事前に電子配布する資料に目を通し，予習を行って下さい．
事後は講義中に示した課題について再度検討し，次回までに考えをまとめておくようにしてください．
Before session: Read the sheets of summary that can be obtained from the Moodle server before the class.
After session: Check out your understanding with the minute paper in the session.

関連科目
数理解析
物理化学，化学工学，環境反応工学，反応速度論，プロセス装置工学
環境・生命工学実験

Systems Approach for Global Environment
Sustainable Society Engineering
Mathematical Practice for Ecological Eng. A/B
Physical Chemistry
Chemical Engineering
Chemical Reaction Engineering for Environmental Engineering
Reaction Kinetics
Process and Reaction Engineering

教科書に関する補足事項
資料は Moodle を通じて電子配布します。
参考書：新版エネルギー変換（斎藤他、東京大学出版会）、伝熱工学（庄司正弘、東京大学出版会）、資源の熱エネルギー変換と環境汚染（橋口他、工業調査会）
Summary sheets (PDF) will be distributed in the Moodle server.

参考書に関する補足事項

達成目標
1)エネルギーの概念と熱力学による取り扱い方の基礎を習得します。
2)エネルギー技術の現状と社会の持続に必要な観点について理解します。
3)熱エネルギーの発生、伝達、変換の各プロセスを理解します。

1) Understanding the system of energy in our society.
2) Understanding the technologies of energy.
3) Understanding basic science for energy engineering such as thermodynamics, chemical reactions, heat transfer.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：
授業中に毎回簡単なレポートを課します。(20%)
中間試験を行い，成績評価の参考にします。(40%)
期末試験を行い，成績評価の参考にします。(40%)
以上の基準で総合的に評価します。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S: 達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を十分達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標をほぼ達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を概ね達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

講義に関すること　https://moodle2.imc.tut.ac.jp/
（コース一覧から「熱・エネルギー工学」を選択・要ログイン）

https://moodle2.imc.tut.ac.jp/

オフィスアワー

質問等は随時受けますが、できるだけ事前に電話もしくはメール等でアポイントメントを取ってください。
Contact by using e-mail or phone before coming my office.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D2) 化学工学関連の科目を習得することにより，化学工学量論，熱力学，移動現象論などの専門基礎知識を獲得し，それらを駆使して問題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D2) (Materials and Life Sciences Course) Acquire basic knowledge in specialized fields, such as chemistry engineering stoichiometry, thermodynamics and transport phenomena through taking courses relating to chemistry engineering; and havethe ability to solve problems leveraging such knowledge.

キーワード

熱力学　熱伝達　燃焼　エネルギー変換　持続可能　バイオマス
Thermodynamics, Energy transfer, Combustion, Energy transform, Sustainable society, biomass energy

(B14620120)反応速度論[Reaction Kinetics]

科目名[英文名]	反応速度論[Reaction Kinetics]				
時間割番号	B14620120	区分	環境・生命専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期1	曜日時限	木 5～5	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	手老　龍吾 TERO Ryugo				
ナンバリング	ENV_BAC34122				

授業の目標

反応速度論の基礎と理論を理解するとともに、反応機構決定への応用を習得する。

The objective of the coursework is to understand the basics of reaction kinetics and their application to the analysis of reaction mechanisms.

授業の内容

1. 反応速度論の基礎、反応速度の測定法
2. 理論反応速度式の導出：定常状態近似法
3. 理論反応速度式の導出：律速段階近似法
4. 反応機構の具体例：1 分子反応と酵素反応
5. 反応速度の温度依存性：ボルツマン分布とアレニウスパラメーター
6. 固体表面での吸着と反応
7. 反応速度論による不均一触媒反応機構の記述
8. 定期試験

1. The basics of reaction kinetics, Methods for determining reaction rate
2. Derivation of theoretical rate equations: Steady-state approximation
3. Derivation of theoretical rate equations: Rate-determining-step approximation
4. Reaction mechanism: Unimolecular reaction and enzymes
5. Temperature dependence of reaction rates: Boltzmann distribution and Arrhenius parameters
6. Adsorption and reaction on solid surfaces
7. Description of heterogeneous catalysis mechanisms on the basis of reaction kinetics
8. Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習してくること。

Preparing for and reviewing the classwork are required.

関連科目

物理化学、無機化学、界面化学、プロセス装置工学

Physical chemistry, Inorganic chemistry, Interfacial Chemistry, Process and Reaction Engineering

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	Elements of Physical Chemistry (6th ed)			ISBN	978-0199608119
	著者名	Peter Atkins, Julio de Paula	出版社	Oxford University Press	出版年	2013
参考書 2	書名	Fundamentals of Chemical Reaction Engineering			ISBN	978-0-486-48855-4
	著者名	Mark E. Davis, Robert J. Davis	出版社	Dover Publications	出版年	2012
参考書 3	書名	反応速度論　第3版			ISBN	
	著者名	慶伊富長	出版社	東京化学同人	出版年	1969

参考書に関する補足事項

達成目標

1) 定常状態近似法および律速段階近似法による反応速度式の導出
2) 吸着等温式および不均一触媒反応の速度式の導出
3) 反応速度論による反応機構の決定

1) Derivation of theoretical rate equations via steady-state approximation and rate-determining-step approximation.
2) Derivation of theoretical adsorption isotherms and rate equations for heterogenous catalysis.
3) Determination of reaction mechanisms via the kinetics.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験と、レポート・演習等（各 80%、20%）で評価する。ただし、講義における理解度・進捗などを考慮してレポート・演習を実施しない場合は定期試験の点数のみで評価する。

評価基準：原則としてすべての授業に出席した者について，下記のように成績を評価する。
A：定期試験・レポートの合計点が 80%以上（達成目標を十分達成したものとみなす。）
B：定期試験・レポートの合計点が 65%以上（達成目標を達成したものとみなす。）
C：定期試験・レポートの合計点が 55%以上（達成目標を概ね達成したものと判断する。）
Evaluation method
Examination 80%, Report 20%

Evaluation basis
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of the examinations, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65% of goals and obtained total points of the examinations, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55% of goals and obtained total points of the examinations, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
在室していれば随時。できるだけ事前にメール等で連絡のこと。

I invite questions in and after the class, or as needed.
I also welcome questions via e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D2) 化学工学関連の科目を習得することにより，化学工学量論，熱力学，移動現象論などの専門基礎知識を獲得し，それらを駆使して問題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D2) (Materials and Life Sciences Course) Acquire basic knowledge in specialized fields, such as chemistry engineering stoichiometry, thermodynamics and transport phenomena through taking courses relating to chemistry engineering; and havethe ability to solve problems leveraging such knowledge.

キーワード

(B14620130)プロセス装置工学[Process and Reaction Engineering]

科目名[英文名]	プロセス装置工学[Process and Reaction Engineering]				
時間割番号	B14620130	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期2	**曜日時限**	木 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	小口　達夫 OGUCHI Tatsuo				
ナンバリング	ENV_BAC34122				

授業の目標

プロセス装置を設計するためには、そこで利用される各種単位操作およびその原理や種々の法則を理解しなければならない。各種単位操作における物理・化学的な現象を講ずる。原理を理解し、単位操作の構成によるプロセスの設計ができるような知識の集積と能力を養うことを目指す。特に反応工学、反応装置工学を中心として、化学反応プロセス、生物反応プロセス、環境反応プロセス等について、その最適操作設計を行うための基礎的な知識を涵養する。

Understanding reaction system and mechanism for chemical process in labs and industry.

授業の内容

1.プロセス装置設計の基本的な考え方
　装置の形態とその役割,装置設計に必要な知識
2.反応工学の基礎(1) 化学反応の種類
3.反応工学の基礎(2) 反応装置の分類
4.反応器設計の基礎(1) 回分式反応器
5.反応器設計の基礎(2) 連続式完全混合反応器
6.反応器設計の基礎(3) 連続式流通反応器
7.反応器の組み合わせ

予習内容:
授業当日に扱う内容に該当する教科書の章・節に一通り目を通しておく.

復習内容:
授業で扱った教科書の例題, 類題等を各自で解いて理解を深める.

1. Introduction of the Chemical Process Systems.
2. Basics for Reaction Engineering (1) Chemical Reactor
3. Basics for Reaction Engineering (2) Chemical Reaction system
4. Fundamental Design of Reactors (1) Batch Reactor
5. Fundamental Design of Reactors (2) Continuous Flow Reactor
6. Fundamental Design of Reactors (3) Continuous Stirred Tank Reactor
7. Combination of Reactors
8. Review and final examination for evaluation.

予習・復習内容

参考書の該当部分を事前に一読し, 予習をしておいてください.
講義の後, 教科書の演習問題を中心に解き, 復習をしてください.
Solve some problems for homework to check your understanding.

関連科目

化学工学, 物理化学, 熱・エネルギー工学, 環境反応工学, 反応速度論

Reaction Kinetics
Chemical Engineering
Chemical Reaction Engineering for Environmental Engineering
Thermal and Energy Engineering
Physical Chemistry

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Fundamentals of chemical reaction engneering	**ISBN**	978-0-486-48855-4

	著者名	M. E. Davis and R. J. Davis	**出版社**	Dover	**出版年**	
参考書 2	**書名**	反応工学			**ISBN**	978-4-7827-0601-5
	著者名	草壁克己・増田隆夫	**出版社**	三共出版	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

簡単な化学反応プロセス、環境保全プロセスの設計や運転、操業実態の解析等を行うための基礎となる物質収支式の導出、物質移動・反応速度の解析、各種単位操作に関する基礎知識等を確実に身に付けていただきたい。

1) Understanding basic structure of reaction process engineering.
2) Being able to solve basic problem for reaction engineering.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則として、期末試験の得点に基づいて評価する。
演習・授業での対応(レポート提出状況)等の成績を最大 30%まで考慮する。
評価基準:下記のように成績を評価する。
A:達成目標の 80%を達成している
B:達成目標の 70%を達成している
C:達成目標の 60%を達成している

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

事前に電話・メール等で連絡して下さい。

Contact by using e-mail or phone before coming my office.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学, 生物, 物理, 数学を基本とし, 専門科目群を修得することにより, 先端環境技術, 環境リスク制御, 環境評価・修復の技術, 科学的知識を獲得し, それらを駆使し課題を探究し, 組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより, 技術, 科学的知識を獲得し, それらを駆使し課題を探究し, 組み立て解決する能力を身につけている。
(D2) 化学工学関連の科目を習得することにより, 化学工学量論, 熱力学, 移動現象論などの専門基礎知識を獲得し, それらを駆使して問題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D2) (Materials and Life Sciences Course) Acquire basic knowledge in specialized fields, such as chemistry engineering stoichiometry, thermodynamics and transport phenomena through taking courses relating to chemistry engineering; and havethe ability to solve problems leveraging such knowledge.

キーワード

反応速度、化学量論、物質収支、反応操作、反応装置
Chemical kinetics, Chemical equivalence, Mass balance, Operation for reactor, Reaction Process

(B14620160)数理情報工学[Mathematical Engineering and Information Processing]

科目名[英文名]	数理情報工学[Mathematical Engineering and Information Processing]				
時間割番号	B14620160	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	有吉　誠一郎 ARIYOSHI Seiichiro				
ナンバリング	ENV_BAC31022				

授業の目標

本科目の目的は、講義および問題演習を通じて、数値計算ツール FreeMat を用いた数値解析計算の基礎と応用力を習得することにある。

The purpose of this lecture is to learn the basic and application skills of the numerical analysis by using a software (FreeMat) throughout the lecture and practice.

授業の内容

1 週目　数値計算の概念、FreeMat の基礎(1): インストール、使い方
2 週目　FreeMat の基礎(2): 計算の方法（精度、変数と配列、演算子と数学関数）
3 週目　FreeMat の基礎(3): 行列計算（ベクトル、行列）
4 週目　FreeMat の基礎(4): グラフィックス
5 週目　FreeMat の基礎(5): プログラムの作り方、使い方
6 週目　数値解析計算への応用(1): 関数計算
7 週目　数値解析計算への応用(2): 数値積分
8 週目　数値解析計算への応用(3): 微分方程式
9 週目　代数計算への応用(1): 連立方程式
10 週目　代数計算への応用(2): 固有値
11 週目　統計計算への応用(1): 統計値の計算
12 週目　統計計算への応用(2): 最小二乗法の基礎
13 週目　統計計算への応用(3): 最小二乗法の応用
14 週目　実用数値解析(1)
15 週目　実用数値解析(2)

Week 1　Concept of numerical analysis, Basic of FreeMat (1): Installation, Usage
Week 2　Basic of FreeMat (2): Calculation method(Accuracy, Parameter and arrangement, Operator and mathematical function)
Week 3　Basic of FreeMat (3): Matrix calculation (Vector and matrix)
Week 4　Basic of FreeMat (4): Graphics
Week 5　Basic of FreeMat (5): How to program and execute
Week 6　Application to numerical analysis (1): Functional calculation
Week 7　Application to numerical analysis (2): Numerical integration
Week 8　Application to numerical analysis (3): Differential equation
Week 9　Application to algebraic calculation (1): Simultaneous equation
Week 10　Application to algebraic calculation (2): Eigenvalue
Week 11　Application to statistic calculation (1): Calculation of statistical value
Week 12　Application to statistic calculation (2): Basic of least-square method
Week 13　Application to statistic calculation (3): Application of least-square method
Week 14　Practical-use numerical analysis (1)
Week 15　Practical-use numerical analysis (2)

予習・復習内容

情報処理端末室または自宅 PC 等を利用し、演習課題等を通じて復習を行う。

Students are expected to solve the problems repeatedly by using a PC at home and/or the Information and Media Center.

関連科目

数理解析 A
数理解析 B
環境電気電子工学
環境・生命工学実験
Mathematical Practice for Ecological Eng.A
Mathematical Practice for Ecological Eng.B
Environmental Electric and Electronic Engineering
Laboratory Works in Environmental and Life Sciences

教科書に関する補足事項

資料は必要に応じて授業中に配布する。

Documents are distributed as needed.

参考書 1	**書名**	はじめての FreeMat			**ISBN**	978-4777516278
	著者名	赤間 世紀	**出版社**	工学社	**出版年**	2011
参考書 2	**書名**	Octave の精義			**ISBN**	978-4877832315
	著者名	松田 七美男	**出版社**	カットシステム	**出版年**	2010

参考書に関する補足事項

達成目標

1) データ構造、アルゴリズムの設計、知識抽出など様々な数理情報処理方法を理解する。
2) 実際にコンピュータを使った数値処理の基礎を習得する。
3) よく使われる数値計算アルゴリズム、方程式の解法などの応用方法を理解する。
1) To understand the mathematics information processing methods such as data structure, algorithmic design and knowledge extraction
2) To learn the basic of mathematics information using a computer
3) To understand the application methods such as frequently-used algorithms in numerical calculation and elucidation of the equation

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価基準:
原則的にすべての講義に出席し、すべての課題レポートを提出した者について、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつレポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており，かつレポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており，かつレポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており，かつレポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation basis]
Students who attend all classes basically and submit all reports will be evaluated as follows:
S: Achieved 100 % of goals and obtained point of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained point of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained point of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained point of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

事前にメールにて連絡すること
Make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills

Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

Sustainable Development Course

(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions

Life and Materials Science Course

(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.

キーワード

Numerical analysis

(B14620170)大気環境システム工学[Systems Approach for Atmospheric Environment]

科目名[英文名]	大気環境システム工学[Systems Approach for Atmospheric Environment]				
時間割番号	B14620170	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	東海林　孝幸 TOKAIRIN Takayuki				
ナンバリング	ENV_BAC34222				

授業の目標

メガシティの大気環境問題は、”大気汚染”と”熱環境の悪化”に大別される。持続可能社会の形成には、これらの制御が欠かせず、そのためには大気流れの特性、大気境界層内での拡散特性、地表面と大気の間の熱や運動量や物質の交換特性の理論的な理解と予測の手法を知らねばならない。本講義ではこれらを考慮した大気環境計画の方法論の習得を目標とする。

Deterioration of air quality and thermal environment are major atmospheric environment issues in mega cities. To form a sustainable society, it is significant to clarify the causes of these environmental problems and prevent environmental pollution. The objective of this class is to understand the physical properties of air flow and air pollutant dissipation in atmospheric layer and the interaction of heat, momentum and mass between surface and atmosphere.

授業の内容

・大気環境概論：大気汚染の定義、大気汚染物質の種類、環境基準値
・煙の拡散の一般的特性：煙の上昇と有効煙突高さ、着地濃度
・大気拡散の基礎的な取り扱い1：拡散濃度、乱流拡散
・大気拡散の基礎的な取り扱い2：Taylor の拡散モデル概要、勾配拡散モデル、拡散方程式とその解
・大気拡散と気象条件1：気温勾配と大気安定度、大気の熱力学、温位の概念
・大気拡散と気象条件2：風速の鉛直分布
・拡散濃度の計算法1：排ガスの上昇式、上昇過程式
・拡散濃度の計算法2：プルーム拡散式、パフ拡散式、拡散幅
・大気環境の予測と評価1：環境濃度の予測と影響評価、大気環境シミュレーション方法の分類、モデルの性能評価法
・大気環境の予測と評価2：大気環境の評価方法（98%値、2%除外値）、大気環境アセスメントの概要
・都市熱環境概論：都市温暖化の背景、ヒートアイランド
・地表面熱収支の基礎1：顕熱・潜熱輸送式
・地表面熱収支の基礎2：放射冷却、人工排熱の効果
・斜面上の流れと局地風
・植生と大気：群落内部の微気象、葉面熱収支

・試験
・Introduction to atmospheric environment: definition, various air pollutants and its environmental standards
・General properties for atmospheric dissipation of pollutant
・Basic of atmospheric diffusion 1: pollutant concentration, turbulence diffusion
・Basic of atmospheric diffusion 2: diffusion equation
・Atmospheric diffusion and meteorology 1: atmospheric thermal stability, thermodynamics of atmosphere
・Atmospheric diffusion and meteorology 2: vertical profiles of wind
・Calculation of the concentration for air pollution 1: various formulae of rising plume
・Calculation of the concentration for air pollution 2: Plume and puff formulae
・Prediction and evaluation methods of atmospheric environment 1
・Prediction and evaluation methods of atmospheric environment 2
・Introduction to thermal environment: Urban heat island and its background
・Heat balance at ground surface 1: radiation, sensible and latent heat
・Heat balance at ground surface 2: radiative cooling, anthropogenic heat
・Local wind
・Micro meteorology in plant canopy
・Heat balance at leaf surface

Examination

予習・復習内容

関連科目

大学2年、高専までの数学、物理

differential equation, caliculus and basic physics of transport phenomena

教科書に関する補足事項

適宜資料を配布する

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）環境大気の化学組成について知り、大気汚染、温暖化を含む環境問題と人間社会の関係を理解する。
（2）環境大気の物理的特性を知り、大気汚染との関係を理解する。
（3）大気環境予測の理論的基礎と方法論を理解する。
（4）持続可能社会・都市形成のための排出源制御、土地利用計画などに結びつく能力を養う。
1) To understand the relationship between envoronmental issues and our society through learning physical and chamical properties of atmospheric environment.
2) To understand transport phenomena for air pollutant.
3) To underestand the theory and methodology of prediction of atmospheric environment.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験1回・レポート（80%+20%）で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B3
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation basis: Examination(80%) + report(20%)
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B3
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の

技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D2) 持続可能社会を実現するうえでの課題を理解するとともに，解析・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して持続可能な未来社会の実現に向けた適切な立案と行動を行うことができる能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D2) 化学工学関連の科目を習得することにより，化学工学量論，熱力学，移動現象論などの専門基礎知識を獲得し，それらを駆使して問題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
(D2) (Sustainable Development Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze and evaluate the challenges to realize a sustainable society and have the ability to make appropriate plans and take actions aiming atrealizing a sustainable future society leveraging such knowledge and expertise
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D2) (Materials and Life Sciences Course) Acquire basic knowledge in specialized fields, such as chemistry engineering stoichiometry, thermodynamics and transport phenomena through taking courses relating to chemistry engineering; and havethe ability to solve problems leveraging such knowledge.

キーワード

(B14620180)水質保全工学[Water Quality Control Engineering]

科目名[英文名]	水質保全工学[Water Quality Control Engineering]				
時間割番号	B14620180	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	山田　剛史 YAMADA Takeshi				
ナンバリング	ENV_BAC34222				

授業の目標

生活環境における水質保全の方法、水質汚染の現状・対策や上下水処理の方法について修得する。とくに、生物学的処理、物理的処理、化学的処理の基本原理と処理システムを理解し、処理施設の基本的な設計条件を示すことができる。

Members of this class learn about the technologies of water quality control in our environment, water pollution of the current situation and water/wastewater treatment technologies. In particular, basic concept of biological, physical and chemical treatment can be understood, and the members can show basic design for the treatment processes.

授業の内容

１　水資源と上水道計画
２　水質汚染の現状、水質基準および水源
３　上水処理-1
４　上水処理-2
５　高度浄水処理
６　好気性廃水処理の科学
７　好気性廃水処理のプロセスの制御因子
８　中間試験
９　硝化・脱窒法および生物脱リン法
１０　嫌気性廃水処理の科学
１１　嫌気性廃水処理プロセスの制御因子
１２　重力式分離法、沈殿池および凝集沈殿-1
１３　重力式分離法、沈殿池および凝集沈殿-2
１４　浮上分離と清澄ろ過
１５　無機性廃水処理各論
１６　定期試験

1　Water resources and waster supply planning
2　Present water pollution, water quality standard and water source
3　Drinking water treatment-1
4　Drinking water treatment-2
5　Advanced water treatment
6　Science of aerobic wastewater treatment
7　Control factors of aerobic wastewater treatment
8　Midterm examination
9　Biological nitrification-denitrification process and phosphorus removal process
10　Science of anaerobic wastewater treatment
11　Control factors of anaerobic wastewater treatment
12　Gravity settling, clarifier and coagulating sedimentation-1
13　Gravity settling, clarifier and coagulating sedimentation-2
14　Floatation and filtration
15　Detailed exposition of inorganic wastewater treatment
16　Term-end examination

予習・復習内容

毎週講義資料を配布します。講義内容の理解を深めるため演習を行います。毎週次回の授業の予習内容をお知らせしますので積極的に取り組んでください。

Lecture materials are distributed every week. Exercises are performed to deeply understand the contents of lecture. Because items of self-preparation for next lesson are announced, please tackle the preparation positively.

関連科目

生命科学、環境科学、環境生物工学、化学工学

生命科学、環境科学、環境生物工学、化学工学

教科書に関する補足事項
教科書：特になし。毎週プリント資料を配布します。
Textbook：Nothing special. Lecture materials are distributed every week.

参考書 1	**書名**	上水道工学（第四版）			**ISBN**	462749284
	著者名	川北和徳（監修）	**出版社**	森北出版株式会社	**出版年**	2005
参考書 2	**書名**	産業廃水処理のための嫌気性バイオテクノロジー			**ISBN**	4765531600
	著者名	R. E. Speece（原著）	**出版社**	技報堂出版	**出版年**	1999
参考書 3	**書名**	水処理工学-理論と応用（第二版）			**ISBN**	4765531228
	著者名	井出哲夫 （編著）	**出版社**	技報堂出版	**出版年**	1990

参考書に関する補足事項

達成目標
A. 基礎的な事項
(1) 水資源や水質汚染の現状、上・下水処理の重要性が理解できる。
(2) 用語を正しく記述することができる。
(3) 知識を集約し、必要に応じて取捨選択の処理ができる。

B. 水質保全技術
(1) 上水処理の概要が理解できる
(2) 好気性廃水処理の方法が理解できる。
(3) 嫌気性廃水処理の方法が理解できる。
(4) 物理的廃水処理方法が理解できる。
(5) 化学的廃水処理方法が理解できる。

A. Fundamental matters
1) Water resources and water pollution of the current situation, the importance of the water/sewage treatment can be understood.
2) It is possible to correctly describe the terms.
3) It aggregated knowledge, and they can process sift if necessary.

B. Water quality control engineering
1) Drinking water treatment can be understood.
2) Aerobic wastewater treatment can be understood.
3) Anaerobic wastewater treatment can be understood.
4) Physical wastewater treatment can be understood.
5) Chemical wastewater treatment can be understood.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
週ごとの演習 40%、中間試験 30%、定期試験 30% 左記の割合で、総合的に評価する。
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Exercises : 40%, Mid-term examination 30%, Term-end examination: 30% In the proportion of the left, it is comprehensive evaluation.
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業の内容や演習などの質問がある場合、メールでアポイントを取ってください。
If you have questions, such as the contents and exercises of the class, please make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D2) 持続可能社会を実現するうえでの課題を理解するとともに，解析・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して持続可能な未来社会の実現に向けた適切な立案と行動を行うことができる能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D2) 化学工学関連の科目を習得することにより，化学工学量論，熱力学，移動現象論などの専門基礎知識を獲得し，それらを駆使して問題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
(D2) (Sustainable Development Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze and evaluate the challenges to realize a sustainable society and have the ability to make appropriate plans and take actions aiming atrealizing a sustainable future society leveraging such knowledge and expertise
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.
(D2) (Materials and Life Sciences Course) Acquire basic knowledge in specialized fields, such as chemistry engineering stoichiometry, thermodynamics and transport phenomena through taking courses relating to chemistry engineering; and havethe ability to solve problems leveraging such knowledge.

キーワード

(B14620190)環境電気電子工学[Environmental Electric and Electronic Engineering]

科目名[英文名]	環境電気電子工学[Environmental Electric and Electronic Engineering]				
時間割番号	B14620190	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	髙島　和則 TAKASHIMA Kazunori				
ナンバリング	ENV_BAC34222				

授業の目標

抵抗、コンデンサー、コイルの組み合わせで作られた電気回路の周波数特性を解析する方法を学ぶことを目標とする。

To develop skills for solving problems on electric circuits through understanding of circuit theory.

授業の内容

1、2週目　　素子の種類、直流回路の性質、抵抗の性質、キルヒホッフの法則
3、4週目　　キルヒホッフの法則および演習
5－7週目　　キャパシタおよびインダクタの性質、これらを含む回路方程式
8－10週目　交流の性質
11－13週目　演算子を用いた交流回路の解法と演習
14、15週目　総合的な演習
week 1 and 2　Resistance. Resistivity. Ohm's law, Circuit elements in series and parallel
week 3 and 4　Kirchoff's law
week 5 and 6　Capacitors and inductors
week 8 – 10　RL, RC and RLC circuits
week 11 – 13　Phasor
week 14 and 15 Exercise lesson

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

必要に応じて資料を配布

Handout will be given as needed

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）コイル、コンデンサー、抵抗の機能と動作が理解できる。
（2）キルヒホッフの法則が理解できる。
（3）回路方程式をたて、解くことができる。
（4）演算子による交流回路の解法を理解できる。

1. To understand the fundamental properties of elements of electric circuits
2. To learn DC circuit analysis using Kirchoff's law
3. To learn AC circuit analysis based on phasor

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験により評価する。
評価基準：原則的に下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の点数（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験の点数（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 65%を達成しており，かつ試験の点数（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 55%を達成しており，かつ試験の点数（100 点満点）が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all the goals and obtained point of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained point of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65 % of goals and obtained point of exam, 70 or higher (out of 100 points).

C: Achieved 55 % of goals and obtained point of exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

高島和則 ー 居室: G-504、内線番号: 6919、メールアドレス: takashima@ens.tut.ac.jp
Dr. Kazunori Takashima
Office: G-504 (phone 6919)
E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

記述なし

オフィスアワー

随時応対可
ただし、事前にメールにて連絡すること。

Make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程

未来環境工学コース: D1, D3
生命・物質工学コース: C

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences

Sustainable development course: D1, D3
Life and materials science course: C

キーワード

(B14620200)環境電子材料工学[Electronic Materials for Environmental Engineering]

科目名[英文名]	環境電子材料工学[Electronic Materials for Environmental Engineering]				
時間割番号	B14620200	区分	環境・生命専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期1	曜日時限	木 3～3	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	田中　三郎 TANAKA Saburo				
ナンバリング	ENV_BAC34222				

授業の目標

環境・生命工学課程の学生が知っておくべき無機電子材料の基礎を学び、電子の振舞および結晶についての理解を深める。

This course will provide the students with the opportunity to study on the basic of inorganic materials including semiconductor, which is used for electronic applicalitions.

授業の内容

1週目　ものの大きさ, 抵抗率, 電界
2週目　ドリフト速度, 移動度, 平均自由行程
3週目　原子構造, ボーア半径
4週目　エネルギー準位, パウリの排他率、バンドモデル,
5週目　ダイヤモンド結合
6週目　フェルミ分布関数, 真性半導体、
7週目　不純物半導体とダイオード
8週目　期末試験
1st week: Size of things, Resistivity, Electric field
2nd week: Drift velocity, mobility and Mean free path in a conducting metal
3rd week: Atomic structure, Bohr's theory of the Hydrogen atom
4th week: Energy levels, Pauli's exclusion principle
5th week: Diamond bond
6th week: Fermi function, Intrinsic semiconductor
7th week: Extrinsic semiconductor, The pn junction diode
8th week: Examination

予習・復習内容

関連科目

高専、または1、2年次の数学

教科書に関する補足事項

[教科書等]下記のテキストを貸与します。 その他必要に応じてプリントを配布します。
書名　:Foundation of Marterial Science and Engineering, Fifth Edition
著者名 :William F. Smith, Javad Hashemi　出版社:Mc Graw Hill　出版年:2011
ISBN:978-007-131114-4
[教科書等]下記のテキストを貸与します。 その他必要に応じてプリントを配布します。
Title　:Foundation of Marterial Science and Engineering, Fifth Edition
Author :William F. Smith, Javad Hashemi　Publishing company:Mc Graw Hill
Publishing year:2011　ISBN:978-007-131114-4

参考書 1	書名	固体電子材料			ISBN	ISBN4-7692-0279-2 C3
	著者名	小沼稔	出版社	工業図書㈱	出版年	2000

参考書に関する補足事項

補助資料は適宜配布される。
Supplemental materials will be provided.

達成目標

A.物質の抵抗
(1)単位を正しく扱うことができる。
(2)抵抗率をキャリヤ密度、散乱緩和時間との関係を理解できる。
(3)金属、半導体、絶縁体の抵抗の温度依存性が説明できる。
B.原子構造
(1)電子の励起と発光のメカニズムが理解できる。

(2)イオン結合、共有結合が説明できる。
(3)バンド構造が理解できる。
C.半導体の性質
(1)フェルミ関数から電子の存在確率を計算することができる。
(2)真性半導体の導電率を Eg,m,n などから計算することができる。
(3)不純物半導体により構成される PN 接合の整流作用を理解できる。
D.結晶構造
(1)与えられた結晶面を面指数を用いて表現できる。
(2)格子欠陥の種類が理解できる。
(3)X 線回折の原理が理解でき、簡単な回折像から格子定数が計算できる。

A. Resistivity of materials
(1) to understand the unit
(2) to understand resistivity, carrier density and relaxation time
(3) to understand the dependence of temperature on the resistivity of metal, semiconductor and insulator.
B. Atomic structure and bonding
(1) to understand the mechanism of electron excitation and emission.
(2) to understand ionic bonds, covalent bonds and metallic bonds.
(3) to understand electrical band model for electrical condition.
C. Property of semiconductor
(1) to calculate electron eexistence probability by Fermi function
(2) to calculate electric conductivity of intrinsic semiconductor by Eg, m and n.
(3) to understand a rectification behavior of pn junction diode.
D. Crystal structure
(1) to express given crystal planes by Miller indices.
(2) to understand crystalline imperfections (defects).
(3) to understand principle of X-ray diffraction and calculate a lattice constant by diffraction patterns.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポートおよび演習(20%)期末試験(80%)の結果により評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A:達成目標の 80%を達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

田中三郎　G-605室、内線6916、e-mail: tanakas@ens.tut.ac.jp

Room G605, ext6916, e-mail: tanakas@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

記述なし

http://ens.tut.ac.jp/squid/

オフィスアワー

電話または e-mail でアポイントメントをとること
Anytime, but appointment on ahead is required by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

〇未来環境工学コース
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
(D1) 化学, 生物, 物理, 数学を基本とし, 専門科目群を修得することにより, 先端環境技術, 環境リスク制御, 環境評価・修復の技術, 科学的知識を獲得し, それらを駆使し課題を探究し, 組み立て解決する能力
(D3) 実験を計画・遂行し, データを正確に解析し, 技術科学的視点から考察し, 説明する能力

〇生命・物質工学コース
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

Sustainable development course: D1, D3

Materials and life sciences course: C

キーワード
原子、電子、半導体、
atom, dlectron, semiconductor

(B14620210)計測制御工学[System Sequencing and Control]

科目名[英文名]	計測制御工学[System Sequencing and Control]				
時間割番号	B14620210	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	田中　三郎 TANAKA Saburo				
ナンバリング	ENV_BAC34222				

授業の目標

環境・生命工学課程では、機械、電気、化学、生物学、環境衛生工学、などの従来の工業技術の総合的理解のうえに、環境・生命工学分野の発展を支える技術を学ぶを目標にしている。このための基礎として、計測・制御法は極めて重要である。本講義ではエコロジーに関係する各種の計測法および制御の原理を理解することを目標とする。

This course will provide the students with the opportunity to study on the basics of electrical measurement and classical control theory.

授業の内容

講義前半では計測法、回路設計について講述し、後半では制御工学の基礎を学ぶ。

1-2週目　　計測の基礎、誤差、単位
3-5週目　電気計器、 電圧計、電流計の原理、デジタル計器の動作
6-7週目　　電圧、電流、抵抗、電界、波形、磁界の計測
8－9週目　　力、歪み、圧力、温度の計測
10-11週目　演算増幅器（OP アンプの基礎）及び設計法
12－13週目　　制御の基礎　ラプラス変換
14-15週目　伝達関数、フィードバック理論

1st-2nd week: Size of things, Resistivity, Electric field
3rd-5th week: Basics of electric measurements, Error, unit
6th-7th week: Electric measuring instruments (Ammeter, Voltmeter, Digital voltmeter)
8th-9th week: Principle of measurement for Voltage, Current, Resistance, Electric field, waveform and magnetic field.
10th-11th week: Basics of operational amplifier and circuit design
12th-13th week: Basics of classical control theory, Laplace transform
14th-15th week: Transfer function, Negative feedback theory
16th week: Examination

予習・復習内容

関連科目

無機電子工学

教科書に関する補足事項

[教科書等]講義進度に応じて参考資料を配布する。

Materials will be provided.

参考書に関する補足事項

達成目標

A. 計測の基礎
（1）誤差の意味が理解できる。
（2）誤差を考慮した単位変換ができる。
（3）分解能、ダイナミックレンジなどの意味が理解できる。
B. 計測器
（1）電圧計、電流計のレンジ拡大法が理解できる。
（2）デジタル電圧計の原理が理解できる。
（3）オシロスコープの原理が理解できる。
C. 演算増幅器
（1）仮想設置、ゲイン、負帰還の意味が理解できる。
（2）反転増幅、非反転増幅、差動増幅、加算器などの設計ができる。

D.様々な物理量の計測
（1）抵抗、温度、波形　磁界、電界などの計測方法が理解できる。
（2）力、歪み、圧力などの計測方法が理解できる。
E. 制御の基礎
（1） 基本的なラプラス変換、逆変換ができる。
（2） フィードバック理論が理解でき、伝達関数の計算ができ。
（3） 基本的は回路のステップ応答が計算できる。
A. Basics of measurements
(1) to understand error
(2) to calculate unit exchange in consideration of error
(3) to understand the meanings of technical terms such as resolution and dynamic range.
B. Measuring Instruments
(1) to understand expansion of the range of ammeter and voltmeter.
(2) to understand the principle of digital voltmeter.
(3) to understand the principle of oscilloscope.
C. Operational Amplifier
(1) to understand technical terms such as virtual ground, gain, and negative feedback.
(2) to design inverting amplifier, non-inverting amplifier, differential amplifier and adder.
D. Measurement of variety of physical values
(1) to understand method of measurement of resistance, temperature, waveform, magnetic field and electric field.
(2) to understand method of measurement of mechanical force, mechanical distortion, pressure.
E. Control Theory
(1) to use Laplace transform and Laplace inverse transform.
(2) to understand the principle of negative feedback and calculate the transfer function.
(3) to calculate step response of a simple diagram.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
レポートおよび演習(20%)と期末試験(80%)の結果により評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
田中三郎　G-605室、内線6916、e-mail: tanakas@ens.tut.ac.jp

Room G605, ext6916, e-mail: tanakas@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ
記述なし

http://ens.tut.ac.jp/squid/

オフィスアワー
電話または e-mail でアポイントメントをとること

Anytime, but appointment on ahead is required by e-mail.

学習・教育到達目標との対応
未来環境工学コース: D1, D3

生命・物質工学コース: C

Sustainable Development Course: D1, D3

Materials and Life Sciences Course: C

キーワード

計測、制御、OP アンプ、フィードバック回路

operational amplifier, control theory

(B14620260)分子物理化学[Molecular Physical Chemistry]

科目名[英文名]	分子物理化学[Molecular Physical Chemistry]				
時間割番号	B14620260	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	手老　龍吾 TERO Ryugo				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

量子論の基礎から原子・分子の構造と電子準位について学び，代表的な分子分光学に関する基礎的知識と実験手法についての知識を習得する.

This course is aimed to provide students with the basic quantum theory, and with the methods and principles of representative molecular spectroscopy.

授業の内容

1．量子論の基礎
2．電子の性質と波動関数
3．原子の構造とエネルギー準位
4．分子の構造
5．化学結合
6．分子振動
7．蛍光
8．定期試験

1. Basic definitions and concepts of quantum theory.
2. Electron and wave fucntion
3. Atomic structure and energy level
4. Molecular structure
5. Chemical bond
6. Molecular vibration
7. Fluorescence
8. Examination

予習・復習内容

毎回，該当する教科書の内容を熟読して講義に臨む。
講義後は復習課題に各自で取り組み，理解を深める。「Elements of Physical Chemistry」を使って、英語での問題演習・復習を行う。

Read the corresponding parts of the textbook prior to the lecture.

関連科目

基礎物理化学 (I, II), 物理化学, 界面化学
Basic Physical Chemistry (I, II), Physical Chemistry, Interfacial Chemistry

教科書に関する補足事項

参考書 1 を教科書として使用する。希望者には大学から貸し出し予定(冊数に限りあり)。
参考書 1 は下記参考書欄の Atkins' Physical Chemistry 10th ed.の該当部分でも代用可。
Reference Book 1 is used as a textbook. It may be circulated from the university if needed (number is limited).
Corresponding chapters of the following reference book "Atkins' Physical Chemistry 10th ed." is substitutable for Reference Book 2.

参考書 1	**書名**	Elements of Physical Chemistry (6th ed)			**ISBN**	978-0199608119
	著者名	Peter Atkins, Julio de Paula	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	2013
参考書 2	**書名**	Atkins' Physical Chemistry 10th ed.			**ISBN**	978-0199697403
	著者名	Peter Atkins, Julio de Paula	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	2015
参考書 3	**書名**	アトキンス　物理化学（上）・（下）第8版			**ISBN**	978-4807906956,

						978-
	著者名	Peter Atkins, Julio de Paula（著），千原 秀昭，中村 亘男（翻訳）	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2009

参考書に関する補足事項

達成目標

1）原子・分子の構造と電子状態について量子論に基づく描像が理解できる.
2）代表的な原子・分子分光法についての基本的な知識と理解.
3）原子・分子のスペクトルが持つ意味を理解できる.
Fundamental understanding of
1). atomic and molecular structures, and electron state on the basis of quantum theory;
2). principles of representative spectroscopic methods;
3). what information each spectrum provides.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験と、レポート・演習等（各 60%、40%）で評価する。ただし、講義における理解度・進捗などを考慮してレポート・演習を実施しない場合は定期試験の点数のみで評価する。

評価基準：原則としてすべての授業に出席した者について，下記のように成績を評価する。
A：定期試験・レポートの合計点が 80%以上（達成目標を十分達成したものとみなす。）
B：定期試験・レポートの合計点が 65%以上（達成目標を達成したものとみなす。）
C：定期試験・レポートの合計点が 55%以上（達成目標を概ね達成したものと判断する。）
Examination 60%, homework problems and/or report 40%.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Obtained total points of exam and reports, 80% or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam and reports, 65% or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam and reports, 55% or higher (out of 100 points).

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

在室していれば随時。できるだけ事前にメール等で連絡のこと。
At all reasonable time. Prior appointment is encouraged.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have

design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions

Life and Materials Science Course

(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.

(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード

(B14620270)化学工学[Chemical Engineering]

科目名[英文名]	化学工学[Chemical Engineering]				
時間割番号	B14620270	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期1	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	大門　裕之 DAIMON Hiroyuki				
ナンバリング	ENV_BAC34120				

授業の目標

地球規模から身近なものまで、様々な環境問題の相関関係を化学工学的観点から議論する。 その中で、関連づけられる問題、独立する問題、トレードオフの関係などを解説する。 これにより、人間活動（産業）が生態系のように、複雑に絡み合っていることを提示する。 このようにして、複雑な環境問題や社会現象を化学工学的に解明し、そこから問題の解決に向けた革新的な技術開発、システムの構築そして問題の解決を図ることのできる基礎的方法論を学ぶ。具体的には、化学工学的視点から、環境技術の概説とその背景を行う。最新の話題を題材に、自ら考え・判断する方法論を講義する。

In this class, the correlation between various environmental problems from global scale to daily life would be discussed through chemical engineering's perspective. Correlated problems, independent problems, trade-off situation, etc. would be explained. From there, the similarity of human activities (industrial) to ecosystem in terms of complexity is showed. Based on perspectives from chemical engineering, students would get to learn the basics on how to develop innovative technologies and system building, and solve environmental problems as well as society phenomena. Plactically speaking, Environmental Technogy will be explained with the backgroud from view of Chemical Engineering. Methdorogy on self-consideration and evaluation is discussed based on current issues.

授業の内容

資源・エネルギーの消費削減と環境へのエミッション（負荷）低減を合わせて実現できる生産システム構築に向けた要素となる技術及び考え方を、実例を通して以下の項目について解説する。

1）人間活動、生産活動による環境インパクトの評価・考え方について
2）生産プロセスにおける物質収支の解析による生産性、環境影響についての評価
3）汚濁物質の特性・処理性の評価に基づいた最適処理技術について
4）オンサイト処理に基づくリサイクルの導入によるプロセスのクローズド化について
5）国内外の排水処理方式の性能評価と最適処理プロセスの選択および構築について
6）産業廃棄物および一般廃棄物の処理と再資源化について
7）生産性を低下させることなく資源・エネルギーの消費削減と、環境負荷低減を実現するプロセスの考え方について

To establish a production system which could reduce resources and energy consumption, as well as emission (burden) to environment, the technologies and perspectives are both essential elements. The following topics would be discussed in the lectures based on real cases.

1) Assessment of environmental impacts caused by human and production activities
2) Assessment of productivity and environmental impacts on production process using analysis of material balance
3) Optimum treatment approach based on characteristics of pollutants
4) Closed-process with introduction of recycle based on on-site treatment
5) Optimum application and performance assessment of wastewater treatment methods in domestic as well as foreign region
6) Treatment and resource recovery of industrial and municipal solid waste
7) Approach to reduce consumption of resource and energy, as well as environmental footprint while maintaining the productivity of one process

予習・復習内容

環境問題を化学工学的視点から捉える内容が多いため、新聞などを読み社会の動向を意識しておいてください。

Reading news as well as following the latest trend of public would be helpful as this class demands students to view the current environmental issues from the point of chemical engineering.

関連科目

地球環境システム論、環境分析学、バイオマス利活用、総合環境影響評価、持続社会工学

Earth environmental system, analysis of environment, biomass utilization, comprehensive environmental assessment, sustainable society engineering

教科書に関する補足事項

必要により資料を配布

参考書 1	**書名**	生態恒常性工学-持続可能な未来社会のために			**ISBN**	
	著者名	藤江幸一編著	**出版社**	コロナ社	**出版年**	
参考書 2	**書名**	環境工学			**ISBN**	

	著者名	鈴木基之	**出版社**	日本放送出版協会	**出版年**	
参考書 3	**書名**	ゼロエミッションへの挑戦			**ISBN**	
	著者名	藤江幸一監修	**出版社**	日報出版	**出版年**	

参考書に関する補足事項

参考書 4 書名「地球環境のための科学技術入門」著者名：小宮山宏編著　出版社：オーム社
参考書 5 書名「産業エコロジー」著者名：後藤典弘訳　出版社：トッパン

達成目標

現在社会で起こっている事象を背景にして、民間企業等の事業所・各種機関において、環境リスク低減、環境負荷低減および資源・エネルギー消費削減等により、人間活動の持続性と安全快適性を実現するための製品・生産プロセスの設計、環境負荷低減、リサイクル等に必要な知識・情報・技術を習得する。 環境問題に関する、数字の読み方・考える力・議論する力を身に付ける。

To acquire the knowledge, information, technologies needed to design products or production system which could ensure the sustainability and safety of human activities, based on the present issues and case studies from various private companies. To be able to think, discuss, and understand the meaning behind numbers.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
口頭試問 10%、小テスト 20%、期末試験 70%として評価する。
S：達成目標の 90%を達成しており，かつ試験・小テスト等の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・小テスト等の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・小テスト等の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
Evaluation is based on oral examination 10%, small exam 30%, and semester exam 60%
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved 90% of objectives, and more than 90 score (total 100 score) in exam and quiz etc
A: Achieved 80% of objectives, and more than 80 score (total 100 score) in exam and quiz etc
B: Achieved 70% of objectives, and more than 65 score (total 100 score) in exam and quiz etc
C: Achieved 60% of objectives, and more than 55 score (total 100 score) in exam and quiz etc

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

研究室:G 棟六階602号室
内線：6905
E-mail：daimon@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

記述なし

オフィスアワー

講義後、およびメールによりアポイントを取った後なら随時（12～14時の間は除く）
After class, or anytime by first making appointment through email (except 12pm-2pm)

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D2) 持続可能社会を実現するうえでの課題を理解するとともに，解析・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して持続可能な未来社会の実現に向けた適切な立案と行動を行うことができる能力を身につけている。
(D3) 実験を計画・遂行し，データを正確に解析し，技術科学的視点から考察し，説明する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D2) 化学工学関連の科目を習得することにより，化学工学量論，熱力学，移動現象論などの専門基礎知識を獲得し，それらを駆使して問題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
(D2) (Sustainable Development Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze and evaluate the challenges to realize a sustainable society and have the ability to make appropriate plans and take actions aiming atrealizing a sustainable future society leveraging such knowledge and expertise
(D3) (Sustainable Development Course) Have the ability to plan/perform experiments, to analyze data correctly, and to consider and explain things from the viewpoint of technological science
Life and Materials Science Course
(D2) (Materials and Life Sciences Course) Acquire basic knowledge in specialized fields, such as chemistry engineering stoichiometry, thermodynamics and transport phenomena through taking courses relating to chemistry engineering; and havethe ability to solve problems leveraging such knowledge.

キーワード

地球環境問題、廃棄物処理、リサイクル技術、循環型社会、環境生態、社会システム工学、メタン発酵システム

(B14620280)環境反応工学[Chemical Reaction Engineering for Environmental Engineering]

科目名[英文名]	環境反応工学[Chemical Reaction Engineering for Environmental Engineering]				
時間割番号	B14620280	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期2	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	小口　達夫 OGUCHI Tatsuo				
ナンバリング	ENV_BAC34220				

授業の目標

持続的な社会を創生するための工学的な基礎として，化学工学に関わる体系および操作を学習し，理解する。
Understanding basic knowledge on Chemical Engineering and its unit operations.

授業の内容

1. 環境反応工学の基礎
2. 移動現象(1) 流体の流れ
3. 移動現象(2) 流体の測定
4 気液間の物質移動
5. 抽出・吸着
6. 核形成と結晶成長
7. 気相析出
8. まとめと期末試験

1. Introduction of Chemical Reaction Engineering for Environmental Engineering.
2. Transport Phenomena (1) Fluid Dynamics.
3. Transport Phenomena (1) Physical Measurements of Fluid.
4. Mass Transfer between gas and liquid.
5. Extraction and adsorption.
6. Nucleation and crystal growth.
7. Vapor Deposition.
8. Final Examination for evaluation.

予習・復習内容

事前に配布する資料を読んで予習を行う．また，授業内で提示する演習問題を復習として各自解く．

Before session: Read the sheets of summary that can be obtained from the Moodle server before the class.
After session: Check out your understanding with the minute paper in the session.

関連科目

3 年前期　物理化学
3 年後期　熱・エネルギー工学
3 年後期 1 化学工学
4 年前期 1 反応速度論
4 年前期 2 プロセス装置工学

Thermal and energy engineering
Chemical Engineering
Reaction Kinetics
Process and Reaction Engineering

教科書に関する補足事項

説明資料を配付する．
Summary sheets (PDF) will be distributed in the Moodle server.

参考書 1	**書名**	新体系単位操作			**ISBN**	4-274-12978-0
	著者名	諸岡成治 編著	**出版社**	オーム社	**出版年**	1994

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 移動現象論の基礎を理解し，簡単な問題について正しく解を得られること
2. 各単位操作や現象を理解し，それを具体的な問題に応用すること

1. Understanding transport phenomena and being able to solve basic problems.
2. Understanding the unit operations and being able to apply some basic process.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
原則として，期末に行う試験の成績で評価する(90%). ただし，授業で課す演習課題の提出状況を加味する(10%)
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標をほぼ達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved most of all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

https://moodle2.imc.tut.ac.jp/

オフィスアワー

随時. ただし，事前に連絡をしてアポイントメントを取ること.
Contact by using e-mail or phone before coming my office.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D2) 化学工学関連の科目を習得することにより，化学工学量論，熱力学，移動現象論などの専門基礎知識を獲得し，それらを駆使して問題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D2) (Materials and Life Sciences Course) Acquire basic knowledge in specialized fields, such as chemistry engineering stoichiometry, thermodynamics and transport phenomena through taking courses relating to chemistry engineering; and havethe ability to solve problems leveraging such knowledge.

キーワード
化学工学　単位操作　化学プロセス　反応工学
Chemical engineering, Unit operation, Chemical process, Reaction engineering

(B14620300)界面化学[Interfacial chemistry]

科目名[英文名]	界面化学[Interfacial chemistry]				
時間割番号	B14620300	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	火 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	手老　龍吾 TERO Ryugo				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

ガラスの上で水が弾かれる・濡れる、液体や固体が水に溶ける・溶けない、など、2 つ(以上)の物質が共存する現象について考える上で必要な「界面」の基礎知識を身につける。世の中の物質の組み合わせは無限だが、それらの相互作用を考え予測するための概念と原理を理解し、その重要性を材料化学や生物学の例を挙げて学ぶ。

Droplet or spreading of water on glass, dispersion or aggregation of particles in solution, etc. The phenomena in systems containing two different materials or phases coexist are dominated by the properties of "interface". This course is aimed to provide students with the basic concepts and theories to deal with interfaces and related phenomena.

授業の内容

水の濡れ、溶液への物質の溶解や分散(コロイド溶液)など、界面が関わる身近な具体例を題材にして、物質間の相互作用について考える上での基本的な概念を身につけることを目指した講義を行う。

第1週:表面、界面、コロイド
第2週:気体と液体または固体の界面:表面張力
第3週:両親媒性分子が作る構造:泡、エマルション、細胞膜
第4週:固体と液体の界面①:「ぬれ」と表面張力
第5週:固体と液体の界面②:ぬれの調節
第6週:界面での静電的な的相互作用
第7週:ファンデルワールス力
第8週:まとめと試験

Week
1: Surface, interface, colloid
2: Interface between gas and condensed phase: surface energy
3: Assembled structures of amphiphilic molecules: form, emulsion, cell membrane
4: Interface between solid and liquid: wetting and surface tension
5: Interface between solid and liquid: control of wetting
6: Electrostatic interaction at interfaces
7: Van der Waals force
8: Examination

予習・復習内容

講義内容に関する資料は配付するが、参考図書1～3の下記該当箇所のいずれかを事前に一読して疑問点を明らかにして授業に臨むのが望ましい。また、復習の際も下記該当箇所が理解を助けるのに役立つ。

第1週 「アトキンス　物理化学」:19.13,「超撥水と超親水」:第 1 章,「新版　界面化学」:第 1 章
第2週 「アトキンス　物理化学」:18.7,「超撥水と超親水」:第 2～3 章,「新版　界面化学」:2.1, 2.3, 2.4
第3週 「アトキンス　物理化学」:19.13, 19.14, 19.15,「新版　界面化学」:3.1, 3.3, 3.5, 8.1, 9.1
第4週 「超撥水と超親水」:第 3 章,「新版　界面化学」:5.1
第5週 「超撥水と超親水」:第 4～6 章,「新版　界面化学」:5.5, 5.6
第6週 「アトキンス　物理化学」:25.8,「新版　界面化学」:6.1, 6.4, 6.5
第7週 「アトキンス　物理化学」:25.3,「新版　界面化学」第 7 章、第 5 章:5.5

Students are encouraged to read the corresponding parts of Reference Book prior to the lecture.

関連科目

物理化学
基礎物理化学 I・II (1, 2 年次)
分子物理化学 (4 年次)
Physical Chemistry
Basic Physical Chemistry (B1, B2)
Molecular Physical Chemistry (B4)

教科書に関する補足事項

講義内容に関する資料を配付する。

Documents for the lecture will be distributed as needed.

参考書 1	**書名**	アトキンス　物理化学<下> 第 8 版			**ISBN**	978-4807906963
	著者名	Peter Atkins, Julio de Paula (著), 千原秀昭, 中村　亘男(翻訳)	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	2009
参考書 2	**書名**	Atkins' Physical Chemistry 10th ed.			**ISBN**	978-0199697403
	著者名	Peter Atkins, Julio de Paula	**出版社**	Oxford University Press	**出版年**	2014
参考書 3	**書名**	超撥水と超親水　ーその仕組みと応用ー			**ISBN**	978-4946553370
	著者名	辻井　薫	**出版社**	米田出版	**出版年**	2009
参考書 4	**書名**	新版　界面化学			**ISBN**	978-4-7827-0434-9
	著者名	近藤　保	**出版社**	三共出版	**出版年**	2003

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 表面張力・表面自由エネルギー・界面自由エネルギーの概念と、物質のバルクの自由エネルギーとの対比を理解する。
(2) 両親媒性分子が形成する代表的な構造（泡、ミセル、エマルション、二分子層膜等）と、これらが形成される原理について理解する。
(3) 表面のぬれについての基本原理（ヤングの式）を理解し、ぬれを制御する基本的な手法について理解する。
(4) 物質間の相互作用についての原理（ファンデルワールス力、静電的相互作用、水和斥力）の概念と基礎的な原理を理解する。
(5) 身の回りの様々な現象において界面が関わっていることを実感し、物理化学の言葉で説明できる素養を身につける。

Fundamental understanding of,
1). concept of surface tension, surface energy, interface energy, and their differences from Gibbs energy of bulk materials;
2). representative assembled structures of amphiphilic molecules, and the principles of their formation;
3). basic principle of wetting (Young's equation), and of control of wetting;
4). principles of interaction between materials, e.g. van der Waals, electrostatic, and hydration interaction;
5). related phenomena with interfaces, and ability to explain the phenomena on the basis of physical chemistry.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価法
評価法：定期試験で評価する。

評価基準：原則としてすべての授業に出席した者について，下記のように成績を評価する。
　S：定期試験の合計点が 90%以上（達成目標をすべて達成したものとみなす。）
　A：定期試験の合計点が 80%以上（達成目標を十分達成したものとみなす。）
　B：定期試験の合計点が 70%以上（達成目標を達成したものとみなす。）
　C：定期試験の合計点が 60%以上（達成目標を概ね達成したものと判断する。）
Evaluated by the score of examination 60%.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

在室時は随時受け付けます。
At all reasonable time.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学, 生物, 物理, 数学を基本とし, 専門科目群を修得することにより, 先端環境技術, 環境リスク制御, 環境評価・修復の技術, 科学的知識を獲得し, それらを駆使し課題を探究し, 組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学, 無機化学, 分析化学, 物理化学, 生命科学, 等の専門基礎を習得することにより, 生命・物質を原子・分子レベルで理解し, 解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し, それらを駆使して課題を探求し, 組み立て, 解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード
界面、コロイド、ぬれ、表面張力、両親媒性分子、界面活性剤、膜
Interface, surface, colloid, surface tension, amphiphilic molecules, surfactant, membrane

(B14620310)分子生物学Ⅰ[Molecular Biology 1]

科目名[英文名]	分子生物学Ⅰ[Molecular Biology 1]				
時間割番号	B14620310	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 1～1,木 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	梅影 創 UMEKAGE So				
ナンバリング	ENV_BAC33222				

授業の目標

分子生物学の基礎を理解する。

To understand the basic area of molecular biology.

授業の内容

1 講 オリエンテーション
2 講 3 章 タンパク質(1)
3 講 3 章 タンパク質(1)
4 講 4 章 DNA、染色体、ゲノム(1)
5 講 4 章 DNA、染色体、ゲノム(1)
6 講 5 章 DNA の複製、修復、組換え(1)
7 講 5 章 DNA の複製、修復、組換え(2)
8 講 6 章 ゲノム情報の読み取り(1)
9 講 6 章 ゲノム情報の読み取り(2)
10 講 6 章 ゲノム情報の読み取り(3)
11 講 7 章 遺伝子発現の調節(1)
12 講 7 章 遺伝子発現の調節(1)
13 講 7 章 遺伝子発現の調節(1)
14 講 8 章 タンパク質、DNA、RNA の操作(1)
15 講 8 章 タンパク質、DNA、RNA の操作(2)(動物細胞は含まない)
1 orientation
2-3 protein
4-5 DNA, chromosome & gene
6-7 DNA replication
8-10 transcription
11-13 gene regulation
14-15 biotechnology

予習・復習内容

事前に教科書を読み、疑問点を明らかにしておくことことがのぞましい。

To read the text book before attending the class.

関連科目

分子生物学Ⅱ
molecular biology Ⅱ

教科書に関する補足事項

教科書として Molecular biology of the cell, 6th edition を貸与する。
The text book, Molecular biology of the cell, 6th edition, can be borrowed.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)分子生物学の基礎を理解する。
2)最新の分子生物学の知見を理解する。
To understand the basic area of molecular biology.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価基準:下記のように成績を評価する。
S:テストの得点(100 点満点)が 90 点以上
A:テストの得点(100 点満点)が 80 点以上
B:テストの得点(100 点満点)が 70 点以上
C:テストの得点(100 点満点)が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved total points of exam, 90 or higher points(out of 100 points).
A: Achieved total points of exam, 80 or higher points(out of 100 points).
B: Achieved total points of exam, 70 or higher points (out of 100 points).
C: Achieved total points of exam, 60 or higher points (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

特段の事情がない限り，追試は行わない。
The retake exam will not be given.

その他

居室：G-402
内線：6917
外線：0532－44－6917
メール：umekage -at- ens.tut,ac.jp -at-を@に読み替えてください。
G-402
ex: 6917
phone: 0532-44-6917
mail: umekage@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

特になし。
ただし、事前にメールでの連絡をしてアポをとること。

anytime

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード

分子生物
molecular biology

(B14620320)分子生物学Ⅱ[Molecular Biology 2]

科目名[英文名]	分子生物学Ⅱ[Molecular Biology 2]				
時間割番号	B14620320	区分	応用化学・生命専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期2	曜日時限	水 1～1,木 5～5	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	環境・生命工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	沼野　利佳 NUMANO Rika				
ナンバリング	ENV_BAC33222				

授業の目標

遺伝子やたんぱく質という分子で生理学的な現象を捉える考え方である分子生物学的な研究の歴史と現状を解説します。生体内での、分子生物学的な研究で生命現象のメカニズムを理解し、今後を考察します。

We study about the history and the presence of the molecular biology. We can understand the mechanism of the physiological phenomenon by molecular biology.

授業の内容

1 講　オリエンテーション
2 講　8 章　タンパク質, DNA, RNA の操作（動物細胞）
3 講　8 章　タンパク質, DNA, RNA の操作（動物細胞）
4 講　8 章　タンパク質, DNA, RNA の操作（動物細胞）
5 講　8 章　タンパク質, DNA, RNA の操作（動物細胞）
6 講　8 章　タンパク質, DNA, RNA の操作（動物細胞）
7 講　8 章　タンパク質, DNA, RNA の操作（動物細胞）
8 講　8 章　タンパク質, DNA, RNA の操作（動物細胞）
9 講　8 章　タンパク質, DNA, RNA の操作（動物細胞）
10 講 8 章　タンパク質, DNA, RNA の操作（動物細胞）
11 講 9 章　細胞の観察
12 講 9 章　細胞の観察
13 講 9 章　細胞の観察
14 講 9 章　細胞の観察
15 講　総括

1 Introduction
2　8: Analyzing Cells, Molecules, and Systems
3　8:Analyzing Cells, Molecules, and Systems
4　8:Analyzing Cells, Molecules, and Systems
5　9:Visualizing Cells
6　9:Visualizing Cells
7　9:Visualizing Cells
8　10:Membrane Structure
9　10:Membrane Structure
10 10:Membrane Structure
11:Membrane Transport of Small Molecules and the Electrical Properties of Membranes
12 11:Membrane Transport of Small Molecules and the Electrical Properties of Membranes
13 11:Membrane Transport of Small Molecules and the Electrical Properties of Membranes
14　summary
15　summary

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに次回の内容について教科書を読み予習すること。
分子生物学Ⅰに連動した授業である。
I recommend to review previous class every time and prepare for next session.

関連科目

分子生物学Ⅰと同じテキストで異なる章を講義する。
It is a class in relation with molecular biology I.

教科書に関する補足事項

分子生物学Ⅰと同じテキストを使用する。

書名：Molecular biology of the cell, 6th edition
著者名：ALBERTS/JOHNSON/LEWIS/RAFF/ROBERTS/WALTER　出版社：Garland Science
出版年：2014　ISBN：9780815344322
We use same text with molecular biology I.

参考書に関する補足事項

達成目標
（1）転写と翻訳がセントラルドグマの中で理解できる。
（2）細胞の構造と機能が理解できる。
（3）遺伝子工学の基礎が理解できる。
(1) You can understand transcription and translation in central dogma.
(2) You can understand the structure and function of cells.
(3) You can understand the basics of genetic engineering.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：期末試験により評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
[Evaluation method] Term-end examination 100%

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
沼野　利佳　G-407 室、内線 6902、メールアドレス：numano@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業実施日の講義時間前後や休み時間に随時。その他の日時の場合は事前に E-メールや電話で予約してください。
Rika Numano（G-407、Ex. 6902）e-mail: numano@ens.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応
生命・物質工学コース D3
未来環境工学コース D1

〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。
Environment and Life Sciences D3
Technology for the Future D1

Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an

engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード
分子生物学
molecular biology

(B14620330)生命化学Ⅱ[Chemistry for Life Science 2]

科目名[英文名]	生命化学Ⅱ[Chemistry for Life Science 2]				
時間割番号	B14620330	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉田　祥子 YOSHIDA Sachiko				
ナンバリング	ENV_BAC33222				

授業の目標

生命化学 II では、生命化学 I で学んだ生体を構成する物質の構造と機能に関する生化学の基本的知識を基礎に、細胞活動を支える動的現象である代謝を理解し、細胞活動を支える熱力学の原理を学習する。有機分子の構造変換による還元分子の生成が、電気化学的にエネルギー産生を行う機構について、量論的に理解することが目標である。さらに発展的な内容として、筋肉活動や高等動物の脳が高次機能を発現する 基礎になっている「神経機能分子」について、物質科学的側面から理解させる。

Biological energy production is due to phosphorylation and reduction. In this lecture, you are required at first to understand the metabolism, inner dynamical energy production and consumption, and to prove the energy flow through molecules thermodynamically.

Secondary, you are required to gather the physiological knowledge about your cells and bodies.

Finally, you will consider how to feel and think.

授業の内容

代謝とは、生きている細胞で行われる化学反応のネットワーク全体のことである。細胞はその活動のために、同化、変換、合成、分解 などの生化学的反応を行っている。反応の集合体である代謝経路は高度に制御されており、その原理は熱力学によって説明することが できる。代謝過程と制御は化学工学の重要な応用問題と解答を与えてくれる。生化学を基本として細胞機能の理解を行うため，有機化学、熱力学、電気化学の基本的内容についての確認を行いながら進める。応用として，神経細胞の情報伝達の物質的メカニズムを学ぶ。

英語テキスト を使って日本語で講義を行う

1週目：Structure and function of plasmamembrane 細胞膜の構造と機能
2週目：Introduction to Metabolism 細胞と代謝：代謝についての序論　熱力学の基礎
3週目：Neuromucslar junction 神経筋接合部の情報伝達 情報伝達の分子と装置
4週目：Glycolysis 解糖とエネルギー：消化と外来物質の受容
5週目：The Citric Acid Cycle クエン酸回路：生体内の酸化還元反応
6週目：Electron Transport and ATP Synthesis 1 電子伝達と酸化的リン酸化（1）：ミトコンドリアという寄生生物
7週目：Electron Transport and ATP Synthesis 2 電子伝達と酸化的リン酸化（2）：生物発電のメカニズム
8週目：Biological excitation and electrochemistry 細胞の興奮性と電気化学：電流をモル濃度で
9 週目：Gluconeogenesis, The Pentose Phosphate Pathway, and Glycogen Metabolism　糖を作る代謝と脂質代謝：ダイエットと肝臓の働き
10 週目：Amino Acid Metabolism アミノ酸の代謝と情報伝達のメカニズム
11 週目：Information transmission in the brain 脳の中の化学：情報伝達の仕組み　脂質代謝とこころの働き
12 週目：Emotion and passion in the brain モノアミン系の情報伝達：感情の化学　細胞内情報伝達
13 週目：Neurotransporter 情報を取り込む準備：トランスポーターが運ぶ物質とイオンの情報
14 週目：Structure-activity relationship of neuromediator 神経毒の化学：天然物の構造活性相関
15 週目：Learning and disorder 学習する脳と、壊れていく脳
1：Structure and function of plasma membrane
2：Introduction to Metabolism
3：Neuromucslar junction
4：Glycolysis
5：The Citric Acid Cycle
6：Electron Transport and ATP Synthesis 1
7：Electron Transport and ATP Synthesis 2
8：Biological excitation and electrochemistry
9：Gluconeogenesis, The Pentose Phosphate Pathway, and Glycogen Metabolism
10：Amino Acid Metabolism
11：Information transmission in the brain
12：Emotion and passion in the brain
13：Neurotransporter
14：Structure-activity relationship of neuromediator
15：Learning and disorder

予習・復習内容

講義資料と復習課題を Web 上(https://lms.imc.tut.ac.jp)に提示する。
View the Web (https://lms.imc.tut.ac.jp).

関連科目
生命科学、生命化学 I、有機化学、物理化学、分子生物学、生物工学、生命情報学
Life Science and Chemistry, Organic chemistry, Physical chemistry, Electrochemistry, Bioinformatics

教科書 1	**書名**	Principles of Biochemistry, 5/E			**ISBN**	
	著者名	L.A. Moran, H.R. Horton, K.G. Scrimgeour, M.D. Perry 著、鈴木紘一、笠井献一、宗川吉汪監訳	**出版社**	Pearson	**出版年**	2015

教科書に関する補足事項
Web 上に資料・課題を提示するので、講義の予習，復習に利用する。
教科書は4系で用意したものを貸し出す。
View the web-based supplements.

参考書に関する補足事項

達成目標
(1)細胞が活動するためにどのような反応分子を開発したか理解する。
(2)「代謝経路」の熱力学計算ができる。
(3)生命とかかわる物質世界は安定定常状態ではなく、熱ダイナミクスと不安定定常状態のなかで機能性分子は働いていることを理解する。
(4)神経細胞の情報伝達機構を分子的に理解できる。
(5)高次機能が生成されるシステムを基本的に想起できる。

To understand the metabolism.
To gather the physiological knowledge about your cells and bodies.
To consider the thinking and emotion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
[評価法] Web 上に指示される課題の提出と出席 40%、期末試験 60%
[評価基準] 原則的にすべての講義に出席した者につき、下記の基準により成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており、かつ演習とレポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており、かつ演習とレポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 65%達成しており、かつ演習とレポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を半分以上達成しており、かつ演習とレポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65% of goals and obtained points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved over 50% of goal and obtained points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
吉田 祥子 (B-406、Ex. 6802) e-mail: syoshida@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ
https://lms.imc.tut.ac.jp
https://lms.imc.tut.ac.jp

オフィスアワー
e-mail によって時間を打ち合わせた上で訪問
You need an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース

(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード
光学異性体、ATP、疎水性・親水性、酵素、熱力学、電気化学的ポテンシャル、神経伝達物質、イオン、平衡電位、逆転電位、脱分極、活動電位、受容体
ATP, thermodynamics, enzyme, phosphorylation, reduction, electrochemical potential, neurotransmitter

(B14620340)遺伝子工学[Genetic Engineering]

科目名[英文名]	遺伝子工学[Genetic Engineering]				
時間割番号	B14620340	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	田中　照通 TANAKA Terumichi				
ナンバリング	ENV_BAC33222				

授業の目標

生物は多種多様であるが、それぞれの生命における生命現象の基本部分は共通のシステムで運営されている。
本講義では、生命現象の基本法則を学ぶとともに、生命現象を分子レベルから理解するための基本を身につける。また、遺伝子操作という概念と方法論とを併せて理解することで、これからの時代において必要な分子生物学的な素養を身につける。

To learn the basic knowledge of biochemistry and molecular biology, especially the common system of the life.

授業の内容

・基本生体分子の復習
・生命の3界と代表生物種
・遺伝暗号
・ゲノム・遺伝子の定義
・遺伝情報の流れとセントラルドグマ
・生命現象の基本法則
・タンパク質の生合成の詳細
・遺伝子の転写調節
・宿主-ベクター系
・遺伝子操作の道具たち
・制限酵素
・遺伝子発現制御
・遺伝子組み換え体の作り方（方法論と具体例）
・DNA の解析（PAGE, DNA seq., PCR）
・RNA の解析（RT, hybridization）
・タンパク質の解析（SDS-PAGE, Edman 分解, 質量分析）
・タンパク質工学
・最近の話題から（ゲノムプロジェクト、クローン動物、遺伝子治療、遺伝子発現制御の実際）

・basis of chemistry
・3 major domain of life
・genetic codon
・genome and genes
・flow of genetic information and the central dogma
・protein biosynthesis
・transcription
・host-vector system
・tools of genetic recombination
・restriction enzymes
・control of gene expression
・how to make mutant
・DNA sequence analysis（PAGE, DNA seq., PCR）
・RNA analysis（RT, hybridization）
・protein analysis（SDS-PAGE, Edman degradation, mass spectrometry）
・protein engineering
・something new (iPS cells, clone etc)

予習・復習内容

「復習」に関しては授業時に(ほぼ毎回)実施するミニテストによって行う。このミニテストは授業内容の把握のために行うもので難易度は下げてある。（ミニテストで好成績をとることで定期試験の成績は向上するが、ミニテストのみを復習しても定期テストにおいて満点は取れないのできちんと授業内容を復習することが必要である。）

(1) 'mini test' will be done every time to check you knowledge. When the score of the mini-test is below 50%, you will be handled as 'being absent'. So, you should recite every content of the lecture.
(2) You will earn the Credit by major 'Test's.

関連科目

・分子生物学・生化学に関連したすべての授業。
（ある程度の予備知識がない場合は、各自で独学によって埋めて下さい）

・any lectures concerning about Biology.

教科書 1	**書名**	生化学（第 5 版）			**ISBN**	
	著者名	ホートン	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	
教科書 2	**書名**	生化学（第 5 版）			**ISBN**	
	著者名	コーン・スタンプ	**出版社**	東京化学同人	**出版年**	

教科書に関する補足事項

教科書として生物学共通で使用する「ホートンの生化学」を指定していますが、もし、他の教科書（とみなせるもの）を有している場合には新規購入はしなくても大丈夫です。ただし、大学の学部に対応する内容を掲載しているものに限ります。（高校や高専に対応したものはここでは教科書とはみなしません）
Any text is acceptable. So you will use the text which you already have.

参考書 1	**書名**	微生物学			**ISBN**	4-563-03747-8, 4-563
	著者名	スタニエら	**出版社**	培風館	**出版年**	
参考書 2	**書名**	Recombinant DNA			**ISBN**	0-7167-1484-1
	著者名	Watson et al	**出版社**	Scientific American Books	**出版年**	
参考書 3	**書名**	ベクターDNA			**ISBN**	4-06-139647-1
	著者名	榊ら	**出版社**	講談社	**出版年**	
参考書 4	**書名**	The Microbial World			**ISBN**	4-563-03747-8, 4-563
	著者名	Stanier	**出版社**		**出版年**	

参考書に関する補足事項

参考書 4 書名「エコテクノロジー入門」 出版社：朝倉書店 ISBN：4-254-20508-2

・主教科書に記載されていない内容に関してはこちらで情報を提供する予定です。公開する情報は紙媒体の場合も、電子媒体の場合もあります。（ただし、配布することが著作権に抵触する場合には配布は行いません）
・授業時に配布する情報は後日において再配布することはありません。

達成目標

・生命の基本分子を分子構造から正しく覚え、タンパク質の生合成・遺伝子発現制御・ベクターの概念等を正しく理解すること。

・To know and understand in details of basis flow of gene expression, protein synthesis, host-vector system, and how to analyze biomolecules.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

各授業時におけるミニテスト（2 割）と 2 回の定期試験（8 割）の結果によって成績を評価する。各ミニテストでの成績が 50%に満たない回はその授業は「欠席」とみなす。「欠席」が 4 回以上ある場合は履修放棄として扱う。成績評価は 5 段階(SABCD)で行う。

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved XX % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved XX % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験は授業内容の進度によって実施日程がカリキュラムのものと異なる場合がある。詳細は授業において連絡する。
The date of the Tests will be changed, if necessary.

その他

・居室：G-506　　・e-mail：terumichi-tanaka@tut.jp
授業時間外の質問は原則として「e-mail」で行って下さい。「面会」の必要がある場合には e-mail にて事前に日程を打診すること。
・G-506　　・e-mail：terumichi-tanaka@tut.jp
Before you come to me, send me an e-mail to make an appointment in advance.

ウェルカムページ

なし
none

オフィスアワー

随時。ただし、e メールで事前予約する。

Anytime, when you have an appointment.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード

遺伝子工学　遺伝子操作　ゲノム　転写　翻訳　タンパク質　核酸　セントラルドグマ　RNA 干渉
genetic engineerign, vector, genome, transcription, translation, DNA, central dogma, RNAi

(B14620350)環境生物工学[Environmental biotechnology]

科目名[英文名]	環境生物工学[Environmental biotechnology]				
時間割番号	B14620350	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中鉢　淳 NAKABACHI Atsushi				
ナンバリング	ENV_BAC34222				

授業の目標

40 億年にわたる生物進化と、それによりもたらされた生物多様性について学び、生物間に存在する様々な相互作用について理解を深める。また、ゲノム学の基礎を習得し、その応用展開・最新の研究動向を学ぶ。

The aim of this course is to learn concepts of evolution, biodiversity, biological interactions, and genomics.

授業の内容

1 週目：生命の誕生と進化
2 週目：動物の進化
3 週目：植物の進化
4 週目：生物多様性とは何か
5 週目：DNA 塩基配列決定法
6 週目：原核生物ゲノムの概要
7 週目：真核生物ゲノムの概要
8 週目：生物間相互作用
9 週目：動物-微生物間相互作用
10 週目：植物-微生物間相互作用
11 週目：農作物の重要な病害虫
12 週目：環境保全型農業と総合的病害虫管理
13 週目：遺伝子組換え作物の現状と課題
14 週目：ゲノム育種の有効性
15 週目：ゲノム編集がもたらす革命

1st week：The origin of life
2nd week：Evolution of Animals
3rd week：Evolution of Plants
4th week：Biodiversity
5th week：DNA sequencing
6th week：Prokaryotic genomes
7th week：Eukaryotic genomes
8th week：Biological interactions
9th week：Animal-microbe interactions
10th week：Plant-microbe interactions
11th week：Agricultural pests and diseases
12th week：Integrated pest management
13th week：Genetically modified crops
14th week：Genomics and selective breeding
15th week：Genome editing

予習・復習内容

予習は不要ですが、講義後は配布資料などを参照しながら内容を復習して下さい。

Whereas no preparation is required, after class review of handouts is recommended.

関連科目

教科書に関する補足事項

資料を配布しますので、教科書の購入は不要です。

No textbooks are required.

参考書 1	**書名**	細胞の分子生物学			**ISBN**	978-4315520620
	著者名	Alberts　他	**出版社**	ニュートンプレス	**出版年**	2017
参考書 2	**書名**	進化			**ISBN**	978-4895926218

	著者名	Nicholas H. Barton 他	**出版社**	メディカルサイエンスインターナショナル	**出版年**	2009
参考書 3	**書名**	植物生理学・発生学			**ISBN**	978-4563077846
	著者名	Lincoln Taiz 他	**出版社**	講談社	**出版年**	2017

参考書に関する補足事項

達成目標

(1) 進化の本質と、それによりもたらされた生物多様性について理解する。
(2) ゲノムの解析手法について理解する。
(3) 原核生物と真核生物のゲノム構造の特徴を理解する。
(4) 多様な生物間相互作用について理解する。
(5) 総合的病害虫管理について理解する。
(6) 遺伝子組換えとゲノム育種の違いを認識して理解する。
(7) ゲノム編集の技術と波及効果を理解する。
(1) Understand the concept of evolution and biodiversity.
(2) Can explain how genomes are analyzed.
(3) Can tell the difference between prokaryotic and eukaryotic genomes.
(4) Know various biological interactions.
(5) Understand the concept of integrated pest management.
(6) Understand the technology for developing genetically modified crops.
(7) Can explain the methods of genome editing.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験により学習達成度を判定し、成績評価を行う。
S:定期試験の点数(100 点満点)が 90 点以上
A:定期試験の点数(100 点満点)が 80 点以上
B:定期試験の点数(100 点満点)が 70 点以上
C:定期試験の点数(100 点満点)が 60 点以上
Achievements are evaluated by examinations.
Grade: Score range
S: 90-100
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69
D: 0-54

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験は期末に1回のみ実施します。
A single examination will be held at the term end.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

質問等、随時受付けます。ただし上記居室に不在のことも多いので、電子メールをご活用下さい。
9:00-18:00

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学, 生物, 物理, 数学を基本とし, 専門科目群を修得することにより, 先端環境技術, 環境リスク制御, 環境評価・修復の技術, 科学的知識を獲得し, それらを駆使し課題を探究し, 組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学, 無機化学, 分析化学, 物理化学, 生命科学, 等の専門基礎を習得することにより, 生命・物質を原子・分子レベルで理解し, 解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し, それらを駆使して課題を探求し, 組み立て, 解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード
進化、生物多様性、環境、ゲノム、農業
Evolution, Biodiversity, Environment, Genomics, Agriculture

(B14620360)有機合成学[Synthetic Organic Chemistry]

科目名[英文名]	有機合成学[Synthetic Organic Chemistry]				
時間割番号	B14620360	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	岩佐　精二 IWASA Seiji				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

有機化合物の性質について立体化学の視点から学び、有機化学反応を電子移動に基づいて理解する。また、有機反応を予測することができる能力を身につける。

To provide you with knowledges on the nature of organic coupunds based on stereochemistry and electronic theory of organic chemistry.

授業の内容

第1回：結合論、反応形式（脱離反応、付加反応、置換反応）復習
第2回：不飽和結合論　共鳴、有機電子論　復習
第3回：立体化学概論　復習、有機化合物の構造決定方法概論　演習
第4回：反応形式　復習
第5回：中間試験
第6回：ベンゼンと芳香族性
第7回：ベンゼンの化学：芳香族求電子置換反応
第8回：エーテルとエポキシド；チオールとスルフィド
第9回：アルデヒドとケトン：求核付加反応
第10回：カルボン酸とニトリル
第11回：カルボン酸誘導体と求核アシル置換反応
第12回：カルボニルα-置換反応
第13回：カルボニル縮合反応
第14回：カルボニルの化学まとめ
第15回：アミンと複素環
第16回：期末試験

1：Chemical bonding and structure、type of reactions（elimination reactions、addition reactions、substituent reactions）
2：Unsaturated compound, resonance structures, electronic theory of organic chemistry, Practice
3：Stereochemistry, structural determination of organic compounds, Practice
4：Type of reactions, Practice
5：Examination
6：Benzene and aromaticity
7：Chemistry of benzene derivatives：aromatic electrophilic substitution reactions
8：Ether sand epoxides；thiol and sulfides
9：Aldehydes and ketones：Nucleophilic additions
10：Carboxylic acids and nitriles
11：Carboxylic acid derivatives and nucleophilic acyl substitution reactions
12：α-Substituent reactions of carbonyl groups
13：Condensation reaction of carbonyl compounds
14：Amines and heterocyclic compounds
15：Summary on chemistry of carbonyl compounds
16：Examination

予習・復習内容

最初の講義：マクマリー上巻　第1章－14章復習
後半の講義：マクマリー中巻　第15章－23章
the first half lecture：text; Organic Chemistry John, MacMurry, Chapter 1－14 review
the second half lecture：text; Organic Chemistry John, MacMurry, Chapter15－23

関連科目

基礎有機化学Ⅰ, Ⅱ
有機元素化学

基礎有機化学Ⅰ, Ⅱ

有機元素化学
有機合成学

教科書に関する補足事項
マクマリー有機化学（上）第1章～14章

参考書 1	書名	Organic Chemistry, International Edition 8th Edition			ISBN	ISBN-13: 97808400545
	著者名	John E. McMurry	出版社		出版年	

参考書に関する補足事項
参考書は4系で用意したものを貸し出す。
洋書をテキストとするが、日本語の補助教材を用意する。
Reference book, "Organic Chemistry" (8th Edition) will be lent if you need.

達成目標
各種反応を有機電子論に立脚し、分子の離合を電子の移動によって理解する。

You can estimate a reaction product from chemicals and reagents based on electronic theory of organic chemistry.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：中間試験(2回)と期末試験で評価を行う。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記の成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が90点以上
A:達成目標の 80%を達成しており、かつ試験の合計点(100点満点)が80点以上
B:達成目標の 70%を達成しており、かつ試験の合計点（100点満点）が70点以上
C:達成目標の 60%を達成しており、かつ試験の合計点（100点満点）が60点以上
Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
部屋：B-506, 内線：6817, E-mail: iwasa@ens.tut.ac.jp

office：B-506, ：6817, E-mail: iwasa@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://www.tutms.tut.ac.jp/STAFF/IWASA/index.html.ja
http://www.tutms.tut.ac.jp/RESEARCH/iwasa.html
http://ens.tut.ac.jp/orgchem/
http://www.tutms.tut.ac.jp/STAFF/IWASA/index.html.ja
http://www.siorgchem.ens.tut.ac.jp/index.html
http://ens.tut.ac.jp/orgchem/

オフィスアワー
質問、意見等随時受けつけます。

anytime

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学, 生物, 物理, 数学を基本とし, 専門科目群を修得することにより, 先端環境技術, 環境リスク制御, 環境評価・修復の技術, 科学的知識を獲得し, それらを駆使し課題を探究し, 組み立て解決する能力を身につけている。

〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード
求核付加反応、アシル置換反応、カルボニル縮合反応、アミン
nucleophilic substitution reaction、acyl substitution reaction、condensation reaction of carbonyl compound、amine

(B14620370)高分子科学[Polymer Chemistry]

科目名[英文名]	高分子科学[Polymer Chemistry]				
時間割番号	B14620370	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期2	**曜日時限**	金 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉田　絵里 YOSHIDA Eri				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

高分子材料について合成法から物性まで学ぶ。特に，特定の性能や機能が発現するメカニズム，特定用途の最適構造を追究する分子設計・材料設計の概念，高次構造の制御などに着目し，具体例とともに学ぶ。

Polymer Chemistry presents a study of structure, properties, classification, and polymerization, with special emphasis on the importance of molecular weight control for designing of polymer materials. Principles of polymerization including radical (co)polymerization, ionic polymerization, ring-opening polymerization, polycondensation, polyaddition, and heterogeneous polymerization are covered.

授業の内容

1回目　高分子の構造と物理的性質
2回目　逐次重合：重縮合と重付加
3回目　ラジカル重合の素反応：開始反応と生長反応
4回目　ラジカル重合の素反応：停止反応と連鎖移動
5回目　ラジカル共重合
6回目　不均一重合：乳化重合、懸濁重合、分散重合
7回目　イオン重合
8回目　期末試験

Week 1　Structure, Physical Properties of Polymers
Week 2　Step Polymerizations: Polycondensation, Polyaddition
Week 3　Radical Polymerization: Initiation, Propergation
Week 4　Radical Polymerization: Termination, Chain Transfer
Week 5　Radical Copolymerization
Week 6　Heterogeneous Polymerizations: Emulsion Polymerization, Suspension Polymerization, Dispersion Polymerization
Week 7　Ionic Polymerizations
Week 8　Final Exam

予習・復習内容

復習を行い、講義で得た知識を確実に身につけるように努める。
You are strongly recommended to review the lessons at home.

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。
No textbook is needed.

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）高分子の構造と物性との関係を理解する。
（2）重合の原理について説明できる。

Polymer Chemistry 2 covers the classifications of monomers, polymers, and initiators. The principles of chain polymerizations and radical copolymerization are also covered. After completing the course students will be able to:
(1) Understand the structure and physical properties of polymers.
(2) Explain the principles of step polymerizations, chain polymerizations, and copolymerizations.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：定期試験 100%で評価する。
評価の基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記の様に成績を評価する。

S:達成目標をすべて達成しており，かつテストの平均点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテストの平均点が 80 点以上 90 点未満
B:達成目標を 70%達成しており，かつテストの平均点が 70 点以上 80 点未満
C:達成目標を 60%達成しており，かつテストの平均点が 60 点以上 70 点未満
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準を適用する。

Grading:
Final Exam = 100%

Evaluating:
S: Total scores of exams > 89
A: 79 < Total scores < 90
B: 69 < Total scores < 80
C: 59 < Total scores < 70

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
部屋：B-503, 内線：6814, E-mail: eyoshida@ens.tut.ac.jp
Room：B-503, ex：6814, E-mail: eyoshida@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時受け付けます。

Anytime is fine.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード
高分子、連鎖重合、分子量、共重合
Synthetic Polymers, Polymerizations, Copolymerization, Molecular Weight

(B14620380)有機元素化学[Organoelement chemistry]

科目名[英文名]	有機元素化学[Organoelement chemistry]				
時間割番号	B14620380	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期1	**曜日時限**	金 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	柴富　一孝 SHIBATOMI Kazutaka				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

有機化合物の構造決定法、分子軌道理論の基礎知識、および芳香族化合物の反応性について理解する。
This class introduces the synthetic methods and reactivity of organohalides and aromatic compounds.

授業の内容

1. ハロゲン化合物の合成法
2. ハロゲン化合物の反応性
3. 求核置換反応
4. 脱離反応
5. 中間試験
6. ベンゼンと芳香族性
7. 芳香族化合物の反応性
8. 期末試験

1. Synthesis of organohalides.
2. Reaction of organohalides.
3. Nucleophilic substitution.
4. Elimination reaction.
5. Examinations 1
6. Properties of aromatic compounds.
7. Reactivity of aromatic compounds.
8. Examinations2

予習・復習内容

予習：教科書を読む
復習：演習問題を解く

関連科目

有機化学、有機合成学

教科書に関する補足事項

参考書欄に記載の Organic Chemistry, International Edition 8th Edition を教科書とする。
希望者には4系で用意した教科書を貸し出す。
Textbook will be available for rent.

参考書 1	**書名**	マクマリー有機化学（上）			**ISBN**	
	著者名		**出版社**		**出版年**	
参考書 2	**書名**	マクマリー有機化学（中）			**ISBN**	
	著者名		**出版社**		**出版年**	
参考書 3	**書名**	Organic Chemistry, International Edition 8th Edition			**ISBN**	ISBN-13: 97808400545
	著者名	John E. McMurry	**出版社**		**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

1）ハロゲン化合物の合成法、及び反応性を理解できること
2）芳香族化合物の反応性について理解できること。
1) To learn the synthetic methods and reactivity of organohalides.
2) To learn the basic properties and reactivity of aromatic compounds.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末試験で評価を行う。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点が 90%以上
A：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点が 80%以上

B：達成目標を 70%達成しており，かつ試験の合計点が 70%以上
C：達成目標を 60%以上達成しており，かつ試験合計点が 60%以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://material.tutms.tut.ac.jp/STAFF/SHIBATOMI/index.html.ja

オフィスアワー

随時

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード

(B14620440)分離科学[Separation Science]

科目名[英文名]	分離科学[Separation Science]				
時間割番号	B14620440	区分	環境・生命専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期2	曜日時限	月 3～3	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	齊戸　美弘 SAITO Yoshihiro				
ナンバリング	ENV_BAC32222				

授業の目標

クロマトグラフィーは、混合物を分離する手法として非常に優れた能力をもっており、今日化学に関連した分野において、最も重要な分析法の一つである。クロマトグラフィー技術の中でも、最も一般的に使用されているガスクロマトグラフィ(GC)ならびに液体クロマトグラフィー(LC)について基礎から応用までを概説し、分離化学の理論と実用についての知識充実を図る。

Clear understanding of liquid chromatography (LC) and gas chromatography (GC) widely employed in separation science.

授業の内容

1) 分配平衡の基礎理論
2) クロマトグラフィーの基礎理論
3) ガスクロマトグラフィー(GC)
3-1) GC の装置構成
3-2) GC 固定相と分離選択性
3-3) 試料導入法と検出法
3-4) 温度プログラムによる分離
4) 液体クロマトグラフィー(LC)
4-1) LC の装置構成
4-2) LC 固定相と分離選択性
4-3) 誘導体化法と検出法
4-4) グラジエント溶離による分離
5) その他の最新のトピックス
1) Fundamental theory of equilibrium
2) Theory of chromatography
3) Gas chromatography (GC)
3-1) Instruments of GC
3-2) Stationary phases in GC and the selectivity
3-3) Injection and detection techniques
3-4) Temperature-programmed elution in GC
4) Liquid chromatography (LC)
4-1) Instruments of LC
4-2) Stationary phases in LC and the selectivity
4-3) Derivatization and detection techniques
4-4) Gradient elution in LC
5) Other recent topics

予習・復習内容

あらかじめ講義内容を予習するとともに、講義修了後の復習をすることを前提に講義を進める

Preliminary self study is recommended.

関連科目

基礎分析化学I、基礎分析化学II、分析化学

Analytical Chemistry

教科書に関する補足事項

必要に応じて、プリント資料を配布する。

Printed materials will be distributed if needed.

参考書 1	書名	Basic gas chromatography			ISBN	
	著者名	H.M.McNair and J.M.Miller	出版社	John Wiley & Sons(UK)	出版年	1988
参考書 2	書名	High Performance Liquid Chromatography Analytical Chemistry by Open Learning			ISBN	
	著者名	Sandy Lindsay	出版社	John Wiley & Sons(UK)	出版年	1992

参考書に関する補足事項

GC 関連の参考書

H.M.McNair and J.M.Miller : Basic gas chromatography [published by John Wiley & Sons（UK) 1998]
LC 関連の参考書
Sandy Lindsay: High Performance Liquid Chromatography Analytical Chemistry by Open Learning [published by John Wiley & Sons（UK) 1992]
For GC:
H.M.McNair and J.M.Miller : Basic gas chromatography [published by John Wiley & Sons（UK) 1998]

For LC:
Sandy Lindsay: High Performance Liquid Chromatography Analytical Chemistry by Open Learning [published by John Wiley & Sons（UK) 1992]

達成目標

クロマトグラフィーの基礎理論を理解する。
Clear understanding of fundamental theory of chromatography.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：随時実施する理解度確認テスト(計 50 点満点)、レポート 1 回（50 点満点）の合計点(100 点満点)で評価する。
評価基準：原則として、全ての講義に出席し、全ての理解度確認テストを受けた上で、レポートを提出した者について、下記のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて十分に達成しており，かつ試験（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標をよく達成しており，かつ試験（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標をかなり達成しており，かつ試験（100 点満点）が 55 点以上
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved majority of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved most % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

その他
Other

定期試験詳細

授業中に理解度確認テストを実施する場合がある。また定期試験に代えてレポートを課す。
Some short examination might be scheduled during the regular lecture. Instead of the examination, the required report must be submitted.

その他

部屋番号：B-402、内線:6803、E-mail： saito@の後に ens.tut.ac.jp を付ける。
Room #: B-402; Ext.: 6803; E-mail: saito@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.ens.tut.ac.jp/

オフィスアワー

随時受け付けます。
Anytime, however, appointment is recommended.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions

Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge

キーワード

(B14620450)数理解析[Mathematical Practice]

科目名[英文名]	数理解析[Mathematical Practice]				
時間割番号	B14620450	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	髙島　和則 TAKASHIMA Kazunori				
ナンバリング	ENV_BAC31022				

授業の目標

環境・生命工学は、資源リサイクル、環境保全技術の適用を通じて付加価値の高い技術を開発することによって持続的な発展を目指すものである。そこでは従来の工業技術に加え、バイオテクノロジーなど生物応用技術を含む非常に幅の広い領域を理解できる方法論を学ぶ必要がある。いかなる領域においても、現象を数学的に記述すれば共通共通の方法論をとることが可能であり、現象の数学的記述方法とその数理解析能力の構築により幅の広い分野に対処することが可能であるはずである。本講義では例えば偏微分方程式の境界値問題やポテンシャル場を取り扱うために重要な知識である、複素関数の微分積分学を演習に重点を置いて学ぶ。

To understand and develop skills for solving problems on complex analysis.

授業の内容

1 週目: 複素数と複素平面
2 週目: 複素変数の初等関数 I
3 週目: 複素変数の初等関数 II
4 週目: 上記の演習
5 週目: 複素関数の微分 I
6 週目: 複素関数の微分 II
7 週目: 複素関数の微分 III
8 週目: 上記の演習
9 週目: 上記の演習
10 週目: 曲線と複素積分 I
11 週目: 曲線と複素積分 II
12 週目: コーシーの積分定理
13 週目: コーシーの積分公式
14 週目: 上記の演習
15 週目: 上記の演習
week 1:　Complex number and complex plane
week 2:　Elementary function of a complex variable I
week 3:　Elementary function of a complex variable II
week 4:　Exercise on above topics
week 5:　Complex differentiation I
week 6:　Complex differentiation II
week 7:　Complex differentiation III
week 8:　Exercise on above topics
week 9:　Exercise on above topics
week 10:　Curve and complex integration I
week 11:　Curve and complex integration II
week 12:　Cauchy's integral theorem
week 13:　Cauchy's integral expression
week 14:　Exercise on above topics
week 15:　Exercise on above topics

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

未定
TBA

参考書 1	**書名**	初等関数論（改訂版）			**ISBN**	ISBN4-7853-1074-X
	著者名	林一道	**出版社**	裳華房	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 複素関数の基礎、複素変数と複素関数
複素変数および複素関数の定義を明確に把握し、複素関数の複素平面での表示、特に極座標表示に慣れる。

2. 複素関数の微分
複素関数の微分の定義を把握し、微分可能性を理解し、コーシー・リーマンの条件の意味を理解する。

3. 複素関数の積分
複素関数の積分路に沿った積分の原理を理解する。

4. コーシーの積分定理
コーシーの積分定理を理解し、複素積分の計算に利用する。

5. コーシーの積分公式
コーシーの積分公式を理解し、複素積分の計算に利用する。

1. To learn complex number and complex plane.
2. To learn elementary function of a complex variable.
3. To learn complex differentiation.
4. To learn complex integration.
5. To learn Cauchy's integral theorem and Cauchy's integral expression and to be able to calculate complex integration.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験により評価する。
評価基準:原則的に下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつ試験の点数(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており，かつ試験の点数(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 65%を達成しており，かつ試験の点数(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 55%を達成しており，かつ試験の点数(100 点満点)が 60 点以上

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all the goals and obtained point of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained point of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65 % of goals and obtained point of exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 55 % of goals and obtained point of exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

高島和則 ー 居室: G-504、内線番号: 6919、メールアドレス: takashima@ens.tut.ac.jp

Dr. Kazunori Takashima
Office: G-504 (phone 6919)
E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

随時応対可
ただし、事前にメールにて連絡すること。
Make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関す

る基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより，技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.

キーワード

(B15510040)建設学対話[Introduction to Architecture and Civil Engineering]

科目名[英文名]	建設学対話[Introduction to Architecture and Civil Engineering]				
時間割番号	B15510040	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	井上　隆信, 松島　史朗, 齊藤　大樹 INOUE Takanobu, MATSUSHIMA Shiro, SAITOH Taiki				
ナンバリング	ARC_BAC11212				

授業の目標

建築・都市システム学の入門講座として、建築・都市デザイン学分野と・都市・地域マネジメント学分野の異なる研究領域について、学生と学生、学生と教員との対話を通して，建築・都市システム学への興味をより強くし，これからの建築・都市システム学のあり方を考える契機とする.

As an introduction course of Architecture and Civil Engineering, for different research areas of Architecture and Civil Engineering field and urban and regional management science field, it will be an opportunity to think about the future of Architecture and Civil Engineering studies and increase the interest of students, through a dialogue with the students and instructors.

授業の内容

少人数に別れ、異なる 3 領域について各 5 週、計 15 回受講する。

5 回の講義内容は、各教員により異なるが、標準的な講義を以下に示す。

第　1週　ガイダンス及び研究内容などの紹介
第　2週　具体的な調査項目の選定とその内容についての概論
第　3週　グループディスカッションと調査方法、発表内容の決定
第　4週　文献調査、発表資料の作成
第　5週　調査結果の発表と議論　　（松島担当）

第 1 週　ガイダンス及びテーマの決定
第 2 週　発表資料の作成方法の修得と発表資料の作成
第 3 週　中間発表と最終発表に向けた課題の決定
第 4 週　発表資料の完成
第 5 週　最終発表と議論　　（井上担当）

第 1 週　ガイダンス及び研究内容などの紹介
第 2 週　研究内容の概論および具体的な研究事例についての討議
第 3 週　グループディスカッションと調査方法、発表内容の決定
第 4 週　文献調査、発表資料の作成
第 5 週　調査結果の発表と議論　（斉藤担当）

2)調べた内容を系統立てて整理する。
3)わかりやすい資料を作成して発表する。
4)他の人の発表を聞いて疑問点などを議論する。

Students take a total of 15 weeks lectures, 5 weeks for three different regions, dividing into the group of the small number of people.

The standard lecture contents are shown below.

Week 1: Guidance and introduction of research
Week 2: Selection of specific survey items
Week 3: Group discussion and determination of survey methods
Week 4: Literature survey, preparing of presentation materials
Week 5: Presentation of survey results Discussion

予習・復習内容
毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.
1) Examine the contents and organize systematically.
2) Create a descriptive article for presentation
3) Ask questions for the presentation of other people and make a discussion

関連科目
専門科目全般

教科書に関する補足事項
（参考図書等）
・建築家たちの 20 代，安藤忠雄研究室編，TOTO 出版
・「マイ・アーキテクト----ルイスカーンを探して」（ナサニエル・カーン監督）DVD 版
・泉田英雄ほか「建設工学入門」，朝倉書店
・松島史朗訳、フランク・ゲーリーと MIT、鹿島出版会
・ビジュアルプレゼンテーションに関する Edward Tufte の著作群、Graphic Press
・斉藤大樹著「トコトンやさしい地震と建物の本」日刊工業新聞社

参考書に関する補足事項

達成目標
建築・都市システム学の入門講座として，建築や社会基盤工学についての興味が持てることと、それぞれの分野について、自分で調査し、その結果をまとめて発表し、議論ができるようになること.
また、建築・都市デザインに関わる問題点について集めた情報から、課題を抽出し原因を明らかにする、もしくは仮説を立てて検証するなど、次年次のプロジェクト研究へもつながる取り組みとする。
As an introduction course of architecture and civil engineering,
it is required to investigate by yourself and make a presentation and discussion to increase the interest to architecture and infrastructure engineering.
From the information collected for architecture and civil engineering problems, it is required to reveal the cause and identify the problems. It will leads to project research of next year.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
3 つの分野の平均点が、上記達成目標の達成度をに対して、評価点(100 点満点)が 60 点以上を合格とする。
90 点以上を評価S，80 点以上 90 点未満を評価A，70 点以上 80 点未満を評価B，60 点以上 70 点未満を評価Cとする.
Evaluation method:
It will be evaluated base on the report.
Evaluation criteria:
Average points of the report was evaluated (100-point scale), and pass the case of more than 60 points (reaching the goal).
In addition, the more than 90-points is evaluated as S, rated more than 80 points or less than 90 points are evaluated as A, rated more than 70 points or less than 80 points are evaluated as B, more than 60 points or less than 70 points are evaluated as C.

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
井上隆信　部屋：D-811，内線：6852，e-mail : inoue@ace.tut.ac.jp
松島史朗　部屋：D-707，内線：6835，e-mail : shirom@ace.tut.ac.jp
齊藤大樹　部屋：D-805，内線：6846，e-mail : tsaito@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
井上：毎週水曜日 12 時 30 分～13 時 30 分
松島：毎週火曜日 12：30～14：30　もしくは email によるアポイントメントにより随時実施
斉藤：email によるアポイントメントにより随時実施

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
（E）国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
関連のある項目

(D1) 適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
(F) 最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力

(D)【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画及び建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。

(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D1) Have appropriate spatial awareness skills; and specialized knowledge about architectural planning, architectural design and other facets of design which can properly meet aesthetic and technical demands; and the skills to apply them
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード

(B15510050)プロジェクト研究[Research Project]

科目名[英文名]	プロジェクト研究[Research Project]				
時間割番号	B15510050	区分	建築・都市専門Ⅰ	選択必須	必修
開講学期	後期	曜日時限	月 3～5	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	S5系教務委員 5kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ARC_BAC28012				

授業の目標

建築・都市システム学に関する先進的なテーマに関して取り組む。同時に、研究計画やその進め方、問題解決の方法などの基礎的な技術を体得する。学部 3 年次での専門分野の習得に向けた準備と位置付ける。

Conduct study respect to advanced themes related to architecture and civil engineering. At the same time, master the basic techniques to make the research plan, proceed it and solve the problems. It is regarded as preparation for the acquisition of the specialized field.

授業の内容

配属になった研究室、またはその研究室の所属する工学分野において設定されたテーマにより実施する。
・第 1 週： 各テーマの説明、配属先の決定
・第 2 週～第 15 週： 各研究室で研究を実施
・第 16 週： 成果発表会
Carry out the study of the theme which is selected in the assigned laboratory.
1 week: Each theme description, the determination of the assigned laboratory
2-15 week: Conduct research in each laboratory
16 week: Presentation

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

各研究分野、研究室毎に異なるので、担当教員に従うこと。

教科書に関する補足事項

各研究分野、研究室毎に異なるので、担当教員に従うこと。

参考書に関する補足事項

達成目標

各研究分野、研究室毎に異なるので、担当教員に従うこと。

Since the theme is different in each field of research, please follow the instructor.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：日頃の取り組み状況、最終レポート、成果発表会でのプレゼンテーションの内容を総合評価し、教員の協議に基づいて成績評価する。
評価基準：
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
Assessment：
Grade is evaluated based on the report and presentation.
Grading：
S: exam, 90 or higher (out of 100 points)
A: exam, 80 or higher (out of 100 points)
B: exam, 70 or higher (out of 100 points)
C: exam, 60 or higher (out of 100 points)

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
研究分野、研究室毎に異なる。

ウェルカムページ
建築・都市システム学系ホームページ

オフィスアワー
研究室ごとに担当各教員より連絡する。

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D7)建築分野の専門的知識に加え、社会基盤工学や人文・社会科学の知識を修得し、実際の課題を適切に認識すると同時に、学生、教員相互の協働および討論を通し、制約的条件を特定し、最適解に向けて創造的に企画・立案ができるデザイン能力
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力
関連のある項目
(D8)建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力

関連のある項目
(D4)社会基盤工学に関する実務上の問題を理解し，制約条件の下で適切に対応できるマネジメント力を有する 実践的技術者としての素養を身につける

キーワード

(B15510130)建築設計演習Ⅰ[Architectural Design Workshop 1]

科目名[英文名]	建築設計演習Ⅰ[Architectural Design Workshop 1]				
時間割番号	B15510130	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 4～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	水谷　晃啓, 柳原　茂 MIZUTANI Akihiro, YANAGIHARA Shigeru				
ナンバリング	ARC_BAC13110				

授業の目標

建築設計とはさまざまな専門知識や技術を総合して形態及び空間を創造することであり，その手段として設計図，模型，絵画などがある。また，この表現手段は設計者の意図を相手に的確に伝える役割も果たし，設計のみならず施工にかかわる者にとっての必修の能力である，建築設計学習の第一歩として、形態と空間の仕組み、空間構築の表現手法を習得し，空間創造のための基礎能力を養う。

The objectives of this class are to learn a fundamental skill about architectural design through practice, and to understand architectural design, architectural form, building construction and space configuration.

授業の内容

授業内容

小規模建築物の複写，模型製作，パース作成，小規模住宅の自由設計を通じて設計製図の基礎を学ぶ。

第 1 週　オリエンテーション
第 2 週　第 1 課題　製図基礎
第 3 ～ 6 週　第 2 課題　鉄筋コンクリート造2階建て専用住宅設計図の模写
第 7 ～ 8 週　第 3 課題　同上　模型製作
第 9 ～ 10 週　第 4 課題　プレゼンテーション・パース表現
第 11 ～ 13 週　第 5 課題　木造もしくは鉄骨造2階建て専用住宅設計図の模写
第 14 ～ 15 週　第 6 課題　同上　模型製作，講評

1st week: guidance
2nd week: (1) practice of fundamental drawing
3rh – 6th week: (2) copy out of a small-sized house (reinforced concrete construction)
7th – 8th week: (3) making the model
9th – 10th week: (4) presentation, architectural perspective
11th – 13th week: (5) copy out of a small-sized house (wood/steel construction)
14th – 15th week: (6) making the model, review above works

予習・復習内容

1) 日頃から身の回りの建物の仕組み、材料、材質、寸法などに気を付けてみるようにしてください。
2)建築雑誌等に掲載された作品をみて，空間を把握する力，デザインに対する感性を養うことが肝要である。
1) It is desirable to observe the structure, material, dimensions etc of the building around us.
2) It is essential for promoting the sensitivity of architectural design to see the work posted in architectural magazines.

関連科目

図学，図学演習、構造力学Ⅰ

教科書 1	**書名**	初学者の建築講座「建築製図」			**ISBN**	
	著者名	瀬川康秀	**出版社**	市ヶ谷出版社	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	初めての建築パース			**ISBN**	
	著者名	宮後　浩	**出版社**	学芸出版社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

1)建築設計製図の基礎を学び，自ら設計図面を描くことができること。
2)基礎的な設計図面をみて，理解できること。
3)木造および鉄筋コンクリート造の基礎知識を理解していること。
4)設計エスキスの方法を正しく理解し，利用できること。
5)建築模型作成の方法を正しく理解し，自ら作成できること。

6）建築パース作成（透視図作成，着彩技法）を理解し，作成できること。
1. to able to make drawing of architectural design.
2. to able to understand the information of drawing.
3. to able to understand each building construction.
4. to able to understand the method of exploration for drawing.
5. to able to understand the method for making architectural model.
6. to able to understand the method for making architectural perspective.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

（建築コース）D1（専門的技術の習得）は課題1，3，4で、D2（課題解決能力）は課題2で、E（表現力）は課題5でそれぞれ評価する。各目標において評価点が 55 %以上を最低クリア条件とする。
（社会基盤コース）D1（専門的技術）は課題1，3，4，5で、D3（自己学習）は課題2でそれぞれ評価する。各目標において評価点が 55 %以上を最低クリア条件とする。
両コースとも点数が 90 点以上を評価 S,80 点以上 89 点以下を評価 A,65 点以上 79 点以下を評価 B, 55 点以上 64 点以下を C とします。
Total evaluation will be judged as follows:
S: Total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

月曜日・水曜日の 12:00 から 13:00
12-13 on every Monday and Wednesday

学習・教育到達目標との対応

特に関連がある項目
(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画及び建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力を身につけている。
関連がある項目
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力及び力学を主体とする物理学の基礎力を身につけている。
（E）【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Particularly-relevant item
(D1) Have appropriate spatial awareness skills; and specialized knowledge about architectural planning, architectural design and other facets of design which can properly meet aesthetic and technical demands; and the skills to apply them
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(D1) Have mathematical ability and basic physical skills, mainly mechanics, which are required to learn infrastructure engineering
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers,

oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード

(B15510140)建築設計演習Ⅱ[Architectural Design Workshop 2]

科目名[英文名]	建築設計演習Ⅱ[Architectural Design Workshop 2]				
時間割番号	B15510140	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	浅野　純一郎, 川口　良子, 劉　一辰 ASANO Junichiro, KAWAGUCHI Ryoko, RYU Ichien				
ナンバリング	ARC_BAC23110				

授業の目標

建設設計は，各分野の専門知識・技術を総合した空間創造であり，設計図は，建築・社会基盤の生産活動における情報手段として重要な役割を果たす。本授業は，建築，社会基盤分野の専門的技術を総合的に用いて，空間構築の表現手法を習得し，空間創造のための基礎能力を養う。本演習では、住宅と小学校の課題設計を通して、建築施設の具体的設計方法を習得する。

objectives of this class are to gain the presentation methodology and fundamental skill of spatial composition using technical knowledge in architecture and civil engineering.

授業の内容

1)住宅の設計　課題説明、建築設計の進め方、住宅の機能と動線
2)同上２　エスキスチェック・設計事例とボリューム把握
3)同上３　エスキスチェック・平面プラン検討
4)同上４　エスキスチェック・平面・立面・断面検討
5)同上５　エスキスチェック・平面・立面・断面図
6)同上６　エスキスチェック・平面・立面・断面図
7)同上７　エスキスチェック・模型作製
8)課題提出：講評
9)小学校の設計　課題説明
10)同上 2(エスキスチェック)　敷地分析
11)　同上 3(エスキスチェック)　基本構想～先進事例の分析
12)　同上 4(エスキスチェック)　教室・各種特殊教室の計画、動線計画、平面図、断面図、配置図
13)　同上 5(エスキスチェック)　全体の平・立・断面図・配置図
14)　同上 5(エスキスチェック)　全体の平・立・断面図・配置図
15)　同上 6(エスキスチェック)　パースの作成、模型製作
16)課題提出：講評

なお、上記の内容は変更される場合がある。

contents are divided into two sections.
[a detached house]
1st week: guidance about housing design
2nd week: sketch check1---housing planning
3rh week: sketch check2---plan
4th week: sketch check3---plan, elevation, section
5th week: sketch check4---plan, elevation, section
6th week: sketch check5---plan, elevation, section
7th week: sketch check5---modeling
8th week: oral presentation

[an elementary school]
9th week: guidance about elementary school design
10th week: sketch check1---total planning
11th week: sketch check2---plan
12th week: sketch check3---plan, elevation, section
13th week: sketch check4---plan, elevation, section
14th week: sketch check5---plan, elevation, section
15th week: sketch check5---modeling, perspective
16th week: oral presentation

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

In almost all classes, the rough draft checking and discussion about the design are done individually. It is better to reconsider it and refine the rough draft every time.

関連科目

図学　計画序論

graphics, architectural planning introduction

教科書 1	**書名**	コンパクト建築設計資料集成			**ISBN**	
	著者名	日本建築学会編	**出版社**	丸善	**出版年**	
教科書 2	**書名**	初めての建築パース			**ISBN**	
	著者名	宮後　浩	**出版社**	学芸出版社	**出版年**	

教科書に関する補足事項

上記の他に適宜プリント資料を配付する。

in addition to the above, necessary handouts will be delivered in the class.

参考書に関する補足事項

達成目標

1）建築設計製図の基礎を学び，自ら設計図面を描くことができること。
2）基礎的な設計図面をみて，理解できること。
3）木造および鉄筋コンクリート造の基礎知識を理解していること。
4）設計エスキスの方法を正しく理解し，利用できること。
5）建築模型作成の方法を正しく理解し，自ら作成できること。
1. to be able to describe architectural drafts for themselves, learning basics of architectural design workshop.
2. to be able to understand fundamental architectural drafts
3. to be able to understand basic knowledge about wooden structure and reinforced concrete structure.
4. to be able to understand and utilize sketch methodology
5. to be able to understand and make architectural models

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

（建築コース）D1（建築設計・デザイン能力・スケール感）、E（表現力）は、2 つの設計課題のすべてで評価する。各目標において評価点が 55%移譲を最低クリア条件とする。
（社会基盤コース）D3（デザイン力）は 2 つの設計課題のすべてで評価する。
各目標において評価点が 60%以上を最低クリア条件とする。
両コースとも点数が 90 点以上を評価 S,80 点以上 90 点未満を評価 A,70 点以上を 80 点未満を評価 B,60 点以上 70 点未満を評価 C とする。

なお、最終成績にあたっての各課題の配分は同じである。
Evaluation is based primarily on two workshop outcomes (100 points) with the same distribution.
S: Total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

note for JABEE
[architecture course]D1, E are evaluated with two workshop outcomes.
[civil engineering]D3 is evaluated with two workshop outcomes.

定期試験

その他

Other

定期試験詳細

その他

教員室： D-708（浅野）
電話番号： 44-6836（浅野）
E メール： asano@ace.tut.ac.jp(浅野)

(D-708・6836・asano@ace.tut.ac.jp)

ウェルカムページ

http://urbandesign.web.fc2.com/MOTHER-hp/STU-hp/index.html

オフィスアワー

浅野：毎週火曜、木曜の 12：30-13：30

tuesday and thursday from 12:30-13:30

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
関連のある項目
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画及び建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力を身につけている。
特に関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。
関連がある項目
architecture course
most related purpose:
d-1:Technical knowledge and applicable ability on architectural planning and design, with appropriate ability to understand the scale sense and to solve the aesthetic and technical requirement
related purpose:
(E) The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Utilizing technical writing, reporting or announcements issued through informative media sources, the ability to effectively disseminate one’s research results and ideas at home and abroad

civil engineering course
related purpose:
d-3:Acquiring grounding as a creative engineer with design ability that makes it possible to research, assemble and solve problems by learning expertise on architecture, knowledge on liberal arts and social science in addition to expertise on civil engineering,

(D1) Have appropriate spatial awareness skills; and specialized knowledge about architectural planning, architectural design and other facets of design which can properly meet aesthetic and technical demands; and the skills to apply them
Particularly-relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one’s own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills tosearch for, organize and solve problems in a creative way
Relevant item

キーワード

建築設計　住宅　小学校
architectural design workshop, detached house, elementary school

(B15510150)測量学Ⅰ[Surveying 1]

科目名[英文名]	測量学Ⅰ[Surveying 1]				
時間割番号	B15510150	区分	建築・都市専門Ⅰ	選択必須	必修
開講学期	前期	曜日時限	水 4～4	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	加藤　茂, 江口　宮雄 KATO Shigeru, EGUCHI Miyao				
ナンバリング	ARC_BAC23310				

授業の目標

基本的な測量について目的，測量の原理，測量結果の整理の考え方を理解するとともに，各種測量器具の操作方法，測量結果の整理方法等を理解する．社会基盤，建築の両分野において構造物の計画，設計，施工等において最も基本となる技術について，その基本を習得する．

The objective of this course is to understand purpose, principle of surveying, idea of data processing of basic surveying, and to learn operating procedure of survey instrument and processing method of survey data. Fundamentals of most basic technique for civil engineering and architecture are acquired.

授業の内容

第 1 週 ガイダンス，座標系
第 2 週 地図と GIS
第 3 週 距離測量
第 4 週 角測量(1)
第 5 週 角測量(2)
第 6 週 水準測量
第 7 週 トータルステーション測量
第 8 週 中間試験（以上，担当：江口）

第 9 週　平板測量
第 10 週　写真測量(1)
第 11 週　写真測量(2)
第 12 週　誤差と測定値の取り扱い方(1)
第 13 週　誤差と測定値の取り扱い方(2)
第 14 週　誤差と測定値の取り扱い方(3)
第 15 週　演習
第 16 週　期末試験　　（以上，担当：加藤）

(First half) Instructor: M. Eguchi
1st week, Guidance, Coordinate system
2nd week, Map and GIS
3rd week, Distance surveying
4th week, Angle surveying (1)
5th week, Angle surveying (2)
6th week, Leveling
7th week, Total station surveying
8th week, Mid-term examination

(Second half) Instructor: S. Kato
9th week, Plane-table surveying
10th week, Photographic surveying (1)
11th week, Photographic surveying (2)
12th week, Surveying error and data processing (1)
13th week, Surveying error and data processing (2)
14th week, Surveying error and data processing (3)
15th week, Exercise
16th week, Term-end examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についても教科書や配布資料を参考に予習を行うこと．必要に応じて宿題を出すので，自分で解くこと．

Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation. Assignments have to be solve by oneself.

関連科目

物理学Ⅰ，応用数学Ⅰ・Ⅱ

測量学Ⅰ実習，測量学Ⅱ，測量学Ⅱ演習

Physics 1, Applied mathematics 1, 2

Surveying 1; Practice, Surveying 2, Surveying 2; Lecture and Exercise

教科書 1	**書名**	改訂2版　基礎測量学			**ISBN**	9784485302538
	著者名	長谷川昌弘／川端良和	**出版社**	電気書院	**出版年**	2017

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 測量の基本的概念を理解する．
2. 距離，角，水準についての測量の基本的な原理を理解するとともに，具体的な測量技術を理解する．
3. 基準点測量の基本的な考え方および計算方法を理解する．
4. 平板測量の基本的な考え方および測量方法を理解する．
5. 写真測量の基本的な考え方および計算方法を理解する．
6. 測量における誤差の種類と性質を理解するとともに，誤差を考慮した測定値の取り扱い方を理解する．

(1) Understanding the fundamental concept of surveying
(2) Understanding the basic principle of surveys on distance, angle and level, and their techniques
(3) Understanding the basic idea of control point surveying and its calculation method
(4) Understanding the basic idea of plane-table surveying and its survey method
(5) Understanding the basic idea of photographic surveying and its calculation method
(6) Understanding the types of error, their properties and the data processing method including errors

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

（評価方法）

原則的にすべての講義に出席し，課題（レポート）を提出したものにつき，下記のように成績を評価する．

4 回以上欠席した場合は単位を認めない．

試験（中間・期末：80%）とレポート（20%）を総合して評価する．

（評価基準）

上記達成目標の達成度について評価し，評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする．

90 点以上を S，80 点以上 90 点未満を A，70 点以上 80 点未満を B，60 点以上 70 点未満を C とする．

※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する．

Students are required to attend essentially all classes, and to submit all assignments for evaluation. More than four classes of absence are not allowed for evaluation.

Evaluation is based on total points (out of 100 points) of examination (80%) and assignments (20%).

Grade, S: 90 or higher, A: 80 or higher to lower than 90, B: 70 or higher to lower than 80, C: 60 or higher to lower than 70.

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

加藤：　D-812，6853，s-kato@ace.tut.ac.jp

S. Kato: D-812, 6853, s-kato@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
加藤： http://www.umi.ace.tut.ac.jp/

S. Kato: http://www.umi.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
加藤： 随時対応する．ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること．
S. Kato: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
（D1）適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
（D5）建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
（D2）土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

(Civil and Environmental Engineering Course)
[Particularly-relavant item]
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering

(Architecture and Building Science Course)
[Relavant item]
(D1) Technical knowledge and application ability in architectural planning and design; the ability to understand architectural scale and to solve the aesthetic and technical requirements for a project
(D5) Technical knowledge on architectural structure, building material, building construction; overall expertise in grasping the integration of fundamental research, building construction methods and construction execution toward completion of a building

キーワード
角測量，距離測量，水準測量，基準点測量，平板測量，写真測量，測量誤差

(B15510160)測量学Ⅰ実習[Surveying 1:Practice]

科目名[英文名]	測量学Ⅰ実習[Surveying 1:Practice]				
時間割番号	B15510160	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也, 松尾　幸二郎, 中村　亮太 MIURA Kinya, MATSUO Kojiro, NAKAMURA Ryota				
ナンバリング	ARC_BAC23310				

授業の目標

基本的な測量について目的および測量の原理を理解するとともに，各種測量器具の操作方法，測量結果の整理方法等を習得する.

本実習は，社会基盤，建築の両分野における構造物の計画，設計，施工等において基礎となる測量技術を身に付ける上で重要である.

特に社会基盤分野では，チームで協力しながら調査を計画・実施するとともに，データを正確に分析し，科学技術的な視点から考察・説明する能力を養う上で重要である.

The objectives of this class are to understand the purposes and measurement principles of basic surveying, and to acquire how to operate several surveying instruments, how to organize surveying results, and so on.

These practices are important to acquiring surveying techniques as a basis for planning, designing, construction, etc. in architecture and civil engineering field.

These practices are, particularly in civil engineering field, important to developing the abilities to plan and conduct several surveys in cooperation with team members, to properly analyze data, and to discuss and explain with the data from a scientific and technological standpoint.

授業の内容

第 1 週　ガイダンス・距離測量
第 2 週　水準測量 (1)
第 3 週　水準測量 (2)
第 4 週　トータルステーションの操作
第 5 週　トラバース測量(外業)
第 6 週　トラバース測量(内業)
第 7 週　平板測量 (1)
第 8 週　平板測量 (2)
第 9 週　平板測量 (3)
第 10 週　等高線測量 (1)
第 11 週　等高線測量 (2)
第 12 週　面積・土量計算
第 13 週　写真測量
第 14 週　GIS
第 15 週　実技テスト
1st week, Guidance / Distance measurement
2nd week, Leveling (1)
3rd week, Leveling (2)
4th week, Operation of total station
5th week, Traversing(field work)
6th week, Traversing(office work)
7th week, Plane table surveying (1)
8th week, Plane table surveying (2)
9th week, Plane table surveying (3)
10th week, Contour surveying (1)
11th week, Contour surveying (2)
13th week, Calculation of area and soil volume
14th week, Photogrammmetric surveying
15th week, GIS
15th week, Practical exam

予習・復習内容

毎回の実習内容を復習するとともに，次週の内容について教科書等を参考に予習してくること.

Review the practices after the every classes and prepare the next classes by reference to the textbook and so on.

関連科目

物理学Ⅰ, 応用数学Ⅰ, 応用数学Ⅱ

測量学Ⅰ，測量学Ⅱ，測量学Ⅱ演習
Physics 1, Applied Mathematics 1, Applied Mathematics 2
Surveying 1, Surveying 2, Surveying 2: Lecture and Exercise

教科書 1	**書名**	基礎測量学			**ISBN**	978-4485302538
	著者名	長谷川昌弘，川端良和編著 ; 大塚久雄 [ほか] 著	**出版社**	電気書院	**出版年**	2017

教科書に関する補足事項
大学書店で事前に予約して購入すること.
Order and buy the textbook at the university bookstore in advance.

参考書に関する補足事項

達成目標
グループワークによる一連の測量作業を通じて，以下に示すように，基本的な測量知識・技術およびチームで課題解決に導ける技術者としての素養を身につける.
1) 測量の基本的概念を身につける.
2) 距離，角度，水準についての測量の基本的な原理を理解するとともに，具体的な測量技術を身につける.
3) 水準測量，トラバース測量，平板測量，等高線測量，写真測量の基本的な考え方および測量方法を身につける.
4) 面積・体積の計算方法を身につける.
5) 測量における誤差の種類と性質を理解するとともに，誤差を考慮した測定値の取り扱い方を身につける.
6) チームで正確かつ効率的に測量を行う能力を身につける.
7) チーム内で測量結果を正確に整理・共有し説明する能力を身につける.
Acquiring basic knowledge and techniques about surveying, and developing education as a engineer to solve problems in teams, through a series group work of surveying practices:

1) Acquiring basic concept of surveying.
2) Understanding basic measurement principles about distance, angle, and level, and acquiring the surveying techniques.
3) Understanding basic ideas about leveling, traversing, plane-table surveying, contour surveying, and photogrammetric surveying, and acquiring the surveying methods.
4) Acquiring the calculation methods of area and volume.
5) Understanding characteristics of several kinds of errors in surveying, and acquiring how to organize surveying results considering the errors.
6) Acquiring abilities to conduct accurate and efficient surveying in a team.
7) Acquiring abilities to organize, share, and explain surveying results.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
＜評価方法＞
実習態度(20%)・実技試験(20%)・実習レポート(60%)により総合評価する.

＜評価基準＞
上記達成目標の達成度に関して，評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする.
90 点以上を S，80 点以上を A，70 点以上を B，60 点以上を C とする.
[Evaluation method]
Comprehensive evaluation is based on the following weights:
Attitude in practice (20%); Practical exam (20%); Report (60%)

[Evaluation basis]
Grade S: 90 or higher, A: 80 or higher, B: 70 or higher, C: 60 or higher.

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細
実技試験として，授業最終日に測量機器の据え付けテストを行う.
A practical exam about setting up of surveying instruments is conducted in the final class.

その他

ウェルカムページ
・建築・都市システム学系ホームページ：http://www.ace.tut.ac.jp/

・松尾研ホームページ: http://www.tr.ace.tut.ac.jp/
- Dept. of Architecture and Civil Engineering homepage: http://www.ace.tut.ac.jp/
- Matsuo Lab. homepage: http://www.tr.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー

・三浦: 水曜日午前中, 他, 随時メールで連絡すること
・松尾: 随時対応可. ただし, 事前連絡をすること.
- Miura: Wednesday morning. Please send e-mail to Miura in advance for other time.
- Matsuo: At any time. Please contact Matsuo by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
関連のある項目
(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
(D5)建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D5)社会基盤工学に関する課題に対して, 複数のメンバーで構成されたチームで取り組み, チームとして課題を達成することのできる実践的創造的技術者としての素養を身につける
関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで, 社会基盤工学の基礎知識を身につける

This class is related to the following items in each JABEE course's attainment objectives of learning and education:

- Civil and Environmental Engineering Course -
[Particularly-relavant item]
(D5) Acquiring grounding as a practical and creative engineer to meet challenges and solve problems in civil engineering in teams comprised of several members
[Relavant item]
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering

- Architecture and Building Science Course -
[Relavant item]
(D1) Technical knowledge and application ability in architectural planning and design; the ability to understand architectural scale and to solve the aesthetic and technical requirements for a project
(D5) Technical knowledge on architectural structure, building material, building construction; overall expertise in grasping the integration of fundamental research, building construction methods and construction execution toward completion of a building

キーワード

測量
Surveying

(B15510170)構造力学Ⅰ[Structural Mechanics 1]

科目名[英文名]	構造力学Ⅰ[Structural Mechanics 1]				
時間割番号	B15510170	区分	建築・都市専門Ⅰ	選択必須	必修
開講学期	後期	曜日時限	水 3～3	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	建築・都市システム学課程			開講年次	B1
担当教員[ローマ字表記]	松本　幸大 MATSUMOTO Yukihiro				
ナンバリング	ARC_BAC12512				

授業の目標

安全な構造物を建設するに必要な最も基本的な力学を習得した技術者を養成することを目標として，静定骨組構造の構造解析法について，講義に演習を随時加えながら，講述する。

In this lecture, fundamentals of structural analysis which provides to design safe structure is instructed. The targeted structure is statically determinate truss, beam and frame structures.

授業の内容

第1部 …… 静定構造物の反力の計算法と静定トラスの軸力の解析法について，講義に演習を随時加えながら，解説する.
第　1週　ガイダンス：構造設計と構造力学
第　2週　静定構造物の反力の計算法（その1）
第　3週　静定構造物の反力の計算法（その2）
第　4週　静定トラスの応力解析（その1）
第　5週　静定トラスの応力解析（その2）
第　6週　静定トラスの応力解析（その3）
第　7週　静定トラスの反力と応力解析の演習
第　8週　静定トラスの応力解析の演習と中間試験

第2部…… 静定梁と静定ラーメン構造物の応力解析法について，講義に演習を随時加えながら，解説する.
第　9週　梁の応力と　静定梁の解法
第10週　静定梁の応力解析（その1）
第11週　静定梁の応力解析（その2）
第12週　静定ラーメンの応力解析（その1）
第13週　静定ラーメンの応力解析（その2）
第14週　ラーメン構造物の逆解析
第15週　第 2 部の総合演習
第16週　期末試験

本講義では英語テキストを用いて日本語で講義を行う。
Part 1; Equilibrium of forces, reactions and analysis of statically determinate truss structures
1st week,Structural engineering and structural mechanics
2nd week, Reactions
3rd week, Reactions
4th week, Member forces in statically determinate truss structures
5th week, Member forces in statically determinate truss structures
6th week, Member forces in statically determinate truss structures
7th week, Suggested problems
8th week, Suggested problems, 1st examination
Part2 ; Analysis of statically determinate beam and frame structures
9th week, Member forces in statically determinate beam and frame structures
10th week, Analysis of statically determinate beam structures
11th week, Analysis of statically determinate beam structures
12th week, Analysis of statically determinate frame structures
13th week, Analysis of statically determinate frame structures
14th week, Inverse analysis of statically indeterminate frame structures
15th week, Suggested problems
16th week, Suggested problems, 2nd examination

予習・復習内容

講義の中で配布する演習問題を使用して毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容について教科書を参考に予習してくることが求められる。

関連科目

他の構造系の全科目に関連する。
All of the structural classes

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	建築構造力学演習教科書			**ISBN**	4395007503
	著者名	谷資信，寺田貞一，井口道雄，永坂具也	**出版社**	彰国社	**出版年**	2005
参考書 2	**書名**	Fundamentals of Structural Analysis			**ISBN**	978-0471355564
	著者名	Harry H. West	**出版社**	John Wiley & Sons	**出版年**	2002
参考書 3	**書名**	Schaum's Outline of Engineering Mechanics: Statics			**ISBN**	978-0071632379
	著者名	E. Nelson , Charles Best, William McLean , Merle Potter	**出版社**	McGraw-Hill Professional	**出版年**	2005
参考書 4	**書名**	Schaum's Outline of Engineering Mechanics: Dynamics			**ISBN**	978-0071713603
	著者名	E. Nelson, Charles Best, W.G. McLean, Merle Potter	**出版社**	McGraw-Hill Professional	**出版年**	2010

参考書に関する補足事項

達成目標
（1）静定構造物の反力が計算できる。
（2）静定トラス構造の応力解析ができる。
（3）静定梁と静定ラーメンの応力解析ができる。
（4）単純な不静定ラーメンの逆解析ができる。
(1)Ability of calculation of reactions for statically determinate structures.
(2)Ability of calculation of bar forces for statically determinate truss structures.
(3)Ability of calculation of member forces for statically determinate beam and frame structures.
(4)Ability of inverse analysis for simple statically indeterminate structures.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
【成績の評価法】
原則として中間・期末試験結果を基に成績を評価する.
【評価基準】
中間・期末試験，それぞれ 60 点以上を獲得したものを最終評価の対象とする.
上記達成目標の達成度に対して，
S：達成目標をすべて達成しており，かつテストの評価点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテストの評価点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテストの評価点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテストの評価点（100 点満点）が 60 点以上
評価点は中間試験と定期試験の各結果（各 100 点満点）を相加平均した点数とする.
[Evaluation basis]
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
教員室：D-804
電話番号：0532-44-6845
E メール：y-matsum@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.st.ace.tut.ac.jp/
http://sel.ace.tut.ac.jp/y-matsum/

オフィスアワー
事前にメール等で時間調整を行い，随時対応する．（松本幸大）
It will be scheduled by email.

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
（D5）建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
（D2）土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける
関連のある項目
（D1）社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎力を身につける

建築・都市システム学課程
（D）【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
特に関連がある項目
(D5)建築に必要な構造、材料及び施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識を身につけている。
（D）【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
関連がある項目
(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力及び力学を主体とする物理学の基礎力を身につけている。
特に関連がある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Particularly-relevant item
(D5) Have specialized knowledge about structures, materials and construction required for architecture; and comprehensive expertise to consistently understand various stages from fundamental surveys and building construction methods toconstruction works, aiming at realizing a construction
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Relevant item
(D1) Have mathematical ability and basic physical skills, mainly mechanics, which are required to learn infrastructure engineering
Particularly-relevant item
(D2) Have fundamental knowledge of infrastructure engineering through taking basic courses relating to civil engineering.

キーワード
反力，静定トラス，静定梁，静定ラーメン，逆解析

(B15510180)構造力学Ⅱ[Structural Mechanics 2]

科目名[英文名]	構造力学Ⅱ[Structural Mechanics 2]				
時間割番号	B15510180	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	齊藤　大樹, 松本　幸大 SAITOH Taiki, MATSUMOTO Yukihiro				
ナンバリング	ARC_BAC22112				

授業の目標

「構造力学Ⅰ」「構造材料力学」で学習した内容（材料力学初歩，静定骨組の解法）をさらに高度な分野に発展させる．ここでは，静定構造（架構）の変形計算および不静定構造の解法の初歩を学習することを目的としている．そして「構造解析・構造設計」の理論と演習の段階へ進む．

This lecture develop an ability of structural mechanics which previously learned on Structural Mechanics 1 and Structural Materials and Mechanics. The purposes of lecture are to acquire ability of calculation method of deflection for statically determinate structures, analysis for simple statically indeterminate structures.

Furthermore, that ability will be developed to the theory and applications of structural analysis and structural design.

授業の内容

後期1：静定構造（トラス・ラーメン）の変形計算と不静定構造の解法（応力法）

第1週　静定トラスの解法（講義）
第2週　静定トラスの解法（演習）
第3週　静定ラーメンの解法（講義）
第4週　静定ラーメンの解法（演習）
第5週　不静定構造の解法（講義）
第6週　不静定構造の解法（講義）
第7週　不静定構造の解法（演習）

後期2：不静定構造の解法（変位法）

第1週　たわみ角法の基礎（講義）
第2週　たわみ角法：節点移動がない場合の解法（講義）
第3週　たわみ角法：節点移動がない場合の解法（演習）
第4週　たわみ角法：節点移動がある場合の解法（講義）
第5週　たわみ角法：節点移動がある場合の解法（演習）
第6週　固定モーメント法（講義）
第7週　固定モーメント法（演習）

Deflection of statically determinate truss and frame structures and analysis of statically indeterminate structures.

1; Deflection of statically determinate truss structure(instruction)
2; Deflection of statically determinate truss structure(instruction and practice)
3; Deflection of statically determinate frame structure(instruction)
4; Deflection of statically determinate frame structure(instruction and practice)
5; Analysis of statically indeterminate frame structure(instruction)
6; Analysis of statically indeterminate frame structure(instruction)
7; Analysis of statically indeterminate frame structure(practice)
8; Suggested problems, 1st examination

後期2：不静定構造の解法（変位法）

第1週　たわみ角法の基礎（講義）
第2週　たわみ角法：節点移動がない場合の解法（講義）
第3週　たわみ角法：節点移動がない場合の解法（演習）
第4週　たわみ角法：節点移動がある場合の解法（講義）
第5週　たわみ角法：節点移動がある場合の解法（演習）
第6週　固定モーメント法（講義）
第7週　固定モーメント法（演習）

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと．

関連科目

構造力学Ⅰ，構造材料力学
All of structural classes

教科書に関する補足事項

英語教科書(Fundamentals of Structural Analysis, Harry H. West 著, John Wiley & Sons 出版, 2002)を貸し出して実施する。
Textbook "Fundamentals of Structural Analysis" will be leased.

参考書 1	**書名**	Schaum's Outline of Engineering Mechanics: Statics			**ISBN**	978-0071632379
	著者名	E. Nelson , Charles Best, William McLean , Merle Potter	**出版社**	McGraw-Hill Professional	**出版年**	2010
参考書 2	**書名**	Schaum's Outline of Engineering Mechanics: Dynamics			**ISBN**	978-0071713603
	著者名	E. Nelson, Charles Best, W.G. McLean, Merle Potter	**出版社**	McGraw-Hill Professional	**出版年**	2010
参考書 3	**書名**	建築構造力学演習教科書			**ISBN**	4395007503
	著者名	谷資信, 寺田貞一, 井口道雄, 永坂具也	**出版社**	彰国社	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項

達成目標
静定構造(架構)の変形計算および不静定構造の解析ができる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
【成績の評価法】
原則として中間・期末試験結果を基に成績を評価する.
【評価基準】
中間・期末試験, それぞれ 60 点以上を獲得したものを最終評価の対象とする.
上記達成目標の達成度に対して,
S:達成目標をすべて達成しており, かつテストの評価点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており, かつテストの評価点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており, かつテストの評価点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており, かつテストの評価点(100 点満点)が 60 点以上
評価点は中間試験と定期試験の各結果(各 100 点満点)を相加平均した点数とする.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
事前にメール等で時間調整を行い, 随時対応する. (齊藤大樹、松本幸大)

学習・教育到達目標との対応

建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
(D)【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
(D5)建築に必要な構造、材料及び施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識を身につけている。
特に関連がある項目
(D)【社会基盤コース】技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力及び力学を主体とする物理学の基礎力を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

(D5) Have specialized knowledge about structures, materials and construction required for architecture; and comprehensive expertise to consistently understand various stages from fundamental surveys and building construction methods toconstruction works, aiming at realizing a construction
Particularly-relevant item
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D1) Have mathematical ability and basic physical skills, mainly mechanics, which are required to learn infrastructure engineering

キーワード

(B15510190)構造材料力学[Structural Materials and Mechanics]

科目名[英文名]	構造材料力学[Structural Materials and Mechanics]				
時間割番号	B15510190	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	中澤　祥二, 松井　智哉 NAKAZAWA Shoji, MATSUI Tomoya				
ナンバリング	ARC_BAC22112				

授業の目標

断面定数、応力・ひずみなどの材料力学の基礎について学習することを目的とする.
静定構造（梁）の変形計算を学習することを目的とする.
The objectives of this course are as follows
- Learn cross-sectional constant, stress, strain, basis of structural materials and mechanics
- Learn calculation method of deflection of statically determinate structure (beam).

授業の内容

前期1：断面定数、応力・ひずみなどの材料力学の基礎に関する学習（担当：中澤）
第1週　応力とひずみ（講義・演習）
第2週　断面1次モーメントと図心（講義・演習）
第3週　断面2次モーメントと断面係数（講義・演習）
第4週　梁の曲げ応力度（講義）
第5週　梁の曲げ応力度（演習）
第6週　梁のせん断応力度（講義・演習）
第7週　座屈現象（講義・演習）
第8週　定期試験

前期2：静定構造（梁）の変形計算（担当：松井）
第1週　弾性曲線法（講義）
第2週　弾性曲線法（演習）
第3週　モールの定理（講義・演習）
第4週　カステリアーノの定理（講義）
第5週　カステリアーノの定理（演習）
第6週　仮想仕事法（講義）
第7週　仮想仕事法（演習）
第8週　定期試験

Spring 1:cross-sectional constant, stress, strain, basis of structural materials and mechanics(Instructor:Nakazawa)
1st week, stress and strain (Lecture & Practice)
2nd week, statical moment of area and centroid (Lecture & Practice)
3rd week, second moment of area (Lecture and practice)
4th week, bending stress of beams (Lecture)
5th week, bending stress of beams (Practice)
6th week, shear stress of beams (Lecture and practice)
7th week, buckling of columns (Lecture and practice)
8th week, practice

Spring 2: Deflection of statically determinate structures (beam),(Instructor:Matsui)
1st week, Direct integration method (Lecture)
2nd week, Direct integration method (Practice)
3rd week, Mohr's theorem (Lecture and practice)
4th week, Castigliano's theorem (Lecture)
5th week, Castigliano's theorem (Practice)
6th week, Virtual work method (Lecture)
7th week, Virtual work method (Practice)
8th week, Final exam

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

構造力学 I

Structural Mechanics 1

教科書に関する補足事項

Fundamentals of Structural Analysis

Fundamentals of Structural Analysis

参考書 1	**書名**	建築構造力学演習・教科書			**ISBN**	
	著者名	谷資信監修、谷資信、井口道雄、寺田貞一、永坂具也著	**出版社**	彰国社	**出版年**	
参考書 2	**書名**	Fundamentals of Structural Analysis			**ISBN**	978-0471355564
	著者名	Harry H. West	**出版社**	Wiley	**出版年**	2002

参考書に関する補足事項

達成目標

断面定数、応力・ひずみ、柱の座屈などの材料力学について基礎的な知識を習得する.

静定構造（梁）の変形計算を習得する.

- Understand cross-sectional constant, stress, strain
- Understand calculation method of deflection of statically determinate structures (beam)

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：原則的にすべての講義に出席し、課題（レポート）等を提出したものにつき、下記のように成績を評価する。中間試験と期末試験の成績から評価を行う。

評価基準：中間試験と期末試験の評価がそれぞれ 60 点以上であるものを最終評価の対象とする。中間試験と期末試験の平均点を評価点とし、上記の達成目標の達成度に対して、評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする。90 点以上を S、80 点以上 90 点未満を A、70 点以上 80 点未満を B、70 点未満を C とする。

Assessment:

Grade is given as follows essentially for students who attend all classes and submit assignments.

Grading:

Grade is given for students who gain the score 60 or higher points in midterm exam and final exam respectively.

The grading is calculated by using average of midterm exam and final exam.

S: exam, 90 or higher (out of 100 points)

A: exam, 80 or higher (out of 100 points)

B: exam, 70 or higher (out of 100 points)

C: exam, 60 or higher (out of 100 points)

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

nakazawa@ace.tut.ac.jp（中澤　D 棟 8F：D-816 号室）

matsui@ace.tut.ac.jp（松井　D 棟 8F：D-807 号室）

nakazawa@ace.tut.ac.jp（Nakazawa：room D-816）

matsui@ace.tut.ac.jp（Matsui：room D-807）

ウェルカムページ

http://www.st.ace.tut.ac.jp/~nakazawa/ （中澤）

http://www.rc.ace.tut.ac.jp/matsui/index.html （松井）

http://www.st.ace.tut.ac.jp/~nakazawa/ （Nakazawa）

http://www.rc.ace.tut.ac.jp/matsui/index.html（Matsui）

オフィスアワー

中澤：月曜日 14:30～16:00

松井：水曜日 15:00～17:30

Nakazawa：Mon, 14:30～16:00

Matsui:Wed, 15:00～17:30

学習・教育到達目標との対応

構造材料力学

【建築コース】

特に関連のある項目

(D5)建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】

特に関連のある項目

(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

関連のある項目

(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎力を身につける

キーワード

材料力学

Material mechanics

(B15510200)基礎地盤力学[Fundamental Geomechanics]

科目名[英文名]	基礎地盤力学[Fundamental Geomechanics]				
時間割番号	B15510200	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	松田　達也 MATSUDA Tatsuya				
ナンバリング	ARC_BAC22710				

授業の目標

土の分類，物理的性質，透水性，圧縮性，せん断強度など，地盤力学の基本的な事項について学習する。地盤や土構造物内の地下水浸透量や地盤中の応力，地盤の圧密沈下量などの計算方法について，その概略と基本的な計算方法を学習する。社会基盤，建築の両分野において構造物を設計する上での重要な地盤や土構造物の安定性についても基本的な事項を学習する。

Learn basic subjects of geomechanics: classification of soils, physical properties of soils, permeability of soils, compressibility of soils, shear strength of soils. Learn the calculation method of permeability of groundwater through ground and soil structure, stress in ground, consolidation of ground.

Learn basic and important items necessary for the design of structures in the field of civil engineering and architecture.

授業の内容

第　1週　ガイダンス，地盤力学の概論
第　2週　土の成り立ちと地盤
第　3週　土の物理的性質
第　4週　土の工学的分類
第　5週　土の透水（1）
第　6週　土の透水（2）
第　7週　全応力，有効応力，間隙水圧
第　8週　中間試験
第　9週　地盤中の応力
第10週　土の圧密（1）
第11週　土の圧密（2）
第12週　土のせん断（1）
第13週　土のせん断（2）
第14週　支持力（1）
第15週　支持力（2）
第16週　期末試験

1st week, Introductory guidance, outline of geomechanics
2nd week, Production of soils and formation of ground
3rd week, Physical properties of soils
4th week, Engineering classification of soils
5th week, Permeability of soils (1)
6th week, Permeability of soils (2)
7th week, Total stress, effective stress and pore water pressure
8th week, Midterm examination.
9th week, Stress in ground
10th week, Consolidation of ground (1)
11th week, Consolidation of ground (2)
12th week, Shearing of soils (1)
13th week, Shearing of soils (2)
14th week, Bearing capacity of ground (1)
15th week, Bearing capacity of ground (2)
16th week, term-end examination.

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目

数学，基礎地盤力学，地盤力学，地盤工学，地盤地震工学，構造力学，構造実験

mathematics, fundamental geomechanics, geomechanics, geotechnical engineering, geotechnical earthquake engineering, structural mechanics, structural experiment

教科書に関する補足事項

教科書：特に無し．講義資料は授業中に配布する．

No specific textbook is used.
The resume or related handouts are distributed as occasion demands.

参考書に関する補足事項

達成目標

土および地盤の物理的・力学的性質とせん断強度特性を理解し，下記の項目について，簡単な問題を解く能力を身に着けることを目標とする。

・土の分類
・土の透水性
・土の密度，重量および地盤中の全応力と有効応力
・土の圧縮性と地盤の圧密現象
・土のせん断強度
・土の支持力

Understand the fundamental properties of soils and ground: physical-mechanical properties, and shear strength characteristics.
Obtain the ability to solve the basic exercise problems following;
- classification of soils
- permeability of soils
- density and weight of soils, and total and effective stresses
- compressibility of soils and consolidation of ground
- shear strength characteristics
- bearing capacity of ground

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

＜評価方法・評価基準＞
試験（90%），レポート（10%）を総合的に評価する．
原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する．
S：評価点（100 点満点）が 90 点以上
A：評価点（100 点満点）が 80 点以上
B：評価点（100 点満点）が 70 点以上
C：評価点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
[Evaluation method and basis]
Evaluation is based on total points (out of 100 points) of examinations (90%) and reports (10%).
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of evaluation, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of evaluation, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of evaluation, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of evaluation, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

＜評価方法・評価基準＞
試験（90%），レポート（10%）を総合的に評価する．
原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する．
S：評価点（100 点満点）が 90 点以上
A：評価点（100 点満点）が 80 点以上
B：評価点（100 点満点）が 70 点以上
C：評価点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
[Evaluation method and basis]
Evaluation is based on total points (out of 100 points) of examinations (90%) and reports (10%).
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Obtained total points of evaluation, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of evaluation, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of evaluation, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of evaluation, 60 or higher (out of 100 points).

その他

教員室：D-808
電話番号：0532-44-6849
E メール：t.matsuda@ace.tut.ac.jp

Room Number：D-808
Tel.：0532-44-6849
e-mail：t.matsuda@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.geomech.ace.tut.ac.jp/
http://www.geomech.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー

随時；事前にメールで連絡することが望ましい
anytime; advanced contact by e-mail is required.

学習・教育到達目標との対応

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける
関連のある項目
(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎力を身につける

【建築コース】
特に関連のある項目
(D5)建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

(Civil and Environmental Engineering Course)
[Particularly-relavant item]
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering
[Relavant item]
(D1) Acquiring the fundamental ability in mathematics and physics necessary to be proficient in civil engineering

(Architecture and Building Science Course)
[Particularly-relavant item]
(D5) Technical knowledge on architectural structure, building material, building construction; overall expertise in grasping the integration of fundamental research, building construction methods and construction execution toward completion of a building

キーワード

土質力学，土の分類，土の透水性，土の圧縮性，土のせん断強さ，地盤沈下，土圧
soil mechanics, classification of soils, permeability of soils, compressibility of soils, shear strength of soils, settlement of ground, earth pressure

(B15510210)基礎水理学[Basic Hydraulics for Civil Engineering]

科目名[英文名]	基礎水理学[Basic Hydraulics for Civil Engineering]				
時間割番号	B15510210	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B1
担当教員[ローマ字表記]	加藤　茂 KATO Shigeru				
ナンバリング	ARC_BAC14310				

授業の目標

水理学に関する基礎知識を理解し，水理学分野における基礎式や基本法則・定理等について学習する.

The objective of this subject is to understand the fundamental knowledge related to hydraulics, and to learn basic equations, fundamental laws and theorems on hydraulics.

授業の内容

1. イントロダクション，水の性質
2. 静水力学：静水圧(1)
3. 静水力学：静水圧(2)
4. 静水力学：静水圧(3)
5. 静水力学：浮体，浮力
6. 完全流体とその基礎方程式(1)
7. 完全流体とその基礎方程式(2)
8. 静止流体の力学，変形と回転
9. 速度ポテンシャルと流れ関数
10. 流れの解析(1)
11. 流れの解析(2)
12. 流れ種類
13. 管路流れの解析
14. 相似則
15. まとめ，演習
16. 期末試験

1st week, Introduction, property of water
2nd week, Hydrostatics : Hydrostatic pressure (1)
3rd week, Hydrostatics : Hydrostatic pressure (2)
4th week, Hydrostatics : Hydrostatic pressure (3)
5th week, Hydrostatics : Floating body, buoyancy
6th week, Perfect fluid and its governing equations (1)
7th week, Perfect fluid and its governing equations (2)
8th week, Dynamics of steady fluid, transformation and rotation
9th week, Velocity potential and stream function
10th week, Flow analysis (1)
11th week, Flow analysis (2)
12th week, Type of flow
13th week, Analysis of pipe flow
14th week, Similarity law
15th week, Summary and exercise
16th week, Term-end examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目

環境物理学，水工学演習，流れと波の力学，水圏環境防災学

Environmental physics, Hydraulic Engineering Exercise, Mechanics for Flow and Wave, Environment and Disaster Prevention in Hydrosphere

教科書 1	**書名**	図説わかる水理学			**ISBN**	
	著者名	井上和也 編	**出版社**	学芸出版社	**出版年**	

教科書に関する補足事項
適宜，資料を配布する.
The resume or related handouts are distributed as occasion demands.

参考書 1	**書名**	Fluid Mechanics and Hydraulics, 4th Edition (Schaum's Outlines)			**ISBN**	9780071831451
	著者名		**出版社**	McGraw-Hill Education	**出版年**	
参考書 2	**書名**	Practical Hydraulics, 2nd Edition			**ISBN**	9780415351140
	著者名	Melvyn Kay	**出版社**	Taylor & Francis Group	**出版年**	2008

参考書に関する補足事項

達成目標
(1) 水の性質や静水力学，流れの特性，相似則など水理学の基礎となる知識を習得する.
(2) それらに関する基本法則や基礎方程式を理解する.
(3) 水理学に関する問題解決能力の基礎を養う.

(1) Acquiring fundamental knowledge on hydraulics, such as property of water, hydrostatics, characteristics of flow and law of similarity
(2) Understanding fundamental laws and governing equations on hydraulics
(3) Cultivating fundamentals of ability to solve hydraulic problems

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
（評価方法）
原則的にすべての講義に出席し，課題（レポート）を提出したものにつき，下記のように成績を評価する.
4 回以上欠席した場合には単位を認めない.
期末試験（80%），レポート（20%）を総合的に評価する.

（評価基準）
上記達成目標の達成度について評価し，評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする.
90 点以上を S，80 点以上 90 点未満を A，70 点以上 80 点未満を B，60 点以上 70 点未満を C とする.
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する.

Students are required to attend essentially all classes, and to submit all assignments for evaluation.
More than four classes of absence are not allowed for evaluation.
Evaluation is based on total points (out of 100 points) of examination (80%) and assignments (20%).

Grade, S: 90 or higher, A: 80 or higher to lower than 90, B: 70 or higher to lower than 80, C: 60 or higher to lower than 70.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
加藤： D-812，6853，s-kato@ace.tut.ac.jp
S. Kato: D-812, 6853, s-kato@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
加藤： http://www.umi.ace.tut.ac.jp/
S. Kato: http://www.umi.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
加藤： 随時対応する．ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること.
S. Kato: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
（C）技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
（D5）建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける
関連のある項目
(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎力を身につける

(Civil and Environmental Engineering Course)
[Particularly-relavant item]
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering
[Relavant item]
(D1) Acquiring the fundamental ability in mathematics and physics necessary to be proficient in civil engineering

(Architecture and Building Science Course)
[Relavant item]
(C) (Architecture and Building Science Course) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
(D5) Technical knowledge on architectural structure, building material, building construction; overall expertise in grasping the integration of fundamental research, building construction methods and construction execution toward completion of a building

キーワード
水理学，静水圧，流れの解析，相似則
hydraulics, hydrostatic pressure, analysis of flow, similarity law

(B15510220)水環境工学基礎[Water Environmental Engineering]

科目名[英文名]	水環境工学基礎[Water Environmental Engineering]				
時間割番号	B15510220	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	井上　隆信, 横田　久里子 INOUE Takanobu, YOKOTA Kuriko				
ナンバリング	ARC_BAC24410				

授業の目標

都市における水環境の管理手法の基礎を学習するとともに，水の代謝(出入り)システムである上水道と下水道の仕組みを学習し，水環境，上水道，下水道施設の基礎と処理プロセスにおける反応原理を習得する.

To know and understand the water quality change in environment and treatment system.
To know and understand drinking water treatment and waste water treatment

授業の内容

各週の講義内容は下記の通りである.
第　1週　水文と水利用
第　2週　水質の化学
第　3週　微生物による反応
第　4週　水質の指標
第　5週　各種水質基準
第　6週　水環境の生態と環境問題
第　7週　水環境管理の法規制
第　8週　中間試験
第　9週　上水道の計画
第10週　上水道施設
第11週　浄水処理プロセス（1）凝集・沈殿
第12週　浄水処理プロセス（2）ろ過・消毒
第13週　下水道の計画、排除施設
第14週　下水処理プロセス
第15週　高度処理、汚泥処理

1st week　hydrological cycle
2nd week　chemistry of waters
3rd week　action of microorganism
4th week　Indicators of water quality
5th week　Water quality standard
6th week　radioactive material
7th week　from the Basic Law for Environmental Pollution Control to the Environmnetal Basic Law
8th week　summary: 45 min., examination: 45 min
9th week　water supply plan
10th week　water supply facilities
11th week　water purifyng treatment process(1)coagulation settling
12th week　water purifyng treatment process(2) filtering and sterilizing water
13th week　sewer plan
14th week　sewage treatment process
15th week　advanced waste water teratment method and sludge teratment method

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

化学、水環境工学

Chemistry, Water Environmental Engineering

教科書 1	**書名**	水環境工学（改訂 3 版）			**ISBN**	978-4-274-21525-4
	著者名	松尾友矩	**出版社**	オーム社	**出版年**	平成 26

教科書に関する補足事項
教科書：松尾友矩編,「水環境工学」, オーム社
参考書: 随時プリントを配布する.

参考書に関する補足事項

達成目標
現代の社会が要請する水環境問題に関して、幅広い基礎的事項を理解することを目標とする。
水環境管理の基礎となる, 水環境中の反応, 水質指標について理解するとともに,
上・下水道プロセスの概要, 現在の問題点や新しい技術、都市内水循環の中での上・下水道の重要性を理解することを目標とする。特に、都市内外の水環境保全との関連を理解することを目標とする。

To know and understand the water quality change in environment and treatment system.
To know and understand drinking water treatment and waste water treatment

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
上記達成目標の達成度に対して、評価点(100 点満点)が 60 点以上を合格とする。なお、中間試験(50%)、学期末試験(50%)として、評価する。

Evaluation is based primarily on a final examination (100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.wq.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
井上：毎週水曜日１２時３０分～１３時１０分, その他の時間も随時対応. ただし, 事前にメール等で時間調整することが望ましい.
横田：毎週火曜日１２時～１３時
Inoue: Wednesday, 12:30 - 13:10, or at any time (It is desirable to contact Kato about visit time by e-mail in advance.)
Yokota: Monday, 10:00-12:00

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
（D1）適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
（D5）建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
（D2）土木工学分野の基礎科目を学習することで, 社会基盤工学の基礎知識を身につける

関連がある項目
(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画及び建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力を身につけている。
(D5)建築に必要な構造、材料及び施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識を身につけている。
特に関連がある項目
(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力及び力学を主体とする物理学の基礎力を身につけている。
特に関連がある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につけている。
特に関連がある項目
関連がある項目

(D5)社会基盤工学に関する課題に対して、複数のメンバーで構成されたチームで取り組み、チームとして課題を達成することのできる実践的創造的技術者としての素養を身につけている。
関連がある項目

Relevant item
(D1) Have appropriate spatial awareness skills; and specialized knowledge about architectural planning, architectural design and other facets of design which can properly meet aesthetic and technical demands; and the skills to apply them
(D5) Have specialized knowledge about structures, materials and construction required for architecture; and comprehensive expertise to consistently understand various stages from fundamental surveys and building construction methods toconstruction works, aiming at realizing a construction
Particularly-relevant item
(D1) Have mathematical ability and basic physical skills, mainly mechanics, which are required to learn infrastructure engineering
Particularly-relevant item
(D2) Have fundamental knowledge of infrastructure engineering through taking basic courses relating to civil engineering.
Particularly-relevant item
Relevant item
(D5) Have grounding as practical and creative engineers, who can work on problems relating to infrastructure engineering and attain goals with other team members
Relevant item

キーワード

(B15510230)建築環境学概論[Introduction to Building Environment]

科目名[英文名]	建築環境学概論[Introduction to Building Environment]				
時間割番号	B15510230	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	都築　和代 TSUZUKI Kazuyo				
ナンバリング	ARC_BAC24112				

授業の目標

建築と人間および日照・日射・気温等の外部環境との関わりを理解し，熱・空気・音・光環境と人間の感覚・生理との関係および室内環境の制御に係わる基礎理論・手法を習得することを目標とする。

This course deals with the relationships among building, people and outdoor environments such as daylighting, solar radiation, outdoor temperature and so on. It also enhances the relationships between indoor environments such as heat, air, sound and lighting and human perception and physiological response, and the basic theories and methods for controlling indoor environment.

授業の内容

各週の講義内容は下記の通りである。
第1週：Introduction
第2週：建築と気候
第3週：室内熱環境に関する基礎（1）
第4週：室内熱環境に関する基礎（2）
第5週：室内熱環境に関する基礎（3）
第6週：湿気環境に関する基礎
第7週：室内空気環境に関する基礎（1）
第8週：室内空気環境に関する基礎（2）
第9週：室内空気環境に関する基礎（3）
第 10 週：室内音響の基礎
第 11 週：騒音制御の基礎
第 12 週：採光・照明・色彩環境に関する基礎（1）
第 13 週：採光・照明・色彩環境に関する基礎（2）
第 14 週：室内環境制御技術の概要
第 15 週：都市と環境
第 16 週：期末試験

The contents are as follows:
1st week, Introduction
2nd week, building and climate
3rd week, Basis on indoor thermal environment (1)
4th week, Basis on indoor thermal environment (2)
5th week, Basis on indoor thermal environment (3)
6th week, Basis on humid environment
7th week, Basis on indoor air environment (1)
8th week, Basis on indoor air environment (2)
9th week, Basis on indoor air environment (3)
10th week, Basis on acoustic environment
11th week, Basis on noise control
12th week, Basis on lighting, illumination and color environments (1)
13th week, Basis on lighting, illumination and color environments (2)
14th week, Overview of control strategies of indoor environment
15th week, Cities and the environment
16th week, Term-end examination

予習・復習内容

講義中に出てきた専門用語やキーワード等で理解が不十分な事項に対しては，オフィスアワーを利用した質疑や参考書等で調べて理解を深めること。

From using office hour and reference books, learn more about technical terms, keywords and so on appeared in the related subjects.

関連科目

建築環境工学Ⅰ, 建築環境工学Ⅱ, 建築環境工学Ⅲ, 建築環境設備学, 環境実験

Building Environmental Engineering Ⅰ, Building Environmental Engineering Ⅱ, Building Environmental Engineering Ⅲ, Building Services, Experimental Practice of Environmental Engineering

教科書 1	**書名**	最新建築環境工学			**ISBN**	978-4-7530-1742-3
	著者名	田中俊六, 武田仁, 岩田利枝, 土屋喬雄, 寺尾道仁 共著,	**出版社**	井上書院	**出版年**	

教科書に関する補足事項

その他:適宜, 関連資料のコピーを配布

Hand-outs related to this course will be distributed.

参考書 1	**書名**	初学者の建築講座 建築環境工学			**ISBN**	
	著者名	倉淵 隆	**出版社**	市ヶ谷出版社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

建築と人間および外部環境との関わりを認識し, 室内における熱・空気・音・光などの物理的環境の予測・制御・評価法の基礎的な理論・手法を理解できる。

Students learn the relationships among building, people and outdoor environments, and understand the basic theories and methods for predicting, controlling and evaluating indoor thermal, air, acoustic and lighting environments.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価法:原則的にすべての講義に出席し,課題(レポートを含む)を提出し, 期末試験を受けたものにつき, 下記のように成績を評価する。課題レポート等の内容(30%)および定期試験の成績(70%)を合計(100 点満点)する。

評価基準:合計点が 60 点以上とったものを合格とする。上記達成目標の達成度に対して, 評価点が 90 点以上を S, 80 点以上を A,70 点以上を B,60 点以上を C とする。

Students are required to attend essentially all classes, to submit all assignments for evaluation, and to take the term-end examination. The following grades will be evaluated.
-Reports: 30%
-Term-end examination: 70%

Students who obtaine totally more than 60 points are passed. Based on the above level of achievement for the course objectives, the following grades will be evaluated.
S: 90 or higher (out of 100 points)
A: 80 or higher to lower than 90 (out of 100 points)
B: 70 or higher to lower than 80 (out of 100 points)
C: 60 or higher to lower than 70 (out of 100 points)

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

都築和代: 教員室 D-711, 電話 6839, E メール ktsuzuki@ace.tut.ac.jp

K. Tsuzuki: D-711, 6839, ktsuzuki@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
木曜日　10:30～12:30

Thursday, 10:30-12:30

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D6)快適な生活環境を提供できる建築環境、建築設備に関する専門的知識

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

キーワード
室内環境，熱環境，空気環境，音環境，光環境，省エネルギー
Indoor environment, thermal environment, acoustic environment, lighting environment, energy saving

(B15530040)建築設計演習Ⅲ[Architectural Design Workshop 3]

科目名[英文名]	建築設計演習Ⅲ[Architectural Design Workshop 3]				
時間割番号	B15530040	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期	**曜日時限**	火 4～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	水谷　晃啓，鈴木　利明，黒野　有一郎 MIZUTANI Akihiro, SUZUKI Toshiaki, KURONO Yuichiro				
ナンバリング	ARC_BAC23120				

授業の目標

建設設計は，各分野の専門知識・技術を総合した空間創造であり，設計図は，建築・社会基盤の生産活動における情報手段として重要な役割を果たす。本授業は，建築，社会基盤分野の専門的技術を総合的に用いて，空間構築の表現手法を習得し，空間創造のための基礎能力を養う。本演習では、美術館、オフィスビルの課題設計を通して、建築施設の具体的設計方法を習得する。

Objectives of this class is to learn design skill and process through public architecture design, satisfying necessary conditions of these building usage. Additionally it is also important to design in team, considering the meaning of public and relation with surrounding environment.

授業の内容

1) 美術館の設計　課題説明
2)同上 2(エスキスチェック):敷地分析
3)同上 3(エスキスチェック):基本構想～先進事例分析
4)同上 4(エスキスチェック):同上
5)同上 5(エスキスチェック):展示室・パブリックスペース、管理部門、動線計画、平面図、断面図、配置図
6)同上 6(エスキスチェック):全体の平・立・断面図・配置図
7)パースの作成、模型製作
8)課題提出:講評
9) オフィスビルの設計　課題説明
10) 同上 2(エスキスチェック):敷地分析
11) 同上 3(エスキスチャック):基本構想～先進事例分析
12) 同上 4(エスキスチェック):レンタブルスペース、オープンスペース、動線計画、平面図、断面図、配置図
13) 同上 5(エスキスチェック):全体の平・立・断面図・配置図
14) パースの作成、模型製作
15) 課題提出:講評

なお、上記の内容は変更される場合がある。

contents are divided into two sections.
[an elementary school]
1st week: guidance about elementary school
2nd week: sketch check1---housing planning
3rh week: sketch check2---plan
4th week: sketch check3---plan, elevation, section
5th week: sketch check4---plan, elevation, section
6th week: sketch check5---plan, elevation, section
7th week: sketch check5---modeling
8th week: oral presentation

[redevelopment facility in central area of local city]
9th week: guidance about redevelopment project
10th week: sketch check1---total planning
11th week: sketch check2---plan
12th week: sketch check3---plan, elevation, section
13th week: sketch check4---plan, elevation, section
14th week: sketch check5---plan, elevation, section
15th week: sketch check5---modeling, perspective
16th week: oral presentation

these contents might be changed

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

図学　計画序論

教科書に関する補足事項

1）日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成」 丸善
2）宮後　浩著「初めての建築パース」 学芸出版社
上記の他に適宜プリント資料を配付する。

参考書に関する補足事項

達成目標

1）建築設計製図の基礎を学び，自ら設計図面を描くことができること。
2）基礎的な設計図面をみて，理解できること。
3）木造および鉄筋コンクリート造の基礎知識を理解していること。
4）設計エスキスの方法を正しく理解し，利用できること。
5）建築模型作成の方法を正しく理解し，自ら作成できること。
6）建築パース作成（透視図作成，着彩技法）を理解し，作成できること。

1. to be able to understand architectural planning and methodology of single public facility and multi public complex for students from 1st grade.
2. to be able to understand architectural planning and methodology of single public facility and multi public complex with higher skills for students from 3rd grade.
3. to be able to design with consistent motive from concept, total story to building form and room layouts.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

S：達成目標をすべて達成しており，かつ設計課題の評価点が（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつ設計課題の評価点が（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつ設計課題の評価点が（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつ設計課題の評価点が（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。

なお、最終成績にあたっての各課題の配分は、2 つの設計課題が各々50%とする。

Evaluation is based primarily on two workshop outcomes (100 points) with the same distribution.
S: Total points of design studio, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of design studio, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of design studio, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of design studio, 60 or higher (out of 100 points).

note for JABEE
[architecture course]D1, E are evaluated with two workshop outcomes.
[civil engineering]D3 is evaluated with two workshop outcomes.

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
（D1）適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力

関連のある項目
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

特に関連がある項目
(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画及び建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力を身につけている。
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力及び力学を主体とする物理学の基礎力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Particularly-relevant item
(D1) Have appropriate spatial awareness skills; and specialized knowledge about architectural planning, architectural design and other facets of design which can properly meet aesthetic and technical demands; and the skills to apply them
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Particularly-relevant item
(D1) Have mathematical ability and basic physical skills, mainly mechanics, which are required to learn infrastructure engineering
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
建築設計　美術館　オフィスビス　ポケットパーク

(B15530050)計画序論[Introduction to Regional Planning]

科目名[英文名]	計画序論[Introduction to Regional Planning]				
時間割番号	B15530050	**区分**	建築・都市専門Ⅰ	**選択必須**	選択
開講学期	後期2	**曜日時限**	金 2～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B2
担当教員[ローマ字表記]	水谷　晃啓 MIZUTANI Akihiro				
ナンバリング	ARC_BAC23220				

授業の目標

オランダの著名な建築家ヘルマン・ヘルツベルハーによる、デルフト工科大学での 1973 からの講義をまとめた書籍をつかいます。写真・図版を用いて、人の行動と建築空間の関係をとらえます。

Fundamentally, The field focused on the functionality and the relationship between people's activities and spaces.

Herman Hertzberger is one of most famous architects all over the world. His theory is related to spaces and human activities deeply. I would like to show the interesting and international usage of spaces.

授業の内容

1　ガイダンス 「建築計画、計画序論ってなに？」
2　パブリックとプライベート
3　領域の要求、差異、領域
4　公共の空間における私的な要求
5　私的空間への一般の人の近づきやすさ
6　空間をつくること、つくり込み過ぎないで残しておくこと
7　ストラクチュアと解析
8　グリダイアン、ビルディング・オーダー、機能性
9　柔軟性、多義性
10　形態と利用者　形態としての空間
11　気をそそるもの
12　心を誘う形態、場とアーティキュレーション
13　視界 II、視界 III
14　両義性
15　復習

1　Guidance
2　Public and Private
3　Territorial claims, Differentiation, Zorning
4　From user to dweller, the 'in-between', public works concept
5　Street, public domain, public accessibility of Private spaces
6　Making spaces, leaving spaces
7　structure and interpretation, form
8　Gridiron, building order, Functionality
9　Flexibility
10　Form and Users, making space, leaving space
11　incentives
12　Inviting form, place and articulation, view
13　view 2, view 3
14　equivalence
15　Summary

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに, 次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

公共建築物の設計の基本的な考え方を理解すること

Master the basic theory for designing planning of public buildings.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法

定期試験 100%　左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する。
[Evaluation method] Final examination(100%)
[Evaluation basis] Total evaluation will be judged as follows:
S: Total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画及び建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D4)建築法規や積算、建築産業に関わる包括的な専門的知識及び社会的役割や社会的責任との関係を理解できる展開能力を身につけている。
関連がある項目
(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力及び力学を主体とする物理学の基礎力を身につけている。
特に関連がある項目
(D4)社会基盤工学に関する実務上の問題を理解し、制約条件の下で適切に対応できるマネジメント力を有する実践的技術者としての素養を身につけている。
関連がある項目

(D1) Have appropriate spatial awareness skills; and specialized knowledge about architectural planning, architectural design and other facets of design which can properly meet aesthetic and technical demands; and the skills to apply them
Particularly-relevant item
(D4) Have comprehensive expertise concerning building regulations, building surveys and the building industry; and deployment skills to understand the relationship with social functions and social responsibilities
Relevant item
(D1) Have mathematical ability and basic physical skills, mainly mechanics, which are required to learn infrastructure engineering
Particularly-relevant item
(D4) Have grounding as practical engineers with management skills to understand practical problems concerning infrastructure engineering and to properly respond under constraints
Relevant item

キーワード
建築計画、空間構成、人間の生活、文化、行動　Architectural Planning、space composition、Human life, Culture, Behavior and Activities, function
Architectural Planning、space composition、Human life, Culture, Behavior and Activities, function

(B15530060)造形演習[Plastic Arts]

科目名[英文名]	造形演習[Plastic Arts]				
時間割番号	B15530060	区分	建築・都市専門Ⅰ	選択必須	選択
開講学期	後期	曜日時限	金 4～4	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	2～
開講学科	建築・都市システム学課程			開講年次	B2
担当教員[ローマ字表記]	村田　千秋 MURATA Chiaki				
ナンバリング	ARC_BAC25120				

授業の目標

空間と物体の造形的構造を理解し、3 次元と2次元との双方向に変換できる基礎的造形能力を養う。また、環境全体を対象視していくことで「場」を創出する表現方法を修得し、その表現内容を他者に伝達する能力(自己言及する能力)を身につける。

授業の内容

3次元物体の描写(立体の造形における構造把握)と、図像から3次元物体を立ち上げるドローイング実践を行なう。
1 回　授業内容の概要と目的 ～ 記憶にある形の描写と記録としてある*記号の描写を通して
+ 平面造形として 画面構成(点・線・面という要素と構造について)
第 2 回　遠近法 1 立方体・円柱・球体と地平線
第 3 回　遠近法 2 地平線と*消失点
第 4 回　造形の構造 1 オブジェクト(3 次元)の造形構造 3 次元から 2 次元へ
第 5 回　造形の構造 2 2 次元図像から 3 次元を立ち上げる実践
第 6 回　遠近法実践 1 空間とオブジェ　*ネガティヴスペースを射程に
第 7 回　遠近法実践 2 建物描写　建造物との関係　相互批評
　※テスト課題　空間に配置される複数のオブジェクトを、*2点透視法を用い空間把握のできているかを問う
課題テーマのもとに、オブジェクト(立体制作)と場との関係を考え*ヴァナキュラーを射程にいれた*インスタレーション制作を行なう。
また、その表現された内容をアーカイヴ(撮影とテキスト・画像のレイアウト)し、プレゼンテーションを行なう。
8～15 回「場における潜在する力」～場における*インスタレーション表現 (グループ制作)
1. 課題の把握と制作手順の理解　　2.*ゲニウス・ロキ(土地の記憶など)の理解と*場のリサーチ
3. 場におけるセッティングについて　4. セッティング制作
5. 場とオブジェクトの設営決定　　6. 現場撮影と編集
7. プレゼンシート作成　　8. プレゼンテーション　まとめ

予習・復習内容

・シラバスの授業内容に書かれてある*印(Key word)を掲載しておくので、語句などは事前に調べておく。
・イラストレーターとフォトショップの基本操作を各自復習すること。

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	現代思想の教科書			ISBN	448009279X
	著者名	石田英敬	出版社	ちくま学芸文庫	出版年	2010

参考書に関する補足事項

表現内容をテキスト化するための知の基盤として参考にする

達成目標

(1) 空間と物体の造形的構造を理解し、3 次元と2次元との双方向に変換できる基礎的造形能力を身につけることができる
(2) 環境全体を対象視し、場に潜在する力を表現するための様々な手法を知り、理解することができる
(3) 表現された内容を他者に伝達するための言語・図像の構成(プレゼーテンション技術)を身につけることができる

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎回の各課題 40%+最終課題 1. 30%+最終課 2. 30%(各課題の平均点が 60/100 点以上)の合計で、総合的に評価する。

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業後に疑問点などがあれば対応します。

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
関連のある項目
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画及び建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。

(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(D1) Have appropriate spatial awareness skills; and specialized knowledge about architectural planning, architectural design and other facets of design which can properly meet aesthetic and technical demands; and the skills to apply them
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills tosearch for, organize and solve problems in a creative way

キーワード

(B15610010)基礎力学[Fundamental Mechanics]

科目名[英文名]	基礎力学[Fundamental Mechanics]				
時間割番号	B15610010	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也 MIURA Kinya				
ナンバリング	ARC_BAC31112				

授業の目標

講義と演習を通じて，建設工学における力学の問題を理解し，解くことができる能力を養う。授業では，質点の運動，力と運動，剛体の運動を取り上げる。

Cultivate the ability to understand and solve basic problems for mechanics in construction engineering, through the lectures and exercises: Motion of mass point, Force and motion, and Motion of rigid body

授業の内容

00.ガイダンス / 授業の内容 01. 物理量の単位と次元
02. 運動の表し方 / 距離，変位，速度，加速度，等速運動，等加速度運動
03. 落体の運動 / 質点，自由落下，投げ上げ
04. 放物線運動 / 質点，平面運動，ベクトル，問題の最適化
中間試験1 // 質点の運動
05. 力のつり合い / 剛体，ケーブル，摩擦，浮力
06. 物体の安定 / 滑動，転倒，斜面，抗力，慣性力，摩擦力
07. 運動の法則 / 質点，運動の第2法則
08. 仕事と力学エネルギー / 質点，振子，ばね，摩擦
09. 運動量と力積 / 衝突，運動，エネルギー損失
中間試験2 // 力と運動
10. 等速円運動と遠心力 / 質点，曲率，角速度，角加速度
11. 単振動 / 振子，バネ
12. 角運動量とトルク / 転がり運動，転がり摩擦
13. 剛体の回転運動 /剛体，慣性モーメント，回転エネルギー
期末試験// 剛体の運動

00.Introductory guidance, 01. Unit and dimension of physical amounts
02. Description of motion
03. Motion of falling body
04. Hyperbolic motion
Midterm examination 1 / Motion of mass point
05. Equilibrium of forces
06. Stability of body
07. Law of motion
08. Work and mechanical energy
09. Momentum and impulse
Midterm examination 2 / Force and motion
10. Uniform circular motion and centrifugal force
11. Simple harmonic motion
12. Angular momentum and torque
13. Circular motion of rigid body
Term-end examination / Motion of rigid body

予習・復習内容

高校・高専等で学習した内容を整理しておくこと。

関連科目

物理学Ⅰ，構造力学Ⅰ・Ⅱ，応用数学Ⅰ・Ⅱ
mathematics, fundamental geomechanics, geomechanics, geotechnical engineering, geotechnical earthquake engineering, structural mechanics, structural experiment

教科書に関する補足事項

Handout is distributed every class.
教科書：特に無し．必要な資料は授業中に配布する．
参考図書：高校，高専で使用した物理「力学」の教科書，問題集

配布資料，過去問等は e-Learning で公開します。

The following texts are recommended
Schaum's Outline of Engineering Mechanics: Statics
Schaum's Outline of Engineering Mechanics: Dynamics

参考書 1	**書名**	Engineering Mechanics			**ISBN**	
	著者名	Stephen P. Timoshenko, Donovan H. Young	**出版社**		**出版年**	
参考書 2	**書名**	Vector Mechanics for Engineers: Statics			**ISBN**	McGraw-Hill; 10th Re
	著者名	Ferdinand P. Beer	**出版社**		**出版年**	2012
参考書 3	**書名**	Vector Mechanics for Engineers: Dynamics			**ISBN**	McGraw-Hill; 10th Re
	著者名	Ferdinand P. Beer	**出版社**		**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標
建設工学に関連する力学の基礎と関連する問題の解法を理解する.
・ 質点の運動に関する問題を理解し，解くことができる
・ 力と運動に関する問題を理解し，解くことができる
・ 剛体の運動に関する問題を理解し，解くことができる

Understand the basics and solution method of mechanics in construction engineering:
- motion of mass point
- force and motion
- motion of rigid body

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価基準：原則的にすべての講義に出席し，かつすべての演習問題レポートを提出したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます
[Evaluation basis] Students who attend all the classes and submitted all the exercise reports will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
三浦均也　教員室：D-803，TEL: 0532-44-6844，k-miura@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://www.ace.tut.ac.jp/（三浦）
http://www.st.ace.tut.ac.jp

オフィスアワー
随時；事前にメールで連絡することが望ましい
anytime; advanced contact by e-mail is required.

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D1) 社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎力を身につける
関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

キーワード
力学, 運動, 力のつり合い, エネルギー, 剛体運動
mechanics, motion, equilibrium of forces, energy, motion of rigid body

(B15610020)環境物理学[Environmental Physics]

科目名[英文名]	環境物理学[Environmental Physics]				
時間割番号	B15610020	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	加藤　茂, 松本　博 KATO Shigeru, MATSUMOTO Hiroshi				
ナンバリング	ARC_BAC31110				

授業の目標

建物内や自然界における空気や水の流れ，それを介した熱の伝達や物質の輸送について学ぶ.
具体的には，建物における熱の流れを理解し，伝熱のメカニズムとそのモデリング並びに伝熱計算法の基礎を習得するとともに，人間・熱環境系における熱収支の予測・評価方法について理解する. また，流体（空気や水など）の流れや流体中の物質の移動を，どのような物理概念でとらえ，どのような数式で表現するかについて学習し，それらの基礎式について学ぶ.
In this subject, air/water flows in a building and nature, heat transfer and mass transport by these flows are studied. To be concrete,
(1) Students understand heat flow in a building and acquire fundamentals of heat transfer mechanism, its modeling and calculation method. Prediction and evaluation method of heat balance in human-thermal environment system are understood.
(2) Students understand a physical concept and a mathematical expression of air and/or water (fluid) flows and material transport by the flows. Furthermore, their fundamental equations are studied.

授業の内容

（前半）流体力学の基礎を構成する物質の特徴や物理量の輸送と保存則を中心に講述し，その数学的な表記法と応用法について解説する. 適宜，講義中に演習問題に取り組み，具体的な現象を理解する.
各週の講義内容は下記の通りである.

第 1 週：流体の性質と輸送概念
第 2 週：流れの記述方法
第 3 週：質量保存則
第 4 週：物質の輸送
第 5 週：運動量と運動方程式
第 6 週：相似則
第 7 週：次元解析
第 8 週：まとめ 45 分，期末試験 45 分　　（以上，担当：加藤）

（後半）建築伝熱（熱伝導，熱伝達，ふく射，蒸発）の基礎とその工学的モデリング手法並びに人間・熱環境系の熱収支の予測と評価について解説する. 適宜，講義中に演習問題に取り組み，具体的な現象を理解する.
各週の講義内容は下記の通りである.

第 9 週：イントロダクション（自然環境と建築環境，建築環境工学の対象範囲 など）
第 10 週：熱伝導(1)
第 11 週：熱伝導(2)
第 12 週：熱伝達
第 13 週：ふく射
第 14 週：建物の熱負荷計算
第 15 週：人間・熱環境系の予測と評価
第 16 週：まとめ 45 分，中間試験 45 分　　（以上，担当：松本）

(First half) Instructor: S. Kato

Characteristics of fundamental materials, transport of physical quantities and their conservation equation on fluid dynamics are explained. Mathematical expression and its application are also given in this part. Samples problems are worked to understand concrete phenomena.

1st week, Nature of fluid and its transport concept
2nd week, Description of flow
3rd week, Law of mass conservation
4th week, Material transport
5th week, Momentum and equation of motion

6th week, Law of similarity
7th week, Dimensional analysis
8th week, Summary: 45 min, term-end examination: 45 min

(Second half) Instructor: H. Matsumoto

Fundamentals of heat transfer in a building, such as heat conduction, convective heat transfer, radiation and evaporation, and their modeling techniques are explained. In addition, explanation of heat balance prediction and evaluation in human-thermal environment system is also given in a lecture.

9th week, Introduction
10th week, Heat conduction (1)
11th week, Heat conduction (2)
12th week, Convective heat transfer
13th week, Thermal radiation
14th week, Heating load calculation in a building
15th week, Prediction and evaluation in human-thermal environment system
16th week, Summary: 45 min, midterm examination: 45 min

予習・復習内容
毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.
Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目
環境分野の講義科目全般
All subjects in an environmental field.

教科書に関する補足事項
適宜，プリント等の資料を配布する
No specific textbook is used.
The resume or related handouts are distributed.

参考書に関する補足事項
これまでに使用した各種の教科書，参考資料等を有効に活用すること.
The textbooks and materials used in related subjects should be used effectively.

達成目標
(1) 建築・社会基盤分野の様々な環境問題に関わる物理量（質量，運動量，力学的エネルギー，熱量など）の移動やその保存則について理解する.
(2) 問題を解決するために基礎知識を応用できる力を身につける.
(1) Understanding the movement of various physical quantities and its conservation law
(2) Acquiring the ability that can apply basic knowledge to solve the problems

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
（評価方法）
原則的にすべての講義に出席し，課題（レポート）等を提出したものにつき，下記のように成績を評価する.
中間試験と期末試験（100%）.
ただし，中間試験と期末試験，それぞれで 60 点以上を獲得したものを評価の対象とし，最終成績は中間・期末試験の平均点で評価する. 課題を課した場合には，10%を上限に加味する.

（評価基準）
上記達成目標の達成度について評価し，評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする.
90 点以上を S，80 点以上 90 点未満を A，70 点以上 80 点未満を B，60 点以上 70 点未満を C とする.
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する.
[Evaluation method]
Students are required to attend essentially all classes, and to submit all assignments for evaluation.
Final evaluation is based on the average of a midterm examination and a term-end examination.
Both of a midterm and a term-end examinations have to be 60 or higher for final evaluation (out of 100 points).
Report for assignments will be taken into account up to 10%.

[Evaluation criteria]
Grade, S: 90 or higher, A: 80 or higher to lower than 90, B: 70 or higher to lower than 80, C: 60 or higher to lower than 70.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
松本：matsu@ace.tut.ac.jp
加藤：D-812, 6853, s-kato@ace.tut.ac.jp
H. Matsumoto: matsu@ace.tut.ac.jp
S. Kato: D-812, 6853, s-kato@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
加藤：http://www.umi.ace.tut.ac.jp/
S. Kato: http://www.umi.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
加藤： 随時対応する．ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること．
S. Kato: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D1) 社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎力を身につける
関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

(Civil and Environmental Engineering Course)
[Particularly-relavant item]
(D1) Acquiring the fundamental ability in mathematics and physics necessary to be proficient in civil engineering
[Relavant item]
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances

(Architecture and Building Science Course)
[Particularly-relavant item]
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances

キーワード
熱伝導，熱伝達，ふく射，熱負荷，連続式，運動方程式，移流，拡散
Thermal conduction, Convective heat transfer, Radiation, Heating load, Equation of continuity, Equation of motion, Advection, Diffusion

(B15610040)構造力学Ⅲ[Structural Mechanics 3]

科目名[英文名]	構造力学Ⅲ[Structural Mechanics 3]				
時間割番号	B15610040	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中澤　祥二 NAKAZAWA Shoji				
ナンバリング	ARC_BAC32112				

授業の目標

建築・土木系の構造物は，線材系と面材系に分類される．線材系構造の基本構造としてトラスとラーメンがある．安全な構造物を建設するに必要な最も基本的な力学を習得した技術者を養成することを目標として，この授業では，平面トラスと梁構造について，マトリックス法（有限要素法），エネルギー原理の基礎理論について学び，構造物を力学的に把握する力を養成する。

Learn technologies for structural analysis of building structure; energy theory, formulation of FEM (finite element method) based on the energy theory, FEM analysis for truss structures and frame structures.

授業の内容

第１部：平面トラス構造
第　1週　ガイダンス：トラス構造（静定トラスの釣合式の復習）
第　2週　バネのエネルギ原理1（ひずみエネルギ、外力のなす仕事、仮想仕事の原理）
第　3週　バネのエネルギ原理2（全ポテンシャルエネルギー停留の原理、カスティリアノの原理）
第　4週　平面トラスのエネルギ原理1（仮想仕事の原理、カスティリアノの原理）
第　5週　平面トラスのエネルギ原理2（演習）
第　6週　平面トラスの有限要素法による解法1（剛性マトリクスの誘導の誘導）
第　7週　平面トラスの有限要素法による解法2（全体剛性マトリクスの誘導、演習）
第　8週　総合演習

第2部：平面ラーメン構造
第　9週　梁の釣合式（微分方程式）とその解
第11週　梁のエネルギ原理1（ひずみエネルギ、外力のなす仕事、仮想仕事の原理）
第12週　梁のエネルギ原理2（全ポテンシャルエネルギー停留の原理、カスティリアノの原理）
第13週　平面ラーメンの有限要素法による解法1（剛性マトリクスの誘導、微分方程式より）
第14週　平面ラーメンの有限要素法による解法2（剛性マトリクスの誘導、エネルギ原理より）
第15週　平面ラーメンの有限要素法による解法2（全体剛性マトリクスの誘導、演習）
第16週　定期試験

1st week, Introductory guidance
2nd week, truss structure (review of the static equation of statically determinate truss structures)
3rd week, Energy principles (definition of strain energy, potential energy, principle of virtual work,)
4th week, Energy principles of truss structures; Part 1
5th week, Energy principles of truss structures; Part 2
6th week, FEM analysis for truss structures; Part 1
7th week, FEM analysis for truss structures; Part 2
8th week, Summary: 30 min., regular examination: 60 min.

9th week, Equilibrium equation for bam element
10th week, Solution for equilibrium equation for bam element; Part 1
11th week, Solution for equilibrium equation for bam element; Part 2
12th week, Energy principles of frame structures; Part 1
13th week, Energy principles of frame structures; Part 2
14th week, FEM analysis for frame structures; Part 1
15th week, FEM analysis for frame structures; Part 2
16th week, Summary: 30 min., regular examination: 60 min.

予習・復習内容

受講生は，毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容について配布プリントや参考書等を参考に予習してくることが求められる。

関連科目
構造力学 I, II, 構造材料力学, 数学に関する講義

教科書に関する補足事項
プリントを配布
http://www.st.ace.tut.ac.jp/~nakazawa からダウンロード可能

参考書 1	**書名**	建築構造力学演習教科書・改定版			**ISBN**	9784395007509
	著者名	谷資信, 井口道雄	**出版社**	彰国社	**出版年**	2005

参考書に関する補足事項

達成目標
（1）構造物のエネルギ原理についての基本的な知識と理解
（2）エネルギ原理に基づく構造物の変位の求め方についての知識と理解
（3）有限要素法によるトラス構造、ラーメン構造の構造解析の理解
1) understand the energy principles of the structures
2) understand the solution for the nodal displacement of structure subjected to static load
3) understand the structural analysis for truss and frame structures based on the FEM

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：原則的にすべての講義に出席し、課題（レポート）等を提出したものにつき、下記のように成績を評価する。中間試験と期末試験の成績から評価を行う。
評価基準：中間試験と期末試験の評価がそれぞれ 60 点以上であるものを最終評価の対象とする。中間試験と期末試験の平均点を評価点とし、上記の達成目標の達成度に対して、評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする。90 点以上を S、80 点以上を A、70 点以上 80 点未満を B、60 点未満を C とする。

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.st.ace.tut.ac.jp/~nakazawa/

http://www.st.ace.tut.ac.jp/~nakazawa/

オフィスアワー
毎週月曜日 16 時 20 分から 17 時 50 分
Monday 16:20-17:50

学習・教育到達目標との対応
特に関連のある項目
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

キーワード
トラス構造，ラーメン構造，有限要素法，エネルギー原理
truss structure, frame structure, finite element method, energy principles

(B15610050)鉄筋コンクリート構造学[Reinforced Concrete]

科目名[英文名]	鉄筋コンクリート構造学[Reinforced Concrete]				
時間割番号	B15610050	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	齊藤　大樹, 松井　智哉 SAITOH Taiki, MATSUI Tomoya				
ナンバリング	ARC_BAC32610				

授業の目標

(1)鉄筋コンクリート構造物の力学的特徴と材料の特性を理解する.
(2)許容応力度設計の基本的な考え方を理解する.
(3)鉄筋コンクリート構造物に対して材料の塑性を考慮した終局強度に基づく耐震設計法を学習する.

(1) Understand foundation of characteristics of the Reinforced Concrete building and the mechanical properties of the materials.
(2) Understand basic concept of structural design method based on allowable stress concept.
(3) Learn about design method based on ultimate strength of Reinforced Concrete member considering plasticity of the material.

授業の内容

第　1週　許容応力度設計の概念と, 鉄筋コンクリート構造の特徴
第　2週　鉄筋コンクリート構造材料の力学的特性
第　3週　軸力を受ける部材の挙動
第　4週　曲げを受ける部材の挙動
第　5週　曲げを受ける部材(単筋梁)の挙動と許容応力度設計
第　6週　曲げを受ける部材(複筋梁)の挙動と許容応力度設計
第　7週　曲げと軸力を同時に受ける部材(柱)の挙動と許容応力度設計
第　8週　中間試験(許容応力度設計)
第　9週　鉄筋およびコンクリートの弾塑性構成則
第10週　RC はりの曲げ終局強度(単筋はり)
第11週　RC はりの曲げ終局強度(複筋はり)
第12週　RC 柱の曲げ終局耐力
第13週　部材設計(せん断と付着に対する設計)
第14週　部材設計(柱梁接合部とスラブの設計)
第15週　RC 部材の破壊モード

1. Concept of allowable stress design and features of reinforced concrete structure
2. Mechanical properties of the material
3. Behavior of RC member applied axial load
4. Behavior of RC member applied bending moment
5. Behavior of RC member applied bending moment and allowable stress design 1
6. Behavior of RC member applied bending moment and allowable stress design 2
7. Behavior of RC member applied axial load and bending moment, and allowable stress design
8. Midterm Exam
9. elastic-plastic constitutive law of steel and concrete
10. Flexural strength of RC beam 1
11. Flexural strength of RC beam 2
12. Flexural strength of RC column
13. Design for shear force and bond
14. Design of beam-column joint and slab
15. Failure mode of RC member
16. Final exam

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに, 次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

構造力学Ⅰ・構造力学Ⅱ(高専出身の学生は高専時の構造力学)の内容を十分理解しておくことが重要.
Structural Mechanics1, Structural Mechanics 2

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	鉄筋コンクリート構造を学ぶ			**ISBN**	
	著者名	勅使川原正臣　編著	**出版社**	理工図書	**出版年**	2009
参考書 2	**書名**	AIJ standard for structural calculation of reinforced concrete structures (in Japanese)			**ISBN**	
	著者名	Architecural Institure of Japan	**出版社**		**出版年**	2010
参考書 3	**書名**	鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説			**ISBN**	
	著者名	日本建築学会	**出版社**		**出版年**	2010
参考書 4	**書名**	鉄筋コンクリート造建物の靭性保証型耐震設計指針・同解説			**ISBN**	
	著者名	日本建築学会	**出版社**		**出版年**	1999

参考書に関する補足事項

達成目標

鉄筋コンクリート建物の設計施工について
(1)構造的な特徴と許容応力度法の考え方の基本を説明できる.
(2)最も簡単な単筋梁について，つりあい式・変形適合条件式より必要配筋量を算定できる.
(3)せん断破壊を防ぐためのあばら筋の算定方法を説明できる.
(4)鉄筋コンクリート工事における配筋詳細の基本について説明できる.
(5)鉄筋コンクリート構造物の耐震設計法の概要を理解する.
(6)鉄筋コンクリート造部材の終局強度を算定できる.
The goal of this course for you is to develop an understanding of basic concept of structural design and practice of elementary design of RC member.
(1) Explain the basic concept of allowable stress design
(2) Calculation amount of required reinforced bars of singly-reinforced beam from equilibrium equations and compatibility conditions
(3) Explain calculation method of stirrup to prevent shear failure
(4) Explain basis of bar arrangement in reinforced concrete construction
(5) Understanding outline of seismic design of reinforced concrete structure
(6) Calculate ultimate strength of reinforced concrete member

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：中間試験と期末試験の成績から評価を行う。
評価基準：達成目標に対して，評価点（100点満点）が60点以上の場合を合格（達成目標に達した）とする。
90点以上を評価S,
80点以上90点未満を評価A,
70点以上80点未満を評価B,
60点以上70点未満を評価Cとする。
The grading is calculated using average of midterm and final examination.
S: exam, 90 or higher (out of 100 points)
A: exam, 80 or higher (out of 100 points)
B: exam, 70 or higher (out of 100 points)
C: exam, 60 or higher (out of 100 points)

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

matsui@ace.tut.ac.jp（松井　D 棟8F：807号室）
tsaito@ace.tut.ac.jp（齊藤　D 棟8F：805号室）

matsui@ace.tut.ac.jp（Matsui　D-8F：room 807）
tsaito@ace.tut.ac.jp（Saito　D-8F：room 805）

ウェルカムページ

http://rc.ace.tut.ac.jp/matsui/index.html （松井）
http://rc.ace.tut.ac.jp/tsaito/index.html （齊藤）
http://rc.ace.tut.ac.jp/matsui/index.html （Matsui）
http://rc.ace.tut.ac.jp/tsaito/index.html （Saito）

オフィスアワー

水曜日 15:00～17:30（松井）
水曜日 13:00～14:30（齊藤）
Wed, 15:00～17:30（Matsui）
Wed, 13:00～14:30（Saito）

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

（D）【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
(D5)建築に必要な構造、材料及び施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識を身につけている。
特に関連がある項目
（D）【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につけている。
特に関連がある項目

(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D5) Have specialized knowledge about structures, materials and construction required for architecture; and comprehensive expertise to consistently understand various stages from fundamental surveys and building construction methods toconstruction works, aiming at realizing a construction
Particularly-relevant item
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D2) Have fundamental knowledge of infrastructure engineering through taking basic courses relating to civil engineering.
Particularly-relevant item

キーワード

鉄筋コンクリート構造，許容応力度設計法，耐震設計
Reinforced concrete structure, Allowable stress design, Seismic design

(B15610060)都市計画[Urban Planning]

科目名[英文名]	都市計画[Urban Planning]				
時間割番号	B15610060	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	小野　悠 ONO Haruka				
ナンバリング	ARC_BAC33310				

授業の目標

都市計画の基本的な内容と課題を理解し、今後のあるべき姿について考える。また、諸外国との違いにも目を向ける。

This course objectives are to understand outlines and challenges of urban planning, and discuss a vision and method for an ideal future city.

授業の内容

（1）都市論
1. 都市の歴史
2. 日本の都市
3. 世界の都市

（2）制度論
4. 近代都市計画の思想
5. 日本の都市計画 Ⅰ
6. 日本の都市計画 Ⅱ
7. 世界の都市計画
8. 近代都市計画の課題

（3）都市像
9. コンパクトシティ
10. 都市と歴史・文化
11. 環境共生都市
12. 都市防災と復興

（4）マネジメント論
13. まちづくりの担い手
14. まちづくりの進め方
15. 都市のマネジメント

16. 定期試験
（1）Urban Theory
1. Urban history
2. Cities in Japan
3. Cities in the world

（2）Urban Planning System
4. Thought of modern urban planning
5. Urban planning in Japan Ⅰ
6. Urban planning in Japan Ⅱ
7. Urban planning in the world
8. Challenges of modern urban planning

（3）Future City
9. Compact city
10. History and culture
11. Eco-friendly city
12. Disaster management city

（4）Urban Management
13. Actors in urban planning
14. Consensus building through urban planning

15. Urban management

16. Periodic exam

予習・復習内容

講義の中で予習及び復習項目に関して指示を行います。
prepare in the lecture and direct about the review item.

関連科目

教科書に関する補足事項

資料を講義毎に配布します。
distribute handouts every lecturing

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 都市とは何か、その本質を理解できる。
2. 近代都市計画の特徴を踏まえ、日本の都市計画の概略を理解できる。
3. 今後の新しい都市像について議論できる。
4. 都市マネジメントの方法について議論できる。

Educational goals
1. to understand the nature of cities,
2. to understand the general outline of urban planning,
3. to discuss vision for an ideal future city,
4. to discuss the methods of urban management

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
講義毎のレポート 50%　定期試験 50%　　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

Evaluation method
The report 50% every lecturing　Periodic test 50%　I estimate overall by the percentage of the following.

An evaluation standard: Results are estimated as follows about the one with which participated in all lectures generally.
S:Total point of a periodic test and a report is more than 90.
A:Total point of a periodic test and a report is more than 80.
B:Total point of a periodic test and a report is more than 70.
C:Total point of a periodic test and a report is more than 60.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
(D3)持続可能な都市計画や都市デザインに関する専門的知識およびこれらの環境保全や景観保全等への応用能力

【社会基盤コース】
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につける

(Architecture and Building Science Course)

(D3) Technical knowledge on sustainable urban planning and urban design, and the ability to apply knowledge toward the preservation of the environment and landscape

(Civil and Environmental Engineering Course)
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering

キーワード
都市、都市計画、まちづくり
City, Urban Planning, Machizukuri

(B15610070)卒業研究[Supervised Research]

科目名[英文名]	卒業研究[Supervised Research]				
時間割番号	B15610070	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期＋後1	**曜日時限**	木 5～5,金 3～3	**単位数**	4
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	S5系教務委員 5kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ARC_BAC48010				

授業の目標

本学および本系の教育理念である創造的、実践的能力を備えた指導的技術者・研究者としての能力を身につけるためには、単なる講義のみではなく、特別演習を行い未解決の問題に取り組むことが重要である。特別演習を行うことにより、未解決の問題に興味がわき、問題を解決するために自発的に学習する態度が身につき、これがさらに新しい問題を発見することにつながる。この研究を通して、明確な問題意識、問題解決力、課題探 求力、計画立案能力、創造性、判断力、責任感、ねばり強さ、協調性、プレゼンテーション力、倫理観を身につける。

In order to acquire the ability of leading engineers and researchers with a practical ability, rather than just a lecture, it is important to address the special exercise to work unresolved problems. By performing special exercises, the interest for unresolved issues will increase, and acquire the attitude of lerning spontaneously to solve the problem, which leads to discover new issues. Through this study, it is expected to aqcuire a clear awareness of the problem, problem solving skills, problem exploration, planning ability, creativity, judgment, sense of responsibility, tenacity, coordination, presentation skill and the ethics.

授業の内容

この科目では、卒業研究を行う。研究の内容は個々の学生の研究テーマや手法によって大きく異なり、指導教員と学生との相談等に基づいて研究内容および進め方を決定する。

The contents of the study is highly dependent on the research theme of the individual student. Therefore, the research content and how to proceed it should be determined on the basis of consultations with the supervisor.

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに, 次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

特に無し。

教科書に関する補足事項

教科書：特に無し。必要な資料は科目の中で準備する。
参考図書：研究課題に合わせた適切な文献等

参考書に関する補足事項

達成目標

研究課題自分で設定し、遂行する能力を身に着ける。また、成果の取りまとめや発表についても、独力で成し遂げることができるようにする。

Acquire the skill to set the research subject and proceed it. Also, it is required to accomplish on his own to summarize the achievement and make a presentation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

研究成果（卒業論文等）の提出を求めるとともに研究成果の公開発表会を実施し、本系独自に作成した「卒業研究評価シート」に基づき、指導教員が以下の4項目を総合評価する。

1. 問題点と課題の理解力および研究を取りまとめる能力、
2. 表現力・コミュニケーション力、
3. 探求心と持続的学習力
4. その他（特記事項等）

It is required to submit the thesis and make a presentation about research achievement. The evaluation is made by the supervisor based on the evaluation sheet based on the following 4 items:

1. Ability to understand the problem and conduct research

2. Communication and expression skill
3. Quest heart and sustainable learning force
4. Others

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
各指導教員で異なる。

ウェルカムページ
http://www.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
各教員で異なる。

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D7) 建築分野の専門的知識に加え、社会基盤工学や人文・社会科学の知識を修得し、実際の課題を適切に認識すると同時に、学生、教員相互の協働および討論を通し、制約的条件を特定し、最適解に向けて創造的に企画・立案ができるデザイン能力
(F) 最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力
関連のある項目
(D8) 建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力
(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける
(F) 最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力
関連のある項目
(D4) 社会基盤工学に関する実務上の問題を理解し，制約条件の下で適切に対応できるマネジメント力を有する 実践的技術者としての素養を身につける

キーワード

(B15610080)実務訓練[Internship]

科目名[英文名]	実務訓練[Internship]				
時間割番号	B15610080	区分	建築・都市専門Ⅱ	選択必須	必修
開講学期	後期2	曜日時限	月 1～5,火 1～5,水 1～5,木 1～5,金 1～5	単位数	6
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	S5系教務委員 5kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ARC_BAC49010				

授業の目標

企業・研究所・地方公共団体等において実務に即応した課題に取り組み、その成果を種々の形に取りまとめることによって、技術者が経験する社会基盤にかかわる実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うために与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力を身に付けさせる。

Challenge the practical problems in companies, research institutes and local governments, etc., by summarizing the results in a variety of forms, understanding the practical issues and problems related to social infrastructure experienced by the technicians. Acquire the execution skill to complete the mission under various limitation to solve the various problems in engineering way.

授業の内容

この科目では、いわゆるインターンシップを行う。訓練内容は派遣先の機関により異なる.

In this course, training content is different by the Organization of the dispatch destination.

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

本課程で修得した科目全般

教科書に関する補足事項

教科書：特に無し.
参考図書：特に無し

参考書に関する補足事項

達成目標

社会活動に身を置きながら、実務に即応した課題に取り組む能力を身に着ける。また、成果の取りまとめや報告についても、独力で成し遂げることができるようにする。

While placing in social activities, acquire the ability to tackle the problems. Also, accomplish for compiling the results and reporting them on their own.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

派遣先における活動に関してのレポートの提出および公開発表会での発表を求めている。派遣先での活動内容および派遣先機関からの評価を総合的に検討して評価する。

Evaluation is based on the report of activities in the dispatched organization and presentation together with evaluation from the dispatched organization.

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

各教員で異なる.

ウェルカムページ

各教員で異なる.
http://www.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D8) 建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力
(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
関連のある項目
(D4) 建築法規や積算、建築産業に関わる包括的な専門的知識および社会的役割や社会的責任との関係を理解できる展開能力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D4) 社会基盤工学に関する実務上の問題を理解し，制約条件の下で適切に対応できるマネジメント力を有する 実践的技術者としての素養を身につける
(D5) 社会基盤工学に関する課題に対して，複数のメンバーで構成されたチームで取り組み， チームとして課題を達成することのできる実践的創造的技術者としての素養を身につける
関連のある項目
(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

キーワード

(B15610090)建設英語[English for Construction Engineering]

科目名[英文名]	建設英語[English for Construction Engineering]				
時間割番号	B15610090	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	S5系教務委員 5kei kyomu Iin-S				
ナンバリング	ARC_BAC31012				

授業の目標

これまでに学んだ英語の基礎学力に基づいて，英文解釈，英作文，英会話の学力をさらに向上させ，英語による表現力，コミュニケーション能力の涵養を図ることを目指している。授業は学生が専攻する研究分野の専門性を重視して行う。

Based on the basic English skills learned so far, the lecture aims to increase ability of English interpretation, English composition, English conversation, expressive skill in English, which aims to promote the cultivation of communication skills. Lecture is designed in each laboratory based on research subject of the student.

授業の内容

研究室毎に異なる。

The content is different in each laboratory.

予習・復習内容

研究室毎に異なる。

関連科目

本学で提供している英語の各授業または相当する科目を履修していることが望ましく，少なくとも高校卒業程度の標準的な学力を有していることを前提としている。

教科書に関する補足事項

教科書：特に無し。必要な資料は授業中に配布する。

参考図書：基本的な英語文法書，建設技術英語あるいは技術英語に関する適切な書籍（授業の中で適宜紹介する）。

参考書に関する補足事項

達成目標

学生が専攻する研究分野において、研究を進めるために必要な学術文献を読んで理解できること，国際会議等での論文作成や学会プレゼンテーションを行うのに必要な基礎語学力を養うことを目標としている。各人の学力に応じた指導が可能であるが、習得レベルとしては TOEIC450 点を視野に入れている。

In research field majored by the student, it is required to be able to read and understand scientific literature necessary to advance the research. Also it aims to obtain the basic language skills necessary to carry out the thesis and academic presentations at international conferences. Although it is possible to guide in accordance with each individual's academic ability, target is TOEIC 450 points as learning level.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

学生の達成度の評価法は担当する教官によって異なる。講義内での課題遂行状況、レポート、発表会の内容、定期試験などで適宜評価する。

指導教員の評価点で最終評価を行う。評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする。90 点以上を S、80 点以上を A、70 点以上 80 点未満を B、60 点未満を C とする。

Evaluation is done by the supervisor based on report and presentation.

S: Obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).

A: Obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).

B: Obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).

C: Obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細

その他

各教員ごとに異なる。

ウェルカムページ

オフィスアワー
各教員が設定

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

キーワード

(B15610100)応用数学Ⅰ[Applied Mathematics 1]

科目名[英文名]	応用数学Ⅰ[Applied Mathematics 1]				
時間割番号	B15610100	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也 MIURA Kinya				
ナンバリング	ARC_BAC31122				

授業の目標

建設工学，特に構造分野（ケーブル構造の形状決定，建物の振動，耐震新設計など）に関する数学の基礎となる微分方程式の基礎的な理論とその解法について，講義に演習を随時加えながら，講述する.

Learn the theory, solution and application of the differential equations related with construction engineering.

授業の内容

第 1 週　00. ガイダンス / 授業内容・試験・単位取得

.　01 微分方程式の分類と性質 / 常微分・偏微分，線形・非線形

第1部　　1階の微分方程式　1自由度の構造システムにおける変形・振動，温度・熱流解析

第 2 週　02. 主要関数の微分・積分 / べき関数，指数関数，線形，非線形

第 3 週　03. 主要関数の微分・積分 / 双曲線・三角関数，線形，非線形

第 4 週　04. 変数分離形微分方程式 / 線形・非線形，同次形微分方程式

第 5 週　05. 線形微分方程式 / 常微分・偏微分，線形・非線形

第 6 週　06. 完全微分方程式 / 常微分・偏微分，線形・非線形

第 7 週　07. 微分方程式の応用 / ケーブル・梁のたわみ，質点の運動・振動，物体の温度・熱流 など

第 8 週　// 中間試験

第2部　　高階の線形微分方程式　多自由度の構造システムにおける変形・振動，温度・熱流解析

第 9 週　08. 定数係数斉次微分方程式 / 特性方程式，基本解，一般解，未定定数

第 10 週　09. 定数係数非斉次微分方程式 / 一般解，特殊解，未定定数

第 11 週　10. 連立斉次定数係数微分方程式 / マトリックス方程式，特性方程式，固有値，固有ベクトル，要素解，一般解

第 12 週　11. 連立非斉次定数係数微分方程式 / 一般解，特殊解

第 13 週　12. 伝導系の微分方程式 / 拡散型方程式，特性方程式，一般解，特殊解

第 14 週　13. 振動系の微分方程式 / 振動方程式，特性方程式，一般解，特殊解

第 15 週　14. 微分方程式の応用2 多自由度振動系解析，多自由度温度・熱流解析

第 16 週　// 期末試験

00. Introductory guidance

01. Classification and properties of differential equation

Differential equation of first order

02. Differentiation and integration of main functions

03. Variable separation type differential equation

04. Homogeneous type differential equation

05. Linear differential equation

06. Exact differential equation

// Mid-term examination

Linear differential equation of higher order

07. Application of differential equation 1

08. Homogeneous constant coefficients differential equation

09. Inhomogeneous constant coefficients differential equation

10. Simultaneous homogeneous constant coefficients differential equation

11. Simultaneous inhomogeneous constant coefficients differential equation

12. Differential equation for conduction system

13. Differential equation for vibration system

14. Application of differential equation 2

// Term-end examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

建築・都市システム学系における科目全般

教科書に関する補足事項

必要な資料は配布する。
またそれらの資料，試験問題の過去問等は e-Learning で公開する。

参考書 1	**書名**	Advanced Engineering Mathematics, International Edition			**ISBN**	
	著者名	Erwin Kreyszig	**出版社**	Wiley	**出版年**	1999
参考書 2	**書名**	Advanced Engineering Mathematics: Student Solution Manual			**ISBN**	
	著者名	Erwin Kreyszig	**出版社**	Wiley	**出版年**	1999

参考書に関する補足事項
工科の数学3　微分方程式・フーリエ解析（近藤次郎 他著，培風館）

達成目標
・１階の線形・非線形常微分方程式の基本的なものを解くことができる
・多階の線形常微分方程式の基本的なものを解くことができる
・種々の応用問題に関連する1階の上微分方程式を，境界条件・初期条件を考慮して解くことができる
・高階の連立線形微分方程式の基本的なものを解くことができる
・熱伝導系問題に関連する連立線形微分方程式を，境界条件・初期条件を考慮して解くことができる
・振動系問題に関連する連立線形微分方程式を，境界条件・初期条件を考慮して解くことができる

Acquire the ability to do the following items;
- solve basic linear and nonlinear differential equations of first order
- solve basic linear differential equations of multiple order
- for the selected application problems, derive and solve the first-order differential equations with boundary conditions of initial conditions.
- solve basic linear simultaneous differential equations of multiple order
- for the problems of heat conduction system, derive and solve simultaneous differential equations of multiple order
- for the problems of vibration system, derive and solve simultaneous differential equations of multiple order

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価基準：原則的にすべての講義に出席し，かつすべての演習問題レポートを提出したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます
[Evaluation basis] Students who attend all the classes and submitted all the exercise reports will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
教官室：　D-803
電話番号：　44-6844
E メール：　k-miura@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://www.ace.tut.ac.jp/
http://www.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
随時；事前にメールで連絡することが望ましい
Anytime; advanced contact by e-mail is required.

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
関連のある項目
(D1) 社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎力を身につける

本科目は各 JABEE コースの学習・教育目標の以下の項目に該当する

キーワード
微分方程式，力学系
differential equation, mechanical system

(B15610110)応用数学Ⅱ[Applied Mathematics 2]

科目名[英文名]	応用数学Ⅱ[Applied Mathematics 2]				
時間割番号	B15610110	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也 MIURA Kinya				
ナンバリング	ARC_BAC31122				

授業の目標

建設工学，特に構造分野に関する数学の基礎となるフーリエ解析の基礎的な理論とその応用について，講義に演習を通じて学習する。

Learn the theory and application of Fourier analysis related with construction engineering.

授業の内容

00. ガイダンス / 授業内容・試験・単位取得
01. フーリエ級数の基本と応用分野 / 周波数分析，微分方程式の拡張
フーリエ級数の基礎
02. 三角関数の基本的な性質／歴史と基本公式・基本的な挙動
03. 三角関数と指数関数の融合／複素数，オイラーの公式
04. 周期関数の積分と直交性／三角関数，指数関数，部分積分
05. 実数領域におけるフーリエ解析／無限フーリエ解析
06. 複素数領域におけるフーリエ解析／無限複素フーリエ解析
07. デジタル数列データへの適用／有限フーリエ変換
// 中間試験
高階の線形微分方程式
08. 熱問題の支配方程式と基本解 / 特性方程式，一般解，特殊解
09. 境界条件のフーリエ変換と熱問題の解1／ 時間領域と周波数領域
10. 境界条件のフーリエ変換と熱問題の解2／ 空間領域と周波数領域
11. 構造問題の支配方程式と基本解 / 特性方程式，一般解，特殊解
12. 境界条件のフーリエ変換と構造問題の解／ 空間領域と周波数領域
13. 振動問題の支配方程式と基本解 / 特性方程式，一般解，特殊解
14. 境界条件のフーリエ変換と振動問題の解／ 空間領域と周波数領域
// 期末試験

00. Introductory guidance
01. Fundamentals and application area of Fourier series
Fundamentals of Fourier series
02. Fundamental behavior of trigonometric functions
03. Unification of trigonometric function and exponential function
04. Integration of periodical function and orthogonality
05. Fourier analysis in real number domain (trigonometric function)
06. Fourier analysis in complex number domain (exponential function)
07. Application to sequential digital data
// Mid-term examination
Application of Fourier analysis to heat, structural, and vibration problems
08. Governing equation and fundamental solution for heat problem
09. Fourier transformation of boundary condition in heat problems 1
10. Fourier transformation of boundary condition in heat problems 2
11. Governing equation and fundamental solution for structural problem
12. Fourier transformation of boundary condition in structural problems
13. Governing equation and fundamental solution for vibration problem
14. Fourier transformation of boundary condition in structural problems
// Term-end examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

建築・都市システム学系における科目全般

教科書に関する補足事項

必要な資料は配布する。
またそれらの資料，試験問題の過去問等は e-Learning で公開する。

参考書 1	**書名**	Advanced Engineering Mathematics, International Edition			**ISBN**	
	著者名	Erwin Kreyszig	**出版社**	Wiley	**出版年**	1999
参考書 2	**書名**	Advanced Engineering Mathematics: Student Solution Manual			**ISBN**	
	著者名	Erwin Kreyszig	**出版社**	Wiley	**出版年**	1999

参考書に関する補足事項
工科の数学3　微分方程式・フーリエ解析（近藤次郎 他著，培風館）

達成目標
・三角関数の基本的な性質と複素指数関数との関連を理解し，オイラーの公式を応用できる
・三角関数の基本的な微分積分法を理解し，活用することができる
・三角関数の直交性を理解し，フーリエ変換を活用することができる
・微分方程式の応答関数を誘導し，不規則な入力に対してフーリエ変換を介して解くことができる
・不規則な境界値問題にフーリエ変換を適用して，微軍方程式を解くことができる
・不規則な初期値問題にフーリエ変換を適用して，微軍方程式を解くことができる

Acquire the ability to do the following items;
- understand the basic properties of trigonometric function and the relationship with complex exponential function, and use the Eulerian formula
- understand the basic differentiation and integration of the functions, and utilize them
- understand the orthogonality between a series of trigonometric function and complex exponential functions, and use the orthogonality for Fourier transformation
- derive response function for a given differential equation, and solve the problems with irregular inputs through Fourier transformation
- with Fourier transformation solve the problems with irregular boundary condition
- with Fourier transformation solve the problems with irregular initial condition

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価基準：原則的にすべての講義に出席し，かつすべての演習問題レポートを提出したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます
[Evaluation basis] Students who attend all the classes and submitted all the exercise reports will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
教官室：　D-803
電話番号：　44-6844
E メール：　k-miura@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://www.ace.tut.ac.jp/
http://www.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
随時；事前にメールで連絡することが望ましい
Anytime; advanced contact by e-mail is required.

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
関連のある項目
(D1) 社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎力を身につける

キーワード
フーリエ解析，微分方程式，力学系
Fourier analysis, differential equation, mechanical system

(B15620030)構造実験[Experimental Practice of Structural Engineering]

科目名[英文名]	構造実験[Experimental Practice of Structural Engineering]				
時間割番号	B15620030	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 5～6	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也, 松井　智哉, 松田　達也, 林　和宏 MIURA Kinya, MATSUI Tomoya, MATSUDA Tatsuya, HAYASHI Kazuhiro				
ナンバリング	ARC_BAC38020				

授業の目標

鉄筋コンクリート構造部材を構成する材料であるコンクリートの調合計算法と作成法を学び、実際にコンクリート供試体を作成する。供試体および鉄筋への載荷試験を通じて、コンクリートおよび鉄筋の応力ひずみ関係について実験的に考察する。
土要素についての各種の試験を通じて、密度特性、せん断強度特性を理解する。
Learn the mixture proportion design and preparation method of concrete that is the material of reinforced concrete structural members. Conduct loading test on the concrete and the reinforcing bar, and observe and analyze the stress-strain relationships experimentally.
Through the tests on soils learn the fundamental behavior of soils regarding density and consistency properties of soils, and shear deformation-strength properties of soils

授業の内容

第　1週　ガイダンス:構造実験の進め方, 授業の準備, 注意事項など
第　2週　コンクリートの応力ひずみ関係に関する講義と実験計画立案
第　3週　コンクリートの調合設計
第　4週　コンクリート供試体製作
第　5週　鉄筋の材料特性に関する講義
第　6-8週　砂の最大・最小密度試験, 粘土のコンシステンシー試験
第　9-11週　砂の一面せん断試験, 粘土の一軸圧縮試験
第12週　鉄筋の引張試験
第13-14週　コンクリート破壊実験
第15週　実験レポートの作成、試問
第18週　総合演習

1st week, introductory guidance; preparation and instruction for safety in testing
2nd week, lecture on stress-strain relationship of concrete, and planning for the tests
3rd week, concrete mixture proportion design
4th week, preparation of concrete test specimen
5th week, lectures on the material properties of reinforcing bar
6-8th week, test on maximum and minimum density of sands, and test on consistency properties of clays
9-11th week, direct shear test on sand, and uniaxial shear test on clayey soils
12th week, tension test on reinforcing bar
13-14th week, loading tests on the concrete specimens
15th week, report preparation and interview on the report

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに, 次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

建設材料学, 鉄筋コンクリート構造学, 地盤の力学, 地盤工学
Construction materials, reinforced concrete structures, soil mechanics, foundation engineering

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

参考図書:土質試験のてびき(土木学会)

達成目標

・ コンクリートの調合設計、製作方法および圧縮試験方法を習得すると共に、コンクリートおよび鉄筋の力学特性に関する基礎知識を有する
・ 土の基本的な試験, それによって得られる特性を理解でき、実験を計画・実践できる
- Understand the methods for the mixture proportion design of concrete, preparation of test specimen and loading test. Understand the fundamental behavior of mechanical properties of concrete and reinforcing bar.

- Understand the methods of fundamental tests and mechanical properties of soils. Also understand the test planning and conduction.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

＜評価方法＞
実習遂行状況(30%), 実験レポート(70%)により総合評価する.
＜評価基準＞
原則すべての実験に参加してレポートを提出したものに対して, 下記のように評価する
上記達成目標の達成度に対して, 評価点(100 点満点)が 55 点以上を合格とする.
80 点以上を A, 65 点以上 80 点未満を B, 55 点以上 65 点未満を C とする.
[Evaluation method] 30% for the performance during the tests, and 70% for reports.
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

三浦 教員室:D-803, TEL:0532-44-6844, k-miura@ace.tut.ac.jp
松田 教員室:D-808, TEL:0532-44-6849, t.matsuda@ace.tut.ac.jp
松井 教員室:D-807, TEL:0532-44-6848, matsui@ace.tut.ac.jp
林　教員室:D-815, TEL:0532-44-6856, hayashi@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.geomech.ace.tut.ac.jp/(三浦・松田)
http://www.rc.ace.tut.ac.jp/matsui/index.html (松井)
http://www.rc.ace.tut.ac.jp/saito/index.html (林)
http://www.geomech.ace.tut.ac.jp/ : Miura and Matsuda
http://www.rc.ace.tut.ac.jp/matsui/index.html : Matsui
http://www.rc.ace.tut.ac.jp/saito/index.html : Hayashi

オフィスアワー

三浦均也; 随時, 事前にメールで連絡することが望ましい
松田達也: 随時, 事前にメールで連絡することが望ましい
松井智哉: 随時, 事前にメールで連絡することが望ましい
林　和宏: 随時, 事前にメールで連絡することが望ましい

Miura: advanced contact by e-mail is required.
Matsuda: advanced contact by e-mail is required.
Matsui: advanced contact by e-mail is required.
Hayashi: advanced contact by e-mail is required.

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D4) 社会基盤工学に関する実務上の問題を理解し, 制約条件の下で適切に対応できるマネジメント力を有する 実践的技術者としての素養を身につける

キーワード
建設材料，鉄筋コンクリート，地盤材料，材料実験
construction materials, reinforced concrete, soil materials, material tests

(B15620040)環境実験[Experimental Practice of Environmental Engineering]

科目名[英文名]	環境実験[Experimental Practice of Environmental Engineering]				
時間割番号	B15620040	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 5～6	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	井上　隆信, 加藤　茂, 横田　久里子, 岡辺　拓巳, 鍋島　佑基, 都築　和代, 中村　亮太 INOUE Takanobu, KATO Shigeru, YOKOTA Kuriko, OKABE Takumi, NABESHIMA Yuki, TSUZUKI Kazuyo, NAKAMURA Ryota				
ナンバリング	ARC_BAC38020				

授業の目標

実験により異なる建材の断熱特性を理解し，建築環境における物理現象の把握法，物理量と感覚量の対応関係を理解する．
また，波や流れに関する実験や河川水の基本的な水質を測定することにより，計測・分析操作の基本を習得するとともに，実験・分析を通じて測定値のもつ意味を理解し，水工・水環境に関する基礎知識を習得する。

This course covers building environment, water environment and hydraulics. Students will acquire knowledge of various monitoring and data analysis for indoor environment, water quality in a river and hydraulics through laboratory experiments. Upon completion of this course, the students will be able to:
- Understand characteristics of different thermal insulation materials by experiments and acquire methods for investigation of physical phenomena in building environment and relationship between physical and perceptional quantities.
- Acquire basics of measurements and analysis by experiment of water wave and flow and investigation of fundamental quality on river water.
- Understand a meaning of measurements and acquire fundamental knowledge on hydraulics and water environment.

授業の内容

各週の講義内容は下記の通りである．受講者を 3 班に分け，各班が建築環境，水工，水環境の 3 分野の実験を 5 週ごと実施する．

第 1 週　班分け，ガイダンス

実験 1：建築環境（5 週）
担当：都築，鍋島
1. 熱電対を用いた温度計測システムの作成
2. 着衣の熱抵抗値（clo 値）測定
3. 種々の建材の熱伝導率測定
4. 住宅のスケールモデルの作成とその熱的性能測定
5. データ整理，レポート作成等

実験 2：水工（5 週）
担当：加藤，岡辺，中村
1. 実験の概要と基礎知識
2. 水の性質に関する実験
3. 水面形に関する実験
4. 波に関する実験
5. データ整理，レポート作成等

実験 3：水環境（5 週）
担当：井上，横田，嵯峨
1. 水質分析 1 （pH・EC，BOD その 1）
2. 水質分析 2 （BOD その 2）
3. 水質分析 3 （TN・TP その 1）
4. 水質分析 4 （TN・TP その 2）
5. データ処理，レポート作成等

Three primary fields will be organized by (Ex1) Building environment, (Ex2) Hydraulics and (Ex3) Water environment. The students will be divided into three groups in the guidance, and each group will be assigned one of the fields every five weeks. The contents of each field are detailed as follows:

1st week: Guidance and introduction

Ex1: Building environment for five weeks
Instructors: K. Tsuzuki and Y. Nabeshima
1. Thermal measurement system using a thermocouple
2. Measurement of thermal resistance of clothing (clo value)
3. Measurement of thermal conductivity of various building materials
4. Making a scale-modeled house and measurement of thermal performance
5. Data analysis and writing reports

Ex2: Hydraulics for five weeks
Instructors: S. Kato, T. Okabe and R. Nakamura
1. Guidance and introduction for experiments
2. Experiment on characteristics of water
3. Experiment on water surface in open channel flow
4. Experiment on water waves
5. Data analysis and writing reports

Ex3: Water environment for five weeks
Instructors: T. Inoue, K. Yokota and M. Saga
1. Water quality analysis 1 (pH, EC, BOD (part 1))
2. Water quality analysis 2 (BOD (part 2))
3. Water quality analysis 3 (TN, TP (part 1))
4. Water quality analysis 4 (TN, TP (part 2))
5. Data analysis and writing reports

予習・復習内容
毎回の実験内容を復習するとともに，次週の内容について必ずテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.
Students are required to review the contents of each lecture and refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目
建築環境学概論，建築環境工学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ
基礎水理学，流れと波の力学，水工学演習
水環境工学基礎，水環境工学
環境物理学　など

Introduction to Building Environment, Building environmental engineering I, II, III
Fundamental Hydraulics, Mechanics for Flow and Wave, Hydraulic Engineering Exercise
Water Environmental Engineering
Environmental Physics

教科書に関する補足事項
教科書：なし.
必要に応じて，関連資料を配布する.
No specific textbook will be used.
The resume or related handouts will be distributed.

参考書に関する補足事項
これまでに使用した各種の教科書，参考資料等を有効に活用すること.
The textbooks and materials used in related subjects should be used effectively.

達成目標
建築環境および水環境に関連する物理現象について，その把握法，物理量と感覚量の対応関係ならびにそれらの具体的な測定・分析法を理解し，自分で調査・分析するための知識や技術を習得する.
- Understanding investigation methods, relation between physical and perceptional quantities and measurement/analysis techniques on various phenomena in building and water environment
- Acquiring special knowledge and techniques for self-investigation/analysis

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
（評価方法）
原則的にすべての授業に出席し，建築環境，水工，水環境の 3 分野のレポートを全て提出すること.

レポート（100%）

（評価基準）
3 分野それぞれで評価点（100 点満点）が 60 点以上である場合を合格とする.
最終的な成績は 3 分野の評価点の平均で評価する.
上記達成目標の達成度について評価し，平均評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする.
90 点以上を S，80 点以上 90 点未満を A，70 点以上 80 点未満を B，60 点以上 70 点未満を C とする.
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準を適用する.

Students are required to attend essentially all classes, and to submit all reports of three fields for evaluation.
Evaluation is based on total points (out of 100 points) of reports.

Each report's point of three fields has to be higher than 60 (out of 100 points).
Final evaluation is based on the average of three field's points.
Grade, S: 90 or higher, A: 80 or higher to lower than 90, B: 70 or higher to lower than 80, C: 60 or higher to lower than 70.

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
都築：D-711，6839，ktsuzuki@ace
鍋島：D-713，6840，nabehima@ace
加藤：D-812，6853，s-kato@ace
岡辺：D3-606，6850，okabe@ace
中村：D-809，6860，r-nakamura@ace
井上：D-811，6952，inoue@ace
横田：D-810，6851，yokota@ace
嵯峨：D-813，6863，makoto_saga@ace

（上記のアドレスの後に，“.tut.ac.jp”を追加．）
K. Tsuzuki: D-711, 6839, ktsuzuki@ace
Y. Nabeshima: D-713, 6840, nabehima@ace
S. Kato: D-812, 6853, s-kato@ace
T. Okabe: D3-606, 6850, okabe@ace
R. Nakamura: D-809, 6860, r-nakamura@ace
T. Inoue: D-811, 6952, inoue@ace
K. Yokota: D-810, 6851, yokota@ace
M. Saga: D-813, 6863, makoto_saga@ace

ウェルカムページ
研究室ホームページ：
都築・鍋島　http://（準備中）
加藤・岡辺・中村　http://www.umi.ace.tut.ac.jp/
井上・横田・嵯峨　http://www.wq.ace.tut.ac.jp/
Tsuzuki & Nabeshima　http:// (under constraction)
Kato, Okabe & Nakamura　http://www.umi.ace.tut.ac.jp/
Inoue, Yokota & Saga　http://www.wq.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
都築：木曜日 10:30-12:30，ただし事前に連絡すること.
鍋島：金曜日 11:00-13:00
加藤：随時対応．ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること.
岡辺：随時対応．ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること.
中村：随時対応．ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること.
井上：水曜日 12:30-13:10，その他の時間も随時対応．ただし，事前にメール等で時間調整することが望ましい.
横田：月曜日 10:00-12:00

嵯峨：木曜日 11:00-13:00, その他の時間も随時対応．ただし，事前にメール等で時間調整することが望ましい．

K. Tsuzuki: Thursday, 10:30-12:30 & by appointment
Y. Nabeshima: Friday, 11:00-13:00
S. Kato: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)
T. Okabe: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)
R. Nakamura: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)
T. Inoue: Wednesday, 12:30-13:10, or at any time (Make appointment by e-mail or in class.)
K. Yokota: Monday, 10:00-12:00
M. Saga: Thursday, 11:00-13:00, or at any time (Make appointment by e-mail or in class.)

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D6) 快適な生活環境を提供できる建築環境、建築設備に関する専門的知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D4) 社会基盤工学に関する実務上の問題を理解し，制約条件の下で適切に対応できるマネジメント力を有する 実践的技術者としての素養を身につける

(Civil and Environmental Engineering Course)
[Particularly-relavant item]
(D4) Acquiring grounding as a practical engineer with management ability that makes it possible to understand practical problems and deal with them appropriately within defined parameters by attaining a broad range of expertise in the field of civil engineering

(Architecture and Building Science Course)
[Particularly-relavant item]
(D6) Technical knowledge on the built environment and building services that can provide a comfortable living environment

キーワード
実験，建築環境，水工，水環境

(B15620060)建築文化形成史[History of Architectural Culture]

科目名[英文名]	建築文化形成史[History of Architectural Culture]				
時間割番号	B15620060	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	相京　邦宏 AIKYO Kunihiro				
ナンバリング	ARC_BAC35120				

授業の目標

ローマの建築文化と社会の関わりについて考察する。
（欧文テキスト使用 ）
Roman Architecure and Society

授業の内容

建築分野において古代ローマは偉大な功績を残した。コロッセウムやパンテオン、フォルム・ローマーヌムなどの公共建築は2000 年の時を超えて今にその威容を誇っている。又、ローマの水道や道路設備などの都市インフラ技術はその後の西洋社会に計り知れない影響をもたらした。だが、ローマの建築に関するこうした称賛は専らその「技術的」な面に向けられてきた。建築とそれをもたらす社会の関係についてはまだ研究の緒に就いたばかりである。古代ローマの建築家と職業としての建築の関係、建築ビジネスの法的、経済的、企業家的組織、人材や素材の供給方法、都市や郊外の空間を快適な都市や町へと変革した過程などについては多くの点が解明されていない。そこで講義では、こうした観点からローマ建築と社会の関わりについて考えてみたい。実際の講義では、建築・技術史よりも、建築（家）と社会との関わり、建築家を目指す者に必要な素養などに焦点を当てて考察する。実際の授業は欧文テキストの読解を中心に、演習形式で進める。

使用テキスト　James C. Anderson, Roman Architecture and Society. London, 1997.

本年度はローマ建築や建築家の実態、建築家を目指す者に必要な素養などについて考察する。

講義予定
第 1 週 オリエンテーション（授業内容の説明）
第 2 週 The architectural achievements of ancient Rome
第 3 週 The study of ancient Roman architecture 1
第 4 週 The study of ancient Roman architecture 2
第 5 週 The evidence 1
第 6 週 The evidence 2
第 7 週 The realia of Roman architecture 1
第 8 週 The realia of Roman architecture 2
第 9 週 The Latin word architectus
第 10 週 The scope and functions of an architect
第 11 週 The nature of the architectural profession
第 12 週 The balance between skill and theory
第 13 週 Nine areas of learning for the architect 1
第 14 週 Nine areas of learning for the architect 2
第 15 週 後期のまとめ

Roman architecture and society. Focus on the relationship between architecture and society, essential groundings of an architect, more than architectual and technical history.

Text　James C. Anderson, Roman Architecture and Society. London, 1997.

1. Orientaion
2. The architectural achievements of ancient Rome
3. The study of ancient Roman architecture 1
4. The study of ancient Roman architecture 2
5. The evidence 1
6. The evidence 2
7. The realia of Roman architecture 1
8. The realia of Roman architecture 2

9. The Latin word architectus
10. The scope and functions of an architect
11. The nature of the architectural profession
12. The balance between skill and theory
13. Nine areas of learning for the architect 1
14. Nine areas of learning for the architect 2
15. Summary of lecture

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト・世界史図表等を参考に予習してくること。

Review of the last time lecture

関連科目
古代建築に対する基本的な知識（世界史程度）を修得していることが望ましい。
関連科目：西洋史概説
Basic knowledge of ancient architeture

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項
使用テキスト　James C. Anderson, Roman Architecture and Society. London, 1997.
欧文テキストは開講時に配布
Text　James C. Anderson, Roman Architecture and Society. London, 1997.
Distribute at first time lecture.

達成目標
(1)古代ローマ建築について正しく理解することができる。とともに、幅広い人間性、考え方を修得している。
(2)古代ローマの建築概念について正しく把握することができる。とともに、様々な時代の多様な地域の人々の考え方、生き方を理解できる。
(3)ローマ建築史に関する基本的用語を理解することができる。
(4)ローマ建築と社会の関係について正しく理解することができる。
(5)ローマ建築の変遷について正しく理解することができる。とともに、社会環境の変化に対する人間の歴史的な対応について理解することが出来る。
(6)ローマ建築史に関する欧文文献を正確に把握することができる。とともに、人間社会を歴史的、国際的な視点から多面的にとらえることができる。
1. Correct understanding of ancient roman architecture
2. Architectural conception of the Romans
3. Basic technical terms of the roman architecture
4. Roman architecture and society

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
学期末に定期試験を実施し、成績、単位認定を行う。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価基準が学年ごとに異なります。
〇5 段階評価 …学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次向けの開講科目
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
〇4段階評価 …学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次向けの開講科目
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1-3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).

C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2-3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日 午後 1 時～4 時
pm. 1-4(Wednesday)

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
(A) 幅広い人間性と考え方
(D2) 建築史や建築論に関する包括的な専門的知識およびこれらの建築修復等への応用能力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

建築・都市システム学課程
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
This captures a multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind.
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Relevant item

(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
古代、建築、歴史
ancient, architecture, history

(B15620070)環境経済学[Environmental Economics]

科目名[英文名]	環境経済学[Environmental Economics]				
時間割番号	B15620070	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	崔　明姫 Sai Meiki				
ナンバリング	ARC_BAC33320				

授業の目標

・地域・都市づくりにおける環境の役割を理解する。
・地域・都市経済を分析する能力を身に付ける。
・環境と経済との相互関係を記述する方法を学ぶ。
(1)To undestand the role of the environment in regional and urban development.
(2)To master the ability to analyze the regional and urban economy.
(3)To learn the methodology to describe the mutual interaction between the environment and the economy.

授業の内容

この授業では、環境問題がなぜ発生するのか、環境問題を解決するためにどうような対策が必要なのかについて経済的基礎理論に基づいて講義し、さらに環境問題や対策を評価するための分析方法を紹介する。
後期
第１週：環境経済学とは何か
第２週：産業公害と環境問題 1
第３週：産業公害と環境問題 2
第４週：経済学の基礎知識
第５週：経済的視点から見る環境問題 1(市場メカニズム)
第６週：経済的視点から見る環境問題 2(市場メカニズム)
第７週：経済的視点から見る環境問題 3（需要側）
第８週：経済的視点から見る環境問題 4（供給側）
第９週：環境政策の考え方 1（直接規制、経済的手法）
第１０週：環境政策の考え方 2（環境税、補助金、交渉）
第１１週：環境の経済的評価 1（トラベルコスト、CVM など）
第１２週：環境の経済的評価 2（産業連関分析）
第１３週：環境の経済的評価 3（費用便益分析）
第１４週：国際経済と環境
第１５週：持続可能な発展
第１６週：期末試験

予習・復習内容

授業中に配布するプリントをよく読んでおくこと。
Students are required to carefully read the handouts distributed at lecture time.

関連科目

ミクロ経済学（学部科目），マクロ経済学（学部科目）
microeconomics and macroeconomics in undergraduate

教科書に関する補足事項

教科書は指定しません。毎回配布した資料に基づいて授業を行います。
Handouts will be distributed in the lecture.

参考書 1	**書名**	展望21世紀の人と環境			**ISBN**	4-7827-0306-6
	著者名	佐々木胤則　他	**出版社**	三共出版	**出版年**	1994
参考書 2	**書名**	Environmental Economics : An Elementary Introduction			**ISBN**	9780801848636
	著者名	Turner, R. Kerry/ Pearce, David/ Bateman, Ian	**出版社**	Johns Hopkins Univ Press	**出版年**	
参考書 3	**書名**	環境経済学をつかむ			**ISBN**	978464117724-6
	著者名	栗山浩一，馬奈木俊介著	**出版社**	有斐閣	**出版年**	2016
参考書 4	**書名**	環境経済入門			**ISBN**	9784532112790
	著者名	三橋規宏［著］	**出版社**	日本経済新聞出版社	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 地域・都市における環境の役割を理解する。
2. 必要な環境政策を学生自身で考えることができる。
3. 環境政策の評価ができる。
4. 市場経済の限界を知る。
5. 適切な政策立案の方向性が理解できる。

1. To understand the role of the environment in a region/city.
2. To consider a necessary environmental policy by oneself.
3. To evaluate environmental policies.
4. To learn the limitation of the market mechanism.
5. To understand the appropriate direction of environmental policies.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

期末試験1回によって評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標をすべて達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ試験の合計点（100 点満点）が 60 点以上

The student garade is evaluated by the term examination.
The criteria of the evaluation: The credit is given to students who attend all the lectures. The garade is described as follows:
S: given to students who clear all goals of this subject and take the score of more than 90 points of the term examination.
A: given to students who clear all goals of this subject and take the score of more than 80 points of the term examination.
B: given to students who clear 70% of goals of this subject and take the score of more than 70 points of the term examination.
C: given to students who clear 60% of goals of this subject and take the score of more than 60 points of the term examination.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

定期試験で重要となる事項について授業で詳述する。
Important points for the term examination shall be emphasized in my lecture.

その他

メールアドレス：saimeiki1@gmail.com
メールアドレス：saimeiki1@gmail.com

ウェルカムページ

オフィスアワー

火曜日午後3時から4時まで
15:00 to 16:00 on every Tuesday

学習・教育到達目標との対応

建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
（D）【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
特に関連がある項目
特に関連がある項目
(D4)建築法規や積算、建築産業に関わる包括的な専門的知識及び社会的役割や社会的責任との関係を理解できる展開能力を身につけている。
特に関連がある項目
（D）【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
特に関連がある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item

(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Particularly-relevant item
Particularly-relevant item
(D4) Have comprehensive expertise concerning building regulations, building surveys and the building industry; and deployment skills to understand the relationship with social functions and social responsibilities
Particularly-relevant item
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Particularly-relevant item
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills tosearch for, organize and solve problems in a creative way

キーワード

地球環境問題, 持続的発展, 環境税, 排出権市場, 環境・経済統合勘定, 応用一般均衡モデル
global environmental problem, sustainable growth, environmental tax, emission trading market, integrated environmental economic accounting, computable general equilibrium model

(B15620090)国土計画論[Land Planning]

科目名[英文名]	国土計画論[Land Planning]				
時間割番号	B15620090	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	杉木　直, 渋澤　博幸 SUGIKI Nao, SHIBUSAWA Hiroyuki				
ナンバリング	ARC_BAC33320				

授業の目標

国土計画のための立地モデルに関する理論と手法、および国土計画の理念や変遷に関する知識を修得する。

To learn theories and methods on location models for land planning, and knowledge on ideals and transitions of national land planning.

授業の内容

第 1 回目　イントロダクション（杉木、渋澤）
前半（担当：渋澤）
第 2 回目　工業立地モデル
第 3 回目　商業立地モデル
第 4 回目　農業立地モデル
第 5 回目　住宅立地モデル
第 6 回目　都市システム（中心地）モデル
第 7 回目　中心・周辺モデル，自己組織化モデル
第 8 回目　空間集積モデル，知識モデル
後半（担当：杉木）
第 9 回　国土計画とその計画思想
第 10 回　第二次世界戦後までの国土計画
第 11 回　全国総合開発計画
第 12 回　欧米の国土計画の変遷
第 13 回　国土のグランドデザイン
第 14 回　国土形成計画
第 15 回　国土計画の将来展望

1st week: Introduction (H. Shibusawa, N, Sugiki)
First half (Instructor: H. Shibusawa)
2nd week: Industrial location model
3rd week: Commercial location model
4th week: Agricultural location model
5th week: Residential location model
6th week: Urban system model
7th week: Central-peripheral, self-organization Model
8th week: Agglomeration model, knowledge model
Second half (Instructor: N. Sugiki)
9th week: National land planning and the plan ideology
10th week: National land planning before the second world war Ⅱ
11th week: National development plan
12th week: Transition of national land planning of Europe and America
13th week: National grand design
14th week: National spatial planning
15th week: Future perspective of the national land plan

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに、次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと。

Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目

マクロ経済学、ミクロ経済学、土木計画学、社会資本マネジメント

Macroeconomics, Microeconomics, Infrastructure Planning, and Social Capital Management

教科書に関する補足事項

講義時に資料を配布する。

Papers(resume) will be distributed.

参考書 1	**書名**	都市と地域の立地論：立地モデルの理論と応用	**ISBN**	978-4-772-

						25089-4
	著者名	神頭広好著	出版社	古今書院	出版年	2004
参考書 2	書名	国土計画の変遷：効率と衡平の計画思想			ISBN	978-4-306-02397-0
	著者名	川上征雄著	出版社	鹿島出版会	出版年	2008

参考書に関する補足事項

授業の進行に合わせて適宜参考文献・資料を紹介する。

It properly introduces the reference literatures and materials according to the progress of the class.

達成目標

(1) 立地理論の基礎モデルを理解する。
(2) 国土計画の基本用語を理解する。
(3) 国土計画の基本的な考え方を理解する。
(4) 国土計画に関する応用を考えられるようになる。
(1) To understand basic models of location theory.
(2) To understand basic terms of national land planning.
(3) To understand basic idea of national land planning.
(4) To be able to use technique of national land planning.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：前半と後半それぞれの授業終了時に課す課題レポート 2 回（100%）で評価する。
評価基準：評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする。90 点以上を S、80 点以上 90 点未満を A、70 点以上 80 点未満を B、60 点以上 70 点未満を C とする。
Evaluation of achievement: The academic score of reports (2 times) to be imposed at the end of each lesson at the first half and the second half (100%).
Criteria of evaluation: Score S is 90 or higher, score A is 80 or higher to lower than 90, score B is 70 or higher to lower than 80, score C is 60 or higher to lower than 70.

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

渋澤：D-709, 6963, hiro-shibu@tut.jp
杉木：D-705, 6833, sugiki@ace.tut.ac.jp
H. Shibusawa：D-709, 6963, hiro-shibu@tut.jp
N. Sugiki：D-705, 6833, sugiki@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

渋澤：http://www.pm.ace.tut.ac.jp/
杉木：https://sites.google.com/site/trlabotut/
H. Shibusawa：http://www.pm.ace.tut.ac.jp/
N. Sugiki：https://sites.google.com/site/trlabotut/

オフィスアワー

渋澤：木曜日 9:00-10:00
杉木：随時対応可。ただし、事前連絡をすること。
H. Shibusawa: Thursdays 9:00-10:00
N. Sugiki: At any time. Please contact Sugiki by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

建築・都市システム学課程
関連がある項目
(D)【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
(D3)持続可能な都市計画や都市デザインに関する専門的知識及びこれらの環境保全や景観保全等への応用能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D)【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D3) Have specialized knowledge about sustainable urban planning and urban design; and the ability to apply such knowledge to environmental conservation, landscape conservation, etc.
Particularly-relevant item
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills tosearch for, organize and solve problems in a creative way

キーワード
立地論, 国土総合開発計画, グランドデザイン, 国土形成計画
Location theory, National development plan, National grand design, National spatial planning

(B15620100)社会資本マネジメント[Social Capital Management]

科目名[英文名]	社会資本マネジメント[Social Capital Management]				
時間割番号	B15620100	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	渋澤　博幸 SHIBUSAWA Hiroyuki				
ナンバリング	ARC_BAC33320				

授業の目標

社会資本マネジメントの基礎と経済性分析手法について解説する。

Students learn the fundamental of the social capital management and evaluation methodologies.

授業の内容

授業の内容
第 1-2 週：社会資本とマネジメント
第 3-4 週：ライフサイクルコスト分析
第 5-6 週：費用便益分析
第 7-8 週：地方公共財
第 9-11 週：公会計
第 12-15 週：経済効果分析（産業連関モデル，計量経済モデル）

Course Outline
1st-2nd weeks: social capital and management
3rd-4th weeks: life cycle cost analysis
5th-6th weeks: cost benefit analysis
7th-8th weeks: local public goods
9th-11th weeks: accounting in public sector
12th-15th weeks: evaluation methodology (input-output model, econometric model)

予習・復習内容

予習は，授業前に参考資料・文献を読み理解すること．復習は，演習問題を解きなおし，理解度を高めること．
Required Assignments
Students are required to learn topics and exercises before and after each class.

関連科目

国土計画論，環境経済学
Land planning, Environmental economics

教科書に関する補足事項

レジュメを配布する。

Papers(resume) will be distributed.

参考書 1	**書名**	Cost Benefit Analysis- Concepts and Practice (4th Edition)			**ISBN**	978-0137002696
	著者名	Anthony E. Boardman etc.	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	2010
参考書 2	**書名**	これだけは知っておきたい社会資本アセットマネジメント			**ISBN**	9784627452510
	著者名	吉田・保田・川谷・竹林	**出版社**	森北出版株式会社	**出版年**	
参考書 3	**書名**	建設マネジメント　総合技術管理へのアプローチ			**ISBN**	9784306024120
	著者名	市野道明・田中豊明	**出版社**	鹿島出版会	**出版年**	2009
参考書 4	**書名**	Cost Benefit Analysis- Concepts and Practice (4th Edition)			**ISBN**	978-0137002696
	著者名	Vining A.R.; Weimer D.L.	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	2010

参考書に関する補足事項

達成目標
社会資本マネジメントの必要性や課題を説明できる。
ライフサイクルコスト分析について説明できる。
費用便益分析について説明できる。
公会計について説明できる。
社会資本の経済効果の分析方法を説明できる。
Acquiring the knowledge of subjects and necessities of the social capital management.
Acquiring the ability to perform the life cycle cost analysis.
Acquiring the ability to perform the cost-benefit analysis.
Enhancing the knowledge of the accoutring system in public sector.
Cultivating the evaluation methodology using economic models (Input-Output model, econometrics) .

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
レポート点 50%、小テスト(数回実施)50%とし、これらの合計で評価する.
評価基準:原則的に全ての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する.
達成目標を含んだレポートとテストを行う.
学部 4 年生
A: テスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B: テスト・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C: テスト・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上
(受講者数により、テストをレポートに変更する場合がある)

Evaluation criteria
Evaluation is based primarily on examinations (50 points) and reports (50points), totally 100 points.

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B4
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
www.pm.ace.tut.ac.jp
www.pm.ace.tut.ac.jp

オフィスアワー
木曜日 9:00-10:00
Thursdays 9:00-10:00

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
(D4) 建築法規や積算、建築産業に関わる包括的な専門的知識および社会的役割や社会的責任との関係を理解できる展開能力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて, 建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し, 創造性を発揮して課題を探求, 組み立て, 解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

(D4)建築法規や積算、建築産業に関わる包括的な専門的知識及び社会的役割や社会的責任との関係を理解できる展開能力を身につけている。
関連がある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。
特に関連がある項目

(D4) Have comprehensive expertise concerning building regulations, building surveys and the building industry; and deployment skills to understand the relationship with social functions and social responsibilities
Relevant item
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills tosearch for, organize and solve problems in a creative way
Particularly-relevant item

キーワード
社会資本，マネジメント

(B15620110)鋼構造学[Steel Structures]

科目名[英文名]	鋼構造学[Steel Structures]				
時間割番号	B15620110	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中澤　祥二, 松本　幸大 NAKAZAWA Shoji, MATSUMOTO Yukihiro				
ナンバリング	ARC_BAC32220				

授業の目標

安全な構造物を建設するに必要な最も基本的な力学を習得した技術者を養成することを目標として，鋼材の特徴を理解し，それを建設構造として設計・施工するにあたって重要となる基本的な事項について，講義に演習を随時加えながら，講述する。

The purposes of lecture are to acquire fundamental ability for design and construction of safe steel structure through understanding a characteristics of steel material based on the previously learned structural mechanics.

This lecture is consisted of instruction and some practical problems.

授業の内容

第1部（前半）

第　1週　第1章・鉄骨構造の仕組み
　　第2章・鋼材の基本的性質（その1）

第　2週　第2章・鋼材の基本的性質（その2）
　　第 11 章・構造設計の方法（許容応力度）

第　3週　第7章・高力ボルト，ボルト接合（その1）

第　4週　第7章・高力ボルト，ボルト接合（その2）

第　5週　第8章・溶接（その1）

第　6週　第8章・溶接（その2）

第　7週　第9章・接合部

第　8週　総合演習・定期試験

第2部（後半）

第　9週　第3章・引張り材

第10週　第4章・圧縮材（その1）

第11週　第4章・圧縮材（その2）

第12週　第5章・曲げ材（その1）

第13週　第5章・曲げ材（その2）

第14週　第6章・軸力と曲げを受ける材

第15週　総合演習

第16週　総合演習・定期試験

1; Fundamentals of steel structure, Characteristics of steel material
2; Characteristics of steel material, Structural design – allowable stress design –
3; High-strength bolt, Bolted connections
4; High-strength bolt, Bolted connections
5; Welded Joints
6; Welded Joints
7; Connection in steel structures
8; Suggested problems, 1st examination

9; Tension members
10; Compression members
11; Compression members
12; Bending member
13; Bending member
14; Member under axial force and bending moment
15; Suggested problems
16; Suggested problems, 2nd examination

予習・復習内容

受講生は，毎回の講義内容を復習するとともに，次回の内容について配布プリントや教科書等を参考に予習してくることが求められる。

関連科目

構造力学 I，構造力学 II，構造力学 III，構造材料力学
Structural mechanics 1, 2 and 3
Structural material and mechanics

教科書 1	**書名**	基礎からの鉄骨構造			**ISBN**	4627552416
	著者名	高梨晃一・福島暁男	**出版社**	森北出版	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	鋼構造設計規準－許容応力度設計法			**ISBN**	4818905623
	著者名	日本建築学会	**出版社**		**出版年**	2005
参考書 2	**書名**	わかりやすい鉄骨構造の設計			**ISBN**	
	著者名	村内　明，古谷　勉	**出版社**	理工図書	**出版年**	2002

参考書に関する補足事項

達成目標

（1）鉄骨構造の基本的な構成を理解する.
（2）鋼構造の各種接合法とその設計に関する基礎的事項を理解する.
（3）各種鋼部材の断面算定の方法を理解する.

(1) Acquiring fundamental knowledge on constitution of steel structure.
(2) Acquiring fundamental knowledge on connection and ability on design method of steel structure.
(3) Acquiring fundamental ability on proportioning of section for steel members.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

【成績の評価法】
原則として中間・期末試験結果を基に成績を評価する.
【評価基準】
中間・期末試験，それぞれ 55 点以上を獲得したものを最終評価の対象とする.
上記達成目標の達成度に対して，評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする. 90 点以上を S，80 点以上を A，70 点以上 80 点未満を B，60 点以上 70 点未満を C とする.
評価点は中間試験と定期試験の各結果（各 100 点満点）を相加平均した点数とする.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.st.ace.tut.ac.jp/~nakazawa/
http://www.st.ace.tut.ac.jp/~nakazawa/

オフィスアワー

毎週月曜日 16 時 20 分から 17 時 50 分（中澤）
事前にメール等で時間調整を行い，随時対応する.（松本幸大）
Nakazawa: Monday 16:20-17:50
Matsumoto: It will be scheduled by email.

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目

(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
(D5)建築に必要な構造、材料及び施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識を身につけている。
（D）【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
特に関連がある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
(D5) Have specialized knowledge about structures, materials and construction required for architecture; and comprehensive expertise to consistently understand various stages from fundamental surveys and building construction methods toconstruction works, aiming at realizing a construction
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Particularly-relevant item
(D2) Have fundamental knowledge of infrastructure engineering through taking basic courses relating to civil engineering.

キーワード
鋼材，許容応力度，溶接，高力ボルト，引張材，圧縮材，曲げ材
鋼材，許容応力度，溶接，高力ボルト，引張材，圧縮材，曲げ材

(B15620120)構造力学Ⅳ[Structural Mechanics 4]

科目名[英文名]	構造力学Ⅳ[Structural Mechanics 4]				
時間割番号	B15620120	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	中澤　祥二 NAKAZAWA Shoji				
ナンバリング	ARC_BAC32122				

授業の目標

コンピュータを用いた構造解析の基礎となる数値解析手法を学習すると共に，建設構造物のマトリクス構造解析法による数値解析手法の基礎を学習する．また，トラス構造と簡単なラーメン構造の FORTRAN 言語を利用した構造解析プログラムの実際についても講義する．

Learn technologies of the numerical analysis by using finite element method (FEM) analysis. The base of the numerical analysis technique by the FEM analysis method of a construction structure is learned. Moreover, the structural analysis programs using the FORTRAN language for plain truss structures and plain frame structures are developed.

授業の内容

第 1 部：構造解析法の概説

第 2 部のマトリクス構造解析法の基礎となる「マトリクス演算」，「連立方程式の解法」などに関する基礎的な学習を FORTRAN 言語を用いて学習する．

第　1週　ガイダンス：構造分野における数値解析法の歴史
第　2週　建設分野の情報処理法
第　3週　構造解析の基礎（その1）「プログラムの基礎（1）」
第　4週　構造解析の基礎（その2）「プログラムの基礎（2）」
第　5週　構造解析の基礎（その3）「マトリクス演算」
第　6週　構造解析の基礎（その4）「連立方程式の解法」
第　7週　構造解析の基礎（その5）「数値積分法」
第　8週　レポートの作成と総合演習

第2部：平面トラスおよび平面ラーメン構造の構造解析

マトリクス構造解析の例として，FORTRAN 言語を利用した平面トラスおよび平面ラーメン構造の構造解析を学習する．

第　9週　平面トラス構造のマトリクス構造解析の基礎理論（その1）
第10週　平面トラス構造のマトリクス構造解析の基礎理論（その2）
第11週　平面トラス構造のマトリクス構造解析（その1）
第12週　平面トラス構造のマトリクス構造解析（その2）
第13週　平面ラーメン構造のマトリクス構造解析の基礎理論
第14週　平面ラーメン構造のマトリクス構造解析
第15週　マトリクス構造解析法を用いた構造物の応力解析
第16週　レポートの作成

Part I: Outline of Structural Analysis Method
1st week, Introductory guidance, History of the numerical-analysis method in the structure field
2nd week, Structural analysis of the architecture and civil engineering field
3rd week, Base of structural analysis; Part 1
4th week, Base of structural analysis; Part 2
5th week, Base of structural analysis; Part 3, Matrix operation
6th week, Base of structural analysis; Part 4, Solution of simultaneous equations
7th week, Base of structural analysis; Part 5, Numerical integration
8th week, Summary: 30 min., regular examination: 60 min.

Part II: Structural Analysis of Plane Truss and Plane Frame structure
9th week, Basic theory of the FEM analysis of plane truss structure; Part 1
10th week, Basic theory of the FEM analysis of plane truss structure; Part 2
11th week, FEM analysis for plane truss structures; Part 1
12th week, FEM analysis for plane truss structures; Part 2
13th week, FEM analysis for plane truss structures; Part 3
14th week, FEM analysis for plane frame structures; Part 1
15th week, FEM analysis for plane frame structures; Part 2
16th week, Practice

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと．

関連科目
構造力学Ⅲ、建設数学
Structural mechanics 3

教科書に関する補足事項
プリントを配布
http://www.st.ace.tut.ac.jp/~nakazawa からダウンロード可能
参考図書：Fortran77 に準拠した適切な文法書を用意し，持参することが望ましい．

参考書に関する補足事項

達成目標
1）Fortran 言語の文法を理解し、簡単なプログラミングが作成できること
2）平面トラスのマトリクス法のプログラミングが理解できること
3）平面トラスのプログラムを用いて応力解析を行い、その結果を用いた構造設計（断面算定）ができること
1) understand the grammar of FORTAN language
2) understand programming of the FEM analysis for plane truss structures and plane frame structures
3) understand the analytical method of structural behaviors by using the FEM analysis

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
【評価方法】
第 1 部のレポート 30%，第 1 部の試験 30%，第 2 部のレポート 40%の割合で総合的に判断する．
【評価基準】
原則的にすべての講義に出席し、課題等をすべて提出したものにつき、上記達成目標の達成度に対して上記の評価点（100 点満点）が 60 点以上のものを合格とする．また，90 点以上を S、80 点以上を A、70 点以上 80 点未満を B、60 点未満を C とする。
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.st.ace.tut.ac.jp/~nakazawa/
http://www.st.ace.tut.ac.jp/~nakazawa/

オフィスアワー
毎週月曜日１６時２０分から１７時５０分
Nakazawa: Monday 16:20-17:50

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

キーワード

(B15620130)建設材料学[Construction Materials]

科目名[英文名]	建設材料学[Construction Materials]				
時間割番号	B15620130	区分	建築・都市専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	後期	曜日時限	月 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	松井　智哉, 松本　幸大 MATSUI Tomoya, MATSUMOTO Yukihiro				
ナンバリング	ARC_BAC32322				

授業の目標

建設材料のうち最も基本的な構造材料であるコンクリート，鉄鋼および木質材料について，その基本的性質およびそれらの原材料，製造プロセスなどを理解する．また，セメント系複合材料，繊維補強複合材料などの先進材料についても概説する．

Learn basic characteristics, raw material, and manufacture process of concrete, steel, and timber that are the most common structural materials in construction materials.
Learn advanced materials such as cementitious composite materials and fiber reinforced composite materials.

授業の内容

第　1週　概要説明
第　2週　材料の一般的性質を学ぶ上での基礎の復習
第　3週　セメント
第　4週　骨材
第　5週　コンクリートの製造とフレッシュコンクリートの性質
第　6週　硬化コンクリートの性質
第　7週　セメント系複合材料の基本特性
第　8週　中間試験
第　9週　鉄鋼の製法と基本的性質
第10週　構造用鋼材
第11週　木材（製材）の基礎と特性
第12週　木質材料の基礎と特性
第13週　ガラス材料の基本特性
第14週　高分子材料の基本特性
第15週　繊維補強複合材料（FRP）
1st week, Introduction
2nd week, Review of basis of general characteristics of materials
3rd week, Cement
4th week, Aggregates
5th week, Manufacture of concrete and characteristics of fresh concrete
6th week, Characteristics of hardened concrete
7th week, basic characteristics of cementitious composite materials
8th week, Midterm exam
9th week, Manufacture and basic characteristic of steel
10th week, structural steel
11th week, Basis and characteristics of timber
12th week, Basis and characteristics of wood-based materials
13th week, Basis and characteristics of glass materials
14th week, Basis and characteristics of polymer material
15th week, Fiber reinforced composite material (Fiber Reinforced Plastics)

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと．

関連科目

構造力学，鉄筋コンクリート構造学，鋼構造学

Structural mechanics, Reinforced concrete structures, and Steel structures

教科書に関する補足事項

参考書 1	書名	建築材料を学ぶ　その選択から施工まで		ISBN	
	著者名	谷川恭雄	出版社　理工図書	出版年	2009
参考書 2	書名	Fundamentals of Building Construction: Materials		ISBN	1118138910

		and Methods				
	著者名		出版社	Wiley	出版年	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

建設材料のうち以下の構造材料についての正しい理解を深める.
(1)コンクリートの特徴を他の材料との比較で的確に説明できる.
(2)コンクリート材料としてセメント・骨材に関する正しい知識を持つ.
(3)固まった後のコンクリートの力学特性を理解し説明できる.
(4)鋼材の力学的性質を理解し説明できる.
(5)木材の力学的性質を理解し説明できる.
(6)セメント系複合材料, 繊維補強複合材料などの先進材料の知識を得る.
- Explain the characteristic of concrete in comparison with other materials
- Acquire the knowledge of cement and aggregate
- Understand the mechanical characteristics of hardened concrete
- Understand the mechanical characteristics of steel
- Understand the mechanical characteristics of timber
- Acquire the knowledge of advanced materials such as cementitious composite materials and fiber reinforced composite materials.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

-成績の評価法-
中間試験(50%)と期末レポート(50%)を総合して評価する.
-評価基準-
S:評価点(100点満点)が90点以上
A:評価点(100点満点)が80点以上
B:評価点(100点満点)が70点以上
C:評価点(100点満点)が60点以上

Assessment:
Grade is evaluated based on the midterm exam (50%), and the final report(50%).
Grading:
S: exam, 90 or higher (out of 100 points)
A: exam, 80 or higher (out of 100 points)
B: exam, 70 or higher (out of 100 points)
C: exam, 60 or higher (out of 100 points)

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

matsui@ace.tut.ac.jp(松井, D 棟 8F:D-807 号室)
y-matsum@ace.tut.ac.jp(松本幸大, D 棟 8F:D-804 号室)
matsui@ace.tut.ac.jp(Matsui, D-8F:room 807)
y-matsum@ace.tut.ac.jp(Y.Matsumoto, D-8F:room 804)

ウェルカムページ

http://www.rc.ace.tut.ac.jp/matsui/index.html (Matsui)
http://www.rc.ace.tut.ac.jp/matsui/index.html (松井)

オフィスアワー

事前にメール等で時間調整を行い, 随時対応する.(松井)
事前にメール等で時間調整を行い, 随時対応する.(松本幸大)
Wed,15:00～17:30 (Matsui)
It will be scheduled by Email. (Matsumoto)

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】

特に関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

建築・都市システム学課程
（D）【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
特に関連がある項目
(D5)建築に必要な構造、材料及び施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識を身につけている。
（D）【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
特に関連がある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Particularly-relevant item
(D5) Have specialized knowledge about structures, materials and construction required for architecture; and comprehensive expertise to consistently understand various stages from fundamental surveys and building construction methods toconstruction works, aiming at realizing a construction
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Particularly-relevant item
(D2) Have fundamental knowledge of infrastructure engineering through taking basic courses relating to civil engineering.

キーワード

(B15620140)構造計画学[Structural Planning and Design]

科目名[英文名]	構造計画学[Structural Planning and Design]				
時間割番号	B15620140	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	松井　智哉 MATSUI Tomoya				
ナンバリング	ARC_BAC32220				

授業の目標

安全な構造物を建設するに必要な最も基本的な力学を習得した技術者を養成することを目標として，建築構造物の構造計画手法の概要と耐震設計法と，それら建設構造物の保有水平耐力設計法の基礎について，講義に演習を随時加えながら，講述する.

The basic objectives of this course is as follows to aim to train engineers who acquire basic skill to design buildings,

- Learn the outline of structural planning and seismic design method of buildings
- Learn the basis of lateral load carrying capacity design method of buildings

授業の内容

第1部　構造デザイン法の概説

第　1週　各種構造物の特性
第　2週　構造計画（耐震計算）の流れ
第　3週　荷重（自重，積載，風，雪，地震）のモデル化と構造設計
第　4週　水平荷重時の応力の算定
第　5週　保有水平耐力と崩壊メカニズム
第　6週　剛性率，偏心率，構造特性係数の算定
第　7週　必要保有水平耐力の算定，総合演習
第　8週　定期試験

第2部　保有水平耐力設計法の基礎

第　9週　ガイダンス：弾性設計と塑性設計の違い／建物の崩壊荷重
第10週　曲げ部材の降伏モーメントと全塑性モーメント
第11週　上界定理と下界定理／
第12週　荷重増分法による崩壊荷重
第13週　メカニズム法による崩壊荷重
第14週　仮想仕事の原理による極限解析
第15週　骨組構造の保有水平耐力

- Part 1 Overview of structural design

1. Characteristics of structural systems
2. Structural planning (Seismic design)
3. Modeling of load (dead load, live load, wind, snow, earthquake) in structural design
4. Calculation of stress in building at a lateral load
5. Lateral load carrying capacity and failure mechanism
6. Calculation of stiffness ratio, eccentricity ratio, and structural characteristics factor
7. Calculation of required lateral load carrying capacity
8. Midterm exam

- Part 2　Basis of lateral load carrying capacity design method

9. Elastic design and plastic design
10.Yield moment and full plastic moment of flexural member
11.Upper bound theorem and lower bound theorem
12.Collapse load calculated by incremental load method
13.Collapse load calculated by mechanism method
14.Limit analysis by principle of virtual work
15.Lateral load carrying capacity of frame structure
16.Final exam

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

構造力学Ⅲ，鋼構造学，鉄筋コンクリート構造学

Structural mechanics 3, Steel structures, Reinforced concrete

教科書に関する補足事項

教科書：特に無し．必要な資料は講義で配布する.

Text: None

参考書に関する補足事項

達成目標
（1）塑性設計に必要な全塑性モーメントが計算できる。
（2）仮想仕事の原理を用いた，骨組構造の極限解析の基本を理解できる。
（3）建設構造物の構造計画の流れと各種モデル化を理解できる。
（4）建設構造物の耐震性能を検定するに必要な考え方が理解できる.

(1) Calculate full plastic moment for plastic design
(2) Understand basis of limit analysis of frame structures with principle of virtual work
(3) Understand modelings and structural planning procedure of structural design
(4) Understand concept for seismic design of buildings

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
-成績の評価法-
中間試験（50%）と期末試験（50%）を総合して評価する.
-評価基準-
S：評価点（100点満点）が90点以上
A：評価点（100点満点）が80点以上
B：評価点（100点満点）が70点以上
C：評価点（100点満点）が60点以上
The grading is calculated using average of midterm and final examination.
S: exam, 90 or higher (out of 100 points)
A: exam, 80 or higher (out of 100 points)
B: exam, 70 or higher (out of 100 points)
C: exam, 60 or higher (out of 100 points)

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
教官室：D-807
電話番号：44-6848（松井）
E メール：matsui@ace.tut.ac.jp（松井）

Room: D-807
Tel: 6848
E-mail: matsui@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://www.rc.ace.tut.ac.jp/matsui/index.html（松井）

http://www.rc.ace.tut.ac.jp/matsui/index.html

オフィスアワー
水曜日 15:00～17:30

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

キーワード
構造計画，荷重，許容応力度，断面算定，塑性解析，極限解析，保有耐力
Structural planning, Load, Allowable stress, Cross-section calculation, Plastic analysis, Limite analysis, Lateral load carrying capacity

(B15620150)流れと波の力学[Mechanics for Flow and Wave]

科目名[英文名]	流れと波の力学[Mechanics for Flow and Wave]				
時間割番号	B15620150	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	加藤　茂 KATO Shigeru				
ナンバリング	ARC_BAC34322				

授業の目標

「基礎水理学」や高専等での水理学(基礎)関連科目の発展科目として，河川や海岸における力学を学習し，その知識を身に付ける.

The objective of this course is to learn the mechanics in river and coast and to acquire the knowledge as an advanced subject of hydraulics-related subjects, such as fundamental hydraulics in 1st grade and hydraulics in college of technology

授業の内容

第 1 週:流れの種類
第 2 週:常流・射流とその水面形
第 3 週:比エネルギーと限界水深
第 4 週:流れの水面形
第 5 週:跳水と運動量保存則
第 6 週:等流
第 7 週:開水路における水面形
第 8 週:まとめ 45 分，中間試験 45 分

第 9 週:波に関する基礎知識
第 10 週:微小振幅波理論(1)
第 11 週:微小振幅は理論(2)
第 12 週:波の運動
第 13 週:波のエネルギーと波の変形
第 14 週:長周期の波
第 15 週:波の統計的性質
第 16 週:まとめ 45 分，期末試験 45 分
1st week, Basic knowledge of hydraulics
2nd week, Type of flows
3rd week, Subcritical/supercritical flows and their water surface profiles
4th week, Water surface profile of flow
5th week, Hydraulic jump and conservation of momentum
6th week, Uniform flow
7th week, Open channel flow
8th week, Summary; 45 min, Midterm examination; 45 min

9th week, Basic knowledge of wave
10th week, Small amplitude wave theory (1)
11th week, Small amplitude wave theory (2)
12th week, Wave motion
13th week, Wave energy and transformation
14th week, Long-period wave
15th week, Statistical property of wave
16th week, Summary; 45 min, Term-end examination; 45 min

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目

基礎水理学，水工学演習，水圏環境防災学

Fundamental hydraulics, Hydraulic Engineering Exercise, Mechanics for Flow and Wave

教科書に関する補足事項

特に指定はしない．適宜，授業内容に関する資料を配布する.

No specific textbook is used.
The resume or related handouts are distributed.

参考書 1	**書名**	図説わかる水理学			**ISBN**	
	著者名	井上和也 編	**出版社**	学芸出版社	**出版年**	
参考書 2	**書名**	海岸環境工学			**ISBN**	
	著者名	岩田好一朗 他	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	
参考書 3	**書名**	Hydraulics in Civil and Environmental Engineering (5th Edition)			**ISBN**	9780415672450
	著者名	Andrew Chadwick, John Morfett, Martin Borthwick	**出版社**	CRC Press	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項
高専や本学 1, 2 年次に使用した関連分野の教科書を有効に利用すること.
The textbooks and materials that had been used in related subjects of university and college of technology should be used effectively.

達成目標
(1) 河川や海岸での流れや波の現象に関する専門分野の基礎知識を習得する.
(2) 関係する用語や基本法則・定理, 基礎方程式などを理解する.

(1) Acquiring the fundamental knowledge on phenomena of flow and wave in river and coast
(2) Understanding technical terms, fundamental laws, theorems and governing equations on the phenomena

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
(評価方法)
中間試験(45%), 期末試験(45%), レポート(10%)
レポートが提出されない場合や 4 回以上欠席した場合(原則すべての講義に出席)は単位を認めない.

(評価基準)
上記達成目標の達成度について評価し, 評価点(100 点満点)が 60 点以上を合格とする.
90 点以上を S, 80 点以上 90 点未満を A, 70 点以上 80 点未満を B, 60 点以上 70 点未満を C とする.
※ただし, 過年度生が履修した場合には, 従来(A～C)の評価基準を適用する.

Students are required to attend essentially all classes, and to submit all assignments for evaluation.
More than four classes of absence are not allowed for evaluation.
Evaluation is based on total points (out of 100 points) of a midterm examination (45%), a term-end examination (45%) and reports (10%).

Grade, S: 90 or higher, A: 80 or higher to lower than 90, B: 70 or higher to lower than 80, C: 60 or higher to lower than 70.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
加藤:D-812, 6853, s-kato@ace.tut.ac.jp
S. Kato: D-812, 6853, s-kato@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
加藤: http://www.umi.ace.tut.ac.jp/
S. Kato: http://www.umi.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
加藤: 随時対応する. ただし, メールもしくは授業時にアポを取ること.
S. Kato: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目

(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

(Civil and Environmental Engineering Course)
[Particularly-relavant item]
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering

(Architecture and Building Science Course)
[Relavant item]
(D5) Technical knowledge on architectural structure, building material, building construction; overall expertise in grasping the integration of fundamental research, building construction methods and construction execution toward completion of a building

キーワード
流れ，波，力学，河川，海岸
Flow, Wave, Mechanics, River, Coast

(B15620160)土木計画学[Infrastructure Planning]

科目名[英文名]	土木計画学[Infrastructure Planning]				
時間割番号	B15620160	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	杉木　直 SUGIKI Nao				
ナンバリング	ARC_BAC33320				

授業の目標

土木計画の基本的考え方について理解するとともに、土木計画の策定において必要となる各種の数学的手法について、その基礎理論を理解し、実際の問題への適用方法を身につける。建築コース、社会基盤コースともに、施設整備計画や運用策の策定・評価に際して必要となる基礎的な確率統計的手法、数理最適化手法を習得する。

Understand the basic concept of infrastructure planning, the various mathematical techniques that are required in the development of infrastructure planning, to understand the basic theory, to acquire how to apply to the actual problem. For both architecture course and civil engineering courses, basic probability statistical methods that are required during the formulation and evaluation of facility development planning and operational measures, to master the mathematical optimization techniques.

授業の内容

以下の事項について講義し、演習問題を課すことを通じて計画問題への適用方法の概略を学ぶ。

第 1～3 回　土木計画の意義と策定プロセス
第 4 回　確率の基本概念と演算法則
第 5 回　確率変数と確率分布
第 6～8 回　確率変数の関数
第 9 回　記述統計
第 10～12 回　統計的推測と標本調査
第 13 回　線形計画法
第 14 回　ネットワーク計画法
第 15 回　プロジェクトの工程管理
第 16 回　定期試験

The lecture on the following matters, learn the outline of how to apply to planning issues through imposing exercises.
1st week: Social capital and infrastructure planning
2nd week: Process, contents and object of infrastructure planning
3rd week: Need for infrastructure planning, effects of social infrastructure, development and its evaluation methods
4th week: The basic concepts and operation laws of probability
5th week: Random variable and probability distribution
6th-8th week: Probability variable function
9th week: Descriptive Statistics
10th-12th week: Statistical estimation and sample surveys
13th week: Linear programming
14th week: Network planning method
15th week: Project process management
16th week: Term examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに、次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと。

Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目

交通システム工学、土木数理演習Ⅱ
Transportation System Engineering, Mathematical Training for Civil Engineering 2

教科書に関する補足事項

講義毎に資料を配布する。
Papers(resume) will be distributed.

参考書 1	**書名**	図説わかる土木計画			**ISBN**	978-4-7615-3208-6
	著者名	新田保次　監修,松村暢彦　編著,石内鉄平, 伊勢昇, 猪井博登, 森田哲夫, 柳原崇男 著,	**出版社**	学芸出版社	**出版年**	2013

参考書 2	書名	土木計画学			ISBN	4-306-02229-3
	著者名	河上省吾編著,	出版社	鹿島出版会	出版年	1991

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 土木計画の意義と策定プロセスの概要を理解する。
2. 確率の基本概念、確率変数と確率分布、確率変数の関数の取り扱い方について理解し、土木計画への適用方法を身につける。
3. 統計的手法の基本的考え方を理解し、土木計画への適用方法を身につける。
4. 線形計画法を中心に OR 統計的手法の基本的考え方を理解し、土木計画への適用方法を身につける。

1.Understanding an overview of the significance and the development process of the civil engineering planning.
2. Basic concepts, random variables and probability distribution, to understand how to deal with the function of the random variable, to acquire how to apply to the civil engineering planning.
3. To understand the basic concept of statistical methods, to acquire how to apply to the civil engineering planning.
4. Understanding the basic concept of OR statistical methods at the center on linear programing, and to learn how to apply to the civil engineering planning.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：定期試験1回（100%）で評価する。
評価基準：評価点（100 点満点）が 60 点以上を合格とする。90 点以上を S、80 点以上 90 点未満を A、70 点以上 80 点未満を B、60 点以上 70 点未満を C とする。
Evaluation of achievement: The academic score of each student is evaluated by the term examination (100%).
Criteria of evaluation: Score S is 90 or higher, score A is 80 or higher to lower than 90, score B is 70 or higher to lower than 80, score C is 60 or higher to lower than 70.

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

杉木：D-705, 6833, sugiki@ace.tut.ac.jp
N. Sugiki：D-705, 6833, sugiki@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

杉木： https://sites.google.com/site/trlabotut/
N. Sugiki： https://sites.google.com/site/trlabotut/

オフィスアワー

随時対応可。ただし、事前連絡をすること。
At any time. Please contact Sugiki by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

建築・都市システム学課程
関連がある項目
(C)【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
(D)【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
(D3)持続可能な都市計画や都市デザインに関する専門的知識及びこれらの環境保全や景観保全等への応用能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D)【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D3) Have specialized knowledge about sustainable urban planning and urban design; and the ability to apply such knowledge to environmental conservation, landscape conservation, etc.

Particularly-relevant item (D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences (D2) Have fundamental knowledge of infrastructure engineering through taking basic courses relating to civil engineering.
キーワード 土木計画、確率統計、数理最適化手法 Infrastructure planning, Probability and statistics, Mathematical optimization techniques

(B15620170)測量学Ⅱ[Surveying 2]

科目名[英文名]	測量学Ⅱ[Surveying 2]				
時間割番号	B15620170	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也, 大西　俊次 MIURA Kinya, ONISHI Shunji				
ナンバリング	ARC_BAC33320				

授業の目標

測量は，地球上の諸点の相互関係及び位置を確定し，それらを基に地図に表現する科学技術である． 近年の測量は，基本的地図・建設事業の基礎資料の作成から都市及び地域の整備，土地利用計画，社会基盤整備への支援，地震による地殻変動・地球環境対策への調査，構造物の安全管理，大規模建設工事における高精度化等が求められている． 電子技術，宇宙技術を利用した新しい測量技術は，こうしたニーズに的確に対応している． なかでも，最新先端技術を応用した GNSS（全地球測位航法衛星システム），GIS（地理情報システム），RS（ﾘﾓｰﾄｾﾝｼﾝｸﾞ），レーザ測量は，近年急速に進展し，測位，計測，情報の収集及び支援技術として利用されている． 新たに法制化（H19.5）された地理空間情報活用推進基本法は，国民の安全・安心と経済の発展を目的にし，国の重要施策を進める法律でもある． 地理空間情報の収集と活用は，まさにその中核が最新の測量技術であり，測量技術が果たすべき役割・使命の重要性が窺われる． 測量は，建築・都市システム学をより進める上で重要な学問である． 講義では，測量学Ⅰで学んだ測量の基礎をもとに，最新の測量技術と応用測量について幅広く学ぶ． 特に，社会基盤コースでは，実験・観測の計画・遂行，データの正確な解析，科学技術的な視点から考察・説明する能力を養うことを目的とする．

Learn new survey technologies and outline of applied survey; GNSS (Global Navigation Satellite System), GIS (Geographic Information System), RS (Remote Sensing) and laser surveying. Following the class Survey I Acquire the methods for planning of experiments and observations, analysis of obtained data, and interpretation of the data from the point of technological view.

授業の内容

第1週　講義の概要・測量ビジョン　：　講義ガイダンス，測量技術が社会のニーズに対応するには
第2週　最近の測量技術情報　　：　最近の測量技術情報等について解説する．各講義の中でも逐次解説する．
第3週　測量関連法の概要　　：　測量法・地理空間情報活用推進基本法等，測量関連法の概要を解説する．
第4週　測量・測地学の基礎事項　：　測量・測地学の基礎，日本・世界の基準，宇宙測地技術(SLR, VLB I)等を画像(PP)と共に解説する．
第5週　　〃　　：　地球の形状，地球楕円体と測地基準系、日本の測地系、国家基準点体系等を解説する．
第6週　　〃　　：　楕円体から平面投影、世界座標、特殊基準面等について解説する．
第7週　測量の誤差，網平均計算理論と実際　：　測量の誤差と精度，重量，誤差の拡張，推定精度等を解説する．
第8週　　〃　　：　簡易網平均計算と厳密網平均計算、観測方程式解法，結果の評価等を解説する．
第9週　測量機器の理論と応用　　：　光波測距儀,TS(ﾄｰﾀﾙ･ｽﾃｰｼｮﾝ)の測定理論と機能の利活用等を解説する．
第 10 週　　〃　　：　電子平板，電子レベル等の測定機能、有効性と利活用等を解説する．
第 11 週　GNSS 測量の概要と技術の応用　　：　人工衛星による測位ｼｽﾃﾑ(GNSS)・日本の準天頂衛星ｼｽﾃﾑの概要を解説する．
第 12 週　　〃　　：　GNSS(GPS)の測位法、電子基準点網、RTK 測量の概要と観測の実例等を解説する．
第 13 週　基盤地図情報と GIS（地理情報システム）：　基盤地図情報の概要、地理空間情報と統合・管理・分析するシステム等を解説する．
第 14 週　各種レーザ測量・RS(ﾘﾓｰﾄｾﾝｼﾝｸﾞ)の概要　：　航空レーザ測量，車載写真レーザ測量等，レーザー技術を用いた広範な測量調査，自然環境の把握等，UAV（無人航空機）の利用等の概要を解説する．
第 15 週　応用測量の概要　　：　応用測量(路線・河川・用地測量等)の概要を解説する．
第 16 週　期末試験

1st week, Guidance; outline of the course and vision for surveying
2nd week, Information of new surveying technology
3rd week, Outlines of the law system for surveying
4-6th weeks, Fundamentals for surveying and geodetics
7-8th weeks, Errors in surveying and theories of network adjustment
9-10th weeks, survey instrument; theory and applications
11-12th weeks, GNSS survey; outline and application
13th week, fundamental geospatial data
14th week, laser survey technology and outline of remote sensing
15th week, outline of applied surveying
16th week, Examination

予習・復習内容

講義毎の内容について復習し、不明点は残すことなく参考図書・質問（次回講義時）等により理解に努める。

次回の講義について、講義資料等を用い予習(熟読)すること。

関連科目

確率と統計，地球物理学，地理学，気象学，情報処理等，その他測量法に定められた測量に関する科目(講義の中で説明する)

教科書に関する補足事項

講義時に，逐次講義資料(プリント)を配布する.

参考書 1	**書名**	測量用語辞典			**ISBN**	
	著者名	測量用語辞典編集委員会(大西俊次共著)	**出版社**	(株)東洋書店	**出版年**	2011
参考書 2	**書名**	改訂新版 基礎測量学			**ISBN**	
	著者名	編著者 長谷川昌弘他	**出版社**	(株)電気書院	**出版年**	2010
参考書 3	**書名**	基準点測量			**ISBN**	
	著者名	海津 優他	**出版社**	(株)山海堂	**出版年**	1999

参考書に関する補足事項

その他，講義の中で紹介する.

達成目標

測量専門家のみならず，建設・地球環境関連の研究者・技術者は，適切な測量調査データ無くして，より良い研究・設計・施工はできない．受講者は，測量技術を理解し，測量技術，測量調査データを利用して，自らの専門とする分野の向上を望むものである．近年の人工衛星・レーザ技術等を利用する測量技術は，あらゆる測量調査とデータ収集が可能であることを学び取って欲しい．講義への出席と理解を深めるために日々の自らの学習が重要である.

Understand the outlines of advanced survey technology utilized for researches, design and construction works of wide area including grovel environmental engineering as well as civil engineering. Acquire fundamental knowledge for the utilization of remote sensing with satellite system and laser beam technology.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法　:定期試験90%，授業評価(計算課題，出席等)10%で評価する.

評価基準:原則として100点満点で下記のとおり評価する.

S:定期試験・授業評価における評価点の合計が90点以上

A:定期試験・授業評価における評価点の合計が80点以上

B:定期試験・授業評価における評価点の合計が70点以上

C:定期試験・授業評価における評価点の合計が60点以上

※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準が適用されます

[Evaluation method]

Comprehensive evaluation is based on the following weights:

Attendance (10%); Examination (90%)

[Evaluation basis]

S: Total points of exam and attendance, 90 or higher (out of 100 points).

A: Total points of exam and attendance, 80 or higher (out of 100 points).

B: Total points of exam and attendance, 70 or higher (out of 100 points).

C: Total points of exam and attendance, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

大西俊次　:　質問等は授業終了後に講義室にて対応します．授業日以外は三浦へ連絡して下さい.

三浦均也　:　部屋: D-803　TEL: 0532-44-6847　k-miura@ace.tut.ac.jp

Contact Miura Room: D-803, Tel: 0532-44-6844, Mail: k-miura@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.ace.tut.ac.jp/(三浦)

オフィスアワー

三浦: 随時，事前にメール連絡が望ましい

Miura: At any time. Please contact Miura by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
関連のある項目
(D1) 適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

キーワード
測量法，地理空間情報活用推進基本法，世界座標，ﾄｰﾀﾙｽﾃｰｼｮﾝ，電子基準点，GNSS 測量，RTK 法，準天頂衛星，基盤地図情報，GIS，ﾚｰｻﾞ測量，MMS，UAV

(B15620180)建設生産工学[Construction Engineering]

科目名[英文名]	建設生産工学[Construction Engineering]				
時間割番号	B15620180	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	齊藤　大樹, 中村　堅一, 尾崎　悦広 SAITOH Taiki, NAKAMURA Kenichi, OZAKI Etsuhiro				
ナンバリング	ARC_BAC32420				

授業の目標

各種建物の構築法を学び，施工に関する基礎的な専門知識を身につける。尚，本授業科目は「1 級建築士試験指定科目（建築生産）」の一つである。

To learn how to build a variety of buildings, to obtain a basic expertise in construction. It should be noted that the present courses is one of the subjects specified for the qualification test of architect.

授業の内容

前期1

第1部：（担当：齊藤大樹）

第　1週　木質構造の概要

第　2週　木質構造の工法－在来軸組構法－

第　3週　木質構造の工法－枠組壁工法，他－

第　4週　木材の基礎と特性

第　5週　木質構造の構造計画

第　6週　簡易壁量計算の実践

第　7週　課題説明

第　8週　レポート作成

前期2

第2部：（担当：非常勤講師・中村堅一（鹿島建設），尾崎悦広（鹿島建設）：連絡担当・齊藤大樹）

第　9週　建設現場の運営管理：現場技術者の役割　他

第10週　施工管理：躯体偏その1　地業・杭・山留工事　他

第11週　施工管理：躯体偏その2　鉄筋コンクリート工事　他

第12週　施工管理：躯体偏その3　鉄骨・プレキャストコンクリート工事　他

第13週　施工管理：仕上偏その1　カーテンウォール・タイル・石工事　他

第14週　施工管理：仕上偏その2　ガラス・金属・内装工事　他

第15週　現場見学または施工管理：総合偏　豊橋駅前再開発ビル「ココラフロント」ができるまで

第16週　レポート作成

Part 1 :

Week 1: Overview of the wood structure

Week 2: Construction method of the wood structure – conventional construction –

Week 3: Construction method of the wood structure – framework wall construction method –

Week 4: Foundation and characteristics of the wood elements

Week 5: Structure plan of the wood structure

Week 6: Practice of the simple wall amount calculation

Week 7: Description of report tasks

Week 8: Report

Part 2 :

Week 9: Operation and management of construction site: role of on-site technician

Week 10: Construction management: Structure (Part 1): Foundation, pile, ground retaining wall construction

Week 11: Construction management: Structure (Part 2): Reinforced concrete construction work

Week 12: Construction management: Structure (Part 3): Steel, precast concrete construction work

Week 13: Construction management: Finishing (Part 1): Curtain wall, tile, stone construction work

Week 14: Construction management: Finishing (Part 2): Glass, metal, interior construction work

Week 15: Site visit or summary of construction management

Week 16: Report

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

構造分野に関連する科目全般

教科書に関する補足事項
前期1
教科書:
特になし. 必要な資料は講義で配布する.
参考図書:
杉山英男編:木質構造(共立出版)
坂本功:地震に強い木造住宅(工業調査会)

前期2
特になし. 必要な資料は講義で配布する.
参考図書:江口清監修:現場技術者が教える「施工」の本＜躯体偏＞(建築技術)
野平修ほか監修:現場技術者が教える「施工」の本＜仕上偏＞(建築技術)
施工管理者養成委員会編著:新現場マンのための施工管理者養成講座(彰国社)他

参考書に関する補足事項

達成目標
建設施工に対する関心の育成と高揚。
Understand construction and management method

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
前期1と2のレポートを総合して評価する。55 点以上を合格とする。
Evaluation method:
It will be evaluated based on the report.
Evaluation criteria:
Average points of the report was evaluated (100-point scale), and pass the case of more than 55 points (reaching the goal).
In addition, the more than 80-points is evaluated as A, rated more than 65 points or less than 80 points are evaluated as B, more than 55 points or less than 65 points are evaluated as C.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
非常勤講師所属:鹿島建設
窓口教員:齊藤　大樹　　教官室:D-805　電話番号:44-6846
E メール:tsaito@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
http://www.rc.ace.tut.ac.jp/tsaito/index.html
http://www.rc.ace.tut.ac.jp/tsaito/index.html

オフィスアワー
水曜日 13:00～14:30(齊藤)

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで, 社会基盤工学の基礎知識を身につける

(D)【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
(D5)建築に必要な構造、材料及び施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識を身につけている。
特に関連がある項目
(D)【社会基盤コース】技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につけている。

(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D5) Have specialized knowledge about structures, materials and construction required for architecture; and comprehensive expertise to consistently understand various stages from fundamental surveys and building construction methods toconstruction works, aiming at realizing a construction
Particularly-relevant item
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D2) Have fundamental knowledge of infrastructure engineering through taking basic courses relating to civil engineering.

キーワード
木質構造, 施工管理, 躯体, 仕上げ
Wood structure, construction management, building frame, finish

(B15621020)建築環境工学Ⅰ[Building Environmental Engineering 1]

科目名[英文名]	建築環境工学Ⅰ[Building Environmental Engineering 1]				
時間割番号	B15621020	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	都築　和代 TSUZUKI Kazuyo				
ナンバリング	ARC_BAC34122				

授業の目標

建築における伝熱現象の基礎理論と計算方法，ならびに温熱環境と快適条件，日照・日影の基礎的事項について学び，その応用としての建築の省エネルギー手法の基礎を理解することを目標とする。

The aim of this subject is to learn the basic theories and calculation methods of heat transfer in buildings, and basis on thermal environment and thermal comfort, sunshine and solar radiation, and to understand the applied basic energy saving strategies in buildings.

授業の内容

第 1 週　ガイダンス（建築環境工学とは，建築・都市・地球環境問題とは）
第 2 週　温熱環境と快適条件
第 3 週　日照と日影(1)：太陽の位置・動き，日照と日影
第 4 週　日照と日影(2)：日影曲線と日影図
第 5 週　日照と日影(3)：日射とその計算法，日射の日変化と遮蔽
第 6 週　建築伝熱(1)：熱伝導と熱伝達
第 7 週　建築伝熱(2)：定常伝熱と熱貫流
第 8 週　建築伝熱(3)：熱の流れと断熱，断熱性能を高める工夫
第 9 週　建築伝熱(4)：定常室温計算法
第 10 週　演習(1)：太陽位置の計算
第 11 週　演習(2)：日影の計算(1)
第 12 週　演習(3)：日影の計算(2)
第 13 週　演習(4)：伝熱計算基礎
第 14 週　演習(5)：建物外表面での熱平衡
第 15 週 環境制御手法の建築への応用
第 16 週　テスト

The contents are as follows:
1st week, Guidance: What is building environmental engineering and building, urban and global environmental issues?
2nd week, thermal environment and thermal comfort
3rd week, daylighting and sunshine 1, position and movement of sun, daylighting and sunshine
4th week, exercise 1: calculation of sun
5th week, daylighting and sunshade 2: sun shadow curb and diagram
6th week, exercise 2: calculation of sunshade 1
7th week, daylighting and sunshade 2: solar radiation and the calculation method, daily variation of solar radiation and the shielding
8th week, exercise 3: calculation of sunshade 2
9th week, building heat transfer 1: thermal conduction and convective heat transfer
10th week, building heat transfer 2: steady state heat transfer and heat transmission
11th week, exercise 4: basis of heat transfer calculation
12th week, building heat transfer 3: heat flow and insulation, strategies to improve insulation performance
13th week, building heat transfer 4: steady state calculation method for predicting room temperature
14th week, exercise 5: heat balance on surface of building envelope
15th week, Application of environmental control strategies to buildings
16th week, Term-end examination

予習・復習内容

各週のテーマに関する事前の予習と講義後に専門用語の確認並びに例題について復習することが望ましい。

Preparation of the related matters on each week's theme and confirmation of technical terms and review of examples after each lecture are recommended.

関連科目

建築環境学概論，建築環境工学Ⅱ，建築環境工学 Ⅲ，建築環境設備学

Introduction to Building Environment, Building Environmental Engineering Ⅱ, Building Environmental Engineering Ⅲ, Building Service

教科書 1	**書名**	最新建築環境工学			**ISBN**	978-4-7530-1757-7
	著者名	田中俊六，武田仁，岩田利枝，土屋喬雄，寺尾道仁	**出版社**		**出版年**	2006

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	Environmental Science in Building			**ISBN**	
	著者名	Randall McMullan	**出版社**	palgrave macmillan	**出版年**	
参考書 2	**書名**	建築環境工学　演習編			**ISBN**	
	著者名	田中俊六，武田仁，岩田利枝，土屋喬雄，寺尾道仁	**出版社**	井上書院	**出版年**	
参考書 3	**書名**	建築環境工学			**ISBN**	
	著者名	倉渕隆	**出版社**	市ヶ谷出版社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

1)地球環境時代における建築環境工学の重要性について理解できる.
2)温熱環境と快適条件について理解できる.
3)日照・日影の基礎的事項について理解できる.
4) 建築における伝熱現象の基礎理論と計算方法について理解できる.
5) 建築の省エネルギー手法について理解できる.

Students should be able to do the following:
1) Understand the importance of building environmental engineering in a global environment era
2) Understand thermal environment and comfort conditions
3) Understand basis of daylighting and sunshade
4) Understand basic theories and calculation methods of building heat transfer
5) Understand energy saving strategies in buildings

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価法：原則的にすべての講義に出席し,課題（レポートを含む）を提出し，期末試験を受けたものにつき，下記のように成績を評価する。課題レポート等の内容（30%）および定期試験の成績（70%）を合計（100 点満点）する。

評価基準：合計点が 60 点以上とったものを合格とする。上記達成目標の達成度に対して，評価点が 90 点以上を S，80 点以上を A,70 点以上を B,60 点以上を C とする。

Students are required to attend essentially all classes, to submit all assignments for evaluation, and to take the term-end examination. The following grades will be evaluated.
-Reports: 30%
-Term-end examination: 70%

Students who obtaine totally more than 60 points are passed. Based on the above level of achievement for the course objectives, the following grades will be evaluated.
S: 90 or higher (out of 100 points)
A: 80 or higher to lower than 90 (out of 100 points)
B: 70 or higher to lower than 80 (out of 100 points)
C: 60 or higher to lower than 70 (out of 100 points)

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

K.Tsuzuki: D-711, 6339, ktsuzuki@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

木曜日：10:30～12:30、事前連絡があれば随時対応
Thursday：10:30～12:30

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D6) 快適な生活環境を提供できる建築環境、建築設備に関する専門的知識

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

キーワード

太陽位置，日射，日影図，熱伝導，熱伝達，放射，ふく射
Sun position, solar radiation, sunshade diagram, heat conduction, convective heat transfer, radiation

(B15621030)建築環境工学Ⅱ[Building Environmental Engineering 2]

科目名[英文名]	建築環境工学Ⅱ[Building Environmental Engineering 2]				
時間割番号	B15621030	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	島﨑　康弘 SHIMAZAKI Yasuhiro				
ナンバリング	ARC_BAC34122				

授業の目標

湿気・空気環境に関する基礎理論・技術を理解し，湿り空気，空気線図，結露計算，結露防止法，室内空気環境の予測法，自然換気量の計算法，室内空気質の制御・設計手法に関する基礎を習得する。

Students understand basic theories and technologies on moisture and air environment, and learn moist air, psychrometric chart, condensation calculation, prevention of condensation, prediction method of indoor air environment, calculation method of ventilation rate and control and design method of indoor air quality.

授業の内容

各週の講義内容は，下記の通りである。

第 1 週　湿気環境の基礎：空気線図の使い方
第 2 週　結露防止：壁体の透湿計算と結露計算
第 3 週　演習(1)結露計算
第 4 週　室内空気汚染，換気の必要性：必要換気量の計算法
第 5 週　演習(2)必要換気量の計算
第 6 週　換気力学の基礎（1）：圧力と圧力差
第 7 週　換気力学の基礎（2）：換気の基礎式
第 8 週　演習(3)換気計算の基礎
第 9 週　換気計算の基礎（1）：風力換気
第 10 週　演習(4)風力換気計算
第 11 週　換気計算の基礎（2）：温度差換気
第 12 週　演習(5)温度差換気計算
第 13 週　機械換気
第 14 週　換気計画・換気設計
第 15 週　自然換気量の測定法
第 16 週　期末試験

The contents are as follows:
1st week, Basic of humid environment: how to use a psychrometric chart
2nd week, Prevention of condensation: moisture transfer through a wall and condensation calculation
3rd week, Exercise 1: condensation calculation
4th week, Indoor air pollution, needs of ventilation: calculation methods for required ventilation
5th week, Exercise 2: Calculation methods of required ventilation
6th week, Basic ventilation dynamics 1: Pressure and pressure difference
7th week, Basic ventilation dynamics 2: Basic equations of ventilation
8th week, Exercise 3: Basic ventilation
9th week, Basic ventilation calculation 1: Natural ventilation driven by wind pressure
10th week, Exercise 4: Calculation of natural ventilation driven by wind pressure
11th week, Basic ventilation calculation 2: Natural ventilation driven by stack effect
12th week, Exercise 5: Calculation of natural ventilation driven by stack effect
13th week, Mechanical ventilation
14th week, Ventilation planning and design
15th week, Measurement methods of natural ventilation
16th week, Term-end examination

予習・復習内容

講義中に配布した資料及び教科書を読んで十分復習をしておくこと。

関連科目

建築環境学概論，建築環境工学Ⅰ，建築環境工学Ⅲ，建築環境設備学，環境実験

Introduction to Building Environment, Building Environmental Engineering Ⅰ, Building Environmental Engineering Ⅲ, Building Services, Experimental Practice of Environmental Engineering

教科書に関する補足事項

参考書：環境工学教科書研究会編：環境工学教科書，彰国社
　　泉田英雄ほか：建設工学入門，朝倉書店

木村建一編，建築環境学1・2，丸善

参考書に関する補足事項

達成目標
1）空気線図の基本的な使用法が理解できる。
2）壁体の結露計算ができる。
3）必要換気量の算出ができる。
4）風圧力および室内外温度差に伴う自然換気量の計算ができる。
5）基本的な換気計画が理解できる。

Students should be able to do the following:
1) Understand basic usage of psychrometric chart.
2) Calculate condensation calculation of wall.
3) Calculate required ventilation rate.
4) Calculate natural ventilation rate driven by wind pressure and temperature difference between indoor and outdoor spaces.
5) Understand basic ventilation planning and design.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
成績の評価法：原則的にすべての講義に出席し,課題（レポートを含む）を提出し，期末試験を受けたものにつき，下記のように成績を評価する。課題レポート等の内容（30%）および定期試験の成績（70%）を合計（100 点満点）する。

評価基準：合計点が 55 点以上とったものを合格とする。上記達成目標の達成度に対して，評価点が 80 点以上を A,65 点以上 80 点未満を B,55 点以上 65 点未満を C とする。
Students are required to attend essentially all classes, to submit all assignments for evaluation, and to take the term-end examination. The following grades will be evaluated.
-Reports: 30%
-Term-end examination: 70%

Students who obtaine totally more than 55 points are passed. Based on the above level of achievement for the course objectives, the following grades will be evaluated.
A: 80 or higher (out of 100 points)
B: 65 or higher to lower than 80 (out of 100 points)
C: 55 or higher to lower than 65 (out of 100 points)

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D6) 快適な生活環境を提供できる建築環境、建築設備に関する専門的知識

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

キーワード
湿り空気，結露，空気汚染，、換気，自然換気，換気方法，換気計画
moist air, condensation, air pollution, ventilation, natural ventilation, ventilation system, ventilation planning

(B15621040)建築設計論[Design Theories in Architecture]

科目名[英文名]	建築設計論[Design Theories in Architecture]				
時間割番号	B15621040	区分	建築・都市専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	後期	曜日時限	金 3～3	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	松島　史朗 MATSUSHIMA Shiro				
ナンバリング	ARC_BAC33222				

授業の目標

1）建築設計に関わる職能と設計プロセスに関する理解を深める。
2）建築ものづくりの観点から，デザインテクノロジーおよび生産システムの変化を理解する。
3）計画・デザインの一助となる建築の形態・機能についての分析手法を習得する。
4）地域と協働した景観整備や参加型の合意形成について学ぶ。
5）日本の戦後近代建築の流れのなｋで、建築の在り方の今日的課題について考察する。

It is expected to understand the fllowings:
1）Architecture-design-related professions and the design processes which are subject to big chanes,
2）The change in technology and production sysems from the stand point of exemplifing manufacturing and architecure,。
3）Analytical methods on the forms and shapes of architecture that are helpful in the early stages of the design process,
4）Community development including collaborative efforts with local people for improving townscape and enhancing ties among people involving local communities, and。
5）The philosophy and current issues of architecture emerging along with the globalization dream.

授業の内容

第1週　概論
第2週　建築設計に関わる職能および設計プロセス
第3週　建築の形態・機能分析手法1　事例研究（落水荘）
第4週　建築の形態・機能分析手法2 「ル・コルビジェの建築理論」
第5週　建築の形態・機能分析手法3　アントニオ・ガウディの建築
第6週　建築の形態・機能分析手法4　フランク・ゲーリーの設計理論と手法
第7週　テクノロジーと建築デザイン1　デザインテクノロジー
第8週　テクノロジーと建築デザイン2　デジタルファブリケーション
第9週　日本の伝統的町並みとまちづくり　事例研究：豊川稲荷門前，等
第10週　最終課題中間発表
第11週　建築設計実務1　設計プロセス
第12週　建築設計実務2　プロジェクトマネジメント
第13週　建築設計の今日的課題
第14週　研究事例の分析結果発表と講評
第15週　研究事例の分析結果発表と講評

class 1, introduction
class 2, Architecture-design-related professions and design processes
class 3, Formal and functional analysis 1:case study 1 ″Falling Water″
class 4, Formal and functional analysis 2:case study 2 ″Corb's theory″
class 5, Formal and functional analysis 3:case study 3 ″Frank O. Gehry″
class 6, Smart production 1
class 7, Smart production 2
class 8, Mid-term review of the final projects
class 9, Community development: case study ″Toyokawa Inari Shrine district″
class 10, Interim review of final project
class 11, On practice 1 Design Process
class 12, On practice 2 Project Management
class 13, Contemporary issues on architectural design
class 14 and 15, Final review

予習・復習内容

建築設計に関する理論や技術の中でも先進的な事例を紹介する一方で、豊川稲荷表参て道の景観整備のように、古くからある建物やまちなみをそこで暮らす人や、訪問者がいる中で実際に現地で体験することで、自らの経験から個々の設計に対する手法を体得する一助とする。特に、建築を客観的かつ体系的に見て理解することを助けるために、空間やデザインを幾何学的手法で読み解き理解する課題をほぼ 1 学期かけて詰めていき、その他一般の建築にも有効な手法とし習得することを目的の一つとしている。さらにそれらを総合し現在の AEC 業界が直面している課題について考察し・理解を深める。

Because this lecture takes wide scopes of architectural matters including history, theory, technology, management, and the most advanced design-production systems, students are expected to have broader knowledge in general and in depth for some aspcts in order to develop a new frontier where many unpresident hybridization of materials and new technology that may be created by jucstaposition of srtifacts and ideas are combined and reinforced. To achieve this goal that may help AEC industry catch up other industries, students are required to develop his/her skills of being pricise in observation of the phenomena and at the same time darling will to step into new regime.

関連科目

設計製図, 建設学対話, 建築計画等の基礎知識

Design Studios, History of Architecture, Dialogue on Architecture

教科書に関する補足事項

随時ハンドアウトを配布,もしくは講義サイトにアップする。

講義で使用する資料は版権等の問題のないものに関しては講義サイトにアップして、授業中も閲覧し質問に答えることを求める場合があるので、スマートフォンやタブレット持参のこと。特にバッテリー切れには注意すること

Handouts are to be uploaded to the class depository or provided in paper form. when necessary. At the class, most of the textbooks, visual images, and references are to be uploaded on the class site from which students retrieve data. This is intended to minimize the use of amost one-way PowerPoint and students can generate own portfolio of the material. So attendees are expected to charge his/her tools in full.

参考書 1	**書名**	Frank O. Gehry and MIT			**ISBN**	
	著者名	Nancy Joyce, author Shiro Matsushima, translation	**出版社**	Kajima publishing Co.	**出版年**	
参考書 2	**書名**	群像としての丹下研究室　戦後日本建築・都市史のメインストリーム x			**ISBN**	
	著者名	豊川斎赫　著	**出版社**	オーム社	**出版年**	
参考書 3	**書名**	東京計画ビデオ			**ISBN**	
	著者名	水谷晃啓	**出版社**	NHK	**出版年**	

参考書に関する補足事項

参考書3. 東京計画ビデオについては、利用の仕方は講義時に指示します

Lecture on Tokyo Project are to be taken place either a part of this class or separetly. TBA

達成目標

建築設計者や都市計画コンサルタントとして必要なデザイン素養を身につける。

1）建築設計に関わる職能および設計プロセス

2）ル・コルビジェ、フランク・ロイド・ライト、ミース・ファン・デル・ローエ等の歴史的に重要な建築家の計画理論を理解する。

3）以上の歴史的背景の理解のもとに、テクノロジーの進展を背景に以前よりずっと急速に変化の度合いを進める建築設計の現在の潮流を把握し、

4）その中で建築に関わる諸問題について分析・解決策策定能力の修得・向上を目指す。

5）特に、最終課題で建築の形態と機能についての詳細な分析・解析を求める。

To acquire fundamental design skills and knowledges necessary to become architectural desinger and urban lanner, students are expected to gain their abilities in,

1) Architectural professions and design processes,

2) Theories of world-prominent architects, such as Frank Llyod Wright, Le Corbusier, Mies van del Rohe,

3) With thses historical background, currrent issues of architecture is studied, which include change in requirements to archtecture with advancement of technolgy as a background,

4) Among them, issues highly related to architecture are to be analyzed and to enhance abilities to solve them, and

5) Formal and functional analysis are one of the core skillhs that students are expected to gain in order to grasp fundamental but concrete nature of space and environment.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート（2回、合計で 20%）、最終課題プレゼンテーションおよびレポート（50%）、期末試験（30%）の合計。期末試験は Moodle を使ったオンライン試験とする。詳細は講義の中で説明する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

A：達成目標をすべて達成しており、かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上

B：達成目標を 3 つ以上達成しており、かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上

C：達成目標を 2 つ以上達成しており、かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Paper (2, 20% of total score), Final project and paper (30% in total), Final exam (30%)

Final exam maybe conducted via on-line communication tool.

For detail, TBA

Grade configulations are as folllows

S: Objectives are achjieved by 100% and total score of papers, tests, and so forth, is above and on 90%,
A: Objectives are achieved in 80% and total score of papers, tests, and so forth, is above and on 80%,
B: Objectives are achieved in 70% and total score of papers, tests, and so forth, is above and on 70%
C: Objectives are achieved in 60% and total score of papers, tests, and so forth, is above and on 60%

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

Instruction on on-line tools will be provided.

その他

・松島教授　教員室D－707、電話番号44－6835、Eメール：shirom@ace.tut.ac.jp
・Prof. Shiro Matsushima
office:D-707 phone: 44-6835 email：shirom@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

毎週火曜日 12：30～14：30　もしくは email によるアポイントメントにより随時実施
by appointment via email

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D1) 適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
関連のある項目
(D2) 建築史や建築論に関する包括的な専門的知識およびこれらの建築修復等への応用能力
(D4) 建築法規や積算、建築産業に関わる包括的な専門的知識および社会的役割や社会的責任との関係を理解できる展開能力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し，創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

本科目は各 JABEE コースの学習・教育目標の以下の項目に該当する.
（建築コース）
特に関連がある項目：
(D1) 建築分野の技術に関する論理的知識を修得し，それらを活用できる能力
関連がある項目：
(D2) 建築分野の高度な専門的技術を修得し，それらを建築分野における問題解決に応用できる能力
（社会基盤コース）
特に関連がある項目：
関連がある項目：
(D6) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識，人文・社会科学の知識を修得し，創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につける.

キーワード

建築ものづくり、デジタルファブリケーション、メタボリズム、形態分析、デザインプロセス、Community Development
Manufacturing Architecture, Digital Fabrication, Formal Anaysis, Design Process, Community Development, Design Robotics, Community Development

(B15621050)建築計画[Architechture Planning]

科目名[英文名]	建築計画[Architechture Planning]				
時間割番号	B15621050	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	水谷　晃啓 MIZUTANI Akihiro				
ナンバリング	ARC_BAC33220				

授業の目標

建築コースでは、美術館・図書館・学校・劇場等の各種建物の計画手法を学ぶ。時代の流れの中で社会が絶えず変化し、計画手法も変化することを理解した上で、各種建物に求められる社会的な背景とニーズ、利用者と管理運営者等のニーズを踏まえ、敷地の物理的な条件や環境条件等を読み取り、計画する手法を学ぶ。また、概論として各種建物の新しい動向を紹介する。
社会基盤コースでは、社会基盤施設を計画する場合に、計画するという事は、何を、どのように考えて計画する事なのかを学ぶ。

Architectural planning is a basic theory for designing buildings. Fundamentally, The field focused on the functionality and the relationship between people's activities and spaces without an architect's design sense.
Some countries have something like this field (For example, Japanese, America, Sweden, Netherlands, and UK).

授業の内容

週
1　ガイダンス、「建築計画ってなに？」
2　集まって住む? － 住宅、集合住宅1
3　集まって住む? － 住宅、集合住宅2
4　学校建築ってなんだろう？　教会から学校へ
5　学校建築ってなんだろう？　最近の日本、海外の学校
6　幼稚園・保育園建築　＋　フィンランドの保育園
7　図書館では何ができる？　日本とフィンランドの図書館
8　病院はどうして生まれたか？
9　高齢者施設はなぜ必要か？
10　オフィス　－建築は、働き方をサポートできる？
11　劇場　－　劇場の成り立ち
12　博物館、美術館で何ができる？
13　人間の寸法、人体
14　人はどこに集まる？　よく考えると不思議な場所
15　建築計画の総まとめ、試験問題発表

1　Guidance, "What is Architectural Planning?"
2　How do we live together ? －　Housing、Collective Housing1
3　How do we live together ? －　Housing、Collective Housing2
4　What is school architecture？　－Toward Church to Educational institute
5　What is school architecture？　Movement of Japan and Europe
6　Nursery and Kindergarten　＋　New cases in Finland
7　What can we do in a library？　+　New cases in Finland and Netherlands
8　The development of Hospital
9　Why do we need nursery ？
10　Office　－Can architecture support the work style?
11　Theater　－　The development of theaters
12　What can we do in a museum？
13　The relationship between Human scale　and a body
14　What public place do we use in a city?
15　Summary　of Architectural Planning in Jppan

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

計画序論

建築設計演習ⅠからⅥ
建築設計演習基礎

計画序論
建築設計演習ⅠからⅥ
建築設計演習基礎

教科書 1	書名	建築計画(改訂版)			ISBN	9784870710054
	著者名	長澤泰、西出和彦、在塚礼子	出版社	市ヶ谷出版社	出版年	2005

教科書に関する補足事項
Please refer them(sorry, Japanese only).

建築設計資料集成・総合編・日本建築学会編(丸善、2001 年)
建築設計資料集成・拡張編・集会・市民サービス・日本建築学会編(丸善、2002 年)

参考書に関する補足事項

達成目標
建築コースでは、各種の建物種別の代表的な建築の計画手法が、社会的な背景とニーズ、利用者と管理運営者ニーズ、敷地や環境条件等に対する設計者としての読み取り等から生まれる事を理解する。さらに、建物種別による計画手法について最新の傾向を把握する。
社会基盤コースでは、計画するという事は何を、どのようにする事かを理解する。

Master the basic theory for designing planning of public buildings.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
レポート 50%　定期試験 50%　　左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
[Evaluation method] Reports(50%) and Final examination(50%)
[Evaluation basis] Total evaluation will be judged as follows:
S: Total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

note for JABEE
[architecture course]D1, E are evaluated with two workshop outcomes.
[civil engineering]D3 is evaluated with two workshop outcomes.

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
オフィスアワー　毎週水曜日　12:30-13:30

学習・教育到達目標との対応

特に関連がある項目
(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画及び建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力を身につけている。

Particularly-relevant item
(D1) Have appropriate spatial awareness skills; and specialized knowledge about architectural planning, architectural design and other facets of design which can properly meet aesthetic and technical demands; and the skills to apply them

キーワード
建築計画、各種建物、計画史
Architectural Planning、space composition、Human life, Culture, Behavior and Activities, function

(B15621060)日本建築史[History of Japanese Architecture]

科目名[英文名]	日本建築史[History of Japanese Architecture]				
時間割番号	B15621060	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	柳澤　宏江 YANAGISAWA Hiroe				
ナンバリング	ARC_BAC33220				

授業の目標

本科目では、古代から近代に至る日本独持の建築様式について、歴史的、文化的、技術的背景を踏まえながら理解できるようにすることを目標としている。加えて、現存する歴史的建造物の保存・活用事例についても解説を受けることにより、歴史的建造物の維持・継承に必要な基礎知識を理解できるようにする。

Objective of this subject is learning about History of Japanese architecture and describes the development of style,construction methods,technologies and materials.

授業の内容

第1回　授業概要と目的、竪穴式と高床式
第2回　古代の神社建築、仏教建築の伝来
第3回　古代の都市計画と住宅、浄土教の建築
第4回　中世の仏教建築と神社建築
第5回　中世の住宅と書院造り
第6回　城郭建築
第7回　茶室と数寄屋
第8回　近世の寺社建築と民家
第9回　西洋文化の移入と日本人建築家の誕生
第 10 回　様式建築の展開と新しい様式の模索、小テスト
第 11 回　近代都市計画の理論と実践
第 12 回　構造技術の発達、モダニズム建築の到来
第 13 回　戦災復興から高度成長期にかけて
第 14 回　戦後の住宅政策と DK 住宅の誕生
第 15 回　日本建築界からの発信、モダニズムの先を求めて、レポート提出

1. Orientation and Ancient Dwellings
2. Early Buddhist Temple and Shrine
3. Town Planning and Dwellings
4. Mid-period Buddhist Temple and Shrine
5. House for Samurai: Shoin Style, Exam.1
6. Castle and castle town
7. Tea-house or Sukiya Style
8. Temple, Shrine and dwellings in Edo period
9. Japanese architects as designer of Western style
10. Western style in Meiji period, Exam.2
11. City planning in modern age
12. Development of structural engineering and new style
13. buildings and cities from post-war to 1960s
14. Housing Project and DK plan
15. Japanese architecture in post-modern period, Exam. 3,report

予習・復習内容

日本史や歴史的建造物に関心を持っておくこと。

Check the outline of Japanese history

関連科目

世界建築史

History of World Architecture

教科書 1	**書名**	コンパクト版建築史：日本・西洋			**ISBN**	978-4-395-00876-6
	著者名	「建築史」編集委員会編著	**出版社**	彰国社	**出版年**	2009

教科書に関する補足事項

講義毎にレジュメを配布する。

Distribute resume for each lecture.

参考書 1	**書名**	日本建築史図集			**ISBN**	978-4-395-00888-9
	著者名	日本建築学会 編,	**出版社**	彰国社	**出版年**	2011
参考書 2	**書名**	日本建築ガイド : What is Japanese architecture？			**ISBN**	978-4770019929
	著者名	西　和夫／著,穂積和夫／著,H. Mack Horton／〔訳〕,	**出版社**	講談社インターナショナル	**出版年**	1996
参考書 3	**書名**	対訳日本人のすまい = The Japanese house then and now			**ISBN**	978-4-87071-191-4
	著者名	平井聖著	**出版社**	市ケ谷出版社	**出版年**	1998
参考書 4	**書名**	文化財講座　日本の建築（全5巻）			**ISBN**	
	著者名	太田博太郎、他	**出版社**	第一法規出版株式会社	**出版年**	1977

参考書に関する補足事項

達成目標

日本建築の歴史的展開と様式的特徴、工法的特徴、生活文化的特徴を理解し、評価できるようにする。
To master development of Japanese architectural styles, construction methods, materials and technologies.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

小レポート 14 回（10 点満点×14 回、60%） レポート1回（40 点満点、40%） 左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 85%達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 70%達成しており，かつレポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
1. Short Report 10*14（60%）
2. Report （40%）

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

柳澤　宏江
元博物館明治村建築担当
Email: yanagi205@gmail.com
受講科目名と学籍番号、課程学年、氏名を記載し、用件をメールにて伝えて下さい。
Hiroe yanagisawa
Email: yanagi205@gmail.com
Write message with your student number, grade and name.

ウェルカムページ

オフィスアワー

上記の連絡先にご連絡ください。
Contact me by e-mail address.

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D2) 建築史や建築論に関する包括的な専門的知識およびこれらの建築修復等への応用能力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

(D2)建築史や建築論に関する包括的な専門的知識及びこれらの建築修復等への応用能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。
特に関連がある項目

(D2) Have comprehensive expertise concerning architectural history and architectural theory; and the ability to apply such knowledge to architectural restoration, etc.
Particularly-relevant item
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills tosearch for, organize and solve problems in a creative way
Particularly-relevant item

キーワード
日本建築史
History of Japanese Architecture

(B15621070)空間情報演習[Spatial Information Workshop]

科目名[英文名]	空間情報演習[Spatial Information Workshop]				
時間割番号	B15621070	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	浅野　純一郎, 辛島　一樹, 水谷　晃啓, 劉　一辰 ASANO Junichiro, KARASHIMA Kazuki, MIZUTANI Akihiro, RYU Ichien				
ナンバリング	ARC_BAC31120				

授業の目標

空間情報の分析の基本的な統計手法について実データを用いた演習を通じて学び，その後に図形情報あるいは地理情報として存在する様々な空間情報を CAD と GIS をツールとして用いることにより統合化を図る演習を通じて，建築計画・デザイン，都市地域計画・デザイン，環境計画・デザイン等に利用する方法を学ぶ.

objectives of this class are to learn a fundamental methodology about spatial information analysis through workshops, and to utilize it into architectural planning and design, urban and regional planning/design, and environmental planning/ design ,using GIS and CAD soft ware practices.

授業の内容

空間情報の統計分析手法の演習を 5 週、GIS を用いた空間表現手法の演習を 5 週、最後に CAD による設計演習を5週行う.
各週の演習内容は下記の通りである.

（統計分析手法）
第　1週　クロス集計と属性相関（1）
第　2週　クロス集計と属性相関（2）
第　3週　回帰分析
第　4週　重回帰分析（1）
第　5週　重回帰分析（2）

（GIS 関連）
第　6週　GIS の概念と利用法に関する解説
第　7週　SIS の使用法（1）
第　8週　SIS の使用法（2）
第　9週　GIS を利用した課題演習（1）
第10週　GIS を利用した課題演習（2）

（CAD 関連）
第11週　CAD・CG の概念と利用法に関する解説
第12週　AUTO CAD 等の使用法（1）
第13週　AUTO CAD 等の使用法（2）
第14週　CAD・CG を利用した課題演習（1）
第15週　CAD・CG を利用した課題演習（2）

contents are divided into 5 sections.
[statistical analysis]
1st week: cross tabulation and attributes association1
2nd week: cross tabulation and attributes association2
3rh week: regression analysis
4th week: multi regression analysis1
5th week: multi regression analysis2

[geographical information system]
6th week: interpretation about conception and usage
7th week: SIS1
8th week: SIS2
9th week: workshops using GIS software1
10th week: workshops using GIS software2

[computer aided design]
11th week: interpretation about conception and usage
12th week: AUTOCAD1
13th week: AUTOCAD2
14th week: workshops using CAD/CG software1

15th week: workshops using CAD/CG software2

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.
it is desirable to review and to prepare each class lecture with reference books.

関連科目

都市計画
建築設計演習Ⅵ
測量学Ⅱ

urban and regional planning, architectural design workshopⅥ, field surveyⅡ

教科書に関する補足事項

適宜，必要なプリント資料を配布する

necessary handouts will be delivered in the class.

参考書に関する補足事項

達成目標

プロジェクト型演習（建築設計演習Ⅵ）の基礎ツールとして，統計的分析手法，CAD や GIS の意義，ソフトの使用法と応用法を習得する. 具体的には
1)空間情報（社会経済活動の諸現象）の基本的把握手法（クロス分析，回帰分析）を実際の利用できる。
2）CAD，GIS でデータ作成が行える。
3）CAD ソフトを用いて設計図面の作成が行える。
4）GIS ソフトの基本的機能を用いて空間解析が行える。
5）CAD，GIS ソフトを用いて課題に対する分析，提案等を表現できる。

1. to able to utilize cross tabulation and regression analysis into spatial information matters.
2. to able to make data on GIS and CAD.
3. to able to make the drafts by CAD.
4. to able to analysis by GIS fundamental tools.
5. to able to express and present the analysis and proposal using GIS and CAD.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

1.統計分析手法（4 割），CAD 関連及び GIS 関連（6 割）の配分で評価を行う.
2.統計分析手法は2回のレポートにより評価を行う（各レポート評価の重みは同じ）.
3.GIS 関連は2回のレポートにより評価を行う（各レポート評価の重みは同じ）.
4.CAD 関連は 1 つの課題製作により評価を行う.
5.CAD 関連と GIS 関連の評価配分は同じとする.
両コースとも点数が 90 点以上を評価 S,80 点以上 90 点未満を評価 A,70 点以上を 80 点未満を評価 B,60 点以上 70 点未満を評価 C とする。
建築コース：C(科学的思考)及び D3（都市計画）は統計分析手法レポートと GIS レポートによって、D1(建築設計・デザイン能力・スケール感)は CAD 課題制作によって、D8（チームワーク）及び E(表現力)は CAD 課題制作によって各々を評価する。60 点以上が合格である。
社会基盤コース：C(科学的思考)を課題レポート全てによって評価する。60 点以上が合格である。
Total evaluation distribution is statistical analysis:40% , GIS(30%), CAD(30%). On statistical analysis, two reports will be evaluated with same ration. On GIS, two reports will be evaluated with same ration. On CAD, one report will be evaluated.
Total evaluation will be judged as follows:
S: Total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of reports, 60or higher (out of 100 points).

notes for JABEE
[architecture course] C and D3 are evaluated with reports of statistical analysis and GIS. D1, D8 and E are evaluated with CAD report.
[ciliv engineering course]C are evaluated with this class.

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
教員室： D-708（浅野）
電話番号： 44-6836（浅野）
E メール： asano@tuturp.tut.ac.jp(浅野)

(D-708・6836・asano@ace.tut.ac.jp)

ウェルカムページ
http://urbandesign.web.fc2.com/MOTHER-hp/STU-hp/index.html

オフィスアワー
浅野：毎週火曜日、木曜日１２：３０～１３：３０

tuesday and thursday from 12:30-13:30

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D1) 適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
(D3) 持続可能な都市計画や都市デザインに関する専門的知識およびこれらの環境保全や景観保全等への応用能力
(D8) 建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力
(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
関連がある項目
(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画及び建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D3)持続可能な都市計画や都市デザインに関する専門的知識及びこれらの環境保全や景観保全等への応用能力を身につけている。
関連がある項目
(D8)建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力を身につけている。
関連がある項目
（E）【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力
技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力を身につけている。
関連がある項目
architecture course
most related purpose:
d-1:Technical knowledge and applicable ability on architectural planning and design, with appropriate ability to understand the scale sense and to solve the aesthetic and technical requirement
related purpose:
d-3:Technical knowledge on sustainable urban planning and urban design and ability to apply the knowledge to preservation of environment and landscape

civil engineering course

related purpose:
c:The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances
Utilizing the ability realized from the acquisition of a basic knowledge in science and technology; the mastery of subjects in mathematics, natural science, information technology, and global environmental technology

(C) (Architecture and Building Science Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
Relevant item
(D1) Have appropriate spatial awareness skills; and specialized knowledge about architectural planning, architectural design and other facets of design which can properly meet aesthetic and technical demands; and the skills to apply them
Particularly-relevant item
(D3) Have specialized knowledge about sustainable urban planning and urban design; and the ability to apply such knowledge to environmental conservation, landscape conservation, etc.
Relevant item
(D8) Understand practical problems in the field of architecture; and have management skills to coordinate and collaborate in a team under the constraints demanded by society and to properly respond to problems, for instance throughmodifying plans
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(C) (Civil and Environmental Engineering Course) Basic skills and applied skills to scientifically understand technology
Acquire basic knowledge about science to support technology; and have the ability to apply such knowledge
Relevant item

キーワード

(B15621080)建築設計演習Ⅳ[Design Workshop 4]

科目名[英文名]	建築設計演習Ⅳ[Design Workshop 4]				
時間割番号	B15621080	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 4～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	松島　史朗, 水谷　晃啓 MATSUSHIMA Shiro, MIZUTANI Akihiro				
ナンバリング	ARC_BAC33122				

授業の目標

本演習は 2 段階で構成され、それぞれ次のことを目標とする。

第一段階ではペーパークラフトおよびデジタルツールを用いて造形の基礎を学ぶ。
経験者にとっては復習として、未経験者もしくは経験の少ない者にとっては新たに学ぶ機会となる。
ここでは、空間造形のセンスと技術を習得することを目標とする。

第二段階では、豊橋市内の多くの小学校に併設される「校区市民館」の計画を通して、建築設計の基本的要件を学ぶ。
履修生の経験と関心に応じ、新築、増築、改修といった異なった設計手法を柔軟に取り入れて行っていく。
ここでは、建築設計の基本的要件、製図技術、プレゼンテーション技術の向上を目標とする。
Design Workshop 4 is consisted of two stages. Each stage's objective is the following thing.

First Stage

Learn the basics of modeling using the craft and digital tools.
It is the first opportunity to learn for the inexperienced person or less experienced person and it is an opportunity of retraining for experienced users.
The goal is to learn the sense and technique of space modeling.

Second Stage

Learn the basic requirements of architectural design through the plan of "Kouku Shiminkan".
"Kouku Shiminkan" is being annexed to almost of elementary schools in Toyohashi city.
Depending on the Student of experience and interest, it will be done flexibly incorporate different design techniques, such as new construction,extension,renovation.
Here, it will target the improvement of Architectural Design skills, Drafting skills, and Presentation skills.

授業の内容

・授業スケジュール
第一段階　造形基礎（第 1 週～第 6 週）
第二段階　設計課題（第 7 週～第 15 週）

・第一段階の内容
ⅰ.ペーパークラフトを用いた空間造形演習
30 ㎝四方の空間に、与えられたテーマから想起されるイメージを、ケント紙を用いて表現する演習を行い、空間造形の基礎を学ぶ。光、風、水など豊橋に関連すると思われるテーマをモチーフとして、それをどのように空間化し演出するかを学ぶ。テーマは、Ⅰ.光と影 Ⅱ.風　Ⅲ.水　の三つから二つを選んで行う。
ⅱ.デジタルツールを用いた空間造形演習
Rhinoceros + Grasshopper 等の近年着目されるデジタルツールを用いて、「Found Object」のモデリングを行う。「Found Object」とは身近にあるモノで、空間を想起させ、自らの身体感覚に訴えかけてくるようなモノのことをいい、「Found Object」の形態分析、デジタルツールを用いた再構成を通して、空間造形の基礎を学ぶ。

・第二段階の内容
全国的にも珍しく、豊橋市独特の社会教育施設である「校区市民館」の計画を行う。新築、増築、改修といった様々な設計手法を通して、建築設計の基本的要件を学び、より魅力的な公共空間創造のための演習を行っていく。これからの公共施設の在り方、地域コミュニティの在り方について考え、設計提案に反映していくトレーニングを行う。この課題は教員との１対１の指導となるデスククリットと、図面等を使って人前で発表する形式のピンナップ・レビューを、ほぼ交互に繰り返して設計を進めていく。中間発表および最終発表では、建築家など外部の講評者も加えて実施する。

Class Schedule

First stage; Basic Modeling (1st – 6th weeks)
Second stage; Design Workshop (7th – 15th weeks)

First Stage Contents

Ⅰ. Space modeling practice using the paper craft
In order to learn the basics of space modeling, you make objects through imagination which to be recalled from a given theme by using the Kent paper in 30×30cm.
You learn how to make Space-Reduction and Space-Production from a motif that seems to be related Toyohashi City such as Light, Wind, Water.
It is carried out by selecting two theme from 1. Light and Shadow, 2. Wind, 3. Water.

Ⅱ. Space modeling practice using digital tools
You do modeling of "Found Object" using a digital tools such as Rhinoceros + Grasshopper that is focused recently.
"Found Object" is a something familiar that appeal to the body senses and makes imagining the space.
Learn the basics of space modeling through morphological analysis of "Found Object" and re-configured using digital tools.

Second Stage Contents

We will plan a Toyohashi City unique social education facility "Kouku Shiminkan" which is unusual in Nationwide.
It will perform the workshop for a more attractive public space creation to learn the basic requirements of architectural design through a variety of design techniques such as renovation, extension.
This Work Shop will do almost alternately the Desk Crits and Pin-Up Review.
Desk Crits is the one-to-one guidance of the teachers. Pin-Up Review is a type of presentation using the drawings and the like.
In the intermediate presentation and the final presentation, will invite guest critique as architects and engineers.

予習・復習内容
第二段階において課題として扱う「校区市民館」は、豊橋市内の小学校のほとんどに併設され、地域住民の生涯学習の場、地域の問題解決の場として、常時開放されている(開館日、開館時間等は個別に確認すること)。したがって、大学や自宅の近くにあり容易に訪れることが可能なので、課題の進行状況に応じて現地や周辺環境を確認し、設計提案に反映することができる。これからの公共施設の在り方、地域コミュニティの在り方など、あなたの考える未来を「校区市民館」のサーベイやフィールドワークを通して提案してください。
"Kouku Shiminkan" which is a theme of this workshop is annexed with almost all elementary schools in Toyohashi city, and It is an opened public facility for giving local residents lifelong learning opportunities and resolution of regional issues (Be confirmed yourself about Opening date, Opening hours, etc.).
Therefore,"Kouku Shiminkan" is near our university or your home, so you can visit it easily.
Please survey the site and its surrounding environment depending on the progress of the issue.
Please proposing a your original "Kouku Shiminkan" through considering about future's ideal model of public facilities and local community.

関連科目
建築設計演習基礎、建築設計演習Ⅰ、建築設計演習Ⅱ、建築設計演習Ⅲ
CoreDesign Workshop, Design Workshop 1, Design Workshop 2, Design Workshop 3

教科書に関する補足事項
教科書
・設計演習課題をプリントで配布する。
Necessary handouts will be delivered in the class.

参考書 1	**書名**	建築設計資料集成「総合編」各巻			**ISBN**	
	著者名	日本建築学会編	**出版社**	丸善	**出版年**	
参考書 2	**書名**	建築設計資料集成「拡張編」各巻			**ISBN**	
	著者名	日本建築学会編	**出版社**	丸善	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
・1年次からの学生は、2年次までの単独施設の計画から複合施設の計画手法を修得する。
・3年次編入学生の建築系の学生は各高専で修得した方法等を発展させる。

・上記1，3年次からの学生とも「テーマ・形重視の計画手法」の修得を行う。
・Students who have been graded promotion from freshman will learn the planning technique of complex based on the planning skills which have learned in Work Shop 1-3.
・Students who have been admitted in third grade will develop your skills which have learned each College of Technology.
・All students to learn of the "Planning method of theme and form-oriented".

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

提出された作品（図面、模型）および講評会での発表を総合的に評価する。
第二課題については下記の 2 点より評価を行う。
テーマ・形の提案から各施設計画への提案、各施設間のつながりの提案を評価する。
公共施設、地域コミュニティの問題の把握と分析力、および問題解決の手法提案を評価する。
評価点が 85 点以上が評価 A,65 点以上 85 点未満が評価 B,55 点以上 65 点未満が評価 C とする。
We evaluate comprehensively from the submitted drawings and the presentation in critique.
We will evaluate about your theme, form of architecture, each of the facilities planning, and connections between each facility.
We will evaluate a analytical skills of the public facilities and local community problems and the method of problem solving.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Obtained total points, 85 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

その他
Other

定期試験詳細

発表形式にて行う。教員に加えゲスト講師も招いて、設計コンセプトや具体的な提案内容について図面や模型を用いたプレゼンテーションを行う。
Carried out at a presentation format.
You will be doing presentation using a drawing and a model in the intermediate presentation and the final presentation.

その他

・松島教授　教員室 D-707、電話番号 44-6835、Eメール：shirom@ace.tut.ac.jp
・水谷助教　教員室 D-716、電話番号 44-6842、Eメール：mizutani@ace.tut.ac.jp
・Matsushima　Room: D-707, Phone: 44-6835, e-mail: shirom@ace.tut.ac.jp
・Mizutani　Room: D-716, Phone: 44-6842, e-mail: mizutani@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

松島：毎週火曜日 12:30～14:30、もしくは e-mail によるアポイントで適宜実施
水谷：e-mail によるアポイントで適宜実施
Matsushima: Tuesday 12:30 - 14:30 or Make a appointment by e-mail.
Mizutani: Make a appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

キーワード

建築設計　演習
Architectural Design　Work Shop

(B15621090)建築環境工学Ⅲ[Building Environmental Engineering 3]

科目名[英文名]	建築環境工学Ⅲ[Building Environmental Engineering 3]				
時間割番号	B15621090	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	松本　博 MATSUMOTO Hiroshi				
ナンバリング	ARC_BAC34122				

授業の目標

室内光環境，色彩計画，室内音響計画・設計，騒音制御の各項目に関する物理的，工学的意義を理解し，演習を通じて基本的計算法と実践的な技術を習得する。

Students understand physical and engineering significances on indoor lighting environment, color planning, indoor acoustic planning and design, and noise control, and learn the basic calculation methods and practical strategies by the related exercises.

授業の内容

各週の講義内容は以下の通りである。

第 1 週　光と視覚
第 2 週　各種測光量の定義とその単位
第 3 週　照度計算の基礎
第 4 週　明視の条件，昼光光源
第 5 週　昼光率とその計算法
第 6 週　各種人工光源，照明方式・計算
第 7 週　色彩と色彩計画
第 8 週　中間テスト
第 9 週　音と建築，音の単位，音の性質
第 10 週　音響計算基礎，残響時間
第 11 週　音響評価，音響計画
第 12 週　音環境演習
第 13 週　環境騒音の実態，騒音の評価法
第 14 週　吸音・遮音，騒音防止計画
第 15 週　騒音制御
第 16 週　期末試験

The contents are as follows,
1st week, Light and visual sense
2nd week, Definitions of photometric quantity and the units
3rd week, Basis of illumination calculation
4th week, Distinct vision and daylighting source
5th week, Daylight factor and the calculation method
6th week, Artificial lighting sources, lighting system and the calculation
7th week, Color and color planning
8th week, Summary of lighting environment
9th week, Sound and building, units of sound and characteristics of sound
10th week, Basic acoustic calculation and reverberation time
11th week, Acoustic evaluation and acoustic planning
12th week, Exercise of acoustic environment
13th week, Actual situation of environmental noise
14th week, Sound absorption and insulation, and sound prevention planning
15th week, Noise control
16th week, Term-end examination

予習・復習内容

各週のテーマに関する基礎事項を予習し，講義後に専門用語の確認並びに例題について復習すること。

Preparation of the related matters on each week's theme and confirmation of technical terms and review of examples after each lecture are recommended.

関連科目

建築環境学概論，建築環境工学Ⅰ，建築環境工学Ⅱ，建築環境設備学，環境実験

Introduction to Building Environment, Building Environmental Engineering Ⅰ, Building Environmental Engineering Ⅱ, Experimental Practice of Environmental Engineering

教科書 1	**書名**	最新建築環境工学 改定 4 版			**ISBN**	978-4-7530-1757-7
	著者名	田中俊六ほか	**出版社**	井上書院	**出版年**	2016

教科書に関する補足事項
適宜，関連資料のコピーを配布
Appropriate copies of related documents will be distributed.

参考書 1	**書名**	建設工学入門			**ISBN**	
	著者名	泉田英雄ほか	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	
参考書 2	**書名**	建築環境学1・2			**ISBN**	
	著者名	木村建一編	**出版社**	丸善	**出版年**	
参考書 3	**書名**	建築設備基礎理論演習			**ISBN**	
	著者名	木村建一	**出版社**	学献社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
1）室内光環境や照明・色彩計画の考え方と基本的計算ができる
2）室内音響に関する基本的計算ができる
3）室内音響計画・設計に関する基礎が理解できる
4）騒音評価法を理解し，騒音計を用いた環境騒音を測定できる
5）騒音防止計画が理解できる
Students should be able to do the following:
1) Understand the concept of indoor lighting environment and lighting and color planning, and calculate the basic calculations
2) Calculate the basic calculations of indoor acoustic
3) Understand the basis on indoor acoustic planning and design
4) Understand the noise evaluation methods and measurement of environmental noise by using a sound level meter
5) Understand noise level planning

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
成績の評価法：原則的にすべての講義に出席し,課題（レポートを含む）を提出し，期末試験を受けたものにつき，下記のように成績を評価する。課題レポート等の内容（30%）および定期試験の成績（70%）を合計（100 点満点）する。

評価基準：合計点が 55 点以上とったものを合格とする。上記達成目標の達成度に対して，評価点が 80 点以上を A,65 点以上 80 点未満を B,55 点以上 65 点未満を C とする。
Students are required to attend essentially all classes, to submit all assignments for evaluation, and to take the term-end examination. The following grades will be evaluated.
-Reports: 30%
-Term-end examination: 70%

Students who obtaine totally more than 55 points are passed. Based on the above level of achievement for the course objectives, the following grades will be evaluated.
A: 80 or higher (out of 100 points)
B: 65 or higher to lower than 80 (out of 100 points)
C: 55 or higher to lower than 65 (out of 100 points)

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
松本　博：Ｅメール　matsu@ace.tut.ac.jp

H. Matsumoto: Email　matsu@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D6) 快適な生活環境を提供できる建築環境、建築設備に関する専門的知識

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

建築・都市システム学課程
（D）【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
関連がある項目
(D3)持続可能な都市計画や都市デザインに関する専門的知識及びこれらの環境保全や景観保全等への応用能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D6)快適な生活環境を提供できる建築環境、建築設備に関する専門的知識を身につけている。
（D）【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
関連がある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Relevant item
(D3) Have specialized knowledge about sustainable urban planning and urban design; and the ability to apply such knowledge to environmental conservation, landscape conservation, etc.
Particularly-relevant item
(D6) Have specialized knowledge about building environments and architectural services to provide a comfortable living environment
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Relevant item
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills tosearch for, organize and solve problems in a creative way

キーワード
光環境，照明・色彩計画，音響計画・設計，騒音制御
Light environment, artificial lighting and color planning, acoustic planning and design, noise control

(B15621100)建築環境設備学[Building Services]

科目名[英文名]	建築環境設備学[Building Services]				
時間割番号	B15621100	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	島﨑　康弘 SHIMAZAKI Yasuhiro				
ナンバリング	ARC_BAC34220				

授業の目標

空気調和設備，給排水設備，消火設備などの建築設備の役割，仕組み，関連技術，設計法および運転に関する基礎知識を習得する。

Students learn the basic knowledge on role, mechanism, related technologies, design methods and operation of building services such as air conditioning, water supply and drainage, fire extinguishing system and so on.

授業の内容

授業は，おおよそ以下の予定で行う。

第 1 週　ガイダンス，建築設備総論
第 2 週　空調設備(1)：概要と空調方式
第 3 週　空調設備(2)：空調負荷計算法
第 4 週　空調設備(3)：空気線図と空調プロセス
第 5 週　空調設備(4)：各種熱源機器とその特徴
第 6 週　空調設備(5)：熱搬送設備
第 7 週　空調設備(6)：ダクト・配管設計
第 8 週　空調設備(7)：暖房設備と換気設備
第 9 週　給排水衛生設備(1)：給排水の歴史と給水設備
第 10 週　給排水衛生設備(2)：給湯設備と排水設備
第 11 週　給排水衛生設備(3)：排水・通気設備と浄化槽
第 12 週　給排水衛生設備(4)：衛生器具と負荷単位設計法
第 13 週　防災設備(1)：防災計画と排煙設備
第 14 週　防災設備(2)：消火設備
第 15 週　建築設備と省エネルギー
第 16 週　期末テスト

The contents are as follows:
1st week, Guidance, overview of building services
2nd week, Air conditioning 1: overview and air conditioning system
3rd week, Air conditioning 2: calculation method of air conditioning loads
4th week, Air conditioning 3: Psychrometric chart and air conditioning process
5th week, Air conditioning 4: Heat source equipment and its characteristics
6th week, Air conditioning 5: Heat transport facilities
7th week, Air conditioning 6: Ducting and piping design
8th week, Air conditioning 7: Heating and ventilating facilities
9th week, Plumbing system 1: History of water plumbing system, and water supply
10th week, Plumbing system 2: Hot water supply and drainage systems
11th week, Plumbing system 3: Drainage and ventilation systems, and septic tanks
12th week, Plumbing system 4: Sanitary equipments and load unit design method
13th week, Disaster prevention system 1: Disaster prevention planning and smoke control system
14th week, Disaster prevention system 2: Fire extinguishing system
15th week, Building services and energy saving
16th week, Term-end examination

予習・復習内容

講義中に数回行う予定の演習課題他のフォローアップを行う事。

Students should execute the exercises and reports in this course.

関連科目

建築環境学概論，建築環境工学Ⅰ，建築環境工学Ⅱ，建築環境工学Ⅲ，環境実験

Introduction to Building Environmental Engineering, Building Environmental Engineering Ⅰ, Building Environmental Engineering

Ⅱ, Building Environmental Engineering　Ⅲ, Experimental Practice of Environmental Engineering

教科書に関する補足事項

講義ごとに資料他を配布するので参考にする。

参考書に関する補足事項

達成目標

1)空調設備の各種方式と設計方法について理解できる。
2)空調熱負荷計算の基礎について理解できる。
3)給排水設備・衛生設備の基礎について理解できる。
4) 防災・消火設備の基礎について理解できる。
5) 環境負荷低減・省エネルギーの重要性と低減手法を理解できる。

Students should be able to do the following:
1) Understand the air conditioning systems and the design methods
2) Understand the basis of air conditioning heating loads
3) Understand the basic of plumbing and sanitary systems
4) Understand the basis of disaster prevention and fire extinguishing system
5) Understand The importance and reduction method of environmental loads and energy saving

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:原則的にすべての講義に出席し, レポート・演習課題を提出したものにつき, レポート・演習課題の内容 30%, 定期試験の成績 70%を総合的に考慮して評価する。

評価基準:上記達成目標の達成度に対して評価点(100 点満点)が 55 点以上を合格とし, 下記のように成績を評価する。
A:レポート・演習課題及びテストの合計点が 80 点以上
B:レポート・演習課題及びテストの合計点が 65 点以上 80 点未満
C:レポート・演習課題及びテストの合計点が 55 点以上 65 点未満

Students are required to attend essentially all classes, to submit all assignments for evaluation, and to take the term-end examination. The following grades will be evaluated.
-Reports: 30%
-Term-end examination: 70%

Students who obtaine totally more than 55 points are passed. Based on the above level of achievement for the course objectives, the following grades will be evaluated.
A: 80 or higher (out of 100 points)
B: 65 or higher to lower than 80 (out of 100 points)
C: 55 or higher to lower than 65 (out of 100 points)

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

試験に際しては電卓・手書きノートの持込みは可とするが、テキスト・配布資料・ノートの COPY の持込みは不可とする。

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D6) 快適な生活環境を提供できる建築環境、建築設備に関する専門的知識

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

キーワード
空気調和設備，給排水衛生設備，消火設備，地球環境負荷低減と省エネルギー
Air conditioning system, plumbing system, fire extinguishing system, Reduction of global environmental loads and energy saving

(B15621110)地区計画[District Planning]

科目名[英文名]	地区計画[District Planning]				
時間割番号	B15621110	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	浅野　純一郎 ASANO Junichiro				
ナンバリング	ARC_BAC33220				

授業の目標

都市計画・地域計画の分野において、地区というスケールで計画を行うことの意味と必要性を理解する。その上で、計画の策定手法や実現手段としての都市計画法制度の基礎や計画主体の役割といった「まちづくり」の基礎を学ぶ。

Objectives of this class is to understand the meaning and the necessity of planning at district scale level in urban and regional planning field, additionally, and to learn the fundamental knowledge of 'machizukuri' such as urban planning legislation system or planning subject's roles as planning process or implementation method.

授業の内容

1)地区計画とは何か？　計画のスケール
2)基盤整備手法 1　土地区画整理事業～耕地整理・土地改良事業
3)基盤整備手法 2　都市再開発事業
4)ゾーニング 1　開発許可制度・農業サイドからの土地利用コントロール
5)ゾーニング 2　集団規定(道路・用途地域制度等)
6)建物形態コントロール 1　集団規定(建蔽率・容積率規制)
7)建物形態コントロール 2　集団規定(高さ制限・斜線制限等)
8)地区計画制度 1 (地区計画方針と地区整備計画)
9)地区計画制度 2 (国内事例と海外制度)
10)市街地整備と主体　自治体、公社、NPO、まちづくり会社・・・
11)条例まちづくり 1　背景と仕組み
12)条例まちづくり 2　事例
13)景観まちづくり 1.　意義と歴史
14)景観まちづくり 2.　景観法
15)その他

1st week: what is district planning?
2nd week: infrastructure project 1---land readjustment project
3rd week: infrastructure project 2---urban redevelopment project
4th week: zoning system1---development permission system
5th week: zoning system2---land use zones
6th week: building regulation system1---building ratio/floor ratio
7th week: building regulation system2---building hight control
8th week: district planning system1---planning guidance and detail plan
9th week: district planning system2---examples in Japan and US/Europe
10th week: planning subjects---central government, local authority, public cooperation, NPO, citizens
11th week: machizukuri by municipality ordinance1---background
12th week: machizukuri by municipality ordinance2---examples
13th week: landscape preservation initiatives1---meanings and short history
14th week: landscape preservation initiatives2---landscape law
15th week: extra explanation

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.
it is desirable to review and to prepare each class lecture with delivered powerpoint text or reference books.

関連科目

都市計画
urban and regional planning

教科書に関する補足事項

オリジナルテキストを moodle を通じ配信する。

original text will be delivered through moodle system.

参考書 1	**書名**	新建築学大系 19「市街地整備計画」			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	彰国社	**出版年**	
参考書 2	**書名**	shin kenchikugaku taikei 19 [shigaichi seibi keikaku]			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	syokokusya	**出版年**	
参考書 3	**書名**	chiku keikaku			**ISBN**	
	著者名	tadashi higasa	**出版社**	kyoritsu syupan	**出版年**	
参考書 4	**書名**	地区計画			**ISBN**	
	著者名	日笠端	**出版社**	共立出版	**出版年**	
参考書 5	**書名**	toshikeikau manual			**ISBN**	
	著者名	city planning institute of Japan	**出版社**	maruzen	**出版年**	
参考書 6	**書名**	都市計画マニュアル			**ISBN**	
	著者名	日本都市計画学会	**出版社**	丸善	**出版年**	

参考書に関する補足事項

上記のものの他、以下を挙げる。
・ 建築法規用教材 2007、日本建築学会編
・都市・建築・不動産企画開発マニュアル 2007-2008、エクスナレッジムック
など
in addition to the above box,
1. kenchiku houki you kyozai(architectural institute of Japan)
2. toshi・kenchku・fudosan kikaku kaihatsu manual2007-2008(ekusu narejji mukku)

達成目標

地区計画の方法論（スケール感と必要性及び対象領域と射程）が理解できること。地区レベルでの計画策定プロセスや手法の基礎が理解できること。また、日本の法制度において、地区計画に係わる制度（主体、手続き、実現手段）の基礎が理解できること。
1. to be able to understand district planning methodology(especially scale sense, necessity, and target areas to be necessary).
2. to be able to understand planning process and concrete method basis as the district scale level.
3. to be able to understand district planning institution in Japanese legislative planing system, especially regarding on planning subject, procedure, and enforcement tools.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験によって評価する。ただし、適宜レポート課題を課し、それを成績に反映させる場合がある（配分等はその都度説明する）。
建築コース D3(都市計画)と社会基盤コース D3(デザイン力)は、定期試験によって評価する。
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Evaluation is based primarily on a final examination (100 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

(D-708・6836・asano@ace.tut.ac.jp)
D-708、6836、asano@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://urbandesign.web.fc2.com/MOTHER-hp/STU-hp/index.html
http://urbandesign.web.fc2.com/MOTHER-hp/STU-hp/index.html

オフィスアワー

毎週火曜、木曜の 12：30-13：30
tuesday and thursday from12:30-13:30

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】

特に関連のある項目
(D3) 持続可能な都市計画や都市デザインに関する専門的知識およびこれらの環境保全や景観保全等への応用能力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

(D2)建築史や建築論に関する包括的な専門的知識及びこれらの建築修復等への応用能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。
関連がある項目
architecture course
most related purpose:
d-3:Technical knowledge on sustainable urban planning and urban design and ability to apply the knowledge to preservation of environment and landscape

civil engineering course
related purpose:
d-3:Acquiring grounding as a creative engineer with design ability that makes it possible to research, assemble and solve problems by learning expertise on architecture, knowledge on liberal arts and social science in addition to expertise on civil engineering,

(D2) Have comprehensive expertise concerning architectural history and architectural theory; and the ability to apply such knowledge to architectural restoration, etc.
Particularly-relevant item
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills tosearch for, organize and solve problems in a creative way
Relevant item

キーワード
地区計画　都市デザイン
district planning, urban design

(B15621120)世界建築史[History of World Architecture]

科目名[英文名]	世界建築史[History of World Architecture]				
時間割番号	B15621120	区分	建築・都市専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	前期	曜日時限	月 3～3	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	柳澤　宏江 YANAGISAWA Hiroe				
ナンバリング	ARC_BAC33222				

授業の目標

本科目では、古代から近代に至る西欧建築を中心とした世界の建築史について、歴史的、文化的、技術的背景を踏まえながら理解できるようにすることを目標とする。

Objective of this subject is learning about History of world architecture, mainly Europe and America from pre-history to post-modern.

授業の内容

第1回　エジプト建築、オリエント建築、ギリシャ建築
第2回　ローマ建築、初期キリスト教建築
第3回　ビザンティン建築、イスラム建築
第4回　ロマネスク建築
第5回　ゴシック建築
第6回　中世の世俗建築、ルネサンス建築
第7回　バロック建築
第8回　リヴァイヴァル建築
第9回　新材料を用いた構築物、都市問題・住宅問題
第 10 回　アーツ･アンド･クラフツ運動、アール・ヌーヴォ、小テスト
第 11 回　アメリカ建築の近代化、セセッション
第 12 回　鉄筋コンクリート造建築の登場、ドイツ工作連盟
第 13 回　近代建築運動、モダニズム建築の完成と流布
第 14 回　アール・デコとスカイスクレイパー
第 15 回　第二次世界大戦後の建築とポスト･モダニズム、レポート提出

1. Orientation, Egypt, Orient and Greece architecture
2. Roman architecture
3. Byzantine and Islamic architecture
4. Romanesque architecture
5. Gothic Architecture
6. Renaissance Architecture
7. Baroque Architecture
8. Historicism and Science in Architecture
9. Industrial Revolution and housing, cities and architecture
10. Arts and Crafts and Art Nouveau
11. Modernization in USA and Session
12. Building style for Reinforced concrete
13. Development of modern architecture
14. Art Deco and skyscraper
15. Post War Architects, report

予習・復習内容

世界史や歴史的建造物に関心を持っておくこと。講義毎に小レポートを課すので、予習復習の際には教科書と関連する書籍を参照しておくこと。

Check the outline of world history.Please refer to the textbook and the related books when writing the short report for each lecture.

関連科目

日本建築史
History of Japanese Architecture

教科書 1	書名	建築史：日本・西洋：コンパクト版			ISBN	978-4-395-00876-6
	著者名	「建築史」編集委員会 編著,	出版社	彰国社	出版年	2009
教科書に関する補足事項						
参考書 1	書名	近代建築史図集			ISBN	978-

						4395000227
	著者名	日本 建築 学会／編,	出版社	彰国社	出版年	1989
参考書 2	書名	History of Architecture			ISBN	978-0750602624
	著者名	Sir Banister Fletcher	出版社	Architectural Press	出版年	1991
参考書 3	書名	西洋建築史図集			ISBN	978-4395000210
	著者名	日本建築学会 編,	出版社	彰国社	出版年	1983

参考書に関する補足事項

達成目標

世界の建築に関する様式的特徴について、その変遷を生活や文化、環境的背景と共に理解し、評価できるようにする。
To master development of World architectural styles.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

小テスト3回(10 点満点×14 回、60%) レポート1回(100 点満点、40%) 左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A:達成目標をすべて達成しており, かつレポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 85%達成しており, かつレポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 70%達成しており, かつレポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上
1. Short Report 10*14 60%
2. Report 40%

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

柳澤 宏江
元博物館明治村建築担当
Email: yanagi205@gmail.com
受講科目名と学籍番号、課程学年、氏名を記載し、用件をメールにて伝えて下さい。
Hiroe yanagisawa
Email: yanagi205@gmail.com
Write message with your student number, grade and name.

ウェルカムページ

オフィスアワー

上記の連絡先にご連絡ください。
Contact me by e-mail address.

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D2) 建築史や建築論に関する包括的な専門的知識およびこれらの建築修復等への応用能力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて, 建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し, 創造性を発揮して課題を探求, 組み立て, 解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

(D2)建築史や建築論に関する包括的な専門的知識及びこれらの建築修復等への応用能力を身につけている。
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て, 解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。

(D2) Have comprehensive expertise concerning architectural history and architectural theory; and the ability to apply such knowledge to architectural restoration, etc.
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills

tosearch for, organize and solve problems in a creative way

キーワード

世界建築史

History of World Architecture

(B15621130)建設法規[Law of Urban Planning]

科目名[英文名]	建設法規[Law of Urban Planning]				
時間割番号	B15621130	区分	建築・都市専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	後期	曜日時限	集中	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	浅野　純一郎, 宮地　淳行, 安井　寿和, 冨安　弥, 中野　敬之, 鈴木　健弘, 加藤　宣隆, 齊藤　昇, 原田　貴, 尾崎　弘明 ASANO Junichiro, MIYACHI Toshiyuki, YASUI Hisakazu, TOMIYASU Wataru, NAKANO Noriyuki, SUZUKI Takehiro, KATO Nobutaka, SAITOU Noboru, HARADA Takashi, OZAKI Hiroaki				
ナンバリング	ARC_BAC31020				

授業の目標

[建設法規」の基礎的事項について講義を行う。これにより、建築物を建築するに必要な法令の基礎的知識を得る。
Objectives of this class is gain the fundamental knowledge about Japanese building regulation which controls　all buildings.

授業の内容

各週２コマの講義で、全体で15コマを予定している。
第１限：総論（建築基準法の歴史、建築士倫理、ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ）
第２限：法規概論（建築法規・関連法規とは、法律用語等法律の読み方、基準法の目的・構成）
第３限：建築基準法基礎（用語の定義、面積・高さの算定）
第４限：建築基準法単体規定その１（構造強度）
第５限：同　　その２（防火・避難関係）
第６限：同　　その３（一般構造・設備、その他の単体規定）
第７限：同　　その４（その他の単体規定）
第８限：建築基準法集団規定その１（集団規定）
第９限：同　　その２（集団規定）
第10限：同　　その３（集団規定）
第11限：同　　その４（集団規定）
第12限：関連法規その１（消防法）
第13限：同　　その２（都市計画法、都市・市街地整備関連法）
第14限：手続き規定・工事現場の安全（手続き規定、工事現場の安全、労働安全衛生法）
第15限：関連法規その３（建築士法、建設業法）
　期末試験はレポート形式とする。

1st week: introduction1(short history, engineer ethics, compliance)
2nd week: introduction2(building standard law)
3rd week: fundamental term definition
4th week: regulation for single building1(structural intensity)
5th week: regulation for single building2(fire prevention)
6th week: regulation for single building3(general structure, facility)
7th week: regulation for single building4(extra regulation)
8th week: regulation for multi buildings1
9th week: regulation for multi buildings2
10th week: regulation for multi buildings3
11th week: regulation for multi buildings4
12th week: related law1 (fire service law)
13th week: related law2 (city planning law)
14th week: regulation for procedure and safety
15th week: related law3 (architectural engineer law, building company law)

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに, 次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

建築計画, 都市計画
architectural planning, urban and regional planning

教科書１	書名	建築法規用教材			ISBN	978-4818922365
	著者名	日本建築学会　編集,	出版社	日本建築学会	出版年	2016

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

建築物を建築するに建築基準法を始めとする関連法規があり、設計から施工、竣工まで必要な手続きの方法を習得する。

1. to be able to understand fundamental contents about Japanese building regulation
2. to be able to understand necessary procedure from design, construction to completion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価法：期末試験（課題レポート）の結果をもとに成績を評価します。
評価基準：定期試験の結果（100点満点）が55点以上の場合を合格とします。また、点数が80点以上を評価 A、65点以上80点未満を評価 B、55点以上65点未満を評価 C とします。

JABEE に関して
（建築コース）B(倫理観と社会性)と D4(法規・積算・建築産業と社会的責任)を最終レポート点で評価する。
（社会基盤コース）B(倫理観と社会性)を最終レポート点で評価する。
評価基準は上記に同じ。
Evaluation is based primarily on final report (100 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

note for JABEE
[architecture course]B, D4 are evaluated by the final report.
[civil engineering]b is evaluated by the final report.

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

本講義は，非常勤講師が講義するが，連絡等はD－715まで。

ウェルカムページ

なし

オフィスアワー

なし

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性
(D4) 建築法規や積算、建築産業に関わる包括的な専門的知識および社会的役割や社会的責任との関係を理解できる展開能力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性

（B）【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D4)建築法規や積算、建築産業に関わる包括的な専門的知識及び社会的役割や社会的責任との関係を理解できる展開能力を身につけている。
特に関連がある項目
（B）【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
関連がある項目

(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
Particularly-relevant item

(D4) Have comprehensive expertise concerning building regulations, building surveys and the building industry; and deployment skills to understand the relationship with social functions and social responsibilities Particularly-relevant item (B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society Relevant item
キーワード

(B15621140)建築設計演習基礎[CoreDesign Workshop]

科目名[英文名]	建築設計演習基礎[CoreDesign Workshop]				
時間割番号	B15621140	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	松島　史朗 MATSUSHIMA Shiro				
ナンバリング	ARC_BAC33122				

授業の目標

本授業は、3 年次編入生の内、建築系以外の学科から編入してきた学生を対象にしている。
建築設計の初心者が、基本的な製図の描き方を理解し、トレースを通して図面の描き方を体得することを目標にする。著名建築を題材として、平面図や断面図に加えて透視図の基本を学んだ後、着彩ソフトを使用してプレゼンテーション資料として仕上げるとともに、建築計画的な空間の捉え方の素養を身につけ、基礎的な建築設計のセンスを養うことを図る。

Targeted students of this class are students who have never received an architectural education among admission into third grade.
The Objects of this class are made beginners of Architectural design understand basic Drawing skills, and get Drawing skills through the trace.
You learn the basics of perspective view in addition to the plan view and sectional view, as a theme of famous architecture.
Then, you finish the Drawing as presentation materials using the painting software, and you cultivate a sense of basic architectural design through getting the sophistication of the architectural planning.

授業の内容

第 1 週：設計基礎①：オリエンテーション、建築事例紹介
第 2 週：製図基礎①：課題説明、製図（線の練習、レタリングの練習）
第 3 週：製図基礎②：建築設計の手順についての講義用具販売
第 4 週：製図基礎③：製図（図面のレイアウト、配置図兼1階平面図）
第 5 週：製図基礎④：製図（平面図）
第 6 週：製図基礎⑤：製図（立面図）
第 7 週：製図基礎⑥：製図（断面図）
第 8 週：製図基礎⑦：製図（透視図）
第 9 週：製図基礎⑧：着彩仕上げ
第 10 週：基礎課題①：ピンナップレビュー①
第 11 週：基礎課題②：デスククリット（エスキス）①
第 12 週：基礎課題③：デスククリット（エスキス）②
第 13 週：基礎課題④：ピンナップレビュー②
第 14 週：基礎課題⑤：デスククリット（エスキス）③
第 15 週：基礎課題⑥：提出・講評

1st week: Basic Design　①: Orientation, Introduction of Architecture
2nd week: Basic Drafting ①: Assign a theme, Drafting (practice of draw line, practice of lettering)
3rd week: Basic Drafting ②: Lecture of procedures for building design, Drafting tools sale
4th week: Basic Drafting ③: Drawing (layout of drawing, site plan view and one-floor plan view)
5th week: Basic Drafting ④: Drawing (plan view)
6th week: Basic Drafting ⑤: Drafting (elevation view)
7th week: Basic Drafting ⑥: Drafting (sectional view)
8th week: Basic Drafting ⑦: Drawing (perspective view)
9th week: Basic Drafting ⑧: Painting Finish
10th week: Basic Challenge ①: Pin-Up Review ①
11th week: Basic Challenge ②: Desk Crits (Esquisse) ①
12th week: Basic challenge ③: Desk Crits (Esquisse) ②
13th week: Basic challenge ④: Pin-Up Review ②
14th week: Basic challenge ⑤: Desk Crits (Esquisse) ③
15th week: Basic challenge ⑥: Submission and Critics

予習・復習内容

毎週、製図の課題が課されますので、翌週の授業までに描いてきて下さい。
図面の描き方については各回の講義で説明しますが、教科書にも書かれていますので、各自勉強して下さい。

The challenge of Drafting will be given every week, so please complete it and submit until next week of class.

It will be explained in each class about how to draw the drawings, but it is described in textbooks, so please study your own.

関連科目
建築設計演習Ⅰ～Ⅵ
Workshop 1, Workshop 2, Workshop 3, Workshop 4

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	コンパクト建築設計資料集成			**ISBN**	
	著者名	日本建築学会	**出版社**	丸善	**出版年**	2005
参考書 2	**書名**	建築製図の基本と描き方			**ISBN**	
	著者名	フランシス D.K チン	**出版社**	彰国社	**出版年**	1993

参考書に関する補足事項

達成目標
1）建築図面の製図法の基礎を学ぶ
2）図面の描き方を体得する
3）建築計画的な空間の捉え方を学ぶ
4）基礎的な建築設計のセンスを養う
5）プレゼンテーション能力を養う

1) Learn the basics of drawing method of Architectural drawings
2) Learn how to draw drawings
3) Learn the perceptions of Architectural planning spatial
4) Cultivate a basic sense of Architectural design
5) Get the presentation skills

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
提出された図面および講評会での発表を総合的に評価する。
3つの課題のうち、1つでも提出していない場合は不合格とする。
第1課題については製図のルールに従って正しく描けているか、線が綺麗に描けているかにより採点。
第2課題については、住宅としての機能性、提案のオリジナリティ、最終発表のプレゼンテーションを総合的に加味して採点。
評価点が 85 点以上が評価 A,65 点以上 85 点未満が評価 B,55 点以上 65 点未満が評価 C とする。

We evaluate comprehensively from the submitted drawings and the presentation in critique.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Obtained total points, 85 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
・松島教授　教員室 D-707、電話番号 44-6835、Eメール：shirom@ace.tut.ac.jp
・水谷助教　教員室 D-716、電話番号 44-6842、Eメール：mizutani@ace.tut.ac.jp

・Matsushima　Room: D-707, Phone: 44-6835, e-mail: shirom@ace.tut.ac.jp
・Mizutani　Room: D-716, Phone: 44-6842, e-mail: mizutani@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
松島：毎週火曜日 12:30～14:30、もしくは e-mail によるアポイントで適宜実施
水谷：e-mail によるアポイントで適宜実施
Matsushima: Tuesday 12:30 - 14:30 or Make a appointment by e-mail.
Mizutani: Make a appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

キーワード
平面図、立面図、断面図、配置図、透視図
Plan view, elevation, sectional view, site plan view, perspective view

(B15621150)建築設計演習Ⅴ[Design Workshop 5]

科目名[英文名]	建築設計演習Ⅴ[Design Workshop 5]				
時間割番号	B15621150	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 3～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	浅野　純一郎, 小野　悠, 辛島　一樹, 劉　一辰 ASANO Junichiro, ONO Haruka, KARASHIMA Kazuki, RYU Ichien				
ナンバリング	ARC_BAC33122				

授業の目標

公共建築の設計を通し、建築用途に求められる諸要件を満たすデザインスキルやプロセスを学ぶ。また、公共性や周辺環境との関係を考慮することの重要性を考え、チームで設計することを学ぶ。

Objectives of this class is to learn design skill and process through public architecture design, satisfying necessary conditions of these building usage. Additionally it is also important to design in team, considering the meaning of public and relation with surrounding environment.

授業の内容

「学校建築」変更の場合有り
全 8 回のうち、前半は設計を進める上での方針・全体計画について、
後半は、具体的な設計内容について担当教員とディスカッション形式で行う。

第 1 回　ガイダンス、学校建築についてレクチャー
第 2 回　エスキス 1　教育・空間コンセプトについて
第 3 回　エスキス 2　教育・空間コンセプトについて
第 4 回　エスキス 3　設計内容について
第 5 回　エスキス 4　設計内容について
第 6 回　エスキス 5　設計内容について
第 7 回　エスキス 6　設計内容について
第 8 回　最終講評

地方都市中心市街地の再開発ビル
1) ガイダンス
2) 全体計画・全体構想及び現地調査の発表
3) 全体計画エスキス（敷地分析）
4) 全体計画エスキス（ブロックプラン）
5) 個別施設エスキス（平面計画）
6) 個別施設エスキス（立面・断面計画）
7) 模型撮影
8) 講評会

尚、本スケジュールは変更される場合がある。
contents are divided into two sections.
[an elementary school]　:it might be changed
1st week: guidance about elementary school
2nd week: sketch check1---housing planning
3rh week: sketch check2---plan
4th week: sketch check3---plan, elevation, section
5th week: sketch check4---plan, elevation, section
6th week: sketch check5---plan, elevation, section
7th week: sketch check5---modeling
8th week: oral presentation

[redevelopment facility in central area of local city]
9th week: guidance about redevelopment project
10th week: sketch check1---total planning
11th week: sketch check2---plan
12th week: sketch check3---plan, elevation, section
13th week: sketch check4---plan, elevation, section
14th week: sketch check5---plan, elevation, section
15th week: sketch check5---modeling, perspective

16th week: oral presentation

these contents might be changed

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.
it is desirable to review and to prepare each class lecture with reference books.

関連科目

建築設計演習Ⅰ、建築設計演習Ⅱ
建築設計演習Ⅲ、建築設計演習Ⅳ
architectural design workshop Ⅰ～Ⅳ

教科書に関する補足事項

適宜プリントを配布する。
necessary handouts will be delivered in the class

参考書 1	**書名**	kenchiku sekkei shiryo syuusei [sougo hen]			**ISBN**	
	著者名	architectural institute of Japan	**出版社**	maruzen	**出版年**	
参考書 2	**書名**	建築設計資料集成「総合編」「拡張編」各巻			**ISBN**	
	著者名	日本建築学会	**出版社**	丸善	**出版年**	
参考書 3	**書名**	kenchiku sekkei shiryo syuusei [kakucyo hen]			**ISBN**	
	著者名	AIJ	**出版社**	maruzen	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

・1年次からの学生は、2年次までの単独施設の計画から複合施設の計画手法を修得する。
・3年次編入学生の建築系の学生は各高専で修得した方法等を発展させる。
・上記1，3年次からの学生とも「テーマ・形重視の計画手法」の計画手法の修得を行う。
1. to be able to understand architectural planning and methodology of single public facility and multi public complex for students from 1st grade.
2. to be able to understand architectural planning and methodology of single public facility and multi public complex with higher skills for students from 3rd grade.
3. to be able to design with consistent motive from concept, total story to building form and room layouts.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

「成績の評価」
第一部と第二部の 2 つの課題設計の成果物及び講評会での発表を加味して評価を行う。二つの課題設計の評価の重みは同等であり、それぞれ 60%以上を最低条件とする。

JABEE 両コースとも点数が 90 点以上を評価 S,80 点以上 90 点未満を評価 A,70 点以上を 80 点未満を評価 B,60 点以上 70 点未満を評価 C とする。

JABEE に関して
（建築コース）
第一部と第二部の 2 つの課題設計の成果物により、D1 と D3 を評価する。
第一部と第二部の 2 つの課題設計の講評会における発表・プレゼンテーションによって、E を評価する。
（社会基盤コース）
2 つの課題の成果物により、D3 を評価する。
Evaluation is based primarily on two workshop outcomes (100 points) with the same distribution.
S: Total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

note for JABEE
[architecture course]D1, E are evaluated with two workshop outcomes.
[civil engineering]D3 is evaluated with two workshop outcomes.

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

・浅野教授　教員室Ｄ－７０８，電話番号４４－６８３６、Ｅメール：asano@ace.tut.ac.jp

(D-708・6836・asano@ace.tut.ac.jp)

ウェルカムページ

http://urbandesign.web.fc2.com/MOTHER-hp/STU-hp/index.html

オフィスアワー

・浅野教授、火曜、木曜の１２：３０～１３：３０

tuesday and thursday from 12:30-13:30

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D1) 適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
関連のある項目
(D8) 建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力
関連のある項目
(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3) 社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し， 創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての 素養を身につける

(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画及び建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D8)建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力を身につけている。
特に関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
(D)【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
関連がある項目
architecture course:
most related:
d-1:Technical knowledge and applicable ability on architectural planning and design, with appropriate ability to understand the scale sense and to solve the aesthetic and technical requirement
d-8:Management ability that makes it possible to understand and solute practical problems appropriately and flexibly with planning modification through cooperation and collaboration in a team under restricted conditions by social needs
related:
e:The ability to participate actively at home and abroad through the use of strong self-expression and communication skills
Utilizing technical writing, reporting or announcements issued through informative media sources, the ability to effectively disseminate one's research results and ideas at home and abroad

civil engineering course:
related purpose:
d-3:Acquiring grounding as a creative engineer with design ability that makes it possible to research, assemble and solve problems by learning expertise on architecture, knowledge on liberal arts and social science in addition to expertise on civil engineering,

(D1) Have appropriate spatial awareness skills; and specialized knowledge about architectural planning, architectural design and other facets of design which can properly meet aesthetic and technical demands; and the skills to apply them
Particularly-relevant item
(D8) Understand practical problems in the field of architecture; and have management skills to coordinate and collaborate in a team under the constraints demanded by society and to properly respond to problems, for instance throughmodifying plans

Particularly-relevant item (E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations Relevant item (D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences Relevant item
キーワード 建築設計、建築計画 architectural design, architectural planning

(B15621160)建築設計演習Ⅵ[Design Workshop 6]

科目名[英文名]	建築設計演習Ⅵ[Design Workshop 6]				
時間割番号	B15621160	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 4～5	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	松島　史朗, 水谷　晃啓 MATSUSHIMA Shiro, MIZUTANI Akihiro				
ナンバリング	ARC_BAC33122				

授業の目標

地域課題解決のための総合的な提案を，現地踏査等による情報収集，課題整理等を踏まえて討議し，その成果を図面や模型等を用いて表現し発表する．これにより，建築設計に関わる総合的な専門的技術を用いて課題を探求し，創造性，記述・表現力，発表力，コミュニケーション力を発揮して，その課題を解決・表現する能力を修得する。

In this final design studio, students are expected to experience architectural design process in empirical settings. In order to achieve this goal, capabilities of collecting necessary hands on data by site visit and/or other means such as interviews with local people and analyzing and developing them in various forms such as orthogonal drawings and models to recommend holistic solutions to specific local problems are to be enhanced. It s also expected to acquire knowledge of technical terms so that he/she cab communicate properly, which would be beneficial for them to develop their own abilities of creativity, representation, presentation, and anything related to design business.

授業の内容

本演習は，学部での建築設計演習の総括として基本的に研究室単位で行う。指導教員から与えられたテーマについて原則グループを編成して行う。

第　1週　課題説明
第　2週　現地踏査等による資料収集・整理
第　3週　現地踏査等による資料収集・整理
第　4週　現地踏査等による資料収集・整理
第　5週　地域課題整理結果の報告（ピンナップ）
第　6週　提案コンセプト検討（デスククリット）
第　7週　提案コンセプト検討（デスククリット）
第　8週　提案コンセプト検討（デスククリット）
第　9週　中間報告会1（ピンナップ）
第10週　提案の具体化（デスククリット）
第11週　提案の具体化（デスククリット）
第12週　中間報告会2（ピンナップ）
第13週　提案資料作成
第14週　提案資料作成
第15週　全体で成果発表会

テーマは課題説明時までに決定する。

Team is to be formed on architectural lab. base to which students in other disciplines may join. Instruction is given by lab instructors who decides studio topics.
week 1　course description
week 2　research: data collection by site visit, field survey, and so forth
week 3　ditto
week 4　ditto
week 5　presentation by students on the research, pin-up review
week 6　programming, schematic design, desk crit
week 7　ditto
week 8　ditto
week 9　interim review 1, pin-up
week 10 design development, desk crit
week 11 ditto
week 12 interim review 2, pin-up
week 13 presentation documents
week 14 ditto
week 15 final review

予習・復習内容

タイミング的に都合がよく、外部専門家の審査という形で評価を受けることができる建築学会コンペを題材とする場合もある。
The competition held by Architectural Institute of Japan may be the subject of this studio. Time wise it best suits studio

timeline and there may be opportunities of being reviewed by juries who are in many cases prominent architects and designers, whom we have less opportunities to be evaluated.

関連科目

建築計画，建築設計論、建築史、都市計画および設計演習，測量学等

Architectural design, Theory in architectural design, History of architecture, Planning, Urban design studio, Survey

教科書に関する補足事項

教科書：なし

課題毎に，必要な資料等を配付する。

Textbook: NA

Reference and other materials: Handout or uploaded when necessary

参考書に関する補足事項

達成目標

1）課題に関わる実際上の諸問題を探求し，情報を収集し，収集した資料の整理を行い，課題整理ができる。

2）与えられた課題を空間プログラムとしてまとめる能力とグループワークを通してグループの提案としてまとめいく協働の技術を身に付ける。

3）グループワークによる提案をまとめ，図面や模型といった設計情報の伝達手段を用いて表現できる。

4）口頭でプレゼンテーションを行い、聞く人に理解を得る能力を身に付ける。

Goals of studio: the following aspects are to be evaluated according to his/her level of achievement

1 To identify the real problems, collect necessary information, and reconstitute problem set by classification and analysis of the data collected

2 to develop the data to design requirements and then transfer into the artifacts by collaboration among team members making the most of individual talent and producing symbiotic effect.

3 to understand the pros and cons of individual ideas and develop them into the final solution

4 to be able to convey their design intent by oral presentation with the aide of updated communication tools

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価は、中間報告会・成果発表会における発表内容とプレゼンテーションに対する指導教員による評価シートに基づいて行う。学習・教育目標の諸項目に関連して以下のような配点で評価を行う。D1専門性：30点，D2高度専門性：10点，D3課題解決力など：20点，D4社会性など：20点，E表現力など：20点。

評価点が 90 点以上が評価 S,80 点以上が A,70 点以上 79 点未満が評価 B,60 点以上 69 点未満が評価 C とする。

Grading is to be made as follows;

interim reviews 1 and 2 and final review: presentation skills and the contents of recommendation are to be marked by the following norms,

D1 expertise: 30pt D2 advanced level expertise: 10pt D3 ability to draw solutions: 20pt D4 socialization: 20pt E representation skills/artistic: 20pt

Grades 90 and above S 89-80 A 79-70 B 69-60 C 59- D

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細

その他

（松島）教員室：D－707 電話番号：44-6835 E メール：shirom@ace.tut.ac.jp

Shiro Matsushima office D-707 phone 44-6835 (from abroad +81-532-44-6835) ex. 6835 email shirom@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

各教員に問い合わせのこと

TBA

Appoint by email is prefferd

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】

特に関連のある項目

(D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力

(D7) 建築分野の専門的知識に加え、社会基盤工学や人文・社会科学の知識を修得し、実際の課題を適切に認識すると同時

に、学生、教員相互の協働および討論を通し、制約的条件を特定し、最適解に向けて創造的に企画・立案ができるデザイン能力
(D8)　建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力

関連のある項目
(E) 国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

【社会基盤コース】
関連のある項目
(D3)　社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し，　創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザインカを有する創造的技術者としての 素養を身につける

キーワード
建築デザイン、建築論、デザインコンピュテーション、デジタルファブリケーション、3D プリンタ、レーザーカッター、異業種協働、マネジメント
Architectural design, Theory in architecture, Design computation, Digital fabrication, 3D printer, Laser cutter,Multi dicsiplinary collaborration, Project managemnt

(B15622010)土木数理演習Ⅰ[Mathematical Training for Civil Engineering 1]

科目名[英文名]	土木数理演習Ⅰ[Mathematical Training for Civil Engineering 1]				
時間割番号	B15622010	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	井上　隆信, 加藤　茂, 松田　達也 INOUE Takanobu, KATO Shigeru, MATSUDA Tatsuya				
ナンバリング	ARC_BAC31120				

授業の目標

土木工学における数理学的な基礎的諸問題についての理解を深め，演習を通じて問題の解決能力を養う.

The objective of this course is to enhance the understanding on mathematical and basic problems in civil engineering, and to cultivate problem-solving ability by means of exercises.

授業の内容

土木工学における土質力学，衛生工学および水理学の分野について下記のような項目に関して演習を行う．演習問題を課し授業時間内に解説する.

第 1 週　衛生・環境工学(1)
第 2 週　衛生・環境工学(2)
第 3 週　数的解析(1)
第 4 週　数的解析(2)
第 5 週　小テスト　　（以上，井上担当）

第 6 週　静水力学
第 7 週　ベルヌーイの定理，管路
第 8 週　開水路流れ
第 9 週　力と運動量保存則
第 10 週　小テスト　　（以上，加藤担当）

第 11 週　土の物理的性質
第 12 週　透水・圧密
第 13 週　せん断・斜面安定
第 14 週　土圧・支持力
第 15 週　小テスト　　（以上，松田担当）
第 16 週　まとめと復習

(Instructor: T. Inoue)
1st week, Sanitary and environmental engineering (1)
2nd week, Sanitary and environmental engineering (2)
3rd week, Numerical inference (1)
4th week, Numerical inference (2)
5th week, Mini-examination

(Instructor: S. Kato)
6th week, Hydrostatics
7th week, Bernoulli's theorem, Pipe flow
8th week, Open channel flow
9th week, force and Law of conservation of momentum
10th week, Mini-examination

(Instructor: T. Matsuda)
11th week, Physical property of soils
12th week, Hydraulic of soils, Consolidation
13th week, Shearing, slope stability
14th week, Earth pressure, bearing capacity
15th week, Mini-examination
16th week, Summary and review

予習・復習内容

毎回の講義・演習内容を復習するとともに，次週の内容についても上記の授業内容を参考に予習を行うこと.
Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目
土木工学（社会基盤工学）関連科目全般
特に，土木数理演習Ⅱ
All subject related to civil engineering
Especially, Mathematical Training for Civil Engineering 2

教科書に関する補足事項
特になし
適宜，資料を配布する.
No specific textbook is used.
The resume or related handouts are distributed.

参考書に関する補足事項
高専や本学 1，2 年次に使用した関連分野の教科書を有効に利用すること.
The textbooks and materials that had been used in related subjects of university and college of technology should be used effectively.

達成目標
(1) 数的解析，土質力学，衛生・環境工学および水理学に関する問題の演習を通して，基礎的な知識を確認し，向上させる.
(2) 関連分野の基礎的な問題を解くことができる.
(3) 土木分野の国家・地方公務員試験に相当する程度の知識を身につける

(1) Enhancing the fundamental knowledge on numerical inference, soil mechanics, sanitary/environmental engineering and hydraulics
(2) Solving the basic problems in above subjects
(3) Acquiring the knowledge equivalent to officials of the national government and/or the local governments

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
（評価方法）
小テスト(100%). 最終成績は 3 分野の小テストの平均点で評価する.
4 回以上欠席した場合（原則すべての講義に出席）は単位を認めない.

（評価基準）
上記達成目標の到達度について評価し，評価点（100 点満点）が 55 点以上を合格とする.
80 点以上を A，65 点以上 80 点未満を B，55 点以上 65 点未満を C とする.

Students are required to attend essentially all classes for evaluation.
More than four classes of absence are not allowed for evaluation.
Final evaluation is based on the average of mini-examination of three mini-examination (100 points).

Grade, A: 80 or higher, B: 65 or higher to lower than 80, C: 55 or higher to lower than 65.

定期試験
授業を実施
Regular Class

定期試験詳細

その他
井上：D-811，6852，inoue@ace.tut.ac.jp
加藤：D-812，6853，s-kato@ace.tut.ac.jp
松田：D-808，6849，t.matsuda@ace.tut.ac.jp
T. Inoue: D-811, 6852, inoue@ace.tut.ac.jp
S. Kato: D-812, 6853, s-kato@ace.tut.ac.jp
T. Matsuda: D-808, 6849, t.matsuda@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
井上　http://www.wq.ace.tut.ac.jp/
加藤　http://www.umi.ace.tut.ac.jp/
松田　http://www.geomech.ace.tut.ac.jp/
T. Inoue: http://www.wq.ace.tut.ac.jp/
S. Kato: http://www.umi.ace.tut.ac.jp/
T. Matsuda: http://www.geomech.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
井上：　水曜日 12:30-13:10 その他の時間でも随時対応する．ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること．
加藤：　随時対応する．ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること．
松田：　随時対応する．ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること．

T. Inoue: Wednesday, 12:30-13:10, or at any time (Make appointment by e-mail or in class.)
S. Kato: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)
T. Matsuda: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D1) 社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎力を身につける
関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

(Civil and Environmental Engineering Course)
[Particularly-relavant item]
(D1) Acquiring the fundamental ability in mathematics and physics necessary to be proficient in civil engineering
[Relavant item]
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances

(Architecture and Building Science Course)
[Relavant item]
(C) The basic skills and applicability necessary to scientifically make technological advances

キーワード
演習，土木工学基礎
Exercise, Fundamentals of Civil Engineering

(B15622020)土木数理演習Ⅱ[Mathematical Training for Civil Engineering 2]

科目名[英文名]	土木数理演習Ⅱ[Mathematical Training for Civil Engineering 2]				
時間割番号	B15622020	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也, 松尾　幸二郎 MIURA Kinya, MATSUO Kojiro				
ナンバリング	ARC_BAC31120				

授業の目標

土木工学全般における技術と諸問題について理解を深め，総合的な学力を向上させることを目標としている．演習を通じて，土木工学基礎科目の基礎力を養う

The objectives of this class are to promote understanding of technologies and various issues in civil engineering field, and to improve the comprehensive academic ability.

Students will develop fundamental skills of basic subjects in civil engineering.

授業の内容

土木工学における交通工学・土木計画学および構造力学・構造工学の分野について下記のような項目に関して演習を行う．用意した設問を解答し，授業時間内に解説する．各週の講義内容は下記の通りである（日程は変更されることがあるので注意のこと）．

（担当教員　第 1 週から第 8 週：三浦，第 9 週から第 15 週：松尾）

第 1 週　ガイダンスおよび土木計画学・交通工学，一般力学・構造力学の概論
第 2 週　断面力，梁とラーメン構造
第 3 週　不静定構造のたわみ挙動
第 4 週　中間試験1
第 5 週　影響値
第 6 週　トラス
第 7 週　断面2次モーメント
第 8 週　中間試験2
第 9 週　工程管理 (PERT)
第 10 週　LP およびネットワーク
第 11 週　確率と統計 (1)
第 12 週　確率と統計 (2)
第 13 週　数理最適化問題
第 14 週　土木計画，地域計画，都市計画
第 15 週　測量，交通計画，交通工学

Students work on mathematical exercise about structural mechanics, structural engineering, infrastructure planning, and transportation engineering in civil engineering field.

Students try solving prepared problems and then the lecturer gives explanation of how to solve the problem.

[Contents of each week] (There is a case that the schedule is changed)

(Lecturer Week 1-8: Miura; Week 9-15: Matsuo)

Week 1 Introductory guidance and general statement of structural mechanics, structural engineering, infrastructure planning, and transportation engineering
Week 2 sectional force in beams and ramen structures
Week 3 deflection of undetermined structures
Week 4 1st mid-term examination
Week 5 truss structures
Week 6 influence values for beams and trusses
Week 7 inertial moment of sections
Week 8 2nd mid-term examination
Week 9 Program Evaluation and Review Technique (PERT)
Week 10 Liner Programming (LP) and network
Week 11 Probability and statistics (1)
Week 12 Probability and statistics (2)
Week 13 Mathematical optimization

Week 14 Infrastructure planning, regional planning, and urban planning
Week 15 Surveying, transportation planning, and traffic engineering

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.
Carry out a preparation and review by a textbook and lecture notes.

関連科目

土木数理演習Ｉは，材料・土質工学と水理学・衛生工学をカバーしており，同時期に開講するこの科目も履修する必要がある.
土木工学全般に対する基礎的な知識を有していることを前提としている.
Students also have to take the Mathematical Training for Civil Engineering 1 which is open around same time and covers material engineering, geotechnical engineering, hydraulics, and sanitary engineering.
Students need to have basic knowledge of the whole field of civil engineering.

教科書に関する補足事項

教科書: 特に無し. 演習問題は授業中に配布する.

Textbook: Nothing special. Papers of exercises problems are distributed in the class.

参考書に関する補足事項

達成目標

・ 構造力学の基本を確認し，問題を解くことができる
・ 交通工学・国土計画の基本を理解し，問題を解くことができる
・ 演習を通して土木工学の基礎知識を再確認および向上させ，土木分野の国家・地方公務員試験に相当する程度の知識を確かなものにするとことを目的としている.
- Acquiring the ability to understand and solve basic problems in structural engineering.
- Acquiring the ability to understand and solve basic problems in infrastructure planning and transportation engineering.
- Developing basic knowledge in civil engineering and acquiring the equivalent knowledge of national and regional government worker examinations, through these exercises.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法: 授業中に課すレポート，および 2 回の定期試験（中間試験，期末試験）により総合的に評価する.
評価基準: 原則的にすべての授業に出席し，授業中の課題をすべて提出したものに対して，下記のように成績を評価する。
S:2 回の定期試験の平均点が（100 点満点）が 90 点以上
A:2 回の定期試験の平均点が（100 点満点）が 80 点以上
B:2 回の定期試験の平均点が（100 点満点）が 70 点以上
C:2 回の定期試験の平均点が（100 点満点）が 60 点以上
[Evaluation method] All the reports assigned, and the results of two examinations are taken into account.
[Evaluation basis] Students who attend all classes and submitted all the assignments will be evaluated as follows:
S: Obtained average points of the exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained average points of the exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained average points of the exam, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained average points of the exam, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

・建築・都市システム学系ホームページ: http://www.ace.tut.ac.jp/
・松尾研究室ホームページ: http://www.tr.ace.tut.ac.jp/
Miura : http://www.ace.tut.ac.jp/
Matsuo : http://www.tr.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー

・三浦: 毎週水曜日 9:00-12:30, 13:00-16:00
・松尾: 毎週水曜日 随時対応可. ただし，事前連絡をすること.
- Miura: At any time. Please contact Miura by e-mail in advance.
- Matsuo: At any time. Please contact Matsuo by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D1) 社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理力の基礎力を身につける
関連のある項目
(C) 技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

本科目は各 JABEE コースの学習・教育到達目標の以下の項目に該当する.

＜社会基盤コース＞
［特に関連がある項目］
(D1)社会基盤工学の学習に必要な数学力および力学を主体とする物理学の基礎力を身につける
［関連のある項目］
（C）【社会基盤コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力

＜建築コース＞
［関連のある項目］
（C）【建築コース】技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力

キーワード
土木； 社会基盤
civil engineering, structural mechanics,

(B15622030)地盤力学[Geomechanics]

科目名[英文名]	地盤力学[Geomechanics]				
時間割番号	B15622030	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	金 5～5	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	松田　達也 MATSUDA Tatsuya				
ナンバリング	ARC_BAC32120				

授業の目標

土の分類，物理的性質，透水性，圧縮性，せん断強度など，地盤力学の基本的な事項について学習する。地盤や土構造物内の地下水浸透量や地盤中の応力，地盤の圧密沈下量，構造物に作用する土圧などの計算方法について，その概略と基本的な計算方法を学習する。社会基盤，建築の両分野において構造物を設計する上での重要な地盤や土構造物の安定性についても基本的な事項を学習する。

Learn basic subjects of geomechanics: consolidation of ground, earth pressure on structures, slope stability of ground, and load bearing capacity of ground.

Learn basic and important items necessary for the design of structures in the field of civil engineering and architecture.

授業の内容

第　1週　ガイダンス，地盤力学の概論
第　2週　地下水の浸透（1）
第　3週　地下水の浸透（2）
第　4週　地盤の沈下と圧密現象
第　5週　せん断・連続体力学の基礎（1）
第　6週　せん断・連続体力学の基礎（2）
第　7週　中間試験
第　8週　せん断・連続体力学の基礎（3）
第　9週　せん断・構成式（1）
第10週　せん断・構成式（2）
第11週　土圧（1）
第12週　土圧（2）
第13週　斜面の安定（1）
第14週　斜面の安定（2）
第15週　支持力
第16週　期末試験

1st week, Introductory guidance, role of geomechanics in design of structures
2nd week, Seepage flow of Ground Water (1)
3rd week, Seepage flow of Ground Water (2)
4th week, Consolidation
5th week, Shearing and Fundamental of Continuum Mechanics (1)
6th week, Shearing and Fundamental of Continuum Mechanics (2)
7th week, Midterm examination.
8th week, Shearing and Fundamental of Continuum Mechanics (3)
9th week, Shearing and Constitutive models (1)
10th week, Shearing and Constitutive models (2)
11th week, Earth pressure (1)
12th week, Earth pressure (2)
13th week, Slope stability (1)
14th week, Slope stability (2)
15th week, Bearing capacity
16th week, term-end examination.

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目

数学，基礎地盤力学，地盤力学，地盤工学，地盤地震工学，構造力学，構造実験

mathematics, fundamental geomechanics, geomechanics, geotechnical engineering, geotechnical earthquake engineering,

structural mechanics, structural experiment

教科書に関する補足事項

教科書：特に無し．講義資料は授業中に配布する．

No specific textbook is used.
The resume or related handouts are distributed as occasion demands.

参考書に関する補足事項

達成目標

土および地盤の物理的・力学的性質とせん断強度特性を理解し，下記の項目について，簡単な問題を解く能力を身に着けることを目標とする。

・土の透水性
・土の圧縮性と地盤の圧密現象
・土のせん断強度
・構造物に作用する土圧
・斜面安定
・支持力

Understand Seepage, consolidation settlement of ground, earth pressure, slope stability, and load bearing capacity of ground.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

＜評価方法・評価基準＞
試験（90%），レポート（10%）を総合的に評価する．
原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する．
S：評価点（100 点満点）が 90 点以上
A：評価点（100 点満点）が 80 点以上
B：評価点（100 点満点）が 70 点以上
C：評価点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。

[Evaluation method and basis]
Evaluation is based on total points (out of 100 points) of examinations (90%) and reports (10%).
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of evaluation, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of evaluation, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of evaluation, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of evaluation, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

＜評価方法・評価基準＞
試験（90%），レポート（10%）を総合的に評価する．
原則的にすべての講義に出席したものにつき，下記のように成績を評価する．
S：評価点（100 点満点）が 90 点以上
A：評価点（100 点満点）が 80 点以上
B：評価点（100 点満点）が 70 点以上
C：評価点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。

[Evaluation method and basis]
Evaluation is based on total points (out of 100 points) of examinations (90%) and reports (10%).
Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of evaluation, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of evaluation, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of evaluation, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of evaluation, 60 or higher (out of 100 points).

その他

教員室：D-808（松田）

電話番号：0532-44-6849（松田）
E メール：t.matsuda@ace.tut.ac.jp（松田）

Room Number：D-808
Tel.：0532-44-6849
e-mail：t.matsuda@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.geomech.ace.tut.ac.jp/
http://www.geomech.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー

随時；事前にメールで連絡することが望ましい
anytime; advanced contact by e-mail is required.

学習・教育到達目標との対応

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2) 土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

【建築コース】
特に関連のある項目
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

(Civil and Environmental Engineering Course)
[Particularly-relavant item]
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering

(Architecture and Building Science Course)
[Particularly-relavant item]
(D5) Technical knowledge on architectural structure, building material, building construction; overall expertise in grasping the integration of fundamental research, building construction methods and construction execution toward completion of a building

キーワード

土質力学，土の分類，土の透水性，土の圧縮性，土のせん断強さ，地盤沈下，土圧
soil mechanics, classification of soils, permeability of soils, compressibility of soils, shear strength of soils, settlement of ground, earth pressure

(B15622080)測量学Ⅱ演習[Surveying 2:Lecture and Exercise]

科目名[英文名]	測量学Ⅱ演習[Surveying 2:Lecture and Exercise]				
時間割番号	B15622080	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 5～5	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也, 松田　達也, 岡辺　拓巳 MIURA Kinya, MATSUDA Tatsuya, OKABE Takumi				
ナンバリング	ARC_BAC33320				

授業の目標

測量は建設事業の基礎資料や基本的地図の作成が主体であったが，現在の測量には都市・地域の開発，土地利用計画，社会基盤整備への支援，災害・環境対策での調査，構造物の安全管理，大規模建設工事に伴う高精度化等が求められている．さらに，近年の電子技術，宇宙技術を利用した最新技術を応用した GNSS（汎地球測位システム），GIS（地理情報システム），RS（リモートセンシング）の急速な進展により，測位や計測だけでなく，情報収集や各種支援の基礎として重要性が高まっており，あらゆる分野のニーズに対応するための技術として位置づけられつつある．

測量学Ⅱ演習では，これらの事項に関連した演習を行い，測量学Ⅰ，測量学Ⅰ実習および測量学Ⅱで学んだ測量の基礎をもとに，応用測量や新しい測量技術を習得する．特に社会基盤コースでは，チームで協力・協働しながら実験・観測を計画・追考してデータを正確に解析するとともに，科学技術的な視点から考察・説明する能力を養う．

These days, surveying technique offers not just basic maps for a construction project but also advanced mapping information for urban and regional development, land use planning, disaster prevention and environmental monitoring. In addition, the Global Navigation Satellite System (GNSS), the Global Information System (GIS) and remote sensing technologies are now rapidly developing, so wider knowledge of the basics, applications and technical skills are required to surveyors.

The purpose of this course is to acquire advanced surveying skills based on introductions of the newest surveying and mapping technologies and field exercises using recent land surveying equipment. Students will develop the ability to manage of land survey, analyze and review the data through collaborative group work.

授業の内容

各週の講義内容は下記のとおりである．

第1週　ガイダンス
第2週　測量器械の据付け練習
第3週　測量CAD（トラバース測量，細部測量）（1）
第4週　測量CAD（トラバース測量，細部測量）（2）
第5週　測量CAD（トラバース測量，細部測量）（3）
第6週　測量CAD（トラバース測量，細部測量）（4）
第7週　測量CAD（トラバース測量，細部測量）（5）
第8週　水準測量
第9週　平板測量（1）
第10週　平板測量（2）
第11週　平板測量（3）
第12週　GNSS測量の説明
第13週　GNSS測量
第14週　最新機器を用いた計測
第15週　資格の説明，据付けテスト

Week 1: Guidance
Week 2: Training for operating survey equipment
Week 3: Traverse and detail survey (1)
Week 4: Traverse and detail survey (2)
Week 5: Traverse and detail survey (3)
Week 6: Traverse and detail survey (4)
Week 7: Traverse and detail survey (5)
Week 8: Level survey
Week 9: Plane table survey (1)
Week 10: Plane table survey (2)
Week 11: Plane table survey (3)
Week 12: Introduction to GNSS
Week 13: Real Time Kinematic GNSS survey
Week 14: Introduction to new generation survey equipment
Week 15: Guidance about surveyor license, and test

予習・復習内容

毎回の演習内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト等を参考に予習をすること.

The students are required to review the contents of each exercise and refer some textbooks and/or materials related to the next class as preparation.

関連科目

応用数学Ⅰ・Ⅱ，測量学Ⅰ，測量学Ⅰ実習，測量学Ⅱ

Applied mathematics 1 and 2, Surveying 1, Surveying 1 exercise and Surveying 2

教科書に関する補足事項

必要に応じて資料を配布する.

No specific textbook will be used. The resume or related handouts will be distributed.

参考書 1	**書名**	基礎測量学			**ISBN**	978-4-485-30053-4
	著者名	長谷川昌弘，川端良和 編著	**出版社**	電気書院	**出版年**	2010

参考書に関する補足事項

講義の中で適切な参考書や文献等を紹介する.

References information will be shared in class.

達成目標

グループワークによる一連の測量作業を通じて，より実践的な測量技術を習得するとともに，チームを課題解決に導ける技術者としての素養を身につける．また，最新の応用測量技術を学ぶことにより，現在の測量技術における高度な調査技術や高精度なデータ取得，空間データの利用技術等を理解し，都市システム学での研究・設計・施工等に幅広く高度に活用できる知識や実技能力を養う.

Upon successful completion of this course, the students will acquire:

a) Basic knowledge and techniques about surveying.

b) Knowledge and technical ability pertaining to research, design and construction in the architecture and civil engineering fields through its learning the latest application surveying technology such as the technology for advanced research, the data acquisition technology with high accuracy and an application technology for the spatial data.

c) Ability to work effectively in groups, run a productive meeting and collaborate on problem-solving activities with teamwork.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

＜評価方法＞

実習態度(20%)・実技試験(20%)・実習レポート(60%)により総合評価する.

＜評価基準＞

上記達成目標の達成度に対して，評価点（100 点満点）が 55 点以上を合格とする.

80 点以上を A，65 点以上 80 点未満を B，55 点以上 65 点未満を C とする.

[Evaluation method]

Total evaluation point is calculated which based on the following weights:

Attitude in practice (20%); Practical exam (20%); Report (60%)

[Evaluation basis]

Evaluation is based primarily on the above method.

A: Total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).

C: Total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細

授業最終日に測量機器の据え付けテストを行う.

The test of setting up of surveying instruments is conducted in the final session.

その他

教員室： D-803（三浦），D-808（松田），D-809（岡辺）

ウェルカムページ

Prof. Miura & Lecturer Matsuda: http://www.geomech.ace.tut.ac.jp/

Assistant Prof. Okabe: http://umi.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー

水曜日 12:00-15:00（三浦）

※曜日 16:25-17:40（松田）

水曜日 12:30-13:30（岡辺）

Prof. Miura: Wed. 12:00-15:00
Lecturer Matsuda: Wed. 13:00-14:00
Assistant Prof. Okabe: Wed. 12:30-13:30

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
(D1) 適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D5) 社会基盤工学に関する課題に対して，複数のメンバーで構成されたチームで取り組み， チームとして課題を達成することのできる実践的創造的技術者としての素養を身につける
関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering

[Architecture and Building Science Course]
Relavant item
(D1) Technical knowledge and application ability in architectural planning and design; the ability to understand architectural scale and to solve the aesthetic and technical requirements for a project
(D5) Technical knowledge on architectural structure, building material, building construction; overall expertise in grasping the integration of fundamental research, building construction methods and construction execution toward completion of a building

[Civil and Environmental Engineering Course]
Relavant item
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering
Particularly-relavant item
(D5) Acquiring grounding as a practical and creative engineer to meet challenges and solve problems in civil engineering in teams comprised of several members

キーワード
測量，トラバース測量，詳細測量，水準測量，平板測量，GNSS 測量
Surveying, traverse survey, detail survey, leveling, plate table survey, GNSS survey

(B15622090)地盤地震工学[Geotechnical Earthquake Engineering]

科目名[英文名]	地盤地震工学[Geotechnical Earthquake Engineering]				
時間割番号	B15622090	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	火 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也 MIURA Kinya				
ナンバリング	ARC_BAC32720				

授業の目標

地盤地震工学における種々の現象の概要と解析手法を学習する。クイッククレー，地盤の液状化，波浪を受ける海底地盤の液状化，地盤の地震応答解析についての講義と演習を通して，現象の定式化と計算方法を学ぶ。

Learn the outline and analytical methods of the selected subjects in geotechnical earthquake engineering. Through lectures and exercises on quick clay, liquefaction of ground, liquefaction of seabed, and earthquake response analysis of ground, learn formulation of the phenomena and calculation methods

授業の内容

00. ガイダンス / 授業の内容
01. クイッククレイ(1) / ビデオによる事例紹介
02. クイッククレイ(2) / クイッククレイのメカニズム，日本の鋭敏粘土
03. 地盤の液状化・液状化強度 / 調査法，試験法，
04. 地盤の液状化・診断 / 地盤の液状化診断，計算方法，土質柱状図
00. Introductory guidance
05. 地盤の液状化・対策 / 対策法の分類，既存の構造物への対策
中間試験
06. 波浪を受ける海底地盤・挙動 / 海底地盤の不安定化，液状化
07. 波浪を受ける海底地盤・定式化 / 支配方程式，一般解
08. 波浪を受ける海底地盤・基本解 / 応答関数，境界条件
09. 地震動の解析 / フーリエ解析，スペクトル
10. 質点系の振動解析 / 重複反射法，固有振動数
11. 地盤の振動解析 / 振動の減衰と増幅，等価線形化法
12. 層状地盤の地震応答解析 / 重複反射法，Shake
13. 地盤と構造物の振動解析演習
期末試験

00. Introductory guidance
01. Quick Clay (1)
02. Quick Clay (2)
03. Liquefaction of Ground; Liquefaction Strength
04. Liquefaction of Ground; Evaluation
05. Liquefaction of Ground; Case study
Midterm examination
06. Seabed Subjected to Wave Loading; Behavior
07. Seabed Subjected to Wave Loading; Formulation
08. Seabed Subjected to Wave Loading; Fundamental solution
09. Analysis of Earthquake Motion
10. Vibration Equation of Mass System
11. Vibration Analysis of Ground
12. Earthquake Response Analysis of Ground
13. Exercises of Vibration Analysis of Ground and Structure
Term-end examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

数学，基礎地盤力学，地盤力学，地盤工学，地盤地震工学，構造力学，構造実験

mathematics, fundamental geomechanics, geomechanics, geotechnical engineering, geotechnical earthquake engineering, structural mechanics, structural experiment

教科書に関する補足事項

教科書：特に無し．講義資料は授業中に配布する.

参考書に関する補足事項

達成目標
以下の項目について現象の定式化と計算方法を理解する。
・クイッククレー
・地盤の液状化
・波浪を受ける海底地盤の液状化
・地盤の地震応答

Understand the formulation of the phenomena and calculation method on the following items:
- quick clay
- liquefaction of ground
- liquefaction of seabed
- earthquake response of ground

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法:講義中に課すレポート 30%, 定期試験 70%の割合で評価する
評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
A:テストとレポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:テストとレポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:テストとレポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

[Evaluation method] 30% for reports, and 70% for examinations
[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
A: Obtained total points of exams and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exams and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exams and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
教員室: D-803(三浦)
電話番号: 44-6844(三浦)
E メール: k-miura@ace.tut.ac.jp(三浦)

ウェルカムページ
http://www.st.ace.tut.ac.jp
http://www.st.ace.tut.ac.jp

オフィスアワー
随時; 事前にメールで連絡することが望ましい
anytime; advanced contact by e-mail is required.

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
特に関連のある項目
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで, 社会基盤工学の基礎知識を身につける

キーワード
土質力学, 土の分類, 土の透水性, 土の圧縮性, 土のせん断強さ, 地盤沈下, 土圧

soil mechanics, classification of soils, permeability of soils, compressibility of soils, shear strength of soils, settlement of ground, earth pressure

(B15622100)水工学演習[Hydraulic Engineering Exercise]

科目名[英文名]	水工学演習[Hydraulic Engineering Exercise]				
時間割番号	B15622100	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	水 4～4	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	岡辺　拓巳, 中村　亮太 OKABE Takumi, NAKAMURA Ryota				
ナンバリング	ARC_BAC34320				

授業の目標

水理の諸現象について，演習を通じてその特性を理解する．また，水理学や流体力学に関する諸問題を解くための実践的な知識を習得する．

The main objectives of this course include the following:

1. Understand the properties of various hydraulic phenomena through the exercises.
2. Acquire the basics and working knowledge to solve hydraulic problems.

授業の内容

演習内容は下記のとおりである．

1 週目：流体静力学と静水圧力
2 週目：管路における流れ（1）
3 週目：管路における流れ（2）
4 週目：複雑管路システムの流れ
5 週目：開水路流れ（1）
6 週目：開水路流れ（2）
7 週目：流れによる力の作用
8 週目：前半のまとめ
9 週目：次元解析と相似則（1）
10 週目：次元解析と相似則（2）
11 週目：浮力と浮体の安定（1）
12 週目：浮力と浮体の安定（2）
13 週目：流体機械（1）
14 週目：流体機械（2）
15 週目：後半のまとめ

Week 1: Fluid statics and hydrostatic pressure
Week 2: Flow in closed conduits (1)
Week 3: Flow in closed conduits (2)
Week 4: Complex pipeline systems
Week 5: Flow in open channels (1)
Week 6: Flow in open channels (2)
Week 7: Forces induced by moving fluids
Week 8: Summary of contents on Weeks 1-7 and midterm
Week 9: Dimensional analysis and hydraulic similitude (1)
Week 10: Dimensional analysis and hydraulic similitude (2)
Week 11: Buoyancy and flotation (1)
Week 12: Buoyancy and flotation (2)
Week 13: Fluid machinery (1)
Week 14: Fluid machinery (2)
Week 15: Summary of contents on Weeks 9-14 and midterm

予習・復習内容

毎回の演習内容を復習すること．特に講義中に終わらなかった演習課題については，次回の講義までに必ず終えておくこと．

The students are required to review the contents of each session and refer some textbooks and/or materials related to the next class as preparation.

関連科目

教科書に関する補足事項

演習の内容に関する資料について，プリントを配布する．

No specific textbook will be used. The resume or related handouts will be distributed.

参考書 1	**書名**	Fluid Mechanics and Hydraulics			**ISBN**	978-0-07-183145-1
	著者名	Ranald V. Giles et al.	**出版社**	McGraw-Hill Esucation	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項
講義の中で適切な参考書や文献等を紹介する.

達成目標
1. 水理に関する諸現象の特徴を理解し，その基本的な知識を得ること.
2. 水理・流体力学の問題を解決するための実用的な知識を習得すること.
Upon successful completion of this course, the students will acquire:
a) Basic knowledge and characteristics about hydraulics and related phenomena.
b) Working knowledge to solve hydraulic problems.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
（評価方法）
原則的にすべての授業に出席し，演習課題およびレポートを全て提出すること.
演習課題（各課題の成果の合計）:50%
最終課題に対するレポート:50%

（評価基準）
上記達成目標の達成度について評価し，評価点（100 点満点）で 55 点以上を合格とする.
80 点以上を A，65 点以上 80 点未満を B，55 点以上 65 点未満を C とする.

Attendance is mandatory. Absence from classes will be granted only in the event of medical or family emergencies which must be documented and communicated to the instructor.

[Evaluation method]
Total evaluation point is calculated based on the following weights:
Exercises (homework/reports) 50%
Final report 50%

[Evaluation basis]
A: The total points, 80 or higher (out of 100 points).
B: The total points, 65 or higher (out of 100 points).
C: The total points, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細
期末試験は実施せず，最終レポートを提出する.
By final report.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
岡辺:水曜日:12:30-13:30
中村:必用に応じて調整をすること
T. Okabe: Wed: 12:30-13:30
R. Nakamura: By appointment

学習・教育到達目標との対応
建築・都市システム学課程

[建築コース]
関連がある項目
(D5)建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

[社会基盤コース]
関連がある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につける

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering

[Architecture and Building Science Course]

Relavant item
(D5) Technical knowledge on architectural structure, building material, building construction; overall expertise in grasping the integration of fundamental research, building construction methods and construction execution toward completion of a building

[Civil and Environmental Engineering Course]
Relavant item
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering

キーワード

(B15622110)大気環境工学[Atmospheric Environmental Engineering]

科目名[英文名]	大気環境工学[Atmospheric Environmental Engineering]				
時間割番号	B15622110	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	金 3～3	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	東海林　孝幸 TOKAIRIN Takayuki				
ナンバリング	ARC_BAC34420				

授業の目標

メガシティの大気環境問題は、”大気汚染”と”熱環境の悪化”に大別される。持続可能社会の形成には、これらの制御が欠かせず、そのためには大気流れの特性、大気境界層内での拡散特性、地表面と大気の間の熱や運動量や物質の交換特性の理論的な理解と予測の手法を知らねばならない。本講義ではこれらを考慮した大気環境計画の方法論の習得を目標とする。

Deterioration of air quality and thermal environment are major atmospheric environment issues in mega cities. To form a sustainable society, it is significant to clarify the causes of these environmental problems and prevent environmental pollution. The objective of this class is to understand the physical properties of air flow and air pollutant dissipation in atmospheric layer and the interaction of heat, momentum and mass between surface and atmosphere.

授業の内容

・大気環境概論：大気汚染の定義、大気汚染物質の種類、環境基準値
・煙の拡散の一般的特性：煙の上昇と有効煙突高さ、着地濃度
・大気拡散の基礎的な取り扱い1：拡散濃度、乱流拡散
・大気拡散の基礎的な取り扱い2：Taylor の拡散モデル概要、勾配拡散モデル、拡散方程式とその解
・大気拡散と気象条件1：気温勾配と大気安定度、大気の熱力学、温位の概念
・大気拡散と気象条件2：風速の鉛直分布
・拡散濃度の計算法1：排ガスの上昇式、上昇過程式
・拡散濃度の計算法2：プルーム拡散式、パフ拡散式、拡散幅
・大気環境の予測と評価1：環境濃度の予測と影響評価、大気環境シミュレーション方法の分類、モデルの性能評価法
・大気環境の予測と評価2：大気環境の評価方法（98%値、2%除外値）、大気環境アセスメントの概要
・都市熱環境概論：都市温暖化の背景、ヒートアイランド
・地表面熱収支の基礎1：顕熱・潜熱輸送式
・地表面熱収支の基礎2：放射冷却、人工排熱の効果
・斜面上の流れと局地風
・植生と大気：群落内部の微気象、葉面熱収支

・試験
・Introduction to atmospheric environment: definition, various air pollutants and its environmental standards
・General properties for atmospheric dissipation of pollutant
・Basic of atmospheric diffusion 1: pollutant concentration, turbulence diffusion
・Basic of atmospheric diffusion 2: diffusion equation
・Atmospheric diffusion and meteorology 1: atmospheric thermal stability, thermodynamics of atmosphere
・Atmospheric diffusion and meteorology 2: vertical profiles of wind
・Calculation of the concentration for air pollution 1: various formulae of rising plume
・Calculation of the concentration for air pollution 2: Plume and puff formulae
・Prediction and evaluation methods of atmospheric environment 1
・Prediction and evaluation methods of atmospheric environment 2
・Introduction to thermal environment: Urban heat island and its background
・Heat balance at ground surface 1: radiation, sensible and latent heat
・Heat balance at ground surface 2: radiative cooling, anthropogenic heat
・Local wind
・Micro meteorology in plant canopy
・Heat balance at leaf surface

Examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

大学2年、高専までの数学、物理
differential equation, caliculus and basic physics of transport phenomena

教科書に関する補足事項

適宜資料を配布する。
resume

参考書に関する補足事項

達成目標
（1）環境大気の化学組成について知り、大気汚染、温暖化を含む環境問題と人間社会の関係を理解する。
（2）環境大気の物理的特性を知り、大気汚染との関係を理解する。
（3）大気環境予測の理論的基礎と方法論を理解する。
（4）持続可能社会・都市形成のための排出源制御、土地利用計画などに結びつく能力を養う。
1) To understand the relationship between envoronmental issues and our society through learning physical and chamical properties of atmospheric environment.
2) To understand transport phenomena for air pollutant.
3) To underestand the theory and methodology of prediction of atmospheric environment.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法：定期試験1回・レポート（80%+20%）で評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B3
S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4
A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポート・期末テストの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：レポート・期末テストの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Evaluation basis: Examination(80%) + report(20%)
Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B3
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
Takayuki Tokairin（G－405, ex. 6911）tokairin@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時
anytime

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
(D5)　建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

キーワード

(B15622130)環境マネジメント[Environmental Management]

科目名[英文名]	環境マネジメント[Environmental Management]				
時間割番号	B15622130	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	井上　隆信, 横田　久里子 INOUE Takanobu, YOKOTA Kuriko				
ナンバリング	ARC_BAC34420				

授業の目標

現在の環境問題で重要な地球環境問題，水環境の保全，廃棄物の処理、処分，化学物質による汚染を取り上げ，どのような施策がとられ、どのようにマネジメントされているかについて学ぶ.

To know and understand the water quality change in environment and treatment system.

To know and understand drinking water treatment and waste water treatment

授業の内容

各週の講義内容は下記の通りである.

第　1週　環境基本法
第　2週　環境に関する国連での宣言、条約、議定書
第　3週　地球規模の環境問題(1) 地球温暖化
第　4週　地球規模の環境問題(2) 酸性雨、熱帯雨林の減少等
第　5週　わが国の水環境問題の歴史
第　6週　現在の水環境の問題(有機物汚濁、富栄養化、貧酸素水塊の発生)
第　7週　河川、湖沼、内湾の水環境マネジメント法
第　8週　中間試験
第　9週　環境アセスメント(1) 概要
第10週　環境アセスメント(2) 手続き
第11週　廃棄物の処理・処分方法
第12週　リサイクルに関する施策
第13週　廃棄物のマネジメント法
第14週　化学物質に対する国際的取り組み
第15週　化学物質に対するわが国の規制、PRTR

1st week the environment basic Law
2nd week international agreement, protocol and treaty of environment
3rd week global environmental problem(1) global warming
4th week global environmental problem(2) PM2.5
5th week Modern History of Water Pollution
6th week water environmental problem –eutrophication, anoxic water–
7th week water environmental management method of continental waters
8th week summary: 45 min., examination: 45 min
9th week Environmental impact assessment(1) outline
10th week Environmental impact assessment(2) procedure
11th week Treatment and disposal method of waste
12th week Policies for recycling
13th week Management method of waste
14th week International approach on chemical substances
15th week Japanese approach on chemical substances

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

化学、水環境工学基礎、水環境工学

教科書に関する補足事項

教科書：随時プリントを配布する.

No specific textbook is used.

The resume or related handouts are distributed.

参考書に関する補足事項

達成目標
地球規模や地域の環境問題について理解をするとともに、その問題点と現在のマネジメント方法について理解することを目標とする.
To know and understand the water quality change in environment and treatment system.
To know and understand drinking water treatment and waste water treatment

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
上記達成目標の達成度に対して、評価点(100 点満点)が 55 点以上を合格とする。
中間試験(50%)、学期末試験(50%)として評価する。
Evaluation is based primarily on a final examination (100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.wq.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
井上:毎週水曜日 12 時 30 分～-13 時 10 分, その他の時間も随時対応. ただし, 事前にメール等で時間調整することが望ましい.
横田:毎週火曜日 12 時～13 時
Inoue: Wednesday, 12:30-13:10, or at any time (It is desirable to contact Kato about visit time by e-mail in advance.)
Yokota: Monday, 10:00-12:00

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性
(D5)　建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで, 社会基盤工学の基礎知識を身につける
関連のある項目
(B) 技術者としての正しい倫理観と社会性

関連がある項目
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し, 技術的課題を解決する能力を身につけている。
関連がある項目
(D5)建築に必要な構造、材料及び施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識を身につけている。
関連がある項目
特に関連がある項目
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し, 技術的課題を解決する能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につけている。
(Civil and Environmental Engineering Course)
Particularly-relevant item
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering
Relevant item
(B) High ethical standards in relation to society as an engineer
As professional engineers, the ability to identify, resolve and evaluate the technical challenges faced by society in an ethically responsible manner

(Architecture and Building Science Course)

Relevant item
(B) High ethical standards in relation to society as an engineer
As professional engineers, the ability to identify, resolve and evaluate the technical challenges faced by society in an ethically responsible manner
(D5) Technical knowledge on architectural structure, building material, building construction; overall expertise in grasping the integration of fundamental research, building construction methods and construction execution toward completion of a building

Relevant item
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
Relevant item
(D5) Have specialized knowledge about structures, materials and construction required for architecture; and comprehensive expertise to consistently understand various stages from fundamental surveys and building construction methods toconstruction works, aiming at realizing a construction
Relevant item
Particularly-relevant item
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society
Particularly-relevant item
(D2) Have fundamental knowledge of infrastructure engineering through taking basic courses relating to civil engineering.

キーワード

(B15622140)水圏環境防災学[Disaster Prevention in Hydrosphere]

科目名[英文名]	水圏環境防災学[Disaster Prevention in Hydrosphere]				
時間割番号	B15622140	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	木 3～3	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	加藤　茂 KATO Shigeru				
ナンバリング	ARC_BAC34320				

授業の目標

湖沼，河川，海岸，海洋等の水域における環境と防災に関する知識を学習する.

The objective of this subject is to learn the knowledge on environment and disaster prevention in the water area, such as lakes, rivers, coasts and ocean

授業の内容

講義の内容に応じて，適宜，演習を行う.

第 1 週　水圏に関する基礎知識
第 2 週　降雨災害
第 3 週　洪水災害
第 4 週　津波
第 5 週　高潮
第 6 週　河川計画
第 7 週　海岸侵食
第 8 週　中間まとめ
第 9 週　潮汐の起源と特性
第 10 週　拡散・分散
第 11 週　海水の温度・塩分・密度
第 12 週　沿岸部での密度流
第 13 週　海洋エネルギー(1)
第 14 週　海洋エネルギー(2)
第 15 週　物質の輸送と環境問題
第 16 週　期末試験

1st week, Fundamental knowledge on hydrosphere
2nd week, Rainfall disaster
3rd week, Flood disaster
4th week, Tsunami
5th week, Storm surge
6th week, River planning
7th week, Coastal erosion
8th week, Interim summary
9th week, Characteristics of tide
10th week, Diffusion and dispersion
11th week, Temperature, salinity and density of sea water
12th week, Density current in coastal water
13th week, Ocean energy (1)
14th week, Ocean energy (2)
15th week, Material transport and environment problems
16th week, Term-end examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についても配布資料や上記の授業内容を参考に予習を行うこと.

Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目

基礎水理学，水工学演習，流れと波の力学

Fundamental hydraulics, Hydraulic Engineering Exercise, Mechanics for Flow and Wave

教科書に関する補足事項

特に指定はしない．適宜，授業内容に関する資料を配布する.

No specific textbook is used.

The resume or related handouts are distributed.

参考書に関する補足事項
本学や高専の関連科目で使用した教科書，資料等も有効に利用すること.
The textbooks and materials used in related subjects of university and/or college of technology

達成目標
(1) 湖沼，河川，海岸，海洋等の水域における環境と防災に関する知識を習得する.
(2) 環境や防災に関する現状を把握する.
(3) 上記の問題点に対する対応方法の考え方を習得する.
(1) Acquiring the knowledge on environment and disaster prevention in the water area, such as lakes, rivers, coasts and ocean
(2) Understanding the present situation of problems related to environment and disaster prevention
(3) Acquiring the idea of countermeasure for the problems

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
（評価方法）
中間・期末試験（70%），レポート（30%）
レポートが提出されない場合や 4 回以上欠席した場合（原則すべての講義に出席）は単位を認めない.

（評価基準）
上記達成目標の達成度に対して評価し，評価点（100 点満点）が 55 点以上を合格とする.
80 点以上を A，65 点以上 80 点未満を B，55 点以上 65 点未満を C とする.

Students are required to attend essentially all classes, and to submit all assignments for evaluation.
More than four classes of absence are not allowed for evaluation.
Evaluation is based on total points (out of 100 points) of examination (60%) and assignments (40%).

Grade, A: 80 or higher, B: 65 or higher to lower than 80, C: 55 or higher to lower than 65.

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
加藤： D-812，6853，s-kato@ace.tut.ac.jp

S. Kato: D-812, 6853, s-kato@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
加藤： http://www.umi.ace.tut.ac.jp
S. Kato: http://www.umi.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー
加藤： 随時対応する．ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること.
S. Kato: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

(Civil and Environmental Engineering Course)
[Particularly-relavant item]
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering

(Architecture and Building Science Course)

[Relavant item]
(D5) Technical knowledge on architectural structure, building material, building construction; overall expertise in grasping the integration of fundamental research, building construction methods and construction execution toward completion of a building

キーワード
水, 環境, 防災
Hydrosphere, environment, disaster

(B15622150)交通システム工学[Transportation System Engineering]

科目名[英文名]	交通システム工学[Transportation System Engineering]				
時間割番号	B15622150	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	月 4～4	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	杉木　直 SUGIKI Nao				
ナンバリング	ARC_BAC33320				

授業の目標

都市交通計画を中心とした交通計画および道路の計画・設計・管理運用に係わる道路交通工学における基本的な考え方と各種の基礎的な理論、手法等について概略の知識を得る。社会基盤コースでは道路等の交通施設の整備計画や管理運用策を検討する際に必要となる定量的な情報を得るための理論と手法を習得する。建築コースでは住宅や建築施設等の建設計画や管理運用策の検討に応用可能な知識を習得する。

Acquire the knowledge for the basic idea and a variety of basic theory in road traffic engineering involved in the planning, design, management and operation of urban transport planning, mainly transport planning and road. In the civil engineering course, learn the theory and method for obtaining quantitative information that is required when considering the development planning and operational management measures of transportation facilities such as roads. In the architecture course, learn the knowledge for the study of the construction planning and operational management measures such as housing and building facilities.

授業の内容

第 1 回　概説：交通、交通工学、交通施設と交通サービス、交通問題
第 2 回　交通計画の策定プロセス
第 3 回　交通調査の内容と方法
第 4～6 回　交通需要の分析と予測の方法
第 7 回　交通計画代替案の作成と評価
第 8～9 回　交通網解析
第 10 回　交通量と速度の変動特性
第 11 回　道路交通流の特性
第 12 回　交通流理論
第 13 回　交通容量とその算出方法
第 14 回　道路交通の運用と管理
第 15 回　交通安全対策と道路環境対策
第 16 回　定期試験

1st week: Outline: Transportation, transportation engineering, transportation facilities and services, transportation problems
2nd week: Process of transportation planning
3rd week: Content and method of transportation survey
4th-6th week: Method of analysis and prediction of transportation demand
7th week: Creation and evaluation of alternative transportation plans
8th-9th week: Transport network analysis
10th week: Fluctuation characteristic of traffic volume and speed
11th week: Characteristics of the road traffic flow
12th week: Traffic flow theory
13th week: Traffic capacity and its calculation method
14th week: Road traffic operation and management
15th week: Traffic safety measures and road environment countermeasures
16th week: Term examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに、次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと。

Students are required to review the contents of each lecture, and to refer some textbooks and/or materials related to the next lecture as preparation.

関連科目

土木計画学、土木数理演習Ⅱ

Infrastructure Planning, Mathematical Training for Civil Engineering 2

教科書に関する補足事項

講義毎に資料を配布する。

Papers(resume) will be distributed.

参考書 1	**書名**	交通工学			**ISBN**	4-306-02338-9
	著者名	竹内伝史 ［ほか］	**出版社**	鹿島出版会	**出版年**	2000

		共著,				
参考書 2	**書名**	交通工学			**ISBN**	4-627-48350-3
	著者名	河上省吾, 松井寛 共著,	**出版社**	森北出版	**出版年**	1987
参考書 3	**書名**	交通工学			**ISBN**	4-339-05055-5
	著者名	大蔵泉 著,	**出版社**	コロナ社	**出版年**	1993
参考書 4	**書名**	エース交通工学			**ISBN**	4-25426474-7
	著者名	樗木武 [ほか]著,	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2002
参考書 5	**書名**	交通工学			**ISBN**	978-4-254-26158-5
	著者名	福田正　編,遠藤孝夫, 武山泰, 堀井雅史, 村井貞規 著,	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 交通の特質・交通問題の概要と交通政策・交通計画・道路交通工学の意義について理解する。
2. 交通計画における交通調査、交通需要分析・予測、計画代替案の作成と評価の方法について理解する。
3. 交通網の数学的表現、交通網容量、最短経路探索、均衡フローと社会的最適フローの算出など、交通網解析の基礎的な手法について理解する。
4. 道路交通流の記述方法、交通流理論、交通容量の算出、道路交通の運用と管理の基本的考え方と手法、交通安全対策、道路環境の対策など、道路交通工学の基礎的理論、手法とその適用方法について理解する。

1. To understand the significance of the overview of the traffic characteristics and traffic problems and traffic policy and traffic planning and road traffic engineering.
2. To understand traffic survey in transportation planning, traffic demand analysis and forecasting, the evaluation and creation of plan alternatives.
3. To understand mathematical representation of the transportation network, transportation network capacity, shortest route search, such as equilibrium flow and social optimum flow of calculation, the basic method of transportation network analysis.
4. To understand description method of road traffic flow, traffic flow theory, the calculation of the traffic capacity, the basic concepts and techniques of management and operations of road traffic, traffic safety measures, such as measures of the road environment, the basic theory of road traffic engineering, technique and application.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:レポート1回(20%)と定期試験1回(80%)で評価する。
評価基準:評価点(100 点満点)が 60 点以上を合格とする。90 点以上を S、80 点以上 90 点未満を A、70 点以上 80 点未満を B、60 点以上 70 点未満を C とする。

Evaluation of achievement: The academic score of each student is evaluated by report (20%) and term examination (80%).
Criteria of evaluation: Score S is 90 or higher, score A is 80 or higher to lower than 90, score B is 70 or higher to lower than 80, score C is 60 or higher to lower than 70.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

杉木:D-705, 6833, sugiki@ace.tut.ac.jp
N. Sugiki:D-705, 6833, sugiki@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

杉木: https://sites.google.com/site/trlabotut/
N. Sugiki: https://sites.google.com/site/trlabotut/

オフィスアワー

随時対応可。ただし、事前連絡をすること。
At any time. Please contact Sugiki by e-mail in advance.

学習・教育到達目標との対応

建築・都市システム学課程
関連がある項目
(D)【建築コース】技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実効力
(D5)建築に必要な構造、材料及び施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを

一貫的に把握できる総合的専門知識を身につけている。
特に関連がある項目
(D)【社会基盤コース】技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(D) (Architecture and Building Science Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D5) Have specialized knowledge about structures, materials and construction required for architecture; and comprehensive expertise to consistently understand various stages from fundamental surveys and building construction methods toconstruction works, aiming at realizing a construction
Particularly-relevant item
(D) (Civil and Environmental Engineering Course) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
(D2) Have fundamental knowledge of infrastructure engineering through taking basic courses relating to civil engineering.

キーワード
交通計画、道路交通工学、交通調査、交通ネットワーク、道路交通流、交通安全、道路環境
Transportation planning, Road traffic engineering, Traffic survey, Transportation network, Road traffic flow, Traffic safety, Road environment

(B15622160)地盤工学[Geotechnical Engineering]

科目名[英文名]	地盤工学[Geotechnical Engineering]				
時間割番号	B15622160	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	火 4～4	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	三浦　均也 MIURA Kinya				
ナンバリング	ARC_BAC32320				

授業の目標

地盤力学の応用として，地盤工学におけるいくつかの課題について学習する： 地盤の地震動，地盤の液状化，杭の支持力，地下水浸力，地下水浸透における熱の移流現象など。これらに関する講義と演習を通して，地盤工学における解析手法の概要とその応用例を学ぶ

As an application of geomechanics, learn about the selected subjects in geotechnical engineering: earthquake vibration of ground, liquefaction of ground, load bearing capacity of pile foundation, seepage force in groundwater flow, advection in groundwater flow, etc.

授業の内容

00. ガイダンス：地盤工学の役割
01. 地震のメカニズム / 震源と断層，プレートテクトニクス，震度
02. 地震工学の基礎 / 地震における工学的問題，共振現象
03. 地盤の液状化・事例 / ビデオによる事例紹介
04. 地盤の液状化・分析 / 被災の分類，メカニズム，対策
05. 杭の支持力 / 英文読解，杭の鉛直支持力，負の週面摩擦力
06. 水平荷重を受ける杭 / 風荷重，土圧，看板
中間試験
07. 地下水浸透流の解析 / ラプラスの方程式，解析手法
08. 地下水浸透力の解析 / メカニズム，計算方法
09. 地盤の浸透破壊 / 事例紹介，仮締切，ボイリング
10. 地下水による熱の移流現象 1 / メカニズム，解析手法
11. 地下水による熱の移流現象 2 / 調査事例，河川流量，地下水対流
12. 波浪を受ける海底地盤の挙動 / 海底地盤の不安定化，液状化
13. 補強土構造物 / 補強土の原理，補強土の応用
期末試験

00. Introductory guidance
01. Mechanism of Earthquake
02. Fundamentals of Earthquake Engineering
03. Liquefaction of Ground; Case study
04. Liquefaction of Ground; Analysis
05. Load bearing Capacity of pile
06. Load bearing Capacity of pile
Midterm examination
07. Analysis of Groundwater Flow
08. Analysis of Seepage Force
09. Failure of Ground induced by Seepage Force
10. Heat Advection in Groundwater Flow 1
11. Heat Advection in Groundwater Flow 2
12. Behavior of Seabed Subjected to Wave Loading
13. Reinforced Soil Structure
Term-end examination

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに，次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

関連科目

数学，基礎地盤力学，地盤力学，地盤工学，地盤地震工学，構造力学，構造実験

mathematics, fundamental geomechanics, geomechanics, geotechnical engineering, geotechnical earthquake engineering, structural mechanics, structural experiment

教科書に関する補足事項

教科書：特に無し. 講義資料は授業中に配布する.

参考書に関する補足事項

達成目標

以下の項目について現象の定式化と計算方法を理解する。
・地盤の地震動と地盤の液状化
・杭の支持力
・地下水浸力
・地下水浸透における熱の移流現象

Understand the formulation of the phenomena and calculation method on the following items:
- earthquake vibration of ground and liquefaction of ground
- load bearing capacity of pile foundation
- seepage force in groundwater flow
- heat advection in groundwater flow

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価基準:原則的にすべての講義に出席し，かつすべての演習問題レポートを提出したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 70%達成しており，かつテストの合計点(100 点満点)が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来(A～C)の評価基準が適用されます
[Evaluation basis] Students who attend all the classes and submitted all the exercise reports will be evaluated as follows:
S: Obtained total points of exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of exams, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

教員室: D-803(三浦)
電話番号: 44-6844(三浦)
E メール: k-miura@ace.tut.ac.jp(三浦)

ウェルカムページ

http://www.st.ace.tut.ac.jp
http://www.ace.tut.ac.jp

オフィスアワー

随時; 事前にメールで連絡することが望ましい
anytime; advanced contact by e-mail is required.

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
特に関連のある項目
(D5) 建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

キーワード

土質力学，土の分類，土の透水性，土の圧縮性，土のせん断強さ，地盤沈下，土圧

soil mechanics, classification of soils, permeability of soils, compressibility of soils, shear strength of soils, settlement of ground, earth pressure

(B15622170)水環境工学[Water Environmental Engineering]

科目名[英文名]	水環境工学[Water Environmental Engineering]				
時間割番号	B15622170	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	月 2～2	**単位数**	1.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	井上　隆信, 横田　久里子 INOUE Takanobu, YOKOTA Kuriko				
ナンバリング	ARC_BAC34422				

授業の目標

湖沼や河川における汚濁物質の動態や水質変化を理解するうえで重要となる化学反応を理解するとともに、物理的な流体の流れに溶質の質的変化を伴うプロセスとしてモデル化し、解析、記述する技法を学習する。

Understand the chemical reaction of the water environment

Learn to techniques of modeling, analysis for

授業の内容

第 1 週　水環境の基礎化学
第 2 週　水環境に関する濃度, 単位
第 3 週　化学方程式, 化学平衡, 重量関係
第 4 週　酸塩基反応
第 5 週　酸化還元反応
第 6 週　気体の諸法則
第 7 週　水環境の緩衝作用
第 8 週　中間テスト
第 9 週　物質の移動と収支式
第 10 週　押出し流れモデル
第 11 週　完全混合モデル
第 12 週　反応速度
第 13 週　完全混合回分式反応場
第 14 週　完全混合流れ場での反応
第 15 週　押し出しながれ場での反応

1st week Basic chemistry of the water environment
2nd week Calculation of equilibrium concentrations
3rd week Chemical equilibrium
4th week Acid-base reaction
5th week Oxidation and reduction
6th week Laws of gas
7th week pH buffering effect of water environment
8th week Summary: 45 min., examination: 45 min
9th week Movement and balance equation of substance
10th week Plag flow model
11th week Completely mixed model
12th week Reaction rate
13th week Completely mixed batch reaction
14th week Reaction in completely mixed flow field
15th week Reaction in Plug Flow field

予習・復習内容

毎回の授業内容を復習するとともに, 次週の内容についてもテキストや配布資料を参考に予習を行うこと.

As lectures are provided in Japanese using the following English textbook, students are required to submit a Japanese translation of an instructed assigned part of the text prior to each class and to review the contents of each lecture.

関連科目

水環境工学基礎、環境マネジメント

教科書に関する補足事項

教科書:随時プリントを配布する.

No specific textbook is used.

The resume or related handouts are distributed.

参考書に関する補足事項

達成目標

水環境中における化学反応の基礎となる法則、表現方法を理解するとともに、化学反応の計算ができるようになる。
反応を伴うさまざまな流れ場での物質濃度の変化を記述し、濃度変化を求める手法を理解するとともに、実際に濃度変化が計算できるようになる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

上記達成目標の達成度に対して、評価点(100 点満点)が 55 点以上を合格とする。なお、中間試験(50%)、学期末試験(50%)として、評価する。
80 点以上 90 点未満を A、65 点以上 80 点未満を B、55 点以上 65 点未満を C とする。
Evaluation is based primarily on a intermediate examination (50 points) and final examination (50 points).

Grade, A: 80 or higher, B: 65 or higher to lower than 80, C: 55 or higher to lower than 65.

定期試験

定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

井上　教員室:D-811, 電話番号:44-6852, E メール:inoue@ace.tut.ac.jp
横田　教員室:D-810, 電話番号:44-6851, E メール:yokota@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://www.wq.ace.tut.ac.jp/

オフィスアワー

井上:毎週水曜日 12 時 30 分～13 時 10, その他の時間も随時対応. ただし, 事前にメール等で時間調整することが望ましい.
横田:毎週火曜日 12 時～13 時
Inoue: Wednesday, 12:30-13:10, or at any time (It is desirable to contact Kato about visit time by e-mail in advance.)
Yokota: Monday, 10:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

【建築コース】
関連のある項目
(D5)　建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで, 社会基盤工学の基礎知識を身につける

関連がある項目
(D5)建築に必要な構造、材料及び施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識を身につけている。
特に関連がある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで、社会基盤工学の基礎知識を身につけている。

Relevant item
(D5) Have specialized knowledge about structures, materials and construction required for architecture; and comprehensive expertise to consistently understand various stages from fundamental surveys and building construction methods toconstruction works, aiming at realizing a construction
Particularly-relevant item
(D2) Have fundamental knowledge of infrastructure engineering through taking basic courses relating to civil engineering.

キーワード

(B15622180)都市システム分析演習[Urban System Analysis]

科目名[英文名]	都市システム分析演習[Urban System Analysis]				
時間割番号	B15622180	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期2	**曜日時限**	木 2～2	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	加藤　茂 KATO Shigeru				
ナンバリング	ARC_BAC33120				

授業の目標

グループごとに都市や社会インフラ，地域環境等に関する課題を設定し，設定課題に関連した情報収集（現地調査，文献調査等）やデータ分析を専門知識・技術を活用して実施する．その結果をグループの成果として纏め上げ，プレゼンテーションを行う．

The objective of this course is to set theme for exercise relating to urban area, infrastructure and regional environment.
All exercises is based on group work. Students will gain an understanding and working knowledge of information gathering, data analysis and compilation through challenges on the theme. The students will also bolish up skills: e.g., the ability to work effectively in groups, run a productive meeting and collaborate on and conduct a group presentation.

授業の内容

第 1 週　ガイダンス（全体），課題設定（グループごと）
第 2 週　情報収集
第 3 週　情報収集・分析
第 4 週　情報収集・分析
第 5 週　中間報告（グループ内）
第 6 週　情報収集・分析，成果の取り纏め
第 7 週　情報収集・分析，成果の取り纏め
第 8 週　成果報告会（全体）

1st week, Guidance for exercise and theme setting for each group
2nd week, Information gathering
3rd week, Information gathering and analysis
4th week, Information gathering and analysis
5th week, Interim reporting in each group
6th week, Information gathering and analysis, compilation of results
7th week, Information gathering and analysis, compilation of results
8th week, Presentation of exercise results by whole group

* The detail contents for exercise from 2nd to 7th week are scheduled by each group

予習・復習内容

授業時間内のみでは十分な情報収集・分析等は難しいため，適宜，グループ内で相談して継続的に演習を進めること．演習に必要な知識・情報に関しても，自主的に学習すること．

The scheduled course hours are not enough to conduct the exercise. The exercise has to be carried out continuously and on one's own initiative, in consultation with group members.

関連科目

専門科目全般
All major subjects

教科書に関する補足事項

教科書は指定しない．適宜，資料等を配布する．
No specific textbook is used.
The resume or related handouts are distributed as occasion demands.

参考書に関する補足事項

これまでに使用した各種の教科書，参考資料等を有効に活用すること．
The textbooks and materials that had been used in related subjects should be used effectively.

達成目標

設定した課題に対するグループワークを通して，以下の目標を達成する．
(1) 他のメンバーと協同して課題に取り組む能力を養う
(2) 自分の役割を把握して適切に行動できる能力を養う
(3) 調査・分析に必要な専門知識・技術を習得する

(4) 上記の知識や技術を活用できる力を身に付ける

(1) Cultivating the ability to challenge and solve problems in a team that is organized by several members
(2) Cultivating the ability to appropriately act considering own role in a team
(3) Acquiring the special knowledge and technique for investigation and analysis on the problems
(4) Enhancing the ability to utilize the knowledge and technique

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
（評価方法）
グループワークとしての取り組み状況（個人）と成果報告会の内容（グループ）を総合的に評価する.
評価には，上記達成目標に対応した評価シート（100 点満点）を用いる.

（評価基準）
上記達成目標の達成度について評価し，評価点（100 点満点）が 55 点以上を合格とする.
80 点以上を A，65 点以上 80 点未満を B，55 点以上 65 点未満を C とする.

Comprehensive evaluation is based on the activity to the exercise in a group work (individual) and the exercise results by a report and a presentation (group).
Evaluation is carried out using the evaluation sheet on “Educational goals” (out of 100 points).

Grade, A: 80 or higher, B: 65 or higher to lower than 80, C: 55 or higher to lower than 65.

定期試験
その他
Other

定期試験詳細
成果報告会を実施する. ただし，実施日等については後日調整する.
The results of the exercise are presented by each group for the evaluation. The details of presentation session are announced later.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
（本科目全体に対する問い合わせ）
加藤： 随時対応する. ただし，メールもしくは授業時にアポを取ること.
（各グループ課題に対する問い合わせ）
各担当教員
(For the course)
S. Kato: At any time. (Make appointment by e-mail or in class.)
(For the theme of exercise)
Each instructor

学習・教育到達目標との対応
【建築コース】
関連のある項目
(D8) 建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力

【社会基盤コース】
特に関連のある項目
(D5) 社会基盤工学に関する課題に対して，複数のメンバーで構成されたチームで取り組み， チームとして課題を達成することのできる実践的創造的技術者としての素養を身につける
関連のある項目
(D2)土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける

(Civil and Environmental Engineering Course)
[Particularly-relavant item]
(D5) Acquiring grounding as a practical and creative engineer to meet challenges and solve problems in civil engineering in teams comprised of several members
[Relavant item]
(D2) Acquiring basic knowledge on civil engineering by studying subjects that make up the foundation of civil engineering

(Architecture and Building Science Course)
[Relavant item]
(D8) Management ability that makes it possible to understand and find solutions to practical problems appropriately and flexibly, including planning modification, through cooperation and collaboration in a team under the constraints of societal demands

キーワード
グループワーク, 調査・分析, プレゼンテーション, コミュニケーション
group work, investigation and analysis, presentation, communication

(G1073001a)研究者倫理[Ethics of Researcher]

科目名[英文名]	研究者倫理[Ethics of Researcher]				
時間割番号	G1073001a	**区分**	研究倫理	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，電気・電子情報工学課程，建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	教務委員会副委員長，田中　三郎 kyoumu iinkai fukuiintyou, TANAKA Saburo				
ナンバリング	COM_MAS81010				

授業の目標

本授業を通し、研究活動を行う大学院生が、研究者としての行動規範と研究における倫理上の諸課題を学ぶことで研究者倫理の本質を理解し、自立した研究者として具備すべき基本的な資質を習得させる。

Assist graduate students as they undertake research activities and promote an understanding of the inherent ethical problems; lead students to think independently and exercise normative consciousness of research ethics through ethics education in research in accordance with goals of scientific education and research and characteristics of individual research specialties

授業の内容

複数の教員が以下の内容で講義を行う。順序はクラスごとに異なる。

第 1 回：イントロダクション
　　研究者倫理とは何か？なぜ倫理教育が必要か？
第 2 回：研究の価値と責任，研究の自由と守るべきもの，利益相反，安全保障輸出管理問題，法令遵守
第 3 回：インフォームド・コンセント，個人情報保護，データの収集・管理・処理，研究不正行為，
守秘義務，PI
第 4 回：研究成果発表，オーサーシップ，不適切な発表，著作権，共同研究
第 5 回：コンプライアンス，研究費の不正利用，ピアレビュー，後進の指導，研究不正の防止と告発，
　　社会との対話，プロフェッショナル
第 6 回：事例研究 1
　　THE LAB（インタラクティブシミュレーション）を行い，レポートにして提出
第 7 回：事例研究 2
　　研究現場での事例紹介とディスカッション
第 8 回：期末試験

Several faculty members give lectures as follows (order of lectures may differ based on the class):
1)Introduction
　What is Ethics of Researcher? Why is ethics education necessary?
2)Value and Responsibility of Research, Freedom in Research and What Is to Be Protected,
　Conflict of Interest, Security Export Control Policy, Legal Compliance
3)Informed Consent, Protecting Personal Information, Collecting,
　Managing, and Processing Data, Research Misconduct, Duty of Confidentiality, PI
4)Presenting research results, Authorship, Improper Presentation, Copyright, Joint Research
5)Compliance, Improper Use of Research Funds, Peer Review, Guiding Younger Generations,
　Prevention of Research Misconduct and Whistleblowing, Dialogue with Civil Society,
　Professionalism
6)Case Study 1
　THE LAB (Interactive Simulation), and submitting the report.
7)Case Study 2
　Case examples at a research scene and discussion in the lab
8)Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について教科書を参考に予習してくること。

Students will need to refer to their textbook to prepare for and review each lesson.

関連科目

技術科学哲学，技術者倫理

Philosophy of Science and Technology, Ethics for Engineers

教科書 1	**書名**	科学の健全な発展のために			**ISBN**	978-4-621-08914-9
	著者名	日本学術振興会 編	**出版社**	丸善出版	**出版年**	2015

教科書に関する補足事項

PDF：https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf
PDF：https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf

参考書に関する補足事項

達成目標

不正行為を事前に防止し，公正な研究活動を推進するため，大学院学生に対して，専攻分野の特性に応じて，研究者倫理に関する知識及び技術を身に付ける。

To prevent misconduct and promote fair research activities, this course provides knowledge and techniques regarding research ethics in accordance with characteristics of each graduate student's research specialties.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

［評価法］期末試験（40%）＋レポート（60%）

［評価基準］すべての講義に出席した者につき，下記の基準により評価する。

S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上

A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上

B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上

C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

[Evaluation method] Final exam (40%) + Report (60%)

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).

A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).

C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

担当教員と連絡先

田中三郎（総括）: G605/tanakas@ens.tut.ac.jp

勝川裕幸: D-101/h-katsu@rac.tut.ac.jp

藤原　久: C101-1/hisashi.fujiwara@rac.tut.ac.jp

土谷　徹: C101-1/tsuchiya@eiiris.tut.ac.jp

田中　恵: D-101/m-tanaka@rac.tut.ac.jp

井藤優子: C-101-1/ito@rac.tut.ac.jp

Instructor contact information:

Saburo Tanaka（Chief）: G605/tanakas@ens.tut.ac.jp

Hiroyuki Katsukawa: D-101/h-katsu@rac.tut.ac.jp

Hisashi Fujiwara: C101-1/hisashi.fujiwara@rac.tut.ac.jp

Toru Tsuchiya: C101-1/tsuchiya@eiiris.tut.ac.jp

Megumi Tanaka: D-101/m-tanaka@rac.tut.ac.jp

Yuko Ito: C-101-1/ito@rac.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

e-mail などで随時受け付ける。

Anytime through email

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程

（B）技術者としての正しい倫理観と社会性

技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程

（B）技術者としての正しい倫理観と社会性

技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。

建築・都市システム学課程

（B）【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性

実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

（B）【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性

実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
研究者倫理、利益相反、法令遵守、研究不正行為、守秘義務、安全保障輸出管理、著作権、プロフェッショナル
Research Ethics, Conflict of Interest, Legal Compliance, Research Misconduct, Confidentiality Obligation, Security Export Control Policy, Copyright, Professionalism

(G1073001b)研究者倫理[Ethics of Researcher]

科目名[英文名]	研究者倫理[Ethics of Researcher]				
時間割番号	G1073001b	**区分**	研究倫理	**選択必須**	必修
開講学期	前期1	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	教務委員会副委員長, 田中　三郎 kyoumu iinkai fukuiintyou, TANAKA Saburo				
ナンバリング	COM_MAS81010				

授業の目標

本授業を通し、研究活動を行う大学院生が、研究者としての行動規範と研究における倫理上の諸課題を学ぶことで研究者倫理の本質を理解し、自立した研究者として具備すべき基本的な資質を習得させる。

Assist graduate students as they undertake research activities and promote an understanding of the inherent ethical problems; lead students to think independently and exercise normative consciousness of research ethics through ethics education in research in accordance with goals of scientific education and research and characteristics of individual research specialties

授業の内容

複数の教員が以下の内容で講義を行う。順序はクラスごとに異なる。

第 1 回：イントロダクション
　　研究者倫理とは何か？なぜ倫理教育が必要か？
第 2 回：研究の価値と責任，研究の自由と守るべきもの，利益相反，安全保障輸出管理問題，法令遵守
第 3 回：インフォームド・コンセント，個人情報保護，データの収集・管理・処理，研究不正行為，
守秘義務，PI
第 4 回：研究成果発表，オーサーシップ，不適切な発表，著作権，共同研究
第 5 回：コンプライアンス，研究費の不正利用，ピアレビュー，後進の指導，研究不正の防止と告発，
　　社会との対話，プロフェッショナル
第 6 回：事例研究 1
　　THE LAB（インタラクティブシミュレーション）を行い，レポートにして提出
第 7 回：事例研究 2
　　研究現場での事例紹介とディスカッション
第 8 回：期末試験

Several faculty members give lectures as follows (order of lectures may differ based on the class):
1)Introduction
 What is Ethics of Researcher? Why is ethics education necessary?
2)Value and Responsibility of Research, Freedom in Research and What Is to Be Protected,
 Conflict of Interest, Security Export Control Policy, Legal Compliance
3)Informed Consent, Protecting Personal Information, Collecting,
 Managing, and Processing Data, Research Misconduct, Duty of Confidentiality, PI
4)Presenting research results, Authorship, Improper Presentation, Copyright, Joint Research
5)Compliance, Improper Use of Research Funds, Peer Review, Guiding Younger Generations,
 Prevention of Research Misconduct and Whistleblowing, Dialogue with Civil Society,
 Professionalism
6)Case Study 1
 THE LAB (Interactive Simulation), and submitting the report.
7)Case Study 2
 Case examples at a research scene and discussion in the lab
8)Examination

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について教科書を参考に予習してくること。

Students will need to refer to their textbook to prepare for and review each lesson.

関連科目

技術科学哲学，技術者倫理

Philosophy of Science and Technology, Ethics for Engineers

教科書 1	**書名**	科学の健全な発展のために		**ISBN**	978-4-621-08914-9
	著者名	日本学術振興会 編	**出版社** 丸善出版	**出版年**	2015

教科書に関する補足事項

PDF：https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf
PDF：https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf

参考書に関する補足事項

達成目標

不正行為を事前に防止し，公正な研究活動を推進するため，大学院学生に対して，専攻分野の特性に応じて，研究者倫理に関する知識及び技術を身に付ける。

To prevent misconduct and promote fair research activities, this course provides knowledge and techniques regarding research ethics in accordance with characteristics of each graduate student's research specialties.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

［評価法］期末試験（40%）＋レポート（60%）

［評価基準］すべての講義に出席した者につき，下記の基準により評価する。

S：レポート・期末テストの合計点が 90 点（100 点満点）以上

A：レポート・期末テストの合計点が 80 点（100 点満点）以上

B：レポート・期末テストの合計点が 70 点（100 点満点）以上

C：レポート・期末テストの合計点が 60 点（100 点満点）以上

[Evaluation method] Final exam (40%) + Report (60%)

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).

A: Obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).

C: Obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

定期試験を実施（対面）

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

担当教員と連絡先

田中三郎（総括）：： G605/tanakas@ens.tut.ac.jp

勝川裕幸： D-101/h-katsu@rac.tut.ac.jp

藤原　久： C101-1/hisashi.fujiwara@rac.tut.ac.jp

土谷　徹： C101-1/tsuchiya@eiiris.tut.ac.jp

田中　恵： D-101/m-tanaka@rac.tut.ac.jp

井藤優子： C-101-1/ito@rac.tut.ac.jp

Instructor contact information:

Saburo Tanaka（Chief）： G605/tanakas@ens.tut.ac.jp

Hiroyuki Katsukawa： D-101/h-katsu@rac.tut.ac.jp

Hisashi Fujiwara： C101-1/hisashi.fujiwara@rac.tut.ac.jp

Toru Tsuchiya： C101-1/tsuchiya@eiiris.tut.ac.jp

Megumi Tanaka： D-101/m-tanaka@rac.tut.ac.jp

Yuko Ito： C-101-1/ito@rac.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

e-mail などで随時受け付ける。

Anytime through email

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程

（B）技術者としての正しい倫理観と社会性

技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。

環境・生命工学課程

（B）技術者としての正しい倫理観と社会性

技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering

(B) Sound ethics and social awareness as engineers

Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences

(B) Sound ethics and social awareness as engineers

Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical

issues in society

キーワード

研究者倫理、利益相反、法令遵守、研究不正行為、守秘義務、安全保障輸出管理、著作権、プロフェッショナル

Research Ethics, Conflict of Interest, Legal Compliance, Research Misconduct, Confidentiality Obligation, Security Export Control Policy, Copyright, Professionalism

(G10730020)数理と哲学[Mathematical Principle and Philosophy]

科目名[英文名]	数理と哲学[Mathematical Principle and Philosophy]				
時間割番号	G10730020	**区分**	自然科学	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	伊藤　公毅，中村　大介 ITO Koki, NAKAMURA Daisuke				
ナンバリング	GEN_PRN51020				

授業の目標

古くより数学は哲学的思考を鍛え、また逆に哲学は数学の認識を説明するのに役立ってきた。
本講義では、科学者アンリ・ポアンカレ（1854-1912）の数学、物理学、哲学という三領域にまたがる業績を中心に扱い、数理と哲学の絡み合いの中から、「数学における直観とは何か」、「物理学とは何か」といった根本的な問題を考えていくことを目標とする。

From ancient times, mathematics helps us to develop our philosophical thoughts and philosophy helps us to explain mathematical knowledge.
In this lecture, we focus on the study of mathematics, physics and philosophy done by Henri Poicare (1854-1912) and we consider such fundamental questions as ″what is intuition in mathematics?″″what is physics?″ from the both viewpoints of mathematical science and philosophy.

授業の内容

第１週　序（ポアンカレの哲学及び講義---特に『科学と仮説』---の概要）
第２週　序（ポアンカレ---特にその数学---について）

第３～５週 『科学と仮説』″第一篇　数と量″より

第６～８週 『科学と仮説』″第二篇　空間″より

第９～11 週 『科学と仮説』″第三篇　力″より

第 12～14 週 『科学と仮説』″第四篇　自然″より

第 15 週　総括
1st week: Introduction to Poincare's philosophy and Structure of the book Science and Hypothesis
2nd week: Introduction to Poincare's mathematics
3rd-5th week: Part I of Science and Hypothesis ″Le nombre et la grandeur″
6th-8th week: Part II of Science and Hypothesis ″L'espace″
9th-11th week: Part III of Science and Hypothesis ″La force″
12th-14th week: Part IV of Science and Hypothesis ″La nature″
15th week: Review

予習・復習内容

関連科目

「哲学」「自然科学特論 I」但し履修義務はない。

教科書 1	**書名**	科学と仮説			**ISBN**	9784003390214
	著者名	アンリ・ポアンカレ	**出版社**	岩波書店（岩波文庫）	**出版年**	1959
教科書に関する補足事項						
参考書 1	**書名**	La Science et l'hypothese			**ISBN**	9782081336742
	著者名	Henri Poincare	**出版社**	Flammarion	**出版年**	2014
参考書 2	**書名**	科学の価値			**ISBN**	9784003390238
	著者名	アンリ・ポアンカレ	**出版社**	岩波書店（岩波文庫）	**出版年**	1977
参考書 3	**書名**	科学と方法			**ISBN**	9784003390221
	著者名	アンリ・ポアンカレ	**出版社**	岩波書店（岩波文庫）	**出版年**	1953
参考書に関する補足事項						

参考書4　書名 The Value of Science: Essential Writings of Henri Poincare
　　著者名 Henri Poincare　出版社 Modern Library 出版年 2001　ISBN9780375758485
（上記1～3を全て収めた英訳版）

なお参考書1は教科書のフランス語版原著。
Reference Book4　Title: The Value of Science: Essential Writings of Henri Poincare
　　Auther: Henri Poincare　Publisher: Modern Library Publication Year: 2001　ISBN9780375758485
(English edition of Reference Book1-3)

Reference book 1 is an original French edition of the textbook.

達成目標
『科学と仮説』を読むための素養を獲得すること。
Acquire some background knowledge of reading "Science and Hypothesis".

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
2回のレポートの合計点（100 点満点）で下記のように評価する。
[B1～3, M1]
S:レポートの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 60 点（100 点満点）以上

[B4,M2]
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Course Evaluation
Evaluation is based on two reports (100 points).
[B1～3, M1]
S: total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

[B4,M2]
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
メール等で適宜応ずる。

学習・教育到達目標との対応

キーワード
科学思想、数学思想、仮説、ポアンカレ
Scientific thought, Mathematical thought, Hypothesis, Poincare

(G10730030)自然科学特論Ⅰ[Advanced Natural Sciences 1]

科目名[英文名]	自然科学特論Ⅰ[Advanced Natural Sciences 1]				
時間割番号	G10730030	**区分**	自然科学	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	伊藤　公毅 ITO Koki				
ナンバリング	GEN_PRN51020				

授業の目標

これまでに、(物理に関わりのある)様々な専門科目で数学に遭遇しているであろう。
ところが、その数学は存外高度である。畢竟、「くさいものにはふた」で済ませてしまっているのではなかろうか？
そこで、本講義はその「ふたをあけて」みようというわけである。

Learn background mathematics on spcialized courses.

授業の内容

1。振り子：楕円関数を用いて、振り子の運動を近似なしに記述する。また、周期を超幾何級数で表示する。
または
2。解析力学入門：標準的ではないが、ハミルトン形式からはじめて、ルジャンドル変換でラグランジュ形式を導く。

1. pendulum
or
2.introduction to analytical mechanics

予習・復習内容

関連科目

「数理と哲学」

教科書に関する補足事項

教科書は使用しない

参考書に関する補足事項

講義中に適宜紹介する

達成目標

講義中にとりあげたトッピクのうち少なくとも 1 つについて、(何もみずに)人に説明できる程度まで理解すること。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポートの合計点(100 点満点)で下記のように評価する。
A：レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B：レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C：レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上
Course Evaluation
Evaluation is based on reports (100 points).
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

キーワード

(G10730040)自然科学特論Ⅱ[Advanced Natural Sciences 2]

科目名[英文名]	自然科学特論Ⅱ[Advanced Natural Sciences 2]				
時間割番号	G10730040	**区分**	自然科学	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	武藤　浩行, 岡田　浩 MUTO Hiroyuki, OKADA Hiroshi				
ナンバリング	GEN_PRN51020				

授業の目標

身近にある自然現象や科学技術の取り組みを学び、自らの専門分野の視点から考察できる。

Learn about natural phenomena and development of science and technology, and consider these topics from the viewpoint of your own major.

授業の内容

第 1 週（岡田・武藤） ガイダンス
第 2 週（武藤） 規則性
第 3 週（武藤） 自己集積
第 4 週（武藤） フラクタル
第 5 週（岡田） 計測
第 6 週（岡田） 記録
第 7 週（岡田） 予測
1st week (Okada and Muto) Guidance
2nd week (Muto) Ordering
3rd week (Muto) Self-assembly
4th week (Muto) Fractal
5th week (Okada) Measurement
6th week (Okada) Recording
7th week (Okada) Forecasting

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

黒板での板書講義
Give lectures on a blackboard.

参考書に関する補足事項

達成目標

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: : Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 80 % of goals and obtained total points of exam and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
ウェルカムページ
オフィスアワー One hour after the class
学習・教育到達目標との対応
キーワード

(G10731010)日本文化論[Japanese Cultural Review]

科目名[英文名]	日本文化論[Japanese Cultural Review]				
時間割番号	G10731010	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	中森　康之 NAKAMORI Yasuyuki				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

日本文化は、独特の価値観、技術論、上達論、教育論（技術伝承論）、身体論、心法、発想法、思考法などをもっており、それらは現代においても様々な分野に応用が利く汎用性を持っている。本講義ではそれらについて考察する。
主なトピックは、武道、将棋、宮大工など。

To consider the Japanese culture.
Main topic is the Budo,Shogi,Miyadaiku etc.

授業の内容

第1週　ガイダンス
第2週　「武道」とは何か①　武道の価値観
第3週　「武道」とは何か②　「武道」の発見～嘉納治五郎
第4週　「武道」とは何か③　　武道 OS 論～心身の基盤
第5週　逆説の心法1　武道の心法とトップアスリートの心法
～無我・今ここ・心身一如、敵を愛する、ゾーン、ルーティーン・リセット
第6週　逆説の心法2　正解がない中での決断～最善手の思想
第7週　逆説の身体1　日本人の身体と近代化
第8週　逆説の身体2　武道の身体操作とトップアスリートの身体感覚①
第9週　逆説の身体3　武道の身体操作とトップアスリートの身体感覚②
第 10 週　逆説の稽古法　型とは何か～形と型①
第 11 週　逆説の稽古法　型とは何か～形と型②
第 12 週　逆説の指導法　徒弟制度とは何か①　教えない、上達曲線論
第 13 週　逆説の指導法　徒弟制度とは何か②　徒弟制度は個性を殺すか？
第 14 週　逆説の武道、その現代的意義1
第 15 週　逆説の武道、その現代的意義2
1　Guidance
2　What is BUDO？1～Japanese sense of values
3　What is BUDO？2～The discovery of BUDO:Jigoro Kano～
4　What is BUDO？3～BUDO is Operation system～
5　Mind operation of BUDO1:mind operation of the top athlete
6　Mind operation of BUDO2:"saizensyu"
7　Body operation 0f BUDO1:Modernization of the body
8　Body operation 0f BUDO2:Body sensation of the top athlete①
9　Body operation 0f BUDO3:Body sensation of the top athlete②
10　Training method of BUDO:What is "KATA"?①
11　Training method of BUDO:What is "KATA"?②
12　Training method of BUDO:"Toteiseido"①
13　Training method of BUDO:"Toteiseido"②
14　Contemporary significance of BUDO1
15　Contemporary significance of BUDO2

予習・復習内容

毎回の講義内容を復習するとともに，日常生活において検証してくること。
To verify in daily life after every lecture.

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。

参考書に関する補足事項

その都度授業中に紹介する。

達成目標

①日本文化特有の心法を理解する。
②日本文化特有の身体操作の本質を理解する。
③日本文化特有の技術伝承法（指導法、人材育成法）を理解する。
④日本文化の本質を理解する。
1）To understand the essence of the Body operation of Japanese Culture.
2）To understand the essence of the Mind operation of Japanese Culture.
3）To understand the essence of the Training method of Japanese Culture.
4）To understand the essence of Japanese Culture.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

原則的にすべての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を、試験（50%+50%）によって下記の通り評価（100 点満点）する。

B1～3, M1
S：合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：合計点が 55 点（100 点満点）以上
[Evaluation method]　examination1（50%）+examination2（50%）

[Evaluation criteria]Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1
S: Obtained total points of examinations , 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of examinations , 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of examinations , 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of examinations , 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2
A: Obtained total points of examinations , 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of examinations , 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of examinations , 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://las.tut.ac.jp/~nakamori/index.html

オフィスアワー

基本的に木曜日の昼休みとするが、これ以外の時間でも在室中は随時対応する。メール等で事前に連絡があると有り難い。
Lunch break on every Thursday

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
武道　武士道　師　師弟　身体　技術　教育

(G10731140)運動生理・生化学特論[Advanced Exercise Physiology and Biochemistry]

科目名[英文名]	運動生理・生化学特論[Advanced Exercise Physiology and Biochemistry]				
時間割番号	G10731140	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	稗田　睦子 HIEDA Mutsuko				
ナンバリング	GEN_LIB83120				

授業の目標

運動時に起こる体内の変化やトレーニングによって起こる身体の適応について理解を深める。また、加齢や環境とトレーニングの関係について、最新の研究報告を基に議論する。

Exercise physiology examines the physiological responses and adaptations of the human organism to physical activity. Considerable emphasis is given toward understanding how the body functions during exercise and adapts to long-term training. In addition, the physiological effects of factors such as age,body composition, and the environment on human performance will be discussed.

授業の内容

1 週目　ガイダンス
2 週目　筋肉について
3 週目　エネルギー供給機構
4 週目　プレゼンテーション1
5 週目　運動と呼吸・循環
6 週目　トレーニングプログラムの基礎
7 週目　プレゼンテーション2
8 週目　トレーニングと適応（筋力）
9 週目　トレーニングと適応（持久力）
10 週目　プレゼンテーション3
11 週目　運動と環境
12 週目　運動と加齢
13 週目　性差と運動
14 週目　プレゼンテーション4
15 週目　まとめ
1st week Introduction
2nd week Muscles Move Us
3rd week Food Really Is Fuel
4th week Presentation 1
5th week Muscles Need Oxygen
6th week Principles of Designing Training Programs
7th week Presentation 2
8th week Training to Improve Muscle Mass and Strength
9th week Training for Aerobic Endurance
10th week Presentation 3
11th week Heat, Cold, and Altitude
12th week Aging in Sport and Exercise
13th week Sex Difference in Sport and Exercise
14th week Presentation 4
15th week Wrap-up

予習・復習内容

講義の復習をする。
プレゼンテーションの準備。
Review of lecture content based on notes and distributed materials
Preparation for individual preparation

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用しない。

No textbook.

参考書に関する補足事項

達成目標

1)基本的な人体の生理学的なメカニズムを理解する。
2)運動時の身体の変化や適応を理解する。
3)適切な論文や資料を使用して、生理学の知識を深める。
1)Explain the basic mechanisms of the physiology of the organ systems of the human body.
2)Explain the adaptations of the physiological mechanisms of the organ systems involved in the support of human exercise.
3)Identify and utilize appropriate reference resources to clarify and expand knowledge of Physiology.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
プレゼンテーション 30%　授業態度 20%　レポート 50%　左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準
学部3年
S:達成目標をすべて達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 90%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 85%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 80%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
学部4年
A:達成目標をすべて達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 90%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 85%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

Grades will be based on presentation (30%), participation (20%) and final report (50%).
B3
S: Based on the above evaluation criteria, 90 points or higher (out of 100 points).
A: Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B: Based on the above evaluation criteria, 70 points or higher (out of 100 points).
C: Based on the above evaluation criteria, 60 points or higher (out of 100 points).
B4
A: Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B: Based on the above evaluation criteria, 65 points or higher (out of 100 points).
C: Based on the above evaluation criteria, 55 points or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

水曜日 13 時～14 時
Wednesday 1:00-2:00 pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
運動生理学、運動生化学、トレーニング
Exercise physiology, Exercise biochemistry, Exercise training

(G10731200)国文学Ⅰ[Japanese Literature 1]

科目名[英文名]	国文学Ⅰ[Japanese Literature 1]				
時間割番号	G10731200	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	中森　康之 NAKAMORI Yasuyuki				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

読書法を学んだ上で、実際に多くの本を読む。また、自分の読みと他者の読みを相互に出し合うことによって、多様な価値観や柔軟な感性を育て、豊かな読書経験を持つ。

To learn reading method and read meny books. And grow diverse values and flexible sensibility by discussion.

授業の内容

授業は、ディスカッションとプレゼンテーションにより行う。

第1週　ガイダンス～クラスコミュニケーション
第2週　ディスカッション～読書とは何か～
第3週　斉藤孝『読書力』(岩波新書)
　　序　読書力とは何か　　Ⅰ　自分をつくる一自己形成としての読書
第4週　斉藤孝『読書力』(岩波新書)
　　Ⅱ　自分を鍛える一読書はスポーツだ
　　Ⅲ　自分を広げる一読書はコミュニケーション力の基礎だ
第5週　内田義彦『読書と社会科学』(岩波新書)
　　Ⅰ「読むこと」と「聴くこと」と
第6週　内田義彦『読書と社会科学』(岩波新書)
　　Ⅱ自由への断章
第7週　内田義彦『読書と社会科学』(岩波新書)
　　Ⅲ創造現場の社会科学　　総まとめ
第8週～第 15 週　受講生のプレゼンテーション、応答プレゼンテーション、お勧めシート閲覧会
　　※毎週、全受講生が各自のお薦め本を1冊紹介する。
　　※毎回の授業は、プレゼン、応答プレゼン、お薦めシート閲覧会の三部構成で行う。

詳細は授業中に説明するが、おおよその要領は下記の通り。
・「透徹したものを見る目、繊細で温かみのある感性、多元的な思考能力、グローバルな視野」が身に付くと思う本を自分で選び、毎週1冊読み、「お勧めシート」を提出する。
・いわゆる「読み応えのある本」「深い内容の本」であることが条件。ハウツーもの、ライトノベルなどは原則として不可。ただしそれが既述の条件に合えば可。その場合はそれを発表者が論証する義務がある。
・「お勧めシート」の項目は、書名、著者名、出版社、価格、内容の要約、アピールポイント、日付、その他とする。
・毎時間数名ずつ「お勧め本」をプレゼンテーションをする。
・プレゼンされた本について、他の受講生が翌週「応答プレゼン」をする。
・プレゼン、応答プレゼン担当者以外は「お勧めシート」を提出し、その閲覧会を行う。
・プレゼン、応答プレゼン担当者は、その回の「お勧めシート」は提出しなくてよい。
Classes consists of a presentation and discussion.

1　Guidance
2　Discussion of reading
3　Takashi Saito"DOKUSYO-RYOKU"(iwanami-sinsyo)
　Introduction
　Chapter 1
4　Chapter 2・3
5　Uchida Yoshihiko"Dokusyo to syakaikagaku"(iwanami-sinsyo)
　Chapter 1
6　Chapter 2
7　Chapter 3
8～15　Presentation

予習・復習内容
予習・復習内容
第7週目までは、毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキストをよく読んでくること。
第8週目以降は、毎回のお勧めシート作成が予習であり、他人にお勧めされた本を読むことが復習となる。

関連科目
国文学2

教科書 1	**書名**	読書力			**ISBN**	
	著者名	斉藤孝	**出版社**	岩波書店	**出版年**	
教科書 2	**書名**	読書と社会科学			**ISBN**	
	著者名	内田義彦	**出版社**		**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
①読書について自分なりの見識を持つ。
②多くの著者の思考、感性、価値観を知る。
③的確な要約、コメントをする能力を身につける。
④プレゼンテーションの能力を身につける。
1)To read many books
2)To grow diverse values and flexible sensibility
3)To learn the Ability to comment
4)To learn the capabilities of the presentation

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を次の割合によって評価（100 点満点）する。

①プレゼンテーション（30%） ②応答プレゼンテーション（20%） ③「お勧めシート」（50%）

B1～3, M1
S：合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：合計点が 55 点（100 点満点）以上
[Evaluation method] presentation1（30%）＋presentation2（20%）＋short reports（50%）

[Evaluation criteria]Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1
S: Obtained total points of presentations and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of presentations and reportss, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of presentations and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of presentations and reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2
A: Obtained total points of presentations and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of presentations and reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of presentations and reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
10 分以上の遅刻厳禁。

ウェルカムページ
http://las.tut.ac.jp/~nakamori/index.html

オフィスアワー
基本的に木曜日の昼休みとするが、これ以外の時間でも在室中は随時対応する。メール等で事前に連絡があると有り難い。
Lunch break on every Thursday

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(D3)技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題を工学的に解決するためのデザイン力と与えられた制限下で仕事をまとめ上げる実行力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(D3) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード

文学　読書　価値　感性

(G10731230)人体生理学[Basic Physiology]

科目名[英文名]	人体生理学[Basic Physiology]				
時間割番号	G10731230	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	稗田　睦子 HIEDA Mutsuko				
ナンバリング	GEN_LIB83120				

授業の目標

人体は細胞、器官、システムによって複雑に統制され、生理機能が調整されている。本講義を通して、生理学の基礎的な知識を理解することを目標とする。

The body is an amazingly complex machine. At any given time there is intricate communication among various cells, tissues, organs, and systems that serve to coordinate its physiological functions. Our goal throughout this lecture is to emphasize conceptual understanding of the human physiology.

授業の内容

1 週目　ガイダンス
2 週目　血液
3 週目　循環
4 週目　呼吸
5 週目　プレゼンテーション（1）
6 週目　消化
7 週目　代謝
8 週目　プレゼンテーション（2）
9 週目　内分泌
10 週目　骨格
11 週目　プレゼンテーション（3）
12 週目　筋肉
13 週目　神経
14 週目　プレゼンテーション（4）
15 週目　まとめ

1st week　Introduction
2nd week　Blood
3rd week　Cardiovascular System
4th week　Respiratory System
5th week　Presentation 1
6th week　Digestive System
7th week　Regulation of Energy Metabolism
8th week　Presentation 2
9th week　Endocrine System
10th week　Skeletal System
11th week　Presentation 3
12th week　Muscular System
13th week　Nervous System
14th week　Presentation 4
15th Wrap-up

予習・復習内容

講義の復習をする。
プレゼンテーションの準備。
Review of lecture content based on notes and distributed materials
Preparation for individual preparation

関連科目

教科書に関する補足事項
テキストは使用しない。

No textbook.

参考書に関する補足事項

達成目標
1)細胞から個体までの機能が理解できるように学習する。
2)適切な論文や資料を使用して、生理学の知識を深める。
1) Explain the basic mechanisms of homeostasis by integrating the functions of cells, tissues, organs, and organ systems.
2) Identify and utilize appropriate reference resources to clarify and expand knowledge of Physiology.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
プレゼンテーション 30%　授業態度 20%　レポート 50%　左記の割合で、総合的に評価する。

評価基準
学部3年
S：達成目標をすべて達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 90%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 85%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 80%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
学部4年
A：達成目標をすべて達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 90%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 85%達成しており，かつプレゼンテーション・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Grades will be based on presentation (30%), participation (20%) and final report (50%).
B3
S: Based on the above evaluation criteria, 90 points or higher (out of 100 points).
A: Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B: Based on the above evaluation criteria, 70 points or higher (out of 100 points).
C: Based on the above evaluation criteria, 60 points or higher (out of 100 points).
B4
A: Based on the above evaluation criteria, 80 points or higher (out of 100 points).
B: Based on the above evaluation criteria, 65 points or higher (out of 100 points).
C: Based on the above evaluation criteria, 55 points or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日 13 時～14 時

Wednesday 1:00-2:00 pm

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方

人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
生理学
Physiology

(G1073126a)東洋文化論[Eastern Cultural Studies]

科目名[英文名]	東洋文化論[Eastern Cultural Studies]				
時間割番号	G1073126a	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	廣中　一成 HIRONAKA Issei				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

古代から近代にかけての中国の歴史をたどりながら、そのなかで東洋文化、特に中国文化がどのような変遷をたどったのか検討する。

We learn the history of China from prehistoric times to current events, and consider the change of the oriental culture, especially a Chinese one.

授業の内容

中国は 3000 年以上の歴史を持ち、また、儒教・道教・仏教が融合した文化は、日本をはじめ東アジア各国に多大な影響を与えた。

近年、日中両国は経済面を中心に緊密な関係を築いている。私たち日本人が今後も中国と関わり合いを持つなかで、中国を理解していくためには、中国の歴史や文化について、一定以上の知識を備えておく必要がある。とりわけ、近代中国と文化の問題は、今日の日中関係にも深く係わってくるテーマである。

以上の問題意識のもと、本講義では、古代からの中国文化の展開を、儒教・道教・仏教の動きを中心に振り返ったうえで、アヘン戦争以降の近代中国の文化がどのような変遷をたどったのか学んでいく。

各回の講義は以下のとおりである。講義の進度により、若干内容を変更する可能性がある。

第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　中国史概説①
第 3 回　中国史概説②
第 4 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教①
第 5 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教②
第 6 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教③
第 7 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教④
第 8 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教⑤
第 9 回　アヘン戦争と西洋文化の流入
第 10 回　封建体制の崩壊と文化
第 11 回　五四運動と新文化運動
第 12 回　迫害される仏教
第 13 回　国民革命と文化
第 14 回　日中戦争と文化①
第 15 回　日中戦争と文化②

China has the history more than 3,000 years. The culture, formed by the mixture of Confucianism, Taoism and Buddhism, had a great influence on each East Asia countries including Japan. In recent years, under the favorable economic climate, the relations between Japan and China have become closer. To understand China, we must acquire various knowledge about its history and culture. Particularly, modern history and culture are important themes, which concern the relations between Japan and China.

In this lecture, we go back mainly to Confucianism, Taoism, Buddhism, and examine the development of the Chinese culture from the ancient times. We learn also how modern Chinese culture changed after the First Opium War.

Students must do at least one presentation about lecture contents.

1: Orientation
2: Outline of Chinese history 1
3: Outline of Chinese history 2
4: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 1
5: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 2
6: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 3
7: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 4
8: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 5
9: First Opium War and influx of the western culture
10: Collapse of the feudal style and Culture
11: May Fourth Movement and New Culture Movement

12: Persecution of the Buddhism
13: National Revolution and culture
14: Second Sino-Japanese and culture 1
15: Second Sino-Japanese and culture 2

予習・復習内容

各自で毎回の講義内容を復習し、次回の講義のために参考書や関連書籍などを読んで予習しておくこと。

関連科目

教科書に関する補足事項

授業の内容に従って、適宜レジュメを配布する。

参考書 1	**書名**	『中国の歴史』			**ISBN**	978-4-480-09691-3
	著者名	岸本美緒	**出版社**	筑摩書房	**出版年**	2015
参考書 2	**書名**	『朱子学と陽明学』			**ISBN**	978-4-480-09569-5
	著者名	小島毅	**出版社**	筑摩書房	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

1、中国の歴史と文化に関心を持つ。
2、近代の中国文化に関する基本的知識を得る。
3、中国文化について、自分なりの意見を持てるようになること。
1. To be interested in Chinese history and culture.
2. To get basic knowledge about the Chinese culture in modern times.
3. To state your opinion about Chinese culture.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価は以下の割合とする。
平常点（授業態度、授業中の発言、出席状況など）30%、定期試験 70%
Class participation 30%, Exam 50%

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程

(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
中国　歴史　文化
china history culture

(G1073126b)東洋文化論[Eastern Cultural Studies]

科目名[英文名]	東洋文化論[Eastern Cultural Studies]				
時間割番号	G1073126b	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	廣中　一成 HIRONAKA Issei				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

古代から近代にかけての中国の歴史をたどりながら、そのなかで東洋文化、特に中国文化がどのような変遷をたどったのか検討する。

We learn the history of China from prehistoric times to current events, and consider the change of the oriental culture, especially a Chinese one.

授業の内容

中国は 3000 年以上の歴史を持ち、また、儒教・道教・仏教が融合した文化は、日本をはじめ東アジア各国に多大な影響を与えた。

近年、日中両国は経済面を中心に緊密な関係を築いている。私たち日本人が今後も中国と関わり合いを持つなかで、中国を理解していくためには、中国の歴史や文化について、一定以上の知識を備えておく必要がある。とりわけ、近代中国と文化の問題は、今日の日中関係にも深く係わってくるテーマである。

以上の問題意識のもと、本講義では、古代からの中国文化の展開を、儒教・道教・仏教の動きを中心に振り返ったうえで、アヘン戦争以降の近代中国の文化がどのような変遷をたどったのか学んでいく。

各回の講義は以下のとおりである。講義の進度により、若干内容を変更する可能性がある。

第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　中国史概説①
第 3 回　中国史概説②
第 4 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教①
第 5 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教②
第 6 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教③
第 7 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教④
第 8 回　中国文化の形成―儒教・道教・仏教⑤
第 9 回　アヘン戦争と西洋文化の流入
第 10 回　封建体制の崩壊と文化
第 11 回　五四運動と新文化運動
第 12 回　迫害される仏教
第 13 回　国民革命と文化
第 14 回　日中戦争と文化①
第 15 回　日中戦争と文化②

China has the history more than 3,000 years. The culture, formed by the mixture of Confucianism, Taoism and Buddhism, had a great influence on each East Asia countries including Japan. In recent years, under the favorable economic climate, the relations between Japan and China have become closer. To understand China, we must acquire various knowledge about its history and culture. Particularly, modern history and culture are important themes, which concern the relations between Japan and China.

In this lecture, we go back mainly to Confucianism, Taoism, Buddhism, and examine the development of the Chinese culture from the ancient times. We learn also how modern Chinese culture changed after the First Opium War.

Students must do at least one presentation about lecture contents.

1: Orientation
2: Outline of Chinese history 1
3: Outline of Chinese history 2
4: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 1
5: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 2
6: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 3
7: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 4
8: Formation of the Chinese culture; Confucianism, Taoism, Buddhism 5
9: First Opium War and influx of the western culture
10: Collapse of the feudal style and Culture
11: May Fourth Movement and New Culture Movement

12: Persecution of the Buddhism
13: National Revolution and culture
14: Second Sino-Japanese and culture 1
15: Second Sino-Japanese and culture 2

予習・復習内容

各自で毎回の講義内容を復習し、次回の講義のために参考書や関連書籍などを読んで予習しておくこと。

関連科目

教科書に関する補足事項

授業の内容に従って、適宜レジュメを配布する。

参考書 1	**書名**	『中国の歴史』			**ISBN**	978-4-480-09691-3
	著者名	岸本美緒	**出版社**	筑摩書房	**出版年**	2015
参考書 2	**書名**	『朱子学と陽明学』			**ISBN**	978-4-480-09569-5
	著者名	小島毅	**出版社**	筑摩書房	**出版年**	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

1、中国の歴史と文化に関心を持つ。
2、近代の中国文化に関する基本的知識を得る。
3、中国文化について、自分なりの意見を持てるようになること。
1. To be interested in Chinese history and culture.
2. To get basic knowledge about the Chinese culture in modern times.
3. To state your opinion about Chinese culture.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価は以下の割合とする。
平常点（授業態度、授業中の発言、出席状況など）30%、定期試験 70%
Class participation 30%, Exam 50%

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程

(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
中国　歴史　文化
china history culture

(G10731270)哲学[Philosophy]

科目名[英文名]	哲学[Philosophy]				
時間割番号	G10731270	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	中村　大介 NAKAMURA Daisuke				
ナンバリング	GEN_LIB81120				

授業の目標

科学哲学の講義を通して、「物理学とは何か」、「科学の目的・構造とはどのようなものか」といった問題を受講者と共に考えていきたい。

This is a special lecture about Philosophy of Sciences. We consider the philosophical problems in natural sciences such as "What are the purposes and structures of sciences?"

授業の内容

講義形式であるが、受講者にはこちらから質問を随時投げかけ、積極的に議論に加わってもらう。

1．イントロダクション
2．17世紀の科学革命と近代科学の形成（1）
3．17世紀の科学革命と近代科学の形成（2）
4．科学の対象とその数量化
5．科学における仮説の導入と理論の構成
6．科学の目的と科学理論の特質
7．物理学における実験と反証
8．帰納主義、実証主義、現象論
9．道具主義と規約主義
10．物理理論とホーリズム
11．科学的相対主義（1）
12．科学的相対主義（2）
13．科学的実在論
14．科学的世界と日常の世界
15．まとめ

1st week: Introduction
2nd week: Scientific Revolution in 17th century (1)
3rd week: Scientific Revolution in 17th century (2)
4th week: Objects of Sciences and their quantification
5th week: Introduction of hypotheses in Sciences and Construction of theories
6th week: Purposes of Sciences and theirs Properties
7th week: Experiments and Refutations in Physics
8th week: Inductionism, Positivism and Phenomenalism
9th week: Instrumentalism and Conventionalsm
10th week: Physical Theory and Holism
11th week: Relativism about Science (1)
12th week: Relativism about Science (2)
13th week: Scientific Realism
14th week: Scientific World and Ordinary World
15th week Review

予習・復習内容

予習の必要はない。授業の内容をまとめ、各自の考察を加えるレポート（3回）が復習の代わりとなる。

関連科目

「哲学概説」及び「数理と哲学」。但し履修義務はない。
"Introduction to Philosophy" and "Mathematical Principles and Philosophy"

教科書 1	**書名**	科学哲学			**ISBN**	978-4-7828-0204-5
	著者名	小林道夫	**出版社**	産業図書	**出版年**	1996

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

その他の参考書は授業ごとに指示する。

Mention other reference books in classes.

達成目標

受講生各自が
1）科学を一歩引いた視点から考察できるようになること
2）科学的実在論などの哲学上の問題を考えるきっかけを得ること
以上二点を目標とする。
Think about the sciences in their "meta"-level and some philosophical problems in sciences such as "Scientific Realism".

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

授業中に三回課すレポートで下記のように評価する。
[B1～3, M1]
S:レポートの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 60 点（100 点満点）以上

[B4,M2]
A:レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B:レポートの合計点が 65 点（100 点満点）以上
C:レポートの合計点が 55 点（100 点満点）以上
Course Evaluation
Evaluation is based on three short papers (100 points).
[B1～3, M1]
S: total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

[B4,M2]
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

http://www.tut.ac.jp/teach/main.php?mode=detail&article=766
https://www.tut.ac.jp/english/schools/faculty/las/766.html

オフィスアワー

木曜日 13:30～15:30
その他、メール等で問い合わせてくれれば適宜応ずる。
Thursday from 13:30 to 15:30.
Contact by mail is also welcome.

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード

科学哲学

(G10731280)比較文化論[Comparative Cultural Studies]

科目名[英文名]	比較文化論[Comparative Cultural Studies]				
時間割番号	G10731280	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	斎藤　喬 SAITO Takashi				
ナンバリング	GEN_LIB81120				

授業の目標

比較をするためには二つ以上の文化が必要となるが、そこで「自分の文化」を前提とせずに「他人の文化」を対象にすることは困難である。授業ではこのような「自文化」と「他文化」の関係に注目し、「文化的な存在」としての人間という問題について身近な事例を通して考えていくことを目指す。

Though the concept of comparison needs at least more than two cultures, no one can think about another culture without the conditioning of their own culture. This course is designed to familialize the students with comparative cultural studies.

授業の内容

(1)比較文化論の主要テーマの中から、特に「他者」と「排除」を取り上げ、比較文化論としてそれらの問題をどのように捉えることができるかを提示する。

(2)講義の内容を、受講者一人ひとりが自分の問題として考える手助けとなるように、具体例として小説や映画のさまざまな作品を取り上げていく。

1.授業の概要：「目に見えないもの」としての文化
2.文化はいつどこから始まるのか
3.比較文化論における「他者」について
4.他者の問題(1)：「他者」は文化によって作り出される？
5.他者の問題(2)：人に物を贈るということ
6.他者の問題(3)：死者を弔うということ
7.他者の問題(4)：進んだ文化と遅れた文化
8.共同体は何を犠牲にして成り立っているのか
9.現代社会における「排除」について
10.排除の問題(1)：社会現象としての「排除」
11.排除の問題(2)：文学・映画作品の中の「排除」(欧米編)
12.排除の問題(3)：文学・映画作品の中の「排除」(日本編)
13.排除の問題(4)：共同体によって排除される「異質なもの」
14.排除の問題によって何がわかるのか
15.授業のまとめ：「文化的な存在」であることの意味

(1) Special emphasis is placed on social exclusion from the viewpoint of comparative cultural studies.
(2) The course will introduce various works (novels, movies, etc.) to students as accessible examples.

1. Culture, the invisible
2. From where and when did culture begin?
3. “The other” in comparative cultural studies
4. Cuture makes “the other”
5. The anthropological meaning of the gift.
6. Funerals and the awe of the dead
7. The notion of evolution
8. What is meant by “sacrifice” in a community?
9. “Exclusion” in modern society
10. A society based on “exclusion”
11. Social exclusion in the European context
12. Social exclusion in the Japanese context
13. A community excludes the different
14. The meaning of social exclusion
15. Self-understanding as a cultural being

予習・復習内容

復習として授業中に配布したレジュメを見直したり紹介した小説や映画を積極的に読書し視聴することが望ましい。

It is hoped that the students will reread the papers and touch on the works introduced in the class.

関連科目

教科書に関する補足事項

授業ではテキストを使用せず、毎回レジュメを配布する。
The course has no text but material will be handed out each lesson.

参考書に関する補足事項

毎回の内容に即して、授業ごとに適宜指示する。
These will be designated according to the content of the class.

達成目標

(1)「人はなぜ文化を作るのか」という比較文化論の根本問題を理解し文化を異にする「他者」に関する具体的なイメージをつかむ。
(2)「排除」という身近な現象についての研究に触れることで自分自身が「文化的な存在」であることの意味を考える態度を身につける。

(1) The students have to reflect on why human beings make their own cultures on the basis of the comprehension of another culture.
(2) The students have to form a relative attitude to their own culture through studies on the phenomenon of social exclusion.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

毎回の授業で課すミニテスト(3%／回→45%／15 回)と、学期末に課すレポート(55%)の合計で評価する。
Short test at the end of each class (3% / 1 class – total of 45% / 15 classes), Final report (55%)

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業終了時に教室にて質問を受け付ける。
After each class, it is possible to ask questions.

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード

比較文化論、他者、排除
Comparative cultural studies, the other, social exclusion

(G10731290)言語と思想 I [Language and Thought 1]

科目名[英文名]	言語と思想 I [Language and Thought 1]				
時間割番号	G10731290	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	水 1～1	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～4
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	中村　大介 NAKAMURA Daisuke				
ナンバリング	GEN_LIB81120				

授業の目標

生物学は前世紀以降飛躍的な進展を示し、医学は現代社会において大きな地位を占めている。
本講義は、フランスの科学哲学者ジョルジュ・カンギレム（1904-1995）の生命科学と医学の哲学を扱いつつ、生物学や医学の含む様々な哲学的問題を考察したい。
This is a special lecture about the philosophy of Georges Canguilhem (1904-1995), who studied the biology and the medicine, two branches of sciences highly developed today.

授業の内容

配布プリントを用いて講義形式でおこなう。ただし受講者にはこちらから質問を随時投げかけ、積極的に議論に加わってもらう。

1. イントロダクション
2～3.『正常と病理』第 1 章
4～6.『正常と病理』第 2 章
7. カンギレムの誤謬論と認識論
8. まとめ
1st week: Introduction
2nd-3rd week: The 1st chapter of "The Normal and the Pathological"
4th-6th week: The 2nd chapter of "The Normal and the Pathological"
7th week: The theories of error and knowledge of Canguilhem
8th week: Review

予習・復習内容

予習の必要はない。授業内容をまとめ、各自の考察を加えるレポートが復習の代わりとなる。

関連科目

「言語と思想 II」及び「哲学」。但し履修義務はない。
"Language and Thought 2" and "Philosophy"

教科書に関する補足事項

プリントを配布する。
Use professor's handouts.

参考書 1	**書名**	正常と病理			**ISBN**	9784588002250
	著者名	ジョルジュ・カンギレム	**出版社**	法政大学出版局	**出版年**	1987
参考書 2	**書名**	生命の認識			**ISBN**	9784588007354
	著者名	ジョルジュ・カンギレム	**出版社**	法政大学出版局	**出版年**	2002
参考書 3	**書名**	カンギレム：生を問う哲学者の全貌			**ISBN**	9784560509609
	著者名	ドミニック・ルクール	**出版社**	白水社（文庫クセジュ）	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

1）医学に関する様々な見方を獲得すること。
2）「生命とは何か」という根本的な問題に取り組むきっかけを得ること。
Acquire various viewpoints about the medicine and consider a fundamental question such as "what is life?".

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

中間レポートと期末レポートで下記のように評価する。
[B1～3, M1]
S：レポートの合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：レポートの合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：レポートの合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：レポートの合計点が 60 点（100 点満点）以上

[B4,M2]
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 55 点(100 点満点)以上
Course Evaluation
Evaluation is based on two short papers (100 points).
[B1～3, M1]
S: total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

[B4,M2]
A: total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
http://www.tut.ac.jp/teach/main.php?mode=detail&article=766
https://www.tut.ac.jp/english/schools/faculty/las/766.html

オフィスアワー
木曜日 13:30～15:30
その他、メール等で問い合わせてくれれば適宜応ずる。
Thursday from 13:30 to 15:30.
Contact by mail is also welcome.

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

キーワード
哲学、科学認識論、生物学、医学、カンギレム
Philosophy, French epistemology, biology, medicine, Canguilhem

(G1073131a)史学[Historical Science]

科目名[英文名]	史学[Historical Science]				
時間割番号	G1073131a	区分	人文科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	水 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	相京　邦宏 AIKYO Kunihiro				
ナンバリング	GEN_LIB81220				

授業の目標

歴史学の歴史
歴史学の意義及び人類の『歴史観の歴史』について考察する
History of history.
Significance of history and history of historical view.

授業の内容

講義の前半は，歴史学の意義及び歴史と歴史叙述の関係について基本的なことを解説する。後半は，古代から近・現代に至る人類の「歴史観の歴史」について考察する。つまり，古代人の歴史観や，中世のキリスト教的歴史観，近代の啓蒙主義的進歩史観などについて，各時代の代表的な哲学観なども交えながら，基本的なことを概観する。こうした講義全体を通じて「歴史的な物の見方」や人類と歴史の関わりについて総合的に考察する。
第 1回 オリエンテーション
第 2回 歴史の重要性
第 3回 歴史と史料
第 4回 歴史と歴史叙述Ⅰ
第 5回 歴史と歴史叙述Ⅱ
第 6回 古代・中世の歴史観Ⅰ
第 7回 古代・中世の歴史観Ⅱ
第 8回 ヒューマニズムの歴史観
第 9回 啓蒙主義の歴史観Ⅰ
第 10 回 啓蒙主義の歴史観Ⅱ
第 11 回 歴史主義の成立Ⅰ
第 12 回 歴史主義の成立Ⅱ
第 13 回 科学的歴史学の成立Ⅰ
第 14 回 科学的歴史学の成立Ⅱ
第 15 回 授業の総括と質疑応答
At first, significance of history, history and historiography.
Second, history of historical view.

1. Orientation
2. Significance of history
3. History and historical materials
4. History and historiography 1
5. History and historiography 2
6. Historical view of the Ancient and Middle Ages 1
7. Historical view of the Ancient and Middle Ages 2
8. Historical view of the Humanism
9. Historical view of the Enlightment 1
10. Historical view of the Enlightment 2
11. Appearance of the Historism 1
12. The appearance of the Historism 2
13. Founding of the scientific history 1
14. Founding of the scientific history 2
15. Summary of lecture

予習・復習内容

前回の講義を復習した上で、次回講義に参加すること。
Review of the last time lecture

関連科目

西洋史、西欧文化論

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項
テキスト：無し
参考図書：
西村貞二『歴史から何を学ぶか』講談社現代新書

達成目標
歴史的な思考力が身につき、物事を論理的、大局的に捉えることができる
The historical ability to think.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
学期末に定期試験を実施し、成績、単位認定を行う。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価基準が学年ごとに異なります。
〇5 段階評価 …学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次向けの開講科目
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
〇4段階評価 …学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次向けの開講科目
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1-3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2-3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日 午後 1 時～4 時
pm. 1-4(Wednesday)

学習・教育到達目標との対応
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・
福祉について考える能力
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力

社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
（F）【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
（F）【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
歴史、歴史叙述、歴史観
history, historiography, historical view

(G1073131b)史学[Historical Science]

科目名[英文名]	史学[Historical Science]				
時間割番号	G1073131b	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	相京　邦宏 AIKYO Kunihiro				
ナンバリング	GEN_LIB81220				

授業の目標

歴史学の歴史
歴史学の意義及び人類の『歴史観の歴史』について考察する
History of history.
Significance of history and history of historical view.

授業の内容

講義の前半は，歴史学の意義及び歴史と歴史叙述の関係について基本的なことを解説する。後半は，古代から近・現代に至る人類の「歴史観の歴史」について考察する。つまり，古代人の歴史観や，中世のキリスト教的歴史観，近代の啓蒙主義的進歩史観などについて，各時代の代表的な哲学観なども交えながら，基本的なことを概観する。こうした講義全体を通じて「歴史的な物の見方」や人類と歴史の関わりについて総合的に考察する。
第 1回 オリエンテーション
第 2回 歴史の重要性
第 3回 歴史と史料
第 4回 歴史と歴史叙述Ⅰ
第 5回 歴史と歴史叙述Ⅱ
第 6回 古代・中世の歴史観Ⅰ
第 7回 古代・中世の歴史観Ⅱ
第 8回 ヒューマニズムの歴史観
第 9回 啓蒙主義の歴史観Ⅰ
第 10 回 啓蒙主義の歴史観Ⅱ
第 11 回 歴史主義の成立Ⅰ
第 12 回 歴史主義の成立Ⅱ
第 13 回 科学的歴史学の成立Ⅰ
第 14 回 科学的歴史学の成立Ⅱ
第 15 回 授業の総括と質疑応答
At first, significance of history, history and historiography.
Second, history of historical view.

1. Orientation
2. Significance of history
3. History and historical materials
4. History and historiography 1
5. History and historiography 2
6. Historical view of the Ancient and Middle Ages 1
7. Historical view of the Ancient and Middle Ages 2
8. Historical view of the Humanism
9. Historical view of the Enlightment 1
10. Historical view of the Enlightment 2
11. Appearance of the Historism 1
12. The appearance of the Historism 2
13. Founding of the scientific history 1
14. Founding of the scientific history 2
15. Summary of lecture

予習・復習内容

前回の講義を復習した上で、次回講義に参加すること。
Review of the last time lecture

関連科目

西洋史、西欧文化論

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項
テキスト：無し
参考図書：
西村貞二『歴史から何を学ぶか』講談社現代新書

達成目標
歴史的な思考力が身につき、物事を論理的、大局的に捉えることができる
The historical ability to think.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
学期末に定期試験を実施し、成績、単位認定を行う。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価基準が学年ごとに異なります。
〇5 段階評価 …学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次向けの開講科目
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
〇4段階評価 …学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次向けの開講科目
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1-3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2-3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
水曜日 午後 1 時～4 時
pm. 1-4(Wednesday)

学習・教育到達目標との対応
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・
福祉について考える能力
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

機械工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。

電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective

Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
歴史
history, historiography, historical view

(G10731320)東洋史[Oriental History]

科目名[英文名]	東洋史[Oriental History]				
時間割番号	G10731320	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	相京　邦宏 AIKYO Kunihiro				
ナンバリング	GEN_LIB81220				

授業の目標

シルクロードに関する基本的な事柄を学ぶ。そして様々な時代の多様な地域の人々の生き方を通じて、幅広い人間性と考え方人間社会を地球的・国際的な視点から多面的にとらえる考え方を学ぶ。

History of the Silkroad.

授業の内容

シルクロードとは、アジアとヨーロッパを結ぶ太古以来の国際交易路の雅称である。絹を始めとする様々な文物の交流はまさにこの道を通じてなされたのであり、その影響は遠く我が国にも及んでいる。それはまた、様々な民族や文化の邂逅・衝突の地でもあった。およそ世界史の上で、シルクロードをめぐる文化交流史ほど、広範な舞台で複雑な変遷を経たものはない。正に人類文化の坩堝だったのである。けれどもその峻厳な自然環境のため、一度歴史の闇の中に埋もれて以来、19 世紀期末に至るまでほとんど人跡未踏の地であった。その姿が明らかになったのはここ数十年のことであり、今日尚多くの発掘や新たな発見が続けられている。そこで講義ではこうしたシルクロードの歴史や文化について基本的な事柄を学ぶ。講義の内容としては、シルクロードの歴史的意義、シルクロードの探検者達、シルクロードに活躍した様々な個人・諸民族・諸国家、シルクロードと宗教との関わりなどをそれぞれ数回に分けて取り上げる。適宜映像資料を用いる予定。

講義予定

第 1 週　オリエンテーション（授業内容の説明）
第 2 週　シルクロード概観
第 3 週　シルクロードの重要性
第 4 週　シルクロードと中国Ⅰ
第 5 週　シルクロードと中国Ⅱ
第 6 週　西方社会とシルクロード
第 7 週　草原ルートと騎馬民族文化
第 8 週　スキタイ民族の変遷Ⅰ
第 9 週　スキタイ民族の変遷Ⅱ
第 10 週　北方民族と中国
第 11 週　前漢の西域経営
第 12 週　張騫と西域
第 13 週　武帝の西域経営
第 14 週　西域渡来の文化
第 15 週　前期のまとめ

What is the Silkroad, where lived many people and nations? History and culture of the Silkroad. Significance of the Silkroad, explorers of the Silkroad, many persons, races and nations on the Silkroad.

1. Orientation
2. An outline of the Silkroad
3. Significance of the Silkroad
4. The Silkroad and China Ⅰ
5. The Silkroad and China Ⅱ
6. Occidental society and the Silkroad
7. The Stepp route and nomads
8. Scythians Ⅰ
9. Scythians Ⅱ
10. Northern people and china
11. Control of the Western Districts by Han Dynasty
12. Western Distrcts
13. Control of the Western Districts by Chineese Emperors
14. Culture from the Western Districts
15. Summary of lecture

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容についてテキスト・配布史料等を参考に予習してくること。
Review of the last time lecture

関連科目
シルクロードに関する基本的な知識(高校の世界史程度)を習得していることが望ましい。
関連科目：西洋史概説、西洋近代史Ⅰ、西洋近代史Ⅱ

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	シルクロード			**ISBN**	
	著者名	長沢和俊	**出版社**	校倉書房	**出版年**	
参考書 2	**書名**	シルクロードを掘る			**ISBN**	
	著者名	樋口隆康	**出版社**	大阪書籍	**出版年**	
参考書 3	**書名**	シルクロード物語			**ISBN**	
	著者名	松本和夫	**出版社**	論創社	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
(1)シルクロード研究の歴史的意義を正しく理解することができる。とともに、幅広い人間性、考え方を修得している。
(2)シルクロード史全体の流れを正しく把握することができる。とともに、様々な時代の多様な地域の人々の生き方を力できる。
(3)シルクロード史に関する基本的用語を理解することができる。
(4)シルクロードの歴史とシルクロード上に活躍した人物、諸民族、諸国家の関係を正しく理解することができる。とともに、人間社会を歴史的・国際的な視点から多面的にとらえることが出来る。
1. Correct understanding of the history of the Silkroad
2. An outline of the Silkroad
3. Basic technical terms of the Silkroad
4. The Silkroad and people

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
学期末に定期試験1回を実施し、成績、単位認定を行う。評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
評価基準が学年ごとに異なります。
〇5 段階評価 …学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次向けの開講科目
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
※ただし，過年度生が履修した場合には，従来（A～C）の評価基準が適用されます。
〇4段階評価 …学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次向けの開講科目
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を〇%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1-3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2-3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ
記述なし

オフィスアワー
水曜日 午後 1 時～4 時
pm. 1-4(Wednesday)

学習・教育到達目標との対応
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力。社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between

humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
シルクロード、歴史、中国
silkroad, history, china

(G10731350)国文学特論Ⅰ[Advanced Japanese Literature 1]

科目名[英文名]	国文学特論Ⅰ[Advanced Japanese Literature 1]				
時間割番号	G10731350	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	和泉　司 IZUMI Tsukasa				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

この講義では、タイムトラベルを扱った小説を中心に、科学・時間の問題を文学がどのように扱ってきたかを考える。
小説をはじめとして、映画・ドラマ・漫画・アニメなどに描かれたタイムトラベルから、人々が「時間」について考えてきたことを通して、物語を読むことと、科学・技術と文学の関わりを学ぶ。
We will read stories about "Time travel". In order to thinking this theme, we read novels and comics, and watch movies,dramas, and animations. Through reading and watching these stories, we think relations between literatures and technology of time science.

授業の内容

1. ガイダンス
2. タイムトラベル小説を読む
3. タイムトラベル小説を読む
4. タイムトラベル小説を読む
5. タイムトラベル小説を読む
6. タイムトラベル小説を読む
7. タイムトラベル小説を読む
8. タイムトラベル映画を観る
9. タイムトラベル映画を観る
10. タイムトラベル映画を観る
11. タイムトラベル映画を観る
12. タイムトラベル漫画を読む
13. タイムトラベル漫画を読む
14. タイムトラベル漫画を読む
15. まとめ

1.guidance
2.Reading stories about "Time travel"
3.Reading stories about "Time travel"
4.Reading stories about "Time travel"
5.Reading stories about "Time travel"
6.Reading stories about "Time travel"
7.Reading stories about "Time travel"
8.Watching stories about "Time travel"
9.Watching stories about "Time travel"
10.Watching stories about "Time travel"
11.Watching stories about "Time travel"
12.Reading stories about "Time travel"
13.Reading stories about "Time travel"
14.Reading stories about "Time travel"
15.summary

予習・復習内容

事前にテキストを読んでおくこと。

関連科目

教科書 1	**書名**	時をかける少女			**ISBN**	
	著者名	筒井康隆	**出版社**	角川文庫	**出版年**	
教科書 2	**書名**	マイナス・ゼロ			**ISBN**	
	著者名	広瀬正	**出版社**	集英社文庫	**出版年**	

教科書に関する補足事項

その他のテキストも紹介する。

参考書に関する補足事項

達成目標
歴史の描かれ方について学び、その意義を考える
文学が描く世界の多様性を知る。

The course explores the ways in which history is written and the significance of the various ways. It also teaches the diversities in the world as described in various literary works.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的に全ての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を下記のように評価する。
B1～3, M1,D1
S:レポートの合計点が 90 点(100 点満点)以上
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 70 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:レポートの合計点が 80 点(100 点満点)以上
B:レポートの合計点が 65 点(100 点満点)以上
C:レポートの合計点が 55 点(100 点満点)以上
Evaluation criteria:
Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1,D1
S: Obtained total points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2,D2～3
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
授業を実施
Regular Class

定期試験詳細
レポートで実施

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
木曜日の昼休み。その他の時間も、事前にメール等で連絡があったら受け付けます。

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
文学　SF 小説　歴史
literature　science fiction　history

(G10731360)国文学特論Ⅱ[Advanced Japanese Literature 2]

科目名[英文名]	国文学特論Ⅱ[Advanced Japanese Literature 2]				
時間割番号	G10731360	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	中森　康之 NAKAMORI Yasuyuki				
ナンバリング	GEN_LIB81320				

授業の目標

日本の古典を読む。
今年度は『徒然草』を「ものづくり」から読む。

日本の古典文学、特に『徒然草』には日本人の知恵がちりばめられている。もちろん「ものづくり」の知恵も同様である。今年度は、『徒然草』を、日本人の生き方の知恵、特に「ものづくり」の知恵という視点から読み解く。

To read classical literary works of Japan.
This year, Read "Tsurezuregusa"

授業の内容

授業は受講生のプレゼンテーションとディスカッションによって行う。

『徒然草』を読んで、自分なりのテーマを一つ決め、それについてプレゼンテーションを行う。
とりあげる段は、1段でもよいし、複数段でもよい。

進度は下記を目安とするが、必ずしもこれにとらわれる必要はない。

第1週　ガイダンス～クラスコミュニケーション
第2週　序～第 35 段
第3週～第4週　第 36 段～第 70 段
第5週～第6週　第 71 段～第 100 段
第7週～第8週　　第 101 弾～第 130 段
第9週～第 10 週　第 131 段～第 160 段
第 11 週～第 13 週　第 161 段～第 200 段
第 14 週～第 15 週　第 201 段～第 243 段
Classes consists of a presentation and discussion.
This lecture is the Bilingual lecture.

1　Guidance
2　introduction～chap.35
3～4　chap.36～chap.70
5～6　chap.71～chap.100
7～8　chap.101～chap.130
9～10　chap.131～chap.160
11～13　chap.161～chap.200
14～15　chap.201～chap.243

予習・復習内容

あらかじめ『徒然草』全段を熟読すること。
他の受講生のプレゼンテーションをよく聞き、自分の問題として考えること。

関連科目

教科書 1	**書名**	徒然草：現代語訳付き			**ISBN**	978-4044001186
	著者名	兼好法師 ［著］,小川剛生 訳注,	**出版社**	KADOKAWA	**出版年**	2015

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標
①主体的に本を読む能力を身に付ける
②古典の知恵を理解する。
③問題点、議論点を見つける能力を身に付ける
④プレゼンテーションの能力を身に付ける
1）To perusal the classical literature.
2）To gain knowledge of classical literature.
3）To acquire the ability to discuss.
4）To acquire the ability to Presentation.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき、全ての達成目標の達成度を、プレゼンテーションによって下記の通り評価（100点満点）する。

B1～3, M1
S：合計点が 90 点（100 点満点）以上
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 70 点（100 点満点）以上
C：合計点が 60 点（100 点満点）以上

B4,M2
A：合計点が 80 点（100 点満点）以上
B：合計点が 65 点（100 点満点）以上
C：合計点が 55 点（100 点満点）以上
[[Evaluation method]　Presentations

[Evaluation criteria]Students who attend all classes will be evaluated as follows:

B1～3, M1
S: Obtained total points of presentations , 90 or higher (out of 100 points).
A: Obtained total points of presentations , 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of presentations , 70 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of presentations , 60 or higher (out of 100 points).

B4,M2
A: Obtained total points of presentations , 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of presentations , 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of presentations , 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
10 分以上の遅刻厳禁。

ウェルカムページ
http://las.tut.ac.jp/~nakamori/index.html

オフィスアワー
基本的に木曜日の昼休みとするが、これ以外の時間でも在室中は随時対応する。メール等で事前に連絡があると有り難い。
Lunch break on every Thursday

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
情報・知能工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
日本文学　国文学　古典

(G10731381)異文化コミュニケーション論[Intercultural Communication Theory]

科目名[英文名]	異文化コミュニケーション論[Intercultural Communication Theory]				
時間割番号	G10731381	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	加藤　三保子 KATOH Mihoko				
ナンバリング	GEN_LIB81420				

授業の目標

日本手話に関する社会言語学的研究、理論言語学的研究（音韻論、形態論、統語論）、応用言語学的研究等を概観する。音声言語との違いを意識しながら、「もうひとつの言語」である手話の言語学的特徴を理解し、手話を母語とする聴覚障害者の言語生活、ろう教育、ろう文化について学習する。

なお、この授業は音声日本語と日本手話との相違を知り、日本のろう者と健常者の文化の違いを理解するため、日本語で講義する。受講生は日本語と日本文化を理解している必要がある。

The goal of this course is to understand linguistic features of Sign Language. In order to achieve this goal, we will overview theoretical linguistic, sociolinguistic, and applied linguistic aspects of signed language such as Japanese Sign Language (JSL).

This course is only for those who can understand Japanese language and have some knowledge of Japanese culture. The instructions will be given in Japanese because the main purpose is to learn linguistic and cultural differences between Japanese Sign Language and spoken Japanese language.

授業の内容

第1週：オリエンテーション、聴覚障害者とのコミュニケーション
第2週：聞こえのしくみ、手話とジェスチャー
第3週：聴覚障害者の言語獲得
第4週：手話の言語体系（1）
第5週：手話の言語体系（2）
第6週：日本手話の文法（1）
第7週：日本手話の文法（2）
第8週：手話の造語法
第9週：手話の記号化と文字化（1）
第 10 週：手話の記号化と文字化（2）
第 11 週：聴覚障害児教育（1）
第 12 週：聴覚障害児教育（2）
第 13 週：ろう文化
第 14 週：手話の地位と役割
第 15 週：まとめ
第 16 週：学期末試験
Week 1: Orientation, Communication with Deaf people
Week 2: Types of Hearing impairment, Sign language and gestures
Week 3: Language acquisition by the deaf and hard of hearing
Week 4: Linguistic systems of sign language (1)
Week 5: Linguistic systems of sign language (2)
Week 6: Grammar of Japanese Sign Language (1)
Week 7: Grammar of Japanese Sign Language (2)
Week 8: Coinage in sign language
Week 9: Coding systems and writing systems in sign language (1)
Week 10: Coding systems and writing systems in sign language (2)
week 11: Education for the deaf and hard of hearing (1)
Week 12: Education for the deaf and hard of hearing (2)
Week 13: Deaf Culture
Week 14: Promotion of the social status of sign language
Week 15: Review
week 16: Term Exam.

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

テキストは使用せず、適宜プリントを配布するほか、DVD などを使用する。
No textbook, but handouts will be given. DVDs are used.

参考書 1	書名	手話を学ぶ人のために			ISBN	978-4-904639-16-0
	著者名	本名信行、加藤三保子	出版社	全日本ろうあ連盟	出版年	2017

参考書に関する補足事項

達成目標
1）手話言語のしくみとはたらきを理解する。
2）日本手話の基本的文法を学習する。
3）日本手話で簡単な自己紹介とあいさつができる。
1) To understand the linguistic features of sign language
2) To learn Structure of Japanese Sign Language
3) To use Japanese Sign Language for self-introduction and greetings

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
＜学部1・2・3年博士前期課程1年・博士後期課程1年次＞
S：達成目標を十分に達成し，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を十分に達成，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を十分に達成し，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を十分に達成し，テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

＜学部4年　博士前期課程2年・博士後期課程2．3年次＞
A：達成目標を十分に達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を十分に達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を十分に達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他
研究室：B-511
内線電話：6959
e-mail : mihoko@las.tut.ac.jp
Office: B-511
TEL (Ext.) : 6959
e-mail: mihoko@las.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
火曜日 14:00～16:00
Tuesdays　14:00～16:00

学習・教育到達目標との対応

キーワード
手話、聴覚障害、ろう文化
Sign Language, Hearing Impaired, Deaf culture

(G1073140a)応用言語学[Applied Linguistics]

科目名[英文名]	応用言語学[Applied Linguistics]				
時間割番号	G1073140a	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	池松　峰男 IKEMATSU Mineo				
ナンバリング	GEN_LIB81420				

授業の目標

第一言語習得が努力の意識なしに達成される一方、第二言語や外国語など言語を学習することは容易ではなく、その教育方法にも決定的なものがないことを知る。

After completing the course, students should be anticipated to be aware that acquiring language is achieved nearly effortlessly, however there is no decisive method for language teaching.

授業の内容

第 1 週 Introduction
第 2 週 Lecture 1: Meaning of Language Learning
第 3 週 Lecture 2: Meaning of Language Learning
第 4 週 Work at the library
第 5 週 Lecture 3: Methods of Foreign Language Learning
第 6 週 Lecture 4: Methods of Foreign Language Learning
第 7 週 Work at the library
第 8 週 Lecture 5: Motivation
第 9 週 Lecture 6: Motivation
第 10 週 Work at the library
第 11 週 Work at the library
第 12 週 Work at the library
第 13 週 Presentation
第 14 週 Presentation
第 15 週 Presentation / Wrap-up

Week 1 Introduction
Week 2 Lecture 1: Meaning of Language Learning
Week 3 Lecture 1: Meaning of Language Learning
Week 4 Work at the library
Week 5 Lecture 3: Methods of Foreign Language Learning
Week 6 Lecture 4: Methods of Foreign Language Learning
Week 7 Work at the library
Week 8 Lecture 5: Motivation
Week 9 Lecture 6: Motivation
Week 10 Work at the library
Week 11 Work at the library
Week 12 Work at the library
Week 13 Presentation
Week 14 Presentation
Week 15 Presentation / Wrap-up

予習・復習内容

クラウドにアップロードされた教材を適宜ダウンロードし、講義前に熟読しておくこと。詳細については、初回の講義で説明する。

Download and use the materials uploaded on a cloud drive. Material-uploading will be done before each class and occasionally after the class when needed. Details on preparation will be given at the beginning of the course.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜、クラウドに資料をアップロードする。

Class materials will be occasionally uploaded on a cloud drive.

参考書に関する補足事項

達成目標
1. 心理言語学の知見を得ること。
2. 第一言語獲得と他の言語学習とを区別できるようになること。
3. 将来にわたる言語の重要性について自分なりの意見をもつこと。

1) To gain an insight into psycholinguistics.
2) To understand the cognitive process inherent in language use.
3) To differentiate between first language acquisition and other language learning.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
コースワーク 80% (Report 30%, Presentation 50% (Summary 20%, Talk 30%)), クラス活動 20%

評価基準
コースワーク(80 点満点)の点数にクラス活動(20 点満点)の点数を足したものが 90 点以上を S, 80～89点以上をA, 70～79点をB, 60～69点をCとする。また, 出席と欠席の取扱については, 4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Assessment will be based on cCoursework 80% (Report 30%, Presentation 50% (Summary 20%, Talk 30%)), Class work 20%

S: ≧90
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
受講上の注意 Notice

1. 授業と関連のない作業は認めない。
2. 授業中の居眠りは退出の対象とする。

Notice

1. Work unrelated to class activity will not be permitted.
2. Students dozing will be ordered to leave the class.

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時対応
Drop-in basis.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
心理言語学、脳、認知過程、第二言語習得/学習、人工知能
psycholinguistics, brain, cognitive process, second language acquisition/learning, artificial intelligence

(G1073140b)応用言語学[Applied Linguistics]

科目名[英文名]	応用言語学[Applied Linguistics]				
時間割番号	G1073140b	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	池松　峰男 IKEMATSU Mineo				
ナンバリング	GEN_LIB81420				

授業の目標

第一言語習得が努力の意識なしに達成される一方、第二言語や外国語など言語を学習することは容易ではなく、その教育方法にも決定的なものがないことを知る。

After completing the course, students should be anticipated to be aware that acquiring language is achieved nearly effortlessly, however there is no decisive method for language teaching.

授業の内容

第 1 週 Introduction
第 2 週 Lecture 1: Meaning of Language Learning
第 3 週 Lecture 2: Meaning of Language Learning
第 4 週 Work at the library
第 5 週 Lecture 3: Methods of Foreign Language Learning
第 6 週 Lecture 4: Methods of Foreign Language Learning
第 7 週 Work at the library
第 8 週 Lecture 5: Motivation
第 9 週 Lecture 6: Motivation
第 10 週 Work at the library
第 11 週 Work at the library
第 12 週 Work at the library
第 13 週 Presentation
第 14 週 Presentation
第 15 週 Presentation / Wrap-up

Week 1 Introduction
Week 2 Lecture 1: Meaning of Language Learning
Week 3 Lecture 1: Meaning of Language Learning
Week 4 Work at the library
Week 5 Lecture 3: Methods of Foreign Language Learning
Week 6 Lecture 4: Methods of Foreign Language Learning
Week 7 Work at the library
Week 8 Lecture 5: Motivation
Week 9 Lecture 6: Motivation
Week 10 Work at the library
Week 11 Work at the library
Week 12 Work at the library
Week 13 Presentation
Week 14 Presentation
Week 15 Presentation / Wrap-up

予習・復習内容

クラウドにアップロードされた教材を適宜ダウンロードし、講義前に熟読しておくこと。詳細については、初回の講義で説明する。

Download and use the materials uploaded on a cloud drive. Material-uploading will be done before each class and occasionally after the class when needed. Details on preparation will be given at the beginning of the course.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜、クラウドに資料をアップロードする。

Class materials will be occasionally uploaded on a cloud drive.

参考書に関する補足事項

達成目標
1. 心理言語学の知見を得ること。
2. 第一言語獲得と他の言語学習とを区別できるようになること。
3. 将来にわたる言語の重要性について自分なりの意見をもつこと。

1) To gain an insight into psycholinguistics.
2) To understand the cognitive process inherent in language use.
3) To differentiate between first language acquisition and other language learning.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
コースワーク 80% (Report 30%, Presentation 50% (Summary 20%, Talk 30%)), クラス活動 20%

評価基準
コースワーク(80 点満点)の点数にクラス活動(20 点満点)の点数を足したものが 90 点以上を S, 80～89点以上をA, 70～79点をB, 60～69点をCとする。また, 出席と欠席の取扱については, 4月のオリエンテーションで説明したとおり。

Assessment will be based on cCoursework 80% (Report 30%, Presentation 50% (Summary 20%, Talk 30%)), Class work 20%

S: ≧90
A: 80-89
B: 70-79
C: 60-69

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
受講上の注意 Notice

1. 授業と関連のない作業は認めない。
2. 授業中の居眠りは退出の対象とする。

Notice

1. Work unrelated to class activity will not be permitted.
2. Students dozing will be ordered to leave the class.

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時対応
Drop-in basis.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーション能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し, コミュニケーションする能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力

論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
関連がある項目
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
関連がある項目
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
Relevant item
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations

キーワード
心理言語学、脳、認知過程、第二言語習得/学習、人工知能
psycholinguistics, brain, cognitive process, second language acquisition/learning, artificial intelligence

(G10731410)日本の言語と文化[Japanese Language and Culture]

科目名[英文名]	日本の言語と文化[Japanese Language and Culture]				
時間割番号	G10731410	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	吉村　弓子 YOSHIMURA Yumiko				
ナンバリング	GEN_LIB81420				

授業の目標

現代日本語の多種多様な実態について教科書にそって考える。
教科書タイトルの「バラエティ」は英語で ″variety″、ここでは「多種多様」の意味である。けっして、テレビ番組のジャンル「バラエティ」や「寄席演芸」のことではないので注意してほしい。
「わたしは学生です」という標準的な表現のバラエティとして、「おれ、学生っす」「おら、学生だ」「わたくし、学生ですわ」「わしは学生じゃ」「わたしは学生です…」「私は学生でございます」などがある。この違いは何によるものなのか、どのように使い分ければよいのか等について、受講者のみなさんが各自の言語感覚に基づいて自由に考えることを期待する。

This course aims to explore the variety of modern Japanaese language following the textbook. Note that the title of the textbook, ″variety″ does not mean ″vaudeville″, a genre of television or theater entertainment but ″several different sorts of the same thing″.
A standard expression ″Watashi wa gakusee desu (I am a student)″ has various expressions such as ″Ore, gakuseessu″, ″Ora, gakusee da″, ″Watakushi, gakusee desuwa ″, ″Washiwa gakuseeja″, ″Watashi wa gakusee desu...″ and ″Wakakushiwa gakusee de gozaimasu″. What makes the difference? How should we vary ? We expect students to examine these questions accoring to his/her sensibiliity to language without restraint .
The course will be taught in Japanese.

授業の内容

教科書にそって講義を行う。毎回授業の終わりの 10 分ほどでミニレポート（質問・感想・コメントなど）を書いてもらう。黒または青のペンで記入すること。5～6回の宿題を課す。

第1週(4/12) イントロダクション
第2週(4/19) ケース1「女のことば・男のことば」、ケース2「幼児のことば・育児のことば」
第3週(4/26) ケース3「専門のことば・仲間のことば」、ケース4「若者ことば・キャンパスことば」
第4週(5/10) ケース5「ことばのデフォルメ」、ケース6「方言のイメージ」
第5週(5/17) ケース7「東の方言・西の方言」、ケース8「気づかれにくい方言」
第6週(5/24) ケース9「新しい方言・古い方言」、ケース 10「方言と共通語」
第7週(5/31) ケース 11「ことばの切りかえ」、自主教材「敬語基礎編」
第8週(6/07) ケース 12「敬うことば・へりくだることば」
第9週(6/14) ケース 13「上品なことば・下品なことば」、ケース 14「忌避することば・慶弔のことば」
第 10 週(6/21) ケース 15「サービスのことば」、ケース 16「喜怒哀楽のことば」
第 11 週(6/28) ケース 17「話しことばと書きことば（音声編）」、ケース 18「話しことばと書きことば（文字編）」
第 12 週(7/05) ケース 19「論文･レポートのことば」、ケース 20「メール・ネットのことば」
第 13 週(7/12) ケース 21「マンガ・雑誌のことば」、ケース 22「ゆれていることば」
第 14 週(7/19) ケース 23「化石化したことば」、ケース 24「非母語話者の日本語」
第 15 週(7/26) ケース 25「やさしい日本語」

The lecture will cover throughout the textbook. Students will write a shot report(questions, responces, comments, etc.) with a black /blue ink pen in the last 10 minutes of every class meeing. Assignments will be given several times.

01 (Apr.12) Introduction
02 (Apr.19) 01. Language of women and of men, 2. Language of infants and of childcare
03 (Apr.26) 03. Language in special field and in peer, 4. Language of the young and of college students
04 (May 10) 05. Deformation of language, 6. Image of geographical dialects
05 (May 17) 07. Dialect of east and of west, 8.Hidden dialects
06 (May 24) 09. New and old dialects, 10.Dialects and standard language

07 (May 31) 11. Code switching, Basic of honorific(original material)
08 (Jun.07) 12. Respectful and humble expression
09 (Jun.14) 13. Elegant and vulgar language, 14. Language of taboo and of happy and sad occasions
10 (Jun.21) 15. Language in customer service, 16. Language of human emotions
11 (Jun.28) 17. Spoken and written language: sound, 18. Spoken and written language: letters
12 (Jul.05) 19. Language in papers and reports, 20. Language in e-mail and on the internet
13 (Jul.12) 21. Language of manga and magazines, 22.Language of unsettled usage
14 (Jul.19) 23. Fossilized language, 24. Japanese of non-native speakers
15 (Jul.26) 25. Easy Japanese

予習・復習内容

毎回の講義内容を教科書と講義資料(Moodle 掲載)を熟読して復習すること。また、次週の内容について教科書と講義資料に目を通してくること。
Review materials on moodle and the textbook.
Read materials on moodle and the textbook before class.

関連科目

教科書 1	**書名**	ケーススタディ日本語のバラエティ			**ISBN**	
	著者名	上野智子他編	**出版社**	おうふう	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)日本語の用法・意味(ニュアンス)に興味・関心を持つ。
2)日本語と社会・心理・様式の関連について興味・関心を持つ。
3)状況に応じた適切な日本語について考える。
By the end of this course students will
1)increase interest in usage and nuance of Japanese language.
2)grow attention to the relationship among Japanese language and sociaty, mentality and language style.
3)examine the appropriate expressions according to the situations.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法:ミニレポート 40%、宿題 60%、期末試験 なし。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものについて、上記合計点(100 点満点)により次のように評価します。

B1～B3
S:90 点以上
A:80～89.99 点
B:70～79.99 点
C:60～69.99 点

B4
A:80 点以上
B:65～79.99 点
C:55～64.99 点

Grading Policy: Short reports 40%, Assignments 60%, Final exam 0%

Grading Policy: Final exam 80%, Quizzes and assignments 10%, Contribution to the class 10%

Evaluation Criteria: Students who meet required attendance will be evaluated as follows by the total points (out of 100 points) obtained from what shown above:

B3
S: 90 or higher
A: between 80 and 89.99
B: between 70 and 79.99
C: between 60 and 69.99

B4
A: 80 or more
B: between 65 and 79.99
C: between 55 and 64.99

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
メール連絡の時は、「件名」に「日本の言語と文化の～です」と書くこと。(「～」にはあなたの名前)
Write "I am (your name) of "Japanese Language and Culture" as the subject of your e-mail.

ウェルカムページ

オフィスアワー
金曜　11:00～12:00
Friday 11:00-12:00

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーション能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
自分の論点や考えなどを国内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力を身につけている。

環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(E)国内外において活躍できる表現力・コミュニケーション力
論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを国の内外において効果的に表現し，コミュニケーションする能力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【建築コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(E)【社会基盤コース】国内外において活躍するための表現力とコミュニケーション力
国の内外において、論文，口頭及び情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力を身につけている。
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills for self-motivated learning on a continuous basis in response to changes insociety, environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication ability for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for the entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(E) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have the ability to effectively express one's own ideas and points in question at home and abroad
(F) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn for one's entire lifetime in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(E) Expression and communication skills for success home and abroad
Have the ability to effectively express and communicate one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social

environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Architecture and Building Science Course) Expression and communication skills for success at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad through papers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(E) (Civil and Environmental Engineering Course) Expression and communication skills to be successful at home and abroad
Have communication skills to appropriately express one's own ideas and points in question at home and abroad throughpapers, oral reports or information media and to lead discussions or negotiations
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード
日本語　多様性　バラエティ　社会　心理　様式　場面　状況
Japanese language, variety, society, mentality, style, scene, situation

(G1073144a)保健衛生学[Health and Hygiene]

科目名[英文名]	保健衛生学[Health and Hygiene]				
時間割番号	G1073144a	**区分**	人文科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	小島　俊男 KOJIMA Toshio				
ナンバリング	GEN_LIB83220				

授業の目標

本講座では、人体の構造と疾病の成り立ちを理解することを目標とします。

Objectives of this class is to understand the structure of the human body and causes of the illnesses.

授業の内容

第 1 週　脳の構造と機能
第 2 週　心の問題
第 3 週　心身の相関
第 4 週　呼吸器系の機能と疾患
第 5 週　循環器系の機能と疾患
第 6 週　応急処置
第 7 週　血液の仕組みと疾患
第 8 週　エイズ
第 9 週　アレルギー
第 10 週　消化器系の機能と疾患
第 11 週　食品衛生
第 12 週　がん(1)
第 13 週　がん(2)
第 14 週　生殖
第 15 週　胎児の発育と出産
Week 1: Nervous system
Week 2: Mental problem
Week 3: Mental and physical correlation
Week 4: Respiratory system
Week 5: Cardiovascular system
Week 6: Emergency measure
Week 7: Blood
Week 8: AIDS
Week 9: Allergy
Week 10: Alimentary system
Week 11: Food hygiene
Week 12: Cancer (1)
Week 13: Cancer (2)
Week 14: Reproduction system
Week 15: Fetal development and delivery

予習・復習内容

授業の復習をしっかり行うこと。

Perform a review after each class.

関連科目

健康科学

Health Science

教科書 1	**書名**	生理学トレーニングノート			**ISBN**	9784871634632
	著者名	竹内修二　監修,生理学 TN 編集委員会 編著,	**出版社**	医学教育出版社	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

スライドを使った授業を行います。

Presentation slides will be used in the class.

参考書に関する補足事項

達成目標
1) 人体の構造の理解
2) 代表的な疾患についての理解
Understanding the structure of the human body and causes of the illnesses.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B1～3, M1,D1
S:期末テストの点が 90 点(100 点満点)以上
A:期末テストの点が 80 点(100 点満点)以上
B:期末テストの点が 70 点(100 点満点)以上
C:期末テストの点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:期末テストの点が 80 点(100 点満点)以上
B:期末テストの点が 65 点(100 点満点)以上
C:期末テストの点が 55 点(100 点満点)以上

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams, 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
在室時なら、いつでも対応可能です。

Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

建築・都市システム学課程
関連がある項目
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

キーワード
健康、疾患
Health, Disease

(G1073144b)保健衛生学[Health and Hygiene]

科目名[英文名]	保健衛生学[Health and Hygiene]				
時間割番号	G1073144b	区分	人文科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	小島　俊男 KOJIMA Toshio				
ナンバリング	GEN_LIB83220				

授業の目標

本講座では、人体の構造と疾病の成り立ちを理解することを目標とします。

Objectives of this class is to understand the structure of the human body and causes of the illnesses.

授業の内容

第 1 週　脳の構造と機能
第 2 週　心の問題
第 3 週　心身の相関
第 4 週　呼吸器系の機能と疾患
第 5 週　循環器系の機能と疾患
第 6 週　応急処置
第 7 週　血液の仕組みと疾患
第 8 週　エイズ
第 9 週　アレルギー
第 10 週　消化器系の機能と疾患
第 11 週　食品衛生
第 12 週　がん(1)
第 13 週　がん(2)
第 14 週　生殖
第 15 週　胎児の発育と出産
Week 1: Nervous system
Week 2: Mental problem
Week 3: Mental and physical correlation
Week 4: Respiratory system
Week 5: Cardiovascular system
Week 6: Emergency measure
Week 7: Blood
Week 8: AIDS
Week 9: Allergy
Week 10: Alimentary system
Week 11: Food hygiene
Week 12: Cancer (1)
Week 13: Cancer (2)
Week 14: Reproduction system
Week 15: Fetal development and delivery

予習・復習内容

授業の復習をしっかり行うこと。

Perform a review after each class.

関連科目

健康科学

Health Science

教科書 1	書名	生理学トレーニングノート			ISBN	9784871634632
	著者名	竹内修二　監修,生理学 TN 編集委員会 編著,	出版社	医学教育出版社	出版年	2013

教科書に関する補足事項

スライドを使った授業を行います。

Presentation slides will be used in the class.

参考書に関する補足事項

達成目標
1) 人体の構造の理解
2) 代表的な疾患についての理解
Understanding the structure of the human body and causes of the illnesses.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B1～3, M1,D1
S:期末テストの点が 90 点(100 点満点)以上
A:期末テストの点が 80 点(100 点満点)以上
B:期末テストの点が 70 点(100 点満点)以上
C:期末テストの点が 60 点(100 点満点)以上

B4,M2,D2～3
A:期末テストの点が 80 点(100 点満点)以上
B:期末テストの点が 65 点(100 点満点)以上
C:期末テストの点が 55 点(100 点満点)以上

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:
B1～3, M1, D1
S: Total points obtained from exams, 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams, 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams, 60 or higher (out of 100 points).

B4, M2, D2～3
A: Total points obtained from exams, 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams, 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
在室時なら、いつでも対応可能です。

Drop-in basis

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。

建築・都市システム学課程
関連がある項目
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
（A）【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
（B）【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
健康、疾患
Health, Disease

(G10732010)ミクロ経済学[Microeconomics]

科目名[英文名]	ミクロ経済学[Microeconomics]				
時間割番号	G10732010	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	宮田　譲, 渋澤　博幸 MIYATA Yuzuru, SHIBUSAWA Hiroyuki				
ナンバリング	GEN_LIB82320				

授業の目標

経済における個人や企業の行動を，数学モデルによって理解する。

To understand the economic behavior of individuals and firms by mathematical models.

授業の内容

ミクロ経済学は個人や企業が合理的に行動する場合に、どのような消費や生産が望ましいのかを研究するものである。ミクロ経済学的考え方は、意思決定の主体を明示することから、経済学に留まらず交通問題、都市・地域問題、環境問題などに広範に取り入れられるようになってきている。この授業では消費者行動と企業行動を中心にしてミクロ経済学の基本的考え方を講義する。

授業ではミクロ経済学の考え方をなるべく例示的に述べるとともに、その表現には主として数学モデルを用いる。

前期

第１～２週：市場経済の効率性

第３～５週：市場機構と需要・供給

第６～７週：消費者と需要

第８～１０週：消費者行動と需要曲線

第１１～１３週：企業行動と生産関数

第１４～１５週：企業の長期費用曲線と市場の長期供給曲線

事前にプリントを配布するので，プリントの予習・復習を必ず行うこと。

Microeconomics studies what consumption and production are desirable under the assumption of rational behaviors of individuals and firms. Microeconomics is applied to the studies on transportation science, urban and regional science and environmental science since the microeconomics refers to the rational decision maker. This subject will give a lecture of the fundamental concept of the microeconomics mainly refereing to the consumers' and firms' behaviors. The lecture will give concrete examples of the microeconomics concept and apply mathematics to express the microeconomic models.

1st term

1st to 2nd weeks: the efficiency of the market economy

3rd to 5th weeks: the market structure and demand/supply

6th to 7th weeks: consumers and demand

8th to 10th weeks: consumers behavior and demand curve

11th to 13th weeks: firms behavior and production functions

14th to 15th weeks: firm's long term cost function and long term market supply function

The handouts will be distributed to students prior to lectures. Students are required to carefully read the handouts before the lectures.

予習・復習内容

教科書を熟読すること。

Students are required to carefully read the textbook before/after each lecture.

関連科目

マクロ経済学

macroeconomics

教科書 1	**書名**	都市，地域，環境概論			**ISBN**	978-4-254-26165-3
	著者名	宮田　譲　他	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2013

教科書に関する補足事項

教科書：授業は以下の教科書に基づき行う。

宮田　譲　他,「都市，地域，環境概論」，初版，朝倉書店，2013 年

主要参考書：ミクロ経済学の具体的な応用を解説したものとして，以下を用いる。

教科書と同様の扱いをするので，購入を強く希望する。
西村和雄,「ミクロ経済学入門」，第2版，岩波書店，2001 年
宮田　譲　他,「社会科学の学び方」，初版，朝倉書店，2001 年，（科学技術入門シリーズ9）
その他：本講義では理解度調査を行うが，受講生の負担を軽減するため，授業中に重要となる項目を指示する。

参考書 1	**書名**	ミクロ経済学入門			**ISBN**	4-00-002193-1
	著者名	西村和雄	**出版社**	岩波書店	**出版年**	2001
参考書 2	**書名**	社会科学の学び方			**ISBN**	4-254-20509-0
	著者名	宮田　譲　他	**出版社**	朝倉書店	**出版年**	2001
参考書 3	**書名**	Intermediate Microeconomics			**ISBN**	978-0-393-12396-8
	著者名	Hal R. Varian	**出版社**	Norton and Company	**出版年**	2014

参考書に関する補足事項

達成目標

A. ミクロ経済学の論理と方法
(1)経済用語の意味を正しく理解する。
(2)経済主体の合理性，資源の有限性を理解する。
(3)機会費用の意味を理解する。
(4)比較優位性の意味を理解する。お
(5)経済取引における価格の必要性を理解する。

B. 市場機構と需要・供給
(1)市場，需要，供給，市場均衡の意味を理解する。
(2)市場均衡の安定性を微分方程式を使って説明できる。
(3)需要と供給の価格弾力性を数学的に説明できる。

C. 消費者行動と需要曲線
(1)効用最大化問題をラグランジュ未定乗数法を用いて解くことができる。
(2)需要関数における代替効果と所得効果を数式および図を用いて説明できる。

D. 企業行動と生産関数
(1)生産関数の意味を理解する。
(2)企業における利潤最大化問題をラグランジュ未定乗数法を用いて解くことができる。

E. 企業行動と費用曲線
(1)費用最小化問題からラグランジュ未定乗数法を用いて費用関数を導出できる。
(2)費用関数を用いて利潤最適化問題を解き，供給関数を導出できる。
A. To understand the theory and methodology in microeconomics.
B. To understand the market structure and demand/supply.
C. To understand the consumer's behavior and demand function.
D. To understand the firm's behavior and production function.
E. To understand the firm's behavior and cost function.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績の評価法：前期において1回の定期試験（100%）で評価する。定期試験については授業中に重点を置く内容について説明する。
成績の評価基準：前期において達成目標を全て含んだ定期試験を1回行い，点数(100 点満点)が 90 点以上を S，80 点以上を A，70 点以上を B，60 点以上を C とする。
Evaluation of achievement: The academic score of each student is eveluated by the term examination(100%). Important points for the examination shall be suggested in the lecture.
Criteia of evaluation: the term examination, which cover all contents of the lectures, shall be conducted. The full mark of the examination is 100 points. Score S is over 90 points, score A is over 80 points, score B is 70 to 79 points and score C is 60 to 69 points.

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

定期試験を1回行う。
The term examination shall be conducted at the end of the term.

その他

教官室：D806
電話番号：0532-44-6955
e-mail:miyata@ace.tut.ac.jp

room：D806
phone：0532-44-6955
e-mail:miyata@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ

http://pm.hse.tut.ac.jp/kakenA/
http://pm.hse.tut.ac.jp/kakenA/

オフィスアワー

火曜日午後4時から5時まで

16:00 to 17:00 on every Tuesday

学習・教育到達目標との対応

建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(F)【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
特に関連がある項目
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(F)【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Particularly-relevant item
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード

経済学，ミクロ経済学，消費者行動，生産者行動
economics, microeconomics, consmer's behavior, producer's behavior

(G10732020)マクロ経済学[Macroeconomics]

科目名[英文名]	マクロ経済学[Macroeconomics]				
時間割番号	G10732020	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	金 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	渋澤　博幸 SHIBUSAWA Hiroyuki				
ナンバリング	GEN_LIB82320				

授業の目標

マクロ経済学は、所得の成長、物価の変化失業率など、全体としての経済を研究する学問である。マクロ経済学者は経済学的な出来事を説明するとともに、経済のパフォーマンスを改善するための政策を立案する。

Macroeconomics is the study of the economy as a whole, including growth in income, changes in prices, and the rate of unemployment. Macroeconomics attempts both to explain economic events and to devise policies to improve economic performance.

授業の内容

1,2 週目:マクロ経済学のデータ
3,4 週目:経済循環、国民所得
5,6 週目:IS-LM モデルの構築
7,8 週目:IS-LM モデルの応用、レポート、小テスト
9,10,11 週目:マンデル・フレミングモデル
12,13 週目:インフレーション、失業
14,15 週目:経済成長、レポート、小テスト

Course Outline
1st-2nd weeks: science and data of macroeconomics
3rd-4th weeks: market equilibrium and national income
5th-6th weeks: building IS-LM model
7th-8th weeks: applying IS-LM model, report and exam
9th-11th weeks: Mundell-Fleming Model
12th-13th weeks: inflation, deflation and unemployment
14th-15th weeks: economic growth, report and exam

予習・復習内容

英語と日本語のレジメを使って日本語で講義を行う。
講義ノートを作成して提出する。

Required Assignments
Lecture are provided in Japanese using the resume in English.
Students are required to submit several reports.

関連科目

ミクロ経済学

Microeconomics

教科書に関する補足事項

レジュメを配布する。
Papers(resume) will be distributed.

参考書 1	**書名**	マクロ経済学 I			**ISBN**	978-4-492-31409-8
	著者名	N.グレゴリー・マンキュー	**出版社**	東洋経済新報社	**出版年**	2013
参考書 2	**書名**	Macroeconomics, 8th Edition			**ISBN**	978-1-4641-2167-8

	著者名	N. Gregory Mankiw	出版社	Macmillan	出版年	2013

参考書に関する補足事項

達成目標

マクロ経済の構造を、指標、循環図、モデルを用いて理解する。
IS－LM モデルを用いて財政・金融政策の効果を理解する。
マンデルフレミングモデルを用いて固定及び変動為替相場制における財政・金融政策の効果を理解する。
インフレーションと失業の関係を理解する。
技術進歩が経済成長に与える影響を理解する。

Acquiring the knowledge of macroeconomic structure using indicators, circulations and economic models.
Cultivating the ability to evaluate impacts of financial and monetary policies using the IS-LM model and the Mundell-Fleming model.
Acquiring the knowledge of the relationship between in prices and unemployment.
Enhancing the ability to understand the role of technical progress in the economic growth.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価基準：原則的に全ての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
B3 年
S：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上
B4
A：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：テスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Evaluation criteria

Students who meet required attendance will be evaluated as follows:

B3
S: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

B4
A: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: Total points obtained from exams and/or reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

www.pm.ace.tut.ac.jp
www.pm.ace.tut.ac.jp

オフィスアワー

木曜日 9:00-10:00
Office Hours

Thursdays from 9:00 to 10:00

学習・教育到達目標との対応
マクロ経済の構造を、指標、循環図、モデルを用いて理解する。
IS－LM モデルを用いて財政・金融政策の効果を理解する。
マンデルフレミングモデルを用いて固定及び変動為替相場制における財政・金融政策の効果を理解する。
インフレーションと失業の関係を理解する。
技術進歩が経済成長に与える影響を理解する。

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
特に関連がある項目
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
特に関連がある項目
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
関連がある項目
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
特に関連がある項目
(D3)社会基盤工学の専門知識に加えて、建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し、創造性を発揮して課題を探求、組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につけている。
Acquiring the knowledge of macroeconomic structure using indicators, circulations and economic models.
Cultivating the ability to evaluate impacts of financial and monetary policies using the IS-LM model and the Mundell-Fleming model.
Acquiring the knowledge of the relationship between in prices and unemployment.
Enhancing the ability to understand the role of technical progress in the economic growth.

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society

Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
Particularly-relevant item
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
Particularly-relevant item
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
Relevant item
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society
Particularly-relevant item
(D3) Acquire specialized knowledge about architecture and knowledge about humanities and social science along with specialized knowledge about infrastructure engineering; and have the grounding as creative engineers with design skills tosearch for, organize and solve problems in a creative way

キーワード
経済学

(G10732100)民法[Civil Law]

科目名[英文名]	民法[Civil Law]				
時間割番号	G10732100	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	蔡　万里 SAI Banri				
ナンバリング	GEN_LIB82220				

授業の目標

工学部の学生に対し、民法上の諸原則を理解することを通じて、民法の機能を理解するとともに、我々の市民生活において把握しておくべき基本的な法的知識を習得することを目標とする。

For students of Faculty of Engineering, through understanding the principles of the civil law, the objective of this class is to learn the basic legal knowledge that should be grasped in our civic life.

授業の内容

配布プリントを用いて講義形式でおこなう。

第1回　ガイダンス
第2回　人・法人・物
第3回　法律行為（1）意思表示
第4回　法律行為（2）代理
第5回　法律行為（3）無効及び取消
第6回　期間と時効
第7回　物権総則
第8回　物権の変動
第9回　債権総則
第10回　契約
第11回　事務管理
第12回　不当利得
第13回　不法行為
第14回　親族と相続
第15回　まとめ・レポート

Week 1 Guidance
Week 2 Natural Person/Corporation/Object
Week 3 Legal Action (1) Declaration of Intention
Week 4 Legal Action (2) Agency
Week 5 Legal Action (3) Cancellation and Withdrawal
Week 6 Period and Aging
Week 7 Real Right General
Week 8 Transfer of Real Right
Week 9 Claim General
Week 10 Contract
Week 11 Benevolent Intervention in Another's Affairs
Week 12 Unjust Enrichment
Week 13 Tort
Week 14 Relatives and Inheritance
Week 15 Summary & Report

予習・復習内容

配った資料やメモに基づいて復習すること。

Please review the contents after class.

関連科目

法学

Jurisprudence

教科書に関する補足事項

教科書は特に指定しない。レジュメを配布する。

Textbook is not specified in particular. Please read the pre-distributed prints.

参考書 1	**書名**	民法入門			**ISBN**	
	著者名	川井　健	**出版社**	有斐閣	**出版年**	1989

参考書に関する補足事項

達成目標
1）民法の基本原理や基礎知識を理解して把握すること。
2）民法の学習を通じて法的なものの考え方を養成すること。
1) To grasp and understand the basic principles and basic knowledge of Civi Law.
2) To train the legal thinking method through the learning of Civil Law.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：授業参加度 30%　レポート 70%　左記の割合で、総合的に評価する。

Evaluation method: Degree of Participation 30% Report 70%

定期試験
試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他
研究室：B-413
メールアドレス：saibanri@las.tut.ac.jp
電話：44-6954
Research Room: B-413
Mail: saibanri@las.tut.ac.jp
Tel: 44-6954

ウェルカムページ

オフィスアワー
授業の前後
Before or After Class

学習・教育到達目標との対応
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(B) High ethical standards in relation to society as an engineer
As professional engineers, the ability to identify, resolve and evaluate the technical challenges faced by society in an ethically responsible manner
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

キーワード
法律行為、物権、債権
Legal Action, Real Rights, Claims, Contract

(G10732110)知的財産法[Intellectual Property Law]

科目名[英文名]	知的財産法[Intellectual Property Law]				
時間割番号	G10732110	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	水 2～2	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	蔡　万里 SAI Banri				
ナンバリング	GEN_LIB82220				

授業の目標

日本や外国における知的財産権問題を、日本法、国際条約、米国法、中国法に分けて検討し、知的財産法をグローバルな視点で検討することのできる能力の養成を目標とする。

The objective of this class is to train the ability that can analyze the intellectual property issues with a global perspective.

授業の内容

配布プリントを用いて講義形式で行う。

第1回　ガイダンス
第2回　日本特許法（1）
第3回　日本特許法（2）
第4回　日本著作権法（1）
第5回　日本著作権法（2）
第6回　日本商標法その他
第7回　知的財産国際条約
第8回　知的財産に関する紛争の国際裁判管轄権
第9回　知的財産国際紛争の準拠法
第10回　米国における知的財産法制度（1）
第11回　米国における知的財産法制度（2）
第12回　米国における知的財産法制度（3）
第13回　中国における知的財産法制度
第14回　特定課題研究（日・米・中の比較）
第15回　まとめ・レポート

Week 1 Guidance
Week 2 Japanese Patent Law (1)
Week 3 Japanese Patent Law (2)
Week 4 Japanese Copyright Law (1)
Week 5 Japanese Copyright Law (2)
Week 6 Japanese Trademark Law
Week 7 International Treaty on Intellectual Property Right
Week 8 International Jurisdiction
Week 9 Governing Law
Week 10 American Intellectual Property Legal System (1)
Week 11 American Intellectual Property Legal System (2)
Week 12 American Intellectual Property Legal System (3)
Week 13 Chinese Intellectual Property Legal System
Week 14 Special Issue (Japan-US-China Comparison)
Week 15 Summary & Report

予習・復習内容

配った資料やメモに基づいて復習すること。

Please review the contents after class.

関連科目

知的財産法
民法

Jurisprudence, Civil Law, Intellectual Property Law

教科書に関する補足事項

教科書は特に指定しない。レジュメを配布する。

Textbook is not specified in particular. Please read the pre-distributed prints.

参考書 1	書名	国際知的財産法			ISBN	
	著者名	木棚　照一	出版社	日本評論社	出版年	2009

参考書に関する補足事項

達成目標

1）知的財産国際条約の基礎知識を獲得し、日本の知的財産法との関係を理解すること。
2）各国の立場を把握して、国際社会における知的財産課題を理解すること。
1) To obtain the basic knowledge of international intellectual property law.
2) To understand the relationship between the Japanese intellectual property law and the international intellectual property treaties.
3) To grasp the different position of each country, and get to understand the intellectual property issues in the international community.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：授業参加度 30%　レポート 70%　左記の割合で、総合的に評価する。

Evaluation method: Degree of Participation 30% Report 70%

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

研究室：B-413
メールアドレス：saibanri@las.tut.ac.jp
電話：44-6954
Research Room: B-413
Mail: saibanri@las.tut.ac.jp
Tel: 44-6954

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業の前後
Before or After Class

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，生涯にわたって自発的に学習する能力

(A) A broad philosophy with regard to humanity and the environment
A multifaceted approach to society from a global perspective; a symbiosis between humanity and the environment; the ability to think about happiness, health and the welfare of humankind
(B) High ethical standards in relation to society as an engineer
As professional engineers, the ability to identify, resolve and evaluate the technical challenges faced by society in an ethically responsible manner
(F) With respect to the changes in new technology and the social environment, a spirit of inquiry and lifelong learning
The ability to independently pursue lifelong learning in response to changes in the social environment and technology

キーワード

国際知的財産法、国際条約
International Intellectual Property Law, International IPR Treaty

(G10732140)管理科学[Management Science]

科目名[英文名]	管理科学[Management Science]				
時間割番号	G10732140	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

社会経済を分析する能力を身に付ける。
本講義では，経営管理の観点から企業価値や資本コストを意識した経営の発想や手法についてファイナンスの基本を学ぶ。
授業形態として，英語コースの授業を兼ねるため，言語は英語主体で行われる。
Study objective is to learn an analytical capability on social and economical perspectives.
This class introduces basic finance knowledge to understand the managerial idea and tool for the company value and capital cost.
Teaching language is mainly dependent on English.

授業の内容

授業内容では，確率の基礎，金利，そして裁定取引の考えを基に，デリバティブの中のオプションの価格設定に関わる基本的発想を説明する。
主なトピックとしては，
第1週：確率の基礎，
第2週：正規確率変数，
第3週：幾何ブラウン運動，
第4週：金利，
第5週：裁定取引，
第6~7週：ブラック・ショールズ方程式，
第8~10 週：BS 式の付随項目(配当・ジャンプ・リスクパラメータ推定)，
第 11 週：期待効用による価値評価，
第 12 週：確率的次数，
第 13 週：最適化モデル，
第 14 週：確率動的計画法，
第 15 週：エキゾティックオプション，
第 16 週：期末試験，
などを予定している。

The class will disucss about basic ideas about the option valuation based on the elementary probabiity, interest rate, and arbitrage.
Class content will include following topics:
#1: baic probability,
#2: normal probability variable,
#3: geometric Brownian motion,
#4: interest rates,
#5: arbitrage trade,
#6~7: Black Scholes formula,
#8~10: additional items; dividend, jump, and volatility estimation,
#11: valuation by expected utility,
#12: stochastic order,
#13: optimization model,
#14: stochastic dynamic programming,
#15: exotic option,
#16: semester examination.

予習・復習内容

教材は moodle にアップロード予定なので，必ず予習・復習を徹底し，分からない点は調査・質問すること。

Teaching materials will be uploaded at moodle. Attending students are expected to complete pre- and re-views, investigate by themselves, and ask the lecturer.

関連科目

経営学(学部 1 年), 生産管理論, リアルオプション, ゲーム理論, MOT

Management (undergraduate 1st-2nd year), Operations Management, Real Options, Game Theory, and MOT.

教科書に関する補足事項

既に述べたように教材は moodle にアップロード予定。

As noted above, materials will be uploaded at moodle.

参考書 1	**書名**	An Elementary Introduction to Mathematical Finance (3rd.ed.)			**ISBN**	978-0-521-19253-8
	著者名	Sheldon M. Ross	**出版社**	Cambridge University Press	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標

1)正規確率変数の意味を理解できること

2)ブラック・ショールズ方程式の基本的構造が理解できること

3)ヨーロピアン・コールオプションの価格評価手法について理解できること

1) To understand the meaning of normal random variable.

2) To comprehend the basic model structure of Black Scholes formula.

3) To value an European call option.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:

期末試験 60%, レポート 20%, プレゼン 20%の配分で総合的に評価する予定である。

評価基準:

学部 3 年・博士前期課程 1 年

S:達成目標を全て達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上

A:達成目標を 80%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標を 70%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上

C:達成目標を 60%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

その他

A:達成目標をすべて達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標を 65%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上

C:達成目標を 55%達成しており, かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

Evaluation Style:

Evaluation weight allocation is planned as Semester Examination 60%, Reports 20%, and Presentation 20%.

Evaluation Criteria:

Bachelor 3rd year, Master 1st year

S: If students achieved every above goals and their summed scores are equal or more than 90 (the maxim scores 100).

A: If students achieved 80% of above goals and their summed scores are equal or more than 80 (the maxim scores 100).

B: If students achieved at least 70% of above goals and their summed scores are equal or more than 70 (the maxim scores 100).

C: If students achieved at least 60% of above goals and their summed scores are equal or more than 60 (the maxim scores 100).

The others
A: If students achieved every above goals and their summed scores are equal or more than 80 (the maxim scores 100).
B:If students achieved at least 65% of above goals and their summed scores are equal or more than 80 (the maxim scores 100).
C:If students achieved at least 55% of above goals and their summed scores are equal or more than 55 (the maxim scores 100).

定期試験
定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時応じる

At any time if available.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
リアル・オプション, ゲーム理論, 生産管理論
Real Options, Game Theory, Operations Management, MOT, Entrepreneurship, Management

(G10732150)生産管理論[Operations Management]

科目名[英文名]	生産管理論[Operations Management]				
時間割番号	G10732150	区分	社会科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	金 1～1	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

社会経済を分析する能力を身に付ける。MOT(Management of Technology)の基本を理解する。
本講義では、生産管理の概念の拡張を試みる。すなわち、製造段階での投入—産出プロセスが資材から製品への変換であるなら、製品開発プロセスではアイデアから新製品への変換であり、インキュベーションではアイデアから新規企業への変換である。このように拡張された生産管理は定常状態での日常管理から技術革新に向けた変化の管理といえる。本年度は、生産管理の基礎知識あるいはオペレーショナル段階での業務管理手法として主に SCM(Supply Chain Management)での在庫管理を、戦略的管理での技術開発管理手法としてオプションゲームの入門を簡単に説明する。技術開発管理では主に製品開発プロセスと戦略的提携の内容をリアルオプションとゲーム理論の観点から理解できることを目標とする。また、ファイナンスでは在庫は運転資本であるが、金融工学の観点からすればリアルオプションの中のタイミングオプションに関連する。さらに不確実性下での不可逆投資では競合関係も考慮する必要がある。
To learn analytical capability on social and economical perspectives.
To understand basic knowledge of Management of Technology(MOT).
This class tries to expand the concept of tradional concept of operations management. That is, if the input-output of manufacturing stage is the transformation process from materials to products, product development is the similar process from ideas to new products and start-up incubation is the process from ideas to new firms. Thus, the expanded operations management is considered as management of change for innovation from daily management at steady state.
In this academic year, the class simply explains, at first, the inventory management in Supply Chain Management (SCM) as a baic knowledge of operations management or operational management tools at operational stage, and secondary, introductional content of option-games as management tool for technological development at strategical management level. Objective in the technological development management is to understand the product development process and strategic partnership from perspectives of the real options and game theory. And the inventory is working capital in finance but is related to timing option in financial engineering. Further, at irreversible investment under uncertainty, the competitive condition is also necessary to consider.

授業の内容

生産管理が従来の物量管理からキャッシュフロー・ベースの投資の意思決定に変貌しつつある現実を背景に、基礎編では生産システムの管理としての SCM を、応用編では技術管理を各々投資の観点を通じて説明する。SCM では、確定的需要在庫モデルと確率的需要の在庫モデルを、技術管理では製品開発と戦略的提携について座学として説明した後に、各グループの技術開発事業計画の作成・プレゼンを演習として行なう。

第 1 回:生産管理の技術革新管理への変化の構造・プロセス
第 2 回:EOQ モデル
第 3 回:計画的受注残モデル
第 4 回:ELS(有限生産率)モデル
第 5 回:不完全品質モデル
第 6 回:現在価値基準と EOQ
第 7 回:WW アルゴリズム
第 8 回:クリスマスツリー・モデル
第 9 回:(Q,R)モデル
第 10 回:ポアソン需要対応モデル
第 11 回:リアルオプション
第 12 回:ゲーム理論
第 13 回:オプションゲームによる技術開発の可能性
第 14 回:技術開発計画の集団による作成演習
第 15 回:技術開発計画の集団によるプレゼンテーション演習
第 16 回:期末試験

Behind the factual trend of operations manageemnt forward cashfow based investment decisions from traditonal material amount control, this class explaines about SCM as management of production system in basic stage and about technology

management in application stage, respectively from investment perspective. The SCM part of semester schedule discusses about certain and stochastic demand inventory models, technology management part examines product development and strategic alliance, and exercise part tries each group's drawing and presentation of technology development business plan as competitive style.

#1: Changing structure and process of operations management forward technological innovation management
#2: Economic Order Quantity (EOQ) model
#3: Planned back order model
#4: Economic Lot Sizing (ELS) model
#5: Imperfect quality model
#6: Present value criterion and EOQ
#7: WW algorithm
#8: Christmas tree model
#9: (Q,R) model
#10: Poisson demand response model
#11: Real options
#12: Game theory
#13: Technology development potential with option-games
#14: Group exercise of business plan of technology development
#15: Group exercise of presentation of such plan
#16: Semester examination

予習・復習内容

予習は moodle のアップロード済みの資料参照にて、復習は授業中の質問にて各機会を設ける。
Pre-and re-view by material upload at moodle. Questions and discussion in class are also expected.

関連科目

管理科学、リアルオプション、ゲーム理論、技術管理特論、経営学、起業家育成、イノベーションマネジメント

Management Science, Real options, Game Theory, Management of Technology, Management, Entrepreneurship, Innovation Management

教科書に関する補足事項

資料は moodle にアップロードする。

Teaching materials are uploaded at moodle.

参考書 1	**書名**	技術変化のマネジメント			**ISBN**	ISBN-10: 4502322458
	著者名	藤原孝男	**出版社**	中央経済社	**出版年**	1993
参考書 2	**書名**	Production: Planning, Control, and Integration			**ISBN**	SBN-10: 0070576823
	著者名	Daniel Sipper et al.	**出版社**	McGraw-Hill	**出版年**	1998
参考書 3	**書名**	Managemtn of Technological Change (in Japanese :技術変化のマネジメント)			**ISBN**	ISBN-10: 4502322458
	著者名	Takao Fujiwara（藤原孝男）	**出版社**	Chuou Keizai（中央経済社）	**出版年**	1993

参考書に関する補足事項

達成目標

技術・生産管理について、
（1）確定的需要の在庫モデルが理解できる。
（2）確率的需要の在庫モデルが理解できる。
（3）SCM システムのタイプ間の相違をキャッシュフローの視点から理解できる。
（4）技術管理について、投資決定の観点から新しいアイデア・構想の提案ができる。
簡単な技術開発計画のプレゼンテーションが集団としてできる。
（1）able to undestand inventory models under certain demand
（2）able to undestand inventory models under stochastic demand
（3）able to undestand differences in SCM types from cashflow perspective
（4）able to propose new ideas and visions from investment decision

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：学期末に試験、レポート、プレゼン（60%＋20%＋20%）を実施し評価する。

評価基準:
学部 3 年・博士前期課程1年
S:達成目標をすべてクリアーし、総合評価合計点が 90 点以上。
A:達成目標を 80%達成し、総合評価合計点が 80 点以上。
B:達成目標を 70%達成し、総合評価合計点が 70 点以上。
C:達成目標を 60%クリアーし、総合評価合計点が 60 点以上。

その他
A:達成目標を全て達成し、総合評価合計点が 80 点以上。
B:達成目標を 65%達成し、総合評価合計点が 65 点以上。
C:達成目標を 55%クリアーし、総合評価合計点が 55 点以上。
Evaluation method: summation of total scores of semester examination (60%), reports (20%), and presentation (20%)

Eavaluation criteria:
Bachelor 3rd year/Master 1st year
S: Achieve every above goals, and summed scores are equal and more than 90 (maxim 100).
A: Achieve 80% of above goals, and summed scores are equal and more than 80 (maxim 100).
B: Achieve 70% of above goals, and summed scores are equal and more than 70 (maxim 100).
C: Achieve 60% of above goals, and summed scores are equal and more than 60 (maxim 100).

The others
A:Achieve every above goals, and summed scores are equal and more than 80 (maxim 100).
B:Achieve 65% of above goals, and summed scores are equal and more than 65 (maxim 100).
C:Achieve 55% of above goals, and summed scores are equal and more than 55 (maxim 100).

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
質問・意見等は随時受け付ける。
Any time if available.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
SCM　技術管理　製品開発プロセス　戦略的提携
SCM, Technology management, Product development, and Strategic partnership

(G10732170)ゲーム理論[Game Theory]

科目名[英文名]	ゲーム理論[Game Theory]				
時間割番号	G10732170	区分	社会科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	水 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

製品・技術開発では、概念の構築から設計・施行・運営・廃棄まで多様な関係者と議論を重ね共通理解を得る必要がある。例えば、新技術の普及や創業でも、基礎研究などの画期的アイデアを主に大多数層に向けて噛み砕いて説明し、リスクを低減化する努力によって納得を得るオピニオンリーダーが必要となる。同様に、インフラ投資でも、周辺住民との対話が必要となり、地域の活性化、イベント開催でもプロジェクト関係者の合意を得ることが必要となる。この授業では、ゲーム理論の観点から協力・競合の戦略を説明する。キーワードとして、利害関係者の意見調整の主要概念がナッシュ均衡であり、確率に基づくゲームモデルが混合戦略であり、プレイヤー(参加者)間の情報が異なる場合が情報非対称ゲームである。座学の後でグループ別の演習を予定している。

For technological and product development, it is necessary to consensus on concept and process among a variety of experts from many sections. For example, diffusion of new technolgy and start-ups founding needs an opinion leader who can explain technical architecture simply to majority and persuade them for risk hedge. Such kind of effort is the same even with infrastructure investment. This class will discuss about Co-competion Strategy from a perspective of game theory. Keywords include Nash equilibrium, mixed strategy, and information asymmetric game. After classroom lecture, we will have also exercise of inter-group competition of business plan.

授業の内容

以下の内容を予定している。

1)ゲーム理論の概要・意義
2)囚人のジレンマ
3)ナッシュ均衡・男女の争い
4)硬貨合わせゲーム・混合戦略
5)連続的戦略・利得
6)寡占下での競争ゲーム(1)
7)寡占下での競争ゲーム(2)
8)交互進行ゲーム・部分ゲーム完全均衡
9)有限回反復ゲーム
10)無限回反復ゲーム
11) 情報非対称ゲーム
12) 情報操作・ エージェンシー問題
13) モラルハザード・オークション
14) ゲーム案の集団別作成演習
15) ゲーム案の集団プレゼンテーション演習
16)期末試験

Content will include following topics:

1)Summary and significance of game theory
2)Prisoner's dilemma
3)Nash equilibrium & battle of the sexes
4)Matching penny & mixed strategy
5)Continual strategy & payoff
6)Competition game under oligopoly(1)
7)Competition game under oligopoly(2)
8)Sequential game & subgame perfect equilibrium
9)Finitely repeated game
10) Infinitely repeated game
11) Asymmetric information game
12) Information manipulation & agency problem
13) Moral hazard & auction
14) Group exercise: drawing of business plan
15) Group exercise: presentation of business plan
16) Semester examination

予習・復習内容

予習に対しては教材を moodle にアップロード済みであり、復習に関しては以降の授業中の質問にて対応したい。
For pre-& re-views, teaching materilas are uploaded at moodle. Questions and discussion in class are welcomed.

関連科目

経営学、起業家育成、生産管理論、管理科学、リアルオプション、MOT、起業家育成、イノベーションマネジメント
Real options, Operations management, Management science, Entrepreneurship, MOT, Management, Entrepreneurship, Innovation management

教科書に関する補足事項

moodle にアップロード予定のパワーポイントに従い説明する。
Materials are uploaded at moodle.

参考書 1	**書名**	MBA ゲーム理論			**ISBN**	ISBN-10: 447837242X
	著者名	鈴木一功	**出版社**	ダイヤモンド社	**出版年**	1999

参考書に関する補足事項

達成目標

1）ナッシュ均衡を理解できる。
2）寡占下競争戦略を類型化できる。
3）交互進行ゲームでの部分ゲーム完全均衡の意味が分かる。
4）情報非対称ゲームでの対応を考えられる。
1）Able to understand Nash equilibrium
2）Able to classify competitive strategy under oligopoly
3）Able to the meaning fo subgame perfect equilibrium in sequential game
4）Able to propose a strategy in asymmetric information game

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価法：期末試験（60%),レーポート(20%),演習での集団別のプレゼンテーション(20%)によって評価する。

評価基準：
学部3年・博士前期課程1年
S: 達成目標を全て達成しており，且つテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A: 達成目標を 80%達成しており，且つテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B: 達成目標を 70%達成しており，且つテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C: 達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 60 点以上

その他
A：達成目標を全て達成しており，且つテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており，且つテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつテスト・レポート・プレゼンの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Evaluation method: Summed scores = semester examination (60%) + reports (20%) + presentation (20%)

Evaluation criteria:
Bachelor 3rd year/Master 1st year
S: Achieved all goals and the summed scores were equal or more than 90 (maximum 100).
A: Achieved 80% of above goals and the summed scores were equal or more than 80 (maximum 100).
B: Achieved 70% of above goals and the summed scores were equal or more than 70 (maximum 100).
C：Achieved 55% of goals and the summed scores were equal or more than 55 (maximum 100).

The others
A：Achieved all goals and the summed scores were equal or more than 80 (maximum 100).
B：Achieved 65% of goals and the summed scores were equal or more than 65 (maximum 100).
C：Achieved 55% of goals and the summed scores were equal or more than 55 (maximum 100).

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー
随時対応
Any time if available.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.

(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード
ゲーム理論、ナッシュ均衡、交渉、モラールハザード
Game theory; Nash equilibrium; Negotiation; Morale hazard

(G10732180)経営戦略論[Strategic Management]

科目名[英文名]	経営戦略論[Strategic Management]				
時間割番号	G10732180	区分	社会科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期	曜日時限	水 2～2	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	坂本　和子 SAKAMOTO Kazuko				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

経営戦略は、経営活動の中長期的な基本枠組みと方向性を決定するもので，企業の存続や財務業績に大きな影響を与える．戦略論には時代的背景があり，経営戦略の論理も経営環境に大きく左右されるため，本講義では，さまざまな事例を通して,時代に即した戦略フレームを学びながら，社会で活用できるための実践力を身につける．

Management strategy determines the mid- and long-term basic framework and directivity of an administrative action, and has big influence on continuation and financial performance of a company. There is a historical background in strategy theory and the logic of management strategy is also greatly influenced by business environment..In this lecture, students learn strategy frames from various examples and master the practice power for being utilizable in society .

授業の内容

1.ガイダンス：講義の内容と経営戦略に関する研究領域について概説する．
2. 経営戦略とは何か：戦略理論の発展してきた経緯と，策定プロセスについて解説する．
3. 経営目標の設定と戦略分析の枠組み：企業の経営理念やビジョンに則った戦略展開とSWOT，3C等の分析手法について解説する．
4. ドメインの定義：事業ドメインの設定，アンゾフマトリックスによる事業戦略のシナリオについて解説する．
5. 戦略フレームの応用演習：これまで学習した理論に関する複合課題を提示し，ディスカッションの実施とプレゼンテーションについて解説する..
6. 多角化戦略：市場参入と多角化の実施方法，M＆A の戦略についてケーススタディと解説を行う．
7. ポーターの競争戦略①：基本戦略であるコストリーダーシップ戦略と差別化戦略について解説する．
8. ポーターの競争戦略②：集中戦略，セグメンテーションの手法，RFM 分析について解説する．
9. ポーターの業界分析モデル：ポーターの 5 つの競争要因モデル，業界構造、ニッチ戦略について，ケーススタディと解説を行う．
10. データ分析による予測：さまざまな2次データを駆使して，現状把握と予測を行い，経営戦略との関連から考察する．
11. グローバルダイナミクス：グローバル市場での経営戦略について解説する．
12. イノベーション理論からアプローチする経営戦略：破壊的イノベーション、リバース・イノベーションの原理から新興国の攻勢と今後について解説する．
13. デザインからアプローチする経営戦略：デザインシンキングによる経営戦略事例の紹介と，デザインの効力について考察する．
14. レポート報告会：優良レポートの発表会と内容に関する講評．
15. まとめ：講義を総括する．

1. Introduction
2. What is Strategic Management？：Development circumstances and the decision process of strategic theories.
3. Framework of Strategy Analysis：Explanation about analytical skills, such as SWOT and 3C.
4. Domain：Scenario of the business strategy by Ann Zoff Matrix.
5. Application Exercise of Strategy Frame：Presentation of compound subjects, and discussion..
6. Diversification Strategy：Case studies about the strategy of market entry and M&A.
7. Competitive Strategy(1)：Cost leadership strategy and differentiation strategy.
8. Competitive Strategy(2)：Focus strategy, the technique of segmentation, RFM analysis.
9. Industry Analysis Model：Porter's Five Forces, industry structure, niche strategy.
10. Data Analysis：Grasping the present situation and prediction by secondary data.
11. Global Dynamics：Management strategy in global markets.
12. Innovation Theory：Principle of destructive innovation and reverse innovation.
13. Design Strategy：Design thinking and management strategy.
14. Report Debrief Session
15. Review

予習・復習内容

授業毎に次回の予習ポイントを解説する．

A next preparation point is explained at the time of each lecture.

関連科目

講義の順序や内容は，事前告知の上，変更になる場合がある.
Business Administration, Organization and Management, Marketing

教科書に関する補足事項
特定の教科書は使わず，講義毎にプリントを配布する.
Specific textbooks are not used but distribute prints for every lecture.,

参考書 1	**書名**	Key Strategy Tools The 80+ tools for every manager to build a winning strategy			**ISBN**	978-0-273-77886-8
	著者名	Vaughan Evans	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	2013
参考書 2	**書名**	Key Business Solutions Essential problem-solving tools and techniques that every manager needs to know			**ISBN**	978-0-273-75029-1
	著者名	Antonio E. Weiss	**出版社**	Prentice Hall	**出版年**	2011

参考書に関する補足事項

達成目標
・経営戦略における基礎概念や理論を理解する.
・ビジネスツールやフレームワークを理解し，有効な活用方法を習得する.
・様々な事象やデータを科学的に分析する技術を身につける.
・知識の体系的理解を深め，問題解決に生かすことができる.

- Participants understand the basic concept and theory in management strategy..
- Participants master the effective practical use method of business tools or frameworks.
-Participants learn the technology of analyzing various phenomena and data scientifically.
- Participants can deepen systematic understanding of knowledge and can use for problem solving.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
レポート 60%　演習課題2回(プレゼンテーション)と授業中の質疑応答など 40%　　左記の割合で，総合的に評価する.

評価基準：下記のように成績を評価する.
S：達成目標をすべて達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 80 点以上
B：達成目標を 80%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 60 点以上

ただし B4 のみ以下の評価方法となる.
A：達成目標を 65%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 80 点以上
B：達成目標を 55%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 55 点以上

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Report (60%),, two exercise subjects , questions and answers in session (40%), and a fraction of
in-class contribution.

The final grade will be determined by the total amount of points obtained according to the following scale:
S:90-100
A：80-89
B：70-79
C：60-69

B4 is as follows.
A：80-100
B：65-79
C：55-64

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細
その他
ウェルカムページ
オフィスアワー 質問・意見等は随時受け付ける. Students can say questions and opinions at any time.
学習・教育到達目標との対応
キーワード 競争戦略, 多角化戦略, イノベーション Competitive strategy, Diversification strategy, Innovation

(G10732210)消費者行動論[Consumer Behavior]

科目名[英文名]	消費者行動論[Consumer Behavior]				
時間割番号	G10732210	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	木 1～1	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	坂本　和子 SAKAMOTO Kazuko				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

心理学や社会学など多くの領域で学際的な研究が進む消費者行動論について，モノづくりに生かすための基礎概念，諸理論を理解する．さらにさまざまな事例を通して，消費者視点での市場の捉え方や社会で活用するための方法論について学び，実践力を身につける．

The consumer behavior theory has been studied in the interdisciplinary domain of many, such as psychology and sociology. This course deals with the basic concept and theories for employing in production efficiently. It also enhances the development of students' skill in analyzing markets from various cases and utilizing in society.

授業の内容

1. ガイダンス：講義の内容と消費者行動に関する研究領域について概説する．
2. 消費者の問題認識と意思決定 ：問題認識，ニーズの分類，購買意思決定のプロセスについて解説する．
3. 情報探索と選択行動：内的・外的情報検索，選択評価，決定方略等について解説する．
4. 消費者の知覚と記憶：五感を通じて外界から選択的に情報を入手して意味づけを行う知覚について説明する．
5. 消費者の学習 ：古典的条件付けとオペラント条件付けという2つの学習プロセスについて検討し，マーケティングにどう活用されているのかを説明する．
6. 消費者の態度形成と動機づけ：フィッシュバインモデルを中心に態度の形成と変容，動機づけ理論について解説する．
7. 消費者の関与と個人特性 ：関与の種類とどのような時にそれが高まるのかを解説する．またパーソナリティやライフスタイルなど個人的影響要因についても言及する．
8. 状況要因：消費者行動は，どのような状況に置かれているのかによっても変わってくる．ここでは状況要因に着目し，事例をあげながら解説する．
9. 文化的要因：消費者特性の地域や文化による差異について解説する．
10. 消費者行動の分析：行動観察法はじめ消費者を理解するためのリサーチや分析手法について解説する．
11. ブランドからアプローチする消費者行動 ：消費者のブランドへの態度形成について解説する．
12. 価格からアプローチする消費者行動：消費者の心理動向と価格について解説する．
13. 広告からアプローチする消費者行動：消費者にアピールする広告特性と広告効果について解説する．
14. レポート報告会：優良レポートのプレゼンテーションと内容に関する講評
15. まとめ ：講義を総括する．
16. 期末試験

1. Introduction
2. Problem recognition and decision-making：Classification of problem recognition and needs, the process of purchase decision-making.
3. Information Search and Selection Action：Inner / external information retrieval, selection evaluation, method abbreviation of determination.
4. Consciousness and Memory：Outline of consciousness, and consumer behavior.
5. learning：Classic conditioning and operant conditioning.
6. Attitude formation and Motivation：Multi-attribute attitude model, motivation theory.
7. Participation and Individual Characteristic：Kinds of participation, personalities, life styles.
8. Situation Factor：Analysis of situation factors.
9. Cultural Factor：Difference by the area and culture of consumer characteristics.
10. Analysis of Consumer Behavior：Research and analytical skills for understanding consumers.
11. Consumer Behavior which Approaches from Brand：Attitude formation to consumers' brand.
12. Consumer Behavior which Approaches from Price：Purchase intentions and prices.
13. Consumer Behavior which Approaches from Advertisement：Advertising characteristics and advertising effectivenesses.
14. Report Debrief Session：Comment about the presentation of superior reports.
15. Review

予習・復習内容

毎講義で次回内容に関する簡単な予習課題を提示．

A next preparation point is explained at the time of each lecture.

関連科目

マーケティング論
Marketing

教科書に関する補足事項
講義毎に資料を配布
Materials are suitably handed out at the time of each lecture.

参考書 1	**書名**	消費者行動研究の新展開			**ISBN**	978-4805108390
	著者名	阿部周造・新倉貴士(編)	**出版社**	千倉書房	**出版年**	2004

参考書に関する補足事項
参考書は項目ごとにその都度，講義中にて紹介する.
Reference books are introduced in a lecture for each item.

達成目標
・消費者行動における基礎理論を理解する.
・消費者行動がマーケティング戦略を構築する上でどう関わってくるかを理解する..
・消費者心理を科学的に分析する技術を身につける.
・知識の体系的理解を深め，問題解決に生かすことができる.

- Participants obtain the basic knowledge and theory in consumer behavior..
- Participants understand the relation between consumer behavior and the marketing strategy..
-Participants learn the technology of analyzing consumer psychology scientifically.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法
学期末に科す試験の成績 60%と，レポートと授業への積極的関与(プレゼンテーションほか)40%として，総合的に評価する.

評価基準:下記のように成績を評価する.
S:達成目標をすべて達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標をすべて達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 80%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 60 点以上

ただし,B4のみ以下の評価方法となる.
A:達成目標をすべて達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 55%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 55%達成しており，かつ合計点(100 点満点)が 55 点以上
Your final grade will be calculated according to the following process: term-end examination (60%),, Mid-term report (40%),and a fraction of in-class contribution.,

The final grade will be determined by the total amount of points obtained according to the following scale:
S:90-100
A:80-89
B:70-79
C:60-69

B4 is as follows.
A:80-100
B:65-79
C:55-64

定期試験
定期試験を実施(対面)
Examination(Face to Face)

定期試験詳細
指定資料のみ持ち込み可.

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー 質問・意見等は随時受け付ける. Students can say questions and opinions at any time.
学習・教育到達目標との対応
キーワード 消費者心理, 文化的差異, 市場調査 Consumer confidence, Cultural difference, Market research

(G10732260)事業開発論:ビジネスデザイン[Business Development: Business Design]

科目名[英文名]	事業開発論:ビジネスデザイン[Business Development: Business Design]				
時間割番号	G10732260	区分	社会科学科目	選択必須	選択
開講学期	前期1	曜日時限	金 6～6	単位数	1
開講学部等	工学部			対象年次	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			開講年次	B4
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男, 仙石　慎太郎 FUJIWARA Takao, SENGOKU Shintaro				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

事業開発(business development)は事業機会を実現するための?程であり、アントレプレナーシップ(entrepreneurship)は事業機会を実現するための人間活動と捉えることができる。これらは相補的であり、プロフェッショナルにとって必須の素養である。すなわり、ベンチャー起業のみならず、新規性を有するあらゆる事業活動、科学研究・技術開発に適用されるべきものである。
本講義では、上述の前提のもと、事業開発とアントレプレナーシップに関する座学と演習を通じて、技術経営・イノベーション経営の知識を自ら率先して実践するための基礎知識と基礎能力を育成する。
Terminologies 'Business development' and 'entrepreneurship' can be defined as a comprehensive process and human activities to realise business opportunities, respectively. These factors are critical and complimentary to each other, thus are highly required for all professionals who aim to create a novel value in the society. This posture is not limited only to business venturing but is also broadly extended towards scientific research and technology development.
The present lecture series consists of lecture and practice parts in order to build up the basic knowledge of the business development and entrepreneurship and to develop basal skills to practice key items learnt in a real world.

授業の内容

全 6 回。各回の詳細は下記の通り:
4 月 13 日(金) アントレプレナーシップとイノベーション [イントロダクション]
4 月 20 日(金) ビジネスモデル概論
4 月 27 日(金) 戦略とその策定ツール
5 月 11 日(金) 戦略オプションの立案と評価 [演習課題の提示]
5 月 18 日(金) 演習発表:ブレインストーミング
5 月 25 日(金) 演習発表:発表 [クロージング]
Total 6 lectures. Details are as follows:
13 Apr (Fri) Introduction; Enterpreneurship and innovation,
20 Apr (Fri) Business models overview,
27 Apr (Fri) Strategies and planning tools,
11 May (Fri) Strategic options - planning and evaluation,
18 May (Fri) Practice - brainstorming,
25 May (Fri) Practice - presentations; closing.

予習・復習内容

予習内容に関してはその前回に教員より指示する。
参考書の講読が望ましい。
Preparations for every lecture are to be instructed by at the previous one.
Reading reference books are preferred.

関連科目

事業開発論:テクニカルスキル
Business Development: Technical Skill

教科書に関する補足事項

講義ノートを各講義或いは前回に配布する。
Lecture notes are to be distributed at every class or the previous one.

参考書 1	書名	アントレプレナーシップ入門 = INTRODUCTION TO ENTREPRENEURSHIP : ベンチャーの創造を学ぶ			ISBN	978-4-641-15002
	著者名	忽那憲治, 長谷川博和, 高橋徳行, 五十嵐伸吾, 山田仁一郎著,	出版社	有斐閣	出版年	2013
参考書 2	書名	アントレプレナーの戦略論 : 事業コンセプトの創造と展開			ISBN	978-4-502-14331-1
	著者名	新藤晴臣著	出版社	中央経済社	出版年	2015
参考書 3	書名	問題解決プロフェッショナル : 思考と技術			ISBN	978-4-478-00553-8
	著者名	齋藤嘉則著	出版社	ダイヤモンド社	出版年	2010

参考書 4	書名	戦略シナリオ：思考と技術			ISBN	978-4-492-53049-8
	著者名	齋藤嘉則著	出版社	東洋経済新報社	出版年	1998

参考書に関する補足事項

達成目標

本講義を履修することによって次の能力を修得する。
1) アントレプレナーシップ、事業開発、及び関連する諸概念を理解している
2) イノベーション経営の基礎知識を把握している
3) 問題解決の基本的な手法論（イシューアナリシス法）を理解し運用できる
4) 戦略立案のための考え方、フレームワーク、ツール等を理解し運用できる
5) 標準的なフォーマットの事業計画（ビジネスプラン）を独自で作成できる
6) 実行に移すための行動計画を立案できる
By the end of this course, students will be able to:
1) Understand the concept of entrepreneurship and business development,
2) Understand key theories of innovation management,
3) Practice a standard approach of problem solving (the issue analysis method),
4) Practice frameworks and tools for strategy building,
5) Generate a standard format of business plan, and
6) Develop an implementation plan.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

講義への参加度(20%)、討論・演習への参加度（30%）、期末演習課題の成績（50%）の割合で、総合的に評価する。

博士前期課程1年:
S：達成目標をすべて達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 60 点以上

その他：
A：達成目標をすべて達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 55 点以上
Physical attendance (20%), proactive participation in the lectures (30%) and the evaluation of quarter end report (50%) are to be considered.

Master 1st year student:
S: All above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: 80% of above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: 70% of above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: 60% of above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

The other students:
A: All above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: 65% of above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: 55% of above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

特に設けない。応要　電子メールで連絡のこと。
Not prepared: take a contact by e-mail upon request.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings

(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード

事業開発、アントレプレナーシップ、イノベーション経営、ベンチャー企業、組織デザイン、事業価値評価、産学連携
Business development, entrepreneurship, innovation management, venturing, organisation design, financial valuation, collaboration management.

(G10732270)事業開発論:テクニカルスキル[Business Development: Technical Skill]

科目名[英文名]	事業開発論:テクニカルスキル[Business Development: Technical Skill]				
時間割番号	G10732270	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前期2	**曜日時限**	金 6～6	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～
開講学科	機械工学課程, 建築・都市システム学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男, 仙石　慎太郎, 安西　智宏, 久保　知一 FUJIWARA Takao, SENGOKU Shintaro, ANZAI Tomohiro, KUBO Tomokazu				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

事業開発(business development)は事業機会を実現するための?程であり、アントレプレナーシップ(entrepreneurship)は事業機会を実現するための人間活動と捉えることができる。これらは相補的であり、プロフェッショナルにとって必須の素養である。すなわり、ベンチャー起業のみならず、新規性を有するあらゆる事業活動、科学研究・技術開発に適用されるべきものである。
本講義では、上述の前提のもと、事業開発とアントレプレナーシップに関する座学と演習を通じて、技術経営・イノベーション経営の知識を自ら率先して実践するための基礎知識と基礎能力を育成する。
Terminologies 'Business development' and 'entrepreneurship' can be defined as a comprehensive process and human activities to realise business opportunities, respectively. These factors are critical and complimentary to each other, thus are highly required for all professionals who aim to create a novel value in the society. This posture is not limited only to business venturing but is also broadly extended towards scientific research and technology development.
The present lecture series consists of lecture and practice parts in order to build up the basic knowledge of the business development and entrepreneurship and to develop basal skills to practice key items learnt in a real world.

授業の内容

全 6 回。各回の詳細は下記の通り:
6 月 15 日(金) ビジネスプランの要素と構成 [イントロダクション]
6 月 22 日(金) マーケティング
6 月 29 日(金) 資本政策
7 月 06 日(金) 事業価値評価 [演習課題の提示]
7 月 13 日(金) 演習発表:ブレインストーミング
7 月 20 日(金) 演習発表:発表 [クロージング]
Total 6 lectures. Details are as follows:
15 Jun (Fri) Introduction; Business Plan and Development,
22 Jun (Fri) Marketing,
29 Jun (Fri) Capitalisation strategy,
06 Jul (Fri) Valuation,
13 Jul (Fri) Practice - Brainstorming,
20 Jul (Fri) Practice - Presentations; Closing.

予習・復習内容

予習内容に関してはその前回に教員より指示する。
参考書の講読が望ましい。
Preparations for every lecture are to be instructed by at the previous one.
Reading reference books are preferred.

関連科目

事業開発論:ビジネスデザイン
Business Development: Business Design

教科書に関する補足事項

講義ノートを各講義或いは前回に配布する。
Lecture notes are to be distributed at every class or the previous one.

参考書 1	**書名**	アントレプレナーシップ入門 = INTRODUCTION TO ENTREPRENEURSHIP : ベンチャーの創造を学ぶ			**ISBN**	978-4-641-15002
	著者名	忽那憲治, 長谷川博和, 高橋徳行, 五十嵐伸吾, 山田仁一郎著,	**出版社**	有斐閣	**出版年**	2013
参考書 2	**書名**	アントレプレナーの戦略論 : 事業コンセプトの創造と展開			**ISBN**	978-4-502-14331-1
	著者名	新藤晴臣著	**出版社**	中央経済社	**出版年**	2015
参考書 3	**書名**	問題解決プロフェッショナル : 思考と技術			**ISBN**	978-4-478-00553-8
	著者名	齋藤嘉則著	**出版社**	ダイヤモンド社	**出版年**	2010

参考書 4	書名	戦略シナリオ：思考と技術			ISBN	978-4-492-53049-8
	著者名	齋藤嘉則著	出版社	東洋経済新報社	出版年	1998

参考書に関する補足事項

達成目標

本講義を履修することによって次の能力を修得する。
1) アントレプレナーシップ、事業開発、及び関連する諸概念を理解している
2) イノベーション経営の基礎知識を把握している
3) 問題解決の基本的な手法論（イシューアナリシス法）を理解し運用できる
4) 戦略立案のための考え方、フレームワーク、ツール等を理解し運用できる
5) 標準的なフォーマットの事業計画（ビジネスプラン）を独自で作成できる
6) 実行に移すための行動計画を立案できる
By the end of this course, students will be able to:
1) Understand the concept of entrepreneurship and business development,
2) Understand key theories of innovation management,
3) Practice a standard approach of problem solving (the issue analysis method),
4) Practice frameworks and tools for strategy building,
5) Generate a standard format of business plan, and
6) Develop an implementation plan.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

講義への参加度(20%)、討論・演習への参加度（30%）、期末演習課題の成績（50%）の割合で、総合的に評価する。

博士前期課程1年:
S：達成目標をすべて達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 60 点以上

その他：
A：達成目標をすべて達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつ成績の合計点（100 点満点）が 55 点以上
Physical attendance (20%), proactive participation in the lectures (30%) and the evaluation of quarter end report (50%) are to be considered.

Master 1st year student:
S: All above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 90 or higher (out of 100 points).
A: 80% of above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: 70% of above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 70 or higher (out of 100 points).
C: 60% of above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 60 or higher (out of 100 points).

The other students:
A: All above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 80 or higher (out of 100 points).
B: 65% of above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 65 or higher (out of 100 points).
C: 55% of above objects are achieved and total points obtained from reports, etc., 55 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

特に設けない。応要　電子メールで連絡のこと。
Not prepared: take a contact by e-mail upon request.

学習・教育到達目標との対応

機械工学課程
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
電気・電子情報工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
情報・知能工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
建築・都市システム学課程
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。
(A)【社会基盤コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【社会基盤コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Mechanical Engineering
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Electrical and Electronic Information Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
Undergraduate Program of Architecture and Civil Engineering
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature

(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues
(A) (Civil and Environmental Engineering Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Civil and Environmental Engineering Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the abilities to set, solve and evaluate technical issues in society

キーワード

事業開発、アントレプレナーシップ、イノベーション経営、ベンチャー企業、組織デザイン、事業価値評価、産学連携
Business development, entrepreneurship, innovation management, venturing, organisation design, financial valuation, collaboration management.

(G10732280)実践的アントレプレナーシップ:ビジネスデザイン[Practical Entrepreneurship: Business Design]

科目名[英文名]	実践的アントレプレナーシップ:ビジネスデザイン[Practical Entrepreneurship: Business Design]				
時間割番号	G10732280	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前2＋後1	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	1～1
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

ベンチャー創業のための事業計画作成に向けて、アイデア創出・ビジネスモデルの設計の仕方を、文科省 EdgeNext 事業で連携している名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部が主催する Tongali スクール I に参加して学習する。

The objective of this class is to study about idea generation and business-model design for drawing business plan at founding start-up companies by participating in "Tongali School I" provided by Nagoya University's Academic Research & Industry-Acamia-Government Collaboration, which is our partner at MEXT EdgeNext project.

授業の内容

名古屋大学が 2017 年度したプログラムでは以下の内容になっている:
1)デンマーク流アイデア創出とビジネス転換①
2)デンマーク流アイデア創出とビジネス転換②
3)ビジネスモデルジェネレーション①
4)ビジネスモデルジェネレーション②
5)ビジネスモデルジェネレーション③

本年度のプログラムはホームページ等で確認すること:
http://tongali.aip.nagoya-u.ac.jp/tongali-school/#sc1-1

According to Academic Year 2017 Program in Nagoya University, the class contents were as follow:
1)Denmark style idea generation and business transformation #1
2)Denmark style idea generation and business transformation #2
3)Business model generation #1
4)Business model generation #2
5)Business model generation #3

Please confirm this academic year's program through the home page:
http://tongali.aip.nagoya-u.ac.jp/tongali-school/#sc1-1

予習・復習内容

関連科目

アントレプレナーシップ:基礎・応用、事業開発論:ビジネスデザイン・ビジネスツール
Entrepreneurship: Introduction & Application, Business Development: Business Design & Business Tool

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)ベンチャーの事業計画のコンセプトが理解できる。
2)事業計画のためのアイデア創出の具体的手法を活用できる。
3)ビジネスモデルの定式化の方法を理解できる。

1)It is possible to understand the concept of business plan for start-up founding.
2)It is possible to utilize the specific methods of idea generating for new business plan.
3)It is possible to conceive how to make business model.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

本学総合教育院経営学担当教員が課すレポートにて成績を評価する。

学部3年・博士後期課程1年
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

学部4年　博士前期課程2年等
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Scoring will be evaluated by Faculty of Management in TUT Institute of Liberal Arts and Sciences.

Undergraduate 3rd year & Master 1st year students:
S: all above objectives are achieved and reports' summarized scoring points are 90 and more.
A: 80% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 80 and more.
B: 70% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 70 and more.
C: 60% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 60 and more.

The other students
A: all above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 80 and more.
B: 65% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 65 and more.
C: 55% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 55 and more.

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
レポート課題等は Moodle 等で連絡する。
Report topics will be shown by Noodle etc.

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性

技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（B）【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues

キーワード
ベンチャー，起業家精神
Start-up, Entrepreneurship

(S10234270)実践的アントレプレナーシップ:ビジネスデザイン[Practical Entrepreneurship: Business Design]

科目名[英文名]	実践的アントレプレナーシップ:ビジネスデザイン[Practical Entrepreneurship: Business Design]				
時間割番号	S10234270	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	前2＋後1	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

ベンチャー創業のための事業計画作成に向けて、アイデア創出・ビジネスモデルの設計の仕方を、文科省 EdgeNext 事業で連携している名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部が主催する Tongali スクール I に参加して学習する。

The objective of this class is to study about idea generation and business-model design for drawing business plan at founding start-up companies by participating in "Tongali School I" provided by Nagoya University's Academic Research & Industry-Acamia-Government Collaboration, which is our partner at MEXT EdgeNext project.

授業の内容

名古屋大学が 2017 年度したプログラムでは以下の内容になっている:
1)デンマーク流アイデア創出とビジネス転換①
2)デンマーク流アイデア創出とビジネス転換②
3)ビジネスモデルジェネレーション①
4)ビジネスモデルジェネレーション②
5)ビジネスモデルジェネレーション③

本年度のプログラムはホームページ等で確認すること:
http://tongali.aip.nagoya-u.ac.jp/tongali-school/#sc1-1

According to Academic Year 2017 Program in Nagoya University, the class contents were as follow:
1)Denmark style idea generation and business transformation #1
2)Denmark style idea generation and business transformation #2
3)Business model generation #1
4)Business model generation #2
5)Business model generation #3

Please confirm this academic year's program through the home page:
http://tongali.aip.nagoya-u.ac.jp/tongali-school/#sc1-1

予習・復習内容

関連科目

アントレプレナーシップ:基礎・応用、事業開発論:ビジネスデザイン・ビジネスツール
Entrepreneurship: Introduction & Application, Business Development: Business Design & Business Tool

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

1)ベンチャーの事業計画のコンセプトが理解できる。
2)事業計画のためのアイデア創出の具体的手法を活用できる。
3)ビジネスモデルの定式化の方法を理解できる。

1)It is possible to understand the concept of business plan for start-up founding.
2)It is possible to utilize the specific methods of idea generating for new business plan.
3)It is possible to conceive how to make business model.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

本学総合教育院経営学担当教員が課すレポートにて成績を評価する。

学部3年・博士後期課程1年
S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

学部4年　博士前期課程2年等
A：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C：達成目標を 55%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上

Scoring will be evaluated by Faculty of Management in TUT Institute of Liberal Arts and Sciences.

Undergraduate 3rd year & Master 1st year students:
S: all above objectives are achieved and reports' summarized scoring points are 90 and more.
A: 80% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 80 and more.
B: 70% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 70 and more.
C: 60% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 60 and more.

The other students
A: all above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 80 and more.
B: 65% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 65 and more.
C: 55% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 55 and more.

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
レポート課題等は Moodle 等で連絡する。
Report topics will be shown by Noodle etc.

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
（B）技術者としての正しい倫理観と社会性

技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
（A）【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
（B）【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues

キーワード
ベンチャー，起業家精神
Start-up, Entrepreneurship

(S10234280)実践的アントレプレナーシップ：テクニカルスキル[Practical Entrepreneurship: Technical Skill]

科目名[英文名]	実践的アントレプレナーシップ：テクニカルスキル[Practical Entrepreneurship: Technical Skill]				
時間割番号	S10234280	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	通年	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	藤原　孝男 FUJIWARA Takao				
ナンバリング	GEN_LIB82420				

授業の目標

ベンチャー創業のための基本的な経営手法として、知的財産・国際標準化・ファイナンスなどを、文科省 EdgeNext 事業で連携している名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部が主催する Tongali スクールⅡに参加して学習する。

The objective of this class is to study about basic management tools as intellectual property, international standardization, entrepreneur finance, and so on at founding start-up companies by participating in "Tongali School II" provided by Nagoya University's Academic Research & Industry-Acamia-Government Collaboration, which is our partner at MEXT EdgeNext project.

授業の内容

名古屋大学が 2017 年度したプログラムでは以下の内容になっている：
1)知的財産と起業①
2)知的財産と起業②
3)シリコンバレーのベンチャーエコシステムと成功者たち（共通するものは何か）
4)国際標準化戦略～グローバル市場を目指せ～①
5)国際標準化戦略～グローバル市場を目指せ～②
6)社会起業を学ぶ ～起業のポイントと継続性～
7)出口戦略としての IPO 実現ガイド
8)アントレプレナーシップファイナンス
9)世界の事業創造の最前線―日本で新しい事業を起こすために必要なこと―
10)資本政策を作る

本年度のプログラムはホームページ等で確認すること:
http://tongali.aip.nagoya-u.ac.jp/tongali-school/#t_school2

According to Academic Year 2017 Program in Nagoya University, the class contents were as follow:
1)Intellectual property and founding #1
2)Intellectual property and founding #2
3)Ecosystem of Silicon Valley and successful founders (what are common characteristics?)
4)International standardization: aim for global market #1
5)International standardization: aim for global market #2
6)Social entrepreneurs: point for founding and business sustainability
7)IPO achievement guide as exit strategy
8)Entrepreneurial finance
9)Frontline at global business creation: necessary things for founding in Japan
10)Capital policy

Please confirm this academic year's program through the home page:
http://tongali.aip.nagoya-u.ac.jp/tongali-school/#t_school2

予習・復習内容

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

アントレプレナーシップ：基礎・応用、事業開発論：ビジネスデザイン・ビジネスツール

Entrepreneurship: Introduction & Application, Business Development: Business Design & Business Tool

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

ベンチャー経営の基本手法が理解できる。
ベンチャーの知財が理解できる。
ベンチャーの国際標準化が理解できる。
ベンチャーファイナンスが理解できる。

1)It is possible to understand basic management tools for start-ups.
2)It is possible to understand intellectual property for start-ups.
3)It is possible to understand international standardization for start-ups.
4)It is possible to understand entrepreneurial finance.

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

本学総合教育院経営学担当教員が課すレポートにて成績を評価する。

学部3年・博士後期課程1年
S:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

学部4年　博士前期課程2年等
A:達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標を 65%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 65 点以上
C:達成目標を 55%達成しており，かつテスト・レポートの合計点(100 点満点)が 55 点以上

Scoring will be evaluated by Faculty of Management in TUT Institute of Liberal Arts and Sciences.

Undergraduate 3rd year & Master 1st year students:
S: all above objectives are achieved and reports' summarized scoring points are 90 and more.
A: 80% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 80 and more.
B: 70% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 70 and more.
C: 60% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 60 and more.

The other students
A: all above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 80 and more.
B: 65% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 65 and more.
C: 55% of above objectives are achieved and reports' summarized scoring points 55 and more.

その他

レポート課題等は Moodle 等で連絡する。
Report topics will be shown by Noodle etc.

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけて

いる。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(A)【建築コース】豊かな人間性と幅広い考え方
自然と人間との共生を目的とし、地球的な視点から多面的に物事を考える能力を身につけている。
(B)【建築コース】技術者としての正しい倫理観と社会性
実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力を身につけている。

(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings.
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society.
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(A)(Architecture and Building Science Course) Rich personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see things from various angles with a global perspective aiming at a symbiosis between humans and nature
(B) (Architecture and Building Science Course) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of social and ethical responsibilities as practical and creative engineers taking a leading role; and have the ability to solvescientific issues

キーワード
ベンチャー，起業家精神
Start-up, Entrepreneurship

(S10234290)愛知大学社会系連携講座1[Aichi University social science cooperative class 1]

科目名[英文名]	愛知大学社会系連携講座1[Aichi University social science cooperative class 1]				
時間割番号	S10234290	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	通年	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	鈴木　誠 SUZUKI Makoto				
ナンバリング	GEN_LIB82020				

授業の目標

地方自治体の中小企業政策の目標や方法を理解する。1999 年の改正中小企業基本法、その後の中小企業憲章の制定を機に、自治体は「まちづくり」「若者政策」「防災」など多様な地域政策とリンクを張りながら、地域社会の必要性に基づく中小企業政策を実施している。その意義や課題を、講師の経験をもとに講義する。

I hope that students learn about the small and medium enterprises policy of local government.
The local governments have very characterristic policies for small and medium enterprises.

授業の内容

① 中小企業政策の新たな挑戦　② 政府の中小企業政策　③東京都墨田区の中小企業政策
④ 北海道帯広市の中小企業政策　⑤ 愛知県新城市の中小企業政策　⑥愛知県刈谷市の中小企業政策
⑦ 講義内容の質疑応答　⑧ 試験

①New challenge by small and medium enterprises policy
②The small and medium enterprises policy by the national government
③A case of Sumida district Tokyo
④A case of Obihiro city
⑤A case of Shinshiro city
⑥A case of Kariya city
⑦Ouestions and answers
⑧An examination

予習・復習内容

愛知県、中小企業家同友会のホームページを読んでみましょう。
I hope that students study the web site of Aichi-prefecture and Chushoukigyouka-douyukai.

関連科目

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

現代の中小企業政策の戦略性を学ぶ
I hope that students study the strategies of modern small and medium enterprises policy.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

成績は、レポートで 100%評価します。
Grade evaluation is all result of the examination

定期試験

定期試験を実施（対面）
Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応

キーワード

中小企業政策

The small and medium enterprises policy

(S10234300)愛知大学社会系連携講座2[Aichi University social science cooperative class 2]

科目名[英文名]	愛知大学社会系連携講座2[Aichi University social science cooperative class 2]				
時間割番号	S10234300	**区分**	社会科学科目	**選択必須**	選択
開講学期	通年	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	名和　聖高 NAWA Kiyotaka				
ナンバリング	GEN_LIB82020				

授業の目標

多様な国際ビジネス形態とその諸環境を学ぶ。

To learn various mode of international business and its surrounding circumstances.

授業の内容

第 1 講　ガイダンス－国際ビジネスの多様性
第 2 講　国際物品売買取引(1)－貿易の仕組み
第 3 講　国際物品売買取引(2)－輸出入管理
第 4 講　外国為替
第 5 講　国際技術取引
第 6 講　国際通商枠組み(1)－世界貿易機関
第 7 講　国際通商枠組み(2)－自由貿易地域と関税同盟
第 8 講　国際通商枠組み(3)－今日的動向、定期試験

L.1 Guidance-Diversity of interenational business
L.2 International sale&purchase 1-trade of goods
L.3 International sale&purchase 2-export & import control
L.4 Foreign exchange
L.5 International technology transfer
L.6 Framework of international commerce 1-World Trade Organization(WTO)
L.7 Framework of international commerce 2-Regional free trade area and cusoms unionn
L.8 Framework of international commerce 3-Recent trend of regional framework, Examination

予習・復習内容

企業活動に関して新聞等の多様な媒体を利用した情報収集を恒常的に行うこと。

To usually have an access to any information media such as newspaper and the like concerning activites of enterprise.

関連科目

教科書に関する補足事項

各授業に関連するレジュメを配布する。

Summary will be distributed for each lesson.

参考書に関する補足事項

達成目標

国際ビジネスに関する基本的知識を修得する。

To acquire fundamental knowledge concerning international business.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

定期試験 100%

Examination(term-end)100%

定期試験

定期試験を実施(対面)

Examination(Face to Face)

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

学習・教育到達目標との対応
キーワード

(S10631010)SDセンシング技術[Sensing Technology for Sustainable Development]

科目名[英文名]	SDセンシング技術[Sensing Technology for Sustainable Development]				
時間割番号	S10631010	**区分**	SD科目	**選択必須**	選択
開講学期	通年	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	岩佐　精二，東海林　孝幸，沼野　利佳，水嶋　生智 IWASA Seiji, TOKAIRIN Takayuki, NUMANO Rika, MIZUSHIMA Takanori				
ナンバリング	COM_BAC39020				

授業の目標

専門分野別生命を軸とした環境工学技術者教育プログラム（以下，「本教育プログラム」）は，持続可能な社会を構築するために地球上の生命体に配慮し、その存続を可能にする技術を開発できる人材、特にその中心には新技術や新材料の研究開発を牽引するためには高度な持続可能な開発のためのセンシング技術（Sensing Technology for Sustainable Development:以下 SD センシング技術）が不可欠との考えから、SD センシング技術を使いこなせる人材を育成することを目的とする。
本授業は各分野における SD センシング技術の最先端を知ることを目標とする。
Education program for environmental engineering based on life to educate person who can develop technology which make earth and society be sustainable, especially understand sensing technology for sustainable development.

This class aims to understand framework of sensing technology for sustainable development.

授業の内容

1　化学分野のセンシング技術　水嶋
2　生物分野のセンシング技術　鯉田
3　農業分野のセンシング技術　東海林
4－7　本学において実施される特別講演を4つ選択してください。
1　Sensing technology in chemistry field: Mizushima
2　Sensing technology in biochemical field　Koida
3　Sensing technology in agricultural field Tokairin
4－7　Choose 4 special lectures which are held in TUT

予習・復習内容

自身の専門分野におけるセンシング技術について理解すること
To understand sensing technology in filed of students' specialties

関連科目

各系生命を軸とした環境工学技術者教育プログラムに関連する科目

教科書に関する補足事項

必要に応じて配布する
Distribute document by lectures

参考書に関する補足事項

達成目標

持続可能な開発のためのセンシング技術を理解すること
To understand sensing technology for sustainable development

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート 100%　左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており、かつ試験の合計点（100点満点）が90点以上
A:達成目標の 80%を達成しており、かつ試験の合計点（100点満点）が80点以上
B:達成目標の 70%を達成しており、かつ試験の合計点（100点満点）が70点以上
C:達成目標の 60%を達成しており、かつ試験の合計点（100点満点）が60点以上

Report 100%
Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施

By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

質問は適宜メールで受け付けます

Accept by email

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程

(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力

数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。

〇未来環境工学コース

〇生命・物質工学コース

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences

(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills

Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge

Sustainable Development Course

Life and Materials Science Course

キーワード

センシング技術

Sensing technology

(S10631020)SD見学実習[Factory Visiting Tour for Sustainable Development]

科目名[英文名]	SD見学実習[Factory Visiting Tour for Sustainable Development]				
時間割番号	S10631020	**区分**	SD科目	**選択必須**	選択
開講学期	通年	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	機械工学課程，建築・都市システム学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	岩佐　精二 IWASA Seiji				
ナンバリング	COM_BAC39020				

授業の目標

専門分野別生命を軸とした環境工学技術者教育プログラム（以下，「本教育プログラム」）は，持続可能な社会を構築するために地球上の生命体に配慮し、その存続を可能にする技術を開発できる人材、特にその中心には新技術や新材料の研究開発を牽引するためには高度な持続可能な開発のためのセンシング技術（Sensing Technology for Sustainable Development:以下 SD センシング技術）が不可欠との考えから、SD センシング技術を使いこなせる人材を育成することを目的とする。
本授業は持続可能な社会の仕組みを知ることを目標とする。
Education program for environmental engineering based on life to educate person who can develop technology which make earth and society be sustainable, especially understand sensing technology for sustainable development.

This class aims to understand framework of sustainable society.

授業の内容

事前学習を経て、製造業工場、環境関連施設等の見学（夏休み中に実施）を行った後、グループワークを行い、持続社会における各主体の役割について理解を深める。
１－２　　事前学習
３－５　　見学
６－７．５　事後学習

なお、本授業に係る費用のうち一部を学生が負担する（10,000 円程度予定）。
After pre study, we will visit factories about manufacturing, environmental treatment during summer vacation.
After that, we will understand roles of shareholders in sustainable society though workshop.

１－２　　pre study
３－５　　Visit
６－７．５　After study

Students pay part of expense (about ¥5,000)。

予習・復習内容

社会における技術の役割を理解するために、新聞・テレビ・インターネットのニュースに関心を持つこと。
Be interested in environmental issues to understand society

関連科目

SD センシング技術
SDセンシング技術

教科書に関する補足事項

参考書に関する補足事項

達成目標

社会における技術の役割を理解すること
understand role of technology in society

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

レポート 100%　左記の割合で、総合的に評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており、かつ試験の合計点（100点満点）が90点以上
A:達成目標の 80%を達成しており、かつ試験の合計点（100点満点）が80点以上
B:達成目標の 70%を達成しており、かつ試験の合計点（100点満点）が70点以上
C:達成目標の 60%を達成しており、かつ試験の合計点（100点満点）が60点以上

Report100%

Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80 % goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70 % of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60 % of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他

ウェルカムページ

オフィスアワー

質問は適宜メールで受け付けます
質問は適宜メールで受け付けます

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
〇生命・物質工学コース

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
Sustainable Development Course
Life and Materials Science Course

キーワード

(S11630010)自動車工学[Automobile Engineering]

科目名[英文名]	自動車工学[Automobile Engineering]				
時間割番号	S11630010	**区分**	機械専門Ⅱ	**選択必須**	選択
開講学期	前期	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	機械工学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	田中　良樹, 北田　泰造, 本山　廉夫 TANAKA Yoshiki, KITADA Taizo, MOTOYAMA Sumio				
ナンバリング	MEC_BAC31020				

授業の目標

自動車は多くの素材，部品のアセンブリであり，自動車工学は極めて広い領域をカバーする．この授業では自動車工学の基本から最近のインテリジェント化の動きまで解説する．

Automobile is a machine composed with many materials and parts, so the automobile engineering should be covered a wide engineering field. This lecture will provide the contents from the fundamental knowledge to the latest intelligence .

授業の内容

自動車メーカーの研究者により，6 回の集中講義(第 1,3,5 回は 1 コマ,第 2,4,6 回:1.5 コマ)で授業を行う．

第 1 回：パワートレイン(1)：(担当：北田泰造)
・自動車産業
・ガソリンエンジン

第 2 回：パワートレイン(2)：(担当：北田泰造)
・ディーゼルエンジン
・環境問題，燃費，排気ガス
・新しいパワープラントの動向

第 3 回：車体構造(1)：(担当：田中良樹)
・車体構造概論

第 4 回：車体構造(2)：(担当：田中良樹)
・振動騒音
・衝突安全
・強度耐久

第 5 回：運動性能：(担当：本山廉夫)
・タイヤ
・サスペンション
・車両運動制御

第 6 回：電動化技術：(担当：本山廉夫)
・EV・PHEV・HEV の概要
・各種電動システム
・将来の電動化技術

Six classes will be provided from the engineers of an automobile company.
1st class: Power train (1)
The automobile industry
Gasoline engines
2nd class: Power train (2)
Diesel engine
Environmental problem, Fuel efficiency, Exhaust
New trend of power plant
3rd class: Structure of car body (1)
Outline of structure of car body
4th class: Structure of car body (2)
Noise and vibration
Passive safety
Strength and durability
5th class: Driving performance
Tire

Suspension
Driving control of automobile
6th class: electric-assisted automobile
Outline of EV, PHEV and HEV
Each electric-assisted system
Future technology

予習・復習内容
毎回の講義内容を復習するとともに，次週の内容について配布資料等を参考に予習してくること.
Self-preparation and review are necessary.

関連科目
機械工学の基礎科目・応用科目
Fundamental and applied subjects in mechanical engineering

教科書に関する補足事項
プリント配布．参考図書は適宜紹介する.
Handouts will be prepared.

参考書に関する補足事項

達成目標
自動車工学の幅広い技術分野の基本事項と最新動向を理解する.

Understanding of fundamental of automobile engineering and latest trend.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価法　:達成目標の到達度を確認試験(講義内)とレポートの合計点(100 点)で評価する.
評価基準:
A:達成目標をすべて達成しており，かつ確認試験とレポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B:達成目標を 70%達成しており，かつ確認試験とレポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上
C:達成目標を 60%達成しており，かつ確認試験とレポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上
Method: short examination and report (full score 100).
Level: achievement in the case upper 55 points.
Level A: upper 80 points, Level B: upper 65 points, Level C: upper 55 points

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
北田泰造，本山廉夫，田中良樹
学内担当者:河村庄造(第 1 工学系)，内線 6674，E-Mail:kawamura@me.tut.ac.jp
Contact person: Prof. Shozo Kawamura E-Mail:kawamura@me.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー
E メール等で随時時間を打ち合わせる

Ask by E-mail.

学習・教育到達目標との対応

(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
(D1)機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問に関する知識を獲得し，それらを問題解決に用いる実践的・創造的能力を身につけている。

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving

(D1) Acquire knowledge of various disciplines underlying mechanical engineering, including mechanics, control, system engineering, material engineering, manufacturing, processing and energy conversion; and have the practical and creativeskills to apply such knowledge to problem solving
キーワード 自動車工学　パワートレイン　車体構造　運動性能 Automobile engineering, Power train, Structure of car body, Driving performance

(S13622030)生命情報学[Bio- and Neuroinformatics]

科目名[英文名]	生命情報学[Bio- and Neuroinformatics]				
時間割番号	S13622030	区分	情報・知能専門Ⅱ	選択必須	選必修
開講学期	通年	曜日時限	集中	単位数	2
開講学部等	工学部			対象年次	3～
開講学科	情報・知能工学課程			開講年次	B3
担当教員[ローマ字表記]	堀川　順生 HORIKAWA Junsei				
ナンバリング	CMP_BAC33022				

授業の目標

生命情報学では生命活動が情報とどう関わるかについて講義する。DNA による生体分子や生体の設計情報、細胞内における情報伝達、免疫系の情報伝達、神経系における情報処理の仕組みについて理解を深めることを目標とする。

This course addresses information-based biology known as bio- and neuro-informatics. The objects of this couse are to improve understanding on the biological information processing underlying the genetical, cellular, immune and neural systems.

授業の内容

第1回　　イントロダクション
第2−7回　　遺伝情報とその仕組み
第8回　　中間試験
第9回　　集団遺伝学
第10回　　細胞内の情報伝達
第11回　　免疫系の情報伝達
第12−14回　神経系の情報処理
第15回　　まとめ
第16回　　期末試験

1st hour: Introduction
2-7th hour: Genetical information
8th hour: Midterm examination
9th hour: Population genetics
10th hour: Signal and chemical processing in the cell
11th hour: Signal processing in the immune system
12-14th hour: Signal processing in the neural system
15th hour: Summary
16th hour: Term-end examination

予習・復習内容

講義プリントは事前に配布する。
興味をもった内容に関しては、講義プリントだけではなく、書物や文献、ネットなどを利用して調べ、理解を含めること。
Lecture prints will be handed out before the next lecture.
Try to understand deeply the lecture contents which you are interested in by reading the relevant books and/or checking on the relevant websites.

関連科目

教科書に関する補足事項

毎回前週に講義プリントを配布する。
参考書を参照のこと。
Lecture prints are handed out before the next lecture.
Refer the reference books and the relevant websites.

参考書 1	書名	BLUE BACKS アメリカ版「大学生物学の教科書」第 1～3 巻			ISBN	978-4-06-257674-1
	著者名	D.サダヴァ他、訳石崎、丸山	出版社	講談社	出版年	2011
参考書 2	書名	視覚でとらえるフォトサイエンス「生物図録」			ISBN	978-4-41-28163-1
	著者名	鈴木孝仁監修	出版社	数件出版	出版年	2012
参考書 3	書名	Molecular Biology of The Cell, 5th Edition			ISBN	978^0^8153-4111-6
	著者名	B. Alberts et al.	出版社	Garland Science	出版年	2008

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 遺伝情報とその仕組みについて理解する
2. 細胞内の情報伝達の仕組みについて理解する
3. 免疫系の情報伝達の仕組みについて理解する
4. 神経系の情報処理の仕組みについて理解する

1. Understand genetical information and mechanisms of genetics
2. Understand information-cascade mechanisms in the cell
3. Understand the information-transfer mechanisms in the immune system
4. Understand the information-processing mechanisms in the neural system

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
中間試験(100 点満点)と期末試験(100 点満点)の平均点(100 点満点)を成績点とする。
評価基準:原則的に全ての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S: 達成目標を全て達成しており、かつテストの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A: 達成目標を 80%達成しており、かつテストの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B: 達成目標を 70%達成しており、かつテストの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C: 達成目標を 60%達成しており、かつテストの合計点(100 点満点)が 60 点以上
Evaluation:
The grade is evaluated by the average of the midterm (100 point) and end-term examination (100 point) .
Criteria for the evaluation:
S: Achieved 100% objectives of the course and pointed greater than or equal to 90 point in the average of midterm and end-term examination
A: Achieved 80% objectives of the course and pointed greater than or equal to 80 point in the average of midterm and end-term examination
B: Achieved 70% objectives of the course and pointed greater than or equal to 70 point in the average of midterm and end-term examination
C: Achieved 60% objectives of the course and pointed greater than or equal to 60 point in the average of midterm and end-term examination

定期試験

その他
Other

定期試験詳細

集中講義のため、講義の半ば(8 回目)と最後(16 回目)に記述試験を行う。
This course is an intensive course, so that the midterm and the final examination will be hold in the middle (8th) and the last (16th) hour of the course.

その他

3 系教務委員に連絡
Contact a professor of the educational-affair committee member of the Computer-Science-and-Engineering department.

ウェルカムページ

オフィスアワー

9/25, 26, 27, 28 17:00～18:00 非常勤講師室
9/25, 26, 27, 28 17:00～18:00 part-time-lecturer room

学習・教育到達目標との対応

情報・知能工学課程
(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

Undergraduate Program of Computer Science and Engineering
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving.

キーワード

生命、生物、情報、遺伝、細胞、免疫系、神経系

biology, life, information, genetics, cells, immune system, neural system

(S14600080)環境・生命安全学[Safety science for environmental and life sciences]

科目名[英文名]	環境・生命安全学[Safety science for environmental and life sciences]				
時間割番号	S14600080	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	髙島　和則, 浴　俊彦, 原口　直樹 TAKASHIMA Kazunori, EKI Toshihiko, HARAGUCHI Naoki				
ナンバリング	ENV_BAC31010				

授業の目標

科学技術に支えられた現代の社会は、様々な化学物質、生物資源、電気、精密機器などの使用により成り立っているが、それらの中には人体や環境への有害性のみならず、火災・爆発などの事故を発生させる潜在的危険性を有しているものがある。科学者・技術者は、その有害性・危険性を十分に把握し、これらの化学物質や材料を用いた研究開発や製造現場の安全を確保する義務がある。また、専門家として、自分自身の安全を守るだけでなく、製品が社会に供された後のことや、廃水、排ガス、廃棄物についても考慮した実験計画、プロセス設計を行うことが求められる。

本講義では、有害性、危険性、安全管理の観点から、化学物質、生物実験材料、および電気の取り扱いについて概説する。また、大学の実験室で起こりやすい事故事例を紹介し、得られる教訓と対策について議論することにより、実験中のこれらの安全な取り扱い方法とその注意点を理解すること、および関連する法令を学ぶことを目標とする。また、万が一事故が起きた場合に、被害を最小限にするための対処方法について学ぶ。

Various chemical materials, biological resources, electric devices etc. are indispensable and widely used around us in the modern world of science and technology. Sometimes they affect human health and environment, and have potential risks of serious accidents of fire, explosion, electric shock etc. We scientists and engineers should be careful for ensuring safety of research and development and manufacturing scene, with correct recognition of their potential harmfulness and risk. In addition, we should make every effort not only for the safety of ourselves but also for product safety. Well-designed experimental procedure or production process which reduces laboratory and manufacturing wastes (effluent, exhaust gas, etc.) should be required.

This course introduces safety handling of chemical materials, biological resources, and electric instruments (especially high voltages) from the view point of their harmfulness, potential risks and safety management. Case examination of the accidents in university laboratories will help students noticing the potential risk and learning safety design of the experiment. Related law and regulation will be lectured. Also, students will learn what should be done to minimize the damage and injury if an accident should occur.

授業の内容

以下の化学編、生物編、電気編の3項目について集中講義を行う。

化学編ー化学物質の安全・危険性と取り扱い（原口　直樹）
1. 現代社会と化学物質の安全／大学と環境・安全／環境・安全に関する法令
2. 化学物質の有する潜在危険と安全な取扱いⅠ（有害性）
3. 化学物質の有する潜在危険と安全な取扱いⅡ（発火・爆発等の危険性）
4. 実験室における化学物質の安全な取扱い
5. 実験室におけるその他の危険性と安全な取扱い
6. 環境・安全に関する最近のトピックス

生物編ーバイオハザードとバイオセーフティ（浴　俊彦）

人の生活や技術開発において、生物材料の取り扱いに伴う生物学的安全は古くから重要とされてきた問題である。これには生物学的リスク評価、DNA 組換え技術の安全な利用、感染性試料の利用・運搬、微生物および毒素の取り扱い、公衆衛生上の問題などが含まれる。ここではとくに微生物、ウイルスを取り扱う実験や DNA 組換え実験のバイオセーフティー指針について法令も交えながら学ぶ。
1. 生物多様性とカルタヘナ法
2. バイオセーフティ指針
3. 実験室バイオセキュリティ
4. バイオ実験機器
5. 基準微生物実験技術
6. バイオテクノロジーと DNA 組換え技術

電気編ー電気に関する安全対策（高島　和則）

人体の電気に対する反応を知り、感電の危険性を予知する考え方を学ぶ。また、電気絶縁の基礎ならびに高電圧の性質を知

り、電気の危険性に対処する方法を学ぶ。加えて、保護接地や短絡接地器具の使い方に関しても知識を得る。
1. 感電と人体への電流の影響（1 講義時）
2. 高電圧の性質（1 講義時）
3. 電気機器の絶縁不良と対策（3～5、1.5 講義時）
4. 保護接地
5. 短絡接地器具
Chemistry Safety Guide (N. Haraguchi)
1. Introduction
2. Toxicity of chemicals
3. Explosive chemicals
4. Safe handling of chemicals in laboratory
5. Other risks in laboratory
6. Current topics in global environment and safety

Biohazard and biosafety in biotechnology（T. Eki）
In application of biological resources to technology, how to ensure biosafety and to protect from biohazard is an important issue. This issue is involved in biological risk assessment, safety guidelines for gene recombinant technology and use of microbial materials such as pathogens and toxins, and improvement of public health. This class focuses in particular on guidelines and laws for gene-recombinant technology and experiments using microorganisms and viruses.
1. Biodiversity and related laws
2. Introduction to guidelines for biosafety
3. Biosafety and biosecurity for laboratory
4. Instruments in life science reserach
5. Basic microbiological methods and experiments
6. Biotechnology and genetic engineering

Safety against high voltages (K. Takashima)
1. Electric shock and effect of electric current on human body
2. Electrical and physical characteristics of high voltages
3. Insulation failure of electric devices and protection
4. Grounding

予習・復習内容
講義では適宜参考資料を配布するので、自書ノートとともに熟読し、予習・復習に努めること。

関連科目
環境・生命工学実験、環境・生命工学卒業研究
Laboratory Works in Environmental and Life Sciences
Supervised Research

教科書に関する補足事項
教科書：なし。必要に応じて資料を配布する。

Handout will be given if needed.

参考書 1	**書名**	化学実験の安全指針（第4版）			**ISBN**	
	著者名	日本化学会（編）	**出版社**	丸善	**出版年**	
参考書 2	**書名**	化学安全ガイド			**ISBN**	
	著者名	日本化学会（編）	**出版社**	丸善	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標
1 化学物質、生物材料、電気のもつ有害性、危険性や関連する法令に関する基礎を理解し、個々の物質について、自分で調べられるようになる。
2. 実験室における化学物質、生物材料、電気の安全な取扱い方法をとその注意点を理解する。
3 大学の実験室における事故事例を学び、安全で環境に配慮した実験計画を立て、実行できるようになる。

1. To learn potential risks of chemical materials, biological resources, and high voltages and to learn how to reach the detailed information about them.
2. To learn related law and regulation.
3. To learn safe handling of chemical materials, biological resources, and high voltages.
4. To obtain skills for designing and carrying out safe experiment from case examination of the accidents in laboratory.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

試験および課題レポートで評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

S:達成目標をすべて達成しており、かつ試験またはレポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上

A:達成目標を 80%達成しており、かつ試験またはレポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標を 70%達成しており、かつ試験またはレポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上

C:達成目標を 60%達成しており、かつ試験またはレポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

[Evaluation basis] Evaluation will be based on term-end reports and the average score of three different classes (N. Haraguchi, T. Eki, and K. Takashima). Students who attend all classes will be evaluated as follows:

S: Achieved all the goals and obtained points of reports, 90 or higher (out of 100 points).

A: Achieved 80% of goals and obtained points of reports, 80 or higher (out of 100 points).

B: Achieved 70% of goals and obtained points of reports, 70 or higher (out of 100 points).

C: Achieved 60% of goals and obtained points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細

その他

連絡担当:

担当教員(原口　直樹):B-403(内線 6812)　電子メール:haraguchi@ens.tut.ac.jp

担当教員(浴　　俊彦):G-505(内線 6907)　電子メール:eki@ens.tut.ac.jp

担当教員(高島　和則):G-504(内線 6919)　電子メール:takashima@ens.tut.ac.jp

Dr. Naoki Haraguchi
Office: B-403 (phone 6812)
E-mail: haraguchi@ens.tut.ac.jp

Dr. Toshihiko Eki
Office: G-505 (phone 6907)
E-mail: eki@ens.tut.ac.jp

Dr. Kazunori Takashima
Office: G-504 (phone 6919)
E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

オフィスアワー

授業終了後。適宜電子メールで対応します。

Make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程

(D)技術を科学する分析力, 論理的思考力, デザイン力, 実行力

技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し, それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。

〇未来環境工学コース

(D1) 化学, 生物, 物理, 数学を基本とし, 専門科目群を修得することにより, 先端環境技術, 環境リスク制御, 環境評価・修復の技術, 科学的知識を獲得し, それらを駆使し課題を探究し, 組み立て解決する能力を身につけている。

〇生命・物質工学コース

(D1) 化学および化学関連分野の工学基礎に関する科目を習得することにより, 技術, 科学的知識を獲得し, それらを駆使し課題を探究し, 組み立て解決する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences

(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences

Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
Life and Materials Science Course
(D1) (Materials and Life Sciences Course) Acquire technological and scientific knowledge through taking courses concerning chemistry and chemistry-related fundamental engineering; and have the ability to explore, organize and solveproblems leveraging such knowledge.

キーワード

化学物質、事故防止、リスク、MSDS、環境と安全、バイオハザード、バイオセーフティ、DNA 組換え、高電圧, 電気絶縁
Chemical materials, Prevention of accidents, Risk, MSDS, Environment and Safety, Biohazard, Biosafety, DNA recombination, High voltage, Electric insulation

(S14620410)未来環境特別講義[Topics in Sustainable Development]

科目名[英文名]	未来環境特別講義[Topics in Sustainable Development]				
時間割番号	S14620410	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	S4系教務委員, 長崎　幸夫, 亀卦川　幸浩, 水野　武, 三木　健, 吉田　絵里 4kei kyomu Iin-S, NAGASAKI Yukio, KIKEGAWA Yukihiro, MIZUNO Takeshi, MIKI Takeshi, YOSHIDA Eri				
ナンバリング	ENV_BAC34220				

授業の目標

環境・生命工学およびその関連分野(とくに未来環境工学)における研究の最先端の内容を学ぶ。
Topics in sustainable development and the related research area will be provided.

授業の内容

環境・生命工学およびその関連分野(とくに未来環境工学)における第一線の研究者が最先端の研究について紹介する。
講義は集中講義により開講する。

Recent topics in sustainable development and the related research area will be provided by a set of outstanding professors and researchers.

予習・復習内容

適宜講義資料が配布されるので、自署ノートとともに熟読し、予習・復習に努めること。
Printed materials related to each topics will be provided if needed.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜参考資料としてプリントを配布する。

Printed materials related to each topics will be provided if needed.

参考書に関する補足事項

達成目標

環境・生命工学および関連する分野(特に未来環境工学)における先端研究の動向を学び、当該分野の理解を深める。
Clear understanding of recent topics in sustainable development and the related research area.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法:各担当教員から課せられるレポート課題等の評点を平均して評価する。

評価基準:原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標をすべて達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上
On the basis of reports.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all the goals and obtained total points of exam and reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

その他

平成 29 年度講師とりまとめ担当:
原口　直樹　B-403(内線 6812)　電子メール: haraguchi@ens.tut.ac.jp

東海林孝之　G-405（内線 6911）　電子メール：tokairin@ens.tut.ac.jp
平成 30 年度講師とりまとめ担当：
後日連絡予定

一般的な連絡は下記まで
平成 29 年度教務委員: 高島　和則; G-504 (内線 6919);　電子メール：takashima@ens.tut.ac.jp
平成 30 年度教務委員: 後日連絡予定
Faculty in charge of this subject:
In FY2017: Associate Professor Naoki HARAGUCHI; Room #: B-403; Ext.: 6812; E-mail: haraguchi@ens.tut.ac.jp
Lecturer Takayuki TOKAIRIN; Room #: G-405; Ext.: 6911; E-mail: tokairin@ens.tut.ac.jp
In FY2018: TBA

For general inquiry:
In FY2017: Professor Kazunori TAKASHIMA; Room #: G-504; Ext.: 6919; E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp
In FY2018: TBA

ウェルカムページ
http://ens.tut.ac.jp/
http://ens.tut.ac.jp/

オフィスアワー
適宜対応可（事前にメール等で問い合わせること）

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D4) (Sustainable Development Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under givenrestrictions
Life and Materials Science Course
(D4) (Materials and Life Sciences Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks undergiven restrictions
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.

キーワード
先端環境技術、生態工学、環境工学
先端環境技術、生態工学、環境工学

(S14620420)環境・生命倫理[Ethics in Environmental and Life Sciences]

科目名[英文名]	環境・生命倫理[Ethics in Environmental and Life Sciences]				
時間割番号	S14620420	**区分**	応用化学・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	前期	**曜日時限**	集中	**単位数**	2
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	吉田　祥子, 笛田　由紀子, 沼野　利佳, 小口　達夫, 小島　俊男, 飯島　祥彦 YOSHIDA Sachiko, FUETA Yukiko, NUMANO Rika, OGUCHI Tatsuo, KOJIMA Toshio, IIJIMA Yoshihiko				
ナンバリング	ENV_BAC31020				

授業の目標

今日、科学技術の発展に伴い、生命の意味や価値に関する伝統的な考え方を覆す様々な医療や技術の問題が生じ、改めてその意味と意義に関する議論が為されている。このような状況において、宗教や思想にまで及ぶ生命の本質の理解に関わる議論が為される一方、暫定的に医療や技術開発に関わる法的な基準が策定されつつある。講義ではこのような生命の意味・価値を巡る現代の諸問題の本質を思索する能力を身につけるのとともに、生命と環境に関わる倫理基準に関する倫理的・法的な知識を獲得する。

"Bioethics" has been used in the last twenty years to describe the investigation and a study of ways in which decisions in medicine and science touch upon our health and lives and upon our society and environment. Especially, the engineering innovation has induced some ethical problems. We concern basic human values such as the rights to life and health, and the rightness or wrongness of certain developments in healthcare institutions, life technology, medicine, the health professions and about society's responsibility for the life and health of its members.

授業の内容

1．イントロダクション、生命とは何か、生命に関する倫理と法律（動物愛護法）（沼野利佳担当）
2．生命の生存に関する諸問題：ヒトとヒト以外の生命との関係に関する倫理、ヒト間の生命に関する倫理、科学研究との関係（沼野利佳担当）
3．医薬品とは何か（吉田祥子　担当）
4．医薬品開発に関わる生命倫理の問題（吉田祥子担当）
5．ヒトゲノム研究と医学研究倫理Ⅰ（小島俊男　担当）
6．ヒトゲノム研究と医学研究倫理Ⅱ（小島俊男　担当）
7．環境科学・技術と倫理　（小口達夫　担当）
8．環境科学・未来予測の不確実性　（小口達夫　担当）
9．環境の中の化学物質　（笛田由紀子　担当）
10．技術開発と生命生存への影響　（笛田由紀子　担当）
11．バイオエシックス、生命倫理の歴史　（飯島祥彦　担当）
12．生命倫理制作と価値規範　（飯島祥彦　担当）

1. Introduction. What is the life? Cruelty to Animal Act. (Rika Numano)
2. Bioethical problems between human and animals, or human itself. (Rika Numano)
3. What is the medicine? (Sachiko Yoshida)
4. Bioethical problems with the development of medicine. (Sachiko Yoshida)
5. Human genome research and bioethics I. (Toshio Kojima)
6. Human genome research and bioethics II. (Toshio Kojima)
7. Technology and ethics in the environmental science. (Tatsuo Oguchi)
8. Uncertain prediction about the environmental science. (Tatsuo Oguchi)
9. Artificial chemicals in the environment. (Yukio Fueta)
10. Chemicals and lives. (Yukiko Fueta)
11. The history of bioethics. (Yoshihiko Iijima)
12. Sanctity of life and regulation of life. (Yoshihiko Iijima)

予習・復習内容

適宜講義資料が配布されるので、自署ノートとともに、予習・復習に努めること。
Literatures about each lecture will be distributed.

関連科目

生命科学　環境科学
Life Science and Chemistry. Environmental Science.

教科書に関する補足事項

プリント等を配布して用いる。
参考図書：下記

参考書 1	**書名**	生命倫理学入門			**ISBN**	
	著者名	今井道夫	**出版社**	産業図書	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

生命の意味と価値の諸議論について理解し、倫理や法律上の基準や問題について判断するための知識と見識とを得る。
環境技術の倫理上の問題、将来にわたる展開について考察する知識と見識を得る。
To understand the ethical problems of life and environment.
To accumulate scientific knowledge regarding ethical problems between human and technology.
To consider about the life and the earth.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法
　各講義後、レポート課題が指示されるので、レポート 50%　講義中の課題・討論 50%　　の割合で、総合的に評価する。
評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標をすべて達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標を 80%達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標を 65%達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標を半分以上達成しており、かつ演習とレポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

S: Achieved all goals and obtained points of reports, 90 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 65% of goals and obtained points of reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved over 50% of goal and obtained points of reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない
None during exam period

定期試験詳細

各講義後、レポート課題が指示される。

その他

連絡担当教員：吉田祥子: B-406 (内線 6802)　電子メール：syoshida@ens.tut.ac.jp
Contact address: Sachiko Yoshida: B-406 (Ex.6802) e-mail: syoshida@ens.tut.ac.jp

ウェルカムページ

https://lms.imc.tut.ac.jp
https://lms.imc.tut.ac.jp

オフィスアワー

講義終了直後。それ以外は連絡担当教員が受け付け，担当教員に取り次ぐ。
Make an appointment by e-mail.

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
(A)幅広い人間性と考え方
人間社会を地球的な視点から多面的にとらえ，自然と人間との共生，人類の幸福・健康・福祉について考える能力を身につけている。
(B)技術者としての正しい倫理観と社会性
技術者としての専門的・倫理的責任を自覚し，社会における技術的課題を設定・解決・評価する能力を身につけている。
(C)技術を科学的にとらえるための基礎力とその活用力
数学・自然科学・情報技術分野，MOT，地球環境対応技術分野，知的財産分野の科目を修得することにより，科学技術に関する基礎知識を修得し，それらを活用できる能力を身につけている。
(D)技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
(F)最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(A) Personality and outlook with a broad perspective
Have the ability to see human society from various angles with a global perspective; and to consider the symbiosis between humans and nature as well as the well-being, health andwelfare of human beings
(B) Sound ethics and social awareness as engineers
Be conscious of specialized and ethical responsibilities as engineers; and have the ability to set, solve and evaluate technical issues in society
(C) Basic skills to scientifically understand technology and the ability to utilize such skills
Acquire basic knowledge about scientific technology through taking courses relating to mathematics, natural science, information technology,MOT, technology for a global environment and intellectual property; and have the ability to utilize such knowledge
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D4) (Sustainable Development Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under givenrestrictions
Life and Materials Science Course
(D4) (Materials and Life Sciences Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks undergiven restrictions
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.

キーワード
生命　薬害　遺伝子　臓器移植　脳死　技術　倫理

(S14620430)生命・物質特別講義[Topics in Life and Materials Science]

科目名[英文名]	生命・物質特別講義[Topics in Life and Materials Science]				
時間割番号	S14620430	**区分**	環境・生命専門Ⅱ	**選択必須**	選必修
開講学期	後期	**曜日時限**	集中	**単位数**	1
開講学部等	工学部			**対象年次**	3～
開講学科	環境・生命工学課程			**開講年次**	B3
担当教員[ローマ字表記]	S4系教務委員, 前田　寧, Ying Bei Wen, 柴富　一孝 4kei kyomu Iin-S, MAEDA Yasushi, Ying Bei Wen, SHIBATOMI Kazutaka				
ナンバリング	ENV_BAC31020				

授業の目標

環境・生命工学および関連する分野（特に生命・物質工学）における最先端の研究の内容を学び、当該分野における学習欲の向上と研究への興味・意欲を養う。

Topics in life and materials sciences will be provided.

授業の内容

環境・生命工学および関連する分野（特に生命・物質工学）分野における第一線の研究者が、以下の最先端の研究の動向と知識について講じる。授業は複数回の集中講義として行う。

Recent topics in life and materials sciences will be provided by a set of outstanding professors and researchers.

予習・復習内容

講義ごとに資料を配布するので熟読し、授業の内容の復習に努めること。

Printed materials related to each topics will be provided if needed.

関連科目

教科書に関する補足事項

適宜講義資料を配布する。

Printed materials related to each topics will be provided if needed.

参考書に関する補足事項

達成目標

1. 環境・生命工学および関連する分野における先端研究の動向を学び、当該分野の理解を一層深める。
2. 工学分野における環境・生命に関する知識の意義を理解する。

Clear understanding of recent topics in life and materials sciences.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準

評価方法：各担当教員から課せられるレポート課題等の答案を平均して評価する。

評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。

S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

On the basis of reports.

[Evaluation basis] Students who attend all classes will be evaluated as follows:
S: Achieved all the goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
A: Achieved 80% of goals and obtained total points of exam and reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Achieved 70% of goals and obtained total points of exam and reports, 70 or higher (out of 100 points).
C: Achieved 60% of goals and obtained total points of exam and reports, 60 or higher (out of 100 points).

定期試験

試験期間中には何も行わない

None during exam period

定期試験詳細

その他

平成 29 年度講師とりまとめ担当：
原口　直樹　B-403（内線 6812）　電子メール：haraguchi@ens.tut.ac.jp

東海林孝之　G-405（内線 6911）　電子メール：tokairin@ens.tut.ac.jp
平成 30 年度講師とりまとめ担当：
後日連絡予定

一般的な連絡は下記まで
平成 29 年度教務委員: 高島　和則; G-504 (内線 6919);　電子メール：takashima@ens.tut.ac.jp
平成 30 年度教務委員: 後日連絡予定
Faculty in charge of this subject:
In FY2017: Associate Professor Naoki HARAGUCHI; Room #: B-403; Ext.: 6812; E-mail: haraguchi@ens.tut.ac.jp
Lecturer Takayuki TOKAIRIN; Room #: G-405; Ext.: 6911; E-mail: tokairin@ens.tut.ac.jp
In FY2018: TBA

For general inquiry:
In FY2017: Professor Kazunori TAKASHIMA; Room #: G-504; Ext.: 6919; E-mail: takashima@ens.tut.ac.jp
In FY2018: TBA

ウェルカムページ
環境・生命工学系ホームページ：http://ens.tut.ac.jp/

オフィスアワー
事前にアポイントメントをとること。また逐次電子メールでも対応可。

学習・教育到達目標との対応

環境・生命工学課程
（D）技術を科学する分析力，論理的思考力，デザイン力，実行力
技術科学分野の専門技術に関する知識を修得し，それらを問題解決に応用できる実践的・創造的能力を身につけている。
〇未来環境工学コース
(D1) 化学，生物，物理，数学を基本とし，専門科目群を修得することにより，先端環境技術，環境リスク制御，環境評価・修復の技術，科学的知識を獲得し，それらを駆使し課題を探究し，組み立て解決する能力を身につけている。
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
〇生命・物質工学コース
(D3) 有機化学，無機化学，分析化学，物理化学，生命科学，等の専門基礎を習得することにより，生命・物質を原子・分子レベルで理解し，解析・変換・評価できる専門知識と専門技術を獲得し，それらを駆使して課題を探求し，組み立て，解決する能力を身につけている。
(D4) 技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解し，諸問題の工学的な解決を行うためのデザイン能力と与えられた制限下で仕事をまとめあげる実行力を身につけている。
（F）最新の技術や社会環境の変化に対する探究心と持続的学習力
社会，環境，技術等の変化に対応して，継続的に自ら学習する能力を身につけている。

Undergraduate Program of Environmental and Life Sciences
(D) Analytical ability, logical thinking, design skills and executive skills for technological sciences
Acquire knowledge about an expertise in technological science; and have the practical and creative skills to apply such knowledge toproblem solving
Sustainable Development Course
(D1) (Sustainable Development Course) Acquire scientific knowledge on advanced environmental technology, environmental risk control, environmental evaluation/restoration technology through taking specialized courses based on chemistry,Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under given restrictions
(D4) (Sustainable Development Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks under givenrestrictions
Life and Materials Science Course
(D3) (Materials and Life Sciences Course) Acquire specialized knowledge and expertise to understand, analyze, convert and evaluate life and materials on the atomic-molecular level through gaining fundamental knowledge in specialized fields, such as organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, physical chemistry, life science, etc.; and have the ability to explore, organize and solve problems leveraging such knowledge
(D4) (Materials and Life Sciences Course) Have design skills to understand practical issues and challenges that engineers experience and to solve various problems from an engineering approach along with the ability to complete tasks undergiven restrictions
(F) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology and changes in the social

environment
Have the skills to voluntarily learn on a continuous basis in response to changes in society,environment, technology, etc.

キーワード

環境バイオテクノロジー、細胞内共生、運動生理学、有機化学

環境バイオテクノロジー、細胞内共生、運動生理学、有機化学

(S15610120)建設工学特別講義[Special Lectures on Architecture and Civil Engineering]

科目名[英文名]	建設工学特別講義[Special Lectures on Architecture and Civil Engineering]				
時間割番号	S15610120	**区分**	建築・都市専門Ⅱ	**選択必須**	必修
開講学期	前期	**曜日時限**	集中	**単位数**	0.5
開講学部等	工学部			**対象年次**	4～
開講学科	建築・都市システム学課程			**開講年次**	B4
担当教員[ローマ字表記]	加藤　茂, 日高　洋, 阿部　秋男, 足立　有史, 澤　充隆, 橋本　健史, 櫻井　一宏, 島岡　俊輔, 片山　裕之, 田畑　彰久 KATO Shigeru, HIDAKA Hiroshi, ABE Akio, ADACHI Yuji, SAWA Mitsutaka, HASHIMOTO Takeshi, SAKURAI Katsuhiro, SHIMAOKA Shunsuke, KATAYAMA Hiroyuki, TABATA Akihisa				
ナンバリング	ARC_BAC48010				

授業の目標

建設分野における実際のプロジェクトや事業の事例(ケース)を題材とし，取り上げた事例に関連する法律の概要を理解する．さらに，その事例における社会的・技術的課題を整理し，技術者としてとるべき行動を自ら考え，受講生同士で議論することにより，技術者としての自覚と倫理観を養う．

Through a series of special lectures learn the technical front of construction engineering with case studies of actual construction projects and technology developments. The special lectures are presented by practical engineers with higher activities. Interpret the subjects associated with social and/or technical issues and consider the expected attitudes of engineer through the reading reports and discussions.

授業の内容

全体ガイダンスに続き，構造系，環境系，計画系の3分野それぞれが，3回の特別講義とレポートのレポート発表・討論会を分担する。特別講演は外部から招請する講師によって行われる。学生は3回の特別講演から1つを選択し，文献調査や資料提供等によるレポート作成指導を経てレポートを取りまとめて提出する。レポート発表会・討論会では，参加するすべての学生がレポートを発表し，担当教員のコーディネートの下で，各分野の高度で実践的な技術や技術者としてのあるべき姿について討論する。授業を構成する各週の内容は以下のようである。

1週目:全体ガイダンス　授業の取りまとめ責任者によるガイダンス
(構造系)
2週目:特別講義／構造系 A　建築物の耐震改修に関するテーマ
3週目:特別講義／構造系 B　建築学における地震工学するテーマ
4週目:特別講義／構造系 C　地盤地震工学に関するテーマ
5週目:文献調査や担当教員からの資料提供等によるレポート作成指導とレポート提出
6週目:レポートの発表・討論会
(環境系)
7週目:特別講義／環境系 A　建築の環境・設備に関するテーマ
8週目:特別講義／環境系 B　水環境・衛生に関するテーマ
9週目:特別講義／環境系 C　国土計画・社会経済に関するテーマ
10週目:文献調査や担当教員からの資料提供等によるレポート作成指導とレポート提出
11週目:レポートの発表・討論会
(計画系)
12週目:特別講義／計画系 A　計画・交通工学に関するテーマ
13週目:特別講義／計画系 B　住居計画に関するテーマ
14週目:特別講義／計画系 C　建築史，建築修復・再生に関するテーマ
15週目:文献調査や担当教員からの資料提供等によるレポート作成指導とレポート提出
16週目:レポートの発表・討論会

1st week, introductory guidance; schedule of special lectures, reading reports and discussions
2nd week, Special lectures; structural A
3rd week, Special lectures; structural B
4th week, Special lectures; structural C
5th week, Structural; Research and preparation for reports
6th week, Structural; Reading of reports and discussions
7th week, Special lectures; environmental A
8th week, Special lectures; environmental B
9th week, Special lectures; environmental C
10th week, Environmental; Research and preparation for reports
11th week, Environmental; Reading of reports and discussions
12th week, Special lectures; environmental A
13th week, Special lectures; environmental B

14th week, Special lectures; environmental C
15th week, Environmental; Research and preparation for reports
16th week, Environmental; Reading of reports and discussions

予習・復習内容
担当教員は，招へい講師や必要であれば学生とも事前に協議し，一貫性を持ち，学生が主体となって進行しやすいテーマを年度ごとに設定する。
講演会には，他の学年の学生も広く参加できるように時間を設定し，内容を周知する。

関連科目
特になし

教科書に関する補足事項

参考書 1	**書名**	日本建築学会の技術者倫理教材			**ISBN**	ISBN-13: 978-4818922
	著者名	日本建築学会	**出版社**	日本建築学会	**出版年**	2009
参考書 2	**書名**	土木技術者の倫理—事例分析を中心として			**ISBN**	ISBN-13: 978-4810604
	著者名	土木学会土木教育委員会倫理教育小委員会	**出版社**	土木学会	**出版年**	2003
参考書 3	**書名**	科学技術者の倫理—その考え方と事例 第 3 版			**ISBN**	ISBN-13: 978-4621080
	著者名	Charles E. Harris Jr. , Michael S. Pritchard, Michael J. Rabins, 日本技術士会	**出版社**	丸善	**出版年**	2008

参考書に関する補足事項

達成目標
本科目を通して建設分野に関連する技術の最前線について様々な事例を通して理解するとともに，社会的・技術的問題点を把握する．さらに，受講生による議論を通して，建設技術者としての倫理観を養うとともに，コミュニケーション力を身につける．

Acquire the information of the technical fronts of construction engineering, and understand the important subjects associated with social and technological issues. Cultivate the ethical values as construction engineer and ability of communication through the reading reports and discussions.

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準
評価方法：授業中に課すレポート，および討議内容により総合的に評価する．
評価基準：原則的にすべての授業に出席し，授業中の課題をすべて提出したものに対して，下記のように成績を評価する。
A：上記達成目標の達成度をすべて達成しており，かつテストの平均点が（100 点満点）が 80 点以上
B：上記達成目標の達成度を 80%達成しており，かつテストの平均点が（100 点満点）が 65 点以上
C：上記達成目標の達成度を 60%達成しており，かつテストの平均点が（100 点満点）が 55 点以上
[Evaluation method] 100% for report reading and discussions.
[Evaluation basis] Students who attend all the lectures will be evaluated as follows:
A: Obtained total points of reports, 80 or higher (out of 100 points).
B: Obtained total points of reports, 65 or higher (out of 100 points).
C: Obtained total points of reports, 55 or higher (out of 100 points).

定期試験
レポートで実施
By Report

定期試験詳細

その他
各系の担当者および招へい講師が決まり次第周知するので，ホームページ等を参照のこと
Miura：D-803，TEL：0532-44-6844，k-miura@ace.tut.ac.jp

ウェルカムページ
なし
http://www.geomech.ace.tut.ac.jp/ : Miura

オフィスアワー

各担当教授の講義のシラバス参照
Miura: advanced contact by e-mail is required

学習・教育到達目標との対応

本科目は以下の「大学院キャリアアッププログラム」に該当する.
（建築コース）
建築デザイナー，建築設備デザイナー，都市・地域プランナー，構造エンジニア
（社会基盤コース）
都市・地域プランナー，国土環境マネジャー，構造エンジニア

本科目は以下の「建築士試験の大学院における実務訓練」に該当する.
建築士試験指定科目　関連科目（講義）

（F）【建築コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。
特に関連がある項目
（F）【社会基盤コース】最新の技術に対する探求心と持続的学習力
つねに新しい技術を探求し、社会環境の変化に対応して継続的に自ら学習する能力を身につけている。

(F) (Architecture and Building Science Course) Inquisitive attitude and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technologies all the time and to voluntarily learn on acontinuous basis in response to changes in the social environment
Particularly-relevant item
(F) (Civil and Environmental Engineering Course) Inquisitive outlook and skills for continuous learning in response to state-of-the-art technology
Have the ability to explore new technology all the time and to voluntarily learn inresponse to changes in the social environment on a continual basis

キーワード

倫理，技術論，技術者
ethics morals, technological theory, engineers